

拓殖大学大学院 言語教育研究科

言語教育学専攻 博士論文

反義併存的な語に関する研究

学生番号：G7D5012017

氏名：池田 純

主査：阿久津 智

2021（令和3）年3月

目次

目次	i
図表目次	xxiii
第1章 序論.....	1
1.1 本論文の構成.....	1
1.2 背景および目的.....	2
1.3 凡例・その他.....	4
1.3.1 凡例.....	4
1.3.2 時代区分.....	5
1.3.3 考察対象語の選定.....	6
1.3.4 考察対象辞書の選定.....	6
第2章 総論.....	8
2.1 意味の変化.....	8
2.1.1 大野晋（1980）（『国語学大辞典』）.....	8
2.1.2 長嶋善郎（1982）（『日本語教育事典』）.....	8
2.1.2.1 意味変化の六分類.....	8
2.1.2.2 考察（「結構」「大丈夫」「やばい」との関連性）.....	9
2.1.2.3 隠喩（メタファー）／換喩（メトニミー）／提喩（シネクドキ）.....	11
2.1.3 榎山洋介（2014）.....	12
2.1.3.1 提喩（シネクドキ）による婉曲表現.....	12
2.1.3.2 「おめでた」と「結構」のシネクドキ的考察.....	12
2.1.4 トラウゴット／ダッシャー（2019）.....	13
2.1.4.1 意味変化の六分類（ブレル）.....	13
2.1.4.2 「意味の悪化」考察（「結構」「適当」との関連性）.....	15
2.1.4.3 「意味の向上」考察（「やばい」との関連性）.....	16
2.1.4.4 「意味の拡大・一般化」考察（「結構」との関連性）.....	16
2.1.4.5 「隠喩（メタファー）」考察（「大丈夫」との関連性）.....	17
2.1.4.6 「換喩（メトニミー）」考察（各論にて扱う語との関連性）.....	17
2.1.4.7 変化の動機に関する五つの型（ブレル）.....	18

2.1.4.8	「意味の希薄化」考察（「やばい」との関連性）	18
2.1.4.9	意味変化の傾向（ブレル）	18
2.1.4.10	「意味変化の傾向」考察（「結構」との関連性）	19
2.1.5	張潔（2015）	19
2.1.5.1	漢語における意味変化	19
2.1.5.2	客観と主観	20
2.1.5.3	客観から主観へ（「結構」との関連性）	21
2.1.5.4	鈴木修次（1978）における「陸封」（「大丈夫」との関連性）	22
2.2	類義	23
2.2.1	『学術用語集 言語学編』（1997）	23
2.2.2	野村雅昭（1980）（『国語学大辞典』）	23
2.2.2.1	「同義語」の定義と範囲	23
2.2.2.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	24
2.2.3	『現代言語学辞典』（1988）	25
2.2.3.1	「類義語」の定義と範囲	25
2.2.3.2	考察（「結構」「大丈夫」「適当」との関連性）	26
2.3	反義	27
2.3.1	『学術用語集 言語学編』（1997）	27
2.3.2	野村雅昭（1980）・国広哲弥（2002）・遠藤裕子（2005）・ 榎山洋介（2009）・木村義之（2010）	27
2.3.2.1	「対義語」の定義と分類（野村雅昭（1980））	27
2.3.2.2	考察（分類法と特徴）	28
2.3.3	『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）	30
2.3.3.1	「反義語」の定義と分類	30
2.3.3.2	考察（分類法と特徴）	31
2.3.4	山田政通（2015）	33
2.4	多義	33
2.4.1	『学術用語集 言語学編』（1997）	33
2.4.2	野村雅昭（1980）・松中完二（2002）・吉村公宏（2004）・ 榎山洋介（2009）・木村義之（2010）	33

2.4.2.1	「多義語」の定義と分類（野村雅昭（1980））	34
2.4.2.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	35
2.5	あいまい（性）	36
2.5.1	『日本国語大辞典』	37
2.5.1.1	「あいまい」の意味記述	37
2.5.1.2	考察（「結構」との関連性）	37
2.5.2	『学術用語集 言語学編』（1997）	38
2.5.3	『現代言語学辞典』（1988）	38
2.5.3.1	「曖昧性」の語源と分類	38
2.5.3.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	39
2.6	反義併存	39
2.6.1	『学術用語集 言語学編』（1997）	40
2.6.2	『現代言語学辞典』（1988）	40
2.6.2.1	「反意併存」の定義と事例	40
2.6.2.2	考察（「結構」との関連性）	40
2.6.3	『国語に関する世論調査』（2001~2015）（文化庁）	42
2.6.3.1	反義併存性を示す語（語句）	42
2.6.3.2	考察（「鳥肌が立つ」と「やばい」との関連性）	42
2.6.4	「反義併存」の定義と解釈	43
2.6.5	「反義併存」と「結構」「やばい」との関連性	45
2.7	表記	46
2.7.1	佐竹秀雄（2000）	46
2.7.1.1	「表記」の表現性と特徴	46
2.7.1.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	47
2.7.2	笹原宏之（2017）	48
2.7.2.1	表記のバリエーション（多様性）	48
2.7.2.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	48
2.7.3	佐藤亨（1993）	49
2.7.3.1	漢語におけるカタカナ表記の効果	49
2.7.3.2	考察（各論にて扱う語との関連性）	49

第3章 結構	51
3.1 概論	51
3.2 先行研究および資料	55
3.2.1 山田俊雄（1975）	55
3.2.1.1 「結構」の意味の推移	55
3.2.1.2 考察（婉曲な断りとしての「結構」）	57
3.2.2 鈴木彦四郎（1976）	58
3.2.2.1 「日光」と「結構」	58
3.2.2.2 考察（「日光／結構」の諺から）	59
3.2.2.3 考察（意味変化の原因）	61
3.2.3 森田良行（1977, 1989）	62
3.2.3.1 「結構（けっこう）」の性質	62
3.2.3.2 考察（「結構」の評価性）	63
3.2.4 佐藤喜代治（1979）	64
3.2.4.1 「結構」の語構成	64
3.2.4.2 考察（動作語から形容語への移行）	64
3.2.5 岩淵悦太郎（1985）	65
3.2.5.1 「結構」の用法と特徴	65
3.2.5.2 考察（「結構」の意味の推移）	67
3.2.6 渡辺実（1990）	67
3.2.6.1 程度副詞としての「結構」	67
3.2.6.2 考察（語調調整的および反予測性の「結構」）	69
3.2.7 小川蒼子美・前田直子（2003）	73
3.2.7.1 程度副詞としての相対的な「結構」	73
3.2.7.2 考察（絶対から相対へ）	73
3.2.8 堀井令以知（2003）	74
3.2.8.1 「結構」の語誌的情報	74
3.2.8.2 考察（実例資料との照合・検証）	75
3.2.9 張麟声（2004, 2016）	78
3.2.9.1 「結構」の日中対照	78

3.2.9.2	考察（現代中国語における「結構」）	78
3.2.10	松井栄一（2008）	79
3.2.10.1	「結構」と「見事」（類義語の比較・対照）	79
3.2.10.2	考察（他の類義語との関連性）	80
3.2.10.3	「見事」の類義語グループの出現頻度（BCCWJ/Ameba）	81
3.3	近代の辞書における「結構」	83
3.3.1	『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「結構（結構）」の意味記述の比較	83
3.3.1.1	結果	85
3.3.2	『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「結構（結構）」の意味記述	85
3.3.2.1	考察（「結構」の用法と分類）	86
3.3.3	近代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較	88
3.3.3.1	結果	90
3.3.4	『齋藤和英大辞典』における「結構」の意味記述と用例	92
3.3.4.1	結果	95
3.4	現代の国語辞書における「結構」	97
3.4.1	現代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較	97
3.4.1.1	大型・中型辞書 4 種	98
3.4.1.2	小型辞書 6 種	99
3.4.1.3	結果	100
3.4.1.4	「結構」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）	
	103	
3.4.2	『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第 7 版まで）における「結構」の意味記述の変遷	104
3.4.2.1	結果	106
3.5	類語辞書における「結構」	107
3.5.1	『角川類語新辞典』（1981）における「結構」の位置づけ	108
3.5.1.1	結果	108
3.5.2	『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「結構」の位置づけ	109

3.5.2.1	結果	111
3.6	「結構」の語義関連表	112
3.7	「結構」の実例	114
3.7.1	上代から近世（日本古典文学全集）	114
3.7.1.1	検索語：「結構」（2020/11/19 時点）	114
3.7.1.2	検索語：「結構」（手偏の「構」）（2020/11/25 時点）	124
3.7.1.3	検索語：「けつかう」（2020/11/25 時点）	124
3.7.1.4	検索語：「けっこう」（2020/11/26 時点）	126
3.7.2	中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）	127
3.7.2.1	検索語：「結構」（全 446 件より抜粋）（2020/10/05 時点）	129
3.7.2.2	検索語：「結構」（手偏の「構」）（全 176 件より抜粋）（2020/10/05 時点）	
	137	
3.7.3	近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）	142
3.7.3.1	検索語：「結構」（全 5025 件より抜粋）（2020/10/05 時点）	143
3.7.3.2	検索語：「結構」（手偏の「構」）（全 24 件より抜粋）（2021/01/19 時点）	
	149	
3.7.4	現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）	153
3.7.4.1	検索語：「結構」（全 150 件より抜粋）（2020/10/20 時点）	154
3.7.5	現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）	156
3.7.5.1	検索語：「結構」（全 7683 件より抜粋）（2020/10/06 時点）	159
3.7.5.2	検索語：「けっこう」（全 2329 件より抜粋）（2020/10/06 時点）	168
3.7.5.3	検索語：「けっこー」（全 15 件）（2021/01/24 時点）	182
3.7.5.4	検索語：「ケッコウ」（全 14 件より抜粋）（2021/01/24 時点）	183
3.7.5.5	検索語：「ケッコー」（全 11 件より抜粋）（2021/01/24 時点）	184
3.7.6	現代（NUCC：名大会話コーパス）	185
3.7.6.1	検索語：「結構」（全 1260 件より抜粋）（2020/10/11 時点）	185
3.7.6.2	検索語：「けっこう」（全 5 件）（2021/01/27 時点）	189
3.7.7	2020 年 9 月の 1 ヶ月間（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）	190
3.7.7.1	検索語：「結構」（全 39 件より抜粋）（2020/10/27 時点）	190
3.7.7.2	検索語：「けっこう」（全 11 件より抜粋）（2020/10/27 時点）	194

3.7.8	中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦両漢）	195
3.7.9	中国古典籍（中国哲学書電子化計画：漢代之後）	196
3.7.9.1	検索語：「結構」（全50件）（2021/01/07時点）	197
3.7.9.2	検索語：「結構」（手偏の「構」）（全7件）（2021/01/07時点）	203
3.8	「結構」のまとめ	205
第4章	大丈夫	207
4.1	概論	207
4.2	先行研究および資料	208
4.2.1	鈴木修次（1978）	208
4.2.1.1	「大丈夫」の語誌的情報	208
4.2.1.2	考察（「大丈夫」の意味変遷）	211
4.2.2	砂川有里子（2005）	212
4.2.2.1	問題な「大丈夫」	212
4.2.2.2	考察（近年における「大丈夫」の用法）	214
4.2.3	高橋巖（2014）	216
4.2.3.1	「大丈夫」の新たな用法	216
4.2.3.2	考察（返答の「大丈夫」のバリエーション）	218
4.2.4	神永暁（2015）	220
4.2.4.1	ゆれている「大丈夫」	220
4.2.4.2	考察（「大丈夫」の用法の整理）	221
4.2.5	伊藤由美（2017）	223
4.2.5.1	ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」	223
4.2.5.2	考察（ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」）	225
4.2.6	田中伊式（2018）	226
4.2.6.1	婉曲な否定としての「大丈夫」	226
4.2.6.2	考察（婉曲な否定としての「大丈夫」）	228
4.3	近代の辞書における「大丈夫」	230
4.3.1	『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「大丈夫」の意味記述の比較	230
4.3.1.1	結果	231

4.3.2	近代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較	232
4.3.2.1	結果	234
4.3.3	『齋藤和英大辞典』における「大丈夫」の意味記述と用例	235
4.3.3.1	結果	236
4.4	現代の国語辞書における「大丈夫」	238
4.4.1	現代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較	238
4.4.1.1	大型・中型辞書 4 種	239
4.4.1.2	小型辞書 6 種	240
4.4.1.3	結果	241
4.4.1.4	「大丈夫」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に） 243	
4.4.2	『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第 7 版まで）における「大丈夫」の意味記述の変遷	244
4.4.2.1	結果	246
4.5	類語辞書における「大丈夫」	247
4.5.1	『角川類語新辞典』（1981）における「大丈夫」の位置づけ	247
4.5.1.1	結果	248
4.5.2	『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「大丈夫」の位置づけ	249
4.5.2.1	結果	250
4.6	「大丈夫」の語義関連表	251
4.7	「大丈夫」の実例	253
4.7.1	上代から近世（日本古典文学全集）	253
4.7.1.1	検索語：「大丈夫」（2020/11/28 時点）	253
4.7.1.2	検索語：「だいぢやうぶ」（2020/12/02 時点）	257
4.7.2	近世・近代（CHJ：日本語歴史コーパス）	258
4.7.2.1	検索語：「大丈夫」（全 307 件より抜粋）（2020/10/09 時点）	259
4.7.3	近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）	266
4.7.3.1	検索語：「大丈夫」（全 1083 件より抜粋）（2020/10/05 時点）	266
4.7.4	現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）	272
4.7.4.1	検索語：「大丈夫」（全 314 件より抜粋）（2020/10/20 時点）	272

4.7.5	現代 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)	276
4.7.5.1	検索語 : 「大丈夫」 (全 8493 件より抜粋) (2020/10/07 時点)	278
4.7.5.2	検索語 : 「だいじょうぶ」 (全 737 件より抜粋) (2021/02/04 時点)	286
4.7.5.3	検索語 : 「だいじょぶ」 (全 25 件より抜粋) (2021/02/08 時点)	292
4.7.5.4	検索語 : 「だいじょーぶ」 (全 2 件) (2021/02/04 時点)	294
4.7.5.5	検索語 : 「ダイジョウブ」 (全 24 件) (2021/02/04 時点)	295
4.7.5.6	検索語 : 「ダイジョーブ」 (全 6 件より抜粋) (2021/02/08 時点)	297
4.7.6	現代 (NUCC : 名大会話コーパス)	298
4.7.6.1	検索語 : 「大丈夫」 (全 477 件より抜粋) (2020/10/11 時点)	298
4.7.6.2	検索語 : 「だいじょうぶ」 (全 95 件より抜粋) (2021/01/28 時点)	300
4.7.6.3	検索語 : 「だいじょぶ」 (全 48 件より抜粋) (2021/01/29 時点)	302
4.7.7	2020 年 9 月の 1 ヶ月間 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	303
4.7.7.1	検索語 : 「大丈夫」 (全 150 件より抜粋) (2020/10/26 時点)	305
4.7.7.2	検索語 : 「だいじょうぶ」 (全 6 件) (2020/10/27 時点)	308
4.7.8	中国古典籍 (中国哲学書電子化計画 : 先秦兩漢)	309
4.7.8.1	検索語 : 「大丈夫」 (全 49 件) (2021/01/09 時点)	310
4.7.9	中国古典籍 (中国哲学書電子化計画 : 漢代之後)	316
4.7.9.1	検索語 : 「大丈夫」 (全 166 件) (2021/01/12 時点)	316
4.8	「大丈夫」のまとめ.....	336
第 5 章	適当.....	338
5.1	概論	338
5.2	先行研究および資料.....	339
5.2.1	門倉正美 (1996)	339
5.2.1.1	「適当」と「いい加減」「ほどほど」	339
5.2.1.2	考察 (「適当」のレトリック)	340
5.2.2	森田良行 (1996)	341
5.2.2.1	「適当」と基準設定意識.....	341
5.2.2.2	考察 (「適当」の程度性)	342
5.2.3	田忠魁・泉原省二・金相順 (1998)	344
5.2.3.1	「適当」と類義語 ①	344

5.2.3.2	類義語を通して見た「適当」(まとめ)	345
5.2.4	松井栄一(2008)	347
5.2.4.1	「適当」と類義語②	347
5.2.4.2	「いい加減」の類義語グループ	347
5.2.4.3	考察(「いい加減」の類義語グループ)	348
5.2.4.4	「適切」の類義語グループ	350
5.2.4.5	考察(「適切」の類義語グループ)	351
5.2.4.6	「いい加減」の類義語グループの使用頻度	352
5.2.4.7	結果と考察(「いい加減」の類義語グループの使用頻度)	352
5.2.4.8	「適切」の類義語グループの使用頻度	354
5.2.4.9	結果と考察(「適切」の類義語グループの使用頻度)	354
5.2.5	増井金典(2012)	355
5.2.5.1	「適当」の出自	355
5.2.5.2	「適当」と「的当」の関係性	356
5.2.6	窪菌晴夫(2017)	357
5.2.6.1	「適当」と「いい加減」	357
5.2.6.2	考察(連体修飾・連用修飾としての「適当」)	358
5.3	近代の辞書における「適当」	359
5.3.1	『和英語林集成』(初版/再版/第三版)における「的当(的當)」の意味記述の比較	359
5.3.1.1	結果	360
5.3.2	『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「適当」の意味記述	361
5.3.2.1	考察	362
5.3.3	近代の国語辞書10種における「適当」の意味記述の比較	363
5.3.3.1	結果	364
5.3.4	『齋藤和英大辞典』における「適当」の意味記述と用例	366
5.3.4.1	結果	367
5.4	現代の国語辞書における「適当」	368
5.4.1	現代の国語辞書10種における「適当」の意味記述の比較	368

5.4.1.1	大型・中型辞書 4 種.....	369
5.4.1.2	小型辞書 6 種.....	370
5.4.1.3	結果	371
5.4.1.4	「适当」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）	372
5.4.2	『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第 7 版まで）における「适当」の意味記述の変遷.....	373
5.4.2.1	結果	374
5.5	類語辞書における「适当」	376
5.5.1	『角川類語新辞典』（1981）における「适当」の位置づけ	376
5.5.1.1	結果	377
5.5.2	『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「适当」の位置づけ.....	379
5.5.2.1	結果	380
5.6	「适当」の語義関連表.....	383
5.7	「适当」の実例.....	384
5.7.1	上代から近世（日本古典文学全集）	384
5.7.1.1	検索語：「适当（適當）」（2020/12/02 時点）	384
5.7.1.2	検索語：「的当（的當）」（2020/12/02 時点）	385
5.7.2	近代（CHJ：日本語歴史コーパス）	385
5.7.2.1	検索語：「適當」（全 1417 件より抜粋）（2020/10/08 時点）	386
5.7.2.2	検索語：「适当」（全 5 件）（2020/10/06 時点）	391
5.7.2.3	検索語：「的当」（全 2 件）／「的當」（全 1 件）（2020/10/06 時点） ...	392
5.7.3	近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）	392
5.7.3.1	検索語：「适当（適當）」（全 31273 件より抜粋）（2020/10/05 時点） ...	392
5.7.3.2	検索語：「的当」（全 1 件）（2021/01/22 時点）	397
5.7.4	現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）	399
5.7.4.1	検索語：「适当」（全 352 件より抜粋）（2020/10/21 時点）	400
5.7.5	現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）	406
5.7.5.1	検索語：「适当」（全 3696 件より抜粋）（2020/10/06 時点）	408
5.7.5.2	検索語：「テキトー」（全 81 件より抜粋）（2020/10/06 時点）	413
5.7.5.3	検索語：「テキトウ」（全 5 件）（2021/02/09 時点）	416

5.7.5.4	検索語：「てきとー」(全13件)(2021/01/27時点)	416
5.7.5.5	検索語：「てきとう」(全19件)(2021/02/09時点)	417
5.7.6	現代(NUCC：名大会話コーパス)	419
5.7.6.1	検索語：「適当」(全42件より一部抜粋)(2020/10/06時点)	419
5.7.6.2	検索語：「てきとー」(全1件)(2021/02/04時点)	421
5.7.7	2020年9月の1ヶ月間(朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	421
5.7.7.1	検索語：「適当」(全30件より抜粋)(2020/10/26時点)	422
5.7.7.2	検索語：「テキトー」(全6件より抜粋/2019年10月から1年間)(2020/10/28時点)	424
5.7.8	中国古典籍(中国哲学書電子化計画：先秦両漢)	426
5.7.8.1	検索語：「適當」(全14件)(2021/01/14時点)	426
5.7.8.2	検索語：「的當」(2021/03/14時点)	428
5.7.9	中国古典籍(中国哲学書電子化計画：漢代之後)	429
5.7.9.1	検索語：「適當」(全18件)(2021/01/14時点)	429
5.7.9.2	検索語：「的當」(全71件より一部抜粋)(2021/03/14時点)	432
5.8	「適当」のまとめ	434
第6章	微妙	436
6.1	概論	436
6.2	先行研究および資料	437
6.2.1	佐藤喜代治(1979)	437
6.2.1.1	仏教語としての「微妙」	437
6.2.1.2	考察(「微妙」と“delicate”との関連性)	438
6.2.2	佐藤喜代治(1998)	440
6.2.2.1	謡曲における仏教語出自としての「微妙」	440
6.2.2.2	考察(謡曲にみられる「微妙」)	441
6.2.3	佐藤武義(1984)	442
6.2.3.1	『今昔物語集』における「微妙」①	442
6.2.3.2	考察(「微妙」と「メデタシ」)	444
6.2.4	高橋貢(1984)	444
6.2.4.1	『今昔物語集』における「微妙」②	444

6.2.4.2	考察（「微妙」と「いみじ」の関連性）	445
6.2.5	木村紀子（1992）	447
6.2.5.1	『今昔物語集』における「微妙」③	447
6.2.5.2	考察（「微妙（ミメウ）」と「微妙（メダタシ）」	449
6.2.6	稲増龍夫（2003）	449
6.2.6.1	マイナス評価性のカタカナ表記「ビミョー」	449
6.2.7	文化庁（2005, 2015）	450
6.2.7.1	『国語に関する世論調査』における「微妙」	450
6.2.7.2	考察（「微妙」と「ビミョー」の混同）	451
6.2.7.3	調査の比較（「2005（平成 17）年」および「2015（平成 27）年」）	452
6.2.7.4	結果	453
6.2.8	矢澤真人（2005）	454
6.2.8.1	問題な「微妙」	454
6.2.8.2	考察（「本音と建前」としての「微妙」）	455
6.2.9	矢野耕平（2014）	457
6.2.9.1	若者特有の心情語としての「ビミョー（微妙）」	457
6.2.9.2	考察（連用修飾形式（副詞的用法）としての「微妙に」）	458
6.2.10	米川明彦（2019）	459
6.2.10.1	流行語としてのカタカナ表記「ビミョー」	459
6.2.10.2	考察（表記の限界）	460
6.3	近代の辞書における「微妙」	461
6.3.1	『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「微妙」の意味記述の比較 461	
6.3.1.1	結果	462
6.3.2	『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳 辞典』における「微妙」の意味記述	464
6.3.2.1	考察	464
6.3.3	近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較	465
6.3.3.1	結果	466
6.3.4	『齋藤和英大辞典』における「微妙」の意味記述と用例	468

6.3.4.1	結果	469
6.4	現代の国語辞書における「微妙」	470
6.4.1	現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較	470
6.4.1.1	大型・中型辞書 4 種.....	471
6.4.1.2	小型辞書 6 種.....	472
6.4.1.3	結果	472
6.4.1.4	「微妙」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）	473
6.4.2	『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第 7 版まで）における「微妙」の意味記述の変遷.....	474
6.4.2.1	結果	476
6.5	『現代用語の基礎知識』過去約 30 年分における「ビミョー」の変遷.....	477
6.5.1	結果.....	479
6.6	類語辞書における「微妙」	481
6.6.1	『角川類語新辞典』（1981）における「微妙」の位置づけ	481
6.6.1.1	結果	481
6.6.2	『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「微妙」の位置づけ	482
6.6.2.1	結果	482
6.7	「微妙」の語義関連表.....	484
6.8	新聞紙上における「微妙」	485
6.8.1	「ヨミダス歴史館」における「微妙（ビミョー）」の年代別出現頻度（平成期） 485	
6.8.2	結果.....	486
6.8.3	考察.....	487
6.9	「微妙」の実例.....	488
6.9.1	上代から近世（日本古典文学全集）	488
6.9.1.1	検索語：「微妙」（2020/12/02 時点）	489
6.9.2	中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）	493
6.9.2.1	検索語：「微妙（みめう）」（2020/12/09 時点）	495
6.9.2.2	検索語：「微妙（めでた）し」「微妙（いみじ）く」（熟字訓）（2020/12/09 時点） 502	

6.9.3	中古から近代 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	520
6.9.3.1	検索語 : 「微妙」 (全 190 件より抜粋) (2020/10/09 時点)	521
6.9.4	近代 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	523
6.9.4.1	検索語 : 「微妙」 (全 1779 件より抜粋) (2020/10/18 時点)	524
6.9.5	近代 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	529
6.9.5.1	検索語 : 「微妙」 (全 270 件より抜粋) (2020/10/05 時点)	530
6.9.6	現代 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	535
6.9.6.1	検索語 : 「微妙」 (全 1512 件より抜粋) (2020/10/05 時点)	536
6.9.7	現代 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)	546
6.9.7.1	検索語 : 「微妙」 (全 2746 件より抜粋) (2020/10/07 時点)	548
6.9.7.2	検索語 : 「ビミョー」 (全 48 件より抜粋) (2020/10/07 時点)	559
6.9.7.3	検索語 : 「ビミョウ」 (全 5 件) (2020/10/07 時点)	562
6.9.7.4	検索語 : 「びみょう」 (全 5 件) (2021/02/09 時点)	563
6.9.8	現代 (NUCC : 名大会話コーパス)	564
6.9.8.1	検索語 : 「微妙」 (全 156 件より抜粋) (2020/10/11 時点)	564
6.9.9	2020 年 9 月の 1 ヶ月間 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	566
6.9.9.1	検索語 : 「微妙」 (全 26 件より抜粋) (2020/10/26 時点)	567
6.9.9.2	検索語 : 「ビミョー」 (全 2 件 / 2019 年 10 月から 1 年間) (2020/10/28 時点)	570
6.9.10	中国古典籍 (中国哲学書電子化計画 : 先秦両漢)	570
6.9.10.1	検索語 : 「微妙」 (全 28 件) (2021/01/15 時点)	571
6.9.10.2	検索語 : 「微眇」 (全 16 件) (2021/03/25 時点)	575
6.9.11	中国古典籍 (中国哲学書電子化計画 : 漢代之後)	579
6.9.11.1	検索語 : 「微妙」 (全 79 件) (2021/01/15 時点)	579
6.9.11.2	検索語 : 「微眇」 (全 8 件) (2021/03/25 時点)	590
6.10	「微妙」のまとめ	592
第 7 章	やばい	594
7.1	概論	594
7.1.1	「やばい」の評価性	594
7.1.2	「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」とは	595

7.1.2.1	俗語	595
7.1.2.2	考察（俗語）	596
7.1.2.3	隠語	596
7.1.2.4	考察（隠語）	597
7.1.2.5	若者語	598
7.1.2.6	流行語	599
7.1.2.7	考察（流行語）	599
7.2	先行研究および資料.....	600
7.2.1	米川明彦（1998）	600
7.2.1.1	隠語から出た若者語としての「やばい」	600
7.2.1.2	考察（「やばい」の語源）	601
7.2.2	文化庁（2005, 2015）	602
7.2.2.1	『国語に関する世論調査』における「やばい」	602
7.2.2.2	調査の比較（「2005（平成 17）年」および「2015（平成 27）年」）	604
7.2.2.3	結果	604
7.2.3	矢澤真人（2005）	605
7.2.3.1	問題な「やばい」	605
7.2.3.2	考察（「やばい」の意味の軽薄化）	607
7.2.4	矢野耕平（2014）	610
7.2.4.1	若者の決まり文句としての「やばい」	610
7.2.4.2	考察（プラス評価性「やばい」の出現時期）	611
7.2.5	窪菌晴夫（2017）	613
7.2.5.1	世代差がみられる「やばい」の意味解釈	613
7.2.5.2	考察（世代差がみられる「やばい」の意味解釈）	614
7.2.5.3	意味の上昇としての「やばい」	615
7.2.5.4	考察（意味の上昇としての「やばい」）	616
7.2.6	米川明彦（2017）	616
7.2.6.1	俗語・隠語としての「やばい」	616
7.2.6.2	考察（感動詞的な「やばい」）	618
7.2.7	米川明彦（2019）	618

7.2.7.1	流行語としての「やばい」	618
7.2.7.2	考察（「やばい」の流行期）	619
7.3	近現代の特殊用途辞書における「やばい」	620
7.3.1	『通客必携符牒便覧』（1891）における「ヤバイ」	620
7.3.2	『日本隠語集』（1892）における「ヤバイ」	622
7.3.2.1	結果と考察	625
7.3.3	『隠語輯覧』（1915）における「やばい」	626
7.3.3.1	結果	627
7.3.4	『犯罪科学ノ研究』（1915）における「やばい」	627
7.3.5	『袖珍コンサイス万用字引』（1922）における「やば（矢場）」	628
7.3.6	『時勢に後れぬ 新時代用語辞典』（1930）における「やばい」の意味記述	628
7.3.6.1	考察（「ヤバイ」の独特な意味記述と解釈）	629
7.3.7	『翠聲・オン・パレード』（1931）における「やばい」	629
7.3.8	『全国隠語集 符牒なら何んでも』（1933）における「やばい」	630
7.3.9	『隠語構成様式並に其語集』（1935）における「やばい」の意味記述	631
7.3.9.1	結果	633
7.3.10	『隠語全集』（1952）における「やばい」の意味記述	634
7.3.10.1	結果	635
7.4	近現代の一般辞書における「やばい」	636
7.4.1	近代の国語辞書 11 種における「やばい」の意味記述の比較	636
7.4.1.1	結果	637
7.4.2	現代の国語辞書 10 種における「やばい」の意味記述の比較	638
7.4.2.1	大型・中型辞書 4 種	639
7.4.2.2	小型辞書 6 種	640
7.4.2.3	結果	641
7.4.2.4	「やばい」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）	643
7.4.3	『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第 7 版まで）における「やばい」の意味記述の変遷	644
7.4.3.1	結果	646

7.4.4	日本語学習者向け辞書における「やばい」	648
7.4.4.1	考察	648
7.5	『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷	648
7.5.1	「第一期（1969~1979）：潜在期」	649
7.5.1.1	結果（「第一期（1969~1979）：潜在期」）	649
7.5.2	「第二期（1980~1999）：揺籃期」	650
7.5.2.1	結果（「第二期（1980~1999）：揺籃期」）	651
7.5.3	「第三期（2000~2020）：安定期」	651
7.5.3.1	「若者用語の解説」における「やばい／やべえ／やばやば」の意味記述の比較	652
7.5.3.2	結果と考察（「第三期（2000~2020）：安定期」）	653
7.6	類語辞書における「やばい」	654
7.6.1	『類語国語辞典』（1985）における「やばい」	654
7.6.1.1	「やばい」の位置づけ	654
7.6.1.2	結果	655
7.6.1.3	『類語国語辞典』を基にした「やばい」の位置づけ（筆者提案）	655
7.6.1.4	考察（「やばい」の位置づけの提案）	656
7.6.2	『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「やばい」の位置づけ	657
7.6.2.1	結果	658
7.7	「やばい」の語義関連表	659
7.8	新聞紙上における「やばい」	660
7.8.1	「ヨミダス歴史館」における「やばい」の年代別出現頻度（平成期）	660
7.8.2	結果	661
7.8.3	考察（「やばい」の出現数の推移）	662
7.9	「やばい」の実例	662
7.9.1	上代から近世（日本古典文学全集）	662
7.9.1.1	検索語：「やば」（全3件）（2020/12/25時点）	663
7.9.2	中古から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）	665
7.9.3	近世から現代（その他の資料）	665
7.9.3.1	検索語：「やば」「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」等（2020/12/01時点）	

7.9.4	現代 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)	674
7.9.4.1	検索語 : 「やばい」 (全 608 件より抜粋) (2020/10/03 時点)	675
7.9.4.2	検索語 : 「ヤバイ」 (全 388 件より抜粋) (2020/10/05 時点)	680
7.9.4.3	検索語 : 「ヤバい」 (全 164 件より抜粋) (2020/10/05 時点)	685
7.9.4.4	検索語 : 「やば」 (全 32 件) (2021/02/10 時点)	689
7.9.4.5	検索語 : 「ヤバ」 (全 39 件より抜粋) (2021/02/10 時点)	692
7.9.5	現代 (NUCC : 名大会話コーパス)	695
7.9.5.1	検索語 : 「やばい」 (全 145 件より抜粋) (2020/10/05 時点)	695
7.9.6	2020 年 7 月から 3 ヶ月間 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	697
7.9.6.1	検索語 : 「やばい」 (全 22 件より抜粋) (2020/10/26 時点)	698
7.9.6.2	検索語 : 「ヤバイ」 (全 3 件) (2020/10/27 時点)	700
7.9.6.3	検索語 : 「ヤバい」 (全 7 件より抜粋) (2020/10/27 時点)	701
7.9.7	『近世上方語辞典』 (補足資料)	702
7.9.7.1	「やば (やばな)」 (全 4 件)	702
7.10	「やばい」 のまとめ	703
第 8 章	結論と課題	706
8.1	まとめと結論	706
8.1.1	「結構」 (第 3 章) のまとめ	706
8.1.2	「大丈夫」 (第 4 章) のまとめ	708
8.1.3	「適当」 (第 5 章) のまとめ	710
8.1.4	「微妙」 (第 6 章) のまとめ	712
8.1.5	「やばい」 (第 7 章) のまとめ	714
8.1.6	全体のまとめ	717
8.2	今後の課題	720
【参考文献・資料】	722
【ア行】	722
【ア】	722
【イ】	722
【ウ】	724

【エ】	724
【オ】	725
【カ行】	726
【カ】	726
【キ】	727
【ク】	728
【ケ】	729
【コ】	729
【サ行】	730
【サ】	730
【シ】	732
【ス】	733
【セ】	734
【ソ】	734
【タ行】	734
【タ】	734
【チ】	735
【ツ】	735
【テ】	736
【ト】	736
【ナ行】	737
【ナ】	737
【ニ】	737
【ヌ】	738
【ネ】	738
【ノ】	738
【ハ行】	738
【ハ】	738
【ヒ】	739
【フ】	739

【へ】	740
【ホ】	741
【マ行】	741
【マ】	741
【ミ】	742
【ム】	742
【メ】	743
【モ】	743
【ヤ行】	744
【ヤ】	744
【ユ】	745
【ヨ】	745
【ラ行】	745
【ラ】	745
【リ】	746
【ル】	746
【レ】	746
【ロ】	746
【ワ行】	746
【ワ】	746
【その他参考資料】	747
【ア行】	747
【カ行】	747
【サ行】	747
【タ行】	747
【ナ行】	747
【ハ行】	748
【マ行】	748
【ヤ行】	748
【ラ行】	748

【ワ行】	748
謝辞	749

図表目次

図表 1.1 : 本論文の構成.....	1
図表 2.1 : 類義語と同義語との関係性 (筆者の認識)	25
図表 2.2 : 文化庁『国語に関する世論調査』における反義併存性を示す語	42
図表 2.3 : 『言語学大辞典』における多義性・二義性・反意併存性の関係性	44
図表 3.1 : 『明鏡国語辞典 第二版』「結構」「②形容動詞」における意味記述・例・解説.....	53
図表 3.2 : 近代の3種の辞書における「日光／結構」の諺についての意味記述	59
図表 3.3 : CHJ (日本語歴史コーパス) における「日光」関連の「結構 (結構)」の実例.....	60
図表 3.4 : 「結構」の意味の派生・移行のイメージ (堀井令以知 (2003) による) ..	77
図表 3.5 : BCCWJ による「見事」の類義語グループの検索結果数と順位	82
図表 3.6 : 「Ameba (アメーバ)」による「見事」の類義語グループの検索結果数と順位.....	82
図表 3.7 : 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「結構」の意味記述の比較.....	84
図表 3.8 : 『第三版』「英和の部」における“construction” および、“architecture” の意味記述.....	85
図表 3.9 : 『漢語英訳辞典』における「結」「結構」の意味記述	86
図表 3.10 : 『漢語英訳辞典』における「構」「構成」「構造」の意味記述	87
図表 3.11 : 近代の国語辞書 10 種の内訳.....	88
図表 3.12 : 近代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較	89
図表 3.13 : 『齋藤和英』における「結構」の意味記述と例文	93
図表 3.14 : 『齋藤和英』における「結構」の例文の4分類.....	94
図表 3.15 : 現代の国語辞書 10 種の内訳	97
図表 3.16 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「結構」の意味記述の比較	98
図表 3.17 : 現代の小型辞書 6 種における「結構」の意味記述の比較	99
図表 3.18 : 「結構」の品詞・語義の移行イメージ図 (現代の国語辞書 10 種を基に)	103

図表 3.19 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ	104
図表 3.20 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「結構」の 意味記述の変遷	105
図表 3.21 : 『角川類語新辞典』における「結構」の位置づけ	108
図表 3.22 : 『分類語彙表 増補改訂版』における「結構」の位置づけ	109
図表 3.23 : 「結構」の語義関連表 (チャート)	113
図表 3.24 : 「結構」の实例 (日本古典文学全集)	114
図表 3.25 : 「結構」(手偏の「構」)の实例 (日本古典文学全集)	124
図表 3.26 : 「けっかう」の实例 (日本古典文学全集)	124
図表 3.27 : 「けっこう」の实例 (日本古典文学全集)	126
図表 3.28 : CHJ・『太陽コーパス』による「結構」「結構」の検索結果数の比較 (2020/10/06 時点)	128
図表 3.29 : 「結構」の实例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	129
図表 3.30 : 「結構」(手偏の「構」)の实例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	137
図表 3.31 : 「結構」の实例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	143
図表 3.32 : 「結構」(手偏の「構」)の实例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	149
図表 3.33 : 「結構」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 現代)	154
図表 3.34 : BCCWJ による「結構」「けっこう」「ケッコウ」の検索結果数の比較 (2020/10/06 時点)	157
図表 3.35 : 「結構」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	159
図表 3.36 : 「けっこう」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス) ...	168
図表 3.37 : 「けっこう」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス) ...	182
図表 3.38 : 「ケッコウ」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス) ...	183
図表 3.39 : 「ケッコウ」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス) ...	184
図表 3.40 : 「結構」の实例 (NUCC : 名大会話コーパス)	185
図表 3.41 : 「けっこう」の实例 (NUCC : 名大会話コーパス)	189
図表 3.42 : 「結構」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年9月の1ヶ月間)	190
図表 3.43 : 「けっこう」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年9月の1ヶ月間)	194
図表 3.44 : 「中國哲學書電子化計画」内「字典」における「結」「構」「構」の意味記	

述.....	196
図表 3.45 : 「結構」の実例 (中国哲学書電子化計画 : 漢代之後)	197
図表 3.46 : 「結構」(手偏の「構」)の実例 (中国哲学書電子化計画 : 漢代之後) ..	203
図表 4.1 : 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「大丈夫」の意味記述の 比較.....	230
図表 4.2 : 近代の国語辞書 10 種の内訳	232
図表 4.3 : 近代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較	233
図表 4.4 : 『齋藤和英』における「大丈夫」の意味記述と例文	235
図表 4.5 : 『齋藤和英』における「大丈夫」の例文の 2 分類	236
図表 4.6 : 現代の国語辞書 10 種の内訳	238
図表 4.7 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「大丈夫」の意味記述の比較	239
図表 4.8 : 現代の小型辞書 6 種における「大丈夫」の意味記述の比較	240
図表 4.9 : 「大丈夫」の品詞・語義の移行イメージ図 (現代の国語辞書 10 種を基に)	243
図表 4.10 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ	244
図表 4.11 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第 7 版』までの「大丈夫」 の意味記述の変遷.....	245
図表 4.12 : 『角川類語新辞典』における「大丈夫」の位置づけ	248
図表 4.13 : 『分類語彙表 増補改訂版』における「大丈夫」の位置づけ	249
図表 4.14 : 「大丈夫」の語義関連表 (チャート)	252
図表 4.15 : 「大丈夫」の実例 (日本古典文学全集)	253
図表 4.16 : 「だいぢやうぶ」の実例 (日本古典文学全集)	257
図表 4.17 : 「大丈夫」の実例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	259
図表 4.18 : 「大丈夫」の実例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	266
図表 4.19 : 「大丈夫」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)	272
図表 4.20 : BCCWJ による「大丈夫」「だいじょうぶ」「ダイジョウブ」の検索結果数 (2020/10/06 時点)	277
図表 4.21 : 「大丈夫」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	278
図表 4.22 : 「だいじょうぶ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	286

図表 4.23 : 「だいじょぶ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	292
図表 4.24 : 「だいじょーぶ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	294
図表 4.25 : 「ダイジョウブ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	295
図表 4.26 : 「ダイジョーブ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	297
図表 4.27 : 「大丈夫」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)	298
図表 4.28 : 「だいじょうぶ」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)	300
図表 4.29 : 「だいじょぶ」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)	302
図表 4.30 : 「大丈夫」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年9月の1ヶ月間)	305
図表 4.31 : 「だいじょうぶ」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年9月の1ヶ月間)	308
図表 4.32 : 「中國哲學書電子化計劃」、「CTP 辞典」における「大丈夫」の意味記述	309
図表 4.33 : 「大丈夫」の実例 (中國哲學書電子化計劃 : 先秦兩漢)	310
図表 4.34 : 「大丈夫」の実例 (中國哲學書電子化計劃 : 漢代之後)	316
図表 5.1 : 「適當」の類義語グループの分類と対照 (『類義語使い分け辞典』を基に)	344
図表 5.2 : BCCWJによる「いい加減」の類義語グループの検索結果数と順位	352
図表 5.3 : 「Ameba (アメーバ)」による「いい加減」の類義語グループの検索結果数と順位	352
図表 5.4 : BCCWJによる「適切」の類義語グループの検索結果数と順位	354
図表 5.5 : 「Ameba (アメーバ)」による「適切」の類義語グループの検索結果数と順位	354
図表 5.6 : 「聞蔵Ⅱ」による「適切」の類義語グループの検索結果数と順位	354
図表 5.7 : 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「適當」の意味記述の比較	360
図表 5.8 : 『漢語英訳辞典』における「適」「適當」「的」「的当」の意味記述	361
図表 5.9 : 近代の国語辞書 10 種の内訳	363

図表 5.10 : 近代の国語辞書 10 種における「相当」の意味記述の比較	364
図表 5.11 : 『齋藤和英』における「相当」の意味記述と例文	366
図表 5.12 : 『齋藤和英』における「相当」の例文の 2 分類	367
図表 5.13 : 現代の国語辞書 10 種の内訳	368
図表 5.14 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「相当」の意味記述の比較	369
図表 5.15 : 現代の小型辞書 6 種における「相当」の意味記述の比較	370
図表 5.16 : 「相当」の語義の移行イメージ図 (現代の国語辞書 10 種を基に)	372
図表 5.17 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ	373
図表 5.18 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第 7 版』までの「相当」の 意味記述の変遷	374
図表 5.19 : 『角川類語新辞典』における「相当」の位置づけ	377
図表 5.20 : 『分類語彙表 増補改訂版』における「相当」の位置づけ	379
図表 5.21 : 「相当」の語義関連表 (チャート)	383
図表 5.22 : 「相当 (適當)」の実例 (日本古典文学全集)	384
図表 5.23 : 「的当 (的當)」の実例 (日本古典文学全集)	385
図表 5.24 : 「適當」の実例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	386
図表 5.25 : 「相当」の実例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	391
図表 5.26 : 「的当」「的當」の実例 (CHJ : 日本語歴史コーパス)	392
図表 5.27 : 「相当 (適當)」の実例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	393
図表 5.28 : 「的当」の実例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	398
図表 5.29 : 「相当」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 現代)	400
図表 5.30 : BCCWJ による「相当」「テキトー」「てきとー」の検索結果数 (2020/10/06 時点)	407
図表 5.31 : 「相当」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	408
図表 5.32 : 「テキトー」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	413
図表 5.33 : 「テキトウ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	416
図表 5.34 : 「てきとー」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	416
図表 5.35 : 「てきとう」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	417
図表 5.36 : 「相当」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)	419
図表 5.37 : 「てきとー」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)	421

図表 5.38 : 「適當」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年9月の1ヶ月間)	422
図表 5.39 : 「テキトー」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2019年10月から1年間)	424
図表 5.40 : 「適當」の实例 (中國哲學書電子化計劃 : 先秦兩漢)	426
図表 5.41 : 「適當」の实例 (中國哲學書電子化計劃 : 漢代之後)	429
図表 5.42 : 「的當」の实例 (中國哲學書電子化計劃 : 漢代之後)	432
図表 6.1 : 文化庁 (2005, 2015) 「言い方の使用頻度」「微妙」の設問における「ある」 の割合の比較.....	453
図表 6.2 : 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「微妙」の意味記述の比 較.....	462
図表 6.3 : 『漢語英訳辞典』における「微」「微妙」「妙」の意味記述	464
図表 6.4 : 近代の国語辞書 10 種の内訳	465
図表 6.5 : 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較	466
図表 6.6 : 『齋藤和英』における「微妙」の意味記述と例文	468
図表 6.7 : 『齋藤和英』における「微妙」の例文の分類.....	468
図表 6.8 : 現代の国語辞書 10 種の内訳	470
図表 6.9 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「微妙」の意味記述の比較	471
図表 6.10 : 現代の小型辞書 6 種における「微妙」の意味記述の比較	472
図表 6.11 : 「微妙」の語義の移行イメージ図 (現代の国語辞書 10 種を基に)	473
図表 6.12 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ	474
図表 6.13 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「微妙」の 意味記述の変遷.....	475
図表 6.14 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 30 年間の「ビミョー」の変遷	478
図表 6.15 : 『角川類語新辞典』における「微妙」の位置づけ	481
図表 6.16 : 『分類語彙表 増補改訂版』における「微妙」の位置づけ	482
図表 6.17 : 「微妙」の語義関連表 (チャート)	484
図表 6.18 : 読売新聞における平成期約 30 年間の「微妙」の出現数の推移	486
図表 6.19 : 読売新聞における平成期約 30 年間の「ビミョー」の出現数の推移.....	486
図表 6.20 : 「微妙」の实例 (日本古典文学全集)	489
図表 6.21 : 「微妙 (みめう)」の实例 (日本古典文学全集 : 『今昔物語集』)	495
図表 6.22 : 「微妙 (めでた) し」「微妙 (いみじ) く」の实例 (日本古典文学全集 : 『今	

昔物語集』)	502
図表 6.23:「微妙」の実例 (CHJ:日本語歴史コーパス)	521
図表 6.24:「微妙」の実例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)	524
図表 6.25:「微妙」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ:近代)	530
図表 6.26:「微妙」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ:現代)	536
図表 6.27: BCCWJによる「微妙」「ビミョー」「びみょう」の検索結果数 (2020/10/06 時点)	546
図表 6.28:「微妙」の実例 (BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス)	548
図表 6.29:「ビミョー」の実例 (BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス)	559
図表 6.30:「ビミョウ」の実例 (BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス)	562
図表 6.31:「びみょう」の実例 (BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス)	563
図表 6.32:「微妙」の実例 (NUCC:名大会話コーパス)	564
図表 6.33:「微妙」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ:2020年9月の1ヶ月間)	567
図表 6.34:「ビミョー」の実例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ:2019年10月から1年間)	570
図表 6.35:「中國哲學書電子化計画」内「字典」における「微」「妙」「眇」の意味記 述	570
図表 6.36:「微妙」の実例 (中國哲學書電子化計画:先秦兩漢)	571
図表 6.37:「微眇」の実例 (中國哲學書電子化計画:先秦兩漢)	575
図表 6.38:「微妙」の実例 (中國哲學書電子化計画:漢代之後)	579
図表 6.39:「微眇」の実例 (中國哲學書電子化計画:漢代之後)	590
図表 7.1:文化庁 (2005, 2015)「言い方の使用頻度」「やばい」の設問における「ある」 の割合の比較	604
図表 7.2:『平成の新語・流行語辞典』における「やばい」の掲載年 (流行年) および 解説	619
図表 7.3:『通客必携符牒便覧』における「ヤバイ」の意味記述	620
図表 7.4:『日本隠語集』の構成および「ヤバイ」「ヤバイ関連語」の出現箇所	623
図表 7.5:『日本隠語集』における「ヤバイ」「ヤバイ関連語」の意味記述	623
図表 7.6:『隠語輯覧』における「やばい」「やばい関連語」の意味記述	626
図表 7.7:『全国隠語集 符帳なら何んでも』における「ヤバイ」の意味記述と使用例	631

図表 7.8 : 『隠語構成様式並に其語集』における「やばい」「やばい関連」の意味記述	632
図表 7.9 : 『隠語全集』における「やばい」「やばい関連」の意味記述	635
図表 7.10 : 近代の国語辞書 11 種の内訳.....	636
図表 7.11 : 近代の国語辞書 11 種における「やばい」の意味記述の比較.....	637
図表 7.12 : 現代の国語辞書 10 種の内訳	639
図表 7.13 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「やばい」の意味記述の比較	639
図表 7.14 : 現代の小型辞書 6 種における「やばい」の意味記述の比較	640
図表 7.15 : 「やばい」の語義の移行イメージ図 (現代の国語辞書 10 種を基に) ...	643
図表 7.16 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ	644
図表 7.17 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第 7 版』までの「やばい」 の意味記述の変遷	645
図表 7.18 : 『日本語を学ぶ人の辞典』における「やばい」の意味記述	648
図表 7.19 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 50 年間の「やばい」の変遷① (1969~1979)	649
図表 7.20 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 50 年間の「やばい」の変遷② (1980~1999)	650
図表 7.21 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 50 年間の「やばい」の変遷③ (2000~2020)	652
図表 7.22 : 2001・2002 年版「若者用語」における「やばい/やべえ/やばやば」の 意味記述の比較.....	652
図表 7.23 : 『類語国語辞典』における「やばい」の位置づけ	654
図表 7.24 : 『類語国語辞典』を基にした「やばい」の位置づけ (筆者提案)	656
図表 7.25 : 『分類語彙表 増補改訂版』における「やばい」の位置づけ	658
図表 7.26 : 「やばい」の語義関連表 (チャート)	659
図表 7.27 : 読売新聞における平成期約 30 年間の「やばい」(「ヤバイ」「ヤバい」含む) の出現数の推移.....	661
図表 7.28 : 「やば」の実例 (日本古典文学全集)	663
図表 7.29 : 「やば」「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」等の実例 (その他の資料)	666
図表 7.30 : BCCWJ による「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」の検索結果数 (2020/10/05	

時点)	674
図表 7.31 : 「やばい」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	675
図表 7.32 : 「ヤバイ」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	680
図表 7.33 : 「ヤバい」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	685
図表 7.34 : 「やば」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	689
図表 7.35 : 「ヤバ」の实例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)	692
図表 7.36 : 「やばい」の实例 (NUCC : 名大会話コーパス)	695
図表 7.37 : 「やばい」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年7月から3ヶ月間)	698
図表 7.38 : 「ヤバイ」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年7月から3ヶ月間)	700
図表 7.39 : 「ヤバい」の实例 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ : 2020年7月から3ヶ月間)	701
図表 7.40 : 「やば (やばな)」の实例 (『近世上方語辞典』(1964))	702

第1章 序論

1.1 本論文の構成

本博士論文¹は、全8章の構成である。内訳は、「第1章 序論」「第2章 総論」「第3章 結構」「第4章 大丈夫」「第5章 適当」「第6章 微妙」「第7章 やばい」「第8章 結論と課題」となる。なお、「第2章 総論」に対し、「第3章 結構」から「第7章 やばい」までを「各論」と位置付けた。以下に表にまとめたものを示した。

図表 1.1：本論文の構成

	章	タイトル
序論	第1章	序論
総論	第2章	総論
各論	第3章	結構
	第4章	大丈夫
	第5章	適当
	第6章	微妙
	第7章	やばい
結論	第8章	結論と課題

次に、各章の構成をみていく。以下に箇条書きとした。

- ・「第1章 序論」の構成は、「1.1 本論文の構成」「1.2 背景および目的」「1.3 凡例・その他」となる。
- ・「第2章 総論」の構成は、「2.1 意味の変化」「2.2 類義」「2.3 反義」「2.4 多義」「2.5 あいまい性」「2.6 反義併存」「2.7 表記」となる。
- ・「第3章 結構」の構成は、「3.1 概論」「3.2 先行研究および資料」「3.3 近代の辞書における「結構」」「3.4 現代の国語辞書における「結構」」「3.5 類語辞書における「結構」」「3.6 「結構」の語義関連表」「3.7 「結構」の実例」となる。なお、「第4章 大丈夫」「第5章 適当」の構成は、「第3章 結構」と同様の形式をとる。
- ・「第6章 微妙」の構成は、「6.1 概論」「6.2 先行研究および資料」「6.3 近代の辞書における「微妙」」「6.4 現代の国語辞書における「結構」」「6.5 『現代用語の基礎知識』過去約30年分における「ビミョー」の変遷」「6.6 類語辞書における「微妙」」「6.7 「微妙」の語義関

¹ 以下、「本稿」とする。

連表」「6.8 新聞紙上における「微妙」「6.9「微妙」の実例」となる。

・「第7章 やばい」は、「7.1 概論」「7.2 先行研究および資料」「7.3 近現代の特殊用途辞書における「やばい」「7.4 近現代の一般辞書における「やばい」「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」「7.6 類語辞書における「やばい」「7.7「やばい」の語義関連表」「7.8 新聞紙上における「やばい」「7.9「やばい」の実例」となる。

・「第8章 結論と課題」は、「8.1 まとめと結論」「8.2 今後の課題」となる。

・巻末に、「参考文献・資料」「その他参考資料」を添付した。

1.2 背景および目的

現代語における多義語の一部に、一語の中にプラス評価性の意味とマイナス評価性の意味が同時に存在するものがみられる。いわゆる反義併存的な性質を持つ語である。本稿においては、「反義併存」の定義について、『現代言語学辞典』（1988）、「ambivalence」「反意併存」の項目を援用し、「一つの語の中に反義的な二つ以上の意味が共存すること」としておく（下述、「2.6 反義併存」、「2.6.2『現代言語学辞典』（1988）」参照）。この反義併存的な性質を持つ語は、使用場面によっては、あいまい性²を示すこともあり、ミスコミュニケーションの一因となることもある（下述、「2.5 あいまい（性）」参照）。

反義併存性を示す語の典型として、「やばい（「第7章」）」という語が挙げられる。「やばい」は、隠語³出自の語であり、それが一般社会に入り定着した語である。「やばい」の本来の意味として、「身の危険なこと。危険な場所のこと。或は犯罪発覚せんとする場合。」が挙げられる（下述、「7.3.9『隠語構成様式並に其語集』（1935）における「やばい」の意味記述」参照）。一方、現代においては、「あぶない・最悪な状態にも、すごくいいとき・最高の状態にも使う。」といった反義的な意味も現れてきている（『現代用語の基礎知識2003年版』ほか／下述、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」参照）。ただし、「プラス評価性の状況において、「やばい」を使うこと」は、世代による差がみられる。したがって、意思疎通の阻害要因となることもしばしばである（下

² あいまい性には「語彙的あいまい性」と「統語的あいまい性」とがあるが、ここでは「語彙的あいまい性」を指す。詳細は、下述、「2.5 あいまい（性）」、「2.5.3『現代言語学辞典』（1988）」、「ambiguity「曖昧性」」参照。

³ 端的にいうと、「隠語」とは、「ある特定の社会集団が、意思疎通の際、仲間以外に理解されないように人為的に作ったかくしことば」である（下述、「7.1 概論」「7.1.2「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」とは」参照）。

述、「7.2.2 文化庁（2005, 2015）」、「7.2.5 窪菌晴夫（2017）」等参照）。

なお、上述の反義併存性を示す語については、日本語非母語話者にとってもしばしば問題となるようである。セイン・長尾（2012）では、日本語非母語話者（広く日本に滞在する外国人）がしばしば直面する、「日本語の壁」について触れている（下述、「第3章 結構」、「3.1 概論」参照）。それによると、例えば、断りの場面における「結構です」という語をめぐるやりとりを挙げ、作者（セイン氏）が「日本語は、Yes なのか No なのかがよくわからない！」「その言い方で、どうしてそんな意味になるのか？」と憤慨する場面がみられる。セイン・長尾によると、「私たち日本人が「当たり前」と思っていることも、彼ら外国人立場から見ると、「ヘンだよ、おかしいよ⁴」ということが、たくさんあるのです」ともある。

一方、上述の断りの場面における「結構です」「大丈夫です」等の表現についてみれば、日本語母語話者であってもしばしば「Yes なのか No なのかがよくわからない」といった場面に出くわすことがある。結果として互いの意思疎通がうまくはかれなかったということが日常場面ですばしば起こる。したがって、上述の反義併存的表現が日本語母語話者にとって「当たり前」のものとは必ずしも言い切れないようである。ただし、断りの場面において、はっきり“No”と言わず、「結構です」と言うのは、それなりの意図・目的（他者への配慮、婉曲表現等）があつてのものとみられる（「4.2.5 伊藤由美（2017）」等参照）。

筆者は、以上のような背景をふまえ、「反義併存的な性質を持つ語」が日本語の表現に比較的多いということに気づきを得、そこに研究の動機付けを見出した。本稿においては、「反義併存的な性質を持つ語」として、日常で比較的多用される五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）を考察対象として取り上げた。

上記五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）は、現代の日常日本語において基礎重要語として位置づけられよう。したがって、これらの語は日本語教育において、学習者が初期に接する機会が多い。一方、上記五つの語は、反義併存性を有しているため、実際の日本語教育の現場においては取扱に注意を要する語であるともいえる。例えば、ある著名な日本語の教科書では「けっこう」についてかなり初期の段階で取り上げている。しかし、初版（意味：OK です）と第二版

⁴ ここでの「ヘンだ」というのは、本文によると、間違った日本語というわけではなく、外国人の目から見て奇妙に感じられること、とある。

(意味：婉曲的断り)で意味的に扱いが異なりずれがみられるといった点も指摘できる。要因として、教科書編者が反義併存性の基本語について意識的でないといった点が挙げられよう。

さらに、例を挙げれば、筆者が韓国のある学会において「やばい」についての発表をした際、発表後に多くの日本語研究者（日本人を含む）より、現場において「やばい」などの日常生活で多用されるいわゆる俗語の扱いをどうすべきかといった意見が出され活発な議論となった。筆者はその際、「日常生活で多用される語こそ多義語化が進展しており、むしろ理解が困難なのではないか、これは教える側の意識改革も必要ではないのか」といった認識を得た。

なお、本稿の当初の目的は、先行の研究・資料等を基に、通時的・共時的観点から、各該当語がいかなる意味の変遷を経た上で反義併存的な性質を持つに至ったのか、つまり、反義併存的な性質にのみ焦点を当てて考察を行うところにあった。しかし、多義語における反義併存的な性質をみた場合、広範囲な領域のごく一部分であり、木を見て森を見ずといった状態にもなり得ることが危惧された。したがって、本稿においては、反義併存的な性質を持った各該当語についての総合的考察といったコンセプトの基に研究・考察を行うこととなった。

本稿は、現代の日常日本語における反義併存的な性質を持った基礎重要語五語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）について体系的にまとめたものであるため、日本語教育の現場に携わる教師の方々にも、多少なりともご活用いただければ幸いである。

1.3 凡例・その他

1.3.1 凡例

以下、箇条書きとした。

- ・辞書・辞典類の一般的総称については、「辞書」で統一した（例：国語辞書・和英辞書・類語辞書等）。

- ・辞書における語の意味の記述については、「意味記述」を基本表現とした。ただし、便宜上、類義表現の「語釈」、あるいは「語義」等を用いる場合もある。

- ・資料等の引用部分については、なるべく原本を損なわない形で掲載した。ただし、場合によっては適宜編集を加えた箇所もある。
- ・引用部分・実例資料等の漢字表記については、基本的に旧字体は通用字体に変更し、仮名表記についてはそのままとした。ただし、一部例外もある。
- ・資料の引用部分において筆者の補足・コメント等がある場合は、とじ括弧内の「*」以下に記して本文と区別した（例：(*筆者の補足・コメント)）。
- ・年代表記について、おおむね近現代を中心として、必要に応じて西暦表記とともに和暦も付した（例：(1900：明治33)）。
- ・注釈はページ末に付した（例：1, 2, 3, …）。注釈部分の活字の大きさは、視認性を配慮し、本文と同じ10.5ポイントとした。
- ・図表中の活字の大きさについては、紙幅の制約上、9ポイントを基本とした（一部例外もある）。図表中の括弧・記号等については、スペースの節約上、半角とした。
- ・同列の語を併記する場合、“・”（中点）、あるいは、“/”（スラッシュ）を用いた（例：「A・B・C・D・E」「A/B/C/D/E」）。
- ・先行・後続する語（語句）の省略を示すものとして、“～”（波ダッシュ）を用いた（例：「～までに」「結構な～」）。

1.3.2 時代区分

政治史的時代区分について、明治期は、約45年間を二分割し、おおむね明治23(1890)年前後を境に前期・後期とした。大正期は約15年間を一期として扱った。昭和期は、約64年間を三分割した。昭和元(1926)年から昭和20(1945)年8月終戦期前後までを前期、昭和20(1945)年8月の終戦期前後から昭和40(1965)年前後までを中期、昭和40(1965)年前後から昭和64年までを後期とした。平成期は、基本的に約31年間を一期として扱った。ただし、前期・後期と区分が必要なときは、平成15(2003)年前後を境に前期・後期とした。令和期は、現時点(令和2(2020)年11月)で約1年半であるため、便宜上、平成・令和期と一まとめで扱った。

日本語史的時代区分については、基本的に五分法⁵を用いた。明治期以降については、お

⁵ 上代(奈良期以前)・中古(平安期)・中世(院政・鎌倉・室町期)・近世(江戸期)・近代(明治期以降)の五分法である。ただし、本稿では、昭和20(1945)年終戦時以降を現代とみなすため、六分法ということになる。

おむね明治元（1868）年前後（一部幕末期含む）から昭和20（1945）年終戦期前後までを近代とみなし、それ以後を現代（広義）とみなした。なお、昭和後期から平成・令和期を狭義の現代とみなした。

本稿にて扱う時代範囲については、各該当語の通時的な変遷を概観するために、有史（紀元前）以降現代までと幅の広いものとなった。ただし、考察の比重は、近代（明治・大正・昭和前期）および現代（昭和中後期・平成・令和期）に置かれる。

1.3.3 考察対象語の選定

考察対象語の選定については、現代日常語⁶で比較的良好に用いられる語という基準に照らし、五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）を選定した。各該当語のうち、「結構」「大丈夫」「適当」「微妙」の四語は漢語由来とされる語である。一方、「やばい」のみ例外的⁷である。ただし、この語については、本稿のテーマである反義併存性という観点からすれば典型的なものである。さらに、「やばい」は、隠語（下述「7.1.2.3 隠語」等参照）の出自であるにもかかわらず、現代日常語として定着した特殊な性質を持った語である。以上を考慮の上、考察対象語として加えることとした。

1.3.4 考察対象辞書の選定

本稿において考察対象とした辞書の選定について、近現代の国語辞書は、山田忠雄（1967）『三代の辞書 国語辞書百年小史』、武藤康史（2008）『国語辞典の名語釈』の巻末資料「国語辞典年表」、および、倉島節尚（2002）『辞書と日本語 国語辞典を解剖する』等を参照の上、必要性が高いと考えられるものを選定した。なお、できる限り出版社の偏りがないように配慮した。

近現代の和英辞書については、早川勇（2006a）『愛知大学文学会叢書XI 日本の英語辞書と編纂者』、および、早川勇（2006b）「和英辞典の歴史」（『言語と文化』No.14 愛知大学

⁶ ここでいう現代日常語とは、現代の生活全般（日常会話・新聞・雑誌・テレビ・インターネット・その他のメディア）にて、日常的に用いられることば、と定義しておく。

⁷ 「やばい」については、語源については諸説あり決定的なものがみられない。ただし、「矢場」や「番屋」等の語に変化を加え「やば」→「やばい」となったという説（「新説！所 JAPAN」、2019/07/15 放映分より、大森亮尚説等参照）もあるため、漢語出自の語である可能性も否定はできない。

所収)を参照の上、必要性が高いと考えられるものを選定した。その他、上記参考資料にみられない辞書等についても、必要に応じ任意で取り上げた。

第2章 総論

本章においては、各論にて扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）と関連性のみられる、語の意味関係を中心とした分野を取り上げた。以下に、先行研究・資料等を概観した上で、考察を行った。

2.1 意味の変化

2.1.1 大野晋（1980）（『国語学大辞典』）

『国語学大辞典』（1980）、「意味変化」の項目（大野晋記述）によると、語の意味変化とは、岩石が風化・変色し、崩壊するというような変化ではなく、同じ語が時間的経過のうちに別の対象・作用・概念を指すようになることであるという。その現象を比喩的に言語の意味変化といい、意味変化とは、多くは意味の転用であるという。大野は意味変化の型として、「拡大」「縮小」「交代」の三つを挙げる。

2.1.2 長嶋善郎（1982）（『日本語教育事典』）

2.1.2.1 意味変化の六分類

『日本語教育事典』（1982）、「意味の変化」の項目（長嶋善郎記述）では、一般的な意味変化の方向性について、六つの分類がなされる。詳細は、①具体から抽象へ、②空間から時間へ、③感覚形容詞について、④価値の下落、⑤拡大、⑥縮小、となる。以下、長嶋による六分類をまとめた（例の下線は筆者による／便宜上番号をつけた）。

①具体から抽象へ：具体的な物・行為・感覚を表す語が、抽象的事物に使われるようになる。

例：「サラリーマンの生きる道」「ゴルフの腕が上がる」「結論が出る」

「縁談がこわれる」「あたたかい友情」

②空間から時間へ：空間について使われる語が時間的意味を持つようになる⁸。

⁸ 「②空間から時間へ」は、例を参照すると、「①具体から抽象へ」でも説明可能である。したがって、①と②は関連性が高い。

例：「門の前」→「一週間前」／「東京と京都の間」→「食事の間」／
「長い道のり」→「長い時間」／「遠いふるさと」→「遠い過去のこと」／
「友人が来る」→「冬が来る」

③感覚を表す形容詞について：感覚を表す形容詞には、「視覚」（例：赤い）・「味覚」（例：甘い／辛い／苦い）・「触覚」（例：かたい／やわらかい）等がある。しかし聴覚に関する形容詞はなく⁹、他の感覚形容詞が使われる。

例：[大きい／太い／細い／高い／黄色い] 声

「味覚」を表す感覚形容詞が、他の分野に使われることもある。

例：「甘い先生」「辛い採点」「渋いネクタイ」

④価値の下落

例：「貴様」「お前」（「敬称を表す語」→「相手を見下す語」）

「つら」（「顔の側面を指す語」→「相手を乱暴にののしる語」）

⑤拡大：語の使用範囲が広がる。

例：「瀬戸物」（「瀬戸で作られた焼き物」→「陶磁器全般」）

⑥縮小：語の使用範囲が狭まる。

例：「障子」（「和室の境・窓等に立てる建具の総称」→「格子状の木枠に紙を貼った建具」）

「つま」（「男女どちらの配偶者も示す語」→「女性の配偶者のみを表す語」）

2.1.2.2 考察（「結構」「大丈夫」「やばい」との関連性）

以上、長嶋による意味変化の六分類を概観した。まず、①の「具体から抽象へ」については、本稿においては重要なキーワードとなるものである。この概念については、次章以降、各論において扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（4章）」「適當（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）についても当てはまるものとみられる。以下、「結構（第3章）」、「大丈夫（4章）」、「やばい（第7章）」について考察してみる。

「結構」については、本来、具体的建造物の構造等について言う動作語であり、その結構（*建築物の構成）が見事であるという意味で、「結構な」という形容語としての用法が生じたとある（下述、「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」参照）。つまり、当初は具体的建造物等

⁹ 実際は、「うるさい／やかましい／かしましい／けたたましい」等の表現がみられる。

に対して使われた賞賛としての「結構」が、次第に精神面等の抽象化した事物の評価に対しても使われるようになったと考えられる。

「大丈夫」については、本来、具体的な人間、「立派な信頼に足る男子」を示していたものが、次第に性質・状態を表す方面に抽象化し、「健やかで元気だ」「しっかりしていて問題がない」「危なげがなく安心できる」といった意味に転化したと考えられる（下述、「4.2.2 砂川有里子（2005）」参照）。

「やばい」については、本来、具体的な人間、例えば、囚人からみた「看守／巡査／警部」等を指して「やば」といったが（下述、「7.3.2『日本隠語集』（1892）」等参照）、「やば」が形容詞化し「やばい」になるにつれ¹⁰、抽象化が進み、例えば、囚人が「看守／巡査／警部」等を見たときに反射的に立ち現れる恐怖や危険という感情そのものを指すようになったと考えられる。

ここで、上記①の「具体から抽象へ」と類似したものとして、「絶対から相対へ」という概念も挙げておく。例えば、上述の「結構」についてみれば、本来唯一無二の絶対的存在である目前にある建造物等の賞賛として使われたものが、次第に精神面等の抽象化したことからの評価に対しても使われるようになってくる。それとともに相対化の様相を示してくるというわけである。結果として現代の副詞としての「結構」のように、「(任意の基準と比較して) まあまあ、ほどほど」というところまで移行したということが考えられる。

上記②の「空間から時間へ」については、①の「具体から抽象へ」の概念でも説明できるようである。上記②の例（下線は筆者による）、「遠いふるさと」→「遠い過去のこと」をみると、実在する「ふるさと」の「具体的な距離が離れている」から、形のない「過去」の「抽象的な時間の間隔が離れている」へと、「具体から抽象へ」といった変化の過程を経たとの解釈も可能となる。

上記③では、感覚を表す形容詞について、「聴覚に関する形容詞はなく」とある。しかし実際は、「うるさい／騒々しい／やかましい／かしましい／けたたましい」等の聴覚に関する感覚形容詞がみられる。したがって、この点については若干の疑問が生じる。

上記④の「価値の下落」については、本稿においては重要なキーワードとなるものである。この概念については、各論にて取り上げる「適当（第5章）」「微妙（第6章）」についても当てはまるものといえる。

¹⁰ 堀井令以知（1999）『上方ことば語源辞典』等を参照。

例えば、「適当」については、本来、「ちょうど良い程度」を意味していたが（下述、「5.2.5 増井金典（2012）」参照）、「ちょうど良い程度」から、「ほどほどの程度」へと移行し、基準が緩やかになるにつれ（下述、「5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順（1998）」参照）、「いいかげん」といったマイナス評価の意味を持つに至ったと考えられる。

一方、「微妙」については、仏教語の出自と考えられ、本来、「極めてすぐれている」を意味したとみられる。それがしだいに、「AとBの差が小さく判定しがたい」へと移行し、ことに近年（2000年代）の、問いかげ等に対する、「少なくとも自分は肯定的な判断はしない」といったややマイナス評価の意味を持つに至ったと考えられる（下述、「6.2.8 矢澤真人（2005）」参照）。なお、長嶋善郎（1982）では、上記④の「価値の下落」と反対の概念、「価値の上昇（向上）」については触れられていない。

2.1.2.3 隠喩（メタファー）／換喩（メトニミー）／提喩（シネクドキ）

長嶋善郎（1982）ではさらに、上述の意味変化の傾向は、修辞学の術語である、①隠喩（メタファー）、②換喩（メトニミー）、③提喩（シネクドキ）、によっても説明可能であるとしている。以下、簡潔にまとめた（便宜上番号をつけた）。

①隠喩（メタファー）：二者の事物間に共通点を認め、一方の事物を指す語をもう一方のものについて使う¹¹。

例：「歯」→「のこぎりの歯」「櫛の歯」／「目」→「台風の目」／
「足」→「テーブルの足」

②換喩（メトニミー）：ある事物を表す語が、その事物と空間的・時間的に隣接する物を表すときに使われる。

例：「銀座」（*「貨幣を鑄造した場所」→「地名」）¹²

③提喩（シネクドキ）：両者の意味間に、部分と全体、類と種といった関係性が認められる。

例：「普請」（「寺院の建立」→「一般の家の建築」「建築・土木工事」）

¹¹ 「①隠喩（メタファー）」については、視点を変えると、上述、「2.1.5.1 意味変化の六分類」の「①具体から抽象へ」でも説明が可能となる。

¹² 「銀座」の例については、本家の「銀座」のみならず全国各地で「～銀座」といった地名がみられる。したがって、上述、「2.1.5.1 意味変化の六分類」の「⑤（*意味の）拡大」でも説明が可能となる。

2.1.3 靱山洋介 (2014)

2.1.3.1 提喩 (シネクドキ) による婉曲表現

靱山洋介 (2014) では、上述、「2.1.2 長嶋善郎 (1982)」、「2.1.2.3 隠喩 (メタファー) / 換喩 (メトニミー) / 提喩 (シネクドキ)」でみた「③提喩 (シネクドキ)」に関連して、「類 (上位カテゴリー) から種 (下位カテゴリー) に転用されるシネクドキによって表現に婉曲性が生じるケース」について考察を行っている。例として、「a 不幸 (死の婉曲表現)」「b 犠牲者 (死者の婉曲表現)」「c 関係 (性的関係の婉曲表現)」「d おめでた (妊娠の婉曲表現)」等が挙げられる。

2.1.3.2 「おめでた」と「結構」のシネクドキ的考察

ここで、上記「d おめでた (妊娠の婉曲表現)」と近代 (明治期) における「結構 (昇進・任官・栄転等の婉曲表現)」¹³に類似点がみられるため考察してみる。まず、靱山によると、「おめでた」には、「妊娠 (お腹に子ができたこと)」という狭い意味が在るといい、「妊娠」という語を使うと露骨な表現とみなす人が多いであろうという。さらに、「おめでた」(広い意味) のほうは、あらゆるよいこと全般を表すことができ、そのため「妊娠」の意味で使われる場合にも本来の意味が二次的に活性化¹⁴され、婉曲表現になると考えられるという。

一方、「結構」についてみると、明治後期前後には、「昇進・任官・栄転等」のめでたいことがらを指して「結構」が使われていたようである (下述、「3.3.3 近代の辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較」、『俗語辞海』参照)。日本における伝統的価値観といったものを考慮に入れると、周囲に対して誇るべき、「昇進・任官・栄転」等のことがらについても、やはり、あからさまに表現することはよしとしない風潮がみられたのであろう。したがって、上述、靱山 (2014) の論に則していえば、「結構」がよいこと全般を表すことができることから、「昇進・任官・栄転等」の意味で使われる場合において、「結構」本来の意味が二次的に活性化され、婉曲表現として機能するようになったという解釈が導き出

¹³ 松平圓次郎ほか『俗語辞海』(1909: 明治 42)、「結構」の項目に、「名詞① すぐれてよいこと。うつくしいこと。」「名詞② 役や位につき、または、昇り進みなぞすること。任官・昇級・栄官… (*例文) みにあまるけっこうをうけた」とある。詳細は、下述、「3.3.3 近代の辞書 10 種～」参照。

¹⁴ 靱山洋介 (2014) では、「二次的活性化」について、「ある語が比喩に基づき新たな意味を表す場合、本来の意味が全て消え去るわけではなく、背後で支えていること」としている。

せる。

2.1.4 ト라우ゴット／ダッシャー (2019)

2.1.4.1 意味変化の六分類 (ブレル)

トラウゴット／ダッシャー (Elizabeth C. Traugott / Richard B. Dasher) (2019) 『意味変化の規則性』によると、現代において一般的な意味変化の型は、ブレル (Bréal) による分類であるという (p.63-68)。分類の内訳は、①意味の悪化 ②意味の向上 ③意味の縮小 ④意味の拡大 ⑤隠喩 (メタファー) ⑥換喩 (メトニミー) である。以下、ブレルによる六分類について、主要部分をまとめた (便宜上番号をつけた)。

①「意味の悪化」：語が持つ否定的意味が増加する変化。

例：cnafa (古代英語：少年) → knave (悪漢) / mistress (女主人→めかけ) /
selig (古代英語：無邪気な→ふざけた) /
bourgeois (初期中世英語：中産階級の人々→俗物)

(※以下解説、a, b, c, d)

a 意味の悪化の一要因として、「人間が持つ悪意」「良質の背後に隠れた欠点・落ち度を見つけるよろこび」などが挙げられる。

b 意味の悪化は、「若く幼い人・若い男の子・女性全て」を示す語にも起こりうる。それは婉曲表現の結果であり、好ましくない概念を隠す、あるいは新しい語を使いごまかすという傾向からきたものである。

c 新しい語は、やがて隠されたタブーの意味を持つようになる。

d 意味の悪化には、単純に高価値から低価値への変化を示す場合もある。

例：二人称単数 おまへ (おまえ)

②「意味の向上」：語の持つ肯定的意味が増加する変化。

例：ber/barun (古代フランス語 (普通の人・召使い) → 王の従者→男爵) /
nescius (ラテン語 (無知の) → 古代フランス語 (愚かな) → 英語 (はにかみ屋の) → 英語 (魅力的な)) /
かはゆし (中世日本語 (かわいそうな) → 現代日本語 (かわいい)) /
いとほし (中世日本語 (同情的な) → 現代日本語 (愛らしい))

(＊以下解説、a, b)

a 一般的見解では、(立場の) 強い人から弱い人への感情的関心が含まれる。

b また、同一語源でも、一方の言語ではよい意味に、他方の言語では悪い意味を持つ場合もある。

例：ゲルマン語で、「(衣服が) ぴったりの・きつい」という語（＊語源）

→オランダ語 *knap* (できる・適した・賢い・顔立ちのよい)

→ドイツ語 *knapp* (狭い・全く十分でない)

③「意味の縮小」

例：deer (古代英語：動物→鹿) /

corn (穀物→トウモロコシ (米) / オーツ麦 (スコットランド))

(＊以下解説、a)

a 縮小は、一つの品詞内だけで起こる場合がある。

例：名詞 *erection* (16世紀以後、建物・人体の一部について使用。現在、建物については使用されず。) /

動詞 *erect* (現在でも、建物を作るという意味で使用。) /

やくざ (18世紀、ろくでなしの人・とるにたらない人→浮浪者/金持ちの遊び人/ばくち打ち/ならず者→組織的犯罪に関わる者)

④「意味の拡大・一般化」

例：armare (ラテン語：肩を覆う→腕) /

arripare (ラテン語：川岸に着く→目的地に着く) /

*wendh- (印欧祖語：編む) →Wand (壁) /

toilet (本来、衣類を包む布/頭を覆う布→衣類に関する様々な物品→身なりを整えること/着飾ること) /

明日 (本来：「あけーした」(夜明けのころ/朝) →中世日本語：次の日の一日中)

(＊以下解説、a)

a 同一語源でも、ある言語では意味が拡大し、またある言語では意味が縮小する場合がある。

例：ゲルマン語で「野生の動物」を指す語（＊語源）

→Tier (ドイツ語：野生あるいは野生でない動物)

→deer (英語：鹿 (ひづめのある反芻動物))

- ⑤「隠喩 (メタファー)」：ある概念から別の概念への変化。

例：before (空間的な前→時間的な前) /

pending (ぶら下がっている (位置的) →～までに (時間的))

(*以下解説、a)

- a 隠喩 (メタファー) は、イメージと結びつくものであり、言語は隠喩 (メタファー) に満ちている。

例：文法の説明における「clou (つめ) は複数形の s を取る」(*下線はママ) という表現 (擬人化による隠喩 (メタファー)) /

やくざ (役に立たない人→ならず者)：本来、カブ賭博で、最も悪い手である「八 (や)」「九 (く)」「三 (ざ)」を指した (*具体的には、使えない無用の札を指す)。賭博の領域から人間の特徴に移り、縮小をへて現代の意味になる。

- ⑥「換喩 (メトニミー)」：ある語が別の語に結びつく変化。

(*以下、a, b, c, d, e)

- a ある特定の色を持った物が、その色自体を表すようになる。

例：金・銀・オレンジ

- b ある材料が、その材料から作られた物を指すようになる。

例：パピルス (ギリシャ語：植物名→紙)

- c 物が、その物を使う目的と結びつく。

例：raha (フィンランド語：羊の皮衣 (交換の媒介として使用) →お金)

- d 提喩 (シネクドキ：部分が全体 (全体が部分) を表す) も換喩 (メトニミー) の一種である。

例：車 (くるま：車輪→四輪 (以上) の自動車) /

wheels (車輪→四輪 (以上) の自動車)

- e 縮小・拡大・意味の悪化・意味の向上のほとんどの例は、換喩 (メトニミー) 的变化である。換喩 (メトニミー) は、使用される文脈に依存した変化である。

2.1.4.2 「意味の悪化」考察 (「結構」「適当」との関連性)

まず、上記④「意味の悪化」についてみる。各論において扱う語 (「結構 (第3章)」

「大丈夫（4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」で関連性がみられるものは、「結構（第3章）」「適当（第5章）」であろう。以下に考察してみる。

「結構」については、本来、建造物の構造等を指したが、その結構（*建築物の構成）が見事である・素晴らしいという意味を経て、「結構」という語そのものが「見事である・素晴らしい」を意味するようになったという変遷を経たと考えられる（下述、「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」参照）。しかし、現代の副詞としての「結構」の用法をみれば、相対化が進んでおり、自身の基準に照らして、「まあ・ほどほどにいい」といったやや消極的評価を示すものとなっている。これは、本来の、目前にある壮麗な建築物を前にして、絶対的な（比較を前提としない）「見事である・素晴らしい」を意味した「結構」に比べれば、評価の点において悪化したということになる。つまり、上記①のd、「高価値から低価値への変化」を示すものといえよう。

「適当」については、本来、「ちょうど良い程度」を意味していたが（下述、「5.2.5 増井金典（2012）」参照）、「ちょうど良い程度」から、「ほどほどの程度」へと移行し、基準が次第に緩やかになるにつれ（下述、「5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順（1998）」参照）、「いかげん」といったマイナス評価の意味を持つに至ったと考えられる。したがって、これも上記①の4、「高価値から低価値への変化」を示す一例とみられる。

2.1.4.3 「意味の向上」考察（「やばい」との関連性）

上記②「意味の向上」については、「やばい（第7章）」が当てはまるといえる。「やばい」は本来、「身の危険なこと」を意味した（下述、「7.3.9『隠語構成様式並に其語集』（1935）」参照）。しかし、近年、「素敵だ、最高だ」というプラス評価の意味を持つに至っている（下述、「7.2.5 窪菌晴夫（2017）」参照）。なお、窪菌（2017）では、この概念について、変化の方向性による四分類（上昇／下降／拡大／縮小）の一つ、「意味の上昇」としている。意味の向上（上昇）については、意味の悪化（下落）より起こりにくい現象とされるが、日本語においては、例えば「やばい」の類義語と目される、「すごい（ものすごい）」「すさまじい」「ひどい」あるいは「めちゃくちゃ（めっちゃ）」等については、近年プラス評価の意味合いを持って使われる場合も多く、決して珍しい現象ではないともいえそうである。

2.1.4.4 「意味の拡大・一般化」考察（「結構」との関連性）

上記④「意味の拡大・一般化」については、一般的に多義性を示す語についてはほとん

どが当てはまるといえよう。本稿の各論で扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）についても、全て該当するといえる。

例えば「結構」についてみると、本来、建造物の構造等を表したが、そこから「素晴らしい／見事な／よい」「美しい」「支度／用意／設け」「企み／もくろみ／企て」「昇進」「お人好し」等々、多様な意味に分岐・拡大するに至っている。一つ留意しておきたいのは、「結構」の意味の拡大（つまり多義化）というものが、「結構」が日本に移入されてから後に進んだ現象らしいという点である。「結構」の本来の意味（つまり原義）は、「組み立て。構え。構成。」あたりとみられるが、これは、現代中国語における「結構」の意味「①構成。構図。仕組み。②組み立て。構造。」（張淑榮編『中日漢語対比辞典』（1987））とほぼ同じである（下述、「3.2.9 張麟声（2004, 2016）参照」）。つまりこれは、現代中国語における「結構」の意味がほとんど原義に近いものとして変化がみられないのに対し、日本における「結構」は、移入された後に独自に変化し多義化したということがいえそうである。これについては、張潔（2015）が「中国から移入された漢語が、日本語において長期間を経て独自の変化を遂げ、本来の（中国語の）意味と異なってくる場合がある」という指摘がある（下述、「2.1.8 張潔（2015）」参照）。さらに、鈴木修次（1978）における「陸封化」の概念も密接に関わるものといえそうである（下述、「2.1.8.4 鈴木修次（1978）」参照）。

2.1.4.5 「隠喩（メタファー）」考察（「大丈夫」との関連性）

上記⑤の「隠喩（メタファー）」についてみていく。ここでは一例として、「大丈夫（第4章）」を挙げる。本来、「大丈夫」は、「立派な男子」と人そのものを指した。しかし、しだいに「健やかで元気だ」「しっかりしていて問題がない」「危なげがなく安心できる」「信頼できる」等の性質・状態そのものに焦点が当てられるようになった（下述、「4.2.2 砂川有里子（2005）」参照）。これは、上記⑤における「ある概念から別の概念への変化」とみることができ、隠喩（メタファー）に当てはまる事例といえよう。

2.1.4.6 「換喩（メトニミー）」考察（各論にて扱う語との関連性）

上記⑥「換喩（メトニミー）」についてみてみる。⑥eの「縮小・拡大・意味の悪化・意味の向上のほとんどの例は、換喩（メトニミー）的变化である」を援用すれば、本稿の各論で扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「や

ばい（第7章）」は、全て換喩（メトニミー）的变化を経たものとして当てはまるといえる。

2.1.4.7 変化の動機に関する五つの型（ブレル）

トラウゴット／ダッシャー（2019）では、ブレルによる「変化の動機に関する五つの型」についても触れる。以下、簡潔にまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ① 難しさの回避
- ② 明確さの確保
- ③ タブーと婉曲：これによって一般化（婉曲による意味の拡大）、意味の縮小あるいはタブーの話題を指す語の喪失が起こる。
- ④ 意味の希薄化：意味内容の喪失・漂白
例：awfully（畏れを呼び覚ますやり方で、恐ろしく→とても）／
sehr（ドイツ語：残酷に→とても）
- ⑤ 文化的変化などの外的要因

2.1.4.8 「意味の希薄化」考察（「やばい」との関連性）

ここでは、上記④「意味の希薄化」について考察してみる。これは本稿において重要な概念である。本稿の各論で扱う語の中では、「やばい（第7章）」と関連性がみられる。

本来、「やばい」は、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」（下述、「7.3.2『日本隠語集』（1892）」参照）といったように、マイナス評価の感情を伴って使われてきた。しかし、近年（特に平成期以降）においては、感情のマイナスの面が漂白され、「すごい」「素晴らしい」「よい」の意味を伴ったプラス評価の文脈でも使われるに至っている。

一方、上記の例では、英語の“awfully”が取り上げられる。これも、本来、「（畏敬の念を喚起させるような）恐ろしく」を意味したものが、やはり、感情のマイナスの面が漂白され、単純に程度の甚だしさを表す、「とても／すごい」の意味を持つに至ったと考えられる。この点において、英語“awfully”と日本語の「やばい」には共通項が見いだせる。

2.1.4.9 意味変化の傾向（ブレル）

トラウゴット／ダッシャー（2019）では、ブレルによる「意味変化の傾向」についても

触れる。以下、簡潔にまとめた（便宜上番号をつけた）。

①意味の向上より意味の悪化のほうが起こりやすい傾向がある。

（*「結構」の例：素晴らしい→想定していたよりはよい（相対化が作用し、絶対的な素晴らしさではなくなった）¹⁵）

②意味の縮小は、言語内の要因で起こる。一方、意味の拡大は、言語外の要因で起こる。

③隠喩（メタファー）は、どのタイプの変化にも働く原理である。

2.1.4.10「意味変化の傾向」考察（「結構」との関連性）

上記①「意味の向上より意味の悪化のほうが起こりやすい傾向」についてみる。ある語が日常において多用されるにつれ徐々に価値が下がり、結果として意味の悪化につながる事例は比較的多くみられるようである。

例えば、現代語における「結構」は、「意味の悪化」とまではいえないものの、「価値の低下」をみせているようである。かつては、「結構（*建築物の構成）が見事である」という意味で、目の前の具体的建造物等について「見事だ／立派だ」と使われたと考えられる。一方、現代語において、特に副詞としての「結構（けっこう）」をみると、自身の想定した基準に照らし合わせて、結果、「まあまあ／ほどほどに（よい）」といった相対的でやや消極的な評価といった使われ方をしているといった現状が挙げられる。

2.1.5 張潔（2015）

2.1.5.1 漢語における意味変化

張潔（2015）「漢語「不便」の意味変化について一日中対照言語史的考察一」では、日中対照の観点から「不便」の意味変遷について考察している。張の研究は、本稿において取り上げた漢語系の語、「結構（第3章）」「適當（第4章）」「大丈夫（第5章）」「微妙（第6章）」とも関わりが見出せる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

①「不便」は、時代の変遷とともに、意味・用法上の異同が多くみられた。

¹⁵ 下述、「3.2.7 小川誉子美・前田直子（2003）」、「3.2.7.1 程度副詞としての相対的な「結構」」も参照。

②「不便」(古代中国語由来)は、日本で受容された当時、中国語の意味がそのまま受け継がれ、上代の資料では、「不都合」を意味した。

③しかし、平安期以降、「かわいそう」「気の毒」「かわいい」をも意味するようになる。

④近世以降、表記のバリエーションが生じ、「不便(便利でない)」「不憫／不愍(かわいそう)」等、意味による使い分けが生じた。

⑤時代別(上代・中古・中世)に、「不便」の意味変遷をみると、「不便(*ふびん)に思ふ」「不便(*ふびん)にし給ふ」等の主観的動作(*書き手の思い入れがこもった)として使われる場合、ほぼ、「かわいそう」「かわいがる」を意味する。

⑥「不便」が、「かわいそう」「かわいがる」等を意味する例は、ほぼ、中世にみられる。さらに、中世においては、本来の「不都合」という意味が、ほぼ使われなくなっている。

⑦「不便」の意味は、客観的評価(不都合／困った／都合が悪い)と主観的評価(不都合に直面する人に同情し、気の毒と感じ、かわいい・かわいがると転化する)に分けることができるのではないか。

⑧「客観的」とは、自身の同情が入らない場合であり、「主観的」とは、自身の同情の気持がある場合である。

⑨日本語において「不便」の意味が大きく変化した要因の一つとして、文体との関係が挙げられよう。漢文体で書かれた公文書等に表れる「不便」は、中国語の意味・用法をそのまま受け継いでいるが、和文体の会話文等では書き手の思い入れが入りやすいため、上記⑦のような変化が生じたとみられる。一方、中国語においては、大きな文体差がみられなかったため、顕著な変化がなかったようである。

⑩「不便」等の、中国から移入された漢語が、日本語において長期間を経て独自の変化を遂げ、本来の(中国語の)意味と異なってくる場合がある。この現象は鈴木修次(1978)のいう、「陸封」の概念に共通するものである。

2.1.5.2 客観と主観

張潔(2015)では、日本における漢語「不便」の意味変化について、上記⑦にあるように「客観的」「主観的」という概念を用いての説明を試みている。ここで、上記⑧によると、「客観的」とは「自身の同情が入らない場合」、「主観的」とは、「自身の同情の気持がある場合」を指すという。

上記②によると、「不便」は、中国から日本への移入当時、意味がそのまま継承され、上代資料では、「不都合」を意味したという。「不都合／困った／都合が悪い」等は、「不便」の客観的意味とされるが、自身を取り巻く状況・環境が、「不都合」という意味で使われるという。さらに、「不便（*ふびん）」が、平安期以降、主観的な意味（「かわいそう」「気の毒」「かわいい」）を持つようになったと述べる（上記③）。

ここで、主観的意味「かわいそう」「気の毒」「かわいい」についてまとめる。「不都合」な境遇にいる特定の人物を見たとき、自身の心に「哀れみ・憐憫の情」が現れることがある。そこから、しだいに「かわいそう」「気の毒」「かわいい」といった意味が派生したとみられる。これはつまり、「不便」という語が指示する対象に変化が生じた、あるいはずれが生じたから、結果として意味が変化したと考えることができる。

2.1.5.3 客観から主観へ（「結構」との関連性）

「客観から主観へ」という概念は、本稿の各論にて扱う五つの語（「結構（第3章）」「適當（第4章）」「大丈夫（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）との関連が見いだせる。ここでは一例として、「結構（第3章）」についてみる。

本来、「結構」は、建築物等の造り・構成を指す語であり、この時点では、人間が見たままを描写するもので、感情といったものが介在しない。つまり、「客観的」といえる。しかし、しだいに、その「結構」が、「（*建築物の造り・構成等）が見事である」といったように、感情面のプラス評価的意味を含むようになり、「結構だ」という感情表出の形容語としての用法が生じてきた（下述、「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」参照）。すなわち、この時点で、「結構」が人間の感情を形容する語として使われ始めたということになる。つまり、「主観的」といえる。このように、「結構」も「客観から主観へ」という変遷過程を経たということが考えられる。

なお、「客観から主観へ」と同様の概念として、「具体から抽象へ」「絶対から相対へ」といった例も挙げるができる。一般的に、本稿の各論にて扱う五つの語（「結構（第3章）」「適當（第4章）」「大丈夫（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）をはじめとした、漢語由来、かつ日常会話でも多用される語は、上記三つの概念を援用すると語義の変遷の過程が理解しやすくなると考えられる。

2.1.5.4 鈴木修次（1978）における「陸封」（「大丈夫」との関連性）

張潔（2015）では、上記⑩において、「中国から移入された漢語が、日本語において長期間を経て独自の変化を遂げ、本来の（中国語の）意味と異なってくる場合がある」としており、鈴木修次（1978）『漢語と日本人』、「8国語漢語と中国語」における「陸封」の概念と共通点があると述べている。なお、この鈴木修次（1978）における「陸封」の概念も、本稿各論において取り上げた漢語系の語（「結構（第3章）」「适当（第4章）」「大丈夫（第5章）」「微妙（第6章）」）との関連が見いだせる。以下、鈴木による「陸封」の概念について簡潔にまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①現在、日本人が使用している中国古典（*由来の）語は、文化における「陸封」現象の代表をなすものである。
- ②鎖国政策が「陸封」を、ますます顕著なものにした。
- ③こうして日本人が使う漢語には、紀元前の中国古典語すら生き続けるという特異な現象が示されるに至った。
- ④日本語の中には、今なお中国古典語の化石が息づいており、日本人がふつうに使う漢語の中にいくらかでもそうした現象を求めることができる。

「陸封」は、本来、生物学用語であり、海水・淡水を行き来していたある魚類が地形変化等で淡水中に閉じ込められ、そこで生涯暮らすようになる現象を指すという。鈴木は（言語）文化においてもこの現象は当てはまると述べる¹⁶。

鈴木という言葉（あるいは文化）における「陸封」の現象は、前述したように本稿各論において取り上げる漢語系の語「結構（第3章）」「适当（第4章）」「大丈夫（第5章）」「微妙（第6章）」との関連が見いだせる。うち、「陸封」現象の典型として、「大丈夫（第5章）」が挙げられる。なお、鈴木修次（1978）『漢語と日本人』では、「陸封」の概念が示された「8国語漢語と中国語」において、「大丈夫」を取り上げている（下述、「第4章 大丈夫」、「4.2.1 鈴木修次（1978）」参照）。

¹⁶ 鈴木による「陸封」現象は、経済・社会的用語でいうところの「ガラパゴス化」と共通項を持つと考えられる。「三省堂 WORD-WISE WEB-Dictionaries & Beyond-」によると、「ガラパゴス（化）」とは、「孤立した環境で独自に発達した物事やそのさま」とある。「陸封」と同じ概念を示すものとして、「（言語の）ガラパゴス化」としたほうが一般的にわかりやすいため、筆者としてはこちらの用語を推奨したい。

2.2 類義

「類義」と同じ概念を表す語として、「同義」「同意」等の語が挙げられる。本稿においては、基本的に、最も汎用性が高いと考えられる「類義」を標準とする。

2.2.1 『学術用語集 言語学編』(1997)

『学術用語集 言語学編』(1997) (以下『学術用語集』とする) では、「第1部 和英の部」に、「同義」「同義語」「同義性」の項目がみられる。「同義」の英訳は、“synonymy”である。なお、同様の概念を示す「類義」「同意」という項目はみられない。

一方、「第2部 英和の部」、「synonymy」の項目における日本語訳は、「同義 [性]」である。ただし、『学術用語集』によって規定された上記の語が、現実の使用を反映したものとは限らない。つまり、現状においては必ずしも用語の統一が図られていないとみられるため、注意を要する。

2.2.2 野村雅昭 (1980) (『国語学大辞典』)

2.2.2.1 「同義語」の定義と範囲

『国語学大辞典』(1980) では、「同義語・対義語」の項目がみられる(野村雅昭記述)。ここでは、「同義語・対義語」の項目のうち「同義語」についてのみ扱う。「対義語」については、下述、「2.3.2 野村雅昭(1980)・国広哲弥(2002)・遠藤裕子(2005)・靱山洋介(2009)・木村義之(2010)」にて扱う。以下に主要部分をまとめた(便宜上番号をつけた)。

①「同義語」の定義：同一の意味と対応する二つ以上の語を同義語(synonym)または同意語という。

②「同義語の範囲」(*以下解説、a, b, c, d)

a 伝統的言語学では、語形が異なれば意味は必ず異なり、つまり、完全な同義語は存在しないという考え方が有力であった。

b また、完全な同義語は経験的にも少なく、専門用語などで一時的に存在しても、一方が廃用化したり、意味や文体的価値が変化したりする傾向がみられる。そのような観点を重視する立場では、同義語にかえ類義語という用語を使うことがあ

る。

- c 一方、完全な同義語はないとしても、近似のものはあると考える立場では、認識的意味（指示的意味あるいは知的意味）が等しく、感情的意味や文体的価値が異なるものを同義語とし、認識的意味にずれがあるものを類義語と呼ぶこともある。また、同一文脈で置き換えが可能なものだけを同義語の条件とする立場もある。
- d 一般的に、同義語は、大部分の意味的特徴は共通するが、わずかな点で異なる語という意味で、類義語を含む概念として扱われる。

2.2.2.2 考察（各論にて扱う語との関連性）

以上を概観した上で、まず、上記②aでは、「語形が異なれば意味は必ず異なり、完全な同義語は存在しない」とある。つまり、②aの観点に照らせば、「第6章 微妙」における「微妙」の異表記としてのカタカナ表記「ビミヨー」は、漢字表記「微妙」と意味が異なるとの解釈もできる。筆者もその点については一部同意する。ただし、表記者の恣意性によるところも大きいとみられ、必ずしも絶対的なものとはいえないようである。この点については、下述、「6.2.6 稲増龍夫（2003）」においても触れる。

上記②bについては、「完全な同義語は経験的にも少なく」「同義語にかえ類義語という用語を使うことがある」「一方が廃用化したり、意味や文体的価値が変化したりする傾向がみられる。」とある。これに関連するものとしては、「第5章 適當」における「適當」と「的當」のバリエーションが挙げられる。大正期・昭和前期頃まで、「適當」の同義語（に近いもの）として、「的當」が存在していた。一例として、金沢庄三郎編（1925：大正14）『広辞林（初版）』には、「適當」と「的當」、両者の見出しがある。おそらく、「的當」の方は、「適當」との同義語衝突的な過程を経て、しだいに消滅（廃用化）したということが推測される（下述、「5.3.3 近代の辞書10種における「適當」の意味記述の比較」も参照）。

上記②dでは、「同義語は、（中略）類義語を含む概念」とある。ただし、この点については若干の疑問が喚起される。上記②cの野村の論によると、「完全な同義語は存在しない」あるいは、「同一文脈で置き換えが可能なものだけを同義語の条件とする」とあるように、同義語がかなり限定された条件でのみ用いられるといった認識のようである。したがって、「同義語は、類義語を含む概念」としてしまうと無理が生じないだろうか。筆者の認識は、むしろこの逆である。つまり、以下の表のとおり、「類義語は、同義語を含む概念」というように捉えている。

図表 2.1：類義語と同義語との関係性（筆者の認識）

類義語	同義語
-----	-----

2.2.3 『現代言語学辞典』（1988）

2.2.3.1 「類義語」の定義と範囲

『現代言語学辞典』（1988）では、“synonym「類義語」”の項目がみられる。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

① “synonym「類義語」”の定義：概念的意味（conceptual meaning）が同一かあるいは類似している語。

②常識的に、意味が同じ語を同意語や同義語と呼ぶが、言語学的に意味がまったく同じ語というのは存在しないと考えられる。したがって、同意語や同義語は用語としては避けることが多い¹⁷。

③類義語は、どの言語にも少なからず見いだされるが、多くの場合に意味・用法上の適用範囲に差がある。類義語の分析には、置き換えという手段がしばしば用いられる。

例：「性質／性格」（以下具体例、a, b, c / “*”付きの文は非文／下線はママ）

a 彼女は性質がいい⇔彼女は性格がいい。

b この材料は燃えやすい性質をもっている

→*この材料は燃えやすい性格をもっている。

c *彼は性質俳優といわれる。←彼は性格俳優といわれる。

④置き換えによって異同が明らかになるのは、内包的意味（connotation）や文体的価値であり、あらゆる場面で完全に置き換えられる語は、通常存在しないことがわかる。

⑤類義語では、それぞれの語の系統も使い分けにかかわってくる。日本語の場合は、和語（やまとことば）系・漢語系・外来語系で内包的意味や使用域（register）、時には指示物（referent）までも異なる。

¹⁷ ただし、前述「2.2.1『学術用語集 言語学編』（1997）」における見出し項目は、「同義」「同義語」である。同様に、「2.2.2 野村雅昭（1980）（『国語学大辞典』）」における見出し項目も、「同義語」である。

例：「宿屋／旅館／ホテル」「ごはん／ライス」「牛乳／ミルク」

⑥英語の場合は、原則としてゲルマン語系は日常的・口語的であり、ラテン語系は公式的・文語的である。

例：「begin（始める：ゲルマン語系）／commence（始める：ラテン語系）」

「freedom（自由：ゲルマン語系）／liberty（自由：ラテン語系）」

「deep（深い：ゲルマン語系）／profound（深い：ラテン語系）」

2.2.3.2 考察（「結構」「大丈夫」「適当」との関連性）

『現代言語学辞典』においては、“synonym”に対し「類義語」という用語を当てている。上記②では、「言語学的に意味がまったく同じ語というのは存在しない」「同意語や同義語は用語としては避けることが多い」とある。ただし、上述、「2.2.1『学術用語集 言語学編』（1997）」における見出し項目は、「同義」「同義語」である。同様に、「2.2.2 野村雅昭（1980）（『国語学大辞典』）」における見出し項目も、「同義語」である。つまり、言語学系辞典類においても統一性がみられないということになる。ここから、用語の選択は個々人の判断に委ねられるということが示唆される。

上記③では、「類義語の分析には、置き換えという手段がしばしば用いられる。」とある。なお、松井栄一（2008）では、置き換えによる類義語の分析がなされている。本稿においては、下述、「第3章 結構」、「3.2.10 松井栄一（2008）」および、「第5章 適当」、「5.2.4 松井栄一（2008）」にて、「結構」「適当」関連の類義語分析について触れる。

上記⑤では、類義語における語の系統の使い分けについて、「日本語では、和語（やまとことば）系・漢語系・外来語系において、内包的意味・使用域（register）、時に指示物（referent）までも異なる。」とある。ただし、出自が漢語系であっても、日常的に多用されるうちに実質的には和語的な運用がなされている例もみられる。例えば、「第3章 結構」におけるひらがな表記「けっこう」、あるいは「第4章 大丈夫」におけるひらがな表記「だいじょうぶ」等が挙げられる（下述、「3.7「結構」の実例」、「4.7「大丈夫」の実例」等参照）。

上記⑥では、「英語の場合、原則としてゲルマン語系は日常的・口語的」「ラテン語系は公式的・文語的」とある。同様に、日本語においては、「原則として和語系は日常的・口語的」「漢語系は公式的・文語的」といった一般的図式が成り立つといえよう。ただし、実際には上述「けっこう」「だいじょうぶ」のように出自が漢語系であっても、日常的に多用さ

れるうちに実質的には和語的（つまり日常的・口語的）に運用されている例もみられるため、絶対的なものではない。

2.3 反義

「反義」と同じ概念を表す語として、「反意」「対義」等の語が挙げられる。本稿においては、基本的に、最も汎用性が高いと考えられる「反義」という語を標準とする。

2.3.1 『学術用語集 言語学編』（1997）

『学術用語集』（1997）では、「第1部 和英の部」に「反意語」「反意性」「反意的」¹⁸の項目がみられる。「反意語」の英訳は、“antonym”である。なお、「反義」「対義」という項目はみられない。

一方、「第2部 英和の部」，“antonym”の項目における日本語訳は、「反意語」である。ただし、上述、「2.2 類義」でも触れたように、『学術用語集』によって規定された上記の語が、現実の使用を反映したものとは限らない。つまり、現状においては必ずしも用語の統一が図られていないため、注意を要する。

2.3.2 野村雅昭（1980）・国広哲弥（2002）・遠藤裕子（2005）・靱山洋介（2009）・木村義之（2010）

2.3.2.1 「対義語」の定義と分類（野村雅昭（1980））

『国語学大辞典』（1980）では、「同義語・対義語」の項目がみられる（野村雅昭記述）。ここでは、「対義語」についてのみ扱う。「同義語」については、上述、「2.2.2 野村雅昭（1980）（『国語学大辞典』）」にて扱った。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ① 「対義語」の定義：なんらかの意味的特徴を共有しながら、ある点において対立する関係にある二つ以上の語を対義語（antonym）または反意語・反義語・反対語などという。

¹⁸ 実際のところ、「反意」という語は、同音異義語「範囲」という頻出語があるため、混乱を招きやすいといった懸念材料がある。

②「対義語の分類」：これまでは同義語の対極にあるものが対義語であると定義づけられてきたが、いくつかの性格が異なるものを含んでいる。

③最近の研究（*1980年時点）による対義語の三分類（*以下分類、a, b, c）

a 相補的關係：一方を否定することが他を主張することを含む非両立的關係。

例：「男／女」「表／裏」

この關係は二語の間に見られるのが普通。しかし、「東／西／南／北」等、三語以上からなる場合もある。

b 相對關係：二語の間に明確な境界がないため、程度の差を示すことが可能。

例：「大きい／小さい」「善／悪」

例えば、「大きくない」ことは必ずしも「小さい」ことではない。「大きく」も「小さく」もない状態がある。対義的な形容詞は、多くこの類に含まれる。

c 反対關係：名詞の位置、あるいは格助詞を替えることにより、受身・使役・受給などの關係で互換的な文が作成可能。

例：「売る／買う」「脱ぐ／着る」（*以下、「売る／買う」の關係性）

(1) A は B に X を 売った

(2) B は A から X を 買った

(1)の文は、(2)の文を含意。同時に、(2)の文は、(1)の文を含意する。なんらかの意味で、方向性が反対の關係にある動詞は、多くこの類に含まれる。

2.3.2.2 考察（分類法と特徴）

まず、上記①「対義語」の定義には、「なんらかの意味的特徴を共有」「ある点において対立する關係」とあるが、これはつまり、「類義語も対義語も意味の大部分を共有しているのであって、一部のみが異なっている」ということである（国広哲弥（2002））。なお、遠藤裕子（2005）は、「対義關係」について、「語と語のあいだで意味のかなりの部分が共通だが、ある1点で対立するとき、それらは対義關係にあるといい、互いに他の対義語（antonym）であるという。」としている¹⁹。

上記②③の「対義語の分類」について、野村は「a 相補的關係」「b 相對關係」「c 反対關係」と三分類している。現在もなお当分類が標準的とみられる。同等の分類が、『日本語

¹⁹ 『新版日本語教育事典』「3 語彙・意味」「語と語の關係」p.277 より一部抜粋。

概説』(2010)、「4.2.2 意味関係 (p.72, 73)」にもみられる(木村義之記述)。なお、左の「4.2.2 意味関係」において、見出し項目は「対義語」であり、「反義語」はみられない。「対義語」については、「ある意味特徴で対立する語のセットを対義語という。」と定義される。さらに、本文注釈には、「一般には反対語・反意語という用語で呼ぶこともあるが、「反対語」としてペアになる語の関係は一様ではないため、ここでは対義語と呼ぶ。対義語は意味関係による何らかの類縁性があることから、類義語に含めて考える場合もある。」ともある。

上記③a「相補的關係」については、「一方を否定することが他を主張する」、つまり、「AでなければBである」「BでなければAである」といった関係性が成立する。ただし、例示された「男／女」については、近年、性(ジェンダー)についての認識がかつてとは大きく変化しているという事情を鑑みると、現代においてはむしろ、「③b 相対関係」(中間領域の存在を認める)に含めたほうが妥当とみられる。かように、「対義語の分類」の境界線というものは時代とともに揺れ動くということがいえよう。なお、国広哲弥(2002)では、③a 相補的關係と全く同じ概念を「両極的反義」としている。

③b「相対関係」については、二者間に明確な境界がなく中間領域が認められるものである。③bの例では、「大きい／小さい」が挙げられる。「大きい」と「小さい」の二者間には大きくも小さくもない中間領域が存在することとなる。したがって、程度性を表すことが可能となる。国広哲弥(2002)では、③b 相対関係と同様の概念を「連続的反義」としており、反義語の間が程度差をもって繋がっているとしている。

上記③c「反対関係」については、「名詞の位置、格助詞の交替により、互換的な受身・使役・受給文が作成可能」とある。③cでは、「売る／買う」が例示されているが、類似のペアとして、「あげる／もらう」「渡す／受け取る」等が該当する。国広哲弥(2002)では、野村の③c「反対関係」とほぼ同じ概念を「逆義関係」としており、「「売る／買う」のように両者が同時に成立する場合」「片方を否定すれば同時に他方も否定される」とある。これはつまり、行為が一回で終わり、さらに視点の方向性²⁰が関係するものである。したがって、「方向性反対関係」としたほうがより適切といえるであろう。

さらに、③c「反対関係」では、「脱ぐ／着る」のペアも例示される。この行為は一回で終わることができず²¹、他者が介在しない、つまり主体者のみによる行為であるため、視点の方向性も関わりがない。ここで、③cに例示された「売る／買う」「脱ぐ／着る」の関

²⁰ 端的に言えば、「こちら側からみる視点」「あちら側からみる視点」となるであろう。

²¹ 「脱ぐ」動作と「着る」動作を同時に行うことはできない。

係性について比較してみる。

まず、「売る／買う」については、③c の記述のとおり、「受身・使役・受給などの関係で互換的な文が作成可能」である。さらに、「売る」動作と「買う」動作は一回の行為で成立する。このペアについては二者の介在が前提条件である。一方、「脱ぐ／着る」については一個人の動作において完結するものである。したがって、「売る／買う」等の二者介在型のペアとは本質的に異なるということがいえよう。つまり、「脱ぐ／着る」、あるいは「付ける／外す」等のペアは、厳密にみれば、野村による③c「反対関係」には当てはまらなると解釈することもできる。同様に、国広の「逆義関係」にも当てはまらないものとみられる。まとめれば、野村による③c「反対関係」は、二者介在型の「方向性反対関係」と二者の介在を要さない（つまり動作主体は一つ）型の「方向性反対関係」とに二分できるということがいえよう。

ちなみに、③c 反対関係については、語句レベルでみると、「のぼり坂／くだり坂」といった例も挙げるができる。これは視点の位置関係により同一の対象（上記の「行為」とは異なる）を指し示す表現が変化する例である。これについて、靱山洋介（2009）は、「傾斜のある道」に対し、「のぼり坂」「くだり坂」ともいえる。つまり、「のぼり坂／くだり坂」は同一の対象を指し示す典型的な類義表現である」と述べる。これは、反義の関係と類義の関係が表裏一体の関係であることを示す例の一つといえよう。

2.3.3 『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）

2.3.3.1 「反義語」の定義と分類

『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）（以下、『言語学大辞典』とする）では、「反義語（英 *antonym*）」の項目がみられる。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①「反義語（英 *antonym*）」の定義：ある語の意味と同じ、あるいは、類似の概念を表す語を「同義語（*synonym*）」というのに対し、ある語の意味と対立的に連想される概念を表す語を「反義語」という。対義語・反意語ともいう。
- ②例えば、「男／女」、「内／外」等は、それぞれ反義語の関係にある。
- ③反義語同士の意味関係を反義（性）（*antonymy*）という。
- ④反義語の三分類（*以下分類、a, b, c）

a 相関関係にある対立概念を表すもの。（*これは上述、「2.3.2.1「対義語」の定義と分類（野村雅昭（1980）」の③a「相補的關係」に相当する）

例：「男／女」「内／外」

b 本来相対的な程度差を示すもの。（*同じく野村雅昭（1980）の③b「相対關係」に相当する）

例：「大／小」「長／短」「多／小」

c 行為の方向が相反するもの。（*同じく野村雅昭（1980）の③c「反対關係」に相当し、方向性反対的といえる）

例：「往く／来る」「売る／買う」

以上の例のように、対立的に表象される観念を示す語にはその反義語がある。

⑤また、反義語はしばしば対立の否定項を示し、否定の表現（不～、無～）をもって示される。

例：「幸福／不幸」²²「気力／無気力」

⑥しかし、反義は必ずしも否定ではない。ときには、否定的な表現を伴いながら、単に消極的な概念を示すにとどまらず、積極的なニュアンスを示す場合もある。

⑦この反義語に関して、古典中国語に、反義語の対立を利用した特殊な表現がある。元来、この言語には抽象性を示すような接辞が欠けているため、例えば、日本語の大きさとか長さのような便利な道具がみられない。

⑧そこで、反義語の“対”によって、その両極を含む基盤を示す抽象的な観念を示そうとした。

例：「大小」「長短」

⑨この孤立語型の言語（*中国語）は反対語の対ばかりでなく、「日月」「山川」「草木」など、およそ対として捉えられるものを対として表現することを好む言語である。

2.3.3.2 考察（分類法と特徴）

『言語学大辞典』では、上記①にあるように、「反義語（英 *antonym*）」の項目がみられる。上記④では、反義語を三つに分類している。これは基本的に、上述、「2.3.2」の野村雅昭

²² 「幸福／不幸」のペアは必ずしも適切とはいえない。「幸不幸」つまり、「幸（しあわせ）」に対する「不幸（ふしあわせ）」であるから、「幸／不幸」のペアが適切であろう。類似の例として、「運／不運」も挙げられる。

(1980) (『国語学大辞典』) による「対義語の三分類」と同様である。つまり、「④a 相関関係にある対立概念を表すもの」と野村の「③a 相補的關係」、「④b 本来相対的な程度差を示すもの」と同じく野村の「③b 相対關係」、「④c 行為の方向が相反するもの」と同じく野村の「③c 反対關係」というように全て対応している。なお、上記④には、「往く／来る」と「売る／買う」のペアが例示されている。これらについては、上述、「2.3.2.2 考察」で触れたように、「売る／買う」は二者介在型の「方向性反対關係」であり、一方、「往く／来る」は二者の介在を要さない（つまり動作主体は一つ）型の「方向性反対關係」とみられる。したがって、厳密にみれば両者は本質的に異なるといった点を指摘しておく。

上記⑤の「対立の否定項を示し、否定の表現（不～、無～）をもって示される反義語」については、本稿の各論にて取り上げる漢語系の四つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適當（第5章）」「微妙（第6章）」）のうち「適當（第5章）」のみが当てはまる。なお、補足として、対立する語がないにもかかわらず、「不～」、「無～」をもって示される語もある。例えば、「不思議」は、対立の語と想定される「思議」という語は、現代においてはみられない。

上記⑥では、「否定的な表現を伴いながら」「積極的なニュアンスを示す場合もある」とある。これについては、「有限／無限」のペアが挙げられよう。「無限」は語の形式上は否定の接頭辞が付くが、プラス評価の語感を伴ったものである。さらに、上記の「不思議」も類似の語といえそうである。

上記⑦ ⑧ ⑨では、古典中国語と反義語との関係について述べられる。「古典中国語の反義語の対立を利用した特殊表現」に関連し、「大小」「長短」等、日本語における漢語にもそのような形式が現れるという。実際、現代日本語において日常的に使用される漢語系の語にも、この種のものが比較的多い。例えば、「多少」「加減」「上下」「伸縮」「難易」「寒暖」「勝負」「明暗」「美醜」「好悪」等の語である。なお、これらの語の中には複合語の構成語のうち一方の語の意味が捨象されて、もう一方の意味に特化される場合がある。例として、「多少」（少し：「多い」のほうは捨象）「異同」（異なっているところ：「同じ」のほうは捨象）等が挙げられる（下述、「2.6 反義併存」、「2.6.2『現代言語学辞典』(1988)」、「2.6.2.2 考察」も参照）。

上記⑩では、「(中国語は)「日月」「山川」「草木」など、およそ対として捉えられるものを対として表現することを好む言語」とある。これは、中国から漢語を移入した日本語にも当てはまる事象といえよう。これなどは、下述、「2.3.4 山田政通 (2015)」の「文化的

反義語」の概念と併せて考察すると、発展がみられそうである。

2.3.4 山田政通 (2015)

反義の概念に関する、近年の新たな知見をみしてみる。山田政通 (2015) は、「文化的反義語の試案—第4のカテゴリーとして—」において、「従来の反義語の三分類 (①段階的・②相補的・③方向的) に当てはまらない反義語で、文化的な背景が関連していると考えられるもの」の存在について指摘し、それらを「文化的反義語 (cultural antonym)」としている。以下、山田の「文化的反義語」について簡潔にまとめた (便宜上番号をつけた)。

①たいていのアメリカ人にとって、「山 (mountain)」の反対概念として「谷 (valley)」を挙げる傾向がみられる。

②一方、たいていの日本人にとって、「山」の反対概念として挙げるものは、「海」を挙げる傾向がみられる。

③言語知識とともに、文化的背景による認識の違いが反義語の認識にかかわる。

このように、反義についてみると、国なり地域なりの文化的背景が認識に大きく関わるといったことも考慮に入れる必要があるだろう。加えて、個人の主観といったものも反義語の認識に少なからずかかわるであろうことも指摘しておく。

2.4 多義

「多義」という語については、特に他の類似表現は見当たらない。したがって、この語で一致をみせているようである。

2.4.1 『学術用語集 言語学編』 (1997)

『学術用語集』 (1997) では、「第1部 和英の部」に「多義性」「多義衝突」の項目がみられる。なお、「多義」「多義語」という語はみられない。「多義性」の英訳は、“polysemy”である。一方、「第2部 英和の部」、“polysemy”の日本語訳は、「多義性」である。

2.4.2 野村雅昭 (1980)・松中完二 (2002)・吉村公宏 (2004)・靱山洋介 (2009)・

木村義之 (2010)

2.4.2.1 「多義語」の定義と分類 (野村雅昭 (1980))

『国語学大辞典』(1980)では、「多義語」「多義性」の項目がみられる(野村雅昭記述)。まず、「多義語」について、以下に主要部分をまとめた(便宜上番号をつけた)。

①「多義語」の定義:二つ以上の意味をもつ語(polysemic word)。言語の多義性(polysemy)のもっとも顕著に現れたもので、二つ以上の意義素をもつ語。多義語は、どの言語にも普遍的に存在するものである。経済性(記憶の負担軽減)という理由で説明されるが、あいまいさを生ずる原因ともなる。しかし、多くの場合、あいまいさは文脈によって解消される。

②多義語の成因:多義語における複数の意味は、共時的に存在する。しかし、その成立の説明のために、通時的な観点も要される。

(*以下「多義語の成因」の六分類、a, b, c, d, e, f)

a 語の対象への適用のしかたのずれ:「目にゴミが入る」の「目」は「器官」を意味する。一方、「目がいい」の「目」は「視力」をさす。つまり、対象のどの属性に着目するかによって、複数の意味が生じやすい。

b 特殊化:一般性のある語でも、特定の社会的環境では特殊な意味に限定される。

例:鉱夫にとっての「山」→「鉱山」

c 具体化:一般性をもった語が具体的な意味に限定される。

例:「花/桜」「トリ/鶏肉」

d 比喩:ある語がそれとなんらかの類似性をもつ他の語の隠喩(*メタファー)として使用されることで、新しい意味が生ずる。

例:「時計の針(形態)」「事件のカギ(機能)」「学者の卵(関係)」
「政界のタヌキ(評価)」

e 借用:外国語の影響等により、新しい意味が追加される。

例:明治期、「自由」という語に、“liberty”という意味が追加される

f 省略:複合語の要素が省略される場合に、残った要素の語に、もとの複合語の意味が加わる。

例:「キツネ(←キツネソバ)」「活動(←活動写真)」

③多義語の意味記述：多義語の意味には、すべてに共通する基本的意味が存在するとする説もある。

④多義語の使用頻度：使用頻度が大きく、基本度の高い語には、多義のものが多くということが経験的にいわれる。

⑤多義語の解消：多義語によるあいまいさは、ほとんど文脈によって解消される。

(＊以下「多義語の解消」の三分類 a, b, c)

a 日本語では、外来語を輸入する際、「チョーク／チャコ」「ストライク／ストライキ」等、意味によって異なる語形として取り入れる傾向がある。

b 「はかる」(計／量／測／図／謀／諮)のように意味の違いを漢字で書き分ける。

c 「ホシを挙げる」のように、仮名(＊ここではカタカナ)で表記することにより特殊な意味を示したりする傾向がある。

2.4.2.2 考察(各論にて扱う語との関連性)

以上、概観すると、上記①では、「多義語」の基本定義として、「二つ以上の意味をもつ語」とある。具体的にみてみると、『日本語概説』(2010)、「4.2.3 意味変化」、「4. 単義語と多義語」(木村義之記述)には、「長い時間の経過の中で、原義に新しい語義が次々と加わっていくと、多義語となる。」とある。さらに、「多義語とはある語形に2つ以上の意味が対応している語をいう。」「和語は多義性を持ち、漢語・外来語も日常語化すれば多義語となる。」ともある。つまり、一般的に、漢語は多義化しにくい傾向を持つものと考えられる。一方、本稿の各論にて扱う漢語出自の語(「結構(第3章)」「大丈夫(第4章)」「適当(第5章)」「微妙(第6章)」)については、日常における多用化を経て多義性を持つに至った典型例ともいえよう。

さらに、上記①では、多義語について、「あいまいさを生ずる原因」「あいまいさは文脈によって解消」とあり、「あいまい」についての記述がみられる。なお、「あいまい」については、下述、「2.5 あいまい(性)」にて触れる。

上記②の「多義語の成因」の六分類(a, b, c, d, e, f)をみると、②b「特殊化」および②c「具体化」は、類義語における「包摂関係」とも関連性がみられる。さらに、上記二者(②b「特殊化」、②c「具体化」)は、認知言語学の観点からすると、「シネクドキ(提喩)」に該当すると考えられる。靱山洋介(2009)は、「シネクドキ」について、「広い意味から狭い意味に」「狭い意味から広い意味に」という「意味の伸縮に基づく比喩」としている。ち

なみに、上記②f「省略」は、食べ物関連の語に多くみられる。例えば、「みそ（みそラーメン）」「並（牛丼の並）」「タピオカ（タピオカミルクティー）」等が挙げられる。

上記③では、「多義語の意味には、すべてに共通する基本的意味が存在するとする説もある」としている。これは、「共通の意味的中核部」（松中完二（2002））、つまり、認知言語学の観点からすると、「スキーマ」に該当するであろう。「スキーマ」については、吉村公宏（2004）によると、「カテゴリーの全成員に共通して想定される抽象的な理想像」「いわば人間の思考のお手本となるような発想の「鋳型」となるもの」とある。ちなみに、「カテゴリー」については、同じく吉村公宏（2004）によると、「さまざまなものをひとまとめにしてとらえる心のはたらきをカテゴリー化と呼び、そのひとまとまりになったものをカテゴリーという」、「認知言語学でカテゴリー化というのは、さまざまな概念をグループ化してまとめるといった心的過程（mental process）を指す」とある。

上記④では、「使用頻度が大きく、基本度の高い語には、多義のものが多し」とある。つまり、ある語が日常生活で多く使われれば使われるほど、多義の傾向を示すということがいえる。本稿「各論」にて扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）も、多義性の傾向が顕著にみられる。これらの語についても、日常における多用化が多義化を促進した主要因となったと考えられる。

上記⑤では、「多義語によるあいまいさは、ほとんど文脈によって解消される」とある。「多義語の解消の三分類」において、⑤cでは「ホシを挙げる」の例を挙げ、「仮名（*カタカナ）で表記することによって特殊な意味を示したりする」としている。本稿の各論で扱う語との関連で見れば、「結構（第3章）」における「けっこう」、「大丈夫（第4章）」における「ダイジョーブ」、「適当（第5章）」における「テキトー」、「微妙（第6章）」における「ビミョー（微妙）」、「やばい（第7章）」における「ヤバイ（ヤバい）」が当てはまる。ただし、会話等の音声上のやりとりにおいて、上記⑤bの漢字の書き分け、⑤cの異表記による書き分けについては、あいまいさが解消されにくい。したがって、時としてミスコミュニケーションの一因ともなりうるといった点を指摘しておく。なお、「表記」の詳細については、下述、「2.7 表記の多様性」にて触れる。

2.5 あいまい（性）

「あいまい」という語は、日常語として比較的によく使われる語である。一方、言語学に

においても「あいまい (性)」といった用語がみられる。したがって、日常語としての「あいまい」と、言語学用語としての「あいまい (性)」とを区別しておく必要がある。

2.5.1 『日本国語大辞典』

2.5.1.1 「あいまい」の意味記述

『日本国語大辞典』²³、「あいまい」の項目には、「物事がはっきりしないこと。物事が確かでないさま。あやふや。不明瞭。」とある（一部抜粋）。なお、語誌によると、「曖昧（＊あいまい）」は、「はっきりしないさま」を意味する点において、「うやむや」と類義の関係にあるという。具体的にみると、「曖昧（＊あいまい）」は、存在はするが、そのあり方がどっちつかずではっきりしないという点に力点が置かれ、一方、「うやむや」は、存在するか否か自体がはっきりしないという点に力点が置かれるという。したがって、日常語における「あいまい」とは、「ものごとの判断がどっちつかずではっきりしないさま」を意味する。つまり、裏を返せば、「あいまい」とは、「当事者が置かれた場面・状況によって、どちらの状態にもなり得るさま」との解釈もできよう。

2.5.1.2 考察（「結構」との関連性）

「あいまい (性)」については、本稿の各論にて扱う語のうち「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「微妙（第6章）」との関連性がみられる。ここでは、BCCWJによる「結構」と「あいまい」の一例を以下に取り上げてみる（下線は筆者による）。

被害にあわないための消費者・生活者の5つの視点 1. 必要がなければキッパリ断る
「結構…」などあいまいな返事はしない 2. うまい話はありません甘い誘い文句に騙されない 3. 契約を急がせるのは要注意…（BCCWJ/2008/OP16_00001「足利市広報『あしかがみ』」より）

上記の例は、いわゆる悪徳商法における消費者・生活者の注意点を述べたものである。上記によると、「結構」は「あいまい」な語であるという。つまり、世間一般においては、「結構」が「あいまい」な語であるという共通認識があるとみられる。消費者・生活者は、

²³「Japan Knowledge Lib」(<https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=2002000391149BOts42w>)を参照（2019/01/22 時点）。

しばしば、「キッパリ断る」という行為をしたくないがために、上述した「判断上ははっきりしない」、つまり、「あいまい」な「結構」を使いがちであるという背景が読み取れる。要因として、一般的に、日本語母語話者同士のやりとりにおいては、断りの場面等で、「キッパリ断る」という行為が取りにくい（あるいは取れない）といった言語文化的背景があるためとみられる。

以上のような、断りの場面における「結構」について、伊藤由美（2017）は「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」といった表現を用いている。ただし、伊藤は「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」については否定的な立場をとっている（下述、「4.2.5 伊藤由美（2017）」参照）。なお、この概念は、下述、「2.6 反義併存」とも関わりを持ってくる。

2.5.2 『学術用語集 言語学編』（1997）

『学術用語集』では、「第1部 和英の部」に「あいまい [性]」の項目がみられる。「あいまい [性]」の英訳は、“ambiguity”である。一方、「第2部 英和の部」、「ambiguity」の日本語訳は、「あいまい [性]」である。

2.5.3 『現代言語学辞典』（1988）

2.5.3.1 「曖昧性」の語源と分類

『現代言語学辞典』（1988）では、“ambiguity 「曖昧性」”の項目がみられる²⁴。まず、以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①語源：ラテン語の *ambigere* < *ambi* (both ways) + *agere* (to lead) > で、「両方の道に導く → 両義」の意。

②a 語彙的曖昧性 (lexical ambiguity) と、b 統語的曖昧性 (syntactical [structural] ambiguity) に分けられる（*以下「曖昧性の二分類」 a, b）。

a 語彙的曖昧性は、同音多義 (polysemy) や同音異義 (homophone) 等の場合にみられる。しかし、文脈 (context)、文法性 (gender)、強勢 (stress)、文字表記等に

²⁴ 一方、『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）において、“ambiguity”に対応する項目は、「両義性」である。用語についての混乱を避けるため、本稿においては『現代言語学辞典』における“ambiguity 「曖昧性」”を標準とする。

よって避けられる場合が多い。

b 統語的曖昧性は、文または句レベルでの曖昧性である。

例：a little girl's bike（幼い女の子の自転車／女の子の小さな自転車）

（*上記②a ②b は、言語内での曖昧性）

③さらに、記号（sign）としての言語本来の性格から生ずる曖昧性がある（*以下二分類、a, b）。

a 言語と指示物（referent）との間での曖昧性

例：「ツクエ」という語によって捉えられる指示物としての机は、材質・大きさ・形・用途等の面で多種多様であり、したがって、「ツクエ」によって指示される内容が曖昧になる。

b 語用論（pragmatics）的な曖昧性：同じ語句でも、それをを用いる個人が異なったり、同じ個人でも、用いる場面（situation）や意図（intention）が異なったりするために生ずる曖昧性である。

2.5.3.2 考察（各論にて扱う語との関連性）

まず、上記①によると、“ambiguity”はラテン語の“ambigere”に由来し、語源からみれば「両義」を意味するという。つまり、“ambiguity”「曖昧性」とは多義の一種とみなすことができよう。

上記②によると、曖昧性は、②a「語彙的曖昧性」と、②b「統語的曖昧性」に二分されるとある。両者のうち本稿の各論にて扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）との関連性がみられるのは、②a「語彙的曖昧性」のほうである。「結構（第3章）」および、「大丈夫（第4章）」についてみれば、例えば、伊藤由美（2017）における「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」」は、「語彙的曖昧性」を利用した会話ストラテジーの一種ともみられる（下述、「4.2.5 伊藤由美（2017）」参照）。一方、②b「統語的曖昧性」については、本稿における考察とは直接の関わりがない。

2.6 反義併存

「反義併存」と同じ概念を表す語として、「反意併存」が挙げられる。本稿においては、

他の関連語（類義・多義・反義）との整合を図る、最も汎用性が高いと考えられる、という理由により、基本的に「反義併存」という語を標準とした。

2.6.1 『学術用語集 言語学編』（1997）

『学術用語集』（1997）では、「反義（あるいは反意）併存」の項目はみられなかった。

2.6.2 『現代言語学辞典』（1988）

2.6.2.1 「反意併存」の定義と事例

『現代言語学辞典』（1988）では、“ambivalence”「反意併存」²⁵の項目がみられる。まず、“ambivalence”「反意併存」について、以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

① “ambivalence”「反意併存」の定義：一つの語の中に相反する二つの意味が共存していること。

例：ラテン語 “altus”（高い／深い）／英語 “rent”（賃貸する／賃借する）／
フランス語 “hôte”（客／主人）

②日本語の「(お)めでたい」「(お)りこう」等は、接頭辞をつけると反意併存となる。

③英語の “come”（来る）は、主語が一人称の時、相手方に重点を置いて、“May I come to your house?”（お宅へ伺ってもよろしいでしょうか）のように使われる時、「行く」の意味になる。

④反意併存は、多義語にみられる現象であるが、同音異義語（Homonym）に反対の意味が認められることもある。例えば、英語 cleave には、「ぴったりとくっつく」と「裂く」の意味がある。

⑤日本語の「有難迷惑」「いんぎん無礼」等は、形式上は反意的な語が併存しつつ、意味上は併存性がうすれている特殊なものといえる。

2.6.2.2 考察（「結構」との関連性）

まず、上記①では、「反意併存」の定義として、「一つの語の中に相反する二つの意味が

²⁵ 本稿においては、他の関連語（類義・多義・反義）との整合を図って、「反意併存」と同じ概念を示すものとして、「反義併存」を標準とする。

共存」とある。つまり、「反意併存」とは、ある一つの多義語内における各語義同士の相反関係を示すものである。例えば、多義語 a が三つの語義 (x, y, z) を持つと仮定すると、うち x と y の各語義が相反の関係にあるといったものである。一方、上述、「2.3 反義」は、語と語の間における相反関係を示すものである。したがって、両者の認識の異なりについては注意を要する。なお、上記①の例をみてもわかるように、多様な言語に「反意併存的な性質を示す語があることがわかる。

上記②では、日本語の「おめでたい」「おりこう」等が、反意併存的な性質を持つという。ただし、これらの表現は反意併存的な性質を持つと同時に、「反語」あるいは「皮肉」の性質も持つものであると考えられる。同様に反意併存的な性質という観点から、本稿における類似表現として、「結構（第3章）」における「結構人」が挙げられる。

「結構人」は、『広辞苑 第七版』（2018）に、「①おとなしい人。好人物。②おとなし過ぎて才の鈍い人。愚直な人」とあるように、各語義がプラス評価とマイナス評価を持ち互いに相反する関係にある。さらに、「お馬鹿さん」も、類似の表現といえる。ただし、上記「おめでたい」「おりこう」「結構人」が、本来のプラス評価からマイナス評価への移行を示す語であるのに対し、「お馬鹿さん」はマイナス評価からプラス評価への移行を示す。したがって、これらは意味の変化における方向性が異なるということがいえる。

上記⑤では、「形式上、反意的要素が併存するが、意味上は併存性がうすれている特殊なもの」があるという。例として「有難迷惑」「いんぎん無礼」等が挙げられる。この観点から、漢語における類似例をみると、「多少」（少し：「多い」のほうが捨象）、「異同」（異なっているところ：「同じ」のほうが捨象）が挙げられる。これらは複合語の各構成語のうち、一方の語の意味が捨象されて、もう一方の意味に特化された例といえる（上述、「2.3 反義」、「2.3.3『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）」、「2.3.3.1「反義語の」定義と分類」、⑦ ⑧ ⑨参照）。

さらに、上記⑤の例との関連で、日本語においては対立性のある構成要素からなる二字の漢語が比較的多いということが喚起される。例示すれば、「加減」「上下」「伸縮」「難易」「寒暖」「勝負」「明暗」「美醜」「好悪」等々の語である。これらは、一語を構成する各要素（例えば、「加減」でいうところの「加」と「減」）が、相反する意味を持つものである。したがって、これらの二字漢語は、反意（反義）併存性を示す典型例といってよいであろう（同様に、上述「2.3 反義」、「2.3.3『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）」、「2.3.3.1「反

義語の「定義と分類」、⑦ ⑧ ⑨参照)²⁶。

2.6.3 『国語に関する世論調査』(2001~2015) (文化庁)

2.6.3.1 反義併存性を示す語 (語句)

文化庁『国語に関する世論調査』においても、反義併存性を示す語 (または語句) がしばしば取り上げられる。まず、近年における主なものを以下の表にまとめた。

図表 2.2 : 文化庁『国語に関する世論調査』における反義併存性を示す語

語/語句	出現年度	本来の意味	派生の意味	意味の移行
鳥肌が立つ	①2001 (平成 13)	恐怖・寒さ等で、肌がぶつぶつになる	感動して、肌がぶつぶつになる	マイナス評価からプラス評価へ
	②2015 (平成 27)			
こだわる	①2001 (平成 13)	気にしなくてもいいことを必要以上に気にする	細かなことに気を配り、価値を追求する	マイナス評価からプラス評価へ
	②2015 (平成 27)			
琴線に触れる	①2007 (平成 19)	感動や共鳴を与えること	怒りを買ってしまうこと	プラス評価からマイナス評価へ
	②2014 (平成 26)			
煮詰まる	2007 (平成 19)	(議論・意見が十分出尽くし)結論の出る状態になる	(議論が行き詰まり)結論が出せない状態になる	プラス評価からマイナス評価へ
情けは人のためならず	2010 (平成 22)	情を持って人に接すれば、回り回って結局自分のためになる	情を持って人を助けることは、結局その人のためにならない	プラス評価からマイナス評価へ
うがった見方をする	2011 (平成 23)	物事の本質を捉えた見方をする	疑って掛かるような見方をする	プラス評価からマイナス評価へ
奇特	2014 (平成 26)	優れて他と違って感心なこと	奇妙で珍しいこと	プラス評価からマイナス評価へ

2.6.3.2 考察 (「鳥肌が立つ」と「やばい」との関連性)

以上の表を概観すると、全七語のうち、意味の向上 (マイナス評価からプラス評価へ) を示したものは、「鳥肌が立つ」「こだわる」の二語である。一方、意味の悪化 (プラス評価からマイナス評価へ) を示したものは、「琴線に触れる」「煮詰まる」「情けは人のためならず」「うがった見方をする」「奇特」の五語である。一般的に、「意味の向上よりも意味の悪化がよく起こる」ともいわれる (上述、「2.1 意味の変化」、「2.1.7 トラウゴット/ダッシ

²⁶ これらの反意 (反義) 併存性を示す二字漢語については、体型的に分類・考察を行えば、興味深い結果が得られるとみられる。今後の課題としたい。

ヤー (2019)」、「2.1.7.9 意味変化の傾向 (ブレル)」)。日本語においても、意味の悪化を示す事例が比較的多いようである。

さらに、いわゆる慣用的な表現、および、ふだんあまり接しない漢語等に意味の取り違いが多く生じている傾向がみられるようである。慣用表現の一例として、「鳥肌が立つ」について試みる。

「鳥肌が立つ」というのは、本来、寒さから身を守るための人間の生理的反応である。しかし、激しい恐怖に直面したときのみならず、非常に感動したときにも「鳥肌が立つ」という事実がある。したがって、身体的経験により上記の派生義、「感動して、肌がぶつぶつになる」という意味が派生してくるのも当然の理であるともいえる。ただし、「激しい恐怖に直面したとき」も、「非常に感動したとき」も、「何らかの理由により激しく心が揺さぶられている状態」という点においては同じであるということに注目しておきたい。これはつまり、松中完二 (2002) のいう「共通の意味的中核部分」となろう。ここで、「鳥肌が立つ」は、「やばい (第7章)」と非常に似た性質を持つ語といえることがわかる。両者は、マイナス評価からプラス評価への移行という点においても共通項がある。したがって、「鳥肌が立つ」という語句は、「やばい」の反義併存性を理解する上で大きな鍵になると考えられる。

上記、文化庁『国語に関する世論調査』の例をみてもわかるように、ある語 (語句) が時の変遷とともに反義併存性を示すようになるということが普遍的な言語現象としてしばしばみられるようである。慣用的な表現や難解な漢語は古典出自のものが多く、一見 (あるいは一聴) したところ何を言わんとするかよくわからないものもある。結果として解釈が個々人の任意に委ねられてしまうといったことになる。この点が反義併存性を誘発する一要因ともいえそうである。

2.6.4 「反義併存」の定義と解釈

上述、「2.6.2『現代言語学辞典』(1988)」における、「反意併存 (ambivalence)」の定義は、「一つの語の中に相反する二つの意味が共存」とある。示された例からも、比較的幅の広い解釈を取っているようである。例えば、「2.6.2 (同上)」、①のフランス語の例、“hôte” (客/主人) 等をも、 「客」と「主人」の関係性は、必ずしも厳格な意味で対立性をみせる反義 (反意) とは言い切れないとみられる。本稿においては、「反義 (反意) 併存」の

定義について、上述「2.6.2『現代言語学辞典』(1988)」のそれを援用する。すなわち、「一つの語の中に反義的な二つ以上の意味が共存すること」としておく。

一方、『言語学大辞典 第6巻 述語編』(1996)においては、「二義性(英 bisemy)」の項目の下位分類として「反意併存(ambivalence)」の記述がみられる。ここでは、「二義性」の定義を「多義性の特殊の場合で、ある辞項(*ママ)が、使用に不都合を生じるほど二極に分化した意味をもつに至った状態」としている。つまり、「二義性のさらに極端な場合」として、「反意併存」が取り上げられている。個々の関係性は「多義性>二義性>反意併存性」、つまり、多義性が二義性を包摂、二義性が反意併存性を包摂といった関係性となる。端的に図示すると、以下のようになる。

図表 2.3 : 『言語学大辞典』における多義性・二義性・反意併存性の関係性

多義性	二義性	反意併存性
-----	-----	-------

ここでは、「反意併存」が「ひとつの語が正反対な意味をもつ」とされている。「反対」という語をどのように捉えるべきかという観点は別としても、かなり厳格な意味で「反意併存」を捉えているようである。

なお、「反意併存」の位置付けについて、『現代言語学辞典』(1988)および、『言語学大辞典』(1996)、両者ともに、「反意併存」を「多義の一形態」としている。つまり、「多義性」と「反義(反意)併存性」は、表裏一体の関係にあるといえよう。

次に、本稿においては、「反意併存」という用語について、他の学術用語、例えば、「類義」「多義」「反義」等との整合性を考慮し、「反意」を「反義」と読み替え、「反義併存」という用語を標準とする。なお、「反意併存」と「反義併存」の概念は、同様のものと捉える。本稿においては、基本的に、「反義」という語をある程度幅広く解釈する立場をとる。したがって、上述、『言語学大辞典』(1996)にあるように、「使用に不都合を生じるほど二極に分化(二義性)」「ひとつの語が正反対な意味をもつ」等の厳格な解釈は取らないこととする。

2.6.5 「反義併存」と「結構」「やばい」との関連性

「反義併存」の概念を各論にて扱う語「結構（第3章）」「やばい（第7章）」を基に考察してみる（以下、意味の詳細部分は捨象してある）。例えば、ある多義語 a に、二つの意味、x と y²⁷があると仮定する。このとき、a と x、あるいは a と y の関係は、類義の関係といえよう。以下、「結構」に当てはめてみる。

- ・「a 結構」が内包する、意味「x よい」／意味「y 十分」
- ・「x よい」と「y 十分」は、類義の関係。

ここで、意味 x と y の関係性をみてみると、通常であれば、語 a を媒介として類義の関係²⁸を示すものといえそうである。一方、以下の「やばい」の例をみてみる。

- ・「a やばい」が内包する、意味「x 危険・不都合」／意味「y よい」
- ・「x 危険・不都合（マイナス評価）」⇔「y よい（プラス評価）」（反義の関係）

上記の例のように、a という語の枠内で、意味 x と y が反義の関係性を示すことがしばしば起こりうる。本稿においては、上記先行資料等の記述を考慮した上で、このような事象を、「反義併存（性）」とみなす。なお、「反義併存（性）」は、一語内の複数の意味同士の関係性である。

さらに、ある語 a に対する意味 x・意味 y を各々独立の語として取り出せば、語 x と語 y の二語の反義関係といった見方もできる。つまり、俯瞰的視点からすれば、「反義併存（性）」という事象も、語と語の反義関係といった観点から捉え直すことも可能となる。

²⁷ 厳密に言えば、「意義素 x」「意義素 y」である。ただし煩雑なため、本稿では「意味」という用語を使う。

²⁸ 「x よい」と「y 十分」の関係も、「a 結構」という語を媒介として考えてみれば、類義関係とみられる。

2.7 表記

表記の表現性、および多様性については、各論において扱う語（「結構（第3章）」「大丈夫（4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）について関連性のある事象といえる。

2.7.1 佐竹秀雄（2000）

2.7.1.1 「表記」の表現性と特徴

佐竹秀雄（2000）「文字表記」²⁹、「二 表記の表現性」においては、日本語の表記の特徴についての考察を行っている。以下、主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①日本語の表記は複雑である。一例として、同じことばがさまざまな表記形で書かれることがあげられる。例えば、「ジュウブン」という語が「十分」「充分」「じゅうぶん」などと書かれる。これを表記のゆれと呼ぶ。

②ゆれが生じるのは、書き手の違いによるだけではない。同一の書き手であっても、表記形が異なることがある。表記のゆれは、同じ書き手においても、文脈・場面の違いによって生じる（*以下「表記のゆれ」の例、a, b）。

a: 私は自分の病気と闘いながら、同時に敵国の兵士とも戦わねばならなかった
→タタカウ相手（*対象）の違いに応じて「闘う」「戦う」を書き分ける。

b: 「このことは決して人に話すんじゃないよ。」—「ケッシテ話さないとも。」
→話し手の口調の違いを表記に表そうしている。つまり、話し手が強調して言ったことを、「ケッシテ」と表記することにより表現している。

③表記のゆれの存在は、語を表記する際に効率上の妨げになる。

④他方、表記形が一定されていないということは、それだけ表記の自由があるということである。つまり、表現者は、表記形の選択においても、表現力を発揮しうる。

⑤表記形の差異により、細かい意味や微妙なニュアンスの違い、口調などを反映させることが可能となる。それらは、表現（表記）者の手に委ねられる。

⑥表現（表記）者は、意味やニュアンスの差、口調などの表現を、表記形の選択に託

²⁹ 中村明編（2000）『別冊国文学・NO.53 現代日本語必携』所収。ここでは、「表記」についての概論的内容が示されている。

すことができる。つまり、表記がその機能としての表現の一部を担っている。

2.7.1.2 考察（各論にて扱う語との関連性）

以上を概観すると、まず上記①では「表記のゆれ」つまり、「同じことばがさまざまな表記形で書かれること」について述べる。これは本稿の各論にて扱う語の典型例に照らしてみると、「第3章」の「結構（けっこう）」、「第4章」の「大丈夫（だいじょうぶ）」、「第5章」の「適当（テキトー）」、「第6章」の「微妙（ビミョー）」、「第7章」の「やばい（ヤバイ／ヤバい）」等が挙げられる。ここでは、一例として、「第6章 微妙」の「微妙」と「ビミョー」の関係性について試みる。

カタカナ表記の「ビミョー」は、2002年に流行語とされた経緯がある（下述、「6.2.10 米川明彦（2019）」参照）。さらに、カタカナ表記「ビミョー」は、「言外には否定的ニュアンスがやや強い」ともある（下述、「6.2.6 稲増龍夫（2003）」参照）。通常の漢字表記の「微妙」は、『現代国語例解辞典 第五版』（2016）によると、「何とも言い表せないほど細かく複雑な意味や味わいがあること。」を意味する（下述、「6.4.1 現代の国語辞書 10種における「微妙」の意味記述の比較」、参照）。一方、「ビミョー」とカタカナ表記で用いる場合は、マイナス評価の意味合いが添加されたということが考えられる。これはつまり、上記⑤にあるように、「表記形の差異により、細かい意味や微妙なニュアンスの違い」を反映させた結果ということがいえよう。

筆者は、この「微妙」と「ビミョー」の関係は、無標と有標の関係にあると考える。つまり、漢字表記「微妙」が無標、カタカナ表記の「ビミョー」が有標になる。表現者は無標の「微妙」に対し、意識的³⁰に何らかの表現意図³¹を込め範囲を限定し特殊化したいために有標の「ビミョー」を使うといった意図があるといえよう。なお、表記の多様性については、下述、「2.7.2 笹原宏之（2017）」にて概観する。

³⁰ 「意識的」としたが、実際の言語活動においては無意識の領域で表現形式を選択している場合も当然ありうる。

³¹ ここではマイナス評価の意味合いを添加するということになるが、上記②bの例のように、単純に語を強調したいという場合もあろう。つまり語をどのような表現形式で示すのかといったことは表現者の任意によるところが大きいと考えられる。

2.7.2 笹原宏之（2017）

2.7.2.1 表記のバリエーション（多様性）

ここでは、「表記のバリエーション（多様性）」について触れる。笹原宏之（2017）「表記の多様化」³²、「3. 表記の多様性」から、以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①「ひらがな、カタカナ、漢字」という表記は、身を以て文字種を体現し、しっくり感じさせる機能を発揮する。表記が、語のニュアンスを変えることもまれではない。
- ②「まつげ まゆげ はなげ すねげ」では、「け（げ）」に不統一を生じる人が少なくない。
- ③「毛」が汚い印象を与えることがあるとの意見が間々あり、このように漢字は、カタカナ以上にマイナスにもプラスにも振れやすい（以下略）。
- ④文字種による語の表記感の違いは、「好き すき スキ キライ きらい 嫌い」のようなケースにも立ち現れてくる。
- ⑤表記がイメージを超えた含意的な語義にまで変化をもたらすこともある。

2.7.2.2 考察（各論にて扱う語との関連性）

以上、上記①「表記が、ニュアンスを変える」、上記⑤「表記がイメージを超えた含意的な語義にまで変化をもたらす」等を考慮すれば、「微妙」におけるカタカナ表記「ビミョー」についても、表記の違いが意味に何らかの影響を及ぼすということが示唆される。

さらに、上記③では、「漢字は、カタカナ以上にマイナスにもプラスにも振れやすい」とある。これに関連して、二字の漢語についてカタカナ表記がなされる場合、若干マイナス評価を伴って使われる傾向も一部みられる。例えば、本稿「第5章」における「適当」に対するカタカナ表記「テキトー」が挙げられる（下述、「5.7 「適当」の実例」、「5.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」、「5.7.5.2 検索語：「テキトー」」等も参照）。

笹原は、「表記の多様化」、「5. 応用」では、日本社会において、文字・表記の体系性と機能から醸しだされる文字感、表記感は様々に応用がなされていると述べる。例えば、「す

³² 『ことばと文字』編集委員会編（2017）『ことばと文字 8号』所収。

し／sushi／寿司／鮭」等を挙げ、高級感は漢字の表記に意識されがちであるとしている³³。これは、行動経済学・マーケティングとも関わる領域で、例えば、「さき原」は小料理屋に、「笹はら」は料亭のイメージをもちうるという。このような手法は、「抜き漢字」と呼びうるもので、「ラク」「テキトー」「ヒロシマ」「ニクい」「せんせい」などに使われているともいう。ここでは一例として「テキトー」も挙げられている（同様に、下述、「5.7「適当」の実例」、「5.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」、「5.7.5.2 検索語：「テキトー」も参照）。笹原はここで「ニクい」という例も挙げているが、それに照らせば、下述、「第7章 やばい」における「やばい」の異表記形「ヤバい」も、「抜き漢字」というカテゴリーに類似したものとみられる（下述、「7.9「やばい」の実例」、「7.9.4 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」、「7.9.4.3 検索語「ヤバい」も参照）。

2.7.3 佐藤亨（1993）

2.7.3.1 漢語におけるカタカナ表記の効果

佐藤亨（1993）「日本語の語彙体系と漢語・漢字」では、漢語のカタカナ表記の効果についての記述がみられる。以下に、一部を抜粋した。

本来は漢字あるいは漢語を宛てるべきところに、カタカナでもって表記する場合がみられるようになってきた。特定の文脈の中ではあるが、たとえば、オドロキ（驚き）、ヒャクショウ（百姓）、モーレッツ（猛烈）などが指摘できるからである。この傾向は、特に、強調しようとする場面で多用されるようである。

2.7.3.2 考察（各論にて扱う語との関連性）

佐藤は、上記のような傾向は、今後、増加すると考えられ、注目しなければならないとも述べる。以上の論に当てはめると、例えば、カタカナ表記の「ビミョー」（下述、「第6

³³ ここでは日本社会における事例が挙げられているが、筆者は台湾、台北の台北駅地下の通路にて、「旅行的能量来源“DAIJOUBU ENERGY DRINK”大丈夫 元気補給飲品」という商品の大広告を見たことがある（2017/08 時点）。台湾においては、「健やかで元気だ」「しっかりしていて問題がない」（下述、「4.2.2 砂川有里子（2005）」）といった日本語における「大丈夫」の意味がある程度受け入れられているとみられる（下述、「第四章 大丈夫」も参照）。日本語のアルファベット表記という現象も、興味深い考察対象となりうる。

章「微妙」参照)も、強調としての側面も持つことになると考えられる。

漢語のカタカナ表記というのは、カタカナ表記によって強調するだけでなく、「本来の漢語とは多少違う主旨で使う」という書き手の読み手に対する意思の表明（アピール）とも考えられる。さらに、多義性の漢語がカタカナ表記で使われる場合、複数ある語義の中から任意の一つを取り出し際立たせるといった効果を持つといったことも考えられる。これについては、「フォーカス（際立たせ）効果」としておく。例えば、下述、「第6章 微妙」における漢字表記「微妙」とカタカナ表記「ビミョー」の関係性を挙げてみる。つまり、「ビミョー」とカタカナで表記することにより、多義性の漢語「微妙」が持つ複数の語義の中から、マイナス評価性の語義（どちらかといえば良くない）の部分のみを任意で取り出し際立たせるといった効果を持つものといえよう。なお、上記「フォーカス（際立たせ）効果」については、本稿で扱った漢語系の語全て（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」）が密接な関連を持つ³⁴。

表記の多様性が語の意味に与える影響については、本稿のテーマである反義併存性と密接に関わりのある事例と考えられる。

³⁴ 上記の趣旨は、「漢語におけるカタカナ表記の効果」である。しかし、カタカナ表記による「フォーカス（際立たせ）効果」は、「やばい 第7章」における、「やばい」のカタカナ表記「ヤバイ」「ヤバい」にも当てはまるといえよう。

第3章 結構

3.1 概論

「結構」という語は、漢語由来のものと考えられる。中国古典籍に典拠を求めると、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「經術深則高才者洞達，鹵鈍者醒悟。文梓乾云，而不可名臺榭者，未加班輪之結構也」（「魏晉南北朝」、『抱朴子』、[晉] 300-343年、「勸學」8）が挙げられる（下述、「3.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）」、「3.7.9.1 検索語：「結構」、資料番号“1”参照）。

本来、「結構」は、「むすびかまふること。組み立つること」（『言海』（1889-91：明治 22~24）、「3.3.3 近代の 10 種における「結構」の意味記述の比較」参照）、つまり、建築物や文章等のつくり・構成・組み立て等を表したとみられる。しかし、目前にあるその壮麗な建築物の結構（*構成・つくり）が見事であるという意味で、「結構」そのものに「見事な・素晴らしい」という形容的意味が生じたという（下述、「3.2.3 佐藤喜代治（1979）」参照）。

なお、上記に関連して、中国古典籍の資料を以下に参照してみる（下線は筆者による）。

海中有金臺，出水百丈，結構巧麗，窮盡神工，橫光巖渚，竦曜星漢。（《隋唐》《藝文類聚》[唐] 624 年《卷六十二》《居處部二》《臺》23《幽明錄》／下述、「3.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）」、「3.7.9.1 検索語：「結構」、資料番号“5”）

上記の例では、「結構巧麗」といった表現がみられる。また、日本における近代の資料からも、「結構壯麗」³⁵、「結構莊嚴」³⁶といった表現がみられる。これらの四字熟語は、「結構」にプラス評価性の「巧麗」「壯麗」「莊嚴」が伴ったものである。当初、「結構壯麗」、「結構莊嚴」といった表現を用いていたが、語の経済性の作用も働き、しだいに後続の二字が省略され、「結構」のみとなる。それと同時に、隣接性（メトニミー：換喩）的作用も働き「巧麗」「壯麗」「莊嚴」といった賞讃の意味が「結構」に入り込み、結果として、「結構」がプラス評価性の賞讃の意味を持つに至ったという考え方もできよう。

さらに、「結構」は、大陸から日本に移入された後に大きく多義性を獲得した語である

³⁵ 下述、「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」、「3.7.2.2 検索語：「結構」（手偏の「構」）～」、「資料番号“8”」、「国民之友 60M 国民 1887_06002」より抜粋。

³⁶ 下述、「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」、「3.7.2.1 検索語：「結構」～」、「資料番号“51”」、「太陽 60M 太陽 1909_01024」より抜粋。

ともいえる。ここで、「結構」の語義を列挙してみると、「建物・文章等の組み立て」「善美を尽くして作られたもの」「見事な・素晴らしい」「広大な・大きい」「よい・美しい」「おもしろい」「おとなしい・しとやか・好人物」「用意・したく」「企む・企てる」「不足のない・満足」「十分であること」「ほどほどに満足」「極端ではないがかなりの程度」「ほどほど・まあまあの程度」「普通以上に・割と」等々、多種多様な意味を持つ（下述、「3.3.3 近代の辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較」「3.4.1 現代の辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較」ほか参照）。「結構」は、漢語出自の語で、日本において多義化した語の典型といえる。

続いて、現代語の「結構」における特徴的な用法として、上記の「十分であること」から発展したとみられる「婉曲に断る場合」に用いる「結構」の用法がある（『現代国語例解辞典 第五版』（2016）より／「3.4.1 現代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較」参照）。ただし、この「結構（です）」の用法は、場面・状況次第で、“Yes”とも“No”とも解釈できてしまうという、反義併存性を示す語であるともいえる。伊藤由美（2017）では、この「依頼／誘い」を「断る／辞退する／遠慮する」という状況で使われる「結構」や「大丈夫」を「ダブルミーニングの「結構（です）」「大丈夫（です）」としている（下述、「4.2.5 伊藤由美（2017）」参照）。

ここで、上記「ダブルミーニングの「結構（です）」について、典型例を挙げて検討してみる。芳賀綏・佐々木瑞枝・門倉正美（1996）『あいまい語辞典』のオモテ表紙には、挿絵（サラリーマン風の三人）とともに以下のようなやりとりが描写されている（一部編集）。

（*A氏が同僚とみられるB氏・C氏に対して提案）

A氏：「今日 一杯どう？」 → B氏：「結構ですネ」

→ C氏：「結構です」

上記、B氏・C氏の返答について文字情報のみで判断しようとする、今ひとつはっきりとしない³⁷。しかし、オモテ表紙の挿絵を見ると、B氏はA氏に向き合った状態で、にこやかな表情で「結構ですネ」と応対している。一方、C氏は、A氏に直面せずそっぽを向いた状態で「結構です」と応対している。つまり、相手からの勧誘・提案に対して、「結構です」と応対する場合、端的にいえば、“Yes”あるいは“No”の相反する二通りの解釈

³⁷ 実際、日本語母語話者の場合、語末の終助詞「ね（同意・確認・意志）」の機能によって、B氏が誘いに応じたことがわかるが、ここでは、その点については捨象する。

ができることになる。さらに、“Yes”あるいは“No”の判断は、場面・文脈³⁸に依存することとなる。また、現実の日常生活においては、このような表現が比較的多用される傾向もみられる。このように、「結構」は、反義併存的性質を持った語といえそうである。

『明鏡国語辞典 第二版』(2010) 別冊、『明鏡 問題なことば索引』、「3. 気になることば索引」には、「結構」の見出しがみられ、「質問に対して「結構です」と答えるときの注意点(本編解説参照せよ)」とある。ここから、「結構(です)」が、いわゆる「問題なことば」「気になることば」の一つとして一般的に認識されていることがわかる。さらに、『明鏡国語辞典 第二版』(2010)、「結構」の項目をみると、大きく、①名詞／②形容動詞／③副詞と三分類される。以下の表に、「結構」の項目、②形容動詞についてのみまとめた。

図表 3.1: 『明鏡国語辞典 第二版』「結構」②形容動詞における意味記述・例・解説

意味記述	例	解説
①すぐれていて難点がないさま。	「結構なお住まいですね」	—
②それで満足なさま。さしつかえないさま。	a 「Mサイズで結構です」 b 「点検が終われば帰って結構」 c 「一杯どうかって？それは結構ですね」	・「それによって満足がいく状態になる」ことを表す。
③それ以上は不要であるさま。	「もう、お酒は結構です」	・「現状に満足である(よって、それは不要である)」ことを表す。

さらに、上記、『明鏡国語辞典 第二版』、語釈末の「表現」欄には、以下の記述がみられる。

「一杯どうですか？」のような提案に対して、単に「結構です」というと、② ③のどちらの意なのかかわかりにくい。②の場合は「(はい、) 結構ですね」などと、③の場合は「もう結構です(よ)」「いや、結構です」などと答えると意味が明確になる。

以上を概観すると、上述、『あいまい語辞典』のB氏の返答「結構ですネ」は、『明鏡国語辞典 第二版』の「②それで満足なさま。さしつかえないさま。」に該当し、一方、C氏の返答「結構です」は、同じく「③それ以上は不要であるさま。」に該当することがわかる。ただし、B氏の返答「結構ですネ」は、あくまで、「それで満足・さしつかえない」のであり、はっきりとした“Yes”の意思表示を示しているわけではない。一方、C氏の返答「結構です」も、あくまで、「それ以上は不要」なのであって、はっきりとした“No”の意思

³⁸ 加えて、ジェスチャー・声色等の非言語的要素も含まれる。

表示を示しているわけではない。つまり、相手からの勧誘・提案に対する「結構（です）」という表現は、他者へ配慮しつつ婉曲的に“Yes”あるいは“No”の意思表示をそれとなく示す（ほのめかす）という点が肝要であろう。伝統的な日本社会においては、あからさまに自らの態度を表明することは摂理に反することとみなされてきた。おそらく、このような社会的背景も、「結構（です）」という表現が比較的多用される一要因としてあるのではと考えられる。

ちなみに、上記「結構（です）」と類似の表現として、「大丈夫（です）」が挙げられる。近年において、この「大丈夫（です）」は、若年層を中心に「結構（です）」よりむしろ好まれる傾向がみられる（下述、「第4章 大丈夫」、「4.2.5 伊藤由美（2017）」、「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」」等も参照）。

なお、上記「結構（です）」のような表現については、当然のことながら日本語母語話者でさえミスコミュニケーションを誘発する要因になることがしばしばある。一方、非日本語母語話者（主に第二言語として日本語を使用する生活者）の場合はどうであろうか。セイン・長尾（2012）に、上記の「結構（です）」に関連した記述がみられる。以下に主要部分を抜粋した（一部編集・補足）。

（*セイン氏が初来日の際、空港で、重い荷物を運んでいるおばあさんを見て）

セイン氏： ボクが押してあげますよ！

おばあさん： ありがとうございます “結構です”

セイン氏： （OK なんだな… と解釈し、意気揚々と荷物を運び始める）

おばあさん： ドロボーッッッ！ 誰かあの外国人をつかまえて～～！！

その後、セイン氏は、結局空港関係者に、「日本語の『結構です』は「イエス」と「ノー」と両方あるんだよ³⁹と諭され、「そんなのナンセンス！ どーやって判断するのさ！」と納得できず憤慨したという顛末であった。

日本語非母語話者にとっては、このような日本語の現象についてとまどう傾向がみられるようである。これはセイン・長尾（2012）にある、「日本語はちょっとヘンだ。」「日本語はミステリアスだ。」という心象形成の一要因ともなるようである⁴⁰。

³⁹ 実際に「結構」という語そのものに「ノー」という意味があるわけではないというのが筆者の解釈である。聞き手のほうが話し手の意図をくみ取った上で、暗黙の合意の結果として「ノー」が成立するというべきかもしれない。

⁴⁰ 「日本語」を「日本人」と入れ替えても同趣旨であろう。つまり、日本語を話す日本人

以上、「結構」の変遷と反義併存的な側面について触れた。次節以降では、「結構」について共時的および通時的観点から先行研究・辞書等の記述・実例資料を基として総合的に考察していく。

3.2 先行研究および資料

本節においては、「結構」に関連した先行研究および資料を取り上げ、まとめた上で論点を整理し考察する。

3.2.1 山田俊雄（1975）

3.2.1.1 「結構」の意味の推移

山田俊雄は、「漢語研究上の一問題—かな書きの場合と意味の推移の場合と—」「二「結構」の意味の推移の基本線」において、「結構」の意味の移り変わりについて、江戸期・明治期の用例を参照した上で考察を行っている。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①二葉亭四迷の小説『浮雲』に、「御結構」という語がみられる。これは他の一般的な「結構」の意味とは異なる用例のようである。
- ②松平圓次郎ほか（1909：明治42）『俗語辞海』、「結構」の項目②に、「役や位につき、または、昇り進みなぞすること。」とある⁴¹。「御結構」の「結構」は、その意味に対応する。
- ③明治以後の辞書（『俗語辞海』『大言海』を除く）における「結構」の取り扱いが必ずしも当を得ていない。
- ④ヘボン『和英語林集成』、「初版」「再版」「第三版」を比較すると、「第三版」において、「結構」の本来の意味と考えられる“The construction, architecture”の記述が加えられた。
- ⑤ブリנקリーの辞書“An unabridged Japanese-English dictionary”⁴²においては、サ変

（日本語母語話者）が、「ちょっとヘン」あるいは「ミステリアス」との評価を受けがちであるということも念頭に置く必要がある。

⁴¹ 下述、「3.3.3 近代の国語辞書10種における「結構」～」参照。

⁴² この辞書は、「ブリנקリー（Francis Brinkley）・南條文雄・岩崎行親編（1896：明治29）

動詞としての「結構」の記述もみられる。

⑥しかし、ヘボン／ブリンクリーの辞書ともに、「昇進」や「榮進」についての意味・用法はみられない。

⑦『三卷本色葉字類抄黒川本』には、建築土木に関わる語として、「結構 伎芸部／ケッコウ／工匠分」とある。

⑧『平家物語』にみられる「結構」は、「構造物・文章等を構築する」といった文脈で使われることが多いが、限定はできない。「思想・事業計画（観念上のもの）を操作する」⁴³という文脈も考えられる。

⑨『沙石集』『愚管抄』、中世の御伽草子等の用例をみると、サ変動詞としての「結構」は、本来の意味と考えられる“construct”からやや外れ、“administer”“arrange”“manage”の方面にも拡大している。

⑩今日（*1970年代半ば）の「結構です」の古い形に「結構なり」が凝せられ、「結構す」の系列に連なるとするのは不都合である。しかし、近代の「結構」「御結構」が動詞素「結構す」とは無関係であると断定はできない。動詞素の用法（「結構す」）のほう日本語の中における用法として先行していたからである。

⑪動詞素の用法（「結構す」）と副詞素（もしくは形容動詞素）の用法（「結構に／な／なり／だ」）は無条件に同一とすることはできない。しかし、「結構す」から「結構なり」への転移の経過は推定される。

⑫本来、動詞素の用法（「結構す」）は、「行為者が何かを心づもりする」「心に含んで行動する」という一面を持った。つまり、「計画（用意／準備／奔走）する」等の行為に含まれる「心づかい」を表すものであった。

⑬「御結構」は、下位者にとって恩恵であり、利益を伴った上位者の心づもり・とりはからい・心づかいである。

⑭「結構」は、本来の意味（「組み立て」／“construction”）については、解説を要した（やや高踏的）レベルにあった。一方、他の場合（*の意味）は、一般に解説を要しない日用レベルにあった（*ヘボン『和英語林集成』、「初版」「再版」に“construction”はみられず、「第三版」で増補された）。

『和英大辞典』三省堂」のことを指すとみられる。筆者が内容を照合し確認した。

⁴³ この時期にすでにメタファー的な転換があったということか。これは、「何らかのもの（事物・概念）を組み立てること」が基本的意味といえるだろう。「企む・企てる」等の意味にも通じるものであろう。

3.2.1.2 考察（婉曲な断りとしての「結構」）

以上の山田の研究を要約すると、「結構」には動詞素の用法（「結構す」）と副詞素（もしくは形容動詞素）の用法（「結構なり」）があり、「結構す」から「結構なり」への転移の経過が推定され、意味については、本来の意味（「組み立て」「construction」）は、やや高踏的レベルにあったが、他の場合の意味は、一般に解説を要しない日用レベルにあったということになる。

山田の論に従えば、明治期にはすでに「結構」の本来の意味（組み立て・構築）は、一般的に使われるものではなかったとみられる。一方、それ以外の意味（優れてよい／昇進／十分）等は、日用レベルで使われていたようである。しかし、冒頭にて触れた「昇進」という意味の「御結構」については、現代においては使われない意味である。これは、「昇進／任官／光栄」等、他者の榮譽について直接触れず「結構（優れてよいこと）」を使って間接的に表現するというメタファー的な転換から派生した意味であろう⁴⁴。

ここで、婉曲的な断りの「結構」との関連について考えてみる。上記山田（1975）においても引用されている（本文 p.8）、『俗語辞海』、「結構」（名詞の項目）③には、「みちたりて充分なこと。不足のないこと。充分・満足」とある。例文として「これだけあれば、けっこうだ。（この量を有すれば充分なり）」とある。これは、字義的に解釈すれば、「（自分については）十分ある。」となるが、真意は、「（自分にとっては）十分ある。（だから、もういらぬ。）」となる。断りのことばを一切いわないにもかかわらず、結果的に他者からの提案を婉曲に断るといった解釈ができる。『俗語辞海』の出版が1909（明治42）年であるから、少なくとも明治の後期にはこのような現代にもつながる用法が日常レベルで見られたということが推測できる。

しかし、現代の婉曲的な断りの「結構」はやや事情が異なる。上記の例文には、「これだけあれば、けっこうだ。（この量を有すれば充分なり）」と何らかの具体的な物の「量」に関する発話ということになる⁴⁵。一方、現代の典型的な「結構（です）」についてみると、話し手が提示した何らかのサービス（具体的な物である場合もある）に対して、「（自分にとって、そのサービスがなくても）十分です（だから、必要ありません）」といった解釈に

⁴⁴ 「2.1.6 靑山洋介（2014）」の論を援用すれば、「シネクドキによって表現に婉曲性が生じるケース」に当てはまるともいえよう（上述、「2.1.6.2 「おめでた」と「結構」のシネクドキ的考察」も参照）。

⁴⁵ この用法は、現代にもみられる。

なる。つまり、話題の主が具体的な物から抽象的な形のないサービスへと移行した、すなわち比喩的転換が作用した例とも考えられる。

3.2.2 鈴木彦四郎 (1976)

3.2.2.1 「日光」と「結構」

朝日新聞東京夕刊 (1976/11/12, p.7) の記事、「研究ノート 日光を見ずに結構… 鈴木彦四郎」において、「結構」についての記述がみられた。ここでは、「結構」が、本来の意味と考えられる「構造・建築物」から、「すばらしい・美しい」へといかにして移行したのかという点についての指摘がある。

「結構」の意味変化については、名詞（つまり上記「構造・建築物」）から形容動詞（上記「すばらしい・美しい」）への移行という点が重要な鍵となるが、鈴木論はこれについての有効なヒントを与えてくれる。なお、鈴木彦四郎については、記事末尾に、「宇都宮大講師・英学史」とある。まず、以下に、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

①イザベラ・バード⁴⁶（イギリス人旅行家・紀行作家）は、著作『日本奥地紀行』で、日光へ出立時、「日光を見たことのない者は、“Kekko”（すばらしい、快い、美しい）という言葉を使ってはならない」という諺に言及した。日光滞在中、「私は日光に九日間も滞在したから、「けっこう！」という言葉を使う資格がある」と述べ、日光廟の「結構の美」について詳述した。

②平文先生（*ヘボン）著（1886：明治 19）『和英語林集成 第三版』では、「結構」を「構造、建築」⁴⁷と定義し、「家の結構は美麗を極める」と例を示す。さらに、「口語体」⁴⁸等の訳語を与え、「結構な着物、お天気」等の例も挙げている。以上により、上記①の諺は、「日光東照宮の結構の美を見ないうちは、建築の美を語る（「すばらし

⁴⁶ フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』、「イザベラ・バード」によると、「イザベラ・ルーシー・バード (Isabella Lucy Bird, 1831 (天保 2) 年 10 月 15 日～1904 (明治 37) 年 10 月 7 日) は、19 世紀の大英帝国の旅行家、探検家、紀行作家、写真家、ナチュラリスト。」とある。『日本奥地紀行』については、「1878 (明治 11) 年 6 月から 9 月にかけて『日本奥地紀行』は執筆され、1880 年 (明治 13 年) に “Unbeaten Tracks in Japan” (直訳すると「日本における人跡未踏の道) として刊行された。」とある。

⁴⁷ 『和英語林集成 第三版』における実際の意味記述は、“The construction, architecture” である。なお、この記述は『初版』『再版』にはみられず、『第三版』において初出する。

⁴⁸ 『和英語林集成』における実際の表記は、“(coll.)” である。これは、“colloquial” つまり「話しことば」といった意味となる（下述、「3.3.1 『和英語林集成』～」、参照）。

い！」と言う)資格はない」と解される。さらに、「東照宮の結構な美麗を極める(※この文、ママ:通常「結構は」か)」等が次第に短縮されて、遂に「結構=美麗」となり、「すばらしい、美しい」に至ったものと推定される。

③上記①の諺の原型とみられるものを、猪狩史山⁴⁹著(1937:昭和12)『日本中学校五十年史』から引用する。「先生は日光廟を見ないで帰られまして日光を観なければ結構と云はれない程の日光廟も…」—「“日光に往いて結構を見ず”の気魄と決意…」(大町桂月・猪狩史山共著『杉浦重剛先生』⁵⁰)。

④日本中学校(現、日本学園高校)は、1885(明治18)年に東京英語学校として発足した私学の名門であるが、1892(明治25)年4月、大火で焼失。上記③の引用文は、同年8月、杉浦校長が寄付金相談の件で、日光御用邸に佐々木高行侯爵訪問の際、初めての日光行きにもかかわらず、急ぎ帰京した時の描写である。

3.2.2.2 考察(「日光/結構」の諺から)

以上を概観すると、まず、①では「結構」の諺について触れるが、正確な諺の文言が出てこない。そこで、「日光/結構」の諺について、干河岸貫一(*ひがし かんいち)(1901:明治34)『俗諺辞林』、藤井乙男編(1910:明治43)『諺語大辞典』、および、上田万年・松井簡治(1919:大正8)『大日本国語辞典 第四巻』からの記述を以下の表に示し、比較・対照してみた(網かけは筆者による)。

図表 3.2: 近代の3種の辞書における「日光/結構」の諺についての意味記述

辞書名/発行年	見出し	意味記述	備考
俗諺辞林(1901)	日光を観ぬうちは結構といふな	本邦に於て結構壯麗にして、金碧煌耀、彫鏤の精緻を極めたるもの、日光なる東照廟に若くものなし、故にこの諺あり、(*読点で終わる。)	
諺語大辞典(1910)	日光ヲ拜マヌウチハ結構トイフナ	日光ヲ見ズバ奇麗ヲ語ルナともいう。See Naples and then die.— <i>Ital.</i>	・「結構」=「奇麗」という解釈。西洋の諺「ナポリを見て死ね」を類義表現として挙げる。
大日本国語辞典(1919)	(諺)日光を拜まぬ内は結構と言うな	下野国日光の廟の結構の壯麗なるを見ざるものは、建築の美を語る資格なし。	・「日光(につくわう)」の項目内、末尾に記載。

⁴⁹ 猪狩史山は、猪狩又蔵のことであり、当時の日本中学校の校長である。なお、念のため原典にあたったところ、『日本中学校五十年史』(1937:昭和12)、奥付には、発行者および発行所が日本中学校とあるのみで、「猪狩史山著」とはなかった。

⁵⁰ 発行年の記載がないが、原典によると、1924(大正13)年の出版である。

続いて、下述、「3.7「結構」の実例」、「3.7.1 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」から、CHJにおける「日光」関連の「結構（結構）」の実例（「3.7.2.2 検索語：「結構」（手偏の「構）」）、資料番号“44”，“51”（1895：明治28）／「3.7.2.1 検索語：「結構」、資料番号“79”，“80”（1910：明治43）を以下の表に示し、比較・対照してみる（網かけは筆者による）。

図表 3.3：CHJ（日本語歴史コーパス）における「日光」関連の「結構（結構）」の実例

検索語	出典 出版年/ID	実例	備考
結構 （*手偏の「構」）	太陽 60M 太陽 1895_04003	諺に日光を見ずに結構といふなといふ日光に往べし、荘嚴の宏麗精細は目を驚かすと雖も、	・下述「3.7.2.2」の“44”から。「日光を見ずに結構といふな」という諺。
結構	太陽 60M 太陽 1909_01024	モザイツクと彫刻にて飾り、ゴシック式の建築、ビザンチン式の裝飾、結構荘嚴、得て形容し難い。	・下述「3.7.2.2」の“51”から。「結構荘嚴」という定型的表现。寺院等の「つくり/かまえ/造作」といった意味。
結構	尋常小学読本巻九 60T 小読 1910_25A27	是即ち有名なる神橋にして、「日光の結構。」こゝに始る。	・下述「3.7.2.1」の“79”から。「日光の結構」という定型表現。
結構	尋常小学読本巻九 60T 小読 1910_25A27	外國人の我が國に来る者亦必ずこゝに遊びて、日光の結構を賞せざるものなし。	・下述「3.7.2.1」の“80”から。「日光の結構」という定型表現。

以上を概観すると、「日光／結構」の諺は、「日光を見ずに結構といふな」、「日光を観ぬ（見ぬ）うちは結構といふな」、あるいは「日光を拜まぬ内は結構と言うな」と数種の形式があるとみられる。この諺における「結構」は、「すばらしい／よい／美しい」という意味で使われているとみられるため、品詞は形容動詞（語幹）と解釈できる。一方、上記の『俗諺辞林』および『大日本国語辞典 第四巻』、意味記述の欄をみると、「結構（の）壮麗」とあるので、品詞は名詞と解釈でき、「つくり／かまえ」といった意味で使われているとみられる。次に「尋常小学読本巻九」の二例をみると、「日光の結構」とあり、同じく名詞で、「つくり／かまえ」という意味で使われているとみられる。以上を考慮すると、上記「日光／結構」の諺は、「日光（の結構）を見ずに結構というな」といった解釈ができそうである。

「結構」の語義変化について、上記の鈴木②によると、「「東照宮の結構な（*ママ：「は」であろう）美麗を極める」等が次第に短縮されて、遂に「結構＝美麗」となり、「すばらしい、美しい」に至ったものと推定される」とあり、「構造、建築」という意味から「すばらしい、美しい」に至った原因について、「短縮」という説明をしている。

3.2.2.3 考察（意味変化の原因）

一方、筆者はこの変化の原因について、二つの可能性を示したい。一つめは、認知言語学における比喩表現の一つ、メトニミー（換喩）的な考え方である。初山洋介（2009）によると、メトニミー（換喩）とは、二つの事物の外界における隣接性、さらに、広く二つの事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表す比喩のこと、とある。

ここで、「結構」について考察してみる。まず、上記3種の辞書記述からは、「結構壮麗にして（『俗諺辞林』）」「結構の壮麗なる（『諺語大辞典』）」という表現がみられる。さらに、上記 CHJ の実例からは、「諺に日光を見ずに結構といふなといふ日光に往べし、莊嚴の宏麗精細は目を驚かすと雖も、」（『太陽』）という表現がみられる。つまり、「結構」という語を用いる時には、たいてい「壮麗」「莊嚴」「宏麗」「精緻」等のプラス評価性の語がセットとして現れてくる（共起表現）ということに着目したい。「結構壮麗」「結構の壮麗なる」「壮麗な結構」「結構莊嚴」等々の表現が多用されるうちに、ついには、「結構」と発するのみで「(壮麗／莊嚴／すばらしい／よい)」といった隣接の概念をも表すようになった。すなわちメトニミー（換喩）的解釈が可能となる。

もう一つは、意味変化の原因の一つ、言語的原因によるものである。『現代言語学辞典』（1988）、「semantic change 「意味変化」」の項目では、意味変化の原因として、①「歴史的原因」、②「言語的原因」、③「社会的要因」、④「心理的原因」の四つが挙げられる。うち、②「言語的原因」をみると、「修飾語の意味が被修飾語に吸収されたり、その逆のことが起こる場合」とある。以下に一例を挙げた（一部抜粋、編集）。

Holy Bible → Bible（ギリシア語“biblos”は「本」の意味）

Persicum pomum（ペルシアのリンゴ）→ peach（桃）（「リンゴ」が省略され、「ペルシアの」という修飾語が「桃」を指すようになった）

ここで、「結構」について考察すると、上述、メトニミー（換喩）の例で挙げた「結構壮麗にして（『俗諺辞林』）」「結構の壮麗なる（『諺語大辞典』）」「結構莊嚴」等々の表現が慣用的に多用されるうちに、プラス評価性の概念（壮麗／莊嚴／すばらしい／よい／美しい）が「結構」そのものに吸収されたという考え方である。つまり、この時点において、「結構」が、「(壮麗な／莊嚴な／すばらしい／よい／美しい) つくり／かまえ」といった意味を表すこととなる。ただし、この考え方は、一方の意味を吸収して、意味領域が広がる

ことになるため、結果的に意味の拡大といった解釈もできそうである。

ちなみに、トラウゴット／ダッシャー (2019) によると、意味の拡大 (縮小／向上／悪化) のほとんどの例はメトニミー (換喩) 的な変化を伴うといった指摘もある (上述、「2.1.7 トラウゴット／ダッシャー (2019)」、「2.1.7.1 意味変化の六分類 (ブレル)」、⑥e 参照)。「結構」の意味変化についてみれば、決定的な一要因が作用しているわけではないとみられる。鈴木の上記②における「短縮」、「メトニミー (換喩) 的な変化」、あるいは「言語的原因による変化」等々が複合的に作用したとみるほうが現実的な解釈といえるであろう。

3.2.3 森田良行 (1977, 1989)

3.2.3.1 「結構 (けっこう)」の性質

森田良行、『基礎日本語—意味と使い方』(1977)、『基礎日本語辞典』(1989)⁵¹において、「結構」についての記述がみられた。まず、以下に、主要部分についてまとめた (便宜上番号をつけた／例の下線は筆者による)。なお、本文中では、ひらがな表記の「けっこう」が使われている。

①「けっこう」は、予想した程度より、はるかに上回っている場合に用いる。評価は弱いプラスである。「結構」(*これのみ漢字表記)は、ある程度の可能性は予想していたが、その程度が予想外に高かった場合に用いる。

例:「けっこういけるじゃないか」「子供でもけっこう役に立つ」

「平日だというのに、けっこう客の入りはいい」

「あれでけっこう顔は売れている」「けっこう気をつけているんだよ」

②プラス評価の場面で多く使われる。

③低い予想に対し、実際ははるかに上回る状態である。完全とはいえないが十分満足な状態である。

例:「けっこう広い土地」「けっこう面白い」「今日はけっこう働いた」

④本来、「けっこう」は、「けっこうな生活」「けっこうなお庭」等、評価がプラスに作用する形容動詞である。そのため、ふつうマイナス評価の語とは結びつかない。

⁵¹『基礎日本語辞典』(1989)における「結構」の記述については、『基礎日本語—意味と使い方』(1977)とほぼ同様であった。

例：「けっこう狭い土地」「けっこうつまらない」「けっこうさぼった」

⑤しかし、プラス・マイナス双方に作用する例も多少はある。

例：「けっこう混んでるじゃないか／けっこう空いてるね」

「けっこう寒い／けっこう暖かい」「けっこう涼しい／けっこう暑い」

3.2.3.2 考察（「結構」の評価性）

以上、概観すると、ここでは、副詞の「けっこう（結構）」について述べていることがわかる。なお、本文に品詞の指定はみられない。

まず、上記①では、「予想した程度より、はるかに上回っている場合」「ある程度の可能性は予想していたが、その程度が予想外に高かった場合」とある。これらはつまり、あらかじめ自身が予想した枠を超えている場合に「けっこう（結構）」が使われるということになろう。しかし、筆者の観点では、「けっこう（結構）」の程度性は、あくまで自身が予想した枠内にとどまるとみられる。つまり、自身が予想していたスケールの枠内において程度が比較的高かったという説明ができる。そもそも、現代語における副詞「けっこう（結構）」は、相対性が高く、やや消極的な評価に対して使われるものとみられる。したがって、上記①の「予想した程度より、はるかに上回っている場合」等の事例においては、むしろ「けっこう（結構）」の使用はそぐわないともいえそうである。

上記③では、「低い予想に対し、実際ははるかに上回る状態」「完全とはいえないが十分満足な状態」とあるが、「はるかに上回る」や「十分満足」については、「結構」の相対性という観点からすると言いがたいであろう。これらについては、「まあまあ上回る」や「ほどほどの満足感」としたほうが現代の「結構」の語感としてより適切かもしれない。

上記④では、「本来、「けっこう」は、評価がプラスに作用する形容動詞」「ふつうマイナス評価の語とは結びつかない」とある。ただし、ここが一つの論点となろう。下述、「3.2.6 渡辺実（1990）」にも指摘があるように、「結構（けっこう）」がマイナス評価の語と結びつく例もある。近年、「結構（けっこう）」がマイナス評価の語と結びつく例が比較的多くみられることも考慮に入れる必要があるだろう。しかし、これについては、やはり世代間の違いが認められるようである。おそらく、昭和前期頃に生まれた世代には、マイナス評価の語と結びつく「結構」には違和感があるのではといった可能性も指摘できる⁵²。

⁵² 『基礎日本語—意味と使い方』（1977）、奥付によると、森田良行は昭和5（1930）年生まれとある。

上記⑤では、「プラス・マイナス双方に作用する例も多少はある」としている。例として、「けっこう混んでる/けっこう空いてる」「けっこう寒い/けっこう暖かい」「けっこう涼しい/けっこう暑い」を挙げる。上記例の解釈では、おそらく、「空いてる」「暖かい」「涼しい」がプラス評価性、「混んでる」「寒い」「暑い」がマイナス評価性とみられる。ここで、上記「混む/空く」のペアについてみると、特定の文脈によっては「混む」が上記と逆のプラス評価性となる場合もあれば「空く」がマイナス評価性となる場合もある。なお、飛田良文・浅田秀子（1994）『現代副詞用法辞典』によると、「暑い」「寒い」等のように使用者や状況による個々の条件に左右されるものは、感情のプラス・マイナス評価とは関わらないとされる。そうすると、上記⑤の例は適当でないということになる。やはり、「暑い」「寒い」等の自然現象が関わる事象については、人間の感情評価とは切り離して考える必要がある。例示するのであれば、プラス・マイナスの評価性が明示できる「けっこう嬉しい/けっこう悲しい」「けっこうおいしい/けっこうまずい」等が妥当であろう。

3.2.4 佐藤喜代治（1979）

3.2.4.1 「結構」の語構成

佐藤喜代治（1979）『日本の漢語』、「漢語概説」、「語構成」、「3 複合語の構成」に、「結構」についての記述がみられる。それによると、「結構」は、建築等の構成について言う動作語であり、その結構（*建築物の構成）が見事であるという意味で、「結構な」という形容語としての用法が生じたとある。これは上述、「3.2.1 山田俊雄（1975）」による、動詞素の用法（「結構す」）から副詞素（もしくは形容動詞素）の用法（「結構なり」）への転移と共通項があるとみられる。ここで動作語というのは、複合語の構成要素のうちの一つである。文法機能の差を反映して名詞・動作語・形容語に分けられるとある。

なお、動作語を日本語の動詞として使う場合、「経過する」「売買する」等、サ行変格活用（サ変）が普通であり、また、動作語の中には「挙動」「得失」等、通常は動詞として使われないものもあるという。「結構」もかつてはサ変動詞としての用法がみられたが、現代ではこの種に含まれると考えられる。

3.2.4.2 考察（動作語から形容語への移行）

ここで、佐藤による語構成を援用して「結構」を分析してみる。まず二字の漢語「結構」

を一字ずつ分解すると、「結」と「構」に分かれる。次にそれぞれの品詞要素をみると、「結ぶ（あるいは結する）」と「構える」となり動作性を示す。さらに、「結」と「構」各々は類義の関係にあるとみられる。したがって、類義の動作語同士が複合して、「結構」となったという説明ができる。

複合語「結構」は、もともとの構成要素が動作語であるから、本来動作性を示す語であるとみられる。しかし、通時的な変遷を経て動作語から形容語へと比重が移行したとみられる。動作語から形容語への移行については、上述の「3.2.1 山田俊雄（1975）」に関連箇所がある。山田は、「結構」の本来の意味（「組み立て」“construction”：動作語としてのもの）は、解説を要した（つまり、やや高踏的）レベルにあり、一方他のケースの意味（つまり、形容語としてのもの）は、一般に解説を要しない日用レベルにあったと述べる。つまり、明治期、すでに日常会話レベルで多く使われた、形容語としての「結構」のほうが、おそらく文語レベルで限定的に使われた動作語としての「結構」より、大衆性を獲得したために、動作語から形容語へという転換がみられたということが考えられる。

ただし、動作語から形容語への比重の移行については、すでに近世期には起きていた現象のようである。ここで、下述、「3.7 「結構」の実例」、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、資料番号“26”の例を取り上げてみる（下線は筆者による）。

あたりも光りかかやきて、万花は盛りと咲きにほひ、結構なること限りなし（室町物語草子集 御曹子島渡 p.108）

さらに、現代語訳によると、「結構」は、「すばらしい（ことはなみなみではない）」とある。『室町物語草子集』の成立は南北朝時代前期から江戸時代初期とされるため、すでに近世初期には、「結構」の形容語としての用法が主流であった可能性が浮上してくる。

3.2.5 岩淵悦太郎（1985）

3.2.5.1 「結構」の用法と特徴

岩淵悦太郎（1985）『語源散策』に、「結構」についての記述がみられる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例文の下線は筆者による）。

①ご馳走になった時、「結構です／結構でした」等のあいさつをする。「大変おいしい」

と料理をほめる表現である。

②一方、「もうたくさんです」という時にも「結構です」と言う。

③もっと欲しいのか、欲しくないのかがはっきりせず、日本語は至極あいまいとの非難を受ける。

③本来の「結構」の意味：家屋を構築する／文章を組み立てる

例：『後漢書』「結_レ構_レ文辞_一」／王延寿「詳_レ察_レ其棟宇_一 觀_レ其結構_一」

④建造物・文章について、組み立てや構築が優れている場合、「見事な結構／大変な結構／なかなかの結構」のようにはめたたえたであろう。

⑤やがて、「結構」という語のみで「見事な／優れた」の意味を表すようになる。

例：「日光を拝まぬうちは結構と言うな」（ことわざ（岩淵の解釈）：日光東照宮を見ないうちは建造物について語る資格がない）⁵³

⑥「結構と言うな」という表現から、すでに「結構」が「見事な／立派な」の意味に転じていたようである。

⑦「結構」が「見事な／立派な」の意味を持つようになってからも、当初は、建造物や文章についてのみ使われたのであろう。やがて、それら以外のものにも使われるようになる。

例：『史記抄』（室町時代）「物を食わせ、けつかうな物を着せておく」

⑧一方、「結構なお日和」「結構なご身分」のように、「喜ばしい／うらやましい」の意味にも使われ、「結構なお人柄」「結構人」⁵⁴のように、「気立てのよい」の意味にも使われるようになる。

⑨「気立てのよい」から軽蔑を含む「お人好し」の意味にも移行し、さらに、「愚鈍」をも表すようになる。

例：「結構は阿呆のうち」「結構は阿呆の唐名」

⑩現在、「結構」は、副詞的にも使われる。

例：「結構、間に合う」「結構、楽しんでいるようだ」

⑪ご馳走の際にお腹いっぱいでお断りする場合の「結構です」は、「大変おいしくいただきました、これ以上はいただけません」という心情から出たものである。

⁵³ 上述、「3.2.2 鈴木彦四郎（1976）」、「3.2.2.1 「日光」と「結構」」も参照。

⁵⁴ ただし、「結構人」には、「人柄がよすぎて愚かな人間」の意味もある。したがって、「結構人」は、反義併存的の性質を示す語であるといえよう。

3.2.5.2 考察（「結構」の意味の推移）

岩淵は、「結構」の原義とみられる上記③の「家屋を構築する／文章を組み立てる」から、組み立てや構築が優れているときに、上記④の「見事な結構／大変な結構／なかなかの結構」のようにほめたたえるようになり、ついには、上記⑤の「結構」という語のみで「見事な／優れた」の意味を表すようになるとしている。おそらく、「結構」という語を発するときの対象は、例えば豪華絢爛な建造物であったり、理路整然とした文章であったりしたのであろう。「結構」は常にそれらの対象と結びついて使われたということになる。そこから、「結構」と発するだけでプラス評価の賞賛を表すことが可能になったのであろう。これは、認知言語学的観点からすれば、隣接性と関連があるものとみられる。したがって、メトニミー（換喩）的転換を経たと解釈することもできよう。

3.2.6 渡辺実（1990）

3.2.6.1 程度副詞としての「結構」

渡辺実（1990）「程度副詞の体系」において、「結構」についての記述がみられる。渡辺は程度副詞を機能別に四分類しているが、その中の一つを、結構類（発見系かつ評価系）としている。以下に主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例文内の“*”は非文を示す）。

①程度副詞に体系のようなものを認めることができるのではないか。

②程度副詞らしい程度副詞と呼べるもののうちに「結構」の類がある。

例：「a 新しい店だが結構はやっている」「b 若い人が結構大勢見に来ていた」

③一方、比較の構文、「a*新しい店の方が古い店より結構はやっている」「b*若い人の方が中年層より結構大勢見に来ていた」に「結構」を当てはめると、共に非文となる。

④「Xは結構Aだ」の構文（*本文では「計量構文」と称する）において、Aの位置に立つ語はプラス評価に偏るようである。例えば、「a*新しい店だから結構さびれていた」⁵⁵「b*若い観衆は結構少なかった」は非文であろう。

⁵⁵ 上記 a の例文は「結構」の有無に関わりなく構造自体が非文とみられる。したがって、例として適切ではない。ただし、順接の接続詞「だから」を逆接の接続詞「なのに」に入

⑤しかし、以下の例のように「結構」がプラス評価とは単純にはいえない場合がある。

「a このスーツ結構高かったのよ」「b 結構難しい問題が出るから注意しろ」

「c 結構時間をくってしまった」

⑥「結構」における対象へのプラス評価とは、対象に優性を認めるという意味でのプラス評価である、と条件づけたほうがよいであろう。

⑦優性の評価が与えられている例：

「a さっきのバスも結構混んでいたよ」「b あの人も結構きびしいこと言うからな」

⑧上記⑦a b の例をみると、プラス評価の面が曖昧であり、「結構」の評価を「プラス・マイナス」とするほうがよいのかもしれないが、「a 結構[おもしろい／*つまらない]」「b 結構 [きれいだ／*きたない]」「c 結構 [速い／*遅い]」のような対立があることは否定できないため、プラス評価とするのが適当であろう。

⑨このように、「結構」に評価の偏りがあることは、ある種の先入観念の存在を示すものであり、それは個別的「懸念」というべきものではないか。

例：「a 結構はやっている」（ひょっとすると客が少ないのではという懸念）

「b 結構高かった」（もっと安いものが手に入ったかもしれないという現実に矛盾する可能性）

⑩上記例⑨b のように、反現実の可能性まで延長し「懸念」とみるならば、「結構」の表現性は、「脱懸念（懸念からの解放）」であり、量的・心理的には「大」の方向のようである。

⑪つまり、「結構」の判断構造は、気がついたら懸念していたのとは逆の状態であったというものと思われる。

⑫「a 結構はやっている」は、「おや、こんなにはやっているのか」という「望外発見」である。その点で「結構」類は確かに発見系と判断される。

⑬「結構」類とされるものは、「なかなか／わりに／ばかに／やけに」

⑭「案外」という語は、「結構」類に属すると判断されるにもかかわらず、プラス・マイナス両評価になじみ、「結構」類がプラス評価に偏るという事実と反する（*以下、例）。

「a 案外彼が犯人かもしれない。」「b 案外お前が先に泣き出すんじゃないか」

れ替えれば問題のない文となる。b の文についても現代語の「結構」の語感を加味すれば非文とは言いがたい。

⑮（＊以下は、本文巻末の注2のまとめ）若い世代（＊1990年前後）における「結構」の用法は、程度副詞ばなれの方向へ大きく動いているようである。

例：「a 結構、彼がやったのかもしれない」

予想外のことだが気づいてみれば大いにありうるという気持ちを込めた誘導副詞になりきろうとしているようである。このような言いかたになお抵抗感を持つ者も、「b 結構 [つまらない／きたない／遅い]」などマイナス評価の語との共起を認める者が少なくないようである。

3.2.6.2 考察（語調調整的および反予測性の「結構」）

以上、概観すると、まず、上記④において、「Xは結構Aだ」構文（計量構文）において、Aの位置に立つ語はプラス評価に偏る」とある。一方、筆者の認識では、渡辺による「Xは結構Aだ」構文においてAの位置に立つ語は、プラス評価の語だけでなくマイナス評価の語も立つものとみなす。したがって、渡辺が非文と認定した④a「新しい店だから結構さびれていた」④b「若い観衆は結構少なかった」の文は共に成立するとみなす。ただし、④aの文は、上記注釈で述べたとおり、例文としては不適當であろう。一般的に、新しい店「だから」さびれている、という順接的展開は結びつけがたい。新しい店「なのに」さびれている、つまり逆接的展開が妥當であろう。例文は、その場に応じた適切なものを示すべきである。この場合は、「だから」を用いるのであれば、「町外れにある店だから結構さびれていた」といったものが無難であろう。

上記⑤においては、「結構」がプラス評価とは単純にはいえない場合がある」と述べる。例としては、「a このスーツ結構高かったのよ」「b 結構難しい問題が出るから注意しろ」「c 結構時間をくってしまった」を挙げる。まず、⑤aの文は、文脈依存度が高い表現であり、そもそも「結構高かった」に対して聞き手の側からのプラス・マイナス評価はできないとみられる。つまり、発話者は満足感をともなって「結構高かった」と発話する場合、あるいは優越感に浸りながら、これ見よがしに「結構高かった」と発話する場合等、発話者の気分次第で評価性は変化するということである。

ここで、話題を若干展開させる。上記⑤a b cの例文をみると、ある共通点があることに気がつく。つまり、上記例文において、「結構」という語があってもなくても文全体の意味

にほとんど変わらないという点である⁵⁶。渡辺は、⑤a b cの例文における「結構」について、「対象の手強さへのプラス評価があるもの」としている。一方、筆者は、ここでの「結構」は、意味らしい意味を持たず、ほとんど程度性といったものも示さない語調調整的（つまり、その語を置くとおさまりが良くなり安定する）なものとして機能しているのではないかと考える。つまり、この用法においては「結構」自体の評価性というものが限りなくニュートラルに近いものとなる。近年、「結構」が特にこの語調調整的な意味合いをもって使われる傾向が多いようである。さらに、類似のものとして「つなぎことば」「場持たせことば」「話しを切り出すときの前置きことば」的な「結構」といったものも比較的好くみられるようである。これについては、筆者が実際に耳にした実例を以下に示しておく（2020/08, 埼玉県某所の喫茶店にて）。

（店頭にて陳列棚のコーヒー豆を見ている客が、横にいた店員に対しておもむろに）

客：けっこう、金額変わるんですか？

上記例の「けっこう」は、意味らしい意味がついたものともいえず、「話しを切り出すときの前置きことば」的な役割をもって発せられているようである。いわば、「ああ／ええと／あのう」といったフィラー的要素をもったものともいえよう。さらに、類似の例を以下に挙げてみる（2020/08, 埼玉県の某ショッピングセンターにて）。

（30代くらいのカップルが無言で歩道を歩いている。女性のほうが男性に対しておもむろに）

女性：けっこう、お腹すいてきた

上記例の「けっこう」も、意味らしい意味がついたものともいえず、語調調整的なものとして発話されているようである。つまり、「お腹すいてきた」のみ発すると、あからさますぎてどこか落ち着きが悪い。そこで、語調調整的「けっこう」を添付し「けっこう、お腹すいてきた」とすることで文（発話）全体に落ち着きを持たせるといった解釈である。

ここで、再び渡辺実（1990）に戻る。上記⑥ ⑦については、⑥で、「「結構」における対象へのプラス評価とは、対象に優性を認めることを条件としたほうがよい」としており、⑦で優性の評価が与えられた例として、「a さっきのバスも結構混んでいたよ」「b あの人も

⁵⁶ ただし、多少なりとも「結構」に話し手の気持ちが投影されていることは事実で、その点では、モダリティー的要素を含むともいえよう。

結構きびしいこと言うからな」を挙げる。ただし、筆者の観点では、⑦a bの例が、「優性の評価が与えられた例」かどうかは疑問である。⑦aの例文についてみれば、「混む」は文脈によって大きく評価が異なる語であり、例えば、「混んでいてぎゅうぎゅう詰めにされて結構苦しかった」ならマイナス評価、一方、バス会社からみて、ふだんは空いている路線だが、観光シーズン時に「混む」のであれば売り上げ増に結びつくためプラス評価となる。つまり評価性についてはどちらともつかずということになる。どうやら上記の例も「結構」における対象へのプラス評価」とは即座にはいえないようである。

上記⑧a b cについても、「結構」と共起する[a おもしろい/*つまらない] [b きれいだ/*きたない] [c 速い/*遅い]のような対立があることは否定できない」というが、ここでマイナス評価とされる「つまらない/きたない/遅い」が「結構」と共起できないとする根拠はないため、「結構」が評価的にプラス」とするのは拙速すぎるようにも思える⁵⁷。

上記⑨ ⑩において、論の展開をみると、まず、⑨で「結構」に評価の偏り」「ある種の先入観念の存在」があり、「個別的「懸念」というべきもの」としているが、⑩においては「結構」の表現性は、「脱懸念（懸念からの解放）」であると突然逆の概念が現れ、論理に矛盾が生じるため理解が困難になる。そもそも、「懸念」というのは、マイナス評価の想念であるから、「評価的にプラス」とされる「結構」とは背反してしまうであろう。筆者はこれに関連したものとして、副詞「結構」の「反予測性」といったものを提示しておく。つまり、「何らかの予測した事態に反する結果を暗示するもの」ということになる。以下に二つの例を挙げる。

例 a : 結構よかった

→あらかじめ予測していたのは「悪い」。しかし、結果としては「よい」。

例 b : 結構ダメだった

→あらかじめ予測していたのは「よい」。しかし、結果としては「ダメ」。

以上のように、「結構」を「反予測性」という観点で捉えれば、共起する語のプラス・マイナス評価については問わずにすむということになり、現実的解釈が可能となる。

⁵⁷ ただし、「結構」の評価性については「3.2.3 森田良行 (1977)」でも触れたように、世代差・年代差がみられるようである。その点において、渡辺の論を全面的に否定するものではない。

上記⑩ ⑪ ⑫においては、⑨にて、「結構」と「懸念」との関わりについて論じた後に、⑫では突然飛躍して、「望外発見」「発見系」の「結構」が現れる。渡辺は、「結構」を「望外発見」「発見系」の「結構類」として分類する。しかし、この「望外発見」の「結構」というのは、「結構」の多数ある用法中の一つであるため、「発見系」というカテゴリーでくくってしまうのはやはり拙速であろう。例えば渡辺は、「結構類」とは別のものとして「多少類」というのも挙げるが、「多少類」には、「すこし／ちょっと」等が含まれるという。しかし、この「ちょっと」についてみれば、「ちょっと、これいいじゃない!」「ちょっとちょっと、これ見てよ!」等々、むしろ「望外発見」の要素を多分に含んでいる。その点において「ちょっと」は、「望外発見」の「結構類」に含まれるということになってしまい、カテゴリー分類に矛盾が生じることとなる。やはり、該当語の一特徴のみでカテゴリー分けすることは難しいといえるであろう。

上記⑬ ⑭において、⑬では、「結構」類とされるものは、「なかなか／わりに／ばかに／やけに」としている。さらに、⑭では、「案外」という語は、「結構」類に属すると判断される」のであるが、「プラス・マイナス両評価になじみ、「結構」類がプラス評価に偏るという事実と反する」と述べる。つまり、「案外」は「結構」類には厳密には属さないといったことを述べているようである。ここで、⑬で「結構」類とされる「ばかに／やけに」についてみると、「ばかに／やけに」というのは甚だしい程度性を示唆する語である。対して、「結構」は、極端ではなくほどほどの程度性を示す語である。つまり、両者は程度性の観点から見れば異なった領域のものである。この点において、「ばかに／やけに」を「結構」類の一員とみなすことには無理が生じるといえよう。さらに、⑭における「案外」については、「意外／ことのほか」等々「思った以上」を想起させる点においては「結構」に類するものといえ、むしろ「結構」類に含めるべきではないかと考えられる。

上記⑮において渡辺は、「結構」の（1990 年前後）における新しい用法（誘導副詞的用法）について述べる。ここで、筆者の観点から、⑮a の例文「結構、彼がやったのかもしれない」についてみれば、二通りの見方ができる。一つ目は、「結構～かもしれない」というように、「結構」が呼応の副詞的な用法として使われているという見方である。副詞「結構」は、「想定のはずからややずれる意外性」といった含みもあるため、仮定的表現と結びつきやすいともいえるのかもしれない。二つ目は、「(もしかすると) 結構、彼がやったのかもしれない」といったように、本来、仮定性の語（もしかすると）があったものがメトニミー的（つまり隣接性）転換で「結構」自体に「假定」の要素が含まれたとする見方で

ある。以下に例を示した。

「もしかしたら（仮定性の表現）＋結構～かもしれない」

→「結構（仮定性の表現：もしかしたら＋結構）～かもしれない」

類似の例として、「結構そんなこともありうるんじゃないか」「結構いいかもしれない。」
「結構ダメかもしれない。」等々も挙げておく。渡辺は、上記⑧において、「「結構」が評価的にプラスとするのが適当」としているが、実際には⑤bの例、「結構 [つまらない／きたない／遅い]」のようにマイナス評価の語との共起がありうるといった点についての指摘もある。つまり、特に副詞としての「結構」については、世代間・年代間、あるいはその他の要素（地域性等）により、程度性に変化が生じゆれがみられるようである。近年は相対化が促進され、「(ある基準と比較した上で) ほどほど・まあまあ」といったようなやや消極的な評価性を暗示するといった側面が強くなっているということが考えられる。さらに、上述した語調調整的な意味合いをもって使われる「結構」の用法についても留意しておく必要がある。

3.2.7 小川誉子美・前田直子（2003）

3.2.7.1 程度副詞としての相対的な「結構」

小川誉子美・前田直子（2003）『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現—待遇表現—上級』では、程度副詞についての記述がみられる。それによると、「だいぶ／割に／幾分／比較的／相当／かなり」等は、「相対的にみてよい」表現であり、「なかなか／結構／案外」等は、「予想よりはよい」表現であるという。これらは、絶対的な高い評価とはいえず、使う相手によっては注意が必要であるともいう。

3.2.7.2 考察（絶対から相対へ）

小川・前田は、程度副詞を「絶対」と「相対」という概念を使って説明している。一方、筆者の見解では、発話者の頭の中には、自らの設定した基準というものが既にあり、それと比較した上での評価となる。つまり、なんらかの比較の対象がある以上、絶対的とはいえないことになる。小川・前田によると、「結構」は、「予想よりはよい」というカテゴリーに分類される。しかし「予想よりはよい」という表現も、発話者があらかじめ予想した

何らかの基準というものがなければ成り立たない。したがって、これも「相対的」ということになる。

ここで、「結構」の語の成り立ちについて端的にみってみる。上述、「3.2.4 佐藤喜代治(1979)」でも触れたとおり、「結構」の本来の意味とされる、「建築物の組み立て・構成」は、当初は人が目前で視覚的に捉えた建築物（絶対物）に対し使われたものと想定できる。その後、「結構（建築物のつくり・構成）が見事・立派である」→「(対象を限定せず) ～が見事・立派である」という過程を経たとみられる。したがって、この時点で、「結構」に比較の対象としての相対化の視点が生じたとも考えられる。

一方、副詞としての「結構」も、当然本来の意味の「結構」から派生したとみられる。これらを考慮すれば、「絶対」から「相対」への視点の変化というものがみえてくる。この「絶対」から「相対」へという視点については、本稿にて取り上げる各語（「結構」「大丈夫」「適当」「微妙」「やばい」）にも適用されうると考える。したがって、次章以降もこの視点からの考察を含めることとする。

3.2.8 堀井令以知（2003）

3.2.8.1 「結構」の語誌的情報

堀井令以知（2003）『日常語の意味変化辞典』に、「結構」の項目がみられる。ここでは「結構」の語誌的情報についての詳細な記述がみられる。以下、主要な部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例文の下線は筆者による）。

①けっこう（結構）：申し分のないさま。十分なさま。かなり。

②原義：組み立てて作ること。建造物のほか、「文章の結構」のようにも使われる。

③鎌倉時代：企て・計画の意味が現れる（心中で組み立てるところから）。

例：『平家物語』「ひとへに基房亡ずべき結構にて候也」

④南北朝時代：支度・用意の意味が現れる。

⑤江戸時代：形容動詞として使われるようになる（意味：すぐれて好ましいさま）。

例：『浮世床』「子ども衆は何はおけ御丈夫さまが一番けっこうなことでございますよ」

⑥ねんごろなさまの意味も現れる。心がけがよいさま、お人好しの意味で、「結構なを

ちご様」のように使われる。

⑦明治期以降：十分なさま、満足なさまの意味で使われる。

例：もうこれで結構です。

⑧「結構」が副詞として使われるようになったのは、江戸時代以降である（意味：「かなり」あるいは、「一応よいといえるさま）」⁵⁸。

例：『浮世風呂』「ナニサ、それでもけっこう勤めますのさ」

⑨「結構」は植物の茗荷の異名でもあった（江戸時代）。

3.2.8.2 考察（実例資料との照合・検証）

ここでは、上記、堀井令以知（2003）による「結構」の語誌的情報を基として、「結構」の意味の派生・移行について、下述、「3.7「結構」の実例」、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」から得た資料も参照しつつ、照合・検証を行ってみる。

まず、上記②では、原義として、「組み立て作ること。建造物のほか、「文章の結構」のようにも使われる」とある。さらに、上記③では、「鎌倉時代に「企て・計画」の意味が現れる（心中で組み立てるところから）」とある。これは、「心中で組み立てる」とあるように、心（頭）の中にランダムにわき起こるさまざまな考えを整合し、一つのプランとしてまとめ上げるといったことを意味するとみられる。つまり、原義としての具体的建造物の組み立て・構造から、形のない頭の中の抽象的思考の組み立てという方向に意味が移行したとみられる。したがって、これは「具体から抽象へ」という変遷過程を経たということがいえよう。ここで、「企て・計画」といった意味が現れる実例資料を下述、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」より以下に取り上げてみる（下線は筆者による）。

あはれ是は、法皇の山攻めらるべきよし、御結構あるを、申しとどめられんずるにこそ。（資料番号“2”／平家物語 卷第二 西光被斬 p.110）

上記の「御結構」は、現代語訳によると、「（法皇が比叡山をお攻めになろうという）ご計画（企て／企み）」という意味となる。なお、上記③で堀井が取り上げた例、「ひとへに基房亡ずべき結構にて候也」も『平家物語』からのものである（「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」の“6”参照）。現代語訳によると、「（全くこの基房（本人）を滅ぼそう

⁵⁸ 堀井は、副詞への移行の背景については触れていない。

という) たくらみ」という意味となる。なお、鎌倉時代に現れたとされる「企て・計画」、南北朝時代に現れたとされる上記④「支度・用意」の意味については、現在においては使われない(消滅している)ことがわかる。ちなみに、『明解国語辞典 初版』(1943)には、「(名) ③くわだて。④用意。もうけ。」の記述がみられた(下述、「3.4.2『明解国語辞典』(初版と改訂版) および『三省堂国語辞典』(初版から第7版まで)における「結構」の意味記述の変遷」参照)。

次に、上記④では、「南北朝時代に、「支度・用意」の意味が現れる」とある。これは上記②の「企て・計画」からの派生であろう。つまり、「あらかじめ計画を立てて準備しておくこと」が、すなわち「支度・用意」を指すという解釈となる。上記同様、「支度・用意」といった意味の実例資料を「3.7.1 上代から近世(日本古典文学全集)」から以下に取り上げてみる(下線は筆者による)。

或る時、須智が前には飯を結構して供へ、悪源太の前には無菜の飯を据ゑたり。(資料番号“1” / 平治物語 下 悪源太誅せらるる事 p.532)

上記の「結構」は、本文注釈によると、「「結構す」は、用意する」、「無菜の飯と対比されることから、「結構す」は、おかずを添えることが含まれていることがわかる」とある。ここで、上記④によると、「支度・用意」の意味が現れるのは南北朝時代という記述がある。なお、南北朝時代は、大きく室町時代のカテゴリーに含まれる。一方、上記資料『平治物語』は、鎌倉時代初期から中期にかけての成立とみられる⁵⁹。したがって、「結構」における「支度・用意」の意味の派生は、南北朝時代以前、鎌倉時代中期頃にはすでに起こっていたという可能性が示唆される。

続いて、上記⑤では、「江戸時代に形容動詞として使われるようになる」「意味は、すぐれて好ましいさま」(プラス評価性)とある。例として、「子ども衆は何はおけ御丈夫さまが一番けっこうなことをごぞいますよ」(『浮世床』)(下線は筆者による)が挙げられる。『浮世床』(式亭三馬作)は、江戸時代後期、1813(文化10)年の刊行である。同様に、形容動詞としての「結構(けっこう)」の実例資料を「3.7.1 上代から近世(日本古典文学全集)」から以下に取り上げてみる(下線は筆者による)。

花見る人の袖の結構なるに、花も霞もおりにあひたる、誠に花も人をしるやうに見え

⁵⁹ 13世紀半ばには成立していたという説がある(松原茂説)。

たり。(資料番号“25”／連歌集 宗祇独吟何人百韻 何人 p.157)

以上の例は、宗祇による連歌集『宗祇独吟何人百韻』からのものである。成立年については、1499（明応8）年頃（室町時代後期）とみられる（『日本古典文学全集』、「宗祇独吟何人百韻」、「作品解説」より）。文脈からすると、「よい／立派な／すばらしい」を意味するとみられる。したがって、「結構」におけるプラス評価性の形容動詞の派生は、すくなくとも室町時代後期以前にはすでに起こっていたという可能性が示唆される。なお、同様の例が南北朝時代から江戸時代にかけての『狂言集』にも多くみられる（詳細は下述、「3.7「結構」の実例」、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」参照）。

続いて、上記⑧では、「結構」が副詞として使われるようになったのは、江戸時代以降、「意味は、「かなり」あるいは、「一応よいといえるさま」とある。例として、「ナニサ、それでもけっこう勤めますのさ」（『浮世風呂』）（下線は筆者による）が挙げられる。『浮世風呂』（式亭三馬作）は、江戸時代後期、1809（文化6）年から1813年（文化10）年にかけての刊行である。一方、副詞としての「結構（けっこう）」の実例資料は、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」からは得られなかった。代替として、「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」から、明治期の例を以下に取り上げてみる（下線は筆者による）。

肉は一週に一度しか付けませんでも結構滋養のある旨しい食事が出来たのです。(資料番号“75”／女学世界 60M 女世 1909_10002)

以上の例は雑誌『女学世界』（1909：明治42）からのものである。なお、副詞としての「結構（けっこう）」の資料は、管見の限り明治期においても非常に少ない。これは副詞としての「結構（けっこう）」が主に会話上において用いられていたためとみられ、書きことばとしての資料には反映されにくかったといった背景があるとみられる。

まとめとして、堀井令以知（2003）を基とした、「結構」の意味の派生・移行について、以下にイメージ図を示した。

図表 3.4：「結構」の意味の派生・移行のイメージ（堀井令以知（2003）による）

		原義:組み立て(名)	
	企て・計画(名) (現在使われず)		すぐれてよい (形動)
支度・用意(名) (現在使われず)			かなり・一応よい (副)

3.2.9 張麟声 (2004, 2016)

3.2.9.1 「結構」の日中対照

張麟声 (2004)『日中ことばの漢ちがい』、および (2016)『新版 日中ことばの漢ちがい』⁶⁰、「10.「完璧」は「無理」でも「便宜」は「一流」において、「結構」についての項目がみられた。両書は、漢語に対する日本語母語話者・中国語母語話者のイメージ・認識のずれについて述べられたものであり、漢語の日中対照という観点からすると興味が喚起される内容である。以下、主要部分についてまとめた (便宜上番号をつけた)。

- ①「この文章、結構、良い」という文章を、日本語が全くわからない中国人に見せ、意味がわかるか尋ねれば、たいていは (*わかると) うなずくであろう。
- ②実際、質問者と回答者 (*中国人)、双方が意図するところについて、それほど大きなずれはない。
- ③「この文章、良い」という部分については問題がない。しかし、「結構」については、理解が異なる。
- ④日本語の「結構」は、「かなり」を意味する。したがって、「この文章、結構、良い」は、「この文章はかなりいい」となる。
- ⑤一方、中国語の「結構」は、「構造」「ストラクチャー (structure)」を意味する。したがって、上記の中国人は、「この文章、結構、良い」を、「この文章は (表現等はさしおいても) 構造はいい」と理解することになる。
- ⑥日本語の辞書を参照すると、たいていは「結構」の項目に、中国語のそれと似た、「建物・文章等の構造」云々といった説明があるが、日常生活においてそのように使われることは少ないようである。
- ⑦そもそも、なぜ、本来「構造」を意味した「結構」が「かなり」を意味するようになったのか聞きたくなるが、答えは「結構」難しいかもしれない。

3.2.9.2 考察 (現代中国語における「結構」)

まず、上記①から⑤をまとめると、「結構」という語を見て (あるいは聞いて)、頭に浮かぶイメージが日本語母語話者と中国語母語話者では異なるということになる。上記⑤に、

⁶⁰ 旧版・新版ともに、「結構」については、ほぼ同じ記述であった。

現代中国語では「結構」は「構造」「ストラクチャー (structure)」を意味するとある。端的に言えば、現代中国語における「結構」は、本来の意味と考えられる「構造」「ストラクチャー (structure)」を指す。一方、現代日本語においては、本来の意味から移行を経た派生の意味、例えば「よい」「十分」「かなり (の程度)」等が中心として使われるようになったということになる。

ここで、現代中国語における「結構」の意味についてみておく。武信彰・山田眞一編『プログレッシブ中国語辞典 第2版』(2013)、「結構」の項目には、「①構成。しくみ。」「②(建築の) 組み立て。構造。」とあり、左②の例として、「鋼筋混凝土結構 (鉄筋コンクリート構造)」が挙げられている (漢字は日本語の通用字体に変更)。張淑榮編『中日漢語対比辞典』(1987)には、「①構成。構図。仕組み。」「②組み立て。構造。」等とある。陳朴編著 (2002)『新簡明漢英詞典』には、“structure; frame; (小説等的) design”とある (漢字は日本語の通用字体に変更)。これはつまり、「構造/枠組み/デザイン」といった意味となる。

さらに、上記⑥では、「日本語の辞書には、たいてい「結構」の項目に、中国語の意味と似た、「建物・文章等の構造」とあるが、日常生活ではほぼ使われない」との指摘がある。この点については、「建物・文章等の構造」が「結構」本来の意味と考えられるため、たいていの辞書が始めのほうに載せているということが考えられる。ただし、最も使用頻度が低い、あるいは現在ほとんど使われないとみられる意味が、なぜ最初に出てくるのかといった単純な疑問も生じる。おそらく、語の意味の古い順、あるいは多品詞にまたがる場合は名詞から載せるという一般的ルールに則っているからとみられる。ただしこれは辞書を使う側の立場からみれば混乱を招きがちであるともいえる。語義を使用頻度順に並べた辞書というものがあってもいいのではないかと筆者は考える。

3.2.10 松井栄一 (2008)

3.2.10.1「結構」と「見事」(類義語の比較・対照)

松井栄一 (2008)『ちがいがわかる 類語使い分け辞典』において、「見事 (みごと)」の項目に、「見事」の類義語として「結構」が取り上げられている。松井の手法は、ある語に対する類義語を複数挙げ、類義語グループを作り、それぞれの語の意味的に重なる部分、重ならない部分を表現例によって検討し、語の関連性をみるというものである。以下、主要部分についてまとめた (便宜上番号をつけた)。

- ①「見事」の類義語は、「立派／素晴らしい／素敵／結構」である。英訳は、“excellent” “splendid” “wonderful” である。
- ②「見事」の基本義は、「非常に優れていたり、よいものであったりする様子」である。
- ③「見事」は、賞賛に値する様子を表し、手際・ものごとの結果・できばえ、あるいは物の外観に対して使う。
- ④「立派」は、規範的価値観や美意識、伝統的・社会的観点から、非常にすぐれて難点がない様子を表す。行動・態度・成果・人格・身分・経歴および人・物の外観について使う。
- ⑤「素晴らしい」は、感動するほどによい様子。ものごとの内容的価値についても感覚的なよさ・快さについてもいい、幅広い事柄について使える。
- ⑥「素敵」は、ものごとが魅力的で、快い気分を誘発される場合に使う、感覚的な表現である。
- ⑦「結構」は、対象への積極的賞賛・感嘆というよりは、相手に話を合わせてその良さをいう場合等に使われる。

3.2.10.2 考察（他の類義語との関連性）

まず、上記①「見事」の類義語グループ（見事／立派／素晴らしい／素敵／結構）をみると、品詞については形容詞・形容動詞を想定しているようである。つまり、ここでは副詞としての「結構」を考察対象に含めないということになろう。これらの語は、上記③に「賞賛に値する様子」とあるように、対象となる人・物をプラス評価するときに使う類義語グループと捉えられる⁶¹。ただし、松井の指摘するように、上記⑦では、「結構」は、対象への積極的賞賛・感嘆というよりは、相手に話を合わせてその良さをいう場合等に使われる」とある。つまり、発話者の態度が他者同調的でやや積極性に欠けるといった解釈ができよう。したがって、「結構」については、相対的かつ、やや消極的なプラス評価が基本ということになろう。

一方、上述、「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」によると、「結構」は、建築物等の構成についていう語であり、「その結構（*つまり建築物の構成）が見事である」という意味で、「結

⁶¹ 上記の類義語グループの中では、「素晴らしい」と「素敵」が特に類犠牲が高いとみられる。ただし、形容の対象を「人」とした場合、「素晴らしい」は人格等の内面に、「素敵」は見た目等の外面に対して使われる傾向がみられる。

構な」という形容語としての用法が生じたともある。そうすると、かつては「結構」も最大限の賞賛（つまり、絶対的評価ともいえる）を形容する語として使われていたということになる。上述の、「相対的かつ、やや消極的なプラス評価」としての「結構」と比較すれば、時間的経過とともに意味の下落の過程を経たといえよう。つまり、かつては、「結構」も最大限の賞賛の意味を受け持っていたが、その部分はやがて他の類義語（見事／立派等）が主に受け持つようになり、一方「結構」のほうは、相対的かつやや積極性に欠ける評価の部分の主として受け持つようになったという解釈もできよう。

3.2.10.3「見事」の類義語グループの出現頻度（BCCWJ / Ameba）

ここで、「見事」の類義語グループ（見事／立派／素晴らしい／素敵／結構）が、現代の言語活動においてどの程度の頻度で使われているかについて、BCCWJ（現代日本語書き言葉均衡コーパス）、および「Ameba（アメーバ） | 芸能人・有名人ブログ」⁶²による検索を行った。なお、「結構」については多義語であるため、必ずしも賞賛の場面のみで使われるというわけではない。ただし、連体修飾「結構な～」の形式では、たいてい「よい（いい）」というプラス評価性の意味で現れる。したがって、類義語グループの五つの語を連体修飾の形式に統一した上で検索を行った。なお、BCCWJについては表記形を漢字およびひらがなの二通りとし、合計数を比較した。結果は以下の表のとおりであった（2020/11/03 時点）。

⁶² 「Ameba（アメーバ）」については、話しことばに近い書きことばの使用傾向を大まかに探るという主旨であり、結果について絶対的正確性があるというものではない。

図表 3.5 : BCCWJによる「見事」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数	合計
1	素晴らしい ⁶³	2,406	4,662
	すばらしい	2,256	
2	立派な	2,334	2,716
	りっぱな	382	
3	素敵な	1,509	1,955
	すてきな	446	
4	見事な	1,064	1,380
	みごとな	316	
5	結構な	516	628
	けっこうな	112	

図表 3.6 :「Ameba (アメーバ)」による「見事」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数
1	素敵な	1,050,000
2	素晴らしい	406,000
3	立派な	48,100
4	結構な	26,400
5	見事な	23,400

以上、「見事」の類義語グループ（見事／立派／素晴らしい／素敵⁶⁴／結構）の使用頻度調査の結果を概観した。以下に傾向と特徴をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①BCCWJにおける「見事」の類義語グループの検索結果数を降順に示すと、1.「素晴らしい（2,406件）」「すばらしい（2,256件）」合計4,662件／2.「立派な（2,334件）」「りっぱな（382件）」合計2,716件／3.「素敵な（1,509件）」「すてきな（446件）」合計1,955件／4.「見事な（1,064件）」「みごとな（316件）」合計1,380件／5.「結構な（516件）」「けっこうな（112件）」合計628件、となった。最も検索結果数が多いのは、「素晴らしい／すばらしい」であった。一方、「結構な／けっこうな」の検索結果数は最も少なかった。ここから、「結構／けっこう」の連体修飾の形式「結構な～／けっこうな～」（主に、「よい（いい）」の意味）は、現代語においては比較的少ないということが示唆される。表記についてみると、「結構な」：「けっこうな」は、約10：2の比率

⁶³ ただし、「素晴らしい」「すばらしい」のみ形容詞であるため、連体修飾と形容詞述語文の形式が同一となってしまう。そこで、「素晴らしい」の検索結果数（2,706件）から形容詞述語文の形式（「—です（99件）」「—。（言い切り）（201件）」）を減じて計2,406件とした。同様に「すばらしい」（2,396件）から「—です（42件）」「—。（言い切り）（148件）」を減じて計2,256件とした。したがって、両者の合計は4,662件となった。

⁶⁴ 「素敵（すてき）」については、近世期に、「すばらしい」の「す」に「的」を付けて「す的」→「素敵」となったとの見解もあるため、和製漢語とみるべきであろう。

となった。類義語グループの筆頭「見事」については、順位は4番目となり、5語のグループの中では相対的に使用頻度が低いようである。

②「Ameba (アメーバ)」における「見事」の類義語グループの検索結果数を降順に示すと、1.「素敵な (1,050,000 件)」／2.「素晴らしい (406,000 件)」／3.「立派な (48,100 件)」／4.「結構な (26,400 件)」／5.「見事な (23,400 件)」となった。ここでは、「素敵な (1,050,000 件)」および「素晴らしい (406,000 件)」が突出する結果となった。ブログという媒体は、話しことばに近い書きことばという性質を持つということを考慮に入れると、「素敵な」および「素晴らしい」は、現代の話しことばにおいて比較的多用される語であることが示唆される。一方、「立派な」「結構な」「見事な」については、話しことばにおいては比較的使用頻度が低いということが示唆される。

なお、仮に上記の結果を基に類義語グループを組み直すとすれば、「素敵」を中心とした類義語グループ (素敵／素晴らしい／結構／見事／立派) を提示したい。実際に、日本語教育の現場等で、「ほめ」に関する類義語を提示する際は、「素敵」グループとして類義語を組んだほうが学習者にとっては有用であるかもしれない。

3.3 近代の辞書における「結構」

本節では、近代の辞書 (主に国語・和英辞書) における「結構」の意味記述を参照し、比較・対照した上で考察を行った。

3.3.1 『和英語林集成』(初版／再版／第三版)における「結構 (結構)」の意味記述の比較

本項では、『和英語林集成 初版』(1867: 慶應3)、『和英語林集成 再版』(1872: 明治5)、および『和英語林集成 第三版⁶⁵』(1886: 明治19)における「結構」の意味記述を基に比較・考察を行った。倉島節尚 (2002) によると、ヘボン (アメリカ人医師・宣教師) による『和英語林集成』は、単なる日本語と英語の対訳ではなく、英語で説明された国語 (*日本語) 辞典ともいえるべきもので、見出し語に品詞を与えた、最初の国語辞典でもあった

⁶⁵ 正式名称は、『改訂増補 和英和語林集成』である。ただし、便宜上、通称の『和英語林集成 第三版』のほうを用いる。

第3章 結構

という。さらに、倉島は、『和英語林集成』は、今もなお幕末・明治期の日本語を知る上での貴重資料であるとも述べる⁶⁶。以下に、各版における「結構」の意味記述の比較表を示した。なお、筆者による補足は、「(*補足)」のように半角カッコ内に記した。

図表 3.7: 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「結構」の意味記述の比較

版名 出版年	見出し 品詞	意味記述 1	意味記述 2	類義語 (Syn.)	備考
初版 1867 慶應 3	KEKKŌ, ケツカウ, 結構,	—	A word of admiration, or commendation, = Fine, splendid, excellent, beautiful, grand, delicious, delightful. — <i>na kimono.</i> (*—な着物) — <i>na otenki.</i> (*—なお天気) — <i>na ie.</i> (*—な家) — <i>na shina.</i> (*—な品) — <i>na kurashi.</i> (*—な暮らし)	Syn. RIPPA, YOI. (*立派・よい)	・「結構」は、手偏の「構」 ・品詞の表示はなし。
再版 1872 明治 5	KEKKŌ, ケツカウ, 結構,	—	Fine, splendid, excellent, beautiful, grand, delicious, delightful. — <i>na kimono.</i> (*—な着物) — <i>na otenki.</i> (*—なお天気) — <i>na ie.</i> (*—な家) — <i>na shina.</i> (*—な品) — <i>na kurashi.</i> (*—な暮らし)	(*同上)	・「結構」は、手偏の「構」 ・初版の冒頭“A word of admiration, or commendation,”は削除。その他は初版と同じ。
第三版 1886 明治 19	KEKKŌ ケツカウ 結構 n. (*“n.”はイタリック体でない)	The construction, architecture: <i>ie no — wa birei wo kiwameru,</i> (*家の—は美麗を極める) the construction of the house is exceedingly beautiful. * 1	(coll.) (*話しことば) Fine, splendid, excellent, beautiful, grand, delicious, delightful: — <i>na kimono;</i> (*結構な着物) — <i>na otenki;</i> (*結構なお天気) — <i>na ie;</i> (*結構な家) — <i>na shina;</i> (*結構な品) — <i>na kurashi.</i> (*結構な暮らし)	(*同上)	・「結構」は現在の木偏の「構」に変更。 ・品詞“n.”が追加。 ・意味1 “The construction, architecture”が追加。

さらに、上記“*1”の『第三版』、「結構」の意味記述1、“construction”および、“architecture”（『第三版』にて初出）について、『第三版』、「英和の部」における意味記述を、以下の表に示した。

⁶⁶ 倉島節尚 (2002) 『辞書と日本語 国語辞典を解剖する』、「第八章 辞書の歴史」に詳述がある。なお、倉島は、『和英語林集成』を国語辞書とみなしている。

図表 3.8 : 『第三版』「英和の部」における“construction”および、“architecture”の意味記述

版名 出版年	見出し 品詞	意味記述 1	備考
第三版 1886 明治 19	CONSTRUCTION, <i>n.</i>	Koshirae, (*こしらえ) tateru koto; (*建てること) tatekata, (*建てかた) tsukuri-kata, (*つくりかた) seisaku; (*製作/制作) buntai, (*文体) kōzō. (*構造)	・『第三版』和英の部、“seisaku”には、「製作」とある。
	ARCHITECTURE, <i>n.</i>	Kenchiku-jutsu, (*建築術) zōyei. (*造営)	・『第三版』和英の部、“zōyei”には、「ザウエイ 造営」とあり、“Syn. (*類義語) KENCHIKU (*建築)”とある。

3.3.1.1 結果

結果として、以下のことが明らかになった。

- ・『初版』および『再版』では、「結構」の「構」は、手偏の「構」である。幕末・明治期には、二つの表記が併存していたことが示唆される。
- ・『第三版』では、「結構」の「構」が、現在の木偏の「構」に変更された。
- ・『再版』では、『初版』、「意味 2」、冒頭の“A word of admiration, or commendation,” (*筆者訳：感嘆あるいは賞賛の語) が削除された。
- ・『第三版』では、品詞項目、“n.” (名詞) が追加された。
- ・『第三版』では、「意味 1」“The construction, architecture”が追加された。これは、「結構」の本来の意味と考えられる。『第三版』になってから追加された一つの要因として、本来の意味(「組み立て」“construction”)とされるものが、解説を要した(やや高踏的)レベルにあったということも挙げられよう(上述、「3.2.1 山田俊雄(1975)」参照)。
- ・類義語については、『初版』『再版』『第三版』通して、“RIPPA, YOI. (*立派・よい)”が挙げられている。
- ・『初版』『再版』『第三版』の全体を概観すると、当時の「結構」は、かなり程度の高いほめことばとして使われていたことが示唆される。

3.3.2 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「結構(結構)」の意味記述

『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典 全三冊』は、

イギリスの外交官、学者である J. H. Gubbins (ジョン・ハリントン・ガビンズ) によるものである。出版は、1889 (明治 22) 年から 1892 (明治 25) 年にかけてである。和文名称が『漢語英訳辞典』とあるように、端的に言えば、英語で解説した「(日本) 漢字辞典」である。ここからは、第二冊、“Ketsu 結” の項目内下部、二字漢語の欄に、「結構」がみられた。表記は手偏の「構」である。ただし、当時の資料には、しばしばこの字体がみられる⁶⁷。以下に、「結」と「結構」の記述を表にして示した (一部抜粋、編集)。

図表 3.9 : 『漢語英訳辞典』における「結」「結構」の意味記述

語項目	意味記述	備考
Ketsu 結	To tie together; fasten; bind; curved; an engagement.	
Kek-kō (結)構,	an enclosure; (of a building etc.) construction; architecture; (of artistic or other work) arrangement; fine; beautiful; splendid; excellent; delicious; (wo) suru (* 結構(を)する : サ変動詞), to build; construct.	・英語の品詞は、 名詞・形容詞・動詞。 “(wo) suru” とサ変動詞の記述もあり。

3.3.2.1 考察 (「結構」の用法と分類)

以上をみると、「結構」について、品詞の指定はないものの、三分類できる (名詞・形容詞・動詞)。意味上では、四分類できる。つまり、「名詞：物の構造」「形容詞：よい・素晴らしい・美しい」「形容詞：(食べ物)がおいしい」「動詞：物を建てる (作る)」である。

まず、“an enclosure” についてみると、これは物や土地などを何らかの構造物で囲い込むことを意味する。管見の限り、「結構」の英訳に “enclosure” をあてているのはこの辞書のみのものである。しかし、むしろ、「結構」の本来の意味を理解する上で助けになる。

“construction” “architecture” については、『和英語林 第三版』、「結構」の意味記述と同じである。上記二語は、「建設／建物／建築様式」といった意味で、互いに類義関係にある。さらに、両者ともに文章等の構成・構造といった意味も持つ。

“arrangement” についてみると、これは「物の整理・整頓／配置・配列」を意味する。加えて、“of artistic or other work” とある。つまり、「芸術・その他の作品の配置・配列」となる。上記記述の “work” は、「作品／著作物」をも意味することを考慮すれば、「文章等の適切な配列」との解釈もできる。

⁶⁷ 例えば、上述、「3.3.1『和英語林集成』」をみると、『初版』『再版』の表記は、手偏の「構」の「結構」である。下述、「3.7.2 中世から近代 (CHJ : 日本語歴史コーパス)」も参照。

“fine; beautiful; splendid; excellent;” をみると、これらは「良い／美しい／素晴らしい」を意味する。上述、「3.2.4 佐藤喜代治 (1979)」にもあるように、壮麗な建築物を目の前にして、「素晴らしい (建築物の) 結構だ」となり、しだいに「結構」そのものが、「良い／美しい／素晴らしい」等の意味をも包含したと考えられる。その時点において「結構」は、建築物等、目の具体物に対する賛辞として「良い／美しい／素晴らしい」等の意味で使われたのであろう。しかし、後に使用範囲が拡大し、人の精神活動等の抽象的概念に対してのプラス評価にも使われるようになったとみられる。したがって、現代における「結構」は、具体から抽象へという意味変化の過程を経たという見方もできよう。

“delicious” については、「良い／美しい／素晴らしい」等の意味を味覚に応用すれば、「味が素晴らしい」つまり、「おいしい」との解釈ができる。

記述の最後に、“(wo) suru,” とサ変動詞用法とみられる記述がある。これは「(を) 結構する」あるいは「結構 (を) する」と二通りに解釈できる。おそらくこれは、「(を) 結構する」つまり、サ変動詞の他動詞としての用法を示すものであろう。したがって、ここでの「(を) 結構する」は、「(建築物等) を建てる / (文章等) を構成する」といった意味となるであろう。

一方、手偏の「構」と木偏の「構」については、『漢語英訳辞典』では手偏の「構」はみられなかったが、木偏の「構」(現代語「結構」の「構」)がみられた。さらに、“Kō 構”の項目内下部に、「構成」「構造」という二字漢語がみられた。参考として、以下に「構」「構成」「構造」の意味記述を表にして示した (一部抜粋、編集)。

図表 3.10 : 『漢語英訳辞典』における「構」「構成」「構造」の意味記述

語項目	意味記述	備考
Kō 構	To cover; roof over; construct; build; frame; complete.	
Kō-sei (構)成,	construction (wo) suru, to construct; build; make; (applied to the construction of buildings or of things conspicuous by their size).	・上記「結構」の記述と一部意味が重なる。
Kō-zō (構)造,	construction (wo) suru, to construct; build; make; (applied to the construction of buildings or of things conspicuous by their size). (*以下略)	

以上、概観すると、まず、“Kō 構”について英語の意味記述を和訳すると、「おおう／

建設・建築する／組み立てる／完成させる」となる。さらに、「構成」と「構造」の意味記述を比較してみると、ほぼ同じである。前述「結構」のそれと比較すると、“construction”という語が一致する。ここから、当時（明治20年代）の「結構（結構）」は、「構成」あるいは「構造」と類義関係にあったことが示唆される。例えば、下述、「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」においても、「結構（結構）」と、「構成」「構造」が類義のものとして使われている例がみられる。

補足として、「構成」と「構造」の、サ変動詞用法“(wo) suru,”について試みる。現代語においては、「構成する」とは言えるものの、「構造する」とは言いにくい（あるいは言えない）。上記記述をもとに推察すれば、当時（明治中期頃）、「構造」にサ変動詞用法があったものの、その後すたれたということになる。同様に、「結構」についてもかつてはサ変動詞用法があったが、現代はほぼみられない。この点については、「構造」と「結構」には共通項が見いだせる⁶⁸。

3.3.3 近代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較

本項では、明治中期から昭和前期にかけて出版された近代の国語辞書（一部和英辞書を含む）10種を用いて、通時的観点も含めて、「結構」の意味記述を比較・対照した。まず、本稿で取り上げた10種の辞書の内訳を、以下の表に示した。

図表 3.11：近代の国語辞書 10 種の内訳

編者/著者	正式名称	略称	出版年	出版社(人)
J.C. ヘボン	改正増補 和英 英和 語林集成	和英語林 3 版	1886：明治 19	丸善商社
高橋五郎	漢英対照 いろは辞典	漢英対照いろは	1888：明治 21	長尾景弼
大槻文彦	日本辞書 言海	言海	1889~91：明治 22~24	大槻文彦
山田美妙 (武太郎)	日本大辞書	日本大辞書	1893：明治 26	日本大辞書 発行所
落合直文	日本大辞典 ことばの泉	ことばの泉	1898：明治 31	大倉書店
松平圓次郎 山崎弓束 堀籠美善	俗語辞海	俗語辞海	1909：明治 42	集文館
上田万年 松井簡治	大日本国語辞典	大日本国語辞典	1915~19：大正 4~8	富山房 金港堂
金沢庄三郎	広辞林 (初版)	広辞林初版	1925：大正 14	三省堂
新村出	辞苑	辞苑	1935：昭和 10	博文館
金田一京助	辞海	辞海	1952：昭和 27	三省堂

⁶⁸ 漢語サ変動詞の品詞のゆれについては、庵功雄・張志剛（2015）「漢語サ変動詞にみる近代語と現代語－コーパスを通しての考察－」に詳述がある。

第3章 結構

「結構」の意味の分類については、原典の意味記述を参照の上、さらに筆者の任意で仕分けた。スペースの関係上、意味の記述のみとし、例文等は省略した。『言海』『日本大辞書』については、意味記述をカタカナ表記からひらがな表記に変更した。なお、『辞海』のみ1952（昭和27）年の出版である。しかし、武藤康史（2008）⁶⁹によると、昭和13年に、金田一京助が『辞海』（当初の予定は昭和国語大辞典）にとりかかったとあるため、便宜上近代の辞書に含めた。以下に表にまとめたものを示した。

図表 3.12：近代の国語辞書10種における「結構」の意味記述の比較

辞書名	意味1	意味2	意味3	備考
和英語林 3版 (1886)	KEKKŌ ケツカウ 結構 n. The construction, architecture	(coll.) (* 話しことば) Fine, splendid, excellent, beautiful, grand, delicious, delightful:	—	・意味1 “The construction, architecture”は、3版 で追加された。 ・上述「3.3.1『和英語 林集成』～」も参照。
漢英対照 いろは (1888)	けっこう(名) 結構, か まへ, つくり; Manner of building or construction;	[俗](形) みごと, うつく しき magnificent, beautiful.	—	・見出しは「けっこ う」のみ。
言海 (1889~91)	けっこう(名) 結構①む すびかまふること。組み 立つること。	(名)②俗に、一好しといふ より転じて、好きこと。美 しきこと。貴きこと。勝れ たること。偉麗 精好	—	
日本 大辞書 (1892~93)	けっこう(名・及・根)*1 結構①漢語。結び、構へ、 拵へること。組み立て。	(名・及・根)②(転じて)字 音。よくあること。美しく あること。たふとくあるこ と。	—	・別見出し「結構人」 あり。*2
ことば の泉 (1898)	けっこう(名)結構。①か まへ。組み立つること。 ②よい。こころがま へ。	けっこう(名)結構。よきこ と。美しきこと。妙なるこ と。優れたること。俗語。 *3	—	・漢字表記は、手偏の 「構」 ・見出しは左「①かま へ。」と右「よきこ と。」別々である。 ・「けっこう」の「つ」 の表記は、小さい 「っ」。 ・「けっこうじん(結 構人)」「心(心)のよすぐ る人。ぐづ。俗語。」 の見出しもあり。
俗語辞海 (1909)	—	(名)①すぐれてよいこと。 うつくしいこと。美麗 巧 妙 優麗 ②役や位につき、または、 昇り進みなぞすること。任 官 陞進 昇級 栄官 栄転 栄進 光栄 ほまれ、 (副)①すぐれてよいさま、 また、うつくしく妙なさま にいふ。美的に、好的に、 巧妙に、立派に、うるはし く、	(名)③みち たりて充分 なこと。不足 のないこと。 充分 満足 (副)②不足 のないさま にいふ。充分 に、満身に、	・見出しは(名)と(副) の二つある。(名)② 以外、ほぼ同じ記述。 ・③の例文に、「これ だけあれば、けっこ うだ。(この量を有す れば充分なり。)」と ある。

⁶⁹ 『国語辞典の名語釈』巻末、「国語辞典年表」より。

第3章 結構

大日本 国語辞典 (1915-19)	①むすびかまふること。かまへつくること。組み立つること。又、其のさま。②たくむこと。企て。もくろみ。計画。③支度。用意。まうけ。設備。	④うつくしきこと。すぐれたること。美麗。精巧。⑤心がけよきこと。気立よきこと。おとなしやかなること。好人物なること。	—	・別見出しで、ややマイナス評価の「結構者」「結構人」あり。
広辞林 初版 (1925)	(名)①結び構ふること。組み立つること。②かまえた。つくりかた。くみたて。③たくらみ。くはだて。もくろみ。④したく。ようい。まうけ。	(名)⑤よきこと。美しきこと。すぐれたること。⑥すなほなること。おとなしきこと。しとやかなること。	—	
辞苑 (1935)	(名)①結び構えること。組み立てること。又、そのさま。②つくりかた。かまえた。③たくらみ。もくろみ。④したく。用意。	(名)⑤よきこと。美しいこと。すぐれたこと。⑥おとなしいこと。しとやかなこと。好人物なること。	—	
辞海 (1952)	(名)①組み立てること。かまえつくること。くみたて。構造。②(中世)たくらむこと。くわだて。③(中世)したく。用意。	(名)④a すぐれていること。美しいこと。りっぱ。b ねんごろなこと。ていねいなこと。c 十分⑤(近世)おとなしいこと。お人よしであること。	—	

*1: 根詞は巻頭の緒言によると、現在の形容動詞に準じるものようである。

*2: 「けつこうじん (名) 字音。気だてのいい人。ぐうたらべえの人。人のいいひと (卑しめていふ)。」とあり、反語的で、ややマイナス評価である。

*3: 『ことばの泉』、「俗語」の見出しには、「転訛などしたる語にて、口語には用ゐれども、文章語をしては用ゐがたし。さとびことば。俗言。」とある。

(*筆者注: なお、補足資料として、弾舜平 (琴緒) 編 (1891: 明治 24) 『俗語雅調』 (桐園社) にも、「ケツコウナ」の見出しがみられた。意味記述は、「めでたし。きらきらし (*「。」はなし)」とあった。「きらきらし」とは、「美々 (びび) シイ」と同義で、「美しい」といった意味のようである。)

3.3.3.1 結果

結果として、以下のことが明らかになった。

・「意味 1」について、『言海』(1889~91) の記述をみると、「むすびかまふること。組み立つること。」とある。これが「結構」の本来の意味に近いものとみられる。さらに、『言海』以後の辞書の記述をみると、『辞海』(1952) まで、ほとんど記述内容が同じであることがわかる。ここから、後続辞書の『言海』からの影響は相当に大きい、とい

ったことが示唆される。

・「意味 2」における『言海』(1889~91)の記述をみると、「俗に、一好しといふより転じて、好きこと(*よきこと)。美しきこと。貴きこと。勝れたること。偉麗 精好」とある。ここから、キーワードを取り出してみると、「よい」「美しい」「貴い」「すぐれた」が取り出せる。一方、後続辞書の記述をみると、ほぼ上記のキーワードに則った記述内容である。ここから、同様に、後続辞書の『言海』からの影響が大、といったことが示唆される。

・「意味 2」における位相の表示についてみると、『和英語林 3 版』(1886)では“(coll.)(*話しことば)”,『漢英対照 いろは』(1888)では「[俗]」、『言海』(1889~91)では「俗に、」、『ことばの泉』(1898)では「俗語。」とある。つまり、「俗語」の指定がなされていることになる。ただし、当時(明治 20~30 年代)の「俗語」は、上記、『和英語林 3 版』における“(coll.)(*話しことば)”と同様の意味合いを持っていたようである。つまり、現代における「俗語」⁷⁰から想起されるイメージとはやや異なる点については注意を要する。当時(明治 20~30 年代)は、「結構」の「みごと／うつくしき／貴きこと／勝れたること」といった意味は、口語(話しことば)的要素が強かったということが示唆される。なお、『ことばの泉』、「俗語」の項目をみると、「口語には用ゐれども、文章語をしては用ゐがたし。」とある(上記の注釈“*3”参照)。なお、上記の表をみると、『俗語辞海』(1909)以降の辞書では、分類「意味 2」においては、「俗語」類の表示がなくなっていることがわかる。

・上記表において、「意味 3」に該当するのは、『俗語辞海』(1909)の記述のみであった。したがって、『俗語辞海』は、他の辞書と比較すれば、やや異色なものとみられる。しかし、他の辞書に先駆け、「副詞」の立項をしていることが大きな特徴といえよう。なお、「意味 3」では、「(名) ③みちたりて充分なこと。不足のないこと。充分 満足」、「(副) ②不足のないさまにいふ。充分に、満足以、」とある。ここから、キーワードとして、「充分(*十分)」「満足」が取り出せる。これらは現代の国語辞書における「結構」の意味記述につながるものである(下述、「3.4.1 現代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較」参照)。

・『日本大辞書』(1892~93)、『ことばの泉』(1898)、および、『大日本国語辞典』(1915~19)

⁷⁰ なお、現代における「俗語」については、下述、「第 7 章 やばい」、「7.1.5.1 俗語」の米川明彦(2003)による「俗語の定義」を参照。

では、「結構」関連の語として、「結構人」「結構者」が別見出しで立項されている。例えば、『日本大辞書』では、「けつこうじん（名）字音。気だてのいい人。ぐうたらべえの人。人のいいひと（卑しめていふ）。」とある。これは、ややマイナス評価であり、反義併存的である。

3.3.4 『齋藤和英大辞典』における「結構」の意味記述と用例

本項では、齋藤秀三郎（1928：昭和3）『齋藤和英大辞典』（以下略称：『齋藤和英』）における「結構」の意味記述と用例についての考察を行う。まず、『齋藤和英』について、出版当時の山縣五十雄による紹介文（雑誌「英語青年（The Rising Generation）」（1928：昭和3）所収）から、以下に一部を抜粋した⁷¹。

齋藤秀三郎氏の和英大辞典は種々の点に於て優秀な大著であり、我英語界に貢献する所多大なるを疑わぬ、其用語例が、中には無くもがなと思はれるものがある程に、豊富なる点に於て特に優れて居る。私の如く年中和英和訳の仕事をやつて居る者は、此辞書より恩恵を受くることの多かるべきを思ひ、著者に対して、大なる感謝を払はねばならぬ。

以上、山縣は、『齋藤和英』の得に優れた点として、用語例（例文）の豊富さを挙げる。これは、本稿において、『齋藤和英』を取り上げた理由の一つでもある。和英辞書であるから、英語の用例のみならず日本語の用例も豊富ということがいえる。したがって、該当語が大正期から昭和前期にかけて、どのように使われていたかについて、豊富な例文を基にした考察が可能になる。ちなみに、同時期の国語辞書と比較すれば、『齋藤和英』ほどに用例の充実したものは、管見の限りみられない。つまり、視点を変えれば、『齋藤和英』は、日本語の歴史的資料としての価値を持つものともいえる。

まず、以下に、『齋藤和英』における“Kekkō（結構）”の意味記述・例文⁷²を表にしてまとめた（例文には便宜上番号をつけた）。

⁷¹ 「英語青年（The Rising Generation）」第59巻第9号 総号第772号（1928：昭和3）、p.318、山縣五十雄「日本人の英語英文」より。なお、齋藤秀三郎については、大村喜吉（1960）『齋藤秀三郎伝—その生涯と業績—』に詳述がある。

⁷² 例文をみると、太字になっている部分がみられる。これは、該当語の英訳に相当する部分を太字で示したようである。ただし、見て明らかなように、必ずしもぴったりとは一致していない。

第3章 結構

図表 3.13 : 『齋藤和英』における「結構」の意味記述と例文

品詞	意味記述	例文
名詞	(=組立) structure: (小説、演劇のは) plot.	①此演劇の結構が好い I like the plot of the play —The play is well got up . ②此小説は結構が悪い The novel is defective in plot — Ill got up . (* “defective” : 欠陥のある)
形容詞	(=好い) good (thing); excellent (article); fine (weather); nice (present); delicious (food); exquisite (workmanship, etc.).	③それで結構 That's good—That's right—That'll do . ④是なら結構だ It is quite good — It might be worse . (* “It might be worse.” という例文の真意がわかりかねるが、反義併存的表現であろうか。つまり、「より悪い」→「こんなものはいらない」という解釈であろうか。仮にそうだとすれば、「(=好い)」の意味記述に該当しないため矛盾する。しかし、昭和一桁の時代に、断りの意思表示としての用法があったということを示唆する例となる。) ⑤結構なお天気です It is fine weather — Lovely weather, isn't it? ⑥結構な新年です Happy New Year! ⑦結構な品を頂戴して有難う存じます Thanks for your nice present! ⑧お雑煮は結構です The New Year's dish is excellent . (*これはプラスイメージの「結構」。ただし、現代語の語感では、「お雑煮は結構です」と言えば、「(おなかいっぱい十分に食べたから) もういりません」という No を含意したものになる。) ⑨お吸い物も結構です The soup is delicious . (*これもプラスイメージの「結構」。これについても現代語の語感では、No を含意した「結構」になろう。) ⑩結構な細工です It is exquisite workmanship . ⑪日光を見ずに結構と云うな Never say “kekko (*ママ)” before you see Nikko . 【以下特例】(*ママ：何の特例なのかは不明。) ⑫結構なお身分です Yours is an enviable position . ⑬結構なお住居ですね You have quite a home here. ⑭羽織袴で結構だ Haori and Hakama will do . ⑮其儘で結構です I like it as it is—I don't wish it otherwise . (*この例は相手のサービスを婉曲に断る(辞退する)表現。) ⑯(芝居へ行かないかと云はれて) 結構です (Won't you go to the play?) With pleasure—With great pleasure—I shall be delighted—I shall be charmed . (*この「結構です」は、英訳を参照すれば、「喜んで(ご一緒させていただきます)」を意味することになる。ただし、現代ならば、このような場面で「結構です」と言えば、断りの意思表示になるであろう。) ⑰(日光行きですか) 何より結構です A trip to Nikko? I should like nothing better—I shall enjoy it of all things . ⑱休みは何時も結構だ A holiday never comes amiss . (* “amiss” : 不都合で、悪く) 2(* “2” とあるが、“1” はみられない。) (=目出度い) I am glad. ⑲(病人が助かったか) それや結構だ Is he saved? I am glad of it—That's a mercy . ⑳及第したか、それや結構だ Have you passed? I am glad to hear it —I am glad that you have passed . ㉑何時もお達者で結構です I am glad you are always in good health . ㉒達者なのは何より結構だ Health is above everything else . ㉓戦争が済んで結構だ I am glad the war is over—I am glad of the war being over . ㉔御繁昌で結構です I am glad you are doing so well . ㉕何うなり斯うなり暮して行けれや結構だ We must be content if we can get along anyhow. ㉖血を見ずに治まるなら結構だ It is well if the matter can be settled without bloodshed .
副	(=十分)	㉗(彼は年を取って居ても) 結構役に立つ He is old, but he is quite useful .

第3章 結構

詞	quite; very well.	㉘あの男で結構間に合ふ He will do very well . ㉙此家で結構間に合ふ This house will answer the purpose very well . ㉚彼が居なくとも結構間に合ふ He can be very well done without . (*上記例文 “He can be very well done without .” については理解不能。)
---	-------------------	---

さらに、以下、例文のみをカテゴリー別に表にまとめた。

図表 3.14 : 『齋藤和英』における「結構」の例文の4分類

分類	例文
1. 名詞	㉑此演劇の結構が好い I like the plot of the play—The play is well got up. ㉒此小説は結構が悪い The novel is defective in plot—It's got up. (*現代語であれば、そのままプロットで差し支えないか。)
2. (形容動詞) 述語文 (結構。) (結構だ。) (結構です。)	㉓それで結構 That's good —That's right—That'll do. ㉔是なら結構だ It is quite good—It might be worse. ㉕お雑煮は結構です The New Year's dish is excellent. (*これはプラスイメージの「結構」。現代語の語感では、断りの意思表示 (“No” を含意する) としての「結構」になろう) ㉖お吸い物も結構です The soup is delicious. ㉗日光を見ずに結構と云うな Never say “kekko (ママ)” before you see Nikko. ㉘羽織袴で結構だ Haori and Hakama will do. ㉙其儘で結構です I like it as it is—I don't wish it otherwise. ㉚(芝居へ行かないかと云はれて) 結構です(*この「結構です」も現代語では断りの意思表示になる) (Won't you go to the play?) With pleasure—With great pleasure—I shall be delighted—I shall be charmed. ㉛(日光行きですか) 何より結構です A trip to Nikko? I should like nothing better—I shall enjoy it of all things. ㉜休みは何時も結構だ A holiday never comes amiss. (* “amiss”: 不都合で、悪く) ㉝(病人が助かったか) それや結構だ Is he saved? I am glad of it—That's a mercy. ㉞及第したか、それや結構だ Have you passed? I am glad to hear it—I am glad that you have passed. ㉟何時もお達者で結構です I am glad you are always in good health. ㊱達者なのは何より結構だ Health is above everything else. ㊲戦争が済んで結構だ I am glad the war is over—I am glad of the war being over. ㊳御繁昌で結構です I am glad you are doing so well. ㊴何うなり斯うなり暮して行けれや結構だ We must be content if we can get along anyhow. (*まあまあよいという語感。) ㊵血を見ずに治まるなら結構だ It is well if the matter can be settled without bloodshed.
3. 連体修飾 (結構な +名詞)	㊶結構なお天気です It is fine weather—Lovely weather, isn't it? ㊷結構な新年です Happy New Year! ㊸結構な品を頂戴して有難う存じます Thanks for your nice present! ㊹結構な細工です It is exquisite workmanship. ㊺結構なお身分です Yours is an enviable position. ㊻結構なお住居ですね You have quite a home here.
4. 副詞	㊼(彼は年を取つて居ても) 結構役に立つ He is old, but he is quite useful. ㊽あの男で結構間に合ふ He will do very well. ㊾此家で結構間に合ふ This house will answer the purpose very well. ㊿彼が居なくとも結構間に合ふ He can be very well done without. (*例文㊿ “He can be very well done without.” については理解不能)

3.3.4.1 結果

結果として、以下のことが明らかになった。

- ・品詞および意味については、「名詞 (=組立)」「形容詞 (=好い)」「副詞 (=十分)」の三つに分類できる。ただし、日本語としての「結構」をみた場合、「形容詞」でなく「形容動詞」となる。
- ・例文は全 30 例である。四つのカテゴリーに分類できる。以下、「1. 名詞」が 2 例、「2. (形容動詞) 述語文」(結構。／結構だ。／結構です。)が 18 例、「3. 連体修飾」(結構な+名詞)が 6 例、「4. 副詞」が 4 例となる。ちなみに、例文数について本稿で扱った他の語と比較すると、以下、「大丈夫」が 19 例、「適当」が 13 例、「微妙」が 6 例となる。したがって、「結構」の例文は比較的多いということがわかる(下述、「4.3.3.1 結果」、「5.3.4.1 結果」、「6.3.4.1 結果」参照)。
- ・分類「1. 名詞」の例文についてみると、演劇・小説等について、「結構が好い」「結構が悪い」といった表現がみられる。これらは現代ではほとんど用いられない表現である。現代では、「結構」の代わりに、「構成／プロット／筋(すじ)」等を用いることが多いとみられる。
- ・分類「2. (形容動詞) 述語文」(結構。／結構だ。／結構です。)の例文、「④是なら結構だ It is quite good—It might be worse.」についてみる。“It might be worse.”という例文の真意がわかりかねるが、反義併存的表現とも考えられる。つまり、「より悪い」→「こんなものはいらぬ」という解釈である。仮にそうだとすれば、「(=好い)」の意味記述に該当しないため矛盾する。しかし、当時(大正期から昭和前期にかけて)、断りの意思表示としての用法があったということを示唆する例ともいえよう。ただし、“It might be worse.”の例は、前の例“*It is quite good*”(筆者訳：かなり(まあまあ)よい)との関係性を考慮すれば、“*It might not be worse.*”(筆者訳：悪くないかもしれない)とも考えられるため、誤植の可能性もあるということを指摘しておく。
- ・分類「2. (形容動詞) 述語文」(結構。／結構だ。／結構です。)の例文、「⑧お雑煮は結構です *The New Year's dish is excellent.*」についてみる。英文例“*excellent*”をみてもわかるように、これはプラス評価性の「結構」である。ただし、現代語の語感では、「お雑煮は結構です」と言えば、「(おなかいっぱい十分に食べたから)もういいいりません」という婉曲な断りとしての(Noを含意した)「結構」となる。「⑨お吸

い物も結構です The soup is delicious.」についても同様である。これらの用例を現代であえて使うとすれば、「お雑煮は大変結構です」、「お吸い物も大変結構です」といったように程度強調の副詞「大変」等を入れておかないとおさまりが悪いであろう。

・分類「2. (形容動詞) 述語文」(結構。／結構だ。／結構です。)の例文、「㊶(芝居へ行かないかと云はれて)結構です (Won't you go to the play?) With pleasure—With great pleasure—I shall be delighted—I shall be charmed.」についてみる。ここでの「結構です」は応答の感動詞的な用法である。英文例をみると、「よろこんで(行かせていただきます)」といった解釈となる。おそらくは、当時(大正期から昭和前期にかけて)、肯定的返答としての「結構です」が主に用いられていたことが示唆される。ただし、この「結構です」は、現代語ではたいてい婉曲な断りの「結構」となる。これについては、伊藤由美(2017)における、「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」との関わりもみられるため、注意を要する(下述、「4.2.5 伊藤由美(2017)」、「4.2.5.1 ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」参照)。

・分類「2. (形容動詞) 述語文」(結構。／結構だ。／結構です。)の例文、「㊷何うなり斯うなり暮して行けれや結構だ We must be content if we can get along anyhow.」についてみる。これについては、なんとかかんとかやっっていけさえすればとりあえずはまあまあ満足である、といった語感である。これについては、絶対的な満足感というわけではなく、相対的な満足感といったものであろう。当時(大正期から昭和前期にかけて)、すでに現代語に近い感覚で「結構」が使われていたことを示唆するものである。

・分類「4. 副詞」の例文、「㊸あの男で結構間に合ふ He will do very well.」、「㊹此家で結構間に合ふ This house will answer the purpose very well.」、「㊺彼が居なくとも結構間に合ふ He can be very well done without.」についてみる。三例とも、「結構」と「間に合ふ(間に合う)」が共起した例となる。ここで、「間に合う」といえば、「手持ち(手近)のもの(人)で最低限の必要性を満たす」といったニュアンスとなる。つまり、「間に合ふ(間に合う)」と共起した「結構」は、消極的なプラス評価性しか示さないものと考えられる。したがって、上記三例にみられる「結構」は、すでに現代語の感覚に近い用いられ方をしていることがわかる。ただし、上記三例の英文をみると、「結構」に相当するものとして、“very well”(筆者訳:とてもよい)が挙げられている。例えば、上記㊹の例“This house will answer the purpose very well.”を訳せば(筆

者による)、「この家は目的に大変かなったものである」となってしまう。これについては、日本語の例と英語の例とではニュアンスがかなり異なってしまうということを指摘しておく。

3.4 現代の国語辞書における「結構」

3.4.1 現代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較

本項では、現代の国語辞書における「結構」の意味記述について、比較・対照した上で考察を行った。便宜上、分冊構成になっているものを「大型」(『日本国語大辞典』のみ)、『広辞苑』サイズの物を「中型」(3 種)、『新明解』サイズの一般的小型辞書を「小型」(6 種)とみなした。まず、10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。なお、『日本国語大辞典』および『デジタル大辞泉』は“Japan Knowledge Lib”による⁷³。

図表 3.15 : 現代の国語辞書 10 種の内訳

カテゴリー	正式名称	略称	出版年	出版社
大型 1 種	日本国語大辞典 ⁷⁴	日国	オンライン	小学館
中型 3 種	デジタル大辞泉	—	オンライン	小学館
	広辞苑 第 7 版	広辞苑 7 版	2018	岩波書店
	大辞林 第 4 版	大辞林 4 版	2019	三省堂
小型 6 種	明鏡国語辞典 第 2 版	明鏡 2 版	2010	大修館書店
	新明解国語辞典 第 7 版	新明解 7 版	2012	三省堂
	旺文社国語辞典 第 11 版	旺文社 11 版	2013	旺文社
	三省堂国語辞典 第 7 版	三国 7 版	2014	三省堂
	現代国語例解辞典 第 5 版	現国例 5 版	2016	小学館
	岩波国語辞典 第 8 版	岩波 8 版	2019	岩波書店

⁷³ 2020 年 8 月閲覧。https://japanknowledge.com/lib/search/basic/?

⁷⁴ 紙媒体においては、「第二版」(2000~2002)が最新のものと考えられる。ただし、「Japan Knowledge Lib」では『日本国語大辞典』のみの表示であるため、それに準じる。同様に、『デジタル大辞泉』についても、版の表示はない。

3.4.1.1 大型・中型辞書4種

まず、大型・中型辞書4種について比較したものを以下の表に示した。

図表 3.16：現代の大型・中型辞書4種における「結構」の意味記述の比較

	意味1(名)	意味2(形動)(名)	意味3(副)	備考
日国	(スル)組み立ててつくり上げること。	(左(名)の意から転じて)よく出来上がっているさま。申し分のないさま。よいさま。	(副)十分満足であるというほどではないが、一応よいといえるさまをいう。程度が低いと見こんでいた予想からは、案外程度が高いことを表わす。かなり。	・大項目のみ抜粋。
デジタル大辞泉	(名)(スル)①全体の構造や組み立てを考えること。また、その構造や組み立て。構成。「布置」②もくろみ。計画。③したく。用意。④トラス(*備考参照)	(形動)①すぐれていて欠点がないさま。②それでよいさま。満足なさま。③それ以上必要としないさま。④気立てがよいさま。	(副)完全ではないが、それなりに十分であるさま。	・(名)④の「トラス」は建築用語。
広辞苑7版(2018)	①かまえつくること。組み立てること。②たくらみ。もくろみ。計画。③したく。用意。	(名)④申し分のないこと。よいこと。⑤気立てのよいこと。好人物であること。⑥これ以上は望まないこと。十分。たくさん。	(副)何とか。まあまあ。	・『広辞苑7版』は(形動)の品詞を立てず。
大辞林4版(2019)	①物を組み立てて、一つのまとまった組織・構造物・文章などを作り上げること。組み立て。構え。構成。②特に、善美を尽くして物を作ること。また、そのもの。③計画。企て。もくろみ。④準備。用意。したく。	(形動)(左①が見事であるという意から)①すばらしくて難点がないさま。②満足できる状態であるさま。その状態で十分であるさま。③(それ以上を)必要としないさま。十分。④気立てのよいさま。お人好し。	(副)予想に反して、適度に満足をゆくさま。	

3.4.1.2 小型辞書 6 種

次に、小型辞書 6 種について比較したものを以下の表に示した。

図表 3.17：現代の小型辞書 6 種における「結構」の意味記述の比較

	意味 1 (名)	意味 2 (形動)	意味 3 (副)	備考
明鏡 2 版 (2010)	(名)物事の構造や組み立て。	(形動)①すぐれていて難点がないさま。②それで満足なさま。さしつかえないさま。③それ以上は不要であるさま。 *1*2	(副)予想した以上であるさま。極端ではないが、かなりの程度であるさま。	
新明解 7 版 (2012)	建物などについて、全体の構成をどうするか、どこをどのように強調するかなどの、全体の組み立て(についての計画)。	①(相手側に関係する事柄について)非難すべき点は何も無いと評価する様子だ。*3②現在の状態で十分満足しており、これ以上を必要としない様子だ。*4	(副)経験や先入観から予測していたよりも程度が高い(はなはだしい)様子。	
旺文社 11 版 (2013)	(名)建物・文章などの全体の組み立てや仕組み。	(形動ダ)①すぐれていて難点がないさま。満足できるさま。申し分ない。②(辞退する場合に用いて)十分であるさま。これ以上は必要ないさま。	(副)完全ではないが、一応よいといえるさま。おおむね。相当に。	
三国 7 版 (2014)	(名)[文]作り方。かまえ。	(形動ダ)①[相手のがわのようす・ことばなどが]たいへんいいようす。②[「…で—」などの形で]さしつかえないようす。③[自分のがわが](これ以上)いらぬようす。	(副)①(予想/ふつう)以上であるようす。かなり。②[俗](予想/ふつう)よりも価値が低いようす。案外。③[俗][自分の気持ち・性質などについて]ふつう以上に。わりと。	
現国例 5 版 (2016)	構築物など、もののこしらえ。	(形動)①すぐれているさま。立派なさま。②心がけが良いさま。③十分なさま。満足なさま。婉曲に断る場合にもいう。	(副)十分満足というほどではないが、一応よいといえるさま。甚だしくはないが、かなりの程度であるさま。 *5	
岩波 8 版 (2019)	(名)構え作ること。組み立てること。構え。規模。布置。	(形動ダナ)よくまとまった状態であるさま。①(うらやましいほど)欠けた所がない。すぐれた。みごとだ。*6②気だてがよい。*7③(これ以上)いらぬ。*8	(副)何とかうまく。非常にとまでは言わないが相当に。	

*1:「解説」によると、「②は「それによって満足がいく状態になる」、③は「現状に満足である(よって、それは不要である)ことを表す。」とある。

*2:「表現」によると、「「一杯どうですか?」のような提案に対して、単に「結構です」というと、②③のどちらの意なのかわかりにくい。②の場合は、「(はい、)結構ですね」などと、③の場合は「もう結構です(よ)」「いや、結構です」などと答えると意味が明確になる。」とある。

(*これは、②の「満足」という表現には注意を要する。解説によると、②は肯定の意味を表すようであるが、「それによって満足がいく(ので必要ない)」という解釈ができてしま

うため、微妙な記述といえる。例えば、お腹がいっぱい満足の状態のとき、さらに食事を勧められた場合、「結構です」といえば、一般的に断りの意思表示になるはずである。）

*3:「運用」によると、「①は、「結構な…」の形で、皮肉な気持をこめて「評価するに値しない」の意で用いられることもある。例:「だれの言うことにもはいはいと言う結構なお人柄だ」とある。

*4:「運用」によると、「もう十分に満足したという気持を込めて、相手の申し出などを丁寧に断るのに用いられることがある。また、何らかの理由で、相手からの勧誘や協力の申し出などを拒否するのに用いられることもある。前者の(*丁寧に断る)例:「十分にいただきました。もう結構です」。後者の(*申し出の拒否)例:「せっかくのお誘いですがわたしは結構です/無理においでいただかなくても結構です」とある。

(*『新明解』では、「拒否」という表現を使っているため、強めのニュアンスの断りを想定しているようである。)

*5:「補足」によると、「意味3(副)は、予想より程度が上であるときにいう。」とある。

*6:「補足」によると、「副詞的用法「結構に」はほとんど無い。」とある。(*意味のない記述。)

*7:「補足」によると、「古風な言い方」とある。

*8:「補足」によると、「③は、主として言い切りの形で使い、謝絶や拒否に言うことが多い」とある。

3.4.1.3 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「結構」の意味のうち名詞を「意味1」として分類した。まず、「意味1」からキーワードとみられるものを抽出すると(便宜上a, b, cとした)、a「構造/構成/構え/組み立て」、b「計画/もくろみ/企て」、c「用意/準備/したく」が取り出せる。ここで、堀井令以知(2003)によると、原義が「組み立て作ること」、「企て/計画」の意味が鎌倉時代に現れる、「支度/用意」の意味が南北朝時代に現れる、とある(上述、「3.2.8 堀井令以知(2003)」参照)。したがって、意味の移行の順序は、a「構造/構成/構え/組み立て」→b「計画/もくろみ/企て」→c「用意/準備/したく」ということになる。aからbへの意味の移行

については、具体的建築物の組み立て・構造から、抽象的計画・企ての組み立てへの移行、つまり、具体から抽象への移行といった作用が働いたとみられる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「結構」の意味のうち名詞から転じたとみられる形容動詞を「意味2」として分類した。まず、「意味2」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 d, e, f とした）、d「よい／すばらしい／すぐれた／見事な／りっぱな」、e「十分な／満足な」、f「それ以上必要ない／それ以上望まない」が取り出せる。再び、上述、「3.2.8 堀井令以知（2003）」をみると、江戸時代、「すぐれて好ましいさま」といった意味で形容動詞として使われるようになる、「十分なさま、満足なさま」の意味が明治期以降に現れる、とある。したがって、意味の移行の順序は、d「よい／すばらしい／すぐれた／見事な／りっぱな」→ e「十分な／満足な」→ f「それ以上必要ない／それ以上望まない」ということになる。つまり、d「非常にすばらしい経験をして心が満たされる」→ e「(心や気持ちが)十分に満たされ、満足する」→ f「満足して十分に堪能したので、それ以上はもう望まない(つまり、必要ない)」となるとみられる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「結構」の意味のうち形容動詞から転じたとみられる副詞を「意味3」として分類した。まず、「意味3」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 g, h とした）、g「予想以上／ふつう以上／予想に反して／相当／かなり／わりと／適度な満足／案外／案外程度が高い／おおむね／一応よい／それなりに十分／何とか／まあまあ」、h「予想以下／ふつう以下」が取り出せる。再び、上述、「3.2.8 堀井令以知（2003）」をみると、江戸時代以降、「結構」が「かなり」、あるいは、「一応よいといえるさま」といった意味で副詞として使われるようになる、とある。つまり、上記、形容動詞の d「よい／すばらしい／すぐれた／見事な／りっぱな」と比較すれば、形容動詞から副詞への移行の際、基準設定意識⁷⁵（自身が想定した基準との比較意識）が作用し、相対化が進展したということが考えられる。言い換えれば、絶対的に「よい／すばらしい」状態から、自身の基準と比較して相対的に「一応（まあまあ）よい」状態へ移行したということになる。これは、相対化による「意味の下落」が作用したのともいえよう。さらに、「意味の下落」傾向が促進されると、「予想以下／ふつう以下」まで使用領域が拡張されることに

⁷⁵ 「基準設定意識」については、下述、「5.2.2 森田良行（1996）」、「5.2.2.1 「適当」と基準設定意識」も参照。

なる。以上を考慮すれば、意味の移行の順序は、g「予想以上／ふつう以上／予想に反して／相当／かなり／わりと／適度な満足／案外／案外程度が高い／おおむね／一応よい／それなりに十分／何とか／まあまあ」→ h「予想以下／ふつう以下」ということになる。

・以上の結果の考察を基に、「結構」の品詞・語義の移行についてまとめると以下のとおりになる（語義 b, c については、語義 d とは直接つながらないため、括弧内に入れた）。

a「構造／構成／構え／組み立て」→ (b「計画／もくろみ／企て」→ c「用意／準備／したく」) (以上、名詞) → d「よい／すばらしい／すぐれた／見事な／りっぱな」→ e「十分な／満足な」→ f「それ以上必要ない／それ以上望まない」(以上、形容動詞) → g「予想以上／ふつう以上／予想に反して／相当／かなり／わりと／適度な満足／案外／案外程度が高い／おおむね／一応よい／それなりに十分／何とか／まあまあ」→ h「予想以下／ふつう以下」(以上、副詞)

3.4.1.4 「結構」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

以下に、上記、現代の国語辞書10種を基にした「結構」の品詞および語義の移行についてのイメージ図を示した。なお、品詞の移行順は、左から右、語義の移行順は、上から下（右斜め下）となる。

図表 3.18 : 「結構」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

名詞*1	形容動詞		副詞
a 構造/構成/構え /組み立て			
b 計画/もくろみ/ 企て	d よい/すばらし い/すぐれた/見 事なり/っぱな		
c 用意/準備/した く		e 十分な/満足な	
			f それ以上必要 ない/それ以上 望まない
			g 予想以上/ふつ う以上/予想に 反して/相当/か なり/わりと/適 度な満足/案外/ 案外程度が高 い/おおむね/一 応よい/それな りに十分/何と か/まあまあ
			h 予想以下/ふつ う以下

*1 : aについては、本来の意味と考えられる。ただし、現代ではほとんど使われないとみられる。b,cについては、現代ではないものとみられる。

3.4.2 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「結構」の意味記述の変遷

本項では、『明解国語辞典』（初版／改訂版）、および、『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）を用いて、「結構」の意味記述の変遷について通時的に概観した。

『明解国語辞典』といえば、「金田一京助編」として名が知られる。ただし、武藤康史（2008）によると、実際の編集作業については見坊豪紀が全て行った、とある⁷⁶。一方、『三省堂国語辞典』についても、『第2版』（1974）まで編集者筆頭として金田一京助の名が挙がる。しかし、こちらも見坊豪紀を中心として編集されたようである。ちなみに、『明解国語辞典初版』は1943（昭和18）年の発行である。一方、『三省堂国語辞典 第7版』は、2014（平成26）年の発行である。したがって、昭和前期（戦時期）から平成期にかけての約70年間のことばの変遷を『明解国語辞典』から『三省堂国語辞典』への一連の流れを通して概観することができる。まず、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの版・出版年・編者の流れを時系列で表にして示した。

図表 3.19：『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ

名称(略)	版	出版年	編者
明解	初版	1943(昭和18)	金田一京助
明解	改訂版	1952(昭和27)	金田一京助
三国	初版	1960(昭和35)	金田一京助・見坊豪紀・山田忠雄・金田一春彦
三国	第二版	1974(昭和49)	金田一京助・金田一春彦・見坊豪紀*1・柴田武・山田忠雄
三国	第三版	1982(昭和57)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武
三国	第四版	1992(平成04)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武・飛田良文
三国	第五版	2001(平成13)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第六版	2008(平成20)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第七版	2014(平成26)	見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大

*1：『三国』の「第二版」「第三版」「第四版」では、見坊豪紀に「主幹」の表示あり。

続いて、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「結構」の意味記述について通時的観点から表にして示した。紙幅の関係上、端的にまとめた。『明解国語辞典』については、便宜上現代かな遣いに変更した。『三省堂国語辞典』については、『初版』（1960：昭和35）の後に『新装版』（1968：昭和48）がある。ただし、内容に変更がないため、省略した。

⁷⁶ 『国語辞典の名語釈』、『明解国語辞典』復刻版に寄せて』によると、「『明解国語辞典』の場合、編集方針を決めたのも、実際の作業に従事したのも、見坊豪紀一人であった、とはっきり言っているののである。」との記述がみられる。

第3章 結構

図表 3.20 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「結構」の意味記述の変遷

版	意味 1 (名)	意味 2 (形容動詞)	意味 3 (副詞)	備考
明解 初版 1943	(名)①結び構えること。作ること。 ②作りかた。かまえ。③くわだて。 ④用意。もうけ。 ⑤よくできたこと。⑥おとなしいこと。	—	(副)十分。 (*便宜上意味3に分類)	・明解初版は(形動ダ)の品詞項目を立てず。
明解 改訂 版 1952	(名)①同上②同上 ③同上④同上	(形動ダ)①よくできた。 ②おとなしい。	(副)十分。	・明解初版「(名)⑤⑥」が、「(形動ダ)①②」として独立。
三国 初版 1960	(名)[文]①作り方。かまえ。②くわだて。準備。	(形動ダ)①[相手の事があるらについて]いい。よろしい。*1例文追加 ②ていねいに ことわることば。いい。じゅうぶん。 *2	(副)(予想に反して)じゅうぶん。*3例文追加	・明解改訂版「(名)」の語釈を組み替え。[文](位相)の追加。(形動ダ)の語釈を全て書き換え。
三国 2版 1974	(名)[文]作り方。かまえ。*4例文追加	(形動ダ)①同上*1例文同上 ②ていねいに ことわることば。*5例文追加(*部分的)	(副)(予想に反して)じゅうぶん。うまく。*3例文同上	・三国初版「(名)②くわだて。準備。」および「(形動ダ)②いい。じゅうぶん。」が消滅。(副)に、「うまく」が追加。
三国 3版 1982	(名)同上*4例文同上	(形動ダ)①[相手のことがらについて]足りないところが一つもない。いい。*1例文同上 ②[自分のことがらについて]満足しているようす。*5例文同上	(副)同上*3例文同上	・三国2版「(形動ダ)②ていねいに ことわることば。」が消滅し、「②満足しているようす。」に変更。
三国 4版 1992	(名)同上*4例文同上	(形動ダ)①同上*1例文同上②同上*5例文同上	(副)同上*3例文同上	・三国3版と同じ。変更なし。
三国 5版 2001	(名)同上*4例文同上	(形動ダ)①同上*1例文同上②同上*5例文同上	(副)同上*3例文同上	・三国4版と同じ。ただし、最後に「結構づくめ」という句の追加。
三国 6版 2008	(名)同上*4例文同上	(形動ダ)①同上*1例文同上 ②同上*6例文追加 ③不要であるさいに ことわることば。*7例文追加	(副)①予想した以上であるようす。かなりの程度。*8例文変更・追加②[俗]わりあい。*9例文変更・追加	・三国5版から変更。「(形動ダ)③不要であるさいに ことわることば。」が追加。(副)が書き換えられ項目が二つに増加。編集メンバーは変更なし。
三国 7版 2014	(名)同上*4例文同上	(形動ダ)①[相手のがわのようす・ことばなどが]たいへんいいようす。*10例文追加 ②[「…で—」などの形で]さしつかえがないようす。*11例文追加 ③[自分のがわが](これ以上)いらないうす。*12例文追加	(副)①(予想/ふつう)以上であるようす。かなり。*13例文追加 (「結構おじょうずですね」などと目上に使うと、失礼にあたる) ②[俗](予想/ふつう)よりも価値が低いようす。案外。*14例文追加 ③[俗][自分の気持ち・性質などについて]ふつう以上に。わりと。*15例文追加	・三国6版から変更。(形動ダ)の語釈を全て書き換え。(副)が書き換えられ項目が三つに増加。「②[俗](予想/ふつう)よりも価値が低いようす。案外。」が追加。編集メンバーも変更。

*1 例文：「結構なお住まい／いつもおじょうぶで結構です」

*2 例文：「もう結構です」

3 例文：「結構やっている」（『三国2版』から『三国5版』まで。）

4 例文：「壮大な結構の寺院」（『三国2版』から『三国7版』まで変更なし。）

*5 例文：「もう結構です（＝これ以上は、いません）」（*括弧内の解説のみ追加。）

*6 例文：「この品で結構です／もう結構です（＝これ以上は、いません）」

*7 例文：「うちは結構です」

*8 例文：「結構うまい／結構苦労する」

*9 例文：「結構ショックです」

*10 例文：「結構なお住まい／いつもおじょうぶで結構です／『飲みに行きませんか』『結構ですね（＝賛成です。「ね」がなければ、ことわる意味）』」

（*筆者注：この例文については、やや疑問である。例えば、「ええ、結構です」といえば、「ね」がなくても賛成の意思表示となりうる。さらに、接尾辞「ね」以外にも、「よ」でも代替可能である。）

*11 例文：「この品で結構です／飛びこみ参加でも結構です」

（*筆者注：これらは「譲歩の結構」とでもいうべきものである。つまり、あらかじめ自身が想定していたモノ・サービスではないが、妥協の上それでよしとする、といった意味合いを持つものである。したがって、全面的な満足感でなく、まあまあ、ほどほどの満足感を暗示するものといえよう。）

*12 例文：「もう結構です／（勧誘に対し）うちは結構です」

*13 例文：「食べてみると結構うまい／訳すのは結構苦労する」

*14 例文：「結構つまらなかった／結構へんな人」

*15 例文：「定期入れを落として結構ショックです」

3.4.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「結構」は、学習重要語の指定がある（『三国3版』（1982）以降）。
- ・「結構」の品詞分類は、「名詞」「形容動詞」「副詞」の三つである。
- ・『三国3版』（1982）と『三国4版』（1992）は、意味記述に変更がみられない。

・『三国 6 版』(2008)以降、副詞の記述が充実しはじめる。ここから、現代語としての「結構」は、副詞のウエイトの占めるところが大きいことが示唆される。

・「結構」の意味のうち名詞に相当するものを「意味 1」として分類した。『明解初版』(1943) そみると、「①結び構えること。作ること。」とある。これが「結構」の本来の意味に近いものと考えられる。「意味 1」については、『明解初版』(1943)から『明解改訂版』(1952)移行時に、項目の組み替えがみられた(名詞⑤ ⑥が形容動詞① ②へ移行)。ただし、『三国 2 版』(1974)以降、『三国 7 版』(2014)まで、変更がみられなかった。

・「結構」の意味のうち形容動詞に相当するものを「意味 2」として分類した。『明解初版』(1943)では、形容動詞の品詞項目が立てられていない。『明解改訂版』(1952)にて、『明解初版』、名詞⑤ ⑥が新たに形容動詞① ②として独立した。『三国初版』(1960)にて、「②ていねいに ことわることば。いい。じゅうぶん。」といった婉曲的断りの「結構」の記述が現れた。その後、『三国 3 版』(1982)、『三国 4 版』(1992)、『三国 5 版』(2001)と婉曲的断りの「結構」の記述がみられなかった。しかし、『三国 6 版』(2008)にて、「③不要であるさいに ことわることば。」として再び現れた。『三国 7 版』(2014)では、「②さしつかえがないようす。」といった譲歩的な「結構」の意味記述が現れた。

・「結構」の意味のうち副詞に相当するものを「意味 3」として分類した。まず、『明解初版』(1943)、『明解改訂版』(1952)、『三国初版』(1960)については、「十分(じゅうぶん)」の記述のみであった。『三国 2 版』(1974)では、「うまく。」が追加された。その後、『三国 5 版』(2001)までは変更がみられなかった。『三国 6 版』(2008)では、副詞の意味記述が全面的に書き換えられ、項目も二つになった。『三国 7 版』(2014)では、さらに書き換えが行われ、「俗語」の位相付きで、「(予想/ふつう)よりも価値が低いようす。案外。」という記述が加わった。ただし、この記述は『三国』特有のものである(3.4.1 現代の国語辞書 10 種における「結構」の意味記述の比較 参照)。現代語における「結構」は、副詞としての使用が主流になるにつれ、相対的な価値の低下が進行しつつあることが示唆される。

3.5 類語辞書における「結構」

本節では、『角川類語新辞典』(1981)、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「結

構」の位置づけについて、まとめた上で考察を行った。なお、場合によっては論点、問題点等を指摘し、筆者の提言も行った。

3.5.1 『角川類語新辞典』(1981)における「結構」の位置づけ

本項では、『角川類語新辞典』(1981)における「結構」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、下表の分類①から⑥は、便宜上筆者が設定した。本文中に挙げられた「結構」の前後に位置する類義語については、一部を抜粋した。“○”の後は、語義、あるいは語釈を示す。分類⑥のカッコ内は位相である。下表欄外の例文には便宜上番号をつけた。

図表 3.21 : 『角川類語新辞典』における「結構」の位置づけ

分類 ①→	分類 ②→	分類 ③→	分類 ④→	分類 ⑤→	分類 ⑥	品詞	前後の類義語
A 自然→	1 性状→	13 実質→ 事物の実際の内容・性質	131 構造→ 事物のまとまりある組み立て	—	11 結構 *例文 1, 2 ○構成・構造・趣向(文章語)	(名)	仕組み/組み立て/構造/組織/構成/メカニズム/システム/造り/構え
A 自然→	1 性状→	17 価値→ ものの持っている値打ち	172 良否→ よいことと悪いこと	c 優等→ 他より優れていること	16 結構 *例文 3, 4 ○申し分なく優れていること(日常語)	(形動)	優秀/見事/立派/素敵/素晴らしい/輝かしい/華華しい/最高/傑作/圧巻
A 自然→	1 性状→	19 程度→ 物事の度合い	194 限度→ それ以上は超えられない区切り	b 十分・不十分→ たりていること・たりないところがあること	10 結構 *例文 5, 6 ○意外に十分であるさま(日常語)	(副)	良く/成る可く/優に/十分/十二分/フル/たんまり/存分/沢山/満幅/遺憾なく/徹底的/至れり尽くせり

*例文 1, 2 : 1 壮麗な結構の建造物 / 2 文の結構がよい

*例文 3, 4 : 3 結構な出来栄え / 4 結構な品物を頂きまして

*例文 5, 6 : 5 これで結構間に合う / 6 彼の英語は結構通じる

3.5.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「結構」の位置づけは、三か所であった。すなわち、「分類④ : 131 構造」—「分類⑥ : 11 結構」(名詞)、および、「分類④ : 172 良否」—「分類⑤ : c 優等」—「分類⑥ : 16 結構」(形容動詞)、および、「分類④ : 194 限度」—「分類⑤ : b 十分・不十分」—「分類⑥ : 10 結構」(副詞)であった。

- ・「分類⑥」の「11 結構」(名詞)をみると、「○構成・構造・趣向(文章語)」とある。この「結構」が、本来の意味とみられる。
- ・「分類⑥」を降順にみると、「11 結構：○構成・構造・趣向(名詞)」→「16 結構：○申し分なく優れていること(形容動詞)」→「10 結構：○意外に十分であるさま(副詞)」とある。これは、「結構」の品詞・意味の移行の順序とそのまま当てはまるとみられる。
- ・「分類⑥」における、「16 結構 ○申し分なく優れていること(形容動詞)」と、「10 結構 ○意外に十分であるさま(副詞)」の両者を比較してみると、形容動詞から副詞への移行には相対化が作用したのではないかと考えられる。
- ・「分類③：19 程度(物事の度合い)」—「分類⑥：10 結構」(副詞)は、「○意外に十分であるさま」とある。左の「意外に」という表現からすると、副詞としての「結構」は、基準設定意識による相対化が作用したもののようなものである。前後の類義語(語例：十分／十二分／フル／存分／沢山 等)と比較すると、評価性はやや低いようでもある。

3.5.2 『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「結構」の位置づけ

本項では、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「結構」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、最上位の「類」は、四つに分けられる。内訳は、1. 体の類(名詞) / 2. 用の類(動詞) / 3. 相の類(形容詞・形容動詞・副詞・連体詞) / 4. その他の類⁷⁷(一部の副詞・接続詞・感動詞)となる。以下、表にまとめたものを示した。

図表 3.22：『分類語彙表 増補改訂版』における「結構」の位置づけ

類 →	部門 →	中項目 →	分類項目 →	段落*1	前後の段落 (抜粋)*2	備考
1→ 体の類	1.1→ 抽象的 関係	1.13→ 様相	1.1320→ 内容・構 成	07 つくり(作・造)-づくり (作・造)こしらえ 結構 [文章の~] 構図	06 組織 仕組み シス テム 08 組み立て 骨組み 05 構成 構造 体系 09 枠組み 建て付け 04 機構 仕掛け 10 構え 陣容	・名詞とし ての「結 構」。本来の 意味とされ るもの。
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.13→ 様相	3.1302→ 趣・調子	07 見事 すばらしい 絶佳 [風味~] ナイス ワンダ フル あっばれ 立派 見 上げた 聞きしに勝る いみじくも すてき え	06 上出来 大過なく 08 遺憾なく 04 好調 順調 快調 調子の良い 03 好都合 都合がよ い	・形容動詞 としての 「結構」。プ ラス 評価 性。

⁷⁷ 「4. その他の類」は、分類方法が他の三つの類と若干異なるため、例外的といえる。

第3章 結構

				も云われぬ 結構 絶好 めざましい		
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.13→ 様相	3.1332→ 良不良・ 適不適	01 よい いい よろし・よろ しい 結構 グッド グー よさそう 頂ける よく よう よろしゅう よし なに 体(てい)よく 体 (てい)のよい 体裁のよ い 格好のよい かっこ いい	02 よかれあしかれ 越したことはない […に~] まし[ないよ り~] 03 良好 優良 良質 善良 最良 ベスト 04 理想的 格好 好ま しい 結構ずくめ	・形容動詞 としての 「結構」。プ ラス評価 性。上記 3.1302 趣・ 調子と概要 は同じ。
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.19→ 量	3.1920→ 程度	23 よほど よっほど よく よく つらつら つくづ く ほどほど 大分 かな り 相当 大幅 数段 数 等 多分に なかなか け っこう[~おいしい] いい 加減[~くたびれた]	22 割合 割に 割と 幾分 いくらか やや 比較的 -め[少な~] 24 適度 中くらい 手 ごろ 適当 程よい ほどほど いい加減 [の温度] 微妙 26 甚だ 大変 非常 10 せいぜい ものの そこそこ 29 多少 少し	・「副詞」と しての「結 構」。これの み表記は 「けっこう」 。分類項 目「程度」 が中項目 「量」の下位 に位置する のは疑問。
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.19→ 量	3.1921→ 限度	04 完全 完璧 十分 十二分 存分 心ゆくまで 不十分 不完全 生(な ま)- [~返事] 満足[~に できない] 結構[もう~だ] たくさん[もう~だ]	03 全く 全然 07 なるべく できる だけ できる限り	・具体的に [もう~だ]と あるため、 婉曲な断り の「結構」 であろう。 ・語の位置 づけは、や や疑問。
3→ 相の類	3.3→ 人間活 動-精神 および 行為	3.34→ 行為	3.3710→ 経済・収 支	02 必要 不必要 入り用 不 可欠 必須 不要 不要 不急 あっても/あってい なくても/なくていい たくさん 結構	01 独占的 営利的 03 手に入れやすい 05 有用 無用 07 経済的 不経済 12 高い 高価 安い 安価 割安	・この「結 構」の位置 づけは根拠 がみえない。
4→ その他 の類	—	4.31→ 判断	4.3100→ 判断	05 どうやら 多分 恐らく 大方 確か 大概 まず まずまず まずは まあ まあまあ 結構 けだし まさ(正)に それこそ なんでも	04 ずばり 確かに[~ その通りだ] てつき り 06 もしかすると ひ よっとすると/したら どうかすると 案外 あるいは 下手する と 悪くすると 事 によると なんだか 03 絶対 間違いなく 大丈夫 金輪際 決し て	・「一部の副 詞」に該当 するか。
4→ その他 の類	—	4.32→ 呼びか け	4.3210→ 応答	09 結構 どうぞ いいです いいとも ようござんす よろしゅうございます 了解 合点だ	07 いえ いいえ うう ん いや ノー 10 駄目 嫌(いや) 御 免 05 イエス OK オー ライ 11 どうも	・09のグル ープ語彙を みると、「肯 定」の応答 のようであ るが、「否 定」の応答 の「結構」 について記 載がない。

*1：意味上の語集団。「なるべく意味・用法の広いほうから狭いほうへ配列しているが、必ずしも厳格ではない。」とある。

*2：上から順に、意味が近いと考えられるものを示した。

3.5.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「結構」の位置づけは八か所であった。体の類（名詞）が一か所、相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）が五か所、その他の類（一部の副詞・接続詞・感動詞）が二か所であった。ここから、現代語における「結構」の分布が広範囲であることがわかる。

・分類項目「3.1921 限度」、段落“23”に、副詞としての「けっこう」が位置する。全八か所の位置づけのうち、この箇所のみひらがな表記の「けっこう」であった。ここから、現代語における副詞としての結構は、ひらがな表記がなされることが比較的多いといったことが示唆される。ただし、この箇所のみひらがな表記にした真の意図ははっきりしない。

・婉曲な断りの「結構」が、分類項目「3.1921 限度」、段落“04”に位置づけられる。これは、具体的に[もう～だ]と注記があるため、婉曲な断りの「結構（です）」であることがわかる。

・分類項目「3.3710 経済・収支」、段落“02”の位置に、「結構」が位置づけられる。段落内の他の語例を挙げると、「必要／不必要／不要／不急／[あっても／あっていい]／たくさん」等がある。ただし、なぜこの位置に「結構」を置くのか根拠がみえない。

・「4.その他の類」、分類項目「4.3100 経済・収支」、段落“05”に「結構」が位置づけられる。段落内の他の語例を挙げると、「どうやら／多分／恐らく／確か／大概／まあまあ」等があるため、副詞グループとみられる。一方、上記「3.相の類」、分類項目「3.1920 程度」、段落“23”に、副詞としての「けっこう」が位置する。ここで、疑問点が二つ出てくる。まず、上記「4.3100 経済・収支」、段落“05”の位置の「結構」は、副詞とみられるにもかかわらず、なぜ「4.その他の類」に位置づけるのであろうか。なお、「まえがき」には、「3.相の類」は、「形容詞・形容動詞・副詞・連体詞」とある。さらに、上記「4.3100 経済・収支」、段落“05”の位置の「結構」は、漢字表記の「結構」

である。一方、分類項目「3.1920 程度」、段落“23”の「けっこう」は、ひらがな表記である。両者ともに品詞は同じ副詞と考えられるが、表記が異なっており整合性がない。「3.1920 程度」、段落“23”に、「けっこう」とあるならば、副詞としての「結構」はひらがな表記で統一すべきであろう。以上の位置づけ、表記の点については再考が必要と思われる。

・分類項目「4.3210 応答」、段落“09”の位置に、「結構」が位置づけられる。段落内の他の語例を挙げると、「どうぞ／いいです／いいとも／ようござんす／よろしゅうございます／了解／合点だ」がある。したがって、段落“09”は、「肯定 (OK)」の応答グループとみられる。一方、分類項目「4.3210 応答」、段落“07”“10”の語例を挙げると、「07: いえ／いいえ／ううん／いや／ノー」「10: 駄目／いけない／いけません／あかん／嫌 (いや) /御免／まっぴら／お気の毒様」とある。つまり、「否定」の応答グループとみられる。ただし、ここには「結構」がみられない。「結構」の用例として、婉曲な断りの「結構」が挙げられるため、この段落“07”あるいは“10”に、「結構」を位置づけるべきであろう。

3.6 「結構」の語義関連表

本節では、上述、「結構」についての先行研究・資料等を勘案し、通時的・共時的観点も加味した上で語義関連表 (チャート) を作成した。なお、スペースの制約上、意味記述については簡潔に示した。タテ軸 (列: 語義の展開) は、番号順 (例: ① ② ③…) で、時間軸は上から下へとした。ヨコ軸 (行: 品詞の展開) はアルファベット順 (a b c…) で、時間軸は左から右へとした。①a を本来の意味 (原義) にあたるものとした。下記表 (チャート) を見れば、「結構」の各語義について、おおよその位置づけが特定できる。なお、あくまでも「結構」という語に関する全体的把握のためのイメージ表である。したがって、絶対的正確性を期するものではない。以下に表 (チャート) を示した。

第3章 結構

図表 3.23 : 「結構」の語義関連表 (チャート)

品詞(行) →	a	b	c	d
番号(列) ↓	名詞 中核的意味： ものごとの仕組み/組み立て/構造	(サ変)動詞 中核的意味： ものごとを組み立てる/構成する	形容詞/形容動詞 中核的意味： 対象のものごとに関するよい感情	副詞 中核的意味： 極端でないほどほどの程度
①	建物等の組み立て/構造/構成	建物等を組み立てる/構築する	建物等(具体物が)立派な/すばらしい/見事な/広大な/大きい	予想していたよりも程度が高い
②	文章等の組み立て/構造/構成	文章等を組み立てる/構成する	よい(いい)/おもろい	極端ではないがかなりの程度/相当に/ふつう以上に/わりと
③	(寺社仏閣等、比較的大規模な施設全体の)づくり/かまえ/造作	用意する/したくする	(人が)立派な/あっぱれな/はなばなしい/	十分満足というほどではないが、一応よい
④	善美を尽くして作られたもの/もうけ(設け)/設備	企む/企てる/もくろむ	きれいな/美しい/ていねいな	完全ではないが、それなりに十分/ほどほどに満足した
⑤	用意/したく/心がまえ		満ち足りて十分な/満足な/不足のない	なんとか/まあまあ
⑥	昇進/任官/栄転/ほまれ(賞賛すべき出来事)		おとなしい/しとやかな/好人物の	
⑦			お人好しの	
備考	・本来的な意味(原義)とみられる ・現代ではほぼ使われない(原義の消滅)。	・現代、サ変動詞としての用法はほぼない。	・「具体から抽象」「絶対から相対」「客観から主観」への移行がみられる。	・「かなりの高い程度」から相対化し「ほどほどの程度」へ。

3.7 「結構」の実例

本節においては、「結構」について、各種コーパス・新聞記事検索システム等から実際例を採取し、通時的に配列した上で、語の変遷の傾向・特徴をみていく。考察対象期間は、紀元前から現代までの全範囲とする。以下に各種コーパス別に検索結果を提示した。

なお、「中國哲學書電子化計劃」による検索結果から得られた「結構（および結構）」の中国古典籍における実例も参考資料として提示した。

3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）

「日本古典文学全集」（「JapanKnowledge Lib」）より得られた、「結構」「結構」（手偏の「構」）、およびひらがな表記「けつかう」「けつこう」についての実例を以下の表に示した。まず、上代・中古については、該当例はみられなかった。最も早いとみられる例は中世であった。なお、検索結果数については、注釈・解説欄の記述もカウントされてしまうという事情があるため、省略した。

3.7.1.1 検索語：「結構」（2020/11/19 時点）

図表 3.24：「結構」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	平治物語 下 悪源太誅せら るる事 p.532	下人にして、下人を主にしたらば、いかに相応して、よかりなんと言ひけり。或る時、須智が前には飯を結構して供へ、悪源太の前には無菜の飯を据ゑたり。須智、つい立ちて	・鎌倉時代初期~中期。作者、成立年ともに未詳。注釈には、「結構す」は、用意する。「無菜の飯と対比されることから、「結構す」は、おかずを添えることが含まれていることがわかる。」とある。軍記物語。
2	平家物語 卷第二 西光被斬(さ いくわうがき られ) p.110	宣ひつかはされたりければ、大納言我身のうへとは露知らず、「あはれ是は、法皇の山攻めらるべきよし、御結構あるを、申しとどめられんずるにこそ。御いきどほりふかけなり	・鎌倉時代(13世紀前半ごろ成立)。作者、成立年ともに未詳。信濃前司行長作との説もあり。軍記物語。「御結構」は、「(法皇が比叡山をお攻めになろうという)ご計画(企て/企み)」という意味。
3	平家物語 卷第二 小教訓(こげ うくん) p.115	内府が身にかへて申しなだめ、頸をつぎ奉ッしはいかに。何の遺恨をもって、此一門ほろぼすべき由の結構は候ひけるやらん。	・同上。「結構」は、現代語訳によると、「(平家一門を滅ぼそうという)計画」という意味。
4	平家物語 卷第二 教訓状(けう くんじやう) p.132	それに成親と云ふ無用のいたづら者、西光と云ふ下賤の不当人めが申す事につかせ給ひて、この一門亡すべき由、法皇の御結構こそ、遺恨の次第なれ。此後も讒奏する者あらば、当家追討の院宣、くだされつと覚ゆるぞ。	・同上。「御結構」は、現代語訳によると、「(平家一門を滅ぼそうという法皇の)ご計画」という意味。

第3章 結構

5	平家物語 卷第二 教訓状(けうくんじやう) p.134	おとども申しいださるる事もなし。良あって入道宣ひけるは、「成親卿が謀反は、事の数にもあらず。一向法皇の御結構にてありけるぞや。世をしづめん程、法皇を鳥羽の北殿へ	・同上。「御結構」は、現代語訳によると、「(平家一門を滅ぼそうという法皇の)ご計画」という意味。
6	平家物語 卷第三 法印問答(ほふいんもんだふ) p.239	関白殿内々きこしめさるる旨やありけん、急ぎ御参内あって、「今度相国禅門入洛の事は、ひとへに基房亡すべき結構にて候なり。いかなる目に逢ふべきにて候やらん」と奏せさせ給へば、	・同上。「結構」は、現代語訳によると、「(全くこの基房(本人)を滅ぼそうという)たくらみ」という意味。
7	沙石集 卷第五末 二人の感有る和歌の事 p.271	一、先年、菩提山寺の本願の御命日、六月十九日と覚え侍る、故菩提山の尊信僧正御房、ことに御舎利講結構の事ありて、上綱達あまた参じ給ひたる事侍りしに、	・鎌倉時代(1283年成立)。無住道暁著。仏教説話集。注釈によると、「結構」は、「作り出す。準備する。」という意味。
8	沙石集 卷第五末 四長説法の事 p.318	但し、機嫌も知らぬ程の長説法なり。堂供養の導師にて、例の長説法するに、舞楽の結構して、童舞なれば、殊に見物の男女多かりけり。説法の果つるを待つ程に、余りに長くして、	・同上。「結構」は、注釈によると、「準備。計画。」とあり、現代語訳には、「その供養では舞楽を予定して」とある。
9	曾我物語 卷第五 本朝報恩合戦謝徳闘諍集并序 十二 頼朝、那須野へ向う宇都宮の支度 p.201	敷板には目よき檜を引き渡して油をさしたれば、還り行く人の影、曇りなくこそ見えにける。高麗縁の畳に紫縁を引き交へてぞ敷きたりける。その外の結構、心詞も及ばれず。	・鎌倉末期~南北朝時代。作者未詳。軍記物語。「結構」は、現代語訳によると、「その外の造りは、」とあり、「(建築物の豪華な)つくり、かまえ」といった意味とみられる。
10	太平記 卷第二十六 御所困む事 p.351	師直、「いやいや、これまでの仰せを奉るべしとは存じ候はず。ただ讒人の申すところを承引候ひて、故なく三条殿より師直が一類を亡ぼさんと御結構にて候ふ間、且は身の誤らざるところを申し開き、且は讒者の張本を玉り、直に是非を尋ね、	・南北朝時代(1368~75年ごろ成立)。作者未詳。軍記物語。「御結構」は、現代語訳によると、「(理由もなく三条殿が師直の一族を滅ぼそうとの)ご計画を立てられ」とあり、「はかりごと/企み/企て」といった意味。
11	太平記 卷第三十六 細川相州京都を責め破り合戦し給う事 p.257	泉水の木の本一本をも損げず、幾程なくして、楠また都を落ちし時も、六所の飜り、遠侍の酒肴、先のもよりも結構して、眠床には黒糸の冑、黒皮の腹巻そへ、秘蔵の剣と思しける白太刀一振おいて、	・同上。「結構」は、現代語訳によると、「(遠侍の酒肴を以前のそれらよりも)すばらしいものにして」とあるが、おそらくは、「準備/用意」といった意味であろう。
12	連歌比況集 下げ緒 p.177	発句・脇・第三のやう心得がたき、物によそへて申さば、下げ緒は刀の作りやうによるべきなり。金作りの結構なるに、皮を畳みて下げたらんも似合ふべからず。また、悪しき刀に、唐糸の下げ緒も似合はざるべし。	・南北朝時代~室町時代。『連歌比況集』(1509年ごろ)。宗長作。現代語訳によると、「結構」は、「(黄金作りの)結構な(刀に)」とあり、「よい/立派な/すばらしい」といった意味とみられる。ただし、「結構」を「(刀の)つくり」と捉えても差し支えないようにも思われる。
13	謡曲集 脇能 養老 p.51	薬の水となし給ふと存ずる間、われらも薬の水をたべ、若くならばやと存ずる。(正面先に出て、片膝をつき、扇で水を汲んで飲み)さてもさても結構な水かな。今一つたべう。(また、飲み)たぶればたぶるほど結構な水かな。(扇を閉じる)	・南北朝時代~室町時代末期。世阿弥作。底本は『寛永卯月本』(観世流)[鴻山文庫目録五 20]。括弧内は動作の注記。左の文については、狂言の部分で現代語訳が省略されているが、文脈からして、「よい/すばらしい/おいしい」といった意味であろう。
14	謡曲集 四番目物	すなはち当社大明神の御事なり。また大物主とも申し奉り候。(歩き出し)さあるに	・同上。作者不明。底本は『寛永卯月本』(観世流)[鴻山文庫目録五 20]。括

第3章 結構

	(一) p.515	よつて、余の御神は御社御拝殿などを結構に執り行ひ候へども、当社には御社もなく、ただ杉	弧内は動作の注記。左の文については、狂言の部分で現代語訳が省略されているが、文脈からして、「よく/りっぱに」といった意味であろう。
15	狂言集 松 樞(まつゆづりは)囃子入り p.54	撰津(受けて)「オウ、オウ、オウオウオウ。なみなみとござる。 奏者「一つある。 丹波(飲んで)「さてさて結構な御酒でござる。今ひとつたべませう。 奏者「それがよからう。(以下、酌を繰り返す)	・南北朝時代~江戸時代。作者未詳。括弧内は動作の注記。
16	狂言集 大名狂言 二人大名 p.110	男「それは近頃易いことではござれども、見ますれば結構さうなお太刀でござる。その上、私はつひに太刀などを持ったことがござらぬ。この儀は何とぞ御免なされて下されい。 乙「アアこれこれ、太刀が結構なというて持つに持たれぬこともあるまい。	・同上。注釈によると、「結構」は、「(見るからに)立派な」とある。
17	狂言集 小名狂言 素袍落(すはうおとし) 二人大名 p.190	太郎「いつ下さるる御酒にあだな御酒はござらぬが、今日は格別結構にたべ覚えしました。 伯父「そちは一つなるだけあって、ようきき分けた。それはさる方よりの遠来ぢや。	・同上。注釈によると、「結構」は、「(いただいて格別)よく(感じました)」とある。
18	狂言集 小名狂言 素袍落(すはうおとし) 二人大名 p.191	太郎『まづ第一、お慈悲が深い、お人使ひはよし、いつ何時参っても、ご、御酒は下さるる、あのやうな結構なお方は、おっつけ御立身を(の)なされ、御加増を取らせられう』、	・同上。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/立派な/すばらしい」といった意味であろう。
19	狂言集 翫女狂言 貰賀(もらひむこ) p.305	舅「誰ぢや。 男「へ、私でござる。(舅の前に進み、座る) 舅「エイ、おりやったか。 男「今日は結構なお天気でござる。(女を捜すようにあたりを見まわす) 舅「うららかなことぢや。	・同上。注釈はないが、「結構」は、「よい/すばらしい」といった意味であろう。「結構な(お)天気」という表現は、近代以降では比較的好くみられる表現。
20	狂言集 翫女狂言 吹取(ふきとり) p.328	があったが、さだめてあの辺りのことであろう。 甲(落ち着かぬ体で、乙の袖を引き)「申し申し、歌も結構ではござれども、何とぞ吹かせられて下されい。 乙「オオ、心得た心得た。(笛を吹く)	・同上。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/すばらしい」といった意味であろう。
21	狂言集 鬼山伏狂言 神鳴(かみなり)囃子入り p.354	神鳴「さてさて、これは苦々しい(*困った)ことぢや。太鼓をやれば不自由なり、この撥(*ばち)を取らせう。(撥をさし出す) 医師「イヤ、撥も結構ではござれども、やはりソノ、おあし(*銭)が欲しうござる。 神鳴「おあしとは。	・同上。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/すばらしい」といった意味であろう。
22	狂言集 集狂言 金藤左衛門(きんとうざゑもん) p.472	金藤「なうなう嬉しや嬉しや、一段の仕合はせを致いた。この中に何があることぢや知らぬ。さらばまづ開けてみよう。ハハアこれは結構な小袖があるわ。さてさてよい小袖ぢや。この間はうち続いて仕合はせが悪しうござるによって女共の機嫌が悪しうござった。	・同上。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/立派な/すばらしい」といった意味であろう。
23	狂言集	金藤(それに気づかず夢中で鏡・紅・帯な	・同上。注釈はないが、「結構」は、文

第3章 結構

	集狂言 金藤左衛門 (きんとうざ ゑもん) p.472	どを次々に取り出す)「これは鏡ぢゃ。これもよい物でござる。紅もある。ハハアこれは帯ぢゃ。さてさて結構な帯でござる。これはいろいろの物がある。	脈からして、「よい/立派な/すばらしい」といった意味であろう。
24	狂言集 集狂言 蜘蛛盗人(くも ぬすびと) p.485	盗人「すれば私が客でござるか。 有徳「まづは今宵の客ぢゃ。(一同笑う) 盗人「これは結構なお客でござる。その儀ならば私からお先へ戴きます。 有徳「それがよからう。 (*中略) 盗人「さてさて結構な御酒でござる。	・同上。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/立派な/すばらしい」といった意味であろう。
25	連歌集 宗祇独吟何人 百韻 何人 p.157	折にあふ霞の袖も色々に [古注一]花をたづぬる風流の人たるべし。 [古注二]花見る人の袖の結構なるに、花も霞もおりにあひたる、誠に花も人をするやうに見えたり。	・南北朝時代~室町時代末期。宗祇、宗長、里村紹巴ほか作。注釈はないが、「結構」は、文脈からして、「よい/立派な/すばらしい」といった意味であろう。
26	室町物語草子集 御曹子島渡 p.108	内裏の体を見給ふに、金銀のいさやごを敷かれたり。あたりも光りかかやきて、万花は盛りと咲きにほひ、結構なること限りなし。大王は、御曹子を一間所へ請じ申し、山海の珍物に国土の菓子をととのへて、酒をさまざまに勧めける。	・南北朝時代前期~江戸時代初期。作者未詳。現代語訳によると、「結構」は、「すばらしい(ことはなみなみではない)」とある。
27	室町物語草子集 猿源氏草子 p.134	そのうへ、座敷の飾り物、何々御こしらへおき候ふや。御馳走の品々を、いかにも結構めされつつ、御慰めの人々は、誰々にてや候ふらん。	・同上。注釈によると、「結構」は、「用意。準備。支度。」とある。現代語訳によると、「結構」は、「(いかようにでも)ご用意(なされ)」とある。
28	室町物語草子集 ものくさ太郎 p.150	四面四町に築地を築き、三方に門を立て、東西南北に池を掘り、島を築き、松杉を植ゑ、島より陸路へ反橋をかけ、高欄に擬宝珠を磨き、まことに結構世に越えたり。	・同上。注釈によると、「結構」は、「組み立てること。構え。」とある。現代語訳によると、「結構」は、「(まことにその)構え(は世にもすぐれていた)」とある。
29	俳諧集 蚊住はの巻 (蚊住百句) そもそもいき としいけるもの… p.417	京も京 つゐ(い)ぢの内の 雪消えて しぶうちわ:(*中略)ましてつゐ(い)ぢの うちの長閑なるけしき、を(お)のがまゝに さかふるお庭の木末も見るやうに、玉楼 金殿の結構も一句にこもり、「京も京」と いひ出られし詮、たしかにきこえ侍らん。	・江戸時代。宗因作。注釈によると、「玉楼」「金殿」とともに壮麗・華美な建物」とあるため、「結構」は、「(建物の)つくり/かまえ」といった意味であろう。
30	浮世物語(仮 名草子集) 巻第三 二侍の善悪 批判の事 p.153	又、『よく礼義を知りて慇懃をもつて人を うやまひ、心だてやはらかに結構人なり』 とほむる者は、みな馬鹿慇懃をつくし、 表裡軽薄のへつらひ者なり。	・江戸時代初期。浅井了意作(推定)。1665年ごろ成立(推定)。「結構人」という複合語の形式。注釈によると、「結構人」は、「温厚な好人物。お人よし」とある。現代語訳によると、「結構人」は、「(気立ても温厚な)好人物」とあるが、後の「馬鹿慇懃(必要以上に丁寧すぎることに)」「表裡軽薄(陰ひなたのある行動をとること)」等の記述からすると、マイナス評価性であることが示唆される。
31	紫の一本(近 世随想集) 巻四 花 [一]東叡山 p.193	有徳なるもさもなきも、町方にては女房 娘、正月小袖と云ふは仕立てず、花見小 袖とて、なる程手を込め結構に、風流な る物数寄に好みたるを着て出づるなり。 花より猶見事なり	・江戸時代初期。戸田茂睡作(1682年 成立)。現代語訳によると、「結構」は、 「(できるだけ技巧を凝らして)立派 に」とあり、「すばらしい/立派な/よ い」といった意味であろう。
32	紫の一本(近 世随想集) 巻四 祭礼 [五]市谷八幡	八月十五日なり。隔年の祭なり。それゆ ゑ甲丙戌庚壬の年にあり。この祭礼は大 方天気よく渡るなり。祭はさのみ結構に はあらずといへども、祭に出る男はみな	・同上。現代語訳によると、「結構」は、 「(祭りはそれほど)立派(ではないと いっても)」とあり、「すばらしい/立 派な/よい」といった意味であろう。

第3章 結構

	p.228	旗本衆に奉公致し、山の手の奴と人のまねる男どもなり。	
33	好色敗毒散 (浮世草子集) 卷之三 第一 蜆のおきな p.67	「是是今の世の女郎のかぶろというものぞ。何とうつくしいものか」といへば、翁つくノ、打ちまもりて、「いづれ天人のおとし子とや申さん。さりとは御結構(*おけっこう)なる事や。果報人や。」	・江戸時代初期~中期。夜食時分作。注釈によると、「(御)結構」は、「すぐれていること。十分なこと。」とある。現代語訳によると、「(御)結構」は、「(これはまた)ご満足な(ことでしよう)」とある。
34	野白内証鑑 (浮世草子集) 二之巻 八番 線悩卦 p.213	三味線引きよせしのぶ山をひいて心をなぐさめしが、是も絵にかけの女を見て心をうごかす類ひ。たとへば結構な献立よんで見て、のどならしたぶんで、生でくはねば腹ががてんせぬやうなものにして、	・江戸時代初期~中期。江島其磧作。現代語訳によると、「結構」は、「(たとえば)美味をそろえた(献立書きを読んで)」とあり、「(料理が)美味な/おいしい/よい」といった意味であろう。
35	浮世親仁形気 (浮世草子集) 四之巻 (2) 娘を楽しむ遊山親父 p.524	歌の道もおぼえ、手もつたなからず書いて、聞伝へに「短尺に歌を書いてもらひたい」と、所望に來れば、親仁悦び、ずいぶん結構に拵へたる色紙に、歌を書かせ、「こちの娘は器量計(*ばかり)でござらぬ。	・江戸時代初期~中期。江島其磧作。現代語訳によると、「結構」は、「(たいへん)りっぱに(こしらえた色紙に)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
36	好色一代男 (井原西鶴集) 卷七 新町の夕暮島原の曙 p.228	万事はつき添ふ女郎に身をまかせ、たばこも手してはつがず、ね道具も人にきせられ、やさしきおことばを聞寝入りにして、結構な夢をみる事ぞかし。	・江戸時代中期。井原西鶴作。現代語訳によると、「結構」は、「(さぞかし)結構な(夢を見ることであろう)」とあり、「すばらしい/よい」といった意味であろう。
37	日本永代蔵 (井原西鶴集) 卷三 国に移して風呂釜の大臣 p.93	南に洲浜を掘らせ、岩組西湖を移し、玉の蒔石、唐木かけ橋、亭に雪舟の卷龍銀骨の瑠璃灯をひからせ、瑠璃の釘隠し、青貝の椽鼻、真綿入りの畳に天鷲絨の縁を付け、その外の結構記し難し。	・同上。注釈によると、「結構」は、「(壮麗な家の造り)」とある。現代語訳によると、「結構」は、「(そのほかの)立派さ(は、いちいち記すこともできない)」とあり、注釈と現代語訳との間にずれがみられる。ただし、これは「造り」でも「立派さ」でもどちらでも当てはまるといえる。筆者の解釈では、「(屋敷全体の)つくり/かまえ」といった意味と思われる。
38	万の文反古 (井原西鶴集) 卷一 四 来る十九日の栄耀献立 p.230	先づ御乗せ候事御無用に候。機嫌を見合せ、旦那さしづ次第に仕るべく候。殊更御心遣ひの献立御見せなされ候。舟遊びには結構過申候。諸道具万事やかましき物に候。旦那もこの程は病後ゆる、美食好み申されず候。	・同上。現代語訳によると、「結構」は、「(船遊びには)贅沢(すぎるものです)」とある。「結構過(けっこうすぎ)」という複合形式。
39	武道伝来記 (井原西鶴集) 卷三 [四] 初茸狩は恋草の種 p.122	その男は、本町二丁目、能登屋藤内とて、名を得し町六方の隠れなく、心達(*こころだて)の結構なる御侍は、これが旗下に、御機嫌取る程の器量、勿論身代よろしきにはかまはず、	・同上。現代語訳によると、「結構」は、「(気立ての)よい(お侍などは、)」とある。
40	武道伝来記 (井原西鶴集) 諸国敵討 武道伝来記 卷六 第三 毒酒を受け太刀の身 p.	白右衛門・用助、大笑ひして、「さて結構なる御侍、それ/又ひかりたるは」と、おどしかけて興がりけるに、	・同上。現代語訳によると、「結構」は、「(さてさて、)ご立派な(お侍だ。)」とある。「ご立派な」とあるが、侍を皮肉った表現。
41	淀鯉出世滝徳 (近松門左衛門集)	お金にはご一門の封がついて、自由にならず。(地ハル)結構な茶入、掛字、おう家の宝黄金の鶏まで。京で質に色おくとて、	・江戸時代中期。近松門左衛門作。現代語訳によると、「結構」は、「結構な(茶入れ)」とあるため、「すばらしい/

第3章 結構

	上之巻 三国 堺の場 [九] 勝二郎追 放の話 p.79	詞なんとやら申す、位高いお公家様の姫 君を。勝二郎が嫁によぶ、その物入りと の言ひ立て。	よい」といった意味であろう。
42	忠兵衛 梅川 冥途の飛脚 (近松門左衛 門集) 上之巻 飛脚 屋亀屋の場 [四] 敷居高き 忠兵衛 p.114	(フシ)いつそ殺せと抱きつけば。(詞)ム、 嘘つかんせ。毎日 / \ 新町通ひ。延紙の 鼻紙二折、三折。結構な鼻をかまんすも の。なんのわしらに手鼻もかみたるある まい。(地)あの嘘つきがと振り切るを、	・同上。現代語訳によると、「結構」は、 「(延べの鼻紙を二折も三折も使って) 結構な(鼻をかんでいらっしやいます ものを)」とあるため、「(量的に)十分 な/かなりの」といった意味であろう。
43	丹波与作 待 夜のこむろぶ し(近松門左 衛門集) 上之巻 道中 双六 [四] 母子の名 乗り p.348	踏みも習はぬ色備後表。(詞)エ、この座敷 は、ぎやうに滑つて歩かれぬ。大名の家 よりも。(地ハル)こつちの内が結構でござ ると。(中フシ)独り言し(ハル)てあたりけ り。	・同上。現代語訳によると、「結構」は、 「(大名の家よりは俺の家のほうが)よ い(わい)と、」とあるため、「(比較し た上で、自分の家の方が)よいまし 」といった意味であろう。
44	夕霧阿波鳴渡 (近松門左衛 門集) 中之巻 [十] 腰元の法 界悋気 p.419	その夕霧をも請け出し、あの子がお乳に 置くはず。傍輩並にあしらやと、仰せも 果てぬに腰元中、口々に。(詞)ア、奥様の あんまり結構過ぎました。我々がなんぼ 沙汰をいたさずとも。あの傾城のぼしや れ者、それを言はずにみませうか。地色 ハルお袋ぶつて鼻高う、お家をありたい まゝにして、	・同上。「結構過ぎ」という複合形式。 注釈によると、「結構過ぎ」は、「お人 よしすぎます、の意。」とあり、現代 語訳によると、「(アア奥様ったら、あ んまり)お人よし過ぎます。」とある。
45	長町女腹切 (近松門左衛 門集) 上之巻 刀屋 石見店の場 [三] 叔母、半七 お花を助ける p.450	表の叔母御通らしやれ。こゝへ / \ と 言はるゝにぞ。ウ綿帽子取つて色しとやか に。詞これはまあ / \、結構なるお内方。 ついしかお出入り申さねば、どなた様が どなたやら。	・同上。注釈によると、「結構」は、「(こ れは、まあまあ)結構な(お宅)」とあ り、「すばらしい/立派な/よい」とい った意味であろう。
46	卯月の潤色 (近松門左衛 門集) 中之巻 平群 谷庵室の場 [十] 幻の語ら い p.142	(地色ハル)助給内に(中)案内し。(詞)これ 見や、今はこの身持。結構なことはないけ れども。(地色中)浮世の世話を(ウ)よそに 見て、藜の糞、紙衾。まづ盗人の恐れな く、寝覚めがよいと(中)言ひければ。	・同上。現代語訳によると、「結構」は、 「結構(なことはないけれども)」とあ り、「すばらしい/よい」といった意味 であろう。
47	心中重井筒 (近松門左衛 門集) 上之巻 紺屋 徳兵衛内の場 [一] 師走の紺 屋 p.158	乳呑みごもんを持ちながら。人のみる(ウ) ちやも構ふにこそ。お内儀は結構者。柳 煤竹にやつてちやが。隠居の親仁がわせ ると。家内はしみこほり、山染めになる わいの。(ウ)あのやうにほつては、	・同上。「結構者(けっこうしゃ)」とい う複合形式。注釈によると、「結構者」 は、「人のよい人。」とあり、現代語訳 によると、「(奥様は)人が好い(ゆえ に)」とある。
48	心中天の網島 (近松門左衛 門集) 中之巻 天満	(詞)いや / \、茶も煙草も飲みには来ぬ。 これおさん、いかに若いとて、二人の子 の親。結構なばかりみめではない。男の 性の悪いはみな女房の油断から。	・同上。注釈によると、「結構」は、「お 人よし。「結構 俗に…柔順なる人を結 構と云」(俚言集覽)。」とあり、現代 語訳によると、「お人よし(であるばか

第3章 結構

	紙屋内の場 [十五]兄の怒りと叔母の恨み p.405		りが名誉ではない」とある。
49	心中宵庚申 (近松門左衛門集) 上之巻 浜松城下坂部郷左衛門屋敷の場 [四] p.439	先だつてお使ひに、一汁三菜との御意ないれども。大坂蔵屋敷、居留守方の振る舞ひでも。随分軽いが二汁五菜。結構にはだん / \。	・同上。注釈によると、「結構」は、「軽い」に対して、馳走の意。」とあり、現代語訳によると、「立派(なのには段々あり、)」とある。
50	心中宵庚申 (近松門左衛門集) 上之巻 浜松城下坂部郷左衛門屋敷の場 [八]小一兵衛の心中立て p.448	向後、兄分に色頼んだぞ。ハ、はつと悦び、中小一兵衛。詞お侍方と同座のならぬ奴めが。武士に劣らぬ魂故。結構なお若衆様の兄様とは、忝い(*かたじけない)/ \、冥加ない。	・同上。現代語訳によると、「結構」は、「結構なお若衆様の兄様になるとは」と原文とほぼ同じであり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
51	心中宵庚申 (近松門左衛門集) 下之巻 油掛町八百屋伊右衛門内の場 [十八]後生一遍の舅 p.467	世間する若い者、呼びに来まいものでもない。少々のことは聞き逃しにしやいの。ソレその結構過ぎたから。親を阿呆にいをるわいの。	・同上。「結構過ぎ」という複合形式。注釈によると、「結構過ぎ」は、「お人よしすぎることをいう。」とあり、現代語訳によると、「ソレその結構過ぎたから、」とほぼ原文と同じである。ここでの「結構過ぎ」はややマイナス評価性。
52	大経師昔暦 (近松門左衛門集) 下之巻 奥丹波柏原借家の場 [二五]万歳の不審だて p.567	わしは万歳に近付きはないわいの。なんの私らを見覚えはなされますまい。毎年お庭で舞ひまして、お前はお上に結構な布団敷いて。腰元衆つらりと並べて御見物なされました。京烏丸大経師の奥様、よう覚えておりまする。	・同上。現代語訳によると、「(あなた様は座敷に)立派な(座布団を敷いて)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
53	用明天王職人鑑 (近松門左衛門集) 第五 大江山山麓土城の場 [四二]仏法の勝利 p.152	片端から立ちずくみにしてくれんとぞ呼ば>中りける。(詞)五位の介諸岩駆け出でて、魔法使ひの益良殿。御へんの片目は何とした。オ、結構なる魔法かな。御用ならばこれにありと。鍵先に貫き。これは豊後の府内にて化け回るを突きとめたるが。	・同上。現代語訳によると、「(オオ)すぐれた(魔法であることよ)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
54	けいせい反魂香 (近松門左衛門集) 中之巻 北野社人の宅の場 [三二]伝三によるみやの訃報 p.227	お恨みのほどもいかゞと。嬢が心をつけますして。今日七日めの墓参り、ついでながらのお知らせ。(地色中)常々気だてが結構で。おみやとは言はず、仏々と(ハル)申したに。あつたら仏をやくたいもない。骨仏にしてのけたと、	・同上。現代語訳によると、「(ふだん)気だてがよくて」とある。
55	国性爺合戦 (近松門左衛門集)	浜辺にどうと伏しまろび(中)声も。(ハル)惜しまず嘆きしが、エ、(詞)これでも死なれぬなア。よし / \今はこれまで、結構	・同上。「結構者」という複合形式。注釈によると、「結構者」は、「お人よし」とある。現代語訳によると、「お人よ

第3章 結構

	第二 平戸の浦の場 [二二]和藤内、小むつと別れ出船 p.286.	者(*けっこうしゃ)も事による。(地ウ)この海底に身を沈め、瞋恚は嫉妬の大蛇となつて。	し(も事による)」とある。
56	平家女護島 (近松門左衛門集) 第三 朱雀の御所の場 [二八]男を誘いこむ笛竹・雛鶴 p.510	我が君とたゞさめト \ と泣きあたる。(詞ム)さては舞々か、舞々でも蜘蛛舞でも大事ない。これ御門の内へおぢや。結構な目にあはせう。(地色ハル)こんな事ぢやと耳に口よせ。かうぢや / \ とさ、やけば。	・同上。注釈はない。現代語訳によると、「結構」は、「いい(思いをさせよう)」とあり、プラス評価性。
57	仮名手本忠臣蔵(浄瑠璃集) 第三 恋歌の意趣 [一五]大手馬場先、師直登城 p.32	(地ハル)足利左兵衛督直義公。(ウ)関八州の管領と、新たに建てし御殿の(中)結構。(ウ)大名、小名、美麗を飾る晴れ装束。(ハル)鎌倉山の星月夜と、(ウ)袖をつらぬる御馳走に。	・江戸時代中期。二代目竹田出雲、三好松洛、並木千柳(宗輔)作。注釈はない。現代語訳によると、「結構」は、「(新しく建てた御殿は)立派な構え(で)」とある。現代語訳にしたがえば、本来は、建築物の「つくり/かまえ」という意味であると考えられるが、「結構」のみで、「立派な」も含意し、「立派な構え」を意味していることがわかる。
58	仮名手本忠臣蔵(浄瑠璃集) 第七 大臣の錆刀 [五一]お軽身請け、九太夫を討つ p.103	なんのいな。この中より二、三度、酒の相手。夫があらば添はしてやる。ひまがほしくばひまやろと。結構すぎた身請け。[政]さてはその方を。早野勘平が女房と。	・同上。注釈はない。「結構すぎ」という複合形式。現代語訳によると、「結構すぎ」は、「結構すぎた(身請け話)」とあり、「(都合の)よい」といった意味であろう。
59	双蝶蝶曲輪日記(浄瑠璃集) 第二 相撲の花扇に意見の親骨 [一五]与次兵衛の儉約家ぶり p.186	わいらもよう心得て銭あだに使ふな。三貫八十六文、大抵では儲けられぬぞいやい。この銭を使はずに、一つにして濡髪にやれば。結構な正月ごが出来る。まちつと休んで評判聞けば見たも同前。	・同上。現代語訳によると、「結構」は、「結構な(正月の着物ができる)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
60	双蝶蝶曲輪日記(浄瑠璃集) 第四 大宝寺町の達引に兄弟のちなみ [四六]姉お関の思い p.233	必ず悪う聞きやんなや。人に悪う思はれぬも親の陰。父御は丸屋仁左衛門とて。この町では口利の結構者、後生願ひであったのに。その人の子に我が身のやうな者がようも / \ 生れたことぢや。	・同上。「結構者」という複合形式。注釈によると、「結構者(けっこうしゃ)」は、「信心深くて心が穏やかな人」とある。ここでの「結構者」は、プラス評価性。
61	妹背山婦女庭訓(浄瑠璃集) 第一 大内の場 [三]鎌足、叛逆の疑い p.317	鎌足大臣思慮を定め。(詞)この身にとつてかつ以て覚えなけれど。目下疑はしき影の鎌。叛逆の者あつて。我を罪に落さん結構。この悪党を見出すまでは。申し分けても詮なきこと。	・江戸時代中期。近松半二、松田ばく、栄善平、近松東南、三好松洛(後見)作。注釈によると、「結構」は、「心の中で組み立てられた企て」とあり、現代語訳によると、「(私を罪に落とそうという)企て(であろうが、)」とあり、「企み/企て/はかりごと」といった意味であろう。
62	妹背山婦女庭	官軍残らず馳せ向ひ。敵を攻めつけ一昼	・同上。注釈はない。現代語訳による

第3章 結構

	訓(浄瑠璃集) 第三 山の場 [三七]雛鳥の 嫁入り p.388	夜に落城。大和に安曇文次宗秀。当麻の 辺りに陣を取り。(地ウ)南都を攻むる(ハ ル)その結構。(ウ)馳せ向うて色戦ひし合 に。(キン)味方の。官軍利を失合ひ。	と、「結構」は、「(南都を攻めるその) 企て、」とあり、「企み/企て/はかりご と」といった意味であろう。
63	妹背山婦女庭 訓(浄瑠璃集) 第四 御殿の 場 [四二]入鹿の 御殿 p.428	(地ハル)話の尾に付く色仕丁ども。(詞) ア、結構な御普請でござります。さうし て何やらふつ/ \とよい匂ひが致しま す。オ、その筈。縁板、檻に至るまで皆 伽羅と沈。シタリ抹香や匏屑とは違うた 物ぢや、	・同上。注釈はない。現代語訳によ ると、「結構」は、豪華絢爛な御殿に対 して、「(アア)結構な(ご普請でござい ます)」とあるため、「すばらしい/立 派な/よい」といった意味であろう。
64	碁太平記白石 噺 第四 白坂逆 井村田植の場 [二二]台七、畦 に天眼録を埋 める p.510	シタガ、もう昼餉時。また休んで働かし やれと、下をフシいたはる慈悲詞。(詞) ア、結構なお庄屋様。そのお前のお心 を。お代官の台七顔に。ちつと煎じて飲 ませたい。ア、コレ/ \。	・江戸時代中期。紀上太郎、容楊黛、 焉鳥旭、烏亭焉馬、三津環作。注釈は ない。現代語訳によると、「結構」は、 「(アア、)立派な(お庄屋様。)」とある ため、「すばらしい/立派な/よい」と いった意味であろう。
65	碁太平記白石 噺 第六 浅草茶 屋の場 [三〇]おのぶ、 観九郎に売ら れる p.543	(詞)サア/ \、旦那方。お茶屋様へお腰で もおかけなさい。今日は結構なお天気で。 私も仕合せ、観音様もお仕合せでござ	・同上。「結構なお天気」という形式。 注釈はない。現代語訳によると、「結 構」は、「結構な(お天気で)」とある ため、「すばらしい/よい」といった意 味であろう。近代以降は頻出する表 現。
66	碁太平記白石 噺 第十 紺屋弥 左衛門店の場 [五六]八尾六、 お竹に絡む p.645	コレ八尾六。二人ながら主の言ふことを。 ねつから聞きやらぬわいの。ちつとさう 言ひ付けてたも。へ、ン、ア、結構な事 でござりますわ。全体お前にはこの私が。 よつぽど気があつた故。	・同上。注釈によると、「結構な事」は、 「ありがたいこと」とあるが、「よい」 とも入れ替え可能。
67	碁太平記白石 噺 第十 紺屋弥 左衛門店の場 [五七]吉六(伊 達助)、お染と 祝言 p.652	追ひ出さるゝか聲になるか。二つ一つの 返事聞こ。どうぢや/ \と。(地ハル)詞に お染はもどかしく。(ウ)女夫にしやうと結 構な了簡。(ウ)何の否があ(中)ろぞいな。 (詞)ナウ吉六。さうであるがの。	・同上。注釈はなし。「結構」は、「あ りがたい(はからい)」とあるが、「よ い」とも入れ替え可能。
68	排 蘆 小 船 (あ し わ け お ぶ ね) [四 三] 文 質 彬 々 p.329	「文質彬々」と云ふは、ただありのままに て、根から美醜をも顧ず、有体なるをば いはず。誠実なる上に、随分醜を除き、 美を繕ひ飾りて、優れて美しく結構なる を云ふなり。されば和歌は、見聞するも のをして感ぜしめ、天地を動かし、鬼神 を感ぜしむるものなれば、善きが上にも 善きをえらび、麗しきが上にも麗しきを 採るべきことならずや。	・江戸時代中期(1757年頃成立)。本居 宣長作。現代語訳によると、「結構」 は、「(美を繕い飾って、とくに美しく) 結構である(のを言うのである)」とあ り、「すばらしい/立派な/よい」とい った意味とみられる。
69	金々先生栄花 夢 上 序 文に曰く、浮 世は夢の如し p.19	金兵衛かの駕籠に打乗り行くほどに、ほ どなく和泉屋の門にいたりぬ。やがて駕 籠より出し、番頭・手代、先に立ち伴い 行くに、その住居の結構さ、まことに玉 のきざはし瑠璃の戸ばりとも言つべきあ りさま、屏風・襖には金銀の砂子をなら べ、衝立に小金の日輪をかゝせ、唐紙に	・江戸時代中期(1775年成立)。恋川春 町作・画。注釈・現代語訳ともない が、豪華絢爛な住居に対する形容とし て「結構」を用いている。ここでの「結 構」は、「すばらしい/立派な/よい」 といった意味とみられる。

第3章 結構

		銀の月輪をあらわしたり。	
70	狂歌 朱楽菅江(あけらかんこう) p.508	寄鳥祝(とりによするいはひ) 治まれる 御代は諫めの鼓にも こけかう となく鳥ぞかしこき (*以下本文解説を抜粋)鶏の鳴き声の擬声語「 こけかう 」に「御結構」を掛け、更に「苔深う」を掛ける。天下泰平の御代には、諫めの鼓を打つ者もないので苔が深く生え、鶏も鼓の音に驚くことなく「御結構な世の中」と鳴いているのが何とも賢いことである、との意。	・江戸時代中期。朱楽菅江(あけらかんこう:1740~1800)作。
71	東海道中膝栗毛 道中膝栗毛三編 上 p.155	いち子「それに、わしが奉公して、せつかくためた着物まで、そなたゆへにおきなくしたがつやしい。質はさかさまにやアながれ申さぬ 弥二「そのかはり手めへは、 結構 なところへいつてゐるだろふが、おれはいまだにくらうがたへぬ いち子「ヤアレハアなにか けつこう でござろふ。	・江戸時代後期。1802~09年成立。十返舎一九作。注釈によると、「結構なところ」は「極楽浄土をさす」とある。「すばらしいところ」→「極楽浄土」といった連想であろう。
72	春雨物語 天津処女 p.437	ずのためしして、うつらせたまへりき。是は、先帝の平城(*なら)の 結構 を、この邦にては例無し、瑞籬ふし垣の宮居にかへさせしなるべし。されど、長岡はあまりに狭くて、王臣たち、	・江戸時代後期(1808年成立)。上田秋成作。注釈・現代語訳によると、「(そもそも先帝桓武天皇、奈良の都の唐風の)構え(を)」とあり、「(建築物/施設等の)つくり/かまえ」といった意味であろう。
73	近世説美少年録 新局玉石童子訓 三 第三十三回 穴隙を鑽て二賊夜師徒を脅す/生口を呈して両少年疑獄を解く p.355	昨日も今日も俺們が、昼悄悄に来て覗知たる、本堂の光景、阿弥陀の箔、客殿の席薦障子まで、手の届きたる 造作結構 、敗鉄経紀に見せたりとも、銭なき寺と誰かいふべき。	・江戸時代後期(1829~32年成立)。曲亭(滝沢)馬琴作。「造作結構」という複合形式。類義の漢語を二つ並べる形式。注釈によると、「造作結構」は、「家の造りよう」とあり、現代語訳によると、「手の行き届いた造りようは」とある。
74	風月花情 春告鳥 初編 卷之一 p.382	かけすぐに恋がくぼのくるわにいたりかかねてこゝろあてある加田玉といふ青楼にこそそのぼりける そも / \ 二階の 結構 よりその盛なる繁昌などは諸君の推にまかして、人情の要をのみしるす。	・江戸時代後期(1836年成立)。為永春水作。「結構」については、注釈・現代語訳ともないが、文脈からすると、「結構」は、「(建築物の)つくり/かまえ」といった意味であろう。

3.7.1.2 検索語：「結構」（手偏の「構）」（2020/11/25 時点）

手偏の「構」の「結構」については、一例のみの検索結果であった。無標の「結構」に準じるものと捉えて差し支えなさそうである。以下に例を示した。

図表 3.25：「結構」（手偏の「構）」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	近世説美少年録 新局玉石童子訓 第五版 巻二十二 第五十二回 大江峯張遂ふて松煙斎に説く/文武和合して故人故人を知る p.385	「嚮には己等父女の為に、美衣二領贈り給ひし、それすら当りがたかるに、況轎子をもて迎へられたる、抑何等(*そもそもな)ら)の結構ぞ。芳恩謝するに詞なし、最辱く候」といふを縦二郎聞あへず、	・江戸時代後期(1829~32年成立)。曲亭(滝沢)馬琴作。注釈によると、「結構」は、「用意。支度。」とあるが、現代語訳によると、「(いったい何と)けっこうな(ことでしょうか)」とあり、解釈がゆれている。「(いったい何という)ご準備/お計らい(でしょうか)」としたほうが自然な解釈かもしれない。「結構」については、一例のみの検索結果であった。

3.7.1.3 検索語：「けつかう」（2020/11/25 時点）

図表 3.26：「けつかう」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	貞徳翁の記 慶長九年四、五月 p.26	一 五色のほめやう。青、見事。黄、けつかう。赤、うつくし。白、うやうやしなり。黒、くすみたり。備中屋一噌かたりけりとて、其の門弟、笛吹矢野道九申されし。	・江戸時代初期。松永定徳作。1633年ごろ成立。慶長九年は、1604年。現代語訳によると、「青は見事、黄色は結構、」とあり、類義である「見事」と「けつかう」を使い分けているが、その真意は不明。
2	一休ばなし (仮名草子集) 六一休関の地蔵くやうし給ふ事 巻之一 p.247	一休ただ一人すご/と来り給ふ。皆々よろこび、先御礼を申す。一休「かの地蔵は」とのたまへば、さしもけつかうなる地蔵をつくり、供物をそなへ、香花をたむけ、しやうごんおこたらずぞ見えける。	・江戸時代初期。作者未詳。1663年ごろ成立(推定)。現代語訳によると、「けつかう」は、「(まことに)りっぱな(地蔵を作り)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味。注釈はなし。「一休ばなし 序」によると、庶民向けの読み物という位置づけのようである。そのため、難しいと思われる漢語系の語は、ひらがな表記になっている。左の例では、「けつかう(結構)」「しやうごん(荘厳)」等。
3	一休ばなし (仮名草子集) 巻之二 五一休和尚大名に引導をわたす事 p.268	貴賤くんじゆ(*群衆)しちやうもん(*聴聞)せむとぞひしめきける。葬礼の儀式、天には花をふらし、地には錦を敷、ことばにもべがたく、けつかうを尽し、其日になれば数万の見物、「かの一休の導師をぞ聞べけれ」と。おしあひ、へしあひけると也。	・同上。注釈によると、「けつかうを尽し」は、「結構」。華美を尽す。贅沢を尽す。」とある。つまり、「(物の)つくり/造作に趣向をこらす」、その結果として、「華美/贅沢(な状態になる)」ということであろう。
4	一休ばなし	人々申けるは、「さん候。いかにもけつか	・同上。注釈はなし。現代語訳による

第3章 結構

	(仮名草子集) 卷之二 六一 休和尚 宗々より祖師 の讃を頼む事 p.272	うに大きにかかせたく存候へ共、先日浄 土宗法然の讃をじまん申候ゆへ、口おし く候ひて、取ものも取あへず、先ちくり げに、かかせて参り候、いそぎ讃してた べ」と申せば、「心得候」とて、	と、「けつかう」は、「(いかにも)りっ ぱに(大きくかかせたく思いました が、)」とあり、「すばらしい/立派な/ よい」といった意味であろう。
5	御伽物語(仮 名草子集) 宿直草 卷二 第十一 ござ いしやうの局 ゆうれいの事 p.501	座頭とかくにをよばず『まいるべし』と。 『さらば』とて、手をひきてゆくに、おび ただしき惣門にいと覚えしより、いし の階たまの檻とおぼしくて、いとけつか うなるべしとおもふ殿づくりなり。しば ／＼ゆくに、楼に至る。	・江戸時代初期。富尾似船作(推定)。 1677年刊。左の「ございしやうの局~ 」は、小泉八雲『怪談』中の、「耳なし 芳一」の原話とされる。注釈はないが、 現代語訳によると、「けつかう」は、 「(たいそう)りっぱ(なのであろうと 思われる家造りである。)」とあり、 「すばらしい/立派な/よい」といった 意味であろう。家造りの形容として使 われている。
6	万の文反古 (井原西鶴集) 新版 ゑ入り 西鶴文反古 二 万の文反古 卷二 一 縁付まへ の娘自慢 p.242	歴々の身代をつぶし申候。これ母親心か このたび買物の注文見あはせ、我等同心 に存ぜず候。先づもつてけつかう過候。 貝桶に渡りの緞子蓋、無用に候。奉公難 も御望み	・江戸時代中期。井原西鶴作。1690~91 年ごろ成立。「けつかう過(すぎ)」と いう複合形式。注釈はないが、現代語 訳によると、「けつかう過」は、「(ま ず第一に)贅沢すぎ(ます。)」とある。 つまり、「よいこと/すばらしいこと」 も度が過ぎれば「贅沢」になるという ことか。
7	野白内証鑑 (浮世草子集) 一之巻 第二番 隠膚 卦 p.164	「大切な金銀出して、ようもこんな事をい はせて置く事ぞ」と、はたできくさへ小 腹の立つに、此の大臣分知な顔して、「あ はれ其のお敵の三分一ほど思はれたい」 と、さりとはけつかう仁かな。こんな大 臣しなれたら疑もなく仏になるべし。	・江戸時代中期。1710年刊行。江島其 磧作。注釈によると、「けつかう仁」 は、「好人物。転じて愚鈍な者。」とあ る。現代語訳によると、「けつかう仁」 は、「(まことに)お人好しな(ことだ。)」 とあり、マイナス評価性である。
8	東海道中膝栗 毛 膝栗毛六編 上・下 道中膝栗毛六 編 上編 p.342	北八「どふやらこうやら、よくなりやし た (ト)くちをそゝぎて、まじめなかほ。 弥次郎は心のうちに、おかしさをかくし ている。いんきよけつかうじんと見へて、 かくべつはらもたてず いんきよ「イヤ もふおたがひに、どゑらいめにあふたこ つちや。	・江戸時代後期。1802~09年成立。十 返舎一九作。「けつかうじん」という 複合形式。注釈によると、「けつかう じん」は、「結構人。気のよい人柄。」 とある。
9	東海道中膝栗 毛 膝栗毛八編 上・中・下 道中膝栗毛八 編 下巻 p.481	三人こゝにすわりて、見まわすにりうき うおもてを、けぬきあはせにしきつめ、 とこの間、ちがひだなのかゝりきらびや かに、ちりひとつなきざしきのけつかう、 いふばかりなし。此内十三四才ばかりの、 うつくしきわかしゆが、	・同上。膝栗毛八編は1809年成立。注 釈・現代語訳ともないが、「ざしきの けつかう、いふばかりなし」とあるの で、「座敷のつくり(造作)は、いいよ うもない(ほどのすばらしさ)」といっ た意味であろう。
10	浮世床 柳髪新話 浮 世床 初編 卷 之上 p.278	能「気の能隠居だのう びん「けつかう だ 熊「息子が仕合せだぜ びん「あの 息子もよく持で利口者だから身上は大丈 夫だ 熊「親子ながら仕合といふのだの でん「どうもさくゝて能 で	・江戸時代後期。式亭三馬作。初編は 1813年刊行。注釈・現代語訳ともない が、現代語にも通じた、「よい」と いった意味であろう。
11	浮世床 柳髪新話 浮 世床 初編 卷 之中 p.355	ふ。つむりの上がざつと卅両、櫛がばら ふで響が今風二本。うしろざしが少し流 行におくれたれど甲がけつかう けん 「目がふたつまでまんぞくに付て、鼻筋足 の爪頭まで通り	・同上。注釈によると、「甲」は、「べ っこう」とあるので、「べつかう」「け つかう」と韻を踏んだ洒落ということ か。「けつかう」は、現代語にも通じ た、「よい」といった意味であろう。
12	浮世床 柳髪新話 浮 世床 二編 卷	女房「ハイありがたう。至極丈夫でござ いまして、只今まで何とも申ませぬのさ 袋「ヤレ／＼それはほんにお仕合な事で	・同上。二編は1814年刊行。「けつか う」は、注釈・現代語訳ともないが、 現代語にも通じた、「よい」といった

第3章 結構

之下 p.355	ございます。子ども衆は何はおけ御丈夫さまが一番けつかうなことでございますよ。お屋敷のお妹御さまもおさへ、\しうお勤なさいますか。	意味であろう。
-------------	--	---------

3.7.1.4 検索語：「けつこう」（2020/11/26 時点）

図表 3.27：「けつこう」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	好色一代男 (井原西鶴集) 巻四 目に三月 p.125	あのうちに上ひとり様もまぎれて御入りのよし。どれとも見分けがたし。毎日の御遊山、かはりたる御物ずき」とかたる。「けつこうな事かな。この跡松本名左衛門申せしも、よい夢とや。みる事もきく事もならぬ事をおもふより、	・江戸時代中期。初刊は1682年。井原西鶴作。現代語訳によると、「けつこう」は、「いや実に結構なことだ。」とあり、「すばらしい/よい」といった意味であろう。
2	万の文反古 (井原西鶴集) 新版 糸入り 西鶴文反古 一 万の文反古 巻一 一世帯の大 辞は正月仕舞 p.218	「九月前の算用に違ひあり。その時の若衆をおこしやれ。今一度帳面を見あはせ、相済し申すべし」と、成程けつこうに断り申置くべし。その手代江戸へくだり、この方居申さず、この節季は伸ばし申候。	・江戸時代中期。井原西鶴作。1690~91年ごろ成立。現代語訳によると、「けつこう」は、「(できるだけ)もっともらしく(断りを言っておきなさい。)」とあり、「都合よく」といった意味であろう。
3	万の文反古 (井原西鶴集) 新版 糸入り 西鶴文反古 万の文反古 巻五 一 広き江戸 にて才覚男 p.307	長崎へ手代どもさしくだし候幸便に、一筆申入候。然れば袖嶋半足、お内儀様へ進じ申候。不断着にあそばさるべく候。今程はここ元も、けつこうなる衣装着申候事、はやり申さず候。はたまた貴様大酒被成候事、すこし御とまり候や。	・同上。現代語訳によると、「けつこう」は、「贅沢な(衣装を着ることははやりません。)」とある。
4	西鶴置土産 (井原西鶴集) 巻一 一 大釜のぬ き残し p.491	この男め、大和より二三日跡にここともへまあり、つちけのはなれぬ者なれば、ぜひに御堪忍」と、亭主けつこうなる一言に、ねだるべき力なく、「侍衆にかけぬやうにしやれ」と、いひ捨てて通れば、	・同上。1693年刊行。現代語訳によると、「けつこう」は、「筋の通った(亭主の挨拶に、)」とある。「(亭主の)気の利いた(一言に、侍も言いがかりを付ける気もなくなり)」といった意味になろう。
5	野白内証鑑 (浮世草子集) 一之巻 第四番 金白 卦 p.184	ふかう思ひつく男には、こちからまいてあはぬやうにするは、死んだ男に心中をたつるのよし。あつぱれ古今の賢女、心中はひかりわたるけつこうな金白人、姑孝行の勤。堂塔を建立なされうより、此の女郎をよんでしんぜられ。	・江戸時代中期。1710年刊行。江島其磧作。現代語訳によると、「けつこう」は、「(世に広く光りわたる)立派な(黄金心中の白人で、)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
6	野白内証鑑 (浮世草子集) 三之巻 十六番 案外 卦 p.279	筋目にも御かまひなされず、絵図にさへあへば何程にても金銀を出され、其の日よりすぐに親共へは御扶持下され、極ると其のまゝ抱へられし女には、けつこう成る小袖を上下共にきせかへ、今まで大平にいはれし侍衆も、額を畳にすりつけて、	・同上。現代語訳によると、「けつこう」は、「立派な(小袖に)」とあり、「すばらしい/立派な/よい」といった意味であろう。
7	酪酩気質(*)	アノおまへ、エ、紙たばこ入で切だか革	・江戸時代後期。式亭三馬作。1813年

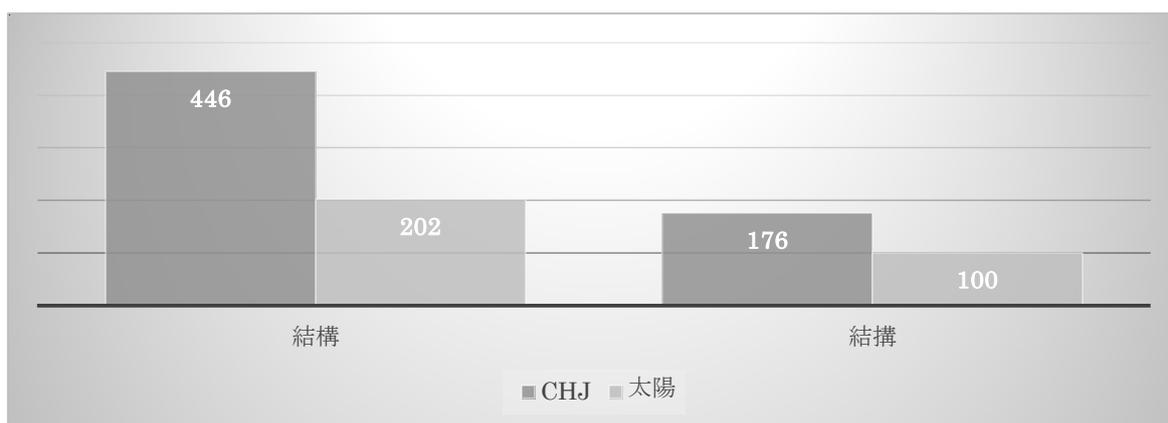
第3章 結構

	なまゑいかたぎ) 上 面白くない上戸 p.203	だか見わからぬが出来ますてな。へえそんなら四日市の竹屋清蔵と京橋の京屋伝蔵がよいかな。ハテしらぬ事。イヤ是はけつこうなお煙草だ。私は上州から葉で買って手前で切てたべますが、江戸で買ふ一斤八十位の煙草はおい付きませぬ。	刊行。注釈・現代語訳ともないが、「すばらしい/立派な/よい」といった意味で現代語に近い使われ方。
8	酩酊氣質 下 なき上戸 p.219	月に三番ヅ、お居風呂番が当るがチツト大儀だといふけれど、御勝手に能に、物事がふんだんだからマア勤能けつこうなお屋敷さ。此間おめへ初花が咲たてつて、肝を潰してしらせてよこしやしたから、ゑつさらおつさら煮染と赤飯を持って逢に行やした。	・同上。「けつこう」は、注釈・現代語訳ともないが、「すばらしい/立派な/よい」といった意味で現代語に近い使われ方。
9	東海道中膝栗毛 道中膝栗毛三編 上 p.155	いち子「それに、わしが奉公して、せつかくためた着物まで、そなたゆへにおきなくしたがつやしい。質はさかさまにやアながれ申さぬ 弥二「そのかはり手めへは、結構なところへいつてゐるだろふが、おれはいまだにくらうがたへぬ いち子「ヤアレハアなにがけつこうでござろふ。	・江戸時代後期。1802~09年成立。十返舎一九作。注釈によると、「結構なところ」は「極楽浄土をさす」とある。「すばらしいところ」→「極楽浄土」といった連想であろう。発話者によって、「結構」と「けつこう」を使い分けているようである。
10	東海道中膝栗毛 膝栗毛五編 上・下 東海道中膝栗毛五編 下 p.285	弥次「そうてへ京といふところは、あたじけねへ所よ。めへど前度わつちがいつた時分は三月で、花見のさいちう、てんト、に幕をうつて、けつこうな高蒔絵の重詰などを、取ちらした所はいゝが、其重のうちに、何があるとおもへば、	・同上。「けつこう」は、注釈・現代語訳ともないが、「すばらしい/立派な/よい」といった意味で現代語に近い使われ方。
11	東海道中膝栗毛 膝栗毛八編 上・中・下 道中膝栗毛八編 中巻 p.474	たいこもち「コリヤしま主が無調法。ナントこういたしましよかいな。どふやらおざしきがしゆんできたさかい、是からわつさりと、額風呂へなりこみの、例のフカ/、フツ、カ、ホカ/、けつこう/、なぞは、どでござりますぞいな	・同上。「けつこう」は感動詞的に使われているが、現代語に準じて、「よい」といった意味であろう。

3.7.2 中世から近代 (CHJ: 日本語歴史コーパス)

CHJ (日本語歴史コーパス) による検索では、「結構」の検索結果数が全 446 件であった。なお、参考として、異表記「結構」(手偏の「構」)の検索結果数が全 176 件あるという点も挙げておく(主に明治期)。これは、前述「3.7.1 日本古典文学全集」における「結構」の例が 1 例のみということを考慮すれば、比較的数が多い。まず、以下に、「結構」および「結構」の検索結果数の比較を表にして示した(2020/10/05 時点)。補足として、『太陽コーパス』による結果も併記した。

図表 3.28 : CHJ・『太陽コーパス』による「結構」「結構」の検索結果数の比較 (2020/10/06 時点)



まず、CHJにおける両者の比率をみれば、「結構 (446 件)」:「結構 (176 件)」が、約 10:4 となった。したがって、近代 (明治期) においては、「結構」 (手偏の「構」) の出現比率が思いのほか高いことがわかる。ただし、CHJ において、「結構」の用例は、1909 (明治 42) 年までしか現れない。

次に、『太陽コーパス (CD-ROM 版)』 (2005) による検索では、「結構」が全 202 件、「結構」 (手偏の「構」) が全 100 件であった。両者の比率をみれば、「結構 (202 件)」:「結構 (100 件)」が、約 10:5 となる。ここでも、「結構」 (手偏の「構」) の出現比率が思いのほか高いことがわかる。ただし、「結構」の用例は、上記と同様に、1909 (明治 42) 年までしか現れない。つまり、その後の 1917 (大正 6) 年・1925 (大正 14) 年の記事にはみられない⁷⁸。

以上を考慮すると、近代 (特に明治期) においては、「結構」と異表記「結構」が併存していたが、明治期末頃に「結構」の表記がみられなくなり、それ以降は、「結構」が主流になったということが示唆される。

なお、CHJ の検索結果では、おおむね 1920 年代半ばまでの資料しか現れないため、大正期半ば以降、昭和前期 (戦前期) までの資料が不十分である。一方、下述、「3.7.3 神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」では、大正期から昭和前期にかけての資料が豊富である。したがって、当該期の資料については、下述、「3.7.3」に譲る。以下、CHJ の「結構」「結構」についての検索結果を表にして示した。

⁷⁸ CD-ROM 版『太陽コーパス』では、雑誌『太陽』について、1895 (明治 28) 年/1901 (明治 34) 年/1909 (明治 42) 年/1917 (大正 6) 年/1925 (大正 14) 年の各 5 期、各 12 冊分の全文についての検索ができる。

第3章 結構

3.7.2.1 検索語：「結構」（全446件より抜粋）（2020/10/05時点）

図表 3.29：「結構」の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	天草版平家物語 40-天平 1592_01003	攻めさせられうと有るを、申し留むる為に、呼ばると御心得有って、結構な車に乗り、侍三四人連れて、常よりも引き繕うて出でられた。	・1592年成立。 形容動詞連体修飾。
2	天草版平家物語 40-天平 1592_01006	ややもすれば、この一門を滅ぼさせられうずると有る法皇の御結構こそ遺恨の次第なれ：この後も讒奏する者有らば、当家滅ぼせとの院宣	・名詞。「御結構」で「計画/企て」の意味か。
3	天草版平家物語 40-天平 1592_03005	上らるる時は、僅かに三万ばかりに成って、然しも結構に出立って都を出られた人々が、徒らに名をのみ残いて越路の	・形容動詞連用修飾（副詞的用法）か。
4	天草版伊曾保物語 40-天伊 1593_00002	上下万民喜び身に余り、足の踏み所も覚えいで馳走奔走をして結構に船を飾り、舞楽を奏し、糸竹を調べ、宗との老若迎いに出て	・1593年成立。
5	天草版伊曾保物語 40-天伊 1593_00024	馬と、驢馬の事。或る馬に一段結構な鞍を置き華やかにして差いて通るに、驢馬の見苦し気な重荷	・形容動詞連体修飾。
6	虎明本狂言集 40-虎明 1642_01003	べからずさてそののちにはわれらがやうなる福殿に、いかにもおぶくを結構して、さて中酒には古酒を、いやといふほどもならば	・サ変動詞。
7	丹波与作待夜のこむろぶし 51-近松 1707_07001	エ、この座敷は、ぎやうに滑つて歩かれぬ大名の家よりもこつちの内が結構でござると、独り言してみたりけりお乳の人は、大高にお菓子さまが、文匣に盛り入れ	・(形容動詞)述語文。
8	卯月の潤色 51-近松 1707_14002	駕籠は乱れて失せにけり助給内に案内しこれ見や、今はこの身持結構なことはなけれども浮世の世話をよそに見て、藜の羹、紙衾まづ	・形容動詞連体修飾。
9	心中重井筒 51-近松 1707_15001	は入り婿、乳呑みごもんを持ちながら人のみるちやも構ふにこそ。お内儀は結構者柳煤竹にやつてぢやが隠居の親仁がわせると家内はしみこほり、	・「結構者」という表現。
10	夕霧阿波鳴渡 51-近松 1712_08002	傍輩並にあしらやと、仰せも果てぬに腰元中、口々にア、奥様のあんまり結構過ぎました我々がなんぼ沙汰をいたさずともあの傾城のぼしやれ者、それを言	・「結構過ぎる」という複合形式。
11	心中宵庚申 51-近松 1722_21003	世間する若い者、呼びに来まいものでもない少々のごことは聞き逃しにしやいのソレその結構過ぎたから親を阿呆にしをるわいの現在おれが甥の太兵衛を差し置き赤の他人の、こののら殿に家屋敷	・「結構過ぎる」という複合形式。
12	誰が面影 52-洒落 1812_01021	時にもし此間申ました紙入の地合こんなものではどござりましよとふところより切地二ツ三ツとり出す「亭主へい是はどれも、結構なものでござります	・形容動詞連体修飾。
13	花街寿々女 52-洒落 1826_01063	つらひ刹ない恥かしい。うき苦界をするゆへに。神仏の御方便で此やうな。結構過た。お客さまもあるかとおもへば。なか、一と通りの。お方と	・「結構過ぎる」という複合形式。
14	春色梅児与美 53-人情 1833_02009	男「はいいゑもうおかまいますなといひながら家内をじろ、ねめまはし男「誠に結構なおすまみだどうも藤さんも諸方へ金が入なさるから終無理なこと	・形容動詞連体修飾。
15	仮名文章娘節用 53-人情 1834_05007	乳母は酒の方だから今にお肴が来ると一口あげるヨうば「イエ御酒よりか又このおはぎと都鳥は結構でござります。そして手奇麗でござりますから。おつかひ物やお土産などには。	・(形容動詞)述語文。
16	花廻志満台 53-人情 1837_01008	末を縫つてされても詮方はねへ所を。ああいふ結構な篤実な人なればこそあの通りに言つしやるのを聞分ねへじやあ。	・形容動詞連体修飾。
17	春色江戸紫	どうせ御気にやア入るめへが。何卒しめておくんなせへ。	・形容動詞連体

第3章 結構

	53-人情 1864_03002	ト。風呂敷包みより帯を出す。くみ「ヲヤマア。結構な物で。ございますねへ吾儕が此様なのをしめましたツて。帯が逃出しさうで御座いますか	修飾。江戸後期から話しことばでは連体修飾「結構な~」という形式をとったようである。
18	春色江戸紫 53-人情 1864_03004	今日もひどく浮ない様だツたから急度左様だらうと思ツてあはは宜加減におしならく「其様な事なら結構だがト又少し涙を浮めながら	・(形容動詞)述語文。
19	春色江戸紫 53-人情 1864_03008	一向捨て仕舞ましたから。中 / \ 存じもよらぬことござり升智「少しでもお心懸があれば。結構定めしお組さんは。諸事お内端でお在だから。御歌杯も出来ませう	
20	春色江戸紫 53-人情 1864_03009	お組さんの貞女にくらべては。言ふやうなき吾儕の身もち殿様が取わけて。御方便におぼし召たゆへ。御前様のおぼし召で結構に仰付られたを。栄耀に余ツて色ぐるひおくみさん先ほどの失礼。さぞお腹が立ましたらうが。何卒勘忍し	・「結構に」連用修飾（副詞的）。
21	交易問答 60C 口語 1869_01102	彼奴等が国の何の益にも立ない品物を持越して。日本の結構な品とを買出。おひおひ日本の諸品を買尽して。日本人を弱らせ	・形容動詞連体修飾。以下、明治期。
22	交易問答 60C 口語 1869_01102	おひ / \ に日本国の身上がよくなる道理で。是程結構な事はないのでござる。此二三年といふものの。田舎がおひ / \ に暮しよくなつたといふの	・形容動詞連体修飾。
23	安愚楽鍋 60C 口語 1871_02204	がわるいやうぢやから当店から毎度取よせて常食どうやうにいたすて●「へへゑそれは結構なことでございますわたくしなぞもよい年になりますまで肉食はけがれるものとおぼへ	・形容動詞連体修飾。
24	開化のはなし 60C 口語 1872_03103	万古不易にて実に満世界を鉦太鼓で尋ねても決して無い結構なる国体にて其国民は能々天神系統の一君を戴き崇め奉るべきことで御坐る	・形容動詞連体修飾。「構造がしっかりしている」という意味か。
25	文明開化 60C 口語 1874_04202	喰もの商売でない所はムらぬ。別して裏町の焚出し屋は大そうな事で。結構なあまりものが仰山有て。われらの仲間には喰つくされいで。勿体ない	・形容動詞連体修飾。
26	明六雑誌 60M 明六 1874_17003	世文明に及び時化洽に至れば人知亦駕して之に逸する者あり之を結構組織の知と謂ふ結構組織の知は大知と其方を同うすと雖ども基礎を堅固にし柱梁を	・形容動詞連体修飾。漢文訓読調文体。「結構組織の」という複合形式。類義語を並べたものか。
27	明六雑誌 60M 明六 1874_17003	基礎を堅固にし柱梁を大にして以て之を結構し經緯大小縦横以て之を組織す時は積漸の久しきを以てし人	・サ変動詞。「つなぎ合わせる」といった意味か。
28	明六雑誌 60M 明六 1874_22001	而て本論の主意たる凡百學術の相組織結構する所以を論述せむとするに方り尚一と言ふべきあり	・サ変動詞。
29	明六雑誌 60M 明六 1874_25003	を觀て其理を知らざるに坐するのみ反て諸を己に求むるに人身の結構巧妙極まる苟も其理に通ぜざれば知覺運動する所以實に不可測なり近世人生	・名詞。「つくり/構造」といった意味か。
30	明治の光 60C 口語 1875_08102	目利安位の機械はもふ珍らしいと思ふ者もない所まで智識が進み升しては結構なる事には存んじ升が悲ひ事は何一つ手前で工面仕出す程修行が	・形容動詞連体修飾。
31	国民之友 60M 国民 1887_10017	尚言ふ可き所あれども畧評なれば此に筆を止む、之を究むるに其結構は其材料の善且美なると相伴はざる者と謂ふ可し	・名詞。文章の「組み立て/構成」。

第3章 結構

32	国民之友 60M 国民 1887_13020	價直を量るに其言語文字に勸懲の意を寓するは疑ふ可くもあらず、亦た其結構の幾分か小説の性質を帶るも明かなり、	・名詞。文章の「組み立て/構成」。
33	国民之友 60M 国民 1888_17028	又近頃長野縣に於て縣會議事堂を再建に就て此の事あるを聞く、想ふに是れ皆各人各個の随意に出でたる者にして結構なる者なるべし、	・形容動詞連体修飾。
34	国民之友 60M 国民 1888_25044	マクベツ」の如きはコルネーユ、ラスキン等の戯曲體に美はしく書綴りたれども、其順序結構に至りては大にシエークスピアルの院本と異なり、到底同一物とは見做し難し、	・名詞。文章の「組み立て/構成」。
35	国民之友 60M 国民 1888_31020	は其主眼重もに人情に在り、人物に在り、人物の意想性質に在り、然るに此書は如何なる譯にや、結構の奇と事蹟の面白きことを主となしたるが如し、故に小説として見るときは毫も價値なしと謂つて可なり、	・名詞。文章の「組み立て/構成」。
36	国民之友 60M 国民 1888_33018	演じて果して觀客を感動せしむべきや否やは全く措て問はざる也、故に文學上より言へば文章辭句意匠結構流暢巧妙にして間然する所なきも實際劇場に適せざるが故に寧ろ文	・名詞。文章の「組み立て/構成」。
37	女学雑誌 60M 女雑 1894_29001	如此き諸君に寄附金を全托して、信じて其爲すが儘に放任せんとする結構人の少なきは、無論の事なり。更に甚はだしきは、此の寄附金の寄附方につきて不平をこぼし、	・「結構人(気だての良い人)」という慣用表現。
38	女学雑誌 60M 女雑 1894_44015	スチウワート、ミルが、煩はしき植物學の分類に心掛けて他日精奧なる論理學を結構し、亦、俗々しき銀行家の繁務を執りて、異日洪遠なる經濟學を大成したるが如きか。	・サ変動詞。文脈からすると「構築する」といった意味か。
39	太陽 60M 太陽 1895_03007	其愛し方と云ふものは、今の人の愛し方とは違ひまして、結構なる美術品を得たと云ふことになりまして、是れはドウも美術品	・形容動詞連体修飾。
40	太陽 60M 太陽 1895_06021	これに對する殿舎を列ねて、義滿當年豪奢の有様を冥想するも、其結構といひ、規模といひ、別に吾人を驚歎せしむる程ならず、寧ろ是れ	・名詞。建築物の「つくり/構造」といった意味。
41	太陽 60M 太陽 1895_08024	大なるものに至ては煉瓦の層樓高く街頭に聳へ、家屋の結構、室内の粧飾、宛然たる洋館にして、洋人の商館と相並び優るある	・名詞。建築物の「つくり/構造」といった意味。
42	女学雑誌 60M 女雑 1895_01019	各派の同志、堅固なる精神上の團結を組織し、先づ日本獨立の一教會を結構するを以て、將來の傳道策の第一要件となせり。基督に關し、	・サ変動詞。「組織する」という意味か。
43	太陽 60M 女雑 1895_07023	(韓人の家にては上等の分なり) 五圓位の元手金を與へて、商業を営ましむれば、婦人の勤勉なる結構に豐なる生活を爲し居候。	・形容動詞連用修飾(副詞的用法)。
44	太陽 60M 太陽 1901_01010	「聖書の研究」、これ夫子自身にとりて、至極結構なる事也。聖書を研究せよ、眞に神を信ぜよ。眞に神を信ずる者は、義人と與えられられてもうれしきことなく、	・形容動詞連体修飾。
45	太陽 60M 太陽 1901_01055	の情態は、木材を積み上げたる儘残されたるものにして、是れを安排結構して、堅牢なる家屋となすには、尚ほ今後の經營に俟つべきものあり	・サ変動詞。「組み立てる」。
46	太陽 60M 太陽 1901_02035	化學の實驗、醫學上の實驗等にもこれを引いて使つて居ります、若し、これを暖室に用ふる様になれば、至極結構です、第一、唯、鉛管や、鐵管で室に導けば、火を付けるばかりで、少し	・(形容動詞)述語文。「至極結構」という複合形式。
47	太陽 60M 太陽 1901_04026	筑後第三十二番の靈場として、名だゝる佛地なりとか。石燈數十級の上に、山門いかめしく立てり。寺殿の結構、今はいたく朽ちしものから、彩軒彫楹むかし忍ばるゝばかりなり。	・名詞。寺社等の「つくり/かまえ/造作」。
48	太陽	立派なる建物が澤山あります。又帖木兒の墳墓は今日で	・名詞。人為的

第3章 結構

	60M 太陽 1901_07006	も尚其所にあります。其墳墓は其結構至つて宏壯なるものであつて、美術の點に於ても中々秀逸のものが	構造物(墳墓)の「つくり/かまえ/造作」。
49	太陽 60M 太陽 1901_09002	何でも近頃は無暗に學校を起すと云ふことが大變に行はれる至極結構なことであります學校は成るべく多く起さなければならぬのである又教育は成るべく	・形容動詞連体修飾。
50	高等小学校国語 1 期 60T 高読 1904_12B02	名高きは陽明門にして、彩色、彫刻、ことごとく、名工の手に成り、結構、裝飾、ともに、精巧をきはめたり。世に、日暮門ともいふは	・名詞。寺社等の「つくり/かまえ/造作」。
51	太陽 60M 太陽 1909_01024	を驚かさばかりのモザイクと彫刻にて飾り、ゴシック式の建築、ビザンチン式の裝飾、結構莊嚴、得て形容し難い。流石にヴェニシヤ共和國全盛時代の國力を傾けて	・名詞。寺院等の「つくり/かまえ/造作」。
52	太陽 60M 太陽 1909_01028	ものが出来たとしたところで、今の文學や文學者ではどうかねえ。そりや、さういふものが出来ることになれば無論結構なことさ。私だつて大に希望もし賛成もする。	・形容動詞連体修飾。
53	太陽 60M 太陽 1909_02035	は其時其場を舞臺とせず、遠い時代と古い場所とを材料とした、故に近代的題材に近代的結構を加へた先鞭者と稱すべきは、實に傳奇派の大家たるアレキサンダ	・名詞。舞臺の「構成」といった意味か。
54	太陽 60M 太陽 1909_04022	言ふと、『はい、噂の法事を爲ますべいと思つて。『それは結構だ。何日爲るね。『明後日ですが。穢ない家ですが来てもらへ	・(形容動詞)述語文。
55	太陽 60M 太陽 1909_04024	に力を入れて、年寄ぶつた、抑へつけるやうな喋りかたをする。「まア結構な御住居ぢやございませんか！これが六疊のお茶の間に…あれが	・形容動詞連体修飾。
56	太陽 60M 太陽 1909_05026	秋は銃獵者が多くて兎角外弾を食ひやすくて困る、殊に獨りで野歩きなどをするとなはゝゝゝ併し重傷でなくて結構だ、切角養生して早く癒すがいゝ	・(形容動詞)述語文。
57	太陽 60M 太陽 1909_05032	此方から好んで行つて買ふ場合は兎に角、さもない時に客からこりやどうだらうねと言はれると、えゝそりや結構でございます。當節の流行で、地質と言ひ、色合と言ひ、申分はございません	・(形容動詞)述語文。
58	太陽 60M 太陽 1909_05032	又他の品を取つて、こりやどうだらうねといふと、又えゝ結構です、餘程お似合ひ申して居りますなどと同じやうなことを繰り返す。是れ全く客の爲を思はず、眼前の利益に執着して居るからで…それ	・(形容動詞)述語文。
59	太陽 60M 太陽 1909_10011	此の氣運を阻止することは出来まい。どんな政黨になるかと云ふとそれは二大政黨對立になれば結構で、亦それにせねばつたらぬ。	・(形容動詞)述語文。
60	太陽 60M 太陽 1909_11033	『それ程でも有りませんよ』と苦笑、多景『いえ、本統に此方は結構です。那智子さんは幸福で居らツしやる。妾とは従妹同士ですけれど、どの位あ那智子さんの方が、運が好く	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
61	太陽 60M 太陽 1909_12036	然れども予の大業は外にあり。希臘主義の研究これ也。予嘗てホメールを讀めり、其結構の雄大にして而かも寫實的敘述の整然たる、その文字の典雅優美に	・名詞。文章の「組み立て/構成」。
62	太陽 60M 太陽 1909_14031	「どういたしまして…さ、まアお上り下さいまし。」「いや、此方で結構です。—氣儘を申すやうですが實は此の方が勝手ですから…」	・(形容動詞)述語文。文脈からすると讓歩的な「~で結構です」。
63	太陽 60M 太陽 1909_14031	と、自分にも今更のやうに家の内を見まはして居た。「いや、結構です—恚ういふ住居は廣い東京にもありませんからな。」「どういたしまして…あの尚一杯差上げませうか。」	・(形容動詞)述語文。「いや、結構です」とあるが、返答で「どういたしまして」とあるため文脈からすると肯定表現

第3章 結構

			のようである。
64	太陽 60M 太陽 1909_14056	山橋に至る、即ち東西十二里餘、南北約五里、其廣袤十里に亘る▲演習の結構如何と云ふに、西軍司令官の率ゆる北軍は、第七師團を軍の右翼	・名詞。「計画/スケジュール」といった意味か。
65	太陽 60M 太陽 1909_16050	此處に滞留中、スカンセン博物館を見た。結構雄大、當國の動植物は無論、北部ラブランドの模様、衣服の變遷等	・名詞。建築物の「造作/つくり」。
66	女学世界 60M 女世 1909_03011	ほんとうに嬉しいとおもひます、一番何がつて仰しやられませと困りますが、まあ三味線ものが結構で御座いますね、殊に長唄が聞いて一番氣持ちがすつきりいたします、しかし身にしみるのは歌澤なんかの方がよい様におもはれます』。	・(形容動詞)述語文。
67	女学世界 60M 女世 1909_03015	最近の新しい作は到底十分に嘆るものではありません。私には十八世紀から十九世紀邊の作が結構です。誰にも向くやうな書物とは、さあ何で御座いませう。私は最近の書物で「ダイアナ、	・(形容動詞)述語文。
68	女学世界 60M 女世 1909_03019	嫌よく遊んでみてさへ下さればお姑達は満足して居られるとの事、結構な御身分と云はなければならぬ、しかし人間に生れながらそれぢや人形のやうで生きてる甲斐がないから私	・形容動詞連体修飾。「結構な御身分」という慣用的表現。
69	女学世界 60M 女世 1909_03049	梅見より家に居て温かにして、まあ旨いものでも食べた方が結構なの』と言ふと『御隠居様だね』と嫂さんは笑ふ。私だつて行き度には定まつて居る。	・(形容動詞)述語文。当時は花見といえば「梅見」だったのか。
70	女学世界 60M 女世 1909_03056	四脚には車を附けて何人にも容易に轉じ得る様になつて居ります。之れに汁などの濡れた時拭き易いやうに、亞鉛を被せたら尚結構です。	・(形容動詞)述語文。
71	女学世界 60M 女世 1909_05009	居候を置くなぞは、家内の者が犠牲献身の實物教育を受ける便になつて、至極結構な次第である。故に、女學校の卒業生には、	・形容動詞連体修飾。
72	女学世界 60M 女世	それと同時に肝油等を用ゐてよろしい、尚ほ消化不良で苦しんで居る人には、ジアスターゼ等の藥劑を用ゐるのも結構である。▲運動の注意▼そして痩せる爲めには、運動を盛に行はなくてはならぬ。	・(形容動詞)述語文。
73	女学世界 60M 女世 1909_05036	旦那方がお見えに成ましたよお新造様も御一緒で何んとお睦まじい結構な事だ』と囁乍ら行過た。	・形容動詞連体修飾。
74	女学世界 60M 女世 1909_08033	斯ふ言ふ献立でした。元より料理の仕方は非常に不味ではあるが工女の食物としては結構なもので有ります。舍母、工女皆此同一食物を取つて居るといふ事で、	・形容動詞連体修飾。
75	女学世界 60M 女世 1909_10002	毎日掘立の薯と搾り立の乳との料理が何とも云へぬ風味を具へ、肉は一週に一度しか附けませんでも結構滋養のある旨しい食事が出来たのです。	・副詞の「結構」。CHJにも副詞とある。この時期としては珍しい。
76	女学世界 60M 女世 1909_10009	私にいはせれば其位の身分には十圓位の帯で澤山だと思ひます。平常着などは木綿で結構、銘仙などは上等過ぎる位です。私は着飾つてゐる奥さんを見ると、美しいとは思はないで、	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
77	女学世界 60M 女世 1909_13024	お茶も番茶は田舎からまゐりますのを毎年きめて置きますと、二百五十目一斤で四十五錢も出しますなら結構に頂けます、魚類は近海から獲れますのを翌早朝に漁夫の内儀や娘などが擔ひ込	・「結構に」連用修飾(副詞的)。
78	女学世界 60M 女世 1909_16021	女子教育も現今では家庭にまで重んぜられる様になつてまゐりましたから結構です。重な校名をあげて見ませうなら師範校同附屬小學校中學校女學校	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。

第3章 結構

79	尋常小学読本巻九 60T 小読 1910_25A27	其の上にかゝれる朱塗の橋、美観先づ目を驚かす。是即ち有名なる神橋にして、「日光の結構。」こゝに始る。川を渡りて坂路を上れば、東照宮の正面に出づ。	・名詞。「日光の結構」というのは、日光東照宮(周辺)の壮麗な「つくり/かまえ」といことか。
80	尋常小学読本巻九 60T 小読 1910_25A27	夏の盛りの頃、秋の紅葉の折には来り遊ぶもの最も多し。外國人の我が國に来る者亦必ずこゝに遊びて、日光の結構を賞せざるものなし。	・名詞。「日光の結構」というのは、日光東照宮(周辺)の壮麗な「つくり/かまえ」といことか。
81	尋常小学読本巻十 60T 小読 1910_25B27	廊下の兩がにはには幾百株となく牡丹を植込みたり。長廊盡きて本堂あり。結構頗る大に、眺望甚だ美なり。	・名詞。寺院等の「つくり/かまえ/造作」。
82	太陽 60M 太陽 1917_01031	位置地勢及面積等より説き起し、宮殿賢所皇靈殿神殿其他の御由来と御結構御行事より紅葉山御苑と吹上御苑の風光を叙し、次に青山御所東宮御所	・名詞。御所(施設)全体の「つくり/かまえ/造作」といことか。
83	太陽 60M 太陽 1917_01036	何卒して偉い人に成つて欲しいと心で祈つてますのやわ。左様やけれど、私一人やつたら最うこれで結構や。此儘添うて行けたら、最うそないに偉う成つて貰はいても宜しう	・(形容動詞)述語文。譲歩的な「~で結構」か。
84	太陽 60M 太陽 1917_01040	と閑ぢやつたもんやさかえ、少し障子の手入をしようと思つてな。それでも工合よくお天気が續いて結構です。	・肯定表現の「結構です」。
85	太陽 60M 太陽 1917_06003	は大丈夫心配は無いよ、無所屬たることは飽くまでも無所屬ぢや。是を是とし、非を非として貰へば結構ぢや。政府は決して非をやらん覺悟ぢやから喃』と言つて居たよ。	・(形容動詞)述語文。
86	太陽 60M 太陽 1917_09017	予輩は昨年の初め正貨輸入の勢が漸く盛なるを觀て、正貨の輸入は洵に結構ではあるが、適當に處分しないと、通貨を膨脹せしめ、其の結果は	・(形容動詞)述語文。
87	太陽 60M 太陽 1917_10010	國自慢をせずには居られない偏狹獨斷な島國根性の人かであらう。國民の修養としては古事記の研究も結構である。それと同時に私は日本の傳統文學の中に燦然として大きく光つて居	・(形容動詞)述語文。
88	太陽 60M 太陽 1917_13040	せしめる爲めに適當なお伽噺約三十篇を收む、何れも苦心の餘に出づる結構な出來である。	・形容動詞連体修飾。
89	太陽 60M 太陽 1917_14017	然らば私立大學の方は什麼するかと云ふ問ひが起る。私立大學にも此の通り出來さへすれば此の上ない結構な事であるが、實際上これが出來ないとならば、第一の形式におい	・形容動詞連体修飾。
90	太陽 60M 太陽 1917_14040	この村を通る者は、誰でもこの家が目に附いた。遠方から見ると、社祠でもあらうかと思はれるやうなその結構かまへの物々しさを、村人の或る者は嘲笑し、或る者は畏服した。	・名詞。建築物の「結構」。「かまえ」と読ませる。
91	尋常小学国語読本巻十一 60T 小読 1918_36A10	拜復。御親切なる御手紙有難く拜見仕候。尚又結構なる葛粉御送り下され、御厚情の程深く謝し奉り候。實は去月十日頃より感冒の心地にて引きこもり居候處、	・形容動詞連体修飾。
92	太陽 60M 太陽 1925_01107	相談したり假裝の仕度をしたりすることは元來西洋の習慣だから頗る結構だし、第一サンタクロスは七福神なんかから見れば西洋人だから餘程有難い	・(形容動詞)述語文。
93	太陽 60M 太陽 1925_02022	善吉の額からは、ねぼつこい汗が雨にかゝつたやうに流れてみた。『いゝえ、これで結構です。』千代子はそれさへも剥がれようとする單の長襦袢、どうしても脱	・断りの場面における「結構です。」

第3章 結構

			・「いいえ、結構です」の形式。
94	太陽 60M 太陽 1925_03048	『それなら鏢を用意して居るのか、それとも手裏剣を使ふのか?』と聞いて見ると、『いえ、何も有りません。是れで結構なのですから、いそいでたちませう』と言ふばかりであつた。某は益々氣懸りになつたものゝ、仕方無くそのまゝ旅路についた。	・「これで結構」婉曲な断りの表現か。
95	太陽 60M 太陽 1925_04086	『君がもしスウダニアをし知つてみたら』と彼が言ふ、『ラヂオのやうな結構なものこそきつと禁止の厄を蒙ることになるといふ理由がわかるよ。彼處は君實に奇妙な國だよ。	
96	太陽 60M 太陽 1925_05051	の洋服か何か着こんで銀座のカフェでも飲みあるいてゐる所を見ると結構いい金をとつてゐるやうに見える連中だつて一皮むいて内幕をお目に	・副詞の「結構」。この時期から出始めるのか。
97	太陽 60M 太陽 1925_05055	ラヂオの缺點であり、同時にまた美點—缺點を逆用して放送といふ結構なものを生み出したわけであるが、それだけに、これを利用して祕密	
98	太陽 60M 太陽 1925_05068	この頃のやうに生きてゐる人の全集も出る世の中では人氣のある人々は結構な成金になれるといふものである。それと同時に貧乏で通した昔の	
99	太陽 60M 太陽 1925_07025	「其れには及ばぬい」つてアンデイが言ふんだ。「博愛だつて、ちやんと算盤を取れば結構儲かる商賣だよ。『次の週に教員の支給表を見ると新しい名前がある一教授ヂエム	・副詞の「結構」。
100	太陽 60M 太陽 1925_07044	従つて、ABCでも、外國語の分るものは、ひどく珍重された。大隈にしても、ほんのリーダーの初歩がよめるくらゐの程度だつたが、結構、お役に立つて、檜舞臺へ乗り出す武器となつた。明治の元勳伊藤俊輔(後の博文)が、木戸孝允の若黨から、一躍	・副詞の「結構」。
101	太陽 60M 太陽 1925_09070	さうやつて澤山作つた印籠は大名などに賜つたりしたものである。京都に御大典でもあるときは、結構な御調度品などを西丸の工場で拵へて献上するのが例であつた。	
102	太陽 60M 太陽 1925_10012	方面を見ても、意見澤山、議論澤山で一つも纏まらぬやうである。意見の多いのも結構、議論の多いのも結構であるが、虚心坦懐にしてその善い意見を採用するだけの度量が必要	
103	太陽 60M 太陽 1925_10027	これなどは本當に加賀家の塵と言ひ得るものである。能衣裳がまた非常に結構なものばかり二十枚づつ四組出て三萬百八十圓、能面が全部で七十	
104	太陽 60M 太陽 1925_11040	が合はず、最近家を出て一家を構へ、遊藝三昧に日を暮らしてゐる結構な身分の者であつたが、今日も清元のおさらひに行き、遅くなつて	・「結構な身分」
105	太陽 60M 太陽 1925_11063	どれだけ奥ゆかしく立派で適當してゐるかわからない。背廣は労働服として便利と實用との上から結構であるが、禮装にわざわざフロックを選んだことは今から見ると、	
106	太陽 60M 太陽 1925_12017	マルク位の掛金で、病氣になつた時の手當は至れり盡せりである。實に何とも言はれぬ結構な設備で病氣になると小遣を貰ひ入院させて貰ふ。實に羨しいほどである、ヨーロツバに於ては互助組合が相當發達し	
107	太陽 60M 太陽 1925_13069	と彼は懐に手を入れて財布を出しさうにした。『いや今でなくてもいゝんですよ。明日越して來てからで結構です』『同じことですから今拂つときます』と彼は小さな三角の裏口を出して、	・「~で結構です」。譲歩的な「結構」。
108	太陽 60M 太陽 1925_13069	『襟をそつて上げませうかね』と照然がこつちから言ふと、『いや結構です、これでいゝです』と所々に長い毛の	・断りの場面における「結構で

第3章 結構

		残つてゐる顔を膨らまして急がしさうに彼は剃刀	す。」 ・「いや、結構 です」の形式。
109	太陽 60M 太陽 1925_14030	問はれるならば、或は後者と答ふべきであらうが、其の着想の深遠と、結構の雄大と、運筆の自在とは、後者にあるべく、此處に至つて、	・日本画の「結構」。「つくり/構成/組み立て」。
110	太陽 60M 太陽 1925_14030	處女で現はした作、春の麗らかな気分は、よく色彩に現はれてゐる。結構にも無理がなく、昨年よりも上出来で、大和繪中、最も氣持のよい	・同上。
111	太陽 60M 太陽 1925_14058	『五十錢!』『ないの?』『足りないから五十錢くれ!』『三等で結構よ!』銀貨を渡しながら、妻は峻しい表情で云つた。が、彼は青い切符を買つた。	・「~で結構」譲歩の「結構」。 相対評価的。一等でなく三等でいいということ。
112	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03014	ものであつて見れば成るべくは卒業する方が可いは定まつて居る。もし事情が許すなら、秀才どもには苦學をさせるも亦た甚だ結構である。アメリカ邊の大學生は、小使や、料理店の給仕や、名所古跡の道案内や、	
113	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03047	に鯛の即席料理此節國の海邊では鯛の大漁であると送り越した。之は大變結構な見事な魚、早速簡単な料理をして晚餐の卓上を賑はしてあげようと取かゝつた	
114	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03063	これはこのまゝ吸物やお椀の種に用ひましてもよろしく、或は甘煮にも結構です。	
115	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03067	黄身を塗りますから、お魚は鯖でも黒鯛でも、其他適當のもので結構です。	
116	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03159	父は憂鬱な顔をして私の方をちらと見たきり俯向きしました。『御父さん、私行きますわ、大變に結構な話ですもの』私が恚う言ふと父は只だ首肯しました。そして小指で眼がしらを押へました。	
117	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_06045	などをオレブ油と酢、味の素でつけておきます。白身の魚など入れゝば尚結構です。其外その日その日によつて異なりますが、一寸さつぱりビールのお肴になりさうなものを毎日作り、	
118	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_06047	明治初年の頃のことである。東京市外千駄ヶ谷に内藤信重といふ子爵があつた。結構の壯大を誇る其邸宅は、見る人々の目を聳てしめるばかり、土地の人達は千駄ヶ谷御殿とよんだり黒い大きな門構へのあるとこ	・名詞。(壮麗な) つくり・かまえ。
119	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_06159	婦人倶楽部に對する希望でも改善事項でも誌友の通信でも、何でも結構です。どしどし御遠慮なくお寄せ下さい。用紙は原稿用紙か又は半紙にハツキリと住所氏名もお忘れなく。	
120	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_12013	佐久千代子 贈つても贈られても一般的で結構なものは商品切手です。けれど嚴密な意味での贈り物はおもつと心のこもつた物でなければな	
121	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_12020	廊下をエレベーターの方に歩きながら、どこまでも諄く誘ふのであつた。『いゝえ、わたし、本當に結構でございますから……』 美奈子は、強情に斥けた。『いゝぢやありませんか、	・断りの場面における「結構です。」
122	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_12048	急にジロリと時田を眺めて、『時に君、僕はあんまり深く君のことを知らんが、最近どんな結構な戀人が出來たのだね?』 吉川はまた目で微笑した。	
123	小学国語読本尋常科 用卷十二 60T 小読 1933_46B19	お附の者の亂暴に對して、或はお小言が出たかも知れませぬが。リヤ王「わしの家來を五十人にへらしをつた。リガン「五十人で結構ぢやございませぬか。おとなしく、姉上の所へお歸りあそばせ。リヤ王「いや歸らぬ。	

3.7.2.2 検索語：「結構」（手偏の「構」）（全176件より抜粋）（2020/10/05時点）

図表 3.30：「結構」（手偏の「構」）の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	百一新論 60C 口語 1874_06102	故に内の雑作は皆々違つて居るでござるが其内の雑作を如何にも結構に美麗に致すのは教の持前でござつて法では内の雑作を兎角	・副詞。
2	明六雑誌 60M 明六 1874_13002	を記して忘れざるなり想像は未だ曾て經歷せざる所の事を新に結構造營するなり但し曾て經歷したるに多少關係せざるはなし故に記憶と	・「結構造營する」という複合形式のサ変動詞。文脈から「組み立てる」といった意味となろう。
3	明六雑誌 60M 明六 1875_37001	求め得べきの機關を具へ己が身を以て己が身を管治するに十分なる結構を備へたり是を以て人類たる者は自然の法度の禁ずる所の外は	・名詞。「用意/心構え」といった意味か。
4	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_11010	に字体を成すに止まらざるなり我書は勉めて前後の體勢を考へ各自の結構を鑑み練磨考究して美術の域に達するものにして歐州人の唯だ意	・名詞。書物の「構成/組み立て」といった意味か。
5	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_12011	能はざるに至ては較圖畫に異なると雖ども前後の體勢を比し各自の結構を考へ以て人目を娛ましめんと欲するの目的に至ては則圖畫其	・名詞。書物の「構成/組み立て」といった意味か。
6	国民之友 60M 国民 1887_01019	之を如何せん、蓋し此の書たる全く和漢歴史の陳套を脱し泰西歴史の結構に憑りたる者にして加るに作者十二分の學識と感情を其時代の出來事	・CHJには「形状詞-一般」とあるが、「歴史の結構」という意味であり、名詞であろう。
7	国民之友 60M 国民 1887_05010	も耻ぢざるの良民を養成せんこと余の切に望む所也」と實に結構なる注文と云ふ可れ、吾人も實に斯る良民の輩出せんことを望む	・形容動詞連体修飾。「すぐれてよい」という意味か。
8	国民之友 60M 国民 1887_06002	より切り出したる、荒ら削りの材木を其處此處に、投げ散らして、我れこそは結構壯麗なる家屋を建築したりと誇るが如き、状あるは何ぞやよし又た	・CHJには「形状詞-一般」とあるが、「結構(が)壯麗なる」と解釈できるため、名詞であろう。「建築物の組み立て/構成」といった意味。
9	国民之友 60M 国民 1887_08001	なるとは、吾人が今日に於て預言するも既に其の餘りあるを信ず、顧ふに諸公が二十年間の施政は、實に申分なき美妙結構なりしものならん、吾人は此の如く信ぜんと欲す、然れども嫉妬の魔神は、我が人民をして一々甘心悦服せしめざる可	・形容動詞連用形。「美妙結構なり」という複合形式。文脈からすると「すぐれてよい」という意味か。
10	国民之友 60M 国民 1887_08002	たゞ今日に於て東洋流の政治家を摸擬するものを非難するなり、東洋流にも随分結構なる政治家ありしならん、社會にして東洋社會ならば、兎に角東洋流の政治家を以て結構なりと、持てはやすも詮方なき次第なれども、今	・前者は形容動詞連体修飾。後者は形容動詞終止形+「(格助

第3章 結構

		や命令の世界は、	詞)と」。
11	国民之友 60M 国民 1887_09021	大臣が、宮内大臣を去りたるは、宮中府中を分任するの意味にや、若し然りとせば至極結構なり、土方氏の交代は可もなく不可もなし、且つ伊藤伯が外務大臣を兼ねたるはさることなれども、外務大臣の	・(形容動詞)述語文。「至極結構」という複合形式
12	国民之友 60M 国民 1887_10032	此れが爲めに慷慨激昂刑辟に觸るもの相ひ接せり、要するに英は結構なる國なれども、一の愛蘭病あるが爲めに其の全軀を惱亂せり、	・形容動詞連体修飾。この形式の場合「すぐれてよい」という意味になる。
13	国民之友 60M 国民 1887_11020	物の小傳を、集めたる者にして、東都花容月影譜と一對の書なり、叙事は餘り結構とも覺へざれども、繪圖の美麗なるには感心せり○交際の槩は、獨逸人の著述中より重に舞蹈の起原、舞蹈會の仕組	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」か。
14	国民之友 60M 国民 1887_13003	各地の有志者が謂ふ所のものを、政府が一々之を嘉納すれば、結構なることなれども、若し政府に於て冷々淡々更に何の頓着もなさざる時	・形容動詞連体修飾。
15	国民之友 60M 国民 1888_14005	の材料と爲さんと欲する佛國のジュールヴェルーヌ氏の筆に逼りて一編の結構を起さしむるに及びたり是れ本書の以て作らるる所なり	・名詞。「(小説の)構成」といった意味か。
16	国民之友 60M 国民 1888_14023	併しながら又甚だ不満足にも思はず、世或は斯の改正を以て、恰も此の上も無き結構なる者と爲す者有れども、是れは最初に彼の恐ろしき保安條例に接	・形容動詞連体修飾。
17	国民之友 60M 国民 1888_16004	て獨逸は尤も哲學發達したれば是れ空前絶後の時代と云て可なる乎然れども仔細に當時歴史を閲覽するに何分左様な結構の時代とは申し難し若し吾人を以て之を見れば凡そ學問の務は唯だ單的道理の推究とし	・おそらく形容動詞連体修飾。ただし、名詞とも考えられる。
18	国民之友 60M 国民 1888_16030	に散漫となり易し、二者各其長短あり、而して二者を合併するは、素より結構なる話しなれども、如何なる所に於て、之れを合併するか、雙方の長	・形容動詞連体修飾。
19	国民之友 60M 国民 1888_17007	事物を寫したる數十の字面にして新色を粉飾したるだけにて一篇の結構は到底馬琴春水の興墓たるを免れず惟ふに今代に在て小説を結構	・名詞。書物の「構成/組み立て」といった意味か。
20	国民之友 60M 国民 1888_17018	兎に角今日の日本人に取ては有益の書なれども惜む可し、その結構は拙劣にして裁制その宜しきを得ず、文句は複雑にして清透の	・名詞。書物の「構成/組み立て」といった意味か。
21	国民之友 60M 国民 1888_21001	の微より、上は政治、社會の事に至る迄、皆な包羅せざるはなし、即ち顯微鏡的の動物「プロトゾア」の如きに於ては、神経の結構もなく、胃腑もなく、肺臟もなく、心臓もなく、腸部もなく、又た	・名詞。文脈では「構造」といった意味か。
22	国民之友 60M 国民 1888_21006	ピールのゴエーテを得る迄には殆ど二百年を經過せざる可からず、夫れ文學及美術上の創作は主として結構的作用に屬し、理解的の慧眼を以て其結構の妙處を穿つは蓋し批評家の得意とする所なり、批評家と作家とは頗る其才能の趣を異にするを以て、	・前者は「結構的」という珍しい形式。後者は名詞か。
23	国民之友 60M 国民 1888_21028	る者を設け、頻りに干渉手段に據つて蠶糸業の進歩を計らんとせり其目的誠に結構なり、然らば蠶糸業家なる者は、喜んで之れを賛成す可きに、皆な之れに	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
24	国民之友 60M 国民 1888_22006	よりすれば不都合なりし事ありしとするも帝國維持の爲めには實に結構のものなりしと謂はざるを得ざるなり、只悲む可きは爲めに市町村の獨立を破毀したるが如き之れなり、	・形容動詞連体修飾。「結構の~」。
25	国民之友 60M 国民 1888_23001	民間の人々は、自から國會議員とならんとするに骨を折れり、然らば則ち善美なる憲法も出で來る可く、結構なる國會も出で來る可く、申し分無き議員も亦た出で來る	・形容動詞連体修飾。

第3章 結構

		可し、	
26	国民之友 60M 国民 1888_25045	對し、茲に輕忽の批評を爲すを好まず、何となれば、著書の結構、文章の巧拙、議論の疎密等、總て史軀に就ては一讀の下善惡	・名詞。書物の「構成/組み立て」といった意味か。
27	国民之友 60M 国民 1888_27007	うそとおもふなら往ツて見るがいゝ、お前たちが夢に見た事もない結構なものばかりだ。かう立派な建家、町、カイ社、文明開化——それや不思議なもの	・形容動詞連体修飾。
28	国民之友 60M 国民 1888_30003	二百万圓や、三百万圓の金にて逆も出来足る可き者に非ず、夫れども年々岩崎彌之助、原六郎等諸氏の如き献金者續出すれば結構の事なれども、是逆も覺束無き話しなりとすれば、到底是等の小刀	・形容動詞連体修飾。
29	国民之友 60M 国民 1888_31030	愈よ議長に提出したれば、不日議事に附せらる可しと云へり、誠に結構なる事なり、國會開設せらるゝ時に於ては、元老院は全く廢止せらるゝや、	・形容動詞連体修飾。
30	国民之友 60M 国民 1888_34012	ンカを眺むるの景は實に余が未だ曾て見ざりし處の絶景にてありき殊に此の岸上に傍ふたる結構華麗の家屋は、各家其彩色の工合建築の軀裁を異にし一幅の畫景始	・名詞。「建築物の組み立て/構成」といった意味。
31	国民之友 60M 国民 1888_36007	前にも言ひし如く、氏は極實派の詩人なるもファウストとは極美の結構なり、氏は客觀的の詩人なるもファウストは主觀的の構造なり、民は平生外物の刺劇を利用するも、獨りファウストには自家の心裡	・CHJ には「形状詞-一般」とあるが、「極美の結構」という形式から名詞的でもある。文脈からすると、「組み立て/構成」といった意味と、よい(いい)」といった意味と双方の解釈ができる。
32	国民之友 60M 国民 1888_36033	散布すべき水量を此の各水塔に集め夫より水管を以て各所に散布する結構なり又た其の收支豫算を聞くに同社の調査に據れば府下區部現在の人口は	・名詞。文脈からすると、上水の「構造」といった意味か。
33	女学雑誌 60M 女雑 1894_35005	なほその句の最も想高く思幽なるものを採つて、これを和歌に比すれば、其結構、着想一段の相違あるを見るなり、何が故に然るか、いはく俳諧の基礎に於て相違すればなり、	・名詞。俳諧の「組み立て/構成」といった意味か。
34	女学雑誌 60M 女雑 1894_41009	蓋し透谷戯曲の作に志を專にす、其筐底に藏して猶稿を脱せざるもの、其腹裡に結構して未だ筆にのぼせざるもの、はた其造詣によりて將來如何の大作を爲すや、	・CHJ には「名詞-普通名詞-一般」とあるが、サ変動詞であろう。「構成する/組み立てる」といった意味か。
35	女学雑誌 60M 女雑 1894_41009	はた其造詣によりて將來如何の大作を爲すや、此種のもの一旦世に出づるあらばいかに天才の發露して結構詞致の雄大雅健なる世人の嘆稱は果して如何ならむ、今や此志を抱て召されて白玉樓上に李賀が後を追ふ、	・「結構詞致の」という複合形式。
36	太陽 60M 太陽 1895_01018	宛然釜烹だ。奈何だい、涼しから。」「はい、はい。難有うございます。これは結構で。」學生は其側に寝轉びたる友に向ひて言へり。「おい、君、最少し其方へ寄ツた。	・(形容動詞)述語文。
37	太陽 60M 太陽 1895_01065	余は之に答へて、どうして澤山に戴きました、日本は誠に結構な邦です、英國なんサア穢い邦ですといひぬ、かゝる具合にものいふこと東洋流の禮儀と見ゆ、	・形容動詞連体修飾。

第3章 結構

38	太陽 60M 太陽 1895_02015	小室休席を箇々に設け就て一酌するに足れり山を降れば饒津神社あり結構宏麗殊に石階の如きは最も其壯なるを覺ゆ	・名詞。寺社全体の「つくり/かまえ/構成」といった意味。
39	太陽 60M 太陽 1895_02020	が友の韓飛卿を主人公として巧に卓犖不羈の才人を描出せるもの、結構布置共に妙にして作家が一番の狡猾手段、讀者を瞞過し去りて奇を	・名詞。文章の「組み立て/構成」といった意味か。
40	太陽 60M 太陽 1895_02026	物の肉は他が食べてまづく、之に反して菜食する動物の肉は食べて結構です」。博物學者先生眞面目になつて講釋すると、わるごすい子供が反問し	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
41	太陽 60M 太陽 1895_02048	克府の市街にて見當るといふ一種奇妙なる自轉車の事を語るべし、こは普通の安全自轉車と概ね同一の結構なれど車輪に接続したる部分高く出て乗者の位置は車輪を距るこ	・CHJ には「形状詞-一般」とあるが、「構造」といった意味であり名詞であろう。
42	太陽 60M 太陽 1895_03011	此間長堤を築きて砲臺と兵營との往來を護せり北砲臺も亦其結構南砲臺と相似たり唯四方形にして其大さ南砲臺に比すれば大約五分の二を減す	・名詞。「構造」といった意味か。
43	太陽 60M 太陽 1895_03022	其時小説家は如何にも怨めしげに自分の顔を昵と視て、なぜですか。なぜ結構ですか。餓鬼を羨む貴君こそ結構な御身分ぢやありませんか、と少しく激した調子であつた。何も裏を云つたでは無し、賛めて慍られやうとは、存じの外である	・形容動詞連体修飾。前者は(形容動詞)述語文。後者は形容動詞連体修飾。「結構な御身分」という慣用的表現。明治20年代後半にすでにみられる。
44	太陽 60M 太陽 1895_04003	近く徳川氏二百五十年の太平にて發達したるにやといへば、諺に日光を見ずに結構といふなといふ日光に往べし、莊嚴の宏麗精細は目を驚かすと雖も、一度が	・「日光を見ずに結構といふな」ということわざ。当時よく使われたようである。
45	太陽 60M 太陽 1895_06011	遠からざる一所の地を擇びて蠟梅を伐り之を用ひて一個の板屋を結構せり後に及びて渠は又た別に一個の小屋を造りて以て母屋に加へたり	CHJ には「形状詞-一般」とあるが、「結構す」でサ変動詞であろう。「組み立てる/建てる」といった意味か。
46	太陽 60M 太陽 1895_07009	われ此状を見聞し、筆を投じて歎じて曰く、あゝ大人も亦又如此き耳。成功す可らざるの基礎に事業を結構し、その半途に倒るゝことを知らざるもの比々として多きにあらず	・CHJ には「名詞-普通名詞-一般」とあるが、サ変動詞であろう。「企てる/起こす」といった意味か。
47	太陽 60M 太陽 1895_07027	客は日光下駄の土産を携へ來りて天工人爲の美觀を説き。主は汽車時間表を開きつゝ日光見ぬ内結構といふなの語を繰返す。此くの如きものは此夏の避暑旅行を何くに定めん	・「日光を見ずに結構といふな」ということわざ。当時よく使われたようである。
48	太陽	品川がお泊りでも宜しいでは無いか 珍「そんなら御出	・(形容動詞)述

第3章 結構

	60M 太陽 1895_12026	立を遅くして品川がお泊りになれば尚結構だと是から俄に出立の刻限が延て夕方となり何んにも知らぬ供の人々は間がぬけたれど主命なれば是非なく供の	語文。「よい(いい)」といった意味。
49	太陽 60M 太陽 1895_12026	當年普請を改めまして、風呂も檜で箱を造りかへましたゆゑ、至極結構に成て居ります 煮「イヤ夫はチト困つた譯だ、成丈ざつとした湯殿でそまつな桶の焚	・複合形式「至極結構に」で形容動詞連用(副詞的用法)となるか。
50	女学雑誌 60M 女雑 1895_07020	尾章『峯の月(誰か吊はん)』は其衝突の結果として、頗る讀者の同情を惹起して涙あらしむ。全篇の結構神髓は『櫻の御所』と同趣にして其三浦荒二郎は此島山重忠に似て	・名詞。文章の「組み立て/構成」といった意味。
51	女学雑誌 60M 女雑 1895_07020	麗水の文を行る巧婉又雄渾なりと雖も、小説としての『半月城』は結構拙劣にして興味索如たり。予は寧ろ其附録として載せたる『雪の西京』を以て本編に優れるの	・名詞。文章の「組み立て/構成」といった意味。
52	女学雑誌 60M 女雑 1895_08019	婉なるとは(其舉動のあまり淑女らしからず描かれあるにもせよ、但しかくせずば一篇の結構のまとまらぬ故か。)一篇の重役者なり。全躰よりいへば讀者をして、	・名詞。文章の「組み立て/構成」といった意味。
53	太陽 60M 太陽 1901_01056	ばかり話て見よふと思ふが、博文館の太陽出版の足にでもなつたら結構だが、若不用だつたら、黙て投書籠へ葬らずに住居姓名も明に言て	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
54	太陽 60M 太陽 1901_04021	ど今迄の柴の組橋に比べると、それでも大したもので、これならば結構 藝妓も渡れるし、酔客にも先づ/\危くない(欄干が無いからまご	・おそらく、(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。「これならば結構」で一度文が切れるようである。
55	太陽 60M 太陽 1901_04026	國分の町西には宮内八幡の社あり行て賽す。神々しき宮居のありさま、このあたり鄙には稀れに見るところ、結構頗る宏壯、境内には老樹載立し、枝に通ふ風の音は仙樂の如く聞こ	・名詞。寺院全体の「つくり/かまえ/構成」といった意味。
56	太陽 60M 太陽 1901_04029	すめ正月の小袖といふは仕立ず、花見小袖とて、成るほど手をこめ結構に伊達なる物ずきにしたるを着て出づなり。花より猶見事なり。	・形容動詞連用修飾。明治30年代半ばには「結構に」という形式があるということ。
57	太陽 60M 太陽 1901_05023	會社も利益が確實だから親族及び親友の信用機關にするといふのは結構だが、實は世間から募らうとしたつて伯父さんが黒幕だと聞いたら	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
58	太陽 60M 太陽 1901_07020	『仕事があるが。』有難うございます。『お前、澤山だがやれるか。』結構です。『ペーニツヒさん、お前は良い人だ、お前は決して泣言を言はない、	・(形容動詞)述語文。文脈からすると、肯定的返答の「結構です。」。
59	太陽 60M 太陽 1901_08028	都會なるに、其市中にて最も人目を引くものは天理教會堂なり、其位置と云ひ結構と云ひ、新宮全市を呑まんとする勢あり、他は之に準じて知るべし、	・名詞。寺院全体の「つくり/かまえ/構成」といった意味。
60	太陽 60M 太陽 1901_09002	に随分建議が出て來たことがありまするが是等の事は誠に結構なことであるどうかさう云ふことの續々起るやうにしたい即ち今日斯くの	・形容動詞連体修飾。

第3章 結構

61	太陽 60M 太陽 1901_09038	濕氣が少く、朝夕が涼し過ぎると云ふ様な事が無かつたならば實に結構です、予輩はまだ行つては見ないけれど、野州の黒田原邊は涼しくつて、	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
62	太陽 60M 太陽 1901_12036	測量工學、治水工學、結構工學、市街及衛生工學の數科にして、結構工學は重に鋼鐵造、石造及木造橋梁、建物及基礎の建築と考ふるを	・名詞。學術分野としての「結構工學」。現在言うところの建築工学的なものか。
63	太陽 60M 太陽 1901_13025	冑を帶して居るが、三山冠、掛鎧を着て居る態ですが、これが大に結構で、此の像と匹敵す可きものは、京都の東寺に今祀つてある羅城門	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」といった意味。
64	太陽 60M 太陽 1901_14019	婦人は之等の妄言に屈せずして遂にその事業を完成し玉へり、結構宏大莊麗にして殆んど六百人を容るるべし、讀書室及聽講室として何人にも無料にて貸渡さるゝなり	・名詞。ここでは宮殿全体の「つくり/かまえ/構成」といった意味。
65	太陽 60M 太陽 1909_04041	び戻り來つて、復此處に産卵すると云ふ譯であるから、誠に蕃殖上結構な保護法と云ふべきである、此の如き川を種川と云ふので、三面川は本邦唯一の種川である。	・形容動詞連体修飾。
66	太陽 60M 太陽 1909_08018	して法律の知識を與える工夫がなからうかとの相談を受けた、余も結構な事であるから賛成すると言つて、種々意見を述べたのが、抑も專攻科の設けらるゝに至つ	・形容動詞連体修飾。
67	太陽 60M 太陽 1909_12057	例を言へば、彼の有名なるサンパオロの寺院は、何人も知る如く、結構雄大、裝飾の美を盡して居るもので、臘石の圓柱八十何本の代價の	・名詞。寺院全体の「つくり/かまえ/構成」といった意味。

3.7.3 近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

「神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」は、主に、大正期（1910年代）から昭和前期（1940年代半ば）にかけての新聞記事について経済系記事を中心として収集・分類されたものである。「新聞記事文庫」の解説「新聞記事文庫とは？」によると、「新聞記事文庫」は、神戸大学経済経営研究所によって作成された明治末から昭和45年までの新聞切抜資料で、「新聞切抜文庫」とも呼ばれています。六十年以上にわたって営々と積み上げられた切抜帳は約3200冊、記事数にすれば約50万件という膨大な量になっています。」とある。特定の新聞でなく複数の新聞から幅広い分野の記事が収集されており、バランスが保たれていることが大きな特徴といえる。以下の表に、「結構」、および異表記「結構」の該当記事について時系列で示した。

3.7.3.1 検索語：「結構」（全 5025 件より抜粋）（2020/10/05 時点）

図表 3.31：「結構」の実例（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	租税(1-056) 読売新聞 1913.3.24 (大正 2) 所得税改正案 社説[所得税法改正案に対する世論(十)]	勤労所得は予算年額より十分の一を控除するの特典を与えたり之れも主義に於ては結構なり。但し此の種の所得者は其の金額によって負担能力に頗る重大なる差異あるを常とするものなれば矢張り金額によりて控除比例に差等を設け少額勤労所得者を今一層保護するの必要なきか。	・(形容動詞)述語文。
2	電気工業(04-112) 時事新報 1914.12.9 (大正 3) 電灯買取価格 算定の合理的標準 仲介者の方針是非 東京市に於ける電灯統一問題 其三十七 買取価格の標準	之には会社は喜んで承諾す可きも市会及市民は到底同意することは出来ない市会の決議を尊重すると云う精神は誠に結構であるが単に決議の形骸に囚われて其内容を考究せぬと不測の錯誤に陥らぬとも限らぬ切に仲介者の考量を希望する所である	・(形容動詞)述語文。
3	教育(11-036) 京都日出新聞 1915.7.6 -1915.7.8 (大正 4) 国字問題 (下) (社説)	仮名字論 漢字は借物である、漢字の為に我が国語が自然の発達を妨げられ、紛乱状態を導かれた、其の元は漢字であるにせよ、日本には日本で作られた結構な仮名と云うものがあるのではないか、国民性の安定と鞏固とを図るが為には、漢字と仮名とを併せ用うるよりも、漢字を止めて純粹の仮名字のみを国字とすべきである、之によりて国字問題を解決し、併せて国語の自然の発達の途を開くべしである。 仮名改正論 仮名字は結構であるが、平仮名でも又片仮名でも、一つ一つ独立した言葉を現わすもので綴り字にならない、又其の形状が余りに変化に乏しくて印象が強くない、夫故に今少しく点画の長短の差を多くして印象を敏にし、且綴り字たるに適するようにしなければならぬ、従来の仮名を其の儘用うると云う事は甚不便利である、	・前者は形容動詞連体修飾。後者は(形容動詞)述語文。
4	豆(1-034) 大阪朝日新聞 1915.12.28 (大正 4) 元山大豆情況 新大豆	品位を失墜するの虞あり、然かのみならず近来大玉と称し布哇等に送るべき輸出向きとして盛に篩い分けつつあるは結構なれども其の篩い分けの程度に依り自然内地向の大豆に品位の影響するは当然にして大阪に於ては元山大豆は漸次品位劣悪になりつつありとの批評を受けつつあり	・形容動詞「結構なれ(已然形)」+「ども」。古典文法的。
5	公債(5-088) 大阪朝日新聞 1916.12.12 -1916.12.16 (大正 5) 減債計画廃止論を評す(一~四) [減債基金制度存廃論 其六] 法学博士 小林丑三郎 (四の八)	是れ果して豊川氏の本懐に合する所なるべきか又一般及特別の両会計を通じて一切募債せずとすることは若し為し得べくんば結構のことなりと雖も事業の必要を否定せざる限り何れも増税を避くる能わざるべし	・形容動詞連体修飾。
6	船舶(2-112) 大阪朝日新聞 1917.10.19 (大正 6) 船腹提供問題	十三日発桑港電報は『米国は十二隻の日本船舶譲渡を要求し、日本は年額五十万噸の鋼鉄を要求せり』云々と報ぜるも、延着の上に算数の基本を全く取違えたるものと思わる。斯の如き好条件にて、米国が応諾するならば、	・副詞(的)。

第3章 結構

	鉄解禁の窮策 [第三次船舶提供問題(三)]	結構此上なしと雖も、今は直に信ずべからず。	
7	米(11-062) 大阪新報 1918.8.31(大正7) 米価問題 配給如何に帰す 貴族院議員江木翼談	而して米の廉売は応急策としては誠に已むを得ざるも一方よりは誠に結構に相違なし然れども果して之が正当なる階級に行き渡るべきやは頗る疑問なり	・「結構に」形容動詞連用修飾(副詞的)。
8	法制(1-072) 大阪毎日新聞 1919.7.18(大正8) 陪審制度の弊 横田大審院長談	臨時法制審議會の問題とならんとしつつある所謂陪審制度の趣旨は之を抽象的の主張として見れば至極結構なりと云うの外なきも之が実施に就ては種々困難なる諸問題の続出すべきを予期せざるべからず	・(形容動詞)述語文。
9	国際労働問題(5-108) 神戸新聞 1920.1.25(大正9) 批判は公衆に在り	組合の組織は有害無益であるかというに自分は必ずしも左様は思わぬ組合も其の組織及び指導者が宜ろしきを得たならば確に労働問題解決の一助たるを失わぬ然し彼の労資協調の如きは果して如何程の効果があるであろう出来るならば協調という事は甚だ結構に相違ない	・「結構に」形容動詞連用修飾(副詞的)。
10	日本の対外貿易(11-091) 東京日日新聞 1920.3.7(大正9) 入超を如何に観るか 経済界の前途楽観を許さず	而して本年は本邦輸出品の大宗たる生糸の価格昨年比し昂騰せるが故に、入超差桿憂うるに足らざるべしと。若し論者の云う如くれば誠に結構なりと雖も、悲觀の材料決して一二にして止まらざるを如何せん。	・(形容動詞)述語文。
11	外交(35-006) 大阪朝日新聞 1921.1.6-1921.1.9(大正10) 連盟総会を見る(上・中・下) ゼネヴァにて 町田梓楼(上)	第一、一般組織、第二、専門組織、第三、裁判所、第四、連盟の財政組織、第五、国家の新加入問題、第六、軍備及び委任と夫れ夫れ結構な名が付けられた。	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
12	海運(20-090) 大阪時事新報 1922.8.27(大正11) 勘察加から小型船の帰る秋には近海混乱か 大型船主早くも頭痛	こんなことで繋船同盟の問題が持上り繋船費の幾分を小型船主の方から負担せしめようというのである、然し小型船主も大型繋船費の幾分を負担する丈の運賃収入があれば結構だが、目先それ丈の余裕を期待することが一寸疑問であるというから繋船同盟問題も屢法の如く或は実現難に終るかも知れない、	・(形容動詞)述語文。「勘察加」は「カムチャツカ」のことか。
13	都市(9-005) 大阪時事新報 1923.1.8(大正12) 地域制と地区制 都市計画の中心問題 藤岡都市計画課長(談) 家屋の建築と各室の布置	地域地区に関する制度は、都市計画法の眼目であつて、又実に新都市計画の基調を形づくるものであります。家屋の建築に當つて、主人公なり設計者が最も頭を悩ます問題は各室の布置結構であつて、採光、通風、美觀、經濟、住居の便宜等を考え、衛生に適した系統的合理的な建築を得るために工風を凝らすのが常であります。而も之を決定するには敷地の位置、地勢を見、家族の数、自家の業務上の便等あらゆる方面に心を尽して簡易快適な構造に苦心しています。地域地区の制度は都市に於ける各室の布置結構に相当する計画でありますから、大都市に限らず、小市街でも町村部落でも苟くも集団生活のある所には、既成市街の改造計画として、又は新市街の建設計画として、必ず持つていなければならぬ筈の理想であります。	・名詞。「布置結構」で、現在いうところの「配置」「レイアウト」といった意味で使われているようである。
14	国際金融(6-110) 神戸又新日報 1924.10.19(大正13) 危険なる外資輸入	又政府当局に於ても未だ之に対する確乎たる方策の講究されないのは迂遠というも余りである節儉宣伝も可である緊縮政策又可である対米対支外交で騒ぐも結構である併し平静裏に國民の多数が気付かずして国家を破滅に導	・(形容動詞)述語文。

第3章 結構

	(下) 神戸商業会議所 福本椿水	く此の種の国難を忘却してはならない	
15	アメリカ(6-008) 大阪朝日新聞 1925.8.14-1925.8.15 (大正 14) ブラジルの暮し向き (下) サンパウロにて 三浦鏗	今年の相場がアロバ(十五キロ)二十ミルだから、いかにカマラーダ賃を払っても、土地代は一年で取返して土地は完全に自分のものになる。物価が高ければ、高い土地を買っても結構引合うのである。 それで昨今日本人の土地買い熱の盛んなこと、それも昔のように十アルケルス、二十アルケルスなどとケチな買方をするのでなく、大抵は五十、百、二百、甚だしいのになると一人で五六百アルケルスを買込むものさえもある。	・副詞的用法。
16	火災保険(7-068) 国民新聞 1925.8.18 (大正 14) 簡易火災保険通信案 全国一律同率方針 可なり有力なる反対 あるも結局通信省案 に落付か	全国を大ざっぱに区分し北海道九州本土等の如くして区別するのも亦種々不都合を生じ且つは無意義であるとするのがその理由であって反対論者は右の如くする時は危険率の多き地方は結構なるも然らざる所は両者の危口料をも負担せらるる訳で不自然であり	・(形容動詞)述語文。
17	製鉄業(09-010) 大阪毎日新聞 1926.9.22 (大正 15) 製鉄業に一大革命 モリブデン原鉱の低 温度熔解に成功 アルミニウムとの 合金を作る モリブデン原鉱の埋 蔵は我国が世界一 八幡製鉄所でも熔解 法発見	野戦砲の楯、タンクの胴体、潜水艦装甲列車等に使用し敵弾をうけても穴があかぬというすばらしい鋼を八幡製鉄所で製作に成功したので近日防楯をつくって小銃で三百メートルの距離から試験射撃をやることになった 現在では防楯鋼板としてはニッケル・クロム鋼をつかっていたがすこし近よれば小銃弾で結構穴があくので英国が使用しているパイブラック鋼を分析するやら陸軍側と協力して調査研究の結果、一定の数量のモリブデンをある方法で普通鋼にとかしへロモリブデンにすれば粘り気のあるへこむだけで大抵の敵弾をうけても穴があかぬだけの性能をもっていることがわかったがその方法が困難で製鉄所で苦心の結果今回成功するにいたったのである	・副詞的用法。 「穴があく」にかかる。この時期にしてはまれな用法。
18	都市(10-096) 東京朝日新聞 1927.3.17 (昭和 2) 都市生活の改善 中条精一郎	大震災以後我国においても著るしく都市生活改善の進運を促し、そら都市計画そら不良住宅の改良と、先進国にては百年程前から始められた事を急に一から二、二から三と矢継早に着手せらるるは至極結構な事で世界的風潮に順応せる賢明の処置ではあるが、我国の如く人情風俗の異なるはもちろん常に経済上の問題に左右せらるる重大なる事業を前後の分別なしにばく進すると、取り返しのつかぬ迷路に踏込まぬとも限らぬ。	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
19	化学工業(04-113) 中外商業新報 1928.4.23 (昭和 3) 需要激増を来した石 灰窒素の本質 認められた其真価	本邦農業の進歩せる一事象として窒素肥料も大豆粕、魚肥等より割安の化学肥料に転換しつつあるは結構なる傾向であるが今猶窒素金肥消費額の三分の二が高価なる大豆粕、魚肥等に依りて占められていることは農業経済を凶るに急なる折柄当を得たるものでない	・形容動詞連体修飾。「結構なる~」。上との比較でも当時、連体修飾の形式にゆれがみられる。
20	鉄道(23-008) 大阪時事新報 1929.2.5 (昭和 4) 鉄道貨物引渡機関 法律案を議院に提出 小運送機関も法定	鉄道省では鉄道貨物の遅著を防止し荷主の便宜を図るべく引渡機関(輸送機関)を決定せんとする法律案を今議院に提出せんとすることは既報の如くであるが鉄道貨物の運著は遅著は鉄道輸送中に起因することは勿論なるも配達つきの貨物の遅著は寧ろ運送中に起因する事が多い例えば特別小口扱の如きは制度其ものとしては結構なものに相違ないが一駅一店制の結果運送店の態度が俄に不親切となり小運送が遅れる為折角の特別小口扱の如きも其効果の半ばは失って居るとの風評が多い	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
21	醗酵工業(04-006) 都新聞	昔は酒と云えば灘でなければお話にならなかったものが広島でもって科学的な研究が始められ、更に奥羽六県、	・形容動詞連体修飾。「結構な

第3章 結構

	1930.3.5-1930.3.7 (昭和 5) お酒の話 近頃のお酒はどれも 美味 中所が一番売れる 田中藤兵衛談	殊に秋田県でも盛んに酒の醸造に苦心を払うようになって最近では灘以外に斯うした地方から良酒がどしどし東京に入って来るようになりました、そこで今迄太平楽に収まっていた灘の醸造家も昨今では盛んに如何にして良い酒を作ろうかと云う研究に腐心しているような訳で、誠に結構なことでありますが昨今漸く一般の需要が上等な酒よりも中所の安い酒に傾いて来た為に、生産費の削減に心を向けている醸造家が見え初めて来たことはどうも隠せぬ事実で、甚だ残念に思います、	~」。
22	港湾(9-105) 神戸又新日報 1931.1.1-1931.1.8 (昭和 6) 近き将来を約して大 飾磨港の実現 素晴らしいその大プ ラン 工費の予算	慶長年間池田三左衛門輝政は白鷺城の拡張に市街の大改修を決定した、さらに勇敢にも城下と飾万津をつなぐ水路の開鑿をやったが惜くも完成をみずして工事は中止された、今にこの三左衛門濠である、しかし三百年前の名君池田輝政公は運河の必要をみとめたのであった、運河の開鑿、至極結構といわねばならぬが、まづまづ港湾の改修が当面の大事業である、百七十五万円を要する大飾磨港の出現？	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。「至極結構」という複合形式。
23	都市(12-024) 時事新報 1932.5.4 (昭和 7) 実現せんとする大東京市 三 過大の期待をかく可からず	併し東京市域拡張の促進論に列挙せらるるが如き結構なくめの期待のみを信ずるのも早計なる可く、寧ろ反対論又は尚早論中の悲観論を吟味して予め備える所がなければならない。五百万の新東京市を、権限小なる現制の市長市会を以て経営し得るやの制度論は、特別制度促進の今後に期待する外ないのであるが、東京市政従来の歴史を知る者は、市域数倍して、市政腐敗も数倍せんかの懸念を禁ずることが出来ないと共に、市行政平生の能率に徴して大東京市の経営を心許なく思わざるを得ない所である。	・「結構なくめ」(いいことばかりであるさま。『広辞苑 第七版』(2018)より)という慣用的表現。
24	日本の 対 外 貿 易 (28-101) 大阪朝日新聞 1933.7.21 (昭和 8) 定石で行けぬ貿易 財界六感	輸出品の数量や価格の統制も結構ではあるが、肝腎の為替に全く見透しのつかぬ今日の場合に、斯ような計画的な干渉一天張りの行き方で貿易を縛ってしまつては、やがて取りつく島もなくなってしまいはせぬかと案ぜられる。	・「結構で(は)ある」とみれば、(形容動詞)述語文か。
25	政治(612-047) 満州日報 1934.12.15 -1934.12.19 (昭和 9) 新機構の職能検討 (1)対満事務局の権限 貴院(* 貴族院)にお ける大蔵公望男(* 男爵)の質問	然るに満洲全般の政治財政経済産業に関するような重大なる事柄を閣東局長、寧ろ私は事務総長の方が結構と思うのでありますが事務総長という名前を与えましてそれに本当の専門的知識を持った経験を持った者に任せると云うことにならなければ、今日三位一体を二位一体となさつた、それが再び崩れはしないかと云うことが心配されるのであります	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
26	朝鮮・台湾・満州 (14-036) 台湾日報(新聞) 1934.11.14 (昭和 9) 水田の中耕除草に馬 力応用の新考案 能率は人手でやる四十 倍 生産費軽減と馬産奨 励の両得	此の整条植をするのにも亦馬でやれば結構で、従前は人間が一々綱を引張りその線に沿うて稲を植付けていたものを今度は大型の定規を馬に引張らせて水田の底に線を引く、此の線は濁った田の水のために直ぐには見えないが一日置けば綺麗に水が澄んで底の線の跡がハッキリ見分けられる、	・形容動詞連用形。
27	建築業(02-107) 大阪朝日新聞 1934.10.4 (昭和 9) 颱風にビクともせぬ 日本家屋の構造は？ 瓦と梁の構造改良が	また日本の家がなぜ弱いかというに二階梁の結構に無理があつて、ひどく材積が口損されているからで、そのため二階は安全でありながら階下が潰れるということになるのだ、で従来の切組を避けて、材積を損傷しないために結構部へ鑄鉄製の金具を併用するのも一方法であるが、	・名詞「構造」といった意味。

第3章 結構

	必要 小住宅と鉄筋 コンクリート		
28	金・銀(13-169) 大阪時事新報 1935.11.12 -1935.11.17 (昭和 10) “銀貨”は品物 世紀のヨタ者銀問答 お金と思っただのが誤り 出演者: 金の家 日の 丸/銀の家 からこ “一歩四十の物語り” 都々逸金銀パリエー	か「よかろう、さや一つ君の国も好きで殊に当今米国で流行の“金銀のパリエー”という都々逸を唄ってみよう」日「結構でゲすねー、ヤーテトントンシャンホイット」か「金寸十両無心を云えば一歩四十の物語り」日「何んとうまいもんだね、金一対銀四十、一歩仔什とは洒落れたねー」	・(形容動詞)述語文。
29	繊維工業(06-117) 報知新聞 1936.8.11 (昭和 11) ステーブル・ファイバーの将来と原料対策の必要 有元憲 東洋紡績販売課長	ただ、この技術的向上と生産増加の速度とが並行するものかどうか、来年度辺りに増産禍を予言する悲観論はこの辺から生ずるのであるが、このファイバー人気の無理を悲観論で冷却させる必要もないではないが、ファイバーによって何か新しい分野が開拓されるなら原料国策上からも結構なことだと自分は信じている、	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
30	日本(28-024) 大阪毎日新聞 1937.9.29-1937.10.14 (昭和 12) 銃後産業動員の方向 産業指揮統制の中枢 機関を要望 大乗的 立場から総合政策を 大阪商船社長(村田氏)	例をあげると為替管理を大蔵省が行って、そのやった目的はあくまで大蔵省所管事務であり、大蔵省的の為替管理であったがために、これを貿易方面から見ると失敗に終わったというが如きである 今後かかる状態が起らなければ結構であるが金融、産業、海運を大乗的立場から総合的に考える機関も人もない現状のまま進めば事態がますます進展して民間の自治的統制を主とするにはあまりに事態が突き進んだあかつきに重大な支障を来すと思われる	・(形容動詞)述語文。
31	豆(3-050) 大阪朝日新聞 1938.5.7 (昭和 13) 豆粕は金属にもなる ベークライト、エボナイト顔負け 京大の近藤博士に凱歌 近藤博士談	二十年前札幌にいた時代から大豆粕よりセルロイドを作ろうと考えていたが教室員諸君の協力を得てやっと可塑物を作るのに成功しましたアメリカで牛乳の蛋白カゼインからベークライト様のものを作ったことはあるが、豆粕からは全くはじめてです、金属の代用品として国策的にも役立てば結構だと思っています	・(形容動詞)述語文。
32	護謨工業(05-034) 中外商業新報 1939.3.15-1939.3.19 (昭和 14) 時局産業再生工場を概観す (7~11) (7)木綿ボロが大切な原料 何から何まで廃品づくめの再生工業 セルロイド屑は貫当 一円五十銭	「生じつか仕事をするよりゴミ箱の蓋を明けて歩いた方が余っ程楽で収入が良い」と言う者があるそうだがそれはこのセルロイド屑の拾集を専門にやって居るのだそうだ、一日探して多い時には二、三円から五円にも達するし悪い時にも七、八十銭にはなるというから結構な仕事である、	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
33	日本(29-033) 東京日日新聞 1939.10.24 -1939.10.27 (昭和 14) 欧米を見て日本経済を思う(上)	もしこの生糸が欧洲各国へも多量に輸出されるようになれば、将来米国へ売れなくなったところで少しも脅威は減じないことになり、また米国へは今日通りに売れて、その上欧洲へも盛んに売れるならば、なおさら結構至極であるから、いずれにしても日本は国策として、欧洲に生糸を輸出することに大いに努力する必要があると思	・「結構至極」という複合形式。

第3章 結構

	藤原銀次郎手記 第一信	う。	
34	中国(18-106) 東京朝日新聞 1940.2.7-1940.2.8 (昭和 15) 北支の経済輸送路開 発(上・下) 天津特派員 野村宣 (下)黄河の治水に重 点 差し当り排水路 築造	すなわち済南黄河の乾上りによって、沿岸一帯の地下水が減りはしまいか、水禍を免れるのは結構だが、今後は早魃に悩まされるのではなからうか現在のところ調査が不可能であるため、はっきりしたことはわからないにしても、黄河の水を今すこし北支へ分流させなければなるまいとは、専門家の間にも定説となっており黄河の治水は北支の水路開設計画から全く見離されてしまったわけではない。	・(形容動詞)述語文。
35	東南アジア諸国 (15-050) 大阪毎日新聞 1941.11.9(昭和 16) 仏印諸民族の表情を 覗く ハノイにて本社支局 長 横田 白タイ族	人口希薄で衣食住のための苦勞が少ないからで明けて暮れても唄って踊って恋をしてをられる結構な身分である	・形容動詞連体修飾。「結構な身分」という慣用的表現。
36	労働問題(27-220) 日本工業新聞 1942.7.26-1942.10.8 (昭和 17) 労務新体制論(三) 翼賛会厚生部長 文 博 桐原葆見 (三)労務者住宅と施 設 工場分散に先立 つもの	然し現在の状態では決してそんな安易にふけているわけにはゆかない、幸いにしてこの工場の配置の上にも、前述の如く今回制限が設けられ-主として防空関係の下からの制限が設けられ-六大都市にはこれ以上建てさせないということになったのは甚だ結構なことである	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。1930年代以降は連体修飾の形式がほとんど「結構な~」となる。
37	農業(7-172) 東京朝日新聞 1943.1.11(昭和 18) 長期総力戦の遂行に 農村の役割頗る大 谷萩大佐 内原訓練 所で力説 陰徳 陽報を求めず	村の行事として盆踊りとか村芝居とかも大いにやるべきだ、鎮守の森に新聞、雑誌閲覧所を作るとか、村長の宅で俳句の会をやるとか、これも結構だと思う、諸君は農村の新文化運動のため新しき工夫を積まるべきである	・(形容動詞)述語文。
38	東南アジア諸国 (16-084) 大阪朝日新聞 1943.5.16(昭和 18) ビルマは空襲に斯く 戦う 小掩壕うんと作れ 分散して地面に穴を 掘る 飯田中将体験 談	爆弾の破片に対しては僅かな掩壕で結構十分な防護が出来るが直撃弾をなるべく受けないように小さなものにしておきさえすれば結構である、さようにして総ての防護をしたが、これらは全部露天の壕である、	・前者は副詞。後者は(形容動詞)述語文。
39	農業(2期第 10-115) 大阪朝日新聞 1944.7.17(昭和 19) 田に甘薯を間作せよ 加藤完治氏の植付対 策 今月中なら大丈夫	稲作一本槍を押し通すという方針も主旨は甚だ結構であるが代作また考慮しなければならぬ、甘藷は七月一ぱいなら大丈夫との確信をもっている、	・(形容動詞)述語文。

3.7.3.2 検索語：「結構」（手偏の「構」）（全24件より抜粋）（2021/01/19時点）

まず、「新聞記事文庫」、「結構」（手偏の「構」）の実例を概観した上での傾向と特徴を以下にまとめた。

- ・得られた例（全24例）のうち、ほとんどが大正期のものであった（一例のみ明治）。ただし、これについては、「新聞記事文庫」の資料が主に大正期以降のものとなるため、必ずしも明治期の例がみられないというわけではない。
- ・前述「3.7.3.1 検索語：「結構」」の検索結果数が全5025件であったのに対し、「結構」のそれは全24件であった（同条件で検索）。このことから、当時（大正期から昭和前期）においても「結構」の実例はきわめて少ないということが示唆される。
- ・使用の形式・意味をみると、上述、「3.7.3.1 検索語：「結構」」の例に準じるようである。例えば、前述「3.7.3.1 「結構」」、「5」「大阪朝日新聞 1915.12.28（大正4）」の例には、「輸出向きとして盛に篩い分けつつあるは結構なれども」（下線は筆者）とある。一方、同時期の下述、「結構」、「2」「大阪朝日新聞 1912.12.14-1912.12.16（大正1）」の例には、「実に結構な事である。」（下線は筆者）とある。このことから、明治から大正期にかけては、「結構」あるいは「結構」、二通りの表記が並立して使用されていたことが示唆される。
- ・「神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」上の資料においては、1921（大正10）年以後の「結構」についての例がみられない。おそらくは、大正後期以降、淘汰を経て、もともと優勢であった「結構」に表記が固定化され、「結構」の表記が消滅したということが推測できる。

以下、「結構」の実例を表にして示した。

図表 3.32：「結構」（手偏の「構」）の実例（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	市場(1-008) 中外商業新報 1912.6.18(明治45) 市営乎民営乎 東京魚市場問題 社論	日本橋魚市場の移転は市区改正に伴う必主の口着にして既定の問題なれども、所謂日本橋魚市場組合員中に非移転論を唱うる者を生じ、延期又延期の当例により移転は荏苒となり、日本橋の大路は既に市区改正を竣りて、道路は砥の如く平坦となり、橋梁は壯麗にして虹の如く、沿道の家屋は何れも改策せられて <u>結構</u> の大と輸奥の美を誇りつつあるに拘わらず、日本橋の橋畔依然として江戸時代の魚河岸其儘の非文明的なる魚肉市場を存する次第なるが、	・名詞としての「結構」。ここでは、「沿道の家屋」についての「つくり/かまえ/構造」といった意味とみられる。

第3章 結構

2	<p>教育(1-128) 大阪朝日新聞 1912.12.14 -1912.12.16 (大正 1) 盲啞学校の今昔 (上・中・下) 有難き聖代の恵みに 浴す五十名の盲啞生 未来の夢</p>	<p>聞く、東京盲啞学校出身現に豊橋にある古川氏は同じく啞の夫人を迎え、琴瑟相和して玉の様な嬰兒を設けられたとか言う事で、医学上に於ても人道問題に於ても実に結構な事である。私は近き未来に縁濃き公園の小道を啞夫婦盲目夫婦が楽しそうに相携えて逍遥するのを楽しみ待たんかな。</p>	<p>・形容動詞連体修飾。「結構な~」。</p>
3	<p>租税(1-050) 中外商業新報 1913.3.17 (大正 2) 所得税改正批評 法人所得税改悪 [所得税法改正案に 対する世論 (四)] 法学博士 小林談 個人所得税進歩</p>	<p>先ず個人所得税の改正より批評を試みんに(第一)個人所得の千円以下に割引算定法を採用したるは英国式に則りたる者にして現行法よりは進歩したる者なり(第二)個人所得の免税点の三百円を三百五十円に上げたること亦一進歩と謂うべし是れ国民一般の要求を容れたる者なれば改善と謂うを妨げず都市の住民に取りては不充分ならんも十分の一の割引あり又英国流の割引算定もあることなれば先ず結構の方なるべし、地方村落の住民に取りては充分に過ぐるの傾きあり(第三)財産所得と勤労所得の種類別を採り勤労所得に対し十分の一割引を為すこととしたるは亦是れ改善の一と称するを得べし、</p>	<p>・文脈から判定すると、形容動詞連体修飾。「結構の~」。</p>
4	<p>軍事(国防)(1-114) 万朝報 1913.4.11 (大正 2) 独逸首相の演説 社説</p>	<p>英国は大陸の軍備渦中に陥らず、悠然以って得たりと為す、故に黒山国に対する示威運動に於ても亦悠然、英の列強と対黒示威運動を共にするは、三国同盟対二国同盟の間に其悠然たるに寧ろ都合好きためでないか、英にして示威運動に参加せざるか、二国同盟方に加担するの嫌いあらん、英にして示威運動に加わるも、名は列強の決議に基く、二国同盟に背くものと云うべからず、英は其悠然たるに少しにても都合好き方面を為す、外相グレイ氏が語気強く対黒示威運動の国際的性質を有するを言明せるが如き、英の位地としては誠に結構なりと為す</p>	<p>・(形容動詞)述語文。「結構なり」。</p>
5	<p>人口(1-020) 万朝報 1913.4.12 (大正 2) 死産と乳児死亡 (社説)</p>	<p>坂谷市長は欧米都市に準って、本所深川の労働に出る婦女の為めに、托児所を設けようと先日来協議会を催して居る、制度としては至極結構である、然し預かった乳児を薄級な市吏員の手で、牛乳を以て養わんとする案は愚劣である、独逸で流行した人口營養法が大失敗に了った事や、仏蘭西の乳牛多き地方に夭折者の多い例を調べても分る、</p>	<p>・「至極結構」という複合形式。</p>
6	<p>労働(1-063) 万朝報 1913.6.19-1913.7.7 (大正 2) 砲兵工廠の乱脈 (一~十三) (三)</p>	<p>本来砲兵工廠の職員は、提理以下四百二十四名、凡て少将大佐以下の軍人連であるから、万事陸軍式で行くのも結構であるが、職工と服務中の輜重輪卒とを混同し、新兵とを混同し、軍馬とを混同し職工の権利と人格とを無視して、打擲、足蹴をさえ敢てする者あるに至っては、実に咄々怪事である、</p>	<p>・(形容動詞)述語文。</p>
7	<p>日本(2-006) 中外商業新報 1913.6.27-1913.7.6 (大正 2) 夏の都大路(一~九) (一)夏を喜ぶ労働者 到る処に野宿者</p>	<p>「そうか悪かった、そうさなア矢張り夏の方が宜かろうぜ第一着物が入らねえや三貫も出せば中古の浴衣が一枚買えて一夏通うせる夫れに嘸や小児の食欲が大分減って米一升のものは九合で済むわ待って呉れ東京中で日々二万俵を食うとすると此割合で行けば日に米二千俵が経済になると云うものだ其上照りさえすれば仕事があつて金儲けがあつて布団はなくても家がなくても暮しが立つて行くから此の位結構なことはない」と熊公八公が頻りと夏と冬を論じて夏を有難がつて居たのを電車で聞いたは近頃の事であつた</p>	<p>・形容動詞連体修飾。「結構な~」。</p>
8	<p>電気工業(03-119) 中外商業新報 1913.7.6-1913.7.8 (大正 2) 電灯問題 迹始末</p>	<p>蓋し算盤外れの極端なる安価は、結局事業の破壊に外ならざればなり。市電灯が若しも前記の十燭五十銭を実行するものとせば、三電灯中の最低廉なる料率となりて、市民に取りては此上も無き結構至極の事なるが、斯く迄に極端なる廉価を以てして、事実果して引合うや否やに</p>	<p>・「結構至極」という複合形式。</p>

第3章 結構

	(上・中・下)[社説] (上)最も憂う可き傾向	就ては、余輩に多大の疑問なきを得ず。	
9	政治(8-022) 大阪毎日新聞 1913.10.13 -1913.10.15 (大正 2) 北京政界近情 (上・中・下) 十月四日 北京 桂園生 (中) 瀕亡の国民党	試みに其本部を訪わんか、西城石鮒馬大術の西方に黄梵赤壁巍峨たる一大宮閣あり是ぞ前清光緒皇帝が生誕せられし古跡にして旧醇賢親王府なり、清朝の典例皇帝の生誕せし地を潜竜藩邸と号し聖跡保存のため封禁するを以て此結構壮大にして裝飾善美を極めたる府第も光緒皇帝入内継統以後空しく無住の儘なりしが此頃突として進歩党本部の大看板は此府第の門前に掲げられたり、光緒皇帝の生誕地-潜竜藩邸-進歩党本部悉く連想し来れば今昔滄桑の感に堪えざるが門を入りて内に進めば金碧燦爛たる宮殿に政党本部らしく会議室、政務調査科、党務部室等の設けあり、更に後庭の諸建物を議員の宿舎に充て別に旧観劇場を倶楽部に改造しポケット玉突台を備うるなど其贅沢の状況は程度低き民国政党として出色のものたるを失わず、	・名詞としての「結構」。ここでは、「黄梵赤壁巍峨たる一大宮閣」についての「つくり/かまえ/構造」といった意味とみられる。
10	製銅業(01-038) 中外商業新報 1914.5.13-1914.5.18 (大正 3) 日光精銅所 (一~六) 本邦模範工場 模範工場を視る (一)ボンビルと清滝	ボンビールに於ける現在総戸数は其倍戸数たる六十戸を容れて九百六戸人口四千三百人とす、而してボンビールの今日ある迄には其間二十年を経たるに比すれば清滝村の発展は僅々八年以来の極めて近き口実に属せり、素より其規模と設備と結構組織は清滝村はボンビールに及ばざる事尚お遠きものありとすれど現所長鈴木恒三郎氏はキャッドベリーの経営に成れるボンビールを模して万事経営の端を進めたる点に於て之を日本のボンビールと見るを得べし、	・名詞。「結構組織」という複合形式。
11	日本(2-008) 万朝報 1914.7.20-1914.8.2 (大正 3) 東京市の解剖 (一~十一) (八)喜ぶべき現象	本籍人の夫婦者の組数は大正二年に於て十九万四千四十四組、前年度よりは千九百三十八組増加し、従って婚姻数も前年よりも五百三十三件殖えて一万二千五百八十五件となった、生活難の為に婚姻数が減少すると云う欧米諸市と比較して、東京が益す之を増加して行くのは喜ぶべき現象だ、之に反して離婚数は前年度よりも百八件の減少をして、千八百九件となった、之は減少した方が結構な事である	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
12	軍事(国防)(3-053) 中外商業新報 1915.1.5 (大正 4) 戦死者遺族表彰 遺族記章の新設 社説 [軍人遺族及廃兵救護問題 其十]	武藤山治氏の戦死者遺族表彰は「戦死者遺族記章条例」に拠る一定の記章を設け、明治二十七八年戦役以後の戦死陸海軍軍人、軍属、文官又は之に准すべき者の父母、寡婦、孤児に各一個を授与し、戦死者の遺族としての光栄を表彰せんとするに在り。一定の記章を新設し之れを戦死者の遺族に附与して、其の身分を表彰するは即ち戦死者をして死後に余榮あらしむる所以にして洵に結構の事と謂わざるべからず。	・形容動詞連体修飾。「結構の~」。
13	倫理および宗教 (1-023) 大阪毎日新聞 1915.2.7 (大正 4) 戦争と宗教の関係 宗教革新運動の必要 文学博士 谷本富 宗教家の活動振	我が軍隊の青島出征に際して、神社仏閣で皇軍必勝、敵国降服の御祈禱をしたり、停車場や波止場に見送って護身のお守札を授けたり、乃至戦捷めでたく凱旋した後、戦死者追弔の法会を営んだり、其の法会には敵味方を分たず、彼我一味の法施を授けて永く修羅確執の妄念を除かそうとしたりした事は、孰れも結構な事ではあるが、多く言うに足らぬ。	・形容動詞連体修飾。「結構な~」。
14	日本(4-018) 大阪毎日新聞 1915.5.7-1915.8.14 (大正 4) [兵庫]県下の四十五都邑 (1~81) 各都邑の發達史と現在及将来の盛衰 (48)=加古川流域の	町設の実費診療所を開設するという町会の決議は目下明石刀圭界の大問題となって居るが町設の主趣が貧民に対する慈善的設備なりとすれば結構だが実費診療所の目的は明石町民の医師に対する一種の購買組合であって富者も亦実費にて診療を受けようというのだ若し全国に恣意制度が普及すれば多数の医師は忽ち大恐慌を来すわけで医師の側から観れば溜ったものではない (TK 生)	・(形容動詞)述語文。

第3章 結構

	都邑＝明石町の諸問題		
15	教育(4-064) 大阪毎日新聞 1915.6.20(大正4) 日本教育改良意見 文学博士 谷本富 欧米人と日本	即ち英国の教育は一に各人の自治を奨励するを主とし、仏国は又善良にして行儀正しき訓練ある者を養成せん事を期し、独逸は勤勉を眼目とし、米国は実行に由りて学習する事を標榜して居る、又露西亜は著しく宗教的で感情の培養を旨として居るらしい、知らず我が日本の教育方針は果してどうであるか、忠孝は至極結構であると思うけれども、然も其の所謂忠孝の教育で以て果して前掲の国民性の短所が救われるであろうか、自分は是れ又一個の疑問であると思う。	・(形容動詞)述語文。「結構である」。
16	製鉄業(01-032) 中外商業新報 1915.7.26-1915.8.4 (大正4) [枝光]製鉄所視察 (一~十) 新聞 (一) 宏大なる其規模	附近の構外に亦二十四万四千八百五十坪余の所有地ありて貯水池、附属病院、職工養成所、職員職工官舎等の敷地を為せるが更に筑前嘉穂郡二瀬村に所謂二瀬炭坑を有して骸炭原料の供給を図り又越後蒲原郡赤谷、加茂の両地並に朝鮮黄海道載寧殷栗の両地と通計四ヶ所に鉄鉱区を有するありて明治三十年以来資を投ずる五千二十余万円と註せらる、所以ある哉結構の偉、規模の大洵に東洋に其比を見ずと謂うや	・名詞としての「結構」。「結構の偉、規模の大洵に東洋に其比を見ず」とあるため、施設全体の「つくり/かまえ/構造」といった意味とみられる。
17	港湾(3-017) 大阪毎日新聞 1915.10.1-1915.10.15 (大正4) 築港に関する誤解 (一~八) (五) 大阪港の地位(続き)	大阪港の設備完からず船舶貨物を手元に誘致するの途なきが為にあらずして何ぞ然らずして我地元の港を棄てて臨港に於て商売をなす愚物何処にかあるべき此事たる深く考うる迄もなく分り切ったる道理なり然るに自ら其方面の専門家を以て任ずる人々にして大阪港は終着港なり終着港にて結構なりなど公言して恬然たるものあるに至りては我輩実に其真意の那邊に存するかを解するに苦まざるを得ず(凶南生)	・(形容動詞)述語文。
18	物価(1-069) 河北新報 1916.5.26-1916.5.28 (大正5) 変調なる物価騰貴 (上・中・下) 寿堂 (下) 最も騰貴せる主要物品	以上変調なる諸物価の騰貴は需要者、商業者並に生産者をして自然苦境に陥らしむる傾向ありて輸出貿易に関連せる事業や乃至軍需用品製造業の頗る活気を呈せるに關らず、又正貨受入高の異常なる増加にかかわらず一般財界の内容は沈滞の気味を帯びて居る。戦争が継続すればするほど我国は輸出貿易が繁昌して正貨も流入するから至極結構であるなどというものもあるがこれは好し悪しで必ずしも歓迎すべきものでない。吾人は我財界の為めにも成るべく早く平和の回復を希望するものである	・「至極結構」という複合形式。
19	教育(7-037) 京都日出新聞 1916.9.23-1916.10.3 (大正5) 青年団と当局 (一~六) (二)渡辺地方局長講演(続) 訓令の解剖	青年団体は修養の機関なり然れども目的と手段とを混同すべからず修養をなすの方便として事業を企だつる事は固より差支えなけれ共例えば農園の施策道普請を行う事によりて精神上勤労協同実務上の精神修養をなすを得ば結構なり指導者は原則として青年団を特別の利害関係に利用せざる人ならざるべからず此見地より論ずれば小学校長を最も適当なりと信ず	・(形容動詞)述語文。「結構なり」。
20	銀行(2-062) 中外商業新報 1917.11.17(大正6) 見返品制度改定 品目拡張列举主義廃止 [日本銀行の見返担保拡張 其十二] 拡張は当然也 小池国三氏談	日銀が見返品制度を創始せし以来我經濟界は大変革を來せるを以て之に伴うて見返品の制度改正を要するは当然なりと云うべく今回の見返品拡張は此財界の須要に應ぜるものなれば先ず以て結構なりと云わざるべからず特に今回の改正に於て見返品たるべき証券は六十種に上る公債及債券類は勿論各種一般事業会社の有力なる株式も大部加えらるるなるべく従つて其証券類の融通力を増加する効力は甚大ならん	・(形容動詞)述語文。
21	日本(14-015)	想うに世界の資本と労力とは今や専ら破壊の方面にのみ	・形容動詞連体

第3章 結構

	<p>中外商業新報 1918.5.28-1918.6.26 (大正 7) 下半期財界観測 (一~二十九・完) 好況継続乎形勢一変乎 (十五) 此儘推移せん 田尻稻次郎子談</p>	<p>振向けられつつありて独逸の如きは一日一二万人の人命を喪失し居れり、止むを得ぬ事柄とは云い乍らツマラヌ争いと云う可く是れ畢竟戦禍也斯く戦いの禍に全く呪われつつある諸国に比して日本の立場は比較的結構の状態に置かれたりとすべし</p>	<p>修飾。「結構の~」。</p>
22	<p>養蚕業(1-135) 中外商業新報 1918.6.16-1918.6.23 (大正 7) 上武の新繭 (一~七・完) 各市場視察記 一記者 (完) 十七日富岡にて 仕入平均幾許 黄繭飼育前途</p>	<p>上述の如く本年の春繭仕入れ経過は一般繭価高なりしを以て製糸家に執り甚だ苦痛の年柄なりしや勿論是が果して高値仕入れなるや否や一に今後の糸況如何に依り決せらるる訳なるが差当り現在糸価と対照せば無謀の高値仕入れと云う可からず而して養蚕家は桑葉の昂騰、一般諸掛の増大等に依り飼育上困難なる点多々ありしに拘らず是れ亦大なる悲運を嘆ぜるものなく概して廻り合せ宜しきを致せるは結構と云う可き也</p>	<p>・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。</p>
23	<p>国際金融(2-153) 中外商業新報 1919.1.19 (大正 8) 国際資金案 金貨決済方法平和会議提出 [国際資金問題 (三)] 実行前途如何 債権国に不利</p>	<p>然れども此相違点は最も重要な一項にして若し国際貸借上債務者の地位に立つ国に於ては連合保管金中の自国出資分にて決済せられ洵に結構の事なれど反対に債権者の地位に立つ国としての利害を考うるに決済上不必要なる資金を予め供託するに加え其帳尻が受取勘定となるも金の現送を果す能わざる不利益あり</p>	<p>・形容動詞連体修飾。「結構の~」。</p>
24	<p>水産物(2-010) 権太日日新聞 1921.1.21-1921.1.22 (大正 10) 本島蟹缶の将来 (上・下) 大規模の合同経営よりも寧ろ家族的経営方法を執る可しと某氏語る (下)</p>	<p>工場は二ヶ年も使用せされば風雨の為め大破して役に立たなくなる合同会社で昨年使用した工場は十二ヶ所(夫れも不漁の為め早々切揚げた工場が少くない)であって余地の多数工場は使用せられない若し蟹の●遊が移動に依り此の使用せられざりし工場が転々経営さるるに至らば夫れは洵に結構であるが其んな御詵え向きには来るものじゃないソウすれば使用せざる工場が風雨の為め大破しても其儘永く放任して置く積りなのか昨年の合同依りて沿岸部落の寂びれたのは事実であるが</p>	<p>・(形容動詞)述語文。</p>

3.7.4 現代 (朝日新聞 聞蔵Ⅱ)

下述、「3.7.5 現代 (BCCWJ: 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)」によって得られる事例は、おおむね 1970 年代半ば以降となる。したがって、それを補う手段として、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による朝日新聞記事の検索を行った。期間は、1945 年 8 月 16 日から 1979 年 12 月末日までとした。検索条件は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」/キーワード「結構」/発行日「1945/08/16 から 1979/12/31」/その他指定なしとした。以下、「結構」の実例を表にして時系列でまとめた。

3.7.4.1 検索語：「結構」（全150件より抜粋）（2020/10/20時点）

図表 3.33：「結構」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：現代）

番号	発行日 社／刊種	実例	備考
1	1945年9月13日 東京／朝刊	肚を割って“日本”を語る 来栖大使と外人記者／民主主義、結構だが一足飛びは無理 突込む真珠湾襲撃計画	
2	1945年10月28日 東京／朝刊	2階建も結構 建築制限を緩和	
3	1945年11月18日 東京／朝刊	枠のとれた野菜とお魚／農業会一本で買付 振り売りも結構 配給は隣組で監視を／依然、出渡る野菜 せいぜい1人20匁平均 市場の見解<表>	
4	1952年12月4日 東京／夕刊	(3) 浅草 “ニコヨン”のお客さん 泣いて笑って、結構繁盛__東京でみる村芝居	・副詞。
5	1953年9月3日 東京／夕刊	結構はやる民間天気相談所 東京と茨城に三つ__自然・災害	・副詞。
6	1955年1月30日 東京／朝刊	国交の回復は結構 岡崎前外相談__日・ソ関係の調整	
7	1955年3月15日 東京／朝刊	結構もうかる十円豆腐__目	・副詞。
8	1957年1月9日 東京／朝刊	結構づくめ、首相の“ゴ誓文”__記者席	・「結構づくめ」という慣用的表現。
9	1957年8月1日 東京／朝刊	墜落事故はもう結構__論壇	・断りの意思表示としての「もう結構」。
10	1957年10月1日 東京／朝刊	「十二円でも結構やれる。十五円ではもうけ過ぎるはずだ。…	・副詞。
11	1958年9月13日 東京／朝刊	若いころ乱読結構__書物と人生	
12	1959年8月27日 東京／夕刊	訪中は結構 川島幹事長談__石橋氏中共訪問	
13	1961年7月25日 東京／朝刊	乗組員記章“ナマズ”で結構__記者席	
14	1962年10月25日 東京／朝刊	“カヌーは相模湖でも結構” カヌー協会申入れ__東京五輪	
15	1962年10月29日 東京／朝刊	結構楽しい朝の放送__波	
16	1963年6月16日 東京／朝刊	手間いらず、割安、清潔 結構づくめのビニール容器__商業	・「結構づくめ」という慣用的表現。
17	1964年8月2日 東京／朝刊	“土足で結構”の応接間__住いの工夫	
18	1966年1月10日 東京／夕刊	多摩に豪華なニュータウン 結構づくめの設計図 人口30万 44年度に入居	
19	1966年11月4日 東京／朝刊	米国の主婦、スーパーに挑戦 パンを値下げして！ 懸賞や広告はもう結構	・断りの意思表示としての「もう結構」。
20	1967年4月12日 東京／朝刊	居眠りの季節です 健康には大いに結構__家庭	
21	1968年3月29日 東京／朝刊	結構な議員さん 月3万円アップ 国会議員の通信交通費__国会	・形容動詞連体修飾。
22	1969年4月2日 東京／夕刊	消火作業結構デス ソ連大使館でボヤ 署員を玄関払い__火事	・断りの意思表示としての「結構デス」。
23	1970年11月10日	“公害憲法案”信じられる？ シリ抜けが心配だ 市民・	

第3章 結構

	東京／夕刊	学者 財界 大筋はこれで結構__公害関係法案	
24	1971年1月30日 東京／朝刊	誠に結構な処置だ 鈴木セ・リーグ会長の話__坂井・鈴木問題	・形容動詞連体修飾。
25	1971年2月25日 東京／夕刊	結構だった「調伏曾我」能楽協会の第11回式能__能評	
26	1971年3月4日 東京／朝刊	おカネよりミエ? “仕事がある時で結構よ”__雇用・就職・失業	
27	1971年12月18日 東京／夕刊	2)寅どし 車寅次郎(寅さん) 人情っていいもんだ 結構毛だらけの1年で__今年の主役	・「結構毛だらけ」慣用的表現。
28	1972年7月14日 東京／朝刊	結構やってます国産夏ミカン類 グレープフルーツと共存	・副詞。
29	1972年8月9日 東京／朝刊	私のスペイン語学習 適当に下手でも結構__家庭	
30	1972年11月26日 東京／朝刊	だれが住む?“1億円マンション”それが結構売れるそうなんです	・副詞。
31	1973年7月12日 東京／夕刊	「右」も「左」もお客様 まずは結構な夏枯れしのご 日教組大会で群馬の旅館街	・形容動詞連体修飾。
32	1974年3月1日 東京／朝刊	大会誘致もう結構 敬遠する有名スキー場 かさむ負担、減る一般客	・断りの意思表示としての「もう結構」。
33	1974年3月15日 東京／夕刊	小野田さん バナナに「もう結構」 早い“適応” ベッドも平ら__入院	・断りの意思表示としての「もう結構」。
34	1974年7月27日 東京／朝刊	結構__話し言葉(*以下抜粋) 「久しぶりだ。一杯やりませんか」「いやあ、結構ですな」「もう一杯いかがです」「いやもう、結構です」 この“結構”という言葉、要と不要を表して便利だが、どちらの意味にとったらいいのか迷う場合もある。	・「話し言葉」というコラムで「結構」の反義併存性について触れている。
35	1974年9月2日 東京／朝刊	「観光客はもう結構」 “星砂の浜”竹富島民訴える ゴミ・けんか・水不足	・断りの意思表示としての「もう結構」。
36	1975年3月4日 東京／朝刊	米国に儉約令どこ吹く風 結構な役得お楽しみ 議員さんや高級官僚__米国	・形容動詞連体修飾。
37	1975年7月18日 東京／朝刊	勤務中でない限り、敬礼しないで結構 仏軍がソフト改革案__フランス	
38	1975年11月4日 東京／夕刊	「のらくろ」「怪人二十面相」…文庫ブーム当て込む ヤングにも結構人気	・副詞。
39	1976年3月8日 東京／朝刊	ラオス 社会主義は武道ざらい? 柔道教師に「もう結構」__ラオス	・断りの意思表示としての「もう結構」。
40	1976年8月6日 東京／夕刊	ヒロシマ 31年目の訴え きれいごと もう結構 ほか__広島平和祈念式	・断りの意思表示としての「もう結構」。
41	1976年11月12日 東京／夕刊	日光を見ずに結構…__研究ノート	
42	1976年12月23日 東京／夕刊	“特売場” ロンドン ボンド下落異聞 結構なお客様…ニッポン人 銘柄物なら品問わず	・形容動詞連体修飾。
43	1977年2月16日 東京／夕刊	夏の太陽熱 冬の暖房に 土に蓄え、結構ポカポカ 設備百万円 月々七百万円	・副詞。
44	1977年10月22日 東京／朝刊	伏見の組合が 女性さき酒会 結構いけるワ…左党の気分たんのう 東京丸の内__アルコール飲料	・副詞。
45	1978年5月9日 東京／夕刊	モー結構この高値 利益還元で農民も得手打たねば肉危機も 速水佑次郎 牛肉自由化を説く 東京都立大学教授__わたしの言い分	・断りの意思表示としての「もう(モウ)結構」。
46	1978年10月16日 東京／朝刊	日光の紅葉 結構な盛り__レジャー	・形容動詞連体修飾。

第3章 結構

47	1979年2月12日 東京／朝刊	発酵馬乳は結構いける__ぶりずむ	・副詞。
48	1979年3月9日 東京／朝刊	大ネオン時代去る！？ またぞろ暗い銀座 三愛ビルも プツン 石油節約結構だけど、さびしいね	
49	1979年4月2日 東京／夕刊	日本人の手相、大いに結構__自由席	
50	1979年9月15日 東京／朝刊	都の回答 明暗くっきり 「結構なこと」立川市長 「非 常に残念」昭島市長	・形容動詞連体 修飾。
51	1979年11月19日 東京／朝刊	本って、結構面白いじゃない__ひととき	・副詞。

3.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）

本項では、現代語の「結構」および、ひらがな表記「けっこう」「けっこー」、カタカナ表記「ケッコウ」「ケッコー」について、BCCWJ（現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」（特に指定なし）である。「結構」の表記のバリエーションは、上記の5通りが考えられる。検索結果数は、「結構」が7683件、「けっこう」が2329件、「ケッコウ」が14件、「ケッコー」が11件であった（2020/10/07時点）。

まず、以下に「結構」「けっこう」「ケッコウ」についての検索結果数の表記別比較表を以下に示した（2020/10/07時点）。なお、おおまかに表記ごとの傾向をみるため、「けっこう（検索結果数：2329件）」には、「けっこー（検索結果数：15件）」を含め、「ケッコウ（検索結果数：14件）」には、「ケッコー（検索結果数：11件）」を含めた。補足として、BCCWJによる検索では、漢字の異表記体「結構」（手偏の「構」）の検索結果数は0件（該当なし）であった。

図表 3.34 : BCCWJ による「結構」「けっこう」「ケッコウ」の検索結果数の比較 (2020/10/06 時点)



以上を概観すると、現代語 (BCCWJ 上) においては、漢字表記「結構」が大勢を占めることがわかる。ただし、ひらがな表記「けっこう」の使用も比較的多いことがわかる。

BCCWJ においては、おおむね、無標である「結構」の三分の一弱の数となる。

ひらがな表記の「けっこう」が一定数みられる要因としては、現代語における「結構」が漢語由来のものという意識が薄れつつある⁷⁹、あるいは状況に応じて表記を使い分けるといった可能性が考えられる。ちなみに、ひらがな表記の「けっこう」は、以下の検索結果例を概観すると、無標の「結構」より副詞として使われる割合が高いようでもある⁸⁰。

一方、カタカナ表記の「ケッコウ (「ケッコー」含む)」の検索結果数は、25 件であり、現代語 (BCCWJ 上) においては、ほとんど使われていないという傾向が示された。ただし、カタカナ表記「ケッコウ」「ケッコー」について、別媒体の「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」による検索を行ったところ、検索結果数は、「ケッコウ」が 172 件、「ケッコー」が 732 件であった (2021/02/16 時点)。したがって、BCCWJ による結果のみで使用頻度が少ないと判断することは拙速であろう。「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」においては、特に「ケッコー」の検索結果数が 732 件あったという事実にも着目したい。以上の結果も考

⁷⁹ つまり、日常会話で多用される以上、まず音声としての[kekko:]があり、したがって、表記においては表音文字であるひらがなのほうが好まれるようになるといった解釈である。

⁸⁰ 『分類語彙表 増補改訂版』(2004) では、副詞としての「結構」のみ、ひらがな表記の「けっこう」である (上述、「3.5.2『分類語彙表 増補改訂版』～」)、「図表 3.20」参照)。したがって、「結構」については、品詞あるいは意味によって表記を使い分けるといった傾向もみられるようである。その点を考慮すると、一般辞書における項目見出しをどのように立てるべきなのかといった課題も浮上してくる。場合によっては、「結構」と「けっこう」を別の項目見出しとして立てるといった工夫がなされるべきなのかもしれない。

慮すれば、現代語におけるカタカナ表記「ケッコウ」は、ブログ・SNS上では比較的好まれる表記形態といえそうである。

次に、BCCWJ（現代日本語書き言葉均衡コーパス）における「結構」および「けっこう」の実例を概観すると、結果として以下のような傾向と特徴がみられた。

- ・主な形式として三つ挙げられる（「結構」「けっこう」共通）。副詞（「結構」＋用言）／（形容動詞）述語文（「～結構（です）。」）／形容動詞連体修飾（「結構な～」）である。うち、副詞としての「結構」が過半数（おおむね七、八割）を占める。つまり、現代語においては、副詞としての「結構」が優勢である。
- ・（形容動詞）述語文（「～結構（です）。」）および形容動詞連体修飾（「結構な～」）については、（形容動詞）述語文（「～結構（です）。」）のほうがやや多く現れる。両者ともに数は比較的少ないが、平均的に現れる。
- ・副詞としての「結構」は、マイナス評価性の語とも比較的良好共起する。現代語において、語の評価性（プラス／マイナス／中立）については特に問わないようである。
- ・副詞としての「結構」は、あらかじめ想定したものごとと比較した上で、「まあまあ／ほどほどに」といった意味を持つ、相対評価的なものもみられる。
- ・語調調整的要素を持った副詞の「結構」もみられる。つまり、意味らしい意味を持たないが、置くことによって文全体が安定するといった主旨のものである。さらに、場合によっては、接続詞的、あるいは話しを切り出すときに発するフィラー的役割を持つ「結構（けっこう）」もみられる。
- ・（形容動詞）述語文（「～結構（です）。」）については、性質上二種類に分けられる。「よい（いい）」の丁寧な表現、つまり肯定的な意思表示のものと、断りの意思表示としてのものである。両者ともに形式に違いはないため、判断基準は文脈・場面に依存することになり、注意が要される。
- ・（形容動詞）述語文（「～結構（です）。」）については、立場的に上位にある者が下位にある者に対して使う、許可的（「よい／よろしい」といった意味）な「～結構（です）。」という表現もみられる。
- ・既存の文法的枠組みから外れた例もみられる。例えば、下述、「3.7.5.1 検索語：「結構」」「95」（Yahoo!ブログ 2008）に、「結構暴論」という副詞の形式をとりながら実際は名詞にかかる例がみられる。ただし、多少無理にでも形容動詞「暴論だ」とした場

合、その語幹とすれば副詞ともいえる。このように判断が微妙な表現もみられる。

- ・ひらがな表記「けっこう」については、必ずしも品詞が副詞に限定されるわけではない。漢字表記「結構」に準じて、(形容動詞) 述語文、あるいは形容動詞連体修飾(「結構な～」)の例も現れる。

- ・形容動詞連体修飾(「結構な～」)については、「結構なご(御)身分」という反語的・皮肉表現としての慣用的表現も数は少ないが現れる。

- ・下述、「3.7.5.1 検索語：「結構」“96”(Yahoo!ブログ 2008)に、「美術館を出ると結構な観光客。」という例がみられる。本来、形容動詞連体修飾「結構な」は、「見事/立派/よい」等を意味するはずであり、そのように解釈すると意味が通らない。「結構」自体に、「数量的に多い」という意味はないはずである。近年、このような表現がみられるが、やや変則的であろう。この場合、「結構な数の観光客」、あるいは副詞として使うのであれば、「結構観光客が多い」等の表現が妥当であろう。

続いて、以下に、BCCWJから、「結構」「けっこう」「けっこうー」「ケッコウ」「ケッコー」についての検索結果例を表にして示した(2020/10/06時点)。

3.7.5.1 検索語：「結構」(全7683件より抜粋)(2020/10/06時点)

図表 3.35：「結構」の実例(BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス)

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	佐木隆三(著)復讐するは我にあり 1975 OB0X_00026	「ちょっと、急に言われても」「どうぞ、ゆっくり思い出してくれば結構ですよ、見た目にはわからなくても、手にとってみれば握り	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。譲歩的な「~れば結構」。
2	国会会議録 1976 OM11_00005	この点について、もし時間がなければ後で書面等でも結構ですが、ひとつお答えをいただくと同時に、厳正なる調査を早急に	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。国会会議録は比較的この形式が現れる。
3	国会会議録 1977 OM14_00001	いまのうち一生懸命頭をひねって対抗手段を講じてもらっても結構であります。これだけは言っておきましょう。それで、事実土地を売って	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。国会会議録は比較的この形式が現れる。
4	国会会議録 1981 OM26_00002	渡部通子君セールスマンの登録制度を発足させたということは結構なことだと思うんですけども、その対象業種がどのくらいカバーできるか、	・形容動詞連体修飾。

第3章 結構

5	国会会議録 1984 OM21_00002	これは具体的に言うと、入れ物は資金運用部の金庫で結構です、しかし年金積立金の分についてはもう一つ箱をつくってもらっ	・(形容動詞)述語文。譲歩的な「~で結構」。
6	渡辺淳一(著)愛のごとく 1984	風邪は治ったようなもんよ。わたしも飲もうかな」衾子も結構いける口である。風野が注ぐと美味しそうに飲む。「ここにボン酢も	・副詞。
7	国会会議録 1985 OM21_00009	占める推移、それについてそれぞれ大まかにお答え願います。十年ごとくらいで結構です。○岸本説明員お答えいたします。ちょうど手元の資料が昭和三十五年	・「~で結構」。譲歩的な「結構」。
8	板東英二(著)プロ野球ここを喋る奴はウチから出ていけ 1986 OB3X_00198	長島さんの英語力はなかなかたいしたものなんやで。通訳なしで結構いけるんやて。もっともこみいった話になると、ドジャースのアイク生原さんなんかの	・副詞。
9	村上春樹(著)中国行き のスロウ・ポート 1986 LBa9_00017	彼女か私にそれをうちあげたの。私の学校は私立の女子校で結構授業料も高かったし、それにわかるでしょ、女子校で女の子が誰かに	・副詞。(金額が)「結構高い」という形式もよく現れる。
10	渡辺淳一(著)化身 1986 OB3X_00073	がそういう古いものを持っているか、わからないだろう」「それが、結構ルートがあるらしいの。パリの蚤の市みたいところで探したり、ニューヨークには、	・副詞。
11	国会会議録 1987 OM32_00002	にかからないような、公式事故調査統計に出てこない事故というのが結構あるんですね。そういう事故をやはり重視をして、あわや大事故になる	・副詞。「結構」は「ある」「いる」ともよく共起する。
12	横田順彌(著)奇想展覧会 1988 LBe9_00056	「ぼくも誓います」ふたりの悪魔が答えた。「それは、結構。では、決定しよう。どちらの契約も有効としたまえ」	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
13	神吉拓郎(著)たたずまいの研究 1989 LBd9_00017	決められていて、それ以上はいけないし、以下もいけない。だから結構難しい。商売柄、あっちこっちへ出掛ける人が多いもんですから、地方の名産も	・副詞。「難しい」というマイナス評価性の語と共起。
14	田辺聖子(著)春情蛸の足 1989 LBe9_00070	お好み焼きの職人かたぎというのものもあるのだろうが、結構、女が一人でやっている店に偏屈も多い。「お千代」の中	・副詞。語調調整的要素があるが、おそらく「多い」にかかる。
15	シドニイ・シェルダン(著)/天馬龍行(訳)/紀泰隆(訳)時間の砂 1989 OB3X_00167	落ちていた。ルチアは一呼吸置いてから、かがんでそれを拾い上げた。結構重い。〈ぴったりだわ〉ルチアは、シスター・テレサが追いついてくるの	・副詞。
16	江波戸哲夫(著)左遷！ 1990 LBe9_00019	オレは知らんよ。お前…キミもどうかしとるな」「お前で結構ですよ、副社長。相手は太平洋興産の平林です」平林の名前を	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
17	赤羽建美(著)イヴの贈り物 1991 LBF9_00209	あれって、どうやったらうまくなるの」「滑り込むしかないよ」「結構滑っているのに…」「大浦さんに聞いたら。彼女、スキー部だっ	・副詞。
18	赤羽建美(著)イヴの贈り物 1991 LBF9_00209	「プレスの女のこもそのパーティに参加させたい」「川西さん、結構チェックしてるな」「もちろん」三人は冗談を言いながら着替えを終え	・副詞。
19	盛川宏(著)釣りたてグルメ日記 1992 LBg7_00051	板さんも船長も胸を張った。ほんと、北海道の魚でも結構うまいのだ。そういったら、「バカにしちゃいかん」と、怒られ	・副詞。
20	遠藤周作(著)深い河 1993 OB4X_00007	汚いもの、見たくない」「ええ、ええ、バスに残っていらっして結構ですよ。御気分が悪くなるといけませんから」江波はもっともだと	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
21	木下明美(著)女の言葉	早朝、ビジネスマンたちに混じって新幹線のホームに	・副詞。

第3章 結構

	が男を変える 1993 LBh3_00053	立っている自分を結構気にしている。早う家へ帰って、カミさんの顔見て、何	
22	赤羽建美(著)男のこの気持ち 1993 LBhn_00017	おいて実行することです。それなのに、男のこの点に関して結構いいかげんだったりします。なぜなら男のこのは妊娠しないからです。男のこのが	・副詞。マイナス評価性の語「いいかげん」と共起。
23	国会会議録 1993 OM46_00001	よ、聞いておって。そっちが書いた書類じゃないですか、これは。結構ですよ。じゃ、後ほどまた精査して御通知ください。でも、はっきり申し上げて	・(形容動詞)述語文。文脈から判断すると、断りの意思表示としての「結構」か。
24	シドニィ・シェルダン(著)/天馬龍行(訳)/紀泰隆(訳)私は別人 1995 LBj9_00278	ミスター・テンプル?」〈ミスター・テンプルだって!〉「砂糖だけで結構です」「はい、どうぞ召し上がって下さい」如才なく微笑んでから、秘書は	・(形容動詞)述語文。限定的な「~だけで結構です」。
25	田中良成(著)超貧乏旅 1996 LBk2_00032	食べてたの」「うどんとか、天婦羅とか」「天婦羅なんて、結構いい物食べたんだ」が、立ち食いの三百八十円のテンプラうどんのこと	・副詞。相対評価的。貧乏旅行中に食べそうな物と比較すればまあまあましな物という文脈。
26	瓊瑤(著)/長谷川幸生(訳)恋恋神話 1996 LBk9_00168	この夏休みだけで、少なくとも三キロ痩せるわ!」「苦渋を味わうのも結構なことだ。もし苦労しなければ、ありがたみが分からないさ!」	・形容動詞連体修飾。
27	ミゲール・リーヴァスマイク(著)/富山詩曜(著)Eメール Englishの鉄則 1997 LB15_00032	この例では日本語と英語で結構ニュアンスが異なっています。試しに上の日本語を英文と同じニュアンスで書き換え	・副詞。
28	小笠原林樹(著)日本人英語の誤用診断事典 1997 LB18_00012	[解説] こういう英語を作ってしまう日本人学習者が結構多い。日本語文を英語に直訳したためであろう。動詞の help を	・副詞。「結構」は「多い」ともよく共起する。
29	岳宏一郎(著)群雲、関ヶ原へ 1998 LBm9_00140	で逝く者の側にも、それを要求する権利がある。なんという結構な結末だろう、とガラシアは思った。いっそ三成という男に感謝のことばの	・形容動詞連体修飾。
30	山口洋子(著)愛をめぐる冒険 1999 LBn9_00169	悟は布団に足を挟んで雑誌を読んでいた。もう結構、と怒鳴っていた。「出て行って、すぐに出て行って	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「結構」。ただし、「もう」で強調されて、拒絶、あるいは不満表明的になっている。
31	彭飛(著)ボンフェイ博士の知れば知るほど「はてな?」のニッポン 1999 LBn3_00130	は「よい具合」という意にはならない。「傑作だ」「結構なご身分」、大阪弁の「よういうわ」「ようやるわ」もそうだ	・反語的/皮肉表現としての「結構なご身分」。慣用的表現。
32	中妻久夫(著)定年後 1999 OB5X_00116	環境問題は別にして、選り好みをしなければ私にも働く場所は、結構あった。その中でゴルフ場に植木を植える造園会社を選んだ。	・副詞。
33	国会会議録 2000 OM55_00006	かように考えております。○脇雅史君局長からでも結構なんですが、法改正以降、住民の意見をどのように聞いてきた	・譲歩的な「~でも結構」。
34	五島真理為(著)/森口秀志(著)/森田邦雅(著)これがボランティアだ!	地元の高校が野球で優勝すると、やれ××祭とかあって、結構きつかったんですよ。ぼくには商売は向かないんじゃないかと、悩み	・副詞。マイナス評価性の語「きつかった」

第3章 結構

	2001 LBp3_00073		と共起。
35	稲富三賀(著) J J 2001 PM11_00035	ケリー、エブリン、ムゾ。スチュワードズに人気のどのエルメスのBAGをとっても結構深さがあるものばかり。そこで今回はエルメス通の十八cm小物ワザを	・副詞。語調調整的要素もある。
36	横尾忠則(著)/細野晴臣(著)芸術ウソつかない 2001 LBp7_00030	しながら「僕、落ち込んでるんですよ」というタイプ。細野—本人は結構シリアスなんですよ。作るより聴くほうが好き 横尾—僕も音楽は好き	・副詞。マイナス評価性の語「シリアス」と共起。
37	菜の花こねこ(著)デ・ジ・キャラットファンタジー 2001 PB19_00280	大丈夫…ルーン?」「おいおい、兄貴のこともいいけど、おまえだって結構辛そうだぞ。本当に平気か?」「すいません…でも、	・副詞。マイナス評価性の語「辛そう」と共起。
38	国会会議録 2001 OM64_00001	いうような名称を使わずに、奨励金だとか安定対策、何でも結構ですけども、ぜひそういった形で進めていっていただきたいな、そんな御	・(形容動詞)述語文。「~でも結構です」。譲歩的な「結構」。
39	大西剛(著)イヤイヤ訪ねた世界遺産だったけど 2001 PB12_00112	「ラオス、知られざる国」という割に、ある意味では結構、情報はつかんでいたのだ。またその一方、ルアンパバーンの正月祭で	・副詞。
40	J・K・ローリング(著)/松岡佑子(訳)ハリー・ポッターとアズカバンの囚人 2001 OB6X_00013	ただし、もしあなたが死んだら、提出しなくても結構です」ハーマイオニーが吹き出した。ハリーはちょっと気分が軽くなった。	・(形容動詞)述語文。許的な「結構です」。
41	新垣紀子(著)/野島久雄(著)方向オンチの科学 2001 PB11_00095	その絵を描くことが再生にあたります。ためしにやってみてください。結構難しいということがわかるでしょう。絵にしようとするとなんか描けないのでは	・副詞。「難しい」というマイナス評価性の語と共起。
42	東野圭吾(著)週刊プレイボーイ 2002 PM21_00584	「おい、これ」「ああ…。西崎は苦笑した。「結構大騒ぎして、鑑識にも世話になりましたからね。一応まとめておこうか	・副詞。「大騒ぎ」というマイナス評価性の語と共起。
43	タカギツトム(著)TVガイド 2002 PM21_01026	ただけでお米の産地を当ててしまったり。ファッションも凝ってたりして結構こだわるタイプの人でもあるんですよ」。	・副詞。ここでの「こだわる」はプラス評価性。
44	桂 米朝(著)桂米朝コレクション LBq9_00259	長屋というように思いはりますが、決して貧乏な長屋ばかりやないので、結構な長屋もぎょうさんあります。お大名の長屋でなことになりますと、	・形容動詞連体修飾。「素晴らしい/立派な」という意味。
45	秋山賢司(著)囲碁 2002 PM21_00234	ツケるくらいのことはやってみたかった。黒は厚いですからね。白は結構あぶないですよ」	・副詞。マイナス評価性の語「あぶない」と共起。
46	内田康夫(著)佐用姫伝説殺人事件 2002 LBq9_00016	せいぜい、死体を発見した時のことぐらいですが」「それで結構ですから、どうぞ」「けさ、父は朝の食事を景山先生と一緒に	・(形容動詞)述語文。譲歩的な「~で結構です」。
47	日高道夫(著)友達 2002 PB29_00105	でも支払わなければならない気になってしまった。「二等車で結構です」僕は気負い立って言った。「案内して下さい」「本当	・(形容動詞)述語文。譲歩的な「~で結構です」。
48	福島義雄(著)A E R A (アエラ) 2002 PM21_00828	に備えたおもてなし料理と言われるわけが分かった。まさに、贅沢心をくすぐる結構な珍味なのである。江戸の俳人、蕪村はふなずしが大好物だった	・形容動詞連体修飾。
49	木俣佳丈(著)発芽する未来 2003 PB33_00713	みんな知っているかな。(地図を指して) アフリカのここに位置する結構大きい国なのですね。スーダンでは長く内戦が繰り返られており、みんなと	・副詞。(アフリカの)他の国と比較すれば、割

第3章 結構

			と大きいという文脈。相対評価的。
50	国会会議録 2003 OM62_00001	は根底から崩す話なんですよ。これはもうこれ以上聞けません。いや結構です。○片山国務大臣自衛隊法の体系は、何度も言いますように	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「いや結構です」。
51	最相葉月(著)最相葉月のさいとび 2003 LBr9_00203	まったく自然な自分の心の中から発した問いだった。「生きるって結構苦痛を伴うものですよ。だから、人生なんて一度限りでいいという	・副詞。マイナス評価性の語「苦痛を伴う」と共起。
52	実著者不明 a n ・ a n 2003 PM31_00082	(' 八十九) から欠かさず見ております。篠崎 まあ凄い。私も結構見てはいるんだけど、ヒロインの人物設定が少々愚鈍すぎて、苦手な	・副詞
53	小栗かよ子(著)国際線スチュワーデスの自分を磨く「美女」講座 2003 PB33_00055	と倍のエネルギーを消耗します。チャンスは逃さずポジティブに。「今は結構」と拒絶している人は、目前にあるチャンスも通りすぎてしまいます。部屋	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。断りの意思表示としての「結構」。文脈に従えば拒否/拒絶の「結構」。
54	伏見香織(著)/雨宮真弓(著)TVガイド 2004 PM41_01300	仕事〜♪」と即興の歌を作ってロズさんでいた稲垣くん。実は結構お気に入りなのでは?ぷちすま沈黙マン復活か!?	・副詞
55	久田泰之(著)/松本尊重(著)インプレッサWRX オーナーズマニュアル 2004 PB4n_00195	ーターはチューニングしていくと壊れるといわれるが、ノーマルのままでもじつは結構壊れやすいようだ。確実な故障要因はいまだに不明のままコンピュータ制御のエンジン	・副詞。マイナス評価性の語「壊れやすい」と共起。
56	株式会社ロッキング・オン(著)/T O S H I - L O W (著)Immanent Brahman 2004 PB47_00154	来て知り合った。学校とか早々と辞めちゃう人が結構いて」結構、悪いことしてたんですか?「悪いこと?…まあ結構、普通	・最初と二番目は副詞。二番目はマイナス評価性の語「悪いことしてた」と共起。ただし、語調調整的/接続詞的要素もある。「まあ結構」は、つなぎことば的役割の肯定的意思表示の「結構」。
57	七飯宏隆(著)座敷童にできるコト 2005 PB59_00391	「じゃあ、俺一人で入ってくるわ」「ここのお風呂、結構すごいんだよね。総檜で滑るから気をつけてね」	・副詞。
58	菅篤哉(著)一日一訓おじいさんのお話 2005 PB58_00002	(2) 荷物を広げるのを手伝いましょうか? (3) いいえ、結構です。自分でします。2月十九日(金)	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「いいえ、結構です」。
59	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_04111	石灰石は園芸屋さんへ行けばあると思いますが、量が多いし結構値段も高価です。貝殻や卵の殻で代用できます。ちなみに煎餅の乾燥	・副詞。
60	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_01415	事前に「中卒ですが、面接していただけますか」と言っても結構あってくれます、でも、採用されませんけど、それはわたし自身	・副詞。

第3章 結構

61	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_07691	お知らせしたいこともございます。発送前でも後でも結構ですので、他のアドレスから一度ご連絡くださいますようお願いいたします。	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
62	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_02043	カーベット使ったとか・・・発熱する物使用しませんでしたか??結構電気食いますよ。まるっきり心当たりが無いようでしたら電力会社(請求書に書いて	・副詞。
63	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_02870	の間に、空いているのは何月ですか。それと、その時期は結構寒いですかね。十一月1日～6日イベントない割に混んでる	・副詞。
64	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_08945	変えたのですがPVなどがおいてあるiモーションのサイトってありますか?結構探しているのですが、なかなか見つかりません誰か教えてください!よろしくお願い	・副詞。
65	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_02298	危険ですか?斜めがけバッグの方が良いでしょうか?ホノルル在住です。夜は結構涼しいので、ジーンズは、夜にカジュアルに着るには欠かせませんし、	・副詞。
66	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_01753	洗濯しすぎてゴワゴワになったバスタオルが何枚かありますが、買うと結構高いのでなかなか捨てられません。捨て時って、どんなときですか?	・副詞。
67	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_01995	なるべく使い切ってしまうといいですね。(調味料の梱包って結構面倒臭いですよ)荷物の量が減ることで、引越しの見積もりも安くなります	・副詞。マイナス評価性の語「面倒臭い」と共起。
68	Yahoo!知恵袋 2005 OC05_00081	叙勲」の存在意義は無いかもしれません。なにしろ、辞退される方が結構いらっしゃるのですから。ノーベル賞を辞退するのはよほどのことではありますが、叙勲を	・副詞。
69	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_11603	先程、NHKの集金がきました。うちは結構です!と言ってとりあえず追いつ返しましたが、又来たらどうすればいいですか	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「結構です」。
70	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_12401	私は血液型を結構気にします。たった4つかもしれないけど、当てはまることが多くて・	・副詞。
71	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_08990	思い出し、たそがれせまる～♪、と最後まで大きな声で歌います。(驚く事に結構最後まで覚えていました^^)	・副詞。語調調整的な「結構」。無くても意味は通るが置くことで文章を安定させる。
72	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_00724	BENZ, BMWなどのクラクションは結構いい音ですが、国産車のクラクションの音はなぜ安っぽいオモチャみたいな音がする	・副詞。
73	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_09176	グループの会合にも行きにくいし。よわっていますアドバイスでも何でも結構です。どうか教えてください。宜しくお願いします。	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
74	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_01266	初心者なもので、自分で調べろなど冷やかしかは結構ですのでまじめに答えていただける方、お願いします。	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「結構です」。
75	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_00133	かなり重い雪と聞きましたが、ある程度は覚悟していますが、結構ひどいですか?一度いかれたかた教えてください、	・副詞。マイナス評価性の語「ひどい」と共起。
76	Yahoo!ブログ 2008 OY04_06404	チケットのデザインとかね・・・席とかね・・・。結構根に持つタイプなのかしら・・・私って(^o^;;	・副詞。マイナス評価性の語「根に持つ」と共起。

第3章 結構

77	Yahoo!ブログ 2008 OY05_07270	ところで、水草植えちゃったら、どうやって砂利洗うんだらう……（一；）結構、水替えのとき、砂利の中って汚れてるのよ～。みんな、どうやって	・副詞。マイナス評価性の語「汚れてる」と共起。ただし、語調調整的/接続詞的要素がある。
78	Yahoo!ブログ 2008 OY07_02023	参考例にはなってると思う。。今朝は寝床で、結構な時間ストレッチをしていたのだけど一寸、大きな改善を感じられるか	・形容動詞連体修飾。ブログでは比較的少ない例。
79	Yahoo!ブログ 2008 OY15_10128/	L i aさんの時を刻む唄です。百円でポイント十ポイント付くので結構いいかなと。DVDも近日予約予定。	・副詞。相対評価的。
80	Yahoo!ブログ 2008 OY14_14281	レジにバックに入ったアイスコーヒーとタバコを二つ置いた。「レジ袋、結構ですから」と伝えると「ありがとうございます」とその女性は答えた。会計を	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「結構です」。
81	Yahoo!ブログ 2008 OY03_12036	クマ蜂が集まってきています。藤の花も近づいて香りを嗅ぐと結構強烈ですので、一瞬頭がクラクラする感じになります。クマ蜂はこの香り	・副詞。「結構」は本来「程度が非常に激しいさま」を表す「強烈」等の語とは共起しにくいはずである。むしろ「強烈さ」を緩和させる意図をもったものか。
82	Yahoo!ブログ 2008 OY14_19056	山に捨てる。だいたい「半分が山から採れるが、半分は捨てる」と覚えて結構だ。間引きは、樹木の成長に伴って少しずつしていくが、まだ	・(形容動詞)述語文。「結構だ」の形式からは許可な要素も感じられる。
83	Yahoo!ブログ 2008 Y03_11520	今朝はマイナス3度だった。結構寒い。でも日中は十五度まで上がった。診療室も当然まだ朝は	・相対評価的。「ふだんと比べれば思いの外寒い」という文脈。
84	Yahoo!ブログ 2008 OY14_34673	先生も、ケンちゃんも、親も……。やっぱ人信用するのも結構辛いわ。もうバツサリ自分の感情消せないかなー。あー……。やっぱ自分の感情	・副詞。マイナス評価性の語「辛い」と共起。
85	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33221	電話代大丈夫？」と思ってしまったね！いやマジで！！だって結構電話してましたよ？大丈夫？とりあえず今日はいろいろあった！楽しかったし疲れ	・副詞。
86	Yahoo!ブログ 2008 OY13_00148	「お答えしなければいけませんか？」「いや、結構」彼女の哀しげな目に夏木は質問を引っ込め、隅では捜査員	・断りの場面における「結構」。「いや、結構」の形式。
87	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08926	札幌で一番寒い時期である1月下旬に雨が降った。それも結構な量が降って、少ない雪をかなり融かした。雪祭り開催1週間前のこの	・形容動詞連体修飾。比較的少ない例。相対評価的。
88	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25573	お子さまもOK牧場の初心者コースを選んだつもりやったけど、結構きつかった……。終盤は自分の意識とは関係なく足がワラワラ、	・副詞。マイナス評価性の語「きつい」と共起。
89	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08083	七草バック使用です。ハコベなんてそこいらに生えるのに、七草バックにすると結構な商売になるわよね。昔飼ってたセキセイインコを思い出すわ。でさ	・形容動詞連体修飾。比較的少ない例。

第3章 結構

90	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50467	春休みもあったし、東京行ったり静岡行ったりダンスパーティーあったり新しい友達も結構できた☆これからは時間あるときこっちも更新することにする！なんかめち	・副詞。「できた」にかかる。語調調整的要素がある。
91	Yahoo!ブログ 2008 OY15_19468	の解答をお待ちしております。また、1人で何回も解答して結構です。回答がある程度集まったら締め切ります。締め切る前に次のお題を	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。しかし、この形式は上位者が下位者に対して使う場合があり、許可の「結構」ともいえよう。
92	Yahoo!ブログ 2008 OY14_16863	結構あつという間だな〜〜そして行き帰り運転私のみって疲れる。いつもは殆ど	・語調調整的。意味らしい意味はない。
93	Yahoo!ブログ 2008 OY15_03448	の音とは信濃川発電所の貯めてある水を放流するときに鳴るんです結構けたたましい音ですよ？アレが鳴っていると寝れませんいつもは二十二時	・副詞。マイナス評価性の語「けたたましい」と共起。
94	Yahoo!ブログ 2008 OY05_07003	東京だ。 創作関係の方々とオフ会。 とっても楽しみだ。 明日は結構ハードスケジュールだから今日は早く寝たほうがいいのだが。 ボウズも、	・副詞。マイナス評価性の語「ハードスケジュール」と共起。
95	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00294	は寝てもいいから、とにかく絶対静かにしておくこと！」って、結構暴論(エ)今日のメインは、人間国宝に認定された人が	・BCCWJ には副詞とあるが、名詞「暴論」にかかるとみれば、形容動詞連体修飾。ただし、仮に形容動詞「暴論だ」とした場合、その語幹とすれば副詞ともいえる。微妙な表現。
96	Yahoo!ブログ 2008 OY11_07094	でもう一周。堪能させてもらいました。写真4美術館を出ると結構な観光客。お昼近くだからね。でも行列までとはいかない様子	・形容動詞連体修飾。本来、形容動詞連体修飾「結構な」は、「見事/立派/よい」等を意味するはずであり、そのように解釈すると意味が通らない。近年、このような表現がみられるが、やや変則的であろう。副詞として使うのであれば、「結構観光客が多い」等の表現が妥当であろう。

第3章 結構

97	Yahoo!ブログ 2008 OY03_00606	をずらして入店親父さんとおばさん2人でやっている角店だが・・・結構いつも人が多い カウンターに座りメニューをみる。	・「多い」にかかる副詞と考えられるが、はっきりしない。語調調整的要素がある。
98	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25352	湖面に周囲の景色が映り込むほど波静かで、晴天が続いています。結構なことです。湖面の静けさとは裏腹に、日本の政治・経済は大揺れ	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
99	Yahoo!ブログ 2008 OY14_07625	おい！おい！飲食物、持ち込み禁止やろ！「ありがとう。結構ですから」と丁寧な断る。遠慮せんでもええやん・・・と何	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「結構です」。話者には丁寧に婉曲に断るという意識を持って「結構です」を使うようである。
100	Yahoo!ブログ 2008 OY14_42539	らが今大学受験控えてる人がいて、高校卒業が待つてらんだったら結構大人だと思うから、大学生になってもそれなりに時間も出来るし会っ	・BCCWJ には副詞とあるが、名詞「大人」にかかるのみれば、形容動詞連体修飾であろう。「結構な大人」とすべきか。あるいは形容動詞「大人だ」の語幹と考えれば副詞といえる。ただし、語調調整的要素もあり微妙な表現。
101	Yahoo!ブログ 2008 OY14_00054	D≡S I R E時代の曲をJ I L Sで再録したバージョンだったと思う。結構曲を通して盛り上がり欠ける落ち着いた曲だと思う。	・BCCWJ には副詞とあるが、どこにかかるのかははっきりしない。語調調整的要素もあり微妙な表現。
102	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02234	やっぱ気になるな～なんとなく素朴で感じがいいんだよな～若く見えるけど結構おね～さんのような感じかな？	・BCCWJ には副詞とあるが、「おね～さん」か「感じ」いずれかにかかると考えられるがはっきりしない。ただし、語調調整的要素もあり判断が微妙。感動詞に近いものともいえるかもしれない。あるいは「結構～かな」という呼応

第3章 結構

			の副詞的な要素もある。
103	Yahoo!ブログ 2008 OY15_16874	できた嫌な音、異音です。一度エンジンを停止し再度掛けても結構ジャラジャラと盛大な異音を発しています。徐々にこの音がして慣れて	・BCCWJ には副詞とある。「ジャラジャラ」にかかるとみられるが、ははっきりしない。語調調整的要素もあり判断が微妙。
104	Yahoo!ブログ 2008	ことに驚いた・・・味も結構気になります・・・自家製って結構まずいでしょ？どうしてこう思ってるかって？姑がよく自家栽培するん	・副詞。マイナス評価性の語「気になります/まずい」と共起。

3.7.5.2 検索語：「けっこう」（全 2329 件より抜粋）（2020/10/06 時点）

図表 3.36：「けっこう」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	森村誠一(著)青春の証明 1977 OB1X_00087	ないのです。その人と主人が何か？」「いやご存じなければけっこうです」 捜査員自身あまり興味をもっていたことではなかったのだ	・(形容動詞)述語文。文脈から判断すると「ご存じなければ(お答えしなくても)けっこうです」となるため、断りの意思表示としての「けっこう」か。
2	森村誠一(著)青春の証明 1977 OB1X_00086	殉職したのです。それだけですわ」「おねがいです。一度でけっこうですから会っていただけませんか」「いまこうしてお話ししている	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
3	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00292	たら、恥ずかしくてひっくり返っちゃうと思う。フォーク研究会なんてのがあって、みんなけっこう“ライトミュージック・コンテスト”とか“バイタリス・フォークビレッジ”なんかに出た。三	・副詞。「出た」にかかるとか。
4	竹村健一(著)つき合い 方人間学 1981 OB2X_00001	に向かって、「あんた、きょうはラクできてうれしいでしょう」などと話しかけながら、けっこう夫婦仲良く帰っていった。また、アメリカの大学院で、中学・高校の	・副詞。
5	沢村貞子(著)私の台所 1981 OB2X_00188	くさいけれど、自分の暮しに適当なリズムをつくり、それにそって動きまわれば、けっこう気分転換にもなる。めまぐるしく変ってゆく世の中の流れにも眼を凝らし、	・副詞。
6	千玄室(著)なんて美しい女性だろう！ 1981 OB2X_00291	もうおなががいっぱい、という方は懐紙に包んでお持ち帰りになってもけっこうですが、さっぱりしたものが多いため、案外食べられます。お茶を	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
7	アブドーラ・ザ・ブッチャー(著)ゴジン・カーン(訳)プロレスを 10	レスラーには、ホントにいたずら好きが多いな。ルスカのように悪どくはないが、けっこうチャメツケたぶりのいたずらもある。東北は仙台でのことだ。オフ	・副詞。

第3章 結構

	倍楽しく見る方法 1982 OB2X_00079	を楽しむ	
8	江本孟紀(著)プロ野球を20倍楽しく見る方法 1982 OB2X_00216	全身健康のかたまりみたいな野球選手だが、持病のある人がけっこう多い。ヒジ痛やアキレス腱痛、腱鞘炎、肉ばなれといった職業病もあるが	・副詞。「けっこう(結構)」と「多い」はよく共起する。
9	鈴木健二(著)気づばりのすすめ 1982 OB2X_00230	ないが、そうでなければ遅かれ早かれ没落するに決まっている。世の中はこれでけっこう甘くはないのである。では、努力した結果得られるのは何	・副詞。「甘くはない」というマイナス評価性の語と共起。ただし、「けっこう~ない」という形式をとり、呼応の副詞的。
10	広瀬久美子(著)女の器量はことばしだい 1984 OB2X_00145	からやがて夕焼けになり、日が落ちてと、時をうつしているようで、けっこう楽しいものです。	・副詞。「楽しい」「面白い」は「結構」と共起しやすい。
11	安部公房(著)方舟さくら丸 1984 OB2X_00207	したんだとさ」「やはり新聞記事ですか」「カメラマンなんて、けっこうな商売だと思うけどな」「見掛けほどじゃないよ、ただの見習いだっ	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
12	小松左京(著)首都消失 1985 OB2X_00111	のちかくまで、うまく行けるでしょうか…」「私は戦後、藤沢市にはけっこう長いんでね…」と大田原老人はいった。「市長も助役も、警察	・副詞。
13	ビートたけし(著)たけしの新・坊っちゃん 1986 OB3X_00274	もね、芸能界って大変なところだよ。会社入ってもインチキ臭い事務所けっこうあって、タレントが食べ物にされるんだよ」 そういいながら、幸子を	・副詞。「ある」「いる」も「結構」とよく共起する。
14	北杜夫(著)マンボウ交友録 1986 LBa9_00078	電灯はともされていた。そして、私たちはその電灯の下に坐り、けっこう難かしい本に読みふけたものだ。これも辻邦生や他の先輩の生活を	・副詞。「難しい」というマイナス評価性の語と共起。
15	バーバラ寺岡(著)魅女ってみませんか 1987 LBb5_00010	際だまってさし出さず、「みなさまで召し上がってください」などとひとことそえるとなおけっこう。用件がすんだり、また楽しくて時間を忘れてしまっても、時間を	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。「よい(いい)」の丁寧な表現。ただし、「けっこう。」と形容動詞語幹で文を終わらせると、上位者が下位者に許可するというニュアンスが出てしまう。
16	吉田光邦(著)工芸の社会史 1987 LBb7_00017	通信販売のカatalogが、いくつか復刻されている。書肆の話ではけっこう需要があるらしい。こんなものを誰が利用するかと思うと、デザイナーたちだ	・副詞。
17	ウィリアム・カツ(著)小菅正夫(訳)恐怖の呼び声 1987 LBb9_00104	医学的に、歴史を作るというようなことがあるなら、それはそれでけっこうじゃありませんか」彼は満面で微笑した。	・「けっこうじゃ」→「けっこうでは」。形容動詞連用形。
18	糸井重里(著)糸井重里の万流コピー塾(基本編) 1987 LBb8_00004	ここまで、名取以上の者のコピーを掲載してない。それでも、けっこう面白かった。ここから、位の上の者の分で、どうなるだろう。	・副詞。「楽しい」「面白い」は「結構」と共起しやすい。
19	村上春樹(著)ノルウェイの森 1987 OB3X_00140	しかし本当のことを言えば、僕はその美人じゃない子の方をけっこう気に入っていたのだ。話していて面白かったし、性格もいい	・副詞。

第3章 結構

20	村上春樹(著)ノルウェイの森 1987 OB3X_00140	に鴨を食べ終えて、まだウィスキーを飲みつづけていた。「鱈、けっこううまかったですよ」と僕は言ってみたが誰も返事をしなかった	・副詞。
21	田中光二(著)地の涯幻の湖 1987 LBb9_00060	その仲介者にはしかるべき謝礼を払わなければなりません。結構よ。おかねならじゅうぶん用意してあります。クルザード?それともドル?	・(形容動詞)述語文。文中の「じゅうぶん用意してあります」という表現から「よい(いい)/よろしい/OK」といった意味。
22	緒島英二(著)妖怪ばあさんのおくりもの 1988 LBcn_00010	三人ぐらしだ。おとうさんは、ビル工事の仕事をしている。結構いそがしいらしくて、妹のめんどうは、光ちゃんがよくみていた。	・副詞。児童向け図書。「いそがしい」というマイナス評価性の語と共起。
23	村上春樹(著)ダンス・ダンス・ダンス 1988 OB3X_00282	回転している音が聞こえそうだった。「わかった。今夜会えると思う。結構遅くなるかもしれないけど、それはかまわないかな?」「かまわない	・副詞。
24	村上春樹(著)ダンス・ダンス・ダンス 1988 OB3X_00111	についた傷を指の腹でさすった。刃物の傷みたいに見えた。結構深く、まわりの肉がひきつっていた。「あのですね」と彼は言っ	・副詞。
25	村上春樹(著)ダンス・ダンス・ダンス 1988 OB3X_00111	た。そして咳払いした。「法律的なことなったらかんたら言い出すと結構時間かかりますよ。ただ単に簡単なことを聞いてるだけなんですからね。	・副詞。「時間がかかる」は、聞き手にとっては負担が強いられることであるため、マイナス評価性の語と共起するといえる。
26	近藤啓太郎(著)犬バカものがたり 1988 LBc9_00163	「あと七万は仔犬をひき取りに来て下さるときで、結構です」「じゃ、すぐ店の者に七万円持たして、仔犬を取り	・(形容動詞)述語文。譲歩的な「~で結構です」。発話者にとって若干不利な条件であるが、とりあえず一步譲って妥協するという文脈。
27	辻真先(著)東海道 36 殺人事件 1989 LBd9_00150	かしげないわけにゆかない。だれもが大学へはいたいと思う、それは結構なことだ。だがその欲望を利用して、いわゆる教育産業とはなに	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
28	吉永小百合(著)橋田壽賀子(著)橋田壽賀子と素敵な 24 人 1989 LBd9_00178	ええ。『忍ぶ川』とか『野麦峠』とか、だめなものも結構多かったんです。やっぱり役者っていうのは受け身です。いろいろお話をいただいた	・副詞。「結構」と「多い」はよく共起する。
29	宮川ひろ(著)なくなつたつうしんぼ 1989 LBdn_00011	たんじょう会というのをやったことはありません。それでも、友だちは結構よんでくれて、毎月、だれかのたんじょう会におよばれています。	・副詞。児童向け図書。
30	小林カツ代(著)地球の上の幸せクッキング 1990 LBc5_00013	私も日本では料理の先生で、教室もいくつか持ってて、結構ゆかいでにぎやかで自由にしていると思ってたけれど、負けました、とても	・副詞。
31	ロバート・R・マキャモン(著)/白石朗(訳)スティンガー 1991 LBf9_00163	「お望みであれば、その可能性を算出いたします」「結構よ」ジェシーはききたくはなかった。どうせほかのあらゆることと同様、スティンガーに	・感動詞的。「ききたくはなかった」という表現から、断りの

第3章 結構

			意思表示としての「けっこうよ」。ただし、丁寧に断るといふよりむしろぶっきらぼうで投げつける感じが。
32	安野光雅(著)/森毅(著) 数学大明神 1992 LBg4_00026	は電話以外にもけっこう使える。森 そうね。いろんな番号というのは、けっこうむずかしいですからね。安野 自動車も、前後にこういうプレートをつけて走る	・副詞。後者は「むずかしい」というマイナス評価性の語と共起。
33	安野光雅(著)/森毅(著) 数学大明神 1992 LBg4_00026	言っていぐらい。森 そのへんの苦労を考えたら、二進法って、けっこういいと思うんです。ただ、その代りにね、記憶を外部的にしない	・副詞。
34	弘田静憲(著)天才投手 1992 LBg9_00059	ウェイトレスが水とおしぼりを運んできた。「ああ、水だけでけっこうです。すぐに出ますさかい」 注文を待っている店員に黒沢はいった	・(形容動詞)述語文。限定的な「~だけでけっこうです」。ここで「おしぼりはけっこうです」としたら断りの意思表示としての「けっこうです」となる。
35	鳶信彦(著)新・冷戦後 1992 LBg3_00098	たわいで、こと中東問題に関しては日米間は一致していず、けっこうギクシャクした関係になっている。こういうギャップを抱えた上で、日本	・副詞。「ギクシャクした」というマイナス評価性の語と共起。
36	井上ひさし(著)/山元護久(著)ひょっこりひょうたん島 1992 LBg9_00138	さまでした。パトラ 豆のお味は、どうだったかしら？サンデー とてもけっこうでしたわ。パトラ お塩加減がどうかしら。もしかして、塩っぱいん	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
37	檜山良昭(著)消えた「亜細亜号」 1992 LBg9_00167	「二人で一泊三円だが、いいかい」「けっこう」「それじゃ前金でもらうよ」 安達は三円払った。雪子から	・単独で現れる応答の感動詞(間投詞)的な「けっこう(結構)」。「はい/OK」といった意味。
38	鈴木光司(著)リング 1993 LBh9_00020	のシーツを差し出し、キャビネットを振り返った。「もしよかったら一本どうです。けっこう、話題作が揃ってると思うんですが」「ほう、ビデオのレンタル？」	・副詞。
39	斎藤茂男(著)お子さま戦争 1994 LBi5_00011	の計画どおりにはなかなか行動してくれませんか、連れて歩くのって、けっこうイライラするものですよ。子どもは勝手に。“あっおサルさんだあッ”	・副詞。「イライラする」というマイナス評価性の語と共起。
40	村上春樹(著)ねじまき鳥クロニクル 1994	「遺産相続のことがあるから、みんな女房やら子供やらを引き連れてけっこうまめに見舞いに来るんだ。しょっちゅう顔を出しておかないと、遺言状に	・副詞。
41	椎名誠(著)猫殺し 1994 LBi9_00066	を張りめぐらせてあって乗り越えるのが難しく、もしそこに入りこんでも附近に家がけっこう建ち並んでいるから自由に遊ぶことができない。でも、それがひとたび海	・副詞。
42	星乃慧理(著)血塗りの殺人カード	「これは僕の個人的な推理ですから、聞き流してもけっこうです。ただ、検事正が殺害され、その持病の薬を	・(形容動詞)述語文。条件提示

第3章 結構

	1994 LBi9_00181	処方してい	的な「~てもけっこう(結構)です」。断りの意思表示としての「けっこう(結構)です」は、提案・勧誘等で提示されたサービス・モノ等が「(なくても)けっこう(結構)です」となるため、関連性がみられる。
43	ねじめ正一(著)こちら駅前探偵局 1995 LBj9_00071	あんたの留守に上がり込んで申しわけない」「峡さん。鍛冶木さんで、けっこう筋がいいみたいだよ」 菜々子が口をはさんだ。「菜々公！」	・副詞。
44	アグネス・チャン(著)Dr.アグネスのポジティブ育児 1995 LBj5_00018	自分の力だけでどこへでも連れていける時期なので、行動範囲はけっこう広がります。大勢の人の中で赤ちゃんとふたりきりになるのは、とても	・副詞。
45	日本テレビ編 ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!! 1995 OB4X_00070	千九百八十九年十二月初期のころ▶千九百九十年二月 けっこうブラリブラリ外へくりだした●ガス欠(がすけつ) — 電池式ポンプのなぞ	・副詞。「ブラリブラリ」にかかるか。語調調整的要素がある。
46	田村明(著)イギリスは豊かなり 1995 LBj3_00101	旧植民地の文化人は、イギリスの文化を高く評価している人が、けっこう多い。十年以上前だが、バグダッドの都市づくりで大統領の顧問をして	・副詞。「けっこう(結構)」と「多い」はよく共起する。
47	石井実(著)昆虫ウォッチング 1996 LBk4_00045	たとえば「なぜセミは夏に鳴くの？」という問いに答えるのはけっこうむずかしい。昆虫類の季節の使い方を決めるのは、食物や温度、天敵	・副詞。「むずかしい」というマイナス評価性の語と共起。「けっこう(結構)」と「むずかしい(難しい)」は比較的よく共起する。
48	三田誠広(著)書く前に読もう 超明解文学史 1996 LBk9_00206	出てこないけれども、どこにでもいるような「一般人」が、けっこうクサイ芝居をする。これが十九世紀の小説の特徴とっていいでしょう	・副詞。「クサイ芝居をする」というマイナス評価性の語と共起。
49	中島信也(著)佐藤雅彦全仕事 1996 LBk6_00024	それだけに、そのあたりをカン違いしたディレクターが佐藤さんと組むと、けっこう大変なことになるんじゃないか、という気はしましたね。例えば	・副詞。「大変なことになる」というマイナス評価性の語と共起。
50	隅越幸男(著)痔に悩む方へ 1996 LBk4_00014	といていた患者さんも、「この分なら手術してもらわなくてけっこうです。これ以上悪くしないように、生活や食事の注意をしっかりと守るように	・(形容動詞)述語文。条件提示的な「~なくてけっこう(結構)です」。「手術はけっこう(結構)です」とすれば断りの意思表示としての「けっこう(結構)」となる。

第3章 結構

51	ジョン・フェインステイン(著)/大地舜(訳) 苦悩の散歩道 1996 LBk7_00075	カイトのアマチュアのパートナーはカントリーミュージック歌手のルディ・ガトリンで、 けっこう な腕前でハンディ6だった。ワトソンはいつも、元USGA(米国ゴルフ協会	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
52	小室哲哉(著)/小西康陽(著)/株式会社幻冬舎(著)/野宮真貴(著)With 小室哲哉音楽対論 1996 LBk7_00002	小西 いや、でも、本当にまじめな話、ブーイングとかね、 けっこう 覚悟してたんです。「英語で歌えよ」とか言われちゃうかなと	・副詞。
53	和田秀樹(著)老人を殺すな! 1996 LBk4_00018	高齢者を抱えている人を身近で探す 高齢者を持つ家族は、 けっこう 同じような問題を抱え、同じような悩みを抱えていることが多い。医者	・副詞。
54	内田康夫(著)札幌殺人事件 1997 LB19_00232	現出した。裕美も何度か行ったことがあるけれど、それはそれで けっこう 楽しめたから、「大ホールに」という発想などまるで持たなかった。人それぞれ	・副詞。
55	鶴田洋子(著)話してみようよもっと! 1997 LBln_00015	そんなときに、だれに聞いてもらうかとなると、これが けっこう むずかしい。まあ、親切な人っていえば、おかあさんかな。でも、	・副詞。「むずかしい」というマイナス評価性の語と共起。児童向け図書。
56	大沢在昌(著)氷舞 1997 OB5X_00123	らしいが、印象に残っているのは、その女くらいだそうだ。ロビーは けっこう 混んでいた 「次はこっちだ」 藪が立ちあがって、本棚に	・副詞。
57	シドニィ・シェルダン(著)/木下望(訳)氷の淑女 1997 OB5X_00108	彼の向かい側に座った。「なにか飲み物でも?」「いえ、 けっこう です。昼食をすませたばかりですから」彼女はジェフ・コナーズのことを	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「けっこう(結構)です」。ここでは「いえ、けっこうです」となっているため明確性がある。
58	後藤明夫編 Jラップ以前 1997 LB17_00049	ディスコが盛んだった時期、生バンドが入るっていうことが けっこう あって、お客さんはバンドの顔とかには興味がなくて、いかに	・副詞。
59	赤瀬川原平(著)老人力 1998 OB5X_00278	だって飼ってみれば癖はそれぞれだし、人間もつき合ってみると、それぞれ けっこう ヘンな癖を持っていて、自分と同じようなことやってる人がある	・副詞。「ヘンな」というマイナス評価性の語と共起。
60	ブルーガイド編集部編 おいしいラーメン・餃子の店 1998 LBm6_00006	の具は厚めのチャーシュー、メンマ、のり。緑の三つ葉がさわやかだ。 けっこう なボリュームで腹持ちもいい。	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
61	森村誠一(著)ガラスの恋人 1999 LBn9_00097	「携帯の番号だけ聞いておいたわ」 「それで けっこう だよ。さし支えなかったら、きみの番号もおしえてください」 奈緒美は問われる	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
62	村上春樹(著)スプートニクの恋人 1999 OB5X_00228	ば寝つきはいい。生理は軽い方。虫歯は一本もない。スペイン語が けっこう 話せる」 ミウウは顔をあげた。「スペイン語ができるの?」 すみれ	・副詞。
63	動物占いプロジェクト(著)恋愛動物占い 1999 LBn1_00014	貯金が得意なひつじは、自分の預金通帳をじっくり眺めるのが大好きなタイプ。 けっこう ケチっぽいですが、世のため人のためとなる募金には積極的に参加	・副詞。「ケチっぽい」というマイナス評価性の語と共起。
64	みなみらんぼう(著)らんぼうの温泉浪漫 1999 LBn6_00017	そんなふう に 思いながら、湯に入り、たっぷりと息を吐き出す。 けっこう 熱めの湯である。この大風呂は全体が石できているが、何	・副詞。
65	飯田正人(著)麻雀・必	テンパイしていない者はノーテン罰符を支払わなけれ	・副詞。「イタ

第3章 結構

	勝の戦術 2000 LBo7_00045	ばならない。これはけっこうイタイ。たとえば、1人 ノーテンを2回食らえば、他家3者と八千点の	い」というマイ ナス評価性の 語と共起。
66	篠田節子(著)交錯する 文明 2000 LBo9_00116	ないから、わからないのよね」と、確信犯的発言。実 は彼女、けっこう危ないヒトかもしれない。しかし春 子さんが写したものを私は知って	・副詞。「危な い」というマイ ナス評価性の 語と共起。
67	黒川博行(著)疫病神 2000 LBo9_00159	「名目は古川橋の現場の追加工事、それでいいですな」 「けっこうです。お願いします」頭を下げた。藤田は工 事部に電話を	・(形容動詞)述 語文。「お願い します」表現か らすると肯定 の返事になる が、かなりやや こしい。
68	麵通団(著)恐るべきさ ぬきうどん 2000 LBo6_00019	にはC級、D級どころかZ級のうどんが、県外人には “けっこうおいしい”となるのだ。この店も県外客が多 くなったから麺がやわらかく	・副詞。この例 は、「けっこう (結構)」の相対 的側面をよく 表している。
69	嵐山光三郎(著)断固、 不良中年で行こう！ 2000 LBo9_00017	スタイルだけが自慢で、しゃべりおろしの本を出し、 これがひどい内容なのにけっこう売れて、また偉そう になり、いっばしの知識人気取りで、かわいこぶって、	・副詞。
70	山田登世子(著)/植島啓 司(著)あら皮 2000 LBo9_00258	山田 たしかにとっつきやすい作品ではない。訳はず ごくいいのに私もけっこう苦労して読みました。でも その分、読んだあとに残る作品だと	・副詞。「苦労し て」というマイ ナス評価性の 語と共起。
71	岡野あつこ(著)離婚し て幸せになる人不幸に なる人 2001 LBp3_00002	「冗談じゃない。そんなことを言うのなら、働かなくて もけっこうだよ」なんて、意地をはっちゃう夫もい るのですから。 とにかく能力	・(形容動詞)述 語文。「~なくて もけっこう(結 構)です」
72	藤原伊織(著)雪が降る 2001 LBp9_00086	「ぼくのほうから、そちらの近くまでうかがいます。時 間はいつでもけっこうです」 この近くなら、銀座か 有楽町ということになる。いまそのあたりは	・(形容動詞)述 語文。「(時間は) いつでもけっ こうです」は慣 用的表現。他者 への配慮表現 ともいえよう。
73	ぼに一てーる編著 ケ ータイ着メロ・メロデ ィメール 2001 PB15_00175	ちょっと幸運過ぎて怖い時 まさかと思っていた、宝 くじの当選！ しかもけっこうな金額。まわりに自慢 メールを送るなら、「ラッキーすぎて、なんだかコワ～ イ	・形容動詞連体 修飾。比較的少 ない表現。
74	花村萬月(著)触角記 2001 LBp9_00013	晶子はいままでイメージと微妙に違う面を見せはじめ ている。けっこう可愛い奴なんだなあ…次郎はベッ ドの上でポーズをとり続ける晶子を見つめ	・副詞。
75	二階堂黎人(著)人狼城 の恐怖 2001 PB19_00407	そして、ゆっくりと三十数えたら、また、ここへ入っ てきてくださってけっこうです」 ルーデンドルフ主 任警部は頷き、私たちは外へ出た。私が代表	・(形容動詞)述 語文。これは 「許可」の「け っこう(結構)」 といえるか。
76	大高未貴(著)シルクロ ードがむしゃら紀行 2001 PB12_00343	たので、毛さんと儀礼的な会話を始めたのだが、これ がけっこうやっかいな方向にってしまった。「毛さん はアメリカの何処に留学し	・副詞。「やっか いな」というマイ ナス評価性 の語と共起。
77	村松友視(著)/赤瀬川原 平(著)/阿川佐和子(著) 老人力のふしぎ 2001 LBp9_00204	僕なんかは、人に「ま、いいか」って任せられるとい うのはけっこう老人力じゃないかなって気がするんで すよね。阿川 たえば大きな失敗	・副詞。これは 推察の「結構」 か。「多分/なん となく」といっ た意味か。

第3章 結構

78	ソメノヨシテル(著)/ハクスイタケヒロ(著)/分担不明 Boon (ブーン) 2002 PM21_00227	意外や意外、YESが3割。予想以上の多さにビックリ！ けっこう みんなアクセスしてる事が判明。でもやっぱりNOが多いみたい。その理由とし	・副詞。この文脈では、当初低く見積もっていたものが「意外や意外」かつ「予想以上の多さ」の場合が「けっこう(結構)」ということか。
79	伊藤公雄(著)「できない男」から「できる男へ」 2002 PB23_00258	しかし、面と向かって〈男らしさ〉を定義するのは、 けっこう むずかしい。〈男らしさ〉についての議論をするとき、その基礎的	・副詞。「むずかしい」というマイナス評価性の語と共起。「けっこう(結構)」は「難しい(むずかしい)」と比較的よく共起する。
80	実著者不明 H a n a k o 2002 PM21_00703	四つんばいになってグリップを持ち、前に押し、足が伸びたら手前に引く。 けっこう しんどい！ ウェスト、腹筋に○。(ダブルエクササイズウィール)千五百円(ケイアンド	・副詞。「しんどい」というマイナス評価性の語と共起。
81	椎名誠(著)風まかせ写真館 2002 LBq9_00166	陽ざしがとてもいい日に、ぼくは一人で小さな田舎の町にいて、 けっこう 暇であった。こんな日はめつたにないことだから、旅館の朝食をたべ	・副詞。
82	風間九郎(著)美姉妹狩り 2002 PB29_00199	し、風通しもよさそう。ユニットバスなのが惜しいけど収納もたつぷりだし、 けっこう 掘り出し物件かも…)東京での一人暮らしに憧れている真奈美は、雑誌や	・副詞。「けっこう~かもしれない」という呼応の副詞的な用法。
83	天外伺朗(著)宇宙の根っこにつながる生き方 2002 PB21_00018	短時間の瞑想ですから、楽に座れば基本的にはどうい姿勢でも けっこう です。ただし、上半身はなるべく垂直にします。	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
84	藤原伊織(著)蚊トンボ白鬚の冒険 2002 PB29_00698	にいるんだよ」 〈わかんない。でも事実そうなの。ここ、 けっこう 窮屈なんよ。だけど、贅沢いったらバチ当たるかなあ) 「あたりまえじゃ	・副詞。「窮屈なん」というマイナス評価性の語と共起。
85	井上加織(著)Z i p p e r (ジッパー) 2002 PM21_00978	ばっちりでしょ？靴は？ギャル派はコレを選んだ！「ギャルショップの靴って けっこう 使えるんだよ。安いののにディテールが凝ってるところもたまらない！」	・副詞。
86	伝加代子(著)女性セブン 2002 PM21_00574	たい一心で「あれっ」と思いながらもひとりで進めてきたけれど、これが けっこう 疲れるのよ。しかも自分じゃ決められないくせに、文句だけは一人前。全部	・副詞。「疲れる」というマイナス評価性の語と共起。
87	実著者不明/永江朗(著)/野田正彰(著)エコノミスト 2002 PM23_00037	講談社としての回答だといえるだろう。かつての名作の復活は大いに けっこう 。しかし、これだけでいいのか。作品は昔のものの焼き直し、読者も	・(形容動詞)述語文。「大いに けっこう 」で慣用的な表現。
88	生島ヒロシ(著)生島ヒロシの50歳からの健康上手 2003 PB34_00316	は、太ももやすねの裏側の筋肉に力が入る感じです。どちらも、 けっこう きついので、慣れないうちは一セットもできないかも。 「自転車	・副詞。「きつい」というマイナス評価性の語と共起。
89	実著者不明 C A R B O Y 2003 PM35_00210	の天下です。まだパーツのリリースも少ないのでノーマル車ばかりだったけど、 けっこう ヤル気マンマンの方も多数。「パーツメーカーさんお願いします」って言ってまし	・副詞。
90	タカコ・H・メロジー	3種を使うとより味わいを発揮するのがこのレシピ。	・(形容動詞)述

第3章 結構

	(著)素パスタがおいしい。 2003 LBrn_00021	種類は何でもけっこう。きのこのサイズだけは同じくらいにカットしてください。来客用としても	語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
91	日野みどり(著)香港・広州菜遊記 2003 PB35_00343	食べ物とは何か、である。これを真面目に習得しようとする、けっこう面食らうことが多い。なんと言うか、さっぱり傾向がつかめない感じなのだ。	・副詞。「面食らう」というマイナス評価性の語と共起。
92	玄月(著)おしゃべりな犬 2003 LBr9_00160	はなくなった。あのころ親父の靴工場はすでに従業員が数十人おり、けっこう儲けていた。従業員のほとんどがチンゴロ村の男で、その妻や子供	・副詞。
93	駒村吉重(著)ダッカへ帰る日 2003 PB33_00192	の層に限られてくるわけだ。出稼ぎを送り出す地域は、かつてはけっこう偏っていた。ダッカや、カン兄弟が生まれたクツミラ、チッタゴンなど東部の	・副詞。「偏って」というマイナス評価性の語と共起。
94	スガシカオ(著)/山崎まさよし(著)/Jesse(著)対談上手 2003 PB37_00150	人間って、知識があるから。山崎 うん。最近の人たちって特に、けっこう難しい言葉を使ってるよね。Jesse 使う。山崎 韻を踏んでるから、	・副詞。「むずかしい」というマイナス評価性の語と共起。「けっこう(結構)」は「難しい(むずかしい)」と比較的よく共起する。
95	水谷隆介(著)/野崎真理子(著)大丈夫。ちょっとした「ひと言」で愛される 2003 PB31_00063	にテンポを合わせながら会話をする。言葉にするのは簡単ですが、けっこう難しいものです。相手のことを思っているつもりでも、ゆき違うこと	・同上。
96	岩城京子(著)/木谷節子(著)Weeklyぴあ 2003 PM31_00146	あなたは、この夏ぜひ、川村記念美術館に行ってみよう。「現代美術はけっこうわかる」と目からウロコが落ちるはず。人間の最もベーシックな部分を掘り下げる	・副詞。これは意外性の「けっこう(結構)」。
97	木村拓哉(著)開放区 2003 OB6X_00063	絵の教室にも通ってたから、絵を描く機会はガキのころから、けっこう多かった。絵を描くよりも、ほんとは先生が好きだったんだけどね	・副詞。「けっこう(結構)」と「多い」もよく共起する。
98	西山昭彦(著)本気ではじめる大人の勉強法 2004 LBs0_00002	を分析し、その結果、「やっぱりこういうことは言える」となる。結論はけっこう簡単なことなのだが、それを証明するというのは大変な作業で	・副詞。
99	森毅(著)科学の10冊 2004 PB44_00074	ているので、やさしそうに見えるが、その論理を組みあげていくのに、けっこう骨がおれる。とくにぼくの場合は、「宵ごしの本」を持たぬ性癖	・副詞。「骨がおれる」というマイナス評価性の語と共起。
100	レイモンド・カーヴァー(著)/村上春樹(訳)必要になったら電話をかけて 2004 LBs9_00225	「もう少しもらおうかな」とロバートは言った。キャロルは、「もうけっこう」と言って、カップの上を手のひらで塞いだ。ニックは首を振った	・(形容動詞)述語文。文脈からすると、「拒否」の「けっこう(結構)」か。
101	実著者不明 JJ 2004 PM41_00223	自慢できるぞ体育会系シャネルウェアが可愛いから、そのスポーツを始めるパターンって、けっこうあります。まずカタチから、だってJJ的にはすごく大切。そういう意味で	・副詞。
102	中谷彰宏(著)「みっともかわいい」君が好き。 2004 PB41_00081	メイクしている女性に何を話しかけても、応対がうわの空です。けっこう楽しい幸せな時間になっています。 四十二 みっともかわいくするために恥ずかしいところで	・副詞。
103	柏木垂希(著)気まぐれ雑記帳 2004 PB40_00037	バッハといえば『マタイ受難曲』などの重苦しい作品のイメージしかなかったが、けっこう粋なおじさんだったのかもしれない、と想像させるほど軽快で楽しい	・副詞。

第3章 結構

104	パパラッチ隊(著)MO RE (モア) 2004 PM41_00527	ピーリング。あごからスタートし、口まわり、目もと、首まで丁寧に当ててくれるが <u>けっこう</u> チクチクする！ 皮膚は傷つかないってマジ～！？3 カーボンの黒い粉末を	・副詞。「チクチクする」というマイナス評価性の語と共起。
105	黒川博行(著)絵が殺した 2004 LBs9_00241	運んで来た。「えらいすんませんな、散らかして」「いえ、 <u>けっこう</u> です。他にお客さんいてはらへんし」 学生風の男女はさっき	・(形容動詞)述語文。「いえ、けっこうです」とあるが、「他にお客さんいてはらへんし」という表現から、「散らかしてもかまわない」といった意味になろう。
106	荒木真喜雄(著)四季をよそおう折形 2004 PB43_00409	足りません。【 <u>カッターナイフ</u> 】用紙を裁断するために。事務用品の物で <u>けっこう</u> です。	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
107	豊永典子(著)100%オー ジーライフ 2005 LBt3_00135	もしばしば。わが家の壁にはアボリジニのカレンダーを飾っている。オーストラリアらしくて <u>けっこう</u> 気に入っていた。新しい月に入り、いつものようにカレンダーをめくる	・副詞。
108	今森光彦(著)実著者不明 クロワッサン 2005 PM51_00608	さ寒さの我慢も当然、当たり前という感覚だ。撮影というのは、 <u>けっこう</u> 肉体的につらい仕事なのである。私はこのとき初めて、背骨が曲がる	・副詞。「肉体的につらい」というマイナス評価性の語と共起。
109	最上鷹夫(著)過去からの声 2005 PB59_00061	止めた。「あのアパートはもうないですね」「古かったからね、みんな <u>けっこう</u> な立ち退き料をもらって出ていったらしいよ。一人だけ、最後まで女の	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
110	アンドウマサヒロ(著) 実著者不明 s a b r a 2005 PM51_00034	やり方を書いた解説書も必要。また、終わったあとの空しさが <u>けっこう</u> あるから、その気分を和らげる機能も欲しいね。A モノはガラッと変わって	・副詞。
111	花村萬月(著)なで肩の狐 2005 LBt9_00162	は成功者だよな」「おまえと比較されたくないなあ」「 <u>けっこう</u> 棘のある言いかただぜ。傷つくぞ」 笹山はニヤリ笑って、蒼ノ海を	・副詞。「棘のある」というマイナス評価性の語と共起。
112	D・B・ワイス(著) 鈴木豊雄(訳)ラッキー・ ワンダー・ボーイ 2005 LBt9_00234	ボーイの脚本に着手し、口笛でオープニングファンファーレをかなでながら仕事に取り組んだ。 <u>けっこう</u> 順調に進んだ。ぼくはどうやらシナリオライティングといったもののコツが身に	・副詞。
113	岩田洋季(著)護くんに女神の祝福を！ 2005 PB59_00095	なんのその、初々しい一年生たちを微笑ましい気分で眺めた。先頭にいるのは、 <u>けっこう</u> 可愛い子である。ぱっちりした明るい感じの顔立ちに、ツインテールがよく似合って	・副詞。
114	有以このみ(著)ユカのこころの旅 2005 PB59_00077	にも横にも並べたり積んだりしながら使うという、まるでパズルのような <u>けっこう</u> 楽しい本棚になっていた」 マリーがそれを聞いていて、ふふと	・副詞。
115	萩原光(著)お母さんの抱っこでよい子に育つ 2005 LBt5_00005	から、「失敗を繰り返しながら、身につけていく」という試行錯誤は、 <u>けっこう</u> 苦手な子が多いのです。未知の分野に、根気強く挑戦していく	・副詞。「苦手な」というマイナス評価性の語と共起。
116	岳 真也(著)日本楽名山 2005 PB52_00145	主峰・安達太良の岩峰が追ってくる。「ふもとで見るのとは大ちがい… <u>けっこう</u> 凄い山じゃないですか」 肩を上下させて激しく息をつきながら、	・副詞。ここでの「凄い」はプラス評価性。
117	佐藤利明(著)男はつらいよパーフェクト・ガ	大安売り、もうけは、いらぬ、帰りの電車賃だけ頂ければ、それで、 <u>けっこう</u> 、ね、お嬢さんーはい、手	・(形容動詞)述語文。書名から

第3章 結構

	イド 2005 PB57_00148	に取って見て頂きたい、どう、	すると寅さんの売り口上か。
118	ヴァイオレット・ウィンズピア(著) 安引まゆみ(訳)恋のクルーズ 2005 PB59_00024	それとも、ディナーまで空腹を我慢しますか? 「いいえ、けっこうですわ」デラは冷ややかな目で答えた。相手はデラがひとりぼっちで、ねらい	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「けっこうですわ」。
119	ホセ・マリア・アルゲダス(著) 杉山晃(訳)ダイヤモンドと火打ち石 2005 PB59_00209	「ドン・アバリーシオの笑い声は、広場まで聞こえてたな」 「けっこうなご身分さ。やつの農場じゃ、インディオが、千人ぐらい働いているん	・形容動詞連体修飾。慣用的表現の「けっこうなご身分」。
120	ステラ・バグウェル(著) 浜口祐実(訳)拒まれた情熱 2005 PB59_00254	「牧場まで乗っていくかい?」ワイアットはマギーに尋ねた。 「けっこうよ、歩くから。途中でわたしの馬が見つかるかもしれないし。ガブリエルが	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「けっこうよ」。
121	フラン・オブライエン(著) 大澤正佳(訳)ハードライフ 2005 PB59_00541	はいかない抜け目ない女かもしれないけれど、いざとなればきつい脅しにはけっこう弱いんじゃないかな。それから、そう、きみが知ってることをミスタ・	・副詞。「弱い」というマイナス評価性の語と共起。
122	渡辺淳一(著)懲りない男と反省しない女 2005 PB59_00641	俺の考え方は間違っていなかったかなどと、人生全体を眺めわたして、けっこう考えたり、悩んだりしている。女1そんなことはもちろん、女性にもあり	・副詞。
123	村上 春樹(著)東京奇譚集 2005 OB6X_00147	覚まして怒った。 「でも、あなたに出会ったおかげでこの一週間、けっこうどきどきしながら毎日を過ごすことができました」と彼女は言った。「そう	・副詞。
124	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_02903	いざというときにはかなり役に立つはずですよ。動物の治療費はけっこう高くついたりするものですよ。でも、もとを取ろうと思って入会し	・副詞。
125	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_03818	最近簡単な自炊を始めたのですが、けっこうめんどくさいので困っています^^ ; 冷凍させて保存させておくといい	・副詞。「めんどくさい」というマイナス評価性の語と共起。
126	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_11145	お給料が少ないのに、首に持病があり、整形外科の診察やリハビリにけっこうお金がかかります。心療内科も受診しているので、これもまたかかり	・副詞。
127	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_01496	を教えてください。地銀・都銀のどちらを想定して、ご回答いただいてもけっこうです。よろしく願います。上司の言うことを何も考えずにはいと	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
128	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_01064	百センチ十三キロと痩せ型なのに大きいね〜とか言われます。他人ってけっこう適当にものを言う人いるので……。子供を見ると「かわいい	・副詞。「適当にものを言う」というマイナス評価性の語と共起。
129	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_03763	新しいアルバム(CD)をプレーヤーに転送したいとき、どのアルバムをリストからはずすかけっこう迷います。	・副詞。
130	Yahoo!知恵袋 2005 OC15_01085	パチンコで、ノーマルリーチからそのまま当たりする事ってありますか?海シリーズではけっこうありますね。他の機種ではごくまれにありますね、ノーマルで当たる事	・副詞。
131	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_06667	世話がかからないですからね。キウイもいいですが大きくなります。ブドウ類はけっこう世話が大変です。我が家の金網のフェンスにはアケビを絡ましています。	・副詞。「世話が大変です」というマイナス評価性の語と共起。
132	Yahoo!知恵袋	もっと続けたら分かるようになるんでしょうか。私も、	・副詞。「ガタガ

第3章 結構

	2005 OC10_03931	初めのころは、 けっこう ガタガタでサンプルのようにキレイにはならなかったです。でも3ヶ月くらいつける	タ」というマイナス評価性の語と共起。
133	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_03324	かかることをおすすめします。風邪でものどの消毒をしてもらえるし、 けっこう 痛いですが、ききますよ。	・副詞。「痛い」というマイナス評価性の語と共起。
134	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_13963	なら大丈夫ですか？ああ、なんかツライです……。私の浪人時代は けっこう 普通に恋愛している人もいましたよ☆私もしていました	・副詞。語調調整的要素がある。
135	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_03066	どうよ、あんた達？？？？？でもあれって けっこう 難しいよ～自分もレコーディングするけどできる人いいな～と思う。ある意味オリジナル作るより	・副詞。「難しい」というマイナス評価性の語と共起。
136	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_04083	ネバーランド見て惚れました。泣けました。へそ曲がりなのかな？大作 けっこう 嫌いなタイプなんです…。大作というか、あんまりに流行っているもの	・副詞。「嫌い」というマイナス評価性の語と共起。
137	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_02646	日中お昼寝してる時などはスースーと寝息だけなのですが、夜は けっこう な大音量でビービーとイビキが出ています。女の子なので先々心配な	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
138	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_03380	に異常があるのでしょうか。みてもらうしかないでしょう。軽はちょっとヒットすると けっこう ゆがむんです。	・副詞。「ゆがむ」というマイナス評価性の語と共起。
139	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_08422	撮影ができないのが欠点だと思います。どうでしょう、、スペックを見る限り けっこう 良さそうなんです。価格が4万円以下だったら欲しいかなと	・副詞。
140	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_00055	出品者の方で、最初のメールに住所を書いてこない方が、 けっこう 多いですよ？どうせ品物を送る際に送り状に記入するのだから、最初	・副詞。
141	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_04396	の興隆から楊貴妃の死に至るまでの歴史も面白いですよ。宮城谷氏は けっこう いい加減なことも書いているので私はあまり好きではありません。	・副詞。「いい加減」というマイナス評価性の語と共起。
142	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_10554	転職した人はいませんか？」ふぬーん二十年ほど前、 けっこう いました。いわゆる荒れた状態の中学校教員で大手学習塾の採用試験を	・副詞。
143	Yahoo!知恵袋 2005 OC03_02314	名を使った場合、問題はありますか？既存の楽曲のなかに、 けっこう ありますが？使う側としては、せいぜいNHKで歌えない程度だと思います	・副詞。
144	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_05706	されたのかをできるだけたくさん知りたいのですが、知っている範囲で けっこう ですので、FFシリーズで、移植されたゲーム機を教えてください。たとえば	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
145	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_05253	漫画って知らないうちに けっこう な金額使ってます？いままで漫画に何円くらい(漫画雑誌やコミックあわせ	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
146	宮地裕ほか(著)国語 六上 創造 2006 OT01_00005	が、「まだおこってるのか。」と、笑いながら言った。「ひろしも けっこう 根気あるんだなあ。」 根気とは、ちょっとちがうと思う。どっちにし	・副詞。
147	加藤周一ほか(著)国語 総合 2006 OT03_00004	貧富の差がなく、国民の所得が平等に近いということは大いに けっこう なことである。だが、人それぞれの意見までが同じ、となると話	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
148	Yahoo!ブログ 2008 OY15_21851	念のため、知らない人のために、チョコレートディスク 歌詞も含めて、 けっこう お気に入り	・副詞。
149	Yahoo!ブログ 2008 OY15_02195	当0.72回転 4k。甘乙女、初当たり遅いやつも けっこう ある。当2.74回転 3k。百くらいで来	・副詞。

第3章 結構

		ないとね	
150	Yahoo!ブログ 2008	2・サザエさんにジャンケンでよく勝つ。→→ビミョーですね。あいこがけっこう多いです。3・砂糖と塩を間違えた事がある。→→ないですね	・副詞。
151	Yahoo!ブログ 2008 OY14_43159	今もこうしてブログりながらコロコロ首筋なんかやっていますが。。。けっこう気持ちいいのでございまウ～～リラックスしてしまい、麻生病のように	・副詞。
152	Yahoo!ブログ 2008 OY08_01440	て作製されたそうです。文字は看板やさんに頼まれて、これがけっこう高くついたようです。すべて自費だそうです。根っこのオブジェに看板を取り付けて	・副詞。「高くついた」というマイナス評価性の語と共起。
153	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02069	それまで気づいていなかったのですが、お母さん某の家はけっこう窮してしたものやはり写真館という持ち家があるからか裕福な人の	・副詞。「窮してした(*窮していた?)」というマイナス評価性の語と共起。
154	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02052	会いしましょう。ブロック・パーティの新曲がかなり、面白い、のでここに来てけっこうライブが楽しみです。彼らのステージは3回ぐらい観てるけど、「歯がゆい」	・副詞。
155	Yahoo!ブログ 2008 OY03_10700	ました♪♪皆さんにもできるならば、食べさせてあげたい☆写真がけっこう実物の「おいしさ」に近く撮れたので、これでガマンしてくださいね	・副詞。語調調整的要素がある。
156	Yahoo!ブログ 2008 OY15_22942	茶坊主もしっかり緑茶、紅茶、烏龍茶、麦茶すべて国産で揃えたお茶もけっこう好評(^_^)お酒は夜の部まで出ませんので皆さん、お茶を	・副詞。ただし「好評(形容動詞語幹か)」にかかる。
157	Yahoo!ブログ 2008 OY14_15069	が来ていましたが謝るのは職場の方にでしょうがうーん するとけっこういままでも 仕事に行かないで写真にうつつを抜かしているときもあった	・副詞。語調調整的要素がある。ほとんど意味らしい意味がない。
158	Yahoo!ブログ 2008 OY14_32560	出会う」、東京国立博物館この展覧会は今日まで。それもあってか、けっこうな人出だった。内容は古代から、中世、近代までのスリランカ美術を一望する	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
159	Yahoo!ブログ 2008 OY13_00310	それら十点だけで埋め尽くされていました。いくら各作品がけっこう大きくても、作品が十点なので、全部をわずかに十分ほどで見	・副詞。
160	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37851	K-1は、誰が出るかも知らずに見ただけど、けっこう面白い試合が多くて、満足☆私が応援してる選手が勝ったのが多かつ	・副詞。
161	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25444	なんだか盛りだくさんの一日だったな～。昼走るのけっこう楽しかったのでヒマな日があったら一人でも行こうと思いました。	・副詞。「楽しい」「面白い」は「けっこう(結構)」と共起しやすい。
162	Yahoo!ブログ 2008 OY14_23923	一人所帯ながいたため、けっこう主婦能力はあります。料理はけっこうなんでもつくれます。好き嫌いがないため自分はなんでもOKなので	・副詞。語調調整的要素がある。
163	Yahoo!ブログ 2008 OY14_46187	育ちきれなかったダイコンをそのままにしていたら花が咲きました～けっこう綺麗・・・じゃ・・・今夜は飲みに出てきます・・・	・副詞。ただし「綺麗(形容動詞語幹)」にかかる。
164	Yahoo!ブログ 2008 OY03_06134	説明書を見ながら焼いてみる。オーブンでざっと四十分も焼くのか？けっこう面倒だなあ。そうやって焼き上がったリンゴはかさが減って、返って損した	・副詞。「面倒だ」というマイナス評価性の語と共起。

第3章 結構

165	Yahoo!ブログ 2008 OY11_05754	けっこうきつかったですねえ 画像が、うまくリンク先から表示されないの、移動	・副詞。「きつかった」というマイナス評価性の語と共起。
166	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02151	陸地のゴールを目指す。5人参加で、合計何秒かを競う。けっこう難しかったみたいで、四十七、3秒で、優勝は、三十六、8秒	・副詞。「難しかった」というマイナス評価性の語と共起。
167	Yahoo!ブログ 2008 OY11_08044	の私の生活では就職ネタかアニメ、漫画、ゲームネタぐらいしかないのだからけっこう微妙な更新頻度になってますこの時期にネタになるような出来事なんて起こられ	・副詞。「微妙な」というマイナス評価性の語と共起。
168	Yahoo!ブログ 2008 OY14_26413	取れて感動した。また追加で買おう。絵描いたり手紙書いたりすると、けっこう手が汚れるからなあ。	・副詞。「手が汚れる」というマイナス評価性の語と共起。語調調整的要素もある。
169	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21619	な存在（失礼）ながらも、地元密着でがんばってきたトリニータ。観客動員はけっこう良いんですよ。Jリーグの十五年の歴史を簡単に見てみると	・副詞。
170	Yahoo!ブログ 2008 OY07_01107	ボディービルダーはプロテイン飲んでるし）女子バレーの選手は足が太いだろうか？けっこう足をいじめているはずなのに。がんばって鍛えてもせいぜいバドミントンの選手くらい	・副詞。「足をいじめている」というマイナス評価性の語と共起。
171	Yahoo!ブログ 2008 OY15_04414	2. 8D（N）のついたD三百を手渡すと「おお、これはけっこうな重さですね」と。私はいつもこの組み合わせばかりなため、重いと	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
172	Yahoo!ブログ 2008 OY03_09602	今日は雨です。しかも、けっこうな降り方です。一つだけ仕事があるから行かないと。頑張るか！	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。
173	Yahoo!ブログ 2008 OY07_01540	眠ってしまいますが、繰り返し続けて 基礎体力の回復を目指します。パソコンもけっこう疲れるので この後は眠ること間違いない。息子のお迎えまでは まだ	・副詞。「疲れる」というマイナス評価性の語と共起。
174	Yahoo!ブログ 2008 OY15_17640	船は苦手なくせに、航海記とかけっこう好きなんです。読んでいる分には別に揺れたりしませんし、	・副詞。
175	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04770	のアヂトのお母さんのレシピ本に載っていたのですが、スルメってけっこうお高いのよね。一枚とかで売ってないし…。ま、乾物	・副詞。
176	Yahoo!ブログ 2008 OY15_05867	しいてあげるなら麦わら帽子？そのサイズだったりとか色だったりとかけっこう悩んだりしたんですよ。ちなみにストラップ部分はまだ検討中。	・副詞。「悩んだりした」というマイナス評価性の語と共起。
177	Yahoo!ブログ 2008 OY15_02395	ですが、夏はエビたっぷりのお好み焼き、冬はカキたっぷりのお好み焼きで、けっこう評判になってます。1枚目 三原方面への赤穂線です2枚	・副詞。
178	Yahoo!ブログ 2008 OY14_23391	生活にもすっかり慣れてきたなあと感じています。引越当初に味わったけっこうな違和感もすっかりといえば大げさですが、かなりなくなりました。風景が「	・形容動詞連体修飾。比較的少ない表現。「違和感」というマイナス評価性の語と共起。
179	Yahoo!ブログ 2008 OY15_22942	子どもが可愛かったのでこの写真も保存保存♪仮装さえしてなきゃけっこう微笑ましいので飾れる写真です。ダーツや射的は子どもは見学です。自分の親の	・副詞。語調調整的要素もある。
180	Yahoo!ブログ	で頂き・・・まあ・・・それなり！^0^；ちっちゃ	・副詞。逆説的

第3章 結構

	2008 OY14_32075	いお店だけど、 けっこう 人、入ってた・・・ちっちゃいクリスマスツリーも飾ってあった。。。たまに	な文脈で使われる「 けっこう (結構)」。
181	Yahoo!ブログ 2008 OY14_06257	アルゼンチンのミスに助けられて日本リードで進んでいったね♪やっぱり ゴッツ が けっこう 活躍してて、すごい吼えてて、素敵だった☆≧▽≦☆タイムアウト	・副詞。
182	Yahoo!ブログ 2008 OY05_05996	を伸ばしてくれるというもの。なるほど。逆さまに干すためには角型ハンガーが けっこう 必要になるかもしれません。それでも面白そうなので、今度試し	・副詞。語調調整的要素もある。

3.7.5.3 検索語：「けっこう」（全15件）（2021/01/24時点）

図表 3.37：「けっこう」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	神坂一(著)聖王都動乱 1991 LBf9_00206	短編集じゃ、あとがき独り占めできたじゃない。L：許す。作：… けっこう アバウトな奴…さては魔族がそこそこ強いんで、わりと上機嫌になってるな	・副詞。カジュアルな会話文体。
2	折原みと(著)地球 1993 LBh9_00021	リーダー格の男の子の部屋だ。りおと同じで、 けっこう いいトコのお坊ちゃんらしいけど、親に反抗して、ひとり暮らしをしてるらしい	・副詞。同上。
3	くれこ ゆう(著)恋のおクスリ「ふたりぶん」 1993 LBh9_00053	へんな魔術に、かかんないよね!？」 あたし、 けっこう ビビってる。「バッカだねえ。まだそんなコト言ってるの!？」	・副詞。同上。
4	しりあがり寿(著)しりあがり寿の多重人格アワー 1996 LBk0_00014	ないほど家が貧乏なのね…」女 「うちは医者で一す。 けっこう お金持ちで一す。	・副詞。同上。
5	高橋良輔(著)こどものおもちゃ 1997 LBi9_00072	「え？ そりゃ疲れますけど、でも、文章書くの けっこう 楽しいし」「エライねー。やっぱり倉田実紗子さんのお嬢さんだね」	・副詞。同上。
6	岸香里(著)ヤンドル 2000 LBo4_00004	「石塚先生の私生活？ けっこう 遊んでみたいよ。奥さんがいるのに、同じ病棟のナースとも深い仲だ	・副詞。同上。
7	伊達将範(著)Daddyface 冬海の人魚 2001 LBp9_00226	比丘尼の遺言を解き明かしたってのも気になるしさ。ここらじゃ、 けっこう 有名な話らしいしい〜」	・副詞。同上。
8	折原みと(著)風色の自由王 2002 LBq9_00222	まあ、あたしも彼女とはケンカもするし、 けっこう 言いたいこと言ってるほうだとは思うけど、さすがにここまでは…!？」	・副詞。同上。
9	折原みと(著)風色の自由王 2002 LBq9_00222	一応、十七歳。(汗) しかも、カストリア国の王子に向かって、 けっこう な暴言かも。 だけどアレスも負けちゃーいない。	・副詞。同上。
10	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_08112	もし相手がこのテに落ちたら一気にモノにします☆私はこれで けっこう 楽しんでますよ♪	・副詞。同上。
11	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_00771	はいはあーい!! 私つけてますよ^^ かわいいと評判でした♪ けっこう みんなつけてますよ☆	・副詞。同上。
12	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21790	内容は…各月の売り上げ計算って感じ。 電卓で(笑) けっこう 大変ですからねバイト代もちょこっともらいました♪	・副詞。同上。
13	Yahoo!ブログ 2008 OY03_10873	朝からポオーっとしている私です(^ー^;) 普段から低血圧気味なので、 けっこう 朝は辛かったりします。	・副詞。同上。
14	Yahoo!ブログ 2008 OY03_01381	ちびーによりんが大きくなったら呑みにいきやっしょーまかしょ。 けっこう 濃い味なので、まぐろにしてみました。	・副詞。同上。

第3章 結構

15	Yahoo!ブログ 2008 OY14_15285	てきた職場ではペーパーで拭こう。結構、こうないえんが口ん中けっこー出来るって人がいて、こえーと違ってたけど 自分が今日、2個	・副詞。同上。 この例のみ「結構」と「けっこー」が同時に現れる。
----	------------------------------	--	-------------------------------------

3.7.5.4 検索語：「ケッコウ」（全14件より抜粋）（2021/01/24時点）

図表 3.38：「ケッコウ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	関山貞三(著)英語で笑 介日本の名所 30 2001 PB18_00086	十月下旬ごろは特にお薦め(recommended)です。日光ケッコウ 言い古された表現(old cliché)に、く日光を見ずして結構と言うなかれ	・副詞。
2	工藤あみ(著)わたし、 告白します!! 2004 PB45_00247	「これが、この間話した俺の女だ。ケッコウかわいい顔をしてるだろう? もっとも、顔なんてどうでもいいんだ。	・副詞。カジュアルな会話文体。
3	山田スイッチ(著)トー キョー放浪記 2005 LBt0_00006	手を横に、というよりは前に、押し出すように振るのだった。「ケッコウデス…。この彼らの手相見には、決まって共通の線がある。	・(形容動詞)述語文。
4	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_05000	と回答しているのを見て、疑問に思ったのですが・・・私のまわりは、ケッコウ浮気男が多いです。約五十%の割合で浮気しています。	・副詞。カジュアルな会話文体。
5	Yahoo!ブログ 2008 OY03_10005	黒胡椒をガリガリするのがちょっとミソ。お好みで、マヨネーズを追加してもケッコウです。とろりんちょ。	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
6	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18121	道路と並走して線路が走っているのですが、撮影しにくそうですが、線路を眺めて歩くとケッコウ面白い場所がありますね。	・副詞。会話文体。
7	Yahoo!ブログ 2008 OY15_05401	がびーん・・・要らないんですけどお・・・(一;)『イイデスイイデスケッコウデス』という手振りをしながら愛はそのまま歩き去りましたが。恐るべし保険	・(形容動詞)述語文。文脈から判断すると、断りの意思表示としての「ケッコウ」。
8	Yahoo!ブログ 2008 OY14_23611	そういえば、結婚指輪のサイズ…私の薬指の指輪のサイズ…9号でケッコウギリギリだった。まーたろう…8.5号でも入った…	・副詞。カジュアルな会話文体。
9	Yahoo!ブログ 2008 OY15_10572	両面テープで、貼り付けるだけなのですが、これが意外と難しい…。今まで、エンブレムなど斜めに貼って、ケッコウ失敗してます。慎重にやらなきゃ…。	・副詞。会話文体。
10	Yahoo!ブログ 2008 OY15_21532	準備して駐輪場行ったら、タイミング良く(?)降ってきちゃいました～ケッコウ降ってきたし、風も強いので本日は断念…来週行こう…	・副詞。カジュアルな会話文体。
11	Yahoo!ブログ 2008 OY14_08423	大事大事。その人らしさ大事です。ケッコウなんだかんだいって、恵まれてるのかも、ヤツは。	・副詞。カジュアルな会話文体。意味らしい意味はない語調調整的な「ケッコウ」。
12	Yahoo!ブログ 2008 OY13_03527	でも、秋の透き通った青空に向かって伸びる黄色い花は、ケッコウ素敵の花だと思うのですがネエッ!?	・副詞。会話文体。

3.7.5.5 検索語：「ケッコー」（全11件より抜粋）（2021/01/24時点）

図表 3.39：「ケッコー」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	井上ひさし(著)紙屋町 さくらホテル 2001 PB19_00479	片倉 「それはたったいま聞いたよ。…」市川 もうケッコー。もう十分。ジェニィ わたしの大切なひと、みなさんといっしょだった	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「もうケッコー」。
2	井上ひさし(著)紙屋町 さくらホテル 2001 PB19_00479	塩見と陳、会釈を返す。市川 (ジェニィに) マ、ケッコーなお話だった。ジェニィは、軽く頭を下げるが、市川はもはやそれに応えようとせず、	・形容動詞連体修飾。上記例と対照的に「よい」という意味。比較的少ない表現。
3	江川晴(著)痴呆病棟 2003 PB39_00685	私、ユアサです」 「アラ、失礼、ユカワさん、どうぞお先にいらしてケッコーよ」 (アレ! 耳も遠いかな?)	・(形容動詞)述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
4	佐藤利明(著)男はつらいよパーフェクト・ガイド 2005 PB57_00148	6作「男はつらいよ 純情篇」●瀬戸物 東京の縁日「ケッコー毛だらけ猫灰だらけ、お尻の囲りはクソだらけてねえ、タコはイボイボ、	・副詞。「ケッコー毛だらけ~」は、慣用句。寅さんのタンカ口上とみられる。
5	加納実紀代/田中美津(著)かけがえのない、大したことのない私 2005 LBt3_00058	だから来る前から景気をつけて、わーい、わーい、私ってケッコーいいかもって思えることが必要。他の人がいいぞと思わなくても	・副詞。会話文体。
6	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_09040	ライブに一人で行くのってどう思います?一人で行って声かけるのってケッコー勇気いるのは私だけでしょうか?意外にもライブに来てる人達は初対面でも気軽に話し掛けてくれますよ。	・副詞。会話文体。
7	Yahoo!ブログ 2008 OY05_05504	ガーデニング大好きなケッコーおばさんでしょうか?ひまがあると庭に出て、庭いじり。土を耕していると、意外と楽しいのです。	・副詞とみられるが、「おばさん」にかかるようである。ただし、会話表現には比較的にみられる表現。
8	Yahoo!ブログ 2008 OY07_00548	昔 流行った クイニーアマンだっけ? あんな感じの 焼き菓子ずらよ。ケッコー 甘々やった。でも この夜食・・・ 絶対 明日の体重とかに、影響出そうだよねえ。	・副詞。カジュアルな会話文体。

3.7.6 現代 (NUCC : 名大会話コーパス)

本項では、現代語の「結構」および、ひらがな表記「けっこう」について、NUCC (名大会話コーパス) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。検索結果数については、「結構」が 1260 件、「けっこう」が 5 件であった。なお、「結構」および「けっこう」以外の表記のバリエーション(「けっこー」、カタカナ表記「ケッコウ」「ケッコー」) は検索結果数が 0 件で該当なしであった。

NUCC (名大会話コーパス) は、「会話コーパス」という性質からして、発話者の音声データを書き起こしてデータ化を行ったとみられる。それならば、「結構」の表記で統一されてしかるべきであろう。しかし、異表記のバリエーション「けっこう」が 5 件みられた。この点についての理由は不明である。ただし、音声データを書き起こした担当者が複数いて、表記形(「中納言」では「書字形出現形」) を任意で判断したからという可能性も考えられる。

以下に、NUCC (名大会話コーパス) から、「結構」、「けっこう」の実例について、表にまとめたものを示した。

3.7.6.1 検索語 : 「結構」(全 1260 件より抜粋) (2020/10/11 時点)

図表 3.40 : 「結構」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	うん、やってるね。すっかりはやっちゃった。うん。T O K I O ってさー、結構さー、年齢が高いけどさー、でも、結構人気。うんうんあ、ごめんね	・若年代から昇順に並べる。
2	女性 10 代後半 2001 data072	うん私、浪人の友達結構多いよ。あ、マジ? うーん。***、結構さ、理系の人って結構さ、あれじゃん。うん浪人するじゃん。うんうんうん	・副詞。後半の二つの「結構」は語調調整的。
3	女性 10 代後半 2001 data072	普通、取る、それととれたっばいしねー。本当だよー。超悔しかった。結構微妙だしねー、あの授業。ねー超微妙だよ。しかも。私でさえも	・副詞。「微妙」と共起している。
4	女性 10 代後半 2001 data072	ばっかしかないしー。嫌だー。超ショックだったよ。超ショック。ねー、結構だから、おいしいところ開拓しようかと思ってさ。だねーアジキチも行った	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
5	女性 10 代後半 2001 data072	ながら、ササーとどかして。うーんえー、すごい。それでも並んだからねー、結構。いいなー。そうそうそうそう。でも、すぐねー、たぶん売り切れたと思うよ、	
6	女性 10 代後半 2001 data072	サンシャインのそののあれ、通りんところ。うそうん、あるある。へえー。結構あるよね、何気に。あるあるある。でも私さ、最近さ、	・副詞。
7	女性 10 代後半 2001 data072	やったー。ね、ほんとに。何パンが人気? えー、お、なんだろう。結構、それなりに、全部おいしいかも。うそーでもね、決まってるやつーしか	・つなぎことば的。

第3章 結構

8	女性 10 代後半 2001 data072	多いの、え、わかんないよ、4人と3人だから、多いか、結構？そうそうそうあー、あー、うんうん多い、多い。少ない？多い、多い。	
9	女性 10 代後半 2001 data065	も言わなくない？うん話しかけたりはしないじゃん。うんでも大阪の人、結構おせっかいだから、何か、どうしたんですかとか、すぐ、話しかけ	・副詞。マイナス評価性の語「おせっかい」と共起。
10	女性 10 代後半 2001 data065	もパーティーやって、今度、郷ひろみ来るって。うんあっ、ほんと？いいね。結構芸能人来るよね。うん、来るね。この間、だれが来たっけなー	・副詞。
11	女性 10 代後半 2002 data102	さー、フライ盛があってさー、何、揚げ物系の盛り合わせ？うんれもあの結構余ってたでさー、もって、もらって帰った、バックに詰めて。うん	・副詞。
12	女性 20 代前半 2001 data054	線沿ってすごいなんかニュータウンっていうイメージがあるんですけどー。あざみ野そうです、結構、比較的新しいかな。うーん何年目だろう。すごい、もう巨大ベッドタウンって	・呼応の副詞的。「結構~かな」。
13	女性 20 代前半 2002 data127	380円もしないかなあ。やっすいなあと思って、しかも結構おいしいなあーとっていて、ばかだから。うーん、それだからいまさら3	・副詞。
14	女性 20 代前半 2002 data019	じゃんね。ああ、フィットね、はいはいはいはい。でね、フィットいいか？結構いいらしいよ。最近ときどき見るもん。ピッツよりも？うん、ときどきね。ふーん何	・副詞。
15	女性 20 代前半 2002 data096	なかったの？いつもどおりハイタッチしそうになったときはなかったの？結構、1人でも大丈夫な方なんですか。そうだったねー、うん、ずっと	・質問するときの前置きことば的役割。
16	女性 20 代前半 2001 data006	いうの。へえーうん、だけん時給が900ちよいとかなになるから。結構おいしいバイトだった。おいしいバイト知ってますねー。いやー、うん、まあね。おいしく	
17	女性 20 代後半 2001 data051	そんで、そんで？何がむかついたの？A人って、結構むかつく人が多いんだけどさ、前に会ったA人がね、やっぱ英	・副詞。マイナス評価性の語「むかつく」と共起。
18	女性 20 代後半 2001 data061	なんでやってたんでしょうね。ふーんたぶんやっていないと、結構、嫌だったんですよ。気持ちが悪い。うん、と、もう1つは	・副詞。マイナス評価性の語「嫌だった」と共起。
19	女性 20 代後半 2001 data023	うんうん、うんうんうーんあーうちにはま、一応あるからー、できるけど、結構めんどくさいですよ。うーんうーんそうだよ。うーん。うちね、何	・副詞。マイナス評価性の語「めんどくさい」と共起。
20	男性 20 代後半 2002 data093	こう、何時にで、出ようかって。まだ全然考えてないんですけど。結構飛行機も直前に買ってまだなんにも決めてないんで、直前になりそう	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
21	男性 20 代後半 2002 data093	あの一、とかパソコンの周辺機器を買いましたね。あ、ほんと結構安く買えて。え、スピーカー。パソコンのスピーカー。ええ。パソコンのスピーカーがいくらだっ	・副詞。
22	女性 30 代前半 2002 data084	ていうの、なんだっけ、信長じゃなくって、秀吉じゃなくって、なんか結構そういう有名な人の由緒ある、ゆかりのあるお寺なんじゃない。うん	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
23	女性 30 代前半 2002 data053	だから。うんうんうんうんふーん住居に入って初めて建築を知ってー、うん、結構遅いよ、そういう意味では。うん結構さ、なんかインテリア・コーディネーターとか	・副詞。
24	女性 30 代後半 2001 data002	声明を出したには、イギリスにもアメリカと同様のことが起こる。だから結構もう、あの、なんていうの、タリバンがだめになってきて、あの、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。

第3章 結構

			い。
25	女性 30 代後半 2002 data112	うそうそ。あ、いいよいいよ。何かさ、そういう気づかいが、昔、結構気づかいしてたの。うんしてたよね、よくしてた。今、	・副詞。マイナス評価性の語「気づかいしてた」と共起。
26	女性 30 代後半 2001 data043	かなりの量でしたからねー、時間がかかりますよね。1冊でも結構大変ですよ。ええだけど、全体的にその3冊を見るっていう意味	・副詞。マイナス評価性の語「大変」と共起。
27	女性 40 代前半 2001 data029	かしら、なんかそのお料理専門用のワインって売ってましたけど、最近は結構スーパーでもすごい安いワインがあるから、そういうの買ってお料理に使ったり	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
28	女性 40 代前半 2001 data114	専門ですかじゃないけれども、どういう専門の先生ですかと、そう、結構こう、あの一、ことあるごとにお聞きになるので、とてもBさんが、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
29	男性 40 代前半 2001 data078	っていう感じで。ちょっとそっちの方がやばいんですけど。ふーん、そう。結構、1日たつのは早いんだけどさ、一番、1日の始まりが、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
30	女性 40 代前半 2001 data061	うんうんなんかそれが嫌で。結構みんな、じゃあ数学の時間はもう、結構、ピリッ、ピリピリしてましたね。ふーん。そして5人組制度とか先生	・副詞。マイナス評価性の語「ピリピリして」と共起。
31	女性 40 代前半 2001 data108	最初にあるみたいですね、日本は、あの、安全だと思って来たら結構怖い国だったとか言って。そうなのって。自転車の盗難なんてしょっちゅう	・副詞。マイナス評価性の語「怖い」と共起。
32	女性 40 代後半 2001 data114	てたけど。ふーんOさんとはよくよく会ってるって。そうそうOさんも結構ほら、こちらにも来るしね。うんKさんも1月か2月にいらっしやる	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
33	男性 40 代後半 2001 data024	て、入れようとしてるから。そうですね。ええー。それでいて結構、日本語、天声人語は論理的に必ずしも論理的に展開されてない	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
34	男性 40 代後半 2001 data035	大のMさんもヒーヒー言ってますもんね。事務局お願いし**結構大変な。今日は、朝は、あの、Cの研修センターに行って、宿泊	・副詞。マイナス評価性の語「大変」と共起。
35	女性 40 代後半 2001 data002	だって京都がそれぐらйдモンね。いつも。そのころからだよね。結構。どうしようか。別にじょうざん園でもいいよ。ゆっくり、全然。Fが	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
36	女性 40 代後半 2002 data097	提出して。***で。うんふーん。うんあ、日本語教育って結構敷居高いんですか、そういう。いやー。あの、ま、その審査する人に	・副詞。マイナス評価性の語「敷居高い」と共起。
37	女性 40 代後半 2001 data015	片づけねっとかって全部やらされたりして。ふーん何か、見て結構おもしろかった。あの、だんだんね、こう年とってくと、その一、子ども、	・副詞。
38	女性 50 代前半 2001 data042	巻いてた方がいいってとか言ってた、さっき天気予報で。今日も結構風が吹いてきたから、何ていうの、冬が来たなーって感じ	・副詞。
39	女性 50 代前半 2001 data115	うんなんか愛想のない。ふーんおいしいんですか？まあまあ。うーんフランスパンは結構おいしかったような気がするけど。ふーんなんか、ワイナリーができたとか。	・副詞。
40	女性 50 代後半 2001 data010	2さんのお友達が、あの一、その人とか、あの一何だっけな、結構いろんな、あの人来たんだよ。ふーんY何だっけ、Y、宗教	・副詞。ただし語調調整的。

第3章 結構

41	女性 50 代後半 2002 data083	8月に作ったものだからねえ。うん、そっかー、でもうちなんか結構あれやねー、長くあれしない。ふんそう、冷蔵庫に入ってるしねー、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
42	女性 50 代後半 2002 data083	言ったのよ、お父さんに。うんうん途中から歩くし、お正月に結構エネルギーいっぱいつけすぎてから、***になつてしょうがないから、歩きたい	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
43	女性 50 代後半 2001 data060	に稲穂ぐらいこっちにぽと持ってって。持ってってうーんこれね、稲穂で結構難しいんやて。難しい稲穂置いてまったら最初にできんようになったの	・副詞。マイナス評価性の語「難しい」と共起。
44	女性 60 代前半 2001 data036	絶対に入れない。だからタクシーは***入れるから。タクシー、あれ、結構高いんですよ、往復。で、行くんですよ。うわー。ね、行くん	・副詞。
45	女性 60 代前半 2001 data024	にっていうから、いや、ガーデンじゃなくてガーランドですよって話したので、結構、せっかちなんですよ、きつと M029さんって。はい、はいからかってみよう。	・副詞。マイナス評価性の語「せっかち」と共起。
46	女性 60 代前半 2001 data008	ので、学生はいろいろと、ええ、レストランに行ったりとか。ふんええええ結構、あの、周りがわいわいがやがやしても録れるんですよ。ふーんうん、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
47	女性 60 代前半 2001 data037	お年寄りに対するのがすごくやさしい。だからお姑さん大変みたいだったけど。結構わがままな方みたいで、彼女、体、体調壊したみたい、一度。うーんああ	・副詞。マイナス評価性の語「わがまま」と共起。
48	男性 60 代前半 2001 data028	うん***そら安全だろうけどね。あ、もう結構です。ツアーで行っておられたんですか、大体。違います個人で。	・(形容動詞)述語文。断りの意思表示としての「もう結構です」か。
49	女性 60 代後半 2001 data009	うん。ね。縦に。うん、で、これをこうやればいい。はい、結構です。これが、輪ゴムです。うん、これくれた人がさ、**	・(形容動詞)述語文。この「はい、結構です」は肯定表現。
50	女性 70 代後半 2002 data118	それもしっかり抱えて歩かなきゃとか言われてたの。うんだけど、結構親切でね、香港の人って。うん、うんうん。道聞いてもほんと丁寧	・副詞。
51	女性 70 代後半 2002 data118	といたらきつと、あつという間にボロボロになっちゃうよねえ。そうそうそうそう。結構油絵なんかの絵の具はこう、浮いたみたいになつたりするでしょう。そうだよ	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。
52	女性 80 代後半 2003 data129	しろ、ただ多っていうんでねえ。啞然として。そいで、Gが結構ねえ、あの一、うる、うる、なんての、そういうのは一あれだもんで、	・語調調整的な「結構」。意味らしい意味はない。

3.7.6.2 検索語：「けっこう」（全5件）（2021/01/27 時点）

図表 3.41：「けっこう」の実例（NUCC：名大会話コーパス）

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 20 代前半 2001 data006	名古屋ではみそ。うんうちの方はしょうゆかな。雑煮はどうだろう。沖縄は雑煮はどうだろう。雑煮ってけっこう。うち、うちは、母が料理の本を見て作るんですよ。へえーだから。	・文脈からすると、「雑煮ってけっこう～」と文が後続するようである。したがって、副詞か。
2	男性 20 代前半 2001 data075	よくわからんけど。うん？何？うん？これ、俺の声入んないよ、たぶん。2 人の中間ぐらい。けっこう眠たい。重い。ごめん。でも、こうやっているとちょっと楽。	・副詞。
3	女性 20 代後半 2001 data050	ずいぶん食べたけど。うんぜいたくだよね。だって、普通だったら、買わなきゃいけないでしょう。うん買ったらけっこうするじゃない。買ったらするよね。1 個 1 0 0 円とかする。	・副詞。
4	女性 20 代後半 2002 data080	じゃ、あとで電話、電話じゃない、メールしよう、とにかく。うん。何時？けっこう 3 0 分ぐらいだったかな。これでフルーツは、補えた。それで補えたかなー。	・副詞。意味らしい意味はなく語調調整的/接続詞の要素がある。
5	男性 20 代後半 2002 data092	でも日本人じゃないっていうだけなんじゃないの。まーいつか、ってけっこう思うんじゃない。みんな。わかんないけど。なんで？ま、いつかって言ったの？	・副詞。意味らしい意味はなく語調調整的。

3.7.7 2020年9月の1ヶ月間（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

本項では、「結構」、および、ひらがな表記「けっこう」について、近年における傾向をみるために、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による2020年9月、1ヶ月間の朝日新聞記事の検索を行った（2020/10/27時点）。期間は、2020年9月1日から2020年9月30日までの1ヶ月間とした。検索条件は、「朝日新聞 1985～週刊朝日・AERA」／キーワード：「結構」／発行日：「2020/09/01 から 2020/09/30」／その他指定なしとした。なお、現代語における「結構」の特徴として、副詞としての用法が非常に多いといったことが挙げられる。以下、表にして時系列でまとめた。

3.7.7.1 検索語：「結構」（全39件より抜粋）（2020/10/27時点）

図表 3.42：「結構」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月01日 朝刊 長野全県 ・1地方	大雨で埋まった砂防ダム、賛否 計画15年遅れ膨らむ事業費 松本・霞沢 /長野県 ■国側「必要性は不変」 今年度完成目標は変わらず これに対し、同事務所の渡辺剛副所長は、今回の被害について「結構な規模。被災前に戻すには時間がかかる」としながらも、「道路の土砂撤去などを進め、予定通りに今年度の完成を目指す」と明言。	・形容動詞 連体修飾。
2	2020年 09月04日 週刊 週刊朝日	新型コロナに負けない 「免疫力」を上げる食べ物、下げる食べ物 ■おやつからLPS摂取、マクロファージ活性化 「昆布もLPSが豊富です。果物同様、生もしくは加熱せず天日干したものがいいでしょう。富山県では、昆布をはさみで切ったものを持ち歩いて食べている方が結構いるそうです」	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
3	2020年 09月05日 朝刊 週末be ・b03	(サザエさんをさがして) マッチ棒 夫婦ゲンカに火をつける？ 小野さんが収集したマッチ箱の中には、「〇〇ちゃん」と女性の名が書き込まれたものもあったそうだ。「商談内容などをメモする人は結構いました。妻のおとがめがなかったので、漫画で見つかったマッチ箱には源氏名が書きとめられていたわけではなさそうですね」	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
4	2020年 09月05日 夕刊 紀行	(いいね！探訪記) 戦国のワッフル、凸凹の磐 山中城跡 静岡県三島市 ■味わう 山中城跡案内所・売店に、名物「寒ざらし団子」がある。一皿500円。冬の厳寒期に干した上新粉で作る。旅籠（はたご）のある宿場だった江戸時代からの製法という。きな粉と甘みそダレがかかる。外側はカリカリ、中はあつあつ。急いでほお張り、「寒ざらしなのに熱い」と言う人が結構いるそうだ。	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
5	2020年 09月05日 朝刊 週末be ・b04	(北欧女子オーサの日本探検) 鵜飼 鵜と一体、伝統の技を堪能 ■天然鮎「草のような匂い」 有名で、何となく知った気であるけど、実は見たことがなく、本当のところはわからないものって結構あります。「鵜飼（うかい）」もそのひとつではないでしょうか。	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
6	2020年 09月05日 朝刊 週末be ・b10	(悩みのるつぼ) 家で「ヘイトスピーチ」をする夫 ○回答者 政治学者・姜尚中 夫婦で「愛の不時着」を鑑賞してみても その理由（わけ）は様々ですが、どうやら熟年の男性で高度成長期、結構羽振りがよく、しかし晩年、冴（さ）えない人生を強いられた男	・副詞。

第3章 結構

		性ほど、極度のヘイト的な嫌韓にのめり込んでしまう傾向があるのではないかと思います。	
7	2020年 09月05日 朝刊 愛知 ・地域総合	(スポーツのミカタ) 若手GK、飛躍のチャンス 檜崎正剛 / 東海・共通 選手自身の頑張りはもちろん大事ですが、各選手の立場に合わせてスタッフが寄り添えているかは、結構大事だなと強く思いますね。	・副詞。
8	2020年 09月08日 朝刊 熊本全県 ・1地方	続く避難生活、悩む住まい 戻っても「水害起きたら…」 豪雨、八代・坂本町の家族 / 熊本県 7月は毎週のように炊き出しがあり、カレーや豚汁などに食欲がわいた。消灯は午後10時だが、眠れない人は音量を小さくしてテレビを見ることができた。「必要な物はそろっていて、結構自由だった。みんな他人に迷惑をかけないようにと心がけていた」	・副詞。
9	2020年 09月11日 夕刊 北海道 情報	(まち歩きのススメ) 湯めぐり編 銭湯王国・小樽 昭和の建物、際立つ意匠 / 北海道 平成が始まった30年ほど前、札幌だけで200軒近く、全道では700軒を超す銭湯が営業していた。今の約5倍にあたる。昭和初期の建物がまだ結構残っていて、その個性的な意匠にたちまち引き込まれてしまった。	・副詞。
10	2020年 09月11日 朝刊 神奈川県 全県 ・2地方	(ゆるり湘南) 旧平塚宿 平塚市 食べて走って巡って和菓子ラン / 神奈川県 「店先はエアコンが効いています。お休みしながらいくと結構走れます。10キロは平気」。	・副詞。
11	2020年 09月11日 週刊 週刊朝日	コロナ禍の時代、おれたちはどう生きるか 五木寛之×姜尚中 五木 僕は最近、情報というものに対して非常に強い不信感を抱いています。今日は何人って東京都が発表するじゃないですか。あれも手加減してやっているんじゃないかと多くの人が思っていますよね。しかも専門家に言わせると、PCRも抗体検査も抗原検査も誤差が結構あると。何を信用していいのかわからない、という不安が大きく広がっている。	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
12	2020年 09月11日 週刊 週刊朝日	“リアル半沢直樹” 銀行マン誌上座談会 「さすがに土下座はないが…」 「いるいるハシゴ外し上司」 D 銀行は“評判人事”と言われる。社内的な評判をベースに人事部が評価するが、職位が上がるほどこれが強くなる。出世争いをしている同期や、人事評価を逆恨みした部下から、ありもしないうわさを立てられて飛ばされた銀行員も結構いる。	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
13	2020年 09月12日 朝刊 スポーツ 1	先制打に続き、周東が二盗三盗 ソフトバンク4ー2西武 プロ野球 工藤監督は「二盗のすぐ後の三盗は、僕も現役時代に結構やられた。よくスキを突いた」とたたえた。	・副詞。マイナス評価性の語「やられた」と共起。
14	2020年 09月12日 朝刊 スポーツ 4	19歳渋沢、2位浮上 ゴルフ・日本女子プロ選手権コニカミノルタ杯 11日 同世代が次々活躍し、同期の笹生(さそう)は2勝。それでも焦りはなく「いいイメージをもらっていた」とゆったり語る。第3ラウンドはその笹生と同組に。「彼女と自分の差は結構あると分かっている。自分らしくやりたい」	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
15	2020年 09月12日 朝刊 2道	(わたし色) 寿司屋のカウンター、大人修業 平野たまみさん / 北海道 そんなこんなで、お会計。論吉さんが8人くらいいなくなり「領収書は？」と聞かれたが、「結構です」ときっぱり。店を出てから急に空腹を覚えたが、2人の笑顔に安堵(あんど)と達成感を感じた。	・(形容動詞) 述語文。断りの意思表示としての「結構です」。
16	2020年 09月14日 週刊 アエラ	「奴ら」をねじ伏せたい 安倍政権が遺した極端な「分断社会」 ■怒りの言葉より冷静に ジャーナリストの津田大介さんは、問題はもっと根深いと話す。「安倍首相の会見でユーミンと同じようにしんみりした気持ちになっ	・前者は形容動詞連体修飾。後者は副詞。

第3章 結構

		<p>た人は結構な割合でいたはず。そうでなければ35%だった支持率が辞意を表明した途端に20ポイント以上跳ね上がるなんてあり得ない。辞任表明後の朝日新聞の世論調査でも7割が安倍政権を『評価』しています。</p> <p>■勝つことが目的化する</p> <p>「ツイッターで辛口なことを言っている人が、実際に会ってみたらとても穏やかでいい人だった、なんてことは結構あります。その逆もわかり。ツイッターは人間のいろんな側面をスライスするツール。しかも一瞬の感情を切り取って表現するものなので、一つのツイートでその人の全体は理解できない。当たり前のことですが、それを時々意識する。そしてツイッター以外に議論の場を作っていくことが重要です」</p>	
17	2020年 09月17日 朝刊 2 総合	<p>(時時刻刻)「継承」菅内閣、まず守り 「1強」の後、党内基盤固め</p> <p>■臨時国会・解散にらみ攻防</p> <p>コロナ収束前に政治空白をつくることは、首相への批判にもつながりかねないが、二階俊博幹事長は16日にこう踏み込んでいる。</p> <p>「党はいつ解散があっても対応できるように準備を整えている。(選挙が)明日からでも結構ですよ」</p>	・(形容動詞) 述語文。「よい(いい)」の丁寧な表現。
18	2020年 09月17日 夕刊 関スポ	<p>(スポーツ好奇心)「飛び級」でガンバ大阪とプロ契約した17歳 F W・唐山翔自 サッカー【大阪】</p> <p>「シュートを打てるポジションにいる。どういう感覚でそこにいるのか分からないけど、彼の前に結構ボールがこぼれてくる。そして、ゴールが見えたら(迷わず)足を振れる」。GK東口順昭は、トップチームの練習に参加した唐山の印象をこう語った。</p>	・副詞。
19	2020年 09月18日 夕刊 夕刊F 金曜1面	<p>感情のせて、「はあ??」 「蒲田前奏曲」に出演、伊藤沙莉</p> <p>「よく言われるんです。『……えっ??』も結構あります。ムロツヨシさんが、お前の『はあ??』が大好きだよとってくれました(笑)」</p>	・副詞。「結構」と「ある」「いる」は共起しやすい。
20	2020年 09月18日 朝刊 北海道 総合	<p>(核のごみを問う) 神恵内村長、議会決定追認へ 請願採択なら応募検討 /北海道</p> <p>議会が応募検討を採択すれば、それが村としての決定事項かと問われると「その受け止め方で結構だ」とも述べた。採択されれば、村としても応募の検討に入ることを示した形だ。</p>	・(形容動詞) 述語文。
21	2020年 09月18日 週刊 週刊朝日	<p>関ジャニ∞・大倉忠義スペシャルインタビュー 葛藤があるほど成長につながると思う</p> <p>——ちなみにステイホーム中は何を?</p> <p>まあ、配信くらいしかできないんですけど。他にも自分たちがやっている番組のリモート収録もやりましたし、リモート飲みも多くて。酒量も増えるし、家におるのにボケ〜とする暇があんまりなかった。結構、疲れましたね。</p>	・副詞。マイナス評価性の語「疲れました」と共起。
22	2020年 09月20日 朝刊 教育1	<p>(かあさんのせなか) 小松和彦さん 涙ポロポロ、3兄弟育てた</p> <p>東京に戻ると一転、結構わんぱくな子どもでした。私が何か悪さをしたのを学校の先生や近所の人から聞くと、怒るんじゃなく涙をポロポロ流して、「こんなことじゃ困る」と言って泣くんです。ちょっと過剰なんじゃないかと、あれは子ども心にも参りましたね。</p>	・副詞。
23	2020年 09月20日 朝刊 滋賀全県 ・1 地方	<p>大粒の栗、たくさん取れるかな? 高島・マキノピックランド /滋賀県</p> <p>子ども2人と妻と来園した大津市の男性会社員(42)は「栗拾いは初めて。結構大きいのが取れました」と話していた。</p>	・副詞。
24	2020年 09月21日 朝刊 香川全県 ・1 地方	<p>(キャンパス探訪) 愛媛大・宇宙進化研究センター /四国・共通</p> <p>これまで、ブラックホールはいつ、どれだけ出来たのか、ほとんど分かっていなかった。「それがビッグバンからたった8億年で、巨大なものが結構たくさんできていたと分かった。宇宙の成り立ちには、僕たちが見落としていることがまだまだあるんです」</p>	・副詞。
25	2020年 09月22日 朝刊	<p>(あおもり 探)「無医村解消」取り組み1年半 月2日開く佐井村のクリニック/青森県</p> <p>■健康管理、オンラインに可能性</p>	・副詞。「結構」と「ある」「いる」

第3章 結構

	青森全県 ・1地方	「ここでは痛みがあっても医療機関には行かず、ずっと我慢する。あるいは通販で(湿布などを買って)済ませている。そんな人が結構いるのです」	は共起しやすい。
26	2020年 09月23日 朝刊 スポーツ 4	(月刊TOKYO2020)Wゆうき、万能選手としての自負 柳田悠岐×石川祐希 柳田 「ゆうき」という名前は結構多くて、小さい頃はあまり好きじゃなかった。(周りが)呼びやすくて今は気に入っています。	・副詞。「結構」と「多い」は共起しやすい。
27	2020年 09月24日 朝刊 東京都心 ・1地方	(角界余話:6)歴代横綱、厳しい食事の作法 その他のマナー、気にしないけど…/東京都 ただ、元横綱たちには、「この作法を外すと機嫌が悪くなる」という別の共通点もあった。付き合っていくうえで、これが結構、「地雷」となる。実は、八角理事長もそうだし、北の湖前理事長も厳しかった。ある先輩記者に聞いたら、境川元理事長(元横綱佐田の山)も、うるさかったそうだ。それは――。 食事の作法だ。	・副詞。
28	2020年 09月26日 朝刊 週末be ・b05	(ののちゃんのDO科学)平均寿命はどう計算するの? 先生 そう、面積もずっと小さくなるのがわかるね。だから当時(とうじ)の平均寿命はずっと短(みじか)かったのよ。でも、長(なが)生きする人も結構(けっこう)いたことがこのグラフからわかるよね。	・副詞。「けっこう(結構)」と「ある」「いる」は共起しやすい。
29	2020年 09月26日 朝刊 岩手全県 ・2地方	海洋ごみ意識を、沿岸で清掃活動 宮古・久慈・大船渡 /岩手県 宮古市の浄土ヶ浜にはこの日、約110人が集まり、ペットボトルやポリ袋などを拾って歩いた。参加した高校3年生の岩間千尋さんは「きれいな海だと思っていたが、よく見ると結構ごみが落ちていた」と驚いていた。	・副詞。
30	2020年 09月26日 朝刊 香川全県 ・1地方	宿代は「本」で 地域活性、交流の場に 高松のゲストハウス、運営は精神科医/香川県 宿のお代は本で結構です。高松市のゲストハウス「燈屋(とうや)」が9月、近所の書店で買った本を寄贈すれば、無料で泊まれるサービスを始めた。その名も「本泊(ほんぱく)」。地域の活性化や、訪れた人同士が交流するきっかけづくりが狙いだという。	・(形容動詞)述語文。限定的な「結構です」。
31	2020年 09月27日 朝刊 スポーツ 2	新星、シニア本格デビュー 鍵山優真、佐藤駿 フィギュア ■4回転武器に、力抜いて跳ぶ 「ミスはあったけど、初めてのお披露目にしては結構まとめられたかなと。とてもよかった」。16歳の佐藤は「ドリーム・オン・アイス」で今季のフリーを初披露し、充実感を口にした。	・副詞。
32	2020年 09月27日 朝刊 東海経済	(先言深語)苦境の航空機、多角化に活路 東明工業社長・二ノ宮啓さん 【名古屋】 ■ラーメン店経営 ――航空機のサプライヤー(機体部品メーカー)なのに、ラーメン店の経営に乗り出しました。 「海外進出の足がかりにしたい、というのがきっかけでした。カナダに出張した際、ラーメン店が高い値段なのに結構はやっていたんです。これは面白いと思い、大阪で人気のあった『らーめん鱈(うろこ)』を運営会社ごと2018年に買いました。	・副詞。
33	2020年 09月28日 朝刊 福島全県 ・1地方	(現在地 10年目の避難者)山との生活奪われ、募る東電不信 坪井幸一さん/福島県 ■隠したがる体質、抜けていない 20年「気力を失っている」 「都路から原発に働きに行く人は今も結構いる。協力会社への弱者いじめなど、そういう状態が直らないと駄目なんだがなあ」	・副詞。「けっこう(結構)」と「ある」「いる」は共起しやすい。
34	2020年 09月29日 朝刊 スポーツ 1	西岡、シード破り2回戦へ テニス・全仏オープン ■錦織、精神力で突破 30歳になって初めての4大会。錦織は「すごいアップダウンがある試合で結構大変でした」と語った。	・副詞。マイナス評価性の語「大変でした」と共起。
35	2020年	魔王と呼びたいカマキリがいる 石川・ふれあい昆虫館 /富山県	・副詞。

第3章 結構

	09月29日 朝刊 富山全県 ・1地方	26日に家族とともに訪れた同県野々市市の小学6年、内田桜さん(12)は「結構大きい。枝に逆さまに付いていて、びっくりしました」と話していた。	
36	2020年 09月30日 朝刊 4総合	自民党人事、二階派重用あらわ 選対ポストに2人、改憲へは安倍路線継承 佐藤勉総務会長は29日の記者会見で「菅首相は安倍政権を踏襲するのが基本だ。憲法改正に邁進(まいしん)するという意思表示と受け取って頂いて結構だ」と述べた。	・(形容動詞)述語文。

3.7.7.2 検索語：「けっこう」(全11件より抜粋)(2020/10/27時点)

図表 3.43：「けっこう」の実例(朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間)

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月02日 朝刊 1総合	(天声人語)通帳のたそがれ 趣味は、銀行での通帳記入。エッセイストの阿川佐和子さんのそんな言葉がだいぶ前のアエラ誌にあった。背景には、かつて父親から「誰のおかげでけっこうな暮らしができると思っているのだ」と言われた悔しさがあるらしい	・形容動詞連体修飾。
2	2020年 09月02日 朝刊 オピニオン 1	(耕論)拝啓、安倍昭恵さま 菅伸子さん、中島岳志さん、矢部万紀子さん ■あいまいな公私に陥った 菅伸子さん(元・首相夫人) そう考えると、昭恵さんはまれな存在です。実際は様々なご苦労があると思いますが、彼女はとても自由。ご夫婦ともに家系で決められたルールを歩んできたからかもしれません。昭恵さんの陰湿さのないオープンなところは、私はけっこういいな、と思っているんです。人生を楽しんでいるという感じですから。 ■伝統の粋、収まらぬ攻め服 矢部万紀子さん(コラムニスト) こうした「攻めの姿勢」が論議を呼んだのが、昨年10月、天皇が即位を宣言する「即位礼正殿(せいでん)の儀」の時のワンピースです。白でひざ丈、凝った袖のデザインという彼女の好みですが、夫が国民を代表して「万歳三唱」をする古式ゆかしい皇室行事には、なかなか選びにくい服です。ネットではけっこうなバッシングを浴びていました。	・前者は副詞。後者は形容動詞連体修飾。後者は「バッシング」というマイナス評価性の語と共起。
3	2020年 09月03日 朝刊 福島全県 ・1地方	(どうする処理水)国の小委員会の委員、福島大・小山良太教授 / 福島県 ■処理水、都合悪い事実こそ説明を 「2011年秋、当時の福島県知事が『安全宣言』を出した後に、放射性物質の濃度が基準値を超える米が出て、ものすごく風評被害が広がった。それまでは福島を応援しようと、あえて買おうとする人がけっこういたが、あれで手を引いてしまった」	・副詞。「けっこう(結構)」と「ある」「いる」は共起しやすい。
4	2020年 09月10日 朝刊 名特集B	(東海豪雨20年 池上彰さんと語る)豪雨に、地震に、どう備える【名古屋】 ■「過去にあった地震、伝える」伊藤 「防災と減災を同時に考える」池上 池上 東海地方でも地震の石碑などはけっこう残っていますが、苔(こけ)むしていたり、字が読めなかったりして、これを改めて伝えることがメディアの責任なのだと思いますね。	・副詞。
5	2020年 09月11日 週刊 週刊朝日	King & Prince スペシャルインタビュー 「エンターテインメントは止めちゃだめだと思う」 ーアルバムタイトルは、「L & (ランド)」。今のあなたにとっての“ランド(場所)”や“大切なもの”とは? 平野 僕の楽しみは、寝ること。今も夜に寝るために頑張ってる(笑)。オフがあれば皆と車に乗ってドライブとかけっこう行くんだけど、今	・副詞。

第3章 結構

		はあんまり外に行けないしね。	
6	2020年 09月12日 朝刊 但馬 ・1地方	(新・生きもの探訪記) ヒメハラナガツチバチ 穴を掘り地中に潜行 本庄四郎／兵庫県 田んぼの四隅の一角に、三角形の空き地ができていてサトイモや苗 の残ったゴマを数本植えている。今年初めて植えたゴマ。けっこう背 が伸びてゴマの入ったさやがずらりとできているが、まだピンク色の 花を咲かせている。すると、ひょっこり花からハチが出てきた。ヒメ ハラナガツチバチだった。	・副詞。
7	2020年 09月20日 朝刊 歌壇俳壇	朝日歌壇 <佐佐木幸綱選> 「ウェブ授業課題でけっこう忙しい」笑うわが娘(こ)もパソコン の中(三重県)中西左恵子	・副詞。「忙しい」とい うマイナス 評価性の語 と共起。
8	2020年 09月23日 朝刊 東特集I	(まなぶ@朝日新聞) 研究のワクワク、持ち続けて 国際学生科学技 術フェア日本代表の交流会 ■先生にとって、科学って何? 苦手科目、どう向き合った? 学 生10人から梶田さんへ質問 質問は高校時代にも及んだ。梶田さんの当時の苦手科目は古文と漢 文だった。前田彩花さんが「どう向き合ったのですか」と尋ねると、 「うーん。ギブアップしました。ほかの教科はけっこう頑張ったんだ けど」と苦笑い。	・副詞。
9	2020年 09月27日 朝刊 文化芸	装飾省いた、無常のシャンソン ジュリエット・グレコさんを悼む 歌手・美輪明宏さん 「大嫌い」「あんなのはシャンソンじゃない」って言う人もけっこ ういましたね。フランスはやっぱり、華やかさや情熱が重視されてき た国ですから。装飾をそぎ落とした彼女の歌唱は、発音が邪道に聞こ えるということも含めて、好き嫌いが分かれるものではありません。	・副詞。「け っこう(結 構)」と「あ る」「いる」 は共起しや すい。
10	2020年 09月28日 朝刊 長崎全県 ・1地方	(進め! V・ファーレン) 今季、ホーム初黒星 福岡戦 サッカー / 長崎県 長崎南山高校出身の鹿山拓真選手がリーグ戦初出場。「やれた部分 もけっこうあった。やれなかった所は練習で準備する」と話した。次 節は30日、徳島とホームで対戦する。	・副詞。「け っこう(結 構)」と「あ る」「いる」 は共起しや すい。

3.7.8 中国古典籍 (中国哲学書電子化計画: 先秦兩漢)

本項では、「中国哲学書電子化計画」から得られた中国古典籍からの「結構」、および、異表記「結構」の例を以下に示した(一部抜粋)。「中国哲学書電子化計画」では、時代区分が「先秦兩漢」(秦代以前および西漢(前漢)・東漢(後漢))期と「漢代之後」(漢代以後)期に二分されており、各時代区分ごとに、該当語の検索が可能となる。

まず、「先秦兩漢」期における、「結構」、および、「結構」の検索結果数は、それぞれ0件であった。したがって、「中国哲学書電子化計画」上の中国古典籍資料からは、「先秦兩漢」期における「結構」、および、「結構」の例はみられないということになる。

3.7.9 中国古典籍（中国哲學書電子化計劃：漢代之後）

「漢代之後」（漢代以後）期における、「結構」の検索結果数は、50 件であった。「結構」については、7 件であった。

検索結果の例文の冒頭、「打開字典」をクリックすると、個々の漢字の意味が英文で示される。まず、該当字（「結」「構」「搆」）の意味記述について、以下の図表に示した（日本語訳は筆者による）。

図表 3.44：「中国哲學書電子化計劃」内「字典」における「結」「構」「搆」の意味記述

語	意味記述	備考
結	knot (～を結ぶ；結び合わせる), tie (～を結ぶ；結んで作る); connect (～をつなぐ；結合 [接続] する)	
構	frame ((建造物の)骨組み／構造；構成、組織、機構、体制(=system)／～を組み立てる), building (建物、建築物、建造物／建てること、建築), structure (構造、構成；機構、組織／(堂々とした)建物、建造物)	
搆 ⁸¹	pull (～を引く、引っばる), drag ((重い物を)引きずる、引っばる); reach (～に着く；～に届く；～に達する); implicate(関係(関連)させる；(意味を)暗に含む)	・欄外に補足あり。

以下に、「中国哲學書電子化計劃」、「漢代之後」からの「結構」および「結構」の実例を表にして示す。なお、原典のテキスト表示にならない、表記は中国語繁体字を基本とした。ただし、明朝体でない字形の場合、他の書体で代替している場合がある。得られた実例は、検索結果の順序通りに並べた。したがって、必ずしも完全な通時順とはなっていない場合もある。検索結果数については、延べ数を示したものである。なお、一作品中に複数の該当例がある場合もあるため、下表の実例数とは一致しないこともある。

⁸¹ 「搆」について、鎌田正・米山寅太郎（2011）『新漢語林 第二版』によると、「①ひく。ひっばる。② 1. かまえる。つくる。組み合わせる。＝構。 2. こねあわせる。 3. 事を解しない。」とあり、「俗字」の指定がある。おそらく、「結」と並立したときの「搆」は、上記② 1.の意味、つまり、「構」に準じるものとみられる。

3.7.9.1 檢索語：「結構」（全50件）（2021/01/07 時点）

図表 3.45：「結構」の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《漢代之後》 《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343年 《抱朴子》 《勸學》 8	夫不學而求知，猶願魚而無網焉，心雖勤而無獲矣；廣博以窮理，猶須風而托焉，體不勞而致遠矣。粉黛至則西施以加麗，而宿瘤以藏醜；經術深則高才者洞達，鹵鈍者醒悟。文梓乾云，而不可名臺榭者，未加班輪之結構也；天然爽朗，而不可謂之君子者，不識大倫之臧否也。	
2	《魏晉南北朝》 《水經注》 《卷十三》 《灤水》 8	《莊子》曰：雅，賈矣。馬融亦曰：賈，鳥也。又案《瑞應圖》，有三足鳥、赤鳥、白鳥之名，而無記于此鳥，故書其異耳。自恒山已北，竝有此矣。其水又東北流注武州川水。武州川水又東南流，水側有石祗洄舍并諸窟室，比丘尼所居也。其水又東轉逕靈巖南，鑿石開山，因巖結構，真容巨壯，世法所希。山堂水殿，煙寺相望，林淵錦鏡，綴目新眺。川水又東南流出山，	
3	《魏晉南北朝》 《水經注》 《卷十六》 《穀水》 32	《晉中州記》曰：惠帝為太子，出聞蝦蟇聲，問人為是官蝦蟇、私蝦蟇？侍臣賈胤對曰：在官地為官蝦蟇，在私地為私蝦蟇。令曰：若官蝦蟇，可給廩。先是有讖云：蝦蟇當貴。昔晉朝收憫懷太子于後池，即是池也。其一水自大夏門東逕宣武觀，憑城結構，不更增墉，左右夾列步廊，參差翼跂，南望天淵池，北矚宣武場。	
4	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷三十六》 《人部二十》 《隱逸上》 12	《晉左思招隱詩》曰：杖策招隱士，荒塗橫古今，巖穴無結構，丘中有鳴琴，白雪傍陰崗，丹葩耀陽林，非必絲與竹，山水有清音，何事待嘯歌，灌木自悲吟。 又《招隱詩》曰：經始東山廬，果下自成榛，前有寒泉井，聊可瑩心神。	
5	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六十二》 《居處部二》 《臺》 23	《幽明錄》曰：海中有金臺，出水百丈，結構巧麗，窮盡神工，橫光巖渚，竦曜星漢。	
6	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六十二》 《居處部二》 《殿》 17	《後漢王延壽》：魯靈光殿賦序曰：魯●光殿者，蓋景帝程姬之子恭王餘之所立也。遭漢中微，自西京未央建章之殿，盜賊奔突，皆見隳壞，而●光巋然獨存，意者豈非神明依憑支持，以保漢室也。賦曰：瞻彼靈光之為狀也。則嵯峨●巋巍，吁可畏乎其駭人也。岩峩倜儻，豐盈麗博，●●敞洞，膠葛兮其無垠也。於是乃歷夫大階，以造其堂，俯仰顧眄，東西周章，彤彩之飾，澔澔汙汙，飛流爛漫，素壁●曜以月照，丹柱翕絕而電燵，鴻墻幌以燻閭，瑟蕭條以清冷，動滴瀝而成響，音雷應其若驚，耳嘈嘈以失聽，目矍矍而喪精，駢密石與琅玕，齊玉璫與璧瑛，於是詳察其棟宇，觀其結構，規矩應天，上憲觜陬，崛佹雲起	
7	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六十二》 《居處部二》 《殿》 18	《魏何晏景福殿賦》曰：立景福之祕殿，備皇居之制度，爾乃豐層覆之眈眈，建高基之堂堂，羅疏柱之汨越，肅坻鄂之鏘鏘，飛簷翼以軒翥，反宇轡以高驤，遠而望之，若摘朱霞而耀天文，近而察之，若仰崇山而載垂雲，爾乃開南端之豁達，張筍簾之輪囷，華鍾杙其高懸，悍獸屹其儼陳，爾其結構則修梁彩制，下褰上奇，枿梧複疊，勢合形離	
8	《隋唐》	《梁元帝莊嚴寺僧旻法師碑》曰：夫宏才妙物，雲液之所降生，	

第 3 章 結構

	《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷七十六》 《內典上》 《內典》 46	獨振孤標，倫類之所遠絕，是故隨光燭魏，非折水之恆珍，和璧入秦，豈潤山之常寶，僧旻法師，蓋天地之淳精，宇宙之瑰器，本姓孫氏，有吳開國大皇帝其先也。法師道藹二儀，德充四海，含春夏之生長，抱日月之貞明，辭旨清新，置言閑遠，千門萬戶，必臻其奧，九部五時，若指諸掌，坦然夷易，豁爾洞開，故緇素結轍，華戎延道，晨風之鬱北林，龍魚之趣深澤，哲人云逝，指南誰屬。銘曰：永離百非，聞之寂滅，苟云未樹，共歸今轍，方墳結構，伽藍罷設，朱火一潛，青松長列。	
9	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《地部二十五》 《海》 29	《幽明錄》曰：海中有金臺山，高百丈，結構巧麗，窮盡神工，橫光巖渚，竦曜星門。臺內有金機，雕文備制。	
10	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《居處部五》 《臺上》 18	《幽明錄》曰：海中有金臺，出水百丈，結構巧麗，窮極神功，橫巖云渚，竦曜星河也。	
11	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《逸民部十》 《逸民十》 12	左思《招隱詩》曰：杖策招隱士，荒途橫古今。巖穴無結構，丘中有鳴琴。	
12	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《學部一》 《敘學》 26	《抱樸子》曰：(中略)故質雖在我，而成之由彼。登闔風，捫辰極，然後知井谷之閉隘；披七經，玩百氏，然後覺面墻之至困。粉黛至則西施以加麗，而宿瘤以飾丑；經術深則高才者洞逸，而魯鈍者醒悟。文梓干云，而不可名之為臺榭者，未知班輸之結構也；天然爽朗，而不可謂之為君子者，未知大倫之臧否也。	
13	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《工藝部五》 《書中》 1	王右軍《題衛夫人筆陣圖后》曰：夫紙者，陣也；筆者，刀槩也；墨者，鍪甲也；水硯者，城也；本領者，將軍也；心意者，將副也；結構者，謀畫也；揚筆者，吉凶也；出入者，號令也；屈折者，殺戮也。夫欲書者，先於研墨，凝神靜思，預想字形大小偃仰平直振動，令筋脈相連，意在筆前，然後作字；若平直相似，狀如算子，便不是書，但得其點畫耳。昔宋翼常作此書。	
14	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《工藝部八》 《畫下》 1	又曰：宋朝顧駿之常結構高樓以為畫所。每登樓去梯，家人罕見。若時景融朗然乃含毫，天地陰慘則不操筆。今之畫人，筆墨混於塵埃，丹青和其泥滓，徒污絹素，豈曰繪畫！自古善畫者，匪衣冠貴胄，逸士高人，振妙一時，傳芳千祀，非閭閻鄙賤所能為也。	
15	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《飲食部七》 《食下》 33	《幽明錄》曰：海中有金臺，出水百丈，結構巧麗，窮盡神工。臺內有金機，雕文備制。上有百味之食，四丈力士常立守護。有一五通仙人來欲甘膳，四神排擊，遷延而退。	
16	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷一百六十》 《題大禹寺義公禪房》 孟浩然著 1	義公習禪處，結構依空林。戶外一峰秀，階前群壑深。	

第 3 章 結構

17	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷一百六十》 《和張判官登萬山亭，因贈洪府都督韓公》 孟浩然著 1	韓公是襄士，日賞城西岑。結構意不淺，岩潭趣轉深。	
18	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百一十六》 《同李太守登曆下古城員外新亭，亭對鵲湖》 杜甫著 1	新亭結構罷，隱見清湖陰。跡籍台觀舊，氣溟海嶽深。	
19	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百一十六》 《大雲寺贊公房四首》 杜甫著 3	把臂有多日，開懷無愧辭。黃鸝度結構，紫鴿下果罍。	
20	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百一十八》 《飛仙閣》 杜甫著 1	土門山行窄，微徑緣秋毫。棧雲闌幹峻，梯石結構牢。	
21	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百二十六》 《陪李七司馬皂江上觀造竹橋即日成往來之人免冬寒入水聊題短作簡李公二首》 杜甫著 1	伐竹為橋結構同，褰裳不涉往來通。天寒白鶴歸華表，日落青龍見水中。顧我老非題柱客，知君才是濟川功。	
22	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百三十四》 《惠義寺送王少尹赴成都》 杜甫著 1	苒苒穀中寺，娟娟林表峰。闌幹上處遠，結構坐來重。	
23	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百五十》 《酬裴補闕吳寺見尋》 皇甫冉著 1	東林初結構，已有晚鐘聲。窗戶背流水，房廊半架城。	

第 3 章 結構

24	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷二百九十六》 《獨孤常州北亭》 張南史著 3	俗賴褰帷謁，人歡倒屣迎。始能崇結構，獨有謝宣城。	
25	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百一十八》 《夏夜北園即事寄門下武相公》 李吉甫著 1	結構非華宇，登臨似古原。僻殊蕭相宅，燕勝邵平園。	
26	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百二十七》 《小言》 權德輿著 2	蛛絲結構聊蔭息，蟻垤崔嵬不可陟。	
27	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百三十六》 《南山詩》 韓愈著 8	夏炎百木盛，蔭鬱增埋覆。神靈日歛歛，雲氣爭結構。	
28	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百三十七》 《合江亭》 韓愈著 3	梁棟巨集可愛，結構麗匪過。伊人去軒騰，茲宇遂頽挫。	
29	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百五十二》 《法華寺石門精舍三十韻》 柳宗元著 6	結構單群崖，回環驅萬象。小劫不逾瞬，大千若在掌。	
30	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百五十五》 《海陽十詠：吏隱亭》 劉禹錫著 1	結構得奇勢，朱門交碧潯。外來始一望，寫盡平生心。	
31	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百六十二》 《白侍郎大尹自河南寄示池北新葺水齋即事招賓十四韻兼命同作》	結構疏林下，黃緣曲岸隈。綠波穿戶牖，碧甃疊瓊瑰。	

第 3 章 結構

	劉禹錫著 2		
32	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百七十》 《道州夏日郡內北橋新亭書懷贈何元二處士》 呂溫著 1	結構池梁上，登臨日幾回。晴空交密葉，陰岸積蒼苔。	
33	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百八十》 《崢嶸嶺》 孟郊著 1	疏鑿順高下，結構橫煙霞。坐嘯郡齋肅，玩奇石路斜。	
34	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷四百三十一》 《池畔二首》 白居易著 1	結構池西廊，疏理池東樹。此意人不知，欲為待月處。	
35	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷四百五十二》 《裴侍中晉公以集賢林亭即事詩三十六韻見贈猥蒙徵和才拙詞繁輒廣為五百言以伸酬獻》 白居易著 4	疏鑿出人意，結構得地宜。靈襟一搜索，勝概無遁遺。	
36	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷四百六十五》 《遊峽山寺》 楊衡著 1	結構天南畔，勝絕固難儔。幸蒙時所漏，遂得恣閒遊。	
37	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷四百九十九》 《題鳳翔西郭新亭》 姚合著 2	結構方殊絕，高低更合宜。棟樑清俸買，松竹遠山移。	
38	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷五百零一》 《和裴令公新成綠野堂即事》 姚合著 1	結構立嘉名，軒窗四面明。丘牆高莫比，蕭宅僻還清。	

第 3 章 結構

39	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷五百四十》 《題鄭大有隱居》 李商隱著 1	結構何峰是，喧閑此地分。石樑高瀉月，樵路細侵雲。	
40	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 卷五百四十七》 《題呂食新水閣兼 寄南商州郎中》 朱景玄著 1	丹檻初結構，孤高冠清川。庭臨穀中樹，簷落山上泉。	
41	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷五百九十六》 《築台》 司馬紱著 2	結構切星漢，躋攀橫綺羅。朝觀細腰舞，夜聽皓齒歌。	
42	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷六百一十七》 《讀襄陽耆舊傳， 因作詩五百言寄 皮襲美》 陸龜蒙著 10	積漸開詞源，一派分萬溜。先崇丘旦室，大懼隳結構。	
43	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷六百一十八》 《奉和襲美太湖詩 二十首：孤園寺》 陸龜蒙著 1	浮屠從西來，事者極梁武。岩幽與水曲，結構無遺土。	
44	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷六百六十》 《尚父偶建小樓， 特摘麗藻絕句不 敢稱揚三首》 羅隱著 1	結構叨馮柱石才，敢期幢蓋此裴回。	
45	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷七百五十一》 《和王庶子寄題兄 長建州廉使新亭》 徐鉉著 1	謝守高齋結構新，一方風景萬家情。群賢詎減山陰會，遠俗初聞正始聲。水檻片雲長不去，訟庭纖草轉應生。	
46	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年	結構因墳籍，簷前竹未生。塗油窗日早，閱槩幌風輕。	

第 3 章 結構

	《卷八百一十三》 《李常侍書堂》 無可著 1		
47	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百四十三》 《又寄彭澤畫公》 齊己著 1	聞君彭澤住，結構近陶公。種菊心相似，嘗茶味不同。	
48	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百四十三》 《喜表公往楚王城》 齊己著 1	已聞人舍地，結構舊基平。一面湖光白，鄰家竹影清。	
49	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百八十四》 《溪東岑望天都山》 朱景玄著 2	昔賢此升仙，結構窮聳深。未曉日先照，當晝色半沉。	
50	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716 年 《言部》 《十七》 7	《集韻》倚謹切，音隱。庾語也。《字彙》訓言也。又《文心雕龍》隱者，隱也。遯辭以隱意，譎譬以指事也。《呂覽·重言篇》荆莊王立三年，不聽而好隱。又《正字通》與隱通。《劉向·新序》齊宣王發隱書而讀之。隱即隱字。《字彙補》亦書作隱。或作隱，非。隱字从卩，左右結構。 考證：〔《集韻》倚謹切，音隱。庾語也。〕謹照原文庾語改隱語。	

3.7.9.2 檢索語：「結構」（手偏の「構」）（全 7 件）（2021/01/07 時点）

図表 3.46：「結構」（手偏の「構」）の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	《漢代之後》 《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷三十六》 《人部二十》 《隱逸上》 32	《隋王由禮賦得巖穴無結構詩》曰：巖間無結構，谷處極幽尋，葉落秋巢迫，雲生石路深，早梅香野徑，清澗響丘琴，獨有栖遲客，留連芳杜心。	
2	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《神仙二十六》 《葉法善》 1	供給給原作終，據明鈔本改。所須。發引日，敕官縞衣祖送於國門之外。開元初，正月望夜，玄宗移仗于上陽宮以觀燈。尚方匠毛順心。結構綵樓三十餘間。金翠珠玉。間廁其內。樓高百五十尺，微風所觸，鏘然成韻。以燈為龍、鳳、螭、豹騰躡之狀，似非人力。玄宗見大悅，促召師觀于樓下，人莫知之。	

第 3 章 結構

3	<p>《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《女仙五》 《樊夫人》 1</p>	<p>將昇天，縣廳側先有大皂莢樹，網昇樹數丈，方能飛舉。夫人平坐，冉冉如雲氣之昇，同昇天而去。後至唐貞元中，湘潭有一媪，不云姓字，但稱湘媪。常居止人舍。十有餘載矣。常以丹篆文字救疾於閭里。莫不嚮應。鄉人敬之。為結構構字下原有御名二字。原為宋代避高宗名諱而註。今刪。華屋數間而奉媪。</p>	
4	<p>《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《方士二》 《葉法善》 1</p>	<p>唐玄宗於正月望夜，上陽宮大陳影燈，設庭燎，自禁門望殿門，皆設蠟炬，連屬不絕，洞照宮室，熒煌如晝。時尚方都匠毛順心多巧思，結構繪采，為燈樓二十間，高百五十尺，懸以珠玉金銀，每微風一至，鏘然成韻，仍以燈為龍鳳虎豹騰躍之狀，似非人力。有道士葉法善在聖真觀，上促命召來。既至，潛引法善觀於樓下，人莫知者。</p>	
5	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《張翼德怒鞭督郵，何國舅謀誅宦豎》 25</p>	<p>兩宮互相爭競，張讓等各勸歸宮。何后連夜召何進入宮，告以前事。何進出，召三公共議：來早設朝，使廷臣奏董太后原係藩妃，不宜久居宮中，合仍遷於河間安置，限日下即出國門。一面遣人起送董后；一面點禁軍圍驃騎將軍董重府宅，追索印綬。董重知事急，自刎於後堂。家人舉哀，軍士方散。張讓、段珪見董后一枝已廢，遂皆以金珠玩好結構何進弟何曲并其母舞陽君，令早晚入何太后處，善言遮蔽：因此十常侍又得近幸。</p>	
6	<p>《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《周子之書》 《通書》 3</p>	<p>直卿云：「通書便可上接語孟。」曰：「此語孟較分曉精深，結構得密。語孟說得較闊。」方子</p>	

3.8 「結構」のまとめ

「結構」の考察から判明した事項のまとめをもって「第3章 結構」の締めくくりとする。以下、箇条書きとした。

- ・「結構」という語は、漢語由来のものと考えられる（「3.1 概論」）。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「經術深則高才者洞達，鹵鈍者醒悟。文梓乾云，而不可名臺榭者，未加班輪之結構也」（「魏晉南北朝」、『抱朴子』、[晉] 300-343年、「勸學」8）が挙げられる（「3.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）」、「3.7.9.1 検索語：「結構」、資料番号“1”）。
- ・「結構」は、大陸から日本に移入された後に大きく多義性を獲得した語であり、日本において多義化した語のまさに典型とみられる（「3.1 概論」）。
- ・「結構」の特徴として、漢語由来であるにもかかわらず日常語として多用される語であるということが挙げられる。もはや現代においては、「結構」が漢語由来のものとは意識すらされていないともいえよう（「3.1 概論」）。
- ・「結構」の意味の変遷には、語の経済性の作用、および隣接性（メトニミー：換喩）による作用も働いているとみられる。ただし、実際のところ、「短縮」、「メトニミー（換喩）的な変化」、あるいは、「言語的原因による変化」等々が複合的に作用したとみるほうが現実的解釈といえよう。（「3.1 概論」、「3.2.2 鈴木彦四郎（1976）」等）。
- ・現代語「結構」の特徴的な用法として、「十分であること」から発展したとみられる「婉曲に断る場合」に使われる用法がある。伊藤由美（2017）では、「ダブルミーニングの「結構（です）」」としている。ただし、上記表現は、「問題なことば」「気になることば」の一つとして一般的に認識されているようである（「3.1 概論」、「4.2.5 伊藤由美（2017）」）。
- ・複合語「結構」は、もともとの構成要素が動作語であるから、本来動作性を示す語であるとみられる。しかし、通時的な変遷を経て動作語から形容語へと比重が移行したとみられる（「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」）。
- ・動作語から形容語への比重の移行については、すでに近世期には起きていた現象のようである（「3.7 「結構」の実例」、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」参照）
- ・『和英語林集成』（初版／再版／第三版）の全体を概観すると、当時（明治前期から中期）の「結構（結構）」は、かなり程度の高いほめことばとして使われていたことが示唆される（「3.3.1 『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「結構（結構）」の意味記述の比

較)。

・近代（主に明治期）においては、「結構」と異表記「結構」が同時に存在していた。筆者が行った CHJ（日本語歴史コーパス）による調査では、両者の比率は、「結構（446 件）」：「結構（176 件）」が、約 10:4 となった。したがって、近代（明治期）においては、「結構」（手偏の「構」）の出現比率が思いのほか高いことがわかった。ただし、明治期末頃から大正期にかけて、しだいに「結構」の表記がみられなくなり、それ以降は、「結構」が主流になったとみられる（「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」）。

・副詞としての「結構（けっこう）」の資料は、管見の限り明治期においても非常に少ない。これは副詞としての「結構（けっこう）」が主に会話上において用いられていたためとみられ、書きことばとしての資料には反映されにくかったといった背景があるとみられる（「3.2.8 堀井令以知（2003）」参照）。

・「結構」については、品詞あるいは意味によって表記を使い分けるという傾向がみられるようである。例えば副詞としての「結構」は、「けっこう」とひらがなで表記される場合が比較的多い（「3.5.2『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「結構」の位置づけ」等）。

・現代中国語では「結構」は「構造」「ストラクチャー（structure）」を意味する。つまり、現代中国語における「結構」は、本来の意味と考えられるものを現代に引き継いでいることになる。一方、現代日本語においては、本来の意味から移行を経た派生の意味、例えば「よい」「十分」「かなり（の程度）」等が中心として使われるようになった（「3.2.9 張麟声（2004, 2016）」）。

・現代語における「結構」の特徴として、副詞としての用法が非常に多い点が挙げられる（「3.7 「結構」の実例」等）。

・現代語における「結構」は、意味らしい意味はない語調調整的な用法も一部みられる（「3.2.6 渡辺実（1990）」、「3.7 「結構」の実例」等）。

第4章 大丈夫

4.1 概論

「大丈夫」という語は、漢語由来のものと考えられる。本来は人物そのもの、すなわち「ますらを、こころづよきをとこ」（『漢英対照 いろは辞典』（1888：明治 21）、「4.3.2 近代の辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較」参照）を意味したとみられる。中国古典籍に典拠を求めると、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「所謂大丈夫者，謂其智之大也。所謂處其厚不處其薄者，行情實而去禮貌也。」（《法家》《韓非子》[戰國] 紀元前 475-221 年《韓非子》[又名：《韓非》，《韓子》]《解老》8）が挙げられる（下述、「4.7.8 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」」、資料番号“12”）。

ただし、現代日本語では、この原義とされるものが、ほぼ使用されない現状がある。なお、現代中国語における「大丈夫」は、張麟声（2004, 2016）によると、「たくましい男」「ますらお（丈夫）」とある。したがって、これは原義とされるものとほぼ同じ意味で使われているとみられる。

一方、日本では大陸からの移入後、独自に転義が進んだとみられる。つまり、「立派な男子、ますらお」から想起される性質・状態（問題・心配等がなく安心・安全であること）そのものに焦点が置かれるようになり、現代においては状態性形容動詞としての用法が主流になったという背景がある。さらに、「大丈夫」の特徴として、漢語由来であるにもかかわらず日常語として多用される語であるということが挙げられる。もはや現代においては、「大丈夫」が漢語由来のものとは意識すらされていないともいえよう。

前章、「第3章 結構」、「3.1 概論」においては、「相手からの勧誘・提案に対する「結構（です）」という返答表現」（婉曲な断りの「結構（です）」）について述べた。その「結構（です）」と類似の表現として、近年においては、「大丈夫（です）」が好んで使われる現状があるようである。ここでは、下述、「4.2.5 伊藤由美（2017）」からの例を以下に挙げてみる。

（*銀座のとあるクラブにおける会話）。

A：ほら、君も遠慮しないで飲みなさい

B：はい、大丈夫です

A: ん? それは飲める、飲めない、どっちだ? 日本語っていうのは難しいな (笑)

これは、「大丈夫」が反義併存性を示しているために、“Yes”あるいは“No”の二通りの解釈ができてしまうため、Aにとっては判断がしかねるといった主旨である。伊藤は、上記の例、「[依頼/誘い]」を「断る/辞退する/遠慮する」という状況で使われる「大丈夫です」には違和感があるという。さらに、類似表現として、「結構です」も挙げており、これらを、「ダブルミーニングの「大丈夫 (です)」「結構 (です)」」としている。ただし、これらの表現は、話しことばとして通用はしているが、あいまいな表現ゆえに、使い方を間違えると悪い印象や誤解を与えかねないため、特にビジネスの場においては礼を失する可能性がある「要注意フレーズ」であるともしている。

しかし、近年においては、この「大丈夫 (です)」が、若年層を中心に「結構 (です)」よりむしろ好まれるようである。その背景として、かつて一般的であった婉曲で丁寧な断り表現としての「結構 (です)」⁸²が、近年、どうやら上から目線でやや強い語感を想起させるようであり好まれないため、その代替表現としての「大丈夫 (です)」が好まれるようになったという事情があるのではとみられる。

以上、「大丈夫」の変遷と反義併存的な側面について触れた。次節以降では、「大丈夫」について、共時的および通時的観点から、先行研究・辞書等の資料を比較・対照した上で総合的考察を行う。

4.2 先行研究および資料

本節においては、「大丈夫」に関連した先行研究および資料を取り上げ、まとめた上で論点を整理し考察を行う。

4.2.1 鈴木修次 (1978)

4.2.1.1 「大丈夫」の語誌的情報

鈴木修次 (1978) 『漢語と日本人』では、「8 国語漢語と中国語」に、「大丈夫」についての記述がみられる。鈴木は、「大丈夫」の語誌的考察を基に、「(りっぱな男子としての)

⁸² 語頭の音が [k] (軟口蓋破裂音) であるため、かなり強い音となり、きつい印象を与えがちであるといった点も近年において好まれない一要因であるかもしれない。

大丈夫」から、「安全だ／確実だ／心配ない」を意味する形容動詞としての「大丈夫」への移行について述べる。以下、主要な部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例の下線は筆者による）。

①「おーい、だいじょうぶかあ」「うーん、だいじょうぶだあ」

このような「大丈夫」（*の出自）は、正当な古典漢語である。しかし、（*この用法は）現在、中国では使用されない。

②（現代の中国人に）「大丈夫（ダージャンフー）」と言えば、「しっかりとしますらお（益荒男／丈夫）」と解するであろう⁸³。

③（現代）日本語の「だいじょうぶ」の語感を（現代）中国語で表せば、「放心（ファンシン）」や「沒錯兒（メイツァール）」等になるだろう。

④古典漢語としての「大丈夫」は、「意志の強固なますらお」を意味した。

⑤「丈夫」は、「ますらお」であり⁸⁴、さらに「大」をつけ賞賛したことばが、「大丈夫」である。

⑥『孟子』に、「大丈夫」の定義がみられる（*以下、引用）。

富貴も淫する能わず、貧賤も移す能わず、威武も屈する能わず、此れを之れ、大丈夫と謂う（『孟子』滕文公下）

（*下述、「4.7.8 中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“1”参照⁸⁵）

⑦儒家の世界で多く使われたことばのようである。したがって、仏教との関連性は低いとみられる。

⑧『史記』「高祖本紀」には、高祖（漢の初代皇帝）が青年時、秦の始皇帝の姿を見て、嘆息したというくだりがある。「大丈夫」は、男子の模範としてあるべき存在であった。

（*以下、引用）。

嗟呼（ああ）、大丈夫はまさに此（かく）の如くなるべきなり（『史記』「高祖本紀」）

（*下述、「4.7.8 中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“14”参照）

⁸³ 現代中国語の「大丈夫」は、品詞・意味の点において大きな変化がなかったといえよう。

⁸⁴ 『明解国語辞典 改訂版』（1952）には、「ますらお」の項目に「あて字：丈夫」とある。

⁸⁵ なお、上記『孟子』の用例は、「大丈夫」に関する最古の資料の一つとみてよさそうである。年代は、戦国時代（紀元前 340-250 年）のものともみられる（同様に、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」～」、資料番号“1”参照）。

⑨『老子』にも、「大丈夫」の例がみられる（*以下、引用）。

是を以て大丈夫は、其の厚きに処りて、其の薄きに処らず（『老子』「第三十八章」）
（*下述、「4.7.8 中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“10”参照）

⑩見事な男子を評価する語であった「大丈夫」が、日本において、「あぶなげがないこと」「まちがいがいいこと」「確実なこと」「とりわけ壮健であること」等を意味する形容動詞の語幹になる。それはいつ頃、どのような転機を経たのであろうか。

⑪歌舞伎のせりふに、「大丈夫なお若衆様（靈驗曾我籬 三幕）」というのがある。

⑫人情本、『春色梅ごよみ』にも、「大丈夫」がみられる（*以下、引用）。

ほんにおまへさまは、まあさぞかしこわかったらう、もうもう気を大丈夫にお持ちよ

（*下述、「4.7.2 近世・近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」、「4.7.2.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“6”参照⁸⁶）

⑬『浮世床』にも、「大丈夫」がみられる（*以下、引用）。

あの息子もよくかせいで利口者だから、身上は大丈夫だ
（*下述、「4.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、「4.7.1.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“16”参照⁸⁷）

⑭本来、「りっぱな男子」を意味する「大丈夫」が、江戸時代の庶民ことばとして、「大丈夫」たるにふさわしい状態を表す形容語」として使用されるに至ったようである。『春色梅ごよみ』「気を大丈夫にお持ちよ」は、「大丈夫」としての気力を持つということ。まだ、男子の手本としての「大丈夫」が残存する。

⑮『浮世床』「身上は大丈夫だ」は、既にことばの転化が起きている。「身上は大丈夫だ」は、「身上」が「(本来の) 大丈夫」のようにびくともしないさまを表したのであろう。そこから意味が転化し、「安全だ／確実だ／心配ない」の意味に移行したのであろう。

⑯上のように考えれば、現代日本語の「大丈夫か」「うん大丈夫だ」（冒頭の例）は、「(本来の) 大丈夫」のようにしっかりしていられるか」「うん、そうしていられる、

⁸⁶ なお、上記資料（CHJ：日本語歴史コーパス）によると、「大丈夫」を「ぜうぶ（じょうぶ）」と読ませているため注意を要する。

⁸⁷ ここでは、「大丈夫」を「でへじやうぶ」と読ませる。「大丈夫」は「しっかりした／間違いなく／確かに」を意味するようである。現代語の用法とさほど変わらない。

自分は「大丈夫」であるから」となるのが論理的には正しそうである。

⑰しかし、現代日本語の「大丈夫」については、「(男子の手本としての) 大丈夫」という意味はもはや消滅し、単に「安全」を示す標語のようなものになった。

⑱今日では(*1970年代後半)、女性も普通に、「だいじょうぶよ」などと使っている。

⑲庶民社会のことばは、自由自在に、勝手気ままな方向に転化してゆくものである。庶民の言語には、エネルギーがあり、恐ろしさがある。

⑳もはや、「大丈夫」という日本語の語源を説明したところで意味がなくなってしまう。また適確な説明をすることもできなくなっている。

4.2.1.2 考察（「大丈夫」の意味変遷）

まず、上記① ②では、「大丈夫」の出自が正当な古典漢語であり、現代中国人（1978年当時）は、「大丈夫（ダージャンフー）」を「しっかりとしたますらお（益荒男／丈夫）」と解するであろうとしている。つまり、現代中国語の「大丈夫」を古典中国語のそれと比較すれば、品詞・意味の点において大きな変化がなかったということが考えられる。

上記④では、古典漢語「大丈夫」が「意志の強固なますらお」を意味し、⑤では、「丈夫」が「ますらお（益荒男）」を意味し、さらに「大」をつけ賞賛したことばが、「大丈夫」であるとしている。ここで、『明解国語辞典 改訂版』、「ますらお」の項目をみると、「ますらお」に「丈夫」の字を当てている。

上記⑥では『孟子』、⑧では『史記』「高祖本紀」、⑨では『老子』の例が示される。鈴木は上記④で古典漢語「大丈夫」は、「意志の強固なますらお」を意味するとしている。それに加え、信頼に足るべき高邁な人間性といったものをも兼ね備えた人物こそが、古典漢語における「大丈夫」であったと解釈できよう。

上記⑩では、日本における「大丈夫」の意味の変遷は、どのような転機を経たかと問いか、⑭では、「りっぱな男子」を意味する「大丈夫」が、江戸時代の庶民ことばとして、「大丈夫」たるにふさわしい状態を表す形容語」として使われるようになったと結論づけている。これは、人物そのものを指し示した「大丈夫」が、その人物の持つ性質・特徴のほうに焦点が移行し、状態性形容動詞として広汎な事象に適用されるようになったみられる。したがって、「大丈夫」は江戸時代（近世期）に具体から抽象への移行を経たと解釈することもできよう。

再び上記⑭、「りっぱな男子」を意味する「大丈夫」が、江戸時代の庶民ことばとして、

「大丈夫」たるにふさわしい状態を表す形容語」として使用されるに至った」という一節について検討する。これは具体的にいえば、「(大丈夫ならば) 立派にふるまう」「(大丈夫ならば) 安心である」「(大丈夫ならば) 信頼できる」といったことになろう。つまり、「大丈夫」を見たとき(あるいは思い描いたとき)、心に浮かぶ感情といったものである。ここで、「大丈夫」と「立派」、「大丈夫」と「安心」、「大丈夫」と「信頼」というように常に互いにセットになっていると考えれば、隣接性が関連するメトニミー(換喩)的作用が働いたという見方ができる。つまり、「立派」、「安心」、「信頼」といったプラス評価性の意味が隣接する「大丈夫」そのものに取り込まれたという解釈である。あるいは「立派な男子」から、性質・状態そのものへの移行を、「ある概念から別の概念への変化」とみるならば、隠喩(メタファー)に当てはまる事例ともいえよう。

上記⑩では、「庶民社会のことばは、自由自在に、勝手気ままな方向に転化してゆく」とある。ただし、本来、漢語は多義語化しにくい傾向を持つものと考えられる。やはり、「大丈夫」の多義語化の要因は、近世に庶民言語として用いられるようになった点にあるとみられる。ちなみに、鈴木は⑪で、「庶民の言語には、エネルギーがあり、恐ろしさがある」とも述べている。当然「大丈夫」のことを述べているとみられる。一方、この「恐ろしいまでのエネルギーを持った庶民言語」として筆者がたちどころに連想するのが、「やばい」である。「やばい」については下述、「第7章 やばい」にて考察を行う。

4.2.2 砂川有里子(2005)

4.2.2.1 問題な「大丈夫」

『続弾! 問題な日本語—何が気になる? どうして気になる?』(2005)では、「コーヒーで大丈夫ですか」において、「大丈夫」が取り上げられる(砂川有里子記述)。ここでは、読者の質問に記述者が回答する Q&A 方式を取っている。以下、主要部分についてまとめた(便宜上番号をつけた)。

① [質問 1]: ランチセットの注文を取りに来たウエイトレスに、「お飲み物はコーヒーで大丈夫ですか」と尋ねられ、返答に困った。このように、「大丈夫」を使ってもよいのか。

② [質問 2]: 書店で働いているが、「(*本に) カバーはお付けしますか?」と聞くと、

(※客に)「大丈夫です」と言われる。返答になっていない気がするが、いかがであるうか。

③ [答え]: 本来「大丈夫」は、「丈夫(※ますらおの意)」の美称であった。そこから、「健やかで元気だ」「しっかりしていて問題がない」「危なげがなく安心できる」といった性質・状態を表す意味に変わった。

(※以下、事例と用法についての確認)

④ 転んで泣く子供に、「大丈夫？」と尋ねるのは、けがはないか、大事はないかを問いただしている。けががないことを確認し、「大丈夫だよ、泣かないで」と声をかけるのは、大事はないから安心しなさいと慰めていることとなる。

⑤ 「高卒の資格で大丈夫ですか」というのは、「それだけで十分ですか」を意味する。

⑥ 「メール、日本語で大丈夫ですか」というのは、「日本語で問題ないですか」を意味する。

⑦ このように、「大丈夫」は、使用場面によって様々に解釈されるが、どの事例も、「しっかりしていて問題がない」「危なげがなく安心できる」といった意味に支えられている。

⑧ ところで、「問題ない」や「危なげない」等の意味を含む表現は、「問題がある」や「危なっかしい」ことが想定される場面で使われることが普通である。例えば、「メール、日本語で大丈夫ですか」というのは、「日本語で書いたら読めないかもしれない」という問題が想定されて出る問いかけである。

⑨ そのような想定が全く考えられないところで、「大丈夫」を使うと、多少変な言い方になる。

⑩ (作者(砂川有里子)が、)美容院でシャンプーの際、「湯加減は大丈夫ですか」と尋ねられ、つられて「大丈夫です」と答えてしまい、落ち着きの悪さを感じることもある。カットの仕上がりを確認する際、「これで大丈夫ですか」と聞かれたときも違和感を覚える。

⑪ プロであるから、湯加減やカット技術に問題があってはいけないはずなのに、「大丈夫ですか」と尋ねることがおかしい。問題等を想定していないのに、「大丈夫です」と言ってしまうほうもおかしい。

⑫ 上記①、②の質問者の経験(レストラン・書店)も以上のような理由でおかしいと感じられたのであろう。

⑬コーヒーでいいのかどうか、カバーを付けるのかどうかという単なる確認の場面であるから、ことさら問題を想定する必要はない。そのようなときに「大丈夫」を使うから違和感が生じた。

⑭「大丈夫」は、語の形自体は肯定であるが、「問題ない」「危なげない」等の表現と同様に否定の意味を含んでいる。

⑮この種の表現は、「うまいよ」「いいね」等、素直に肯定すればよいところを少し斜に構えてひねった言い方をしているわけである。そうすることで素直な肯定表現にはない何らかの「思い」を伝えているのであろう。特にそのような思いを伝える必要のない場面では、素直な肯定表現を使ったほうがよいであろう。

⑯上記質問① ②のケースも、素直に、「お飲み物はコーヒーでいいですか（よろしいでしょうか）」「はい」「いいえ」（あるいは、「付けてください」「付けなくていいです」）のように言えばいいのではないか。

4.2.2.2 考察（近年における「大丈夫」の用法）

上記①では、「お飲み物はコーヒーで大丈夫ですか」と尋ねられ、返答に困った」とある。この場合、例えば（以下、便宜上 a, b とした）、

a 「(店員) お飲み物はコーヒーで大丈夫ですか？」 「(客) 大丈夫です」

という会話が成立した場合、おそらく、客のもとにはコーヒーが給仕される。一方、

b 「(店員) コーヒーは大丈夫ですか？」 「(客) 大丈夫です」

という会話が成立した場合、おそらく、客のもとにはコーヒーが給仕されない。a, b 両者の会話例ともに微妙な違いであるものの結果が真逆になるため興味深い。

ここで筆者の解釈を試みれば、a 「(店員) お飲み物はコーヒーで大丈夫ですか」における「大丈夫」は、“OK” や「よろしい」で代替可能である。したがって、「大丈夫」が肯定の機能を持つことになる。一方、b 「(店員) コーヒーは大丈夫ですか」における「大丈夫」は、コーヒーの要不要（つまり、「いる」「いない」）について二者択一を相手（客）に提示するといった機能を持つことになる。したがって、この類の「大丈夫」を「二者択一の大丈夫」としておく。ちなみに、上記例 a, b ともに相手（客）に対する「確認」の行為をしていることに変わりはない、ただし、発話の意図および機能が異なるといったことがい

えよう。

上記②では、書店員が「(*本に) カバーはお付けしますか?」と聞くと、(客に)「大丈夫です」と言われたとある。果たして、この会話が成立した場合、客の手元にはカバーが付けられた本がくるのか、それともカバーが付けられていない本がくるのか。ここで、客側の真意をみれば、店員に対し若干の気配りをしつつ、投げかけられた提案に対し婉曲に辞退するといったことになるだろう。したがって、その真意を店員が理解すれば客の手元にはカバーが付けられていない本がくることになるだろう。

なお、上記②では、書店員が客に「大丈夫です」と言われ、返答になっていない気がする、という主旨である。しかし、近年においては、むしろ店員の側から、「(*本に) カバーはお付けしても大丈夫ですか?」と提案される場合があるため注意を要する。例えば(以下、会話例、便宜上 c, d とした)、

c 「(店員) カバーはお付けしても大丈夫ですか?」「(客) 大丈夫です」

のような場合、いったいどのような結果になるのであろうか。上記の場合は判断が非常に難しい。これは、店員の側としては、カバーを付けることを前提とした提案である可能性が高い。一方、客の側は婉曲な断りの意思表示として「大丈夫です」と発話する可能性が高い。したがって、店員、客ともに真意を取り違えて会話が成立しない可能性もありうる。このあたり、日常会話における「大丈夫」の限界点といってもよいであろう。一方、

d 「本のカバーは大丈夫ですか?」「(客) 大丈夫です」

のような会話が成立した場合、二者択一型の「大丈夫」になるため、通常ならば、客の手元にはカバーが付けられていない本がくることになるだろう⁸⁸。この場合、客の側は「カバーを付ける(有)」「カバーを付けない(無)」の二者の選択肢のうち、「大丈夫」を発話することで「無」のほう、つまり「カバーを付けない」選択を店員に暗示的に伝えるという解釈になる。

なお、上記③では、「コーヒーでいいのかどうか、カバーを付けるのかどうかという単なる確認の場面においては、ことさら問題を想定する必要はなく、そのようなときに「大

⁸⁸ これは、渡辺実の構文論的にみれば、「Aは大丈夫ですか?」構文(二者択一型)ということになるだろう。ここで、“A”には、具体的なもの、あるいは抽象的サービス等の名詞が入るとみなす(上述、「3.2.6 渡辺実(1990)」も参照)。

「大丈夫」を使うから違和感が生じた」とある。裏を返せば、現代語の「大丈夫」が「単なる確認の場面」においても使われるようになってきているということを示したものと見える。これはつまり、近年における「大丈夫」の使用域の拡張を示唆するものといえよう。

上記⑭では、「大丈夫」は、語の形自体は肯定であるが、「問題ない」「危なげない」等の表現と同様に否定の意味を含んでいる」とある。これについては、「大丈夫」自体に否定の意味が含まれるというわけではなく、なんらかの心配・不安・問題要素があるといった背景のもとで「大丈夫」が発話される状況が比較的多いのであろうと筆者は解釈している。つまり、仮に「大丈夫」に否定の意味が含まれるとすれば、例えば上記会話例 a でみたような肯定機能を持った「大丈夫」の説明ができなくなってしまうといった懸念が生じることとなる。

上記⑯では、上記① ②の会話例について、「素直に、「お飲み物はコーヒーでいいですか（よろしいでしょうか）」「はい」「いいえ」（あるいは、「付けてください」「付けなくていいです）」のように言えばいいのではないか」といった作者（砂川有里子）からの提案がある。これについてはもっともな提案である。しかし、そうはいつでも「大丈夫」と言いたい何らかの理由があるから、「大丈夫」を使うのではないのか。「大丈夫」を発話するときの真意として、「いいえ」を発話したくない心理が背景にあるとみられる。つまり、相手に「いいえ」を言わずに婉曲的に断りの意思表示をするために、「大丈夫（です）」といった表現を用いるわけである。これは効果的な会話ストラテジーの一種とみてよいであろう。

いいか悪いかといったことは別として、「大丈夫」の会話時における利便性を考慮すれば、「大丈夫」が「問題」な日本語であるから言い換えましょうといった提案に関係なく、今後ますます勢力を拡大していくといったことが予想される。

4.2.3 高橋巖（2014）

4.2.3.1 「大丈夫」の新たな用法

高橋巖（2014）『平成日本語聞見録』では、「第一部 平成日本語の主役 11」、「VI 大丈夫です」に、「大丈夫」についての記述がみられる。ここでは、高橋の実際の体験談を基に、新しい「大丈夫」の使用例が豊富に挙げられている。ただし、高橋自身は新しい「大丈夫」の用法については否定的である。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例の下線は筆者による）。

①2010年3月、始発電車の出発を待つ車内にて。男女高校生がすでに乗っている。
(*作者(高橋巖)が、ドアボタンを押して車内に入った。作者は自動でドアが閉まる
と思い込んでいたため、ドアは開いたままであった。そこで女子高生が席を立ててド
アを閉めた。以下、それに気がついた作者と女子高生とのやりとりの会話例。)

- ・作者(高橋巖): 申し訳ありません。ひとりで閉まると思ったものですから…
- ・(ドアを閉めた)女子高生: 大丈夫です

②返答として、「いいえ(どういたしまして)」あたりが妥当であろう。

③10年ほど前(2000年ごろ)から、上のようなことばが返ってくることが多く、少し
ずれた使い方ではないか、と違和感を持っていた。

④例えば、a「手術は成功したからもう大丈夫だ(形容動詞)」、b「大丈夫合格は間違
いない(副詞)」のような使い方と上記の「大丈夫」を比較すれば、ずれており、使用
範囲が拡大転置されている。

⑤他方、作者があるスーパーにて、会計を終えた後、レジ脇にある段ボール箱を使っ
ていいかとレジの20代の女性に尋ねたところ、「大丈夫です」と返された。返答とし
て、「どうぞ(お持ちください)」あたりが妥当であろう。

⑥別のスーパーにて、作者が開店時間前後に入店し、誰もいないため心配になり、「早
すぎましたか?」と40代ぐらいの女性店員にたずねたところ、同じく、「大丈夫です」
と返された。

⑦この「大丈夫です」の用法は、若い女性だけでなく、男性も使う。以下、あるテレ
ビ番組からの例。

- ・レポーター:(予約が必要なうどん屋にて)一人分だけ、お願いできますか?
- ・店の主人(中年): 大丈夫です

返答として、「はい(よろしゅうございます)。おつくり(いた)します」あたりが妥
当であろう。

⑧この漢語の「大丈夫」は、響きもあまり似つかわしくなく、使い方としてしっくり
しない。多用が気になる。

⑨作者が百元ショップで買い物をし、会計を済ませた後、空になったカゴを片付ける
べきか迷い、「片付けますか?」と尋ねたところ、若い女性の店員は、「大丈夫です」
と言った。東京で働く30代の男性達もこの「大丈夫」の用法を使っていた。現在(2014
年前後)、全国的に行われているようである。

⑩作者が行きつけの歯科医院にて。

- ・作者：(わずかの支払いだが、お金をくずしたかったため) 恐れ入りますが、細かいのが欲しいので五千円札で
- ・女性の受付 (3,40代ぐらい)：大丈夫ですよ

⑪以下、朝日新聞「声」欄からの投稿より (題名：その日本語は「大丈夫」ですか)。コンビニで買い物をした。商品を持ってレジに向かうと、店員から「ポイントカードは大丈夫ですか」と聞かれた。何のことかわからずにいると、再び同じ質問をされたので「持っていません」と答えると、「そうですか」といって品物を袋に入れた。「ポイントカードを持っていますか」と聞いたかったようだが、「大丈夫ですか」という言い回しが即座に解せなかったのだ。(中略) こんな「大丈夫」の使われ方ばかり耳にすると、「日本語は大丈夫ですか」と聞きたくなくなってしまふ。

⑫比較的若い層に使われていると思われるこの「大丈夫」の用法は、今しばらくは流行するとしても、今後の寿命はそう長くないような気がする。

4.2.3.2 考察 (返答の「大丈夫」のバリエーション)

まず、上記①の作者 (高橋巖) と女子高生と始発電車内におけるやりとりをみると、女子高生の発した「大丈夫です」は、具体的にいえば、「(お安い御用ですから、私のことは心配 (気遣い) しなくて) 大丈夫です」ということになるろう。つまり、発話者 (女子高生) なりに聞き手 (作者) に対する気遣いを試みた表現ともいえよう。上記②で、作者は「返答として、「いいえ (どういたしまして)」あたりが妥当であろう」と述べ、上記③で、「少しずれた使い方で、違和感を持っていた」とも述べる。ただし、「いいえ、どういたしまして」といった表現は標準的決まり文句であるが、実際の言語運用上はめったに使用されないものといつてよいであろう。

上記④では、「a「手術は成功したからもう大丈夫だ (形容動詞)」、b「大丈夫合格は間違いない (副詞)」のような使い方と上記①の「大丈夫」を比較すれば、ずれている」としている。ただし、上記④bの副詞とされる用法のほうが現代ではほぼみられないと考えられるため、むしろ筆者には違和感がある。④bの例は、「合格は大丈夫。」「合格は間違いない、大丈夫だ。」としたほうが現代語としては自然であろう。ちなみに副詞的な「大丈夫」の用法は、明治・大正期にみられる (ただし、少数である)。参考として、下述、「4.7「大丈夫」の実例」、「4.7.2 近世・近代 (CHJ：日本語歴史コーパス)」から、1909 (明治 42) 年の実

例資料を以下に提示しておく（下線は筆者による）。

二人は驚く。本戸『今度は先生、大丈夫患者ですぞ』 楠見『えツ患者？』 本戸『入院したいと云つて來ました』（太陽 60M 太陽 1909_11033）

上記の例は、副詞的「大丈夫」の典型的用法とみられる。文脈によると「大方／間違ひなく」といった意味で使われているようであり、現実性の高い仮定を暗示するものようである。一方、上記例を一見したところ、何かしっくりこない感覚を得られるが、それは現代語において、「大丈夫」の副詞的用法が使われていないことの証左となるものであろう。

上記⑤におけるレジの若い女性と作者のやりとりにおいて、女性が発した「大丈夫です」は、「どうぞ」、つまり“*It's OK.*”を意味するとみられる。筆者は「許可の大丈夫」として置く。ここで作者は「返答として、「どうぞ（お持ちください）」あたりが妥当」と述べる。しかし、当の若い女性にしてみれば、「どうぞお持ちください」と言いたくない何らかの理由があるから、「大丈夫です」と発話するわけである。つまり、女性の「大丈夫」の発話意図として、「どうぞお持ちください」と言うのが長くて面倒くさい、敬語を運用することが面倒くさい、気恥ずかしい、あるいは「大丈夫です」が短いから発話が楽である、等々の理由を見いだすことができそうである。

上記⑥では、またもやスーパーで、「早すぎましたか？」と中年の女性店員にたずねたところ、上記⑤と同様に、「大丈夫です」と返された、とある。ここでの「大丈夫です」は、「問題ない」、つまり“*It's no problem.*”を意味するとみられる。これは、発話者（ここでは中年女性）が聞き手（ここでは作者）の不安・心配等の懸念を払拭するという発話意図を持った「大丈夫です」といえよう。筆者はこの類の「大丈夫（です）」を「懸念払拭の大丈夫」としておく。

上記⑦でのテレビレポーターとうどん屋の主人とのやりとりにおける「大丈夫です」も、「問題ない」、つまり“*It's no problem.*”に近いものであろう。上記⑤の「懸念払拭の大丈夫」に近いものである。つまり、店主は、無理なお願いをしたレポーターの不安を払拭し、気遣いも込めた上で「大丈夫です」と発話するわけである。「大丈夫（です）」については、特に発話者の聞き手（相手）に対する気遣いの表明といった点も大事な要素といえよう。

上記⑧で、作者は「この漢語の「大丈夫」は、響きもあまり似つかわしくなく、使い方としてしっくりしない。多用が気になる」と述べる。ここで作者は「漢語の「大丈夫」と

いうが、筆者が上述したように、現代においては「大丈夫（だいじょうぶ）」という語が漢語由来であるという認識はすでに薄れつつあるとみられる（上述、「2.2.3.2 考察（「結構」「大丈夫」「適当」との関連性）」等参照）。特に日常会話において用いる「大丈夫」は、限りなく和語化したものであるといえよう。

上記⑨での、百円ショップにおける作者と若い女性店員とのやりとりにおける「大丈夫です」は、「（作者が買い物カゴを片付けなくても）問題ない」を含意した「大丈夫（です）」といえよう。

上記⑩では、コンビニでの買い物の際、レジにて店員に「ポイントカードは大丈夫ですか」と聞かれて何のことやらわからなかった、とある。これについての筆者の解釈は、「（ポイントカードの有無（あるかないか）については）「大丈夫」ですか？」となる。つまり、客（相手）に気遣い（配慮）をしつつ所持品の有無について確認を行うということとなる。筆者は、「二者択一／確認の大丈夫」としておく。これは、最近、スーパー等でよく耳にする「レジ袋は大丈夫ですか？」に応用が可能となる。この場合は、客（相手）の所持品の有無の確認ではなく、レジ袋が必要か必要でないか（この場合は要不要）についての客（相手）に対する意思の確認といった説明ができる。）したがって、この類の「大丈夫」は、所持品（具体物）の確認と意思（抽象的思考）の確認との二通りがあるとみられる。

上記⑪で、作者（高橋）は、「比較的若い層に使われていると思われるこの「大丈夫」の用法は、今しばらくは流行するとしても、今後の寿命はそう長くないような気がする。」と述べる。しかし、作者の予測はおそらく当たらないであろう。上記「大丈夫」の用法について、筆者はむしろ定着するであろうと考える。否、むしろすでに定着してしまっているようでもある。やはり理由として、拍が短いため発話がしやすい、多様な場面において使用できる、他者に対して気遣いしつつもやんわりと断ることができる等の利点が挙げられよう。一個人の思惑といったものを超越してことばは進むべき方向に勝手に進んでしまうということなのであろう。

4.2.4 神永暁（2015）

4.2.4.1 ゆれている「大丈夫」

神永暁（2015）『悩ましい国語辞典—辞書編集者だけが知っていることばの深層—』では、「揺れる意味・誤用」に「大丈夫」の項目がみられる。以下、主要な部分についてまと

めた（便宜上番号をつけた）。

①作者（神永暁）が、理髪店で散髪後、シャンプーをしてもらっているときの場面での会話例。

- ・店員：おかゆいところはありませんか
- ・作者：大丈夫です

②上記「大丈夫」の意味は、残念だが現行の国語辞書では説明できない。

③形容動詞「大丈夫」について、多くの国語辞書は、以下、『日本国語大辞典』のように、二つの意味に分ける（以下、意味の分類 a, b）。

- a きわめて丈夫であるさま。ひじょうにしっかりしているさま。
- b あぶなげのないさま。まちがいないさま

④しかし、作者が理髪店で発した「大丈夫」は、上記二つの意味では説明できない。これは、「問題ない」という意味合いである。この新しい「大丈夫」の扱いが辞書編集者を悩ませる。

⑤しかし、『大辞泉』のように、少数だがこの意味に触れる辞書も現れてきた（以下、補注の記述）。

「近年、形容動詞の「大丈夫」を、必要または不要、可または不可、諾または否の意で相手に問いかける、あるいは答える用法が増えている。「重そうですね、持ちましようか」「いえ、大丈夫です（不要の意）」、「試着したいのですが大丈夫ですか」「はい、大丈夫です（可能、または承諾の意）など」

⑥『明鏡国語辞典 第二版』も、補注にてこの用法に触れ、「本来は不適切」とする。

⑦従来なかった新しい意味だからといって、私（作者）には不適切と決める勇気がない。この新しい「大丈夫」が辞書に登録される日も遠くない気がする。

4.2.4.2 考察（「大丈夫」の用法の整理）

まず、上記①では、作者（神永）が、理髪店にて、シャンプーをしてもらっているときの場面での会話例が示されている。上記②では、①における「大丈夫」の意味について、「現行の国語辞書では説明できない」と述べる。また、上記③では、形容動詞「大丈夫」について、多くの国語辞書は、例③a「きわめて丈夫、ひじょうにしっかりしている」、例③b「あぶなげない、まちがいない」のように二つの意味に分けられる、とある。さらに、上記

④では、作者（神永）が理髪店で発した「大丈夫」について、「問題ない」という意味合いで、上記二つの意味（例③a、例③b）では説明できない、とも述べる。つまり、作者（神永）は、現行の国語辞書では、「大丈夫」について「問題ない」という意味の記載がないため、十分に説明ができないといったことを述べたいようである。しかし、本当にそういえるのであろうか。

例えば『明鏡国語辞典 第二版』（2010）、「大丈夫」の項目、形容動詞②には、「危なげがなく安心できるさま。問題ないと保証できるさま。確か。」とあり、『三省堂国語辞典 第七版』（2014）、「大丈夫」の項目、形容動詞②には、「不安や心配がないようす。問題が起こりそうでないようす。」とある（下述、「4.3 近代の辞書における「大丈夫」」、「4.3.2 近代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較」参照）。つまり、すでに現行の国語辞書において「問題ない」という主旨の意味記述がみられるため、説明可能ということになる。ちなみに、上述、「4.2.2 砂川有里子（2005）」においても、「大丈夫」について、「しっかりしていて問題がない」状態であるとしている。

ただし、上記②の「現行の国語辞書では説明できない」件については、「大丈夫」の例に限ったこととはいえない。現代においては、実際の言語運用と辞書の意味記述とのずれが比較的大きいということがいえそうである。

ここで、上記①の理髪店での作者（神永）と店員との会話例における「大丈夫です」について、筆者の解釈を試みる。店員の「おかゆいところはありませんか」という発話の真意は、つまり、店員が「かゆい」、あるいは「かゆくない」の二通りの選択を客（作者）に投げかけたということになる。ここで、客（作者）が「大丈夫です」と発話した真意は、「かゆい」「かゆくない」二通りの選択肢のうち、「かゆくない」ほうを選んだということになる。つまり、端的に言えば、上記の場面における「大丈夫」は、「有」「無」の選択肢のうち、「大丈夫」と発話することで「無」のほうを選んだということがいえよう。したがって、「大丈夫（です）」の発話は、客（作者）が「無」のほうを選んだという意味を店員に暗示する（ほのめかす）意図があるといえよう。つまり、この真意についてお互いが理解していれば、問題なく会話が成立することとなる。

次に上記⑤での『大辞泉』における「大丈夫」の記述について、以下に参照してみる（会話例は便宜上 a, b とした／下述、「4.4 現代の国語辞書における「大丈夫」」、「4.4.1 現代の 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較」も参照）。

近年、形容動詞の「大丈夫」を、必要または不要、可または不可、諾または否の意で相手に問いかける、あるいは答える用法が増えている。

a「重そうですね、持ちましょうか」「いえ、大丈夫です（不要の意）」

b「試着したいのですが大丈夫ですか」「はい、大丈夫です（可能、または承諾の意）など」

上記例 a, b については『大辞泉』、「大丈夫」の意味記述についての論点とみられる。まず、上記 a の「いえ、大丈夫です」は「不要の意」とある。一方、上記 b の「はい、大丈夫です」は「可能、または承諾の意など」とある。これらは全て用法の異なる「大丈夫」とみられ、一緒くたに提示すれば混乱をまねく懸念がある。改善が望まれよう。さらに、実際の会話上においては、「いえ、大丈夫です」、「はい、大丈夫です」といった意思の明確な発話でなく、両者ともに「いえ」も「はい」もなく、「大丈夫です」のみ発話される傾向が高いとみられる。この点にこそ「大丈夫」の意図が捉えがたい理由があるとも考えられる。

ここで、上記例 a, b について、筆者による用例の整理をしておく。まず、上記 a 「いえ、大丈夫です」は「懸念払拭の大丈夫」、上記 b 「試着したいのですが大丈夫ですか」は「確認の大丈夫」、「はい、大丈夫です」は「許可の大丈夫」と解釈できる。さらに、実際の会話上において、上記 a 「重そうですね、持ちましょうか」は、「重そうですね、大丈夫ですか」とも発話されうる。この場合は、「気遣いの大丈夫」となる。以上のように、用法を端的に説明すれば、語に対する理解度は大幅に増すといったことが予想される。

4.2.5 伊藤由美 (2017)

4.2.5.1 ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」

伊藤由美 (2017) 『できる大人は、男も女も断り上手』、「第3章 ビジネスシーンのお断り」、「その大丈夫は大丈夫?—誤解を招くイマドキのお断りフレーズ—」において、「依頼／誘い」を「断る／辞退する／遠慮する」という状況で使う「大丈夫」についての記述がみられる。当書は、「断り上手の作法」について論じられたものである。一般書ではあるものの、本稿のテーマである反義併存性と密接に関わるため取り上げた。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた／例の下線は筆者による）。

- ①会話の中で頻繁に使われる「大丈夫です」ということばに違和感がある。
- ②「依頼／誘い」を「断る／辞退する／遠慮する」という状況で、「大丈夫です」を使う人が多い。
- ③この「大丈夫」は、特に若い人の中でよく使われ、“No thank you”という意味で使われる（*以下、店（銀座のクラブ⁸⁹）における会話例）。
- A：ほら、君も遠慮しないで飲みなさい
- B：はい、大丈夫です
- A：ん？ それは飲める、飲めない、どっちだ？ 日本語っていうのは難しいな（笑）
- ④従来の「大丈夫」ならば、“OK”の意味であるから、上記例に照らすと、「飲めます。いただきます」となる。
- ⑤一方、最近の「大丈夫」は、全く逆の“NO”の意味を持つ。つまり、上記例に照らすと、「すすめを断るフレーズ」としての「ごめんなさい。せっかくですが遠慮します」となる。
- ⑥酒席での笑い話ならば特に問題はない。しかし、ビジネスにおいて、上司・取引先等が相手となると状況は変わる（*以下、会話例）。
- A：今日の仕事が終わったら、たまには飲みに行かないか？
- B：大丈夫です
- ⑦従来の意味では、「大丈夫=OK」と解釈できるため、Bの真意は、「行けます」となる。一方、「大丈夫=遠慮いたします」の意味で解釈すると、Bの真意は、断りの「行けません」となる。
- ⑧同じ「大丈夫」でも、とらえ方で180度意味が変わってしまう。
- ⑨「大丈夫」と同様、「結構です」にも肯定・否定の二つの意味がある。
- ⑩「結構です」は、状況により、「優れている」「問題ない」の意味になる。一方、断りの文句としての「必要ありません」「要りません」の意味にもなる。
- ⑪上記例、ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」は、話しことばとして通用している。しかし、使い方を間違えると相手に悪い印象や誤解を与えかねない。
- ⑫特に、ビジネスにおいては、「あいまいな表現」のため相手に失礼にあたることもある。

⁸⁹ 奥付によると、伊藤由美は、銀座「クラブ由美」オーナーママとある。

⑬断り方の基本テクニックは、「あいまいにしないこと」である。

⑭「大丈夫です」「結構です」という表現は、真逆の意味合いを持つため、誰にでも通用するわけではない。したがって、ビジネスにおいてははっきり断る際には、適当でない「要注意フレーズ」である。

4.2.5.2 考察（ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」）

以上、概観すると、上記①にもあるように、伊藤は、「依頼／誘い」を「断る／辞退する／遠慮する」という場面で使う「大丈夫です」という表現に対し、否定的見解を持つことがわかる。おそらく、一定の世代以上の人々にとって、この断りの「大丈夫です」に対し違和感を抱く層もいるということになる（この点については、上述「4.2.3 高橋巖(2014)」も参照）。

上記④で、伊藤は、「従来の「大丈夫」ならば、“OK”の意味である」と述べる。ここで、従来の「大丈夫」の会話例としては、「Aさんってお酒飲めるんですか？」「もちろん大丈夫」といったものが挙げられよう。一方、上記⑤では、「最近の「大丈夫」は、全く逆の“NO”の意味も持つ」とも述べる。この、⑤における「全く逆」という表現は、「大丈夫」が反義併存的な性質を持った語であることを端的に現したものとみられる。

上記⑨ ⑩では、「大丈夫です」の同義表現としての「結構です」が取り上げられる。⑩では、「結構です」は、状況により、「優れている」「問題ない」の意味になり、一方、断りの文句としての「必要ありません」「要りません」の意味にもなる。」と述べ、「結構」の反義併存的な性質についても触れている。なお、上記⑩において、伊藤は、“OK”、あるいは全く逆の“NO”の意味も持つ「大丈夫」「結構」について、「ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」と命名している。なお、「ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」は、「話しことばとして通用しているが、使い方を間違えると相手に悪い印象や誤解を与えかねない」との懸念も表明している。したがって、特にフォーマルな場においては、使用に注意を要するということになる。

ここで、「ダブルミーニングの「大丈夫」「結構」について、両者を比較すると、現代語においては「大丈夫です」のほうが、より幅広い世代に好まれる表現のようである。筆者の日常的観察においても、最近よく耳にするのは、圧倒的に「大丈夫です」のほうである。おそらく、断りの場面における「結構です」は、居丈高で強い語感を想起させるため、現代ではやや使いにくくなっているのではとみられる。一方、「大丈夫です」の方は、他者

(相手)に配慮しつつ婉曲な断りの表明が可能となる。したがって、便利で使いやすいといった点が比較的多用される要因であろうとみられる。

4.2.6 田中伊式 (2018)

4.2.6.1 婉曲な否定としての「大丈夫」

田中伊式 (2018)「「大丈夫」の境界線」(NHK 放送文化研究所編 (2018)『放送研究と調査 9月号』所収)においては、現代の新たな「大丈夫」の用法、「勧誘(誘い)に対するえん曲な否定」についての記述がみられる。以下、主要部分についてまとめた(便宜上番号をつけた/例の下線は筆者による)。

①ある留学生が、(日本人から)食事会に誘われ、「大丈夫です」と返答したところ、その後、相手から何の連絡もなかった。「大丈夫」の意図をどう解釈するかで、誤解が生じたようである。

②「誘いに対するえん曲な断り」としての「大丈夫」が、最近、若い人を中心に増えている。

③『明鏡国語辞典 第二版』、「大丈夫」の項目には、以下のような意味記述がある。「(俗)相手の勧誘などを遠回しに拒否する語。」「主に若者が使う」「本来は不適切」(*下述、「4.4 現代の国語辞書における「大丈夫」」、「4.4.1 現代の10種における「大丈夫」の意味記述の比較」も参照)

④さらに、以下のようなやりとりは、若者を中心に定着しているとみられる。

(*ファミレスにおける店員と客とのやりとり)

店員:「コーヒーのおかわりはいかがですか？」

客:「いえ、大丈夫です」⁹⁰

⑤以下は、「大丈夫」の本来の使い方の例である。

⁹⁰「いえ、大丈夫です」とあるが、筆者の日常的観察では、実際にこのような場面における発話は、ほとんど「大丈夫です」となる。話者の真意は、「いいえ(いえ)」を言いたくないから婉曲に「大丈夫」と発話するのであり、「いえ、大丈夫です」としたら、「大丈夫」の発話の効用が減じる、あるいはなくなることとなる。ちなみに、「いえ、大丈夫です」という表現は、前節、「4.2.4 神永暁(2015)」で紹介したように、『大辞泉』「大丈夫」の項目にも例文として掲載されている。実際の言語運用の現場でことばがどのように使われているかの観察こそが重要である。

(＊目の前で人が転んだのを目撃して)

A：おケガはありませんか？

B：(返答として)「大丈夫(です)」

⑥ほかに、行為への許可を求められたときの返答として使われる場合もある(以下、会話例)。

A：ここに荷物を置いてもいいですか？

B：はい、大丈夫です

(＊これは「許可の大丈夫」)

⑦以上、「ケガがなく無事であったとき」「(その場所に)荷物を置けるとき」いずれもOKのニュアンスを伴う。

⑧一方、最近増えているのは、「大丈夫の」「勧誘に対するえん曲な否定」としての用法である。

⑨一体、「大丈夫」がOKを表すかNOを表すかの境界線は、どこに引けるのであろうか。

⑩一般的に、行為がもたらす「利益・恩恵」が、「自分の側に来るのか」「相手の側にくるのか」に境界があると主張する研究者もいる。

⑪しかし、「勧誘」については、「利益・恩恵」が双方にもたらされるため、事情は複雑になる。

⑫例えば、プロポーズのことばとしての「僕では、ダメですか？」について。

⑬「結婚」による「利益・恩恵」がどちらに多くもたらされるのか判別しがたい。

⑭もし相手が「大丈夫です」と答えた場合、どちらの「大丈夫」なのかの判別は難しいであろう。

⑮一方、熟考してみれば、新しい用法「勧誘に対するえん曲な否定」は、「ケガはないか」と問われ、「大丈夫です」と返答する従来の用法に近いのではないか。

⑯結局、「お気遣いいただくには及びません。どうぞ、ご心配なく」という意味を表すという点においては、言わんとすることに変わりはない。

⑰「大丈夫」がOKを表すかNOを表すか、実践的にどこに線引きするかは難しい。

⑱「いいです」「結構です」と同様に、「大丈夫です」の紛らわしさは、日本語に不慣れな人達を当分、戸惑わせることになるであろう。

4.2.6.2 考察（婉曲な否定としての「大丈夫」）

まず、①では、留学生の発話した「大丈夫です」が食事を誘った日本人に誤解されたとある。この場面は上述、「第3章 結構」、「3.1 概論」において示したセイン氏とおばあさんとの空港でのやりとり（「結構（けっこう）」の真意の取り違え）を想起させる。日常会話で多用される「大丈夫」も「結構」も、反義併存性を示す語の典型例である。したがって、日本語を第二言語として用いる人々にとっては、しばしばとまどい・混乱の原因となるようである。

上記②では、「誘い（勧誘）に対するえん曲な断り」としての「大丈夫」が、最近、若い人を中心に増えている」とある。ここでは現代の新たな「大丈夫」の用法を、「誘い（勧誘）に対するえん曲な否定」とする。しかし、実際の場面を想定すると、この用法は、必ずしも「誘い（勧誘）」という場面にも限ったものではない。むしろこれは、発話者の何らかの「提案」あるいは「(有形無形の) サービス」に対する聞き手の側の婉曲な否定表現と捉えたほうが応用的であろう。

上記④のファミレスでの会話例で検討してみる。「(店員) コーヒーのおかわりはいかがですか?」「(客) いえ、大丈夫です」というやりとりである。ここでは、店員は客に対し「勧誘」しているのではなく、サービスを「提案」していると考えerほうが妥当であろう。さらに、「(客) いえ、大丈夫です」という表現についてみると、実際にこのような場面における発話は、ほとんどが「大丈夫です」のみとなる(筆者の日常的観察による)。つまり、話者の真意は、「いいえ(いえ)」をはっきり言いたくないから婉曲な「大丈夫」を発話したいという意図がある。したがって、「いえ、大丈夫です」としたら、「大丈夫」の効用が減じる、あるいはなくなることになってしまう。

さらに、上記④の例、「いえ、大丈夫です」という表現は、上述、「4.2.4 神永暁(2015)」にあるように、『大辞泉』、「大丈夫」の項目においても例文として掲載されている。これは辞書の意味記述と実際の言語運用とのずれがみられる一つの事例といえる。まずは現場における観察こそが重要である。

ちなみに、仮に「誘い（勧誘）」という場面を想定するなら、例えば、大学の新歓パーティーにて、サークル部員が新生を勧誘するケースを想定し、「(部員) ウチのサークルに入ってみない?」「(新生) あっ、大丈夫です」というような例文のほうがより適切であろう。

なお、聞き慣れない表現、新しい表現等が現れると、即座に「若い人は…」という枕詞をつける人々がいる。しかし、「若い人」あるいは「若い」の定義とは一体どのようなものであろうか。「若い」というのは相対的表現である。例えば、70代の人からみれば、60代の人でも「若い人」である。一方20代の人からみれば、10代の人が「若い人」ということになる。つまり、絶対的な「若さ」の基準というものは存在しない。結果として、この「若い人」あるいは「若者」ということばの扱いには十分な注意が要されるということも指摘しておく⁹¹。

上記⑤では、「大丈夫」の本来の使い方の例として、（*目の前で人が転んだのを目撃して）「A：おケガはありませんか？」「B：「大丈夫（です）」を挙げている。ただし、現実的に、目の前で人が転んだのを目撃したAは、第一声として、「大丈夫ですか？」（気遣いの「大丈夫」）と声がけするはずである。それに対して転んだBのほうは、体にさほど問題がなければ、「大丈夫です」と返答するはずである。これなども、実際に現場においてことばがどのように使われているかを観察することが肝要である。

上記⑫ ⑬ ⑭では、上記②の「誘いに対するえん曲な断りとしての大丈夫」について、プロポーズのことばを例に検討している。しかし、通常、このようなケースは特殊であるため、例として取り上げるには適当ではないとみられる。つまり、現実的でない。そもそも、結婚のプロポーズにおいて、「大丈夫です」という返事は、双方が期待しないであろう。

田中は、上記⑰で、「大丈夫」が“OK”を表すか“NO”を表すかの境界線は、どこに引けるのかと問いかけ、実践的にどこに線引きするかは難しいとしている。田中は、結局、「大丈夫」の境界の線引きについて、はっきりとした答えを出していない。これは実際のところ、線引きはできないとしたほうがよいのかもしれない。まさに、文脈・場面、あるいは双方の暗黙的合意によって形成されるべきものであるため、「利益・恩恵」がどちらに多くもたらされるのかどうかといった観点からは説明できないとみられる。

上記⑱では、「大丈夫です」の類義語として、「いいです」「結構です」を挙げており、それらの紛らわしさは、日本語に不慣れな人達を当分、戸惑わせることになるであろう、と締めくくる。この点については筆者も同意する。ここで、「日本語に不慣れな人達」の意

⁹¹ 下述、「7.1.5.3 若者語」、米川明彦（1998）によると、「若者語の定義」①に、「若者語とは、中学生から三十歳前後の男女が、仲間内で、会話促進・娯楽・連帯・イメージ伝達・隠蔽・緩衝・浄化などのために使う、規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回しである。」とある。「若い」「若い人」等の表現を用いる場合、明確な定義の基に使用することが望まれよう。

味するところは、おそらく第二言語としての日本語話者を示すことになるのであろう。しかし、「大丈夫です」「結構です」「いいです」等の紛らわしさに戸惑いを感じているのは日本語母語話者として例外ではない⁹²。これはまさに日本語母語話者にとってこそ面倒な問題であるといった認識が必要とされよう。ちなみに、現在「日本語の国際化」といったことが巷間でいわれている。しかし、本気で「グローバルな日本語」を志向していくのであれば、上記のような現象は論点の一つとして挙げるべきものであるかもしれない。

4.3 近代の辞書における「大丈夫」

本節では、近代の辞書（主に国語・和英辞書）における「大丈夫」の意味記述を参照し、比較・対照した上で考察を行った。

4.3.1 『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「大丈夫」の意味記述の比較

本項では、『和英語林集成 初版』（1867：慶應3）、『和英語林集成 再版』（1872：明治5）、および『和英語林集成 第三版』（1886：明治19）における「大丈夫」の意味記述を基に比較・考察を行った。以下に、各版における「大丈夫」の意味記述の比較表を示した。なお、筆者による補足は、「(*補足)」のようにカッコ内に記した。

図表 4.1：『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「大丈夫」の意味記述の比較

版名 出版年	見出し 品詞	意味記述	類義語 (Syn.)	備考
初版 1867 慶應3	DAI-JŌ-BU ダイヂ ヤウブ 大丈夫 a.	Strong, firm, solid ; well fortified, able to resist, hale, robust, sound in body ; fixed, settled; safe; secure.	Syn. TASH'KA, (*確か) SHIKKARI TO SH'TA. (*しっかりとした)	
再版 1872 明治5	同上	同上	Syn. TASHIKA, (*確か) SHIKKARI TO SHITA. (*しっかりとした)*1	
第三版 1886 明治19	DAIJŌBU ダイヂ ヤウブ 大丈夫 adj. (coll.) (*話しことば)	Strong ; firm ; solid ; well fortified ; able to resist ; hale, robust, sound in body ; fixed; settled; safe; secure; certainly; surely.	同上	•(coll.)(*話しことば)が追加。 ・新たに、“certainly” “surely” (副詞)が追加。

*1：『再版』で日本語のローマ字表記法の変更（*母音の無声化に関わる）。“TASH'KA”

⁹² 実際、筆者の日常的観察では、店の会計（レジ）等で、店員と客が「大丈夫（です）」の真意を互いに取り違え、ちぐはぐな状態になっている場面にしばしば遭遇している。

が“TASHIKA”、“SH'TA”が“SHITA”へ変更。

4.3.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・『初版』『再版』『第三版』を通して、大きな変化はみられなかった。
- ・「大丈夫」の本来の意味とされる、人称（立派な男子・ますらお等）に関する記述はみられなかった。
- ・例えば、“firm, solid”（物がしっかりとした）や、“sound in body”（人の身体が健全な）をみればわかるように、すでに形容の対象が限定されず人にも物にも使われることが示唆される。
- ・『第三版』では、新たに“certainly; surely.”が追加された。つまり品詞は副詞である。しかし、“DAIJŌBU ダイヂャウブ 大丈夫”の品詞は“adj.”（*形容詞）とあるため、品詞の点でずれがみられる。

4.3.2 近代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較

本項では、明治中期から昭和前期にかけて出版された近代の国語辞書（一部和英辞書を含む）10 種を用いて、通時的観点も含めて、「大丈夫」の意味記述を比較・対照した。まず、本稿で取り上げた 10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。

図表 4.2：近代の国語辞書 10 種の内訳

編者/著者	正式名称	略称	出版年	出版社(人)
J.C. ヘボン	改正増補 和英 英和 語林集成	和英語林 3 版	1886：明治 19	丸善商社
高橋五郎	漢英対照 いろは辞典	漢英対照いろは	1888：明治 21	長尾景弼
大槻文彦	日本辞書 言海	言海	1889~91：明治 22~24	大槻文彦
山田美妙 (武太郎)	日本大辞書	日本大辞書	1893：明治 26	日本大辞書 発行所
落合直文	日本大辞典 ことばの泉	ことばの泉	1898：明治 31	大倉書店
松平圓次郎 山崎弓東 堀籠美善	俗語辞海	俗語辞海	1909：明治 42	集文館
上田万年 松井簡治	大日本国語辞典	大日本国語辞典	1915~19：大正 4~8	富山房 金港堂
金沢庄三郎	広辞林 (初版)	広辞林初版	1925：大正 14	三省堂
新村出	辞苑	辞苑	1935：昭和 10	博文館
金田一京助	辞海	辞海	1952：昭和 27	三省堂

「大丈夫」の意味の分類については、原典の意味記述を参照の上、さらに筆者の任意で仕分けた。スペースの関係上、意味の記述のみとし、例文等は省略した。『言海』『日本大辞書』については、意味記述をカタカナ表記からひらがな表記に変更した。なお、『辞海』のみ 1952（昭和 27）年の出版である。しかし、武藤康史（2008）⁹³によると、昭和 13 年に、金田一京助が『辞海』（当初の予定は昭和国語大辞典）にとりかかったとあるため、便宜上近代の辞書に含めた。以下に表にまとめたものを示した。

⁹³ 『国語辞典の名語釈』巻末、「国語辞典年表」より。

第4章 大丈夫

図表 4.3 : 近代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較

辞書名	意味 1	意味 2	備考
和英 語林 3 版 (1886)	—	DAIJŌBU ダイヂャウブ 大丈夫 adj. (coll.) (*話しことば) Strong ; firm ; solid ; well fortified ; able to resist ; hale, robust, sound in body ; fixed; settled; safe; secure; certainly; surely.	・意味 1 に該当する 名詞(人物)としての 「大丈夫」は記載がな い。 ・(coll.) (*話しこと ば)の指定あり。 ・上述「4.3.1『和英語 林集成』」も参照。
漢英 対照 いろは (1886)	だいぢやうぶ 大丈夫, ますら を, こころづよきをとこ; A heroic person, a hero;	又[俗]かならず; まちがいなき; た しか; つよき; かたき col. (*話しことば) certainly, sure, positive; strong.	・[俗]の位相付き。 英訳“col.”と対応す るため、[俗]は「(通 常の)話しことば」と いう意味のようであ る。
言海 (1889~91)	だいぢやうふ(名)大丈夫 丈夫 (ぢやうふ)といふに同じ。ます らを。	だいぢやうぶ(名)大丈夫①殊に健全 (すこやか)なること。②極めて堅固 なること。決して危きこと無きこと。 万全	
	(*参考)ぢやうふ(名)丈夫(支那 の古へに、人の長、周制の尺に て一丈なるを正制とす、故にい ふ、大—といふもこれなり)ま すらを。男子の称。	(*参考)ぢやうぶ(名)丈夫①すこや かなること。身体に病なきこと。壮 健。②確(しか)として破れ難きこと。 堅固。堅牢	
日本 大辞書 (1892~93)	だいぢやうふ(名)漢語。丈夫。 ますらを。	だいぢやうぶ(根)字音。堅固。健全。 万全。	・「だいぢやうふ (名)」に「漢語」の 指定がある。
ことば の泉 (1898)	だいぢやうふ(名)大丈夫。ぢや うふにおなじ。	だいぢやうぶ(副)大丈夫。最も健全 に。極めて堅牢に。万全。俗語。	・「だいぢやうぶ (副)」「ぢやうぶ(名)」 に、「俗語」の記述あ り。
	(*参考)ぢやうふ(名)丈夫。ます らを。をとこ。をのこ。男子。	(*参考)ぢやうぶ(名)丈夫。①身体 の壮健なること。②物の堅固なること。 俗語。	
俗語辞海 (1909)	—	だいぢやうぶ(副)最も健全に、極め て堅牢に。安全 万全	・名詞としての「大丈 夫」は記載がない。
大日本 国語辞典 (1915~19)	だいぢやうふ(名)大夫の美称。 ますらを。	だいぢやうぶ①殊に壮健なること。 ②あぶなげのなきこと。しっかりし てあること。極めて堅固なること。 万全。③たしかなること。間違ひの なきこと。	
広辞林 初版 (1925)	だいじょうふ(名)ますらを。男 子。	だいじょうぶ(名)堅固なること。し っかりしてあること。たしかなるこ と。	・「だいじょうぶ」は、 「俚言・方言」の指定 あり。
辞苑 (1935)	だいじょうふ(名)大夫の美称。 ますらを。	だいじょうぶ(名)①とりわけ壮健な こと。②あぶなげのないこと。しっ かりしてゐること。ごく堅固なこと。 ③間違のないこと。たしかなこと。	
辞海 (1952)	だいじょうふ(名)(大は美称)立 派な男子。ますらお	だいじょうぶ(名)きわめて堅固な こと。あぶなげのないこと。間違ひ のないこと。	

4.3.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「意味 1」では、『漢英対照 いろは』(1888)に、「ますらを、こころづよきをとこ」とあるように、「大丈夫」の本来の意味と考えられるものを分類した。なお、「意味 1」では、『漢英対照 いろは』以降、『辞海』(1952)まで、一貫して「ますらを(ますらをを)」の記述がみられた。ただし、『和英語林 3 版』(1886)のみ、「意味 1」に該当する人物としての「大丈夫」の記載がなかった。

・「意味 2」における位相の表示についてみると、『和英語林 3 版』(1886)では“(coll.) (*話しことば)”、『漢英対照 いろは』(1888)では「[俗]」、『ことばの泉』(1898)では「俗語。」とある。つまり、「俗語」の指定がなされていることになる。ただし、当時(明治 20~30 年代)の「俗語」は、上記、『和英語林 3 版』における“(coll.) (*話しことば)”と同様の意味合いを持っていたようである。つまり、現代における「俗語」⁹⁴から想起されるイメージとはやや異なるといった点については注意を要する。当時(明治 20~30 年代)は、「大丈夫」の「かならず／まちがいなき／たしか／つよき／健全／堅牢／万全」といった意味は、口語(話しことば)的要素が強かったということが示唆される。上記表をみると、「大丈夫」は、「意味 1」から「意味 2」への意味の移行が考えられる。つまり、漢語が口語(話しことば)化すると転義が進展するといった背景があるとみられる。

・「意味 2」における『言海』(1889~91)の記述をみると、「①殊に健全(すこやか)なること。②極めて堅固なること。決して危きこと無きこと。万全」とある。ここで、「健全」という語に着目すると、『明鏡国語辞典 第二版』には、「①身体が正常に機能して、健康であるさま。(※例)「健全な体」とある。ここで左例の「健全」と「大丈夫」を入れ替えてみると「大丈夫な体」となり、やや落ち着きが悪い。一方、「丈夫な体」とすれば落ち着く。つまり、現代語において、身体機能が正常で健康であるさまには、「丈夫」を用いるということがわかる。ここから、明治 20 年代前後においては身体機能が正常で健康であるさまにも「大丈夫」が使われた可能性が考えられる。この点において、現代の「大丈夫」とは用法にずれがみられることが示唆される。

⁹⁴ なお、現代における「俗語」については、下述、「第 7 章 やばい」、「7.1.5.1 俗語」の米川明彦(2003)による「俗語の定義」を参照。

4.3.3 『齋藤和英大辞典』における「大丈夫」の意味記述と用例

本項においては、齋藤秀三郎（1928：昭和 3）『齋藤和英大辞典』（略称：『齋藤和英』）における「大丈夫」の意味記述と用例についてみていく。以下、“Daijōbu（大丈夫）”、および“Daijōfu（大丈夫）”の意味記述・例文⁹⁵を表にしてまとめた（例文には便宜上番号をつけた）。

図表 4.4：『齋藤和英』における「大丈夫」の意味記述と例文

品詞	意味記述	例文
形容詞	Daijōbu (大丈夫): All right; well; safe; secure.	①大丈夫、己が附いて居る All right! I am at your back. ②君が附いて居さへすれや大丈夫 All is well, so long as I have you at my back. ③事件は彼に任して置けば大丈夫だ The matter is safe in his hands—in safe hands. ④僕が袋の口を締めてさへ居りや大丈夫だ All is safe, so long as I hold the purse-strings. ⑤此砲台は攻撃を受けても大丈夫だ The fort is secure against attack. ⑥何百人来ても大丈夫だ We are secure against hundreds— We are more than a match for hundreds. 【以下特例】(*ママ：何の特例なのかは不明。) ⑦病人はもう大丈夫だ The invalid is out of danger. ⑧大丈夫と信頼する to rely upon one’s promise—depend upon the truth of one’s statement—count upon one—confide in one. ⑨君は屹度くるか、大丈夫か May I count upon you? ⑩大丈夫 (金の脇差) You may rely upon me —Never fear! ⑪君の云う事は大丈夫本当か (*副詞的用法のはずだが、形容詞の項目内にある。) May I depend upon the truth of your statement? —Are you sure? ⑫大丈夫 (金の脇差) You may depend upon it. (*二度繰り返されるがママ。) ⑬此土瓶は火に掛けても大丈夫か May I put the tea-pot over the fire? ⑭何んなに手荒く扱つても大丈夫だ It will stand any rough handling.
副詞	Daijōbu (大丈夫): Certainly; undoubtedly; assuredly.	⑮君は (落第する気遣いは無い) 大丈夫及第する There is no fear of your falling; you will certainly pass —you are certain to pass—you are sure to pass. ⑯彼は大丈夫成功する He will certainly succeed —He is certain to succeed —He is sure to succeed. ⑰彼は大丈夫成功すると思つて居る He is sure of success —He is certain of success —He is confident of success. ⑱日本人は大丈夫勝つと思つて安心して居る The Japanese are confident of victory. ⑲彼は大丈夫勝つ様な事を云つて居る He seems sure of victory.
名詞	Daijōfu (大丈夫): A mighty man; a man (of might).	— (*例文はなし。)

⁹⁵ 例文をみると、太字になっている部分がみられる。これは、該当語の英訳に相当する部分を太字で示したようである。ただし、見て明らかなように、必ずしもぴったりとは一致していない。

さらに、以下、例文のみをカテゴリー別に表にまとめた。

図表 4.5 : 『齋藤和英』における「大丈夫」の例文の2分類

分類	例文
1. (形容動詞) 述語文 (大丈夫。) (大丈夫だ。)	①大丈夫、己が付いて居る All right! I am at your back. (*①の「大丈夫」は、感動詞(間投詞)的な要素が強いようである。) ②君が付いて居さへすれや大丈夫 All is well, so long as I have you at my back. ③事件は彼に任して置けば大丈夫だ The matter is safe in his hands—in safe hands. ④僕が袋の口を締めてさへ居りや大丈夫だ All is safe, so long as I hold the purse-strings. ⑤此砲台は攻撃を受けても大丈夫だ The fort is secure against attack. ⑥何百人来ても大丈夫だ We are secure against hundreds —We are more than a match for hundreds. ⑦病人はもう大丈夫だ The invalid is out of danger. ⑧大丈夫と信頼する to rely upon one's promise—depend upon the truth of one's statement—count upon one—confide in one. ⑨君は屹度くるか、大丈夫か May I count upon you? ⑩大丈夫 (金の脇差) You may rely upon me—Never fear! (*現在はほぼ使われないことわざ。) ⑪大丈夫 (金の脇差) You may depend upon it. (*二度繰り返されるがママ。) ⑫此土瓶は火に掛けても大丈夫か May I put the tea-pot over the fire? ⑬何んなに手荒く扱つても大丈夫だ It will stand any rough handling.
2. 副詞	⑭君の云う事は大丈夫本当か May I depend upon the truth of your statement?—Are you sure? (*現代なら、「君の言うことは本当に大丈夫か?」となるであろう。) ⑮君は (落第する気遣いは無い) 大丈夫及第する There is no fear of your falling; you will certainly pass—you are certain to pass—you are sure to pass. ⑯彼は大丈夫成功する He will certainly succeed—He is certain to succeed—He is sure to succeed. ⑰彼は大丈夫成功すると思っている He is sure of success—He is certain of success—He is confident of success. ⑱日本人は大丈夫勝つと思つて安心して居る The Japanese are confident of victory. ⑲彼は大丈夫勝つ様な事を云つて居る He seems sure of victory.

4.3.3.1 結果

結果として、以下のことが明らかになった。

- ・品詞については、「名詞」「形容詞」「副詞」の三つに分類できる。ただし、日本語としての「大丈夫」をみた場合、「形容詞」でなく「形容動詞」となる。
- ・例文は全 19 例 (重複あり) である。四つのカテゴリーに分類できる。以下、「1. 名詞」、「2. (形容動詞) 述語文」(大丈夫。/大丈夫だ。)、 「3. 副詞」となる。
- ・例文は全 19 例 (重複あり) であり、二つのカテゴリーに分類できる。以下、「(形容動詞) 述語文」(大丈夫。/大丈夫だ。) が 13 例、「副詞」が 6 例となる。なお、名詞としての「大丈夫」(立派な男子)の用例はみられなかった。昭和前期の時点において、すでにあまり使われない用法であった可能性もある。

・分類「1. (形容動詞) 述語文」(大丈夫。／大丈夫だ。)の例文、「①大丈夫、己が付いて居る All right! I am at your back.」について試みる。ここでの「大丈夫」は、感動詞(間投詞)的な要素が強いようである。

・分類「1. (形容動詞) 述語文」(大丈夫。／大丈夫だ。)の例文、「⑩大丈夫(金の脇差) You may rely upon me—Never fear!」および「⑫大丈夫(金の脇差) You may depend upon it.」について試みる(*同例が二度繰り返されるがママ)。これは現代ではほぼ使われないことわざである。ここで、藤井乙男編(1910: 明治 43)『諺語大辞典』より「大丈夫金ノ脇差」を参照すると、「確實安固なるをいふ。」とある。このことわざについて筆者なりに解釈すると、りっぱで信頼のおける人物(つまり「大丈夫」)が、さらに金の脇差しまで身につければ何も恐れるものもなく安心・安全である、ということになる。したがって、確實性が高く盤石な状態を形容する際にこのことわざを用いたとみられる。

・分類「1. (形容動詞) 述語文」(大丈夫。／大丈夫だ。)の例文、「⑭何んなに手荒く扱つても大丈夫だ It will stand any rough handling.」について試みる。この例では、「大丈夫」と“stand”が対応していることがわかる。ここで、“stand”について岡倉由三郎編(1929)『研究社 新英和中辞典』等を参照すると、「我慢する／耐へる(耐える)」とある。つまり、ここでの「大丈夫」は、もの(あるいは人)が手荒な扱いに耐えるだけの耐久性を備えたといった解釈となる。

・分類「3. 副詞」の例文、「⑮君の云う事は大丈夫本当か May I depend upon the truth of your statement?—Are you sure?」について試みる。左の「君の云う事は大丈夫本当か」といった表現は、現代の語感ではやや違和感がある。これは、「大丈夫」の副詞としての用法が現代ではほぼ使われていないといったことを意味する。したがって、現代語では、「君の言うことは本当に大丈夫か?」としたほうが自然な表現となろう。他の例も試みると、⑮からは「大丈夫及第する (are certain to pass)」、⑯ ⑰からは「大丈夫成功する (is sure to succeed)」、⑱ ⑲からは「大丈夫勝つ (are confident of victory)」といった表現が取り出せる。ここから、当時(大正期から昭和前期にかけて)、「大丈夫」が「きっと／確かに」といった確實性の高さを暗示する副詞として使われていたことがわかる。

4.4 現代の国語辞書における「大丈夫」

4.4.1 現代の国語辞書 10 種における「大丈夫」の意味記述の比較

本項では、現代の国語辞書における「大丈夫」の意味記述について、比較・対照した上で考察を行った。便宜上、分冊構成になっているものを「大型」（『日本国語大辞典』のみ）、『広辞苑』サイズの物を「中型」（3 種）、『新明解』サイズの一般的小型辞書を「小型」（6 種）とみなした。まず、10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。なお、『日本国語大辞典』および『デジタル大辞泉』は“Japan Knowledge Lib”による⁹⁶。

図表 4.6 : 現代の国語辞書 10 種の内訳

カテゴリー	正式名称	略称	出版年	出版社
大型 1 種	日本国語大辞典	日国	オンライン	小学館
中型 3 種	デジタル大辞泉	—	オンライン	小学館
	広辞苑 第 7 版	広辞苑 7 版	2018	岩波書店
	大辞林 第 4 版	大辞林 4 版	2019	三省堂
小型 6 種	明鏡国語辞典 第 2 版	明鏡 2 版	2010	大修館書店
	新明解国語辞典 第 7 版	新明解 7 版	2012	三省堂
	旺文社国語辞典 第 11 版	旺文社 11 版	2013	旺文社
	三省堂国語辞典 第 7 版	三国 7 版	2014	三省堂
	現代国語例解辞典 第 5 版	現国例 5 版	2016	小学館
	岩波国語辞典 第 8 版	岩波 8 版	2019	岩波書店

⁹⁶ 2020 年 8 月閲覧。 <https://japanknowledge.com/lib/search/basic/>

4.4.1.1 大型・中型辞書4種

まず、大型・中型辞書4種について比較したものを以下の表に示した。

図表 4.7：現代の大型・中型辞書4種における「大丈夫」の意味記述の比較

	意味1(名)	意味2(形動)(名)	意味3(副)	備考
日国	(名)「だいじょうふ」とも立派な男子。ますらお。丈夫をほめていう語。	①きわめて丈夫であるさま。ひじょうにしっかりしているさま。ひじょうに気強いさま。丈夫(じょうぶ)。②あぶなげのないさま。まちがいないさま。	まちがいでなく。たしかに。心配はいらない。	・下記*1参照。
デジタル大辞泉	(名)「だいじょうふ」ともりっぱな男子。ますらお。偉丈夫。	(形動)①あぶなげがなく安心できるさま。強くてしっかりしているさま。②まちがいがなくて確かなさま。*2	まちがいでなく。確かに。	・「(名)だいじょうふ」と「(形動)だいじょうぶ」別々に立項。
広辞苑7版(2018)	(ダイジョウフとも)立派な男子。	しっかりしているさま。ごく堅固なさま。あぶなげのないさま。	間違いなく。たしかに。	・品詞の指定はなし。
大辞林4版(2019)	(名)「だいじょうふ」とも立派な男子。	(形動)①危険や心配のないさま。まちがいがいないさま。②病気やけがないさま。③婉曲的に拒否したり、辞退したりするさま。結構。(近年、若者を中心に使われる)④きわめて丈夫であるさま。非常にしっかりしているさま。	(副)よい結果になることを信じ、それが確かであることを保証するさま。まちがいでなく。たしかに。きつと。	・(形動)③は上記三つの辞書とは違い独特。類義語として「結構」を挙げている。

*1 (日国 2 版)：「方言 (名) ③」に、「食物などをすすめられて辞退する時の語。たくさん。(山梨県)」とある。

*2 (デジタル大辞泉)：「補説」によると、「近年、形容動詞の「大丈夫」を、必要または不要、可または不可、諾または否の意で相手に問いかける、あるいは答える用法が増えている。「重そうですね、持ちましょうか」「いえ、大丈夫です(不要の意)」、「試着したいのですが大丈夫ですか」「はい、大丈夫です(可能、または承諾の意)」など。」とある。

4.4.1.2 小型辞書 6種

次に、小型辞書 6種について比較したものを以下の表に示した。

図表 4.8 : 現代の小型辞書 6種における「大丈夫」の意味記述の比較

	意味 1 (名)	意味 2 (形動)	意味 3 (副)	備考
明鏡 2版 (2010)	だいじょうふ (名)立派な男子	だいじょうぶ(形動)①丈夫で、しっかりしているさま。②危なげがなく安心できるさま。問題ないと保証できるさま。確か。③[俗]相手の勧誘などを遠回しに拒否する語。結構。*1	だいじょうぶ(副)まちがいなく。たしかに。	・「だいじょうふ/だいじょうぶ」は別々の立項。
新明解 7版 (2012)	だいじょうふ： 金銭の誘惑に負 けたり、権威に 屈したりしな い、志の高い男 子。	だいじょうぶ：①危険や損失・失 敗を招くおそれが無いと断定で きる状態だ。	だいじょうぶ：② (副)よい結果にな ることを請けあ う(信じて疑わな い)様子。(感動詞 的な意味合いを 含むことが多い)	・「だいじょうふ/ だいじょうぶ」は 別々の立項。
旺文社 11版 (2013)	だいじょうふ： りっぱな男子。 ますらお。だ いじょうぶ。	だいじょうぶ：①(名)→だ いじょうふ。②(副・形動ダ)し っかりして いて危なげがないさま。ま ちがいなく、確かなさま。	←②参照	・「だいじょうふ/ だいじょうぶ」は 別々の立項。(副) と(形動ダ)を統 合。
三国 7版 (2014)	—	(形動ダ)①病気やけが、損 害などが(深刻で)ないよう す。無事。②不安や心配が ないようす。問題が起 こりそうでないようす。③ よろしい。けっこう。	(副)[古風]きつと。 まちがいなく。	・(人物呼称の)「だ いじょうふ」は立 項なし。
現国例 5版 (2016)	だいじょうふ： 丈夫を褒めてい う語。立派な男 子。	だいじょうぶ(副・形動)危な げがなく確かなさま。また、 症状や損害などが重くない さま。②口語で、「(…して も)よい」「(…しなくても) よい」の意。*2	←左欄参照	・「だいじょうふ/ だいじょうぶ」は 別々の立項。 ・(副)と(形動ダ) を統合する。
岩波 8版 (2019)	(名)立派な男 子。ますらお。 *3	(名ナノ)①安心して いられる(任せられる)ほ どに危なげない(確かな) こと。②(副詞的にも使 う)安心して。 *4		・「だいじょうぶ」 のみの立項。

*1: 「表現」によると、「そんな気遣いはなくても問題はないの意から、主に若者が使う。危なげがない場面で使う用法で、本来は不適切。」とある。

*2: ②の例文として、「「おかわりはいかがですか?」「大丈夫です」とある。

(*筆者注: この例文は、現代の解釈では、「大丈夫です (いりません)」の意思表示と思われるが、②の語釈を読んだ上ではどちらか判別できなくなる。したがって、最適な例文かどうかは疑問である。)

*3: 「補足」によると、「本来は「だいじょうふ」とある。

*4: 「補足」によると、「だいじょうぶ」とも言う。近年、応答に用いることが増えている」とある。さらに、会話例として(便宜上 a, b とした)、a「おかわり大丈夫(=不要)ですか?」

—「大丈夫 (=不要) です」、b「かゆいところありますか」—「大丈夫 (=問題ない) です」、とある。

(*筆者注：応答の感動詞的な「大丈夫」である。ここで、上記会話例 a において、「大丈夫 (=不要)」とある。ただし、会話例 a は「A は大丈夫ですか？」構文 (二者択一型) にあたると考えられ、「不要」を前提とした質問ではないとみられる (上述、「4.2.2.2 考察 (近年における「大丈夫」の用法)」参照)。つまり、具体的にいえば、おかわりというサービスについて、「要」か「不要」かの二者択一を聞き手に提示しているということになる。この点については、読み手に誤解を与えかねないため改善が望まれよう。)

4.4.1.3 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」について、「大丈夫」の意味のうち名詞を「意味 1」として分類した。まず、「意味 1」からキーワードとみられるものを抽出すると (便宜上 a とした)、a「立派な男子／ますらお／偉丈夫／志の高い男子／丈夫をほめていう語」が取り出せる。ここで、鈴木修次 (1978) によると、「古典漢語としての「大丈夫」は、「意志の強固なますらお」を意味した」とある。したがって、上記 a は、「大丈夫」の本来の意味とみられる (上述、「4.2.1 鈴木修次 (1978)」参照)。

・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」について、「大丈夫」の意味のうち名詞から転じたとみられる形容動詞を「意味 2」として分類した。まず、「意味 2」からキーワードとみられるものを抽出すると (便宜上 b, c, d, e, f とした)、b「丈夫／きわめて丈夫／強くしっかりとした／ごく堅固」、c「あぶなげのない／危険のない／損害のない／問題のない／まちがいない／心配のない／病気・ケガのない」、d「安心な／確かな」、e「結構／よろしい／(～しても) よい／(～しなくても) よい」、f「(勧誘等の) 婉曲的な断り・拒否・辞退」が取り出せる。ちなみに、c「あぶなげのない／危険のない～」は、「ない」グループとみなされる。つまり、発話者にとって不都合・不利益な状態ではない、ということの意味するものである。再び、上述、「4.2.1 鈴木修次 (1978)」をみると、「見事な男子を評価する語であった「大丈夫」が、日本において、「あぶなげがないこと」「まちがいがいいこと」「確実なこと」「とりわけ壮健であること」等を意味する形容動詞の語幹になる」、「本来、「りっぱな男子」を意味する「大丈夫」が、

江戸時代の庶民ことばとして、「大丈夫」たるにふさわしい状態を表す形容語として使用されるに至った」とある。ちなみに、b「丈夫／きわめて丈夫／強くしっかりとした／ごく堅固」は、人物としての a「立派な男子／ますらお／偉丈夫」を実際に目にしたときに反射的に想起されるイメージとっていいようである。以上の結果の考察を基に、「大丈夫」の品詞・語義の移行についてまとめると以下のとおりになる。

a「立派な男子／ますらお／偉丈夫／志の高い男子／丈夫をほめていう語」（以上、名詞）→ b「丈夫／きわめて丈夫／強くしっかりとした／ごく堅固」→ c「あぶなげのない／危険のない／問題のない／まちがいない／心配のない／病気・ケガのない／損害のない」→ d「安全な⁹⁷／安心な／確かな」→ e「結構／よろしい／（～しても）よい／（～しなくても）よい」→ f「（勧誘等の）婉曲的な断り・拒否・辞退」（以上、形容動詞）

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「大丈夫」の意味のうち形容動詞から転じたとみられる副詞を「意味3」として分類した。まず、「意味3」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 c', d'とした）、c'「まちががなく／心配なく」、d'「確かに／きっと」が取り出せる。なお、上記10種の国語辞書のほとんどに副詞の立項がみられる。ただし、『三国7版』に「(副) [古風]」とあるように、現代ではほとんど使われない表現とみられる。したがって、上記、c', d'については例外的なものとして扱った。

⁹⁷ 「安全な」については、上記10種の国語辞書に記述がみられなかったため、筆者が補足した。

4.4.1.4 「大丈夫」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

以下に、上記、現代の国語辞書10種を基にした「大丈夫」の品詞および語義の移行についてのイメージ図を示した。なお、品詞の移行順は、左から右、語義の移行順は、上から下（右斜め下）となる。

図表 4.9：「大丈夫」の品詞・語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

名詞*1	形容動詞	副詞*2
a 立派な男子/ ますらお/偉 丈夫/志の高 い男子/丈夫 をほめてい う語		
	b 丈夫/きわめ て丈夫/強く しっかりと した/ごく堅 固	
	c あぶなげの ない/危険の ない/損害の ない/問題の ない/まちが いない/心配 のない/病 気・ケガのな い	c' まちがいな く/心配なく
	d 安心な/確か な	d' 確かに/きっ と
	e 結構/よろし い/~しても) よい/~しな くても)よい	
	f (勧誘等の) 婉曲的な断 り・拒否・辞 退	

*1：aについては、本来の意味と考えられる。ただし、現代ではほとんど使われないとみられる。

*2：c', d'の副詞としての用法は、現代ではほとんど使われないとみられる。

4.4.2 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「大丈夫」の意味記述の変遷

本項では、『明解国語辞典』（初版／改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）を用いて、「大丈夫」の意味記述の変遷について通時的に概観した。なお、『明解国語辞典』および『三省堂国語辞典』の概要については、上述、「3.4.2『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「結構」の意味記述の変遷」に示した。

まず、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの版・出版年・編者の流れを時系列で表にして示した。

図表 4.10 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ

名称 (略)	版	出版年	編者
明解	初版	1943 (昭和 18)	金田一京助
明解	改訂版	1952 (昭和 27)	金田一京助
三国	初版	1960 (昭和 35)	金田一京助・見坊豪紀・山田忠雄・金田一春彦
三国	第二版	1974 (昭和 49)	金田一京助・金田一春彦・見坊豪紀*1・柴田武・山田忠雄
三国	第三版	1982 (昭和 57)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武
三国	第四版	1992 (平成 04)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武・飛田良文
三国	第五版	2001 (平成 13)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第六版	2008 (平成 20)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第七版	2014 (平成 26)	見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大
*1 : 『三国』の「第二版」「第三版」「第四版」では、見坊豪紀に「主幹」の表示あり。			

続いて、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「大丈夫」の意味記述について通時的観点から表にして示した。紙幅の関係上、端的にまとめた。『明解国語辞典』については、便宜上現代かな遣いに変更した。『三省堂国語辞典』については、『初版』（1960：昭和35）の後に『新装版』（1968：昭和48）がある。ただし、内容に変更がないため、省略した。

第4章 大丈夫

図表 4.11 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「大丈夫」の意味記述の変遷

版	意味1(名)	意味2(形容動詞)	意味3(副詞)	備考
明解 初版 1943	だいじょうふ (名)立派な男子。ますらお。	だいじょうぶ(名)①大いに壮健なこと。②あぶなげがないこと。③たしかなこと。 (*便宜上意味2に分類)	—	・明解初版は(形動ダ)の品詞項目を立てず。便宜上「だいじょうぶ(名)」を意味2の欄に入れた。
明解 改訂 版 1952	だいじょうふ (名)[文]同上。	だいじょうぶ(名・形動ダ)①大いに壮健なこと。②あぶなげがないこと。③たしかなこと。	—	・「だいじょうふ(名)」に、[文]が追加。品詞項目は(名・形動ダ)となる。
三国 初版 1960	だいじょうふ (名)立派なおとなの男。ますらお。	だいじょうぶ(副・形動ダ)①心配することがないようす。②たしかなようす。 *1 例文追加	—	・明解改訂版「①大いに壮健なこと。」が消滅。品詞項目は(副・形動ダ)となる。
三国 2版 1974	—	だいじょうぶ(副・形動ダ)①同上②同上 *1 例文同上	—	・三国初版「だいじょうふ(名)」の項目が消滅。以降、立項は「だいじょうぶ」のみ。
三国 3版 1982	—	(形動ダ)①心配ないようす。②*2 例文追加	(副)きつと。まちがいなく。 *1 例文同上	・(副)が独立項目になる。例文も(副)の項目へ移動。②については例文をもって語釈としている。
三国 4版 1992	—	(形動ダ)①同上②*3(*2の例文改編)	(副)同上 *1 例文同上	・三国3版とほぼ同じ。
三国 5版 2001	—	(形動ダ)①同上②*3 例文同上	(副)同上 *1 例文同上	・三国4版と全く同じ。
三国 6版 2008	—	(形動ダ)①心配ないようす。*4 例文追加 ②[俗]よろしい。けっこう。 *5 例文追加	(副)[古風]同上 *1 例文同上	・三国3,4,5版「(形動ダ)①②」が合体し①に。「(形動ダ)②[俗]」が追加。例文が二つ追加。(副)に[古風]が追加。
三国 7版 2014	—	(形動ダ)①病気やけが、損害などが(深刻で)ないようす。無事。*6 例文追加 ②不安や心配がないようす。問題が起こりそうでないようす。*7 例文追加 ③[俗]よろしい。けっこう。*8 例文追加	(副)同上 *9 例文変更	・「(形動ダ)①」の意味が追加。

*1 例文 : 「大丈夫成功する」

(*筆者注 : この「大丈夫」は、副詞とみられる。後に、『三国3版』(1982)で副詞が独立項目になった際に、この例文も副詞のほうへ移動した。『三国6版』(2008)で[古風]の位相が追加されたことからしても、現代語においてはほぼ使われない用法とみられる。なお、この例文は、『三国6版』(2008)まで存続した。)

*2 例文 : 「大丈夫 [= まちがいがない。うまく行く] かなあ」

*3 例文 : 「大丈夫 [= ⊖ まちがいがない。⊖ うまく行く] かなあ」

(*筆者注 : 『三国3版』(1982)との違いは、「⊖ ⊖」の分類表記がついた点のみ。)

*4 例文 : 「食べても大丈夫だ / 大丈夫 [= ⊖ まちがいがない。⊖ うまく行く] かなあ」

(※筆者注:「食べても大丈夫だ」が追加。『三国 3, 4, 5 版』では、「②大丈夫 [= ⊖ まちがいない。 ⊖ うまく行く] かなあ」とあったものが、『三国 6 版』(2008)で「①心配ないよす。」内の例文となった。

*5 例文:「おさらをお下げしても大丈夫ですか」

(※筆者注:聞き手に配慮しての「さしつかえない/問題ない」といったニュアンスを含んだものと考えられる。)

*6 例文:「頭のけがは大丈夫ですか」

*7 例文:「天気は大丈夫かな/君ならどこを受験しても大丈夫だ」

*8 例文:「おさらをお下げしても大丈夫ですか/『レジぶくろは大丈夫 [= 不要] ですか』 — 『はい、大丈夫です [= いません]』」

(※筆者注:上記レジ袋の会話例の解釈についてはやや疑問である。上記「レジぶくろは大丈夫ですか」については、発話者は聞き手(客)に対し「不要」を前提とした問いかけをしているわけではない。これは、「二者択一の大丈夫」と考えられるものである。つまり、レジ袋がいるのかいないのか、「要不要」について聞き手(客)に対し提示するといった解釈となる(上述、「4.2.2.2 考察(近年における「大丈夫」の用法)」参照。)

*9 例文:「汽車は、大丈夫来るんでしょうね?」

(※筆者注:『三国 7 版』(2014)では、副詞に[古風]の位相指定がある。しかし、上記*1の例文、「大丈夫成功する」から変更した。)

4.4.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「大丈夫」は学習重要語の指定がない(『三国 3 版』(1982)以降)。理由は定かでない。学習重要語としての指定があってもよいのではないか。
- ・「大丈夫」については、品詞を基にまとめると、三つに分類できる。以下、名詞に相当するものを「意味 1」、形容動詞に相当するものを「意味 2」、副詞に相当するものを「意味 3」とした。
- ・「大丈夫」は、『明解 初版』(1943)、『明解 改訂版』(1952)、『三国 初版』(1960)まで、「だいじょうふ」(「意味 1」)、および、「だいじょうぶ」(「意味 2」「意味 3」)、二つの立項があった。

・『三国2版』(1974)以降は、「だいじょうぶ」のみの立項となった。一方、「意味1」の名詞としての「大丈夫(だいじょうふ)」(立派な男子・ますらお)は『三国2版』以降は現れない。ただし、上述「4.4.1」における現代の国語辞書10種との比較では、『三国7版』(2014)を除いた9種の辞書に、名詞としての「大丈夫」の立項がみられた(上述、「4.4.1 現代の国語辞書10種における「大丈夫」の意味記述の比較」参照)。したがって、『三国7版』のみ特殊なケースとも考えられる。名詞としての「大丈夫」は、現代語においてはほとんど使われないため必要ないと判断したのだろうか。一方で、同様に現在ほとんど使われないと考えられる副詞としての「大丈夫」のほうは、[古風]の位相付きで残されている。それならば、本来の意味と考えられるほうを残したほうがよいのではないのか。

・「意味2」、形容動詞としての「大丈夫」についてみると、『三国5版』(2001)までは意味記述に大きな変化はみられなかった。一方、『三国6版』(2008)では、「②[俗] よろしい。けっこう。」が追加された。さらに、『三国7版』(2014)では、新たに「① 病気やけが、損害などが(深刻で)ないようす。無事。」といった記述も加えられた。これらの動向は、近年において、「大丈夫」の意味が揺動していることを示唆するものである。

4.5 類語辞書における「大丈夫」

本節では、『角川類語新辞典』(1981)、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「大丈夫」の位置づけについて、まとめた上で考察を行った。なお、場合によっては論点、問題点等を指摘し、筆者の提言も行った。

4.5.1 『角川類語新辞典』(1981)における「大丈夫」の位置づけ

本項では、『角川類語新辞典』(1981)における「大丈夫」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、下表の分類①から⑥は、便宜上筆者が設定した。本文中に挙げられた「大丈夫」の前後に位置する類義語については、一部を抜粋した。“○”の後は、語義、あるいは語釈を示す。分類⑥のカッコ内は位相である。下表欄外の例文には便宜上番号をつけた。

図表 4.12 : 『角川類語新辞典』における「大丈夫」の位置づけ

分類①→	分類②→	分類③→	分類④→	分類⑤→	分類⑥	品詞	前後の類義語
A 自然→	1 性状→	16 状態→ 外部から 見た物事 のありさ ま	164 安危→ 安全と危 険	a 安全→ 危なくな いさま	4 大丈夫 *例文 1, 2 ○確かで危 なげのない こと (日常 語)	(形動)	安全/万全/無 事/無難/堅実/ 危なげない/ 確り(*読み: しっかり)/堅 い/手堅い/健 全/十全/無害/ 無毒
A 人事→	5 人物→	51 老若→ 年寄りと 若い人	511 男女→ 男と女	a 男→ 人の性別 の一つ。女 でない方	16 大丈夫 *例文 3 ○権威に屈 せず尊敬で きるりっぱ な男性 (文 章語)	(名)	男/男子/男児/ 男性/野郎/紳 士/貴公子/丈 夫(じょうふ)/ 偉丈夫/美丈 夫/丈夫(ます らお)/好男子/ 美男子/美男/ 大男/巨人/巨 漢

*例文 1, 2 : この建物は自信にも大丈夫だ／戸締まりは大丈夫かね

*例文 3 : 信頼するにたる大丈夫

4.5.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「大丈夫」の位置づけは、二か所であった。すなわち、「分類④ : 161 安危」—「分類⑤ : a 安全」—「分類⑥ : 4 大丈夫」(形容動詞)、および、「分類④ : 511 男女」—「分類⑤ : a 男と女」—「分類⑥ : 16 大丈夫」(名詞)であった。
- ・「分類⑥」の「16 大丈夫」(名詞)の語釈をみると、「○権威に屈せず尊敬できるりっぱな男性」とある。この「大丈夫」が、本来の意味とみられる。
- ・「分類⑥」を降順にみると、「4 大丈夫 : ○確かで危なげのないこと (形容動詞)」、「16 大丈夫 : ○権威に屈せず尊敬できるりっぱな男性 (名詞)」とある。両者を「大丈夫」の品詞・意味の移行の順序に並べ替えると、「16 大丈夫 ○権威に屈せず尊敬できるりっぱな男性 (名詞)」→「4 大丈夫 ○確かで危なげのないこと (形容動詞)」となる。
- ・「分類⑥」の「16 大丈夫」(名詞)の前後の類義語を挙げると、「男子／男児／紳士／丈夫(じょうふ)／偉丈夫／丈夫(ますらお)」等がある。ここから、「礼儀正しく、りっぱで信頼性のある男性」といったイメージを抽出できる。
- ・「分類⑥」の「4 大丈夫」(形容動詞)の前後の類義語を挙げると、「安全／無事／堅

実／危なげない／確り（＊読み：しっかり）／堅い／健全」等がある。ここから、「しっかりしていて不安・心配がなく信頼できる状態」といったイメージを抽出できる。

4.5.2 『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「大丈夫」の位置づけ

本項では、『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「大丈夫」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、最上位の「類」は、四つに分けられる。1. 体の類（名詞）／2. 用の類（動詞）／3. 相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）／4. その他の類（一部の副詞・接続詞・感動詞）となる。以下、表にまとめたものを示した。

図表 4.13：『分類語彙表 増補改訂版』における「大丈夫」の位置づけ

類 →	部門 →	中項目 →	分類項目 →	段落＊1	前後の段落 (抜粋)＊2	備考
1→ 体の類	1.2→ 人間 活動 の主体	1.20→ 人間	1.2040→ 男女	02 男(おとこ) 男(だん) 男性 男子 男の子 おのこ 野郎 漢 殿御 殿方 紳士 マン ジェントルマン 丈夫(じょうふ) 大丈夫 偉丈夫 ますらお タフガイ 男一匹 大の男 貴公子 男衆 弁慶 金時 匹夫	01 男女 03 女(おんな)女(じょ) 女子 大和なでしこ 女傑 女丈夫 05 美人 麗人 美男子 男前 美丈夫 好男子 優男	・名詞(人物)としての「大丈夫」。つまり、本来の意味とみられる。
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.13→ 様相	3.1346→ 難易・ 安危	10 安全 安らか 十全 万全 平安 平静 平穩 静穩 安穩 穩便 穩やか 無事 無難 安泰 大丈夫 つつがない 危なげない 健全 憂えなし 恐れなし 心配ない 円満 まどかまどらか	09 何でもない 難なく 苦もなく やすやす さらりと すんなり あっさり 11 事なく 何ともない 07 簡単 手軽 便利 06 易しい 容易 分がある 見込みがある	・形容動詞としての「大丈夫」 ・同じ分類項目段落14に「やばい」あり。
3→ 相の類	3.3→ 人間 活動 -精神 および 行為	3.30→ 心	3.3068→ 詳細・ 正確・ 不思議	07 確か 確実 大丈夫 確乎・確固 確然 確たる 確とした 確定的 動かぬ 正確 精確 明確 的確 不確か 不確実 不確定 不正確 不明確 杳(よう)として ファジー おぼつかない	09 きっぱり びしゃり 決定的 濃厚[敗色~] はっきりした 判然 ちゃんど 11 明らか 自明 明快 歴然 明白 言うまでもない	・形容動詞としての「大丈夫」
4→ その他 の類	—	4.31→ 判断	4.3100→ 判断	03 絶対 間違いなく 大丈夫 金輪際 決して やせても枯れても	02 もちろん 無論 一定(いちじょう) 言うまでもなく ご承知のとおり 04 ずばり 確かに[~その通りだ] てっきり 01 誓って 必ず きつと	・段落グループをみると、副詞とみられる。現実性の高い判断ということか。

*1: 意味上の語集団。「なるべく意味・用法の広いほうから狭いほうへ配列しているが、必ずしも厳格ではない。」とある。

*2: 上から順に、意味が近いと考えられるものを示した。

4.5.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「大丈夫」の位置づけは四か所であった。体の類（名詞）が一か所、相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）が二か所、その他の類（一部の副詞・接続詞・感動詞）が一か所であった。

・分類項目「1.2040 男女」、段落“02”に、名詞としての「大丈夫」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「男（おとこ）／男性／男子（だんし）／野郎／漢／殿方／紳士／ジェントルマン／丈夫（じょうふ）／偉丈夫／ますらお／タフガイ／男一匹／大の男／貴公子／男衆」等がある。したがって、ここでの「大丈夫」は、本来の意味のものと考えられる。

・分類項目「3.1346 難易・安危」、段落“10”に、形容動詞としての「大丈夫」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「安全／安らか／万全／平安／平穩／穩便／無事／無難／安泰／つつがない／危なげない／健全／憂えなし／恐れなし／心配ない／円満」等がある。上記語例からは、何事もなく、平らかで、安定感のあるといったイメージが想起される。つまり、上記の人間としての「大丈夫」（りっぱな男子）を実際に見たときに想起されるイメージとまさに合致するものともいえる。ちなみに、「大丈夫」が位置する段落“10”の下、分類項目「3.1346 難易・安危」、段落“14”に、形容詞としての「やばい」が位置する。これはつまり、「安危」の「安」のほうが「大丈夫」、「危」のほうが「やばい」といった解釈ができる。ここから、「大丈夫」と「やばい」は、互いに反義の関係にあるといったことがいえよう（下述、「7.6.2『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「やばい」の位置づけ」も参照）。

・分類項目「4.3100 判断」、段落“03”に、「大丈夫」が位置する。まず、段落内の他の語例を挙げると、「絶対／間違いなく／金輪際（こんりんざい）／決して／やせても枯れても」がある。したがって、品詞は副詞とみられる。しかし、現代語の「大丈夫」は、副詞としての用法がほぼないとみられるため、これについても今後は再考の余地

があらう。

4.6 「大丈夫」の語義関連表

本節では、上述、「大丈夫」についての先行研究・資料等を勘案し、通時的・共時的観点も加味した上で語義関連表（チャート）を作成した。なお、スペースの制約上、意味記述については簡潔に示した。タテ軸（列：語義の展開）は、番号順（例：① ② ③…）で、時間軸は上から下へとした。ヨコ軸（行：品詞の展開）はアルファベット順（a b c…）で、時間軸は左から右へとした。①a を本来の意味（原義）にあたるものとした。下記表（チャート）を見れば、「大丈夫」の各語義について、おおよその位置づけが特定できる。なお、あくまでも「大丈夫」という語に関する全体的把握のためのイメージ表である。したがって、絶対的正確性を期するものではない。以下に表（チャート）を示した。

第4章 大丈夫

図表 4.14 : 「大丈夫」の語義関連表 (チャート)

番号 (列) ↓	品詞 (行)→		
	a : 名詞 中核的意味 : 男	b : 形容動詞 中核的意味 : [人/もの]がしっかり・がっちりとして いて安定感があること	c : 副詞
①	大夫の美称/ますら お	(人の身体が)強い/がっちりとした	きっと/確かに/問題 なく
②	立派な男子	(人の身体が)健全な/すこやかな	
③		(人/ものが)堅固な/危なげない/万全な	
④		(人の)[病気/けが]などが(深刻で)ない	
⑤		損害などが(深刻で)ない	
⑥		問題ないと保証できる/問題が起こり そうでない/不安や心配がない/無事	
⑦		安心していられる(任せられる)ほどに 危なげない	
⑧		婉曲的に拒否する/辞退する/相手の勧 誘などを遠回しに拒否する/結構	
⑨		(口語で)「(…しても)よい」「(…しなく ても)よい」	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本来的な意味 (原義) とみられる ・現代ではほぼ使われない (原義の消滅)。 ・名詞から形容動詞への移行時に、人そのものから人の性質(強い/がっちりした/健全な)のみに焦点が当てられその性質を一般的事象の形容に当てはめられるようになったとみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治/大正期においては俗語(話しことば)的表現であったとみられる。 ・主な流れをみると、「強い/堅固な」から(具体的なものが)「万全/危なげない/安全」→(抽象的ことがらが)「問題のない/[不安/心配]のない/安心/無事」という経路をたどったとみられる。 ・婉曲的断りの「大丈夫です」は、提案/勧誘等された場合に、「その[物/サービス]等については、なくても自分にとって特に[心配/問題]がない」といった意図をもって発せられるものと考えられる。この表現には、婉曲/他者への配慮/省略/ぼかし表現等が関連するとみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代ではほぼ使われない。

4.7 「大丈夫」の実例

本節においては、「大丈夫」について、各種コーパス・新聞記事検索システム等から実例を採取し、通時的に配列した上で、語の変遷の傾向・特徴をみていく。考察対象期間は、紀元前から現代までの全範囲とした。以下に各種コーパス別に検索結果を提示した。

なお、「中国哲学書電子化計画」による検索結果から得られた「大丈夫」の中国古典籍における実例も参考資料として提示した。

4.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）

「日本古典文学全集」（「JapanKnowledge Lib」）より得られた、「大丈夫」「だいぢやうぶ」についての実例を以下の表に示した。なお、検索結果数については、注釈・解説欄の記述もカウントされてしまうという事情があるため、省略した。

4.7.1.1 検索語：「大丈夫」（2020/11/28 時点）

図表 4.15：「大丈夫」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	日本書紀 卷第三 [二]天皇軍の 進撃一靈劍節 靈(ふつのみ たま)と頭八 咫鳥(やたか らす) 神日本磐余彦 天皇 神武天 皇 p.200, 201	(※原文) 時五瀬命矢瘡痛。乃撫劍而雄誥之曰、甚 撫劍此云「都盧者能多伽弥屠利辞魔屢」。 慨哉、大丈夫慨哉、此云「宇黎多棄伽夜」。 被「傷於虜手」、将不レ報而死耶。 (※訓下し文) 時に五瀬命、矢瘡痛みますこと甚し。乃 ち撫劍りて雄誥して曰はく、撫劍、此に は都盧者能多伽弥屠利辞魔屢と云ふ。「慨 哉、大丈夫(ますらお)にして慨哉、此には 宇黎多棄伽夜と云ふ。虜が手を被傷ひ、 報いずして死みなむこと」とのたまふ。	・奈良時代。720年成立。舎人親王ほ か編。歴史書(編年体)。記述は漢文体。 訓下し文では、「大丈夫」を「ますら お」と読ませている。注釈によると、 「大丈夫」は、「立派な男子。大丈夫は 官人の男子たる者の理想像であつ た。」とある。現代語訳によると、「あ あいまいましい。大丈夫(ますらお)で ありながら(中略)賊のために手傷を 負ったまま、仇も撃たずに死んでしま おうとは」とある。
2	日本靈異記 日本国現報善 悪靈異記 上 卷 邪見に乞食の 沙弥の鉢を打 ち破りて、以 て現に悪死の 報を得し縁 第二十九 p.94, 95	(※原文) 如「涅槃經云」。「一切悪行邪見為レ因」者、 其斯謂之矣。大丈夫論云、「悲心施一人、 功德大如レ地」。 (※訓下し文) 涅槃經に云へるが如し。「一切の悪行は、 邪見を因と為す」と者へるは、其れ斯れ を謂ふなり。大丈夫論に云はく、「悲心を もちて一人に施さば、功德大ならむこと 地の如けむ。	・平安時代初期。822年ごろ成立。日 本最古の仏教説話集。ほぼ年代順に漢 文体で記述。正式名称は、「日本国現 報(げんぼう)善悪靈異記」。注釈によ ると、「大丈夫」は、「大丈夫論施勝品 の語。『諸経要集』からの再引用(原口 裕説)。」とある。現代語訳によると、 「また大丈夫論は、「慈悲の心をもつて するのであれば、たった一人の人に施 しても、その功德の大きいことは大地 のようであろう。」とある。
3	太平記 卷第十八 金崎後攻の事 p.434	「『好堅樹は地の底にあつて芽百圍をな し、頻伽羅は殻の中にあつて声衆鳥に勝 る』といへり。この人大丈夫(だいぢやう ぶ)のごとく、かやうに思し食しけるこそ	・南北朝時代。1368~75年ごろ成立。 作者未詳。注釈によると、「大丈夫」 は、「立派な男子。「丈夫」をほめてい う語」とある。現代語訳によると、「大

第4章 大丈夫

		頼もしけれ。さらばやがて金崎の後攻をすべし」とて、兵を集め楯を作せて、さ程雪の降らぬ日を門出してぞ相待ちける。	丈夫」は、「(この方は)雄々しく立派な男(のように、このようにお思いになっているとは頼もしい。))とある。
4	丹波与作待夜のこむろぶし (近松門左衛門集) 下之巻 千貫松の土手の場 [二〇]与作一家の果報 p.392	わづかの恥を思はんより、主君の恩を報ぜぬは侍たる身の大恥と、知らざるか。さてあさましや。後ろ指をさゝれうが、犬畜生と言はれうが、我が身の恥を振り捨て、厚恩の主君に忠節をはげむこそ、恥を知つたる侍、大丈夫(だいぢやうぶ)の武士の、生粋といふものぞ。この道理合点なく、死んで勝手がよいならば、左内は止めぬ。	・江戸時代中期。近松門左衛門作。注釈によると、「大丈夫」は、「りっぱな男子。」とある。現代語訳によると、「大丈夫」は、「(自分の恥を振り捨てて、厚恩を受けた主君に忠節を励むことこそ、恥を知つたる侍、)立派な(武士の中の武士というものぞ。))とあり、当時の武士道の理想としての「大丈夫」像が垣間見える。
5	仮名手本忠臣蔵(浄瑠璃集) 第七 大臣の鑄刀(一カ茶屋) [四八]九太夫の蛸肴 p.95	[百]イヤ由良殿、大功は細瑾をかへりみずと申すが、人のそしりもかまはず遊里の遊び、大功を立つるもとぬ、あつばれの大丈夫(だいぢやうぶ)。末頼もしう存ずる。 [此]ホオ、これは堅いわ / \、石火矢と出かけた、さりとてはおおかしい。	・江戸時代中期。二代目竹田出雲、三好松洛、並木千柳(宗輔)作。注釈によると、「あつばれの大丈夫」は、「「あつばれ」は讚美、嘆賞のさま。「大丈夫」は大いに壮健であること。」とあるが、文脈からすると、「立派な男子」としたほうがより適切であろう。現代語訳によると、「大丈夫」は、「(あつばれの)大丈夫。」とある。
6	日本漢詩集 近世(二) 釣客行(服部南郭) p.375	(*原文抜粋) 已見今年随転蓬 未知明年住何処 由来磊落大丈夫 妻孥憂愁一何愚 对此陶然唯濁酒 日日釣竿遊太湖 (*訓読文抜粋) 已に見る 今年 転蓬に随ふことを 未だ知らず 明年 何れの処にか住せん 由来 磊落の大丈夫(だいぢやうぶ) 妻孥 憂愁 一に何ぞ愚なる 此に対して 陶然として 唯だ 濁酒 日日 釣竿 太湖に遊ぶ	・江戸時代中期。服部南郭(1683~1759)作。雑言古詩。注釈によると、「出典は『南郭先生文集』初編(十巻六冊、享保12(1727)年、江戸、須原新兵衛刊)二。」とある。「大丈夫」について注釈はないが、現代語訳によると、「(元来こせこせしないのが、)ますらお(というものだ。))とあるため、「立派な男子」という意味になるうが、やや自嘲的な表現である。ちなみに、「太湖」は、注釈によると、「ここでは、不忍池のことをいう。」とある。
7	英草子 古今奇談英草子第四巻 [七]楠弾正左衛門不戦して敵を制する話 p.153	此の所に来り住せしより、子孫絶えず此の弾正左衛門にいたる。平生些しの謀略ありて、物に驚かぬ大丈夫(だいぢやうぶ)なるが、此の評議の先をとつて、各にむかつていふやう。	・江戸時代中期。1749年成立。近路行者(都賀庭鐘)作。怪奇小説集。注釈はないが、現代語訳によると、「大丈夫」は、「(ものに動じない)大丈夫(であったが、))とある。文脈からすると、「立派な男子」といった意味が最適であろう。
8	排蘆小船(あしわけおぶね) [三〇]緝紳先生 p.292	一緝紳先生あり、曰く。「歌は吾が国の習はせなれども、何となく言も女童のやうにて、心もはかなくあだあだしきものなり。大丈夫(だいぢやうぶ)のわざにあらず。ことに恋の部を立てて、その歌甚だ多うして、いと淫靡なるものなり。	・江戸時代中期(1757年頃成立)。本居宣長作。注釈によると、「大丈夫」は、「立派な男子をいう語。ますらお。」とあり、現代語訳によると、「立派な男子(のしわざではない。))とある。「緝紳先生」とは、注釈によると、「高貴な身分の人をいう。貴族。ふつうには公家を指す。」とある。
9	排蘆小船(あしわけおぶね) [三〇]緝紳先生 p.293	不風雅とは何を以て云ふぞとなれば、歌に詠みて面白からず、感なきを以て、その情の風雅ならざることを知るなり。女童のわざにて、大丈夫(だいぢやうぶ)の詠むべき物にあらずと云ふ。これ尤歌の風雅の趣を知らざる、頑なる見識なり。論	・同上。上記 p.292、一緝紳先生の言を引用し、それに対して反論している。

第4章 大丈夫

		の及ぶところにあらず。	
10	排 蘆 小 船 (あしわけおぶね) [五二] 詩 歌 の 弁 p.349	さて次第に世の移り変はるにつれて、後世の人は心賢しくなりゆけば、かの上代のはかなき詞拙き意を恥ぢて、我が実情をばいひ出でず。いかにも大丈夫(だいぢやうぶ)の意を作り出だす。これ上代も末代も人情に変はることはなく、今とても人の実情を探り見れば、上代に変はらずはかなく愚かなるものなり。	・同上。注釈によると、「大丈夫」は、「立派な男子をいう語。ますらお。」とある(上記 p.292 と同じ)。現代語訳によると、「(何とかして)立派な男子(の意を作り出す。)」とある。
11	西山物語 上 こがねの巻 p.203	しかるに今たから(室)ほろび、家も貧しくなりぬる事のよしは、此の七郎ぞものふのみちをみがきて、今の世のますらを(日本紀 古事記 万葉 大丈夫也)と、ひとにも称(古事記 日本紀)らるる男にてなむあれば、つらつらおもふに、「わが家のたからとするは、唯かの太刀一ふりなり。	・江戸時代中期。1768 年成立。建部綾足作。雅文体の実話小説。「凡例」によると、左の例の括弧内は「作者自注の出典」とある。現代語訳によると、「今の世の大丈夫(ますらお)」とある。
12	雨月物語 卷之一 菊花の約 p.296	「吾子不才にて、学ぶ所時にあはず、青雲の便りを失なふ。ねがふは捨てずして伯氏たる教を施し給へ」。赤穴拝していふ。「大丈夫は義を重しとす。功名富貴はいふに足ず。吾いま母公の慈愛をかうむり、賢弟の敬を納むる、何の望かこれに過ぐべき」と、よろこびうれしみつつ、又日来をとどまりける。	・江戸時代中期。1768 年成立。上田秋成作。注釈によると、「大丈夫」は、「中国の実践的道德思想からきた語で、意志の強い立派な男性。「大丈夫ハ義気ヲ以テ重シト為ス。功名富貴ハ乃チ微末ノミ」(死生交)。」とある。ここで、「死生交」とは、馮夢龍『古今小説』、「范巨卿鶏黍死生交」のことを指す(曾靖芳(2013)による)。現代語訳によると、「大丈夫」は、「男子たるものは義を重しとします。功名富貴は言うに足りません)」とある。
13	東海道中膝栗毛 道中膝栗毛四編 下 p.229	此ときていしゆ、竹のつゝをとつて来たり「サア / \ お客さま、そこへ投げますぞ 北八「なんだ火吹竹か 弥次「これをあてがつてナ、とやらかすのだ。よし / \。イヤ御ていしゆさん、大きにおせは。サア是で大丈夫(だいぢやうぶ)だ。ハハハハハ おのづから祈らずとても神みます宮のわたしは浪風もなし	・江戸時代後期。1802~09 年成立。十返舎一九作。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は、「間違いない/問題ない/安心な」といった意味で使われているようである。この用法も現代語の用法とさほど変わらない。
14	東海道中膝栗毛 道中膝栗毛五編 下 p.281	トこしからぬいてつへについてゆく 弥次「ハハハ、わきざしではねへの。わつちらア又、おめへがこわくて / \、さつきにからコリヤ、ひよんなやつに見こまれたとおもつたが、マアおめへおくびやうもので、わつちらもおちついた 北八「もふ / \ これから三人といふものだから、大丈夫(じやうぶ)だ 男「イヤ / \、このさきにとつとゑらいことがあるがな 弥次「なにがゑらい	・同上。ルビは「じやうぶ」のみ。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は、「間違いない/問題ない/安心な」といった意味で使われているようである。この用法も現代語の用法とさほど変わらない。
15	酪酩氣質(* なまぬいかたぎ) 上 面白くない上戸 p.205	エ、私はお前へ参つたら申さうと存じて、はつたり失念致た。エ、何でムリ升てエ、田舎の親類どもから頼れましたが、大丈夫(だいぜうぶ)此上なしの太織が、匹で二歩内であがり升が、マアねり賃百と見て、二分二朱そこらおかけなさると、小紋に染て羽織と対に出来升。	・江戸時代後期。式亭三馬作。1813 年刊行。「大丈夫」を「だいぜいいうぶ」と読ませる。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は副詞的に使われており、「間違いない/確かに」といった意味で使われているようである。
16	浮世床 柳髪新話 浮世床 初編	熊「気の能隠居だのう びん「けつかうだ 熊「息子が仕合せだぜ	・同上。「大丈夫」を「でへじやうぶ」と読ませる。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は「しっかりした /

第4章 大丈夫

	卷之上 p.266	びん「あの息子もよく拵(かせい)で利口者だから身上は大丈夫(でへじやうぶ)だ 熊「親子ながら仕合といふのだのでん「どうもさくゝで能で	間違いなく/確かに」といった意味で使われているようである。
17	浮世床 柳髪新話 浮 世床 初編 卷之下 p.291	びん「楽しみのおとへは苦来るとは、あすこだテナ 短「平生苦んで見さつし。卅日 / \ が安楽だ びん「若くても、おめへたちのやうに早く心づくくと大丈夫(でへじやうぶ)だが、兎角若者はさう行ねへものさ、ハイ トせなかをゆびにてちよいとつつく	・同上。「大丈夫」を「でへじやうぶ」と読ませる。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は「問題ない/心配ない」といった意味で使われているようである。現代語の用法とさほど変わりがない。
18	浮世床 柳髪新話 浮 世床 二編 卷之下 p.353	ちやぼ「なむ挙道第一ねらひさま、何とぞ私が勝まして、蛸助に蕎麦を奢らせませうやうにまもらせ給へ。おんぞろ / \ 三ばい食たりそばか。サア来い。これからは鬼に鉄棒、弁慶に薙刀、おれに女ときて、しつかり大丈夫(だいじやうぶ) [兩人]七十。八十。二十。三十。五無手。四無手。六無手「エ、めんだうな、一はどうだ。ソレづどん	・同上。「大丈夫」を「だいじやうぶ」と読ませる。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は、「しつかり大丈夫」とあるので、「しつかりした/間違いなく/確かに」といった意味で使われているようである。
19	近世説美少年 録 新局玉石童子 訓 第三版 卷 十五 第四十五回 意見を示して 俠者先途を奨 す/前愆を箴て 頭陀得度を許 す p.148	是即乙芸の為に、報恩の一義なり。残る一百五十両は、百両を落葉の刀自へ、五十両を木玄和尚に、返す時は損益なし。世に大丈夫(だいぢやうぶ)たる者は、一飯の恵にも必報ひ、睚眦の怨も必報ふ。我この心は、乙芸の本意にて、乙芸の心は、落葉の刀自の、慈善にも称ふべし。這義誰何」と談ずれば、	・江戸時代後期(1829~32年成立)。曲亭(滝沢)馬琴作。注釈はないが、現代語訳によると、「大丈夫」は、「世の中に人物として立つ者(は、わずかな恩恵にもきつと報恩し、)」とあるため、「立派な男子」という意味が妥当であろう。
20	近世説美少年 録 新局玉石童子 訓 第四版 卷 二十 第五十回 一金一粟盲亀 浮木に遇ふ/押 絵禍を告て成 勝通能を行る p.321	「□(そ)は只匹夫の勇ならずや。孝女父子のことはしも、憐ぶに堪たれども、我に干渉る事ならぬに、好みて人と争ふて、危きを忘るゝは、大丈夫(だいぢやうぶ)にあらざかし。十三屋の予より、警しを忘るべからず。卒(いざ)ゆくべし」とていそがせば、	・同上。注釈はないが、現代語訳によると、「大丈夫」は、「(好き好んで人と争って、危険を失念するのは、)男子(とはいえないぞ。)」とあるため、「立派な男子」という意味が妥当であろう。□の部分は規格外文字のため省略した。
21	風月花情 春 告鳥 初編 卷之一 p.381	新「若旦那 マア私にだまされたと思つて、例の所へ往て御覧じまし。おめへさんにやア、急度お気に入るにやア相違ごぜへません。此間も若竹の兼人が貴君さんのお噂を申て、今度出来た薄雲さんを是非あなたに出会し申てへと、くれト / \ 左様申て居ました 息「そりやア有難へが相方(むかふ)で出るか何だか知れるものかな 新「ナニ / \ 大丈夫でござへます トいふとき乗切の船頭小舟のうすべりをひろげ舟「サアお乗んなさいまし	・江戸時代後期。1836年成立。為永春水作。人情本。注釈・現代語訳ともないが、「大丈夫」は、「間違いなく/問題ない/確かな」といった意味で使われているようである。この用法も現代語の用法とさほど変わりがない。「風月花情 春告鳥」については、「大丈夫」にルビはふられていない。
22	風月花情 春 告鳥 五編 卷之十	小「ナニそれはお案じてなくつても宜ござあませう。其親御さんもお在(い)で)だから、是非何所へか知れなひ家へ隠して置	・同上。副詞としての「大丈夫」で、「きっと/確かに/間違いなく」といった意味のようである。注釈・現代語訳

第4章 大丈夫

	三 p.568	なさつたに違ひござりますまいはネ。頓(やが)て月日が立中(たつうち)にはお屋敷の方もすんで、夫婦にお成んなされるのは大丈夫出来ます 千「イ、エ何様(どう)いたして。なか/、左様はなりませんヨ。夫婦になんぞなり度(たい)といふ欲心は兎ても叶ひませんがネ、	ともにない。この用法は近代にはみられるが、現代にはみられない。
23	風月花情 春 告鳥 五編 卷之十三 p.569	実正(ほんとう)の情心(いろ)こそ放心(うつかり)とは仕ませんけれども、女房になるの仕様のといふくらゐの夏(こと)は、口先でアイといって置ますはネ。それをその人が実夏(ほんとう)にして、私の方よりは母人アの方を大事にして居た中、其人の気では最早極(もうきま)つて居るから大丈夫だと思つたのか、お金(かね)がなひのか、私の方へは滅多に不來(ふらい)でからネ、二年ほど過る中に私は鳥雅(とら)さんといふお方に深くおもはれて、	・同上。注釈・現代語訳ともにないが、「大丈夫」は、「間違いない/問題ない/確かな」といった意味で使われているようである。この用法も現代語の用法とさほど変わりがない。
24	風月花情 春 告鳥 五編 卷之十五 p.597	はな「ア、アレサお見世から誰か参りますはネ。貴君(あなた)が御贖負(ごひみき)で此家(この家)へお貰(もら)い被成(なすつ)た小僧(こぞう)の千松殿(ちまつだ)は、私の貞(かほ)を見ると最初(はじめ)ツからの夏(こと)を知つて居るから、他人(たにん)に隠(かく)して笑つて居ますは 鳥「ナニ/、彼は発明(りかう)だから龜相(そさう)な口(くち)を利(き)く気づ(き)かひもなし、殊(こと)におれ(おれ)が目をかけて置(お)から大丈夫だ はな「それは亘(ま)ござりますますが、私は薄雲(うすぐも)さんの事も氣懸(き懸)でなりませんから、何様(どう)かしてお上(お上)被成(あげなさい)ましナ。	・同上。注釈・現代語訳ともにないが、「大丈夫」は、「間違いない/問題ない/確かな」といった意味で使われているようである。この用法も現代語の用法とさほど変わりがない。

4.7.1.2 検索語：「だいぢやうぶ」(2020/12/02 時点)

図表 4.16：「だいぢやうぶ」の実例(日本古典文学全集)

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	風月花情 春 告鳥 四編 四編 卷之十一 p.528	甚「なぜ案じた。今日も女が帰すめへおもつてか ト笑ひながらいへば、女房も完尔(にっこり)として おりき「お洒落(しやれ：*おふざけ)でなひ。能好男(いゝいろおとこ)の風俗(ふり)をして誰(たれ)が幾日(いくにち)も止宿(とめ)て置ものか。必定(だいぢやうぶ)今朝(けさ)らア追出(お)されて来る時分(とき)だとは思(おも)つたけれども、お店(みせ)からア三度(さんど)も呼(よ)びに来(き)たし、それにお前(おまえ)、今日は苦味英(くみゑい)の和睦(なかなをり)ぢやアねえか。仲人(なこうど)の癖(くせ)に怠慢(たいまん)するゐ)ヨ。	・江戸時代後期。1836年(天保7年)成立。為永春水(わいながはるみ)作。人情本。「必定(ひつじょう)」を「だいぢやうぶ」と読ませている。注釈・現代語訳ともにない。さらに、「必定(ひつじょう)~けれども」と呼応(こた)の副詞(ふしじ)的に使われている。「間違(まちが)いなく~だろう」といった実現性(じつげんせい)の高い推測(すいそく)を表すようである。なお、「正法眼蔵(しやうぽうがんざう)随聞記(ずいもんき) 第五(ご) 五ノ三(ごのさん)」、「必定(ひつじょう)ぢやう)」の注釈(しゆせき)によると、「必定(ひつじょう)ヒツヂャウ(日葡辞書(にっぽしじしょ))。必ず(かならず)。きっと。確かに。」とある。「日本古典文学全集(にっぽんこくんでんがくぜんしゅう)」、「詳細(こまごま)検索(けんさく)」で「必定(ひつじょう)」を検索(けんさく)すると、検索結果数(けんさくけつこはすう)は22件(22けん)であるが、「必定(ひつじょう)」を「だいぢやうぶ」と読ませるのは左(ひだり)の例(れい)のみであった。

4.7.2 近世・近代（CHJ：日本語歴史コーパス）

CHJによる検索では、「大丈夫」の検索結果数が全307件であった（2020/10/09時点）。まず、下表を概観した上で、近世・近代における「大丈夫」の傾向と特徴について以下にまとめた。

- ・全体を俯瞰すると、近世（江戸時代）以降の用例が比較的多くみられる。
- ・近世期においては、「丈夫」と「大丈夫」がほとんど同義のものとして使われていた可能性がある。
- ・全般的に用法のバリエーションが現代語より多い。例えば、形容動詞連体修飾用法（「大丈夫なる～」「大丈夫の～」「大丈夫な～」）がみられる。
- ・近世期においては、「大丈夫に＋用言」といった形容動詞連用修飾（副詞的）用法がみられる（下表資料番号“1”“4”）。
- ・近代期においては、副詞としての用法（「大丈夫」＋用言）も比較的多くみられる。ただし、上記の両用法は、現代においてはほぼみられない。
- ・「～は大丈夫」「～は大丈夫だ」「～は大丈夫です」「～は大丈夫。」等、述語文としての「大丈夫」の用法もみられ、「心配ない／問題ない」を意味することが多く、これは現代の用法に近い。
- ・近代期においては、「大丈夫」の連体修飾用法として、「大丈夫な＋名詞」に加え、「大丈夫の＋名詞」といった語形が比較的多く現れる（下表資料番号“26”“29”“32”“34”“36”“44”“48”“54”）。ただし詳細をみれば、資料番号“54”（「大丈夫の天候」）以外は人物（つまり名詞）としての「大丈夫」となる。ここで、資料番号“54”（「大丈夫の天候」）における「大丈夫」は、物事の性質・状態を形容するものと考えられるため、属性形容動詞ということになる。

続いて、以下に、「大丈夫」の検索結果を示した。

4.7.2.1 検索語：「大丈夫」（全 307 件より抜粋）（2020/10/09 時点）

図表 4.17：「大丈夫」の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	当世左様候 52-洒落 1776_01013	いのと誉る(*ほめる)から役者も是でイ、と思ふから仕打が根からあがらねエ今江戸役者の評を一口にいわふなら先柏莚が大丈夫に慶子が妙家橘が拍子杉暁が極り(*きまり)三舛が利根錦考秀靄が達人雷子里虹が上手中車が小手の利(*きく)	・「大丈夫に」という表現は現代みられない用法。
2	明烏後の正夢 53-人情 1821_08001	目の煩なら此村の可菴にかかりなせへ。片と悪くは両方へうつし。両方わるくは大丈夫。目くらにするは請合と。問わずがたりのにくて口。ずつしり居り大あぐら。	
3	明烏後の正夢 53-人情 1821_08003	両方の懐へ手を入れて右と左の手を握て行ば。あいた手は一本も無ぜこれでは大丈夫だろふ全「ヤア、出来た / \。妙案 / \。サ、ちつとも早サ、私中へ這入サア手を入なはれ。	
4	明烏後の正夢 53-人情 1823_08007	苦になつて夜の目も合なんだ。全六にいへば。万事荒川さまが呑込でござる。ちつとも案じはないと。大丈夫に落付て居おるゆへ。不心成も其儘に置たりや。己が家出した日か	・形容動詞連用修飾/副詞的用法か。「大丈夫に」という表現は現代ない用法。
5	明烏後の正夢 53-人情 1823_08009	「とび助むまくいつたぜとび「いめへましい雨だすべつておへねへ。もふ追かけても大丈夫だ泥「案にたがはぬごまのはい。てふど仕事をする処を。あやふくやつ	
6	春色梅児与美 53-人情 1832_02002	「違へねへまるで立まはりをさせやアがつた女「ほんにおまへはマアさぞこわかつたらふ。モウ / \ 気を大丈夫(ぜうぶ)におもちヨ。私は小梅の女髪結。お由といはれるおてんばもの。江の島の弁天さまへ大願て月参り。	・「大丈夫」を「ぜうぶ」と読ませる。
7	春色梅児与美 53-人情 1832_02003	不断は市原のお師匠さんへまいるヨ丹「そふか銀座の宮芝さんなら節は大丈夫だ。そして市原から今日はどこへ行のだ長「けふは稽古の販りに姉さんの名代に。	
8	春色梅児与美 53-人情 1833_02009	「ヤレ / \ マア知らねへ事とはいひながら沢山苦勞をさせたツけノモウ / \ 斯して奇会からは憚りながら大丈夫だと思ひなせへ由「そふやさしく被仰と真に嬉しく思ひますけれどどふもおまへさん	
9	春色梅児与美 53-人情 1833_02009	の一枚づゝも捨てくれる手めへに対して浮薄なことをして済ものかそりやアほんにヨ大丈夫だから案じなさんな米「なま中に私がおまへをこうしておいておまへの手助といふも夫婦	
10	恋の花染 53-人情 1833_06005	「そふおつしやれは仕方かねへ二三日の事なら俟ませうかそのとき彼はおつしやつちやア源「大丈夫(じやうぶ)に金はてきやす其かはりにはチト悪法きさま達モウーほね折てくれにやアならねへが	・「大丈夫」を「じやうぶ」と読ませる。
11	花廻志満台 53-人情 1836_01002	紙屋の見せへ往て。小六さんを出出して。斯 / \ 言て談じて見な。アノ人も身分が大事。十両やそこらは大丈夫だ。そうしたならばあノ女兒に。三両もあづけてやつて跡は此方がせし	
12	花廻志満台 53-人情 1837_01007	しばらくは物もいはず。茶を飲で居たりしが漸 / \ に胸をおちつけ治「これさ何も其様に言事はないはナ自己か斯いふから大丈夫だと思ひなせへナ。しかしコウお春自己が善事をおもひ付たか。おめへまた何といふか	
13	花廻志満台 53-人情 1837_01009	「ム、あんまり左様でもあるまい。浮薄をすると。紙治さんに言ぜはる「そりやア大丈夫だヨはま「マアーぶく飲でも宜じやアないかねへト急ぐとすれど女同士。とど	

第4章 大丈夫

		められてはまたつさらに。一口嘸し二	
14	春色江戸紫 53-人情 1864_03002	でといふにやア能聞糾したうへでなけりやアなるめへぢやアねへか らく「夫は其様なもんですけれども実に吾儕に限ツちやア大丈夫(じやうぶ)ですは。モシ旦那是につけても松山とやらいふ。	・「大丈夫」を「じやうぶ」と読ませる。
15	春色江戸紫 53-人情 1864_03003	何処へ寄る処があるものか らく「真正に何処へも寄ツちやア否ですヨ 惣「大丈夫だヨ。夫よりやア。疾く下の伯母さんに今の事を頼みねへナ	
16	交易問答 60C 口語 1869_01103	此頑六といふ老耄叟でも。才助殿には決して負ぬ積でござる。此叟歳は七拾三だがまだ齒は大丈夫だ。拾人や二十人の醜夷は。此叟老人でも。喰殺てやるでござろうアハ	
17	安愚楽鍋 60C 口語 1872_02304	まあ御ひみきのおかげで昨ばんなぞは百五十足ばかり参りやしたから並木も東橋もまづ大丈夫三四百はめへるやうになりませうとぞんじやす並木は円朝の後で東橋が小さん	
18	百一新論 60C 口語 1874_06102	涯々所か取二三間も右に寄せて引てござる夫故危氣もなく大丈夫でござつて少しも踏迷ふ氣遣はござらぬ	
19	開化問答 60C 口語 1874_07103	一養生とは人間の頭脳は精神の住居にてごく大切なところでござるそれゆゑ天道様か造へるにごく大丈夫なる骨を組合せ其上に皮を覆ひ又髪を覆ひ又其上に帽子を冠る	
20	開化問答 60C 口語 1874_07103	と名付一ツの機関車にて他の車二十輛乃至四十輛も引こつてござる さて車の製造は皆大丈夫にて鉄の輪四ツ宛をつけたる造り方ゆゑ尋常の道を走ることが出来	
21	開化問答 60C 口語 1875_07202	の情慾は中と手強き者ゆゑこれをとり押へて節物にすることはよほど心が大丈夫にあらざればあはずこの故に世には情慾の為に心の分別意見	
22	民権自由論 60C 口語 1879_10102	いと危く淺間敷き事を御話し申しましたが然らば國は如何様にして大丈夫なるや安全なるやと申す。お方もありますよ。	
23	民権自由論 60C 口語 1879_10102	又右のお話を一の家に譬へて申そふならば家の大丈夫堅固にあるは棟や柱や總て家を造る材木が良くて。	
24	民権自由論 60C 口語 1879_10102	一つ一つの小さき輪が大事で。ござる。若し一輪さへよう大丈夫なら鎖は十分強けれど若しやその輪が丈夫になきか又その中に一	・文脈からすると「大丈夫」と「丈夫」を同義のものとして使っている。
25	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_06006	ながろふべきか但し又。ながろふべきに非るか。爰が思案のしどころぞ。運命いかにつたなきも。これに堪へるが大丈夫(ますらを)か。又さはあらで海よりも。深き遺恨に手向ふて。之を晴らすものゝ	・人物としての「大丈夫」。「ますらを」と読ませる。
26	国民之友 60M 国民 1887_07008	心なき人は何とも云はゞ云へ、吾人は實に其の出處進退に於て、毅然たる大丈夫の動作に孤負せざるを信ず、谷氏朝を去る、然れども其の意見は朝を去らず、	・これも人物としての「大丈夫」か。
27	国民之友 60M 国民 1888_21005	斯る特恩を辱ふせしが何人も之を知る者なし左れば宮中に於ても大丈夫に地位を保持し陰謀に長じたる老女官にても此年少士官に限りては	・形容動詞連用修飾/副詞的用法か。「大丈夫に」は現代ない用法。
28	国民之友 60M 国民 1888_23001	蓋し善良なる選挙區は、善良なる國會の地盤なり、總べて國會の堅固にして大丈夫なる所以の者は、此の堅固にして大丈夫なる地盤の上に立ちたれ	・形容動詞連体修飾。
29	国民之友 60M 国民 1888_23001	は富貴も移す能はず、威武も屈する能はず、正を踏んで懼ることなき大丈夫の議員ありと雖も、若し夫れ選挙區人民の心にして翻々たること猶ほ	・形容動詞連体修飾。あるいは名詞で「立派な信用たる人物」という意味か。

第4章 大丈夫

30	国民之友 60M 国民 1888_25041	あがきもいい加減にして、をやぢの云ふ事もちツとは聴くがいい。おれは大丈夫だ、忘れる氣遣ひはない、——それはなア……イ」、ト平氣で伸をしながら、また欠伸をした。	・形容動詞終止形。「大丈夫だ」。
31	国民之友 60M 国民 1888_27007	「ウキクトル」は顔をしかめたが、それでも眼鏡は渡した。「こわしちやいけんぜ」。「大丈夫ですよ」トこわだ眼鏡を眼のそばへ持つて来て「ヲヤ何にも見えないよ」	・形容動詞語幹「大丈夫」+断定の助動詞「です」。「です」を形容動詞の活用形とみる立場もある。
32	国民之友 60M 国民 1888_28023	、同額の金銀貨及び地金銀を置き、其引換準備と爲す事、誠に大丈夫の至りにして、吾人は勿論同意なり、又た市場の景況に據り、流通貨幣の増加を必要と認むる時、	・形容動詞連体修飾。
33	女学雑誌 60M 女雑 1894_27002	されど、もし信じて此の聖職を奉行せらるるときは、傳道の職務ほど、大丈夫にして成功の確かなるもの無けん凡そ、物の恐ろしきは、吾に優る力の吾が進路を妨ぐるが故なり。	・形容動詞連用修飾。
34	女学雑誌 60M 女雑 1894_34010	恐るゝことはなくなり申候。其場合に、縛りもせず、眼匿くしも打たず、切めて大丈夫の最期を遂げさせやらんと申候。兼て父上に御約束申せし通り、御國の爲、戰場の死は厭ひ申さず、	・人物としての「大丈夫」か。
35	女学雑誌 60M 女雑 1894_37015	桂。〔また、あたりへ水をふりまいて。〕さア、これで大丈夫。-あなた、その花をどうぞ。浪子。わたしがいけてあげませう。	・形容動詞語幹。
36	女学雑誌 60M 女雑 1894_43010	◎原坦山が墓誌銘を新聞紙上にて讀むに、中に曰く、彼れ禪學を聞き、之れ大丈夫の學なりとして則はち之を修めたりとあり。	・形容動詞連体修飾。
37	女学雑誌 60M 女雑 1894_44001	此際、毫末の憶病あらざると共に、亦た毫末の私慾なきは、即はち國家の大丈夫、宇内の大勇將に非ずや。	・後ろに「大勇將」とあるので人物としての「大丈夫」か。
38	女学雑誌 60M 女雑 1894_45010	富貴も淫すること能はず、貧賤も移すこと能はず、威武も屈すること能はず、此を之れ大丈夫(だいじやうふ)と云ふと。男兒大丈夫、當に斯の如く觀念すべし、莽鹵淺輕にして泛々として一生を消さんとするは、	・人物としての「大丈夫」。
39	女学雑誌 60M 女雑 1894_45010	莽鹵淺輕にして泛々として一生を消さんとするは、何の心ぞや。而して、大丈夫(だいじやうふ)と伴侶すべき佳人は亦た女丈夫の貞心あるべし。「吾が人」をして屑々たる小人たらしめ了はんぬるは、	・同上。「大丈夫」の女性版「女丈夫」。
40	女学雑誌 60M 女雑 1894_45020	嗚呼、婦人、國を傾むけ又國を興す、人を産み又た大丈夫(だいじやうふ)を生かす、何んぞ、其の感化力の隱微にして且つ強大なるや。	・人物としての「大丈夫」。
41	太陽 60M 太陽 1895_01007	丁度漢語が日本語に及ぼした様に、ならぬといふ上の擔保は大丈夫出來まするか。かう考へてまゐりますと、私は寧ろ厭世家とかいふ者に屬します	・副詞的用法か。
42	太陽 60M 太陽 1895_02025	と云ふと、百姓は平氣なもので、「ナニ神様が守護つて下さるから大丈夫さ。」と云ひすてゝ行てしまつた。基督はニツコリ笑ひながら彼得を見かへり、	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
43	太陽 60M 太陽 1895_04012	此の方へは佐倉を入れるのだよ、何様です旦那様此火鉢は、五圓には些高いが新でも大丈夫狂ひは出ませぬ、此鐵瓶は下りだから有り難くも無い代り廉くて小器用に出來て居ま	・副詞的用法か。
44	太陽 60M 太陽 1895_04057	正三位勳一等井上毅君の靈に告ぐる詞後れ先つは世の習とはいひながら大丈夫の志を懷きて空しくなりぬるばかり悲しきはなかるべし君は肥後國熊本に生れ幼き時より	・人物としての「大丈夫」か。

第4章 大丈夫

		學を好みやと長して木下犀潭翁の	
45	太陽 60M 太陽 1895_06009	分の身軀が大丈夫な身軀であるから別に労働もせず運動もせずして大丈夫である病気になる氣遣ひは無いと云つて不養生も爲し、自分の性質の丈夫な身軀を保護して尚ほ其	・「大丈夫な身軀」は現代では「丈夫な身体」とするであろう。
46	太陽 60M 太陽 1895_09030	田宮は漸々我に復りて『阿兼ナニモ氣遣ふ事は無い、持病の眩暈が致したのよ…モウ大丈夫だ…サア其遺書の後を讀で聞して呉い『お父さま、本統に御氣分は大丈夫で御座いますか…	・体調/気分が「大丈夫」。現代の用法に近い。
47	太陽 60M 太陽 1895_12025	時間ばかりお借り申して行きますれど、此のお玉がお付き申すからは、大丈夫にお思ひなされ。お前さんが其爛壇の酒をお盡けなさる頃まで	・形容動詞連用修飾。副詞的用法か。
48	女学雑誌 60M 女雑 1895_02002	勝ちたる後の更に麗はしきよ。此は是れ、大日本の武士が、物の哀れを知り、大丈夫(ますらを)のけなげさを辨まへて、生命を鴻毛の輕ろきに比し、義を泰山の重きに托し、	・人物としての「大丈夫」。「ますらを」と読ませる。
49	女学雑誌 60M 女雑 1895_07008	間に合はんか否やなど問へば、彼は一寸と、時計を瞥見して、至つて平氣に、大丈夫デス、何處より何處迄は、何分間、それより先は何分間、丁度何分前に停車場に着きます	・「(まだ時間があるので)大丈夫デス」現代の用法に近い。
50	女学雑誌 60M 女雑 1895_11020	自由政代の經世道經世濟民の語は慕わしき語なり。大丈夫、世に立つ、此の用意なくして可ならんや。左れど、立憲自由の世に於ける經世の道とは、	・人物としての「大丈夫」か。
51	太陽 60M 太陽 1901_01029	『其に違ひないだらうね。』と、お安は念を押しした。『あゝ大丈夫だからね、本統に心配してお呉れでないよ。』お安は首肯ながら、	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
52	太陽 60M 太陽 1901_05044	体内よりして、本病の原因たる腸窒扶斯桿菌を見付けるのである、これを見付ければ大丈夫腸窒扶斯であることが明白である、けれども仲々面倒で、さあ直ぐと云ふやうな間には合はぬ、	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。
53	太陽 60M 太陽 1901_09038	暑時分にはこのほかには食物の用心が緊要です、胃腸を大切にし置けば虎列刺が流行しても大丈夫です、それゆゑ不消化物腐敗の疑あるもの、不斷食べ慣れないものなどは	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
54	太陽 60M 太陽 1901_13023	大早飛脚、常飛脚と申た、大早飛脚は江戸から大阪まで行つて、大阪で天候を見計らつて、大丈夫の天候なれば、大阪から船で往つたものです、駕籠は六人舁、晝夜兼行で十三日と六時かゝりました、	・形容動詞連体修飾。現代語では天候について使う場合連体修飾用法はない。 ⁹⁸
55	太陽	信長を屢々悩まして、遂には流石剛情の信長をも屈服せ	・人物としての

⁹⁸ 近代の資料では、連体修飾の際、「～な」に加え、「～の」語形が多く現れる。基本的に、学校文法では、連体修飾「～の」の語形の場合名詞であるとされるが、形容動詞の特殊形態と捉える学説もある。ただし、近代が現代語形成に至る移行期であることを考慮すれば、単純に形容動詞語幹なのかあるいは名詞なのかといった判断はしがたいようである。本稿では、上記“54”の例のように、「～な」と入れ替え可能な連体修飾「～の」の語形を便宜上形容動詞連体修飾として扱うこととする（中山緑朗・飯田晴巳監修（2015）『品詞別 学校文法講座 第三巻 動詞・形容詞・形容動詞』、p.235も参照）。一方、現代語の「大丈夫」をみると、連体修飾用法（「大丈夫な～」）はほとんどみられない。この用法は「丈夫」のほうが受け持っているようである（例：「丈夫な人」「丈夫な建物」等）。

第4章 大丈夫

	60M 太陽 1909_01005	しめて、斯る大丈夫をして顯如上人の前に和睦を取結ぶの止を得ざるに至らしめ	「大丈夫」。
56	太陽 60M 太陽 1909_01058	夫の側へ来て立つ。早見 来るよ。今尾がたしかに請合つとるんだから、大丈夫だ。都屋子 入らしたたら、私お目に掛らなけりや成らないでしやう。早見 そりやア無論さ。	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
57	太陽 60M 太陽 1909_02026	誰にも通用するんぢや無えんだから。教員 狩野欣彌、大丈夫忘れることではない、お蔭で助かった（手形を大事さうに仕まひながら女學生一同に向ひ）	・副詞的用法か。
58	太陽 60M 太陽 1909_10059	打ちて右下隅の黒を治まりし以上は白再び勝負を争ふの餘地はなし▲黒六十は勝と見て大丈夫に過ぎたり六八に打抜かば大勝なるのみならず却て安心ならずや	・形容動詞連用修飾/副詞的用法か。「大丈夫に」は現代ない用法。
59	太陽 60M 太陽 1909_11033	と顔を赤らめる處へ、本戸、下手より出来る。二人は驚く。本戸『今度は先生、大丈夫患者ですぞ』楠見『えッ患者？』本戸『入院したいと云つて来ました』	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。
60	太陽 60M 太陽 1909_14030	明日歸つて来ないと承知しないよ。好いかね。」と斯う念を押した。「大丈夫飲みません。然し、そんなことまで云付けられると、まるで子供が使にでも出さ	・副詞的用法か。
61	女学世界 60M 女世 1909_08008	その地位や財産を頼んで心がゆるみ、知らず知らずに墮落するもので御座いますが、大丈夫はその位置に立たせても富貴の爲めに淫せられるといふ事が御座い	・人物としての「大丈夫」。
62	女学世界 60M 女世 1909_08008	貧賤の位置に立たせませすと、心變りがして邪心のきざすものでありますが、大丈夫はその時に當つても正道を守る事が出来ます。」「威武も屈する能はず	・同上。
63	女学世界 60M 女世 1909_08008	如何なる武力を以てしても屈せられず、貧賤に處して道を守り富貴にあつて淫せられる事の無い、これを大丈夫といふ。處で、一口に勇氣と云つても、腕力の勇氣智識の勇氣などいろいろあります。	・同上。「人格がしっかりして信頼にたる人物」が「大丈夫」ということになるう。
64	女学世界 60M 女世 1909_13039	令夫人どうした御奮發でと聞きたい位、あちらに三人、こちらに五人、どうせ私、駄目です、いやあなたは大丈夫です、などゝ話し合つて居る、椅子に寄つて非禮は見ず、非儀は聞ずと澄して居る方やもう種々雑多な方々の寄り合です、	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
65	女学世界 60M 女世 1909_16030	小魚がやつて来ても最初は却々飛び付かない。暫くじつと見てゐる彌々大丈夫といふ迄は一分一厘も動きはしない。その内に大丈夫といふ距離へ小魚が近寄つて来ると、	
66	女学世界 60M 女世 1909_16064	ほんに静かだと思つてゐると、突然後の方で『アラ私が……それよりか貴女こそ大丈夫、屹度保険つきよ』、『オホ、まあひどい事を、……まさかランプのホヤぢやあるまいし』、	
67	尋常小学読本 卷九 60T 小説 1910_25A10	更に新しい機關をイギリスに注文して、又一つの船を造つた。此の度は大丈夫と考へて、「何月何日初航海をするから、何人にも乗船の望に應じる。」	・「形容動詞語幹」+「(格助詞)と」。
68	太陽 60M 太陽 1917_01035	總理大臣になつてゐることを思ふと、自分だつてまだ五年や十年は大丈夫だと元氣をつけてゐることを話したりした。	
69	太陽 60M 太陽 1917_01037	何か破したのでせうか。 まさ子。何にも危ない物は置いてありませんから大丈夫ですが。(かう云ひながら、立つて書齋の唐紙を細目にあけて、覗く)	
70	太陽	中が憲政會にでも入黨すると云ふ形勢になると大變ぢや	・副詞的用法

第4章 大丈夫

	60M 太陽 1917_06003	が、其れは大丈夫心配は無いよ、無所属たることは飽くまでも無所属ぢや。是を是とし、非を非として貰へば結構ぢや。	か。
71	太陽 60M 太陽 1917_09051	と菱田が答へた。『では、一番の汽車に電車は間に會ひせんね。』『いゝえ、大丈夫。こゝから横濱驛までは三十分とはかゝらない。』この時刻になれば自分の小學校の所在地ではもう色々な小鳥の聲	・形容動詞語幹。
72	太陽 60M 太陽 1917_10038	(かいては見) どうも面白くないね。 A。君、あんまり疲れるといけないよ。 B。大丈夫だよ。牛乳をのんだり、パンを食つたりしたのですつかり元氣になったよ	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
73	太陽 60M 太陽 1917_12006	どうしてどうして頭は中々確かりしたものだよ。其れに勝田が次官として附いて居れば、大丈夫勤まるよ。口所が悲しい事には、目賀田は從來徳川一門と共に、寧ろ山縣系反	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。
74	太陽 60M 太陽 1917_13061	、泥棒猫でも叱るやうに言つて、天井を仰ぎつゝ風雨を罵つた。『ほんとに煉瓦の西洋館にでも入つてたら大丈夫でせうね。』と、妻は話だけでゞも心強さうなことを想像して、不安と恐怖とを	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
75	尋常小学国語読本卷十 60T 小読 1918_35B04	だんだん市場に近づくと、本通も横町も皆馬でいっぱいです。なれない私は、大丈夫といはれても、やはり馬のそばを通るのが危険なやうな氣がしてな	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
76	太陽 60M 太陽 1925_01045	しつゝありましたが、餘程健康の上に良い効果が見えて來ました。これならば大丈夫健康になると思ひまして爾來私はそれを研究致すと同時に及ぶ限り	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。
77	太陽 60M 太陽 1925_01093	などいふわけで、それに私は自炊の心得もありますから、一人でも大丈夫生活が出来るのです。『あなたは身元証明書をお持ちでせうね。 トレントは小な紙挟みから書類を取出した。	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。
78	太陽 60M 太陽 1925_03075	「どうも僕も寫眞が出ると婦人の讀者が減るからね」と。どう致しましてあの押ししならば大丈夫増す一方だ。それは兎も角、作者の顔付を見て讀者になつたり止めたりするやう	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく」といった意味で使われているか。当時副詞的な「大丈夫」は確実性を暗示する際に使つたようである。
79	太陽 60M 太陽 1925_04017	客『この風邪薬はほんとに一度のむと利くかね』主人『大丈夫です、現に私の店から風邪薬を買つたお客で、二度と來られた人は	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
80	太陽 60M 太陽 1925_05039	が被告を人違ひするやうなことは、先づ有り得ないであらうな?』 證人『はい。大丈夫そんなことはございませぬ。』 大狀師『證人は三月二十五日の晩のことをよく	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いな

第4章 大丈夫

		記憶致してゐるか？』	く/確かに」といった意味で使われているか。
81	太陽 60M 太陽 1925_10056	何故か涙が滲みでた。六十二の父、父の元氣はまだまだ大丈夫である。娘の死で應へた身體も、間もなく恢復してゆくと、私は信じてゐる	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法と微妙に異なる。
82	太陽 60M 太陽 1925_11067	ビルディングの大きいのにすっかり眩惑されてしまつて、こんな大きな家に居る人なら大丈夫と信用して商取引を始め、其の結果欺かれてしまふのである。	・「形容動詞語幹」+「(格助詞)と」。
83	太陽 60M 太陽 1925_11078	では別に隠す必要もありませんが、他へ漏らしては困りますよ。』『大丈夫です。うっかり他人に話しはしません。』『ミス・メープル・ラトランドはジェームズ・ラトランド氏の姪	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
84	太陽 60M 太陽 1925_13059	『だが親方はどうしたんだらう？』もう一人の仲間が不安さうに云つた。『大丈夫だよ、親方のことだ。へまのことなんかやる筈はねえ。』『それにえて物も連れて行つたんだからな。』	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
85	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03030	『ちや、その上酔つばらはない方がいいわ。』『酔つばらつたつて、大丈夫だ。』『大丈夫なもんですか、そんなにぐらぐらしてゐて。』『ぐらぐらしてゐたつて、	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
86	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_03121	漸く此の頃になつて私の體は、すっかり元の様になつてみました。『もうこれなら大丈夫だ。』院長はさう言つて私の丸々と肥つた、健やかな體を見て、	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
87	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_06031	『お出で、これをお前に半分あげるから』『欲しくありません、馴れたから大丈夫です』何んと云ふ可憐な言葉だらう。遠慮する健一に、私は無理に辨當の半分を分けてやつたりした。	・この「大丈夫です」は現代語の断りの場面における「大丈夫です」に近い用法。
88	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_06146	怒つて私の投書を没ななんかにしちやいやよ、私弱蟲なんですもの。(下谷、まり子) ●まり子ちゃん、大丈夫、記者は決して怒つたりしません。どんなことがあつても罪のない無邪氣なまり子ちゃんが憎めるもの	・形容動詞語幹。「心配ない/問題ない」という意味。
89	婦人倶楽部 60M 婦俱 1925_12027	八ヶ月の修業と研究とで、漸く自信がついた。これなら大抵大丈夫と、二人は大阪に歸へりましたが、開業の準備も早く、大阪目ぬきの本町二丁目に花々しく美粧倶楽部の看板をあげたのは	・「形容動詞語幹」+「(格助詞)と」。
90	小学国語読本尋常科 用巻六 60T 小読 1933_43B16	「あしたは、雪合戦が出来るでせうか。」と、私が言ふと、おとうさんが、「大丈夫出来る。さつきのやうなちやうしで降續くと、朝までには、ずゐぶん積るよ	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく/確かに」といった意味で使われているか。
91	小学国語読本尋常科 用巻六 60T 小読 1933_43B16	れども、春雄、あんまり積つたら困るだらう、學校へ行くのに。」「いゝえ、大丈夫です。どんなに積つても、僕は平氣です。」「春雄は元氣だからね。」	・この「いいえ大丈夫です」は現代語の断りの場面における「大丈夫です」と関連があるか。

第4章 大丈夫

92	小学国語読本尋常科用巻七 60T 小読 1933_44A20	へた家主は、厚い板に書いて、しっかりと釘で打附けてしまった。「これなら、五六年は大丈夫だ。」	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
93	小学国語読本尋常科用巻十 60T 小読 1933_45B17	夜が明けるのを待ちかねて、尋ねにやりますと、「ざぶとん程(*雪が)残つてみます。明日までは大丈夫持ちます。」といふお庭師の返事でした。「まあ、よかつた。」	・副詞的用法。文脈によると「大方/間違いなく/確かに」といった意味で使われているか。
94	小学国語読本尋常科用巻十一 60T 小読 1933_46A19	空が次第に曇つて來た。霧もだん／＼深くなる。しかし、小屋の人は、「天気は大丈夫です。」と先生たちに言つてゐた。それから、しばらく道が急だつた。	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
95	初等科国語三 60T 小読 1941_54A04	父の姿を見ると、少年は、自分の苦しいことは一口もいはないで、「おかあさんは、大丈夫でせうね。」といひました。少年の傷は思つたよりも重く、その日の午後、かりに作られた治療	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
96	初等科国語五 60T 小読 1941_55A15	一文字に白い線を引いたやうな砂濱が、目にしみるやうに寫つた。「廣田よくやつた。もう大丈夫だ。潮の流れもいいし。そら、あそこに見えるだらう、あの砂濱が、到着點だ。」	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。
97	初等科国語六 60T 小読 1941_55B21	いくら、腰や腕がつかれても、ころよいつかれであつた。「これで、もう大丈夫。こんどこそ安心。」長い麥のうねを刈りあげるたびに、こんなひとりごとをいつた。	・「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。現代の用法に近い。

4.7.3 近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

「神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」より得られた「大丈夫」の実例について、以下の表に時系列で示した。

4.7.3.1 検索語：「大丈夫」（全 1083 件より抜粋）（2020/10/05 時点）

図表 4.18：「大丈夫」の実例（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	鉄道(01-044) 東京時事新報 1912.7.2-1912.7.10 (明治 45) 確氷の電気列車 (三) 上杉生 使用電力	又目下の運轉回数は一昼夜に十往復であるが更に機関の数が増加して軌道の許す限り運轉するとすれば一昼夜に三十六往復迄は大丈夫であるが之は最高限度であつて先ず一昼夜に二十五往復もすれば夫れで大抵用は足りるのであるが横川の発電所は之に対する設備として十分である	・(形容動詞)述語文。
2	蚕糸業(01-060) 東京朝日新聞 1912.7.22 (明治 45)	本年は他府県よりの視察員余程減少して例年の如く混雑せざるに付中には其結果を悲観するものあれどもこれは蚕糸法実施の結果最早大丈夫にて視察の必要もな	・前者は形容動詞連用形活用語尾+「(接続助

第4章 大丈夫

	長野県蚕種業 蚕糸業法施行後の長野 県蚕種の状況如左 二化性蚕種	しと云える為めなるべし注文は直に製造に来るべきに 付売れ行きは大丈夫なりと云うものあり	詞)て」となる か。後者は(形 容動詞)述語 文。
3	労働問題(1-096) 読売新聞 1913.10.8 (大正 2) 日活弁士の総辞職詳報 会社側の取扱に憤慨せ る結果 昨日日比谷公園三橋亭 に会合	昨今の日活は財政困難の絶頂を漸く通り越し東京銀行 より多大の借財を為せる外横田商会より四万円を借入 れ更に二十五万円を借入れる約条なりて十六万円の負 債は十四万円まで償還しあれば最早大丈夫の地位にな りたりとの事なるもこの為め横田派の専横等ありて会 社内に種々の暗流生じたりとの事なれば	・形容動詞連体 修飾。
4	水利(1-001) 北海タイムス 1914.8.29 (大正 3) 深川灌漑溝 実に七十余万円の大規 模 二千円の石は木偶の仲 間入	第一号暗渠はオサンケップ川の水が灌漑溝を横断する のでコンクリートの樋を作ったものだ。アーチ六個の 水門であるから先ず大丈夫であろう。是から第一増水 門迄は凝泥土の隧道で二百十四間も続く。	・(形容動詞)述 語文。
5	教育(4-088) 大阪毎日新聞 1915.9.24-1915.9.29 (大正 4) 世界大戦後の教育(三) 文学博士 沢柳政太郎 氏述	今回の大戦後思想界の傾向が軍国主義に赴くべきか将 た平和主義に行くべきかの問題に対する予の考えは軍 国主義よりは却って平和主義が勢力を得るに至るであ らうと思うのである併し極大丈夫な態度を執るならば 此種の問題たる今日に於ては何人も断定するを得ざる 一種の思惑に過ぎないものであるから	・形容動詞連体 修飾。
6	日本(13-022) 中外商業新報 1916.12.2-1916.12.17 (大正 5) 関西経済界活況 (一~八) 時局の影響を蒙れる諸 会社工場 (二)大阪株式取引所	而して取引所に於ける当季の総収入は預金証券利子証 券売却差益其他を合して約百五十五万円之に対する総 支出は諸税報酬其他を合して約三十五万円差利益金 百二十万余円諸積立役員賞与十五万余円を除くも裕に 三割の配当は大丈夫なりと打算せらる	・(形容動詞)述 語文。
7	外交(10-082) 大阪毎日新聞 1917.6.12 (大正 6) 単独講和はしませんよ ベトログラード大学教授 文学士(日本) エリ ゼエフ氏談	五月二十六日安奉線列車内で日本語に巧な一露国紳士 に逢った、話して見ると嘗て「芭蕉」の卒業論文で東 京帝国大学を出たエリゼエフ文学士なのだ、江戸趣味 を解し「深川」に傾倒した此露国青年は時局について 左の如く語った(蔵山生) 驚いたでしょう露国の革命には、御国も連合国も単 独講和を氣遣って居るかも知れませんが、ナニ単独講和 などしませんよ、大丈夫です、戦争の主義の変化!まあ そんなことを言っけ置かなくては労働者などが安心し ませんから氣休めを言っけ置くのですが、連合国に対 し今更不義理が出来ましようか	・(形容動詞)述 語文。
8	日本(9-11-003) 大阪朝日新聞 1917.9.30 (大正 6) 琉球の開発 沖縄県知事 鈴木邦義 談 徴兵は倭見物	此の頃では兵隊に行ったものは立派な体格になって帰 って来るので何れも安心して出すようになった、加之 貧困で全く他に出るの余裕を持たない島民にあっては 官費で倭を見物に行けるのを喜んで進んで兵役に服す るのを希望するようになって来た、海上だつて大丈夫 だ、チトやって来給え。	・(形容動詞)述 語文。
9	茶(2-099) 京都日出新聞 1918.1.15 (大正 7) 米国の日本茶 中央茶業組合 西巖氏	ウ大統領 茶は日用品である、労働者の食卓に迄供せら れるものであると云って昨年課税が予算委員会に迄提 出されたのを却下したデモクラシーのウ氏の在任期中 は愚永久大丈夫な事であろう、爰に注目警戒すべきは 瓜哇の紅茶である、同地の紅茶は僅か十二年しか経	・形容動詞連体 修飾。

第4章 大丈夫

	婦朝談	たないが和蘭政府の後援で五六年前から一千万封度の茶を輸入し印支並に日本の紅茶と戦って居る	
10	労働問題(9-079) 福岡日日新聞 1919.9.21-1919.10.3 (大正 8) 労働問題管見(一~八) 安川敬一郎 (五) 資本家の徳義改良の急務	現存する工場法は頗る不完全であるのみならず婦女少年労働者の保護に関する規定其他の重要事項は皆十五年間の適用延期となって居る此日進月歩の世の中に十五年後の事は殆んど想像も出来ないそれを漫りに延期というさえ滑稽なのに其延期を以て改善を前提とせず先ず先ず延期されたから大丈夫だと思つて居る資本家事業家の多いには驚かざるを得ぬ	・(形容動詞)述語文。
11	交通(02-070) 万朝報 1920.4.23 (大正 9) 我飛行の成功	そして最早機も百五十馬力以上二百馬力内外の発動機装備の物であるから、例令多少の風があつても、其に臆せねばならぬ筈はない、紐育華盛頓間の飛行郵便の経験に依れば、時速四十哩内外の風に対しては、百馬力以下では駄目であるが、百五十馬力以上であれば最う大丈夫だという、其の程度の発動機で優に強風突風を突破して過去二年弱の好成績を挙げているという、	・(形容動詞)述語文。
12	鉄道(16-181) 東京朝日新聞 1921.8.13 (大正 10) 全部無罪か内閣の致命傷か 満鉄疑獄の焦点	彼の阿片疑獄でも初め山県長官が事件の発展すべきを察知し原首相に注意すると首相は直に古賀前拓殖局長官を招致し其の意嚮を確めたが古賀氏は中野有光氏が全責任を負うという堅い約束があつたため首相に向つても大丈夫だと返答し裁判に附したところ中野氏と自白によつてあの通りの結果になつたのであるから	・(形容動詞)述語文。
13	銀行(10-017) 大阪時事新報 1922.12.16 (大正 11) 銀行の取附 検査方針を改めよ	其れで政府は、仮令銀行創立の認可に関する内規に適合するものに対しても、当事者の信用及び四圍の経済事情に鑑みて、是ならば大丈夫と信ぜられるものの外は、一切小銀行の創立を認可せざるの方針を採る一方、政府及び日本銀行の当局者等は、成る可く現存の大銀行をして小銀行を合併せしめ、進んで大銀行相互の合同をも行わしむるよう奨励するの必要がある。	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
14	都市(9-103) 大阪毎日新聞 1923.10.7 (大正 12) 帝都復興事業に東京市の良き助言者として来朝した都市計画の大家ベヤード博士その方針を語る	市の交通は地下鉄が最もよく避けられるならば路面鉄道を止めたい、高架鉄道を絶対に廢する地震の後に地下鉄道を云ふと奇異に思う人があるかも知れぬが工事の仕方で大丈夫あれ位の地震に耐え得るものが出来る、同じ意味に於て路下電車もよいと思う	・副詞的。
15	電気鉄道(05-067) 神戸又新日報 1924.6.7 (大正 13) モウ大丈夫の須磨線起債の認可 勝田 談 市会議長	既に勝田蔵相なり西野次官なりの諒解は得ているので大臣なぞ寧ろ局長の方へ『早くして呉れ』と督促している位だから富田局長の捺印がすめば直に認可されるから先ず一兩日中に認可があると見て大丈夫である	・(形容動詞)述語文。
16	通信事業(5-209) 大阪毎日新聞 1925.5.9 (大正 14) 最初の電波は銀婚の式日から送る その日まで仮放送許可も来よう 仮放送時間ほぼ決定	いよいよ十日正午過ぎには全部の工程を終り、同日夕方から試験放送を開始する予定であるが未だに通信省から仮放送所設置の認可書さえ来ないので木村理事長初め各常務理事は懸命になつて通信省に電報をたたきつけるやら電話をあびせかけるなどやっき運動を続けている。多分九日中に来ることは大丈夫だろうといわれている。	・(形容動詞)述語文。
17	交通(04-142) 大阪毎日新聞 1926.4.29 (大正 15) 乗合自動車出願で渦をまく大競争 白谷府議の高速バス や阪神電鉄の百万円バ	ここ数日中には大体の見当がつくものと見られており、その結果いよいよ市営でやって差支えなしとなれば市は直に事業案を作製して遅くとも六月の市会へ提案ができることにしたいといつて居る位で、この計画についての角電氣局長の「腹」はもはや大丈夫決つたものと見てよい、角局長は語る(*中略) 事業案が無事市会を通れば府を経て主務省へ認可申請	・前者も後者も副詞的。「おおかた/間違いなく」といった意味であろう。

第4章 大丈夫

	ス会社市電と共に三つ巴の形 市営のバスは今秋迄に運転 賃銀は一区六七銭で三区以上は均一にする	を要するがそれとてそう手間どるものでもないから今秋までには大丈夫運転ができると考えている	
18	銀行(20(4)-108) 大阪朝日新聞 1927.5.14(昭和2) 極めて平静に迎えたモラ明けの金融界 資金の融通閑散円滑 引出よりも預金が多い 各地の金融状況【十三日本社通信部調査】	福岡 市内の金融界は警戒気分の中にも極めて平静である、各銀行とも朝来格別預金の引出もなく、このまま十四日を経過すればモウ大丈夫と楽観している、従って商工資金もここ一兩日を経過すればボツボツ融通されることとなろう、	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
19	港湾(9-035) 満州日日新聞 1928.12.4(昭和3) 露西亜町北岡子に沿岸小貿易埠頭 年々増加する貨物の緩和策 整備される大連港	満鉄では年々増加してゆく輸出入貨物のために既に第一、第二、第三埠頭及第四(半工事で中止し千尺だけのバースは今冬から使用)の埠頭をあてているが、しかも毎年二十万噸近くの貨物増加を見ているので今後どれだけ埠頭をつくってよいのやら分からぬこれが緩和策として出来たのが甘井子石炭埠頭である、これが出来ると大連埠頭もここしばらく大丈夫と云う所、さて満鉄として余り儲けにならぬ沿岸小貿易埠頭(ロシヤ町北岡子方面の)をこれからやっとならぬと整備しようとする計画は既に出来上った、昨今は埋立工事でロシヤ町北岡子海岸は大努力である、	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
20	国際貿易(34-097) 神戸又新日報 1929.4.30(昭和4) 当面に横わる米国の関税 改正の程度如何	一方ジャーナル・オブ・コンマース紙によれば関税改正は大統領の意向に従って小範囲に止めその代り伸縮条項を改正するらしいと。それは免に角個々の商品に就て云えば砂糖、羊毛関税の引上は動かぬ所らしく、綿花、綿糸は変りがあるまい。日本の木材関税は問題にならず、絹物関税表中では人絹を絹物から分離することになるかも知れない、又陶磁器も大丈夫であろう。	・(形容動詞)述語文。
21	博覧会及商品陳列所(5-107) 大阪毎日新聞 1930.9.8(昭和5) 見本市大当り一転げ込む五百万円 『お土産つき』の宣伝もきいて遠く朝鮮台湾のお客	服装百貨見本市が三日間で八十万円という素晴らしい売上げ、さらに百貨見本市も七、八十万円は大丈夫という有様、これに金物見本市を加えれば、ザッと五百万円の金が大阪に落ちるわけで、出品者がホクホクなものも無理はない、これ等の見本市には遠くは台湾、朝鮮、北海道あたりからやって来た人も目立って多かった	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
22	博覧会及商品陳列所(5-153) 満州日報 1931.7.24(昭和6) お国自慢の品々で不景気も消し飛ばす勢い 愈よ明日から華々しく蓋開ける 満洲見本市の前景気	流石に訓練されている東京、大阪、神奈川あたりはおお方陳列をすまし練々と意匠を凝らしているが、まだ陳列最中の県が多く堅く、錠の下りている部屋もある、運送は一切国際の方で引受けているが見本で口馬鹿にならぬ、大丈夫百三十屯はあるそうだ、景気のよい金槌の響き、板割れの音のなかからローカルカラー漲る各府県自慢の見本が飛び出してくる、	・副詞的。「おおかた」といった意味であろう。
23	水道(3-100) 満州日報 1932.7.4(昭和7) 新京の水道計画 人口が増しても大丈夫 清水閣東庁土木課長談	首都新京の城内にたいしては満鉄に於いて小規模の水道工事を規格しつつあるが将来都市計画が立ちたとえ何百万の人口を包容することになろうと水の法は大丈夫である、	・両者ともに(形容動詞)述語文。
24	鉱産物(02-117) 大阪毎日新聞	今まで銅の製煉の際邪魔ものだった真黒い滓こそニッケル鉱とわかったので平安、森岡氏の手でわが国最初	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。

第4章 大丈夫

	1933.2.23 (昭和 8) 深さ知れぬ…大ニッケル鉱発見 雪のこる山に爆音朗らか ゴールドラッシュにとって代る鉱山景気 経済封鎖なんのその大規模に起す精煉作業 芹川主任技師の談	のニッケル製煉をやることになった次第で原鉱はほとんど一里半に亘る包蔵量がありますし経済封鎖で今までアメリカから一年三千トン(時価一千五百万円)を買っていたのが買えなくなっても工場の設備一つで大丈夫という自信を持っております	
25	港湾(10-112) 大阪朝日新聞 1934.9.28-1934.10.1 (昭和 9) 風水害対策座談会 化学諸工場の密集は止むなし 地の利で危険を分散	私の方の建物で損害を被ったものは古い建物で新しい工場は何らの被害がない、だから現在の建築方法で先ず大丈夫と思うが、考えねばならぬのはモーターだ、今度の災禍でモーターが大部潮にぬれたが、これを動かすには水洗いをしなければならぬ、	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
26	アメリカ(13-113) 大阪朝日新聞 1935.2.11 (昭和 10) 「判決」懸念薄らぎ関心は春景気に 久し振りに紐育活況	これは必ずしも大審院の判決が政府に有利だという確信からではない、勿論最近は有利だという見方が再び勢力を得てはいるが、それよりも既に政府、議会に対策が出来ている以上、どっちに転んでも大丈夫だ、万一不利な判決にしる市場の動揺は一時的でまた元に戻ることは必定だろうとの安心が出来てきたからだ	・(形容動詞)述語文。
27	染料工業(03-091) 東京朝日新聞 1936.10.26 (昭和 11) ホームスパン用染料に一新機軸 手近の植物で羊毛が染まる 天然染料を巧みに生かした弘前の木村産業研究所	堅牢度 大抵の場合、汗、曹達石鹼に対しては大丈夫である、ただ鉄媒染のものは曹達及び石鹼の処理で変色するが薄い錯酸で後処理すれば再び元に戻すことが出来る、	・(形容動詞)述語文。
28	日本の対外貿易(0b-057) 神戸新聞 1937.4.16 (昭和 12) 貿易界への朗報多年の悩みが二つとも解けた!水に落ちぬ文字と水に負けぬ花蓆 神戸工業試験場に凱歌雀躍する同業者連	水気をハネつける許りでなく金属石鹼中に含有されたアルミニウムの微粒子が模様を引立せるという一石二鳥の成果を収めて絶大の好評を博しており、これを口表にも応用して水気のものをごぼしても大丈夫な防水口の製作も考えられている	・形容動詞連体修飾。
29	生命保険(6-165) 大阪時事新報 1938.11.28 (昭和 13) 再引下げの意義 過去の高配当保険に終止符 「生保」高配当会社は何処へ 森崎	高配は魅力を失う 今回の契約者配当率の引下げは高配会社の降服を意味する。今さら高配会社の一群が如何に強弁して見ても、すでに現実の大勢は決したのだ。高率配当を実行しての高配当会社であって、昨年、本年と相次ぐ配当率の引下げにあってみれば、彼等が如何に鐘や太鼓をたたいて、「俺の所は配当準備金が豊富だから、大丈夫だ。」といっても、所詮大衆が踊る筈もなく、結局泣寝入りする外ない	・(形容動詞)述語文。
30	民事法(19-168) 大阪毎日新聞 1939.1.21 (昭和 14) 三億円訴訟秘話 花々しい法廷戦の陰に 苦闘十三年 お門違いの機械屋さん	十三年間身命を賭して戦った大事件の黒白が幾月かの後にはつこうという今、氏はこれまでの辛酸の思い出と感慨を複雑な表情に秘めてまづこう防御線を張るのだった 事件一切弁護士ベッツ氏に任せてありますから大丈夫です、私は大体農商務省の海外派遣員として二十一歳で渡米し、ブルックリン工科大学を出た機械屋さん	・(形容動詞)述語文。

第4章 大丈夫

		ら訴訟などはお門違いなんですが五十三歳の今日まで人生の一番大切な十幾年をこの訴訟のために費してしまいました、	
31	航空(6-105) 大阪毎日新聞 1940.6.17 (昭和 15) 松風号帝都に凱旋帰途は快調子 壮観? 雷公の襲来 中尾機長語る	帰途の仏領インド支那迂回コースは両方に雲の山が聳え丁度谷みたいに航路が開けていて非常にうまくゆきました、内地に入ってから伊勢湾まで雨が降っていて三千七、八百程度の高さで飛んで来ました、機の調子さえよければ大丈夫ですね (東京発)	・(形容動詞)述語文。
32	欧州諸国(24-118) 大阪毎日新聞 1941.3.7-1941.3.13 (昭和 16) ドイツ戦時経済の実相(1~5) 企画院技師 森川覚三 (2) 准戦即戦時体制 計画的で然も飽迄徹底 入超急増加の裏面	一九三七年にちょっと入超に移っているのは前回の例によって大丈夫と思いがながらさすがオーストリアの無血征服を敢行する直前にはいささか心配になったと見え前回ほどではないが相当なる輸入を断行したため短期間の入超となったのである、	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
33	鉄道(31-157) 大阪毎日新聞 1942.9.13-1942.9.15 (昭和 17) 鉄路神兵(上・中・下) (上) “一年で?” “いや三週” 余りの早さに住民も蘭人も心服 スマトラの鉄橋修理	この橋はいつ出来上ります? // 皮肉をこめたオランダ人の質問に対し N 部隊長は自若としてこう返事したのである // 先ず三週間あれば大丈夫、しかし万一の場合を計算に入れて一ヶ月後には立派に完成してお目にかけてよう	・(形容動詞)述語文。
34	東南アジア諸国(16-084) 大阪朝日新聞 1943.5.16 (昭和 18) ビルマは空襲に斯く戦う 小掩壕うんと作れ 分散して地面に穴を掘る 飯田中将体験談	元来ラングーンは土地が低いので穴を掘ると水が出て来るから土嚢を積んでその中に入れるようにしてこしらえている、その中へ空襲と同時に交通巡査が飛込む、その周り一面どかんどかんと爆弾が落ちてても交通巡査だけは怪我も何もしない、こういうことが二回ほどあった、そこでそれを見た現地人はこの防護施設は大丈夫だと評判がよかった	・(形容動詞)述語文。
35	労働(2期第 6-188) 日本産業経済新聞 1944.2.27 (昭和 19) 疲労 夜間作業も大丈夫 但し昼間の行動に注意せよ 岡山医大の研究	—	・(形容動詞)述語文。該当は見出しのみ。
36	農業(2期第 10-115) 大阪朝日新聞 1944.7.17 (昭和 19) 田に甘薯を間作せよ 加藤完治氏の植付対策 今月中なら大丈夫	稲作一本槍を押し通すという方針も主旨は甚だ結構であるが代作また考慮しなければならぬ、甘藷は七月一ぱいなら大丈夫との確信をもっている、	・前者は(形容動詞)述語文。後者は形容動詞語幹+「(格助詞)と」。

4.7.4 現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

下述、「4.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」によって得られる事例は、おおむね 1970 年代半ば以降となる。したがって、それを補う手段として、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」を用いて朝日新聞記事の検索を行った。期間は、1945 年 8 月 16 日から 1979 年 12 月末日までとする。検索条件は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」／キーワード「大丈夫」／発行日「1945/08/16 から 1979/12/31」／その他指定なしとした。以下、表にして時系列でまとめた。

4.7.4.1 検索語：「大丈夫」（全 314 件より抜粋）（2020/10/20 時点）

図表 4.19：「大丈夫」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

番号	発行日 社／刊種	実例	備考
1	1945 年 8 月 19 日 東京／朝刊	(広告) 証券統制会「簡便にして一番安全 登録さへして あれば、もう大丈夫」	
2	1945 年 8 月 19 日 東京／朝刊	紙幣抑えて何になる 湯本財務官の話、銀行預金は大丈夫	
3	1946 年 1 月 29 日 東京／朝刊	報奨物資の特配は大丈夫か 当局は「間に合わせる」と言 明__農業	
4	1946 年 9 月 8 日 東京／朝刊	秋肥は大丈夫 商工当局見込み__肥料問題	
5	1947 年 11 月 18 日 東京／朝刊	お米当分は大丈夫 知事談__東京都	
6	1948 年 2 月 28 日 東京／朝刊	消火用水は大丈夫 節水__社会	
7	1949 年 6 月 30 日 東京／朝刊	権太からの無縁故引揚者に住居もまず大丈夫__引揚再開	
8	1951 年 10 月 2 日 東京／朝刊	台風、ごぶさた続き 今月も大丈夫 ただし冬には水不足 __台風	
9	1951 年 11 月 21 日 東京／夕刊	お天気まず大丈夫 勤労感謝の祝日と日曜__気象	
10	1952 年 7 月 14 日東 京／朝刊	近くで射っても大丈夫 警視庁に新防弾チョッキ__警視 庁	
11	1953 年 11 月 26 日 東京／朝刊	配給米は大丈夫 モチ米も年内に三日分__東京都	
12	1954 年 4 月 3 日 東京／朝刊	“党内大勢は大丈夫” 佐藤幹事長 首相に電話報告	
13	1954 年 6 月 2 日 東京／夕刊	水道の水は大丈夫 一斉検査、放射能認めず__放射能禍	
14	1955 年 1 月 14 日 東京／夕刊	大丈夫と言われ安心 共犯、調べ室で語る__千葉銀行麻酔 ギャング	
15	1955 年 6 月 7 日 東京／朝刊	ビール、底つくか 会社側、大丈夫と強気__ビール争議	
16	1955 年 8 月 13 日 東京／夕刊	はさまれても大丈夫 ドアに五〇ミリの中空ゴム 国電 で新車五両完成__国鉄	
17	1956 年 8 月 2 日 東京／朝刊	“次の四年間も大丈夫” 記者団に語る__アイゼンハウアー 大統領	
18	1956 年 8 月 20 日	“鳩山首相の体は大丈夫” 永井主治医談__鳩山首相訪ソ問	

第4章 大丈夫

	東京／朝刊	題	
19	1957年9月27日 東京／夕刊	寒さや風にも大丈夫 南極家屋のおはらい__南極本観測隊決る・本観測訓練	
20	1957年10月11日 東京／朝刊	冬の電力は大丈夫 電力九社対策委で結論__電力	
21	1958年2月4日 東京／朝刊	集団発生十八校に ワクチンほぼ大丈夫__流感	
22	1958年10月27日 東京／夕刊	燃料この冬は大丈夫 電力・ガスは十分__統制・価格	
23	1959年12月15日 東京／朝刊	反米デモ心配なく安保改定は大丈夫 米誌の報道__対日	
24	1960年6月11日 東京／夕刊	羽田の騒動 米に不満と不安 警察力、大丈夫か__ハガチ一事件と反響	
25	1960年8月23日 東京／朝刊	ブレーキは大丈夫か 富士登山バスに乗ってみてこわいのは過労	
26	1961年3月18日 東京／夕刊	もう大丈夫 緊急対策本部 通勤対策委に改組__国鉄	
27	1961年7月4日 東京／朝刊	東京の川は大丈夫か__特集記事	
28	1961年9月10日 東京／朝刊	“大地震”でも大丈夫 組み立てビル耐震試験__産業	
29	1962年7月16日 東京／夕刊	10円のアイスクリームは大丈夫か? 「暮しの手帖」65号__雑誌から	
30	1962年11月21日 東京／夕刊	歳末の治安は大丈夫 「愚連隊条例」の効果十分 警視総監語る	
31	1963年2月20日 東京／夕刊	伊勢湾級でも大丈夫 東京湾埋立地 廃船を沈め護岸__東京港埋立工事	
32	1963年7月16日 東京／夕刊	“事故は大丈夫か” 石田国鉄総裁 赤羽、上野を視察__国鉄	
33	1963年12月9日 東京／朝刊	灯油 この冬は大丈夫 在庫は十分、値段も安い__石油	
34	1964年3月10日 東京／朝刊	五輪出場は大丈夫 負傷のプレーヤー嬢__東京五輪	
35	1964年5月20日 東京／朝刊	大丈夫か 食品の防腐剤 “いたみの早さ” 気になる季節__食	
36	1964年7月21日 東京／朝刊	水 五輪は大丈夫か “雨台風” だけが頼り 練習用プールも苦しい__都の水道	
37	1964年8月24日 東京／夕刊	“五輪の水” 大丈夫 貯水量一千万トン突破確実__東京サバクに待望の雨	
38	1964年12月30日 東京／朝刊	お正月の天気はどうやら大丈夫__天文・気象	
39	1965年6月12日 東京／夕刊	一週間ぶりの雨 あすの日曜は大丈夫です__天文・気象	・日曜日は雨がやんで晴れてくるとのこと。
40	1965年8月14日 東京／朝刊	大丈夫か「三時間運転」 新幹線 安全に自信満々 初期故障も出尽した 国鉄	
41	1966年1月31日 東京／夕刊	離着陸もう大丈夫 危険な小山を除去 三宅島空港__航空	
42	1966年3月12日 東京／朝刊	食品衛生は大丈夫か__社説	
43	1966年6月3日 東京／朝刊	月面、アポロ宇宙船も大丈夫 支えられる堅さ 米科学者、写真で確認	
44	1967年1月16日 東京／朝刊	“おれたちは大丈夫さ” ふぶきの谷川岳へ50人__山の遭難と事故	
45	1967年6月27日 東京／朝刊	景気、年内は大丈夫 日銀総裁、見通しを語る__日銀	
46	1967年7月13日	あなたの家は大丈夫? 山津波・ガケくずれへの自衛策__	

第4章 大丈夫

	東京／朝刊	住い	
47	1968年5月9日 東京／朝刊	テニス界に新兵器 アルミのワクのラケット 当りそこねも大丈夫？__外国	
48	1968年5月16日 東京／朝刊	「大丈夫だよ、ボクがまんする」__ひととき	
49	1968年12月17日 東京／夕刊	「本当に大丈夫か」原潜寄港の佐世保__米原潜寄港問題	
50	1969年1月16日 東京／朝刊	「もう大丈夫だ」元炭鉱マン 第二の人生“落後者”一人もなし__東京都	
51	1969年6月12日 東京／夕刊	大丈夫かな マイカー 欠陥車の公表 問合せボツボツ欠陥車問題	
52	1969年12月16日 東京／夕刊	飲みつづけた場合 大丈夫説と不明説__牛乳などに残留農薬	
53	1970年3月31日 東京／朝刊	電力、夏も一応大丈夫 通産省が供給計画 大口需要は押える__電力	
54	1970年5月20日 東京／朝刊	熱も薬も大丈夫 超プラスチック完成 原研高崎研究所__原子力	
55	1970年6月8日 東京／夕刊	「ガス管は大丈夫？」 美濃部知事 地下鉄工事を視察__美濃部都知事	
56	1970年6月23日 東京／夕刊	本当に大丈夫！？ “きれいな”湘南 大腸菌騒ぎ1年後の海水浴場	
57	1970年8月18日 東京／朝刊	大気汚染 お宅の庭木は大丈夫？__園芸	
58	1970年8月30日 東京／朝刊	あなたは大丈夫？ 鼻咽腔炎 大気汚染で急にふえる__みんなの健康	
59	1970年11月27日 東京／朝刊	食パンだけで大丈夫？ 米国で論争 栄養不足が問題に__米国	
60	1971年4月14日 東京／朝刊	野菜は大丈夫か 実態調査せぬ国__環境をまもろう(ppm)	
61	1971年7月10日 東京／朝刊	今年も汚ない 海水浴場「要注意」まだ四割 鶴沼は悪臭の寸前 「飲まねば大丈夫」 厚生省はノンビリ__行楽	
62	1971年8月10日 東京／夕刊	空の安全もう大丈夫？ 自衛隊あす訓練再開 国民とともにある自衛隊に 西村長官が訓示__自衛隊機、訓練を再開	
63	1971年8月13日 東京／朝刊	湯わかし器が原因の火事急増 お宅は大丈夫？ ススつまり裏が過熱__防災	
64	1971年11月5日 東京／朝刊	80キロで衝突しても大丈夫 70年代後半に発売 実験安全車、開発進む	
65	1971年12月10日 東京／朝刊	早々と成田の開港ご案内 公団が通知「大丈夫？」疑う声も__成田空港問題	
66	1972年1月26日 東京／夕刊	ことしの入試は大丈夫かな__ニュース・グラフ	
67	1972年4月18日 東京／朝刊	大地震 しばらく大丈夫 南関東一帯 地殻ひずみ少ない 予知連絡会 “要注意箇所”で測量__地震	
68	1972年4月26日 東京／朝刊	P C B汚染 自衛策を教えて 消団連が勉強会開く 具体的な対策ゼロ 追及に役所はたじたじ 「紙おむつ」は大丈夫なの！__P C B対策	
69	1972年5月23日 東京／朝刊	大丈夫かビル・地下街 来月 都市の防災行政監察__防火・防災対策	
70	1972年12月5日 東京／朝刊	その時、高層ビルでは…東京は今年2度目の“大地震” 東京タワー、震が関ビル 青ざめた顔で総立ち「ひどいぞ、大丈夫か」__八丈島地震の被害	
71	1973年1月16日 東京／朝刊	「インフレ大丈夫か」 自民議員もヒソヒソ話__48年度予算政府案	
72	1973年6月10日 東京／朝刊	子どもの急患も大丈夫です 救急病院に内科医 練馬休日診療体制を強化	
73	1973年7月25日 東京／朝刊	大丈夫か将来の食糧 穀物不作が資料を圧迫__くらしのページ(特集)	

第4章 大丈夫

74	1973年11月30日 東京／朝刊	この店 大丈夫かしら 不安がる客 デパートは総点検	
75	1973年12月27日 東京／夕刊	問題は値段だ 年末年始の生鮮食料品 量はまず大丈夫 __モノ不足問題	
76	1974年2月28日 東京／朝刊	なにが心境を変えた? 兄弟・友は語る 呼びかけに軟化 もう少人数で大丈夫	
77	1974年8月28日 東京／朝刊	神田川改修へ 都建設局 集中豪雨も大丈夫__災害対策	
78	1974年9月20日 東京／朝刊	大丈夫か“CM汚染”対策__軸(放送番組に対する意見)	
79	1974年10月25日 東京／朝刊	日本の食糧は大丈夫か Q&A 6章__世界食糧会議特集 (朝日新聞第二部)	
80	1975年5月30日 東京／朝刊	首都圏 今夏の水は大丈夫? 水源の貯水量 例年より 10%多い__水問題	
81	1975年8月23日 東京／夕刊	おびえる“水害銀座” 青森 避難先は大丈夫? 近づく 6号、早くも強雨	
82	1975年9月23日 東京／夕刊	大丈夫か、天皇ご訪米 警備当局、緊張強める 万一の連 携動作が心配	
83	1975年11月17日 東京／朝刊	大丈夫? LPガス器具 せん・安全弁 矛盾含む通産省基 準	
84	1975年12月27日 東京／朝刊	初日の出 まず大丈夫 東京は三が日とも晴の予報__気 象	
85	1976年2月14日 東京／朝刊	有効期間や効力点検を忘れずに お宅の消火器は大丈夫 ですか__住まい	
86	1976年3月12日 東京／朝刊	「この本、五百年は大丈夫」モロッコ革で装丁 ブックデ ザイナー 国会図書館に寄贈__出版	
87	1976年5月21日 東京／朝刊	東京湾の魚食べても大丈夫? 釣り人急増“釣果百万匹” 「汚染調査を急げ」 2団体、都庁に申し入れ	
88	1976年6月9日 東京／朝刊	予報通りの降雨なら 今夏の給水大丈夫 都水道局__水 問題	
89	1976年10月4日 東京／朝刊	放射性廃棄物の海洋処分 「試験投棄なら大丈夫」科学技 術庁が近く報告 事故でも許容量の千万分の一	
90	1976年12月12日 東京／朝刊	正月用品は大丈夫 ストック十分あるはず 水産庁 便 乗値上げ監視	
91	1977年2月15日 東京／夕刊	(インタビュー) 今度は100%大丈夫 新東京空港公団総裁 大塚茂氏	
92	1977年2月25日 東京／朝刊	金大中事件発生直後に「命大丈夫、手打った」レイナード 氏らが証言 K C I A説裏付け 社党訪米調査団帰る	
93	1977年5月13日 東京／朝刊	原油輸入、大幅減でも一カ月半は大丈夫 通産省__日本関 係	
94	1977年6月10日 東京／朝刊	給水 今夏は大丈夫? 都水道局__水問題	
95	1977年8月9日 東京／朝刊	ウチにある薬は大丈夫かしら 好評…小冊子「家庭薬の調 査」__家庭面	
96	1977年9月1日 東京／朝刊	大地震 あなたの家は大丈夫? 絶えず強さの点検を__ 住まい	
97	1977年9月27日 東京／夕刊	中秋の名月まず大丈夫 気象庁ご託宣__気象	
98	1977年12月8日 東京／夕刊	大丈夫かな成田の“頭脳” 管制塔に二人だけ 開港した ら… ニアミス心配__成田空港	
99	1978年1月3日 東京／朝刊	新米の味一年間は大丈夫「冬眠米」来月から店頭__食 管制度	
100	1978年2月18日 東京／朝刊	「円高? 今夏は大丈夫」通貨当局、いやに冷静__気流	
101	1978年3月28日 東京／夕刊	「成田は大丈夫なのか」 過激派事件、海外でも大反響__ 開港延期	
102	1978年5月21日 東京／朝刊	「健康もうほぼ大丈夫」 天皇、同行記者に会われる__植 樹祭ご出席	

第4章 大丈夫

103	1978年8月31日 東京／朝刊	地震への備え あなたは大丈夫ですか 飲料と消火用水__家庭面	
104	1978年9月11日 東京／朝刊	受水槽 意外に不衛生 お宅のマンション大丈夫？ 濁り・悪臭で苦情 法改正もシリ抜け__衛生	
105	1978年10月17日 東京／朝刊	大丈夫ですかおたくのカギ 意外にもろいもの “金庫破り屋”の防犯診断	
106	1978年11月2日 東京／朝刊	石油業界は楽観的「今世紀中は大丈夫」政府見通を批判__石油需給	
107	1978年12月23日 東京／朝刊	大丈夫？ 年賀状 雪もこおる？ 労使の対立 新宿北郵便局 滞貨20万余__歳末78	
108	1979年1月24日 東京／朝刊	欠陥住宅 お宅は大丈夫？ 基礎・土台など違反100カ所__住まい	
109	1979年2月25日 東京／朝刊	カタカナの書き順は大丈夫？__ひととき	
110	1979年5月23日 東京／朝刊	東海地震まだ大丈夫 防災科学センター職員 古文書から裏付け	
111	1979年5月30日 東京／朝刊	震度4でも大丈夫 精密機器守る「床」開発__みんなの科学	
112	1979年6月1日 東京／朝刊	(解説) 大丈夫か？この秋、石油供給 夏季の備蓄量がカギ	
113	1979年9月6日 東京／夕刊	秋空…さわやかに 皆既月食の舞台、どうやら大丈夫__皆既月食	
114	1979年9月9日 東京／朝刊	中越国境 大丈夫とは思うが… 耳そば立たせる外務省__中越紛争	
115	1979年10月19日 東京／朝刊	年賀状は大丈夫？ 反マル生 全通、早期收拾へ__全通	
116	1979年12月8日 東京／朝刊	欠点見せても大丈夫__わかれ道 親子相談室 (私の意見)	

4.7.5 現代 (BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)

本項では、現代語の「大丈夫」および、ひらがな表記「だいじょうぶ」「だいじょぶ」「だいじょーぶ」、カタカナ表記「ダイジョウブ」「ダイジョブ」「ダイジョーブ」について、BCCWJ (現代日本語書き言葉均衡コーパス) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。「大丈夫」については、7種の表記のバリエーションがあるため比較的煩雑である。検索結果数については、「大丈夫」が8493件、「だいじょうぶ」が737件、「だいじょぶ」が25件、「だいじょーぶ」が2件、「ダイジョウブ」が24件、「ダイジョーブ」が6件、「ダイジョブ」が0件(該当なし)であった(2020/10/07時点)。

まず、以下に「大丈夫」「だいじょうぶ」「ダイジョウブ」についての検索結果数を以下の図表に示した(2020/10/07時点)。なお、おおまかに表記ごとの傾向をみるため、「だいじょうぶ(検索結果数：737件)」には、「だいじょーぶ(検索結果数：2件)」「だいじょぶ(検索結果数：25件)」を含め、「ダイジョウブ(検索結果数：24件)」には、「ダイジョーブ(検索結果数：6件)」を含めた。

図表 4.20 : BCCWJ による「大丈夫」「だいじょうぶ」「ダイジョウブ」の検索結果数 (2020/10/06 時点)



以上を概観すると、現代語（BCCWJ 上）においては、漢字表記「大丈夫」が大勢を占めることがわかる。ただし、ひらがな表記「だいじょうぶ」の使用も比較的多いことがわかる。BCCWJ においては、おおむね、無標である「大丈夫」の十分の一弱の数となる。例えば、上述「3.7「結構」の実例」、「3.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」において、「結構」に対する「けっこう」が三分の一弱であったことに比較すれば、割合としては低い。

ひらがな表記の「だいじょうぶ」が一定数みられる要因としては、現代語における「大丈夫」が漢語由来のものという意識が薄れつつある、あるいは状況に応じて表記を使い分けるといった可能性が考えられる。

一方、カタカナ表記の「ダイジョウブ（「ダイジョーブ」「ダイジョブ」含む）」の検索結果数は、30 件であり、現代語においては、あまり使われていないという傾向が示された。ただし、カタカナ表記「ダイジョウブ」「ダイジョーブ」「ダイジョブ」について、別媒体の「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」による検索を行ったところ、検索結果数は、「ダイジョウブ」が 1290 件、「ダイジョーブ」が 718 件、「ダイジョブ」が 1130 件であった（2021/02/17 時点）。したがって、BCCWJ による結果のみで使用頻度が少ないと判断することは拙速であろう。以上の結果も考慮すれば、現代語におけるカタカナ表記「ダイジョウブ」「ダイジョーブ」「ダイジョブ」は、ブログ・SNS 上では比較的好まれる表記形態といえそうである。続いて、以下に、BCCWJ による「大丈夫」「だいじょうぶ」「だいじょぶ」「だいじょうぶ」「ダイジョウブ」「ダイジョーブ」についての検索結果例を表にして示した（2020/10/07 時点）。

4.7.5.1 検索語：「大丈夫」（全 8493 件より抜粋）（2020/10/07 時点）

まず、下表を概観した上で、現代における「大丈夫」の特徴について以下にまとめた。

- ・近代と比較すると、用法のバリエーションが少なく、一定している。例えば、現代語における「大丈夫」は、ほとんどが（形容動詞）述語文として現れる（例：「大丈夫だ」「大丈夫です」「大丈夫。」等々）。
- ・近代において頻出した形容動詞連体修飾の用法（例：「大丈夫な～」「大丈夫の～」「大丈夫なる～」）がみられない。
- ・現代における「大丈夫」の副詞としての用法は、ほぼないとみられる⁹⁹。形容動詞連用修飾「大丈夫に」の形式もほぼ現れない。
- ・断りの場面における“No”の意思表示としての「大丈夫」については、2003年あたりから例がみられる。例えば上記“62”の「腹空いたろう、大して残っていないけど食べるか?」「大丈夫、新幹線の中でお弁当食べたから」が挙げられる。ただし、「大丈夫（です）」が単独で発せられるわけではなく「お弁当食べたから」と具体的説明とともに使われている。
- ・「応答」の感動詞（間投詞）的な「大丈夫」が比較的好くみられる（上記“28”“31”“33”“34”等）。

続いて、以下に、「大丈夫」の検索結果例を表にして示した（2020/10/07 時点）。

図表 4.21：「大丈夫」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	司馬遼太郎(著)翔ぶが如く 1976 OB1X_00029	少佐の階級からえらぶとなると、乃木希典しかなかった。— 乃木は大丈夫だろうか。ということで、山県を中心に、福原和勝大佐ら長州系の	・(形容動詞)述語文。「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。ただし、背景になんらかの不安要素がある。
2	五木寛之(著)戒厳令の夜 1976 OB1X_00103	が死ぬのはこまるばい」と、老人は穏やかな声で言った。「大丈夫です。しかし、金がかかります」「どれ位いるかの」「一千	・(形容動詞)述語文。
3	新田次郎(著)聖職の碑 1976 OB1X_00113	提灯の下に坐っている赤羽の顔をみるとなぜかほっと	・(形容動詞)述

⁹⁹ なお、現代の国語辞書では、副詞の項目を立てているものもある。例えば、『三省堂国語辞典 第7版』（2014）には、「(副)[古風]きつと。まちがいなく。」とあり「古風」と断った上での記述がみられる（「4.4.1 現代の国語辞書 10 種～」参照）。

第4章 大丈夫

		した。大丈夫だ。赤羽先生がああしている以上自分たちは死ぬことはない。そう思い	語文。
4	阿川弘之(著)米内光政 1978 OB1X_00214	した米内に、海軍省経理局長の武井大助主計中将が、「大丈夫なんですか？後任にどうして山本さんを持って来ないんです	・(形容動詞)述語文。
5	渡辺淳一(著)ひとひらの雪 1983 OB2X_00187	はいいの、会おうと思えばいつでも会えるから」そんなことをして大丈夫かと思うが、ヨーロッパへ行ってから霞は大胆になったようである。	・(形容動詞)述語文。
6	赤川次郎(著)三毛猫ホームズのびっくり箱 1984 OB2X_00150	人数を聞いて、石津が不安そうな表情になる。「今日は大丈夫でしょうね」と片山が言うと、生畑は笑って、「さすがに名探偵	・(形容動詞)述語文。
7	竹本常松(著)/西本喜重(著)みんなの葉草あまちゃづる 1984 OB2X_00160	なると、それがだんだん黒味がかかった色になってくるのですが、飲んで大丈夫でしょうか？葉は二番を煎じるためとりだしています。	・(形容動詞)述語文。
8	夢枕獏(著)蒼獣鬼 1985 OB2X_00313	幽岳は「玄角が言った。「あの恐ろしい眼つきをする女が大丈夫というのなら、そうなのだろうさー」言ってから、典善は立ちあがっ	・「形容動詞語幹」+「(格助詞)と」。
9	渡辺淳一(著)化身 1986 OB3X_00036	ているのは達彦だけである。だが、達彦は、「この男なら大丈夫」と、秋葉が見込んで頼んだ相手である。たしかに独身で外国の生活	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
10	赤川次郎(著)三毛猫ホームズの歌劇場 1986 OB3X_00178	と、マリの方が、よほど気が気でない様子だ。「大丈夫よ。そう簡単に死にやしないわ。一残念ながらね」と、小さな声で	・(形容動詞)述語文。
11	村上春樹(著)ノルウェイの森 1987 OB3X_00276	人のスケジュールがやってきて、気分がわるいのかと英語で訊いた。大丈夫、少し目まいがただけだと僕は答えた。「本当に大丈夫？」	・前者の「大丈夫、」は感動(間投)詞的。
12	瀬戸内晴美(著)諧調は偽りなり 1987 LBb9_00005	やっておくべきだったと後悔してるんだよ」「君くらい読めれば大丈夫だろう」「いや、とても『摩訶止観』なんて歯も立たんからね」	・(形容動詞)述語文。
13	佳村昌季(著)第11幕への序曲「浮輪をしたハチ公」 1988 LBc9_00074	凄い、こんなにたくさん食べられないわよ」志摩ちゃんが言う。「大丈夫、大丈夫、君はまだ世間というものを知らないようだ、ねえ中山さん」と、	・感動詞(間投)詞的。
14	木根尚登(著)キャロル 1989 LBd9_00046	ていくのは危険じゃないかな」「あまり時間はないが、今なら大丈夫だろう」突然、マクスウェルの声が彼らの意識に語りかけた。「ライダーたちは	・(形容動詞)述語文。
15	三浦浩(著)消されたスクープ 1990 LBc9_00204	出すと、木山は無造作にポンド紙幣を引き出した。「そのくらいなら、大丈夫だ」木山はおれの掌にポンドの札束を置いた。「いつで	・(形容動詞)述語文。
16	加藤諦三(著)アメリカインディアンの教え 1990 OB3X_00184	あげよう、愛していると。毎晩毎晩。叱ったあとは必ず抱きしめてやり、「大丈夫だ」と言ってやろう。子どもの悪い点ばかりをあげつらっていると、そうなっ	・感動詞(間投)詞的。
17	北杜夫(著)マンボウ酔族館 1990 LBc9_00083	たとき、彼女が言ったことを今もはっきり覚えている。「ママ、大丈夫よ。だってパパはお医者だもの。ユカ、すぐに癒るわ」と。	・(形容動詞)述語文。
18	室井滋(著)むかつくぜ！ 1991 OB4X_00218	あるのかもしれない。まあ、そういうことで話をもどそう。「大丈夫だから運転手さん、気にしないで中入ってよ」「お客	
19	ひこ・田中(著)カレンダー 1992 LBgn_00031	ナーンも話してない。男が時々、オゲェってうなるだけで、女は「大丈夫？」とかたずねない。「大丈夫？」って言ったのは私。ヘン	・感動詞(間投)詞的。
20	はらひろし(著)JR切符のかしこい買い方 1993 LBh6_00006	正解には違いありません。しかしこの場合は叡山電鉄の切符は片道でも大丈夫です。記憶力のいい人なら、大阪から北陸の往復に使ったのは往復	・(形容動詞)述語文。
21	宗田理(著)ぼくらの「第九」殺人事件 1993 LBh9_00050	九』の練習大丈夫か？」英治が気になって聞くと、「大丈夫よ」冴子は明るい声で言った。その夜、立石は『第九	・前者は(形容動詞)述語文。後者は感動詞

第4章 大丈夫

			(間投詞)的。「大丈夫?」と問いかけられ「大丈夫」と応答する例。
22	大槻彰(著)ボケにならない本 1993 LBh4_00019	寒い時期であっても、その気温に体が慣れてしまっていれば大丈夫なのですが、年をとると人間の体は環境の変化に容易につい	・(形容動詞)述語文。
23	梓林太郎(著)北上川殺人事件 1994 LBi9_00167	たが、マスコミも大わらわである。松浦記者に、捜査本部をはずして大丈夫かと訊くと、花巻署にも水沢署にも別の記者が張り付いている	・(形容動詞)述語文。
24	国会会議録 1995 OM45_00002	しようという方々が、ここなら我々が通えるとか、製品の搬送はここなら大丈夫だとかいう場所はお地元でお決めでいただきたい、我々はそれを支援	・(形容動詞)述語文。
25	吉元由美(著)天使の樹 1995 LBj9_00160	から私もときどき呪文のようにその言葉をまねしてみるのだ。「大丈夫よ。みんなうまくゆくわ」と。美菜子は高校のクラスメイトだった。大学は	・感動詞(間投詞)的。
26	大江健三郎(著)日本の「私」からの手紙 1996 LBk9_00080	この村では、カルチャーなどということには誰も関心を持ってないから大丈夫だ」と答えた。さらに「自分は将来のことを考えているので	・(形容動詞)述語文。
27	シドニィ・シェルダン(著)/天馬龍行(訳)神の吹かす風 1996 OB5X_00101	の中は遠くを漂っていた。「いや、もうピンピン立っているから大丈夫だ」「そうは見えないけど」アキコがからかった。「いや、	・(形容動詞)述語文。
28	渡辺淳一(著)失樂園 1997 OB5X_00169	向き直って、「こんな話、きいても嫌いになりませんか」「大丈夫」「本当ですね」と凜子は念をおしてから、「わたしたち	・感動詞(間投詞)的。
29	宗田理(著)冒険家族 1997 LBi9_00275	智子が言うのと、礼子も、「そうよ。あのおばさんなら大丈夫。心配することないって」と言って笑顔を見せた。「そうだよ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
30	京極夏彦(著)塗仏の宴 1998 OB5X_00149	男はぶたれようが蹴られようが壊れやしない。元元壊れているんだから大丈夫だ」雪絵は榎木津の方を向いて、ひと言、ええーと云った。	・(形容動詞)述語文。
31	天樹征丸(著)金田一少年の事件簿 1998 OB5X_00299	出るのかと思えるような、芯の通った声だった。「だ、大丈夫…いや、でもまいったよ。なんつー祭りなんだ、ったく…」	・感動詞(間投詞)的。
32	竹島清(著)マンションはここを見て買え! 1999 LBn3_00079	三十一 給湯設備Q 毎日たくさんの湯水を使いますが、給排水設備は大丈夫でしょうか。チラシ広告やモデルルームを見ても、衛生設備についてはほとんど	・(形容動詞)述語文。「心配ない/問題ない」という意味の「大丈夫」。ここでは対象は「モノ/設備」。
33	実著者不明恋愛動物占い 1999 LBn1_00014	するのをしぶっているときは、大抵その不安感が原因なので、「大丈夫」「心配する必要ないよ」のひと言を掛けてもらおうと、とてもやる気が起こる	・感動詞(間投詞)的。問いかけに対する瞬発的反應としての間投詞的な「大丈夫」も現代語には多くみられる。
34	和泉桂(著)キスの法則 1999 LBn9_00100	のものだと決まっている。食材は当然、佐々木のほうだ。「大丈夫。君の爪先まで美味しく料理してあげるから、ね?」	・同上。なお、感動詞(間投詞)的な「大丈夫」は、「大丈夫」単独の形で現れる。
35	畠山みどり(著)/辺見庸(著)新・屈せざる者た	熱い熱い。足にやけどしちゃってね。でも私は、「こんな大丈夫、大丈夫。足なんか火がついたって大丈夫	・(形容動詞)述語文。

第4章 大丈夫

	ち 2000 LB09_00211	だから」といって、三番	
36	J・K・ローリング(著)/ 松岡佑子(訳)ハリー・ ポッターと秘密の部屋 2000 OB5X_00080	だけど、一度も使ったことがないとはねえ」「ハリーは 大丈夫だよ、ママ。ハリー、俺たちのを見てるよ」と フレッドが言った	・(形容動詞)述 語文。
37	中村玉緒(著)/森繁久彌 (著)/阿川佐和子(著)阿 川佐和子のガハハのハ 2001 LBp2_00072	いえいえ、私はダメですよ。年上が好き。阿川 意識 しなければ大丈夫。おめでとうございます(笑)。中村 (思わず頭を下げて)ありがとう	・(形容動詞)述 語文。
38	実著者不明アジアの真 心 2001 LBp2_00079	私の地元だった。被害はかなり大きいと報じていた。 家族や友達は大丈夫なのだろうか？私は急いで友達に メールで状況を教えてくれるよう	・(形容動詞)述 語文。「心配/不 安」等が前提と してある場合 に用いる「大丈 夫」。
39	実著者不明 会社がな ぜ消滅したか 2001 PB13_00276	営業マンに上等な靴はいらないね。だから、今日さっ そく、濡れても大丈夫な靴を買った。週明けからそれ をはいて営業だ。今の職場は	・形式上は形容 動詞連体修飾。 連体修飾節「濡 れても大丈 夫な」が「靴」 にかかる。BCCWJ ではめったに 現れないが、比 較的よく使わ れる表現。
40	国会会議録 2001 OM65_00007	なければならぬということもありますけれども、銀 行のいわゆる姿勢が本当に大丈夫なのかなというよう な懸念を持っておりますけれども、柳澤大臣は	・(形容動詞)述 語文。漠然とし た疑念がある 上で発せられ る「大丈夫」。
41	深見真(著)アフリカ ン・ゲーム・カートリ ッジズ 2002 PB29_00061	「それなら、特徴を増やすことになるかな。大丈夫、顔 が悪くなったりはしないよ」「はあ…」「眠る場所	・感動詞(間投 詞)的。
42	栗本薫(著)劫火 2002 LBq9_00159	になるのはいいことだと思いますよ。どういうわけか、 グイン王は大丈夫—これは、誰もが思っているのです。 何があるかと、グインどの	・(形容動詞)述 語文。
43	美堀真利(著)/鳥越佐代 子(著)マタニティ 2002 PM21_00366	でも、無理をしなくても、週に1回、2回ぐらいでも 大丈夫です。Q まったくヨガの経験がない初心者で も、妊娠末期からすぐに	・(形容動詞)述 語文。最低条件 提示の「~でも 大丈夫」。
44	小川洋子(著)博士の愛 した数式 2003 OB6X_00009	あった。だからこそ、出掛けにルートにこっそり耳元 で念押しした。「大丈夫かしら」「何が？」ぶっきらぼ うにルートは答えた。自分でも	・感動詞(間投 詞)的。
45	伊藤美登里(著)共同の 時間と自分の時間	が生きていたため、大企業勤務の男性と結婚して主婦 になれば大丈夫という考があったためと思われる。し かし、日本においても、	・(形容動詞)述 語文。「形容動 詞語幹」+「(格 助詞)と」。
46	宮部みゆき(著)ブレイ ブ・ストーリー 2003 OB6X_00103	か、ジョゾが吠えるような泣き声と共にひとかたまり の火を吐き出した。「大丈夫？大丈夫？みんないる ね？」「いるよ、ジョゾ！」気	・感動詞(間投 詞)的。問いか け・気遣いの 「大丈夫」。「心 配/不安」等が前 提としてある。
47	いしかわじゅん(著)/南 伸坊(著)/呉智英(著)/秋 山協一郎(著)/鏡明(著)/ 関三喜夫(著)シンポー	いしかわ 労働意欲にかかっているわけなのね。やろう と思えば大丈夫なんですよ。南 やることはいっぱい ある？いしかわ 意欲が無かったん	・(形容動詞)述 語文。可能的 「大丈夫」とい えよう。

第4章 大丈夫

	ズ・オフィスへようこそ！ 2003 PB30_00070		
48	アレックス・シアラー(著)/金原瑞人(訳)13カ月と13週と13日と満月の夜 2003 PB39_00707	「グレースさん。さあ、ここにお座りなさいな」「ううん、わたしは大丈夫。座る必要なんかない！わたしに必要なのは、だれかに信じてもらう	・(形容動詞)述語文。婉曲な断りの意思表示としての「大丈夫」。ただし、「大丈夫」単独では現れずに、「ううん」「必要なんかない」と具体的説明とともに使われている。
49	恩田陸(著)麦の海に沈む果実 2004 LBs9_00123	の全校生徒がワルツを踊れるという、この学校の方が異常だよね。大丈夫、こんなに大勢で踊るんだし、だれも僕らのことなんか見てや	・感動詞(間投詞)的。
50	田代親世(著)韓国はドラマチック 2004 PB47_00191	やって自分のいい姿を続けて観客やファンのみなさんに見せていけば大丈夫なんだと思えるようになりました。そういうことがわかったので	・(形容動詞)述語文。ここでの「大丈夫」は、「心配/不安」要素が感じられず、単純に「いい/うまくいく」といった意味。
51	渡辺淳一(著)幻覚 2004 PB49_00194	くわわると、なにをいいたしてくるか知れたものではない。「はたして、大丈夫なのか…」僕は不安になって、急に先生と話してみ	・(形容動詞)述語文。「心配/不安」等が前提としてある場合に用いる「大丈夫」。
52	金原ひとみ(著)蛇にピアス 2004 OB6X_00247	なのに、涙腺が故障したように涙がダクダク流れた。「…大丈夫か？」シバさんが私の頭を撫でたけど、涙を止める事が	・感動詞(間投詞)的。問いかけ・気遣いの「大丈夫」。「心配/不安」等が前提としてある。
53	坂口力(著)タケノコ大臣奮戦記 2004 PB42_00164	仕事ができるのかと心配をしたが、馴れた裁縫だから片方見えれば大丈夫だと頑固に仕事を続けた。母の手のお陰で今日の自分が	・(形容動詞)述語文。最低条件提示の「大丈夫」。
54	木ノ歌詠(著)カラっぼの僕に、君はうたう。 2005 PB59_00565	既に僕という存在が宿っていた。一この子は、きっと大丈夫だから。母は、そう信じて、父に離婚を思い留まるよう説得した	・(形容動詞)述語文。
55	国会会議録 2005 OM65_00008	たりということだってあり得ないとは言えないわけですし、その辺実際大丈夫なのかなというのがあるんですけど、その辺いかがですか。	・(形容動詞)述語文。漠然とした疑念がある上で発せられる「大丈夫」。
56	安川操(著)ぎおん祭 2005 LBt9_00068	せいか、人かげはなく、ひっそりとしている。「今日は、雨も大丈夫そうだから、宮町のぎおんさんも、こむだろうなあ」 たけさんは、	・(形容動詞)述語文。天候に対して使われる「大丈夫」。「雨も大丈夫そう」という表現は「雨も心配なさそう/降らなさそう」というこ

第4章 大丈夫

			とになり、「大丈夫」に否定の要素が含まれていることになる。
57	実著者不明 JJ 2005 PM51_00692	Brownie bee) 小物技ポイントは「たくさん付ける」素材やテイストを揃えれば大丈夫 何にでも合わせやすいシンプルなページジャケット。ゴールドアクセをじゃら付けてインパクトコーディネートに	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。ここでの「大丈夫」は「心配/不安」要素が感じられず、単純に「いい/OK」といった意味。
58	ほしおさなえ(著)天の前庭 2005 PB59_00003	「大丈夫だよ」話を聞いてから、ユナは言った。「大丈夫じゃないよ」「そういうことって、あるよ。秀人だってきっとわかって	・(形容動詞)述語文。「大丈夫じゃない」。否定表現。形式としてはごくまれ。
59	佐伯進(著)アロハ・エア 2005 PB5n_00029	を管理する老夫婦。MAP二十のシーンでもっと知りたいハワイの秘密初めてでも大丈夫 スクールつきサーフショップ・ガイドハワイに行って観光だけじゃもったいない! アクティビティの代表選手	・(形容動詞)述語文。最低条件提示の「~でも(ても)大丈夫」。
60	小林隆次(著)/武田國男(著)落ちこぼれタケダを変える 2005 Lbt2_00085	巡り合わせ”で社長になったのだから、社内外から「何も知らんアホが大丈夫か?」という声が上がったのも当然だった。まさに悪戦苦闘の連続	・(形容動詞)述語文。不安・疑念の「大丈夫」。
61	加藤芳夫(著)LED 電飾もの知り百科 2005 PB55_00140	部分が5個のLEDと決めていませんので、適当に組み合わせても大丈夫です。ただし、5個の場合と6個の場合では電流制限抵抗の	・(形容動詞)述語文。「任意で/好きなように」組み合わせて「問題ない」ということ。
62	杉山眞木(著)虚妄の愛 2005 PB59_00341	「腹空いたろう、大して残っていないけど食べるか?」「大丈夫、新幹線の中でお弁当食べたから」「そうか、ビールでも	・感動詞(間投詞)的。婉曲な断りの意思表示としての「大丈夫」。ただし、「大丈夫」単独で現れるわけではなく、「お弁当食べたから(いらぬ)」と具体的説明とともに使われている。
63	村上春樹(著)/横井司(著)ペン先の殺意 2005 PB59_00738	たまらない。苦しい」「大丈夫?」と女は声をかけた。「大丈夫じゃない。我慢できない。なんだか皮膚が焼けるみたいにちりちりする」	・「大丈夫?」と問いかけ「大丈夫」で応答する例。問いかけ・気遣いの「大丈夫」と否定表現の「大丈夫じゃない」。否定表現「大丈夫じゃない」はBCCWJではまれな表現。
64	原子禅(著)旭山動物園	冒険している部分もちろんある。「絶対間違いない」、	・(形容動詞)述

第4章 大丈夫

	のつくり方 2005 LBt4_00049	そして「大丈夫だろうか」、完成が近づくにつれ交錯する確信と不安。幾日も続く眠り	語文。「心配/不安」等が前提としてある場合に用いる「大丈夫」。
65	松瀬学(著)日本を想い、イラクを翔けた 2005 PB52_00104	この国連爆破テロの直後、友人たちが相次いで奥克彦に「大丈夫か?」と心配する電子メールを送っている。その奥克彦の返信メール	・感動詞(間投詞)的。問いかけ・気遣いの「大丈夫」。
66	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_06629	は新しいウイルスセキュリティーが入って入るのに反応がありません。デスクのパソコンは大丈夫なんでしょうか?また、なぜ反応がないのでしょうか?両方とも常に電源	・(形容動詞)述語文。
67	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_03205	と思ったら、お休みして、ゆっくり始めればいから、心配しなくても大丈夫ですよ〜♪	・(形容動詞)述語文。
68	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_03365	心配です。色も大分変わっていたのですが、塩で漬けてあるから大丈夫と言うのですが・・・私はおなかを壊しそうなのでやめまし	・(形容動詞)述語文。
69	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_09154	請求される・・・というようなことを聞いたことがあるのですが大丈夫でしょうか??心配です・・・・・・。こちらからかけているわけで	・(形容動詞)述語文。「心配/不安」等が前提としてある「大丈夫」。
70	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_09976	こんな女もおりますが。。そんなに考えなくても大丈夫!!力を抜いてみて。	・(形容動詞)述語文。
71	Yahoo!知恵袋 2005 OC03_02183	をやめさせない会社は、自分も手を抜いて働いても大丈夫ですか?大丈夫ではないです。スタッフ全員がそのお婆さんのようになったら会社は存続不	・前者は最低条件提示の「~ても大丈夫」。
72	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_01034	アスパラガス=穂先から嫌な匂いがしたらアウト。キャベツ=外見やばくても中が大丈夫な場合もあり。葉をはがして確認。にんじん=自然に割れ目が入ってき	・形容動詞連体修飾。「大丈夫な+体言」。BCCWJではまれな表現。
73	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_01627	企業なので凄く気になっています。そんな事は気にしないで大丈夫ですよ。次回の面接ではベストの状態で臨んで下さい。気にしすぎ	・(形容動詞)述語文。「~しないで/~しなくて大丈夫」。この形式も比較的多い。
74	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_02436	が出ると聞いた事ないです。他の病気の検査はパスしてるし大丈夫に思いますが、一度、産婦人科で相談してみてもうちの	・「大丈夫に」の形式は、ごくまれ。現代語の場合、通常は「大丈夫だと思う」「大丈夫と思う」ようになる。
75	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_04157	腫れてたんです。これってアレルギーと聞いたんですけど。。大丈夫なんですか?それとなったときの治療法も教えてください!浮腫です	・(形容動詞)述語文。未知の症状に対する不安感から発せられる「大丈夫」。
76	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_00414	大学の推薦試験にワープロ検定が何の役に立つのですか?大丈夫ですか?ワープロ検定4級は本当に笑われてしまいますよ。。試験を	・若干皮肉のこもった反語的な「大丈夫」。「(本当に)大丈夫か?(大丈夫じゃないだろ

第4章 大丈夫

			う)」という意味。
77	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_06544	「カレーは何日目まで大丈夫でしょうか？」昨日夜遅く帰ってきたので食べなかったんですが、	・(形容動詞)述語文。賞味期限が切れかかった食べ物を目前にして発せられる、賞味期限の「大丈夫」。ブログ上ではこれに類する表現が比較的多い。
78	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_11362	すいません。賞味期限が2ヶ月過ぎたパスタって食べても大丈夫でしょうか？未開封でまだパリパリです。生ものだったらヤバイですが、乾物ですから	・同上。賞味期限の「大丈夫」。
79	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_00487	ネクタイを自分で洗濯しようと思うのですが普通に洗濯機で洗っても大丈夫でしょうか？クリーニング屋です。ネクタイの素材は大体シルクが多いので、洗濯機	・(形容動詞)述語文。仮定条件の「大丈夫」。書き手には確信がなく漠然とした不安感がある。
80	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_08566	電源スイッチは丈夫に出来ています。スイッチが壊れるなんて気にしないで大丈夫です。内部の電子回路はオンオフによる悪影響もあり得ますが、	・(形容動詞)述語文。「～しないで/～しないで大丈夫」。この用法も比較的多い。
81	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_05907	茨城では「大丈夫」のことを「大事」って言うんですけどやっぱり他県の人には通じない	・方言。
82	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_05783	お互いの事を信用しあってるので多少の連絡がなくても全然大丈夫です。離れている分依存せずに自分は自分で楽しく過ごす事が一番	・(形容動詞)述語文。「全く問題ない」という意味の「全然大丈夫」。この表現は近年日常会話でよく耳にする。
83	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_10245	食べたから、今日も少しぐらい食べても平気」みたいになると、「まだ大丈夫」と歯止めが効かなくなる可能性もあるので注意。	・(形容動詞)述語文。
84	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_04329	不条理なこととか不可解なこととかいろいろあって、この会社大丈夫か？私は大丈夫か？と不安になったりもしました。	・(形容動詞)述語文。「心配/不安」等が前提としてある場合に用いる「大丈夫」。前者は疑念性が強い。
85	Yahoo!ブログ 2008 OY13_04108	遠目で確認した南は、さも今駆けつけたように飛び出していった。「大丈夫、タッチちゃん！わ、ひどい顔！ずいぶんやられたのね」 はい	・感動詞(間投詞)的。問いかけ・気遣いの「大丈夫」。
86	Yahoo!ブログ 2008 OY14_40395	ます(笑)大丈夫って本当に曖昧けどなんか安心する不思議な言葉です☆大丈夫 大丈夫 大丈夫 徹子の部屋も面白かった(笑)もっとしゃべらないかと思ったら、意外と	・書き手は「大丈夫」は曖昧だが安心すると述べる。不安な心理状態の時に発すると安

第4章 大丈夫

			心が得られるということか。
87	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08644	あわせて出来上がり。ちょっとだけ煮詰めたら、ご飯を適当に(たぶん5人前ぐらいは 大丈夫)入れて和えるとチキンライスができる。チーズを角切りにして入れても美味しい	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
88	Yahoo!ブログ 2008 OP55_00001	成人に対する心肺蘇生法の手順1 反応を確認する傷病者の耳元で「 大丈夫 ですか」「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩などを軽くたたき反応を確かめ	・問いかけ/安否(生存)確認の「大丈夫」。
89	Yahoo!ブログ 2008 OY07_01298	「おはようございま～～す」「おはようございま～～す！！体は 大丈夫 ですか??」 DMさんはいつも走っている方で	・(形容動詞)述語文。気遣いの「大丈夫」。「体(の状態)は問題ない(万事順調)ですか?」ということ。一方、「体は丈夫ですか?」とすると、過去から継続する体の状態(体質)についての質問となる。

4.7.5.2 検索語：「だいじょうぶ」(全737件より抜粋)(2021/02/04時点)

図表 4.22：「だいじょうぶ」の実例(BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス)

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	国会会議録 1976 OM11_00011	法律があるいは業務方法書が適切に運用されているとは思われない。むつ小川原開発会社の社長が、 だいじょうぶ かとぼくが質問したら、いや だいじょうぶ でございます。会計検査院の検査も受けております。われわれも個人保証いたし	・(形容動詞)述語文。
2	五木寛之(著)青春の門 1977 OB1X_00073	「かけろよ」と、信介は言った。「仕事のほうは だいじょうぶ だったのか」「うん。心配しないで」織江は腰をおろすと、足を組み、信介の顔を	・(形容動詞)述語文。
3	田原俊彦(著)君だけマイラブ 1981 OB2X_00152	やっぱり「もし落ちたら…」と考えると、すごくこわかった。ある程度の自信もあったから、 だいじょうぶ だとは思うけど、運もあるからね。そして発表の日がきた。	・(形容動詞)述語文。
4	笹沢左保(著)明日はわが身 1981 OB2X_00029	父はずっと前よりも長く酒をやめていました。僕はすっかり父を信用して、これならもう だいじょうぶ だと安心していました。しかし、こうした僕の気持を踏みにじって、父はまた飲み始めたのです。	・(形容動詞)述語文。
5	木村梢(著)功、大好き 1982 OB2X_00099	「木村さん、疲れませんでしたか」「ええちょっとね、久しぶりの仕事だったから。でも だいじょうぶ ですよ。じゃあまた」気をつかう石井さんに対し、功はそっけないくらいに	・(形容動詞)述語文。
6	片岡義男(著)メイン・テーマ 1984 OB2X_00177	座卓の上に置いた清水に顎をしゃくり、「そんなものにすわったら、こわれるぞ」と、言った。「 だいじょうぶ だよ」「まっすぐに体重をかけているぶんにはいいけれど、尻を左右に動かしたりすると、ぐしゃつといく	・感動詞(間投詞)的。
7	神沢 利子(著)くまの	むちゅうだったからね。およげないこと、すっかりわ	・感動詞(間投詞)

第4章 大丈夫

	子ウーフ 1986 LBan_00013	すれてたよ。」 「だいじょうぶ。これからはもう、およげなせ。それからさ、なにかながしたときは、	詞)的。児童向け。
8	ファミリーコンピュータマガジン編集部(編著)スペランカー完全攻略本 1986 OB3X_00240	ので気をつけよう。助走をつけて、ハイ、ジャンプ！ タイミングよく飛ばばだいじょうぶ。C地点 エレベータを降りてすぐのC地点、なにげなくあるように見える	・(形容動詞)述語文。児童向け。
9	今村葦子(著)良夫とかな子 1987 LBbn_00025	あつまって、ひっそりとした、おばあさんをのぞき込んでいました。「だいじょうぶだよ。心配ない」 駈けつけた瀬田先生が言いました。「ちょっと、	・(形容動詞)述語文。
10	鮎川哲也(著)時間の檻 1987 LBb9_00118	は、それを手にした丸毛に、一種のたのもしさを感じさせた。だいじょうぶだ、うまくやれるぞ、という自信がわいてきた。かれは、何度	・感動詞(間投詞)的。
11	大原興三郎(著)おじさんは原始人だった 1987 LBbn_00011	にタマゴうみにかえてくるんだ。水といっしょだから、こんどはぜったい、だいじょうぶ。」 ゲン博士は解説までつけて、ぜったいだいじょうぶなはずのトンボを、	・(形容動詞)述語文。児童向け。
12	喜多嶋隆(著)ジェームス・ディーンに、似ていた 1988 Lbc9_00168	血が流れはじめています。「歩けるか？」とトシ。「だいじょうぶ、このぐらい」 あたしは、白い歯を見せる。自転車を、自分で起こす	・感動詞(間投詞)的。
13	間所ひさこ(著)シマダクンをよろしく 1988 LBcn_00027	のじまくんが、かずやと ならんで あるきながらいいます。「だいじょうぶだよ。おねえちゃんといっしょに、よーく たのんでみるから」 かずや	・感動詞(間投詞)的。児童向け。
14	今野敏(著)秘拳水滸伝 1989 LBd9_00018	に語りかけた。「何でもないわ、ボール。お嬢さまは、たぶんだいじょうぶよ。あなたの国では、どう言うのかわかりませんがね、久遠に	・(形容動詞)述語文。
15	田中雅美(著)赤い靴探偵団 1989 LBd9_00172	先生が言ったが、藤岡さんは首を振って立ちあがった。「いいんです。本当にだいじょうぶですから」 何が起こったのかしら。 とにかく、保健室で手当てをしてもらったほうがいい。	・(形容動詞)述語文。
16	田窪一世(著)黒いスーツのサンタクロース 1990 LBe9_00191	首を左右に振り、隣の女 じゃ、わたし、酒屋さんに行ってなんか買ってくるから。 麻子 あ、だいじょうぶよ、全部そろってるから。 隣の女 買ってくるからっ。 隣の女、大急ぎで出て行く。	・感動詞(間投詞)的。文脈からすると、婉曲な断り表現としての「だいじょうぶ」。
17	白根厚子(著)魔女ばあちゃんをおえ！ 1990 LBen_00008	そんなことしたらほんとになににされるかわからないよ」 たけしがしりごみした。「だいじょうぶだよ。そのときは、にげればいいんだからさ」 「にげるまえに石にされたらどうするんだよ	・感動詞(間投詞)的。児童向け。
18	ダンプ松本(著)おかあちゃん！ 1991 LBf7_00039	体にだけは気をつけなよ。おかあちゃん、他には何にもいらないからね」 「だいじょうぶだよ、おかあちゃん。わたしもう女子プロレスやめたんだから」 そう言うと、心底うれしそうに笑うのだ。	・感動詞(間投詞)的。
19	西木正明(著)凍れる瞳 1991 LBf9_00080	田原は血の気のない泥まみれの顔をあげ、力なく横に振った。「だいじょうぶです」 「でも、なんだかあずましくなさそうですよ」	・感動詞(間投詞)的。
20	エーリヒ・ケストナー(著)里美有紀(訳)わたしとわたし 1992 LBgn_00026	人さし指をきってしまいました。「ひどく血がでてる、ほんとにだいじょうぶかい。」 おばさんの心配そうな声におくられて、ルイーゼはお	・(形容動詞)述語文。
21	海老沢泰久(著)美味礼讃 1992 LBg9_00004	失敗したら、何をいわれるか分ったもんじゃない」「だいじょうぶよ。あなたみたいにフランス語ができる人なんていないわよ」 「どうし	・感動詞(間投詞)的。
22	小池一夫(著)乾いて候 1993 LBh9_00007	来てくれたか…」と呟いて、意識を失った。… 「主丞さま！！」 「だ、だいじょうぶですかっ」 いまにも泣き出しそうな表情で縋りついてくる華厳と霰の匂いを、主丞は全身に吸い込んだ	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

23	氷室冴子(著)冴子の母娘草 1993 LBh9_00011	母は疲れたから昼寝をするといい、そうなる八歳の甥は、「おばあちゃん、だいじょうぶ？ ボク、いっしょに寝るよ。だいじょうぶ？」などといいながら隣のベッドに潜りこむ。どうしようもないババアツ子なのであった。	・感動詞(間投詞)的。
24	ロバート・R・マキヤモン(著)/加藤洋子(訳)スワン・ソング 1994 LBi9_00086	「どうした、だいじょうぶか？」と、ワーナー。「はい、だいじょうぶです」もうじき目が覚めるぞ、とローランドは思った。土曜の朝で、ぼくはベッドから出てコンピュータのスイッチを	・(形容動詞)述語文。
25	童門冬二(著)童門冬二の"出処進退"の研究 1994 LBi2_00011	また、優秀な家臣団がいるのだから、そういう連中に任せてもだいじょうぶだ。もう、家康にというより、秀吉という天下人に刃向かうものなど、	・(形容動詞)述語文。
26	志鳥栄八郎(著)志鳥栄八郎のオーケストラ名曲大全 1994 LBi7_00014	ありとあらゆる魔法をつかって邪魔だてするに違いありません。「それはだいじょうぶです。わたしは貴方を心から愛しています。愛を裏切るようなことはいたしません…」	・(形容動詞)述語文。
27	シドニィ・シェルダン(著)/木下望(訳)遺産 1995 OB4X_00156	「ありがとう、ジュリア。でも、きみのお金をもらうわけにはいかない。ぼくはだいじょうぶさ」「でも…」「心配しないでいいよ」彼女は身を震わせた。	・(形容動詞)述語文。文脈からすると、婉曲な断り表現としての「だいじょうぶ」。
28	五木寛之(著)晴れた日には鏡をわすれて 1995 LBj9_00058	洗面所から出るとイングリッドが心配そうにたずねた。「リョーコ、どうしたの？ だいじょうぶ？」「ええ。ちょっと吐きけがしただけなの。きつと疲れてるんだわ。部屋に帰って寝たほうが	・感動詞(間投詞)的。
29	五木寛之(著)蓮如 1995 OB4X_00170	蓮如 如了どの。姿が見えないので心配しておったが、もう熱はさがりましたか。 如了 はい。だいじょうぶでございます。 蓮如 どれ、どれ。(と如了の額に片手をあて、首をふる)これはいかん。	・(形容動詞)述語文。
30	坂本由美子(著)ナガラランドを探しに 1995 LBj2_00030	おかゆを持ってきてくれた。そして自信たっぷりに「胃が悪くてもだいじょうぶ。これならきつと食べられるわ。とても胃にやさしくて、食べればきつと治ります」	・(形容動詞)述語文。
31	鈴木俊介(著)賢治のトランク 1996 LBkn_00005	三毛猫は、ガタンとひっくりかえってゆかにおちてしまいました。「だ、だいじょうぶかね。三毛猫君」事務長の黒猫はおどろいてそういいました。	・感動詞(間投詞)的。
32	田中良成(著)超貧乏旅 1996 LBk2_00032	激しい愛に戸惑うばかり。深い事情はわかんないけど、そんなにせっぱ詰まりまくらなくてもだいじょうぶだよ。僕は電話のおばあちゃんと話した。彼は明日の夜に	・(形容動詞)述語文。
33	海老名香葉子(著)半分のさつまいも 1997 LBln_00003	わからなくなりました。おばさんは、やさしい声で、つづけました。「だいじょうぶよ、心配はいらないわ。かよ子ちゃんは、おとなになったのよ	・感動詞(間投詞)的。
34	鈴木麻水(著)「悪いママ」は子供が愛してくれる 1997 LBi3_00080	と、電話口から唾が飛び出してきそうな勢い。もちろん、その心配もわかる。「だいじょうぶ、だいじょうぶ。心配ないって。小さいときからバイクの危険性を教えておくことが、かえって安全につながるんだから。	・感動詞(間投詞)的。
35	緒島英二(著)テンカウントは聴こえない 1997 LBln_00036	定吉が、焼酎をすすりながらつぶやいた。「そんなことないよ、ぜったいにだいじょうぶだってば」そういいかえしながらも、草太も不安でたまらなくなっていた	・(形容動詞)述語文。児童向け。
36	サンドラ・ブラウン(著)/長岡沙里(訳)追わずにいてくれたら 1997 LBi9_00164	「ああ、ジョン。ほら、見て。あなたひどい怪我だわ」「だいじょうぶだよ」だがそうではなかった。ジョンの声は消え入りそうにか細かった	・感動詞(間投詞)的。
37	サンドラ・ブラウン(著)/長岡沙里(訳)追わ	「あなた、だいじょうぶ？」ケンドルが心配そうに声をかけた。「だいじょうぶさ」とジョンは答えると、	

第4章 大丈夫

	ずにくれていたら 1997 LB19_00164	ケヴィンのお尻をぼんとたたいた。「こいつこそ、だいたいじょうぶかな？」	
38	馳星周(著)鎮魂歌 1997 LB19_00272	が殺されたって」「だれかが上海に売ったらしい。裏切り者を探せっていわれた」「ふーん…だいたいじょうぶ？」「わからん。だが、崔虎に直々に命令されたんだ、やるしかないだろう。	・感動詞(間投詞)的。
39	J・E・ベッカー(著)あなたの夢を生かす本 1998 LBm1_00022	日頃のあれこれをぼんやりと、自分以外の視点から振り返ってみましょう。それだけです。これでだいたいじょうぶ。もうあなたは夢の告げる危険信号におびえる必要はありません。あなたはすでに、たいていのショックに耐えうる柔軟性	・(形容動詞)述語文。
40	YOU(著)産む女 1998 LBm5_00026	夕方の暗がりの中で、私はふと立ち止まり、「だいたいじょうぶ？」と、一応声をかけた。「うん、だいたいじょうぶ。」だいたいじょうぶなのか。と、私はまた、足取りも軽く家路を急いだ。	・感動詞(間投詞)的。「だいたいじょうぶ」と「だいたいじょうぶ」。
41	小宮宗治(著)定年後・八ヶ岳いなか暮らし 1999 LBn3_00124	あらかじめ知っておいてもらいたいという気持ちである。Kさんは次男に「ふんばれるか」と声をかける。次男が「だいたいじょうぶ」と答える。二人だけで押し上げようとしているのだ。私はKさんの足場が心配だった。	・感動詞(間投詞)的。
42	アーネスト・ヘミングウェイ(著)/金原瑞人(訳)ケニア 1999 LBn9_00227	彼はわたし以上に、自分が何をしているかよくわかっているから、だいたいじょうぶだろうが。マレーネはいろいろと問題を抱えているものの、ラスベガスで大儲けをしたそうで、	・(形容動詞)述語文。
43	横田順彌(著)古書狩り 2000 LBo9_00085	が、処理のしかたをまちがえると、問題になりかねないなと思いながら質問した。「ははははは。それは、だいたいじょうぶですよ。いくら欲しい本を手に入れても、罰金や刑務所行きでは困りますからね」	・(形容動詞)述語文。
44	立松和平(著)酪農家族 2000 LBo9_00031	正夫は声をだしてしまってから、父と同じものを見ていたことを知った。「だいたいじょうぶ。猫のネットワークは人間が考えている以上に速くて強くて大きいよ。	・感動詞(間投詞)的。
45	小林祥晃(著)Dr.コパの「人脈」風水 2001 PB11_00094	に対して不信感を抱くというより、むしろ相手に憎しみさえ感じるようになってしまいます。「あの人ならばだいたいじょうぶと思っていたのに、秘密を話されて人と会えなくなってしまった」そのような事例はテレビの	・(形容動詞)述語文。
46	子育てネット(著)ダメなママでもいいじゃない 2001 PB15_00250	友達作りの薬おまじない●一人で耐えずに下手育児みんなやればこわくない密室からの脱出「だいたいじょうぶ」言って欲しくて電話する。友情のホットラインが命綱。外出もままならない子育て期、電話でのたわいのない	・感動詞(間投詞)的。
47	栗本薫(著)栗本薫の里見八犬伝 2001 PB1n_00089	とても仲が悪いということになっているゆえ、用心がかんじん。「だいたいじょうぶだ、荘助どの。」だれにもきかれていないのを確かめると、	・感動詞(間投詞)的。
48	ジム・モリス(著)/ジョエル・エンゲル(著)/松本剛史(訳)オールド・ルーキー 2001 PB17_00196	見て、いまにも泣きそうな顔になった。コーチは、病院まで乗せていってやろうかときいた。だいたいじょうぶだと、わたしは嘘をついた。病院までまっすぐ運転していくつもりだったが、しばらくすると、車に乗っ	・感動詞(間投詞)的。文脈からすると、婉曲な断り表現としての「だいたいじょうぶ」か。
49	石井郁男(著)中学生の勉強法 2001 LBpn_00039	お母さんの心配「みんな塾に行ったり、家庭教師をつけたりしているようだけど、うちの子はだいたいじょうぶかしら。受験のこともあるし、心配だわ」家庭訪問・学級懇談会など、いろんなところで、	・(形容動詞)述語文。
50	パトリシア・マクドナルド(著)/中井京子(訳)ベビーシッター殺人事件	「すわなくて平気？ お医者さんはなんて言ったの？」「だいたいじょうぶだよ。どうってことない。医者は鎮痛剤の処方箋を出してくれた。要するに、無理	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

	件 2002 LBq9_00114	をするなどいう	
51	ジュール・ヴェルヌ (著)/朝倉剛(訳)二年間 の休暇 2002 PB2n_00069	「ドニファン、君の番だ。よくねらって。これが最後だ からね。しっかり！」とウェップがいった。「だい じょうぶ勝つさ。」こういって、ドニファンは、足の 位置をさだめ、右手に輪を持ち、首を軽く前にかたむ け	・感動詞(間投 詞)的。形式を みると副詞的 であるが、「だ いじょうぶ/勝 つさ。」と、い ったん文が切 れていると考 えられる。
52	清水啓子(著)花の命 2002 PB29_00565	飛行機? アメリカの飛行機?」「アメリカの飛行 機よ」「アメリカの…? おばあちゃま、英語だい じょうぶ?」黒い大きな瞳が潤んだように見えるほ ど、真剣な眼差しでした。	・(形容動詞)述 語文。確認の 「だいじょう ぶ」。
53	川西桂司(著)薄曇りの 肖像 2002 PB29_00181	の膝頭を震わせ、そんな彼のただならぬ様子が娘の足 を立ちどませた。だいじょうぶ? と娘は訊いた。 だいじょうぶじゃないよ、と言った隆志に、娘はこん なことを言い返した。あの絵描きと隆志の病気との関 連について	・感動詞(間投 詞)的。「だい じょうぶ?」と問 われて「だい じょうぶじゃ ない」と答える 例。否定形は、 まれな例。
54	赤川次郎(著)吸血鬼は お年ごろ 2002 PB29_00130	「顔が見たくなってね」「こっちも、おまえが立ち直つ とるかどうか気にしていたぞ」「だいじょうぶよ」エ リカはほほえんだ。「何かしたくします」と涼子が奥 へは行っていった。	・感動詞(間投 詞)的。
55	佐藤洋一郎(著)DNA 考 古学のすすめ 2002 PB22_00173	どんどん考え、感じて欲しいのです。百考えてそのう ち九九が「はずれ」でもいいのです。だいじょうぶ、 九九も失敗し続ければ、考えることも少しは上手にな るかもしれません。	・感動詞(間投 詞)的。
56	中山庸子(著)森の中に いるように、心が生き かえる本 2003 LBr1_00034	ものに出会いやしないかな、ちゃんと戻ってこられる かな)と不安になってしまいます。でも、全然だい じょうぶなのです。だってそこは、ずっとあなたが住 んでいる場所なんですから。	・(形容動詞)述 語文。日常会話 でよく使われ る「全然だい じょうぶ」の例。
57	実著者不明 見過ごさ ないで!子どもたちの SOS 2003 PB33_00599	虐待を、保護者だけでなく保育者の問題としてもとら えて、自分の保育を少し見直してみましょう。だい じょうぶ?あなたの保育—保育者の虐待につながる言動 保育者のアブナイひとこと 保育者が何気なく言っ てしまったひとこと、	・感動詞(間投 詞)的。
58	武井博(著)ひょっこり ひょうたん島 2003 LBr9_00078	走って走って走りつづけました。何回も何回も、ころ びながらね。「ここまでくれば、もうだいじょうぶ だぞ」ダンプが、さげんだときです。バリバリバリ ッ。なんと橋がこわれて、	・(形容動詞)述 語文。
59	リュック・ベッソン (著)/ロバート・マー ク・ケイメン(著)/小島 由記子(訳)トランスポ ーター 2003 LBr9_00017	同時に、後頭部に刺すような痛みが襲ってきた。いい 兆候だ。これなら起き上がってもだいじょうぶそうだ。 痛みを感じるということは、まだ生きている証だった。 フランクは後頭部をさすりながら、ゆっくりと	・(形容動詞)述 語文。
60	石田衣良(著)4teen 2003 LBr9_00026	がちゃがちゃと音がして、焦った声がきこえてきた。 「こちら管理事務所、なにかありましたか。だいじょう ぶですか」玲美さんは壁にむかって叫んだ。「間 違ってボタンを押してしまいました。警報をとめて	・(形容動詞)述 語文。
61	小川勝己(著)彼岸の奴 隷 2004 PB49_00612	そのうちの一枚が頬を撫でた。不快感に衝き動かされ るまま、手のひらで頬をこすった。「だいじょうぶ ですか」蒲生は、谷が腰を抜かしたように地面にへ たり込んでいるのに気づいて声を掛け、手を	・(形容動詞)述 語文。

第4章 大丈夫

62	日比野正己(監修・指導)"ちょボラ"アイデア集 2004 PB43_00095	実践伝えるのは伝統 「伝統」なんて聞くと堅苦しく思ってしまうがちですが、そんなに難しく考えなくてもだいじょうぶ。昔から続いている遊びも伝統の一つです。まちのお年寄りから、いろいろな伝統文化を教わり、	・(形容動詞)述語文。
63	重松清(著)口笛吹いて 2004 LBs9_00091	逆にすれば、露骨に口に出すかどうかだけで、中村さんの気持ちもわからないわけではない。「だいじょうぶですよ」半分は自分に言い聞かせながら、言った。「野球にかんしては、ほんとに厳しいひとですから。ちゃんと実力主義	・(形容動詞)述語文。
64	吉川元忠(著)円がドルに呑み込まれる日 2005 PB53_00636	伊藤金融担当大臣に聞きたいのは、来年四月以降ペイオフをやってだいじょうぶなのかということである。金融機能強化法が成立して、公的資金を入れる仕組みはできた。しかし、日本	・(形容動詞)述語文。
65	大森一慧(著)自然派ママの食事と出産・育児 2005 PB55_00122	玄米ごはんともみそ汁の組み合わせは、過不足なく摂れ、まさに完ぺきです。「子どもの体づくりは、植物性食品だけでだいじょうぶなんだ!」と少しは安心していただけたでしょうか。ただし、今までの食品から動物性食品を抜いただけ	・(形容動詞)述語文。
66	重松清(著)疾走 2005 LBt9_00016	待ちわびていた朝が、三人をじわじわと追い詰めていく。「ねえさん、やっぱり一緒に逃げよう。東京まで逃げればだいじょうぶ、絶対に捕まらないから」だが、今度もアカネはにべもなく「アホ」と言うだけだった。	・(形容動詞)述語文。
67	逢坂剛(著)アリゾナ無宿 2005 LBt9_00204	わたしの下半身を上着でくるみながら、静かに言った。「もう、だいじょうぶだ」刺さったとげが抜けた、と言わぬばかりの軽い口調だった。	・(形容動詞)述語文。
68	保科昌彦(著)ゲスト 2005 LBt9_00192	係長はどうにも付き合いきれないと言いたげな目を向けてきた。「おまえ、頭はだいじょうぶか?」「突拍子もない話だってことは自分でも分かっています。しかし、私には森脇が人を	・(形容動詞)述語文。軽蔑・反語的な「だいじょうぶ」。
69	Yahoo!知恵袋 2005 OC05_01580	先方のわからないという答えが今になって怖くなりました。これでだいじょうぶなのか日本は?と不安になりました。しかもブルーインパルスって自衛隊です	・(形容動詞)述語文。
70	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_01460	きょうのいいともはご飯時の人にとっては最悪でしたね。だいじょうぶでしたか?わたしは、ハヤシライスを食べようと思ってた矢先だったんで	・(形容動詞)述語文。
71	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_02993	Adobe PhotoshopでPDFファイルってつくれるのですか? Adobe Acrobatがなくてもだいじょうぶ?できますよ。「保存」から保存形式をPDFにすれば保存できます。	・(形容動詞)述語文。
72	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_07504	食べない方がいいですか? 納豆が腐るとどうなるの?だいじょうぶです、昔は納豆を冷蔵なんてしてませんでしたから余談ですが納豆と豆腐は名前が逆です。	・(形容動詞)述語文。
73	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_04632	引越ししなければならないのですが、自分達で次にアパート借りるには今の会社の収入証明でもだいじょうぶですか? 仲介の不動産業者に、退職のため引っ越しことを説明し、必要書類を聞いたほうがよいかと	・(形容動詞)述語文。
74	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_07243	過ぎているのですが…。ちなみに薄いしょうゆ味です。封をきってなければ、そのまま大丈夫です。(半年はだいじょうぶです)封を切った場合は、虫食いとかが、なければ食べられます。	・(形容動詞)述語文。書き手は「大丈夫」と「だいじょうぶ」を使い分けているようでもある。
75	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_01577	先ほど、平日にランチをしたいのですが、日本橋近辺で、赤ちゃんがいてもだいじょうぶな雰囲気の良いお	・形容動詞連体修飾。連体修飾

第4章 大丈夫

		店ってありますか？ジャンルは問いません。って質問したのですが、東京日本橋でお願い	の形式は、めずらしい例。
76	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_01713	「誉志」と書いて「たかし」普通に読めますか？なんだかなあ... とか思いますか？ だいじょうぶ 、私もタカシって読みましたよ。読み方も性別もわかりやすく、いいじゃないですか。	・感動詞(間投詞)的。
77	Yahoo!ブログ 2008 OY13_01921	「うん。反省しとる」と、いつになく素直なりおん。「触るとまだ痛いけど、 だいじょうぶ 。」と1日、終わったのはいいが、少し青くなって、腫れていた。	・感動詞(間投詞)的。
78	Yahoo!ブログ 2008 OY14_36634	が、壊れてしまって…何かあったか…？と思いつつも、連絡ないんだから、 だいじょうぶ 。なんて、思っていました。次男からのメールは、元気そうで	・(形容動詞)述語文。
79	Yahoo!ブログ 2008 OY06_00130	きくちゆみさん講演会「 だいじょうぶ ? 私達の地球」	・感動詞(間投詞)的。
80	Yahoo!ブログ 2008 OY11_03492	曇っていましたが、先ほど一時雨が降りましたビーチのほうは だいじょうぶ かしら？雲が分厚くってこれからまた降ってきそうです今日あたりから雨っぽい日が続きそうです	・(形容動詞)述語文。
81	Yahoo!ブログ 2008 OY05_06503	前に記事にしたじゃがいもが、ついに芽を出しました^^。。なかなか出てこないの、 だいじょうぶ かな、と思っていましたが、ちゃんと二個とも同時に出てきましたw	・(形容動詞)述語文。
82	Yahoo!ブログ 2008 OY14_23839	二十日からは塾生の間テスト(・__・) だいじょうぶ かあ～！？ 勉強させなくちゃΣ=Σ=Σ=	・感動詞(間投詞)的。
83	Yahoo!ブログ 2008 OY13_01681	札幌は今日からまた雨降りが続くようで、気温もちょっと下がるみたい。今年のビアガーデン、 だいじょうぶ かしらん？ 天候で売り上げが大きく変動するので、大変ですよ。	・(形容動詞)述語文。
84	Yahoo!ブログ 2008 OY14_30923	をしていると側にやってきたのは？ a. 「むずかしい？ だいじょうぶ ？ゆうしくん、おてつだいしよか？」心配そうにあなたのことを見上げる、	・感動詞(間投詞)的。

4.7.5.3 検索語：「だいじょぶ」（全25件より抜粋）（2021/02/08時点）

下表の書籍（小説・エッセイ等）からの例に限っては、全てが会話文中の例であった。

図表 4.23：「だいじょぶ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	深沢美潮(著)フォーチュン・クエスト 1990 LBe9_00197	もなく、トラップはズカズカ入っていった。わたしは毎度のことだが、ノルに、「ごめんね、ノル。 だいじょぶ ？」と、聞いた。ふつうの宿屋に、ノルが寝ても だいじょうぶ なベッドはない。あのリバージェンシーホテルだとよかったん	・感動詞(間投詞)的。会話文については「だいじょぶ」、直後の地の文では「だいじょうぶ」とある。書き手は、状況によって表記を意図的に変えているようでもある。
2	浜田桂子(著)おかあさ	出産に立ちあってくれた助産婦さんが、部屋を訪ねて	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

	んも満一歳 1996 LBk9_00204	きました。私の乳房を見るなり「だいじょぶ、だいじょぶ、ちゃんと出るから。母乳は出るようになってるんだからね」とってくれたのです。	詞)的。会話文。
3	YOU(著)産む女 1998 LBm5_00026	握りしめたまま、困ったちゃんがうつぶせに倒れていた。夕方の暗がりの中で、私はふと立ち止まり、「だいじょぶー？」と、一応声をかけた。「うん、だいじょぶ。」 だいじょぶなのか。と、私はまた、	・感動詞(間投詞)的。「だいじょぶー」と「だいじょぶ」。会話文。
4	篠田真由美(著)龍の黙示録 2004 LBs9_00189	は口に一呑みされるほどでしかない。「呑まれるー」「だいじょぶだ、トウコ！」 ライルは目を輝かせていた。「リュウは	・感動詞(間投詞)的。会話文。
5	メアリー・ノートン(著)/林容吉(訳)野に出た小人たち 2004 LBs9_00035	口ぎたなくどになりました。「いまいまいくつだ。」というのがきこえて、なにかかかとのことをいいました。「だいじょぶか？」と、男の子が、どうでもいいような調子で、よびかけました。そのこたえは、のろいのことばでした。	・感動詞(間投詞)的。会話文。
6	メアリー・ノートン(著)/林容吉(訳)野に出た小人たち 2004 LBs9_00035	まっすぐ顔をのぞきこまれたように思いました。とても見つからずにはすまいと思われました。けれども「だいじょぶ。」と、ポッドがふたりにいいました。口も動かさず、きこえないほどのささやきで。「あわてるんじゃないー	・感動詞(間投詞)的。会話文。
7	メアリー・ノートン(著)/林容吉(訳)野に出た小人たち 2004 LBs9_00035	ホミリーのあえぐ声がかきこえたので、しずかにことばをつぎました。「この寝台はひどくひくいから、ここにいりゃだいじょぶだ。」 「ああ、なんてまあ。」ホミリーはきらきらした目が一つ見えたので、ひくくつぶやきました。	・(形容動詞)述語文。会話文。
8	遠藤甲太(著)父と子の多摩川探検隊 2005 LBt2_00025	そういえば荷といえるほどの荷を負っての岩這いを、この子はまだ体験していない。「だいじょぶか」「うん」 落ちてもヌレズミになるだけで、流されもケガもするまいが、いささかやっかいな仕儀	・感動詞(間投詞)的。会話文。
9	遠藤甲太(著)父と子の多摩川探検隊 2005 LBt2_00025	ちっぼけな川原だが、冷えて固くなった足指の休憩にはなる。「ひゃああ、冷たかったな。だいじょぶか」「うん」 流れが深くなったので、水面に近い岩棚を伝う。さして難しくないのに息子の動作	・感動詞(間投詞)的。会話文。
10	島津出水(著)コスプレ探偵かおり 2005 PB59_00041	を知っている幸四郎としては、それは当然の疑問だった。 対する香りの返答は、「ああ、だいじょぶだ いじょぶ。幸四郎クンに、そーゆー男らしい臭いとかって、普段は全然ないから」「えっ!?!」「あの時	・感動詞(間投詞)的。会話文。
11	吉田珠姫(著)旦那さまとウェディングベル 2005 PB59_00053	もう、いいの？」 ミミも、相手にわからせるようにゆっくりしゃべっている。「はい。ありがと。わたし、だいじょぶ」 まだ若い母親だった。貝塚と同じくらいの歳にしか見えない。だが、それもハマではよくある	・感動詞(間投詞)的。会話文。
12	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_06715	今、目が覚めました。エンタの神様…オリエンタルラジオ出ちゃいました??まだ出てませんよ!!!だいじょぶですよ!!! ドランクドラゴンが終わり、次は陣内です。いつ頃出るのかな~?	・(形容動詞)述語文。会話体の文。
13	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_01357	が二ヶ月位だったら大丈夫だと思いますがもし心配なのであれば帰国した際に充電をしに行ったらだいじょぶですよ。	・(形容動詞)述語文。書き手は「大丈夫」と「だいじょぶ」を書き分けているが、ネット上の読者に直接向けた一節が「だいじょぶ」と表記されている。
14	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_13614	どうかと思うし……。でも他にも真っ赤になっちゃう人見るとなんかかっこわるいなーと思います。だい	・(形容動詞)述語文。会話体の

第4章 大丈夫

		じょぶ?って思います。もっとスマートに飲みたいんですが。男性の方教えてください。かわいいじゃないですか～酒豪よりは遙か	文。
15	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_03272	匂いなどはどうですか?後で、ゴハンを炊いた時に、匂いに移ったりとかはないですか?もし、だいじょぶそうなら私もやってみたいのですが。http://knowledge.yahoo.co.jp/service/question_detail.php?queId=885794&burl=私も作った事ありますが大丈夫ですよ。大きなケーキが出来	・会話体の文。文脈からすると、一つめの「だいじょぶ」と二つめの「大丈夫」は、別の書き手である。
16	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_10625	の声優で有名な後藤沙緒里さんは、どうして入院してるんですか?ミュージカルも降板したそうですが、だいじょぶなののでしょうか?プロッコリーの公式な発表によると、外科手術が必要な為、活動を休止するとの事です。	・(形容動詞)述語文。
17	Yahoo!ブログ 2008 OY15_01362	「ひ、ひどい。。ひどいよ~~~~~。。。(笑)」美「だいじょぶぶつけません。てかそんなこと言われたら～俄然やる気がでてくるんですけど～?」担「ホントにぶつける人多い	・感動詞(間投詞)的。会話文。
18	Yahoo!ブログ 2008 OY05_03079	戻ると、みんなは給食も済ませ、昼寝の時間Zzz... 昼寝のない5歳児さんが「ゆな、だいじょぶか?」「眼医者ががんばってんなあ」「いたい?大丈夫?」と口々にやさしく声をかけてくれ、先生も「よく	・感動詞(間投詞)的。会話文。
19	Yahoo!ブログ 2008 OY14_45982	良くないね。だってこれを食べるために夕食は炭水化物はとってないんだもん。野菜のみだったから、だいじょぶだと勝手に思いこんでます。	・(形容動詞)述語文。会話体の文。
20	Yahoo!ブログ 2008 OY14_08786	いいって言われてたから。』(専務さんとはバイト先のオーナーの事です。)姫斬:『専務さんのマンション?だいじょぶなの?』ナン:『平気、平気。前にも行った事あるし。』	・感動詞(間投詞)的。会話文。
21	Yahoo!ブログ 2008 OY14_19095	ブヤ・・・ヤバイ所を撮られてしまった・・・皆さん、だいじょぶでしかあ～っ。Σ(*´▽`*)ドキッ!!としたひと～っ・・・	・(形容動詞)述語文。会話体の文。
22	Yahoo!ブログ 2008 OY04_07625	なにやらただならぬ因縁がゴザンスあらま、インペラーが弾丸あつかい。そういうえば負けたライダーってどうなっちゃうのかしら?だいじょぶなんかね?蝙蝠VS蝙蝠去年キバ始まったころ思ったんだわねえ。	・感動詞(間投詞)的。会話体の文。
23	Yahoo!ブログ 2008 OY14_47233	ぢゃないお(ノ`□´)ノオオオオオオー	・会話体の文。

4.7.5.4 検索語:「だいじょーぶ」(全2件)(2021/02/04 時点)

図表 4.24:「だいじょーぶ」の実例(BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス)

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	実著者不明 めざせ人気者!超おもしろ占い 2003 PB31_00127	カバーをつけっぱなしの人頼りがい度百% ちょっと天然なところはあるけれど、おおらかで太っ腹。困った時には、「だいじょーぶ!」なんて力強くハゲましてくれるので、大船に乗った気分。ただし、のんきすぎて最後のツメが甘いところも	・感動詞(間投詞)的。
2	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50809	かなりイタイ仔発言もします... ← そういうのわ全然気にしませんし、だいじょーぶ☆ って方わゆっくりしてってください。もし苦手な方わスイマセンが戻ってくださいまし... 誹謗中傷わ	・(形容動詞)述語文。会話体の文。

4.7.5.5 検索語：「ダイジョウブ」（全24件）（2021/02/04時点）

下表を概観した上で、以下に特徴をまとめた。

- ・カタカナ表記「ダイジョウブ」は、主に2000年代初頭から現れる。資料上最も古い例は1997年のものであった。
- ・主体によって表記を使い分けるといふ例もみられる（資料番号“3”“4”等）。

以下に、「ダイジョウブ」の検索結果例を表にして示した。

図表 4.25：「ダイジョウブ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	ジャッキー・ヴォルシュレガー(著)/安達まみ(訳)不思議の国をつくる 1997 LB19_00235	四つん這いで演じ、ひとり芝居で全部演じてみせた。吹雪にはばまれたあげく、ようやく電報が届く。『ピーター・パン』ダイジョウブ ダイセイコウノモヨウ。初日以来『ピーター・パン』は当たりに当たる。おとなが主体の観客はなにを期待すべきかの	・感動詞(間投詞)的。電報の書面のため、カタカナ表記。
2	芝村庸吏(著)式神の城 2003 PB39_00367	でなければ、あれだけのことを仕掛けたりはしない。「そうだよな、兄貴のことだ、ぜってえダイジョウブだな。それじゃ、じいちゃん、月子のどこ寄って帰るわ」光太郎はそう言って立ち上がると	・(形容動詞)述語文。
3	藤山勇司(著)サラリーマンでも「大家さん」になれる「藤山流」成功の奥義 2004 LBs6_00004	「大丈夫ですか？ 聞こえますか」 サウナの店長が、耳元で叫んでいます。「ダ、ダイジョウブ。悪いな…」 私は、皆が心配する中、愛車を運転し、病院にも行かず独身寮に戻り	・感動詞(間投詞)的。サウナの店長が「大丈夫？」と問いかけ、「私」は「ダイジョウブ」と答えた。
4	平山夢明(著)東京伝説 2005 PB59_00485	でドル箱をジェットまで客の代わりに運ぶんだけど、えっちらおっちら酷く辛そうなんだ 病院行けよと言うと、ダイジョウブとふたりとも手を振って笑った。「全然、大丈夫じゃなかった。しばらくして奥さん、救急車で担ぎこまれ	・感動詞(間投詞)的。「病院に行け」という提案に対し、ふたりが「ダイジョウブ」と手を振った、という文脈からすると、婉曲な断り表現としての「ダイジョウブ」であろう。上の例"3"と同じく、主体によって表記を使い分けている。
5	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_01927	ここに質問にしては、少し不適切かもしれないですが、5行目があればダイジョウブかな？(笑直訳すると長くなりすぎて、とてもリズムになりません。日本の曲が海外のアーティストによって	・(形容動詞)述語文。
6	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_00878	庫に入れておこうと思っているのですが何日くらい持ちますか？火を通してているのなら3日はダイジョウブですよ。それ以上保存するのなら冷凍してみてください	・(形容動詞)述語文。

第4章 大丈夫

		でしょう	
7	Yahoo!知恵袋 2005 OC05_01379	色んな問題があるのはわかりますが、前向きに今後の事を考えましょう！！正統派日本人男・・・ダイジョウブだと思いますよ。。ある程度の文体・文口調見ていけば、だいたい同一人物じゃないのかなあ	・(形容動詞)述語文。
8	市報さいたま(浦和区版) 2008 OP22_00011	申込み…電話で区保健センターへシリーズ グッバイメタボ 8『あなたの食べ方ダイジョウブ?』 食べ物のおいしい季節になってきました。そこで今月は食べ方と、その改善方法についてお伝え	・(形容動詞)述語文。
9	Yahoo!ブログ 2008 OY07_01601	今年はインフルエンザにかからないと良いのですが・・・(;・∀・) ダダイジョウブ・・・?ちょっと心配だったりして・・・	・感動詞(間投詞)的。
10	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37896	だって~~~~服もいっぱい買ったんやも~~~~ん!!~~~~心配せんでも ダイジョウブ!!今の私は強い!!ちゃんと 前向いてるし 一歩前に進んでるって 確信してるっ!	・(形容動詞)述語文。
11	Yahoo!ブログ 2008 OY15_20306	ダルビッシュは百五十km超が無かったけど、球威も気持ちもノッてたから安心した。これでもうダイジョウブだと、タイ料理屋に移動して前祝い。これだけ色々食べたの久しぶり	・(形容動詞)述語文。
12	Yahoo!ブログ 2008 OY05_00844	この間友達に久しぶりにあったら『疲れた顔して~!!ダイジョウブかい?』って聞かれちゃいました^_^;^_^;^_^;	・感動詞(間投詞)的。
13	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33176	ベストセラー本の発表を見ていたら上位十位のうち6冊は読んでた。まだまだダイジョウブかな?いま一番疎いのは、洋服なんです。もう、どうでもよくなってます	・(形容動詞)述語文。
14	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21901	今朝、UPしようとしたら、なぜか消えてしまったのだけど、今度はダイジョウブかな??今日は、朝9時から、金山で会議。大好きなIさん	・(形容動詞)述語文。
15	Yahoo!ブログ 2008 OY15_22360	切符に萌えキャラをあしらったのは、「担当者の趣味」だそうですが、担当者・・・(;・∀・) ダダイジョウブ・・・?でも、北海道なので私は行けません・・・ — — ○	・感動詞(間投詞)的。
16	Yahoo!ブログ 2008 OY14_46197	人生迷子の僕に、居場所を~~(笑) 迷子になって歩き疲れてもダイジョウブなように、心のスタミナをつけなきゃ(笑) 本日、残業で、練習もあるので、夕方時間がないよ~	・形式的には形容動詞連体修飾。連体修飾の形式は、めずらしい例。
17	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00001	転んで打ったところをさすりながらぶつかっただのを見ようと上を見るのと同時に、「ダ、ダイジョウブデスカ?」と言う声と共に手が差し出された。声の主をよくよく見た幸は、	・感動詞(間投詞)的。
18	Yahoo!ブログ 2008 OY15_06204	どっちも、先行での勝ち。最近、逃げか先行でない、結果が出ないこの厩舎。ダイジョウブ・・・?強い馬である可能性も、無論ある。けど、どうしても人気先行になるしねえ・・・	・感動詞(間投詞)的。疑念の伴った「ダイジョウブ」。
19	Yahoo!ブログ 2008 OY15_13133	「萌え焼酎」といい、レオパレスZといい、最近の日本、なんかおかしくね・・・(;・∀・) ダダイジョウブ・・・?萌え焼酎はこれ↓” c(^っ,, --) φ	・感動詞(間投詞)的。
20	Yahoo!ブログ 2008 OY03_09837	修理に出していたデジカメが帰ってきました^ ^ v これで、動画の静止画をUPしなくてダイジョウブ~ ^ ^ v ヒャッポ~!!と、いきたいところですが、もしかして静止画、まだ残ってるかも	・(形容動詞)述語文。
21	Yahoo!ブログ 2008 OY15_15947	それはいいのだが、駅前雑居ビルの、どう考えても以前はスナックか風俗か、ってたはずまい(;・∀・) ダダイジョウブ・・・?どこの店も餃子の店だから、どこが美味しそうなのかってのはわかりづらい。	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

22	Yahoo!ブログ 2008 OY13_04141	ニュータイプではないので私に使いこなせるかが心配です・・・(;・∀・) ダダイジョーブ ・・・？	・感動詞(間投詞)的。"9", "15", "19", "21", "22" の例は、「(;・∀・) ダダイジョーブ 」という表現が同一であり、同じ書き手によるものとみられる。
23	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37896	一歩前に進んでるって 確信してるっ！！だから、、 ダイジョーブ ！！	・感動詞(間投詞)的。
24	Yahoo!ブログ 2008 OY02_00919	値段は1万円ほど安くなっています。FAX・アリガトウ、買わないで・ゴメンナサイ、こんな値段の叩き合いして・ ダイジョーブ ?もしかしたらPC一台五千円程度で作って、十倍の値段で売っているとか?	・(形容動詞)述語文。

4.7.5.6 検索語：「ダイジョーブ」(全6件より抜粋)(2021/02/08時点)

下表、資料番号“1”「ダイジョーブ」の発言主体はロボットのため、カタカナ表記を用いたようである。ただし、原典は英語とみられるため、日本語訳出の際に訳者によって工夫されたということになる。

図表 4.26：「ダイジョーブ」の実例 (BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス)

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	アイザック・アシモフ (著)/亀山龍樹(訳)時間 と空間の冒険 1986 LBan_00008	という夢をいだいたかもしれないが、年をとったわたしには、空想はしぼんでしまったよ 「 ダイジョーブ 」AL七十六号はそういった。いまやこのロボットの頭はくるっていたにせよ、だいぶん、いいほう	・感動詞(間投詞)的。「 ダイジョーブ 」の発言主体はロボットのため、カタカナ表記を用いたようである。ただし、原典は英語と考えられるため、日本語に訳出する際に工夫されたということ。

4.7.6 現代 (NUCC : 名大会話コーパス)

本項では、現代語の「大丈夫」、および、ひらがな表記「だいじょうぶ」、「だいじょぶ」について、NUCC (名大会話コーパス) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。検索結果数は、「大丈夫」が 477 件、「だいじょうぶ」が 95 件、「だいじょぶ」が 48 件であった。一方、前述「3.7「結構」の実例」、「3.7.6 現代 (NUCC)」の「結構」、「けっこう」の検索結果数については、「結構」が 1260 件、「けっこう」が 5 件であり、漢字表記「結構」が圧倒的に優勢であった。

「結構」グループと「大丈夫」グループ、両者を比較すると、「大丈夫」グループについては、ひらがな表記「だいじょうぶ」、「だいじょぶ」の割合が比較的高いことがわかる。ただし、これについては、NUCC (名大会話コーパス) は会話の音声データを任意の判断でテキスト化したものとみられるため、実際の書きことばの傾向を反映したものかどうかは定かではない。以下に、NUCC (名大会話コーパス) から、「大丈夫」、「だいじょうぶ」、「だいじょぶ」の実例について、表にまとめたものを示した。

4.7.6.1 検索語 : 「大丈夫」(全 477 件より抜粋) (2020/10/11 時点)

図表 4.27 : 「大丈夫」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	いいよ。それはいいんだけどー、ただね、本気で汚いからー。ほんと？大丈夫。あのねー、ちょ、ちょ、ちょっともう見たら卒倒しちゃう、これは。いや	・若年代から昇順に並べる。
2	女性 10 代前半 2002 data103	別に。記念だもん、記念。じゃ、ぜーったいに送ったりしない？たぶん大丈夫。絶対勝手なことしない？たぶん大丈夫。絶対だよ。うん。それだけ約束	・(形容動詞)述語文。
3	女性 10 代前半 2002 data103	そんなん着ないってほんつとに。これ、いこう。ほんとに着ないんだよ。大丈夫。これと、じゃあこのスカートいこう。んー？どうやって着んの？とねー	・単独で現れる「大丈夫」。間投詞的。文脈からすると、断りの意思表示としての「大丈夫」か。
4	女性 10 代前半 2002 data103	だってだって嫌だよ、これはお願い、ほんとに嫌だ。大丈夫。じゃあさ、足もと隠せばいいじゃん、ギターで。なるほどね。頭いいね。	・単独で現れる「大丈夫」。間投詞的。文脈からすると、断りの意思表示としての「大丈夫」か。
5	女性 10 代前半 2002 data103	よいしょ。えーっと。***。寒くない？この部屋。うん、大丈夫だよ。グラサン持って来たんだ今日。おー。すげー。んーと。	・(形容動詞)述語文。
6	女性 10 代前半	そうそううんたぶん、どこのHさんって聞かれるだろうけど、	・形容動詞連体

第4章 大丈夫

	2002 data104	下の名前言ったら大丈夫なんじゃない。えーすげーよ、ちょっと。すごいね。いいねー、そういう友だち	形。
7	女性 10代後半 2001 data065	スタートしてるから。ほんとに？うん、たぶんこれで大丈夫。おはよう。おはよう。すげー。ねえ、聞いてよー。何ー？大変なのー。	・(形容動詞)述語文。
8	女性 10代後半 2001 data072	1か月とかいうのが超高いのー。うんうんうんうん大丈夫？うん、大丈夫大丈夫。えっ、これでいいんだよね？うん、大丈夫大丈夫。うん。いい	・感動詞(間投詞)的。
9	女性 10代後半 2001 data072	にしゃべってて。うん、えーなってるよね。うん、なってるなってる。大丈夫じゃない？オッケー、オッケー。これさ、もうこの辺で大丈夫なの？うん、	・(形容動詞)述語文。
10	男性 10代後半 2002 data119	べつに。え、わかんない。まじですか。本気ですか。うそですか。大丈夫なんだ。そんなん、いいんだ。うんなんだ。結構貴重って言って	
11	女性 10代後半 2001 data077	うん痛い。あつ、えらい。くるでしょう、結構。あー、楽しいかも。くしゅん。大丈夫か？くしゅん。大丈夫か？くしゅん。大丈夫か。テレビ見ながらとか鍛えられるよ、	・感動詞(間投詞)的。
12	女性 10代後半 2001 data069	ているやつ？赤いやつ。あれ食べたことない。本当？きっと大丈夫だよ。大丈夫かな？コンブが好きなら。なんかすごい酸っぱいの。うんで、なんか	
13	女性 10代後半 2001 data069	行き方さえ教えてくれれば。本当に来る？ほん、方向音痴だけど。大丈夫。京王線に乗れば着くから。本当？うんじゃ、行くよー。本当？うん	
14	女性 20代前半 2002 data127	うん、朝の。明るかったもんだって。ああ、じゃあ私も普通かあ。全然大丈夫。なんか今日はなんか、昼から佳境だしさ。ああー、やっぱり酒臭いわけ	・近年、慣用的に多用される「全然大丈夫」。
15	女性 20代前半 2002 data086	K-1が好きなんだよ。そうそうそうそう。でも、やせてる人も大丈夫だし、太っても大丈夫。太っても大丈夫？太ってて、口	・(形容動詞)述語文。
16	女性 20代前半 2001 data006	マヨネーズとツナを混ぜたやつとかだったらまだいけるけど。うんうんうーんあつ、大丈夫かな。大丈夫だよ。お寿司あるから。私、お寿司だったら、	
17	男性 20代後半 2002 data093	MD、MDはほとんど飛ばないですよ。あ、MDはほとんど大丈夫。走っても大丈夫？走ったらどうかなあ。走ったらわ、からないですけど、まあ普通。で	・(形容動詞)述語文。
18	女性 20代後半 2001 data049	えーいや、私は1回体験した人だから。可児駅までだったら、大丈夫？ぱっちり。新可児駅？新可児駅までだったら大丈夫だけど。ああ、そこ	・(形容動詞)述語文。
19	女性 20代後半 2001 data013	点減すると、あれなんだ。やばいんだ。まだ点減してないから大丈夫だ。ふーん、そっか。じゃあ、明日 F004 ちゃん行くことにして。ほお？	・(形容動詞)述語文。
20	男性 20代後半 2002 data093	なりそう。ふーん国内線だったら、あれあれ、30分前とかでも大丈夫かねえ。そうですね、30分前ぐらいですな。8時半で3	・(形容動詞)述語文。
21	女性 30代前半 2002 data084	神経がもたないと思う。そうだよ。もし体力が大丈夫でも。もし大丈夫って思ったら、きっとその人、知らないうちに無理してて。うん。	・(形容動詞)述語文。
22	女性 30代前半 2001 data079	自分で。これ、私。こんなこと言ったらお婆さんの人生ね、ぐちっぽく。大丈夫、大丈夫。ここでお婆さんだつてばれるから。うん、そー、これ。えーっと、	・感動詞(間投詞)的。
23	女性 30代後半 2001 data002	えっどうしてって言ったらさ、ドン・ウォーリーとか、いや、だ、大丈夫だからとかって言うんだ。大丈夫ならさあ、言わなきゃいいじゃん。大丈夫言わ	
24	女性 30代後半 2002 data111	茶、いやお水もらいます？そうやな、お茶で飲んでても。大丈夫なんですか。何か私あんまりそういうのよくわかんなくて。ん、水	・(形容動詞)述語文。
25	女性 40代前半 2001 data114	1、2時間とかっていうとき、結構こう。でも、大丈夫。F085さん、大丈夫。大丈夫？***でしょう？雪が降ってる日な	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

		んか行かない。いや、雪	
26	女性 40 代後半 2001 data034	ねえうーん。いやうちはね、逆にこういうからいものとかっていくらでも大丈夫な人なの、からければからいほど。うん昔メキシコにちょっと旅行行ったときに	・形容動詞連体就職の「大丈夫」。ややまれ。
27	女性 40 代後半 2001 data005	あんま気にしてないね、その辺はね。Mちゃん大丈夫よ。大丈夫じゃないよ。全然大丈夫じゃないよ。よう言うわ。大丈夫だと思いますよ	・(形容動詞)述語文。「全然大丈夫じゃない」は上記 14「全然大丈夫」と対照をなす表現。
28	女性 50 代前半 2001 data042	これ。じゃあこれ F093 ちゃん。そんなに固くなかったでしょう？うんうん。大丈夫、大丈夫。よし、ほんなら、お母さんこれ1つ食べようか。うん、食べて。	・感動詞(間投詞)的。
29	女性 50 代後半 2002 data083	だってもしかしたら3日に届く。岐阜以外だったら結構雪じゃないと大丈夫かもよ。そうか、2日？うん。2日は休みでない。ない	・(形容動詞)述語文。
30	女性 60 代前半 2001 data009	おひ、お昼ごろ出てくって言っといたけども、いやまだ、うんまだ大丈夫。座ってて。ですねを片づけてから。うん、あ、ごめん、研究の	・(形容動詞)述語文。
31	男性 60 代前半 2001 data037	ね、この前同窓会で歌のときに、Bちゃん、あんた音痴なのに大丈夫って言うたんでね、ああー、そんなことまで、自分はずまく歌っているよ	・(形容動詞)述語文。
32	女性 60 代後半 2001 data033	って86歳よ。あ、そうですか目が見えてるってことはあの、大丈夫なのよ。そいで、た、取りにきて、あの、もうすっ飛んで取り	・(形容動詞)述語文。
33	女性 90 代前半 2001 data056	うん、そう。かなりもう。大丈夫？大丈夫。昨日転んじやったからね。うん大丈夫。あ、転んだ。うちの中で転ぶのがすごくおおいんだって。うん	・感動詞(間投詞)的。
34	女性 90 代前半 2003 data038	見せて。帯やなんかほどこけてないのか。あ、ちよっ、これか。大丈夫。これは、阿波踊りよ。うん阿波踊りなら知ってるでしょ。うん、なんか	・感動詞(間投詞)的。

4.7.6.2 検索語：「だいじょうぶ」(全 95 件より抜粋)(2021/01/28 時点)

図表 4.28：「だいじょうぶ」の実例 (NUCC：名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	みんな読者モデルなの。うん。うん。いいよね、でも。染めてだいじょうぶなら。だってそんなまじめに勉強してそういうとこ行ってないでしょう。	・若年代から昇順に並べる。(形容動詞)述語文。
2	女性 20 代前半 2002 data123	で一、なんかほんとにもう、どうせまゆ毛ないし。だいじょうぶだよ。ママにはなっていない。もう***。お疲れさまです。	・(形容動詞)述語文。
3	女性 20 代前半 2001 data011	でもその代わりかさが人質に取られた。だからね、うん、だいじょうぶ、今度私が運転するから全部。やだ、よけい寝れない。なんで一。こわ	・感動詞(間投詞)的。
4	女性 20 代前半 2001 data027	1人にさせといて一全然、あ、どうしよ一とか思わない。絶対だいじょうぶとか思う。そんな物好きいなと思う。物好き。ちよっとな、物好きじゃないと	・(形容動詞)述語文。
5	女性 20 代前半 2001 data026	お金が欲しかったの？まあ一。だいじょうぶ？どうかなったんじゃない？だいじょうぶ、だいじょうぶ。命にも代え難くらい車が好きだったじゃん。そうそうそう。	・感動詞(間投詞)的。
6	女性 20 代前半	ばあちゃんに電話してちょうだいって言いな。話すのも嫌だ。	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

	2001 data011	話せるの？だいじょうぶなの？うん、だから、だから年賀状は微妙なのよ、うち。	詞)的。
7	女性 20 代前半 2001 data011	ずーっとばばばば、ばばば。だいじょうぶ、教えてあげる。10メートルぐらい進んだらもう、いいから。だいじょうぶ。おまわりさんもない。絶対無理だって。じゃ、いいじゃん。カーナビだけ借りてきゃいいじゃん。	・感動詞(間投詞)的。
8	女性 20 代後半 2001 data016	どっかに逃げるとこある？もう、参りましたねー。しゃべってもだいじょうぶなところ。うーんうーん。何か上の演習室もあやしいよね。	・形容動詞連体修飾。
9	女性 20 代後半 2001 data015	ま、日本はこんなだからー、やっぱり油使わないとかね。うーんだいじょうぶですけど。うーんごま豆腐なんか大好きで。おいしいですよねー。作るの。	・(形容動詞)述語文。
10	女性 20 代後半 2001 data022	うーん。だからそやって分散行動しても、全然なんてーの、だいじょうぶな人っていうかさ。うんうん、うん。分散行動しちゃうとき、うん。そうだよねー。	・形容動詞連体修飾。
11	女性 20 代後半 2001 data022	うん。だから3人だったら、場所によるけれどさ。だいじょうぶだと思う。そうだよ。うーん、なるほどね。なんかさー、Bちゃん	・(形容動詞)述語文。
12	女性 30 代前半 2001 data017	わかんないけどね。ま、でもたぶんね、ぎりぎりになったらだい、だいじょうぶ。今年はいいてますよとかってどんどん下げてるし、ね、値段も。	・(形容動詞)述語文。
13	女性 40 代後半 2001 data018	嫌がってるの。嫌がってるていうか、どうしようて言うてる。だいじょうぶかなって言うてる。まあー。でも、まあ。でもまあ、連れてくの	・(形容動詞)述語文。
14	女性 50 代後半 2001 data010	がやってくれたじゃない。そうそう、怖かったね。怖かった。なんか、だいじょうぶかなとか言って。***行っただよ。だつてー、普通	・(形容動詞)述語文。
15	女性 50 代後半 2001 data008	テープレコーダーある？ある。ある？何でもだいじょうぶ、そういうふうなのでだいじょうぶかしら。そうそう、だいじょうぶ、だいじょうぶ。だいじょうぶ。これが、そのマイクは余分に持って	・感動詞(間投詞)的。
16	女性 60 代前半 2001 data008	なんかずいぶん、はい、いいです。ちょっとパセリ、多いかな。いい、だいじょうぶ、だいじょうぶ。ちょっと多いというよりも硬いかな、このパセリ。うん、うん、うん、	・感動詞(間投詞)的。
17	女性 60 代前半 2001 data009	どうして。***なんて。1人しか乗らないんだもん、だいじょうぶ、軽いのが1人で乗ってるだけなんだもん。***ないんだ	・感動詞(間投詞)的。
18	女性 60 代前半 2001 data018	よかったね。うん。1月とかってレポートの時期じゃないの。だいじょうぶなの。そうそう、それで、すごく嫌がってる、アメリカ行くの。嫌がって	・(形容動詞)述語文。
19	女性 60 代前半 2001 data030	うんうんうんだれの気兼ねもないしね。うん寒いわね、ちょっと。いえいえ私はだいじょうぶよ。ストーブつけたら***さ。はい、時間、おじゃましてごめんなさい。	・(形容動詞)述語文。文脈からすると、婉曲的断り表現としての「だいじょうぶ」。
20	女性 60 代前半 2001 data009	もしかしたら今日起こるかもね。だいじょうぶ、わたし運いいからだいじょうぶよ。うちが乗ったときは起こらないと思ってる。だつてもっと前に来ん	
21	女性 60 代前半 2001 data008	うんマニュアルだからこれだけ覚えておけば絶対だいじょうぶだつて。なるほどね。うん。そうすつと、それ以外はもうつかれちゃうから言わ	・(形容動詞)述語文。
22	女性 60 代前半 2001 data008	何でもだいじょうぶ、そういうふうなのでだいじょうぶかしら。そうそう、だいじょうぶ、だいじょうぶ。だいじょうぶ。これが、そのマイクは余分に持ってきたので、よろしいですか。	
23	男性 60 代後半 2001 data024	あそこからタクシーなかなか乗せてくれないかなと思ったから、最近に乗せてくれますね。だいじょうぶだと思います。	・(形容動詞)述語文。

第4章 大丈夫

		かなり不景気なんで。ええ。ですから、食事を終わって、	
24	女性 60 代後半 2001 data031	80 いくつのおばあさんだからね、そう言うんでしょうけど ね。今度、入って、だいじょうぶ？うん、だいじょうぶ、 だいじょうぶみたいよ、今度。途中でさっき、あれすればよ かったね。	・感動詞(間投 詞)的。
25	女性 60 代後半 2001 data008	私たちがね、もう録ってるの。6人ぐらいの高校生のあれを これで録ってだいじょうぶだった。ええええふーんただし、 6人になると、あのう、ビデオがないと、	・(形容動詞)述 語文。
26	男性 60 代後半 2001 data024	そしたら、7時50分ぐらいに食事に入って、20分ぐらい で食事を済ましたら、それでだいじょうぶかなと。あしたの 打ち合わせをしています。9時ですよ、スタートはね。	・(形容動詞)述 語文。

4.7.6.3 検索語：「だいじょぶ」(全48件より抜粋)(2021/01/29時点)

図表 4.29：「だいじょぶ」の実例 (NUCC：名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	1 回だけ人をかんだことあるけどー。こうやってね、こうや ってやるじゃん。うんだいじょぶ、恐くないからね。こうや ってやってー、行くよー、行くよ行くよ。うんあー、後ろ されると暴れるよ。だいじょぶ。だいじょぶ？だいじょぶ。 ね、だいじょぶ？だいじょぶだよ。ちょっとごめんね。こ こ、ここんとこ、こうやってやりながら。	・若年代から昇 順に並べる。
2	女性 10 代前半 2002 data104	写真集にはまってるの。うんうん。ごっくんとか言って。う わあーとか言って。ふふ、ふふ、ふふふふふ。だいじょぶ？ 平気。そろそろ切るか。ふん、そうだね。じゃ、録音終わり まーす。	・感動詞(間投 詞)的。
3	女性 10 代前半 2002 data103	やばい、やばい、やばい、これは。あー、変になっちゃうよ ん。だいじょぶ、直せばいいから。ピルンピルン持ってきた し、直すやつ。あれ、取れないー。	・感動詞(間投 詞)的。
4	女性 10 代前半 2002 data103	あっち行けー。そうね。外でね。スリッパはくよ。これは受 けます。だいじょぶか、F076(*伏字化人名)。うん。全然オッ ケーなんだけど。F076ーってなんで呼び捨てしてるの、人。	・「だいじょぶ」 を「全然オッケ ー」と言い換え ている。
5	女性 10 代前半 2002 data103	うん。ちょっと痛い痛い。あ、ごめんね。今ちょっと変など こ挟んだね。だいじょぶ？涙出てきた。あー、ごめん。大丈 夫？うん、大丈夫。痛い？うん	・「だいじょぶ」 と「大丈夫」、 二種のパリエ ーション。
6	女性 10 代前半 2002 data103	とりあえず写真撮ろうね。うん会話録音してる？録音してる。 よしだいじょぶ、だいじょぶ。かわいいよ。それ、まじで。 いや。ほんとに、冗談抜きで。いや。	・感動詞(間投 詞)的。
7	女性 10 代前半 2002 data103	F076(*伏字化人名)さんのスカートね、絶対入らんよ、もう。 入ったが。いや、これだけの気がする。だいじょぶ、だ いじょぶ。それはないから。ほんとにねー、やばいね。いや 太さがやばい。何を言っとん。	・感動詞(間投 詞)的。
8	女性 10 代前半 2002 data103	ちょ、ちょ、ちょっともう見たら卒倒しちゃう、これは。い や、それはだいじょぶだと思う。えっ、でもさ、これとか着 てみたら？	・(形容動詞)述 語文。
9	女性 20 代前半 2002 data125	あ、でも、一時停止で止めちゃえばよかったかな。だいじょ ぶ？いい、いいみたい。いいのかな。いいっぽい。えー。あ、 な何が入ってんだろう。	・感動詞(間投 詞)的。
10	男性 20 代前半 2001 data025	なんでそうなるの？えっ？ハンドパワーだよ。古い。逆じゃ ない？だいじょぶ。どっちでもできるの。何で？調子悪いな。 ネタばらししてるような	・感動詞(間投 詞)的。

第4章 大丈夫

11	女性 20 代前半 2002 data123	わかんないけど。ここだけの話だけど。あ、そうなんだそう。あー、けだるい。ねー。だいじょぶ？一応アルバイト中なんだよ。F141(*伏字化人名)。会話になってないよ、結構。そうかなーうん。	・感動詞(間投詞)的。
12	女性 20 代前半 2002 data105	ほんとに。うん。都会の猫は退治されちゃうよ。犬は飼っているとだいじょぶだけど。うん猫、猫って最近すごいなんか都会でさー、嫌われてるじゃんね	・(形容動詞)述語文。
13	女性 20 代前半 2002 data099	落とすわけにいかない大丈夫だって。落としたらだって、来年文化も取らなくちゃいけない、でしょう。絶対大丈夫だって。だいじょぶかなあ。だってー、木曜の6限でしょう。うんうん。大丈夫。大丈夫かなあ。うん、と思う。	・「だいじょぶ」と「大丈夫」、二種のバリエーション。
14	男性 20 代後半 2002 data092	あーそう、あ、じゃあ俺、もう全然余裕。うん縦列駐車、全然だいじょぶ。本当。うんほんじゃ違うのにしよ。おお。S字作って、S字勝負するか？	・(形容動詞)述語文。
15	女性 30 代前半 2003 data038	阿波踊りね。うんうんこれ、あの、この帽子ずれてない？だいじょぶ？え？か、顔とかずれてない？顔が何？ずれたりしてない？	・感動詞(間投詞)的。
16	女性 30 代前半 2001 data017	うん。へえー。ま、でも去年も一、ぎりぎりを取れたから、たぶん去年の感触からいくとだいじょぶかなとは思ってるけど。うんあ、そうなんだ。うん。うちもさ、旅行に行こうかみたいなことを	・(形容動詞)述語文。
17	女性 30 代後半 2001 data059	あ、でも、いいじゃない。あ、いやいやいやいや。いいわよ、また。だいじょぶ、普通のクッキーだったら焼ける。これねあの大きいのはちょっと。うん、見てみてくださる？あとで。	・感動詞(間投詞)的。
18	男性 40 代前半 2001 data048	これでだいじょぶだと思うんだけどな。もうちょっと。これでいいんかな。よいしょ。お待たせしました。	・(形容動詞)述語文。
19	女性 50 代前半 2002 data085	えー何か、かわいそう、お母さん。うんうん。何か、こう、丸1年、もうだいじょぶだと思ったら、もー。何か、120万もあつたら、私の買えるものなんてさー、何、いっぱい買えるよ	・(形容動詞)述語文。
20	女性 50 代前半 2002 data085	下ろせる金額？下ろせるでしょう。知らない。そんな大金下ろしたことはないもん。下ろせる。下ろせる。だいじょぶ、だいじょぶ。あー。心して行ってくださいね。だって、ちょっと怖いなー。	・感動詞(間投詞)的。

4.7.7 2020年9月の1ヶ月間(朝日新聞 聞蔵Ⅱ)

本項では、「大丈夫」、および、ひらがな表記「だいじょうぶ」について、近年における傾向をみるために、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による2020年9月、1ヶ月間の朝日新聞記事の検索を行った(2020/10/26時点)。期間は、2020年9月1日から2020年9月30日までの1ヶ月間とした。検索条件は、「朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA」/キーワード:「大丈夫」/発行日:「2020/09/01 から 2020/09/30」/その他指定なしとした。

まず、「大丈夫」および「だいじょうぶ」の実例を概観した上での、傾向と特徴について以下にまとめた(例文中の下線は筆者による)。

- ・「大丈夫」の検索結果数は、直近1ヶ月間(2020/09/01 から 2020/09/30)の検索結果

数が150件であり、比較的件数が多かった。

・「大丈夫」の形式については、ほぼ全てが「～は(が/その他)大丈夫(だ/です)」といった(形容動詞)述語文に類するものである。形容動詞連体修飾(「大丈夫な～」「大丈夫の～」)、形容動詞連用修飾(副詞的用法)はみられない。

・「大丈夫」について、形容動詞連体修飾(「大丈夫な～」「大丈夫の～」)は、近代においては比較的よくみられた用法であるが、近年においてはほとんど使われないようである。

・下表「大丈夫」“18”(2020/09/18)の例に、「大丈夫、死にやしねえよ」とある。例えば、前項「4.7.3 近代(神戸大学経済経営研究所 新聞文庫)」、「4.7.3.1 検索語:「大丈夫」」の例“17”に、「腹はもはや大丈夫決ったものと見てよい」とあるが、前者と後者は性質が異なるようである。前者“18”「大丈夫、死にやしねえよ」の「大丈夫」については、単独で現れる感動詞(間投詞)的なものとみなし、後節とは区切りがあるとみなす。一方、後者“17”「腹はもはや大丈夫決ったものと見てよい」の「大丈夫」は副詞と考えられる。

・下表「大丈夫」“29”(2020/09/29)の例、「天声人語」では、慣用句的な肯定表現としての「全然大丈夫」が取り上げられている。これについては賛否両論あるが、実際にはよく使われる表現である。類義表現として、「全然いい」「全然OK」等が挙げられる。

・ひらがな表記「だいじょうぶ」の直近1ヶ月間(2020/09/01から2020/09/30)の検索結果数は、6件であった。漢字表記「大丈夫」(150件)と比較すれば、件数は非常に少ない。ただし、特定の用途においてそれなりに使われていることが示唆される。例えば、子供の発話場面を示すために、意識的にひらがな表記にする場合、子供の読者を想定して、ひらがなでルビをふる場合、あるいは、通常の読者向けであるが意識的にひらがな表記にしてある場合等が挙げられる。ひらがな表記「だいじょうぶ」は、通常の漢字表記「大丈夫」より、優しさや柔らかさを読者に認識させるといった効果が期待できるようである。

以下の表に、「大丈夫」、および、「だいじょうぶ」の実例を時系列でまとめた。

第4章 大丈夫

4.7.7.1 検索語：「大丈夫」（全150件より抜粋）（2020/10/26時点）

図表 4.30：「大丈夫」の実例（朝日新聞 開蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月01日 朝刊 教育1	トランスジェンダー学生、自信見つける場に 奈良女子大・三成美保副学長 トランス女性だけの問題ではなく、個人のアイデンティティーが、見えないところで法律に縛られているということですね。 人間存在の本質に関わってくる問題でしょう？ だから、TGだけでなくLGBTの問題って、めちゃくちゃ学生の関心が高い。若い学生はそういう感受性を持っているので、一般的に人権問題を語るよりもはるかに食いつきがいい。隣に当事者の人がいるかもしれない。自分の言葉づかいや対応は大丈夫かと、問い直しができる。学生は、自分の問題としてとらえることができます。	・(形容動詞) 述語文。
2	2020年 09月02日 朝刊 福井全県 ・1地方	盲導犬との暮らし学ぶ 福井・豊小、全盲の早苗さん講演 /福井県 講演を聴いた龍崎愛凜さん(10)は「盲導犬と9年間一緒にいて、早苗さんもいろんな体験ができたと思う。目の不自由な人がいたら大丈夫ですか、困っていますか、と声を掛けたい」と話した。	・(形容動詞) 述語文。
3	2020年 09月03日 朝刊 囲碁将棋	勝負手 第78期将棋名人戦七番勝負 第5局第9譜 6二の玉を7三へ。渡辺はわずか2分の決断で玉が上がった。この一番の土壇場で、この早さでこの手を指せる棋士が他にいるだろうか。「△7一玉はダメそうだし、少ししか読んでいませんが、見た目、大丈夫そうだという直感にかけた」と後日の渡辺。	・(形容動詞) 述語文。
4	2020年 09月04日 朝刊 備後 ・1地方	被災者に伴走、今後も 豪雨、支え合いセンター2年 /広島県 約1千棟の住宅が全半壊した三原市では、支え合いセンターの見守り対象が最大で約1千世帯に上ったが、現在は約50世帯に減った。田中清美センター長は「被災された方が『もう大丈夫』と言っても、生活は決して被災前に戻らない。前を向いて歩いていく人に伴走する」と話す。	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
5	2020年 09月05日 朝刊 スポーツ 1	石川6連勝、タカと2.5差 ロッテ4ー3ソフトバンク プロ野球 四回に2点目を失っても、そこから大崩れをしないのがロッテの先発・石川だ。「連打を食らったわけじゃない。間違えなければ大丈夫」。丁寧にコースをついて凡打を誘い、ソフトバンク打線を勢いづかせない。	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
6	2020年 09月06日 朝刊 2社会	(2020大阪の選択) 都構想論戦、静かに始動 各党、街頭演説や 党員説明会【大阪】 府と市が「特別区で収支不足は発生しない」とする財政シミュレーションを発表していることについても「財政的にも大丈夫なんて、口約束だ」と批判した。	・(形容動詞) 述語文。
7	2020年 09月07日 週刊 アエラ	脳のオンライン疲れ解消法 今すぐできる14のコツと習慣 テレワークの弊害 「1日5分でいいので、ぼんやりする時間を作ってほしい。その5分間は、目をつぶる必要はなく、対象物を追いかけず、ぼーっとするだけで大丈夫。パソコンやスマホから完全に離れてメールや電話などの邪魔が入らない環境で、窓の外に目を向け、自然を眺められればさらに効果的です」	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
8	2020年 09月07日 週刊 アエラ	大学閉鎖なのにGoTo 大学1年生の孤立「我慢も限界」 新型 コロナ・第2波まっただ中 ■「新しい友いない」3割 大学1年の子を持つ、保護者たちも危機感を募らせている。「娘は朝から晩までパソコンと向き合う、実質引きこもり状態でした。こんな生活を延々続けて、社会に出てから大丈夫なのでしょうか？」(東京都・52歳)	・(形容動詞) 述語文。
9	2020年	(特派員メモ ベルリン) 新空港、今度こそ	・(形容動詞)

第4章 大丈夫

	09月08日 朝刊 1 外報	ベルリンに今年10月末、新空港が開業する――はずだ。設計の不備などで、当初の2011年から何度も延期された。「今度は大丈夫？」といぶかる人も少なくない。	述語文。形容動詞語幹。
10	2020年 09月09日 朝刊 1 経済	(けいざい+) 人が消えたロンドン：上 「みんな在宅勤務」嘆くバブ店主 英シンクタンク「センター・フォー・シティーズ」のポール・スウィニー氏は「政府は職場に戻っても大丈夫という一方で、感染リスクがどれくらい減ったか明確に示せていない。会社員は公共交通機関での通勤を嫌がっている」と指摘する。	・(形容動詞) 述語文。09月10日の例はなし。
11	2020年 09月11日 朝刊 神奈川 全県 ・2 地方	(ゆるり湘南) 旧平塚宿 平塚市 食べて走って巡って和菓子ラン／神奈川県 フルマラソンは2時間30分台で、大の和菓子好き。最近は太りやすくなったが「食べた分、消費すればいい。走りながら食べれば罪悪感がない」。街おこしにもなる。「平塚って和菓子屋が多い。こんな環境じゃなくちゃ、できない」。パンは苦しくなるが、和菓子は大丈夫という。	・(形容動詞) 述語文。
12	2020年 09月12日 朝刊 福島全県 ・2 地方	災禍を生き抜く未来とは 東北大、特別対談 今村氏・須賀氏・押谷氏／福島県 一何が必要か。 須賀「一人一人の意識の問題だ。気象庁は『これまで経験したことのないような大雨が降る』と言うようになった。だがそこで避難するか、経験から大丈夫だと思うか、情報を受けとる側の力量が問われる」	・(形容動詞) 述語文。
13	2020年 09月13日 朝刊 テレビ2	(試写室)『有吉ゼミ』 「自給自足ハウス」を作る 柱を切って大丈夫?と思いきや、ある方法を示すヒロミ。「そうすると、構造上問題ない」と語る姿にほれほれ。金属の溶接もこなすなど、なんでもござれだ。一方、ジェシーは職業柄得意な場所?である作業に臨む。	・(形容動詞) 述語文。形容動詞語幹。
14	2020年 09月14日 週刊 アエラ	(AERA NOTE) 高濱正伸先生が特別編集長 これからの時代に親が持っていたい「子育ての軸」とは? ■韓流MOOK発売中 韓流“沼”にどっぷりハマる 「愛の不時着」「梨泰院クラス」「サイコだけど大丈夫」――。コロナ禍の巣ごもりで韓流ドラマが一大ブームだ。	・(形容動詞) 述語文。形容動詞語幹。
15	2020年 09月15日 朝刊 秋田全県 ・1 地方	秋田出身、初の首相へ 「地元から…すごい」 自民新総裁に菅氏／秋田県 自民党支持者ではないが、菅氏を信頼し、期待しているという。「大丈夫だと思いますよ。苦勞しているだけあって、人柄も良いでしょう」。	・(形容動詞) 述語文。
16	2020年 09月16日 朝刊 オピニオン 2	(声 どう思いますか) 好きなこと、どこまで ■声かけは控えめに、「夢中」を尊重 友だちとの関わりは、本人が困っていなければ大丈夫です。一番身近なご両親がお子さんのことを理解し、あたたかく見守っていればよいのではないのでしょうか。	・(形容動詞) 述語文。
17	2020年 09月17日 朝刊 スポーツ 3	(自由自在)「気づき」もたらず、アスリートの覚悟 タイトルやグッズに記す「;」(セミコロン)は接続詞なしで文をつなげる記号で、ピリオドを打たずセミコロンで文を連ねるように「精神的にまいっても大丈夫と気づいてほしい。少し止まればいいだけ。助けを求めてほしい」と願う。	・(形容動詞) 述語文。
18	2020年 09月18日 夕刊 夕刊F 金曜3面	(私の描くグッとムービー) 荻原浩さん「きつと、うまくいく」 ■社会に物申す青春映画 「うまくいく」はランチョーの口癖であり、呪文のような言葉。僕の場合は「大丈夫、死にやしねえよ」ですね。広告会社時代に先輩女性から言われた言葉ですが、これを信じて生きてきた感じです。現実はいろいろありますが、前向きに捉えることが大切と思います。	・感動詞(間投詞)的。
19	2020年 09月19日 朝刊 愛媛全県	特殊詐欺「おせっかいで防止」 伍代夏子さんが啓発／愛媛県 特殊詐欺の被害を防ごうと、警察庁の「特別防犯支援官」で演歌歌手の伍代(ごだい)夏子さん(58)＝写真＝が18日、松山市の県警本部を訪れた。「大丈夫と書いていても、いつ被害に遭うかわ	・感動詞(間投詞)的。

第4章 大丈夫

	・1 地方	からない」と、注意を呼びかけた。	
20	2020年 09月20日 朝刊 リライフ	(なるほどマネー) 不用品、上手に処分 ネットや店舗、広がる選択肢 ハードオフコーポレーション(新潟県新発田市)はテレビやパソコンを扱う。説明書や付属品があれば、一緒に持つて行く。担当者は「家に眠っているレコード、ラジカセ、ビデオデッキなど、壊れていても大丈夫です」。お酒も未開封なら買い取りの対象だ。	・(形容動詞) 述語文。
21	2020年 09月21日 週刊 アエラ	20年の「肩重い」に決別できた夜 ファシアへの刺激とストレッチの効果を体感 ■虫歯と同様予防が大切 「これまでの悪い蓄積が残っていますので、まずは三つの筋肉をしっかり緩めましょう。その後はパソコンを使ったり文字を書いたりという肩甲骨が前に出るような動きをした後に、必ずストレッチをして筋肉を緩めれば大丈夫。虫歯にならないよう、ものを食べたら歯を磨くのと同じことです」	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
22	2020年 09月22日 朝刊 スポーツ 2	■試合投げぬ忍耐力「英樹は大丈夫」 元キャディー・進藤さん 「8オーバーの選手は普通、あんないいショットを打てない。最後のショットで、英樹は大丈夫だと安心した。その気持ちがある限り、優勝はやってくる」	・(形容動詞) 述語文。
23	2020年 09月23日 朝刊 生活1	(ひととき) 13年たった今 13年前のこと。仕事帰りに家までの道を歩いていると、後ろから突然「大丈夫ですか？」と声をかけられました。振り向くと、外国人の方から「歩くのととても遅いですね。疲れていますか？」と言われました。 びっくりして「わかりますか」と聞き返しました。実は当時、姉と母を病気で亡くし、仕事でも悩みを抱えていたので、とっても疲れていたのです。	・(形容動詞) 述語文。
24	2020年 09月24日 夕刊 夕刊F 木曜1面	「最高の悪友」ベートーベンに仕返し 山下洋輔が公演 ファンクで苛烈、自分の音楽にアレンジ 「初対面」は音大受験の時。高校の時にプロの現場で仕事を始めたが、「このままジャズだけやって大丈夫なのか」との不安が「人類の遺産」であるクラシックへと背中を押した。	・(形容動詞) 述語文。
25	2020年 09月25日 夕刊 夕刊F 金曜5面	ブームの卵 マリオン ■太陽光充電式の虹色ランタン◎ 重さ86gと軽く、どこにでも持つて行けるうえ、防水仕様のため、雨や水辺でも大丈夫。インテリアライトや、防災グッズ、アウトドア用品としても、だれでも簡単に使えるよ。	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
26	2020年 09月26日 朝刊 福井全県 ・2 地方	若越歌壇・川柳 / 福井県 ●若越歌壇 紺野万里選 五年経て術後検診卒業す祝福受けし蟬大合唱(敦賀) 畑守みち代 【評】「もう大丈夫」というお墨付きをもらい、晴れ晴れとした気持ちで病院を出たら、蟬の音が迎えてくれた。結句は字余りにせず、七音に収めると一首が落ち着きますので、下句は「祝福のごとき蟬の合唱」「蟬の合唱祝福のごと」などでもよいのでは。	・(形容動詞) 述語文。
27	2020年 09月27日 朝刊 三重全県 ・1 地方	伊賀鉄全車両で抗ウイルス加工 30日から運行 / 三重県 同社の藤巻恵鉄道営業部長は「ステッカーを見て、普通に公共交通機関を利用して大丈夫、という安心感を持っていただきたい」と期待している。	・(形容動詞) 述語文。
28	2020年 09月28日 夕刊 1 総合	脱・東京一極集中、パツナが一石 本社機能を兵庫・淡路島に移転、1200人移住計画 ■コロナで決断・東京に残るか選べる 南部代表に聞く 一すでに東京に生活基盤がある社員が、大丈夫だろうか。ネット上では「島流し」と揶揄(やゆ)する声まである 手当をつけたり、住居を手配したりもする。デュアルな生活もでき、メリットがある。(島流しは) そう思う人はそれでよく、否定すべきでないと思うが、淡路島は日本のど真ん中だ。食べ物もおいしい。「島」がつくから、そう思われるだけだろう。	・(形容動詞) 述語文。

第4章 大丈夫

29	2020年 09月29日 朝刊 1 総合	(天声人語) 言葉は世につれ(*全文) 「全然大丈夫」という言葉を初めて耳にしたのは20年ほど前だったか。その衝撃を今も覚えている。え、全然は「全然知らない」など否定形につく言葉じゃないの。日本語の乱れここに極まれり。でも肯定で使ってみると面白みも感じた▼すっかり定着した全然大丈夫だが、必ずしも誤用とは言えないらしい。言語学者加藤重広さんの『日本人も悩む日本語』によると「全然+肯定」の用法は江戸時代から見られ、明治になっても珍しくなかった▼漱石の『坊っちゃん』にも「全然悪(わ)るいです」の台詞(せりふ)が出てくる。いつの間にか「全然+否定」が主流になったようで、何が乱れなのか分からなくなる。そう考えると、この意識調査も興味深い。国語の乱れを感じる人がだんだん減っているという▼文化庁によると「今の国語は乱れている」と思う人は20年前は85%だったが、直近は66%である。言葉は変化し続けており、むしろ人々の受け入れ幅が広がっているのだろう▼言葉は世につれ、である。「ブラック企業」は暴力団関連企業を指す隠語だったが、「若者を酷使する企業」として使われるようになり、問題企業を告発する運動につながった。一方で人種差別的観点から、ブラックを否定的に使うべきでないとの議論も出ている▼「全然+肯定」に戻ると、今の使い方は配慮の意味もあるらしい。「私の料理、おいしくないでしょ」に対して「全然おいしい」と言えば、優しさがにじむ。言葉は、人と人とのつながりも映し出す。	・(形容動詞) 述語文。慣用句的な「全然大丈夫」。これについては賛否両論あるが、実際にはよく使われる表現。
30	2020年 09月30日 朝刊 オピニオン 2	(声) 生きた言葉こそ震災「伝承」する 「この状況で『戻りなさい、戻っても大丈夫ですよ』と言われても難しい。昨秋、同県の沿岸地域を初めて訪れ、帰還困難区域に近い場所で聞いた語り部の方の言葉だ。事前に添削を受けた原稿を読んだのではなく、その方の生きた言葉だったから、自分の記憶に深く残っている。	・(形容動詞) 述語文。

4.7.7.2 検索語：「だいじょうぶ」(全6件)(2020/10/27時点)

図表 4.31：「だいじょうぶ」の実例(朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間)

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月12日 朝刊 子育て	■そっち? ●好きなこんにゃくの煮物をお母さんが作ってくれたんだけど、他はみんな灰色っぽいのに一つだけ茶色っぽかったよ。「こんにゃくさん、やけどしてるね。だいじょうぶかなあ」(大阪市 浅野那歩・3歳) 【写真説明】 髪が伸びてきたけど、外出自粛だから床屋に行けず家で切ってもらうことに。「ママ、だいじょうぶかなあ……」(横浜市青葉区 鯉淵大瑛(まさあき)・3歳) = 家族提供	・幼児の発話場面のため意識的にひらがな表記にしたようである。
2	2020年 09月19日 朝刊 週末be ・b10	(悩みのるつぼ) 身内にそっけなくしてしまう ○回答者 社会学者・上野千鶴子 シェアハウスの下宿人同士と考えると だいじょうぶ、団欒(だんらん)がなくても会話がなくても、ルーティンで保(も)つのが家族というもの。お互いに役割を果たしていれば最小限のコミュニケーションですみます。会話の尽きない家族って、それもキモチワルい。いっそシェアハウスの下宿人同士と考えるとどうでしょう。シェアハウスの仲間は助け合いや役割分担をしても、仲良くしなければならぬ義理はありません。	・感動詞(間投詞)的。
3	2020年 09月22日 朝刊	(いちからわかる!) 5年に1度の国勢調査、コロナ下で実施中だね ■インターネット・郵送回答を呼びかけるなど工夫している ア 今回の調査はうまくできるの?	・子供の読者を想定して、ひらがな表記

第4章 大丈夫

	2 総合	<p>A 工夫をしている。顔を合わせて調査票の説明や配布をするのが原則だったけど、インターホン越しでもできるようにした。自治体の職員が担当するところもあるんだ。政府は、インターネットや郵送での回答を呼びかけているよ。</p> <p>ア 大丈夫(だいじょうぶ) そうだね。</p> <p>A どうだろう。新型コロナウイルス感染症(しょう)が広がる前から課題はあったんだ。</p>	(ルビ)も併記している。
4	2020年 09月25日 週刊 週刊朝日	<p>コロナだけど、シニアのひとり時間を楽しむ インスタグラマー、LINEで孫と会話、講師、畑仕事…</p> <p>■スマホやズーム学ぶ高齢者急増</p> <p>東京に住む孫も、ひ孫3兄弟の写真を送ってくれる。</p> <p>『『かわいいね。これから出かけるね』とメッセージを送ると、『だいじょうぶ?』との返事がきました』と佐智子さんは笑う。</p>	・子供の発話場面のため意識的にひらがな表記にしたようである。
5	2020年 09月26日 朝刊 子育て	<p>(子どもの本棚)「ここにいる」 父と共に過ごした豊かな時間</p> <p>■おまじない唱えて、不安を勇気に つるかめ・くわばらなど紹介</p> <p>病気よけ、縁起直しなど、日本各地に伝わってきたおまじないを唱える場面が、短い言葉でテンポよく続く。最後に出てくるのは、中脇さんも小さい頃から周りの大人たちにかけてもらったという「だいじょうぶ」の言葉。誰もが自分を重ねて「だいじょうぶ」と思えるよう、添えた子どもの絵は、性別を限定しないように描いてもらった。</p>	・感動詞(間投詞)的。
6	2020年 09月27日 朝刊 長崎全県 ・1地方	<p>(変わり目のつぶやき 令和を迎えて) ロシアの反政権活動家搬送</p> <p>青来有一 /長崎県</p> <p>ナバリヌイ氏は帰国を望んでいるらしい。プーチン大統領は、フランスのマクロン大統領との電話会談で、ロシア政府が関与したという主張は事実無根だと話したという。ほんとうにだいじょうぶなのか。やはり、気にかかる。</p>	・(形容動詞)述語文。

4.7.8 中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦兩漢）

「先秦兩漢」期における、「大丈夫」の検索結果数は、49件であった。まず、「中国哲学書電子化計画」内の「CTP辞典」に、中国古典籍における「大丈夫」についての意味記述がみられた。以下の表に示した。

図表 4.32 : 「中国哲学書電子化計画」、「CTP辞典」における「大丈夫」の意味記述

語	ピンイン /注音	中国語 意味記述	英語 意味記述	備考
大丈夫	dà zhàng fū ㄉㄚˋ ㄓㄨㄤˋ ㄈㄨ	有志氣有作為的男子。	Great man, man of ambition and achievement.	

つまり、日本語で意識すれば(筆者による)、「志気が高く、大きなものごとを成し遂げようとする強い意志を持った男」といった意味になろう。

なお、原典のテキスト表示にならない、表記は中国語繁体字を基本とした。ただし、明朝体がない字形の場合、他の書体で代替している場合がある。得られた実例は、検索結果の

第4章 大丈夫

順序通りに並べた。したがって、必ずしも完全な通時順とはなっていない場合もある。検索結果数については、延べ数を示したものである。一作品中に複数の該当例がある場合もあるため、下表の実例数とは一致しないこともある。以下に、「中國哲學書電子化計劃」、「先秦兩漢」期における「大丈夫」の実例を表にして示した。

4.7.8.1 検索語：「大丈夫」（全49件）（2021/01/09時点）

図表 4.33：「大丈夫」の実例（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《先秦兩漢》 《儒家》 《孟子》 [戰國] 紀元前 340-250 年 《孟子》 《滕文公下》 7	景春曰：「公孫衍、張儀豈不誠大丈夫哉？一怒而諸侯懼，安居而天下熄。」 孟子曰：「是焉得為大丈夫乎？子未學禮乎？丈夫之冠也，父命之；女子之嫁也，母命之，往送之門，戒之曰：『往之女家，必敬必戒，無違夫子！』以順為正者，妾婦之道也。居天下之廣居，立天下之正位，行天下之大道。得志與民由之，不得志獨行其道。富貴不能淫，貧賤不能移，威武不能屈。此之謂大丈夫。」	
2	《儒家》 《潛夫論》 [東漢]102-167 年 王符著 《潛夫論》 《釋難》 9	秦子問於潛夫曰：「耕種、生之本也，學問、業之末也。老聃有言：『大丈夫處其實，不居其華。』而孔子曰：『耕也，餒在其中；學也，祿在其中。』敦問今使舉世之人，釋耨耒而程相群於學，何如？」	
3	《儒家》 《風俗通義》 [東漢]190-200 年 《風俗通義》 《窮通》 《韓信》 1	韓信常從南昌亭長食，數月，亭長妻患之，乃晨早食。食時信往，不為具食。信亦知意，遂絕去。釣城下，有一漂母見信飢，飯之，竟漂數十日。信曰：「吾必重報母。」母怒曰：「大丈夫不能自食，吾哀王孫耳，豈望報乎！」淮陰少年有侮信者，曰：「君雖姣麗，好帶長劍，能死，刺我；不能，則出我跨下。」於是信熟視之，俛出跨下，匍匐，一市人皆笑，以為信怯。後佐命大漢，功冠天下，封為楚王。賜所食母千金，及亭長與百錢，「公、小人也，為德不竟。」召辱之少年，以為中尉，告諸侯將相曰：「此人、壯也，方辱我時，豈不能殺之？殺之無名，故忍於此也。」	
4	《儒家》 《孔叢子》 [東漢-三國] 25-265 年 《陳士義》 8	東里閻、空腹而好自賢，欲自親於子順。子順弗下顏。或曰：「夫君子之交於世士，亦取其一節而已。今東閻子疏達亮直，大丈夫也，求為先生役，而先生無意接之。斯者、無乃非周公之交人乎？」子順曰：「此吾所以行周公之行也。夫東閻子外質頑拙，有似疏直，然內懷容媚諂彰，非大丈夫之節也。若其度骸稱膚，面目鬢眉，實美於。聖人論士，不以為貴者，無益於德故也。然東閻子中不應外，侮慢世士，即所謂愚人而謂人為愚者也。恃其虛狀以不德於人。此乃周公之所罪，何交之有？」	
5	《儒家》 《孔叢子》 [東漢-三國] 25-265 年 《執節》 2	魏安釐王問子順曰：「馬回之為人、雖少才文，梗梗亮直，有大丈夫之節。吾欲以為相，可乎？」答曰：「知臣莫若君。何有不可？至於亮直之節，臣未明也。」王曰：「何故？」答曰：「聞諸孫卿云：『其為人也、長目而豕視者，必體方而心員。』每以其法相人，千百不失。臣見回非不偉其體幹也，然甚疑其目。」王卒用之。三月，果以諂得罪。	
6	《儒家》 《孔叢子》 [東漢-三國] 25-265 年 《獨治》	子魚生於戰國之世，長於兵戎之間，然獨樂先王之道，講習不倦。季則謂子魚曰：「大丈夫不生則已，生則有云為於世者也。今先生淡泊世務，脩無用之業，當身不蒙其榮，百姓不獲其利。竊為先生不取也。」子魚曰：「不如子之言也。武者、可以進取，文者、可與守成。今天下將擾擾焉，終必有所定。子脩武以助之取，吾	

第4章 大丈夫

	1	脩文以助之守，不亦可乎？且吾不才，無軍旅之任，徒能保其祖業，優遊以卒歲者也。」	
7	《道家》 《道德經》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《道德經》 [又名：《老子》] 38	上德不德，是以有德；下德不失德，是以無德。上德無為而無以為；下德為之而有以為。上仁為之而無以為；上義為之而有以為。上禮為之而莫之應，則攘臂而扔之。故失道而後德，失德而後仁，失仁而後義，失義而後禮。夫禮者，忠信之薄，而亂之首。前識者，道之華，而愚之始。是以大丈夫處其厚，不居其薄；處其實，不居其華。故去彼取此。	・最も古い例のうちのひとつ考えられる。
8	《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 [又名：《通玄真經》] 《道原》 2	老子曰：大丈夫恬然無思，惔然無慮，以天為蓋，以地為車，以四時為馬，以陰陽為御，行乎無路，遊乎無怠，出乎無門。以天為蓋則無所不覆也，以地為車則無所不載也，四時為馬則無所不使也，陰陽御之則無所不備也。是故疾而不搖，遠而不勞，四支不動，聰明不損，而照明天下者，執道之要，觀無窮之地。故天下之事不可為也，因其自然而推之，萬物之變不可救也，乘其要而歸之。	
9	《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 《精誠》 21	「聖人之法，始於不可見，終於不可及，處於不傾之地，積於不盡之倉，載於不竭之府。出令如流水之原，使民於不爭之官，開必得之門，不為不可成，不求不可得，不處不可久，不行不可復。」大人行可說之政，而人莫不順其命，命順則從，小而致大，命逆則以善為害，以成為敗。夫所謂大丈夫者，內強而外明，內強如天地，外明如日月，天地無不覆載，日月無不照明。大人以善示人，不變其故，不易其常，天下聽令，如草從風。政失於春，歲星盈縮，不居其常；政失於夏，熒惑逆行；	
10	《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 《上仁》 15	老子曰：為仁者，必以哀樂論之，為義者，必以取與明之，四海之內，哀樂不能遍，竭府庫之財貨，不足以贍萬民，故知不如脩道而行德，因天地之性，萬物自正而天下贍，仁義因附，「是以大丈夫居其厚，不居其薄。」夫禮者，實之文也，仁者，恩之效也，故禮因人情而制，不過其實，仁不溢恩，悲哀抱於情，送死稱於仁。	
11	《道家》 《老子河上公章句》 《德經》 《論德》 1	夫禮者，忠信之薄言禮廢本治末，忠信日以衰薄。而亂之首。禮者賤質而貴文，故正直日以少，邪亂日以生。前識者，道之華不知而言知為前識，此人失道之時，得道之華。而愚之始。言前識之人，愚闇之倡始也。是以大丈夫處其厚，大丈夫謂得道之君也。處其厚者，謂處身於敦樸。不居其薄，不處身違道，為世煩亂也。處其實，處忠信也。不居其華。不尚華言也。故去彼取此。去彼華薄，取此厚實。	・年代の表記はなし。
12	《法家》 《韓非子》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《韓非子》 [又名：《韓非》]， 《韓子》] 《解老》 8	所謂大丈夫者，謂其智之大也。所謂處其厚不處其薄者，行情實而去禮貌也。所謂處其實不處其華者，必緣理不徑絕也。所謂去彼取此者，去貌徑絕而取緣理好情實也。故曰：「去彼取此。」	・最も古い例のうちのひとつ考えられる。
13	《雜家》 《淮南子》 [西漢] 紀元前 206-9 年 《淮南子》 [又名：《淮南》]， 《鴻烈》] 《原道訓》 4	昔者馮夷、大丙之御也，乘雲車，入雲霓，遊微霧，驚悅忽，歷遠彌高以極往。經霜雪而無跡，照日光而無景。扶搖挾抱羊角而上，經紀山川，蹈騰昆侖，排闔闔，淪天門。末世之御，雖有輕車良馬，勁策利鍛，不能與之爭先。是故大丈夫恬然無思，澹然無慮，以天為蓋，以地為輿，四時為馬，陰陽為御，乘雲陵霄，與造化者俱。縱志舒節，以馳大區。可以步而步，可以驟而驟。令雨師灑道，使風伯掃塵；電以為鞭策，雷以為車輪。上游於霄霓之野，下出於無垠之門，劉覽偏照，複守以全。經營四隅，還反於樞。	
14	《史書》 《史記》 [西漢]	高祖常繇咸陽，縱觀，觀秦皇帝，喟然太息曰：「嗟乎，大丈夫當如此也！」	

第 4 章 大丈夫

	紀元前 109-91 年 司馬遷著 《本紀》 《高祖本紀》 3		
15	《史書》 《史記》 [西漢] 紀元前 109-91 年 司馬遷著 《列傳》 《淮陰侯列傳》 2	信釣於城下，諸母漂，有一母見信饑，飯信，竟漂數十日。信喜，謂漂母曰：「吾必有以重報母。」母怒曰：「大丈夫不能自食，吾哀王孫而進食，豈望報乎！」	
16	《史書》 《史記》 [西漢] 紀元前 109-91 年 司馬遷著 《列傳》 《淮陰侯列傳》 16	漢四年，遂皆降平齊。使人言漢王曰：「齊偽詐多變，反覆之國也，南邊楚，不為假王以鎮之，其勢不定。願為假王使。」當是時，楚方急圍漢王於滎陽，韓信使者至，發書，漢王大怒，罵曰：「吾困於此，且暮望若來佐我，乃欲自立為王！」張良、陳平躡漢王足，因附耳語曰：「漢方不利，寧能禁信之王乎？不如因而立，善遇之，使自為守。不然，變生。」漢王亦悟，因復罵曰：「大丈夫定諸侯，即為真王耳，何以假為！」乃遣張良往立信為齊王，徵其兵擊楚。	
17	《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名：《前漢》] 《紀》 《高帝紀》 《高帝紀上》 3	高祖常繇咸陽，縱觀秦皇帝，喟然大息，曰：「嗟乎，大丈夫當如此矣！」	
18	《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名：《前漢》] 《傳》 《韓彭英盧吳傳》 2	吾必重報母。」母怒曰：「大丈夫不能自食，吾哀王孫而進食，豈望報乎！」淮陰少年又侮信曰：「雖長大，好帶刀劍，怯耳。」眾辱信曰：「能死，刺我；不能，出跨下。」於是信執視，俛出跨下。一市皆笑信，以為怯。	
19	《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名：《前漢》] 《傳》 《韓彭英盧吳傳》 18	使人言漢王曰：「齊夸詐多變，反覆之國，南邊荒，不為假王以填之，其勢不定。今權輕，不足以安之，臣請自立為假王。」當是時，楚方急圍漢王於滎陽，使者至，發書，漢王大怒，罵曰：「吾困於此，且暮望而來佐我，乃欲自立為王！」張良、陳平伏後躡漢王足，因附耳語曰：「漢方不利，寧能禁信之自王乎？不如因立，善遇之，使自為守。不然，變生。」漢王亦寤，因復罵曰：「大丈夫定諸侯，即為真王耳，何以假為！」遣張良立信為齊王，徵其兵使擊楚。	三つ前の例、《史記》《淮陰侯列傳》の例と重複している。
20	《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名：《前漢》] 《傳》 《嚴朱吾丘主父徐嚴終王賈傳》 《嚴朱吾丘主父徐嚴終王賈傳下》 15	以此何為？」吏曰：「為復傳，還當以合符。」軍曰：「大丈夫西游，終不復傳還。」棄繻而去。軍為謁者，使行郡國，建節東出關，關吏識之，曰：「此使者乃前棄繻生也。」軍行郡國，所見便宜以聞。還奏事，上甚說。	
21	《史書》 《漢書》	長陵大姓尚方禁少時嘗盜人妻，見斫，創著其頰。府功曹受賂，白除禁調守尉。博聞知，以它事召見，視其面，果有瘢。博辟左	

第4章 大丈夫

	<p>[新-東漢] 36-111年 《漢書》 [又名：《前漢》] 《傳》 《薛宣朱博傳》 26</p>	<p>右問禁：「是何等創也？」禁自知情得，叩頭服狀。博笑曰：「大丈夫固時有是。馮翊欲洒卿恥，拭用禁，能自效不？」禁且喜且懼，對曰：「必死！」博因敕禁：「毋得泄語，有便宜，輒記言。」因親信之以為耳目。禁晨夜發起部中盜賊及它伏姦，有功效。博擢禁連守縣令。</p>	
22	<p>《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 《漢書》 [又名：《前漢》] 《傳》 《敘傳》 《敘傳上》 19</p>	<p>王陵之母亦見項氏之必亡，而劉氏之將興也。是時陵為漢將，而母獲於楚，有漢使來，陵母見之，謂曰：「願告吾子，漢王長者，必得天下，子謹事之，無有二心。」遂對漢使伏劍而死，以固勉陵。其後果定於漢，陵為宰相封侯。夫以匹婦之明，猶能推事理之致，探禍福之機，而全宗祀於無窮，垂策書於春秋，而況大丈夫之事辱！是故窮達有命，吉凶由人，嬰母知廢，陵母知興，審此四者，帝王之分決矣。</p>	
23	<p>《史書》 《前漢紀》 [東漢]198-200年 《前漢紀》 [又名：《漢紀》] 《高祖皇帝紀二》 1</p>	<p>張良燒絕棧道。示無還心。良因絕棧道而還於韓。於是沛公遂至南鄭。封呂公為臨泗侯。淮陰人韓信為治粟都尉。初。信家貧。常寄食於下鄉亭長。亭長妻厭之。乃自絕而去。釣於下邳城下。有漂母憐信。食信數十日。信曰。富貴我必厚報母。母怒曰。大丈夫不能自食。吾豈求報乎。淮陰市有少年眾辱信曰。能死殺我。不能死出我跨下。信遂俛而出其跨下。市人大笑之。信母死。家貧無以葬。乃行營高敞葬地。令其傍可置萬家者。後事項羽為郎中。羽不能用而去。歸於漢。坐事當斬。已伏鎖。仰視乃見夏侯嬰曰。王不欲取天下邪。而斬壯士。太僕嬰言之於王。赦之不誅。以為都尉。蕭何知其賢。王不能用。信亡。蕭何遽自追之。不及以聞。</p>	<p>五つ前の《漢書》《韓彭英盧吳傳》の例と一部重複している。</p>
24	<p>《史書》 《前漢紀》 [東漢]198-200年 [又名：《漢紀》] 《孝武皇帝紀四》 6</p>	<p>偃自以為必死而為之邪。將幸誅不加。欲以採名也。偃辭屈。下御史大夫服罪。終軍。濟南人也。年十八。選為博士。到府受遣。太守賢而友之。軍揖太守而去。徒而入關。關吏與繻日。還當合符。軍曰。大丈夫西遊。終不徒還。棄繻去。及軍為謁者。使行郡國。建節東出關。關吏識之曰。此使者前棄繻生也。</p>	<p>四つ前の例、《漢書》《嚴朱吾丘主父徐嚴終王賈傳下》の例と一部重複している。</p>
25	<p>《史書》 《東觀漢記》 [東漢]60-160年 《傳九》 《趙溫》 1</p>	<p>趙典兄子溫，初為京兆郡丞，歎曰：「大丈夫生當雄飛，安能雌伏！」遂棄官而去。後官至三公。</p>	
26	<p>《史書》 《東觀漢記》 [東漢]60-160年 《傳十一》 《班超》 3</p>	<p>班超，字仲升，家貧，恒為官傭寫書，嘗輟書投筆歎曰：「大丈夫當效傅介子、張騫立功異域，以取封侯，安能久事筆硯乎！」</p>	
27	<p>《史書》 《東觀漢記》 [東漢]60-160年 《傳十三》 《逢萌》 1</p>	<p>逢萌，字子康，北海人。少有大節，志意抗厲，家貧，給事為縣亭長。尉過迎拜，問事微久。尉去，舉楯搗地，嘆曰：「大丈夫安能為人役耶？」遂去學問。</p>	
28	<p>《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》</p>	<p>論曰：大丈夫之鼓動拔起，其志致蓋遠矣。若夫齊武王之破家厚士，豈游俠下客之為哉！其慮將存乎配天之絕業，而痛明堂之不祀也。及其發舉大謀，在倉卒擾攘之中，使信先成於敵人，赦岑彭以顯義，若此足以見其度矣。志高慮遠，禍發所忽。嗚呼！古人以蜂蠆為戒，蓋畏此也。《詩》云：「敬之敬之，命不易哉！」</p>	

第4章 大丈夫

	《宗室四王三侯列傳》 15		
29	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《李王鄧來列傳》 12	常大悟，曰：「王莽篡弑，殘虐天下，百姓思漢，故豪傑並起。今劉氏復興，即真主也。誠思出身為用，輔成大功。」伯升曰：「如事成，豈敢獨饗之哉！」遂與常深相結而去，常還，具為丹、卬言之。丹、卬負其眾，皆曰：「大丈夫既起，當各自為主，何故受人制乎？」常心獨歸漢，乃稍曉說其說將帥曰：「往者成、哀、微無嗣，故王莽得承間篡位。既有天下，而政令苛酷，積失百姓之心。民之謳吟思漢，非一日也，故使吾屬因此得起。夫民所怨者，天所去也；民所思者，天所與也。舉大事必當下順民心，上合天意，功乃可成。若負強恃勇，觸情恣欲，雖得天下，必復失之。以秦、項之執，尚至夷覆，況今布衣相聚草澤？以此行之，滅亡之道也。今南陽諸劉舉宗起兵，觀其來議事者，皆有深計大慮，王公之才，與之并合，必成大功，此所以祐吾屬也。」	
30	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《鄧寇列傳》 54	執金吾賈復在汝南，部將殺人於潁川，恂捕得繫獄。時尚草創，軍營犯法，率多相容，恂乃戮之於市。復以為恥，歎。還過潁川，謂左右曰：「吾與寇恂並列將帥，而今為其所陷，大丈夫豈有懷怨而不決之者乎？今見恂，必手劍之！」恂知其謀，不欲與相見。谷崇曰：「崇，將也，得帶劍侍側。卒有變，足以相當。」	
31	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《宣張二王杜郭吳承鄭趙列傳》 48	溫字子柔，初為京兆郡丞，歎曰：「大丈夫當雄飛，安能雌伏！」遂棄官去。遭歲大飢，散家糧以振窮餓，所活萬餘人。獻帝西遷都，為侍中，同輿輦至長安，封江南亭侯，代楊彪為司空，免，頃之，復為司徒，錄尚書事。	六つ前の例、資料番号“27”《東觀漢記》《傳九》《趙溫》と一部重複している。
32	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《桓譚馮衍列傳上》 25	衍聞之，委質為臣，無有二心；挈瓶之智，守不假器。是以晏嬰臨盟，擬以曲戟，不易其辭；謝息守郟，脅以晉、魯，不喪其邑。由是言之，內無鉤頸之禍，外無桃萊之利，而被畔人之聲，蒙降城之恥，竊為左右羞之。且邾庶其竊邑畔君，以要大利，曰賤而必書；莒牟夷以土地求食，而名不滅。是以大丈夫動則思禮，行則思義，未有背此而身名能全者也。	
33	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《梁統列傳》 21	竦生長京師，不樂本土，自負其才，鬱鬱不得意。嘗登高遠望，歎息言曰：「大丈夫居世，生當封侯，死當廟食。如其不然，閑居可以養志，詩書足以自娛，州郡之職，徒勞人耳。」後辟命交至，並無所就。有三男三女，肅宗納其二女，皆為貴人。小貴人生和帝，竦皇后養以為子，而竦家私相慶。	
34	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《朱樂何列傳》 15	故夫天不崇大則覆幬不廣，地不深厚則載物不博，人不敦厯則道數不遠。昔在仲尼不失舊於原壤，楚嚴不忍章於絕纒。由此觀之，聖賢之德敦矣。老氏之經曰：「大丈夫處其厚不處其薄，居其實不居其華，故去彼取此。」夫時有薄而厚施，行有失而惠用。故覆人之過者，敦之道也；救人之失者，厚之行也。	
35	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《班梁列傳》 1	超字仲升，扶風平陵人，徐令彪之少子也。為人大志，不修細節。然內孝謹，居家常執勤苦，不恥勞辱。有口辯，而涉獵書傳。永平五年，兄固被召詣校書郎，超與母隨至洛陽。家貧，常為官傭書以供養。久勞苦，嘗輟業投筆歎曰：「大丈夫無它志略，猶當效傅介子、張騫立功異域，以取封侯，安能久事筆研閒乎？」左右皆笑之。超曰：「小子安知壯士志哉！」其後行詣相者，曰：「祭酒，布衣諸生耳，而當封侯萬里之外。」超問其狀	

第4章 大丈夫

36	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《吳延史盧趙列傳》 29	趙岐字邠卿，京兆長陵人也。初名嘉，生於御史臺，因字臺卿，後避難，故自改名字，示不忘本土也。岐少明經，有才藝，娶扶風馬融兄女。融外戚豪家，岐常鄙之，不與融相見。仕州郡，以廉直疾惡見憚。年三十餘，有重疾，臥蓐七年，自慮奄忽，乃為遺令敕兄子曰：「大丈夫生世，遯無箕山之操，仕無伊、呂之勳，天不我與，復何言哉！可立一員石於吾墓前，刻之曰：『漢有逸人，姓趙名嘉。有志無時，命也奈何！』」其後疾瘳。	
37	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《皇甫張段列傳》 29	奐少立志節，嘗與士友言曰：「大丈夫處世，當為國家立功邊境。」及為將帥，果有勳名。董卓慕之，使其兄遺縑百匹。奐惡卓為人，絕而不受。光和四年卒，年七十八。遺命曰：「吾前後仕進，十要銀艾，不能和光同塵，為讒邪所忌。通塞命也，始終常也。但地底冥冥，長無曉期，而復纏以纒綿，牢以釘密，為不喜耳。幸有前窳，朝殞夕下，措屍靈床，幅巾而已。奢非晉文，儉非王孫，推情從意，庶無咎吝。」諸子從之。武威多為立祠，世世不絕。所著銘、頌、書、教、誠述、志、對策、章表二十四篇。	
38	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《陳王列傳》 1	陳蕃字仲舉，汝南平輿人也。祖河東太守。蕃年十五，嘗閑處一室，而庭宇蕪穢。父友同郡薛勤來候之，謂蕃曰：「孺子何不洒掃以待賓客？」蕃曰：「大丈夫處世，當掃除天下，安事一室乎！」勤知其有清世志，甚奇之。	
39	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《郭符許列傳》 1	郭太字林宗，太原界休人也。家世貧賤。早孤，母欲使給事縣廷。林宗曰：「大丈夫焉能處斗筲之役乎？」遂辭。就成皋屈伯彥學，三年業畢，博通墳籍。善談論，美音制。乃游於洛陽。始見河南尹李膺，膺大奇之，遂相友善，於是名震京師。後歸鄉里，衣冠諸儒送至河上，車數千兩。林宗唯與李膺同舟而濟，眾賓望之，以為神仙焉。	
40	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《袁紹劉表列傳上》 12	其冬，公孫瓚大破黃巾，還屯槃河，威震河北，冀州諸城無不望風響應。紹乃自擊之。瓚兵三萬，列為方陳，分突騎萬匹，翼軍左右，其鋒甚銳。紹先令麴義領精兵八百，強弩千張，以為前登。瓚輕其兵少，縱騎騰之，義兵伏楯下，一時同發，瓚軍大敗，斬其所置冀州刺史嚴綱，獲甲首千餘級。麴義追至界橋，瓚斂兵還戰，義復破之，遂到瓚營，拔其牙門，餘眾皆走。紹在後十數里，聞瓚已破，發鞍息馬，唯衛帳下強弩數十張，大戟士百許人。瓚散兵二千餘騎卒至，圍紹數重，射矢雨下。田豐扶紹，使卻入空垣。紹脫兜鍪抵地，曰：「大丈夫當前門死，而反逃垣牆間邪？」促使諸弩競發，多傷瓚騎。眾不知是紹，頗稍引卻。會麴義來迎，騎乃散退。三年，瓚又遣兵至龍湊挑戰，紹復擊破之。瓚遂還幽州，不敢復出。	
41	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《獨行列傳》 58	充遷侍中。大將軍鄧騭貴威傾時，無所下借，以充高節，每卑敬之。嘗置酒請充，賓客滿堂，酒酣，騭跪曰：「幸託椒房，位列上將，幕府初開，欲辟天下奇偉，以匡不逮，惟諸君博求其器。」充乃為陳海內隱居懷道之士，頗有不合。騭欲絕其說，以肉啖之。充抵肉於地，曰：「說士猶甘於肉！」遂出，徑去。騭甚望之。同坐汝南張孟舉往讓充曰：「一日聞足下與鄧將軍說士未究，激刺面折，不由中和，出言之責，非所以光祚子孫者也。」充曰：「大丈夫居世，貴行其意，何能遠為子孫計哉！」由是見非於貴戚。	
42	《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445年 《列傳》 《逸民列傳》 5	逢萌字子康，北海都昌人也。家貧，給事縣為亭長。時尉行過亭，萌候迎拜謁，既而擲楯歎曰：「大丈夫安能為人役哉！」遂去之長安學，通春秋經。時王莽殺其子宇，萌謂友人曰：「三綱絕矣！不去，禍將及人。」即解冠挂東都城門，歸，將家屬浮海，客於遼東。	・十五個前の例、資料番号“27”《東觀漢記》《傳十三》《逢萌》と一部重複している。
43	《史書》	傅介子年十四，好學書，嘗棄觚而嘆曰：「大丈夫當立功絕域，何	

第4章 大丈夫

	《西京雜記》 《第三》 6	能坐事散儒！」後卒斬匈奴使者，還拜中郎。復斬樓蘭王首，封義陽侯。	
44	《出土文獻》 《馬王堆》 《老子甲》 《老子甲德經》 1	□□□□□□□□□□□□□□□□德。上德無□□無以為也。上仁為之□□以為也。上義為之而有以為也；上禮□□□□□□□□攘臂而乃之。故失道。失道矣而后德，失德而后仁，失仁而后義，□義而□□□□□□□□□□而亂之首也。□□□，道之華也，而愚之首也。是以大丈夫居其厚而不居其泊，居其實不居其華。故去皮取此。	
45	《出土文獻》 《馬王堆》 《老子乙》 《老子乙德經》 1	上德不德，是以有德；下德不失德，是以無德。上德無為而無以為也；上仁為之而無以為也。上○為之而有以為也；上禮為之而莫之應也，則攘臂而乃之。故失道而后德，失德而句仁，失仁而句義∟，失義而句禮。夫禮者，忠信之泊也而亂之首也。前識者，道之華也，而愚之首也。是以大丈夫居□□□居其泊；居其實而不居其華。故去罷而取此。	

4.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

「漢代之後」（漢代以後）期における、「結構」の検索結果数は、166件であった。件数からみれば、比較的多いといえそうである。以下に、「中國哲學書電子化計劃」、「漢代之後」期における「大丈夫」の実例を表にして示した。

4.7.9.1 検索語：「大丈夫」（全166件）（2021/01/12時点）

図表 4.34：「大丈夫」の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《漢代之後》 《魏晉南北朝》 《道德真經註》 [三國]220-265年 王弼著 38	上德不德，是以有德；下德不失德，是以無德。上德無為而無以為；下德為之而有以為。上仁為之而無以為；上義為之而有以為。上禮為之而莫之應，則攘臂而扔之。故失道而後德，失德而後仁，失仁而後義，失義而後禮。夫禮者，忠信之薄，而亂之首。前識者，道之華，而愚之始。是以大丈夫處其厚，不居其薄；處其實，不居其華。故去彼取此。	
2	《魏晉南北朝》 《世說新語》 [南北朝] 420-581年 劉義慶著 《方正》 43	孔君平疾篤，庾司空為會稽，省之，相問訊甚至，為之流涕。庾既下床，孔慨然曰：「大丈夫將終，不問安國甯家之術，迺作兒女子相問！」庾聞，回謝之，請其話言。	
3	《魏晉南北朝》 《世說新語》 [南北朝] 420-581年 劉義慶著 《賢媛》 9	王公淵娶諸葛誕女。入室，言語始交，王謂婦曰：「新婦神色卑下，殊不似公休！」婦曰：「大丈夫不能仿佛彥雲，而令婦人比蹤英傑！」	
4	《魏晉南北朝》 《世說新語》 [南北朝]	初，謝安在東山居，布衣，時兄弟已有富貴者，翕集家門，傾動人物。劉夫人戲謂安曰：「大丈夫不當如此乎？」謝乃捉鼻曰：「但恐不免耳！」	

第 4 章 大丈夫

	420-581 年 劉義慶著 《排調》 27		
5	《魏晉南北朝》 《世說新語》 [南北朝] 420-581 年 劉義慶著 《尤悔》 10	庾公欲起周子南，子南執辭愈固。庾每詣周，庾從南門入，周從後門出。庾嘗一往奄至，周不及去，相對終日。庾從周索食，周出蔬食，庾亦彊飯，極歡；并語世故，約相推引，同佐世之任。既仕，至將軍二千石，而不稱意。中宵慨然曰：「大丈夫乃為庾元規所賣！」一歎，遂發背而卒。	
6	《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343 年 《抱朴子》 《外篇》 《交際》 8	「由茲論之，則交彼而遇者，雖得達不足貴；茈之而誤者，譬如蔭朽樹之被笮也。彼尚不能自止其顛蹶，亦安能救我之碎首哉！吾聞大丈夫之自得而外物者，其於庸人也，蓋逼迫不獲已而與之形接，雖以千計，猶蚤虱之積乎衣，而贅疣之攢乎體也。失之雖以萬數，猶飛塵之去嵩岱，鄧林之墮朽條耳。豈以有之為益，無之覺損乎？」	
7	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書六》 《袁紹傳》 6	義迫至界橋；瓚殿兵還戰橋上，義復破之，遂到瓚營，拔其牙門，營中餘衆皆復散走。紹在後，未到橋十數里，下馬發鞍，見瓚已破，不為設備，惟帳下彊弩數十張，大戟士百餘人自隨。瓚部逆騎二千餘匹卒至，便圍紹數重，弓矢雨下。別駕從事田豐扶紹欲卻入空垣，紹以兜鍪撲地曰：「大丈夫當前鬪死，而入牆間，豈可得活乎？」彊弩乃亂發，多所殺傷。瓚騎不知是紹，亦稍引卻；會麴義來迎，乃散去。瓚每與虜戰，常乘白馬，追不虛發，數獲戎捷，虜相告云「當避白馬」。因虜所忌，簡其白馬數千匹，選騎射之士，號為白馬義從；一曰胡夷健者常乘白馬，瓚有健騎數千，多乘白馬，故以號焉。	
8	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書十二》 《崔琰傳》 8	涿郡孫禮、盧毓始入軍府，琰又名之曰：「孫疏亮亢烈，剛簡能斷，盧清警明理，百鍊不消，皆公才也。」後林、禮、毓咸至鼎輔。及琰友人公孫方、宋階早卒，琰撫其遺孤，恩若己子。其鑒識篤義，類皆如此。魏略曰：明帝時，崔林嘗與司空陳羣共論冀州人士，稱琰為首。羣以「智不存身」貶之。林曰：「大丈夫為有邂逅耳，即如卿諸人，良足貴乎！」	
9	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書二十五》 《辛毗傳》 7	明帝即位，進封穎鄉侯，邑三百戶。時中書監劉放、令孫資見信於主，制斷時政，大臣莫不交好，而毗不與往來。毗子敞諫曰：「今劉、孫用事，衆皆影附，大人宜小降意，和光同塵；不然必有謗言。」毗正色曰：「主上雖未稱聰明，不為闇劣。吾之立身，自有本末。就與劉、孫不平，不過令吾不作三公而已，何危害之有？焉有大丈夫欲為公而毀其高節者邪？」宓從僕射畢軌表言：「尚書僕射王思精勤舊吏，忠亮計略不如辛毗，毗宜代思。」帝以訪放、資，放、資對曰：「陛下用思者，誠欲取其効力，不貴虛名也。毗實亮直，然性剛而專，聖慮所當深察也。」遂不用。出為衛尉。	
10	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書二十八》 《毋丘儉》 7	欽與郭淮書曰：「大將軍昭伯與太傅俱受顧命，登牀把臂，託付天下，此遠近所知。(中略)深思鄙言，若愚計可從，宜使漢軍克制期要，使六合校考，與周、召同封，以託付兒孫。此亦非小事也，大丈夫寧處其落落，是以遠逞忠心，時望嘉應。」時郭淮已卒，欽未知，故有此書。世語曰：毋丘儉之誅，黨與七百餘人，傳侍御史杜友治獄，惟舉首事十人，餘皆奏散。友字季子，東郡人，仕晉冀州刺史、河南尹。子默，字世玄，歷史部郎，衛尉。	
11	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書二十八》 《諸葛誕》 7	誕麾下數百人，坐不降見斬，皆曰：「為諸葛公死，不恨。」其得人心如此。干寶晉紀曰：數百人拱手為列，每斬一人，輒降之，竟不變，至盡，時人比之田橫。吳將于詮曰：「大丈夫受命其主，以兵救人，既不能克，又束手於敵，吾弗取也。」乃免胄冒陣而死。唐咨、王祚及諸裨將皆面縛降，吳兵萬衆，器仗軍實山積。	
12	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年	先主曰：「吾不忍也。」孔衍漢魏春秋曰：劉琮乞降，不敢告備。備亦不知，久之乃覺，遣所親問琮。琮令宋忠詣備宣旨。是時曹公在宛，備乃大驚駭，謂忠曰：「卿諸人作事如此，不早相語，今	

第 4 章 大丈夫

	《蜀書二》 《先主傳》 11	禍至方告我，不亦太劇乎！引刀向忠曰：「今斷卿頭，不足以解忿，亦恥大丈夫臨別復殺卿輩！」遣忠去，乃呼部曲議。或勸備劫將琮及荊州吏士徑南到江陵，備荅曰：「劉荊州臨亡託我以孤遺，背信自濟，吾所不為，死何面目以見劉荊州乎！」	
13	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300年 《蜀書九》 《劉巴傳》 3	令軍中曰：「其有害巴者，誅及三族。」及得巴，甚喜。而諸葛孔明數稱薦之，先主辟為左將軍西曹掾。零陵先賢傳曰：張飛嘗就巴宿，巴不與語，飛遂忿恚。諸葛亮謂巴曰：「張飛雖實武人，敬慕足下。主公今方收合文武，以定大事；足下雖天素高亮，宜少降意也。」巴曰：「大丈夫處世，當交四海英雄，如何與兵子共語乎？」備聞之，怒曰：「孤欲定天下，而子初專亂之。其欲還北，假道於此，豈欲成孤事邪？」備又曰：「子初才智絕人，如孤，可任用之，非孤者難獨任也。」	
14	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300年 《蜀書十一》 《費詩傳》 1	費詩字公舉，犍為南安人也。劉璋時為縣竹令，先主攻縣竹時，詩先舉城降。成都既定，先主領益州牧，以詩為督軍從事，出為梓潼太守，還為州前部司馬。先主為漢中王，遣詩拜關羽為前將軍，羽聞黃忠為後將軍，羽怒曰：「大丈夫終不與老兵同列！」不肯受拜。詩謂羽曰：「夫立王業者，所用非一。昔蕭、曹與高祖少小親舊，而陳、韓亡命後至，論其班列，韓最居上，未聞蕭、曹以此為怨。今漢王以一時之功，隆崇於漢室，然意之輕重，寧當與君侯齊乎！且王與君侯，譬猶一體，同休等戚，禍福共之，愚為君侯，不宜計官號之高下，爵祿之多少為意也。僕一介之使，銜命之人，君侯不受拜，如是便還，但相為惜此舉動，恐有後悔耳！」羽大感悟，遽即受拜。	
15	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300年 《吳書六》 《孫皎傳》 1	權聞之，以書讓皎曰：「自吾與北方為敵，中間十年，初時相遲年小，今者且三十矣。孔子言『三十而立』，非但謂五經也。授卿以精兵，委卿以大任，都護諸將於千里之外，欲使如楚任昭奚恤，揚威於北境，非徒相使逞私志而已。近聞卿與甘興霸飲，因酒發作，侵陵其人，其人求屬呂蒙督中。此人雖麤豪，有不如人意時，然其較略大丈夫也。吾親之者，非私之也。吾親愛之，卿疎憎之；卿所為每與吾違，其可久乎？夫居敬而行簡，可以臨民；愛人多容，可以得衆。二者尚不能知，安可董督在遠，禦寇濟難乎？卿行長大，特受重任，上有遠方瞻望之觀，下有部曲朝夕從事，何可恣意有盛怒邪？人誰無過，貴其能改，宜追前愆，深自咎責。今故煩諸葛子瑜重宣吾意。臨書摧愴，心悲淚下。」	
16	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300年 《吳書十六》 《陸凱傳》 45	評曰：潘濬公清割斷，陸凱忠壯質直，皆節槩梗梗，有大丈夫格業。胤身繫事濟，著稱南土，可謂良牧矣。	
17	《隋唐》 《群書治要》 [唐]631年 《卷二十六》 《魏志下》 《傳》 23	毘子敞諫曰：今劉，孫用事，衆皆影附，大人宜小降意，和光同塵，不然，必有謗言。毘正色曰：主上雖未稱聰明，不為暗劣，吾之立身，自有本末，就劉，孫不平，不過令吾不作三公而已，何危害之有，焉有大丈夫欲為公，而毀其高節者耶，宥從僕射畢軌表言，尚書僕射王思，精勤舊吏，忠亮計略，不如辛毘，毘宜代思，帝以訪放資。放資對曰：陛下用思者，誠欲取其效力，不貴虛名也。毘實亮直，然性剛而專，聖慮所當深察也。遂不用，出為衛尉。	
18	《隋唐》 《群書治要》 [唐]631年 《卷三十四》 《老子》 《德經》 2	前識者，道之華，不知而言知，為前識也。此人失道之實，得道之華。而愚之始也。言前識之人，愚暗之唱始也。是以大丈夫處其厚，大丈夫，謂道德之君也。處其厚者，處身於敦樸。不處其薄，不處身違道，為世煩亂也。處其實，處忠信也。不處其華。不尚言也。	
19	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六》	《漢書》曰：秦王子嬰，誅滅趙高，遣將將兵距峽關，沛公欲擊之。張良曰：秦尚強，未可輕，願先遣人益張旗幟於山上，為疑兵，使酈食其陸賈往說秦將，昭以利，秦將果欲連和，因而攻之。又曰：景帝四年春，復置諸關，用傳出入。	《漢書》《傳》 《嚴朱吾丘 主父徐嚴終 王賈傳下》

第4章 大丈夫

	《地部》 《關》 11	又曰：武帝三年冬，徙函谷於新安。 又曰：終軍初從濟南嘗詣博士，入關，關吏與軍繻，軍問以此何為。吏曰：為復傳還，當以合符。軍曰：大丈夫西遊，終不復傳還，棄繻去，後軍為謁者，使行郡國，建節東出關，關吏識之。曰：此使者乃前棄繻生也。	の例と一部重複している。
20	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷十》 《符命部》 《符命》 29	謂曰：願告吾子，漢王長者，必得天下，子謹事之，無有二心，遂對漢使，伏劍而死，以固勉之，夫以疋婦之明，猶能推事理之致，探禍福之幾，而況大丈夫之事乎。是故窮達有命，吉凶由人，嬰母知廢，陵母知興，此二者帝王之分決矣。	
21	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷二十二》 《人部六》 《品藻》 2	《孔蔡子》曰：魏安釐王問子從曰：馬回梗梗亮直，有大丈夫之節，吾欲以為相，可乎。答曰：亮直之節，臣未明也。王曰：何故。答曰：長目而豕視者，必體方而心圓，每以其法相人，千百不失一，臣見回，非不偉其體幹也。然甚疑其目，王卒用之，三月，果以諂言得罪。	
22	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷二十六》 《人部十》 《言志》 10	《後漢書》：馬少遊謂其從兄援曰：士生一世，但取衣食裁足，乘下澤車，御款段馬，守墳墓，鄉里稱善人，斯可矣。 又：馮衍有大志，不戚戚於貧賤。常慷慨歎曰：衍少事名賢，經歷顯位，懷金垂紫，竭節奉使，不求苟得，常有凌雲之志，三公之貴，千金之富，不得其願，不概於懷，貧而不衰，賤而不恨，年雖疲曳，猶庶幾名賢之風，修道德於幽冥之路，以終身名，為後世法。 又：班超，字仲叔，家貧，傭書以供養。久乃投筆而歎曰：大丈夫無他志略，猶當效傅介子張騫，立功異域，以取封侯，安能久事筆硯間乎。 又：梁竦，字敬叔，自負其才，鬱鬱不得其意，登山遠望。歎息曰：大丈夫生當封侯，死當廟食，如不然，閑居足以養志，詩書足以自娛，州郡之職，但勞人耳。	
23	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷二十六》 《人部十》 《言志》 41	《魏陳王曹植與吳質書》曰：前日雖因常調，得為密坐，雖宴飲彌日，其於別遠會稀，不盡其勞積也。若夫觴酌凌波於前，筋籥發音於後，足下鷹揚其體，鳳翔虎視，謂蕭曹不足儔，衛霍不足侔也。左顧右盼，謂若無人，豈若吾子之壯志哉。過屠門而大嚼，雖不得肉，貴且快意，當斯之時，願舉太山以為肉，齊東海以為酒，伐雲夢之竹以為笛，斬泗濱之梓以為箏，食若填巨壑，飲若灌漏卮，其樂固難量，豈非大丈夫之樂哉。然日歲不我與，曜靈急節，面有逸景之速，別有參商之闊，思抑六龍之首，頓羲和之轡，折若木之華，閉濛汜之谷，天路高邈，良無由緣。	
24	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷二十六》 《人部十》 《言志》 47	《梁王僧孺與何遜書》曰：昔李叟入秦，梁生適越，猶懷恨恨，且或吟謠，況歧路之日，將離嚴網，辭無可憐，罪有不測，所以握手戀戀，離別珍重，弟愛同郭李，淫淫承睫，吾猶抗手背背，羞學婦人，顧實不肖，文質無所抵，蓋困在衣食，迫於飢寒，非有奇才，絕略高談，吐一言可以匡俗振民，動一議可以固邦興國，全璧歸趙，飛矢投燕，偃息藩魏，甘臥安郢，腦日逐，髓月支，擁十萬而橫行，提五千而深入，將能執珪裂壤，功勒景鍾，錦繡為衣，朱丹被轂，斯蓋大丈夫之志，非吾曹之所能及，除舊布新，清暑方旦，抱樂銜圖，訟謳有主，一旦陪武帳，仰文檄，備聃佚之柱下，充嚴朱之席上，入班九棘，出專千里，未有躡景追風，奔驟之若此者也。	
25	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷三十》 《人部十四》 《別下》 14	《晉趙景真與嵇茂齊書》(中略)時不我與，垂翼遠逝，鋒鋌靡加，六翮摧屈，自非樂天知命，誰能不憤悒者哉。吾子植根芳苑，擢秀清流，榮曜眩其前，豔色餌其後，良儔交其左，聲名馳其右，翱翔倫黨之間，弄姿房帷之裏，從容顧眄，綽有餘裕，俯仰吟嘯，自以為得志矣。豈能與吾同大丈夫之憂樂哉。去矣嵇生，永離隔矣。榮榮飄寄，臨沙漠矣。悠悠三千，路難涉矣。執手之期，邈無日矣。思心彌結，誰云釋矣。無金玉爾音，而有遐心，身雖胡	

第 4 章 大丈夫

		越，意存斷金。	
26	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷四十五》 《職官部一》 《諸王》 6	《魏志》(中略)又曰：中山恭王袞，少好學，生十餘歲，能屬文，每讀書，文學左右，常恐以精力為患，數諫止之，然性所樂，不能廢也。文學防輔相與言曰：受詔察公，舉錯有過，當奏，及善，亦宜以聞，遂共表稱，陳袞美，袞聞之大驚。責讓文學曰：修身自守，常人之行耳，而諸君乃以上聞，是適所以增其負累也。又：任成威王彰，字子文，少善射，御力過人，手格猛獸，不避險阻，數從征伐，志意慷慨。太祖常折之曰：汝不念讀書，慕聖道，而好乘馬擊劍，此一夫之用，何足貴也。彰謂左右曰：大丈夫一為衛霍，將十萬騎，馳沙漠，驅戎狄，立功建號爾，何能作博士耶。	
27	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷五十八》 《雜文部四》 《筆》 6	華嶠《後漢書》曰：班超投筆歎曰：大丈夫安能久事筆耕乎。事具人部。	
28	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷六十四》 《居處部四》 《室》 14	謝承《後漢書》曰：陳蕃家貧，不好掃室，客怪之者。或曰：可一掃乎。蕃曰：大丈夫當為國掃除天下，豈徒室中乎。	
29	《隋唐》 《通典》 [唐]801 年 杜佑著 《職官十五》 《鄉官》 4	後漢鄉官與漢同。有秩，郡所署，秩百石，鄉戶五千則置有秩。掌一鄉人。其鄉小者，縣置嗇夫一人。(中略)主禁盜賊。後漢陳寔字仲弓，為西門亭長。又仇覽為薄亭長，說在主簿篇。又先賢傳曰：「逢萌字子康，為縣亭長。時尉行過亭，萌候迎拜謁，既而擲盾歎曰：「大丈夫安能為人役哉！」遂去之。至王莽時，萌解冠掛東都門而遁。里有里魁，民有什伍，善惡以告。里魁掌一里百家，什主十家，伍主五家，以相檢察。民有善惡，以告監官。」	
30	《隋唐》 《通典》 [唐]801 年 杜佑著 《禮十四》 《巡狩》 16	大唐皇帝將巡狩，所司承制先頒告於東方諸州曰：「皇帝二月東巡狩，各修平乃守，考乃職事。」駕將發，告圓丘、宗廟、社稷，皆如開元禮。高宗調露元年九月，幸并州，令度支郎中狄仁傑為知頓使。并州長史李知玄以道出妒女祠，俗云盛衣服過者，必致風雷之變，遂發數萬人，別開御道。仁傑曰：「天子之行，千乘萬騎，風伯清塵，雨師洒道，何妒女之害！」遽令罷之。上聞之嘆曰：「真大丈夫也。」	
31	《隋唐》 《通典》 [唐]801 年 杜佑著 《兵五》 《撫士》 8	魏將諸葛誕守壽春，以司馬氏累代擅權，遂舉兵，稱匡輔魏室為辭。司馬文王率師討之，壽春城陷，誕死。文王招其徒，不降。且招且戰。數百人拱手為列，每斬一人，輒遣降之，皆曰：「為諸葛公死，無恨。」以至於盡，無一人降。時人比之田橫矣。吳將于詮曰：「大丈夫受命其主，以兵救人，既不能克，又束手於敵，吾不取也。」乃免胄冒陣而死。其得士心如此。	
32	《隋唐》 《意林》 [唐]770-800 年 《卷一》 《孟子十四卷》 11	景春曰：「公孫衍、張儀，豈不誠大丈夫！一怒而諸侯懼，安居而天下息。」孟子曰：「是焉得為大丈夫乎？富貴不能淫，貧賤不能移，威武不能屈，此之謂大丈夫。」	
33	《隋唐》 《意林》 [唐]770-800 年 《卷二》 《淮南子二十二卷》 48	墨者田鳩，欲見秦惠王，三年不得見。一至楚，楚王悅之。物固有近之而遠，遠之而近。故大丈夫行，不可掩以繩。	

第 4 章 大丈夫

34	<p>《宋明》 《四書章句集注》 [南宋] 1150-1200 年 朱熹著 《孟子集注》 《滕文公章句下》 2</p>	<p>景春曰：「公孫衍、張儀豈不誠大丈夫哉？一怒而諸侯懼，安居而天下熄。」景春，人姓名。公孫衍、張儀，皆魏人。怒則說諸侯使相攻伐，故諸侯懼也。孟子曰：「是焉得為大丈夫乎？子未學禮乎？丈夫之冠也，父命之；女子之嫁也，母命之，往送之門，戒之曰：『往之女家，必敬必戒，無違夫子。』以順為正者，妾婦之道也。（中略）居天下之廣居，立天下之正位，行天下之大道。得志與民由之，不得志獨行其道。富貴不能淫，貧賤不能移，威武不能屈。此之謂大丈夫。」廣居，仁也。正位，禮也。大道，義也。與民由之，推其所得於人也；獨行其道，守其所得於己也。淫，蕩其心也。移，變其節也。屈，挫其志也。何叔京曰：「戰國之時，聖賢道否，天下不復見其德業之盛；但見姦巧之徒，得志橫行，氣燄可畏，遂以為大丈夫。不知由君子觀之，是乃妾婦之道耳，何足道哉？」</p>	
35	<p>《宋明》 《西遊記》 [明]1520-1580 年 《魔王巧算困心猿 大聖騰那騙寶貝》 17</p>	<p>說得個老魔頭魂飛魄散，眾群精噬指搖頭。老魔道：「兄弟，把唐僧與沙僧、八戒、白馬、行李都送還那孫行者，閉了是非之門罷。」二魔道：「哥哥，你說那裡話？我不知費了多少辛勤，施這計策，將那和尚都攝將來。如今似你這等怕懼孫行者的詭譎，就俱送去還他，真所謂畏刀避劍之人，豈大丈夫之所為也？你且請坐勿懼。我聞你說孫行者神通廣大，我雖與他相會一場，卻不曾與他比試。取披掛來，等我尋他交戰三合。」</p>	
36	<p>《宋明》 《西遊記》 [明]1520-1580 年 《法性西來逢女國 心猿定計脫煙花》 9</p>	<p>驛丞道：「下官才進朝啟奏，我王十分歡喜道，夜來得一吉夢，夢見金屏生彩艷，玉鏡展光明。御弟乃中華上國男兒，我王願以一國之富，招贅御弟爺爺為夫，坐南面稱孤，我王願為帝后。傳旨著太師作媒，下官主婚，故此特來求這親事也。」三藏聞言，低頭不語。太師道：「大丈夫遇時，不可錯過。似此招贅之事，天下雖有，託國之富，世上實稀。請御弟速允，庶好回奏。」長老越加痴啞。</p>	
37	<p>《宋明》 《西遊記》 [明]1520-1580 年 《唐三藏路阻火焰山 孫行者一調芭蕉扇》 11</p>	<p>行者道：「不瞞樵哥說，我是東土唐朝差往西天求經的唐僧大徒弟，前年在火雲洞，曾與羅剎之子紅孩兒有些言語，但恐羅剎懷仇不與，故生憂疑。」樵子道：「大丈夫鑒貌辨色，只以求扇為名，莫認往時之謊話，管情借得。」行者聞言，深深唱個大喏道：「謝樵哥教誨，我去也。」</p>	
38	<p>《宋明》 《西遊記》 [明]1520-1580 年 《心猿識得丹頭 姪女還歸本性》 16</p>	<p>行者笑道：「好啊，我倒看你面情罷了，你倒說我脫逃。教他點兵在南天門外等我，我即和你回旨繳狀去。」天王害怕道：「他這一去，若有言語，是臣背君也。」行者道：「你把老孫當甚麼樣人？我也是個大丈夫，『一言既出，駟馬難追』，豈又有污言頂你？」天王即謝了行者。行者與金星回旨。天王點起本部天兵，徑出南天門外。</p>	
39	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《宴桃園豪傑三結義，斬黃巾英雄首立功》 10</p>	<p>玄德幼時，與鄉中小兒戲於樹下，曰：「我為天子，當乘此車蓋。」叔父劉元起奇其言，曰：「此兒非常人也！」因見玄德家貧，常資給之。年十五歲，母使游學，嘗師事鄭玄、盧植；與公孫瓚等為友。及劉焉發榜招軍時，玄德年已二十八歲矣。當日見了榜文，慨然長歎。隨後一人厲聲言曰：「大丈夫不與國家出力，何故長歎？」</p>	
40	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《廢漢帝陳留為皇，謀董賊孟德獻刀》 9</p>	<p>越騎校尉伍孚，字德瑜，見卓殘暴，憤恨不平。嘗於朝服內披小鎧，藏短刀，欲伺便殺卓。一日，卓入朝，孚迎至閣下，拔刀直刺卓。卓氣力大，兩手摳住；呂布便入，揪倒伍孚。卓問曰：「誰教汝反？」孚瞪目大喝曰：「汝非吾君，吾非汝臣，何反之有？汝罪惡盈天，人人願得而誅之！吾恨不車裂汝以謝天下！」卓大怒，命牽出剖割之。孚至死罵不絕口。後人有詩讚之曰：漢末忠臣說伍孚，沖天豪氣世間無。朝堂殺賊名猶在，萬古堪稱大丈夫！</p>	
41	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《袁紹磐河戰公孫，孫堅跨江擊劉</p>	<p>且說袁紹屯兵河內，缺少糧草。冀州牧韓馥，遣人送糧以資軍用。謀士逢紀說紹曰：「大丈夫縱橫天下，何待人送糧為食？冀州乃錢糧廣盛之地，將軍何不取之？」紹曰：「未有良策。」紀曰：「可暗使人馳書與公孫瓚，令進兵取冀州，約以夾攻，瓚必興兵。韓馥無謀之輩，必請將軍領州事；就中取事，唾手可得。」</p>	

第 4 章 大丈夫

	表》 2		
42	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《袁紹磐河戰公孫，孫堅跨江擊劉表》 14	正說之間，忽見趙雲衝到面前。弓箭手急待射時，雲連刺數人，眾軍皆走。後面瓚軍團團圍裹上來。田豐慌對紹曰：「主公且於空牆中躲避！」紹以兜鍪撲地，大呼曰：「大丈夫願臨陣鬥死，豈可入牆而望活乎！」眾軍士齊心死戰，趙雲衝突不入，紹兵大隊掩至，顏良亦引軍來到，兩路并殺。趙雲保公孫瓚殺透重圍，回到界橋。紹驅兵大進，復趕過橋，落水死者，不計其數。	
43	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《除暴兇呂布助司徒，犯長安李傕聽賈詡》 6	布怒氣沖天，拍案大叫。允急曰：「老夫失語，將軍息怒。」布曰：「誓當殺此老賊，以雪吾恥！」允急掩其口曰：「將軍勿言，恐累及老夫。」布曰：「大丈夫生居天地間，豈能鬱鬱久居人下！」允曰：「以將軍之才，誠非董太師所可限制。」布曰：「吾欲殺此老賊，奈是父子之情，恐惹後人議論。」允微笑曰：「將軍自姓呂，太師自姓董。擲戟之時，豈有父子情耶？」布奮然曰：「非司徒言，布幾自誤！」	
44	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《曹孟德移駕幸許都，呂奉先乘夜襲徐郡》 25	呂布再三拜謝。備留布飲酒，至晚方回。關、張曰：「兄長何故不殺呂布？」玄德曰：「此曹孟德恐我與呂布同謀伐之，故用此計，使我兩人自相吞併，彼卻於中取利。奈何為所使乎？」關公點頭道是。張飛曰：「我只要殺此賊以絕後患！」玄德曰：「此非大丈夫之所為也。」	
45	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《下邳城曹操糜兵，白門樓呂布殞命》 2	呂布趕到玄家中，糜竺出迎，告布曰：「吾聞大丈夫不廢人之妻子。今與將軍爭天下者，曹公耳。玄德常念轅門射戟之恩，不敢背將軍也。今不得已而投曹公，惟將軍憐之。」布曰：「吾與玄德舊交，豈忍害他妻子？」便令糜竺引玄德妻小，去徐州安置。布自引軍投山東兗州境上，留高順、張遼守小沛。此時孫乾已逃出城外。關、張二人亦各自收得些人馬，往山中住割。	
46	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《斬蔡陽兄弟釋疑，會古城主臣聚義》 16	二夫人聽得，揭簾而呼曰：「三叔何故如此？」飛曰：「嫂嫂住著。且看我殺了負義的人，然後請嫂嫂入城。」甘夫人曰：「二叔因不知你等下落，故暫時棲身曹氏。今知你哥哥在汝南，特不避險阻，送我們到此。三叔休錯見了。」糜夫人曰：「二叔向在許都，原出於無奈。」飛曰：「嫂嫂休要被他人瞞過了！忠臣寧死而不辱。大丈夫豈有事二主之理！」關公曰：「賢弟休屈了我。」孫乾曰：「雲長特來尋將軍。」	
47	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《曹操倉亭破本初，玄德荊州依劉表》 4	獄吏未信。忽使者齎劍至，傳袁紹命，欲取田豐之首，獄吏方驚。豐曰：「吾固知必死也。」獄吏皆流淚。豐曰：「大丈夫生於天地間，不識其主而事之，是無智也！今日受死，夫何足惜！」乃自刎於獄中。後人有詩曰：昨朝沮授軍中死，今日田豐獄內亡。河北棟梁皆折斷，本初焉不喪家邦？	
48	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《定三分隆中決策，戰長江孫氏報讎》 6	二人敘禮，分賓主而坐。童子獻茶。茶罷，孔明曰：「昨觀書意，足見將軍憂民憂國之心；但恨亮年幼才疏，有誤下問。」玄德曰：「司馬德操之言，徐元直之語，豈虛談哉？望先生不棄鄙賤，曲賜教誨。」孔明曰：「德操、元直，世之高士。亮乃一耕夫耳，安敢談天下事？二公謬舉矣。將軍奈何舍美玉而求頑石乎？」玄德曰：「大丈夫抱經世奇才，豈可空老於林泉之下？願先生以天下蒼生為念，開備愚魯而賜教。」孔明笑曰：「願聞將軍之志。」	
49	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《三江口曹操折兵，群英會蔣幹中計》 30	瑜又引幹到帳後一望，糧草堆積如山。瑜曰：「吾之糧草，頗足備否？」幹曰：「兵精糧足，名不虛傳。」瑜伴醉大笑曰：「想周瑜與子翼同學時，不曾望有今日。」幹曰：「以吾兄高才，實不為過。」瑜執幹手曰：「大丈夫處世，遇知己之主，外託君臣之義，內結骨肉之恩，言必行，計必從，禍福共之，假使蘇秦，張儀，陸賈，酈生，復出，口似懸河，舌如利刃，安能動我心哉！」	
50	《宋明》	卻說闕澤字德潤，會稽山陰人也。家貧好學，與人傭工，嘗借人	

第 4 章 大丈夫

	《三國演義》 [明]1350-1400 年 《關澤密獻詐書， 龐統巧授連環計》 1	書來看。看過一遍，便不遺忘。口才辨給，少有膽氣。孫權召為參謀，與黃蓋最相善。蓋知其能言有膽，故欲使獻詐降書。澤欣然應諾曰：「大丈夫處世，不能立功建業，不幾與草木同腐乎？公既捐軀報主，澤又可惜微生！」黃蓋滾下床來拜而謝之。澤曰：「事不可緩，即今便行。」蓋曰：「書已修下了。」	
51	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《關澤密獻詐書， 龐統巧授連環計》 11	蔡和，蔡中慌曰：「二公勿憂，吾亦當以心腹之事相告。」寧曰：「可速言之！」蔡和曰：「吾二人乃曹公使來詐降者，二公若有歸順之心，吾當引進。」寧曰：「汝言果真乎？」二人齊聲曰：「安敢相欺？」寧佯喜曰：「若如此，是天賜其便也！」二蔡曰：「黃公覆與將軍被辱之事，吾已報知丞相矣。」澤曰：「吾已為黃公覆獻書丞相，今特來見興霸，相約同降耳。」寧曰：「大丈夫既遇明主，自當傾心相投。」	
52	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《諸葛亮智算華容， 關雲長義釋曹操》 18	操從其說，即縱馬向前，欠身謂雲長曰：「將軍別來無恙？」雲長亦欠身答曰：「關某奉軍師將令，等候丞相多時。」操曰：「曹操兵敗勢危，到此無路，望將軍以昔日之情為重。」雲長曰：「昔日關某雖蒙丞相厚恩，然已斬顏良，誅文醜，解白馬之圍，以奉報矣。今日之事，豈敢以私廢公？」操曰：「五關斬將之時，還能記否？大丈夫以信義為重。將軍深明春秋，豈不知庾公之斯追子濯孺子之事乎？」	
53	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《曹仁大戰東吳兵， 孔明一氣周公瑾》 8	魯肅躊躇未對。瑜曰：「大丈夫一言既出，何悔之有！」孔明曰：「都督此言，甚是公論。先讓東吳去取；若不下，主公取之，有何不可？」瑜與肅辭別玄德，孔明，上馬而去。玄德問孔明曰：「卻纔先生教備如此回答，雖一時說了，展轉尋思，於理未然。我今孤窮一身，無置足之地，欲得南郡，權且容身；若先教周瑜取了，城池已屬東吳矣，卻如何得住？」孔明大笑曰：「當初亮勸主公取荊州，主公不聽，今日卻忘耶？」玄德曰：「前為景升之地，故不忍取；今為曹操之地，理合取之。」	
54	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《曹仁大戰東吳兵， 孔明一氣周公瑾》 24	瑜聽罷，於床上奮然躍起曰：「大丈夫既食君祿，當死於戰場，以馬革裹屍還，幸也！豈可為我一人，而廢國家大事乎？」言訖，即披甲上馬。諸軍眾將無不駭然，遂引數百騎出營前。望見曹軍已布成陣勢，曹仁自立馬於門旗下，揚鞭大罵曰：「周瑜孺子，料必橫夭，再不敢正覷我兵！」	
55	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《關雲長義釋黃漢升， 孫仲謀大戰張文遠》 28	太史慈見城門大開，只道內變，挺槍縱馬先入。城上一聲砲，亂箭射下，太史慈急退，身中數箭。背後李典、樂進殺出。吳兵折其大半，乘勢直趕到寨前。陸遜、董襲殺出，救了太史慈，曹兵自回。孫權見太史慈身帶重傷，愈加傷感。張昭請權罷兵。權從之，遂收兵下船，回南徐、潤州。比及屯住軍馬，太史慈病重。權使張昭等問安，太史慈大叫曰：「大丈夫生於亂世，當帶三尺劍立不世之功；今所志未遂，奈何死乎！」言訖而亡，年四十一歲。後人有詩讚曰：	
56	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《張永年反難楊脩， 龐士元議取西蜀》 18	松曰：「某非賣主求榮；今遇明公，不敢不披瀝肝膽。劉季玉雖有益州之地，稟性暗弱，不能任賢用能；加之張魯在北，時思侵犯，人心離散，思得明主。松此一行，專欲納款於操；何期逆賊，恣逞奸雄，傲賢慢士，故特來見明公。明公先取西川為基，然後北圖漢中，收取中原，匡正天朝，名垂青史，功莫大焉。明公果有取西川之意，松願施犬馬之勞，以為內應。未知鈞意若何？」玄德曰：「深感君之厚意。奈劉季玉與備同宗，若攻之，恐天下唾罵。」松曰：「大丈夫處世，當努力建功立業，著鞭在先。今若不取，為他人所取，悔之晚矣。」玄德曰：「備聞蜀道崎嶇，千山萬水，車不能方軌，馬不能連轡；雖欲取之，用何良策？」	
57	《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《取涪關楊高授首， 攻雒城黃魏爭功》 15	四將行兵之次，劉瑰曰：「吾聞錦屏山中有一異人，道號紫虛上人，知人生死貴賤。吾輩今日行軍，正從錦屏山過。何不試往問之？」張任曰：「大丈夫行兵拒敵，豈可問於山野之人乎？」瑰曰：「不然。聖人云：『至誠之道，可以前知。』吾等問於高明之人，當趨吉避凶。」	

第 4 章 大丈夫

58	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《諸葛亮痛哭龐統，張翼德義釋嚴顏》 12</p>	<p>乃將玄德書與眾官看曰：「主公書中，把荊州託在吾身上，教我自量才委用。雖然如此，今教關平齋書前來，其意欲雲長公當此重任。雲長想桃園結義之情，可竭力保守此地。責任非輕，公宜勉之。」雲長更不推辭，慨然領諾。孔明設宴，交割印綬。雲長雙手來接。孔明擎著印曰：「這干係都在將軍身上。」雲長曰：「大丈夫既領重任，除死方休。」孔明見雲長說個「死」字，心中不悅；欲待不與，其言已出。孔明曰：「倘曹操引兵來到，當如之何？」雲長曰：「以力拒之。」</p>	
59	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《諸葛亮智取漢中，曹阿瞞兵退斜谷》 15</p>	<p>彰字子文，少善騎射；膂力過人，能手格猛獸。操嘗戒之曰：「汝不讀書而好弓馬，此匹夫之勇，何足貴乎？」彰曰：「大丈夫當學衛青，霍去病，立功沙漠，長驅數十萬眾，縱橫天下；何能作博士耶？」操嘗問諸子之志。彰曰：「好為將。」操問：「為將何如？」彰曰：「披堅執銳，臨難不顧，身先士卒；賞必行，罰必信。」操大笑。</p>	
60	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《玄德進位漢中王，雲長攻拔襄陽郡》 20</p>	<p>漢中王大喜，即差前部司馬費詩為使，齎捧誥命投荊州來。雲長出郭，迎接入城。至公廳禮畢，雲長問曰：「漢中王封我何爵？」詩曰：「『五虎大將』之首。」雲長問那「五虎將」。詩曰：「關、張、趙、馬、黃是也。」雲長怒曰：「翼德吾弟也；孟起世代名家；子龍久隨吾兄，即吾弟也；位與吾相並，可也。黃忠何等人，敢與吾同列！大丈夫終不與老卒為伍！」遂不肯受印。</p>	
61	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《玄德進位漢中王，雲長攻拔襄陽郡》 26</p>	<p>且說關公是日祭了帥字大旗，假寐於帳中。忽見一豬，其大如牛，渾身黑色，奔入帳中，逕咬雲長之足。雲長大怒，急拔劍斬之，聲如裂帛。雲長驚覺，乃是一夢，便覺左足陰陰疼痛；心中大疑，喚關平至，以夢告之。平對曰：「豬亦有龍象。附足乃是升騰之意，不必疑忌。」雲長聚眾官於帳下，告以夢兆。或言吉祥者，或言不祥者，眾論不一。雲長曰：「大丈夫年近六旬，即死亦何憾！」</p>	
62	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《祭瀘水漢相班師，伐中原武侯上表》 22</p>	<p>今將軍年紀已高，倘稍有參差，動搖一世英名，減卻蜀中銳氣。」雲厲聲曰：「吾自隨先帝以來，臨陣不退，遇敵則先，大丈夫得死於疆場者幸也，吾何恨焉，願為前部先鋒。」孔明再三苦勸不從。雲曰：「如不教我為先鋒，就撞死於階下！」孔明曰：「將軍既要為先鋒，須得一人同去。」</p>	
63	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《出隴上諸葛妝神，奔劍閣張郃中計》 26</p>	<p>懿曰：「蜀兵退去，險阻處必有埋伏，須十分仔細，方可追之。」郃曰：「吾已知得，不必挂慮。」懿曰：「公自欲去，莫要追悔。」郃曰：「大丈夫捨身報國，雖萬死無恨。」懿曰：「公既堅執要去，可引五千兵先行；卻教魏平引二萬馬步兵後行，以防埋伏。吾自引三千兵隨後接應。」</p>	
64	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《武侯預伏錦囊計，魏主拆取承露盤》 8</p>	<p>遂與馬岱追殺何平。平引兵飛走而去。魏延收聚殘軍，與馬岱商議曰：「我等投魏，若何？」岱曰：「將軍之言，不智甚也：大丈夫何不自圖霸業，乃輕屈膝於人耶？吾觀將軍智勇足備，兩川之士，誰敢抵敵？吾誓同將軍先取漢中，隨後進攻兩川。」</p>	
65	<p>《宋明》 《三國演義》 [明]1350-1400 年 《武侯預伏錦囊計，魏主拆取承露盤》 9</p>	<p>延橫刀勒馬而言曰：「伯約，不干你事。只教楊儀來！」儀在門旗影裏，拆開錦囊視之，如此如此。儀大喜，輕騎而出，立馬陣前，手指魏延而笑曰：「丞相在日，知汝久後必反，教我提備，今果應其言。汝敢在馬上連叫三聲『誰敢殺我』，便是真大丈夫；吾就獻漢中城池與汝。延大笑曰：「楊儀匹夫聽著！若孔明在日，吾尚懼他三分；他今已亡，天下誰敢敵我？休道連叫三聲，便叫三萬聲，亦有何難？」遂提刀按轡，於馬上大叫曰：「誰敢殺我？」</p>	
66	<p>《宋明》 《三國演義》</p>	<p>胡遵在徐州下寨。時值嚴寒，天降大雪，胡遵與眾將設席高會，忽報水上有三十隻戰船來到。遵出寨視之，見船將次傍岸，每船</p>	

第 4 章 大丈夫

	[明]1350-1400 年 《丁奉雪中奮短兵，孫峻席間施密計》 9	上約有百人。遂還帳中，謂諸將曰：「不過三千人耳，何足懼哉！」只令部將哨探！仍前飲酒。丁奉將船一字兒拋在水上，乃謂部將曰：「大丈夫立功名，正在今日！」遂令眾軍脫去衣甲，卸了頭盔，不用長槍大戟，止帶短刀。魏兵見之大笑，更不準備。	
67	《宋明》 《金瓶梅》 [明]1590-1610 年 《苗青貪財害主西門枉法受賊》 3	其妻李氏便說：「前日僧人相你面上有災厄，囑咐不可出門。此去京都甚遠，況你家私沉重，拋下幼女病妻在家，未審此去前程如何，不如勿往為善。」天秀不聽，反加怒叱，說道：「大丈夫生於天地之間，桑弧蓬矢，不能邀游天下，觀國之光，徒老死牖下，無益矣。況吾胸中有物，囊有餘資，何愁功名不到手？此去表兄必有美事於我，切勿多言！」於是吩咐家人苗青，收拾行李衣裝，多打點兩箱金銀，載一船貨物，帶了個安童並苗青，上東京。囑咐妻妾守家，擇日起行。	
68	《宋明》 《金瓶梅》 [明]1590-1610 年 《西門慶捐金助朋友 常峙節得鈔傲妻兒》 3	卻說常峙節自那日求了西門慶的事情，還不得到手，房主又日夜催逼。恰遇西門慶從東京回家，今日也接風，明日也接風，一連過了十來日，只不得個會面。常言道：見面情難盡。一個不見，卻告訴誰？每日央了應伯爵，只走到大官人門首問聲，說不在，就空回了。回家又被渾家埋怨道：「你也是男子漢大丈夫，房子沒間住，吃這般懊惱氣。你平日只認的西門大官人，今日求些周濟，也做了瓶落水。」	
69	《宋明》 《金瓶梅》 [明]1590-1610 年 《李瓶兒病纏死孽西門慶官作生涯》 電子圖書館 19	說道：「哥的盛情，誰肯！」一面吃茶畢，叫了房中人來，同到新市街，兌與賣主銀子，寫立房契。伯爵吩咐與王經，歸家回西門慶話。剩的銀子，叫與常峙節收了。他便與常峙節作別，往杜家吃酒去了。西門慶看了文契，還使王經送與常二收了，不在話下。正是： 求人須求大丈夫，濟人須濟急時無。一切萬般皆下品，誰知恩德是良圖。	
70	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560 年 《冀州侯蘇護反商》 7	齊曰：「吾聞『君不正則臣投外國』，今主上輕賢重色，眼見昏亂，不若反出朝歌，自守一國，上可以保宗社，下可保一家。」此時蘇護正在盛怒之下，一聞此言，下覺性起，竟不思維，便曰：「大丈夫不可做不明白事。」叫左右：「取文房四寶來，題詩在午門牆上，以表我永不朝商之意。」詩曰： 「君壞臣綱，有敗五常。冀州蘇護，永不朝商！」	
71	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560 年 《姬昌解圍進妲己》 13	「西伯侯姬昌百拜冀州君侯蘇公廳下：昌聞：『率土之濱，莫非王臣。』(中略)且足下若進女王廷，實有三利：女受宮闈之寵，父享椒房之貴，官居國戚，食祿千鍾，一利也；冀州永鎮，滿宅無驚，二利也；百姓無塗炭之苦，三軍無殺戮之慘，三利也。公若執迷，三害目下至矣：冀州失守，宗社無存，一害也。骨肉有族滅之禍，二害也；軍民遭兵燹之災，三害也。大丈夫當捨小節而全大義，豈得效區區無知之輩以自取滅亡哉。昌與足下同為商臣，不得不直言上瀆，幸賢侯留意也。草草奉聞，立候裁決。謹啟。」	
72	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560 年 《方弼方相反朝歌》 11	言未了，只聽得殿西首一聲喊叫，似空中霹靂，大呼曰：「天子失政，殺子誅妻，建造炮烙，阻塞忠良，恣行無道，大丈夫既不能為皇后洗冤，太子復讎，含淚悲啼，效兒女之態！古云：『良禽擇木而棲，賢臣擇主而仕。』今天子不道，三綱已絕，大義有乖，恐不能為天下之主，我等亦恥為之臣。我等不若反出朝歌，另擇新君，去此無道之主，保全社稷！」眾人看時，卻是鎮殿大將軍方弼、方相兄弟二人。	
73	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560 年 《姜子牙一上崑崙》 8	乃曰：「兄弟，你把頭取下來。果能如此起在空中，復能依舊，我便把『封神榜』燒了，同你往朝歌去。」申公豹曰：「不可失信！」子牙曰：「大丈夫一言既出，重若泰山，豈有失信之理。」申公豹去了道巾，執劍在手，左手提住青絲，右手將劍一刎，把頭割將下來，其身不倒；復將頭望空中一擲，那顆頭盤盤旋旋，只管上去了。子牙乃忠厚君子，仰面呆看，其頭旋得只見一些黑影。	
74	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560 年 《黃花山收鄧辛張陶》	臨行問師曰：『弟子歸著如何？』吾師道：『你一生逢不得「絕」字。』今日行兵，恰恰見此石碣，上書『絕』字，心上遲疑，故此不快。」鄧忠等四將笑曰：「太師差矣！大丈夫豈可以一字定終身禍福？況且『吉人天相』，只以太師之才德，豈有不克西岐之理。從古云：『不疑何卜？』」太師亦不笑不語。眾將催人馬速行。刀	

第 4 章 大丈夫

	3	鎗似水，甲士如雲，一路無詞。	
75	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《聞大師西岐大戰》 15	隨帶哪吒、黃天化、雷震子、楊戩四位門人來看陣。聞太師在轅門與十道人細看，子牙領來四人：一個站在風火輪上，提火尖鎗，是哪吒；玉麒麟上是黃天化；雷震子猙獰異相；楊戩道氣昂然。只見楊戩向前對秦天君曰：「吾等看陣，不可以暗兵、暗寶暗算吾師叔，非大丈夫之所為也。」秦完笑曰：「叫你等早晨死，不敢午時亡。豈有將暗寶傷你等之理！」哪吒曰：「口說無憑，發手可見。道者休得誇口！」四人保定子牙看陣。	
76	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《子牙設計收九公》 3	許之曰：『你若取了西岐，吾將嬋玉贅你為婿。』一來是獎勵彼竭力為公，早完王事；今彼既已被擒，安得又妄以此言為口實，令大夫往返哉？」散宜生笑曰：「元帥此言差矣。大丈夫一言既出，駟馬難追。況且婚姻之事，人之大倫，如何作為兒戲之談？前日元帥言之，土行孫信之；土行孫又言之，天下共信之；傳與中外，人人共信，正所謂『路上行人人口似碑』。」	
77	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《冀州侯蘇護伐西岐》 16	今特設此酒，請大王、公子少敘心曲，以贖不才冒瀆之罪。」飛虎曰：「君侯既肯歸順，宜當速行。雖然鄭倫執拗，只可用計除之。大丈夫先立功業，共扶明主，垂名竹帛，豈得區區效匹夫匹婦之小忠小諒哉！」酒至三更，蘇護起身言曰：「大王、賢公子，出後糧門，回見姜丞相，把不才心事呈與丞相，以知吾之心腹也。」遂送黃飛虎父子回城。	
78	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《馬元下山助殷洪》 6	殷洪與哪吒大戰局中，不防鄧嬋玉一石打來，及至著傷，打得頭青眼腫，「哎喲」一聲，撥騎就走。哪吒刺斜裏一鎗，劈胸刺來，虧殺了紫綬仙衣，鎗尖也不會刺入分毫。哪吒大驚，不敢追襲。子牙掌得勝鼓進城。殷洪敗回大營，面上青腫，切齒深恨姜尚：「若不報今日之恥，非大丈夫之所為也！」	
79	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《準提道人收孔宣》 7	楊戩暗思：「這是個甚麼東西？」孔宣看見楊戩照他，孔宣笑曰：「楊戩，你將照妖鑑上來照，那遠遠照，恐不明白。大丈夫當明白做事，不可暗地裏行藏。我讓你照！」楊戩被孔宣說明，便走馬至軍前，舉鑑照孔宣，也是如前一般。楊戩遲疑。孔宣見楊戩不言不語，只管照，心中大怒，縱馬搖刀直取。	
80	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《哼哈二將顯神通》 3	且說丘引擎住黃天祥進關，陞堂坐下，傳令兩邊：「把黃天祥推來！」眾人將黃天祥推至面前。黃天祥氣沖斗牛，厲聲大呼曰：「丘引，你這逆賊，敢以妖術成功，非大丈夫也！我死不足惜，當報國恩。若姜元帥兵臨，你這匹夫有粉骨碎身之禍！既被你擒，快與我一死！吾定為厲鬼以殺賊！」	
81	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《哼哈二將顯神通》 12	鄭倫自歎曰：「世間又有此異人，明日定要與他定個雌雄，方肯罷休。」不表。只說陳奇進關來見丘引，盡言前事。丘引又聞佳夢關失了，心下不安。次日，鄭倫關下搦戰。陳奇上騎出關，言曰：「鄭倫，大丈夫一言已定，從今不必用術，各賭手上工夫，你我也難得會。」催開坐下騎，又殺一日，未見輸贏。來見黃飛虎，眾將俱在帳上，共議取關之策。	
82	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《鄭倫捉將取汜水》 2	韓昇聽得此語，不覺失聲笑曰：「父親之言差矣！此言切不可聞于外人，空把父親一世英名污了。父親受國家高爵厚祿，衣紫腰金，封妻蔭子，無一事不是恩德。今主上以此關托重于父親，父親不思報國酬恩，捐軀盡節，反效兒女子之計，貪生畏死，遺譏後世，此豈大丈夫舉止，有負朝廷倚任大臣之意。古云：『在社稷者死社稷，在封疆者死封疆。』」父親豈可輕議棄去。	
83	《宋明》 《封神演義》 [明]1520-1560年 《鄧芮二侯歸周主》 14	芮侯亦笑曰：「兄長下問，使弟如何敢盡言。若說我等的識見洪遠，又有所不敢言；若是模糊應答，兄長又笑小弟是無用之物，弟終訥于言。」鄧昆笑曰：「我與你雖為各姓，情同骨肉，此時出君之口，入吾之耳，又何本心之不可說哉。賢弟勿疑！」芮吉曰：「大丈夫既與同心之友談天下政事，若不明目張膽傾吐一番，又何取其能擔當天事，為識時務之俊傑哉。據弟愚見，你我如今雖奉救協同守關，不過強逆天心民意，是豈人民之所願者也！」	
84	《宋明》 《太平御覽》	《史記》曰：高祖，沛豐邑中陽里人，姓劉氏，字季。母媪嘗息大澤之陂，夢與神遇。是時雷電晦暝，父太公往視，則見蛟龍於上。	

第4章 大丈夫

	[北宋]977-984年 《皇王部十二》 《漢高祖皇帝》 8	已而有娠，遂產高祖。高祖為人，隆準而龍顏，美須髯，左股有七十二黑子。仁而愛人，喜施，意豁如也。為泗水亭長，亭中吏無不狎侮。好酒及色。常從王媪、武負貰酒。時飲醉臥，武負、王媪見其上常有龍，怪之。高祖每酤留飲，酒讎如淳曰：讎音售。數倍。嘗徭咸陽，縱觀，觀始皇帝，曰：「嗟乎，大丈夫當如此也。」高祖以亭長為縣送徒驪山，到豐西澤中，止飲，夜皆解縱所送徒。徒中壯士願從者十餘人。高祖被酒，夜經澤中，令一人行前。	
85	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《皇親部十七》 《諸王下》 1	又曰：任城威王彰，字子文。少善射御，膂力過人，手格猛獸，不避險阻。數從征伐，志意慷慨。太祖常抑之，曰：「汝不念讀書慕聖道，而好乘汗馬擊劍，此一夫之用，何足貴也！」或諫彰讀書，彰謂左右曰：「大丈夫一為衛、霍，將十萬騎，馳沙漠，驅戎狄，立功建號耳，何能為博士耶？」	
86	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《封建部一》 《異姓王封》 2	又曰：韓信平齊，使人言漢王曰：「齊夸詐多變，反覆之國，南邊楚，不為假王以填鎮也。之，其勢不定。今權輕，不足以安之，臣請自立為假王。」當是時，楚方急圍漢王於滎陽，使者至發書，漢王大怒，罵曰：「吾困於此，且暮望而來佐我，乃欲自立為王！」張良、陳平從后躡漢王足，因附耳語曰：「漢方不利，寧能禁信之自王乎？不如因立，善遇之，使自為守。不然，變生。」漢王亦寤，因復罵曰：「大丈夫定諸侯，即為真王耳，何以假為！」遣張良立信為齊王，徵其兵使擊楚。	
87	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《職官部三十六》 《前將軍》 3	《蜀志》曰：先主為漢中王，遣費詩拜關羽為前將軍，羽聞黃忠為後將軍，怒曰：「大丈夫終不與老兵同列！」不肯拜受。詩謂羽曰：「夫立王業者，所用非一。昔蕭、曹與高祖少小親舊，而陳、韓亡命後至，論其班列，韓最居上，未聞蕭、曹以為怨也。今漢中王以一時之功，隆崇於漢叔，然意之輕重，寧當與君侯齊乎！王與君譬猶一體，同休等戚，禍福共之，愚謂君侯不宜計官號之高下、爵位之多少也。仆一介之使，銜命之臣，君侯不受拜，如是便還，但相謂惜此舉動，恐有後悔耳！」羽大感悟，即受拜。漢叔，黃忠字也。	
88	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《職官部五十一》 《郡丞》 2	《東觀漢記》曰：光武議靈臺所處，上謂桓譚曰：「吾欲識決之，何如？」譚默然，曰：「臣不讀讖。」上問其政，譚復言讖非經。上大怒，曰：「桓譚非聖無法，將下斬之！」譚叩頭流血，良久乃得解，出為六安郡丞。意忽忽不樂，病卒。時年七十餘。又曰：趙典兄子溫，初為京兆郡丞，嘆曰：「大丈夫生當雄飛，安能雌伏？」遂棄官而去，後官至三公。	前出、《東觀漢記》《傳九》《趙溫》の例と一部重複する。
89	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《職官部六十一》 《別駕》 11	《續晉安帝紀》曰：益州刺史李邈，微時居漢川，與別駕姜顯餞送刺史。顯忽邈，邈曰：「大丈夫何至守偏地。」為姜顯所陵，即不復還家，仍附船下。自是十五年，而鎮梁、漢，顯猶棲遲，即檄為別駕。	
90	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《職官部六十七》 《縣尉》 4	《東觀漢記》曰：光武起兵入寇，絳衣，騎牛，殺新野尉，乃得馬。又曰：逢萌，字子康，北海人。少有大節，志意抗厲。家貧，給事為縣亭長。尉過，迎拜問事。微久，尉去，舉拳搗地嘆曰：「大丈夫安能為人役耶！」遂去，學問。	
91	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部七》 《良將下》 1	《後周書》曰：王思政初入潁川，士卒八千人，城既無外援，亦無叛者。思政常以勤王為務，不營資產。嘗被賜園池，思政出征后，家人種桑果。及還，見而怒曰：「匈奴未滅，去病辭家，況大賊未平，何事產業！」命左右拔而去之。故身陷之後，家無蓄各。又曰：元定有勇略，每戰必陷陣，然未嘗自言其功。太祖深重之，諸將亦稱其長者。又曰：蔡祐少有大志，與鄉人李穆，布衣齊名。嘗相謂曰：「大丈夫當建立功名，以取富貴，安能久處貧賤耶！」言訖，各大笑。穆即申公，后皆如其言。	
92	《宋明》 《太平御覽》	《魏志·曹真傳》曰：真每征行，與將士同勞苦，軍賞不足，輒以家財頒賜，士卒皆愿為用。	

第4章 大丈夫

	[北宋]977-984年 《兵部十一》 《撫土上》 8	又曰：諸葛誕守壽春，以司馬氏累世擅權，遂舉兵，稱匡輔魏室為辭。司馬文王率師討之，壽春城陷，誕死。文王招其徒，不降，且招且戰，數百人拱手為列。每斬一人，輒遣降之，皆云：「為諸葛公死，無恨！」以至於盡，無一人降，時人比之田橫。吳戍將于詮曰：「大丈夫受命其主，以兵救人，既不能克，又束手於敵，吾不取。」乃免胄冒陣而死。其得土心如此。	
93	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部四十一》 《戰下》 1	《後周書·梁臺傳》曰：時大軍圍洛陽，久而不拔。齊騎奄至，齊公憲率兵御之，乃有數人為敵所執。(中略) 又曰：耿豪從太祖戰於邙山，家謂所部曰：「大丈夫見賊，須右手拔刀，左手把槊，直刺直斫，慎莫皺眉畏死。」遂大呼獨入，敵人鋒刃亂下，當時咸謂豪歿。俄然奮刃而還。戰數合，當豪前者，死傷相繼。又謂左右曰：「吾豈樂殺人，但壯士除賊，不得不爾。若不能殺賊，又不為人所傷，何異逐坐人也。」太祖嘉之，拜北雍州刺史。	
94	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部四十三》 《決戰中》 1	《後漢書》曰：賈復與五校戰於真定，大破之。(中略) 又曰：袁紹使曲安攻公孫瓚，紹在後十數里，聞瓚已破，發鞍息馬，惟衛帳下強弩數十張，大戟士百許人。瓚散兵二千餘騎卒至，圍紹數重，射矢雨下。田豐扶紹，使卻入空垣。紹脫兜鍪抵地，曰：「大丈夫當前斗死，而返逃垣牆間耶？」促使諸弩并發，多傷瓚騎。眾不知是紹，頗稍引卻。會曲義來迎，騎乃散退。	
95	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部七十六》 《刀上》 21	《漢魏春秋》曰：劉琮乞降，不敢告備，備亦不知。久而覺之，遣所親問琮。琮令宋忠詣備宣白。是時曹公在宛，備乃驚駭，謂忠曰：「卿諸人作事如此，不早相語，今禍至告我，不亦大劇乎！」引刀向忠曰：「今斷卿頭，誠不足以解忿，亦恥大丈夫，臨別復殺卿輩也。」	
96	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部八十八》 《楯下》 6	《東觀漢記》曰：逢萌字子康，北海人。少有大節。家貧，給事為縣亭長。尉過，迎拜問事。尉去，舉盾擗地嘆曰：「大丈夫安能為人后耶！」遂去學問。	
97	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部九十》 《鞭》 28	《淮南子》曰：昔者王良造父御也，投足調均，勞逸若一。安勞樂進，馳騫若滅。左右若鞭，周旋若環。世皆以為巧，然末見其貴也。若夫鉗具，太丙之御也。除轡舍銜，去鞭棄策，軍車莫動而自舉，馬莫使而自走。 又曰：大丈夫恬然無思，淡然無慮。以天為蓋，以地為輿。四時為馬，陰陽為騶。電以為鞭策，雷以為車輪。	
98	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《人事部六》 《面》 10	《漢書》曰：李夫人病篤，上自臨候之。夫人遂轉面向壁，歔歔而不復言。(中略) 又曰：朱博為左馮翊。長陵大姓尚方禁少時嘗盜人妻，見斫，創著其頰，府功曹除禁調守尉。博聞知，以他事召見，視其面，果有瘡。博辟左右問禁：「是何等創也？」禁乃叩頭服。博笑曰：「大丈夫固時有是。」因親信以為耳目。 又曰：朱博為人廉儉，不好酒色之宴。自微賤至富貴，食不重味，案上不過三杯，夜寢早起，妻希見其面。	
99	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《人事部八》 《頰》 7	又《漢書》曰：朱博入守左馮翊。長陵大姓尚方禁少時嘗盜人妻，見斫，瘡著其頰。博知。以他事召見，視其面，果有瘡。博辟左右問禁：「是何等瘡？」禁叩頭服狀。博笑曰：「大丈夫固時有是。」以為耳目。	
100	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《人事部八》 《鼻》 24	《世說》曰：初，謝安在山東居布衣時，兄弟有富貴者。劉夫人戲謂安曰：「大丈夫不當如此。」謝乃捉鼻曰：「但恐不免耳。」 又曰：石崇家造廁，令婢以盤擎糞，與廁人塞鼻。 又曰：康僧淵目深而鼻高，王丞每嘲之。僧淵曰：「鼻者面之山，山不高則不靈。」	
101	《宋明》	《世說》曰：王廣娶諸葛誕女。入室，言語始交，王語婦曰：「神	

第 4 章 大丈夫

	《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部二十三》 《醜丈夫》 34	色卑下，殊不似公休。」婦曰：「大丈夫不能仿佛彥雲，而令婦入比蹤英杰！」	
102	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部二十七》 《健》 21	又《前趙錄》曰：郭默字玄雄，河內懷人，世以屠沽為業。默壯勇拳捷，能貫甲跳三丈塹，時人咸異之，曰：「此兒必興郭氏。」河內陸允，世之豪民，望見以女妻之。 又曰：陳安字虎侯，家世農民。安少慷慨，曰：「大丈夫當乘軒杖節，安能久執犁鋤乎？」遂東游京師，頗學書算，讀《魏書》見許褚而慕之，乃自字虎忽攏遇晉室喪亂，遂憑結司馬賓。驍壯果毅，武幹過人，多力善射，持七尺刀貫甲，奔及馳馬。	
103	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部三十二》 《笑》 28	崔鴻《十六國春秋·后趙錄》曰：桃豹字安步，范陽人。少時以膽勇騎射稱，嘗攘臂大言曰：「大丈夫遭遇魏太祖，不封萬戶侯位上將者，非丈夫也。」時類笑之，豹罵言：「爾鼠子輩，安知君子豹變之志乎！」后起中原，豹為十八騎之雄，事勒甚恭。	
104	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部三十三》 《嘯》 20	王子年《拾遺記》曰：太始二年，南方有因霄之國，人皆善嘯。大丈夫嘯聞百里，婦人嘯聞五十里。如笙竽之音，秋冬則聲清高，春夏則聲沉下。人舌尖處倒向喉內，亦云有兩舌重舌，以爪徐刮之，則嘯聲逾遠。故《呂氏春秋》云「反舌殊鄉之國」，即此之謂也。	
105	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部五十》 《交友四》 7	《孔叢子》曰：子高游趙，平原君客之。有鄒文節與子高相友善，及將還魯，諸故人訣。既畢，文節送行，三宿；臨別，文節流涕交頤，子高徒抗手而已，分背就路。其徒問之曰：「先生與彼之子善，彼有戀戀之心，淒愴流涕；而先生厲聲高楫，無乃非親親之謂乎？」子高曰：「始吾謂之大丈夫，乃今知其婦人也！人生則有四方之志，豈鹿豕也哉，而常群聚乎？」	
106	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部五十一》 《交友五》 2	《東方朔與公孫弘書》曰：爵祿不相責以禮，同類之游不以遠近為故。東門先生居蓬戶空穴之中，魏公子一朝以百騎造之。呂望未嘗與文王同席而坐，一朝讓以天下半。大丈夫相知，何必接塵而游，垂發齊年哉！	
107	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部七十九》 《烈士》 11	《晉書》曰：太守陳楚迫韋忠為功曹。會山羌攻郡，楚攜子出走，賊射之，中三創。忠冒刃伏楚，以身捍之，泣曰：「韋忠愿以身代君，乞諸君哀之。」亦遭五矢。賊相謂曰：「義士也！」舍之。忠於是負楚以歸。 又曰：辛勉累遷侍中。及洛陽陷，隨帝至平陽。劉聰遣其黃門侍郎喬度賚藥酒逼之，勉曰：「大丈夫豈以數年之命而虧高節、事二姓，下見武皇帝哉！」引藥將飲，度遽止之曰：「主上相試耳，君貞士也！」嘆息而去。	
108	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部八十七》 《品藻中》 1	《晉書》曰：《韋忠傳》云：裴頠為仆射，數言忠於司空張華，華辟之，辭病不赴。人問其故，忠曰：「吾茨檐賤士，本無宦情。且茂先華而不實，裴頠欲而無厭，棄禮典而附賊后，此豈大丈夫之所宜行耶！」 又曰：王戎有人倫鑒識，嘗目山濤如璞玉渾金，我皆欽其寶，莫知名其器；玉衍神姿高徹，如瑤林·樹，自然是風塵外物。謂裴頠拙於用長。苟勸工於用短，陳道寧多憂如束長竿。	
109	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百七》 《罵詈》 5	又曰：韓信平齊，使人請自立為假王。漢王大怒，嘗曰：「吾困於此，望若來佐我，乃欲自立為王！」張良、陳平附耳語之，漢王寤，因復罵曰：「大丈夫即為真王耳，何以假為！」	
110	《宋明》 《太平御覽》	《漢書》曰：朱博為左馮翊。長陵大姓尚方禁少時盜人妻，見斫，創著頰。博聞以它事召，視其面，果有瘢。博辟左右問方禁：「是	

第 4 章 大丈夫

	[北宋]977-984 年 《人事部一百八》 《喜》 17	何創？」禁自知情得，叩頭服狀。博笑曰：「大丈夫固時有是。博欲灑鄉恥，能自效不？」方禁且喜且懼，對曰：「必死！」博因親信之以為耳目。	
111	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百一十七》 《施恩上》 11	《漢書》曰：韓信釣於城下，諸母漂，漂水擊擊為漂。有一母見信饑，飯信，竟漂數十日。信謂漂母曰：「吾必重報。」母怒曰：「大丈夫不能自食，吾哀王孫而進食，蘇林曰：如言公子也。豈望報乎！」	
112	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百一十九》 《贈遺》 10	後漢書曰：或問第五倫曰：「公有私乎？」對曰：「昔人有與吾千里馬者，雖不受，每三公有所選舉，心不能忘而亦終不用也。吾兄子嘗病，一夜十往，退而安寢。吾子有病，雖不省視而竟夕不眠。若是者，豈謂無私乎？」 又曰：張奐少立志節，常與士友言曰：「大丈夫處世，當為國家立功邊境。」及為將帥，果有勳名。董卓慕之，使其兄遺縑百匹。奐惡卓為人，絕而不受。	
113	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百二十三》 《仇讎下》 19	崔鴻《前燕錄》曰：吐谷渾子吐延年少有大志，身長七尺八寸，雄姿魁桀羌虜憚之，號曰項羽。性周儻不群，慷慨謂群下曰：「大丈夫生不在中國，當高皇光武之代，與韓、彭、吳、鄧并驅中原，定天下決雌雄，使名垂竹帛。而潛竄窮山，隔閉殊俗，不聞聖教於上宗，不得策名於天府，生與麋鹿同群，死作氈裘之鬼。雖偷觀日月，獨不愧於心乎！」	
114	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百二十四》 《怒》 9	《史記》曰：孟嘗君客於趙平原君。趙人聞孟嘗賢，出觀，皆笑曰：「始以薛公為魁梧也，今視之，乃眇小丈夫耳。」孟嘗聞之，怒。客與俱者下，斫擊數百人，遂滅一縣以去。 又曰：韓信使人言漢王曰：「齊反覆之國，南邊吳、楚，不為假王鎮之，其勢不定。」漢王大怒，罵曰：「吾困於此，且暮望若佐我，」張良、陳平躡漢王足，因附耳語曰：「漢方不利，寧能禁信乎？不如因而立之。」漢王復罵曰：「大丈夫定諸侯，即為真王，何以假為？」	
115	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《人事部一百二十五》 《貧上》 16	謝承《後漢書》曰：施延，字君子，沛人。家貧母老，常鬻力供養，種瓜自給，位至太尉。 又曰：永平五年，班超兄固被召詣校書。超與母隨至洛陽，家貧常為傭書以供養，久傭，嘗苦輟業，投筆嘆曰：「大丈夫無它志略，獨當效傅介子、張騫立功異域，以封取侯，安能久事筆硯乎！」	
116	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《逸民部一》 《敘逸民一》 6	《後漢書》曰：或問汝南范滂曰：「郭林宗何如人？」(中略) 又曰：趙岐初名嘉。年四十有重疾，臥褥七年，慮奄然，乃遺令敕兄子曰：「大丈夫遁無箕山之操，仕無伊尹之勳，天不我與，復何言哉！可立一圓石於吾墓側前，刻之曰：『漢有逸人，姓趙名嘉，有志無時，命也奈何！』」 又曰：樊曄字子融，有俊才，好黃老，不肯為吏。 又曰：逢萌字子廉，北海都昌人也。家貧，給事縣為亭長。時尉行過亭，萌侯迎拜謁，既而擲盾嘆曰：「大丈夫安能為人役哉！」遂去，之長安，學通《春秋》。	
117	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《文部二十一》 《筆》 8	《東觀漢記》曰：班超字仲升，家貧，為官傭寫書。嘗輟書投筆，嘆曰：「大丈夫當效傅介子、張騫，立功異域，以取封侯，安能久事筆硯乎？」	
118	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《學部八》	《西京雜記》曰：傅介子年十四，好學書，嘗棄觚而嘆曰：「大丈夫當立功絕域，何能坐為散儒？」卒斬匈奴使者，還拜中郎將。后復斬樓蘭王首，封儀陽侯。	

第 4 章 大丈夫

	《廢學》 13		
119	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《學部十》 《讀誦》 24	《隋書》曰：崔儵字歧叔。以讀書為務，頗自負而忽人。嘗大署其門下曰：「不讀五千卷書，無得入我室。」 又曰：來護兒字崇幼，而慕詭好立奇節。初讀《詩》至「擊鼓其鏜，踴躍用兵」，「羔裘豹飾，孔武有力」，舍書而嘆曰：「大丈夫其世當如是，為國滅賊，以建功名，安能區區久事隴畝！」群輩嘉其言而壯其志。	
120	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《服用部四》 《蓋》 19	《文子》曰：大丈夫恬然無思，淡然無慮。以天為蓋，以地為與。	
121	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《服用部九》 《被》 18	《梁書》曰：斐之橫字如岳，少好賓，重氣俠，不事產業。兄之尚以其縱誕，乃為狹被、蔬食以激厲之。之橫嘆曰：「大丈夫富貴必作百幅被。」后為吳興太守，作百幅被，以成其志。	
122	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《疾病部二》 《狂》 26	《世說》曰：阮德如嘗與親友逍遙河側，嘆曰：「大丈夫不能使仆從陷於河橋，非丈夫也。」坐者或曰：「德如以高素致名，不應發此言，必將病之候。」俄而，性理果僻，欲逸走。家人嘗以一細繩橫系之戶前以維之，每欲出，礙繩輒反。時人以為名士狂。	
123	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《奉使部一》 《奉使上》 9	《漢書》曰：漢王曰：「孰能為我使淮南？使之發兵背楚，留項王於齊數月，我之取天下可萬全。」(中略) 又曰：終軍從濟南當詣博士，步入關，關吏予軍繻。軍問：「以此何為？」吏曰：「為復傳還，當以合符。」軍曰：「大丈夫西游，終不復傳還！」棄繻而去。軍后為謁者，使行郡國，建節東出關。關吏識之，曰：「此使者，乃前棄繻生也。」軍行郡國，所見便宜以聞。還奏事，上甚悅。	
124	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《布帛部五》 《帛》 28	《南史》曰：宋鮑昭嘗謁臨川王義慶，未見知，欲貢詩言志，人止之曰：「卿位尚卑，不可輕忤大王。」昭勃然曰：「千載上有英才異士，沉沒而不聞者，安可數哉？大丈夫豈可遂蘊智能，使蘭艾不辯，終日碌碌與燕雀相隨乎！」於是奏詩，義慶奇之，賜帛二十四。	
125	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《資產部九》 《備貸》 7	《東觀漢記》曰：公沙穆來游大學，無資糧，乃變服客傭，為吳祐賃舂。祐與語大驚，遂共定交於杵臼之間。 又曰：初，梁鴻於大家單伯通家傭舂為事。歸，其妻具食，不敢於鴻前仰視，舉案常齊眉。伯通察而異之，曰：「彼傭，能使其妻敬之。」 又曰：班超，字仲升，家貧，恒為官傭寫書。嘗輟書投筆嘆曰：「大丈夫當效傅介子、張騫，立功異域，以取封侯。安能久事筆硯乎？」	
126	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《飲食部二》 《酒中》 11	《後魏書》曰：太宗引崔浩論事，語至中夜。(中略) 又曰：齊神武自太原來朝，見朱游道，曰：「此人是游道邪？常聞其名，今日始識其面！」遷游道別駕。后日，神武之司州，饗朝士，舉觴屬游道曰：「飲高歡手中酒者，大丈夫！卿之為人，合飲此酒。」	
127	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《飲食部七》 《食下》 43	曹植《與吳季重書》曰：食若填溝壑，飯若灌漏卮，其人固難量，豈非大丈夫之樂哉！	

第 4 章 大丈夫

128	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《神仙十六》 《杜子春》 14	盧生備六禮，親迎為妻。數年，恩情甚篤，生一男，僅二歲，聰慧無敵。盧抱兒與之言，不應；多方引之，終無辭。盧大怒曰：「昔賈大夫之妻鄙其夫，纔不笑，然觀其射雉，尚釋其憾。今吾陋不及賈，而文藝非徒射雉也，而竟不言。大丈夫為妻所鄙。安用其子。」乃持兩足，以頭撲於石上，應手而碎，血濺數步。	
129	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《異人二》 《呂翁》 1	開元十九年，道者呂翁，經邯鄲道上邸舍中，設榻施席。擔明鈔本擔作解。囊而坐。俄有邑中少年盧生，衣短裘，乘青駒，將適于田，亦止邸中，與翁接席。言笑殊暢，久之。盧生顧其衣裝弊褻。乃歎曰：「大丈夫生世不諧。而困如是乎。翁曰：「觀子膚極腴，體胖無恙，談諧方適；而歎其困者，何也。生曰。吾此苟生耳。何適之為。」	
130	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《輕薄一》 《崔湜》 1	崔湜，仁師之子。弟澄、液，兄蒞，並有文翰，列居清要。每私宴。自比王謝之家。謂人曰。吾門戶及出身歷官，未嘗不為第一。大丈夫當先據要路以制人，豈能默默受制於人。湜執政時，年三十六。嘗暮出端門，下天津，馬上賦詩曰。春還上林苑，花滿洛陽城。張說見之嘆曰。文與位固可致，其年不可及也。後附韋后，比相，又附太平公主。門下客獻《海鷗賦》以諷，湜稱善而不悛。蕭至忠誅，流嶺外賜死	
131	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《鬼四》 《胡章》 1	郟縣胡章，與上虞管雙，喜好干戈。雙死後，章夢見之，躍刃戲其前，覺甚不樂。明日。以符帖壁。章欲近行。已汎舟理楫。忽見雙來攀留之，云。夫人相知，情貫千載，昨夜就卿戲。值眠，吾即去。今何故以符相厭，大丈夫不體天下之理，我畏符乎。出《幽明錄》	
132	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《鬼二十九》 《安鳳》 1	安鳳，壽春人，少與鄉里徐侃友善，俱有才學。本約同遊宦長安，侃性純孝，別其母時，見母泣涕不止，乃不忍離。鳳至長安，十年不達，恥不歸。後忽逢侃，攜手叙闊別，話鄉里之事，悲喜俱不自勝。同寓旅舍數日，忽侃謂鳳曰。我離鄉一載，我母必念我，我當歸。君離鄉亦久，能同歸乎。鳳曰。我本不勤耕鑿，而志切於名宦。今日遠離鄉國，索米於長安，無一公卿知。十年之漂蕩。大丈夫之氣槩。焉能以面目回見故鄉之人也。因泣謂侃曰。君自當寧親，我誓不達不歸矣。(中略)出《瀟湘錄》	
133	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《鬼四十》 《陳守規》 1	軍將陳守規者，常坐法流信州，寓止公館。館素凶，守規始至。即鬼物晝見，奇形怪狀。變化倏忽。守規素剛猛，親持弓矢刀杖。與之鬪。久之，乃空中語曰。吾鬼神，不欲與人雜居。君既堅正，願以兄事，可乎。守規許之。自是常與交言，有吉凶，輒先報。或求飲食，與之，輒得錢物。既久，頗為厭倦，因求方士，手書章疏，奏之上帝。翌日，鬼乃大罵曰。吾與君為兄弟，奈何上章訴我。大丈夫結交，當如是耶。守規曰。安得有此事。即於空中擲下章疏，紙筆宛然。又曰。君圖我居處，謂我無所止也。吾今往蜀川，亦不下於此矣。由是遂絕。出《稽神錄》	
134	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《畜獸十二》 《孫恪》 1	張曰。豈有袁氏海內無瓜葛之親哉。又辨慧多能，足為可異矣。」遂告張曰。某一生遭迍。久處凍餒，因滋婚娶，頗似蘇息，不能負義，何以為計。張生怒曰。大丈夫未能事人。焉能事鬼。傳云：『妖由人興。人無譽焉，妖不自作。』且義與身孰親。身受其災，而顧其鬼怪之恩義，三尺童子，尚以為不可，何況大丈夫乎。張又曰。吾有寶劍。亦干將之儔亞也。凡有魍魎，見者滅沒。前後神驗，不可備數。詰朝奉借。倘攜密室。必觀其狼狽。不下昔日王君攜寶鏡而照鸚鵡也。不然者，則不斷恩愛耳。明日。恪遂受劍。(中略)出《傳奇》	
135	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《論語十二》 《雍也篇一》 《哀公問弟子章》 17	如今道理箇箇說一樣，各家自守以為是，只是未得見這公共道理是非。前日曾說見道理不明，如『居天下之廣居，立天下之正位，行天下之大道』，是 大丈夫 ；若後車千乘，傳食諸侯，喚做大丈夫也得。」問：「是非本吾心之固有，而萬物萬事是非之理莫不各具。所以是非不明者，只緣本心先蔽了。」曰：「固是。若知得事物上是非分明，便是自家心下是非分明。程先生所以說『纔明彼，即曉此』。」	
136	《宋明》	大丈夫當容人，勿為人所容。「顏子犯而不校」。子蒙	

	《朱子語類》 [金]1270年 《論語十七》 《泰伯篇》 《曾子以能問於不能章》 7		
137	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《孟子二》 《公孫丑上之上》 《問夫子加齊之卿相章》 88	曰：「此謂道義得浩然之氣助之，方有張主。如以一碗水攪一碗水，則剛果勇決，無所疑憚，有以任重做得去。若箇人做得一件半件事合道義，而無浩然之氣來配助，則易頹墮了，未必不為威武所屈，貧賤所移，做大丈夫不得。」又云：「『助』字，釋『配』字乃得之。」李先生云：「助，是陪貼底字。」先生又曰：「某解此段，若有一字不是孟子意，天厭之！」又曰：「無此氣之扶持之，仁或見困於不仁，義或見陵於不義。」震	
138	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《本朝六》 《中興至今日人物下》 87	廣錄云：「世上有一種人，心下自不分明，只是怕人道不會，不肯問人。昔老南去參慈明時，已有人隨他了。它欲入慈明室，數次欲揭簾入去，又休。末後乃云：『有疑不決，終非大丈夫。』遂入其室。」某嘗說，怪不得今日士大夫，是他心裏無可作做，無可思量，『飽食終日，無所用心』，自然是只隨利欲走。間有務記誦為詞章者，又不足以救其本心之陷溺，所以箇箇如此。只緣無所用心，故如此。前輩多有得於佛學，當利害禍福之際而不變者。蓋佛氏勇猛精進、清淨堅固之說，猶足以使人淡泊有守，不為外物所移也。若記覽詞章之學，這般伎倆，如何救拔得他那利欲底窠窟動！」	
139	《清代》 《紅樓夢》 [清]1780-1792年 《薄命女偏逢薄命郎 葫蘆僧判斷葫蘆案》 11	門子笑道：「老爺當年何其明決！今日何反成個沒主意的人了？小的聽聞老爺補陞此任係賈府王府之力。此薛蟠即賈府之親，老爺何不順水行舟，做個人情，將此案了結？日後也好去見賈王二公。」雨村道：「你說的何嘗不是！但事關人命，蒙皇上隆恩，起復委用，正竭力圖報之時，豈可因私枉法？我是實不忍為的！」門子聽了冷笑道：「老爺說的自是正理，但如今世上是行不去的！豈不聞古人說的『大丈夫相時而動』？又說『趨吉避凶者為君子』？依老爺這話，不但不能報效朝廷，亦且自身不保。還要三思為妥。」	
140	《清代》 《紅樓夢》 [清]1780-1792年 《賈寶玉初試雲雨情 劉姥姥一進榮國府》 5	這劉姥姥乃是個久經世代的老寡婦，膝下又無子息，只靠兩畝薄田度日。如今女婿接了養活，豈不願意呢？遂一心一計，幫著女兒女婿過活。因這年秋盡冬初，天氣冷將上來，家中冬事未辦，狗兒未免心中煩躁，吃了幾杯悶酒，在家裡閒尋氣惱，劉氏不敢頂撞。因此，劉姥姥看不過，便勸道：「姑爺，你別嘖著我多嘴。偕們村莊人家兒，那一個不是老老實實守著多大碗兒吃多大的飯呢？你皆因年小時候，託著老子娘的福，吃喝慣了，如今所以有了錢就顧頭不顧尾，沒了錢就瞎生氣，成了什麼男子漢大丈夫了！如今偕們雖離城住著，終是天子腳下。這『長安』城中，遍地皆是錢，只可惜沒人會去拿罷了！在家跳踢也沒用。」	
141	《清代》 《紅樓夢》 [清]1780-1792年 《繡鴛鴦夢兆絳芸軒 識分定情悟梨香院》 20	寶玉聽至濃快處，見他不說了，便笑道：「人誰不死？只要死的好。那些鬚眉濁物只聽見『文死諫』『武死戰』這二死是大丈夫的名節，便只管胡鬧起來。那裡知道有昏君方有死諫之臣，只顧他邀名，猛拚一死，將來置君父於何地？必定有刀兵，方有死戰，他只顧圖汗馬之功，猛拚一死，將來棄國於何地？」襲人不等說完，便道：「古時候兒這些人，也因出於不得已，他纔死啊。」	
142	《清代》 《紅樓夢》 [清]1780-1792年 《情小妹恥情歸地府 冷二郎一冷入空門》 14	賈璉笑道：「如今口說無憑，等柳二弟一見，便知我這內娣的品貌，是古今有一無二的了。」湘蓮聽了大喜，說：「既如此說，等弟探過姑母，不過一月內，就進京的，那時再定，如何？」賈璉笑道：「你我一言為定。只是我信不過二弟。你是萍蹤浪跡，倘然去了不來，豈不誤了人家一輩子的大事？須得留一個定禮。」湘蓮道：「大丈夫豈有失信之理？小弟素係寒貧，況且在客中，那裡能有定禮？」薛蟠道：「我這裡現成，就備一分二弟帶去。」賈璉道：「也不用金銀珠寶，須是二弟親身自有的東西，不論貴賤，不過帶去取信耳。」	

第 4 章 大丈夫

143	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷七十九》 《久戍邊城有懷京邑》 駱賓王著 2	弱齡小山志，寧期大丈夫。九微光賁玉，千仞忽彈珠。	
144	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百二十七》 《建除詩》 權德輿著 1	建節出王都，雄雄大丈夫。除書加右職，騎吏擁前驅。	
145	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百六十九》 《出世篇》 皇甫湜著 1	生當為大丈夫，斷羈羅，出泥塗。四散號呶，倏擾無隅。	
146	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷四百五十四》 《送陳許高僕射赴鎮》 白居易著 1	敦詩說禮中軍帥，重士輕財大丈夫。常與師徒同苦樂，不教親故隔榮枯。花鈿坐繞黃金印，絲管行隨白玉壺。	
147	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷六百零八》 《七愛詩：李太尉》 皮日休著 4	丹券入帑藏，青史傳子孫。所謂大丈夫，動合驚乾坤。	
148	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷七百二十八》 《春秋戰國門：黃歇》 周曇著 1	春申隨質若王圖，為主輕生大丈夫。	
149	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百零六》 《詩三百三首》 寒山著 332	男兒大丈夫，作事莫莽鹵。勁挺鐵石心，直取菩提路。	
150	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百零六》 《詩三百三首》 寒山著 512	男兒大丈夫，一刀兩段截。人面禽獸心，造作何時歇。	
151	《清代》	鳥外塵中四十秋，亦曾高挹漢諸侯。如斯標緻雖清拙，	

第 4 章 大丈夫

	《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百三十七》 《山居詩二十四首》 貫休著 11	大丈夫兒合自由。紫術黃菁苗蔌蔌，錦囊香麝語啾啾。	
152	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百五十七》 《七言》 呂岩著 11	亂雲堆裏表星都，認得深藏大丈夫。綠酒醉眠閑日月，白蘋風定釣江湖。長將氣度隨天道，不把言詞問世徒。	
153	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百五十八》 《窰頭唄歌》 呂岩著 6	大丈夫，超覺性，了盡空門不為證。伏羲傳道至於今，窮理盡性至於命。了命如何是本元，先認坎離並四正。	
154	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百六十》 《贈呂洞賓》 鐘離權著 1	知君幸有英靈骨，所以教君心恍惚。含元殿上水晶宮，分明指出神仙窟。大丈夫，遇真訣，須要執持心猛烈。	
155	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716 年 《石部》 《十》 30	磊：《唐韻》落猥切《集韻》《韻會》《正韻》魯猥切，𡵓音壘。同礫。《說文》衆石也。《楚辭·九歌》石磊磊兮葛蔓蔓。《古詩》磊磊潤中石。又磊砢。《司馬相如·上林賦》水玉磊砢。《註》魁壘貌。又《世說》孫楚云：其人磊砢而英多。又與礫通。《晉書·石勒載記》大丈夫行事，當礫礫落落如日月。《註》礫作磊。	

4.8 「大丈夫」のまとめ

「大丈夫」の考察から判明した事項のまとめをもって「第4章 大丈夫」の締めくくりとする。以下、箇条書きとした。

- ・「大丈夫」という語は、漢語由来のものと考えられる（「4.1 概論」、「4.2.1 鈴木修次（1978）」）。
- ・中国古典籍から、最古のものの中の一例として（下線は筆者による）、「所謂大丈夫者，謂其智之大也。所謂處其厚不處其薄者，行情實而去禮貌也。」（《法家》《韓非子》[戰國] 紀元前 475-221 年《韓非子》[又名：《韓非》，《韓子》]《解老》8）が挙げられる（「4.7.8 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“12”」）。
- ・「大丈夫」については、大陸から日本への移入後、独自に転義が進んだとみられる。つまり、「立派な男子、ますらお」から想起される性質・状態（問題・心配等がなく安心・安全であること）そのものに焦点が置かれるようになり、現代においては状態性形容動詞としての用法が主流になったという背景がある（「4.1 概論」）。
- ・「大丈夫」の特徴として、漢語由来であるにもかかわらず日常語として多用される語であるということが挙げられる。もはや現代においては、「大丈夫」が漢語由来のものとは意識すらされていないともいえよう（「4.1 概論」）。
- ・鈴木修次（1978）のいう「陸封」現象は、海水・淡水を行き来していたある魚類が地形変化等で淡水中に閉じ込められ、そこで生涯暮らすようになり、独自の変化を遂げる現象を指す。「大丈夫」は、その「陸封」現象の典型とみられる。なお、筆者は上記と同概念のものを「言語のガラパゴス化」としておく（「2.1.8 張潔（2015）」、「2.1.8.4 鈴木修次（1978）」における「陸封」（「大丈夫」との関連性））。
- ・「大丈夫」の意味の変遷には、隣接性（メトニミー：換喩）による作用も働いているとみられる（「4.2.1 鈴木修次（1978）」参照）。
- ・「相手からの勧誘・提案に対する「結構（です）」という返答表現」（婉曲な断りの「結構（です）」）と類似の表現として、近年においては、「大丈夫（です）」が好んで使われる現状があるようである。上記について、伊藤由美（2017）では、「ダブルミーニングの「大丈夫（です）」「結構（です）」としている（「4.1 概論」、「4.2.5 伊藤由美（2017）」）。
- ・近年多用される、返答の際に用いる「大丈夫（です）」については、発話するときの真意として、「いいえ」を発話したくない心理が背景にあるとみられる。つまり、相手に「いいえ」を言わずに婉曲的に断りの意思表示をするために、「大丈夫（です）」といった表現を

用いるわけである。これは効果的な会話ストラテジーの一種とみてよいであろう（「4.2.2 砂川有里子（2005）」、「4.2.2.2 考察（近年における「大丈夫」の用法）」）。

・返答の際に用いる「大丈夫（です）」については、特に発話者の聞き手（相手）に対する気遣いの表明といった点も大事な要素といえよう（「4.2.3 高橋巖（2014）」、「4.2.3.2 考察（返答の「大丈夫」のバリエーション）」）。

・現代語としての「大丈夫」については、本来の意味とみられる名詞としての用法（「立派な男子。ますらお。」、『岩波国語辞典 第8版』（2019））がほぼ使われていないといった現状がある。例えば、『三省堂国語辞典 第7版』（2014）のように、上記の人物呼称としての「大丈夫」を立項していない国語辞書もみられる（「4.4 現代の国語辞書における「大丈夫」」、「4.4.1.2 小型辞書6種」等）。

・現代において、副詞としての「大丈夫」の用法はほぼみられないと考えられる。ただし、実例資料を参照すると、副詞的な「大丈夫」の用法は、少数ではあるものの、明治・大正期にはみられた。一方、現代の国語辞書では副詞の立項をしているものがほとんどである。一部、『三省堂国語辞典 第7版』（2014）のように、「(副) [古風] きっと。まちがいなく。」と位相表示をしてある場合もある。このあたり、実際の使用状況と辞書の記述がずれているといったことを示唆するものである。

第5章 适当

5.1 概論

「适当」という語は、漢語由来のものと考えられる。中国古典籍に典拠を求めると、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「偃也聞之，喪亂有小大。大喪大亂之刻也，不可犯也。父母死為大喪，讒在兄弟為大亂。今适当之，是故難。」（《史書》《國語》[戰國] 紀元前 475-221 年《晉語二》17）が挙げられる（下述、「5.7「适当」の実例」、「5.7.8.1 検索語：「适当」」、資料番号“10”参照）。

「适当」は、本来、「ぴったり合う・当てはまる（かなう）」（加納義光（2014）『漢字語源語義辞典』、「適」の項目内、「适当」より）を意味したと考えられる。近代期の辞書類を参照すると（下述、「5.3.3 近代の辞書 10 種における「适当」の意味記述の比較」参照）、おおむね上記の記述に沿ったものがみられる。ただし、終戦の7年後に出版された『明解国語辞典 改訂版』（1952：昭和 27）には、「①よくあてはまること。②ほどよいこと。③[俗] いい加減。」とある。つまり、この時点で「适当」に「いい加減」という意味記述が現れたとみられる（下述、「5.4.2『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「适当」の意味記述の変遷」参照）¹⁰⁰。

一方、現代中国語における「适当」は、「適切である。ふさわしい。」（『プログレッシブ中国語辞典 第2版¹⁰¹』（2013））、あるいは、“suitable; proper; fit; appropriate”（『新簡明漢英詞典¹⁰²』（2002））とあるように、上記の原義に近い意味を現代においても保っているようである。つまり、「适当」における「いい加減」といった意味は、日本において独自に転義が進んだ結果として得られたものであるといえよう。

それでは、本来「ぴったり合う・当てはまる」（上記、『漢字語源語義辞典』）を意味する「适当」が、なぜ「いい加減」（上記、『明解国語辞典 改訂版』）という意味まで持つようになったのであろうか。「ぴったり合う・当てはまる」と「いい加減」という個々の意味同士を比較すれば、一見したところ、直接の関連性がないようでもある。しかし、「适当」には「ほどよいこと。」（同、『明解国語辞典 改訂版』）という意味があり、これを両者に差

¹⁰⁰ 管見の限り、一般辞書における「适当」の「いい加減」に類する意味記述の出現については、『明解国語辞典 改訂版』（1952：昭和 27）が最も早いものようである。

¹⁰¹ 武信彰・山田眞一編集代表（2013）『プログレッシブ中国語辞典 第2版』小学館

¹⁰² 陳朴編著（2002）『新簡明漢英詞典』上海訳文出版社

し狭むと関連性がみえてくるようである。つまり、本来「ぴったり合う・当てはまる」状態を形容していたものが、限定が緩みはじめ「ほどほど・まあまあ合っている」状態にも使われはじめる。次の段階では、「ほどほどさ加減」の程度が個々人の認識により異なってくる（つまり主観化の進行）ことから、相当に幅の広いものになってくる。しだいに、「だいたい・大ざっぱな感じ」となり、「いい加減」に移行したというのが筆者の見解である。したがって、「適当」の語義の変遷を端的にみれば、「①ぴったり」→「②ほどほど」→「③だいたい・いい加減」の過程を経たということが考えられる。

ただし、近年においては、「適当」の上記三つの意味、「①ぴったり」「②ほどほど」「③だいたい・いい加減」に当てはまらないとみられるもの、つまり、「任意に、随意に、ランダムに」といった意味の存在についても指摘しておく（例：「この中から適当に選んでください」等）（下述、「5.2.6 窪菌晴夫（2017）」参照）。

以上、「適当」の変遷と反義併存的な側面について触れた。次節以降では、「適当」について、共時的および通時的観点から、先行研究・辞書等の資料を基とした上で総合的考察を行う。

5.2 先行研究および資料

本節においては、「適当」に関連した先行研究および資料を取り上げ、まとめた上で論点を整理し考察を行う。

5.2.1 門倉正美（1996）

5.2.1.1 「適当」と「いい加減」「ほどほど」

芳賀綏・佐々木瑞枝・門倉正美（1996）『あいまい語辞典』では、「適当・ほどほど」の項目がみられる。ここでは類義関係にある「適当」と「いい加減」「ほどほど」についての比較・対照を行っている（門倉正美記述）。以下、主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①「適当」には、以下 a, b の二通りの意味がある。

a 「ふさわしい、妥当する」

例 a：「解答の選択肢の中から最も適当と思われるものをひとつ選べ」

b「あてずっぽう、いい加減」

例 b:「ええい、適当に○しておけ」

②「いい加減」自体にも、「あてずっぽう」の他に、「適当」と同じく、「ちょうどよい状態」という意味がある。

(*筆者参考例:「お湯がいい加減の温度になってきた」)

③上記①の例 a、「最も適当と思われるもの」という試験問題の決まり文句は、きわめて巧妙なレトリックを含んでいる。

④「適当と思われるもの」という表現で受験者の主観的判断を許容するニュアンスを、「最も」という語によって問題作成者の主観的判断基準により制限するという、高度な管理的性格を持つ。

⑤「最も」という判断基準が恣意的であるため、問題文の作者(作家等)自体もその問題が解けないといったこともよくある。

⑥「適当」と似たニュアンスを持つことばに、「ほどほど」がある。

⑦「ほどほど」の「ほど」は、つまり、程度・限度を表し、「適度」ということになる。「ほどほどのところで満足している」というように、「分相応」という感覚がある。

⑧「～もほどほどにしておけ」という叱責の表現がある。(以下、例)「冗談も[さぼるのも/甘えるのも/人を頼るのも]ほどほどにしろ」という文句は、「冗談」等がすでに「ほど」を越えた、つまり我慢の限界を超えたときに出るものである¹⁰³。

⑨決して、「適度な冗談」なら許容するという、度量の広さをみせる表現ではなく、「その程度でやめないと許さないぞ」という意味のレトリックである。

5.2.1.2 考察(「適当」のレトリック)

以上、概観すると、まず、上記①では、「適当」の二つの意味を整理している。すなわち、①a「ふさわしい、妥当する」と①b「あてずっぽう、いい加減」である。さらに、上記②では、「適当」の語釈①b「いい加減」自体を取り上げ、「いい加減」には「あてずっぽう」の他に、「適当」と同じく、「ちょうどよい状態」も意味すると述べる。ここで「いい加減」の「ちょうどよい状態」を表す例文を示すと、「お湯がいい加減の温度になってきた」(筆者例)が挙げられる。

¹⁰³ 「もういい加減にしろ!」といった表現も上記の説明がほぼ当てはまるといえる。

上記③から⑤にかけては、「試験問題の決まり文句」について述べられる。しかし、やや哲学的なため理解が困難である。筆者なりに端的に解釈すれば、「最も適当と思われるもの」という表現は、たとえ出題者の意図と問題文の作者（作家等）の意図が多少ずれていたとしても、ほどほどのずれは許容されうるという出題者の潜在心理が働いたものといえるかもしれない。例えば、ここで、「適当」の代わりに「適切」等の語を使ってしまうと、あまりに「ぴったりさ／ちょうどよさ」が強調されてしまうため、出題者にとっては不都合ということになるであろう。

ただし、筆者は、程度の甚だしさを表す「最も」と、程度のほどほどさを表す「適当」とを合わせて「最も適当」とするのは、矛盾した表現ではないかと考える。よくよく考えてみれば、「最も」と限定表現を使うのであれば、「最も適切」とするほうがより「適切」であろう。上記③で門倉が指摘する、「巧妙なレトリック」というものも、このあたりの違和感を指しているのではと考えられる。

上記⑦から⑨にかけては、「ほどほど」について述べられる。上記⑧の「～もほどほどにしておけ」という叱責の表現については、基本的に「適当」との入れ替えができない。ただし、「いい加減」との入れ替えはできる。下述、「5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順(1998)」でも触れているが、「いい加減」には、発話者の感情がこめられるという。確かに、慣用的表現である「もういい加減にしろ！」をみても、発話者のどうしようもないイライラとした感情が如実に示された表現ともいえよう。つまり、この点において、「ほどほど」は、「いい加減」と性質が似ており、発話者の感情を乗せやすい語であるといえよう。一方、「適当」には、感情は抜きにして客観的に評価するという傾向がみられるようである。

5.2.2 森田良行 (1996)

5.2.2.1 「適当」と基準設定意識

森田良行 (1996) 『意味分析の方法—理論と実践—』、「第4章 発想と意味」、「1. 発想の基本にあるもの」、「エ 基準設定意識」に、「適当」の項目がみられる。森田は「基準設定意識」という観点から、「適当」について分析する。ここでの「基準設定意識」とは、「語義の表面上は特に基準らしきものは見当たらないが、運用に際し表現者の意識におのずからなる基準が設けられ、それに従って表現内容を選別選定していくこと」とある。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①『岩波国語辞典 第5版』、「適当」には、「ある性質・状態・要求などに、ちょうどよく合うこと」とある。しかし、「ある性質・状態・要求」のレベルがわからない。
- ②「相変わらず」等と同様に、もととなる事柄がレベルの基準となる。そのため単にそのレベルとぴったりというだけでは語義の状況理解のみであり、現実には話者が意図するレベルの内容・質の内容がなおざりになる。
- ③基準を前提とするこれらの言葉は、その発話ごとに基準値を判定していかなければならない。
- ④言葉の運用に際し、談話・文章における表現者（*発話者）の意識下に潜むさまざまな要素、つまり文脈の裏側にあるさまざまな要因を読み取ることが重要である。
- ⑤例えば、「適当に処理しておきなさい」というとき、「適当」の意味そのものに基準は内包されていない。
- ⑥レベルを表す語は、レベル基準の観念に発想のもとがある。ただし、基準そのものの把握は、理解者（つまり、意味を分析する側）の判断に任される。
- ⑦したがって、この種の語に接する際は、まずはどこに基準の線引きをするかが問題となる。

5.2.2.2 考察（「適当」の程度性）

以上を概観すると、若干込み入った内容である。したがって、以下にさらに要約してみると、

「適当」のような基準設定意識が働く語は、話し手の真の意思を読み取るために、聞き手の判断で基準の線引きをすることが重要となる。

ということになる。まず、上記①では、『岩波国語辞典 第5版』の「適当」の意味記述（「ある性質・状態・要求などに、ちょうどよく合うこと」）を引用した上で、「ある性質・状態・要求」のレベルがわからない」と指摘している。確かに、漠然と「ある性質」といわれても抽象的過ぎて何を言わんとするのかがはっきりしない。

ここで、「適当」の「程度性」についてみる。『広辞苑 第七版』（2018）、「適当」の項目には、「①ある状態や目的などに、ほどよくあてはまること。」とある（下述、「5.4 現代の国語辞書における「適当」」、「5.4.1 現代の国語辞書 10 種における「適当」の意味記述の比較」参照）。「ほどよくあてはまる」とあるが、「適当」のこの「ほどほどの加減」と

いったものを聞き手のほうがどのように判断するかといった点が肝要といえよう。

ここで一つ気になる点が見いだされる。上記、『岩波国語辞典 第5版』の「相当」の意味記述（「ある性質・状態・要求などに、ちょうどよく合うこと」）と、同じく『広辞苑 第七版』の「相当」の意味記述（「ある状態や目的などに、ほどよくあてはまること。」）を比較すると、「ちょうどよく（ぴったり）」合致するのか、「ほどよく（ほどほどに）」合致するのかといった違いが見いだされる。これは、「相当」という語の解釈が未だに辞書によって異なる（ゆれがみられる）といったことを示唆するものである。筆者の解釈では、本来、「ちょうどよく（ぴったり）」合致する状況で用いられた「相当」が、理解者側の判断の任意性（上記⑥）が高まったことにより、「ほどよく（ほどほどに）」合致する方向に移行したのであると考える。したがって、後者（「ほどよく（ほどほどに）合致する」）のほうが現代語における「相当」の語感により近いものとみられる。

上記⑤の例、「相当に処理しておきなさい」についてみれば、この例が、例えば会社の会議で重要案件について議論している際に発せられるのと、結果について問われない微々たる案件を処理する際に発せられるのとでは、聞き手のほうの判断が異なってくるであろう。おそらく、聞き手のほうは、前者については、「今やれる中で最善の手を尽くそう」と判断するかもしれない。一方、後者については、「とりあえず支障のでない程度にやっておけばいい」と判断するかもしれない。つまり、「相当」は、程度性の基準の幅が相当に広いため、上記⑥で森田が述べるように、「基準そのものの把握は、理解者（意味を分析する側）の判断に任される」ということになるのであろう。したがって、理解者側の判断の任意性こそが、「相当」の意味の適用範囲が広がった要因の一つといえるのかもしれない。

ここで、再び上記⑤の例、「相当に処理しておきなさい」についてみれば、話し手の側からすれば、「相当」を使うことによって案件の処理を聞き手のほうに丸投げするわけであるから、ある種都合のよい言い逃れ表現ということもできよう。一方、時として、話し手が意図する「相当」（ほどほどさの加減）と、聞き手が解釈する「相当」（ほどほどさの加減）とにずれが生じ、ミスコミュニケーションを誘発することがしばしばありうるということも指摘しておく。

5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順（1998）

5.2.3.1 「適当」と類義語 ①

田忠魁・泉原省二・金相順（1998）『日本語類似表現のニュアンスの違いを列証する 類義語使い分け辞典』においては、「合う・似合う」の項目に、類義語としての「適当」がみられる。ここでは、「合う・似合う」の類義語として、30 もの語を挙げている。そこから筆者がさらに仕分けをし、「適当」を核とした類義語 18 語を選び出した。まず、大きく①「プラス評価性」／②「マイナス評価性」と二分類した上で、語の形式・品詞別にまとめた。以下、表に示した。

図表 5.1：「適当」の類義語グループの分類と対照（『類義語使い分け辞典』を基に）

分類	番号	類義語	(本文)説明	備考 (品詞分類等)
①	1	適当だ	・[数量/大きさ/形]等が、[ざっとであるほうが望ましい/うるさくない方がいい]と判断する場合は、プラス評価。 ・基準が甘く緩やかな様子。[的確/効率/能率]が要求される場で使うと、[力を抜く/真面目でない/むだが多い]というマイナス評価に。	・形容動詞 ・A と B とがほどほどに当てはまるイメージ。
	2	適切だ	・その場の[状況/事態/条件/要求/基準]に、[ぴったりした/ふさわしい]様子。例：適切に仕事を処理する。（*「適当」と入れ替えた場合、二通りの解釈が可能。）	・形容動詞
	3	妥当だ	・実際の多様な場面で、[無理がなく/ぴったりと]当てはまる。	・形容動詞
	4	打って付け(だ)	・与えられた[役割/仕事/言葉]等が打って付けて固定したかのようになり、その人の[性格/能力]等にぴったりする様子。	・形容動詞
	5	一致する	・二つの[物事/状況]等を比較すると、完全に重なり合って、違いが見いだせないこと。	・サ変動詞
	6	合致する	・ある[基準/目的/希望/傾向]等に一致する。	・サ変動詞
	7	適する	・「合う」の文章語。例：その患者には、その薬が適する。	・サ変動詞
	8	かなう(適う)	・[内容/言葉/行い/ふるまい]等が、規範となるものに一致していること。	・動詞
	9	合う	・異なる両者がある点で重なりを見せる。一方が他方の基準に接近する。	・動詞
	10	似合う	・異なる両者間に違和感がなく、調和がとれているようにみえる。	・動詞
	11	ふさわしい	・[常識/通年/習慣]に照らし合わせて、[時/場合/社会的地位/職業/性格]等にぴったりしている様子を客観的に評価する文章語。	・形容詞
	12	ぴったり(と)する	・現実の状態/状況を基準に、[二つ/二人]の間に[隙間/違和感]がなく、完全に[一致する/合っている/似合っている]様子。	・副詞
	13	ちょうど(*丁度)	・[数量/形/大きさ/時間/性質/状態]等が話し手の意識にある特別な基準に、ほぼ一致すること。 ・現実の[状態/状況]に一致し、完全である場合、「ちょうど」は「ぴったり」に置き換わる。	・副詞 ・「ちょうど(丁度)」は漢語系か。
②	1	いい加減だ	・本来、[プラス/マイナス]のバランスが調整された、[度を超さない/ほどよい]状態を表したが、マイナス評価の面だけが強調され、度を超さない程度でやめるという意味から、[度を超すほどの努力をしない/まったく努力をしない]という意味にまで拡大。 ・[プラス/マイナス]両面のある「適当」に置き換える場合、ニュ	・形容動詞(副詞) ・本来は、「よい」+「加減」 ・左の解説によると、「いい加

		<p>アンスが異なる(*下の例)。 ・例:「いい加減にしない」は、はっきりした禁止命令なので、中途半端さを暗示する「適当」には置き換わらない。 ・例:「宿題なんか一にしておけばいい」の場合、置き換えられるが、「いい加減」は命令口調、「適当」はアドバイスになる。 ・例:「一な仕事ばかりする」の場合、「いい加減」は腹を立てた状態(*話し手が)、「適当」はマイナス評価をするのみで、感情的ではない。 ・例:「親切なのもいい加減いやになるね」「いい加減わかりそうなものだが」等は、その行為/状態が一般常識等の基準を超えて、うんざりしている気分をあらわす。副詞としての「いい加減」は、「適当」とは置き換え不可。</p>	<p>減」は話者の感情がこもっている。一方「適当」は客観的評価。 ・「いい加減」は副詞としての用法があるが、「適当」にはない。「適当」の場合、連用形「適当に」の形を取らないと副詞的な機能を果たせない。</p>
2	無責任だ	<p>・責任のない状態を表す。 ・責任感のなさ、責任というものを理解していない言動を表し、この場合「いい加減/でたらめ」等と置き換えられ、責任/義務の伴わない物事にまで範囲を広げて使える。 ・ただし、「無責任」は、あくまで規則に違反する/罰則を受けるに値するというニュアンスが込められる。</p>	<p>・形容動詞 ・場合により「適当」も入れ替えが可。</p>
3	ずさんだ (杜撰だ)	<p>・文章に孫引きが多い/[間違い/誤り/ミス]が目立つ、[大事なポイントが抜けている/手抜きがひどい]等、[出来上がりが使い物にならない/使うとマイナスの結果を招く恐れがある]状態を表す文章語。</p>	<p>・形容動詞 ・「ずさん(杜撰)」は漢語系。</p>
4	粗雑だ	<p>・「ずさんだ」に置き換わって日常語になる。 ・細かいところまで注意が行き届いていないことを表し、[失敗する/見た目が良くない/問題が生じる]等のマイナスの結果を暗示する。</p>	<p>・形容動詞</p>
5	雑だ	<p>・「粗雑だ」に、[言葉遣い/態度]のぞんざいさ、物事が整理整頓されていない様子を加えた日常語。</p>	<p>・形容動詞</p>

5.2.3.2 類義語を通して見た「適当」(まとめ)

以上、「適当」を核とした類義語 18 語を概観した。そこから判明したことを以下にまとめた。

- ・「適当」は、類義語が多い。品詞上の分類も横断しており幅が広い。
- ・上記表、分類①の 1 から 4 まで、「1 適当だ/2 適切だ/3 妥当だ/4 打って付けだ」は、「適当」を核とした形容動詞グループとしてまとめられる。つまり、「適当」は、他の三語を包摂しうるものと考えられる。
- ・「適当」と「適切」の関係性をみってみる。「適当」は、程度性について、ぴったりからほどほどまでと幅の広い領域をカバーする。一方、「適切」は、程度性について、ぴったり、あるいは、ちょうどよいと領域がより狭められ限定される(関連として、下述、「5.2.4 松井栄一(2008)」も参照)。

・上記表、分類①の5から10まで、「5一致する／6合致する／7適する／8適う／9合う／10似合う」は、「相当」関連の動詞グループとしてまとめられる。うち、「5一致する／6合致する／7適する」はサ変動詞で、同じくサ変動詞の用法を持つ「相当」と近似性がある。ただし、「5一致する／6合致する／7適する」は、「相当」のように形容動詞としての用法はない点には注意を要する。

・上記表、分類①の「11ふさわしい」は、全18語中、唯一の形容詞であった。「ふさわしい」の類義語として、「ちょうどよい(いい)」「相応」¹⁰⁴「相当」等も挙げられる。

・上記表、分類①の「12ぴったり(と)する」「13ちょうど」は、「相当」関連の副詞グループとしてまとめられる。しかし、「ぴったり蓋をする」の文に「相当」の連用修飾形(副詞的用法)「適当に」を当てはめると、意味が変化する。これは「相当」の連用修飾(副詞的)用法に、「ぴったり」といった意味が含まれないということを表すものである。さらに、「ちょうど電車が来た」の文に「適当に」を当てはめると、非文に近いものになる。ただし、「12ぴったり」の形容動詞用法(本文では「連体詞」として¹⁰⁵いる)の例、「スーツにぴったりのネクタイ」の場合、「適当な」と入れ替え可能で、意味のニュアンスもほぼ同じである。一方、「ちょうど」は「丁度」と表記できることから漢語系とみられる¹⁰⁶。そうすると、文語としての「ちょうど(丁度)」、口語としての「ぴったり」という位相の違いが認められるといった見方もできよう。

・上記表、分類②の1から5まで、「1いい加減だ／2無責任だ／3ずさんだ／4粗雑だ／5雑だ」は、「相当」のマイナス評価関連の形容動詞グループとしてまとめられる。

・上記分類②の「1いい加減」は、一般的に、「相当」のマイナス評価面の語積として表れる。したがって、両者の性質は相似する¹⁰⁷。ただし、上記解説を基にすれば、「いい加減」は、発話者の感情がこめられた表現ということになる。一方、「相当」には、感情は抜きにして客観的に評価するといった傾向がみられるようである。例えば、「適当にやりなさい(しなさい)」といった表現は、(話題の件については)あなた(聞き

¹⁰⁴ 「相応」については、熟字訓的に「相応(ふさわ)しい」と読みを当てる場合がある。

¹⁰⁵ 例えば、『明鏡国語辞典 第二版』では、「ぴったり」の品詞として、副詞・形容動詞を立てている。

¹⁰⁶ 「中国哲学書電子化計画」からは、「丁度」についてそれらしき用例が得られなかった。したがって、日本製漢語といった可能性も否定できない。

¹⁰⁷ ちなみに、逆のパターン、つまり一般辞書における「いい加減」のマイナス評価面の語積に、「相当」が使われることはまずない。

手)の判断にゆだねるといった話者の側の意図が見て取れる。

・上記分類②の「1 いい加減」の説明に、「「いい加減にきなさい」は、はっきりした禁止命令なので、中途半端さを暗示する「適当」には置き換わらない」とある。ただし、「いい加減にきなさい (いい加減にしろ)」は、慣用句であり、コロケーション的結びつきの要素が大きいため他の語との入れ替えはできないとみるほうが自然な解釈であろうか¹⁰⁸。「いい加減にきなさい (いい加減にしろ)」は、話者の心中のマイナス性感情 (怒り・フラストレーション等) を相手 (聞き手) にぶつけるといった状況で使われることが多いとみられる。

・上記分類②の「1 いい加減」は副詞としての用法がある。一方、「適当」は、単独では副詞としての機能を持たない。「適当」の場合、連用形接続「適当に」の形を取らないと副詞的な機能を果たせない。

5.2.4 松井栄一 (2008)

5.2.4.1 「適当」と類義語 ②

松井栄一 (2008) 『ちがいがわかる 類語使い分け辞典』においては、「いいかげん (いい加減)」および「てきせつ (適切)」の項目に、それぞれの類義語としての「適当」がみられた。松井の手法は、ある語に対する類義語を複数挙げ、類義語グループを作り、それぞれの語の意味的に重なる部分、重ならない部分を表現例によって検討し、語の関連性をみるというものである。以下、「いいかげん (いい加減)」の類義語グループ (「5.2.4.2」)、および、「てきせつ (適切)」の類義語グループ (「5.2.4.4」) の主要部分についてまとめた (便宜上番号をつけた)。

5.2.4.2 「いい加減」の類義語グループ

①「いい加減」の類義語は、「適当／なげやり／ぞんざい」である。英訳は、“negligent”である。「いい加減」の基本義は、「物事のやり方などが徹底していなかったり、粗雑だったりするようす。」である。

②「いい加減」「適当」は、「ほどよい」という良い意味から、「きちんとしたところが

¹⁰⁸ ただし、「ほどほど」であれば、入れ替えは可能である (上述、「5.2.1 門倉正美 (1996)」参照)。

なく無責任である」という意味に転じた。

③「なげやり」は、結果はどうでもいいという態度に重点を置く。「ぞんざい」は、丁寧でなく、粗雑であるという点に重点を置く（*以下、表現例 a, b, c, d, e）。

・表現例 a：あいつの仕事は一だ

例 a の場合、どの語も当てはまる。「相当」「なげやり」は態度について、「ぞんざい」はやり方・結果についていう。「いい加減」は両方を含んでいう。

・表現例 b：一な造りの家

例 b のように、できあがった状態についていうときは、「いい加減」「ぞんざい」が当てはまる。

・表現例 c：そんな一な考えではだめだ

例 c の場合、「いい加減」「相当」「なげやり」が当てはまる。「考え」のような外面に現れないことについては、「ぞんざい」は使いにくい。

・表現例 d：一にごまかした

良くない意味を持った語を修飾する例 d のような場合、「いい加減」「相当」が当てはまる。「なげやり」「ぞんざい」は、本来的に粗雑・不熱心といった良くない意味があるため、使えない。

・表現例 e：時間に一な人

例 e には、「いい加減」のみ当てはまる。きまり・規則等をきちんと守らない様子という場合、「いい加減」以外は使いにくい。

5.2.4.3 考察（「いい加減」の類義語グループ）

上記②では、「「いい加減」「相当」は、「ほどよい」という良い意味から、「きちんとしたところがなく無責任である」という意味に転じた。」とある。松井の述べるこの意味変化の展開は、示唆的である。「相当」は、語構成からみても、本来は、「ぴったり合う・当てはまる」を意味したようである。その絶対的な（誰がみても疑う余地がない）「ぴったり合う・当てはまる」状態から、意味の悪化・拡大の過程を経て、「ほどほどに・適度に当てはまる」という意味に移行したという解釈ができる（その際、類義語の「適切」等が「ぴったり合う・当てはまる」という意味を受け持つことになる）。ここで、「ほどほどさ」の尺度というものは、個々人によって相対的に異なるため、ずれが生じてくる。その度が過ぎればマイナス評価性の方向に移行してしまい、結局は、「きちんとしたところがなく無責任

である」というところまで行き着いたということになる。つまり、「適当」は、意味の変化に相対化の概念が作用したということがいえそうである。

上記③の表現例 a「あいつの仕事は一だ」は、どの語も当てはまるという。さらに、「適当」「なげやり」は態度について、「ぞんざい」はやり方・結果について、「いい加減」は両方を含んでいう、とある。つまり、松井の論に従うと、「いい加減」は「適当」より許容範囲が広いことになる。しかし、実際の判断は難しいようである。例えば、上記表現例 aに「適当」を当てはめ、「あいつの仕事は適当だ」とした場合、通常の解釈ならば、「[仕事のやり方／結果として出された仕事（の内容）]が適当だ」となろう。そうすると、「適当」は、上記「ぞんざい」の領域にも入り込むことになる。あえて「態度」に焦点を当てるならば、「あいつの仕事ぶりは適当だ」としなければならないであろう。このあたり、表現例を基とした分析の難しさを感じさせる。

上記③の表現例 b「一な造りの家」のような、できあがった状態についていうときは、「いい加減」「ぞんざい」が当てはまる、という。松井によると、「適当」は当てはまらないということになる。しかし、上記 b の例も、例えば「適当」の「大ざっぱで投げやりな」といった意味（『現代国語例解辞典 第5版』、下述、「5.4.1 現代の国語辞書 10種における「適当」の意味記述の比較」参照）を適用すれば、「適当な造りの家」もいえなくはないとみられる。さらに、異表記体「テキトー」を使って「テキトーな造りの家」としても同様である。基本的に、「いい加減」の連体修飾形「いい加減な＋名詞」の場合、無条件で「適当な」と代替可能であるとみられる。

上記③の表現例 d「一にごまかした」のような、良くない意味を持った語を修飾する場合、「いい加減」「適当」が当てはまる、という。ここで、上記 d の類似表現として、「一にはぐらかす」も挙げられる。一方、例えば、プラス評価性の意味を持った語を修飾する場合も、「適当に」は使えるのかといった疑問が出てくる。「適当にほめる」という表現は実際に耳にすることがあるが、やはりやや例外的ということになるろう。

上記③の表現例 e「時間に一な人」には、「いい加減」のみ当てはまる、という。きまり・規則等をきちんと守らない様子をいう場合、「いい加減」以外は使いにくい、ともある。これについては若干の疑問がある。例えば、「時間にルーズ」といった意味合いで、「時間に適当（テキトー）」という表現をとることは十分可能なはずである。ここでは、参考として、「テキトー」と「時間」が共起した BCCWJ からの実例を以下に示しておく（下線は筆者による）。

「白菜は生でも食べられる→炒める時間はテキトーでいい(シャキシャキでもしんなりでも)」(資料番号“24”、Yahoo!知恵袋 2005 OC08_06282/下述、「5.7.5.2 検索語:「テキトー」」参照)

5.2.4.4 「適切」の類義語グループ

以下、「てきせつ (適切)」の類義語グループの主要部分についてまとめた (便宜上番号をつけた)。

①「適切」の類義語は、「適当/適正/適度」である。英訳は、“proper”である。「適切」の基本義は、「物事が条件にかなっていてふさわしいようす。」である。「適切」は、物事への対応・やり方・表現等が、状況・場面に合っていて望ましい様子を表す。

②「適当」は、物事がある条件・目的・要求等にうまく合う様子である。

③「適切」は、場面・状況にぴったり合うという意味を持つ。一方、「適当」は、条件への当てはまり具合に幅を持たせる含みがあり、そこから、ほどほどに行う様子、表面上つじつまを合わせる様子でも使う。

④「適正」は、物事の状態・水準等が道理・基準に合いふさわしい様子で、「適度」は、物事の度合いがほどよい様子 (*以下、表現例 a, b, c, d, e)。

・表現例 a: 一な処置をする。

例 a の場合、「適切」「適当」「適正」が当てはまる。a のように、程度でなく内容に関する場合、「適度」は使えない。

・表現例 b: 健康のために一な運動が必要だ

例 b のように、「ほどよい程度」をいう場合、基準に合わせ行う事柄でないため、「適正」は使えない。「適切」もぴったりと合う意味であり、不自然である。「適度」「適当」が当てはまる。

・表現例 c: 一な言葉がみつからない

例 c のように、その場にうまく当てはまる様子をいう場合、「適切」「適当」を使う。

・表現例 d: 一に返事をして聞き流す

例 d のように、「いい加減」の意味の場合、「適当」のみ使える。

・表現例 e: 一価格を示す

例 e のように、ある基準にかなうという意味の場合、「適正」を使う。

⑤「適切／適当／適正／適度」グループの類義語として、「好適」「最適」「妥当」を挙げると、「好適」は、ちょうど条件がよい様子。「最適」は、いちばん適している様子。「妥当」は、判断・処置が道理にかなっている様子を表す。

5.2.4.5 考察（「適切」の類義語グループ）

上記③で、「適切」は、「場面・状況にぴったり合う」、一方「適当」は、「条件への適応具合に幅を持たせる含みがあり、そこから、ほどほどに行く、見た目上つじつまを合わせる様子」とある。つまり、筆者の解釈では、「適切」は「ぴったり」、「適当」は、合うには合うが幅に遊びがあるイメージとなろう。ただし、「適当」自体も「ぴったり」という意味を持つことは注意を要する（『大辞林 第4版』、下述、「5.4.1 現代の10種における「適当」の意味記述の比較」参照）。ここで、「幅に遊びがある」と述べたが、これは当然多少のずれを許容するということにもなる。そこから、「ぴったり」→「ほどほど」→「大ざっぱ」という意味の展開が生じたとも考えられる。このあたりが「適当」のマイナス評価性の意味が派生した背景といえるのかもしれない。

次に、上記④の表現例を検討してみる。表現例 e 「一価格を示す」のように、ある基準にかなうという意味の場合、「適正」を使う、とある。しかし、例えば、ビジネスにおける工事費見積もり交渉等では、「まず、適当な価格を出してもらってもいいですか？」といった表現が可能であるとも考えられる。したがって、上記表現例 e は、「適正」のみが当てはまるとも言いがたいようである。ただし、「適当」の場合、反義併存的な性質を示すため、例えば、「業者に適当な見積もり価格を出されて困った。」といった表現も可能となる。この場合はマイナス評価を含意した「適当」となるため注意が必要である。

表現例に類義語を当てはめ検討するという手法は非常に有効なものと考えられる。そこから、たいていの日本語母語話者が共有する規則といったものが見えてくる。ただし、個人個人の認識の異なりによる微妙な判定のずれが出る領域も露呈される。いわゆるグレーゾーンの領域である。このグレーゾーンの領域には、例えば、年代差やジェンダー、あるいは地域性等の複合的要素がからんでくることとなる。したがって、類義語の判定に絶対性というものは無いということを知っておく必要がある。

5.2.4.6 「いい加減」の類義語グループの使用頻度

次に、「いい加減」の類義語グループ（いい加減／適当／なげやり／ぞんざい）が、現代の言語活動においてどの程度の頻度で使われているかについて、BCCWJ（現代日本語書き言葉均衡コーパス）（2020/10/28 時点）および、「Ameba（アメーバ） | 芸能人・有名人ブログ」（2020/08/20 時点）による検索を行った¹⁰⁹。結果は以下の表のとおりである。

図表 5.2 : BCCWJによる「いい加減」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数	合計
1	適当	3,696	3,696
2	いい加減 ¹¹⁰	1,015	1,591
	(いいかげん)	576	
3	投げやり	114	144
	(なげやり)	30	
4	ぞんざい	86	86

図表 5.3 : 「Ameba（アメーバ）」による「いい加減」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数	合計
1	適当	56,000	56,000
2	いい加減	17,500	20,610
	(いいかげん)	3,110	
3	投げやり	1,520	1,951
	(なげやり)	431	
4	ぞんざい	473	473

5.2.4.7 結果と考察（「いい加減」の類義語グループの使用頻度）

上記の表を概観し、結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・降順に示すと、BCCWJは、①「適当（3,696件）」②「いいかげん（いい加減）（計1,591件）」③「なげやり（投げやり）（計144件）」④「ぞんざい（86件）」であり、「Ameba（アメーバ）」は、①「適当（56,000件）」②「いいかげん（いい加減）（計20,610件）」

¹⁰⁹検索条件は、BCCWJ（「短単位検索」「検索語：「適当」「いい加減（いいかげん）＊下記脚注参照」「投げやり（なげやり）」「ぞんざい」、その他指定なし）／「Ameba（アメーバ）」（ホームページ検索ウィンドウに検索語（同上）を入力、その他指定なし）とした。「Ameba（アメーバ）」については、語の使用についての大まかな傾向を探るという主旨であり、必ずしも結果に対し絶対性があるものではない。

¹¹⁰ BCCWJの検索画面で「いい加減（いいかげん）」と入力しても検索結果が表示されない。理由は「いい」と「加減」を別々の語彙素として扱っているからである。そのため、「加減（かげん）」に、前方共起条件「いい」を追加して検索する必要がある。

件) ③「なげやり (投げやり) (計 1,951 件)」④「ぞんざい (473 件)」であった。両者ともに順位は同じで、「適当」が突出する結果となった。

・両者ともに、上位二語 (①「適当」②「いい加減」) と下位二語 (③「なげやり」④「ぞんざい」) の検索結果の数値が開きすぎている。

・「いいかげん (いい加減)」と「適当」とを比較すると、BCCWJ は、「いいかげん (いい加減) (計 1,591 件)」「適当 (3,696 件)」であり、「Ameba (アメーバ)」は、「いいかげん (いい加減) (計 20,610 件)」「適当 (56,000 件)」である。つまり、両者ともに「いいかげん (いい加減)」は「適当」の半分以下の数値であることがわかる。

・「なげやり (投げやり) (BCCWJ : 計 144 件 / 「Ameba (アメーバ)」 : 計 1,951 件)」と「ぞんざい (BCCWJ : 86 件 / 「Ameba (アメーバ)」 : 473 件)」については、両者ともに検索結果の数値が低い。つまり、現代において使用頻度が低い語であることが示唆される。

・「適当 (BCCWJ : 3,696 件 / 「Ameba (アメーバ)」 : 56,000 件)」と「ぞんざい (BCCWJ : 86 件 / 「Ameba (アメーバ)」 : 473 件)」の数値を比較すれば、BCCWJ は 40 倍、「Ameba (アメーバ)」は百倍以上の差がある。同一の類義語グループでまとめていいのかという若干の疑念も生じる。できれば他の候補語を入れることが望ましいであろう。

結果として、現代においては、「いい加減」の類義語グループ「いい加減 / 適当 / なげやり / ぞんざい」の中で、「適当」が最も多く使われているという傾向が示された。以上を考慮すれば、「いい加減」を中心とした類義語グループは、むしろ、「適当」を筆頭とした類義語グループ「適当 / いい加減 / なげやり / ぞんざい」として提示するほうが現実的かもしれない。

例えば、日本語教育等において類義語を扱う際は、「いい加減」グループでなく、「適当」グループの類義語「適当 (いい加減 / なげやり / ぞんざい)」としたほうが学習者にとっては実用的であるかもしれない。なお、上記の結果でも示されたとおり、「なげやり」「ぞんざい」等、極端に使用頻度の低い語については、かえって学習者の負担を強いることになりかねないため、もう少し使用頻度の高い他の候補語に入れ替える等の工夫が求められるであろう。

5.2.4.8 「適切」の類義語グループの使用頻度

続いて、「適切」の類義語グループ（適切／適当／適正／適度）について、BCCWJ（2020/10/28 時点）、「Ameba（アメーバ）」（2020/08/20 時点）および「聞蔵Ⅱ」（2020/10/28 時点）による検索を行った¹¹¹。まとめたものを以下の表に示す。

図表 5.4 : BCCWJによる「適切」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数
1	適切	5,900
2	適当	3,696
3	適正	3,570
4	適度	766

図表 5.5 : 「Ameba（アメーバ）」による「適切」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数
1	適当	56,000
2	適度	20,000
3	適切	15,800
4	適正	7,980

図表 5.6 : 「聞蔵Ⅱ」による「適切」の類義語グループの検索結果数と順位

順位	語	検索結果数
1	適切	81,581
2	適正	48,146
3	適当	21,032
4	適度	7,101

5.2.4.9 結果と考察（「適切」の類義語グループの使用頻度）

上記の表を概観し、結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・降順に示すと、BCCWJ は、①「適切（5,900 件）」②「適当（3,696 件）」③「適正（3,570 件）」④「適度（766 件）」であった。「Ameba（アメーバ）」は、①「適当（56,000 件）」②「適度（20,000 件）」③「適切（15,800 件）」④「適正（7,980 件）」であった。

¹¹¹ 検索条件は、BCCWJ（「短単位検索」「検索語：「適切」「適当」「適正」「適度」）、その他指定なし）／「Ameba（アメーバ）」（ホームページ検索ウィンドウに検索語（同上）を入力、その他指定なし）／「聞蔵Ⅱ」（「朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA」「キーワード」は同上、その他指定なし）とした。

「聞蔵Ⅱ」は、①「適切（81,581件）」②「適正（48,146件）」③「相当（21,032件）」④「適度（7,101件）」であった。つまり、三者は全く異なる傾向を示した。ただし、共通点として、BCCWJと「聞蔵Ⅱ」では「適切」の検索結果数が最も多く、「適度」の検索結果数が最も少ないことが挙げられる。

- ・BCCWJにおいて、「適切」の検索結果数（5,900件）が多い理由として、官公庁系の報告書（白書）等で、非常によく使われることが一つの要因と考えられる。

- ・「Ameba（アメーバ）」においては、「相当（56,000件）」が突出する結果となった。ブログというメディアでは、話しことばに近い書きことばが使われる。そのような性質を考慮すれば、「相当」が他の語（適度／適切／適正）に比較して、日常的話しことばとして使用される頻度が高いことが示唆される。

- ・「聞蔵Ⅱ」においては、「適切（81,581件）」が突出する結果となった。正確な情報伝達を旨とする新聞メディアにおいては、「適切」が比較的好まれる語のようである。

- ・上記、「いい加減」の類義語グループ（上述、「5.2.4.5」）と比較すれば、極端に使用頻度の低い語はみられなかった。

以上、「適切」を中心とした類義語グループについて概観した。なお、林巨樹・松井栄一監修（2016）『現代国語例解辞典 第五版』（下述、「5.4.1 現代の国語辞書 10種における「相当」の意味記述の比較」も参照）における「相当」の項目には、「相当」の類義語として、「適切」「適宜」が挙げられている。なお、例えば、日本語教育等において類義語を扱う際は、「相当」の適用範囲の広さといった観点から、上記「適切」グループというよりむしろ、「相当」グループの類義語「相当（適度／適切／適正）」を提示したほうが学習者にとっては実用的であるかもしれない。

5.2.5 増井金典（2012）

5.2.5.1 「相当」の出自

増井金典（2012）『日本語源広辞典 増補版』に「相当」の項目がみられる。それによると、「相当」の語源は、「適（かなう）＋当（あてはまる）」、「ちょうど良い程度」の形容動詞とある。さらに増井は、「相当」について、日本における近世以後の造語のようであると述べている。ただし、理由・出典等は示されない。

一方、筆者の認識では、「日本における近世以後の造語」かどうかについては判定しかねる。例えば、『日本書紀』には以下のような「适当」の用例がみられる（下述、「5.7「适当」の実例」、「5.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、「5.7.1.1 検索語：「适当（適當）」」、資料番号“1”参照／下線は筆者による）¹¹²。

即得_二神教_一而拜礼之、因以_二依網吾彦男垂見_一為_二祭神主_一。于_レ時也_二适当_一皇后之開胎_一。
（日本書紀 卷第九 氣長足姫尊 神功皇后 [二] 神助により新羅親征 p.426）

さらに、中国古典籍からの出典をみると、以下のような「适当」の用例がみられる（下述、「5.7「适当」の実例」、「5.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、「5.7.1.1 検索語：「适当（適當）」」、資料番号“1”参照／下線は筆者による）。

天非為囚未當死，使聖王出德令也，聖王適下赦，拘囚_二适当_一免死。（《先秦兩漢》《儒家》
《論衡》[東漢] 80年 王充著《偶會》15）

以上のように、「适当（適當）」については、日本の古代および、中国における先秦兩漢時代からの出典が確認できる。したがって、「适当」は、「日本における近世以後の造語」というわけではなく、漢語出自のものである可能性が高いとみられる。

5.2.5.2 「适当」と「的当」の関係性

次に、『日本国語大辞典』で「适当」の項目をみると、見出しに「适当・的当」とある。さらに、語誌的な記述も参照すると、「适当」の例がみられるのは、おおむね明治期以降のようである。一方、「的当」のほうは、中世期から近世期まで例がみられる。『日本国語大辞典』における最も古い例としては（下線は筆者による）、『正法眼蔵』（1231~1253）、「夢中説夢」から、「直指（ぢきし）は説夢なり、的当は説夢なり」というものが挙げられる。なお、佐藤喜代治（1998）¹¹³によると、禅宗の史書、『五燈会元』¹¹⁴の語彙中にも、「的当」

¹¹² ただし、『日本古典文学全集』からの「适当（適當）」の用例はこの一例のみとなる。ここから、近代（明治期）以前の資料においては「适当（適當）」の用例がほぼないといったことが示唆される。したがって、「适当（適當）」は、「中国古典漢語を復活させて用いた翻訳語」（沖森・肥爪（2017）『日本語ライブラリー 漢語』、「1 語種からみた漢語」、p.28から）の一種とみなされる可能性も否定できない。

¹¹³ 『漢語漢字の研究』『五燈会元』の語彙の考察—わが国近代の漢語との関連において—より。

¹¹⁴ 読みは、「ごとうえげん」。本文解説によると、中国南宋時代に成立した禅宗の史書で、宋の僧済がまとめたものという。

がみられる。さらに、佐藤亨(1983)によると、江戸時代の地理書、『訂正増訳 采覧異言』¹¹⁵の語彙中にも、「的当」がみられるという。なお、中国古典籍においては、おおむね13世紀後半以後に「的當(的当)」の用例が現れる。特に、『朱子語類』([金]1270年)からは、「的當(的当)」の用例が比較的多くみられる(下述、「5.7「相当」の実例」、「5.7.9 中国古典籍(中國哲學書電子化計劃:漢代之後)」、「5.7.9.2 検索語:「的當」参照)。

以上を考慮した上で、「相当」と「的当」についてみれば、おそらく、日本において、近世期あたりまでは「的当」の表記が主として使われていたといった可能性が示唆される。一方、「相当」という語は、歴史的にみれば近代以後になってから主に使われ始めたのではとも考えられる。そうすると、やはり、上記注釈で述べたように、「中国古典漢語を復活させて用いた翻訳語」(沖森・肥爪(2017))の一種とみなされる可能性も否定はできない。さらに、少なくとも近代(明治・大正期あたり)までは、類義語としての「相当」「的当」が併存していたようである¹¹⁶。

5.2.6 窪菌晴夫(2017)

5.2.6.1 「相当」と「いい加減」

窪菌晴夫(2017)『通じない日本語 世代差・地域差からみる言葉の不思議』、「第1部 中高年の悩み」、「第3章 パンツをはかない女性たち」、「意味の下降—いい加減」においては、「いい加減」の類義語として「相当」が取り上げられる。以下、主要部分についてまとめた(便宜上番号をつけた)。

- ①「いい加減」という語は、良い(いい)意味にも悪い意味にも使える。本来の意味は、「ちょうど良い程度や状態」である。「いい加減」は、良い評価から悪い評価に意味を下降させた例である。
- ②「相当」は、「いい加減」と類似の例である。例えば、「適当な人を推薦する」の「相当」は、「適切な/妥当な」と類義であり、「目的・要求にほどよく合っている状態」を表す。

¹¹⁵ 本文解説によると、新井白石が1708(宝永5)年に著した世界地理書『采覧異言』を山村昌永が1802(享保2)年に校正増補したものという。

¹¹⁶ ただし、近代(明治期以後)における「的當(的当)」の用例は非常に少ない(下述、「5.7「相当」の実例」、「5.7.2 近代(CHJ:日本語歴史コーパス)」、「5.7.2.3 検索語:「的当」/「的當」~」参照)。

③一方、例えば、「適当なことを言うな」「いつも適当なことを言う」の「相当」は、悪い意味のほうの「いい加減」と類義であり、「その場をなんとかつくりよう程度」を表す。

④副詞的¹¹⁷に使う「相当に」には、悪い意味のほうが出てくるようである。

⑤一方、形容動詞連体形「適当な」は、良い意味にも悪い意味にもなり、前後の文脈で判断することになる。

⑥これらは、明確な基準がないため、外国人¹¹⁸には難しい表現かもしれない。

⑦例えば、「相当に人を推薦する」と「適当な人を推薦する」とではニュアンスが異なる。これらの違いを外国人が理解するのは困難である。

5.2.6.2 考察（連体修飾・連用修飾としての「相当」）

まず、窪菌は、上記②において、「「適当な人を推薦する」の「相当」は、「適切な／妥当な」と類義」と述べる。しかし、これについては若干の疑問がある。なぜなら連体修飾「適当な～」の例も場面・状況次第では、マイナス評価の「相当」になり得る。例えば、上司が部下との会話中に、投げやりな調子で、「あいつは適当なヤツだ」と発話したような場合が想定できる。あるいは、上記②の例を、「適当なヤツを推薦しておけ」とすれば「相当」はマイナスの評価性を帯びることになるだろう。なお、これについては、「その件については、罰金が相当だろう」といった形容動詞述語文の例を示したほうがマイナス評価性がなく適切であろう。

さらに上記④では、「副詞的に使う「相当に」には、悪い意味のほうが出てくるようである」と述べる。しかし、これも場面・状況次第といえよう。例えば、「相当にやっていたいで結構です」「三つの中から相当に選んでください」ならば、マイナスのイメージは喚起されにくい。このように、「相当」の場合、従来の辞書の意味記述からは微妙にずれた、「任意の／ランダム」のといったような意味の存在がみとめられよう。筆者はこの種の用法における「相当」を、「随意（任意）の相当」としておく。

上記⑦では（以下、便宜上 a, b とする）、a「相当に人を推薦する」と、b「適当な人を推薦する」とではニュアンスが異なり、これらの違いを外国人が理解するのは困難である、と述べる。ここでは、上記 b の例については特に問題がないと考えられる。問題があると

¹¹⁷ 具体的にいえば、形容動詞「相当だ」の連用形接続ということになる。

¹¹⁸ 第二言語としての日本語話者（日本語学習者）を想定したものであろう。

すれば、上記 a の例のほうである。「相当」の連用形接続（副詞的用法）、「相当に」は反義併存的性質を示すものである。したがって、上記例 a の解釈は場面・状況に応じて以下、二通りの解釈ができることとなる。つまり、1. 「(その場・状況にほどよく当てはまる) 人を推薦する」、あるいは、2. 「(行為者が熟考せずに、思いつき任せに) 人を推薦する」となる。確かに、「これらの違いを外国人が理解するのは困難である」とするのはもっともである。おそらく、その「困難さ」は、「相当」が持つ反義併存性に起因するものであろう。これは、セイン・長尾 (2012) による、「結構 (けっこう)」の例もしかりである (上述、「第1章 序論」、「1.2 背景および目的」参照)。ただし、反義併存性は、日本語に特有なものというわけではなく、どの言語においても程度の差こそあれ備わるものでもある。一つの文の解釈が二通りできるといったような興味深い性質を持つものでもある。このような背景を示せば、外国人 (日本語学習者) にとっても理解のきっかけが得られるのではと考える。

5.3 近代の辞書における「相当」

本節では、近代の辞書 (主に国語・和英辞書) における「相当」 (もしくは「的当」) の意味記述を参照し、比較・対照した上で考察を行った。

5.3.1 『和英語林集成』(初版／再版／第三版)における「的当 (的當)」の意味記述の比較

本項では、『和英語林集成 初版』(1867: 慶應 3)、『和英語林集成 再版』(1872: 明治 5)、および『和英語林集成 第三版』(1886: 明治 19)における「的当 (的當)」の意味記述を基に比較・考察を行った。なお、『和英語林集成』については、表記については「相当 (適當)」でなく「的当 (的當)」であった。ただし、意味上は現代の「相当」(あてはまる等)と共通性がみられる。以下に、各版における「的当 (的當)」の意味記述の比較表を示した。なお、筆者による補足は、「(*補足)」のようにカッコ内に記した。

図表 5.7: 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「相当」の意味記述の比較

版名 出版年	見出し 品詞	意味記述	類義語 (Syn.)	備考
初版 1867 慶應 3	† TEKI-TŌ, テキタウ, 的当 (<i>mato ni ataru.</i>) (*的に 当たる)	Suitable, proper, just, adequate. — <i>no home-kata</i> , (*一のほめ方) praise just suitable to one's merit. — <i>sh'itaru reigi</i> , (*一したる礼儀) suitable ceremonies.	Syn. SŌ-Ō, (*相応) CHŌDO-YOI. (*丁度よい)	・剣のマーク(ダ ガー)付き。 *1(欄外注釈) ・漢字表記は「的 当(的當)」。 ・品詞の指定はな し。
再版 1872 明治 5	TEKI-TŌ, テキタウ, 的当 (<i>mato ni ataru.</i>) (*的に 当たる)	Suitable, proper, fitting, appropriate, adequate, becoming. — <i>no home-kata</i> , (*一のほめ方) praise just suitable to one's merit. — <i>shitaru reigi</i> , (*一したる礼儀) appropriate ceremonies.	Syn. SŌ-Ō, KANAU. (*適う)	・“†”(ダガー) マークの表示な くなる。 ・“Syn.”(類義語) が“CHŌDO-YOI.” から“KANAU.” に変更。
第三版 1886 明治 19	TEKITŌ テキタウ 的当	Suitable, proper, fitting, appropriate, becoming: — <i>no home-kata</i> , (*一のほめ方) praise just suitable to one's merit; — <i>shitaru reigi</i> , (*一したる礼儀) appropriate ceremonies; <i>futekitō</i> , (*不的当) unsuitable.	(*再版と同)	・対義語“ <i>futekitō</i> ” (*不的当)の追 加。 ・“Syn.”(類義語) は、再版と同じ。

*1: 『初版』の解説によると、“†”(ダガー)は、“word used only books or obsolete.”(筆者訳: 文語あるいは廃語)とある。つまり、「的当(的當)」は、古語扱いの語ということになる。ただし、『再版』、『第三版』ともにダガーは外れている。『再版』以降は、全体として“†”(ダガー)の運用を廃止したようである。

5.3.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・『初版』(1867)、『再版』(1872)、および『第三版』(1886)を通して、漢字表記は、「的当(的當)」であった。『初版』、『再版』では、“*mato ni ataru.*”(的に当たる)といった具体的説明もみられた。ここで、『初版』(1867: 慶應 3)における漢字表記が「的当(的當)」であったことを考慮すると、幕末期あたりまでは、「的当(的當)」の表記が中心に行われていた可能性も否定はできない。
- ・意味記述をみると、“Suitable, proper,”を中心として、各版を通して基本的に大きな変更はみられなかった。各版の語釈については、現代語の「相当」の意味(あてはまる、ちょうどよい等)との共通性もみられた。
- ・“†”(ダガー)は『初版』にのみ付され、『再版』、『第三版』ではみられなかった。
- ・付属の二つの例文、「—*no home-kata*, (*的当のほめ方)」「—*shitaru reigi*, (*的当し

たる礼儀)」は、『初版』、『再版』、および『第三版』を通して同じであった。ただし、『第三版』で対義（反義）語“futekitō, (*不的当) unsuitable.”が追加された。

・「的当（的當）」の類義語（Syn.）についてみると、『初版』では、“SŌ-Ō”（相応）、“CHŌDO-YOI”（ちょうどよい）の二語がみられた。『再版』では、“SŌ-Ō”（相応）についてはそのまま、“CHŌDO-YOI”（ちょうどよい）が消滅し“KANAU”（適う）が現れた。続く『第三版』では変更がみられず、“SŌ-Ō”（相応）、“KANAU”（適う）の二語がみられた。ちなみに、“TEKISETSU テキセツ 適切”をみると、意味記述として“Suitable, appropriate.”とあり、類義語（Syn.）については、“Syn. TEKITŌ, KANAU.”とある。上記の“Suitable, appropriate.”は、『第三版』、「的当（的當）」の意味記述と合致している。ここから、『第三版』において、「的当（的當）／適切／相応／適う（かなう）」の四語は互いに類義の関係にあることが導き出せる。

5.3.2 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「相当」の意味記述

J. H. Gubbins（ジョン・ハリントン・ガビンズ）『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』、「第三冊」（1892：明治25）、「Teki 適」の項目、下部二字漢語の欄に、「相当」がみられた。さらに、“Teki 的”の項目をみると、同じく下部二字漢語の欄に、「的当」がみられた。以下に記述を表にして示した（一部抜粋、編集、下線は筆者）。

図表 5.8：『漢語英訳辞典』における「適」「相当」「的」「的当」の意味記述

語項目	意味記述	備考
Teki 適	To reach; go to; happen; occur; follow; suit; accord with; succeed; pleased; agreeable; satisfied; suddenly; to marry a husband.	
Teki-tō (適)当,	suitable; fitting; proper; appropriate; <i>suru</i> , to be suitable; be appropriate; (<i>ni suru</i> , to suit; be suited to; be adapted to.	・ “ <i>suru</i> ” “(<i>ni suru</i>)” とサ変動詞の記述もあり。
Teki 的	The centre of a target; bright; clear; real; true; evident.	
Teki-tō (的)当,	suitable; fitting; proper; appropriate; <i>suru</i> , to hit the centre of a target; be suitable; (<i>ni suru</i> , to suit; be suited to; be adapted <u>for</u> .	・ “ <i>suru</i> ” “(<i>ni suru</i>)” とサ変動詞の記述もあり。

5.3.2.1 考察

以上、「相当」と「的当」の記述を比較してみると、下線部 “to hit the centre of a target” (筆者訳：的の中央に当てる) を除けばほぼ一致することがわかる。ここから、当時(明治中期)、「相当」と「的当」が同時に存在し、ほぼ同義のものとして使われていたということが示唆される¹¹⁹。

一般的に、完全に意味の一致する同義語というものは存在しないといわれる。言語の経済性に反するというのが一つの理由となる。なお、下述「5.7.2 近代 (CHJ：日本語歴史コーパス)」においては、「適當」(旧字体)の検索結果数が全1417件であったのに対し、「的当(的當)」のそれは合計3例のみである(出現年は1873, 1874, 1882年)。そこから「的当(的當)」については使用例が相当に少ないということがうかがえる。おそらく、近代、ことに明治期、「相当」と「的当」がほとんど同義のものとして存在していた。ただし、明治期においては、すでに「相当」の表記形のほうが優勢を保っていたということが示唆される。一方、「的当」の消息については、はっきりしたことはわかりかねる。おそらく、「相当」と「的当」が同義語として競合した結果(同義語衝突)、より汎用性の高い「相当」のほうが生き残り、「的当」のほうはしだいに衰え消滅したということが考えられる。

¹¹⁹ しかし、『和英語林集成 初版』見出しに、“†”(ダガー)付きで、“†TEKI-TŌ, テキタウ, 的当”とあるため、「的当」のほうは、当時(明治中期前後)、古語的な表現であったことが考えられる(上述、「5.3.1『和英語林集成』」より)。なお、高橋五郎『和英袖珍字彙』(1900：明治33)においても、見出しは「的当」であった。

5.3.3 近代の国語辞書 10 種における「相当」の意味記述の比較

本項では、明治中期から昭和前期にかけて出版された近代の国語辞書（一部和英辞書を含む）10 種を用いて、通時的観点も含めて、「相当」の意味記述を比較・対照した。まず、本稿で取り上げた 10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。

図表 5.9：近代の国語辞書 10 種の内訳

編者/著者	正式名称	略称	出版年	出版社(人)
J.C. ヘボン	改正増補 和英 英和 語林集成	和英語林 3 版	1886：明治 19	丸善商社
高橋五郎	漢英対照 いろは辞典	漢英対照いろは	1888：明治 21	長尾景弼
大槻文彦	日本辞書 言海	言海	1889~91：明治 22~24	大槻文彦
山田美妙 (武太郎)	日本大辞書	日本大辞書	1893：明治 26	日本大辞書 発行所
落合直文	日本大辞典 ことばの泉	ことばの泉	1898：明治 31	大倉書店
松平圓次郎 山崎弓束 堀籠美善	俗語辞海	俗語辞海	1909：明治 42	集文館
上田万年 松井簡治	大日本国語辞典	大日本国語辞典	1915~19：大正 4~8	富山房 金港堂
金沢庄三郎	広辞林 (初版)	広辞林初版	1925：大正 14	三省堂
新村出	辞苑	辞苑	1935：昭和 10	博文館
金田一京助	辞海	辞海	1952：昭和 27	三省堂

「相当」の意味の分類については、原典の意味記述を参照の上、さらに筆者の任意で仕分けた。スペースの関係上、意味の記述のみとし、例文等は省略した。『言海』『日本大辞書』については、意味記述をカタカナ表記からひらがな表記に変更した。なお、『辞海』のみ 1952（昭和 27）年の出版である。しかし、武藤康史（2008）¹²⁰によると、昭和 13 年に、金田一京助が『辞海』（当初の予定は昭和国語大辞典）にとりかかったとあるため、便宜上近代の辞書に含めた。以下に表にまとめたものを示した。

¹²⁰ 『国語辞典の名語釈』巻末、「国語辞典年表」より。

図表 5.10 : 近代の国語辞書 10 種における「相当」の意味記述の比較

辞書名	意味 1	意味 2	備考
和英語林 3 版 (1886)	TEKITŌ テキタウ 的当 Suitable, proper, fitting, appropriate, becoming:	—	・漢字表記は「的当」。 ・上述「3.3.1『和英語林集成』～」も参照。
漢英対照 いろは (1886)	てきたう (形) 相当, あたりまへ, しかるべき, 的当, 当然 Proper, suitable.	—	・上記『和英語林 3 版』と類似性あり。
言海 (1889~91)	てきたう(名)相当 恰(*あたか)も好く程に当ること。相当。	—	
日本 大辞書 (1892~93)	てきたう(名)相当 漢語。相当。	—	
ことばの 泉 (1898)	てきたう(名)相当。あひあたること。そのものに、よくかなふこと。	—	・見出しは「相当」のみ。
俗語辞海 (1909)	—	—	・見出しはみられず。
大日本 国語辞典 (1915~19)	てきたう 相当 よく当たること。ほどよくあてはまること。相当。	—	・見出しは「相当」「的当」の二つ。 ・「的当=的確」とある。
	てきたう 的当 てきかく(的確)に同じ。		
	(*参考)てきかく 的確 たしかなること。まちがひなきこと。的当。确实。		
広辞林 初版 (1925)	てきとう 的当(名)①たしかなること。的確。②よくあてはまること。	—	
	てきとう 相当(名)かなふこと。ふさふこと。*1 あてはまること。あたること。		
辞苑 (1935)	相当(名)よくかなふこと。あてはまること。ふさふこと。*1	—	
辞海 (1952)	相当(名ナ・ス)よくあてはまること。ふさわしいこと。	—	

*1:「ふさふ」は、漢字を当てれば、「相応ふ」。『旺文社 古語辞典 第十版 増補版』(2015)によると、「ふさふ (相応ふ)」は、「つりあう。適合する。調和する。似合う。」とある。

5.3.3.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・上記全ての辞書において、筆者が想定していた「意味 2」(マイナス評価性)に該当する記述はみられなかった。
- ・『和英語林 3 版』(1886)については、漢字表記は、「的当」であった。ただし、意味上は、“Suitable, proper, fitting”等々とあり、現代の「相当」と共通性がみられる。一方、『漢英対照いろは』(1886)については、「相当、あたりまへ、しかるべき、的当、

当然 Proper, suitable.」とあり、「相当」と「的当」の両表記がみられる。『和英語林3版』と『漢英対照いろは』については、語釈に類似性が認められる。なお、著者の高橋五郎は、『和英語林3版』（1886）の編集にも深く関わったとされる人物である。ただし、漢字表記の相違点については興味が喚起される。

・近代の10種の国語辞書のうち、「相当」の表記がみられたのは8種、「的当」の表記がみられたのは4種であった。うち、『漢英対照いろは』（1886）、『大日本国語辞典』（1915~19）、『広辞林 初版』（1925）の3種については、「相当」、および、「的当」の両表記がみられた。

・『俗語辞海』（1909）については、「相当」、あるいは、「的当」の見出し項目はみられなかった。明治40年前後においては、未だ「相当」、あるいは、「的当」が口語（当時いうところの俗語）的な表現とはみなされていなかったことを意味するものであろうか。

・『大日本国語辞典』（1915~19）における「相当」の意味記述には、「よく当たること。ほどよくあてはまること。相当。」とある。これは現代の国語辞書における「相当」の意味記述につながるものと考えられる（下述、「5.4.1 現代の国語辞書10種における「相当」の意味記述の比較」参照）。

・『大日本国語辞典』（1915~19）における「的当」の意味記述をみると、「てきかく（的確）に同じ。」とある。そこで、「的確」の項目をみると、「たしかなること。まちがひなきこと。的当。确实。」とある。したがって、「的当」のほうは「的確」、「确实」と同義のものとして使われたとみられる。ここで、『大日本国語辞典』、「大丈夫（だいぢやうぶ）」をみると、「③たしかなること。間違ひのなきこと。」とある（上述、「4.3.2 近代の国語辞書10種における「大丈夫」の意味記述の比較」参照）。したがって、「的当」「的確」「确实」「大丈夫」が、互いに類義の関係にあったことが示唆される。

5.3.4 『齋藤和英大辞典』における「相当」の意味記述と用例

本項においては、齋藤秀三郎（1928：昭和 3）『齋藤和英大辞典』（略称：『齋藤和英』）における「相当」の意味記述と用例についてみていく。以下、“Tekitō (相当)”の意味記述・例文¹²¹を表にしてまとめた（例文には便宜上番号をつけた）。

図表 5.11：『齋藤和英』における「相当」の意味記述と例文

品詞	意味記述	例文
形容詞	Fit (person— <i>for</i> the post); proper (conduct— <i>for</i> the occasion); fit and proper (person); fit and eligible (person) (* “eligible” 適格の、資格のある); suitable (house— <i>to</i> the person or place — <i>for</i> the purpose); right (man); meet (<i>for</i> a man); condign (punishment) (* “condign” 当然の、妥当の); apt (instance); apposite (case— <i>to</i> the case); appropriate (example— <i>to</i> the occasion); competent, qualified (<i>for</i> doing something);	①誰か適当な人物のお心当りは有りませんか Can't you think of some fit person ? ②僕が適当な人を推薦しよう I will recommend a fit person—a fit and proper person—a fit and eligible person — <i>for</i> the post. ③彼は最も適当な人物だ He is the very man for the post—just the man for the post—the right man in the right place. ④此仕事には彼が最も適当だ He is the very man for the work—just the man for the work—the right man for the work—the man for the work. ⑤もつと適当な時を見てする Choose some more proper occasion! ⑥場合に適当な言葉を使へ Use words proper for the occasion—suited to the occasion. ⑦君は教師に適当だ You are suited for a teacher—(生来なら) made for a teacher—cut out for a teacher—(学力の上からなら)—competent for teaching—qualified for teaching. ⑨何うも適当な家が無い I can not find a suitable house. ⑩帯に短し褌に長しで適当な人が無い I can not find a suitable person. ⑪茲に適当な例が有る Here is an apt instance—a case in point. ⑫此場合に最も適当な例を挙げよう I will cite an instance apposite to the case—appropriate to the occasion. ⑬此辺で事の概略を述べて置くのが適当であらう Here it may not be out of place to state an outline of the matter.
動詞	(=suru) (* 実際は(形)の項目内、上記“qualified”の後に“(=suru)”が記載されている) to fit (a post); to suit (one's taste); to be suited (<i>to</i> the person, place, or occasion— <i>for</i> the purpose); to be in place.	⑧彼は新聞記者が頗る適当して居る He is cut out for a journalist—Journalism is the thing for him. (* 実際は、上記例⑦の次にある。)

さらに、以下、例文のみをカテゴリー別に表にまとめた。

¹²¹ 例文をみると、太字になっている部分がみられる。これは、該当語の英訳に相当する部分を太字で示したようである。ただし、見て明らかなように、必ずしもぴったりとは一致していない。

図表 5.12 : 『齋藤和英』における「相当」の例文の2分類

分類	例文
1. 連体修飾 (適当な+名詞)	①誰か適当な人物のお心当りは有りませんか Can't you think of some fit person? ②僕が適当な人を推薦しよう I will recommend a fit person—a fit and proper person—a fit and eligible person—for the post ③彼は最も適当な人物だ He is the very man for the post—just the man for the post—the right man in the right place. ⑤もつと適当な時を見てする Choose some more proper occasion! ⑥場合に適当な言葉を使へ Use words proper for the occasion—suited to the occasion. ⑨何うも適当な家が無い I can not find a suitable house. ⑩帯に短し襷に長しで適当な人が無い I can not find a suitable person. ⑪茲に適当な例が有る Here is an apt instance—a case in point. ⑫此場合に最も適当な例を挙げよう I will cite an instance apposite to the case—appropriate to the occasion.
2. (形容動詞) 述語文 (適当だ。) (適当である。)	④此仕事には彼が最も適当だ He is the very man for the work—just the man for the work—the right man for the work —the man for the work. ⑦君は教師に適当だ You are suited for a teacher—(生来なら) made for a teacher—cut out for a teacher—(学力の上からなら) competent for teaching—qualified for teaching. ⑬此辺で事の概略を述べて置くのが適当であらう Here it may not be out of place to state an outline of the matter.
3. 動詞(サ変動詞) (相当する)	⑧彼は新聞記者が頗る適当して居る He is cut out for a journalist—Journalism is the thing for him.

5.3.4.1 結果

結果として、以下のことが明らかになった。

- ・品詞については、「形容詞」の一分類のみである。ただし、実際には、「形容詞」の項目内に“(=suru)”というサ変動詞としての記述がみられる。したがって、便宜上は、「形容詞」「動詞」の二つに分類できる。
- ・例文は全 13 例である。三つのカテゴリーに分類できる。以下、「1. 連体修飾」(適当な+名詞)が 9 例、「2. (形容動詞) 述語文」(適当だ。/適当である。)が 3 例、「3. 動詞 (サ変動詞)」(相当する)が 1 例である。ここから、当時(大正期から昭和前期にかけて)、「相当」の連体修飾(適当な+名詞)としての用法が比較的使われていたことが示唆される。
- ・現代語では頻出する連用修飾(副詞的)用法(適当に+用言)、および「相当」のマイナス評価性の用法についてはみられなかった。
- ・サ変動詞、「相当する」の用例は 1 例のみである。ここから、当時(大正期から昭和前期にかけて)においても、「相当」のサ変動詞としての用法(相当する)は、あまり

使われなかったことが示唆される。

5.4 現代の国語辞書における「適当」

5.4.1 現代の国語辞書 10 種における「適当」の意味記述の比較

本項では、現代の国語辞書における「適当」の意味記述について、比較・対照した上で考察を行った。便宜上、分冊構成になっているものを「大型」(『日本国語大辞典』のみ)、『広辞苑』サイズの物を「中型」(3 種)、『新明解』サイズの一般的小型辞書を「小型」(6 種)とみなした。まず、10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。なお、『日本国語大辞典』および『デジタル大辞泉』は“Japan Knowledge Lib”による¹²²。

図表 5.13 : 現代の国語辞書 10 種の内訳

カテゴリー	正式名称	略称	出版年	出版社
大型 1 種	日本国語大辞典	日国	オンライン	小学館
中型 3 種	デジタル大辞泉	—	オンライン	小学館
	広辞苑 第 7 版	広辞苑 7 版	2018	岩波書店
	大辞林 第 4 版	大辞林 4 版	2019	三省堂
小型 6 種	明鏡国語辞典 第 2 版	明鏡 2 版	2010	大修館書店
	新明解国語辞典 第 7 版	新明解 7 版	2012	三省堂
	旺文社国語辞典 第 11 版	旺文社 11 版	2013	旺文社
	三省堂国語辞典 第 7 版	三国 7 版	2014	三省堂
	現代国語例解辞典 第 5 版	現国例 5 版	2016	小学館
	岩波国語辞典 第 8 版	岩波 8 版	2019	岩波書店

¹²² 2020 年 8 月閲覧。 <https://japanknowledge.com/lib/search/basic/>

5.4.1.1 大型・中型辞書4種

まず、大型・中型辞書4種について比較したものを以下の表に示した。

図表 5.14：現代の大型・中型辞書4種における「適当」の意味記述の比較

	意味1(名)(形動)	意味2(名)(形動)	意味3(名)(形動)	備考
日国	(名)(形動)①(的当)(-する)ずばり言い当てること。端的に説示すること。他の方便を用いしないで直接に指示すること。	②(-する)ある状態・目的・要求などにうまくあてはまること。ほどよくあてはまること。ふさわしいこと。また、そのさま。相当。	(名)(形動)③うまくその場を取り繕い、しのぐこと。また、いいかげんなこと。また、そのさま。	・見出しは「的当・適当」。①(的当)は、現代語にはみられない。
デジタル大辞泉	(名・形動)(スル)①ある条件・目的・要求などに、うまくあてはまること。かなっていること。ふさわしいこと。また、そのさま。	(名・形動)(スル)②程度などが、ほどよいこと。また、そのさま。	(名・形動)(スル)③やり方などが、いいかげんであること。また、そのさま。悪い意味で用いられる。	・「悪い意味」と明示される。
広辞苑7版(2018)	—	①ある状態や目的などに、ほどよくあてはまること。	②その場に合わせて要領よくやること。いい加減。	・品詞の指定はなし。 ・「要領よくやる」と「いい加減」は必ずしも両立しない。
大辞林4版(2019)	(名・形動)(スル)①ある状態・目的・要求などに、ぴったり合っていること。ふさわしいこと。また、そのさま。相当。	—	(名・形動)(スル)②その場をなんとかつくりよう程度であること。いい加減なこと。また、そのさま。 *1	

*1 (大辞林4版)：補足として、「類義の語に、「妥当」があるが、「妥当」は物事の判断・やり方などに無理がなく、適切である意を表す。それに対して「適当」はその場の、またはあるべき状態・性質・条件などにぴったり合っている意を表す」とある。

(*上記、「ぴったり合っている」については若干の疑問がある。現代語の語感では、「ぴったり合っている」といえば、「適切」が当てはまるとみられる。やはり、「ほどほどさ」が「適当」の特徴であろう。ただし、「ぴったり合っている」は、「適当」の本来の意味としては合致しているとみられる。)

5.4.1.2 小型辞書 6 種

次に、小型辞書 6 種について比較したものを以下の表に示した。

図表 5.15：現代の小型辞書 6 種における「相当」の意味記述の比較

	意味 1 (名)(形動)	意味 2 (名)(形動)	意味 3 (名)(形動)	備考
明鏡 2 版 (2010)	(名・形動)①ある条件・要求・目的などにうまく当てはまること。	②分量・程度などが、ほどよいこと。	③まともに取り組まないで、いいかげんであること。*1	
新明解 7 版 (2012)	(形動・スル)そのものの性質・状態が、今求められている条件・目的に合致すると思われる様子(こと)。	—	②本格的に対処するのではなく、一応つじつまが合うようにして当面の事態を收拾する様子。*2	
旺文社 11 版 (2013)	—	①(名・形動ダ・自スル)ある状態・性質・要求などに、ほどよく当てはまること。ふさわしいこと。また、そのさま。	②(名・形動ダ)悪くはない程度に事をすますこと。また、そのさま。いい加減。	
三国 7 版 (2014)	(自サ・形動ダ)①よくあてはまるようす。②ちょうどいいようす。(↔不相当)	—	(自サ・形動ダ)③だいたいの感じであるようす。不徹底。いいかげん。	
現国例 5 版 (2016)	—	(名・形動)①ある状態・目的・要求などに、程よく当てはまること。	(名・形動)②いいかげんなこと。大ざっぱで投げやりなさま。	
岩波 8 版 (2019)	(ダ・ナノ・ス自)①ある性質・状態・要求などに、ちょうどよく合うこと。ふさわしいこと。②分量・度合などがちょうどよいこと。	—	(ダ・ナノ)③要領がよいさま。いい加減なさま。*3	・「要領がよい」と「いい加減」は必ずしも両立しない。

*1：「表現」として、「①②と異なり、マイナスに評価している。」とある。

*2：「運用」として、「②で判断の対象が明示されず、単に「適当な」の形で使われるときは、当座の間に合わせをするだけで信用がおけない、の意になる。例：「あいつは適当な男だから当てにならない／適当なことを言ってはぐらかす」とある。

*3：③の記述については、『広辞苑 7 版』とほぼ同じ。

5.4.1.3 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「相当」の意味記述について概観すれば、おおまかに、三種類の意味、「ぴったり」「ほどほど」「いい加減」が抽出できる。

- ・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「相当」の意味のうち適合性が高い（つまり、ぴったり合う）とみなされるものを「意味1」として分類した。まず、「意味1」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上aとした）、a「ぴったり合う／うまくあてはまる／ちょうどいい／合致した」が取り出せる。

- ・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「相当」の意味のうち適合性がやや緩い（つまり、ほどほどに合う）とみなされるものを「意味2」として分類した。まず、「意味2」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上b,cとした）、b「ほどよい／ほどよくあてはまる」、c「だいたい／大ざっぱ」が取り出せる。

- ・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「相当」の意味のうちマイナス評価性とみなされるものを「意味3」として分類した。まず、「意味3」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上,dとした）、d「いい加減／なげやり／不徹底」が取り出せる。

- ・以上の結果の考察を基に、「相当」の語義の移行についてまとめると、おおむね以下のとおりになる。

a「ぴったり合う／うまくあてはまる／ちょうどいい／合致した」→ b「ほどよい／ほどよくあてはまる」→ c「だいたい／大ざっぱ」→ d「いい加減／なげやり／不徹底」

5.4.1.4 「適当」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）

以下に、上記、現代の国語辞書 10 種を基にした「適当」の語義の移行についてのイメージ図を示した。なお、語義の移行順は、上から下（右斜め下）となる。

図表 5.16 : 「適当」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）

形容動詞		
ϕ (x と y とが) 合う	a ぴったり合う/うま くあてはまる/ちよ うどいい/合致した	
	a' ふさわしい 相当	b (程度・分量が) ほどよい/ほどよく あてはまる
		c だいたい/大ざっぱ
	c' あてずっぽう/ラン ダム/任意/随意 *1	d いい加減/なげやり /ぞんざい/ずさん/ 不徹底/無責任

*1 : c' については、現代の国語辞書 10 種には特に記述がみられない。したがって、筆者が追加した。

5.4.2 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「相当」の意味記述の変遷

本項では、『明解国語辞典』（初版／改訂版）、および、『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）を用いて、「相当」の意味記述の変遷について通時的に概観した。なお、『明解国語辞典』および『三省堂国語辞典』の概要については、上述、「3.4.2『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「結構」の意味記述の変遷」に示した。

まず、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの版・出版年・編者の流れを時系列で表にして示した。

図表 5.17 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ

名称 (略)	版	出版年	編者
明解	初版	1943 (昭和 18)	金田一京助
明解	改訂版	1952 (昭和 27)	金田一京助
三国	初版	1960 (昭和 35)	金田一京助・見坊豪紀・山田忠雄・金田一春彦
三国	第二版	1974 (昭和 49)	金田一京助・金田一春彦・見坊豪紀*1・柴田武・山田忠雄
三国	第三版	1982 (昭和 57)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武
三国	第四版	1992 (平成 04)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武・飛田良文
三国	第五版	2001 (平成 13)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第六版	2008 (平成 20)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第七版	2014 (平成 26)	見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大
*1 : 『三国』の「第二版」「第三版」「第四版」では、見坊豪紀に「主幹」の表示あり。			

続いて、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「相当」の意味記述について通時的観点から表にして示した。紙幅の関係上、端的にまとめた。『明解国語辞典』については、便宜上現代かな遣いに変更した。『三省堂国語辞典』については、『初版（1960：昭和35）』の後に『新装版（1968：昭和48）』がある。ただし、内容に変更がないため、省略した。

図表 5.18 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「適当」の意味記述の変遷

版	意味 1	意味 2	意味 3	備考
明解初版 1943	(名)①よくあてはまること。	(名)②ほどよいこと。	—	・明解初版は(形動ダ)の品詞項目を立てず。
明解改訂版 1952	(形動ダ)①同上	(形動ダ)②同上	(形動ダ)③[俗]いい加減。	・新しい項目「③[俗]いい加減。」が追加。
三国初版 1960	(名・自サ・形動ダ)①同上	(名・自サ・形動ダ)②ちょうどいいこと。	(名・自サ・形動ダ)③同上*1 例文追加	・品詞「(名・自サ)」の追加。
三国2版 1974	(自サ・形動ダ)①同上 (↔不適當)	(自サ・形動ダ)②同上 *2 例文追加	(自サ・形動ダ)③いいかげん。*1 例文同上	・「(名)」が消滅。③がひらがな表記に。反義語「不適當」が追加。
三国3版 1982	(自サ・形動ダ)①同上	(自サ・形動ダ)②同上 *2 例文同上	(自サ・形動ダ)③同上 *1 例文同上	・三国2版と全く同じ。
三国4版 1992	(自サ・形動ダ)①同上	(自サ・形動ダ)②同上 *2 例文同上	(自サ・形動ダ)③同上 *1 例文同上	・三国2・3版と全く同じ。
三国5版 2001	(自サ・形動ダ)①同上 *3 例文追加	(自サ・形動ダ)②同上 *2 例文同上	(自サ・形動ダ)③同上 *1 例文同上	・三国2・3・4版とほぼ同じ。
三国6版 2008	(自サ・形動ダ)①同上 *3 例文同上	(自サ・形動ダ)②同上 *2 例文同上	(自サ・形動ダ)③同上 *1 例文同上	・三国5版と全く同じ。
三国7版 2014	(自サ・形動ダ)①よくあてはまるようす。 *4 例文変更	(自サ・形動ダ)②ちょうどいいようす。 *5 例文変更 (↔不適當)(*①の後から)	(自サ・形動ダ)③だいたい感じであるようす。不徹底。いいかげん。テキトー[俗]。*6 例文変更	・①②については三国6版とほぼ同じ。 ③は記述が増加した。「俗語」の指定あり。

*1 例文：「適当にやる」

*2 例文：「適当な機会」

*3 例文：「適当な例」

*4 例文：「適当なものを選んで記号で答えなさい」(*3 例文：「適当な例」から変更。)

*5 例文：「適当な機会を設けて話し合おう」(*2 例文：「適当な機会」から変更。)

*6 例文：「返事を適当に書いておく」(*1 例文：「適当にやる」から変更。)

(*筆者注：上記例をみると、「適当に」とある。形容動詞連用修飾の形式、つまり副詞的用法である。この形式は最も転義の進展したもののものである。)

5.4.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「適当」は学習重要語の指定がある(『三国3版』(1982)以降)。
- ・品詞についてみると、『明解初版』(1943)では「(名)」のみ、『明解改訂版』(1952)

では「(形動ダ)」、『三国初版』(1960)では、「(名・自サ・形動ダ)」といったように変動していた。しかし、『三国2版』(1974)以降、『三国7版』(2014)までは、「(名・自サ・形動ダ)」で安定している。

・『三国 初版』(1960:昭和 35)以降は、サ変動詞(表記:(自サ))としての表示がある。しかし、サ変動詞としての例文は一つもみられなかった。

・「相当」の意味記述のうち、「よくあてはまる」、つまり、適合性が高いと考えられるものを「意味 1」として分類した。まず、『明解初版』(1943)、『明解改訂版』(1952)では、「①よくあてはまること。」とある。「①よくあてはまること。」については、以降、『三国7版』(2014)まで基本的に変更がみられなかった。ここで、「あてはまる」について、『明鏡国語辞典 第2版』を参照すると、「ある物事が基準とする別の物事にうまく合う。適合する」とある。したがって、「よくあてはまる」とは、AとBとが合致する、符合する、といった解釈ができよう。これは、本来的にはAとBの形がぴったり合う、つまり、形状における合致性といった点に収斂されるとみられる。

・「相当」の意味記述のうち、程度・分量について「ほどよい/ちょうどよい」と考えられるものを「意味 2」として分類した。まず、『明解初版』(1943)、『明解改訂版』(1952)では、「②ほどよいこと。」とある。一方、『三国初版』(1960)では、対応する項目をみると、「②ちょうどいいこと。」とある。「②ちょうどいいこと。」については、以降、『三国7版』(2014)まで基本的に変更がみられなかった。ここで、「ほどよい」について、『明鏡国語辞典 第2版』を参照すると、「程度がちょうどよいさま。都合がよい」とある。したがって、「ほどよい」と「ちょうどよい」は同義のものとみなせるようである。ただし、上記「意味 1」における「よくあてはまる」と、「意味 2」における「ちょうどいい」は、ほとんど同義のものと考えられる。つまり、同義のものであれば項目を分ける必要性があるのか、といった問題点が生じてくる。これについては、「意味 1」は形状における合致性、「意味 2」については分量・程度に対する適合性といった解釈をとれば捉えやすいのではないか。

・「相当」の意味記述のうち、ややマイナス評価性に相当するものを「意味 3」として分類した。これについては、『明解改訂版』(1952)で「③ [俗] いい加減。」として初出した。ちなみに、一般的国語辞書(大型辞書含む)の「相当」の項目に、「いい加減」に類する意味が始めてみられたのは、管見の限り、『明解 改訂版』である。その後『三国2版』(1974)でひらがな表記になるものの、『三国6版』(2008)まで変更がなかつ

た。ただし、『三国7版』(2014)では大きな記述の変更が行われた。具体的には、『三国6版』(2008)までの「いいかげん」に加え、さらに、「だいたいの感じ」「不徹底」「テキトー」の三つの語句が追加された。

5.5 類語辞書における「相当」

本節では、『角川類語新辞典』(1981)、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「相当」の位置づけについて、まとめた上で考察を行った。なお、場合によっては論点、問題点等を指摘し、筆者の提言も行った。

5.5.1 『角川類語新辞典』(1981)における「相当」の位置づけ

本項では、『角川類語新辞典』(1981)における「相当」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、下表の分類①から⑥は、便宜上筆者が設定した。本文中に挙げられた「相当」の前後に位置する類義語については、一部を抜粋した。“○”の後は、語義、あるいは語釈を示す。分類⑥のカッコ内は位相である。下表欄外の例文には便宜上番号をつけた。

図表 5.19 : 『角川類語新辞典』における「適当」の位置づけ

分類①→	分類②→	分類③→	分類④→	分類⑤→	分類⑥	品詞	前後の類義語
A 自然→	1 性状→	17 価値→ ものの持っている 値打ち	173 適不適→ 適しているのか いないのか ということ	a 適当→ よく当てはまる こと	19 適当 *例文 1, 2, 3 ○過不足なく ほどよいこと (日常語) ↔ 不 適当	(形動) (動)	良い/宜しい/宜 しく/程良い/良 しなに/好都合/ 便宜/向き/理想 的/持って来い/ 格好/絶好/好適 /適正/妥当/穩 当/合目的的/適 宜/適確/適任/ 適切/最適/打っ て付け/然るべ く/ぴったり
A 自然→	1 性状→	19 程度→ 物事の度 合い	190 程度→ 高低・深淺・強 弱・軽重・多 少・優劣など の度合い	a 適度→ ちょうどよい程 度	3 適当 *例文 4, 5 ○分量・程度 などがほどよ いこと (日常 語) ↔ 過当	(形動)	手頃/適度/好い 加減(*プラス 評価性)/程程/ 大概/過不及な く/出づららず
A 自然→	2 変動→	29 関連→ 物事と物 事の間につ ながりがある こと	297 適合→ ある事情・条 件によく当て はまること	—	19 適当 *例文 6 ○よく当ては まること (日 常語)	(動)	合う/副う(*そ う)/向く/当て 嵌まる(*あて はまる)/当たる /的中/該当/相 当/値する/適う /適する/適合/ 適応/応じる/即 応/即する/似合 う/釣り合う/マ ッチ/そぐう/符 合/合致/一致/ 揃う
A 人事→	6 性向→	64 態度→ ことをす る時の心・ 身の構え 方	642 積極的 物事を進んで 行うさま	b 思い切り・い い加減→ 十分に力を出し てするさま・ま た中途半端にす るさま	19 適当 *例文 7 ○いい加減な こと (口語)	(形動)	宜い加減(*マ マ)/生中(*な まなか)/なまじ /なまじっか/手 緩い/生温い/微 温的/形式的/お 座なり/場当た り/その場限り/ その場逃れ/イ ージーゴーイ ング/行き当た りばったり/出 た所勝負/運任 せ

*例文 1, 2, 3 : 1 読書に適当な明るさ / 2 酢と醤油を適当に混ぜる / 3 その処置は彼に適当
している

*例文 4, 5 : 4 健康には適当な運動が必要だ / 5 仕事を適当に処理する

*例文 6 : その場に適当した言葉が浮かばなかった

*例文 7 : 適当にお世辞を言うておく

5.5.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「相当」の位置づけは、四か所であった。比較的広範囲となる。すなわち、「分類④：173 適不適」—「分類⑤：a 相当」—「分類⑥：19 相当」（形容動詞／動詞）、および、「分類④：190 程度」—「分類⑤：a 適度」—「分類⑥：3 相当」（形容動詞）、および、「分類④：297 適合」（動詞）—「分類⑥：19 相当」（動詞）、および、「分類④：642 積極的」—「分類⑤：b 思い切り・いい加減」—「分類⑥：19 相当」（形容動詞）であった。

・「分類④：173 適不適」—「分類⑤：a 相当」をみると、「a 相当：よく当てはまること」とあり、「相当」がカテゴリーの筆頭として39語を包括している。これは、「相当」が多くの類義語を持つことを意味するものである。ここから、「相当」は、概念性が高く、使用領域が広い（言い回しのきく）語であることが示唆される。さらに、他の三か所の位置づけにおいても前後の類義語の数は相当に多い。

・「分類④：297 適合（ある事情・条件によく当てはまること）」—「分類⑥：19 相当」では、語釈として、「○よく当てはまること」とある。ここでの「相当」が、本来の意味に近いものと考えられる。

・「分類⑥」を降順にみると、「19 相当：○過不足なくほどよいこと」（形容動詞／動詞）、「3 相当：○分量・程度などがほどよいこと（形容動詞）」、「19 相当：○よく当てはまること（動詞）」、「19 相当：○いい加減なこと（形容動詞）」とある。これらを「相当」の品詞・意味の移行の順序に並べ替えると、「19 相当：○よく当てはまること（動詞）」→「3 相当：○分量・程度などがほどよいこと（形容動詞）」→「19 相当：○過不足なくほどよいこと（形容動詞／動詞）」→「19 相当：○いい加減なこと（形容動詞）」となるようである。

・「分類④：642 積極的」—「分類⑤：b 思い切り・いい加減」—「分類⑥：19 相当」では、マイナス評価性の「相当」がみられる。語釈は、「○いい加減なこと（口語）¹²³」とある。前後に位置する類義語を挙げると、「宜い加減（*ママ）／お座なり／場当たり／その場限り／その場逃れ／イージーゴーイング／行き当たりばったり／出た所勝負／運任せ」等がある。ここから、「目的がなく、思いつき任せで結果については気にとめない」といった、無責任でやや自暴自棄的なイメージを抽出できる。

¹²³ 位相については、「口語」とある。ただし、「日常語」と「口語」の違いについては、「凡例」にも特に記述はみられないようである。ここで、「口語」＝「話しことば」とみた場合、日常的に用いない「話しことば」も当然ある。したがって、日常的に用いる「口語」が「日常語」ということになるのであろう。

5.5.2 『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「適当」の位置づけ

本項では、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「適当」の位置づけについて、以下に表にして示した。

なお、最上位の「類」は、四つに分けられる。1. 体の類(名詞) / 2. 用の類(動詞) / 3. 相の類(形容詞・形容動詞・副詞・連体詞) / 4. その他の類(一部の副詞・接続詞・感動詞)となる。以下、表にまとめたものを示した。

図表 5.20: 『分類語彙表 増補改訂版』における「適当」の位置づけ

類 →	部門 →	中項目 →	分類項目 →	段落*1	前後の段落 (抜粋)*2	備考
2→ 用の 類	2.1→ 抽象的 関係	2.13→ 様相	2.1332→ 良不良・ 適不適	01 かなう[条件に~] 適 する 適合する 適当 する 妥当する 値す る 相応する ぴったり りする 似合う なじ む[手に~] フィット する マッチする 向 く 口に合う	(*前後の段落は、なし。)	・サ変動詞とし ての「適当」
3→ 相 の 類	3.1→ 抽象的 関係	3.13→ 様相	3.1332→ 良不良・ 適不適	10 適当 適宜 適正 不適 不适当 失当 不当 最適 好適 適した 打ってつけ 持って 来い あつらえ向き ぴったり	09 しかるべき 11 適格 適任 適切 剴切 08 妥当 穩当 順当 言う ことなし 12 適度 程よい 手ごろ ほどほど 無難 13 応分 相応 分相応 そ れ相応 14 ふさわしい 見合った 似つかわしい 似合った 04 理想的 格好 絶好 好 ましい 結構 ずくめ 03 良好 優良 最良 ベス ト 01 よい いい 結構 グッ ド 体のよい	・「形容動詞」 としての「適 当」。 ・「適当」の核 の意味に近い もの。 ・前後の段落を みると、「適当」 がカバーしう る領域は広範 囲である。
3→ 相 の 類	3.1→ 抽象的 関係	3.19→ 量	3.1920→ 程度	24 適度 中くらい 手ご ろ 適当 程よい ほ どほど いい加減[~ の温度] 微妙	23 よほど 大分 かなり 相当 なかなか けっこ う[~おいしい] いい加減 [~くたびれた] 22 割合 割と 幾分 いく らか やや 比較的 11 おおむね 大抵 大概 大まか 10 せいぜい そこそこ 09 おおよそ ほぼ まあ まあ 08 ちょうど ジャスト きっちり	・3.1920 程度の 分類項目は 29 あるが、「適当」 を置けそうな 段落が他にも ある。
3→ 相 の 類	3.3→ 人間 活動	3.30→ 心	3.3045→ 意志	08 無作為 適当 ランダ ム アトランダム 手	09 自由 自在 融通無碍 思うまま 意のまま 任 意 随意	・段落 08 グル ープの「無作為 /ランダム」等を

類	-精神 および 行為			当たり次第	10 気任せ 気まま 好き 勝手 やりたい放題 11 むやみ やたら やみ くも 無計画 行き当 りばったり 場当たりの 12 気まぐれ むら気	みると、必ずし もマイナス評 価とはいえない。 ・一般的な辞書 の語釈にみら れない解釈で ある。
3→ 相 の 類	3.3→ 人間 活動 -精神 および 行為	3.30→ 心	3.3068→ 詳細・ 正確・ 不思議	05 雑 粗雑 粗笨(そほ ん) 粗大 雑駁(ざっ ぱく) 粗放 杜撰 粗 略・疎略 疎漏 粗末 いい加減 適当 ルー ズ	04 大まか 大ざっぱ 大 づかみ 概略[~、以下の 通り] ざっと 荒っぽい 粗(あら)い ラフ 荒削り 大味 07 不正確 ファジー 10 あやふや 曖昧 ぼん やり 漠然 不徹底 つか みどころのない 不明朗	・段落 05 グル ープをみると、 ここでの「適 当」はマイナス 評価。 ・ただし、「大 ざっぱでファ ジーないい加 減さ」といった もので、程度の 強いマイナス 評価というわ けではない。

*1: 意味上の語集団。「なるべく意味・用法の広いほうから狭いほうへ配列しているが、必ずしも厳格ではない。」とある。

*2: 上から順に、意味が近いと考えられるものを示した。

5.5.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「適当」の位置づけは、五カ所であった。用の類（動詞）が一か所、相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）が四か所であった。ちなみに、上述、「結構」の位置づけは八か所であったが（「3.5.2.1 結果」参照）、現代語における「適当」の分布についても比較的広範囲であることがわかる。

・分類項目「2.1332 良不良・適不適」、段落“01”に、「適当」が位置する。まず、段落内の他の語例を挙げると、「かなう [条件に~] / 適する / 適合する / 妥当する / 値 (あたい) する / 相応する / ぴったりする / 似合う / なじむ [手に~] / フィットする / マッチする / 向く / 口に合う」がある。したがって、ここでの「適当」は、動詞（サ変動詞）とみられる。

・分類項目「3.1332 良不良・適不適」、段落“10”に、形容動詞としての「適当」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「適宜 / 適正 / 不適 / 不適當 / 失当 / 不当 / 最適 / 好適 / 適した / 打ってつけ / 持って来い / あつらえ向き / ぴったり」がある。

・さらに、分類項目「3.1332 良不良・適不適」、段落“11”以下をみると、段落“11”（段落内の語例：適格／適任／不適格／不適任／適切／不適切／健全／不健全〔～な考え〕／うまい〔～話〕／まずい等）、段落“12”（段落内の語例：適度／程よい／手ごろ／ほどほど／まんざらでもない／無難／可もなく不可もなし）、段落“13”（段落内の語例：応分／相応／それ相応／不相応）、段落“14”（段落内の語例：ふさわしい／釣り合った／見合った／似つかわしい／似合った／鬼に金棒）とある。以上段落“11”から“14”まではそれぞれに「適当」の類義表現が並ぶにもかかわらず、「適当」の位置づけはない。特に上記、段落“12”（段落内の語例：適度／程よい／ほどほど）、および段落“14”（段落内の語例：ふさわしい／見合った）は、まさに「適当」を位置させる場所であろう。

・なお、分類項目「3.1332 良不良・適不適」、段落“16”（段落内の語例：控えめ／抑え気味／半端／中途半端／どっち付かず／大概〔～にする〕／いい加減／帯に短したすきに長し）に、「いい加減」がみられる。ここでの、「中途半端／どっち付かず／大概／いい加減」という語類をみても、ここも「適当」を位置させる場所であるとみられる。これらについては今後再考の余地がある。

・分類項目「3.1920 程度」、段落“24”に、形容動詞としての「適当」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「適度／中くらい／手ごろ／程よい／ほどほど／いい加減〔～の温度〕／微妙¹²⁴」がある。現代語「適当」の性質をみれば、最も妥当な位置と考えられる。なお、ここでの「いい加減」は「いい加減の温度」とあるように、マイナス評価性のものではない。

・分類項目「3.3045 意志」、段落“08”に、形容動詞としての「適当」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「無作為／ランダム／アトランダム／手当たり次第」がとある。ここでの語例をみると、必ずしもマイナス評価性とはいえ、中立的なものとみられる。一般的な辞書の語釈にみられないものであり、興味が喚起される。

・同上、分類項目「3.3045 意志」の他の段落をみると、例えば、以下に、段落“05”（段落内の語例：無目的／漫然／おごなり／おろそか／いい加減／でたらめ／不注意／不用意／無造作〔無雑作〕／野放図 等）、および段落“09”（段落内の語例：自由／自在／自由自在／縦横無尽／思うまま／思いのまま／意のまま／思う様／恣意的／任意

¹²⁴ 「微妙」については、下述、『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「微妙」の位置づけ、「6.6.2.1 結果」にて示した。

／随意 等)、および段落“10”(段落内の語例：気任せ／気まま／わがまま／勝手気まま／勝手／好き勝手 等)、および段落“12”(段落内の語例：気まぐれ／移り気／むら気／浮気)が挙げられる。ここで、段落“05”の「おざなり」「いい加減」、段落“09”の「思うまま」「任意」「随意」、段落“10”の「気任せ」「気まま」「好き勝手」、段落“12”の「気まぐれ」という語群は、現代語「適当」と類義の関係にあるとみられる。したがって、上記段落“05”、“09”、“10”、“12”の場にも、「適当」を位置づけ可能と考えられる。

・分類項目「3.3068 詳細・正確・不思議」、段落“05”に、形容動詞としての「適当」が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「雑／粗雑／粗大／雑駁(ざっぱく)／杜撰(ずさん)／粗末／いい加減／ルーズ」等がある。したがって、ここでの「適当」は、マイナス評価性のものとみられる。ただし、段落内語例の全体イメージとして、「大ざっぱでファジーないい加減さ」といったものが挙げられ、程度の強いマイナス評価というわけではない。

・同上、分類項目「3.3068 詳細・正確・不思議」の他の段落をみると、例えば、以下に、段落“04”(段落内の語例：大まか／大ざっぱ／概略[～、以下の通り]／ざっと／粗(あら)い／ラフ／荒削り／大味 等)、および段落“09”(段落内の語例：あやふや／曖昧／ぼんやり／漠然／うやむや／不徹底／つかみどころのない 等)が挙げられる。ここで、段落“04”の「大まか」「大ざっぱ」「ラフ」、段落“09”の「あやふや」「うやむや」「不徹底」という語群は、現代語「適当」と類義の関係にあるとみられる。したがって、上記段落“04”、“09”、の場にも、「適当」を位置づけ可能と考えられる。

5.6 「適当」の語義関連表

本節では、上述、「適当」についての先行研究・資料等を勘案し、通時的・共時的観点も加味した上で語義関連表（チャート）を作成した。なお、スペースの制約上、意味記述については簡潔に示した。タテ軸（列：語義の展開）は、番号順（例：① ② ③…）で、時間軸は上から下へとした。ヨコ軸（行：品詞の展開）はアルファベット順（a b c…）で、時間軸は左から右へとした。①a を本来の意味（原義）にあたるものとした。下記表（チャート）を見れば、「適当」の各語義について、おおよその位置づけが特定できる。なお、あくまでも「適当」という語に関する全体的把握のためのイメージ表である。したがって、絶対的正確性を期するものではない。以下に表（チャート）を示した。

図表 5.21 : 「適当」の語義関連表（チャート）

品詞(行) → 番号(列) ↓	a	b	c	d
	(サ変)動詞	形容動詞 (ぴったり)	形容動詞 (ほどほど)	形容動詞 (だいたい)
①	合う/適(かな)う/ 当たる	合うこと/適(か な)うこと/よく当 たること	相応な/相当な	だいたいの感じ であるようす
②	ふさう/似合う	正しい/当然な	ほどよいこと	悪くはない程度 に事をすますこ と
③		うまく当てはま ること/ちょうど よく合うこと	ほどよく当ては まること	その場に応じて 要領よくやるこ と
④		ふさわしいこと		その場をなんと か取り繕うこと
⑤				まともに取り組 まないこと/大ざ っぱで投げやり なさま
⑥				いい加減なこと/ 不徹底なこと
備考	・現在は特定の法 令文等を除けば 使われない用法。	・「ぴったり合う こと」というのが 「適当」の本来の 意味(原義)に近い ものと考えられる。	・bの「ぴったりさ 加減」に緩みが生 じて、「ほどほど」 の程度を表すよ うになったと考 えられる。	・「ほどほど」→ 「悪くない程度」 →「大ざっぱ」→ 「いい加減」とい った過程を経て、 意味が下落した とみられる。

5.7 「相当」の实例

本節においては、「相当」について、各種コーパス・新聞記事検索システム等から実際の例を採取し、通時的に配列した上で、語の変遷の傾向・特徴をみていく。考察対象期間は、紀元前から現代までの全範囲とする。以下に各種コーパス別に検索結果を提示した。

なお、「中国哲学書電子化計画」による検索結果から得られた「相当（相当）」および「的當（的当）」の中国古典籍における实例も参考資料として提示した。

5.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）

「日本古典文学全集」においては、通用字体「相当」および旧字体「適當」ともに検索結果数は4件であり、得られた例も同じであった。ただし、原文中に「相当（適當）」がみられたのは下記、『日本書紀』からの1件のみであった。ここから、「相当（適當）」については、出自としては相当に古い語であるものの、長期間にわたって使用されていなかったといった可能性が示唆される¹²⁵。一方、「相当」の異体字「的当」についても、通用字体「的当」および旧字体「的當」ともに検索結果数は2件であり、得られた例も同じであった。以下に「相当（適當）」および「的当（的當）」の例を表にして示した。

5.7.1.1 検索語：「相当（適當）」（2020/12/02 時点）

図表 5.22：「相当（適當）」の实例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	实例	備考
1	日本書紀 卷第九 氣長足姫尊 神功皇后 [二]神助により 新羅親征 p.426	(*原文) 即得 ^レ 神教 ^ニ 而 ^レ 拜礼之、因以 ^レ 依網吾彦男 垂見 ^ニ 為 ^レ 祭神主 ^ニ 。于 ^レ 時也 ^ニ 相当 ^ニ 皇后之 開胎 ^ニ 。皇后則取 ^レ 石挿 ^レ 腰、而 ^レ 祈之曰、 事竟還日、産 ^ニ 於茲土 ^ニ 。 (*訓下し文) 即ち、神の教(みをしへ)を得て拜礼(をろ が)みたまひ、因りて依網吾彦男垂見(よさ みのあびこをたるみ)を以ちて祭(いはひ) の神主(かむぬし)としたまふ。時に適(た またま)皇后(きさき)の開胎(うみづき)に 当(あた)れり。皇后、即ち石を取りて腰(み こし)に挿(さしはさ)み、祈りて曰く、「事 竟(こと)をへて還(かへ)らむ日に、茲土(こ こ)に産(あ)れたまへ」とのたまふ。	・奈良時代。720年成立。舎人親王ほ か編。歴史書(編年体)。記述は漢文体。 まず原文には「相当」とあり、訓下し 文には「適(たまたま)~に当(あた)れ り」とある。「たまたま」は、『旺文社 古語辞典 第10版 増補版』によると、 「[偶・適](副)①まれに。たまに。②偶 然に。ふと。」とある。したがって、 左の「適(たまたま)」は、②「偶然に」 に当てはまるとみられる。ただし、原 文の「相当」を「当たる」とみなし、 「時に皇后(きさき)の開胎(うみづき) に適當す。」と解釈しても文脈上理解 できる。

¹²⁵ 「相当（適當）」については、近代（明治期）以降に用例が多く現れることとなる（下
述、「5.7.2 近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」等参照）。

5.7.1.2 検索語：「的当（的當）」（2020/12/02 時点）

図表 5.23：「的当（的當）」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	新学異見(に いまなびいけ ん) [五]古今仮名 序六歌仙評の 問題 p.571	また、遍昭の歌は澹率(サハヤギ:さっぱり した)たる調はあれど優閑(ノドカ)なる躰 はなし。すべて往古(いにしへ)の歌をかた しといひ、後世の歌をのどか(*ママ)なり といへるも、うちまかせては 的当(アタラ) ぬ事なり。されどまた、つよしといひさ やかなりといへる、傍らのみは且(シバラ) く得之(カナハ)ざるにもあらねば、いへる に従(マカセ)て論じおきぬ。	・江戸時代後期。1811年成立。香川景 樹作。「的当」は、「 的当(アタラ) ぬ事 なり」とあり、「あたる」と読ませて いる。注釈はないが、現代語訳によ ると、「(全面的には)当っている(とはい えないのだが、)」とある。
2	しりうごと 皇朝学者妙々 奇談 しりう ごと 下之巻 第六 弘法大 師、屋代輪池 翁を論ず [三]空海の屋 代輪池翁批判 2 p.472	さて、足下『書訣』に『固是、晋唐之遺 美。加 ^レ 之以 ^二 風土自然之妙 ^一 』(固よりは、 晋唐の遺美(あび)、之を加ふるに風土自然 の妙を以てす)といはれたるは、もとより 書のこの国のものならざるを思はずし て、佞媚(ねいび)せられたるおまけ口上と いふ者なり。これを尊朝親王の真蹟の跋 にももち出だされたるは、よくよく外に 的当 (てきたう)の論なき故と見ゆ。	・江戸時代後期。1832(天保3)年成立。 小説家主人(ごごとのやあるじ:川崎 重恭)ほか作。当時の国学者に対する 批判書。左には「空海」とあるが、作 者が古人になりすましたもの。「的当」 について注釈はないが、現代語訳によ ると、「(よくよくほかに)適当な(論が ないゆえだと見受けられる。)」とあ り、「 適当 」が使われていることから、 訳者は、「 的当 」と「 適当 」を同義の ものとして扱っていることがわかる。

5.7.2 近代（CHJ：日本語歴史コーパス）

CHJによる検索では、「**適當**」（旧字体）の検索結果数が全1417件、「**適当**」が全5件であった。なお、参考として、異表記「**的當**」（旧字体）の検索結果数が全1件、「**的当**」が全2件であった（2020/10/06, 08 時点）。補足として、『太陽コーパス（CD-ROM版）』（2005）による検索では、「**適當**」（旧字体）が全964件、「**的當**」（旧字体）が全1件（1901年）であった。以上を考慮すると、近代（明治・大正期）においては、「**適當**」（現代語「**適当**」につながる）の表記が圧倒的優勢であることが示された。以下に、「**適當**」「**適当**」「**的当**」「**的當**」の検索結果を示した。

5.7.2.1 検索語：「適当」（全1417件より抜粋）（2020/10/08時点）

図表 5.24：「適当」の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	百一新論 60C 口語 1874_06101	政教一致と云ふ題目は右の様に考の混雑した所を破るにいと適当な題目でござる何故とならば政と教とは素より二途な物でござる	・形容動詞連体修飾。
2	百一新論 60C 口語 1874_06102	で北條氏が陪臣で國命を執り尊氏が後醍醐天皇に抗衡致したにも皆適当する所の算用の仕様でござつて遽かに見れば物理とは大湊に違つて	・サ変動詞的だが連体修飾。
3	明六雑誌 60M 明六 1874_18006	樂章に至ては外國の者は用に適せず内國に行はるる者亦未だ適当と覺しき者なし止むを得ずば觀世なり實生なり竹本なり歌澤なり姑く現今衆心	・形容動詞連用修飾。
4	明六雑誌 60M 明六 1875_33002	て之を考ふるときは、賊の字を以て朝敵に加ふるは實に不適当の「*こと」なるべし、若し史筆を執る者意を此に注ぎ、朝敵に賊の	・「不適当」。形容動詞連体修飾。
5	明六雑誌 60M 明六 1875_37001	なれども唯交際全体の幸福安全を謀る爲に一人の自由を少しく抑制して適当の地位に留住したる者を云ふなり若し一人己が自由を擅にして他人	・形容動詞連体修飾 ¹²⁶ 。
6	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1881_01001	就て祖先、父母、子孫、苗裔等の字を用ふるは甚だ穩當ならざれども適当の字あらざるを以て已むを得ざればなり讀者乞ふ之を諒せよ近世有機	・形容動詞連体修飾。
7	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_07002	都合千萬の文字を用ひずして歐洲の如き音聲を表示する文字を用ふるこそ適当とは云ふべけれ、然れども日本に於て漢字を用ふるは、因襲ここに久しく	
8	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_07002	日本人の創制せしものにして、日本の言語を表示するに甚だ適当なるのみならず、襲用既に久しければ、専ら之を通ずるも亦易しと、	・形容動詞連体修飾。
9	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_12010	は萬般の星雲に於て、我が太陽系の歴史中較と早時の進程に適当すべき、眞確の酌例あるを認識し能はざりしや、未だ知る可らず、	・サ変動詞。
10	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_13007	て良醫なり良藥なりと云ひ然らざれば反對の品評を下す可きが如くなれども適当なる推論法は決して如此くなる可からず更に一例を擧げて之を証明せん	・形容動詞連体修飾。
11	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_14005	の二部を備へたるものの比に非れども下等動物中には又下等に適当したる構造あり豈に妙と云ざる可んや	・サ変動詞。当時、連体修飾に「適当なる～」「適当したる～」「適当の」とバリエーションがある。
12	国民之友 60M 国民 1887_02011	は憲法及び行政法取調の爲め歐洲に赴き何れの國法が最も日本の國民に適当ならんと諸國に就て穿索を遂げたるに日本に適するものは其數甚だ	
13	国民之友 60M 国民 1887_02011	數月を費し篤と獨逸の憲法及び行政の組織を穿索し以て日本に適当の國會を組成せんとする其間に於て獨逸人に	・形容動詞連体修飾。

¹²⁶ 「適当」を例にみれば、近代の資料では、連体修飾の際、「～な」に加え、「～の」語形が多く現れる。基本的に、学校文法では、連体修飾「～の」の語形は名詞であるとされるが、形容動詞の特殊形態と捉える学説もある。ただし、近代が現代語形成に至る移行期であることを考慮すれば、単純に形容動詞語幹なのかあるいは名詞なのかといった判断はしがたい。本稿においては、連体修飾「～の」の語形を便宜上形容動詞連体修飾として扱うこととする（中山緑朗・飯田晴巳監修（2015）『品詞別 学校文法講座 第三巻 動詞・形容詞・形容動詞』、p.235も参照）。

第5章 適当

		して伯の	
14	国民之友 60M 国民 1887_06020	羅馬字會等に於ても亦其目的に附するに改良の名を以てするが如し若し適當に之を改良と言ふを得なければ其事たる我邦文事上至大の改良なれ	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法か。
15	国民之友 60M 国民 1887_09003	を引起さねばなりません其上目下何百万圓を減ずれば民間の貧富に適當するかと云ふ疑問を呈出すれば論者の間にも互ひに意見を異に	・サ変動詞。
16	国民之友 60M 国民 1887_09008	充るものとし公債募集を必須とする時節に於て大藏大臣たるものは自ら適當と認むる場合に應じ法令若くは詔勅を以て公債證書を發行するの權を有す	
17	国民之友 60M 国民 1887_11003	なからんや其一あるを發見すれば更に智識學問ありて特に其擾亂に適當したる人物を派遣し其爭議の材料を附與し以て彌々其軋不和を	・サ変動詞。連体修飾。
18	国民之友 60M 国民 1887_11014	ては我文藝社會の公論を以て之を逐斥し、一方に於ては適當なる法律の牆壁を完備して之を防禦し、將來斯文園を安全なる樂地	・形容動詞連体修飾。
19	国民之友 60M 国民 1887_11019	穿ち時務に適せざるはなし「縦横議論拆時事、如醫視病進藥方」とは即ち尊稿を評するにイト適當の句と存候併し内を先にし本を固ふするの必要なるは勿論	・形容動詞連体修飾。
20	国民之友 60M 国民 1887_13016	堪へざるなり然らば則ち之を救ふの術如何唯其人民の富に應じて適當事を處するに在り十圓の收入ある商家にて毎餐「フライ」「ビフテキ」を	・文脈からすると副詞的でもある。
21	国民之友 60M 国民 1888_14006	島に波浮と云ふ處ありて瓢の形をなし和船を碇泊せしむるには特に適當すれども西洋形船は入るべからず然れども若し港口を少しく切り廣くれば西洋形船をも容易に碇泊せ	・サ変動詞。
22	国民之友 60M 国民 1888_15012	恒に熱心に郡中の爲め盡力する所の人にて彼の人ならば實に適當なる人なりと思ふ人物は何時も少數を取り候有様に御坐候斯く大切なる	・形容動詞連体修飾。
23	国民之友 60M 国民 1888_16004	皆なスペンセル先生的の人のみならば豈に亦た一種の快味あらんや然らば則ち此の空氣を適當に調和し社會も一己人も共に満足なる性分を養はんとせば之を如何	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
24	国民之友 60M 国民 1888_17002	主義を評するに適當の語たるのみならず、併せて二君を評するにも亦適當の語たる可し、二君素より其志す所に於て一も同じき所あらず、	・形容動詞連体修飾。
25	国民之友 60M 国民 1888_17017	の身分たる耶蘇教宣布の任を帶ぶ、氏の如きは眞に宣教師に適當するの人物と謂ふ可し、氏又宣教の傍、心を文事に用ひ、百	・サ変動詞連体修飾。漢文訓読的。
26	国民之友 60M 国民 1888_18003	請托賄賂は到底避く可らざるの通弊とは云ひながらも若し此間に於て適當の程度を立て政治上の徳義を以て之を制限するの習慣を立てず	・形容動詞連体修飾。「適當の程度」というのは相対的表現。文脈依存度が高い。
27	国民之友 60M 国民 1888_19004	は、府縣會議員と云ふの點よりして、其の任期を論定することが、適當で有りませう。今度のは、縣會を解散したのでは無く、其の一部	・形容動詞連用修飾。
28	国民之友 60M 国民 1888_19004	故に、其の任期は、前任議員の殘期と致すが、適當と考へられます。よつて、例へば、縣會議員が、郡部より三十人撰擧されて居り、	・形容動詞連用修飾か。
29	国民之友 60M 国民 1888_19039	得給ふに相違なく英雄豪傑と謂はずして明君賢王の中に加ゆるこそ適當ならんと存られ候皇后奧俄斯達陸下は天性稍才智ある御方なれども御自身	・いわゆる「候文体」。
30	国民之友 60M 国民 1888_19039	迄國家の大政に御關係なく一向御働になりたる事之無が故に適當に申さば一家の内の父親と申すべき御方なり元來久く内親王と同じく	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
31	国民之友 60M 国民 1888_22008	是等は勿論其他の事と雖充分の審査議定を経べきを以て適當とするなり 第二 行政規則の議定に關すること行	・形容動詞連用修飾。

第5章 適当

		政規則は法律の	
32	国民之友 60M 国民 1888_25012	説を概して云ふときは、各人の爲す所にして理解と道理とにより適当調査し宜きを得たりと判定するものを以て標準と爲すに在り、例へば	・文脈からすると「ほどよく」という意か。副詞的ともいえる。
33	国民之友 60M 国民 1888_27016	而して變化の性質を有する者の中にて教育の二字最も之に適当すと、是に依れば教育と云ふは臨機應變の性質あるが如くに見ゆれども氏	・サ変動詞。
34	国民之友 60M 国民 1888_29003	我が陸海軍費の割合を定めしめば、即ち左の如く分配するを以て適当なりと推定するなり、海軍費の計算に至つては、随分困難と謂はざる	・ナリ活用形容動詞「適当なり」。
35	国民之友 60M 国民 1888_30004	其の自然人が此躰を用ゆること少かりしは何が故ぞ蓋し日本の詞にありては五句三十一字の和歌が自然適当の長さにして夫のナガ歌の若きは既に太はだ長きに過ぎ其の韻響の	・形容動詞連体修飾。
36	国民之友 60M 国民 1888_30023	云ふものは皆政府が人民の營業に餘り深く入り過ぐる所あるが如し而して此干渉も果して當を得たる時は差支もなきことなれども干渉と適当とは古來未だ嘗て兩立する所にあらずその細則標準の如きは此儘實地に行はんとするときは固より干渉の	・名詞的。「適当」の対語として「干渉」を挙げる。
37	国民之友 60M 国民 1888_36011	開拓したるのみならず、南方諸州も亦その面目を一新せられたり、ローウラルサワラは鑽井を穿つに最も適当なる所にして、其水用ゐて餘あり、耕作地は日に月にその廣を加へオイドリールに在るオエセス（沙漠	・形容動詞連体修飾。「最も適当」という現代にも通じる表現。
38	女学雑誌 60M 女雑 1894_27002	万事素より神の力によりて成る左れど、此の力の寓するや、適当したる形を撰ぶ。人物にあらずして、安くんぞ、傳道上の神力を受けることを得んや。	・サ変動詞連体修飾。
39	女学雑誌 60M 女雑 1894_27002	大膽不敵にして身命を物ともせざる氣概なかる可らずと。此の注文は、三百年後の今日にも、依然として適当せり。左れば、諸君、今や、神學を畢えて、方さに傳道に従事せんとする時、	・サ変動詞。
40	女学雑誌 60M 女雑 1894_28015	を下し及他人をして其説に従はしめんとするか如き傾向あり而して適当に政治問題を論議せんには世故閱歷を要することを顧みざるなり（五）小學校及中學校の生徒は早く已に法律、	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
41	女学雑誌 60M 女雑 1894_29027	事業を備へんとすると同時に一方には醜業婦女の實況を調査して適当の方法に依りて不正の業より避けしむる事に盡力しつつありしに幸	・形容動詞連体修飾。
42	女学雑誌 60M 女雑 1894_30005	頑固に、無情に、寂寞といふは恐らく此岩の適当な形容でせう。私はソロソロと家路へ漕ぎ返へす時分に、また暫らく其姿を	・形容動詞連体修飾。当時「適当なる」から「適当な」への移行期か。
43	女学雑誌 60M 女雑 1894_33002	又は遺族及び戦亂より來る窮民の賑恤等は主義と場合とに於て尤とも適当に尤とも平安なる事業とす。各派の合同頗ぶる佳、冀はくは全國相應じて	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
44	女学雑誌 60M 女雑 1894_38005	其の要素元則を發見し、以て、此の最大事業をして、尤とも健全に、尤とも適当に成就せしむることを旨とするの一大事業は、更に尤とも楽しきものならずや。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
45	女学雑誌 60M 女雑 1894_41012	補充するの必要あるときは明治二十六年文部省第十一號に依るへし 一 身體健全品行方正にして教員に適当なりと認むる者 二 尋常師範學校二箇年の課程を終へたる者若くは之と同等の學	・学校規程にみられる「適当」
46	女学雑誌 60M 女雑 1894_41012	及第したる者は一定の期間假に入學せしめ其資性品行才能を審察し適当と認むる者に限り本入學を許すべし 假入學の生徒は自費とす但本項は明治二十八年度より施行	・同上。

第5章 適当

		すべし	
47	女学雑誌 60M 女雑 1894_45001	固より之が求めに應ぜざる可らず。此時に方つて、此會の計畫あり。吾人は頗ぶる其の適當にして且つ有益なることを信ず。而も、題して、海外教育會と稱するものは、	・形容動詞連用修飾。
48	女学雑誌 60M 女雑 1894_45029	科學ポエトリーとを婚配せしむるの人あれかしと望まれたるに、志賀矧川子は、適當に、恰好に、其の需めに應じ、茲に精査多年の一大著作日本風景論を公けにせられたり。	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
49	太陽 60M 太陽 1895_01004	ました所からして考へますれば之を當時の強國といふ事は決して不適當の事ではないと思はれます、ローマの國はグレシヤに較べますれば學術	・「不適當」。形容動詞連体修飾。
50	太陽 60M 太陽 1895_01024	指して太陽の登る東方に片寄りし事のみにてても實に旭章のよく適當する位置にして、殆ど是自然の神助に出でしかと怪しまるるばかりに	・サ変動詞連体修飾。
51	太陽 60M 太陽 1895_01038	まだ蒔繪にはよく向かぬ。玲瓏透明な點から考へても鼈甲の方に適當する。必ずしも鼈甲と限らず、代用には贗物の卵甲でも差し支へぬ	・サ変動詞。
52	太陽 60M 太陽 1895_01043	て我が内地の人口稠密なる九州四國の地方より移住を奨励せんか、年々増加する我人口を外に漏らすには、最も適當の植民地なり、氣候凌ぎ易く、物産饒多なり、之を得て能く收支を償ふに足り、又其地は我沖繩縣と僅に一葦帶水	・形容動詞連体修飾。
53	太陽 60M 太陽 1895_01070	むるが如きは以て我國の殖民政略と爲すべきに非らずと雖も海外に適當の地をトし平和の手段に由て之を行ふに於ては何の妨か之れあらん	・形容動詞連体修飾。
54	太陽 60M 太陽 1895_02006	已に占領せし大連灣に置いて可なるべき乎、或は地理形勢の最も適當なる臺灣を占領して茲に置くべき乎、臺灣を占領して吾商軍の大本	・形容動詞連体修飾。「最も適當」。
55	太陽 60M 太陽 1895_02010	何に兵器が整ふて居ても之を使ふ所の軍人が碌でないからである、工業も同様で石炭あり鐵があつても之を適當に用ゆる技術者が無ければ決して工業は振はぬ（喝采）、故に工業に於ては我國は石炭もあり鐵も望みないでもないから、	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
56	太陽 60M 太陽 1895_04020	「大慾は無慾に似たり」とか、「一文惜みの百損」とか云ふのに適當(あてはま)るので、世間の人には、往々此種の失策があるものだ。	・「適當(あてはま)る」と読ませる。
57	太陽 60M 太陽 1895_04046	此の如き短期の學校に入るゝには十八九年以上の所謂晩學者を適當とすべく、幼年者には此の如き短期教授は左程の益なかるべしと思	・形容動詞連用修飾か。
58	太陽 60M 太陽 1895_04057	和を議せしめ朕亦全權辦理大臣を命じ之と下の關に會同商議せしむ朕は固より國際の成例を踐み國家の名譽を以て適當の待遇と警衛とを清國使臣に與へざるべからず乃ち特に有司に命じ怠弛する所なからしむ	・形容動詞連体修飾。
59	太陽 60M 太陽 1895_05008	而して其の約束したる一の金牌は全く英國の工業を破壊するに最も適當なる物品の製造家を賞與する爲めに設けられたるものなり、第二回博覽會は千八百一年に於て巴里に開かれたり、	・形容動詞連体修飾。
60	太陽 60M 太陽 1895_06041	回次回の拂込を了り通商航海條約の批准交換を了りたる時に當りて清國政府にて右賠償金の殘額の元利に對し充分適當なる取極を立て清國海關税を以て抵當と爲すことを承諾するに於て	・形容動詞連体修飾。
61	太陽 60M 太陽 1895_07006	に於ける綴字改良。瑞典に於ても、綴字法は此百年來、それぞれ適當の學者によりて研究せられ、純粹の音標的主義熱心に主張せられ、	・形容動詞連体修飾。
62	太陽 60M 太陽 1895_07018	日本銀行利附兌換券の發行、及び各銀行の利子引上げの實行等は、適當に之を證するものとす、(一) 利附兌換券の發行 五月二十七日の日本銀行週報によれば、	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
63	太陽	鑛石を掘り出しても其鑛石から金銀を分離させる方法即	・「不適當」。

第5章 適当

	60M 太陽 1895_08022	ち冶金法が不適当である場合には、逆も金属を充分に分離する事が出来ないで滓に	
64	太陽 60M 太陽 1895_08022	併し鐵の如きものを加へませんでも行はれますから鐵が不便です、併し鑛石が石灰質であつて燃料が廉なる場合には適當な方法であります。又第二の法は鐵を用ゐてやりますが、是は斯う云ふ變化に依りて鉛	・形容動詞連体修飾。「適當な~」の形式は現代語的。
65	太陽 60M 太陽 1895_08022	不純であつて他の硫化鑛を多量に含んで居るのに適して居ります、故に含銀の不純鉛鑛には此法が一番適當なる法であります、如何となれば熱に注意して餘り高からしめないで居ると他の金属の	・形容動詞連体修飾。上の行と同じ作者だがこちらは「適當なる~」でゆれがみられる。
66	太陽 60M 太陽 1895_09021	敢て澁滞することなく自由に受渡しを結了することを得るに至れり是れ定期取引には標準賣買格附法の適當する所以なり或は説を爲す者あり	・サ変動詞連用修飾。
67	太陽 60M 太陽 1895_09025	構造す可き場處は稍や乾燥なるを良とす、菌床構成に用ゆる馬糞は適當に熟せしむるを要す、即ち馬糞及寢糞既に褐色に變じ其弾力を失し	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
68	女学雑誌 60M 女雑 1895_01033	開化の程度高き國ほど、女子の地位も亦高きことは疑ふ可らざる所なり、故に余は適當の方便により漸次に女子の教育をも進歩せしめ、以て次第に女子の地位を高くせんことを望む、	・形容動詞連体修飾。
69	女学雑誌 60M 女雑 1895_03021	女子天然の優美なる淑徳を養成するに益あり、修身、作文、習字、躰操科等女子に適當なるものを撰ぶことを得、男女互に優劣を競争するの弊を除くことを得	・形容動詞連体修飾。
70	女学雑誌 60M 女雑 1895_05008	得、女子の性質に應じて其智徳を進め身軀の發達を催すに最も適當したる方法を撰ぶを得、學科の授業上女子に適當なる事項を授くることを得	・形容動詞連体修飾。「適當したる~」「適當なる~」と異なるパターン。
71	女学雑誌 60M 女雑 1895_11006	(十三) 時勢と人物時勢は切迫せり、機會は目前にあり、適當なる眞人物出でずんば、此千載一遇の日本を奈何せん、之を思はゞ、	・形容動詞連体修飾。
72	太陽 60M 太陽 1901_01003	行政を改革し、行政を整理し、現在の歳入に基きて、教育費を適當に供給し、以て學政の振張を實行すること、此れ其一策なり、	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
73	太陽 60M 太陽 1901_01012	なる進路を取りしが爲めに、國際に於ける我邦の輿論が、寧ろ適當に表示せらるるを致せしは、國家の爲めに僅かに慶すべき事とす	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
74	太陽 60M 太陽 1901_01027	百圓や千圓の詐欺取財の犯人を搜索するには、今日の警察官は頗る適當の道具であります。然しながら大犯罪を搜索するには、誠にやりにくき所がある如く感	・形容動詞連体修飾。
75	太陽 60M 太陽 1901_01046	近來獨逸帝國貿易伸張の結果外資を輸入するに汲々として終に其適當なる程度を超越したるに因らずんばならず。近年獨逸市場の金利漸く騰貴するや英米佛の資本旺に入り來り、	・形容動詞連体修飾。「適當なる程度」というのは相對的表現。文脈依存度が高い。
76	太陽 60M 太陽 1901_01050	局女工の勞働に従事するほど、規則正しく、不潔ならず、又尤も婦女に適當せる職業は非らざるべし。されど電話交換局に就ては、世往々	・サ変動詞未然形。古語的な用法。
77	太陽 60M 太陽 1901_02007	余輩と雖も全國の裁判官に一人の例外もなく萬般の事件を盡く正直且適當に判斷するもののみなりとは信ずること能はず然りと雖亦論者の言ふが	・形容動詞連用修飾。「適當に」副詞的用法。
78	太陽 60M 太陽 1901_02022	島人の女なるを嫌はん、と申され、同君が三ヶ條の説の第三條に適當するとの由にて、終に芽出度華燭の典は擧げられ候。媒妁人は不東ながら僕夫婦に候。	・サ変動詞。
79	太陽	の量を一層多くし、又時間は爐用コーク製造に在ては四	・形容動詞語幹

第5章 適当

	60M 太陽 1901_02040	十八時間を 適当 とすれども、鑄造所用コーク製造に在ては之を七十二時間とす善良の鑄造所用コークの需用あるときに、此等の要件に注意するに	+「(格助詞)」となるか。
80	太陽 60M 太陽 1901_03038	でありますから、大抵ならば初から打ち明けて、そうして、養生を、 適当 にしてゆくようにした方が、よからうではありませんか、殊に	・形容動詞連用修飾。「 適当 に」副詞的用法。
81	太陽 60M 太陽 1901_04007	は温然圭角なき紳士たりしを以て、外務大臣の専任秘書官には最も 適当 なる性格を有したりき。近年に至て彼れは伊藤侯の信用を受け、第三次の伊藤内閣に始めて	・形容動詞連体修飾。「最も 適当 」という表現は現代でも試験問題等で使われる。
82	太陽 60M 太陽 1901_03045	で、獨逸や佛蘭西の塗料を其儘に日本に用ふことが出来ない。それ故日本には日本に 適当 する様に、寒い所には北海道で試験し、熱い所では臺灣で試験して	・サ変動詞連体修飾。
83	太陽 60M 太陽 1901_03046	一定の程度までは、或は未だ有害なる結果を生ずるに至らざらん。されど程度の問題は大概の場合に於て、 適当 に実行せらるべきに非らざれば、有害ならざる程度に止むるといふ	・形容動詞連用修飾。「 適当 に」副詞的用法。
84	太陽 60M 太陽 1901_04019	務は名譽職として處理するのだから、相當の資産ある者で無ければ 適当 で無いと思ふ、畢竟東京市の參事會員が賄賂を取つたなど云ふ弊は、多く生計に	・形容動詞「 適当 だ」の連用修飾で「 適当 で無い」となるため現代語的。
85	太陽 60M 太陽 1901_05013	其の判断に従ふて和解する方法を明定す。此等の法律を 適当 に運用せば、紛議あるごとに直ちに辯護士に囑して裁判所に訴へ、	・形容動詞連用修飾。「 適当 に」副詞的用法。
86	太陽 60M 太陽 1901_05044	ルーベル、ウィダール氏反應と稱して三氏同様に果報を受けるのが 適当 である、で、書物にもそふ云つてあるのもある、それでは此反應はどんなものか、と云ふに、腸窒扶斯に罹てゐる人	・形容動詞連用修飾と考えられる。現代語的。

5.7.2.2 検索語：「適当」（全5件）（2020/10/06 時点）

図表 5.25：「適当」の实例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	实例	備考
1	文明開化 60C 口語 1874_04202	の勢ひに依て。曲げて定むる法などもあり。又其時節には。至極 適当 の正理なれども。時勢が変化すると。甚不的当になる事もあり。また何ほど正理でも。暴行には一時勝たれぬ事な	・「 適当 」と「不的当」が同時に出現。反義の関係のようであるから同義のものとして使っているようである。
2	開化問答 60C 口語 1874_07102	八十四州を一つにし一定の御政事を御施しなさは誠に時勢 適当 の事にて譬へば十万石の大名十と百万石の大名一つと	・形容動詞連体修飾。
3	開化問答 60C 口語 1875_07202	とは必ずおわかりになり足下の御疑念は大方消失ることござらう旧平妙と開さん足下の御話し一と道理に 適当 してこの旧平はもはや一言の返答も出来ません即兜を脱て降参でござり升	・サ変動詞。
4	開化問答 60C 口語 1875_07203	砂金などを用ゐて世の人が交易を遂げたるを以ておしりなされませサテ金銀は通用金になるべき 適当 なる品	・形容動詞連体修飾。

第 5 章 適当

		物ダといふ事が御得心になりたる上はこの通用金が物を買ふ	
5	開化問答 60C 口語 1875_07203	の一円金に作り世間の通用に供するまでの手間と寸分も差はず丁度 適当 するゆゑでござるされば二ツの中一方の手間に変りを生ずる時はまた必ずこの釣合に	・サ変動詞。

5.7.2.3 検索語：「的当」（全 2 件）／「的當」（全 1 件）（2020/10/06 時点）

図表 5.26：「的当」「的當」の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	文明開化 60C 口語 1873_04103	じ道理で、我が体の気血の足りふ足やなどを、援け補ふ為には、其 的当 の薬を飲まねばならぬ事で、夫を夫だけの心配手当もせず、只神に頼んで癒して下されといふは	・下記 2 も参照すれば「 適当 」と「 的当 」の使い分けを意識せず同義の語として使っているようでもある。
2	文明開化 60C 口語 1874_04202	の勢ひに依て。曲げて定むる法などもあり。又其時節には。至極 適当 の正理なれども。時勢が変化すると。甚 不的当 になる事もあり。また何ほど正理でも。暴行には一時勝たれぬ事な	・「 適当 」と「 不的当 」が同時に出現。反義の関係のようであるから同義のものとして使っているようである。
3	東洋学芸雑誌 60M 東洋 1882_08003	聞き慣れざるを以て、之を記憶するに困難有り、況や邦語に於て 的當 せる譯法有るをや、若し全く譯語を付す可らざるもの有れば、之を	・CHJ において「 的當 」は 1 件のみ。

5.7.3 近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

5.7.3.1 検索語：「**適当（適當）**」（全 31273 件より抜粋）（2020/10/05 時点）

「新聞記事文庫」による検索では、「**適当**」「**適當**」どちらの語でも検索結果数は 31273 件であった。3 万件以上という数字は、本稿で扱った他の四語（「**結構**（第 3 章）」「**大丈夫**（第 4 章）」「**微妙**（第 6 章）」「**やばい**（第 7 章）」）と比較しても突出している。したがって、「**適当（適當）**」については、新聞紙上において、比較的好まれる表現とみられる。なお、「新聞記事文庫」では、該当の記事がテキスト表示されるが、旧字体は基本的に現行の通用字体に変換されている。まず、実例を概観した上で、以下に傾向と特徴をまとめた。

- ・「新聞記事文庫」からの「**適当（適當）**」の例については、形容動詞連体修飾（**適当**

なる～／適当の～)の形式をとるものが比較的多くみられた。

・一方、(形容動詞)述語文の形式(適当 [だ／である])、および、形容動詞連用修飾(副詞的用法)(適当に+用言)の形式は比較的少数であった。

・形容動詞連用修飾(副詞的用法)(適当に+用言)の形式については、例えば、下表“32”(1941(昭和16)年)の例には、「然し市場別組合は貿易上必要であるから適当に考慮しなければならないと考える」(下線は筆者)とあり、比較的現代の表現に近いものもみられた。

まず、以下の表に、「適当(適當)」の実例を示した(一部抜粋)。

図表 5.27: 「適当(適當)」の実例(神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	取引所(1-049) 大阪朝日新聞 1912.8.24(大正1) 小口落に就て(上・下) [小口落に就ての論戦 (二)] 川上定次郎寄	此の規定に所謂「届出」とは指定落の意味を表したるものなれば定款の規定上にては小口落なるものは <u>適当</u> の決済方法なりと云うことを得ず、	・形容動詞連体修飾。
2	租税(1-056) 読売新聞 1913.3.24(大正2) 所得税改正案 社説[所得税法改正案 に対する世論(十)]	即ち合名、合資会社は個人経営に近しというを以て税率も課税主義も個人に近からしめ且株式会社として課税を受くる会社に株主数の制限を設け払込金額の多額が同人か親族なる時は之を株式会社と見做さざるが如きは稍や繊細に失する規定なれども今の場合已むを得ざる <u>適当</u> の処置ならん。	・形容動詞連体修飾。
3	移民および植民(5-065) 福岡日日新聞 1913.4.25-1913.4.26(大正2) 加州邦人の事業(上・下)志賀重昂談 (下)根底ある日本労働者	それから米国へ上陸後遂に <u>適当</u> の職業を得る能わずして米国公共団体の厄介物となる労働者も少からずあるのであるがこれを調査して見るとヘブリュー人は一万中千六百二十人波蘭人千十人独逸人が九百九十人希臘人が八百住人南部伊太利人が七百三十人スカンジナビヤ人が三百人に比して日本労働者は僅に七人と云う比例である	・形容動詞連体修飾。
4	綿糸紡績業(02-090) 大阪毎日新聞 1914.3.18(大正3) 両紡績[三重紡績,大阪紡績]合同進捗	之れが協定に相当の時日を要すべきも渋沢男の仲介両者重役の熱心に徹し早晚合同の成立するは疑いなるべし合同の上は何れか一方に会社名を存する時は買収の形となるを以て或は <u>適当</u> の新社名に改むるに至らんと	・形容動詞連体修飾。
5	日本の対外貿易(4-006) 時事新報 1915.9.29(大正4) 貿易組合と金融 貿易組合組織概要 貿易と金融疏通策 [東京貿易組合組織其二] 貿易組合の組織	組合の機関としては業務執行者評議員会計監督組合総会の如き夫々適切なる規約を設くるは申す迄もなく組合員の加入脱退乃至解散の如き夫々 <u>適当</u> の契約の下に行わむ可きものとす可し	・形容動詞連体修飾。「適当」と「適切」を使い分けている。
6	外交(10-038) 大阪毎日新聞 1915.7.19(大正4)	社会主義者にして全く滅亡したるか、全く其主義を棄てたるにあらざる限り、人心漸く戦に倦み、日に平和の速に来らんことを望み、政府亦対敵の策略と資源と	・形容動詞連体修飾。

第5章 適当

	平和運動と社会党 欧洲社会主義者の出処 今後益々注意を備す	の窮乏に苦み、 適当 の方法において休戦せんことを思うの時、社会主義者は必ず自己活動の時機来れりとして、久しく屈したる腰を伸ばし、黙して俛れたる頭を擡げ来らんこと当然なるべく、	
7	外交(17-022) 大阪朝日新聞 1916.4.17 (大正 5) 公使館及領事館の新設 [社説]	又我が大使館の墮都引揚と同時に、瑞西の兼轄を伊国駐紮大使館に移し、同館所属官吏を瑞西に派して、其の事務に当らしむるをも得べかりしなり。何ぞ他国公使の手を煩わすに及ばんや。然れども過去の失錯は今更咎むるも詮なし、今は一日も早く開館の運びを付け、最も 適当 なる公使を簡派せざるべからず。蓋し瑞西は今後尚益す時局に対し重要な地点とならん。	・形容動詞連体修飾。
8	政治(11-001) 大阪毎日新聞 1917.8.14 (大正 6) 英国政局の小変 挙国一致の前途如何=社会党平和運動の影響如何	然れども、連合国の盟主たり、戦争継続計画の中心として、独逸の軍国主義を根本より剿滅せんとするものは、実に英国の外に之なし、少くも英国を以て其最とするものなる以上、英国を 適当 なる手段によりて労働党其他社会主義者の平和運動を取締ると共に、能く挙国一致の歩調を取る事を誤らざるべく、	・形容動詞連体修飾。
9	政治(10-42) 時事新報 1918.12.10-1918.12.16 (大正 7) 南北平和 (一～五) (三)国会問題 過渡的国会	但し新旧国会議員は全然其思想を異にするを以て連合国会は仮令成立すとも之が運用は困難なるべしと云うもの無きに非ざれども他に国会題問に関し 適当 なる妥協案無き以上南北代表者は結局右の妥協案を基礎とし国会問題を解決するの外無からむ	・形容動詞連体修飾。
10	海運(10-046) 大阪朝日新聞 1919.6.18 (大正 8) 近海航路拡張決定	日本船舶の航路制限を定むる規定なかりしが為揚子江航路に使用する船舶の航路定限を定むるに由なく検査証書発給上不便を感じたる例あるを以て将来同航路の船舶並に其他外国等に於て使用せんとする船舶に対し航路の状況に応じ近海遠海又は平水各航路の規定を準用し 適当 の航路定限を定むる事を得せしめたりと(東京電話)	・形容動詞連体修飾。1910年代は「 適当 の～」という形式が比較的多くみられる。
11	国際労働問題(5-198) 大阪朝日新聞 1920.7.4 (大正 9) 少年労働禁止案 総会に於て可決 (ゼノア特電二十九日発) 内田氏の提案採択	英国海員代表ヘンソン氏は少年に対する 適当 なる保護の必要を主張し此の少年なる定義中にも其の少年の船主の子たる下級船員の子たるとにより差別の存する子とを指摘し前者に於ては二十五歳迄は少年なる後者に於ては六歳にして既に少年に非ずと述べ	・形容動詞連体修飾。
12	都市(7-108) 大阪朝日新聞 1921.9.26 (大正 10) 特別市制と特別町村制	大都市を小都市と別異の制度の下に置く事と共に人口稀少なる町村を都市と同様の組織の下に統治する事が 適当 なりや否やの問題は地方制度を論ずるに当り等しく重大である。	
13	米(26-032) 京城日報 1922.11.29 (大正 11) 産米改良奨励と効果 各道を通じて良結果を来しつつあり 三井総督府技師談	大地主李東錫氏及頭山農場の如きは従来産米改良は政府の施政に奉公する如く心得て居ったのが之が 適当 なる方針であると言う事に自覚して漸次政府の施政に準じて之を実行する様になり	・形容動詞連体修飾。
14	銀行(10-060) 大阪毎日新聞 1923.1.2 (大正 12) 銀行合同を勧告す 銀行間の連絡協調を固うせよ 大蔵大臣 市来乙彦談	同時に余が此の際最も重きを措かんとするは財界の整理を促進し我国経済界の復興発展を図る為 に適当 の方策を講ずる事であって、余は此の点に就て今後全幅の力を傾けん事を期して居る次第である、	・形容動詞連体修飾。
15	通信事業(5-128)	初め空中線に生じた電流は、その儘受話器に使えない	・形容動詞連体

第5章 適当

	東京朝日新聞 1924.3.5-1924.3.7 (大正13) 放送無線電話(一~三)(二)	が、検波器を通過した電流は最早受話器に 適当 な電波となっている。故に、受話器を耳に当てると、送られた時と同じ音波となって吾々の聴覚に感ずる。即ち、電波で送られた送話は、元の音波に変えられるのである。	修飾。
16	火災保険(7-043) 大阪毎日新聞 1925.10.8 (大正14) 新たに出来る簡易火災保険の特徴 地震其他の天災の損害にも保険金を支払う	通信省では先年の関東大震災の際特に中流以下の階級において困窮を訴えつつあった実情に鑑みこれ等の困窮者に平常 適当 の方法を与えて置く必要のあるのを感じ簡易火災保険の企てをしたのであって震災の損害に保険金を支払うことは第一の要件である、	・形容動詞連体修飾。
17	軍事(国防)(17-036) 大阪毎日新聞 1926.4.14 (大正15) 青年訓練所実施勅令案と省令案 十三日の閣議で決定 青年訓練規則 (省令案)	十一、公立青年訓練所は実業補習学校または小学校に併置するを常例とする事 十二、青年訓練は土地の状況に応じ 適当 なる季節にこれを行うを得る事	・形容動詞連体修飾。
18	日本の対外貿易(22-095) 時事新報 1927.3.30 (昭和2) 貿易通信員六名増置 設置場所決定	また同じく埃及のポートサイドに於ては明年度中にカイロに日本商品館の設置を見る筈であるので、この両市の貿易通信員は何れ 適当 の地を選択して他に移転せしむることになっている、	・形容動詞連体修飾。
19	国際金融(9-183) 神戸新聞 1928.3.4-1928.3.7 (昭和3) 世界的借金苦 借り過ぎと貸し過ぎこの結末をどうする(上) 唯一の活路	この危機に処する途について余はアメリカ、イギリス、ドイツ等の専門家と意見を交換したが遂に 適当 なる途を発見し得なかつた。然しこの破産は如何にしてでも未然に防がねばならぬ。而して唯一の途は国際間の関税障壁撤廃にある。	・形容動詞連体修飾。
20	日本の対外貿易(24-128) 神戸又新日報 1929.9.8 (昭和4) 小型品貿易が便利になる 小包より早くて包装も簡易	その特長は イ、大体通常郵便物と同一の線路によって送達するので小包郵便より早い ロ、料金は大体において小包郵便より低料である ハ、包装などは小包より簡易である ニ、小形軽量の商品発送に恰好なこと殊に時計、写真宝石、絹ハンカチーフ等には 適当 である	・(形容動詞)述語文。
21	鉄道(23-173) 中外商業新報 1930.12.25-1930.12.28 (昭和5) 東京市場への青果物の鉄道輸送状況 貸切扱が大部分 果実類は蔬菜に比し特に多い	以上は鳥取付近から東京へ出荷する二十世紀梨の輸送を例として、運賃上から見て出荷量を統制せんとする場合に採るべき大体の方法である。更にこれを按配することによって三種の方法の 適当 な組合せが生ずる。	・形容動詞連体修飾。
22	港湾(9-105) 神戸又新日報 1931.1.1-1931.1.8 (昭和6) 近き将来を約して大飾磨港の実現 素晴らしいその大プラン 計画の方針	これ等小型船に対し至便な荷役場を築造することが緊要である、港内浚渫による多量の土砂はこれを利用し 適当 なる地域をトし海面の埋立をなし以て港湾設備地の拡張に充て、今後発展せんとする生産工業に対し広闊な工場地域を安価に提供し、	・形容動詞連体修飾。

第5章 適当

23	東南アジア諸国(7-033) 大阪時事新報 1932.7.22 (昭和 7) 比律賓への日本商人の 進出 統制実施の影響	日本比律賓メリヤス輸出組合設立に次いで、去る四月一日より同組合に於て数量統制を実施しつつあり、取引は漸次円滑に運び、在荷も 適当 に按配せられつつあり営業上の競争はあれども不当の競争は全く行われず殊に統制実施に際して為替安にて比島輸入商は有利に入荷するを得、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
24	蚕糸業(21-111) 中外商業新報 1933.4.24 (昭和 8) 本社[中外商業新報社] 主催「蚕糸業非常時対策」座談会 各方面の権威者に聴く	小汀 今井さんこの点如何でございますか 今井五介氏 私は全く金融方面に会社で携わらないので謂はばその素養がないので他に 適当 な方があるでしょうからどうぞ私は御免蒙りたい	・形容動詞連体修飾。
25	石油(09-131) 京城日報 1934.1.21-1934.1.24 (昭和 9) 等閑視された石油国策 憂慮すべき本邦斯業の 前途 橋口圭三郎 日石社長	其後、政府に於ては此の状況に鑑み、 適当 なる石油対策を得んとして、或は関係五省会議を開説し或は資源局主催の下に秋田、新潟両県下に現業地会議を催す等従来になき緊張をもってこの問題の解決に鋭意されていたので、	・形容動詞連体修飾。
26	製糖業(14-202) 台湾日日新報 1935.1.9 (昭和 10) 糖業試験所の新規二大 事業 新品種の地方別適否調 査無水酒精の製造試験	甘蔗液体燃料化試験…従来製糖会社で造られつつあるアルコールは甘蔗から先ず砂糖を出来得る限り搾り取った後の糖蜜を原料としている、而も此の糖蜜から製造されたアルコールは普通の酒精であって、之は高級燃料としては 不適当 のものである、	・形容動詞連体修飾。「不 適 当」。
27	鉱産物(03-100) 報知新聞 1936.2.5 (昭和 11) 他金属と結ばば威力絶 大なマグネシウム 合金 しかも原料は無尽蔵	即ち銅、アルミニウムの板、棒等は常温でも高温でも曲げることが出来るが、マグネシウムは曲らずに折れてしまうのである、従って圧延材としては 不適当 であり、鑄物、打物としてしか利用できないということになる、	・(形容動詞)述語文。「不 適 当」。
28	社会保険(7-097) 大阪朝日新聞 1937.12.2 (昭和 12) 国民健康保険案産組、 医師会の折衷案成る	本事業を完全に遂行し得る能力を有するものに対しては左記条件に該当する場合は本事業を行うことを許可するを得ることとなすを 適当 と認む(中略) 一、当該法人の財政の基礎鞏固、事業の成績良好にして医療に関する施設の内容の 適当 なるものなること	・前者は形容動詞語幹+「(格助詞)と」。後者は形容動詞連体修飾。
29	日本(28-062) 中外商業新報 1938.5.18 (昭和 13) 貯蓄組合の設立 全国 的に奨励 大蔵省で虎の巻配布	次に商工業者が設立する場合は大体営業収益税及び同附加税を最低額として 適当 に定めること、町内会及び部落を単位として組合を設立すれば貯蓄額は町会費税額を標準として各人別に 適当 に割当てることになっている	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
30	都市(13-008) 神戸新聞 1939.1.30 (昭和 14) 神戸市側から県に幹旋 申入か 東部隣接町村合併問題 三部制経済徹底見越す	即ち神戸市としては非合併町村と直接且つ個々に交渉したのでは容易に纏まり難いのと目下右六ヶ町村間に単独市制の実施運動が進展しつつある事実を徴しむしる監督官庁たる県の善処に俟つを 適当 と認めた結果かかる態度に出たものらしい これに対し、県当局としては合併条件をどうするか の点を関係各町村の経済的利害その他の角度から専ら研究する一面東部六ヶ町村の右問題に関する動きを注視し 適当 な機会を掴んで積極的に一挙解決を図る方針を執っている模様でその成り行きは興味をもって観られている	・前者は形容動詞語幹+「(格助詞)と」。後者は形容動詞連体修飾。
31	日本の対外貿易 (0e-237)	更に我方としては希望する必需品の希望数量が確実に蘭印より輸出せらるるよう、和蘭政府及び蘭印総督府	・形容動詞連体修飾。

第 5 章 適当

	国民新聞 1940.6.30 (昭和 15) 軍需資材の対日供給蘭 印側正式に承認す 日・蘭印間貿易諒解成 立 情報部長談	に於て 適当 の措置及び企業及び入国の問題についても至急措置方要望し、これ等の点につき二十八日更に谷次官からパプスト公使に申入るる処があった	
32	日本の対外貿易 (37-185) 日本工業新聞 1941.7.22 (昭和 16) 貿易機構全面整備 統制方針・大阪で石黒 長官語る 輸出基準一 定期間毎指示	このため商品別、市場別とも或る種のもは残り、或る種のもは発展的解消を行うものがあるかも知れない、然し市場別組合は貿易上必要であるから 適当 に考慮しなければならないと考える	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
33	日本の対外貿易 (37-354) 大阪毎日新聞 1942.1.17 (昭和 17) 貿易業統合促進 大商議に幹旋所新設	右幹旋所の運営にあたっては貿易業整備要綱の趣旨に則り (イ)出来る限りの高度の統合を行うよう指導する(ロ)合同企業形態は業者の希望も調査して最も 適当 な形態を採用し決定的な合同形態たる会社形態を勧奨する	・形容動詞連体修飾。
34	日本の対外貿易 (37-370) 日本工業新聞 1942.2.26 (昭和 17) 貿易業の整備六月中に 完了 円域に参加は七月から	実績を査定するのは如何なる方法によるか 原則として商工省実施の業態調査に依る、但し之を以て不 適当 なる場合は、個々の場合に応じ立証の可能なもの(例之、各地税関での手続の記録など)に限り認めてやっても良い	・形容動詞連体修飾。「不 適当 」という形式。

5.7.3.2 検索語：「的当」（全 1 件）（2021/01/22 時点）

検索語「的当」にて得られた実例は 75 件であった。まず、実例を概観した上で、以下に傾向と特徴をまとめた。

- ・全 75 件の検索結果例をみると、「**適当**」の同義語としての「**的当**」の実例は、わずか 1 件のみであった。
- ・検索結果例のほとんどは、「一時的**当**面の考え」「比較的**当**を得たもの」「必然的**当**然の結論」（下線は筆者）のようなものであった。以上の例をみても明かなように、「**的当**」の表記は語の判別上まぎらわしい。したがって、意識的に避けられた結果としてしだいに「**的当**」の表記が消滅したという可能性も否定できない。
- ・1 件の実例（1931（昭和 6）年）の内容については、幕末期の書簡の引用であった。したがって、少なくとも「新聞記事文庫」上の判断では、大正期以降において、「**的当**」の「**適当**」に準じた意味での使用例はほぼないとみられる。

以下の表に、「**的当**」の実例 1 件を示した。

図表 5.28 : 「的当」の実例 (神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫)

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	人物伝記(4-031) 大阪毎日新聞 1931.6.22-1931.10.9 (昭和6) 朝幕交渉篇 近世日本国民史 (第三十八卷) 【蘇峰生】 (三四) 堀田の入京に 関して三条実万の近衛 忠熙に与えたる書	<p>三条実万が、無二の味方と考へたる松平慶永や、水戸斉昭までが、軟論を唱え、若しくはそれに和するに際しては、京都の硬論を、真甲から振り翳すに於ては、如何なる大事を惹起す可き乎と、心配したのも、怪しむに足りない。</p> <p>彼西城【一橋慶喜將軍継嗣として擁立の件】急々出来候方、兎に角急務と存候。唯今は夫迄之処に切迫相成り来り候。一向大樹(將軍)上洛にても被仰遣、御直談可被遊などと申様成事歟。是も迂遠之上、真実当大樹にては詮なくと存候。何卒尾州今日之御処置振、的当之程、御内々御尋問相成間敷哉。別紙【略す】は誠に不得已之拙劣、愚策に候、とんと無致方節には、此辺之事哉。実に朝廷之英断所仰候処、人心危疑、一致に無之候ては、所詮難被行哉。夫のみならず、膝下に危変を生じ可申も難計、風聞なども有之歟。夷人下田に引取、是も隠謀有之哉と申咄も有之候。何分末々迄之処、御考究所希に候。尾州(徳川慶恕)幸在国之儀、機変に寄候ては、上京にても有之度事と存候。既に先年之節、其事申出で候事に候。今日之良策、御内問所祈に候。何卒急々御勘考相成間敷哉。御互に心術痞塞と存候。何分御勘考奉祈候也。</p> <p>三条や、近衛は、当時朝廷の頼りを以て重きをなせる所謂正義派の中堅であった。然も彼等にしても実は五里霧中であつた。但だそれにて堀田の使命は、眉に唾して聴く可きものとの、先入的主旨は十分に把持していた。</p>	<p>・形容動詞連体修飾。実際は幕末期の書簡のため、例外的なもの。</p>

5.7.4 現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

下述、「5.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」によって得られる「相当」の実例は、おおむね 1970 年代半ばからとなる。したがって、昭和戦後期から 1970 年代にかけての資料が欠けることとなる。そのため、補足手段として、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による朝日新聞記事の検索を行った。検索期間は、1945 年 8 月 16 日から 1979 年 12 月末日までとする。検索条件は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」／キーワード：「相当」／発行日：「1945/08/16 から 1979/12/31」／その他指定なしとした。まず、1940 年代半ばから 1970 年代にかけての朝日新聞記事上における「相当」の実例を概観した上で、以下に傾向と特徴をまとめた。

- ・主な形式として二つあげられる。「～が相当。」という形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式、「適当な～」「適当～」という形容動詞連体修飾の形式である。

上述、「5.7.3 近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）」の例と比較すると、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」からの現代の例は、（形容動詞）述語文の形式、「相当。（言い切り）」、「適当だ／適当である」が比較的多くみられる。形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式が比較的多い理由は、簡潔明解な表現が求められる新聞というメディアの特性上によるものと考えられる。

- ・一方、形容動詞連用修飾（副詞的用法）（適当に＋用言）の形式については、比較的少ない。例えば、下表、“96”（1970（昭和 45）年）「デモとバイトも適当に」、「103」（1972（昭和 47）年）「私のスペイン語学習 適当に下手でも結構」、「104」（1972（昭和 47）年）「何でも“適当”に済ます子ども__ひととき」、「125」（1977（昭和 52）年）「検事には適当に答えただけ」（下線は筆者）の例のように、1970 年代前半（昭和 40 年代半ば）以降から、マイナス評価性を含意したと考えられるものが現れてきた。ただし、1940 年代半ばから 1970 年代にかけての朝日新聞記事上において、マイナス評価性の「相当」は、ほとんど現れない。

- ・下表、“25”（1952（昭和 27）年）、「大林清 アクセサリー的小説 前進阻む“適当な都会性”__人さまさま」（下線は筆者）では、「相当」ということばが効果的に使われている。文脈によると「ほどのよい／ほどほど」といった意味で使われているようである。ただし、評者は、作家大林の作風に対し「相当」ということばを用いてマイナスの評価を下しているようにも捉えられる。

第5章 相当

・朝日新聞の記事上（1945年8月16日から1979年12月末日まで）において、形容動詞連体修飾（**適当な**～／**適当の**～／**適当**～）の形式で、「**適当**」と共にしやすい語として、時を表す語（「**時期**」「**機会**」「**時**」「**時機**」等）、動作性を表す語（「**措置**」「**処置**」「**処理**」等）が挙げられる。

以下、「**適当**」について表にして時系列でまとめた。

5.7.4.1 検索語：「**適当**」（全352件より抜粋）（2020/10/21時点）

図表 5.29：「**適当**」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：現代）

番号	発行日 社／刊種	実例	備考
1	1945年8月16日 東京／朝刊	原則として親許へ 引上げ 不適当 の者はそのまま 動員 学徒と疎開学童	・「 不適当 」。
2	1945年9月27日 東京／朝刊	適当 の補償措置 軍需会社整理等に重産協建議	・形容動詞連体 修飾。
3	1945年10月23日 東京／朝刊	財閥の自発改組、政府は 適当 措置 連合国の方針を体す／ 財閥に意志あり 蔵相、自発的改組に所見／8閣僚懇談 経済政策中心に／持株を1割以下に 財閥家族の支配力 制限 マ司令部方針	・形容動詞連体 修飾。
4	1945年11月7日 東京／朝刊	累計722億円 海軍臨時費、寧ろ継続が 適当 海軍当局 談	・(形容動詞)述 語文。形容動詞 語幹。
5	1946年2月8日 東京／朝刊	適当 な手段による生産管理は認める 厚相、徳田氏らと意 見一致	・形容動詞連体 修飾。
6	1946年5月2日 東京／朝刊	天皇の証人喚問、 適当 の時に__検事団	・形容動詞連体 修飾。「 適当 の」 以後はほぼ現 れない。
7	1946年6月28日 東京／朝刊	天皇は象徴が 適当 政府答弁__憲法論議	・(形容動詞)述 語文。形容動詞 語幹。
8	1946年12月20日 東京／朝刊	比例代表は 適当 でない 内相答弁__選挙法改正問題	
9	1947年1月9日 東京／朝刊	放送は国管が 適当 、地方選挙は追放完了後__対日理事会	・(形容動詞)述 語文。形容動詞 語幹。
10	1948年10月29日 東京／朝刊	賃金は 適当 におさえる 蔵相談__官吏新給与問題	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。
11	1948年10月29日 東京／朝刊	1ドル三百円が 適当 中島貿易会長談__貿易	・(形容動詞)述 語文。形容動詞 語幹。
12	1948年11月14日 東京／朝刊	絞首刑は 不適当 —ウェブ裁判長個人的見解__処刑	・「 不適当 」。
13	1948年11月18日 東京／朝刊	五千三百円 適当 —有力示唆__新給与問題	・(形容動詞)述 語文。形容動詞 語幹。
14	1949年3月23日 東京／朝刊	共産主義者は教員に 不適当 デュペル大尉談__教育	・「 不適当 」。
15	1949年8月23日	合同、十一月ごろが 適当 広川幹事長談__保守合同問題	・(形容動詞)述

第5章 適当

	東京／朝刊		語文。形容動詞語幹。
16	1950年6月23日 東京／朝刊	“絞首刑は残虐行為” 不 適当 と違憲の訴え__司法・警察	・「不 適当 」。
17	1950年12月17日 東京／朝刊	「挙国内閣」は不 適当 吉田首相 議員総会で言明__自由党	・「不 適当 」。
18	1951年4月18日 東京／朝刊	外為委は大蔵省移管が 適当 蔵相言明__為替	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
19	1951年8月10日 東京／朝刊	“保釈金百円は 適当 ” 地検の準抗告は却下__司法・警察	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
20	1951年9月7日 東京／朝刊	開城地域は不 適当 会談場所、総司令部声明__朝鮮動乱	・「不 適当 」。
21	1951年11月16日 東京／朝刊	適当 な時期に 電力値上 松永公益委員長代理語る__価格	・形容動詞連体修飾。
22	1951年12月1日 東京／夕刊	国会の解散は五、六月が 適当 林議長車中談__通常国会	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
23	1952年3月1日 東京／朝刊	“学長官選”は 適当 増田幹事長談__学長官選問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
24	1952年6月13日 東京／夕刊	“陸軍省が 適当 措置” マッカーサー元帥の基調演説にトルーマン大統領語る	・形容動詞連体修飾。
25	1952年12月10日 東京／朝刊	大林清 アクセサリー的小説 前進阻む“ 適当 な都会性”__人さまざま(*以下抜粋) さてその作品内容を調べて見ると、これはと言う「決定打」が一本もない。言わばただ何となく「人気」があるのだが、しかしこれも決して理由のない事ではなく、彼の作品は、そのどれもが 適当 にスマートで、 適当 に明るく、 適当 に哀愁をおびている。(中略)とにかく彼の「小説」にはほどの「 適当 な都会性」というようなものが常に流れている。この「ほどのよい 適当 な都会性」が、彼の読者の過半数のミーハー族を魅きつける最大の要素なのだ。(中略)大林清は賢明である。彼の作品から受ける印象とほとんどそっくりの、白セキの美男だし、眼鏡のうしろの眼も「 適当 」に甘い。しかしこの甘さは、十分に彼によって計算された甘さだ。(中略)彼の作品群の、いつも踏み外さない「 適当 な甘さ」の魔術がここに行われる。(中略)(天地人)	・「 適当 」が効果的に使われている。文脈によると「ほどのよい/ほどほど」といった意味でつかわれているようである。したがって、評者は作家大林に対し、ややマイナスの評価を下しているようでもある。
26	1952年12月21日 東京／夕刊	捕虜の暴動に 適当 な措置 ク大将声明__クラーク大将言動	・形容動詞連体修飾。
27	1953年1月30日 東京／夕刊	政調会長 適当 な人選 佐藤新幹事長談__自由党	・形容動詞連体修飾。
28	1953年5月6日 東京／夕刊	金魚に水道の水は不 適当 __家庭	・「不 適当 」。
29	1953年7月31日 東京／朝刊	適当 な時期に中共国連加盟 英外相代理言明__国連	・形容動詞連体修飾。
30	1954年1月18日 東京／夕刊	「 適当 な措置」が必要 審議会総会で答申__教育中立の二法律案	・形容動詞連体修飾。
31	1954年8月5日 東京／夕刊	九月上旬―十月上旬が 適当 両社の中共訪問__社会党	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
32	1955年5月24日 東京／夕刊	引退、今は考えず 首相言明 適当 な後継あれば考慮__外務委員会	・形容動詞連体修飾。
33	1955年7月15日 東京／朝刊	巨頭会談 適当 時期に 日本国民の期待表明首相答弁__予算委員会	・形容動詞連体修飾。
34	1956年3月11日 東京／朝刊	“五十五歳以上が 適当 ” 太田長官答弁 地方公務員定年__予算委員会	・(形容動詞)述語文。形容動詞

第5章 適当

			語幹。
35	1956年7月1日 東京／朝刊	適当な地方分権を 周首相が言明__人民大会	・形容動詞連体修飾。
36	1957年3月16日 東京／朝刊	十億ドルが適当 標準外貨保有量__経済同友会、外貨保有量に結論	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
37	1957年5月21日 東京／朝刊	テレビ割当、政府原案が適当 電波監理審議会答申__放送	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
38	1958年3月6日 東京／朝刊	“第七条解散”は不適当 真野氏 見解を表明__憲法調査会	・「不適当」。
39	1958年4月4日 東京／夕刊	“二十日間が最も適当” 郡長官答弁 選挙運動期間__選挙法改正特別委員会	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
40	1958年6月18日 東京／夕刊	適当な時機に渡米 藤山外相答弁__参院本会議	・形容動詞連体修飾。
41	1958年7月3日 東京／朝刊	東京五輪の開催は秋が適当 招致準備委で話し合い__国内一般	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
42	1958年7月4日 東京／夕刊	“適当な助言がほしい” 心細い大学演劇発表会__演劇	・形容動詞連体修飾。
43	1959年2月20日 東京／朝刊	解説=条約上不適当な表現「日本区域」__安保改定問題	・「不適当」。
44	1959年6月8日 東京／夕刊	各国、適当に利用 “打てばびびく” プレスセンター__東西外相会議	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
45	1959年7月24日 東京／夕刊	母親大会の安保反対に適当な処置__安保改定をめぐって	・形容動詞連体修飾。
46	1959年9月2日 東京／朝刊	東南ア開発が適当 蔵相談ガリオア返済問題__賠償	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
47	1960年1月14日 東京／朝刊	来年一月が適当 総裁公選 大野副総裁談__自由民主党	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
48	1960年3月22日 東京／朝刊	潮干がりに適当な日__観光・行楽	・形容動詞連体修飾。
49	1960年3月25日 東京／夕刊	タバコ・適当でない民営 専売制度調査会が答申__専売公社	・形容動詞連用形。
50	1960年5月18日 東京／夕刊	適当な時機に交渉 三国コミュニケ__首脳会談お流れ	・形容動詞連体修飾。
51	1960年6月17日 東京／朝刊	時期適当でない 首相声明__アイク訪日延期と反響	・形容動詞連用形。
52	1960年12月22日 東京／夕刊	デノミ実施適当でない 外相答弁__本会議・委員会	・形容動詞連用形。
53	1961年3月31日 東京／朝刊	「適当な措置」は軍事介入含む 米、ソ連に警告__ラオス関係	・形容動詞連体修飾。
54	1961年5月24日 東京／夕刊	適当な時期に総選挙する 朴副議長談__韓国軍がクーデター	・形容動詞連体修飾。
55	1961年8月30日 東京／朝刊	「適当な替え地はない」 ワシントン・ハイツ 組織委で結論__東京五輪	・形容動詞連体修飾。
56	1961年10月17日 東京／夕刊	輸入承認の不正に適当措置 通産相談__佐藤通産相	・形容動詞連体修飾。
57	1961年11月23日 東京／朝刊	街画方式が適当 「町名地番」答申きまる__自治省	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
58	1961年12月6日 東京／朝刊	秩序回復に適当な処置 コンゴ国連当局__コンゴ	・形容動詞連体修飾。
59	1962年6月21日	中教審の原案まとまる 文相が再選考求む 学長候補不	・「不適当」。

第5章 適当

	東京／朝刊	適当と認めた時__大学管理問題	
60	1962年11月3日 東京／夕刊	米大統領が特別放送 赤十字査察が適当__キューバ問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
61	1963年3月2日 東京／朝刊	適当だった通信措置 りっちもんど丸__「ときわ丸」遭難	・形容動詞連体修飾。
62	1963年12月13日 東京／朝刊	「取扱い不 適当 」が多い 石油ストーブ火事の原因__暖房器具の火事しきり	・「不 適当 」。
63	1964年2月18日 東京／朝刊	一般的には不 適当 「道路方式」答申持越す 住居表示審__自治省	・「不 適当 」。
64	1964年3月24日 東京／朝刊	適当な機関が必要 カイスニ議長あいさつ__国連貿易会議	・形容動詞連体修飾。
65	1964年5月29日 東京／朝刊	第二空港 適当な場所を物色中 運輸相答弁__航空	・形容動詞連体修飾。
66	1964年9月13日 東京／朝刊	部屋境にカーテン 適当に隔てた子供部屋__住いの工夫	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
67	1964年9月20日 東京／夕刊	適当な時期、インド訪問 フルシチョフ首相受諾__フルシチョフ首相	・形容動詞連体修飾。
68	1965年2月2日 東京／朝刊	佐藤首相 ソ連首相に返書 領事条約を結ぼう 適当な機会みて訪ソ	・形容動詞連体修飾。
69	1965年3月28日 東京／朝刊	入試代りは不 適当 大学基準協 批判的な態度__教育	・「不 適当 」。
70	1965年4月2日 東京／朝刊	適当な時期に行動 ベトナム解決	・形容動詞連体修飾。
71	1965年6月26日 東京／夕刊	英首相が中止示唆 “適当な時期に使命果す” 英連邦の平和使節団	・形容動詞連体修飾。
72	1965年7月27日 東京／朝刊	ビールのおつまみ 少量ずつ品数を多く 塩味と適当な油気__食	・形容動詞連体修飾。
73	1965年10月18日 東京／夕刊	情勢変化せぬ限り 安保改定は不 適当 首相答弁__本会議	・「不 適当 」。
74	1966年4月23日 東京／朝刊	“適当な時期に” 具体的提案 ウタント国連総長 ベトナム和平に	・形容動詞連体修飾。
75	1966年6月3日 東京／朝刊	「木更津は不 適当 」 松尾日航社長が批判 新国際空港の川島構想	・「不 適当 」。
76	1966年7月6日 東京／朝刊	血債問題 適当な時期に提起 シンガポール首相演説__シンガポール	・形容動詞連体修飾。
77	1966年9月1日 東京／朝刊	「旧パレス・ハイツ跡が適当」 審議会が答申 最高裁新庁舎__司法・警察	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
78	1967年1月14日 東京／夕刊	適当な時期に会合 ベトナム監視委が合意__ベトナム問題	・形容動詞連体修飾。
79	1967年6月8日 東京／朝刊	時期的に不 適当 沖縄の全面返還運動 外相表明__沖縄返還問題	・「不 適当 」。
80	1967年7月18日 東京／夕刊	タクシー冷房料金 頭を下げた運輸相 「認可は不 適当 だった」	・「不 適当 」。
81	1967年10月15日 東京／朝刊	ドアごしの適当な言葉__ひととき	・形容動詞連体修飾。
82	1967年12月20日 東京／夕刊	理由が適当なら許諾する 自民の態度__大阪タクシー汚職	
83	1968年4月3日 東京／夕刊	都知事が閉鎖要請 「場所が不 適当 」__米軍王子野戦病院問題	・「不 適当 」。
84	1968年4月27日 東京／朝刊	“新日本製鉄”が適当 新社名 稲山八幡社長語る__八幡・富士製鉄合併問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
85	1968年5月23日 東京／朝刊	不親切だった? 標識 見にくく不 適当 な位置__東横線踏切事故	・「不 適当 」。
86	1968年8月15日	適当な机の高さ__団地カルテ	・形容動詞連体

第5章 適当

	東京／朝刊		修飾。
87	1968年10月10日 東京／朝刊	インドネシアへの進出 中小企業が 適当 使節団帰国	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
88	1969年3月19日 東京／朝刊	民社との会談 適当 でない 江田社党書記長語る	・形容動詞連用形。
89	1969年10月23日 東京／朝刊	I O C アマ規定改正で原案 適当 な援助受入れ T V 出演の収入認める	・形容動詞連体修飾。
90	1969年11月6日 東京／朝刊	レバノンのゲリラ基地化 適当 な手段とる権利 イスラエル外相が表明	・形容動詞連体修飾。
91	1969年12月31日 東京／朝刊	11%前後が 適当 成長率で蔵相語る__経済	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
92	1970年1月6日 東京／朝刊	松村氏の訪中は三月ごろが 適当 岡崎氏ら関係者協議__日中覚書貿易協定	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
93	1970年5月5日 東京／朝刊	生産基地、日本が 適当 アジア地域への輸出 フォード首脳語る__貿易	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
94	1970年5月7日 東京／朝刊	証言は 適当 でないと判断__八百長野球	・形容動詞連用形。
95	1970年9月10日 東京／朝刊	中国人民代表大会 党中央委総会が提案 「 適当 な時期に開催」 文化大革命締めくくり	・形容動詞連体修飾。
96	1970年12月25日 東京／朝刊	改革の熱気いまやなし 紛争から二年 東大生の生活実態 勉強第一の堅実ぶり デモとバイトも 適当 に マンガ、哲学書読分ける読書傾向__東大の改革問題	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
97	1971年1月29日 東京／朝刊	まず党の方針固め 適当 な時期に回答 西村構想に社党が態度__日本社会党	・形容動詞連体修飾。
98	1971年9月18日 東京／夕刊	「円」上げ幅 適当 なら 切上げ、不利でない 蔵相が帰国声明 単独実施は不利__水田蔵相の特別声明	
99	1971年10月28日 東京／朝刊	10%引上げが 適当 医療費で支払い側案 中医協__医療料金引上げ問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
100	1972年1月20日 東京／朝刊	電力値上げ示唆「 適当 な時期に20%前後」 芦原関電会長__電気・ガス料金	・形容動詞連体修飾。
101	1972年2月3日 東京／朝刊	「 適当 な機会に訪ソ」 参院で首相__本会議	・形容動詞連体修飾。
102	1972年3月31日 東京／朝刊	適当 な制海権は五、六百カイリ 防衛庁長官答弁__四次防審議	・形容動詞連体修飾。
103	1972年8月9日 東京／朝刊	私のスペイン語学習 適当 に下手でも結構__家庭	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。マイナス評価性を含意しているようである。
104	1972年11月4日 東京／朝刊	何でも“ 適当 ”に済ます子ども__ひととき(*以下抜粋) 「一定の時間、手や足を動かしていれば、まあ 適当 な運動になるし、それでよい、というつもりらしい。だけど、それは大人の考えじゃない？」といった。心もからだも燃焼させることがない。何もかも 適当 でよい。体操をやりたきで体操をやりたくない子どもは、ほかにも何もやりたいことがないのではあるまいか。	・「まあ 適当 な運動になる」の「 適当 」は「ほどほど」の意味。「何もかも 適当 でよい」のほうは「いい加減」マイナス評価性の「 適当 」。
105	1972年11月21日 東京／朝刊	落葉樹の植え時です 花を四季絶やさず 常緑樹も 適当 に配置__園芸	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
106	1973年2月10日	日本だけ開場 不適当 日銀総裁語る 今後は欧州情勢次	・「 不適当 」。

第5章 適当

	東京／夕刊	第__東京市場を閉鎖	
107	1973年9月5日 東京／朝刊	沈黙の批判強める韓国民 究明に日本の決意期待 癒着感強い両政府 「適当な処理」恐れる	・形容動詞連体修飾。
108	1973年11月6日 東京／朝刊	福岡、立候補は不 適当 アジア大会の代替開催 JOCと文部省一致	・「不 適当 」。
109	1974年4月5日 東京／夕刊	5-8月の 適当 な時期 経企長官語る__私鉄運賃値上げ問題	・形容動詞連体修飾。
110	1974年6月8日 東京／夕刊	米大統領の“法廷侮辱” 10日に「 適当 な措置」 証拠提出拒否 ゲゼル判事が警告	・形容動詞連体修飾。
111	1974年7月14日 東京／朝刊	あなたに 適当 な運動量は? 中高年層の処方づくり進む__みんなの健康	・形容動詞連体修飾。
112	1974年9月3日 東京／朝刊	フォード訪日、十一月下旬が 適当 帰国の二階堂長官語る__米大統領訪日	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
113	1975年1月28日 東京／夕刊	景気刺激は 適当 でない 政府の答弁__本会議	・形容動詞連用形。
114	1975年3月8日 東京／朝刊	現状は 適当 な水準 北裏喜一郎氏__続くか不景気の株高	・形容動詞連体修飾。
115	1975年5月8日 東京／朝刊	昨春閣処分は 適当 な時期に 国鉄総裁	・形容動詞連体修飾。
116	1975年6月9日 東京／朝刊	駐南ベトナム 人見大使が辞任を打診 「新政権下では不 適当 」__大・公使	・「不 適当 」。
117	1976年1月27日 東京／夕刊	NHK値上げ おおむね 適当 郵政省意見 自民了承__NHK受信料値上げ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
118	1976年2月11日 東京／朝刊	ガス事故をなくすために 労いとわず 適当 な換気を__家庭面	・形容動詞連体修飾。
119	1976年4月3日 東京／朝刊	適当 な処置とる WBC会長表明__WBC世界ジュニアライト級タイトル戦	・形容動詞連体修飾。
120	1976年7月29日 東京／朝刊	首相「訪中ありうる」 適当 な時期なら 衆院外務委で答弁	・形容動詞連体修飾。
121	1976年8月13日 東京／朝刊	適当 な機会に大平氏と会談 福田副総理語る__三木-大平会談	・形容動詞連体修飾。
122	1976年12月18日 東京／朝刊	「天然」「自然」大半が不 適当 野放し食品表示 公取委で公開試買検査	・「不 適当 」。
123	1977年2月8日 東京／朝刊	兄弟の年齢差は3-4年が 適当 __家庭面	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
124	1977年3月3日 東京／朝刊	鄧小平復活は 適当 な時期に 黄華外相語る__鄧小平氏	・形容動詞連体修飾。
125	1977年6月21日 東京／朝刊	「検事には 適当 に答えただけ」 徳田氏、次々と訂正 裁判長に説諭され赤面__全日空ルート(*以下抜粋) 昨年の検事に対する供述調書では「吉川氏から松田部長(松田功・調達施設部長)が受け取り、松田から 適当 に処理しておけといわれ、企画室に持っていった」と、吉川氏が松田部長に渡した時の情景描写までしていることを検察側に追求されると「検事の質問に 適当 に答えた」「どっちでもよいと思った」などと答えた。	・「 適当 に処理しておけ」の「 適当 」は、「任意に/良きように」といった意味。「検事の質問に 適当 に答えた」のほうはマイナス評価性の「 適当 」で「あてずっぽう/いい加減」といった意味。
126	1977年11月5日 東京／朝刊	首相、初めて改憲発言 「今は 適当 な時期でない」__憲法	・形容動詞連体修飾。
127	1977年11月26日 東京／朝刊	(9) きょうだい 適当 な距離を置いて 新交際考	・形容動詞連体修飾。
128	1978年1月21日	財政演説 村山蔵相 内需刺激し輸入拡大 所得減税見	・(形容動詞)述

第5章 適当

	東京／夕刊	送りが 適当	語文。形容動詞語幹。
129	1978年3月23日 東京／朝刊	飼料需給計画 「 適当 」と答申__飼料	
130	1978年7月25日 東京／夕刊	発言は 不適当 金丸長官語る__統幕議長事実上の解任	・「不適当」。
131	1978年11月7日 東京／朝刊	津軽の高校、この処分 適当 だったか 修学旅行 16人、駅に置き去り 幅広ズボンは校則違反__NEWS 三面鏡	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
132	1979年2月11日 東京／朝刊	あなたの運動量は 適当 ? 週に3-5日程度 15分-1時間位に__スポーツ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
133	1979年2月19日 東京／朝刊	中国、国境会談を提案 新華社声明 適当 な反撃後、撤退	・形容動詞連体修飾。
134	1979年3月24日 東京／朝刊	制服調査団発言 日商、自衛隊に謝る 海部氏も「 不適当 だった」	・「不適当」。
135	1979年4月19日 東京／朝刊	時期的に 適当 と判断 神社側__靖国神社にA級戦犯合祀	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
136	1979年6月25日 東京／朝刊	石油輸入抑制 一、二年が 適当 政府が方針__エネルギー問題の事前調整	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
137	1979年10月12日 東京／朝刊	ラドン濃度などの調査 適当 規模の地震起きず 関連示す変化なし	・形容動詞連体修飾。

5.7.5 現代 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)

本項では、現代語の「適当」、およびカタカナ表記「テキトー」「テキトウ」、ひらがな表記「てきとー」「てきとう」について、BCCWJ (現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。「適当」については、上記 5 種の表記のバリエーションが考えられる。検索結果数は、「適当」が 3696 件、「テキトー」が 81 件、「テキトウ」が 5 件、「てきとー」が 13 件、「てきとう」が 19 件であった。

まず、「適当」、カタカナ表記「テキトー」、ひらがな表記「てきとー」についての検索結果数を以下の図表に示した (2020/10/06 時点)。なお、おおまかに表記ごとの傾向をみるため、カタカナ表記「テキトー (検索結果数 : 81 件)」には、「テキトウ (検索結果数 : 5 件)」を含め、ひらがな表記「てきとー (検索結果数 : 13 件)」には、「てきとう (検索結果数 : 19 件)」を含めた。

図表 5.30 : BCCWJ による「相当」「テキトー」「てきとー」の検索結果数 (2020/10/06 時点)



上記図表を概観すると、現代語においては、漢字表記「相当」が大勢を占めることがわかる。さらに、カタカナ表記「テキトー（「テキトウ」含む）」と、ひらがな表記「てきとー（「てきとう」含む）」の二者についてみると、カタカナ表記「テキトー（「テキトウ」含む）」のほうが数が多いことがわかる。中でも、「テキトー（検索結果数：81件）」が最も多い。しかし、両者（カタカナ表記およびひらがな表記）の数は、それぞれ無標である「相当」の五十分の一強、百分の一弱となり、非常に少ない。例えば、上述、「3.7「結構」の実例」、「3.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」において、「結構」に対する「けっこう」が三分の一弱であったことに比較すれば、割合としては相当に低い。

ただし、カタカナ表記「テキトー」について、別媒体の「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」による検索を行ったところ、検索結果数は9030件であった（2020/10/07時点）。したがって、BCCWJによる結果のみで「テキトー」の使用頻度が少ないと判断することは拙速であろう。上記「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」の結果も考慮すれば、現代語におけるカタカナ表記「テキトー」は、ブログ・SNS上では比較的好まれる表記形態といえそうである。

以下に、BCCWJから得られた「相当」「テキトー」「テキトウ」「てきとー」「てきとう」についての事例を表にして示した。

5.7.5.1 検索語：「適当」（全 3696 件より抜粋）（2020/10/06 時点）

図表 5.31：「適当」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	公正取引委員会年次報告：独占白書 1976 OW1X_00113	に関する法律である独占禁止法については通常国会で審議を尽くすのが 適当 であるとして、改正法案の提出を見送った。他方、日本社会党	・(形容動詞)述語文。
2	国会会議録 1976 OM12_00003	そういうふうな、前の位置に復旧することが著しく不 適当 な場合には、ただいまお話がございましたような代替開墾といったよう	・形容動詞連体修飾。
3	国会会議録 1976 OM11_00005	いう判断をする段階で、従来えてしてこの訪問販売というのは、詐欺的に 適当 なことを言って消費者をだます、そして契約をするように仕向けていくと	・形容動詞連体修飾。マイナス評価性。「 適当 なことを言う」。
4	国会会議録 1977 OM14_00002	センターの方で十分御判断をいただき、また私どももし仲立ちをすることが 適当 であるならば喜んで仲立ちをさせていただいて、両方の間の協議あるいは	・(形容動詞)述語文。
5	国会会議録 1977 OM15_00003	衡平の原則に従って合意によって行われるもの」と、この「 適当 の場合には中間線又は等距離」という「 適当 な場合」とは	・形容動詞連体修飾 2 パターン。「 適当 の~」「 適当 な~」。「 適当 の~」は現代語ではあまりみられず。
6	新田次郎(著)新田義貞 1978 OB1X_00315	を天皇に仕立てたのはよかったが、その後の処置がよくなかった。 適当 な時期に真相を明らかにして、尊雲法親王を討幕の中心として	・形容動詞連体修飾。
7	国土利用白書 1979 OW1X_00122	地域の現況等を考慮して、都市計画区域として存続することが 適当 でない地域を除外するためのものである。農業地域の拡大は、農用地	・形容動詞連用修飾。
8	青少年白書 1979 OW1X_00090	な団体がどこにあるか知らないから」(十六. 八%),「 適当 な仲間がいないから」(十六. 六%),「勉強が忙しいから	・形容動詞連体修飾。
9	公正取引委員会年次報告：独占白書 1980 OW1X_00675	ため必要と認めらる経済上の利益であって、正常な商慣習に照らして 適当 と認められるもの (h) 資本の抛出、役員の派遣等により当該事業者	・形容動詞語幹 + 「(格助詞)と」となるか。
10	千玄室(著)なんて美しい女性だろう！ 1981 OB2X_00291	最近では若い女性は正坐はできないもの、と思われていますから、 適当 な時期にご招待の場合なら招待者側が、仲間同士なら年長の方が	・形容動詞連体修飾。
11	赤川次郎(著)探偵物語 1982 OB2X_00017	いくら国崎が自分の跡取りにと願っているとしても、これほど 適当 でない人間もいないだろう、と幸子は思っていた。	・形容動詞連用修飾。
12	貸金業法 1983 OL2X_00031	運営若しくは財産の状況に関し、資金需要者等の利益の保護のため必要かつ 適当 であると認めるときは、その必要の限度において、当該協会に対し、	・(形容動詞)述語文。
13	安部公房(著)方舟さくら丸 1984 OB2X_00207	ながら、二枚の地図の間隔を微調整していく。どこかで突然、 適当 な位置が見つかるはずだ。突然としか言いようがない唐突さで、低いところ	・形容動詞連体修飾。
14	厚生白書 1985 OW2X_00284	検討されるべきであるとしつつ、サービス等の費用負担については、 適当 な水準の利用料を徴することとし、その水準は在宅サービスと入所サービスと	・形容動詞連体修飾。
15	ホセ・ヨンパルト(著)カトリックとプロテスタント 1986 LBa1_00012	しかし例えばお祝いの席で、ワインやビールなどを 適当 に飲むことは、カトリックの理解では何ら悪いことではありません。	・形容動詞連用修飾。「 適当 に」副詞的用法。こ

第5章 適当

			ここでは「ほどほどに」といった意味。
16	森村誠一(著)異型の街角 1986 LBa9_00095	部屋割りするのですが、田島支配人の場合はご自分で空き部屋の中から適当に選んでいます」 「それでは四月十二日から二日間	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
17	姜在彦(著)朝鮮近代史 1986 LBa2_00025	中、英) の信託統治を実施することであった。すなわちカイロ宣言の「適当な時期」というのは、五カ年を期限とする信託統治を実施すると	・形容動詞連体修飾。文脈依存性が高い表現。
18	椎名誠(著)活字のサーカス 1987 OB3X_00262	いった話になると急に分別くさい顔つきをしてみあちよっと「垣間みる」あるいは適当に「茶化す」という姿勢しかとれないでいる。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。マイナス評価性。
19	刑事確定訴訟記録法 1987 OL3X_00047	保管検察官は、保管記録を閲覧させる場合において、その保存のため適当と認めるときは、原本の閲覧が必要である場合を除き、その謄本を閲覧	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」となるか。
20	ケント・ギルバート(著)ボクが見た日本国憲法 1988 LBc3_00028	制定すること。第九節(1) 現存する諸州のいずれかが入国を適当と考える人の移入および輸入は、千八百八年前においては連邦議会	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」となるか。
21	三好礼子(著)砂の子 1988 LBc7_00031	するレース前走行。道幅をいっぱいを使い、前に行ったり後ろに行ったりと適当に走り始める。船の上から見送る人、沿道ぎわで見送る人の間を抜け	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「各者各様/任意で/ランダムに」といった意味。マイナス評価性はない。
22	実著者不明 仏事のしきたり百科 1989 LBd3_00006	料などというものはありません」といわれたら、お布施のなかに適当に含めるとよいでしょう。一応のめやすとして、一般的と思われる戒名	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
23	ジョナサン・ケラーマン(著)/北村太郎(訳)大きな枝が折れる時 1989 LBd9_00169	どれですか?」ぼくは三つのファイルにざっと目を通し、適当にひとつを選んだ。「これだ」「ここにサインをいただければ	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「任意で/ランダムに」といった意味。マイナス評価性はない。
24	坂本光男(著)子育て・教育を宗谷に学ぶ 1990 LBe3_00075	枚ずつ与え、同時にテーマも示す。そして班のみんなで、空欄のところへ適当なことばを入れさせるのです。たとえば、わたしが「春」というテーマを	・形容動詞連体修飾。
25	山崎哲(著)/芹沢俊介(著)<恋愛>事件 1990 LBe3_00037	て電話でしゃべるんです、長ながと(笑)。電話という媒体物がうまく適当な距離をとってくれてるわけですね。芹沢 昭和六十一年の六月	・形容動詞連体修飾。
26	田丸尚美(著)僕たちだって遊びたい 1990 LBe3_00045	礼拝のときにわざと大声を出したり、歌の時間に言葉を適当に替えて大声でじゃまする、ピアノの音に負んばかりになる、	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
27	H・ゲスト(著)/高桑進(訳)微生物の世界 1991 LBf4_00028	は何年ものあいだ生存でき、それを適当な栄養塩培地に接種して適当な温度で保温すればすぐに生育できることが次第にわかってきた。	・形容動詞連体修飾。
28	濱口和博(著)プロも見落とす家づくりの急所 1992 LBg5_00034	住まいでは子供やお年寄りの安全も考えて、半埋め込みタイプを選ぶのが適当でしょう。	
29	小沢一郎(著)日本改造計画 1993 OB4X_00273	リストに登載し、候補者を探している地方支部はそのリストの中から、適当な人を選ぶことができるようにするのである。こうすれば、政治	・形容動詞連体修飾。
30	峰隆一郎(著)殺人! 博多発「ひかり4」の女 1993 LBh9_00217	真裕には若い愛人がいる。恭子も志方などと適当に遊んでいた。表むきに仲が悪いと見せておく、という方法	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。若

第5章 適当

			干マイナス評価性。
31	野口悠紀雄(著)「超」整理法 1993 OB4X_00101	そこで、耐水性のあるメモ用具を探していた。しかし、 適当 なものが見つからない。オモチャ屋で売っている「せんせい」という幼児用の	・形容動詞連体修飾。
32	原田紀(著)悩ましいほどおしゃれな恋を 1993 LBh9_00247	もし仮にそんな機会があったとして、 適当 な話題もふさわしい言葉も、私には思いつきそうにないことに思い当たった。	・形容動詞連体修飾。
33	リチャード・クー(著)良い円高悪い円高 1994 LBi3_00061	の人には、官僚は赤字国債を出しても辞任するわけでもなし、 適当 に偉くなって 適当 に天下ったとしか見えない。しかし、大蔵官僚は普通の	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。マイナス評価性。
34	森川直樹(著)あなたがホームレスになる日 1994 LBi3_00118	そうしたらお昼すぎにお腹が空くまでずっと読んでます。ランチは散歩がてら 適当 に街をうろうろして気に入ったレストランに入って食べるんです。で、	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
35	小池真理子(著)恋 1995 OB4X_00094	間違った文章でも、ですか?」「明らかに間違っていたら、 適当 に直していただければいいよ」「でも、それでは正確な口述	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
36	柴田武(著)日本語を考える 1995 LBj8_00007	標題のような穴あき、片仮名まじりのことわざを出して、(1)の中に 適当 なことばを入れなさい、(2)片仮名を漢字に直しなさい、としたり、	・形容動詞連体修飾。
37	アイザック・ウォルトン(著)/立松和平(訳)釣魚大全 1996 LBk7_00033	腹に入っていたバターと鍋で受けた焼き汁に上質のバターを 適当 な量混ぜて、そこに三つか四つほどオレンジを絞り、その汁も	・形容動詞連体修飾。文脈依存性が高い表現。
38	原章二(著)<類似>の哲学 1996 LBk1_00023	への、強烈な欲望の表現であった。それに対しフランクリンは、自己が 適当 にコピー化されることを全面的に肯定しているのである。それどころ	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
39	実著者不明 J ラップ以前 1997 LBI7_00049	「たしかクラブDでヒロシがDJをやっていたとき、マイクを渡されて、 適当 な英語混じりの日本語でラップしたのが、ライブの始まりじゃなかったか	・形容動詞連体修飾。
40	岩澤聡(著)専門資料論 1998 LBm0_00005	内容注記などのいずれかに浮世絵が含まれるもの)。検索結果一覧画面で 適当 な書名を選んでクリックすると、検索結果詳細画面が現れ、選択した図書	・形容動詞連体修飾。
41	伊藤華子(著)/高橋慈子(著)家庭をオフィスにする SOHO 読本 1998 LBm3_00070	に使う無駄な時間を節約できる分、仕事やプライベートの時間に当てられます。 適当 な交通機関が利用でき、徒歩でも行けるといふ場所なら最適。気分転換に	・形容動詞連体修飾。
42	北方謙三(著)彼が狼だった日 1999 LBn9_00025	サブリーナ』はかすかに揺れた。「スピン張るのか。いいな」「 適当 な風があればさ」ロープワークは、ほとんどコックピットでできるようになって	・形容動詞連体修飾。
43	柘植久慶(著)スーツケース一杯の恐怖 1999 LBn9_00260	「国内の西海岸から転送させますので」ワシントンは 適当 なことを言った。どうせ引き渡しはしないからだ。自信に満ちた態度を	・形容動詞連体修飾。「適当なことを言う」。マイナス評価性。
44	中井和夫(著)岩波講座世界歴史 2000 LB02_00020	起こったからといって、これを時代遅れの反動的な傾向と断じることは 適当 ではない。確かに近代の国民国家を早くから建設してきた先進国	・形容動詞連用修飾。
45	李浩哲(著)/姜尚求(訳)南のひと北のひと 2000 LB09_00168	に向かって、「何っ?何だっ?そんなことはそっちで 適当 に処理すればよい、 適当 に。わかったな!」軍団長や師団長	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
46	志の島忠(著)居酒屋の人気の和風料理 2001 LBp5_00036	黒ごまを散らす。2舞茸の豚ヒレ巻き新挽き揚げを作る。舞茸は 適当 な大きさに分け、豚ヒレ肉で巻いて楊枝でとめ、片栗粉、卵白、	・形容動詞連体修飾。
47	実著者不明 いっきにできる! CD-R/RW 2001 PB15_00222	曲順の変更曲の再生順序を変えるには、ウィンドウ内でファイルをドラッグし、 適当 な位置にドロップしてやります	・形容動詞連体修飾。

第5章 適当

48	東畑朝子(著)死ぬまで 元気!あなたの寿命は 食事で延ばせる 2001 LBp4_00005	マヨネーズであえ、ピクルス、きゅうり、玉ねぎは薄切りにします。ハム、チーズ、野菜を適当に組み合わせせてパンにはさみます。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「任意で/好きなように」という意味。
49	魚柄仁之助(著)うおつか式生活哲学入門 2002 LBq5_00045	桃の瓶詰 桃で瓶詰を作る。空瓶に、皮をとって適当な大きさに切った桃を詰め、砂糖と水を入れ三十分くらい蒸し器で	・形容動詞連体修飾。
50	中西政山(著)四柱推命教室は本日も大賑わい 2002 LBq1_00007	を強烈に知りたいと思った」のだそうです。普通の人なら、適当なところで妥協してしまうところを、Cさんは、曖昧なことが嫌いで	・形容動詞連体修飾。若干マイナス評価性。
51	ケン・フォレット(著)/戸田裕之(訳)鴉よ闇へ翔べ 2003 PB39_00668	がだれかいるかもしれない彼は駅の近くに車を駐め、適当なバーへ入った。二人は一時間そこに坐って薄いビールを飲み、それ	・形容動詞連体修飾。
52	小川祐一(著)学級経営&成績評価支援プログラム「担任くん」ガイドブック 2003 PB33_00376	自動的に算出されます。もちろん、あとで変えることができますので、適当な数字を入れておいてください。	・形容動詞連体修飾。「任意の/どれでも」という意味。
53	石田衣良(著)別冊文藝春秋 2003 PM32_00104	タイコは新たな曲をつくることはせず、古い自作CDから適当にコピーしてホームページのテーマ曲に代用した。ページが新たにつくった	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「思いつくままに」という意味か。
54	安江則子(著)EU 2004 PB43_00344	または信条、身体的障害、年齢または性的傾向に基づく差別と闘うために適当な措置をとることを認めた。こうした規定は、二千年春にオーストリア	・形容動詞連体修飾。
55	実著者不明 迫及・北海道警「裏金」疑惑 2004 LBS3_00154	話題はもちろん、「報償費疑惑」である。記者の質問を適当にかわしていた芦刈本部長は、やがて、ぼつりと、こう言った。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。若干マイナス評価性。
56	実著者不明 ケータイ刑事マニュアル book 2005 PB57_00156	「下の名前も勝家にすればよかった」と。太郎とは丹羽Pが適当に付けたそうです。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
57	浅田次郎(著)椿山課長の七日間 2005 PB59_00381	そこで急遽、小回りのきくメーカーに連絡して在庫品をかき集め、袋を適当な幸福感で膨らましたのだった。限定五百袋を作りおえたときは、	・形容動詞連体修飾。
58	新居雅行(著)リレーションで極めるファイルメーカー7 2005 PB50_00024	いう式でいきます。C列は「個数」ですが、これも1以上の適当な数値でいいので「=int(rand()*五十+1)」	・形容動詞連体修飾。「任意で/ランダムに」といった意味。
59	国会会議録 2005 OM65_00004	○運舩君この一行で、この一行の審議を審議と呼んで適当と判断する御意見と認めて、そして四百億円を超える在勤手当を決めて	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」となるか。
60	辻村深月(著)子どもたちは夜と遊ぶ 2005 LBT9_00176	つらそうに見えた。思い出したくない、そんな風にも見えた。「適当な偽名をでっち上げて話を進めてもよかったんだけど、それだと絶対	・形容動詞連体修飾。マイナス評価性。
61	実著者不明困ってませんか?職場の言葉 2005 PB58_00020	専務の秘書が()内の趣旨を来客に言ったことである。不適当と思われるものを選び。(1)(販売課で確認して欲しい)販売	・試験問題の設定に使われる「適当」「不適当」。
62	柴辻政彦(著)/米澤有恒(著)哲学する芸術 2005 PB57_00182	好きな人も大勢おられる。寿司屋が軒を列ねていて、どの店も適当に繁盛しているのと同じです。だからカントは、「趣味」に関し	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「ほどほどに/ま

第5章 適当

			あまあ」といった意味。
63	花村萬月(著)小説新潮 2005 PM52_00038	はと考えていたので、肩透かしをを喰らった気分である。「終わったところに拾いに来てやるさかい、 適当 にな。 適当 の意味、わかるか」「つまり 適当 に、と」「そうや。手エ抜け、いうことや」	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。マイナス評価性の「適当」。
64	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_10198	のもスタッフが書いたやつがほとんどで、トリビアの種でやるアンケートはスタッフが 適当 に考えてやるとか。実際に前、応募したら別の名前で紹介	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。若干マイナス評価性。
65	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_03122	オリジナルレシピをお願いします。バイクドチーズケーキ！！分量で 適当 に作ったのでレシピはありませんが、通常のチーズケーキのレシピのクリーム	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
66	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_06977	女房と小2の娘で作ってました。スポンジの間に挟むフルーツを女房が 適当 に並べていると、娘は「ちゃんと並べないとダメ！」と注意して	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「ちゃんと」の対としての「適当に」。「きちんとしていない/大ざっぱな」という意味。
67	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_04890	の意識に苛まれています。 適当 な回答で以って質問者の方に 適当 に答えちゃってBAになっちゃいましたが果たして本当に正しかったのかと。	・形容動詞連体修飾と形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。マイナス評価性。
68	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_00457	させれば、いちいちメーラーを立ち上げなくてもメールチェックが出来ます。以下から、 適当 に選んでください。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「任意で/好きなように」という意味。
69	南出康世ほか(著)POL ESTAR Writing Course 2006 OT43_00024	食べてみたことがあると私に言った。()内の動詞を 適当 な形にかえなさい。1. 彼女はお姉さんに似ています。	・形容動詞連体修飾。試験問題の設問に使われる「適当」。
70	長倉三郎, 梶田叡一, 松井孝典ほか(著)新編 理科総合B 2006 OT23_00045	5寒気団6乱層雲7高層雲8暖気団(2)次の(*ママ)中に 適当 な語句を入れ、文章を完成させよ。	・形容動詞連体修飾。試験問題の設問に使われる「適当」。
71	Yahoo!ブログ 2008 OY14_34034	今年は、これに・・・お世話になりました。買ったも 適当 にしかやってなかったのですが・・・このDVDに出てる人のよう	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。若干マイナス評価性。
72	Yahoo!ブログ 2008 OY14_15363	泣かないよ～♪」ですって☆じゃあ、そっちにする???どこまでも 適当 な母であった・・・	・形容動詞連体修飾。
73	Yahoo!ブログ 2008 OY13_07368	特になかったのでおばちゃんが、じゃあ母にお土産ってことで 適当 に買ってくれたバッグ。金額を聞けば確かに安い。エルメスとは思えない	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
74	Yahoo!ブログ 2008 OY14_04260	わぁ小泉さんの部屋かわいいですね』『あ 適当 に座って』『はい・・・』山本君はガラステーブルの	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
75	Yahoo!ブログ	S p a r k s のナンバーから 適当 にいい曲選んでみた	・形容動詞連用

第5章 適当

	2008 OY04_06058	よ自分の好きなビデオで楽しんでみてね	修飾。「適当に」副詞的用法。「いい曲を選ぶ」わけだから「任意で/お好みで」という意味であろう。
76	Yahoo!ブログ 2008 OY14_46654	材料：ホウレン草、タマネギ、ニンジン、カボチャ、塩、胡椒、マーガリン 1. 野菜を適当に切る。2. フライパンにマーガリンを入れ、1を炒める。3. 塩と胡椒	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。料理レシピによく現れる「よいあんばい」といった意味の「適当」。
77	Yahoo!ブログ 2008 OY15_01880	イメージだと近いかも。イメージないと、さっぱりだよね、ってコトで、適当にyoutubeで検索したのがこれ。(これでも、カウントのとり方が	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
78	Yahoo!ブログ 2008 OY15_02049	とりあえず色だけ選んで適当に買って、足に合わなかったら売ればいいや(笑) 希望は白っばい	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。「思いつきまかせに」という意味か。
79	Yahoo!ブログ 2008 OY14_02667	ようです。ずーっといっしょにしていると案外ケンカしちやって嫌な思いもします。適当が私はいいです。	・「ほどほど(の距離感)」という意味か。
80	Yahoo!ブログ 2008 OY14_29549	のでそれまで何か考えておくことにします。と言う事で今日は適当にお肉などを買っておきました。焼肉でも良いかな～、ご飯が	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
81	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25244	はい。ああ、この記事のタイトルの、家にあった本のタイトル。を、適当に英語に変換してみた。終わり。	・形容動詞連用修飾。「適当に」副詞的用法。
82	Yahoo!ブログ 2008 OY15_08050	ハナという地名のところまで行ってしまうとかなりの距離になるので、適当なところで引き返す事にした。いったん大通りから離れ、keanaeという所で海岸	・形容動詞連体修飾。

5.7.5.2 検索語：「テキトー」（全81件より抜粋）（2020/10/06時点）

図表 5.32：「テキトー」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	若林真紀(著)大人の恋にあこがれて 1990 LBe9_00131	恥ずかしいな。「アイツ、徳永は、これが初めてじゃないんだ。テキトーに世間知らずなタイプの女の子に、すぐちょっかい出しては、細々と問題を	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
2	橋本治(著)デビット100コラム 1991 LBf9_00078	計量スプーンなんかないから微妙なことは分らないだから、そこら辺はテキトーですむ！第一、そういうことにしちゃえば、“僕は出来る！	
3	畑田国男(著)兄弟・姉妹型にみる最強のコンビ相性学 1994 LBi1_00023	職場でいうと、宴会が好きで、接待カラオケの達人で、社内不倫もテキトーにこなし、その上仕事がよくできる、「課長・島耕作」もこのタイプ。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
4	中山康樹(著)スイングジャーナル青春録	ビシッと必然性のあるやつ」「わかった、テキトーに書くよ。オギノさん、いい人だから、ちゃんと行かせて	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

第5章 適当

	1999 LBn7_00020	くれるよ」	法。
5	今次司(著)マイ・ソングのススメ 2001 PB17_00161	方法はカンタン。気に入っている曲のコード進行を弾きながら、 テキトー に「ハナウタ」してメロディーをつくるだけです。バカにはしてはいけません	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
6	小谷洋之(著)週刊プレイボーイ 2001 PM11_00082	警察手帳は見せてもらえ。そして、どうしても納得いかなきゃ裁判しろ。 テキトー な取締りやった警官はこれだけでかなり嫌がるはずだ	
7	みうらじゅん(著)マイブームの魂 2001 PB10_00035	得意気に話し始めたが、本番の時間が迫っていたのでADは テキトー にうなずき、「それでは、そろそろなのでよろしく！」と言って	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
8	実著者不明 T E L E P A L (テレパル) 2001 PM11_00616	全く違ったキャラを演じて、さらなるブレイクをしたと思います。今は テキトー に役者をやっているように見える人ばかりの中で、彼だけは違って	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
9	響野夏菜(著)東京 S 黄尾探偵団 2001 PB19_00682	行衛に続いて、五月、善美、北沢が室内に入った。「 テキトー に、座っとけ」廊下から兵悟の声がし、行衛たちは場所を探し	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
10	島津出水(著)てのひらを、たいように 2003 PB39_00593	あらかじめ用意していたかのように聞こえたのだ。「 テキトー なこと言ってんじゃねえよ。特に用のない人間だって、思い立って学校	
11	吉沢みどり(著)禁断の投稿ドキュメント 2004 PB45_00167	とは話したくなかったけど、タクヤさんの友達だから仕方ないか〜って、 テキトー に相手してたのね。そしたら橋田のヤツ、どんどんズブズブしくなってくる	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
12	嬉野秋彦(著)恋する速度 2004 PB49_00316	「—しかし、場所はどする？」「そうね…」じゃれつくシブサワを テキトー にあしらいながら、むつみは小首を傾げて呟いた。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
13	宮地菊夫ほか(著)青春！学園マガジン 2004 PB4n_00168	話し合ったりしてるんですか？竹内 まったくないです(キッパリ)。お互いが テキトー にノリでやってるから(一同爆笑)。それをその場で瞬時に返すと	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
14	横森理香(著)ワルツ 2004 PB49_00576	紀良に飽き飽きしてても、子供のことと家のことはまかせっきりだ。 テキトー に遊びながらも、その情事に飽きたり疲れたりしたときのために、帰れるところ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
15	山田スイッチ(著)トーキョー放浪記 2005 LBt0_00006	そう思いながらも、私はこの声をかけられると、 テキトー に暇なので「はいはい、どうぞ」と相手の気が済むまで手相を	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
16	おらけ ほか(著)へやわけマン 2005	それはボクが聞きたいくらいですよ。だって、ボクは テキトー に好きになったから、他の人の話には興味があります。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
17	Yahoo!知恵袋 2005 OC03_01065	セブンでバイトしてますが、結構、 テキトー にボタン押しちゃったりしてます。あてにならないですね・・・	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
18	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_13726	テレビが「増えてる」と言ったって、所詮は気分で テキトー に言ってるだけでしょう。(全都道府県何千人かに毎年アンケート取って	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
19	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_04239	カラーを、決めてますが、何を根拠に決めてるのでしょうか。なんか テキトー にきめてそう？実際そのラッキーカラーで、運がよくなった人って、いる	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
20	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_07772	十年ちかく、「化粧をしなく紫外線を浴びスキンケアも テキトー な肌」の生活をしていましたが、2年くらい前からスキンケア	・形容動詞連体修飾。
21	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_10603	わかるの？」A:「あ？イクラの言ってること？わかるわけねーじゃん。 テキトー だよ！ぜ〜んぜん意味わかんねーし」って言ってました。	
22	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_00369	せっかく作ったのに食べてくれない、なんて事もあると思うので、「 テキトー 」に頑張って下さいね。でも、夜遅くは、大人だって胃が	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
23	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_02077	テキトー でいいのでドイツ人っぽい名前を考えて教えてください。グロ・ハイター	
24	Yahoo!知恵袋	白菜は生でも食べられる→炒める時間は テキトー でい	

第5章 適当

	2005 OC08_06282	い (シャキシャキでもしんなりでも)	
25	Yahoo!知恵袋 2005 OC05_00148	怒るでしかない！！って思うときはどんな時ですか？ 質問をテキトーにしか読まずトンチンカンな回答がついていた時。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
26	Yahoo!ブログ 2008 OY11_09336	用の無いのに裏道へ入って歩いたりします。テキトーに歩いて、テキトーに写した何処ともない、何ともない写真です。場所は台北市内、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
27	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03430	それでも我が道を行く高田純次かな。結局、スゴイのか、やっぱテキトーなのか、よう分からん監督だったけど (笑)	
28	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04974	そのクセもまたおいしゅうございますのよ～～～♪♪そして、分量をテキトーにした為か、とてもアルコールが低い感じ (量ってはいないが) で	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00452	関わらなければいいだけの話です。いじめる奴は単に遊びたいがためにテキトーなことを言っているだけで、本当にそう思っているわけではないの	・形容動詞連体修飾。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02052	相変わらずアホっぽいというかテキトーな内容です。	・形容動詞連体修飾。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY14_15221	『ぼっと出の鼠先輩』(失敬)。高田純二さんも真っ青のテキトーさ (笑)。あまりにテキトーすぎて光一さんも思わず光一「絡みづらい=	・接尾辞「さ」を付けて「テキトーさ」と名詞的に使われる。
32	Yahoo!ブログ 2008 OY14_15221	剛さんも気分がいい時は超テキトー人間になりますが (おい) あそこまで間断なくテキトー攻撃をされた日にゃ	
33	Yahoo!ブログ 2008 OY14_24600	または、「特技は料理です」とか。基本的に、不器用・テキトー・面倒くさがりというとてもよろしくない性質の持ち主なので、	
34	Yahoo!ブログ 2008 OY14_05696	昨日のメニューは・豆腐のツナのせ焼き (←名前テキトー)・豚肉の炒めもの・ブロッコリー豆腐の上の上のの、ツナ	
35	Yahoo!ブログ 2008 OY10_00156	出来も良くないし、だんだん時間も掛かるようになってきてそのうちテキトーにサボり出し (あれ？コイツなんだか言ってる事とやってる	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
36	Yahoo!ブログ 2008 OY03_02368	手作り料理でおもてなし♪パスタ料理って普段しないんですけど、テキトーに勘で (爆) まあ、結果的に美味しかったから良かった	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
37	Yahoo!ブログ 2008 OY14_53604	に比べると身に付けるものは何でもお古だしなんでもいい加減にテキトーにやってる感じなので、もう少しちゃんと向き合っって一生懸命子育てしなくちゃ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
38	Yahoo!ブログ 2008 OY03_05722	野菜やウインナー、冷凍コーンとかを、粉末のコンソメと醤油や胡椒で、テキトーに味付けして煮込んだだけの手抜きスープですが	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
39	Yahoo!ブログ 2008 OY14_09490	狭い庭には雑木がテキトーに位置していて、これまた適当な雨の恵みで繁り放題。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

5.7.5.3 検索語：「テキトウ」（全5件）（2021/02/09時点）

図表 5.33：「テキトウ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	岡崎祥久(著)すばる 2001 PM12_00045	でもこしらえてあげようと思うんだけど、何か食べたい物ある？ ーなんでもいいよ。「ならテキトウに考えるけど、でもそっちに行く前に用事があるから、何時ごろ行けるかわからないんだけど、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
2	角田光代(著)群像 2002 PM22_00055	こんにちは。何してる？私は今すぐーくひまで、こんなことめったにしないんだけどメールを送ってみようかと思いきやテキトウな番号に送ってみました。私は杉並区に住む二十四歳のOLです。もしよかったらメル友になってください	・形容動詞連体修飾。
3	実著者不明 月刊MOE 2005 PM51_00322	して、クリスマスのアイテムをたくさん描いてみましょう。材料…いろいろな材木。拾ってきた木とかドングリとか、テキトウなほうがよし！！ほか、絵の具、ニス、糸、フック、ボンドなど。	・形容動詞連体修飾。
4	Yahoo!知恵袋 2005 OC11_00518	削除されるし・・・どういふものを目指しているのか誰かわかる人いらっしゃいますか。それとも削除隊がテキトウなだけ？掲示板が荒れているので、目先を変えてみただけでしょう。	・形容動詞連体修飾。
5	Yahoo!ブログ 2008 OY14_52892	に入学して、何かと余裕がなくなってきたので・・・orz 実際、文章も短いし、なんだかテキトウだし・・・(サーセン・・・ま、壁紙で誤魔化すw何故D・Cかは私にも不明です。	・(形容動詞)述語文。

5.7.5.4 検索語：「てきとー」（全13件）（2021/01/27時点）

図表 5.34：「てきとー」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	高橋良輔(著)こどものおもちゃ 1997 LB19_00072	肩凝りペンだこ、その他もろもろ 「んなのエラクもなんでもねーぞ。てきとーに手え抜け」 「心配はいらんどすえ。私は女優っ！	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
2	高橋良輔(著)こどものおもちゃ 1997 LB19_00072	悲しくったって、カメラの前ではきりりでござんす！」紗南は見得を切ってポーズをとった。「ふん、てきとーにやれよ」 羽山はそう言うと言き去った。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
3	内田樹(著)期間限定の思想 2002 PB23_00593	「責任持たされるのいやだから、正社員にはなりたくないです。ときどきてきとーにバイトとかして、とりあえず生活できて、好きな音楽とか聴いて、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
4	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_12660	確かに予定で縛られてると一見「自由がない」みたいでめんどいから。ま、てきとーにやんな。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
5	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_04679	また、追っかけてるつもりの女がこんなメールよこしたら冷めちゃいませんか？「ヒマなとき、てきとーにメールして！ \ (^o^) /」ってくらいがいいんじゃない？	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
6	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_03526	石坂浩二のお宝何でも鑑定団のアシスタントの女子、いなくて言いと思いませんか？挨拶もてきとー、衣装も変。ダラダラしているだけ。思いませんかー？	・(形容動詞)述語文。
7	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_02771	言われて見ればそうかもしれないですね(笑) いわゆる	・形容動詞連用

第5章 適当

		るてきとーに人の意見を聞き流しているという感じでしょうか？	修飾。副詞的用法。
8	Yahoo!ブログ 2008 OY15_09074	やっと手に入れた「デジタルビデオカメラ」なんです が、てきとーに撮影して、いつも使ってるパソコンに 取り込もうとしたらエラーが出て取り込めない・・・	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。
9	Yahoo!ブログ 2008 OY13_04656	どーなったのよ！？ 初めのころはわたしがメインで 展開してたんだよ！！ それをなんかてきとーにご まかされてー。なに今の『外伝』の女！！	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。
10	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50959	進んだのは少しだけ。そんで、ダラダラしてたらお ふくろ帰ってきて。飯までてきとーに絵書いて。そん でもって、完成したら飯くって。	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。
11	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25244	まあいいや。なんか、このブログの自分のコメント見 てた。なんか凄くてきとーな感じだね。ごめん。コメ ントって難しいんだよね。はあ。なんか最近、クラス で遊ばれてる人がいる。	・形容動詞連体 修飾。
12	Yahoo!ブログ 2008 OY05_04780	娘も「プール間に合う？」って何回も心配して聞くわ。 プールに向かう途中も道がわかんなくなり、てきとー にすすんでいったら無事ついたけどさ。。ったく・・・。	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。
13	Yahoo!ブログ 2008 OY04_04061	そしてGAZ MAYALL & BABY SOU Lてきとーなレコまわしとグットなオールディズ選曲 が燃えた！！！！	・形容動詞連体 修飾。

5.7.5.5 検索語：「てきとう」（全19件）（2021/02/09 時点）

図表 5.35：「てきとう」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	鈴木みち子(著)プツッ ン・ママ物語 1988 LBc3_00034	「うん。」一けっこう続いでるじゃん。RX-7は？ 「まー、てきとーに。タクシーとは何もないの。そーゆ ー男の子もいいわね。」—ママみたいに自分の動き回ら なきゃみんな	・形容動詞連用 修飾。「てきと うに。」で連用 止めになって いる。
2	近野十志夫(著)おもし ろクイズいぬ・ねこ事 典 1992 LBgn_00023	がこわくて、やっつけようとしている。2やることが なくてつまらないから、てきとーに時間をつぶしてい る。3動くものが気になる。遊びだけど、実際	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。
3	渋谷みやこ(著)皆川洋 子(著)「ワン」とも鳴け ない犬 1993 LBhn_00004	あるので、自転車をひっぱって、あがっていきました。 どこかにおいておこう、と思ったのですが、てきとー なところがありません。下から見ると、けっこう、 道は遠く、あせびっしょりになりました。	・形容動詞連体 修飾。
4	筑波常治(著)足利義昭 1999 LBnn_00016	も、あとあとめんどうがおこりかねません。「とり あえず、覚慶めが逃げぬように、見はりをつけよう。 そのうえで、てきとーな機会に、こっそり消してしま うことだ」そう考えた久秀は、すぐ手勢を奈良へさ しむけました。	・形容動詞連体 修飾。
5	ピチ・ブックス編集部 (編)キラキラ恋うらな い 2000 LBon_00004	使うカードは、ジョーカーをのぞいた五十二枚よ。ま ず7回シャッフルして机のう上に置き、てきとーなど ころでふたつに分け、下にあった束を、上にあった束 の上に重ねます。	・形容動詞連体 修飾。
6	分担不明 ヘア&ビュ ーティ 2001 PB15_00170	松橋未央子 二十三 販売明るいオレンジのカラーと ピン使いが技アリ今日はてきとーにクシャッとさせて みました。スタイリング剤はヴィダルサスーンのもの を使って	・形容動詞連用 修飾。副詞的用法。ここでの 「てきとー」は、 言い換えれば 「無造作に」と

第5章 適当

			いうことか。
7	分担不明 ヘア&ビューティ 2001 PB15_00170	アッシュ系カラーにストレートヘアがいい感じテーマはズバリ「もさもさ子」スタイル！ななめ上でてきとうに結んでお団子をつくってみました。横しぼりやパイナップルヘアのアレンジ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。上記と同じ。
8	分担不明 ヘア&ビューティ 2001 PB15_00170	美容師個性を生かしたオリジナルのポニーテール横上でポニーテールを作ってから、ピンでてきとうにとめました。シュワルツコフのガムワックスはスタイリングの時に、なにかと便利です！	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。上記と同じ。
9	谷本雄治(著)ミミズ博士と生きている土 2004 PB44_00038	みんなから「ミミズ博士」とよばれている中村さんだ。この日は、てきとうにすくったひとにぎりの土のなかから、元気のいいミミズが三びきもみつかった	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
10	嘉門達夫(著)口笛吹いて 2004 PB49_00201	感を感じてゆく過程の描写が面白い。そう、「違和感」の表現も重松作品の魅力。〈いつまでもてきとうにボールを蹴ってられるわけじゃない。そんなの、ほんとうはつまらない。いずれルールができて、敵と味方に分かれ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
11	中原洋(著)腐敗と寛容 インドネシア・ビジネス 2005 PB53_00645	町役人が三人やってきて、立派な家だなあとか、あなたは金持ちだねえ、とかいってからむ。てきとうにあしらっているとすごみだして、自分はこの家の許可を認めていない、と言いだした。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「てきとうにあしらう」で慣用的表現。
12	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_02893	みつの部分を、サラダ油 砂糖 で、作ります。量は同量、おおさじ3〜くらいかな？てきとうでへいき！鍋で煮立てて、なんとなく溶けてあめ色になってきたら、おいもをからめます。	・形容動詞連用修飾。「てきとうで」。並立の接続助詞「で(て)」。
13	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_06111	こちら相手も日がたつにつれて、入れ知恵をする人達が増えてきます。中にはてきとうな事を言う人もいるでしょうから惑わされないことが大切です。	・形容動詞連体修飾。「てきとうな事を言う」も慣用的表現か。
14	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_02611	なウィンドウが飛び出してきました。ただ、基本操作さえ覚えてしまえば、結構使えます。よほど複雑な曲でなければ「てきとうシーケンサ」で十分ですが。M i d iをW e b公開してる人でも結構愛用者がいるソフトです。	・形式からすれば形容動詞連体修飾。
15	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_02594	洗う習慣をつけるとお肌はきっと改善されてきますよ！よく化粧水や美容液を高価な物で洗顔はてきとうで無関心な方が居ますが、効果が充分期待できないと思うし、やっぱり洗顔して汚れを落としたキレイな	・形容動詞連用修飾。「てきとうで」。並立の接続助詞「で(て)」。
16	Yahoo!ブログ 2008 OY01_02661	チビちゃん達も尻尾を動かしたナリ。」「だんな様とチビちゃん達はバスに乗ったナリ。」「てきとうに来たバスに乗っちゃったら、知らないところに着いたナリ。」「しょうがないから今度はメトロに乗ったナリ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。書き手の動作が「てきとう」とみれば、「来たバスに、てきとうに(何も考えずに)乗った」ということになる。
17	Yahoo!ブログ 2008 OY09_00321	http://www.reason.com/news/show/28703.htmlここ長くて、経済学用語がたくさんありますけど、けっこう面白いことが書いてありますてきとうな抜粋歴史的に技術革新は知的財産権などなしで、ずっとやってきたモーツアルトは著作権なしでも生活できた	・形容動詞連体修飾。
18	Yahoo!ブログ	二代目アシスタントだから、いつでも首の挿げ替えは	・形容動詞連体

	2008 OY14_30711	できるわな。当分は2人で、ってなってるけど、そりゃてきとうな時期を見計らって、新しいにいちちゃんもってくるわ。	修飾。
19	Yahoo!ブログ 2008 OY14_20633	なんかであと はちみつと大根と…バナナとかに なべやきうどんとか… 『はいはい・・・てきとうにみつくるっていくわ…』 『ありがとう 持つべきものは 中尾やなあ…』 ちゅうことで中尾様に	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

5.7.6 現代 (NUCC : 名大会話コーパス)

本項では、現代語の「適当」、および、ひらがな表記「てきとー」について、NUCC (名大会話コーパス) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。検索結果数は、「適当」が 42 件、「てきとー」が 1 件であった。なお、その他の異表記「てきとう」「テキトウ」「テキトー」については、それぞれ 0 件で、該当なしであった。

ここで、ひらがな表記「てきとー」が、なぜ 1 件現れたのかについて疑問が生じる。上述、「3.7 「結構」の実例」、「3.7.6 現代 (NUCC)」でも述べたように、NUCC (名大会話コーパス) は、発話者の音声データを書き起こしてデータ化を行ったものとみられる。したがって、音声データを書き起こした担当者の任意の判断が働いた可能性があるということも指摘しておく。ただし、この点についての詳細な理由は不明である。

以下に、「適当」、「てきとー」の実例について、表にまとめたものを示した。

5.7.6.1 検索語 : 「適当」(全 42 件より一部抜粋) (2020/10/06 時点)

図表 5.36 : 「適当」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	どれだろうね。あー、私の服着てみたら? うん。なんか、 適当 に出すよ。っていうかね、私ね、ワンピースばっかなのー。いいよー	・若年代から昇順に並べた。形容動詞連用修飾「適当に」。副詞的用法。
2	女性 10 代前半 2002 data104	わかんなかったんだって。うんうんうんだから、書けなかったんだけど、 適当 に書いちゃって。うんなんて書いたの? 第 1 志望校は B 2 に	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
3	女性 10 代後半 2001 data072	あー、そっかそっかうん。でもなんかみんなでさ、 適当 に、こう、いっぱい頼んだから、うん。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
4	男性 10 代後半 2002 data119	例えばなんか、姫がさらわれて。さらわれてないか。 適当 なんじゃねえの。や、俺、あんまり見てないからわかんないんだけど	・形容動詞連体修飾。「適当なのではない」の俗体。
5	女性 20 代前半	ほお自然の葉っぱを食べさせて。そうやってさ、 適当 に思いつ	・形容動詞連

第5章 適当

	2002 data076	きでしゃべんないですよ。そういう生活しようかなと思って。	用修飾。副詞的用法。
6	女性 20 代前半 2001 data077	あつ、な、何。ス、スーツみたいなの？そうそうそう。適当なものを。あー。着替えてもいいけど、着替えるのが面倒くさいことない？	・形容動詞連体修飾。
7	男性 20 代前半 2001 data005	結婚しなくても遊ぶくらいは、いやん***。まあいいや。適当に。来るべきときは来る。そうだよな。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
8	男性 20 代前半 2001 data046	僕は大丈夫だよ。適当にやるから。結果がすべてなんだからー。適当にやるから。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
9	女性 20 代後半 2001 data003	疲れるということがどこかわかってきて。うん年なのかなあ。適当なところで切り上げるようにしとる。	・形容動詞連体修飾。
10	女性 20 代後半 2001 data049	それでもいいよ。で、何、白菜と豆腐と。白菜と豆腐となんか適当にそういう。メインは何、シーフード？あつ、海鮮なべみたいなの。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
11	女性 20 代後半 2001 data061	うん、なんか院生の人に来るとか。はあ、じゃあそれだったらまあ適当なときにねえ、うん。いなくなってもな。	・形容動詞連体修飾。
12	女性 20 代後半 2001 data082	鏡見て、こう描いて。でもすごいしょぼいもん。そんな、円かいて、適当に描いとく。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
13	男性 20 代後半 2002 data095	わかんないじゃないですか。そうかなあ。うん。ま、適当な言葉だよな。なんかね、みんなと言ってたんですけど、	・形容動詞連体修飾。
14	女性 30 代前半 2002 data084	自分が嫌なの。うん。なんかそれはすごくわかる。適当にやってる感じがして。うん。だってそれは、たぶん先生っていう仕事	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
15	女性 30 代後半 2001 data023	細い、スリムな感じのはなかった。うん。アメリカのもそうでした。適当な分厚さがあって、で、しかもちょっと長い、握りやすい。そうそうそうそう	・形容動詞連体修飾。
16	女性 30 代後半 2002 data099	この土日だよな。やらないとまずいよな嫌だわー。適当なテキスト見つかった？なんか検索した？いやー、明日やろうと思って。	・形容動詞連体修飾。
17	女性 30 代後半 2002 data112	ちょっと待ってね。7年と。うん。あ、でも適当でいいよ。もう、そんなに。うんうんうん、うん、ちょっと待ってね。	・形容動詞連用修飾。「適当で」。
18	女性 40 代後半 2001 data115	で、それはマスタードを、あの一、オリーブオイルで溶いて、あと、適当に酢を入れたりして、あの一、うん、で、あとかに風味サラダ、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
19	女性 40 代後半 2001 data115	うんうんうんうんうん、うんあーうんで、まあ、あの、適当にいろいろ、その、基本的なところだけ、あの一、説明をしたんですけど	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
20	女性 40 代後半 2001 data007	まあ、毎日、こう月曜日から金曜日まで授業がないから、まあ、適当にアレンジできるんですけど。あー、そうですか先生、授業はどの、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
21	女性 60 代後半 2001 data010	はい、お願いします。左にならえじゃなくて右にならえ。だから適当に好きなもの注文すれば？	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
22	女性 60 代前半 2001 data037	で、宿題にはもうなんか、あの、どういふふうに書いたか、まあ適当にごまかしたんじゃないのー、きつと、うん。うーん、ほんとよな。勉強なんか	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

5.7.6.2 検索語：「てきとー」（全1件）（2021/02/04 時点）

図表 5.37：「てきとー」の実例（NUCC：名大会話コーパス）

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	男性 20 代前半 2001 data087	って言ってたよ。あーありがとうございます。もう、うそでも うれしいです。そやって言ってあげる私って偉いなあー。てき とーか、お前も。なんて偉いんだ。ほっほっほ。ほっほっほ。 ほっほっほ。ほっほっほっほ。いや、沖縄いいなあ。えーとね ーえ、今	・(形容動詞) 述語文。「お前 もてきとー か」の倒置形。

5.7.7 2020年9月の1ヶ月間（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

本項では、「適当」、および、カタカナ表記「テキトー」について、近年における傾向を
みるために、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による2020年9月、1ヶ月間の朝日新聞記事の検索を行
った（2020/10/26 時点）。期間は、2020年9月1日から2020年9月30日までの1ヶ月間
とした¹²⁷。検索条件は、「朝日新聞 1985～ 週刊朝日・AERA」／キーワード：「適当」／発
行日：「2020/09/01 から 2020/09/30」／その他指定なしとした。

まず、2020年9月、1ヶ月間の朝日新聞関連記事上における「適当」、および「テキト
ー」の実例を概観すると、結果として以下のような特徴と傾向がみられた。

- ・主な形式として三つ挙げられる。「適当に+用言」という形容動詞連用修飾（副詞的
用法）の形式、「適当な～」という形容動詞連体修飾の形式、「～が適当」という（形
容動詞）述語文の形式である。
- ・「適当に+用言」という形容動詞連用修飾（副詞的用法）の形式で現れる場合は、「な
んとなく／無意識に」あるいは「あてずっぽうに／ランダムに」といった意味を持つ
ことが多いようである。この場合、辞書の意味記述で典型とされる「いい加減」とい
う意味は当てはめにくい。
- ・「適当で（は）ない」「不適當」といった否定的見解を示す例が比較的多い。
- ・カタカナ表記の「テキトー」は、直近1年間で6件であった。数としては少ないが、
新聞紙上においてもそれなりに使われていることがわかる。

¹²⁷ なお、カタカナ表記「テキトー」については検索結果数が少ないため、発行日を2019
年10月から1年間（2019/10/01 から 2020/09/30 まで）とした。検索結果数は6件であった。

第5章 適当

以下、表にして時系列でまとめた。

5.7.7.1 検索語：「適当」（全30件より抜粋）（2020/10/26時点）

図表 5.38：「適当」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月01日 朝刊 茨城全県 ・1地方	反対の住民団体、日立市に要望書 産廃最終処分場計画 /茨城県 会は、候補地が市内でも人口が多く密集度も高い多賀支所管内にあ ることや河川や地下水への影響が避けられないことなどを挙げ、「候 補地として不 適当 」と主張している。	・「不 適当 」。 (形容動詞)述 語文。形容動 詞語幹。
2	2020年 09月01日 朝刊 山口・ 1地方	最賃829円据え置き 17年ぶり コロナで業績悪化 /山口県 県内の最低賃金については、山口労働局が6月に山口地方最低賃金 審議会に諮問。審議会が8月、多数決で「現行維持が 適当 」と答申 していた。	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
3	2020年 09月05日 朝刊 1外報	訪台のチェコ上院議長、招待 米主導開催の経済イベント チェコ側への報復も示唆する中国の態度を念頭に、「(中国の)脅し は 適当 ではない」と述べた。	・形容動詞連 用形。
4	2020年 09月05日 朝刊 山口・ 1地方	田布施の調査委、解散へ /山口県 弁護士らによる第三者委員会を設けて調査するとしていたが、町の 顧問弁護士から「第三者委による人事調査は地方自治法上、不 適当 」 と指摘があり断念したという。	・「不 適当 」。 (形容動詞)述 語文。形容動 詞語幹。
5	2020年 09月07日 朝刊 東特集A	ご当地すぐれもの紀行 一輪一輪、新たな輝き宿らせ 朝日新聞S HOP コップ1~2杯分用の大容器と、ふりかけやきな粉を作るのに 適当 な小容器は強化ガラス製で、電子レンジ可。4枚刃なので、シャー ベットや冷凍食材の粉碎も可能。	・形容動詞連 体修飾。
6	2020年 09月07日 週刊 アエラ	怒りとうねり、変わらぬ現状 沖縄・少女暴行事件から25年 容疑者の照会を依頼しても 適当 にあしられ十分な協力が得られな かったり、取り調べ中に弁護士でもない兵士が入れ代わり訪れ、接 見を繰り返したり。捜査妨害としか思えない嫌がらせを何度も経験 したという。	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。マイ ナス評価性。
7	2020年 09月08日 朝刊 東京四域・ 1地方	酒場談議、この手持ちマスクで 国分寺の居酒屋・川島さん考案 / 東京都 材料費を抑えるには紙製がいい。文房具店で画用紙を買い、マスク のひもを引っかけても形が崩れない 適当 な厚さを探った。図面が完 成したのは7月末。	・形容動詞連 体修飾。
8	2020年 09月10日 朝刊 新潟全県・ 2地方	(探究 にいがた)新潟って、何地方なの? 教科書には中部、国土 政策では東北、天気は北陸/新潟県 そもそも中部地方とは? 日本大百科全書(小学館)によると、「1 904(明治37)年、わが国で地理の国定教科書がつくられたこ ろから使われた地方名」。なんと、学校で教えるために地方名を作 ったのだ。同書のウェブ版は、当時の教科書編集者の言葉を紹介する。 「関東及び奥羽と近畿の中間の地方は別に 適当 なる名称なきがゆえ にしばらく本州中部地方の名を用いたり」……うん、中部じゃない な。	・近代の例。形 容動詞連体修 飾。
9	2020年 09月11日 朝刊 1総合	Goto、東京を来月追加 政府方針 都の移動自粛解除受け 西村康稔経済再生相は10日、「東京を対象とすることが 適当 かどう か(分科会で)議論いただきたい」と話した。	・形容動詞語 幹。
10	2020年 09月11日	(シネマ三面鏡)デビュー作、「彼」の名忘れない この映画が表現した「若さ」が何よりいい。だらしのない青年は、あ	・形容動詞連 用修飾。副詞

第5章 適当

	夕刊 夕刊F 金曜4面	り合わせの納豆を 適当 にのせただけの食パンに立ったままかじりつく。置き場がないのか冷蔵庫の上にテレビをのせ、カーテンレールには洗濯物を常時ぶらさげている……。	的用法。「なんとなく/無意識に」といった意味か。
11	2020年 09月11日 朝刊 生活1	(患者を生きる:4009) 職場で 吃音:5 情報編 発症原因の8割は体質 治療は、話しやすい環境を整える方法や言語訓練、カウンセリングなどがあり、年齢や個人によってどれが 適当 かは異なる。	・形容動詞語幹。
12	2020年 09月15日 朝刊 1外報	中国・EU首脳会議「投資協定で進展」 香港問題、懸念伝える EU議長 王氏がドイツでの記者会見で、チェコの上院議長らの台湾訪問について「一線を越えた」と報復を示唆。マース独外相は「脅しは 適当 ではない」と訪台を擁護した。	・形容動詞連用形。
13	2020年 09月17日 朝刊 福島全県・2地方	(こちらKFB) TV局志望の原点、忘れずに 記者・斎藤知優 / 福島県 「なんでテレビ局志望したの?」。友人からそう聞かれた時は「なんとなく」と 適当 に答えましたが、実は理由があります。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。文脈のとおりこの「 適当 」には「なんとなく」のニュアンスがある。
14	2020年 09月23日 デジ専	《朝日新聞デジタル》「銀行はみんなで赤信号渡った」 ドコモ口座の落とし穴 暗証番号は4桁なら 適当 に入力しても1万分の1で当たってしまいます。銀行のネットバンキングのセキュリティが4桁の暗証番号だけなら、とんでもないことだと批判されるでしょう。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「あてずっぽうに/ランダムに」といった意味。
15	2020年 09月23日 朝刊 1総合	(天声人語) 測りたいけど、測れない オンライン化の悩みを伝えるとちょっと戸惑いつつ「正確すぎても、 適当 でもダメ。ほどよい距離感を測れたらいいですよね」。うーむ。つまりは「誤差」をうまく受け入れる、ということか	・「正確」と「 適当 」を対比させている。
16	2020年 09月23日 夕刊 北海道 情報	(onペーパー) HTB・土屋まりアナ “食のチカラ” 実感レシピ / 北海道 作ったのはパンプキンスープ! まず種とワタを取り除き、皮をむいて 適当 な大きさに切り、水と一緒に柔らかくなるまで煮ます。それをミキサーにかけ、牛乳を加え、ひと煮立ちさせたら完成です。	・形容動詞連体修飾。料理レシピで使われる「 適当 」。近代からみられる表現。
17	2020年 09月23日 朝刊 1社会	語れない「語り部」 特定団体の批判含めぬよう求める手引 福島双葉・震災・原発事故「伝承館」 来館者との質疑応答の際には「口演者が回答することが 適当 ではない質問はスタッフがフォロー」などとしている。	・形容動詞連用形。
18	2020年 09月24日 朝刊 高知全県・1地方	(道を開く あるパラリンピアン半世紀:14) 事故、幻のカンボジア / 高知県 当時僕は30代前半で、家も欲しいし、車は必須です。まだ世間知らずで相場がわからないから、 適当 に金額を言いました。するとそれは、社長が想定する1・8倍の給料だったそうです。さすがに厳しいと言われましたが、社長は少しだけ低い金額で採用してくれました。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「あてずっぽうに/ランダムに」といった意味。
19	2020年 09月26日 朝刊 1経済	(けいざい+) 銀行間手数料にメス:中 ならば別の手数料で巻き返し 口座維持手数料の導入は、以前からくすぶる。全国銀行協会の平野信行会長(当時)が2017年の定例会見で「努力して理解を得たうえで必要な手数料をいただくのが 適当 ではないか」と前向きな発言をしたが、いまだ「実現」には至っていない。	・形容動詞連用形。
20	2020年 09月26日 朝刊 広島1・	(河井夫妻事件) 13人に説明の場、決議 時期や方法未定 広島市議会 / 広島県 これに対し、広島市議では最高額の70万円を受領したとされる市政改革ネットワークの藤田博之議員は「反対」の立場から「違法行	・形容動詞連用形。

第5章 適当

	1 地方	為かは司法が判断すること。同僚議員が法的根拠がないなかで辞職を求めることは 適当 でない」と意見を述べた。	
21	2020年 09月28日 朝刊 徳島全県・ 1 地方	(桂七福の嘶のツボ) 袋詰め、てんやわんや / 徳島県 私は袋詰めが大変苦手です。お店で買い物をして、レジを通った後に商品を袋に入れるのがとても苦手。袋に入れる前に買ったものを眺めて考え込んでしまうんです。「そんなん考えんと、パッパッパーッと、なんとなくの勘で 適当 に入れたらええんよ」と家族から言われますが、私には「勘で 適当 に」が難しい難しい。「どんな順番で、どの向きで入れていけば、きれいに収まるだろうか」と考えてしまうのです。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「あてずっぽうに/ランダムに」といった意味。
22	2020年 09月28日 朝刊 1 社会	(災害大国 いのちを守る) まち集約先も災害リスク 危険エリアから移転促す国【名古屋】 ■自治体苦心 知多市「川沿い・沿岸中心の街、ほかに土地ない」 「川沿いや沿岸部を中心に形成されてきたまちを、居住誘導区域から除けば、ほかに 適当 な土地もなく、今後のまちづくりがままならなくなる」。市都市計画課の渡辺辰徳課長は頭を抱える。	・近代の例。形容動詞連体修飾。
23	2020年 09月29日 朝刊 2 社会	聖火リレー、仕切り直し 3月25日スタート、新日程決まる【名古屋】 ■対策はこれから 組織委の武藤敏郎事務総長は日程維持が決まった25日の国際オリンピック委員会(IOC)の調整委員会後、「自治体と合意した約束をほごにすることは、かえって 適当 ではない」と説明した。	・形容動詞連用形。
24	2020年 09月30日 朝刊 1 社会	未払い報酬管理「ゴーン氏依頼」 元秘書室長が証言 ケリー被告公判 金融庁が前月に制度案を公表すると、ケリー元役員から元会長の報酬について「日本人の感覚としていくぐらいが 適当 か」と聞かれ、「10億円以下」と答えたと言。	・(形容動詞) 述語文。形容動詞語幹。

5.7.7.2 検索語：「テキトー」（全6件より抜粋／2019年10月から1年間）（2020/10/28時点）

図表 5.39：「テキトー」の事例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2019年10月から1年間）

番号	発行日 刊種/面名	事例	備考
1	2019年 10月12日 朝刊 筑後 ・地域総合	(声 ひろば)「ありがとう」で僕は成長するぞ / 西部・共通 中学生 竹内勇 (山口県 13) 僕は十分な睡眠を取らないので、二度寝し、ご飯を食べる気力もない。それでよいのだろうか？僕はわがままで、母に頼り切っている。つまり テキトー に生きているのだと気づいた。そんな自分から抜け出したい。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「いい加減に/投げやりに」といった意味。「わがまま」「頼り切って」という表現からしてマイナス評価性。
2	2019年 11月02日 朝刊 週末be ・b10	いわせてもらお ◎弁解 小学4年生の娘がテストでひどい点数を取ってきた。ケアレスミスあり、大間違いもあり。「何でこんなに テキトー な答えばかり！」と怒鳴り散らすと、娘は落ち着いた様子で「ほら、ここに『 適当 な答えを選びなさい』って書いてあるでしょ」。 (東京都調布市・その落ち着きがあればうっかりミスはなかったはず・48歳)	・形容動詞連体修飾。前者は「いい加減に/投げやりに」といった意味でマイナス評価性。後者は試験問題の設問に頻出

第5章 適当

			する慣用的な「適当」。
3	2020年 01月16日 朝刊 名古屋 共通 ・地域総合	東海柳壇 なかはられいこ選 /東海・共通 賀状だけの交際になってうんじゅうねん(半田市) 杉浦博和 【評】「うんじゅうねん」のひらがな表記が楽しい一句。例えば「三十年」とか「十二年」とかと比べてみてほしい。具体的な数字が入ると、とたんに嘘っぽくなる。だってたぶん、最後に会ったのは何年前なんて覚えていないから。「うんじゅうねん」というテキトーさが活きている。	・「テキトーさ」で名詞化している。
4	2020年 02月10日 週刊 アエラ	不便で面倒、だから楽しい カセットテープならではの「終わり」が魅力 歌詞の中にしかないと思われたその「サマージャム」というミックステープは、当時、実際にANIさんがDAT(デジタル・オーディオ・テープ)でつくっていた。それを6年前にカセットにしてライブ会場限定で販売すると、たちまち話題に。そのテープのラベルイラストも、ANIさんが自分で描いた。 「誰かに渡すために自分でテキトーに描いたり編集する作業が好きなんです」 不便でも、ついつい自分で作りたくなる楽しさ。そんな魅力が、カセットに詰まっている。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「任意で/思うままに」といった意味。マイナス評価性ではない。
5	2020年 06月06日 朝刊 子育て	(これも、成長!おバかわいいね写真館) 戦士のまどろみ ■MOM'S STAND(ママズ スタンド)6月号 ■投稿者 テキトー母さん	・ハンドルネームとしての「テキトー」。 仮に「適当母さん」とすると落ち着きが悪い。カタカナ表記にすることでユーモア感を演出しているようである。
6	2020年 06月20日 朝刊 週間TV 1	佐藤二郎 「浦安鉄筋家族」に主演 役者への火、燃やし続け 千葉県浦安市に暮らす大沢木家のハチャメチャな日常を描くドラマ「浦安鉄筋家族」(東京系、金曜深夜0時12分=一部地域を除く=、ひかりTV、Paraviで第6話まで配信中)では、父・大鉄を演じる。「大鉄はテキトーな男ではありますが、家族をしっかりと愛している、ある意味当たり前の父親。そのことは絶対に忘れずに演じたい」。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「いい加減に/投げやりに」といった意味。カタカナ表記の「テキトー」は漢字表記の「適当」より「いい加減さ」がより強調されるようにも思われる。

5.7.8 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）

「先秦兩漢」期における、「適當」の検索結果数は、14 件であった。「中國哲學書電子化計劃」のテキスト表記は、繁体字による。したがって、表記は「適當」となる。試みに、日本語の通用字体、「適當」で検索を行ったところ、検索結果数は0 件であった。なお、原典のテキスト表示にならない、表記は中国語繁体字を基本とした。ただし、明朝体でない字形の場合、他の書体で代替している場合がある。得られた実例は、検索結果の順序通りに並べた。したがって、必ずしも完全な通時順とはなっていない場合もある。検索結果数については、延べ数を示したものである。一作品中に複数の該当例がある場合もあるため、下表の実例数とは一致しないこともある。以下に、「中國哲學書電子化計劃」、「先秦兩漢」期における「適當」の実例を表にして示した。

5.7.8.1 検索語：「適當」（全 14 件）（2021/01/14 時点）

図表 5.40：「適當」の実例（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《先秦兩漢》 《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年 王充著 《偶會》 15	殺人者罪至大辟，殺者罪當重，死者命當盡也。故害氣下降，囚命先中；聖王德施，厚祿先逢。是故德令降於殿堂，命長之囚，出於牢中。天非為囚未當死，使聖王出德令也，聖王適下赦，拘囚適當免死。猶人以夜臥晝起矣，夜月光盡，不可以作，人力亦倦，欲壹休息；晝日光明，人臥亦覺，力亦復足。非天以日作之，以夜息之也，作與日相應，息與夜相得也。	
2	《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年 王充著 《偶會》 19	推此以論，仕宦進退遷徙，可復見也。時適當退，君用讒口；時適當起，賢人薦己。故仕且得官也，君子輔善；且失位也，小人毀奇。公伯寮愬子路於季孫，孔子稱命；魯人臧倉讒孟子於平公，孟子言天。道未當行，與讒相遇；天未與己，惡人用口。故孔子稱命，不怨公伯寮；孟子言天，不尤臧倉，誠知時命當自然也。	
3	《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年 王充著 《明雩》 9	人君聽請，以安民施恩，必非賢也。天至賢矣，時未當雨，偽請求之，故妄下其雨，人君聽請之類也。變復之家，不推類驗之，空張法術，惑人君。或未當雨，而賢君求之而不得；或適當自雨，惡君求之，遭遇其時。是使賢君受空責，而惡君蒙虛名也。	
4	《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年 王充著 《死偽》 20	夫鯀殛於羽山，人知也；神為黃熊，入于羽淵，人何以得知之？使若魯公牛哀病化為虎，在，故可實也。(中略)何以驗之？夢見生人，明日所夢見之人，不與己相見。夫所夢見之人不與己相見，則知鯀之黃熊不入寢門。不入，則鯀不求食。不求食，則晉侯之疾非廢夏郊之禍。非廢夏郊之禍，則晉侯有間，非祀夏郊之福也。無福之實，則無有知之驗矣。亦猶淮南王劉安坐謀反而死，世傳以為仙而升天。本傳之虛，子產聞之，亦不能實。偶晉侯之疾適當自衰，子產遭言黃熊之占，則信黃熊鯀之神矣。	
5	《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年	夫鑽龜揲著自有兆數，兆數之見，自有吉凶，而吉凶之人，適與相逢。吉人與善兆合，凶人與惡數遇，猶吉人行道逢吉事，顧睨見祥物，非吉事祥物為吉人瑞應也。凶人遭遇凶惡於道，亦如之。	

第5章 適當

	王充著 《卜筮》 10	夫見善惡，非天應答，適與善惡相逢遇也。鑽龜揲著有吉凶之兆者，逢吉遭凶之類也。何以明之？周武王不豫，周公卜三龜。公曰：「乃逢是吉。」魯卿莊叔生子穆叔，以《周易》筮之，遇《明夷》之《謙》。夫卜曰「逢」，筮曰「遇」，實遭遇所得，非善惡所致也。善則逢吉，惡則遇凶，天道自然，非為人也。推此以論，人君治有吉凶之應，亦猶此也。君德遭賢，時適當平，嘉物奇瑞偶至。不肖之君，亦反此焉。	
6	《儒家》 《論衡》 [東漢]80年 王充著 《定賢》 8	夫聖賢之治世也有術，得其術則功成，失其術則事廢。譬猶醫之治病也，有方，篤劇猶治；無方，龜微不愈。(中略)復召為光祿大夫，常居左右，論事說議，無不是者，才高智深，通明多見，然其為東郡都尉，歲惡，盜賊不息，人民騷動，不能禁止。不知壽王不得治東郡之術邪？亡將東郡適當復亂，而壽王之治偶逢其時也？夫以壽王之賢，治東郡不能立功，必以功觀賢，則壽王棄而不選也。恐必世多如壽王之類，而論者以無功不察其賢。燕有谷，氣寒，不生五穀。	
7	《道家》 《莊子》 [戰國] 紀元前 350-250 年 [又名：《南華真經》] 《雜篇》 《徐無鬼》 11	子綦有八子，陳諸前，召九方歎曰：「為我相吾子，孰為祥？」九方歎曰：「梱也為祥。」子綦瞿然喜曰：「奚若？」曰：「梱也將與國君同食以終其身。」子綦索然出涕曰：「吾子何為以至於極也！」九方歎曰：「夫與國君同食，澤及三族，而況父母乎？今夫子聞之而泣，是禦福也。子則祥矣，父則不祥。」 子綦曰：「歎！汝何足以識之？而梱祥邪，盡於酒肉，入於鼻口矣。而何足以知其所自來？吾未嘗為牧而牂生於輿，未嘗好田而鶉生於突，若勿怪，何邪？吾所與吾子遊者，遊於天地。吾與之邀樂於天，吾與之邀食於地；吾不與之為事，不與之為謀，不與之為怪；吾與之乘天地之誠而不以物與之相撓，吾與之一委蛇而不與之為事所宜。今也然有世俗之償焉！凡有怪徵者，必有怪行。殆乎！非我與吾子之罪，幾天與之也！吾是以泣也。」 無幾何而使梱之於燕，盜得之於道，全而鬻之則難，不若則之則易，於是乎刖而鬻之於齊，適當渠公之街，然身食肉而終。	
8	《法家》 《韓非子》 [戰國] 紀元前 475-221 年 [又名：《韓非》]， 《韓子》] 《姦劫弑臣》 5	世之學術者說人主，不曰「乘威嚴之勢以困姦邪之臣」，而皆曰「仁義惠愛而已矣」。(中略)伊尹得之湯以王，管仲得之齊以霸，商君得之秦以強。此三人者，皆明於霸王之術，察於治強之數，而不以牽於世俗之言；適當世明主之意，則有直任布衣之士，立為卿相之處；處位治國，則有尊主廣地之實；此之謂足貴之臣。湯得伊尹，以百里之地立為天子；桓公得管仲，立為五霸主，九合諸侯，一匡天下；孝公得商君，地以廣，兵以強。故有忠臣者，外無敵國之患，內無亂臣之憂，長安於天下，而名垂後世，所謂忠臣也。	
9	《雜家》 《淮南子》 [西漢] 紀元前 206-9 年 [又名：《淮南》]， 《鴻烈》] 《說林訓》 9	秦通峭塞，而魏築城也。(中略)人不見龍之飛舉而能高者，風雨奉之。蠹眾則木折，隙大則牆壞。懸垂之類，有時而墜；枝格之屬，有時而馳。當凍而不死者，不失其適；當暑而不喝者，不亡其適；未嘗適，亡其適。湯沐具而蟻風相吊，大廈成而燕雀相賀，憂樂別也。柳下惠見飴，曰：「可以養老。」盜蹠見飴，曰：「可以黏牡。」見物同，而用之異。蠶食而不飲，二十二日而化；蟬飲而不食，三十日而脫；蜉蝣不食不飲，三日而死。人食礪石而死，蠶食之而不饑；魚食巴菽而死，鼠食之而肥。類不可必推。	・表記は、「適；當」という形式。
10	《史書》 《國語》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《晉語二》 17	既殺奚齊、卓子，里克及丕鄭使屠岸夷告公子重耳于狄，曰：「國亂民擾，得國在亂，治民在擾，子盍入乎？吾請為子鍼。」重耳告舅犯曰：「里克欲納我。」舅犯曰：「不可。夫堅樹在始，始不固本，終必槁落。夫長國者，唯知哀樂喜怒之節，是以導民。不哀喪而求國，難；因亂以入，殆，以喪得國，則必樂喪，樂喪必哀生。因亂以入，則必喜亂，喜亂必怠德。是哀樂喜怒之節易也，何以導民？民不我導，誰長？」重耳曰：「非喪誰代？非亂誰納我？」舅犯曰：「偃也聞之，喪亂有小大。大喪大亂之刻也，不可犯也。父母死為大喪，讒在兄弟為大亂。今適當之，是故難。」公子重耳出見使者，曰：「子惠顧亡人重耳，父生不得供備灑掃之臣，死又不敢蒞喪以重其罪，且辱大夫，敢辭。夫固國者，在親眾而善鄰，在因民而順之。苟眾所利，鄰國所立，大夫其從之。重耳不敢違。」	

11	<p>《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名：《前漢》] 《志》 《五行志》 《五行志下之下》 113</p>	<p>釐公十六年「正月戊申朔，隕石于宋，五，是月六鵠退飛過宋都」。(中略) 正月，日在星紀，厭在玄枵。玄枵，齊分野也。石，山物；齊，大嶽後。五石象齊威卒而五公子作亂，故為明年齊有亂。庶民惟星，隕於宋，象宋襄將得諸侯之眾，而治五公子之亂。星隕而鵠退飛，故為得諸侯而不終。六鵠象後六年伯業始退，執於孟也。民反德為亂，亂則妖災生，言吉凶繇人，然后陰陽衝厭受其咎。齊、魯之災非君所致，故曰「吾不敢逆君故也」。京房易傳曰：「距諫自疆，茲謂卻行，厭異鵠退飛。適當黜，則鵠退飛。」</p>	
12	<p>《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445 年 《列傳》 《吳蓋陳臧列傳》 13</p>	<p>帝戒漢曰：「成都十餘萬眾，不可輕也。但堅據廣都，待其來攻，勿與爭鋒。若不敢來，公轉營迫之，須其力疲，乃可擊也。」(中略) 帝報曰：「公還廣都，甚得其宜，述必不敢略尚而擊公也。若先攻尚，公從廣都五十里悉步騎赴之，適當值其危困，破之必矣。」自是漢與述戰於廣都、成都之間，八戰八剋，遂軍于其郭中。述自將數萬人出城大戰，漢使護軍高午、唐邯將數萬銳卒擊之。述兵敗走，高午奔陳刺述，殺之。事已見述傳。旦日城降，斬述首傳送洛陽。明年正月，漢振旅浮江而下。至宛，詔令過家上冢，賜穀二萬斛。</p>	
13	<p>《經典文獻》 《京氏易傳》 [西漢] 紀元前 57-37 年 京房著 《歸妹》 1</p>	<p>歸妹：陰復於本，悅動於外。二氣不交，故曰《歸妹》。互見《離》、《坎》，同於《未濟》，適陽從陰，剛從外至。九四、至剛，六三、悅柔。返無其應，凶並羊，涉卦之終，長何吉也？與《艮》為飛伏。三公歸魂之世，上六、宗廟見應，建始甲子至己巳，積筭起己巳至戊辰，周而復始，水土入《震》、《兌》。五星從位起歲星，軫宿從位降丁丑土。分氣候三十八。雷居澤上，剛氣亢盛，陰陽不合，進退危也。吉凶在上六，處於動極。適變位定時，不可易之道也。五行考象，非合斯義。陰陽運動，適當何爻？或陰或陽，或柔或剛，升降六位，非取一也。</p>	

5.7.8.2 檢索語：「的當」（2021/03/14 時点）

「先秦兩漢」においては、「的當」の検索結果数は、0 件であった。

5.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

「漢代之後」（漢代以後）期における、「適當」の検索結果数は、18件であった。以下に、「中國哲學書電子化計劃」、「漢代之後」期における「適當」の実例を表にして示した。

5.7.9.1 検索語：「適當」（全18件）（2021/01/14時点）

図表 5.41：「適當」の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《漢代之後》 《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300年 《魏書十三》 《鍾繇傳子名毓》 3	時關中諸將馬騰、韓遂等，各擁疆兵相與爭。太祖方有事山東，以關右為憂。乃表繇以侍中守司隸校尉，持節督關中諸軍，委之以後事，特使不拘科制。繇至長安，移書騰、遂等，為陳禍福，騰、遂各遣子入侍。太祖在官渡，與袁紹相持，繇送馬二千餘匹給軍。太祖與繇書曰：「得所送馬，甚應其急。關右平定，朝廷無西顧之憂，足下之勳也。昔蕭何鎮守關中，足食成軍，亦適當爾。」其後匈奴單于作亂平陽，繇帥諸軍圍之，未拔；而袁尚所置河東太守郭援到河東，眾甚盛。諸將議欲釋之去，繇曰：「袁氏方疆，援之來，關中陰與之通，所以未悉叛者，顧吾威名故耳。」	
2	《隋唐》 《群書治要》 [唐]631年 《卷四十七》 《蔣子萬機論》 《用奇》 2	漢元帝為太子時，諫持法秦深，求用儒生，宣帝作色怒之云，俗儒不達不足任，亂吾家者太子也。據如斯言，漢之中滅，職由宣帝，非太子也。乃知班固步驟盛衰，發明是非之理，弗逮古史遠矣。昔秦穆公近納英儒，招致智辯，知富國強兵，至於始皇，乘歷世餘，滅吞六國，建帝號，而坑儒任刑，疏扶蘇之諫，外蒙恬之直，受胡亥之曲，信趙高之諂，身沒三歲，秦無噍類矣。前史書二世之禍，始皇所起也。夫漢祖初以三章結黔首之心，并任儒辯以并諸侯，然後罔漏吞舟之魚，烝民樸謹，天下大治，宣帝受六世之洪業，繼武昭之成法，四夷怖征伐之威，生民厭兵革之苦，海內歸勢，適當安樂時也。而以峻法繩下，賤儒貴刑名，是時名則名則二字似衍石顯，弘恭之徒，便僻危嶮，杜塞公論，專制於事，使其君負無窮之謗也如此，誰果亂宣帝家哉。	
3	《隋唐》 《通典》 [唐]801年 杜佑著 《禮六十四》 《單復諡議》 8	永泰中，太常博士獨孤及諡贈涼州都督、太原郡公郭知運曰威，右司員外郎崔勿駁之曰：「郭知運承恩詔葬，向五十餘年，今請易名，竊謂非禮。謹按：禮經云『禮，時為大』。(中略)及答曰：「禮，時為大，順次之。將葬易名，時也。有故闕禮，追遠請諡，順也。公叔戍請諡，適當葬前。謹按三百禮經，三千威儀，曾不言已葬則不追諡，況三王殊途，不相沿禮。新禮則死必有諡，不云日月有時。今請易名者五家，無非葬後。苗太師一年矣，呂譴四年矣，盧奕五年矣，顏杲卿八年矣，並荷褒寵，無異同之論。獨知運不幸，遂以過時見抑。苟必以已葬為節制，則八年與五十年，其緩一也。而與奪殊制，無乃不可乎！議云『已孤暴貴，不為父作諡』，此謂其父無位而子居貴位，不當以子之貴，加榮於父。若知運者，處方面重寄，列位九卿，茂勳崇名與衛霍侔，飾終之禮，宜加於他將一等，豈待因嗣子之德然後作諡？今之征鎮者，率多起屠販卑隸之中，雖逢風雲化為侯王，而其間有祖父爵位與知運等當請諡者有幾何？乃懼名器等於草芥，以是廢禮。竊謂近誣。竊考載籍，徵諸舊章，易名之禮，請如前議。」	
4	《隋唐》 《通典》 [唐]801年 杜佑著 《兵十一》 《力少分軍必敗》 3	後漢將吳漢討公孫述，乃進軍攻廣都，拔之。光武戒漢曰：「成都十餘萬眾，不可輕也。但堅據廣都，待其來攻，勿與爭鋒。若不敢來，公轉營迫之，須其力疲，乃可擊也。」(中略)於是饗士秣馬，閉營三日不出，乃多排幡旗，使煙火不絕，夜銜枚引兵與尚合軍。豐等不覺，明日，乃分兵拒水北，自將攻江南。漢悉兵迎戰，自旦至晡，遂大破之，斬謝豐、袁吉，獲甲首五千餘級。於是引還廣都，留劉尚拒述。帝報曰：「公還廣都，甚得其宜，述必	

第5章 適當

		不略尚而擊公也。略，猶過也。若先攻尚，公從廣都五十里悉步騎赴之，適當值其疲困，破之必矣。」自是漢與述戰於廣都、成都之間，八戰八剋。	
5	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部四十》 《戰中》 1	《後漢書》曰：吳漢討公孫述，乃進軍攻廣都，拔之。光武戒漢曰：「成都十餘萬眾，不可輕也。但堅據廣都，待其來攻，勿與爭鋒。若不敢來，公轉營迫之，須其力疲，乃可擊也。」(中略)於是饗士秣馬，閉營三日不出，乃多掛幡旗，使煙火不絕，夜銜枚引兵與尚合軍。豐等不覺，明日，分兵拒水北，自將攻江南。漢悉兵迎戰，自晨至晡，遂大破之，斬謝豐、袁吉，獲甲首五千餘級。於是引還廣都，留尚拒述。帝報曰：「公還廣都，甚得其宜，述必不敢略尚而擊公也。略，猶過也。若先攻尚，公從廣都五十里悉步騎赴之，適當值其疲困，破之必矣。」自是漢與述戰於廣都、成都之間，八戰八克。	・上記《通典》《兵十一》《力少分軍必敗》の例と一部重複している。
6	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《兵部四十七》 《掩襲下》 3	《後魏書》曰：晉王伏羅督高平、源州諸軍討吐谷渾慕利延。軍至樂都，謂諸將曰：「若從大道，恐軍聲先振，必當遠遁。若潛軍出其非意，此鄧艾擒蜀之計也。」諸將咸難之，伏羅曰：「夫將軍制勝，萬里擇利，專之可也。」遂間道行。至大母橋，利延歛驚奔白蘭，慕利延兄子拾寅走阿曲，降其一萬餘落。 又曰：陸侯，代人也。長安盧永、劉超等聚黨以叛。世祖詔侯以本官鎮長安，使以方略定之。於是侯單馬之鎮，超聞之欣然，以為無能為也。既至，申揚威信，示以成敗，誘納超女，外若姻親。超猶自警，初無降意。侯乃率其帳下，往見超，觀其舉措。超使人逆曰：「三百人以外，適當以弓馬相待，三百以內當以酒食相供。」乃將三百騎詣超，超設備甚嚴。侯遂縱酒以盡醉而返。后謂將士曰：「超可取。」乃密選精兵五百人激厲之，言至懇切。士卒答曰：「以死從公，必無二也。」	
7	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984年 《定數七》 《袁孝叔》 1	袁孝叔者，陳郡人也。少孤，事母以孝聞。母嘗得疾恍惚，逾日不痊。孝叔忽夢一老父謂曰：「子母疾可治。」孝叔問其名居，不告，曰：「明旦迎吾於石壇之上，當有藥授子。」及覺，乃周覽四境，所居之十里，有廢觀古石壇，而見老父在焉。孝叔喜，拜迎至於家。即於囊中取九靈丹一丸，以新汲水服之，即日而瘳。孝叔德之，欲有所答，皆不受。或累月一來，然不詳其所止。孝叔意其能曆算爵祿，常欲發問，而未敢言。後一旦來而謂孝叔曰：「吾將有他適，當與子別。」於懷中出一編書以遺之。曰：「君之壽與位，盡具於此。事以前定，非智力所及也。今之躁求者，適足徒勞耳。君藏吾此書，慎勿預視。但受一命，即開一幅。不爾，當有所損。」	・表記は、「適，當」という形式。
8	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《論語九》 《里仁篇下》 《子曰參乎章》 13	「忠恕而已矣」，不是正忠恕，只是借「忠恕」字貼出一貫底道理。人多說人已物我，都是不會理會。聖人又幾曾須以己度人！自然厚薄輕重，無不適當。「忠恕違道不遠」，乃是正名、正位。閔祖	
9	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《論語二十七》 《衛靈公篇》 《當仁不讓於師章》 2	子善問：「直卿云：『當仁』，只似適當為仁之事。』集注似以『當』為擔當之意。」曰：「如公說『當』字，謂值為仁則不讓。如此，恐不值處煞多，所以覺得做『任』字說是。恐這『仁』字是指大處、難做處說。這般處須著擔當，不可說道自家做不得，是師長可做底事。」賀孫	
10	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《孟子十》 《盡心上》 《君子所以教者五章》	或問：「『君子之所以教者』，諸先生說得如何？」曰：「諸先生不會說得分明。曾子學到孔子田地，故孔子與他說一貫之道，此所謂『如時雨化之者也』。時雨云者，不先不後，適當其時而已。成德，如顏淵閔子騫者是也。達材，如冉有季路是也。答問，如孟子與公孫丑萬章之徒是也。有私淑艾者，橫渠謂『正己而物正』，非然也。此五者一節輕似一節。『大人正己而物正』，大小大事，不應安排在答問之下。以某觀之，此言為不曾親聖人者設也。彼	

第5章 適當

	1	雖不會承聖人之誨，私得於善治孔子之道者，亦足以發也，故又在答問之下。」去偽	
11	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《中庸二》 《第十八章》 1	問：「舜『德為聖人，尊為天子』，固見得天道人道之極致。至文王『以王季為父，武王為子』，此殆非人力可致，而以為無憂，何也？」曰：「文王自公劉太王積功累仁，至文王適當天運恰好處，此文王所以言無憂。如舜大德，而祿位名壽之必得，亦是天道流行，正得恰好處耳。」又曰：「追王之事，今無可證，姑闕之可也。如三年之喪，諸家說亦有少不同，然亦不必如呂氏說得太密。大概只是說『三年之喪通乎天子』云云，本無別意。」銖	
12	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《易七》 《大過》 2	問：「大過小過，先生與伊川之說不同。」曰：「然。伊川此論，正如以反經合道為非相似。殊不知大過自有大過時節，小過自有小過時節。處大過之時，則當為大過之事；處小過之時，則當為小過之事。如堯舜之禪受，湯武之放伐，此便是大過之事；『喪過乎哀，用過乎儉』，此便是小過之事。只是在事雖是過，然適當其時，便是合當如此做，便是合義。如堯舜之有朱均，豈不能多擇賢輔而立其子，且恁地平善過。然道理去不得，須是禪授方合義。湯武豈不能出師以恐嚇紂，且使其悔悟脩省。然道理去不得，必須放伐而後已。此所以事雖過，而皆合理也。」備	
13	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《雜類》 27	中，如字，即其中也。中，音眾，則是當之義，謂適當其中也。如「六藝折衷音眾。於夫子」，亦謂折當使歸於中之義。中與所以謂之中，音眾。以適當其中如字。而異也。振	・2例みられた。
14	《清代》 《全唐詩》 [清]1705年 《卷三百四十二》 《感春三首》 韓愈著 3	時節適當爾，懷悲自無端。	
15	《康熙字典》 [清]1710-1716年 《一部》 《四》 7	丙：《唐韻》兵永切《集韻》《韻會》《正韻》補永切，𠀤音炳。十幹名之一。《爾雅·釋天》太歲在丙曰柔兆。月在丙曰修。《說文》南方之位也。南方屬火，而丙丁適當其處，故有文明之象。又《周髀算經》上天名青丙，下地曰青戊。又《張衡·東京賦》大丙弭節，風后陪乘。《註》大丙，神名。又《集韻》陂病切，音柄。日名。	
16	《康熙字典》 [清]1710-1716年 《心部》 《六》 81	恰：《廣韻》《正韻》苦洽切《集韻》《韻會》乞洽切，𠀤音搯。《說文》用心也。又恰恰，鳥鳴聲。《杜甫詩》自在嬌鶯恰恰啼。又適當之辭。《杜甫詩》野航恰受兩三人。	
17	《清代》 《墨子閒詁》 [清]1893年 孫詒讓著 《卷十四》 《備城門》 75	《說文》『莒，束葦燒也』。此云『爵穴大容莒』，下云『內莒爵穴中』，二文上下相應，故知『莒』為『莒』之訛。」案：王校是也，蘇說同。高者六尺，下者三尺，疏數自適為之。畢云：「言視敵而為疏促。『自』，『視』字之誤。」王引之云：「『自』蓋『因』字之誤，言因敵之多少而為疏數也，隸書『因』字或作『●』，與『自』相似而誤。」案：「適」當讀如字，吾自稱地形為疏數必調適也。《備梯》篇云「守為行城雜樓，相見以環其中，以適廣陝為度」，與此適字義同，畢、王說非。	・表記は、「適當」という形式。

5.7.9.2 檢索語：「的當」（全71件より一部抜粋）（2021/03/14時点）

「的當」については、「漢代之後」における検索結果数が比較的多い。ただし、理由として、例えば（下線は筆者による）、「此車乃孔明在蜀中預先造下的。當孔明下令姜維引一千軍護車」のように途中で文が切れてしまっているものが多くみられるといった事情がある。ここでは、妥当とみられる11例を以下に表にして示した。

図表 5.42：「的當」の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《漢代之後》 《宋明》 《金瓶梅》 [明] 1590年-1610年 《蔡太師擅恩錫爵 西門慶生子加官》 9	且說一日三伏天氣，西門慶在家中聚景堂上大卷棚內，賞玩荷花，避暑飲酒。吳月娘與西門慶俱上坐，諸妾與大姐都兩邊列坐，春梅、迎春、玉簫、蘭香，一般兒四個家樂在旁彈唱。怎見的當日酒席？但見： 盆栽綠草，瓶插紅花。水晶簾捲蝦須，雲母屏開孔雀。盤堆麟脯，佳人笑捧紫霞觴；盆浸冰桃，美女高擎碧玉盃。食烹異品，果獻時新。弦管謳歌，奏一派聲清韻美；綺羅珠翠，擺兩行舞女歌兒。當筵象板撒紅牙，遍體舞裙鋪錦繡。消遣壺中閑日月，遨遊身外醉乾坤。	
2	《金瓶梅》 [明] 1590年-1610年 《雪娥唆打陳敬濟 金蓮解渴王潮兒》 14	一客不煩二王，還起動你領他出去，或聘嫁，或打發，叫他吃自在飯去罷。我男子漢已是沒了，招攬不過這些人來。說不的當初死鬼為他丟了許多錢底那話了，就打他恁個人兒也有。如今隨你聘嫁，多少兒交得來，我替他爹念個經兒，也是一場勾當。」	
3	《金瓶梅》 [明] 1590年-1610年 《王杏庵義恤貧兒 金道士變淫少弟》	也不尋房子，也不做買賣，把那五百文錢，每日只在酒店麵店以了其事。那一兩銀子，搗了些白銅頓罐，在街上行使。吃巡邏的當土賊拿到該坊節級處，一頓拶打，使的罄盡，還落了一屁股瘡。不消兩日，把身上綿衣也輸了，襪兒也換嘴來吃了，依舊原在街上討吃。	
4	《宋明》 《朱子語類》 [金] 1270年 《學三》 《論知行》 24	文字講說得行，而意味未深者，正要本原上加功，須是持敬。持敬以靜為主。此意須要於不做工夫時頻頻體察，久而自熟。但是著實自做工夫，不干別人事。「為仁由己，而由人乎哉！」此語的當，更看有何病痛。知有此病，必去其病，此便是療之之藥。	・《朱子語類》からの「的當」の出典は比較的多い。
5	《宋明》 《朱子語類》 [金] 1270年 《論語一》 《語孟綱領》 88	答曰：「據某，恐自二程外，惟和靖之說為簡當。」曰：「以某觀之，卻是和靖說得的當。雖其言短淺，時說不盡，然卻得這意思。」頃之，復曰：「此亦大綱偶然說到此，不可以為定也。」	
6	《宋明》 《朱子語類》 [金] 1270年 《中庸一》 《第一章》 103	周樸純仁問「致中和」字。曰：「『致』字是只管挨排去之義。且如此煖閣，人皆以火爐為中，亦是須要去火爐中尋箇至中處，方是的中。又如射箭，纔上紅心，便道是中，亦未是。須是射中紅心之中，方是。如『致和』之『致』，亦同此義。『致』字工夫極精密也。」自修	
7	《清代》 《紅樓夢》 [清] 1780年-1792年 《撕扇子作千金一	「好沒意思！認真的去回，你也不怕臊了他？就是他認真要去，也等把這氣下去了，等無事中說話兒回了太太也不遲。這會子急急的當一件正經事去回，豈不叫太太犯疑？」寶玉道：「太太必不犯疑，我只明說是他鬧著要去的。」晴雯哭道：「我多早晚鬧著要去了？饒生了氣，還拿話壓派我！——只管去回！我一頭碰死了，	

	笑 因麒麟伏白首雙星》 10	也不出這門兒！」	
8	《清代》 《紅樓夢》 [清] 1780 年-1792 年 《評女傳巧姐慕賢良 玩母珠賈政參聚散》 12	和他母親說：『我是為他出來的，我也恨他沒良心。如今他來了，媽要打他，不如勒死了我罷！』他媽罵他：『不害臊的東西！你心裡要怎麼樣？』司棋說道：『一個女人嫁一個男人。我一時失腳，上了他的當，我就是他的人，決不肯再跟著別人的。我只恨他為什麼這麼膽小？〔一身作事一身當〕，為什麼逃了呢？	
9	《全唐詩》 [清] 1705 年 《卷八百五十七》 《七言》 呂岩著 42	的當南遊歸甚處，莫交鶴去上天尋。	
10	《清代》 《儒林外史》 [清] 1750 年 《說楔子敷陳大義 借名流隱括全文》 3	母親喚他到面前來說道：「兒啊，不是我有心要耽誤你。只因你父親亡後，我一個寡婦人家，只有出去的，沒有進來的；年歲不好，柴米又貴；這幾件舊衣服和些舊傢伙，當的當了，賣的賣了；只靠著我替人家做些針黹生活尋來的錢，如何供得你讀書。如今沒奈何，把你僱在間壁人家放牛，每月可以得他幾錢銀子，你又有現成飯喫，只在明日就要去了。」	
11	《清代》 《儒林外史》 [清] 1750 年 《三山門賢人餞別 五河縣勢利薰心》 9	唐二棒椎沉吟道：「老華，這倒也不錯。果然是太尊裏面的人？太尊同你不密邇，同太尊密邇的是彭老三、方老六，他們二位。我聽見這人來，正在這裏疑惑。他果然在太尊衙門裏的人，他下縣來，不先到他們家去，倒有個先來拜你老哥的？這個話有些不像。恐怕是外方的甚麼光棍，打著太尊的旗號，到處來騙人的錢。你不要上他的當！」	

5.8 「相当」のまとめ

「相当」の考察から判明した事項のまとめをもって「第5章 相当」の締めくくりとする。以下、箇条書きとした。

- ・「相当」という語は、漢語由来のものと考えられる（「5.1 概論」）。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「偃也聞之，喪亂有小大。大喪大亂之刻也，不可犯也。父母死為大喪，讒在兄弟為大亂。今適當之，是故難。」（《史書》《國語》[戰國]紀元前475-221年《晉語二》17）が挙げられる（「5.7「相当」の実例」、「5.7.8.1 検索語：「適當」、資料番号“10”）。
- ・「相当」は、本来、「ぴったり合う・当てはまる（かなう）」（加納義光（2014）『漢字語源語義辞典』、「適」の項目内、「相当」より）を意味したと考えられる（「5.1 概論」）。
- ・現代中国語における「相当」は、「適切である。ふさわしい。」（『プログレッシブ中国語辞典 第2版』（2013））、あるいは、“suitable; proper; fit; appropriate”（『新簡明漢英詞典』（2002））とあるように、現代においても本来の意味とされるものを保っているようである（「5.1 概論」）。
- ・「相当」におけるマイナス評価性の意味（「いい加減」等々）は、日本において独自に転義が進んだ結果として得られたものとみられる（「5.1 概論」）。
- ・「相当」の語義の変遷を端的にみれば、「①ぴったり」→「②ほどほど」→「③だいたい・いい加減」の過程を経たということが考えられる（「5.1 概論」）。
- ・「相当」は、語構成からみても、本来は、「ぴったり合う・当てはまる」を意味したとみられる。その絶対的な（誰がみても疑う余地がない）「ぴったり合う・当てはまる」状態から、意味の悪化・拡大の過程を経て、「ほどほどに・適度に当てはまる」という意味に移行したという解釈ができる。さらに、「ほどほどさ」の尺度というものは、個人によって相対的に異なるため、ずれが生じてくる。その度が過ぎればマイナス評価性の方向に移行してしまい、結局は、「きちんとしたところがなく無責任である」というところまで行き着いたということになる。つまり、「相当」は、意味の変化に相対化の概念が作用したということがいえそうである（「5.2.4 松井栄一（2008）」、「5.2.4.3 考察（「いい加減」の類義語グループ）」）。
- ・近年においては、「相当」の代表的三つの意味、「①ぴったり」「②ほどほど」「③だいたい／いい加減」に当てはまらないとみられるもの、つまり、「任意に、随意に、ランダムに」

といった意味が存在しているとみられる(「5.1 概論」)。筆者は、この種の用法における「適當」を、「随意(任意)の適當」としておく(「5.2.6 窪菌晴夫(2017)」)。

・「適當」と、同音の異体字「的當」は、少なくとも近代(明治・大正期あたり)までは、併存していたとみられる。ただし、近代においては、「的當」の用例は少数である。日本においては、近世期あたりまで、「的當」の表記が主として使われていた可能性が示唆される。一方、「適當」という語は、歴史的にみれば、主に近代以後になってから使われ始めたようである。したがって、「適當」は、「中国古典漢語を復活させて用いた翻訳語」(沖森・肥爪(2017))の一種とみなされる可能性も否定できない(「5.2.5 増井金典(2012)」、「5.2.5.2 「適當」と「的當」の関係性」等)。

・近代(特に明治期)、「適當」と「的當」がほとんど同義のものとして存在していたとみられる。ただし、明治期においては、すでに「適當」の表記形のほうが圧倒的優勢を保っていたということが資料の検証からうかがえる(「5.3.2 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「適當」の意味記述」)。

・「適當」には、感情を抜きにして客観的に評価するという傾向がみられる。一方、「適當」の類義語とされる「いい加減」「ほどほど」は、発話者の感情をこめやすいという傾向がみられる(「5.2.1 門倉正美(1996)」)。

・「適當」という語の意味解釈は、未だに辞書によって異なる。したがって、ゆれが認められるということになる(「5.2.2 森田良行(1996)」、「5.2.2.2 考察(「適當」の程度性)」)。

・「適當」を核にした類義語グループをまとめると相当に語数が多くなる。これは、「適當」の語の使用域が相当に幅広いといった理由によるものと考えられる(「5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順(1998)」、「5.2.3.2 類義語を通して見た「適當」(まとめ)」)。

第6章 微妙

6.1 概論

「微妙」という語は、漢語由来、特に仏教系の用語として日本に移入されたものとみられる。本来、「非常に程度の高い称赞」を意味したようである。中国古典籍に典拠を求めると、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「五行之道，天地自然。六甲之分，微妙之神。」（《先秦兩漢》《兵家》《六韜》[戰國] 紀元前 475-221 年《龍韜》《五音》1）が挙げられる（「6.9.10 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）」、「6.9.10.1 検索語：「微妙」、資料番号“17”）。

ここで、『日本佛教語辞典』、「微妙」の項目をみると、「微妙（みみょう）：何とも言えないほどに素晴らしい」とある。ちなみに、「微妙」は、仏教用語では呉音読みで「みみょう」となり、現代語の「びみょう」は、漢音読みとなる¹²⁸。

中古期の『今昔物語集』においては、「微妙」が重要なキーワードとして現れる。そこでは、「微妙なり」「微妙（めでた）し」という形で多く用いられた（下述、「6.2.5 木村紀子（1992）」参照）。例を挙げると、「微妙（みめう）ノ音ヲ挙テ誦シテ」「微妙（めでたき）事并無シ」等々である（下述、「6.9 「微妙」の実例」、「6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）」参照）。

近代期においては、例えば、『言海』（1889~91：明治 22~24）には、「微妙：奥深く妙なること」とある。これは、「奥深く、幽玄な妙味」といったような、やや深淵な語感もあったようである（下述、「6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

一方、現代における「微妙」は、大きく二つの意味を持つ。端的にいえば、「①一言では言い表せない趣があること」「②どちらともはっきり言い切れない状態」である。しかし、近年（2000 年代初頭あたり）、上記②の意味に、マイナス評価性が加わった「否定的な気分を婉曲にあらわす語」としての「微妙」の用法というものが現れている（下述、「6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）。それに付随して、2002

¹²⁸ ただし、厳密にいえば、現代語の「微妙（びみょう）」は、「微（び）」のほうが漢音読み、「妙（みょう）」のほうが呉音読みといった、ハイブリッド的要素を持つ（下述、「6.2.1 佐藤喜代治（1979）」、「④」参照）。

年には、カタカナ表記の「ビミョー」（マイナス評価性）が流行語になったという経緯もある（下述、「6.2.6 稲増龍夫（2003）」、「6.2.10 米川明彦（2019）」参照）。したがって、現代の「微妙」は、「美しさや味わいが趣き深くすぐれている」といったプラス評価性の意味と、「どちらかといえば良くない」といったマイナス評価性の意味を双方持つ、反義併存性を示す語であるといえよう。

ここで、上記、マイナス評価性の「微妙」（ここでは「ビミョー」）の例を以下に挙げてみる（『続弾！問題な日本語』（2005）、「目次」、「微妙」の項目から抜粋）。

ママのカニ玉、お味はどう？「…ビミョー」

パパの昇進、そろそろかしら？「…ビミョー」

…人生、「…ビミョー」としか答えられない時もある。

上記の例は、現代語（主に平成期）における「微妙（ビミョー）」の典型例の一つともいえよう。ここでは、カタカナ表記の「ビミョー」が、ものごとを判断する場面状況で、「どちらかといえばよくない」つまり、マイナス評価性の意思表示として使われている（下述、「6.2.8 矢澤真人（2008）」参照）。

以上、「微妙」の変遷と反義併存的な側面について概観した。次節以降では、「微妙」について、共時的および通時的観点から、先行研究・辞書等の資料を基とした上で総合的考察を行う。

6.2 先行研究および資料

本節においては、「微妙」に関連した先行研究および資料を取り上げ、まとめた上で論点を整理し考察を行う。

6.2.1 佐藤喜代治（1979）

6.2.1.1 仏教語としての「微妙」

佐藤喜代治（1979）『日本の漢語』、「中世の漢語」、「微一（微妙・微笑・微塵）」の項目（p.349~350）に、仏教語出自の「微妙」についての記述がみられる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

①『太平記』、「祇園精舎」の解説のくだりに、「微妙」がみられ、寛永8(1631)年版本には、「微」の字に「ミ」のふりがな表示がみられる。

②易林本『節用集』には「ミメウ」とある。『日葡辞書』には“mimiô”とあり、語釈として“Quidocuna coto”(*表記はママ:「奇特なこと」であろう)とある(*以下a, bは本文中の例/下線は筆者による)。

a『太平記』巻24

須達長者願望を遂げて祇園精舎を建てしかば、嚴浄の宮殿、微妙の浄刹、一生補処の菩薩、聖衆、この中に来至し給へば、人天大会、悉く渴仰の頭を傾けける。

b『法華経』「法師功德品の偈(げ)」(*訓点省略)

聞諸天声 微妙之歌音 説微妙法持此法華者悉皆得聞之

③上記②bの『法華経』の例をみると、そこにみられる「微妙」は、「極めてすぐれている」という意味で用いられている。

④かつて、「微妙」は仏典に多くみられたことから「ミメウ」と呉音で読まれた。しかし、近世になって漢音が優勢になった影響もあり、「微」を「ビ」と読むようになった。「妙」については呉音が「メウ」、漢音が「ベウ」であり、本来の漢音読みでは「ビベウ」となるはずである。ただし、「妙」については呉音の影響力が強く、現代に至っても呉音読みで「ミョウ」のままである。

⑤現在(1979年時点)、「微妙」は英語“delicate”の日本語訳として用いられるが、柴田昌吉・子安峻(1882:明治15)『増補訂正 英和字彙』には、「精細/美麗/柔軟/美味/嬌艶/温和/文雅/柔弱/優厚」とあり、「微妙」はみられない。

⑥「微妙」が(*英語“delicate”の)訳語として用いられるのは、もっと後になってからのことかと思われる。

6.2.1.2 考察(「微妙」と“delicate”との関連性)

以上、概観すると、佐藤は「微妙」の出典例として、上記②『(易林本)節用集』・②『日葡辞書』・②a『太平記』・②b『法華経』を挙げている。特に、②b『法華経』においては、「微妙」は「極めてすぐれている」という意味で使われている、とある。ここから、中世においては、仏典を出自とする「微妙」が、程度の高いプラス評価を伴って使われていたということが示唆される。

上記④では、仏典出自の「微妙」は「みみょう」と呉音読みし、近世期に漢音読みで「び

みょう」と読むようになった、とある。ただし、「みみょう」のほうが後々に消滅したというわけではなく、近代期までは、「みみょう」と「びみょう」が併存していたとみられる。

例えば、『和英語林集成 初版』（1867：慶應 3）には、見出し項目に、“† MI-MIYŌ, ミミヤウ, 微妙¹²⁹”とあり、意味記述は、“Exceeding small.”（*筆者訳：極めて小さい）とある。ただし、“†（*ダガー）”マークが付いているため、当時において古語扱いの語ということになる。ちなみに、『和英語林集成』において、「びみょう」の読みのほうは、「第三版」にて“BIMYŌ ビメウ 微妙”として初出する（下述、「6.3.1『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

なお、上記⑤ ⑥にある、英語“delicate”の日本語訳としての「微妙」について少々触れる。現代こそ、「微妙」の類義語として、「デリケート (delicate)」をたやすく連想できる。しかし、明治の前期についていえば、それは当てはまらなかったようである。例えば、『和英語林集成 第三版』（1886：明治 19）には、“BIMYŌ ビメウ 微妙”の意味記述として、“abstruse, recondite.”（*筆者訳：明かでない、分かりがたい、深い、奥義、秘密な）とある（下述、「6.3.1『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

一方、『増補訂正 英和字彙』（1882：明治 15）の“abstruse”の見出しを参照したところ、やはり、「微妙」の記述がみられた。以下に、“abstruse”の意味記述を示した（下線は筆者による）。

Abstruse（*発音記号は省略）, a. 隠レタル。暗キ。微妙ナル。解シ難キ。秘密ナル

つまり、明治の前期においては、「微妙」の英訳として“abstruse”が当てられていたようである。ただし、“abstruse”の意味記述には、「隠レタル。暗キ。解シ難キ。」等とあるように、若干のマイナス評価を想起させる。これについては、上記③の中世期における「極めてすぐれている」と比較すれば相当なずれがあることがわかる。ちなみに、『和英語林 第三版』、“BIMYŌ ビメウ 微妙”のもう一つの英訳、“recondite.”について、『増補訂正 英和字彙』には、「秘密ナル。奥妙ナル」等の記述がみられたが、「微妙」の記述はみられなかった。

次に、下述、「6.3.2」で扱った、J. H. Gubbins（ガビンズ）（1889：明治 22）『A dictionary

¹²⁹ 表記は目偏に「少」の、「眇」である。

of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』、「第一冊」においても、「微妙」がみられた。それによると、“Bi-miō|(微)妙,”は、“wonderful; extraordinary; admirable; remarkable; marvelous.”とある。ここでは、まだ英訳としての“delicate”はみられない¹³⁰。しかし、ここでの英訳は、上記③『法華経』における「微妙」の意味、「極めてすぐれている」とぴったり当てはまるところが興味深い。おそらく、明治期においては、依然、仏教語起源の「最大限の賞賛」といった意味の影響を残していた可能性もある。

続いて、『増補訂正 英和字彙』（1882：明治 15）より四半世紀ほど後の、佐久間信恭・廣瀬雄編（1909：明治 42）『和英大辞林』、「微妙」の見出しをみると、“Bimyō, 微妙。a. Delicate; subtle.”とあり、ついに「微妙」の英訳としての“delicate”が現れることとなる。

さらに、上記、『和英大辞林』から10年ほど後の、武信由太郎編（1918：大正 7）『武信和英大辞典』、「微妙」の見出しをみると、“bimyō(微妙). ① n. Delicacy(精巧); subtlety(精微) ② ~na. a. Delicate; subtle; ethereal(捕捉すべからざる).”とあり、上記『和英大辞林』と同様に、「微妙」の英訳としての“delicate”がみられた。

補足として、昭和前期の岡倉由三郎編（1933：昭和 8）『研究社 新和英中辞典』、“bimyō 微妙”の見出しをみると、“微妙な delicate; subtle; nice; fine; ethereal(靈妙な).”とあり、やはり、“delicate”がみられた。この時点で、“delicate; subtle; nice; fine.”と、現代における「微妙」の英訳とほぼ同じものが示されたことになる。

以上、明治期から昭和前期にかけての「微妙」と“delicate”との関連性について少考した。なお、上記⑥には、「「微妙」が(“delicate”の)訳語として用いられるのは、もっと後になってからのことかと思われる。」とある。ただし、以上の考察も考慮すれば、英語“delicate”の日本語訳としての「微妙」、あるいは「微妙」の英訳としての“delicate”については、おそらく、明治の後期(30年代後半から40年代にかけて)あたりに定着したのではないかと考えられる。

6.2.2 佐藤喜代治（1998）

6.2.2.1 謡曲における仏教語出自としての「微妙」

佐藤喜代治（1998）『漢語漢字の研究』、「漢語」、「謡曲における仏教語」に、仏教語出

¹³⁰ ただし、“Mio 妙”の項目には、“delicate”の意味記述がみられた（「6.3.2『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「微妙」参照）。

自としての「微妙」についての記述がみられる。以下、謡曲と仏教語との関係について、主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①謡曲には仏教語が多く用いられている。近世、謡曲が日本文学、広く日本人の生活に影響を及ぼしたことにより、通俗化した仏教語もみられる。

②謡曲では、仏教語が必ずしも仏典におけるものと同様に正確に伝えられているわけではなく、種々の用法を明らかにすることは、日本語の語彙史の研究に役立つと考えられ、この見地から謡曲における仏教語の考察を試みた。

③謡曲は、近世、いわゆる一般教養のひとつとして、文学・芸能に与えた影響も大きい。

④謡曲の内容としては、古典、特に軍記物を素材とした作品が多く、したがって、軍記物出自の仏教語を用いた表現が多く、謡曲の普及に伴い、その仏教語も淘汰を経て、日常語として広まっていったと考えられる。

⑤謡曲と仏教との関係については、謡曲における仏教思想として、法華経思想と、その思想に基づいた天台宗、浄土信仰・阿弥陀仏、真言密教、および両部神道と修験道が挙げられるが、特に禅宗については、その思想が顕著ではない。

（*以下、謡曲にみられる『法華経』由来の語の例。その中に、「微妙」がみられた。以下に主なものを挙げた¹³¹。／下線は筆者による）

悪口／悪魔／擁護／降伏／我慢／歓喜／快樂／現世／修行／出生／寿命／

世界／世間／地獄／知識／人間／不思議／妄想／微妙／未来 等々

⑥これらの語は、『法華経』のみならず、他の仏典にも多くみられるが、『法華経』の流布に伴いこれらの語が広まったことは否定できないであろう。

⑦また、『法華経』由来の語が『平家物語』に多くみられ、それが謡曲にも投影されており、『法華経』が国語に与えた影響は大きい。

6.2.2.2 考察（謡曲にみられる「微妙」）

以上、「謡曲における仏教語」を概観した。まとめれば、謡曲が近世において文学・芸能に与えた影響は大きく、さらに、仏教語（特に、『法華経』由来のもの）が謡曲を媒介と

¹³¹ 本文 p.69, 70 の資料より、特に現代語においても多く使われると考えられるものを抜粋した。現代、よく使われる日常語に仏教語出自のものが少なからずあることがわかる。

して、世間に広まっていったということになる。つまり、ここで佐藤が示した仏教語の世間への伝播のルートは、「法華経→軍記物語→謡曲→世俗化」ということになろう。それら謡曲における『法華経』由来の語の中に、「微妙」がみられた。

仏典出自の「微妙（みみょう）」は、『例文 仏教語大辞典』（1997）によると、「計り知れないほど勝れていること。言うにいけない見事さ。味わいなどの奥深いこと。」とある。いわば、当時最上級のほめことばであったようでもある。一方、現代の「微妙」についてみると、用法によってはマイナス評価性のものもあり、近世以前と比較すれば、やや意味の下落、あるいは悪化が進んでいるようである。

なお、以下に、参考として謡曲集からの「微妙」の実例資料を示した（下述、「6.9「微妙」の実例」、「6.9.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、「6.9.1.1 検索語：「微妙」」、資料番号“12”、“13”より／下線は筆者による）。

地謡 守るべし守るべしやな、君の恵みも今この時、

ツレ 時至るなり時至る、

地謡 感応あれば影向微妙（やうがう みめう）の、相好莊嚴まのあたりに、ありがたや。（資料番号“12”、謡曲集 脇能 賀茂 出端 p.64）

地謡 深達罪福相、遍照於十方(中央へ行く)、

シテ（経巻を開いて）微妙浄法身（みめう じやうほつしん）、具相三十二、

地謡 以八十種好、

シテ 用莊嚴法身、

地謡 天人所戴仰、竜神咸恭敬。あらありがたの、御経やな（大小前へ下がり、経巻をいただく）。（資料番号“13”、謡曲集 切能 海人 出端 p.547）

6.2.3 佐藤武義（1984）

6.2.3.1 『今昔物語集』における「微妙」①

佐藤武義（1984）『今昔物語集の語彙と語法』、「第2章 今昔物語集の語法と語彙」、「第7節「目出」と「微妙」」に、「微妙」についての記述がみられる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①『今昔物語集』において、漢字で表記される語は多様性に富んでいるが、宛て字¹³²については記録語の反映とされているものの未だ明確には論じられていない。
- ②そこで、同一語を表すために複数の宛て字を持つ語の性格について考察するための一例として、「メデタシ」に宛てられたとみられる「目出シ」「微妙シ」を取り上げた。
- ③『今昔物語集』においては、「微妙」という語について、「微妙ナリ（ミメウナリ）」と表記する場合と「微妙シ（メデタシ）」と表記する場合との二通りに分けられる。
- ④使用分布としては、「微妙ナリ（ミメウナリ）」は漢文訓読文脈の著しい巻20以前に多く用いられ、「微妙シ（メデタシ）」は本朝部（巻11以降）に多く用いられる傾向がある（*下述、「6.9「微妙」の実例」、「6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）」も参照）。
- ⑤「微妙ナリ（ミメウナリ）」が形容する対象を例示すると、主なものとして、「莊嚴・建物・衣服類・財宝・音楽・女（一部抜粋）」等が挙げられ、文脈上、「何とも言えないほどすばらしい、立派である」の意味で用いられる。
- ⑥一方、「微妙シ（メデタシ）」が形容する対象として、「建物・衣服・財宝・音楽・女・人・説経講説文章類（一部抜粋）」等が挙げられ、「微妙シ（メデタシ）」は、「微妙ナリ（ミメウナリ）」と類似の語義を有しているとみられる。
- ⑦さらに、「微妙ナリ（ミメウナリ）」が形容する対象は、概して感覚に関する語である。
- ⑧一方、「微妙シ（メデタシ）」については、「微妙ナリ（ミメウナリ）」よりは広い範囲で使われ、抽象的な語にも多く用いられている。
- ⑨「第7節「目出」と「微妙」のまとめとして以下の三点（a, b, c）を挙げる。
- a. 「目出シ」と「微妙シ」とは同時に現れることがなく、相補的に分布しており、「微妙シ」は「メデタシ」と読む。
 - b. 「目出シ」と「微妙シ」は、主に和文脈に用いられ、「微妙ナリ（ミメウナリ）」は、漢文訓読文脈に主に用いられる。
 - c. 「メデタシ」には「微妙シ」が主に用いられ、「目出シ」が劣勢であるのは、「目出シ」が宛て字としてまだ一般化しておらず、その形成期であったためである。したがって、「メデタシ」の類義語とみられる漢語「微妙」を「メデタシ」の宛

¹³² 本来は、「当て字」とするものと思われるが、原文に準じて「宛て字」とした。

て字に使用したようである。

6.2.3.2 考察（「微妙」と「メデタシ」）

以上、「目出」と「微妙」について概観した。まとめると、『今昔物語集』では、「微妙」が「微妙ナリ（ミメウナリ）」と「微妙シ（メデタシ）」と二通りの表記があるとしており、両者ともに「何とも言えないほどすばらしい、立派である」の意味で使われるという。肝要なのは、「微妙」という語に「メデタシ」というプラス評価性の語を当てて読ませているという点にある。

ここで、上記⑨bには、「目出シ」と「微妙シ」は、主に和文脈に用いられ、「微妙ナリ（ミメウナリ）」は、漢文訓読文脈に主に用いられる。」とある。ただし、これについては、筆者が実際に『今昔物語集』の用例にあたったところ例外もあるようで、絶対的なものとはいえないようである。

なお、『今昔物語集』において、「微妙」は非常に重要な役割を果たしている語の一つとみられる（下述、「6.2.5 木村紀子（1992）」参照）。したがって用例も豊富にみられる。『今昔物語集』における「微妙」の用例については、下述、「6.9 「微妙」の実例」、「6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）」に示した。

6.2.4 高橋貢（1984）

6.2.4.1 『今昔物語集』における「微妙」②

高橋貢（1984）『今昔物語集』の「微妙シ（メデタシ）」と「貴シ」（上）」に、「微妙」についての記述がみられる。以下に、主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①『今昔物語集』において、「微妙シ（メデタシ）（「微妙」「目出タシ」含む）」と「貴シ（「貴ブ」「貴ム」含む）」、両語の扱い方には違いがあり¹³³、そこから、『今昔物語集』の一性格、あるいは『今昔物語集』撰者の立場・考え方について言及する。

②『今昔物語集』では、「微妙シ」と「貴シ」には使われ方に区別がある。特に仏道に関することを高く評価する場合には、「微妙シ」より「貴シ」を用いる傾向がある。

¹³³ 「微妙シ（メデタシ）」も「貴シ」も、何らかの対象（もの、人）を称賛する文脈で使われるが、その対象（もの、人）の種類によって、両者を使い分ける、という主旨となる。

(*高橋は、「微妙シ」との関連で、日本古典文学大系二冊目補注 (p.424)、「微妙 (みめう)」の項を引用している。下記③に、一部抜粋した)

③何とも形容しがたい程、すばらしい、結構な、りっぱな、という意に使われることが多く、その視覚に関するものは、綺麗などか美しいとかの意識、また聴覚に関するものは、綺麗な、嗅覚に関するものは、よい、というような分化した口訳がその場その場に応じて考えられる。…ただし…全部に共通する用法は、和語のイメージに相当する意を持ち、何によらず、その程度の並々ならぬことを表わすものと理解される。

④「目出タシ」「微妙」「微妙シ」各語がどのような場合、どのような意味に用いられるかについては (以下、例の部分一部抜粋、a から i まで / 下線は筆者による)、

「a. 美人の形容 (有様微妙キヲ撰ビ)」、「b. 瓔珞・財宝のすばらしさ・見事さの形容 (種々の目出タキ瓔珞)」、「c. 現世の栄華をたたえる場合 (北家微妙ク栄へ)」、「d. 和歌の上手を評価して用いる場合 (和歌ヲ微妙ク読ミケル)」、「e. 極楽を意味する場合 (目出タキ所)」、「f. 奇瑞の光を形容する場合 (微妙キ光)」、「g. 奇瑞の音楽を形容する場合 (微妙キ音楽ノ音)」、「h. 法令・儀式を形容する場合 (儀式…微妙クシテ)」、「i. 誦経の声を形容する場合 (其ノ音微妙ニシテ)」

等があり、具体的あるいは抽象的、人物の才能・行為に関わる、並々でなく、すぐれた意味に用いる。

⑤しかし、例外として、仏や靈驗、聖人、あるいは仏道修行や往生についてほめたたえ形容する場合に「微妙シ」が用いられる例はほぼなく、その場合は、「貴シ」「貴ブ」が主に用いられる。

6.2.4.2 考察 (「微妙」と「いみじ」の関連性)

以上、高橋は、上述、「6.2.3 佐藤武義 (1984)」とは視点を変え、「微妙シ (メデタシ)」と「貴シ」についての比較を行っている。「微妙シ」については、上記③に、「何とも形容しがたい程、すばらしい、結構な、りっぱな、という意に使われる」とあるように、『今昔物語集』においては、最上級の賞讃のことばとして使われていたことは間違いない。さらに、上記③では、「(「微妙 (みめう)」について) 全部に共通する用法は、和語のイメージに相当する意を持ち、何によらず、その程度の並々ならぬことを表わすもの」とあり、「微妙」の類義語として、「いみじ」を挙げている。

ここで、実例資料を基に「微妙」と「いみじ」の関係性についてみると、『今昔物

語集』において、ごく少数ながら「微妙」を「微妙（いみ）ジク」と読ませる例がみられる。これについては先行研究に指摘がないようである。参考として以下に示した（下述、「6.9「微妙」の実例」、「6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）」、「6.9.2.2 検索語：「微妙（めでた）し」「微妙（いみじ）く」（熟語訓）」、資料番号“47”、“56”より／下線は筆者による）。

天皇此レヲ披（ひらき）テ御覽ズルニ、先ズ書様（かきざま）ニ微妙（いみ）ジクテ、道風ガ書タル露不劣（つゆおと（ら）ず）ラ、（資料番号“47”、卷第二十四 本朝 世俗に付く 延喜の御屏風に伊勢の御息所和歌を読む語 第三十一 p.322, 326, 327）

此様（かやう）ニ習ハシ立テ、我ハ刀ヲ微妙（いみじ）ク磨（とぎ）テ持タリ。東ノ人妻ニ云ク、「我ハ其御代ニ死侍リナントス。（資料番号“56”、卷第二十六 本朝 宿報に付く 美作の国の神漁師の謀に依りて生贄を止むる語 第七 p.495）

「道風ガ書タル露不劣（つゆおと（ら）ず）ラ、」（資料番号“47”）、「我ハ其御代ニ死侍リナントス。」（資料番号“56”）といった表現からすると、漢文訓読系の文体で「微妙（いみ）ジク」「微妙（いみじ）ク」が用いられていることがわかる。ただし、筆者が確認できた『今昔物語集』、「本朝部」の資料からは、「微妙」を「微妙（いみ）ジク」と読ませる例は、以上の二例のみであった。したがって、『今昔物語集』においては特殊なケースとみられる。

さらに、江戸時代後期の近世小説（読本¹³⁴）、『近世説美少年録』（曲亭（滝沢）馬琴作、1829~32 年成立）には、「微妙」と表記して、熟字訓的に、「微妙（いみじ）く」と読ませる例がみられる。なお、『近世説美少年録』においては、「微妙」は、すべて「微妙（いみじ）く」の形式で現れるとみられる。以下に、参考として実例資料を示した（下述、「6.9「微妙」の実例」、「6.9.1 上代から近世（日本古典文学全集）」、「6.9.1.1 検索語：「微妙」」、資料番号“17”より／下線は筆者による）。

はやく討手の軍将をもて、誅伐せしめ給はん事、勿論に候べし」といひつゝ傍を見か

¹³⁴ 「読本」は、近世小説のジャンルの一つである。他の近世小説のジャンル（仮名草子・浮世草子等）と比較すれば、字数が最も多く、むずかしい漢語を多用し、文章が主、挿絵が従といった特徴を示すという（『日本古典文学全集』、『近世説美少年録』、「古典への招待」より）。

へれば、義興莞爾とうち笑て、「現微妙（げに いみじ）くもいはれしものかな。（資料番号“17”、近世説美少年録 第一輯 巻 第一回 諫を拒て管領古廟に陳す／屯を驚して水火 驕將を懲す p.33）

現代語訳によると、「(まことに) 適切なことを (おっしゃいましたな。)」とある。なお、「いみじ」については、『旺文社 古語辞典 第10版 増補版』によると (一部抜粋)、「①はなはだしく。なみひととおりでなく。非常に。著しく。② (ほめる場合に使う) よい。すぐれている。すばらしい。えらい。③ (望ましくない場合に使う) 大変である。ひどい。恐ろしい。すごい。悲しい。」とある。さらに、「語感」欄の記述として、「程度がはなはだしく、不吉が予想され、忌み避けたい感じ。」とある。したがって、古語「いみじ」は、プラス評価性とマイナス評価性が共存する反義併存性を示す語であるとみられる¹³⁵。『近世説美少年録』においては、上記②「よい。すぐれている。すばらしい。えらい。」という意味で使われているとみられる。

なお、『近世説美少年録』は、近世小説のジャンルの一つ、「読本」に属するものである。「読本」は、他の近世小説のジャンル (仮名草子・浮世草子等) と比較すれば、字数が最も多く、むずかしい漢語を多用し、文章が主、挿絵が従といった特徴を示すという (『日本古典文学全集』、『近世説美少年録』、「古典への招待」より)。このような背景を考慮すると、曲亭 (滝沢) 馬琴は、格調高い漢文体を維持するため、和語系の「いみじ」に対し、それに類する意味を持つと考えられる漢語系の「微妙」を当てたということになるだろう。したがって、近世期における「微妙」は、漢文訓読系の硬めの文章に用いられた文語的な要素の強い語であったといえそうである。これは、「微妙」と表記して「いみじ」と読ませたという事実が一つの根拠となる。ここから、近世後期においてもなお、日常語レベルでは「微妙 (みみょう)」という語が使われるということはまれであったということが示唆される。

6.2.5 木村紀子 (1992)

6.2.5.1 『今昔物語集』における「微妙」③

木村紀子 (1992) 「今昔物語集の用字意識」に、同一用字を漢語・和語に併用している

¹³⁵ なお、古語「いみじ」は、下述、「第7章」で扱う「やばい」との関連性もみられる。「いみじ」と「やばい」は、語の成り立ち、反義併存性 (マイナス評価からプラス評価への移行) といった点において類似性が非常に高い (下述、「第7章 やばい」参照)。

「微妙（ミメウ）－微妙（メデタ）シ」についての記述がみられる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①『今昔物語集』の中で、現代の用字意識からは目立って特異な用字と映る一群に、いわゆる情意性形容詞の一部の用字がある。
- ②例えば、「不審（イブカ）シ／可咲（オカ）シ／器量（イカメ）シ／微妙（メデタ）シ／奇異（アサマ）シ」等である。これらは漢文訓読が先行したとみられる例（A 訓読系）である。一方、「糸惜（イトヲ）シ／六借（ムツカ）シ／墓无（ハカナ）シ／破无（ワリナ）シ／目出（メデタ）シ」等は B 宛字系である。
- ③「A 訓読系」として挙げられたもののうち、「微妙（メデタ）シ」「奇異（アサマ）シ」は、『今昔物語集』の情意性形容詞全般の中でも際だって頻出するものである。また、両者ともに「微妙（ミメウ）ノ・微妙（ミメウ）ナリ」「奇異（キイ）ノ・奇異（キイ）ナリ」という漢語的用法も頻出する。
- ④このうち、「微妙」については、「微妙（ミメウ）ナリ」「微妙（メデタ）シ」という形で多用される。それはあたかも源氏物語の「あはれなり」、枕草子の「をかし」に匹敵する『今昔物語集』を代表する褒め詞といえる。
- ⑤『今昔物語集』全31巻のうち各巻ごとの「微妙（ミメウ）」と「微妙（メデタ）シ」の分布を調査すると、「微妙（ミメウ）」については巻15に頻出する。
例：極楽浄土の「微妙（ミメウ）ノ音楽」「微妙（ミメウ）ノ莊嚴」
- ⑥一方、「微妙（メデタ）シ」については巻19に頻出する。
例：現世における「微妙（メデタ）ク時メキ御マス」人々への賛美。
- ⑦概して、「微妙（ミメウ）」は観念的な形容に、「微妙（メデタ）シ」は実感的な形容といえる。
- ⑧「微妙（メデタ）シ」「奇異（アサマ）シ」については、『今昔物語集』の編者が格別の関心を払って用字の選定をした可能性がある。
- ⑨前半、天竺（*インド）・震旦（*中国）部で「目出（メデタ）シ」（B 宛字系）を多く用いながら、（編者が）漢文出自の物語を記述する過程で、「微妙」（*という表記）こそ、まさに「メデタシ」のことであるとひらめきを得て、本朝部以降はこだわりを持ってその字を用いたのではないだろうか。

6.2.5.2 考察（「微妙（ミメウ）」と「微妙（メデタ）シ」）

以上、「今昔物語集の用字意識」を概観した。ここでも、上述、「6.2.3 佐藤武義（1984）」と同様に、「微妙（ミメウ）」と「微妙（メデタ）シ」について取り上げている。木村は、上記④では、『今昔物語集』における「微妙」は、「微妙（ミメウ）ナリ」「微妙（メデタ）シ」という形で多用され、それはあたかも源氏物語の「あはれなり」、枕草子の「をかし」に匹敵する『今昔物語集』を代表する褒め詞といえる、と述べる。確かに、下述「6.9 「微妙」の実例」、「6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）」の用例をみてもわかるように、「微妙（ミメウ）ナリ」「微妙（メデタ）シ」は、たいていが物語の展開部において効果的に用いられる場合が多いようである。

上記⑨では、「前半、天竺（*インド）・震旦（*中国）部で「目出（メデタ）シ」（B宛字系）を多く用いながら、（編者が）漢文出自の物語を記述する過程で、「微妙」（*という表記）こそ、まさに「メデタシ」のことであるとひらめきを得て、本朝部以降はこだわりを持ってその字を用いたのではないだろうか。」と推測している。

これについては、上述、「6.2.3 佐藤武義（1984）」、「6.2.3.1 『今昔物語集』における「微妙」①」、「⑨の例 a」に、「「目出シ」と「微妙シ」とは同時に現れることがなく、相補的に分布している」との指摘がある。つまり、上記⑨の木村の論をかみ砕くと、（『今昔物語集』の）編者は前半、天竺・震旦部において、賞賛のことばとして、「目出（メデタ）シ」を用いていたが、本朝部の編纂にあたり、和語「めでたし」と、漢語「微妙」の語感がぴったり当てはまることにひらめき、「微妙」の表記を与え、「微妙（めでた）し」と訓読みさせた、といった解釈になろう。

6.2.6 稲増龍夫（2003）

6.2.6.1 マイナス評価性のカタカナ表記「ビミョー」

『朝日現代用語『知恵蔵 2003』別冊付録 ことばの知恵袋 [とっさの日本語便利帳]』、「社会生活で役に立つ！編」、「タウンことば（稲増龍夫記述）」に、カタカナ表記「ビミョー」の項目がみられる。以下に論旨をまとめた（便宜上番号をつけた）。

①物事や人物に対して肯定とも否定とも断定しない、まさに「あいまい」な評価の表現。

②ただし、言外には、否定的ニュアンスがやや強い。

上記『とっさの日本語便利帳』は、2003年1月1日発行とあるので、2002年の内容を反映している。2002年といえば、下述、「6.2.10 米川明彦（2019）」にあるように、カタカナ表記の「ビミョー」が流行語とされた年である。

上記①では、「ビミョー」を「肯定とも否定とも断定しない、まさに「あいまい」な評価の表現」としている。これだけみれば特にプラス・マイナスの評価はない。しかし、②には、「ただし、言外には、否定的ニュアンスがやや強い。」ともある。つまり、稲増によると、カタカナ表記の「ビミョー」は、ややマイナス評価の語感を伴うといったことになる。ここから、語の表記の違いが、意味に何らかの影響を及ぼすといったことが示唆される（「表記」については、上述、「2.7 表記の多様性」、「2.7.1 佐竹秀雄（2000）」、「2.7.2 笹原宏之（2017）」、「2.7.3 佐藤亨（1993）」も参照）。

6.2.7 文化庁（2005, 2015）

6.2.7.1 『国語に関する世論調査』における「微妙」

文化庁（2005）『平成16（2004）年度 国語に関する世論調査』（平成17（2005）年1月調査）における「Ⅱ 調査結果の概要」、「21. 言い方の使用頻度」、および、文化庁（2015）『平成26（2014）年度 国語に関する世論調査』（平成27（2015）年1月調査）における「Ⅱ 調査結果の概要」、「22. 言い方の使用頻度」において、「微妙」についての設問がみられた。

ここでは、「平成17（2005）年1月調査」、および、「平成27（2015）年1月調査」における「微妙」の使用頻度に対する意識調査を比較・対照し、10年間の変化の過程を概観してみる。まず、「平成17（2005）年1月調査」における回答表の一部を以下に示した。

「平成17（2005）年1月調査」

問 21 [回答表] あなたは、ここに挙げた（1）から（6）の言い方をすることがありますか、それともありませんか（*（5）「微妙」の項目のみ抜粋）。

（5）いいか悪いかの判断がつかないときに「微妙（びみょう）」と言う（*下線はママ）

さらに、上記（5）の回答結果について、以下にまとめた（便宜上番号をつけた）。

①「ある（計）」（「よくある：17.3%」「ときどきある：40.4%」の合計）の割合は、57.8%

と過半数に及ぶ。一方、「ない（計）」（「ない：29.5%」「ほとんどない：12.3%」の合計）の割合は、41.8%である。

②地域ブロック別では、すべての地域ブロックで「ある（計）」と回答した人が5割を超え、北海道（63.8%）、中部（60.1%）、中国（64.8%）、四国（62.7%）では6割を超えている（関東は58.1%）。

③性別では、「ある（計）」の割合は、男性のほうが若干高く（59.7%：女性は56.2%）、性・年齢別では、「ある（計）」の割合は、男女ともに年代が低いほどに高くなり、男女の16～19歳および女性の20代では9割を超えている。さらに本文付属表17にて詳細をみると、男女の30代では8割弱、男女の40代では6割強となっている。

6.2.7.2 考察（「微妙」と「ビミョー」の混同）

以上、概観すると、ここでは、問いとして、「いいか悪いかの判断がつかないときに「微妙(びみょう)」と言う」とあり、それに対する回答として、②全地域ブロックで「ある（計）」と回答した人が5割を超えた、とある。

ただし、ここで気になることは、「AかBか判断つけがたいとき」に「微妙」を用いるという現象は、ことさら新しい表現方法といえるものではないということである（下述、「6.2.8 矢澤真人（2005）」参照）。筆者は、この用法については、プラス評価・マイナス評価のどちらにも当てはまらないと認識する。

しかし、「微妙」とマイナス評価の伴うカタカナ表記「ビミョー」とを混同させてしまい、解釈が混乱しているという事例もある。例えば、読売新聞朝刊、2005年7月13日付けの記事に、文化庁の『国語に関する世論調査』についてのものがあつた。以下に抜粋する（下線は筆者による）。

「2005/07/13 若者ことば使ってます 迷った時の「微妙」…60歳以上も4割／文化庁調査 東京朝刊」

いいか悪いか判断がつかないときに「ビミョー（微妙）」という言葉を使う人が全世代で約6割に上ることが、12日発表の文化庁の調査で分かつた。（中略）—若者ことば 若者ことばや、ぼかし表現についての調査で、幅広い世代への浸透が判明したのは、「微妙」という言葉。使う人は全世代で57.8%に登り、10代では9割を越え、60歳以上でも4割近かつた。

上記の記事においては、「ビミョー（微妙）」とある。一方、『国語に関する世論調査』の設問は、「いいか悪いかの判断がつかないときに「微妙（びみょう）」と言う」とあり、つまりは、漢字表記としての「微妙」である。

上述、「6.2.6 稲増龍夫（2003）」にもあるように、「否定的ニュアンスがやや強い」のは、カタカナ表記のほうの「ビミョー」である。つまり、いいか悪いかの判断がつかないときに「微妙（びみょう）」と言い、どちらかといえばよくないときに「ビミョー」と言うわけである。そうすると、上記の新聞記事における、カタカナ表記の「ビミョー（微妙）」は、矛盾することとなる。

上述、「2.7.2 笹原宏之（2017）」では、「①表記が、ニュアンスを変える」、「⑤表記がイメージを超えた含意的な語義にまで変化をもたらす」とあるが、上記の新聞記事は表記と語義の関連性について考えさせるきっかけを与えてくれる。

6.2.7.3 調査の比較（「2005（平成17）年」および「2015（平成27）年」）

次に、「平成17（2005）年1月調査」および「平成27（2015）年1月調査」における「微妙」の設問における、「ある」の割合の比較を行った。以下、表にまとめたものを示した。なお、小数点以下は、切り捨てとした。パーセンテージの表示は省略した。最も高い数値は網掛け、最も低い数値はイタリック体とした。「性別・年齢」欄については、60歳以上は除外した。理由は、2005年と2015年で分類法が異なり、単純比較できないためである。

図表 6.1 : 文化庁 (2005, 2015) 「言い方の使用頻度」「微妙」の設問における「ある」の割合の比較

設問 (* 2005, 2015 共通)		いいか悪いかの判断がつかないときに「 <u>微妙 (びみょう)</u> 」と言う			
返答		ある	ある	備考	
調査年		2005	2015	・10年間の変遷について比較。	
総数		57	66	・全体では9ポイントの増加。	
性別	男	59	63	・男性は4ポイント増加。女性は12ポイント増加。 ・女性の伸び率は、男性の3倍。	
	女	56	68		
性別・年齢	男	16~19	95	91	・ほぼ全ての年代で数値が増加 (16~19のみ漸減)。 ・2005の最も高い使用率は16~19で95%。 ・2015の最も高い使用率は20~29で100%。 ・20~29は16ポイント増加。 ・30~39は9ポイント増加。 ・40~49は10ポイント増加。 ・50~59は10ポイント増加。
		20~29	84	100	
		30~39	79	88	
		40~49	62	72	
		50~59	48	58	
	女	16~19	97	95	・ほぼ全ての年代で数値が増加 (16~19のみ漸減)。 ・2005の最も高い使用率は16~19で97%。 ・2015の最も高い使用率は16~19/30~39で95%。 ・30~39は19ポイント増加。 ・40~49は19ポイント増加。 ・50~59は23ポイント増加。 ・10代から30代までは、95%前後の高い使用率。 ・年代が上昇しても比較的高い使用率。
		20~29	92	94	
		30~39	76	95	
		40~49	63	85	
		50~59	49	72	

6.2.7.4 結果

結果として、以下のことが判明した。

- ・「2005 (平成 17) 年 1 月調査」と、「2015 (平成 27) 年 1 月調査」の 10 年間の変遷について比較・対照を行った。
- ・「性別」についてみると、男性は 4 ポイントの増加、女性は 12 ポイントの増加であった。したがって、女性の伸び率は、男性の 3 倍であった。
- ・「性別・年齢別・男性」についてみると、ほぼ全ての年代で数値が増加した。ただし、「16~19 歳」のみ漸減した。「2005 年」における最も高い使用率は「16~19 歳」で 95% であった。「2015 年」における最も高い使用率は「20~29 歳」で 100% であった。「ある」の返答の割合は、「20~29 歳」は 16 ポイント増加した。「30~39 歳」は 9 ポイント増加した。「40~49 歳」は 10 ポイント増加した。「50~59 歳」は 10 ポイント増加した。
- ・「性別・年齢別・女性」についてみると、ほぼ全ての年代で数値が増加した。ただし、

「16～19歳」のみ漸減した。「2005年」における最も高い使用率は「16～19歳」で97%であった。「2015年」における最も高い使用率は「16～19歳」および「30～39歳」で95%であった。「ある」の返答の割合は、「30～39歳」は19ポイント増加した。「40～49歳」は19ポイント増加した。「50～59歳」は23ポイント増加した。女性については、「2015年」においては「10代から30代まで」は95%前後の高い使用率であった。さらに、年代が上昇しても比較的高い使用率であった。

6.2.8 矢澤真人 (2005)

6.2.8.1 問題な「微妙」

『続弾！問題な日本語—何が気になる？ どうして気になる？』（2005）では、「問題な日本語」の一つとして、「微妙」の項目がみられる（矢澤真人記述）。ここでは、Q&A方式により読者の質問に回答する形式をとる。なお、関連事項を上述、「6.1 概論」にも示した。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ① [質問]: 「微妙」「普通」の一言でなんでもすませる人がいるが、その意味がわからない。いったい何を言いたいのか。
- ② [答え]: 若者に感想を求めると、「これ、おいしい?」「うーん、微妙」等、「微妙」の一言のみ返ってくることもある。何と何との差が「微妙」なのか、聞き返したくなる人もいる。
- ③ 「微妙」は、「差が小さくて判断するのが難しい」を意味する。若者達の使う「微妙」も、この用法の一つである。
- ④ 従来の「微妙」は、「判断が困難なこと」を表すのみであった。一方、若者ことばの「微妙」は、「判断は難しいが、少なくとも自分はおいしくないほうに組み入れた」という点で異なる。
- ⑤ 「これ、おいしい?」に対する、「微妙。」という返答は、「あまりおいしくない」「少なくとも自分はおいしいとは判断しない」という否定的評価を表す。
- ⑥ 否定的評価を表す「微妙」は、従来もみられた。例えば、親が教師に、「うちの子供はこの高校、どうでしょうか」と問いかけ、「うーん、微妙ですね」と返された場合、ボーダーライン上でなく、「難しいのではないか」と解釈するであろう。これは、ボー

ダーライン以下のものもボーダーライン上を含める表現で、相手に配慮した上で否定的評価を伝えるものである。

⑦若者達の使う「微妙」は、この否定的評価の用法に由来すると考えられるが、否定的評価に固定される、あるいは、相手に配慮した場面以外で使われるという理由で、不自然に感じられることもある。

⑧以上のような「微妙」の用法には、答えをはっきり示すことを避ける、本心を言う前に相手の様子をうかがう、という文化的背景¹³⁶も一要因としてあるかもしれない。

⑨本来、差が小さいことを表す言葉は、しばしば、控えめな否定的評価を表すようになる。そうすると、「微妙」は、「いや、ちょっとね」の「ちょっと」、「もう一つ」「いまいち」などに重なる表現だといえよう。

⑩「微妙」のポイント：「判断は難しいが、少なくとも自分は肯定的な評価はしない」という、否定的な表現をストレートに言わない表現として使われている。

6.2.8.2 考察（「本音と建前」としての「微妙」）

上記④では、従来の「微妙」の意味は、「判断が困難なこと」とある。一方、若者ことばの「微妙」は、「判断は難しいが、少なくとも自分はおいしくないほうに組み入れた」という点で異なる」という。つまり、上記④における若者ことばの「微妙」は、従来の意味とされる「判断が困難なこと」に、新たに否定的評価（マイナス評価性）「少なくとも自分はおいしくないほうに組み入れた」が付加されたということになる（以下例示、便宜上 a, b とした）。

a 従来の「微妙」： 「判断が困難なこと」

b 若者ことばの「微妙」： 「判断が困難なこと」 + 「マイナス評価性」

ここで、上記の論述には、「若者」「若者ことば」といった表現が随所にみられる。「若い」ということばは相対的なものであり、絶対的な「若さ」の基準というものは存在しない。したがって、どこからどこまでを「若者」の範疇とみなすかについて、あいまいになりがちである。結果として、この「若者」、あるいは「若者ことば」ということばの扱いには十分な注意が要されるということも指摘しておく（上述、「4.2.6 田中伊式(2018)」、「4.2.6.2

¹³⁶ 言い換えれば、「日本語母語話者の習慣的思考様式（スタイル）」とでもいえそうである。ただし、必ずしも全ての日本語母語話者が当てはまるというわけではないようである。

考察」も参照)。なお、上記 b「若者ことばの「微妙」」については、現代において、いわゆる「若者」以外の層においても使われている（あるいは、理解される）ようであるため、やはり、「若者ことばの」という冠を付けるのは「微妙」といえるかもしれない。

上記⑤では、若者ことばの「微妙」について、「これ、おいしい？」に対する、「微妙。」という返答は、「あまりおいしくない」「少なくとも自分はおいしいとは判断しない」という否定的評価を表す、という。つまり、ここでの「微妙」は、具体的にいえば、「味」について、発話者が持つ基準に照らして、「おいしいという範疇には入れない」ということになるが、「おいしい」意外の範疇は含むということになる。ここで、「これ、おいしい？」を発話する者の真意は、「おいしい」か「おいしくない」かの二者択一を相手（聞き手）に提示しているものと想定することもできる¹³⁷。したがって、相手（聞き手）側の「微妙。」という返答は、二者択一のうちの「おいしくない」ほうを選び取ったという婉曲な否定的意思の表明といった解釈もできよう。

さらに、上記②での会話例（便宜上、発話者 x, y とする）、x「これ、おいしい？」y「うーん、微妙」をあらためてみると、おいしくないのならば、なぜ y は「まずい」と言わないのかといった疑問が筆者には生じてくる。そうすると、「まずい」とはっきり言わず、「微妙」と言う発話者 y の真意は何であろうか。一見、ぶっきらぼうな返答にも思える「微妙」であるが、その発話には、他者配慮のストラテジーが動機としてあるとも考えられる。つまり、発話者 y は、「微妙」を使うことで、外面上は「きわどくてどちらとも言い切れないさま。」（『デジタル大辞泉』／下述、「6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）つまり、「おいしい」とも「おいしくない」ともどちらともいえない」と相手に気を配りつつも、心中ではすでに「おいしくない」ほうを選び取っている。いわゆる、「本音と建前」を使い分けるといえるのはこのようなことをいうのであろうか。そうすると、上記の「微妙」も上記⑧にあるような日本語母語話者の言語文化的背景というものが多少なりともかかわっているということがいえそうである。

¹³⁷ ここで、「ふつう」という選択肢もあると考えられるが、「おいしい？」と聞かれて「ふつう」という返答者の意図は、少なくとも「おいしい」範疇には含めないから「ふつう」と答えるのであろう。したがって、「ふつう」も広い意味で「おいしくない」範疇に含まれると考えられる。ただし、近年「ふつうにおいしい」という表現が流布しているが、これについてはやや性質が異なるためここでは触れない。

6.2.9 矢野耕平 (2014)

6.2.9.1 若者特有の心情語としての「ビミョー (微妙)」

矢野耕平 (2014) 『13 歳からのことば事典「まじ、ヤバい！」気持ちをも正しく伝えるには？—語彙力&表現力をのばす心情語 600—』、「1 章 よく使うけど大人に理解してもらえないことば」において、「世間で誤用と非難されがちな若者特有の心情語」としての「ビミョー (微妙)」の項目がみられる。以下に主要部分をまとめた (便宜上番号をつけた)。

- ①本来、美しさ・味わいが趣深くすぐれている、また、物事の状態・関係等がはっきり説明できないほど細かく複雑な様子を表す。
- ②最近の若者間で使われる「ビミョー」は、「どちらかというによくない」といった否定の意味を表すことが多い。
- ③例えば、「あの人、ビミョーだよな。」は、「あの人はいまいちだ」と同義になる。
- ④また、「ビミョーに」という (*副詞的な) 言い回しもある。この場合、「ほんの少し」という意味で、肯定的にも否定的にも使われる。
- ⑤一方、人から何か問いかけられた際、「ビミョー」と答える場合は、「よく分からない」や「どちらとも言えない」等、困惑の気持を表すことがある。
- ⑥「微」は、「非常に細かな粒子のようにかすかな存在」を表し、「妙」は、「くわしい」という意味が含まれていた。したがって、「微妙」は、ことばにできないほどの複雑な様子を表すことばになったようである。
- ⑦近年使われるようになった否定的ニュアンスを持つ「微妙」は、「自分の意見をはっきり主張するのははばかれるが、なんとなくよくない」といった心中の「葛藤 (もつれ合い/複雑化)」から生まれたとも考えられる。
- ⑧例: 家庭科の裁縫の宿題をすごくほめられたが、本当は母につくってもらったので、ビミョーな気分だ (*下線はママ) ¹³⁸。
- ⑨言い換えの心情語としては、「あいまい (曖昧) / うじうじ / 思い惑う / 逡巡 / そこはかとない / 遠回し / はっきりしない / 不本意 / 面倒」(以下、掲載順) がある。

¹³⁸ この例文に特に問題があるとは思われない。これについては、「(学校で誰かにほめられ)「うれしい」ような「うれしくない」ような何ともいえない複雑な気持ちだ」とすれば従来の「微妙」の意味「どっちとも はっきり言い切れないようす。」(『三省堂国語辞典 第7版』/ 下述、「6.4.1 現代の国語辞書 10 種～」参照) で説明可能である。ただし、「ビミョー」と表記することでマイナス評価性をアピールするといった効果は期待できよう。

6.2.9.2 考察（連用修飾形式（副詞的用法）としての「微妙に」）

上記③では、「あの人、ビミヨーだよな。」は、「あの人はいまいちだ」と同義になる」とある。「あの人、ビミヨーだよな。」という表現は、表面上は「微妙」（つまり、「よい」とも「よくない」ともどちらともいえない）としつつ、心中では、すでに「あの人」を「よくない」範疇に入れているということを相手（聞き手）に対し婉曲に示す意図があるものという解釈もできる。矢野によると、上記表現における「ビミヨー（微妙）」も、「世間で誤用と非難されがちな若者特有の心情語」とされる。そうはいつでもやはり、上記表現は、「本音と建前」を使い分けるという日本語母語話者の言語文化的背景に根ざすものではなからうかと筆者は考える。したがって、「あの人、ビミヨーだよな。」という表現は、必ずしもいわゆる「若者」のみが用いるものとは筆者には思われぬ。仮にこのような表現を「誤用と非難されがち」とするのであれば、日本語母語話者全体の問題として捉えるべきであろうとも筆者は考える。

上記④では、「ビミヨーに」という（*副詞的な）言い回しもあり、この場合、「ほんの少し」という意味で、肯定的にも否定的にも使われる」とある。筆者の認識では、「微妙（ビミヨー）に」といった連用修飾の形式（副詞的用法）は、プラス・マイナス（肯定的・否定的）といった感情の評価性にかかわらず、純粹に、「ちょっと／微量に」という数量・分量的尺度を示す場合があるとみられる。ただし、例外もあるようである。例えば、「微妙に」との共起関係を想定して以下のような例をみってみる。

昨日は微妙に調子が a x よかった。
 y よくなかった。
 z 悪かった。

空欄 a に「x よかった。」「y よくなかった。」「z 悪かった。」のいずれかを当てはめてみる。まず、「x よかった。」を当てはめてみると、なにか落ち着かないようである¹³⁹。一方、「y よくなかった。」「z 悪かった。」を当てはめるほうが、落ち着くようである。さらに、「y よくなかった。」「z 悪かった。」を比較すると、「y よくなかった。」が最もなじむようでもある。これはおそらく「微妙」という語の婉曲性が「悪い」というあからさまなマイナス

¹³⁹ ただし、適切な場面・状況がそろえばそのように言えることもあり、絶対的に否定するというわけではない。

評価性の感情表現とはなじみにくいところにあるとみられる。同様に、「昨日は微妙に天気
が a」としてもしかりである。ここから、「微妙に～ない」といった呼応の副詞的
な機能¹⁴⁰が一部みとめられるのではと筆者は考える。したがって、「微妙（ビミョー）に」
といった連用修飾の形式（副詞的用法）は、マイナス評価性の表現の後続を暗示する効果
も一部持つものとみられる。

6.2.10 米川明彦（2019）

6.2.10.1 流行語としてのカタカナ表記「ビミョー」

米川明彦（2019）『平成の新語・流行語辞典』では、「2002（平成14）年」の流行語とし
て、カタカナ表記「ビミョー」の項目がみられる。まず、「序文」には、「本書は（中略）
平成の約30年間に生まれた新語や流行語などを用例とともに解説した本邦発のことばの
辞典である」との記述がある。平成30年を年ごとに分け、該当の語が生まれた年、ある
いは流行した年に掲載するという形式を取っている。カタカナ表記の「ビミョー」につい
ては、2002（平成14）年の章に掲載がある。つまり、「ビミョー」は、2002（平成14）年
に流行したということになる。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

・2002（平成14）年の項目、「ビミョー」:

- ①「微妙」から意味が変化し、相手からの問い・評価等をそのまま全面的には受け入
れられないが、完全に否定することもためられる時に、態度保留するために言うこ
とば。自分の気持ち（*意見・考えも含まれよう）を伝えず、その場から逃れようと
する時にも使用。また返答するのが面倒くさい時にも言うことば。若者ことば。NOVA
のテレビCMで使われ流行語になった。
- ②『現代用語の基礎知識 2003年版』「若者用語の解説」に、「ビミョー」の記述があ
る。（*下述、「6.5『現代用語の基礎知識』過去約30年分における「ビミョー」の変
遷」参照）
- ③『朝日新聞』「朝刊」（2002/09/12）に、「ビミョー」についての記事がある（天野祐

¹⁴⁰ 渡辺実（1990）「程度副詞の体系」では、「誘導副詞」とある。つまり、後続の特定の
言表を誘導する機能を持つといったものである。そこでは、「結構」の例、「結構、彼がや
ったのかもしれない」（*仮定表現を誘導）が挙げられている（上述、「3.2.6 渡辺実（1990）」
も参照）。

吉記述)。(＊以下、記事例)

(＊NOVA のテレビ CM を紹介した後)「それにしても、近ごろ「ビミョー」ということばを、よく耳にする。」「ただなんでもかんでも「ビミョー」の一語で片づけてしまうのもまた困る。」

④『朝日新聞』「朝刊」(2003/01/12)に、高校生の投書もある。(＊以下、投書例)

「今、おかしい言葉がはやっています。それは、「ビミョー」です。なぜおかしいかという、本来の「ビミョー」とは違う使われ方をしているからです。」「僕の友達、は、「明日、会える?」「ビミョー」といった使い方をしています。これは、はっきり断ると相手に悪いので、ビミョーと書いてノーの返事を和らげています。本来の言葉の持つ意味とは異なります。」

6.2.10.2 考察 (表記の限界)

まず、上記①に、「「ビミョー」は、「微妙」から意味が変化し」とある。この点については、上述、「2.7.2 笹原宏之 (2017)」による、「表記が、ニュアンスを変える」「表記がイメージを超えた含意的な語義にまで変化をもたらす」等との関わりが指摘できる。つまり、「微妙」とカタカナ表記「ビミョー」とでは、表記の違いによって意味に何らかの違いが現れるということになる。ここでは、「ビミョー」とカタカナ表記がなされることにより、若干のマイナス評価性が付加されるということになろう(上述、「6.2.8 矢澤真人 (2005)」も参照)。

しかし、実際の言語運用場面を想定すると、表記の違いというものは意識されないため、どう扱うべきであろうかといった問題も生じてくる。例えば、会話上において、話し手が、[bimio:] と発話した場合、聞き手には、果たして「微妙」なのか「ビミョー」なのかは判別できないわけである。当然、場面・状況に依存するということになるが、会話等の音声言語のやりとりにおいては、表記のバリエーションといったものが介在しえないということも指摘しておく。これは、例えば、上述、「第5章 適当」における、「適当」と「テキトウ」の関係にも当てはまるといえる。この点については、会話上におけるミスコミュニケーションの一要因ともなりうるものといえるかもしれない。「表記の多様性(バリエーション)」というのは、あくまでも、書きことばにおいて有効となるものである。したがって、書き手の任意性によるところが大きいと考えられる。以上の点については、今後、考察の余地があろう。

上記②にある、『現代用語の基礎知識 2003年版』における「ビミョー」の扱いについては、下述、「6.5『現代用語の基礎知識』過去約30年分における「ビミョー」の変遷」にて考察を行う。

上記④、『朝日新聞』における高校生の投書では、「明日、会える？」「ビミョー」といった例を挙げて、「はっきり断ると相手に悪いので、ビミョーとってノーの返事を和らげています」とある。これは婉曲な断りの「ビミョー」ということができよう。これは同様の表現、「結構です」「大丈夫です」とも関連性が見いだせる（「4.2.5 伊藤由美（2017）」等参照）。さらに、「はっきり断ると相手に悪いので、ビミョーとってノーの返事を和らげています。」ともある。質問に対する答えが「ビミョー」だけでは一見したところぶっきらぼうな態度のようでもある。しかし、「相手に悪い」「ノーの返事を和らげて」ともあるように、やはり「ビミョー」の発話の動機として、他者に対する配慮・気遣いといったものが一要因として考えられよう¹⁴¹。

6.3 近代の辞書における「微妙」

本節では、近代の辞書（主に国語・和英辞書）における「微妙」の意味記述を参照し、比較・対照した上で考察を行った。

6.3.1 『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「微妙」の意味記述の比較

本項では、『和英語林集成 初版』（1867：慶應3）、『和英語林集成 再版』（1872：明治5）、および『和英語林集成 第三版』（1886：明治19）における「微妙」、および異体字「微眇」の意味記述を基に比較・考察を行った。以下に、各版における「微妙」、および異体字「微眇」の意味記述の比較表を示した。なお、筆者による補足は、「(*補足)」のようにカッコ内に記した。

¹⁴¹ ただし、『現代用語の基礎知識』、「2003年版」、「社会風俗用語の解説」内における「ビミョー」の記述に、「ビミョーとは「微妙」の意味だが、判断の保留、あるいは、「マジにかかわってらんねえよ」といった消極的否定を示す。」ともあることから、必ずしも全てが当てはまるわけではないようである（下述、「6.5『現代用語の基礎知識』過去約30年分における「ビミョー」の変遷」参照）。

図表 6.2: 『和英語林集成』「初版・再版・第三版」における「微妙」の意味記述の比較

版名 出版年	見出し	意味記述	類義語 (Syn.)	備考
初版 1867 慶應 3	† MI-MIYŌ, ミミヤウ, 微妙, (*目偏に少の字)	Exceeding small.	—	・剣のマーク(ダガー)付き。*1 ・見出しは、呉音読み「ミミヤウ」のみ。 ・漢字表記異なる。 ・品詞の指定はなし。
再版 1872 明治 5	MI-MIYŌ, ミミヤウ, 微妙, (*目偏に少の字)	同上	—	・“†”(ダガー) マークが外れた以外は初版と同じ。 ・見出しは、「ミミヤウ」のみ ・品詞の指定はなし。
第三版 1886 明治 19	MIMYŌ ミメウ 微妙 (*目偏に少の字)	同上	—	・初版、および再版の“MI-MIYŌ, ミミヤウ,”が、“MIMYŌ ミメウ”に。
	BIMYŌ ビメウ 微妙	— <i>narū</i> , (*—なる) abstruse, recondite.	Syn. SHIMITSU, (*ママ:緻密か) OMYŌ (*ママ:奥妙か)*2	・漢音読み“BIMYŌ ビメウ 微妙”が新たに追加。 ・品詞の指定はなし。

*1:『初版』(1867)の解説によると、“†”(ダガー)は、“word used only books or obsolete.”(筆者訳:文語あるいは廃語)とある。つまり、古語扱いの語ということになる。ただし、『再版』(1872)、『第三版』(1886)ともにダガーは外れている。『再版』以降は、全体として“†”(ダガー)の運用を廃止したようである。

*2:おそらく、“SHIMITSU”、“OMYŌ”両者ともに誤表記とみられる。同時期の数種の辞書も比較・参照の上で推察を行うと、“SHIMITSU”については、“CHIMITSU”(緻密)¹⁴²、あるいは“HIMITSU”(秘密)、“OMYŌ”については、“ŌMYŌ”(奥妙)とみられる。ちなみに、『第三版』において見出し項目として確認できた語は、“HIMITSU”(秘密)と“ŌMYŌ”(奥妙)である。『和英語林集成』では、しばしば誤植・誤表記がみられる。

6.3.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・『初版』(1867)の見出し項目に現れる“MI-MIYŌ, ミミヤウ, 微妙,”は、目偏に少の字の「微妙」である。現代の表記「微妙」とは異なる。さらに、“†”(ダガー)マークが付けられているため、古語扱いの語ということが示唆される。意味記述につい

¹⁴² 『第三版』(1886)の翌年、1887(明治20)年出版の箸尾寅之助纂訳『和英ダイヤモンドいろは字典』には、「微妙(ビメウ)チミツ Abstruse(アブスツルース)」とある。ここから、“CHIMITSU”(緻密)も候補として有力である。

ては、“Exceeding small.”（*筆者訳：極めて小さい）とある。“MI-MIYŌ, ミミヤウ, 微妙,” については、『初版』、『再版』（1872）、『第三版』（1886）を通じて同じ意味記述で現れた。

・現代語「微妙」と同音・同表記の「微妙」は、『第三版』（1886）にて初出した。見出しは、“BIMYŌ ビメウ 微妙”とあるように、読みは、漢音の「ビミョウ」である。意味記述については、“abstruse, recondite.”（*筆者訳：明かでない、分かりがたい、深い、奥義、秘密な）とある。左の記述は、例えば『日本国語大辞典』、「微妙」の①「美しさや味わいが趣き深くすぐれていること。また、そのさま。」へとつながっていくものと考えられる（下述、「6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

・上記のとおり、『第三版』（1886：明治 19）にて漢音読みの“BIMYŌ ビメウ 微妙”が現れた。ここで、『第三版』の三年後に出版された『言海』（1889~91：明治 22~24）をみると、漢音読みの「びめう（名）微妙」の見出しのみである。ここから、明治 10 年代から 20 年代にかけて、現代語に通じる漢音読みの「微妙（びみょう）」のほうがすでに主に行われていたことが示唆される（下述、「6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

6.3.2 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「微妙」の意味記述

J. H. Gubbins (ジョン・ハリントン・ガビンズ) 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』「第一冊」(1889: 明治 22)、“Bi 微”の項目、下部二字漢字語の欄に、「微妙」がみられた。さらに、第二冊(1891: 明治 24)において、“Mio (*ママ: Miō の誤記か) 妙”の項目もみられた。以下、表にして示した(一部抜粋、編集)。

図表 6.3: 『漢語英訳辞典』における「微」「微妙」「妙」の意味記述

語項目	意味記述	備考
Bi 微	Minute; obscure (*不明瞭な、あいまいな); (in many of the compound words in which it occurs 微 implies a sense of the unworthiness of the speaker or writer).	
Bi-miō (微)妙,	wonderful; extraordinary; admirable; remarkable; marvelous.	・かなり程度の高いプラス評価性の意味。「細かさ」「複雑さ」に類する記述はない。
Mio 妙 (*ママ: Miō の誤記か)	Mysterious; delicate (of workmanship); young; excellent.	・“delicate”の記述がみられる。

6.3.2.1 考察

以上を概観して、まず、“Bi 微”の記述をみると、“Minute”(微少な、微細な)とある。これは「微」の持つ本来の意味と考えられる。さらに、“obscure”とある。これは「不明瞭な、あいまいな」を意味する。以降の記述には(筆者訳)、「「微」には話し手や書き手にとって取るに足らない(価値のない)感じを示唆する」とある。“obscure” “a sense of the unworthiness” という表現から判断すれば、「微」が若干マイナス評価性の要素も持つことが示唆される。

次に、“Bi 微”の項目内、「微妙」には、“wonderful; extraordinary; admirable; remarkable; marvelous.”とある。これらは、全て「素晴らしい、見事な」といったプラス評価性の語群である。ただし、“extraordinary”は、「異常な/風変わりな」を意味する場合もある。しかし、ここでは一連のプラス評価の語群に含まれることから、「(突出して) 並外れた/驚くべき」と解釈できる。

一方、“Mio 妙”のほうをみると、“Mysterious; delicate (of workmanship); young; excellent.”とある。それぞれ、「神秘的な／（技量・製品が）繊細な／若い／優秀な・優れた」を意味する（筆者訳）。ちなみに、“Mysterious”という語は、「不可解な／怪しげな」を意味する場合もある。しかし、『漢語英訳辞典』の記述を概観すれば、「妙」はプラス評価の語とみられる。ここで、明治後期あたりから、“delicate”が「微妙」の代表的英訳になるということが思い当たる（「6.2.1 佐藤喜代治（1979）」、「6.2.1.2 考察（「微妙」と“delicate”との関連性）」参照）。

二字の漢字複合語である「微妙」を、「微」と「妙」に分ければ、「妙」のほうの意味の上でより影響を与えているとも考えられる。一方、現代語における「～は微妙だ」という、マイナス評価性の表現は、“Bi 微”という語に潜在していたマイナス評価の側面が現れてきたものとも考えられる。

6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較

本項では、明治中期から昭和前期にかけて出版された近代の国語辞書（一部和英辞書を含む）10 種を用いて、通時的観点も含めて、「微妙」の意味記述を比較・対照した。まず、本稿で取り上げた 10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。

図表 6.4 : 近代の国語辞書 10 種の内訳

編者/著者	正式名称	略称	出版年	出版社(人)
J.C. ヘボン	改正増補 和英 英和 語林集成	和英語林 3 版	1886 : 明治 19	丸善商社
高橋五郎	漢英対照 いろは辞典	漢英対照いろは	1888 : 明治 21	長尾景弼
大槻文彦	日本辞書 言海	言海	1889~91 : 明治 22~24	大槻文彦
山田美妙 (武太郎)	日本大辞書	日本大辞書	1893 : 明治 26	日本大辞書 発行所
落合直文	日本大辞典 ことばの泉	ことばの泉	1898 : 明治 31	大倉書店
松平圓次郎 山崎弓束 堀籠美善	俗語辞海	俗語辞海	1909 : 明治 42	集文館
上田万年 松井簡治	大日本国語辞典	大日本国語辞典	1915~19 : 大正 4~8	富山房 金港堂
金沢庄三郎	広辞林 (初版)	広辞林初版	1925 : 大正 14	三省堂
新村出	辞苑	辞苑	1935 : 昭和 10	博文館
金田一京助	辞海	辞海	1952 : 昭和 27	三省堂

「微妙」の意味の分類については、原典の意味記述を参照の上、さらに筆者の任意で仕分けた。スペースの関係上、意味の記述のみとし、例文等は省略した。『言海』『日本大辞

書』については、意味記述をカタカナ表記からひらがな表記に変更した。なお、『辞海』のみ1952（昭和27）年の出版である。しかし、武藤康史（2008）¹⁴³によると、昭和13年に、金田一京助が『辞海』（当初の予定は昭和国語大辞典）にとりかかったとあるため、便宜上近代の辞書に含めた。以下に表にまとめたものを示した。

図表 6.5：近代の国語辞書10種における「微妙」の意味記述の比較

辞書名	意味1	備考
和英語林 3版 (1886)	BIMYŌ ビメウ 微妙 abstruse, recondite. Syn. SHIMITSU, (*ママ：緻密か) OMYŌ (*ママ：奥妙か)	・呉音読み、異体字 (*目偏に少の字) の“MIMYŌ ミメウ 微眇 (意味：Exceeding small.)”の見出しもあり。 ・上述「6.3.1『和英語林集成』～」も参照。
漢英対照 いろは (1888)	びめう (形) 微妙 (隱微にして高妙なるをいふ) Abstruse, profound.	・「みめう (形) 微妙, (語釈：かすか, たへなる Abstruse, mysterious, profound.)」の見出しもあり。
言海 (1889~91)	びめう (名) 微妙 奥深く妙なること。	・「びめう (名) 微妙」の見出しのみ。
日本大辞書 (1892~93)	びめう (名) 美妙(微妙) すべて、趣味奥深く、玄妙であること。	・「美妙」=「微妙」としている。
ことばの泉 (1898)	びめう (名) 微妙。妙にして幽玄なること。	・「みめう(名)微妙。(意味：たへなること。うつくしきこと。)」の見出しもあり。
俗語辞海 (1909)	—	・見出しはみられず。
大日本 国語辞典 (1915~19)	びめう 奥深くたへなること。玄妙。	・『言海』の記述を踏襲。 ・「みめう (意味：びめう (微妙) に同じ。)」の見出しもあり。
広辞林初版 (1925)	びみょう (名) 奥深く玄妙なること。たへ。	・『言海』、「びめう」の記述を基本的に踏襲。
辞苑 (1935)	びみょう (名) 奥深くして精妙なこと。たへなること。みめう。玄妙。	・『言海』、「びめう」の記述を基本的に踏襲。
辞海 (1952)	びみょお (名ナ) きわめてこまかくたくみなこと。何ともいいあわし方のないほどこまかいこと。デリケート。	・上記8種の辞書と比較すると、「細かさ」について焦点が置かれている。

6.3.3.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・『和英語林 3版』(1886) をみると、見出し項目として、“BIMYŌ ビメウ 微妙” (語釈：“abstruse, recondite.”)、および、呉音読み、異体字 (*目偏に少の字) の“MIMYŌ ミメウ 微眇” (語釈：“Exceeding small.”) がみられた。つまり、“MIMYŌ ミメウ 微眇” のほうは、「微少さ、細かさ」について焦点が置かれていたようである。一方、『漢英対照いろは』(1886) をみると、見出し項目として、「びめう (形) 微妙」 (語釈：隱

¹⁴³ 『国語辞典の名語釈』巻末、「国語辞典年表」より。

微にして高妙なるをいふ Abstruse, profound.)、および、呉音読み、同型異音の「みめう (形) 微妙」(語釈：かすか、たへなる Abstruse, mysterious, profound.) がみられた。『漢英対照いろは』においては、「びめう (形) 微妙」と「みめう (形) 微妙」の語釈のうち、「高妙なる」と「たへなる」、「Abstruse」と“profound”が共通するため、互いに同義のものとみなされていた可能性がある。

・『言海』(1889~91)の意味記述をみると、「奥深く妙なること。」とある。後続の辞書については、基本的に『言海』の記述を踏襲したものが多くみられた。つまり、以下、『日本大辞書』(1892~93)「すべて、趣味奥深く、玄妙であること。」、『大日本国語辞典』(1915~19)「奥深くたへなること。玄妙。」、『広辞林 初版』(1925)「奥深く玄妙なること。たへ。」、『辞苑』(1935)「奥深くして精妙なこと。たへなること。」となる。ここから、特に、『大日本国語辞典』(1915~19) — 『広辞林 初版』(1925) — 『辞苑』(1935)といった一連の流れが想定できる。一方、現代の国語辞書においては、左の記述を受け継いでいるものの、転義したもの(例：一言では言い表せないほど細かく、複雑なさま。(『デジタル大辞泉』))が主流となっているとみられる。(下述、「6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照)。

・上記、現代の国語辞書との関連で、『辞海』(1952)をみると、「きわめてこまかくたくみなこと。何ともいいあらかわし方のないほどこまかいこと。デリケート。」とある。この記述は、他の8種の辞書(『俗語辞海』は該当なし)と比較すると、「微少さ、細かさ」について焦点が置かれていることがわかる。

・『日本大辞書』(1892~93)のみ、「微妙」と「美妙」を異体同義のものとして扱っている。

・『俗語辞海』(1909)については、「微妙」の見出し項目はみられなかった。明治40年前後においては、未だ「微妙」が口語(当時いうところの俗語)的な表現とはみなされていなかったことを意味するものであろうか。

6.3.4 『齋藤和英大辞典』における「微妙」の意味記述と用例

本項においては、齋藤秀三郎（1928：昭和 3）『齋藤和英大辞典』（略称：『齋藤和英』）における「微妙」の意味記述と用例についてみていく。以下、“Bimyō (微妙)”の意味記述・例文¹⁴⁴を表にしてまとめた（例文には便宜上番号をつけた）。

図表 6.6：『齋藤和英』における「微妙」の意味記述と例文

品詞	意味記述	例文
形容詞	Exquisite (taste); delicate (shades of meaning); ethereal (wit); subtle (ideas); nice, fine (distinction, etc.)	① 微妙な細工 exquisite workmanship. ② 微妙な仕掛 a delicate mechanism. ③ 微妙な論法 subtle reasoning. ④ 微妙な思想 subtle ideas—ethereal ideas. ⑤ 微妙な区別がある There is a nice distinction—a fine distinction. ⑥ 英語には微妙な意味の差を言ひ表はす言葉がある In the English language, there are words expressing nice shades of meaning—delicate shades of meaning.

さらに、以下、例文のみをカテゴリ一別に表にまとめた。

図表 6.7：『齋藤和英』における「微妙」の例文の分類

分類	例文
1. 連体修飾 (微妙な + 名詞)	① 微妙な細工 exquisite workmanship. ② 微妙な仕掛 a delicate mechanism. (* ① ②は、現代ではあまり使われない表現。) ③ 微妙な論法 subtle reasoning. (* “subtle”：細かい・かすかな・難解な・鋭敏な・巧みな・策略のうまい・ずるい) (* “reasoning”：推理、推論、論法) (* ここでは、「巧みな論法」というようなプラス評価性の表現と考えられる。) ④ 微妙な思想 subtle ideas—ethereal ideas. (* “ethereal”：空気のように軽やかな、霊妙な、この世のものとも思えぬ) (* ここでは、“subtle”が“ethereal”と対応していることから、プラス評価性の表現と考えられる。ただし、“subtle”には反義併存的側面もある。) ⑤ 微妙な区別がある There is a nice distinction—a fine distinction. ⑥ 英語には微妙な意味の差を言ひ表はす言葉がある In the English language, there are words expressing nice shades of meaning—delicate shades of meaning.

¹⁴⁴ 例文をみると、太字になっている部分がみられる。これは、該当語の英訳に相当する部分を太字で示したようである。ただし、見て明らかなように、必ずしもぴったりとは一致していない。

6.3.4.1 結果

結果として、以下のことが判明した。

- ・品詞については、「形容詞」のみである。ただし、日本語としての「微妙」をみた場合、「形容詞」でなく「形容動詞」となる。
- ・例文は全6例である。以下、「1. (形容動詞) 連体修飾」(微妙な＋名詞)の一分類のみである。
- ・「微妙」の意味記述・例文を概観すると、ここでは全体としてプラス評価性の語であることがわかる。ただし、「微妙」に対応する英訳語をみると、“subtle”は「策略のうまい／陰險な／ずるい」、「nice」は「むずかしい／気むずかしい／やかましい」、「fine」は「(悪い意味で)お上品ぶった」といったマイナス評価性の意味も持つ。したがって、これらの語は反義併存性を示すといった点も指摘しておく。
- ・分類「1. 連体修飾(微妙な＋名詞)」の例文、「①微妙な細工 exquisite workmanship.」、「②微妙な仕掛 a delicate mechanism.」について試みる。これらは、現代ではあまり使われない表現とみられる。おそらく、現代語では、「微妙」の代わりに、「精巧」や「精密」等の語を使うほうが自然であろう。当時(大正期から昭和前期にかけて)、例えば、懐中時計や芸術品等の、手の込んだ細工がほどこされた物に対しプラス評価性を与えるときに「微妙」が使われたようである。
- ・分類「1. 連体修飾(微妙な＋名詞)」の例文、「③微妙な論法 subtle reasoning.」について試みる。まず、“subtle”は、「細かい／かすかな／難解な／鋭敏な／巧みな／策略のうまい／ずるい」等の意味を持つ。したがって、“subtle”は、反義併存性を示す。ここで、“subtle reasoning.”について、「(手際よく、みごとな)巧みな論法」とすれば、プラス評価性になる。一方、「(ずるがしこさを含意した)巧みな論法」とすれば、マイナス評価性の表現ともなる。つまり、“subtle”の訳出次第で「微妙」の評価性が変化するとも考えられる。ただし、『齋藤和英』では、他の例文との関係性を考慮すると、前者のプラス評価性のほうを取っているとみられる。
- ・分類「1. 連体修飾(微妙な＋名詞)」の例文、「④微妙な思想 subtle ideas—ethereal ideas.」について試みる。まず、“subtle”を“ethereal”(空気のように軽やかな／霊妙な／この世のものとも思えぬ)と対応させていることから、ここでの“subtle”はプラス評価性であると考えられる。ただし、「微妙な思想」という句をみると、現代語の語感で

は、ややマイナス評価性を帯びているようでもある。この点、当時（大正期から昭和前期にかけて）と現代とを比較すれば、語感にずれが生じているとも考えられる。

・分類「1. 連体修飾（微妙な＋名詞）」の例文、「⑤微妙な区別がある」、「⑥英語には微妙な意味の差を言ひ表はす言葉がある」について試みる。ここでの「微妙」は、現代語の「微妙」の意味に通じる、程度の微少な差について言及する用法（評価性は中立）であり、当時（大正期から昭和前期にかけて）からみられたようである。

・現代語では頻出する（形容動詞）述語文（「微妙。」「微妙だ。」「微妙です。」）、および連用修飾（副詞的）用法（「微妙に＋用言」）の例文はみられなかった。

6.4 現代の国語辞書における「微妙」

6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較

本項では、現代の国語辞書における「微妙」の意味記述について、比較・対照した上で考察を行った。便宜上、分冊構成になっているものを「大型」（『日本国語大辞典』のみ）、『広辞苑』サイズの物を「中型」（3 種）、『新明解』サイズの一般的小型辞書を「小型」（6 種）とみなした。まず、10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。なお、『日本国語大辞典』および『デジタル大辞泉』は“Japan Knowledge Lib”による¹⁴⁵。

図表 6.8：現代の国語辞書 10 種の内訳

カテゴリー	正式名称	略称	出版年	出版社
大型 1 種	日本国語大辞典	日国	オンライン	小学館
中型 3 種	デジタル大辞泉	—	オンライン	小学館
	広辞苑 第 7 版	広辞苑 7 版	2018	岩波書店
	大辞林 第 4 版	大辞林 4 版	2019	三省堂
小型 6 種	明鏡国語辞典 第 2 版	明鏡 2 版	2010	大修館書店
	新明解国語辞典 第 7 版	新明解 7 版	2012	三省堂
	旺文社国語辞典 第 11 版	旺文社 11 版	2013	旺文社
	三省堂国語辞典 第 7 版	三国 7 版	2014	三省堂
	現代国語例解辞典 第 5 版	現国例 5 版	2016	小学館
	岩波国語辞典 第 8 版	岩波 8 版	2019	岩波書店

¹⁴⁵ 2020 年 8 月閲覧。https://japanknowledge.com/lib/search/basic/?

6.4.1.1 大型・中型辞書4種

まず、大型・中型辞書4種について比較したものを以下の表に示した。

図表 6.9：現代の大型・中型辞書4種における「微妙」の意味記述の比較

	意味1 (名)(形動)	意味2 (名)(形動)	意味3 (名)(形動)	備考
日国	(名)(形動)①美しさや味わいが越き深くすぐれていること。また、そのさま。みみょう。玄妙。	(名)(形動)②物事の状態や関係などが、言い表わせないほど細かく複雑なこと。また、そのさま。	—	・呉音読み「みみょう」の立項もあり。
デジタル大辞泉	(名・形動)①趣深く、何ともいえない美しさや味わいがあること。また、そのさま。みみょう。	(名・形動)②一言では言い表せないほど細かく、複雑なさま。また、きわどくてどちらとも言い切れないさま。 ----- (名・形動)③(「微妙に」の形で)少々。やや。	(名・形動)④(「ビミョー」と書くこともある)俗に、否定的な気分を婉曲にあらわす語。明言したくないときなどにも使う。 *1	・呉音読み「みみょう」の立項もあり。「(名・形動)③」は他にはみられないもの。「(名・形動)④」でマイナス評価性の意味記述が示される。
広辞苑7版(2018)	①美しさや味わいが何ともいえずすぐれているさま。みょう。玄妙。	②細かい所に複雑な意味や味が含まれていて、何とも言い表しようのないさま。こうと断定できないさま。	—	・品詞の指定はなし。
大辞林4版(2019)	(名・形動)①なんともいえない味わいや美しさがあつて、おもむき深い・こと(さま)。	(名・形動)②はっきりととらえられないほど細かく、複雑で難しい・こと(さま)。*2	(*左の“*2”参照)	・「(名・形動)②」*2(補足)でマイナス評価性の記述あり。

*1 (デジタル大辞泉)：付属の例として、『テストできた?』『一』とある。

*2 (大辞林4版)：補足として、「自分の意見や判断をはっきり言いたくない場合や、婉曲に断ったり否定的に言ったりする場合に用いることがある。「今の判定は微妙ですね」「日曜日は来られる?」「ちょっと微妙ですね」」、とある。

6.4.1.2 小型辞書 6 種

次に、小型辞書 6 種について比較したものを以下の表に示した。

図表 6.10：現代の小型辞書 6 種における「微妙」の意味記述の比較

	意味 1	意味 2	意味 3	備考
明鏡 2 版 (2010)	(名・形動)①一言では言い表せない趣があること。	(名・形動)②はっきりと言い表せないほど細かく複雑なこと。また、どちらとも言えないほどきわどいこと。	—	
新明解 7 版 (2012)	—	細かいところに美しさ・問題点・重要な意味などがある、単純な論評を許さない様子だ。デリケート。*1	—	
旺文社 11 版 (2013)	(名・形動ダ)①細かいところに複雑で重要な意味や要素があって、簡単には言い表せないこと。また、そのさま。	—	—	
三国 7 版 (2014)	(形動ダ)①美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあらわせないようす。デリケート。	(形動ダ)②どっちともはっきり言い切れないようす。	(形動ダ)③[俗] a あまりよくないようすを遠回しに言う。(2002 年ごろからの言い方) b なんとなく。 (補足)ビミョー	・③にてマイナス評価性の意味が示される。
現国例 5 版 (2016)	—	(名・形動)何とも言い表せないほど細かく複雑な意味や味わいがあること。また、きわどくてはっきり言い切れないこと。また、そのさま。	—	
岩波 8 版 (2019)	(ダ・ナノ)①細かいところに重要な意味・味が含まれていて簡単には言い表せないさま。	②(多くは言い切りに使って)何(どちら)とも言いかねるさま。	—	

*1 (新明解 7 版)：「運用」によると、「「…は微妙だ」などの形で、断定したり明確な姿勢を示したりすることによって生じる責任を回避する表現として用いられることがある。

例：「会長が出席するかどうかは微妙だ」とある。

6.4.1.3 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」について、「微妙」の意味のうちプラス評価性とみなされるものを「意味 1」として分類した。まず、「意味 1」からキーワードとみられるものを抽出すると (便宜上 a とした)、a 「趣深い／趣のある／すぐれた／玄妙／デリケート」が取り出せる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「微妙」の意味のうち、揺動性（平行線を支点として上下に細かく揺れ動くイメージ）があるとみなされるものを「意味2」として分類した。まず、「意味2」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上b,cとした）、b「細かくて複雑／きわどい」、c「何とも言い表しようがない／どちらとも言い切れない／断定できない／なんとなく」が取り出せる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」、全体をみると、『デジタル大辞泉』、『三国7版』に、マイナス評価性の意味記述がみられる。「微妙」の意味のうちマイナス評価性とみなされるものを「意味3」として分類した。まず、「意味3」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上dとした）、d「婉曲的な（遠回しの）否定的気分の表明／婉曲的な（遠回しの）断り」が取り出せる。

6.4.1.4 「微妙」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

以下に、上記、現代の国語辞書10種を基にした「微妙」の語義の移行についてのイメージ図を示した。なお、「微妙」については、やや変則的となるものの、おおむね語義の移行順は、上から下（右斜め下）となる。

図表 6.11 : 「微妙」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）

形容動詞			
ϕ 小さい/細かい/微かな 細い*1			
ϕ' よい 美しい *1			b 細かくて複雑 きわどい
			b' (*形式「微妙に」) 少々/やや
		a 趣深い/趣のある 玄妙/デリケート	c どちらとも言い切れない/何とも 言い表しようがない なんとなく 断定できない
		a' すぐれた	c' 難しい
		d 婉曲的な (遠回しの)否定的 気分の表明	
		d' 婉曲的な (遠回しの)断り	

*1 : 加納義光 (2014) 『漢字語源語義辞典』等を参照。

6.4.2 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「微妙」の意味記述の変遷

本項では、『明解国語辞典』（初版／改訂版）、および、『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）を用いて、「微妙」の意味記述の変遷について通時的に概観した。なお、『明解国語辞典』および『三省堂国語辞典』の概要については、上述、「3.4.2『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「結構」の意味記述の変遷」に示した。

まず、以下に、『明解国語辞典（初版）』から『三省堂国語辞典（第7版）』までの版・出版年・編者の流れを時系列で表にして示した。

図表 6.12 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ

名称 (略)	版	出版年	編者
明解	初版	1943 (昭和 18)	金田一京助
明解	改訂版	1952 (昭和 27)	金田一京助
三国	初版	1960 (昭和 35)	金田一京助・見坊豪紀・山田忠雄・金田一春彦
三国	第二版	1974 (昭和 49)	金田一京助・金田一春彦・見坊豪紀*1・柴田武・山田忠雄
三国	第三版	1982 (昭和 57)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武
三国	第四版	1992 (平成 04)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武・飛田良文
三国	第五版	2001 (平成 13)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第六版	2008 (平成 20)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第七版	2014 (平成 26)	見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大
*1 : 『三国』の「第二版」「第三版」「第四版」では、見坊豪紀に「主幹」の表示あり。			

続いて、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「微妙」の意味記述について通時的観点から表にして示した。紙幅の関係上、端的にまとめた。『明解国語辞典』については、便宜上現代かな遣いに変更した。『三省堂国語辞典』については、『初版（1960：昭和35）』の後に『新装版（1968：昭和48）』がある。ただし、内容に変更がないため、省略した。

第6章 微妙

図表 6.13 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「微妙」の意味記述の変遷

版	意味 1 (名) (形動ダ)	意味 2 (形動ダ)	意味 3 (形動ダ)	備考
明解初版 1943	(名)奥深くてすぐれていること。	—	—	・明解初版は(形動ダ)の品詞項目を立てず。
明解改訂版 1952	(名・形動ダ)同上	—	—	・品詞に(形動ダ)が追加。他は明解初版と同じ。
三国初版 1960	(形動ダ)①うつくしきや味わいがこまやかで、ひとくちにはいえないようす。 ②なんともいいようのないほど、こまかいようす。デリケート。*1 例文追加。	—	—	・三国初版で、語釈の全面書き換え。さらに、①と②に二分割された。
三国2版 1974	(形動ダ)①美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあわせられないようす。デリケート。*2 例文追加	(形動ダ)②どっちとも はっきり言い切れないようす。 *3 例文追加	—	・三国初版①と②が結合して①に。さらに、②の語釈が追加。「どっちとも」という表現はママ。
三国3版 1982	(形動ダ)①同上 *2 例文も同上	(形動ダ)②同上 *3 例文も同上	—	・三国2版と全く同じ。
三国4版 1992	(形動ダ)①同上 *2 例文も同上	(形動ダ)②同上 *3 例文も同上	—	・三国2・3版と全く同じ。
三国5版 2001	(形動ダ)①同上 *2 例文も同上	(形動ダ)②同上 *3 例文も同上	—	・三国2・3・4版と全く同じ。
三国6版 2008	(形動ダ)①同上 *2 例文も同上	(形動ダ)②同上 *3 例文も同上	(形動ダ)③[「ビミョー」]とも書く[俗]判断がつかないときの返事に使う若者ことば。	・①②は三国2・3・4・5版と全く同じ。③の語釈が追加。俗語の指定あり。カタカナ表記「ビミョー」にも触れている。
三国7版 2014	(形動ダ)①同上 *2 例文も同上	(形動ダ)②同上 *4 例文追加	(形動ダ)③[俗] a あまりよくないようすを遠回しに言う。*5 例文追加 b なんとなく。*6 例文追加 ▷(*注記)ビミョー	・①②は三国2・3・4・5・6版とほぼ同じ。③は新たに書き換えられ、a と b に二分割された。俗語の指定あり。

*1 例文：「微妙な関係」

*2 例文：「微妙なちがひ」

*3 例文：「金利引き下げは微妙」

*4 例文：「成功するかどうかは微妙だ／金利引き下げは微妙」

(*筆者注：従来の上記*3の例文、「金利引き下げは微妙」はそのままで、「成功するかどうかは微妙だ」が追加された。)

*5 例文：『試験どうだった?』—『微妙』／すごく微妙な味だ(=まずい) [2002年ごろからの言い方]

*6 例文：「微妙に心がこもっていないあいさつ」

6.4.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「微妙」は学習重要語の指定がある（『三国3版』（1982）以降）。
- ・「微妙」の意味のうちプラス評価性と考えられるものを「意味1」として分類した。まず、『明解初版』（1943）、『明解改訂版』（1952）をみると、「奥深くてすぐれていること。」とある。これは、「微妙」が仏教語経由で日本に移入された際の本来の意味に近いものと考えられる。ただし、二字漢語「微妙」の各構成語についてみると、「微」には「小さい／細い／微か（かすか）」、「妙」にも同様に「小さい／細い／微か（かすか）」といった中核的な意味が認められる（加納義光（2014）『漢字語源語義辞典』等を参照）。したがって、「微妙」は、根本的に「小さい／細かい／微か／細い」といった意味を有したとも考えられる（上述、「6.4.1.4「微妙」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書10種を基に）」参照）。一方、『三国初版』（1960）をみると、「意味1」の記述が全面的に改められた。以下、「①うつくしきや味わいがこまやかで、ひとくちにはいえない」「②なんともいいようのないほど、こまかい」とある。これは「微妙」の「細かい／微か」といった意味に焦点が当てられているようである。つまり、「微妙」の中核的な意味に立ち返った記述であるとも考えられる。続いて、『三国2版』（1974）で上記の①と②が結合して一つになった。以降は、現行の『三国7版』（2014）まで変更がみられない。「意味1」におけるプラス評価性とみられる「微妙」は、現代語においてはそれほど大きな位置を占めないため、語釈の改編については特に必要とされないのかもしれない。
- ・「微妙」の意味のうち評価性が中立と考えられるものを「意味2」として分類した。「意味2」については、『三国2版』（1974）で初出した。以下、「②どっちともはっきり言い切れないようす。」とある。この記述については、以降『三国7版』（2014）まで変更がみられなかった。「意味2」については、当然「意味1」からの転義であるとみられる。端的に言えば、「細かすぎるために見分けがつかない」→「どちらとも判別しがたい」といった展開を経たものと考えられる。「意味2」における「どっちともはっきり言い切れないようす」、つまり、「判断しがたい状態」については、上述、「6.2.8

矢澤真人 (2005)」にもあるように、「微妙」の従来の意味とされてきたものである。

・「微妙」の意味のうちややマイナス評価性と考えられるものを「意味3」として分類した。「意味3」については、『三国6版』(2008)で初出した。以下、「③ [「ビミョー」
とも書く] [俗] 判断がつかないときの返事に使う若者ことば。」とある。俗語の指定があり、カタカナ表記「ビミョー」についても触れている。上記の語釈をみると、「判断がつかないときの返事に使う」とある。つまり、応答の感動詞的な「微妙(ビミョー)」を示すものとみられる。さらに、『三国7版』(2014)をみると、前版の記述内容が全て書き換えられ、二分化された。以下、「a あまりよくないようすを遠回しに言う。
／b なんとなく。」とある。まず、語釈 a に付属した例文(上記*5)をみると(便宜上 x, y とした)、x 『試験どうだった?』—『微妙』、y 「すごく微妙な味だ(=まずい)」とある。後者 y では、「=まずい」とあるが、おそらくはそうとも言い切れない。「微妙」を発話する背景には、「少なくとも「うまい」とは言えない、かといって「まずい」とも言えない、ただし、強いて言えば「うまくない」範疇には入りそうだ」といったやや複雑な心理が作用しているとみられる。したがって、「微妙」=「まずい」としてしまうと、「微妙」のニュアンスが十分に生かされないといったことになる。もう一方の語釈 b には、「なんとなく。」とある。ここで、「なんとなく」について、『明鏡国語辞典 第2版』を参照すると、「(副詞) これといった理由や目的もなく。また、なんの考えもなく。」とある。語釈 b に付属した例文(上記*6)をみると、「微妙に心がこもっていないあいさつ」とある。ここでの「微妙」は程度についての微少さを示すものとみられ、「やや」や「少々」等と入れ替え可能なものと考えられる。したがって、b の「なんとなく」という語釈は、やや的外れているように感じられる。以上を考慮すれば、『三国7版』(2014)の③の語釈については、再考の余地があるとみられる。

6.5 『現代用語の基礎知識』過去約30年分における「ビミョー」の変遷

本節では、『現代用語の基礎知識』の過去約30年分の資料を基に、「微妙」のカタカナ表記「ビミョー」が、『現代用語の基礎知識』において、いつ頃に現れ、またどのような解説(意味記述)がなされたかについて、通時的に概観した。まず、以下に、『現代用語の基礎知識』における過去約30年間の「ビミョー」の変遷について表にして示した。

図表 6.14 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 30 年間の「ビミョー」の変遷

年版	カテゴリー	「ビミョー」 「ビミョー」関連語	備考
1990 ~1999	—	—	・1990年代については、「ビミョー」「微妙」の項目はみられない。
2000	—	—	—
2001, 2002	若者用語 の解説	「微妙に」: ちょっと	・「ビミョー」が流行したとされる年(2002 : 誌面反映は 2003)より二年ほど前に、「微妙に」の記述があるが、従来の意味に近くマイナス評価の意味とはいえない。
2003	若者用語 の解説	「ビミョーに」: なんとも判断がつかないが、少々。 「ビミョー」: どちらともいえない。返答や断定をさける返事。「明日行ける?」「ビミョー」。「宿題やった?」「ビミョー」。「100円ある?」「ビミョー」。	・「ビミョーに」「ビミョー」が初出。 ・「ビミョー」の意味は、ややマイナス評価。 ・「若者用語の解説」の冒頭コラム「解説のフォーカス: 現代社会を映すビミョーなあいまい化の心理」に、「ビミョー」についての詳しい解説あり(堀内克明・山西治男記述)。以下、欄外にまとめた。*1 ・「社会風俗用語の解説」に、「ビミョー」についての記述あり(神足祐司記述)。以下、欄外にまとめた。*2
	社会風俗 用語の解 説	「ビミョー」*2	
2004 ~2012	若者用語 の解説	「ビミョーに」: 同上 「ビミョー」: どちらともいえない。返答や断定をさける返事。「明日行ける?」「ビミョー」。「宿題やった?」「ビミョー」。	・「ビミョー」の意味記述は 2003 と基本的に同じ。 ・2004 から「100円ある?」「ビミョー」の部分が削除。
2013, 2014	若者	「ビミョーに」: 同上 「ビミョー」: どちらともいえない。返答や断定をさける返事。「明日行ける?」「ビミョー」。 「ビミョ男(お)」: 遠目ではカッコ良くみえるが、近くで見たらそうでもないビミョーな男。	・「ビミョー」については、2013 から、「宿題やった?」「ビミョー」の部分が削除。 ・2013 で、「ビミョ男(お)」の項目が追加(2014 も同)。
2015	若者	「ビミョーに」: 同上 「ビミョー」: 同上	・2015 で「ビミョ男(お)」の項目がなくなる。
2016, 2017	若者	「ビミョー」: どちらともいえない。返答や断定をさける返事。	・2016 で、「ビミョーに」の項目がなくなる。 ・「ビミョー」の意味記述内、会話例の部分がなくなる。
2018 ~2020	若者	「ビミョ男(お)」: 同上	・2018 で、「ビミョー」の項目がなくなる。 ・2018 で、「ビミョ男(お)」が再び現れる。

*1 : 「2003年版」、「若者用語の解説」、「解説のフォーカス」、「現代社会を映すビミョーなあいまい化の心理」、「微妙なビミョー」(堀内・山西記述)について、以下にまとめた。

・2002(平成14)年に全国的に流行ったのはビミョーである。もともと「微妙に」は若者言葉のひとつであったが、ビミョーは主として返事に使われ、間投詞に近いので、カナ書きしないと感じがでない。

(*筆者注: 間投詞に近いかどうかは、まさに判断が微妙なところといえよう。ただし、「ビミョー」は、応答の感動詞的な機能も一部持つようでもある。)

・どんな質問に対しても「ビミョー」と答えるが、その心は、ビミョーにあいまいで多くの場合に否定を弱めてぼかした返事である。断定的に否定するのをさけて、相手

に強く響かないようにするのだ。

・例えば「明日来る?」「ビミョー」は、まず「来ない」という意味だが、「あの先生好き?」「ビミョー」は、「うん」かもしれないし、「どっちとも言えない」かもしれない。状況によって「大好き」または「大嫌い」かもしれない。音調と状況でビミョーに判断するしか方法がないのである。

(*筆者注：つまり、返答としての「ビミョー」は、文脈・場面依存性が高いため、反義併存的性質を示すことになる。このあたりはやはり、ミスコミュニケーションの一要因となり得るものであろう。)

*2：「2003年版」、「社会風俗用語の解説」、「ビミョー」(神足記述)について、以下にまとめた。

- ・ことに若者層において、使用される万能語。
- ・ある内科医は腹痛で診察に訪れた小学生少女に「痛いの?」と聞いたが、「ビミョー」と言われ、「え、痛くないの?」と確認したところ付き添いの母親に笑われた。
- ・ビミョーとは「微妙」の意味だが、判断の保留、あるいは、「マジにかかわってらんねえよ」といった消極的否定を示す。

(*筆者注：これについても、応答の感動詞的な「ビミョー」とみられる。上記医師と少女のやりとりを解説を基に解釈すれば、少女は「ビミョー」と発話することで、医師との関わりを婉曲に拒否するということになるのであろうか。そうすると、やはり「ビミョー」も婉曲な断りの機能を一部持つということになる。ただし、ここでの「ビミョー」は、例えば、「レジ袋はご利用ですか?」—「ビミョー」といった会話が現状では成立しないとみられる。したがって、「ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」」等と比較すれば使用域はそれほど広くないとみられる。)

6.5.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・1990年代の版については、「ビミョー」、および、「微妙」関連の項目はみられなかった。
- ・「2001年版」、および、「2002年版」の「若者用語の解説」に、漢字表記、形容動詞

連用修飾形の「微妙に」の項目がみられた。解説（意味記述）は、「ちょっと」のみである。これは従来の「微妙」の意味に近いもので、マイナス評価性とはいえないとみられる。ただし、語釈が「ちょっと」とあるため、反義併存的なものであるかもしれない。「ビミョー」が流行したとされるのが2002年である（誌面反映は「2003年版」）。したがって、「ビミョー」流行の前年、前々年に、「微妙に」が現れたということになる。流行の前触れの予兆ということなのであろうか。

・「2003年版」、「若者用語の解説」に、カタカナ表記「ビミョーに」、および、「ビミョー」が初出した。解説（意味記述）は、「ビミョーに：なんとも判断がつかないが、少々。」、「ビミョー：どちらともいえない。返答や断定をさける返事。」とある。

・上記、「ビミョー」の解説（意味記述）には、例文が付属し（便宜上 a, b, c とする）、a「明日行ける？」「ビミョー」／b「宿題やった？」「ビミョー」／c「100円ある？」「ビミョー」とある。これらは応答の感動詞的なものとみられる。上記「ビミョー」は、a「(多分、) 行けない (かもしれない)」、b「(多分、) やってない (かもしれない)」、c「(多分、100円も) ない (かもしれない)」のような、不確定な婉曲的否定表現といった機能を持つものといえるかもしれない。

・「2003年版」では、「若者用語の解説」の冒頭コラム、「解説のフォーカス」、「現代社会を映すビミョーなあいまい化の心理」、「微妙なビミョー」においても「ビミョー」についての解説がみられた（堀内・山西記述／上記“*1”参照）。やはり、当時、「あいまい化の心理」と関連し、「ビミョー」が注目されていたようである。

・「2003年版」では、さらに、「社会風俗用語の解説」においても「ビミョー」がみられた（上記“*2”参照）。

・「2004年版」から「2012年版」まで、「ビミョーに」、および、「ビミョー」の解説（意味記述）は「2003年版」と基本的に同じである。

・「2016年版」で、「ビミョーに」の項目がなくなった。さらに、「ビミョー」の解説（意味記述）内、会話例の部分がなくなった。

・「2018年版」では、「ビミョー」の項目が消滅した。

・「2020年版」、「若者用語の解説」では、「ビミョ男（お）」の項目があるのみとなった。

6.6 類語辞書における「微妙」

本節では、『角川類語新辞典』（1981）、『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「微妙」の位置づけについて、まとめた上で考察を行った。なお、場合によっては論点、問題点等を指摘し、筆者の提言も行った。

6.6.1 『角川類語新辞典』（1981）における「微妙」の位置づけ

本項では、『角川類語新辞典』（1981）における「微妙」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、下表の分類①から⑥は、便宜上筆者が設定した。本文中に挙げられた「微妙」の前後に位置する類義語については、一部を抜粋した。“○”の後は、語義、あるいは語釈を示す。分類⑥のカッコ内は位相である。下表欄外の例文には便宜上番号をつけた。

図表 6.15：『角川類語新辞典』における「微妙」の位置づけ

分類①→	分類②→	分類③→	分類④→	分類⑤→	分類⑥→	品詞	前後の類義語
A 自然→	1 性状→	17 価値→ ものを持っている 値打ち	179 雅俗→ 趣のあることと俗っぽいこと	b 妙味→ 言うに言われない優れた味わい	10 微妙 *例文 1, 2 ○細かい味わいがあるって簡単に言い尽くせないこと (日常語)	(形動)	妙(たえ)/妙(みょう)/妙味/妙趣/妙所/軽妙/絶妙/玄妙/霊妙/繊細/デリケート/機微/乙/醍醐味

*例文 1, 2 : 1 「意味の微妙な違い」 / 2 「微妙な政局」

6.6.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「微妙」の位置づけは、一か所のみであった。すなわち、「分類④：179 雅俗」—「分類⑤：b 妙味」（形容動詞）—「分類⑥：10 微妙」であった。
- ・「分類⑥：10 微妙」の語釈は、「○細かい味わいがあるって簡単に言い尽くせないこと（日常語）」とある。前後の類義語をみると、「妙（たえ）／妙（みょう）／妙味／妙趣／妙所／軽妙／絶妙／玄妙／霊妙／繊細／デリケート／機微／乙／醍醐味」とある。したがって、ここでの「微妙」は、プラス評価性のものとみられる。
- ・「分類⑥：10 微妙」の例文には、「2 微妙な政局」とある。この例文における「微妙」

は、ややマイナス評価性を帯びるものと考えられる。したがって、「分類⑥：10 微妙」の例文としては、ややニュアンスが異なるものとみられる。

・「分類④：179 雅俗」—「分類⑤：b 妙味」に隣接して、「c 深淵—奥深くて計り知れないこと」がある。前後の類義語をみると、「深い／奥深い／深奥／深遠／幽玄」等がある。近代における「微妙」は、まさにここに位置するものと考えられる（上述、「6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」参照）。

6.6.2 『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「微妙」の位置づけ

本項では、『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「微妙」の位置づけについて、以下に表にして示した。なお、最上位の「類」は、四つに分けられる。1. 体の類（名詞）／2. 用の類（動詞）／3. 相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）／4. その他の類（一部の副詞・接続詞・感動詞）となる。以下、表にまとめたものを示した。

図表 6.16：『分類語彙表 増補改訂版』における「微妙」の位置づけ

類 →	部門 →	中項目 →	分類項目 →	段落*1	前後の段落 (抜粋)*2	備考
3→ 相の類	3.1→ 抽象的 関係	3.19→ 量	3.1920→ 程度	24 適度 中くらい 手ごろ 適当 程 よい ほどほど いい加減[~の温 度] 微妙	22 割合 割と 幾分 いく らか やや 比較的 -め [少な~] 小幅 25 ちょっと 何だか 29 多少 少し 少しばかり	・位置づけに関しては疑問。段落22, 25, 29のほう が適当であろう。 ・分類項目「程度」 ではなく、「様相」 におくべきでは。

*1：意味上の語集団。「なるべく意味・用法の広いほうから狭いほうへ配列しているが、必ずしも厳格ではない。」とある。

*2：上から順に、意味が近いと考えられるものを示した。

6.6.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・「微妙」の位置づけは一か所であった。相の類（形容詞・形容動詞・副詞・連体詞）が一か所であった。ただし、現代語の「微妙」は多義化の様相を示しているため、実際には複数の位置づけが可能であると考えられる。

・具体的には、分類項目「3.1920 程度」、段落“24”に、形容動詞としての「微妙」

が位置する。段落内の他の語例を挙げると、「適度／中くらい／手ごろ／適当／程よい／ほどほど／いい加減 [～の温度]」がある。したがって、ここでの「微妙」は、「適度」「適当」「いい加減」等と類義の関係にあるということになるが、果たしてそうであろうか。位置づけに関してはやや疑問である。再考の余地があるとみられる。

・なお、同上、分類項目「3.1920 程度」の他の段落をみると、例えば、以下に、段落“22”（段落内の語例：割／割（わり）に／割（わり）と／割かし／幾分／いくらか／やや／比較的／一め [少な～]／小幅）、および段落“25”（段落内の語例：目に見えて／ちょっと／何だか）、および段落“29”（段落内の語例：多少／少し／少しばかり 等）が挙げられる。ここで、「微妙」の程度性（きわどさ／細かさ）といった観点からすると、段落“22”の「幾分」「やや」、段落“25”の「ちょっと」、段落“29”の「多少」「少し」、という語群は、現代語「微妙」と類義の関係にあるとみられる。したがって、上記段落“22”、“25”、“29”の場にも、「微妙」を位置づけ可能と考えられる。

・『分類語彙表 増補改訂版』における「微妙」の位置づけは、中項目「3.19 量」、分類項目「3.1920 程度」内の一か所のみであった。ただし、現代の「微妙」の性質を考慮すれば、中項目「3.13 様相」、分類項目「3.1302 趣・調子」、および、中項目「3.13 様相」、分類項目「3.1341 弛緩・粗密・繁閑」の場所こそ位置づけにふさわしいと考えられる。

・以下、具体的には、分類項目「3.1302 趣・調子」、段落“05”（段落内の語例：不調／ぱっとしない／振るわない／優れない [体調が～・天候が～] 等）、および段落“15”（段落内の語例：際どい 等）、および段落“17”（段落内の語例：何とも言えない／言うに言われない 等）、さらに、分類項目「3.1341 弛緩・粗密・繁閑」、段落“07”（段落内の語例：精巧／精密／緻密／細か／細かい／きめが細かい 等）、および段落“08”（段落内の語例：複雑／ややこしい／多種多様／種種 等）が挙げられる。ここで、分類項目「3.1302 趣・調子」、段落“05”の「不調」「ぱっとしない」「優れない [体調が～・天候が～]」、段落“15”の「際どい」、段落“17”の「何とも言えない」「言うに言われない」、さらに、分類項目「3.1341 弛緩・粗密・繁閑」、段落“07”の「緻密」「細か」「細かい」、段落“08”の「複雑」という語群は、現代語「微妙」と類義の関係にあるとみられる。したがって、分類項目「3.1302 趣・調子」、段落“05”、“15”、“17”、および、分類項目「3.1341 弛緩・粗密・繁閑」、段落“07”、“08”の場にも、「微妙」を位置づけ可能と考えられる。

6.7 「微妙」の語義関連表

本節では、上述、「微妙」についての先行研究・資料等を勘案し、通時的・共時的観点も加味した上で語義関連表（チャート）を作成した。なお、スペースの制約上、意味記述については簡潔に示した。タテ軸（列：語義の展開）は、番号順（例：① ② ③…）で、時間軸は上から下へとした。ヨコ軸（行：品詞の展開）はアルファベット順（a b c…）で、時間軸は左から右へとした。①a を本来の意味（原義）にあたるものとした。下記表（チャート）を見れば、「微妙」の各語義について、おおよその位置づけが特定できる。なお、あくまでも「微妙」という語に関する全体的把握のためのイメージ表である。したがって、絶対的正確性を期するものではない。以下に表（チャート）を示した。

図表 6.17 : 「微妙」の語義関連表（チャート）

品詞(行) →	a	b	c
番号(列) ↓	形容動詞 (プラス評価)	形容動詞 (中間)	形容動詞 (ややマイナス評価)
①	みみょう：極めてすぐれていること(仏教語)	みみょう：非常に小さい/かすか(微か)	あきらかでない/わかりがたい
②	奥深く妙なること 深い/奥義/秘密な	どちらともはっきり言い切れないようす	あまりよくないようすを遠回しに言う
③	細かく複雑な意味や味わいがあること		断定的に否定せず、弱めてぼかした返事
④	一言では言い表せない趣や美しさがあること		否定的な気分を婉曲にあらわすこと
備考	・神秘的な美しさや情趣を賞賛するといった語感がある。評価性はプラス。	・中心的基準の周囲(上下)を揺れ動くイメージ。評価性は中間。	・婉曲的な否定表現。評価性はややマイナス。

6.8 新聞紙上における「微妙」

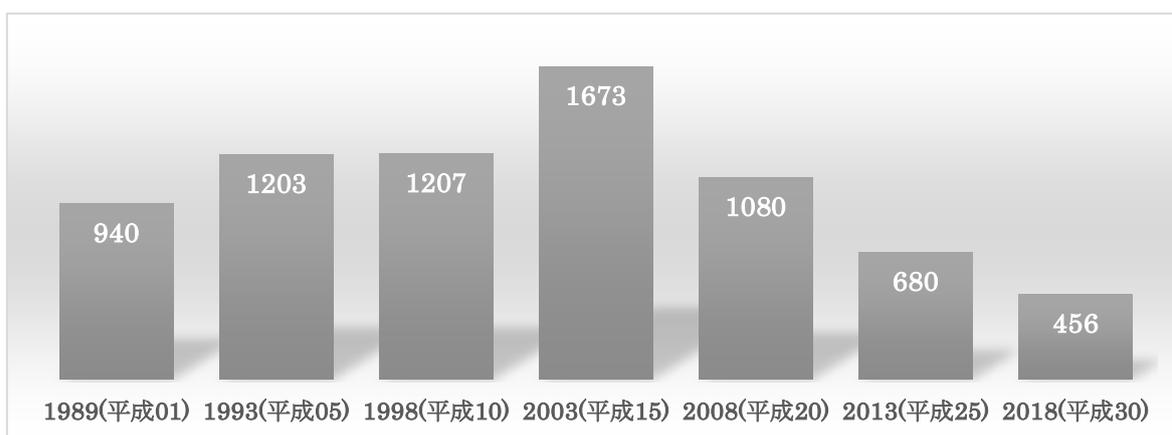
6.8.1 「ヨミダス歴史館」における「微妙（ビミョー）」の年代別出現頻度（平成期）

上述、「6.2.7 文化庁（2005, 2015）」『国語に関する世論調査』における「微妙」、あるいは「6.2.10 米川明彦（2019）」における 2002（平成 14）年の流行語としての「ビミョー」（カタカナ表記）等を参照すると、平成期に「微妙」（あるいは「ビミョー」）がある程度世間において関心が持たれていたといえそうである。そこで、本節では、試みとして平成期約 30 年間における「微妙」（あるいは異表記「ビミョー」）の新聞紙上における出現頻度を調査し、変化の傾向を探ってみる。なお、「微妙」のひらがな表記「びみょー（びみょう）」については、出現数がほぼなかったため、今回は除外した。

調査方法は、読売新聞記事検索システム「ヨミダス歴史館」を用いて、一定条件の基に読売新聞における平成期約 30 年間の「微妙」および「ビミョー」の出現数を比較した。検索条件は、以下のとおりである。まず、平成期約 30 年間を 5 年ごと、7 期に分割し、各期 1 年分の合計の数量を比較した（「ヨミダス歴史館 TOP」→「平成・令和 1986～」→「検索語：微妙」「検索方式：全文検索」「全国版・地域版検索：全てを対象にする」「分類検索（大分類・詳細分類）：すべて」）。検索語は、「微妙」および「ビミョー」である。平成期約 30 年間であるから、30 期に細かく分けて推移をみるという方法もある。しかし、本調査では、5 年ごと、7 期に分割する程度が全体の俯瞰がしやすく最適であると判断した。

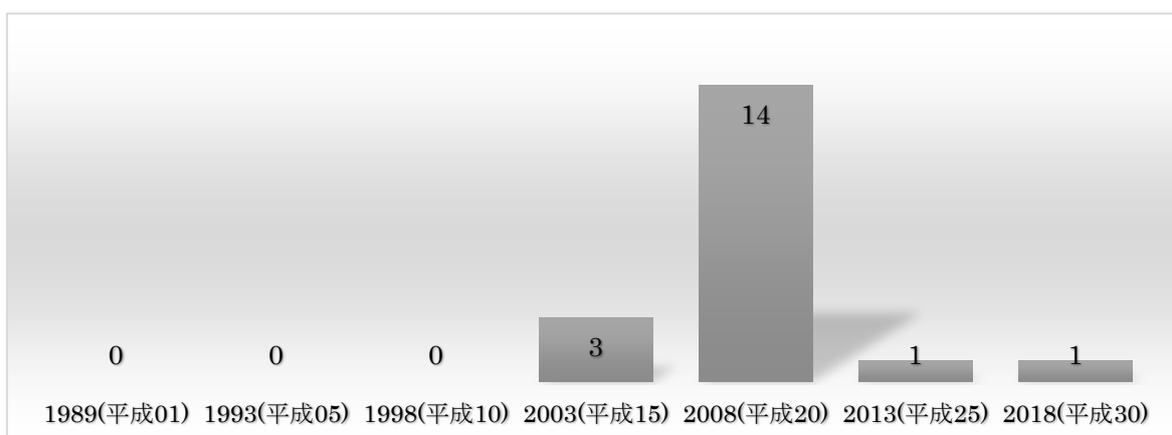
なお、調査媒体の信頼性という観点を考慮し、読売新聞を選定した。ただし、「微妙」（および「ビミョー」）の使用頻度の推移については、決して今回の調査が絶対的なものではない。仮に他の媒体を用いて調査を行えば、異なる結果が出ることもありうる。全体的傾向のひとつの目安との位置づけである。調査期間は、平成元（1989）年から平成 30（2018）年までの 30 年間である。5 年ごとに 7 期に分割し、推移を観察した。まず、「微妙」について以下の図表に示した。

図表 6.18：読売新聞における平成期約 30 年間の「微妙」の出現数の推移



次に、「ビミョー」について以下の図表に示した。

図表 6.19：読売新聞における平成期約 30 年間の「ビミョー」の出現数の推移



6.8.2 結果

結果として、以下のことが判明した（便宜上番号をつけた）。

- ①まず、「微妙」のほうの推移を概観すると、2003（平成 15）年をピークとした山型の分布状況を示している。つまり、読売新聞紙上においては、2003（平成 15）年が最も使用頻度が高かった。
- ②使用頻度の年ごとの平均数は、1034 語程度であるから、使用頻度が比較的高い語といえそうである。
- ③詳細をみると、1989（平成 01（元））年から 2003（平成 15）年にかけては漸増する

が、その後減少し続け、2018（平成30）年の出現数は456件である。ピーク時（2003年：1673件）と比較すると、約70%強の減少である。1989（平成元）年と比較すると、約50%強の減少である。

④ピーク時（2003年：1673件）の前後の年をみると（図表にはない）、2002（平成14）年が1613件、2004（平成16）年が1609件であり、2003（平成15）年あたりを中心として前後数年間は出現頻度が高い。

⑤一方、「ビミョー」のほうの推移を概観すると、数が「微妙」と比較して非常に少なく（全計19件）、さらに出現期に偏りがある。

⑥詳細をみると、1989（平成元）年から1998（平成10）年にかけては、いずれも0件である。2003（平成15）年になると3件現れ、2008（平成20）年には14件現れピークを示す。しかし、2013（平成25）年には急激に減少して1件のみとなる。その後、2018（平成30）年も同じく1件のみであった。なお、2019（平成31/令和元）年については、10/18時点で「ビミョー」は1件も現れていない。

⑦「微妙」と「ビミョー」、両者を比較すると、まず、「微妙」が1989（平成元）年から2003（平成15）年にかけて漸増しているのに対し、同時期の「ビミョー」をみると出現数が0件であり、対照的である。

⑧「ビミョー」は、2003（平成15）年に3件現れ、2008（平成20）年にピークを示す（14件）。一方、「微妙」は、同時期2003（平成15）年（1673件）から2008（平成20）年（1080件）にかけて、大きく減少しており対照的である。

⑨「ビミョー」の現れかたをみると、突然現れ突然消える「単発型」の様相をみせる。

6.8.3 考察

以上を概観すると、上記④の「微妙」が「2003（平成15）年あたりを中心として前後数年間は出現頻度が高い」点については、上述、「6.2.6 稲増龍夫（2003）」「6.2.7 文化庁（2005, 2015）」「6.2.10 米川明彦（2019）」等でみたように、「ビミョー」（カタカナ表記）が流行したとされる2002（平成14）年から2005（平成17）年頃までの期間と一致をみせることから、当時の「ビミョー」（カタカナ表記）の流行と何らかの関連があるとも考えられる。

ここでは、「ヨミダス歴史館」のみの考察ではあるものの、「ビミョー」という語は、やはり一過性の流行語でしかなかったのであろうか、という想念も生じてくる。

さらに、上記⑤ ⑥における「ビミョー」の数の少なさ、出現期の偏り等を考慮すると、突然現れ突然消える「単発型」の様相をみせており、したがって一過性の流行語であったと結論づけたくもなる。ただし、「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」による「ビミョー」の検索結果は4010件あり（2020/10/04時点）、直近の検索結果数をみると、2020年9月は13件、8月は7件、7月は7件ある。これは、カタカナ表記の「ビミョー」は、ブログやSNS等の媒体においては依然として使われているということを示唆するものである。ここでは、漢語である「微妙」に対する異表記「ビミョー」についてみたが、この傾向は上述、第5章の「適当」についても当てはまるようである（「適当」に対する「テキトー」）。おそらく、カタカナ表記から想起されるカジュアルさや軽さ、とっつきやすさというものがブログやSNS等の媒体では好まれるのであろうとも考えられる。

6.9 「微妙」の実例

本節においては、「微妙」について、各種コーパス・新聞記事検索システム等から実際例を採取し、通時的に配列した上で、語の変遷の傾向・特徴をみていく。考察対象期間は、紀元前から現代までの全範囲とする。以下に各種コーパス別に検索結果を提示した。

なお、「中国哲学書電子化計画」による検索結果から得られた「微妙」の中国古典籍における実例も参考資料として提示した。

6.9.1 上代から近世（日本古典文学全集）

「日本古典文学全集」（「JapanKnowledge Lib」）より得られた、「微妙」についての実例を以下の表に示した。なお、検索結果数については、注釈・解説欄の記述もカウントされてしまうという事情があるため、省略した。なお、「微妙」については、『日本古典文学全集』所収、『今昔物語集』からの例が非常に多い。したがって、『今昔物語集』については、別項「6.9.2」にて示した。ちなみに、「微妙」の異表記体、「微眇」の検索を行ったところ、検索結果数は0件（該当なし）であった。

6.9.1.1 検索語：「微妙」（2020/12/02 時点）

図表 6.20：「微妙」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	日本書紀 卷第十九 天国排開広庭天皇 欽明天皇 [一一]仏教の公伝 p.416, 417	(※原文) 是日、天皇聞已、歡喜踊躍、詔「使者」云、朕從 ^レ 昔來、未 ^レ 曾得 ^レ 聞 ^レ 是如 ^レ 是微妙之法 ^一 。然朕不 ^レ 自決 ^一 。 (※訓下し文) 是の日に、天皇(すめらみこと)、聞(きこ)しめし已(をは)りて、歡喜踊躍(くわんぎようやく)したまひて、使者(つかひ)に詔(みことり)して云(のたま)はく、「朕(われ)、昔(むかし)より來(このかた)、未(まだ)曾(ま)て是(この)如(ごと)く微妙(みめう)の法(ほ)ふを聞くこと得(え)ず。然(しか)はあれど、朕(わ)自ら決(さだ)むまじ」とのたまふ。	・奈良時代。720 年成立。舎人親王ほか編。歴史書(編年体)。記述は漢文体。欽明天皇の御代に、百済の使者が天皇に仏教信仰を勧めるというくだりである。注釈によると、『最勝王經』四天王護国品に「爾時四天王、是ノ頌ヲ聞キ已リテ歡喜踊躍ス。仏ニ白シテ言ク、世尊、我昔ヨリ來(このかた)、未ダ曾テ是ノ如キ甚深ノ微妙ノ法ヲ聞クコト得ズトマヲシ。」とあることから、上述「6.2.1 佐藤喜代治(1979)、『法華經』の例にもあるように、「微妙(みめう)」は、「極めてすぐれている」といった意味で使われているとみられる。このことから、上代においてすでに「微妙」と仏典との関わりが深いということがうかがえる。
2	日本靈異記 中卷 心經(しんぎやう)を憶持(おくち)せし女の現に閻羅王(えんらわう)の闕(みかど)に至り、奇(くす)しき表(しるし)を示しし縁 第十九 p.176, 179	(※原文) 利苺優婆夷者、河内国人也。姓利苺村主故以為 ^レ 字。天年澄情、信 ^レ 敬三宝 ^一 、常誦 ^レ 持心經 ^一 、以為 ^レ 業行 ^一 。 誦 ^レ 心經 ^一 之音、甚微妙、為 ^レ 諸道俗 ^一 所 ^レ 愛樂 ^一 也。 (※訓下し文) 利苺(とかり)の優婆夷(うばい)は、河内国の人なりき。姓は利苺村主(すぐり)なるが故に、以て字(あざな)と為しき。天年澄情(ひととなりちようじやう)にして、三宝を信敬し、常に心經を誦持(ずち)し、以て業行(ごふぎやう)と為しき。心經を誦(ずん)ずる音(こゑ)、甚(た)だ微妙(みめう)にして、諸の道俗の為に愛樂(あいげう)せられき。	・平安時代初期。822 年ごろ成立。日本最古の仏教説話集。ほぼ年代順に漢文体で記述。正式名称は、「日本国現報(げんぼう)善惡靈異記」。注釈によると、「微妙」は、「(* 読経するとき)奥深くきれいな声で。」とあるが、「並々でないすばらしさ」という点において、上記例の「極めてすぐれている」としても文脈上は問題ないようである。ちなみに、左例は、『日本国語大辞典』、「みみょう」の項目において最も古い用例として取り上げられている。
3	将門記 [十四]将門と国庁の激突 p.57, 59	(※原文) 世間綾羅、如雲下施、微妙珍財、如算分散。万五千之絹布被奪五主之客。 (※訓下し文) 世間の綾羅(りようら)は、雲の如くに下し施し、微妙(みめう)の珍財は、算の如くに分ち散じぬ。万五千の絹布は五主の客に奪はれぬ。	・平安時代(940 年ごろ成立)。作者未詳。漢文体。日本最初の軍記物(戦記物)。注釈によると、「微妙」は、「不思議なほど美しいこと」とある。現代語訳によると、「微妙」は、「高尚深遠で気品ある(珍しい財宝は、)」とある。注釈と現代語訳では、ずれがみられるが、つまり、「極めてすばらしい(美しい)」という意味であろう。
4	栄花物語 卷第十六 もとのしづく [三三]永昭の説法 p.241	劫波樹(こふはじゆ)の白玉の栗石(なんせき)に座し、曼陀枳尼(まんだきに)の殊勝の池に沐浴し、四種の甘露を嘗(な)め、五妙(ごめう)の音楽を聞くに、三十三天の微妙(みめう)の天女にひとしう思さるる御身どもの、いかに思したるにか、春の花の散るを見て無常を知り、秋の木の葉の落つるを見て愁へ、暁の鶏の声に涙を流し、朝(あした)の霜の朝日に消え、夕べの露の頼み少なく、入相(い)	・平安時代(正編 1028~34 年ごろ成立、続編 1092~1107 年ごろ成立)。作者未詳。宇多天皇(887 年~897 年在位)から堀河天皇(1087 年~1107 年在位)まで 15 代、約 200 年間の仮名文の編年史。「微妙」について注釈はないが、現代語訳によると、「(三十三天の)微妙(みみょう)(の天女さながらとお思いになる御身どもが、)」とある。ここで「微妙(みみょう)の天女」とあること

第6章 微妙

		りあひ)の鐘の声、今日も暮れぬと聞くを、あはれびたまで、かかる大願をおこしたまへり。	から、文脈上は「(姿形が)極めてすぐれている」、つまり、「極めて美しい」を意味するとみられる。
5	栄花物語 卷第十八 たまのうてな [四]阿弥陀如来 ほか、阿弥陀堂 の諸仏 p.304	仏を見たてまつれば、丈六の弥陀如来、光明最勝にして第一無比なり。(*中略)体相威儀いつくしく、紫磨金(しまごむ)の尊容は、秋の月の曇りなく、無数の光明あらたにて、国界あまねくあきらけし。微妙浄法(みめうじやうほふ)の身にいろいろの相好を具足したまへり。光の中の化仏無数億にして、光明たがひに照らし交せり。	・同上。仏の最上級の形容としての「微妙」。「微妙浄法」という複合形式。「微妙浄法」は、注釈によると、「微妙ノ浄キ法身ハ、相ヲ具スルコト三十二、八十種好ヲ以テ、用キテ法身ヲ莊嚴セリ」(法華経・堤婆達多品。)とあることから、これも文脈上、「(仏の姿形が)極めてすぐれている」、つまり、「極めて美しい」を意味するとみられる。
6	栄花物語 卷第十八 たまのうてな [一二]阿弥陀堂、金堂の有様 p.317	三昧堂よりはじめて、阿弥陀堂に率て参りて、かの竜樹菩薩の十二礼を思ひて、「稽首天人所恭敬、阿弥陀仏両足尊、在彼微妙安楽国(ざいひ みめう あんらくこく)、無量仏子衆圍繞」と拝みたてまつりて、「南無四十八願弥陀如来、南無因円果満弥陀如来、南無無量光仏、南無無辺光仏、南無清浄光仏」と申す。	・同上。「微妙」は、現代語訳によると、「在彼微妙安楽国」とあり、原文のままである。ここで「在彼(ざいひ)」とは、現世(此の岸)に対する彼岸(煩惱を超越した涅槃の境地、悟りの世界)の「彼」とみられる(『旺文社 古語辞典 第10版 増補版』、「彼岸」参照)。したがって、「彼岸の地にあるすばらしい安楽な国」すなわち、「涅槃の境地」を指しているとみられる。
7	栄花物語 卷第二十二 とりのまひ [五]薬師堂に、 諸仏を据え奉る p.406	仏の御有様を見たてまつらせたまひて、山の座主、「無量百千劫、浄修身口意、如是故獲得、如此微妙力(によし みめうりき)」と頌して、拝みたてまつりたまふを、大殿の御前をはじめたてまつり、上達部、殿上人、同じく拝みたてまつりたまへば、院の内におこら満ちたる人々、身のならんやうも知らず、「南無」と拝みたてまつれば、口は異なれど、声は同じく聞えて、涙とどめがたし。	・同上。左の座主の言について、注釈によると、「『付法蔵因縁伝』にみえる優婆耇多(うばきくた)の偈中の句。「無量百千劫ニ身口意ヲ浄修シ、是ノゴトクノ故ニ此ノゴトキ微妙力ヲ獲得シタリ」。『大正新脩大蔵経』所収『付法蔵因縁伝』は「微妙力」を「殊妙身」とする。」とある。現代語訳によると、「如此微妙力」と原文のままである。「このようなすばらしい力(能力)」といった意味であろう。
8	今昔物語集	(*「今昔物語集」については、該当例が非常に多いため、下述、「6.9.2」に別表にして示した。)	・平安時代(1120年以降成立)。作者未詳。
9	十訓抄 上 第一 人に恵を 施すべき事 一ノ七 靈鷲山、 釈迦説法の光景 p.40	帝釈、四王、竜神八部、所もなく満ちみりて。空より四種の花降りて、香ばしき風吹き、天人雲につらなりて、微妙(みめう)の音楽を奏す。如来、宝花に座して、甚深の法門を演説し給ふ。そのことがら、おほかた心もことばもおよびがたし。	・鎌倉時代(1252年成立)。作者未詳。説話を通して10項目の処世術を紹介したもの。年少者向けに書かれる。「微妙」は、注釈によると、「とても美しい」とあり、現代語訳によると、「(天人たちは雲に連なり、)美しい(音楽をかなでている。)」とある。これも文脈上、「(天人の奏でる音楽が)極めてすぐれている」、つまり、「極めて美しい」を意味するとみられる。
10	十訓抄 上 第三 人倫を侮 らざる事 性空上人と遊女 p.140	たちまちに普賢菩薩の形に現じ、六牙の白象に乗りて、眉間の光を放ちて、道俗、貴賤、男女を照らす。すなはち微妙(みめう)の音声を出して、実相、無漏の大海に五塵六欲の風は吹かね	・同上。
11	十訓抄 第三 人倫を侮 らざる事 三ノ十五 源信 と覚運、性空(し ょうくう)を讚 歎	(*原文) 身色如「金山」 端嚴其微妙 如「浄瑠璃」中 内現「真金像」 (*訓下し文) 身の色は金山の如く	・同上。「微妙」は、現代語訳によると、「端麗、そして微妙」とあり原文のままであるが、左の韻文は、仏をたたえたものとみられることから、これも文脈上、「極めてすぐれている」、あるいは、「極めて美しい」を意味するとみられる。

第6章 微妙

	p.142	端巖にして、それ微妙(みめう) 浄瑠璃の中に 内に真金の像を現すが如し	
12	謡曲集 脇能 賀茂 出端 p.64	地謡 守るべし守るべしやな、君の恵み も今この時、 ツレ 時至るなり時至る、 地謡 感応あれば影向微妙(やうがう み めう)の、相好莊巖まのあたりに、あり がたや。	・南北朝時代~室町時代末期。観阿弥、 世阿弥、金春禅竹ほか作。「影向微妙」 という複合形式。ここで、「影向」の 注釈をみると、「神仏の来現。」とある。 現代語訳によると、「(神は出現し)す ぐれて妙(たえ)なる、(お姿が端麗に 飾られて 目前に、ある)」とある。こ こで、「神は出現し」とあるが、おそ らくは「仏が現世に姿を現した」とい うことであろう。したがって、「影向 微妙」は、「(御仏が)極めて美しい(お 姿で現れなされた)」ということにな ろう。
13	謡曲集 切能 海人 出端 p.547	地謡 深達罪福相、遍照於十方(中央へ行 く)、 シテ (経巻を開いて)微妙浄法身(みめう じやうほつしん)、具相三十二、 地謡 以八十種好、 シテ 用莊巖法身、 地謡 天人所戴仰、竜神咸恭敬。あらあ りがたの、御経やな(大小前へ下がり、 経巻をいただく)。	・同上。左の「深達罪福相~竜神咸恭 敬」の経文について、注釈によると、 『法華経』提婆達多品にみえる竜女が 釈迦の徳を讃仰する偈文。大意は仏は 衆生の罪と福との本質を深く究めて、 あまねく十方を照らし、そのなんとも 言えずすぐれて浄らかな法身は、三十 二種八十種好をもって莊巖されている。 よって天人は仰ぎ申しあげ、竜神 も皆うやうやしく敬し奉る。「八十種 好」は、仏・菩薩の身にそなわる八十 種の好相。」とある。「微妙」は、「そ のなんとも言えずすぐれて(浄らかな 法身)」とあり、ここでも、仏の「極 めて美しい(すばらしい)」お姿を意味 するようである。
14	用明天王職人鑑 (近松門左衛門 集) 第一 内裏の場 [三]正法の巻残 る p.70	いはんや火を取つて、神にうつさば焼く る道理、焼く道理。物を焼かずは火の益 なし。紙も焼けぬは天魔の術。信ずるに たらず、願ふにたらず。(地色ハル)真実 微妙(みめう)の仏の不思議、(ウ)験を見 せしめ給へやと。(ウ)合掌あれば、あり がたや、残りたる玉軸より、七千余巻の 数々、一点失せず顛れし。	・江戸時代中期。1705(宝永2)年、顔見 世初演。近松門左衛門作。注釈による と、「微妙」は、「仏教では、その教え や、悟りの智慧のすぐれたさまを形容 する語。「微妙 ミメウ」(節用集)。」 とある。
15	国性爺合戦(近 松門左衛門集) 第四 九仙山の 場 [五二]梅勒王の 追手から逃れる p.335	エトいかゞせん、何とかせんと虚空を拝 し。(地色ウ)只今奇瑞を(ウ)現し給ふ。 御先祖(ウ)高祖皇帝。青田の劉伯温。(ウ) 神仙微妙(みめう)の力を合せ。非常の危 難を(ハル)救ひ給へと。太子諸とも一心 不乱に祈誓有り。	・同上。1715(正徳5)年、11月15日初 演。注釈によると、「神仙」は、「超人 的な能力を持ち、不老長生を得た仙 人」とあり、「微妙」は、「(神通力を 得た仙人の)不思議なすぐれた(力)」 とある。現代語訳によると、「神仙微 妙の神通力を合され」とあり、ほぼ原 文のままである。「微妙の力」の主体 は、「神仙」であり、やはり御仏に準 じて、人知を超越した不思議な力を持 った存在ということになる。
16	跣(せき)婦人伝 (洒落本) 跣婦人伝 p.23	『もへ出るも』と詠ぜし妓王が操、『心と むな』とおもひやりし江口の風情も、お のづからわきまふべし。女郎に苦しみな く、客にたのしみあり。わが色道の玄々 微妙(みめう)なり。おまへがたのほめそ やさんす粋達は、椀久様をはじめ、藤伊 様紀文様を先として、いづれも尽してみ さんしたれど、是ぞ此衆の流義といふし	・江戸時代中期。1749(寛延2)年成立。 泥郎子(山岡浚明)作。「玄々微妙」と いう複合形式。注釈によると、「玄々 微妙」は、「深い趣」となるようであ る。おそらく、「玄々微妙」で、「(歌 学用語)奥深い趣があり、すぐれて いるさま」を表すものとみられる(『旺 文社 古語辞典 第10版 増補版』、「玄

第6章 微妙

		るしもなく、添通した女郎もなし。只時の張合にて金つかはんしたばかり。	妙」参照)。
17	近世説美少年録 第一輯 壱 第一回 諫を拒て管領古廟に陳す/屯を驚して水火 驕將を懲す p.33	はやく討手の軍將をもて、誅伐せしめ給はん事、勿論に候べし」といひつゝ傍を見かへれば、義興莞爾とうち笑て、「現微妙(げに いみじ)くもいはれしものかな。去歳の冬小夜深て、御所に盜賊の入りしとき、宿直の近臣多からねば、我君おん手をおろさせ給ひて、	・江戸時代後期(1829~32年成立)。曲亭(滝沢)馬琴作。「微妙」と表記して、「微妙(いみじ)く」と読ませている。いわゆる熟字訓である。以下、『近世説美少年録』においては、すべてこの形式で現れる。現代語訳によると、「(まことに)適切なことを(おっしゃいましたな。)」とある。なお、「いみじ」については、『旺文社 古語辞典 第10版 増補版』(抜粋)によると、「①はなはだしく。なみひととおりでなく。非常に。著しく。②(ほめる場合に使う)よい。すぐれている。すばらしい。えらい。③(望ましくない場合に使う)大変である。ひどい。恐ろしい。すごい。悲しい。」とあり、「語感」の記述として、「程度がはなはだしく、不吉が予想され、忌み避けたい感じ。」とある。したがって、「いみじ」は、プラス評価性とマイナス評価性が共存する反義併存性を示す語である。『近世説美少年録』においては、上記②「よい。すぐれている。すばらしい。えらい。」という意味で使われているとみられる。
18	近世説美少年録 第一輯 五 第九回 駿馬流に臨て母子を全うす/美玉介を做て孤客を留む p.217	命は物種なればこそ、七稔以来生延て、浮世に帰るけふにもあひにき。この義をおもひ給はずや」といふに阿夏は頭を擡て、「適微妙(あはれ いみじ)くいはれたり。十にも満たぬそなたの惺惚(さと)しさ、現陶ぬしの姪なり然ば吾儕も存命て、そなたの旅宿の後見しつゝ、俱に山口へゆくべけれ。	・同上。「適微妙(あはれ いみじ)く」という形式。現代語訳によると、「適微妙(あはれ いみじ)くいはれたり。」は、「(ああ、)よいことを(お言いですね。)」とある。
19	近世説美少年録 第二輯 三 第十六回 三碗の清茶暗に元盛を動す/一箇の湯銚克く国友を悦しむ p.393	此に御心つかずして、年来不和になり給ひしは、甚麼なる故に候ぞ」と問れて元盛駭嘆しつゝ、後方を見かへり声を潜めて、「適微妙(あはれ いみじ)くも問つるもの哉。国友が動すれば、われに無礼の言を出すは、寔(まこと)に以(ゆえ)あることぞかし。	・同上。現代語訳によると、「適微妙(あはれ いみじ)くも問つるもの哉。」は、「(ああ、)よい(質問をしたものだな。)」とある。注釈はない。
20	近世説美少年録 第二輯 四 第十七回 狡豎利を説て季孟を和ぐ/墨吏勢を戻て役夫を屠る p.403	只速に和睦して、這奴を還すに優ことあらじ」と尋思をしつゝ微妙(いみじ)き使の口状。尉殿さままでに某を、愛させ給ふを知らずして、不悌の罪を得たりしすら、後悔こゝに立がたかるに、特に秘蔵の遠山松を、賜ればとて受けられんや」と固辞を珠之介推返して、	・同上。注釈によると、「微妙(いみじ)き」は、「細かく行きとどいていて、すばらしい。」とある。現代語訳によると、「あはれ微妙(いみじ)き使の口状。」は、「(なんと)すばらしい(使者の弁舌よ。)」とある。
21	近世説美少年録 第二輯 五 第二十回 享祿の役 君臣乱離す/鷹促山に晴賢(かのこ)を遂(お)ふ p.470	何の疑ひか候べき。この義は御心やすかるべし」と憚る所もなくまうしゝかば、朝興のぬし大きく感じて、「適微妙(あはれ いみじ)く計りにけり。むかし義経の奥州落も、主従山伏に打扮て、安宅の関を踰たりと歎(か)。	・同上。現代語訳によると、「適微妙(いみじ)く計りにけり。」は、「(ああ、)うまく(計画したものだ。)」とある。
22	近世説美少年録	まだ巳の時は過ねども、亥中の鐘の聞ゆ	・同上。現代語訳によると、「我微妙(い

	<p>新局玉石童子訓 第五版 卷二十四 第五十四回 渾不似を弁じて防守宿を移す/小雪太名を窃て巧に悪を資く p.446</p>	<p>るまで、近習等に陪堂せられたる、款待十二分なりければ、肚裏に思ふやう、「我微妙(いみ)じくも謀り得て、深念に弥増大極上々、無類無量の造化(しあはせ)なれども、倘真(もし まことの)伍号が、迹(あと)より茲に来るならば、忽地(たちまち)馬脚を相出されて、我上にこそ做(な)らむずらめ。</p>	<p>み)じくも謀り得て、」は、「(俺が)うまく(だましおおせたのは、)」とある。注釈はない。</p>
<p>23</p>	<p>近世説美少年録 新局玉石童子訓 第五版 卷二十四 第五十四回 渾不似を弁じて防守宿を移す/小雪太名を窃て巧に悪を資く p.450</p>	<p>範的只管(ひたすら)感激して、掌丁(たなそこてう)とうち拍(なら)し、「奇なる哉妙なりけり。我為の諸葛孔明、楠正成に伯仲すべき、計(はかりごと)こそ微妙(いみ)じけれ。</p>	<p>・同上。現代語訳によると、「計(はかりごと)こそ微妙(いみ)じけれ。」は、「(策略こそ)大したものだ。」とある。注釈はない。</p>

6.9.2 中古（日本古典文学全集：『今昔物語集』）

まず、上述、「6.2.3 佐藤武義（1984）」にて扱った、『今昔物語集の語彙と語法』から、『今昔物語集』の解説について、以下にまとめた。

- ・12世紀初頭に成立した本邦最大の説話集であり、説話の書き出しを、「今ハ昔」で始め、「トナム語り伝ヘタルトヤ」で結ぶ形式の説話集であり、書き始めの「今ハ昔(今昔)」から書名が付せられたものとみられる。
- ・現存説話集は、全1040話（『日本古典文学全集』では、1059話）で、天竺（印度）部（巻1~5）、震旦（中国）部（巻6~10）、本朝（日本）部（巻11~31）からなる。本朝（日本）部は、さらに仏法の部（巻11~20）、世俗の部（巻22~31）に分けられる。
- ・収録内容は極めて多彩で、登場するものは、仏・菩薩・天皇・后妃・国王・皇族をはじめとして、僧尼・国司・武士・庶民・賤民・盗賊・非人乞食・鬼畜・動植物に至るまで、およそ森羅万象取り上げないものがないほど多方面にわたる。

なお、『日本古典文学全集』においては、「本朝（日本）仏法部（仏法に付く）」、および「本朝（日本）世俗部¹⁴⁶（世俗に付く）」のみの収録となるため、本稿においては、検索対象範囲をそれらに限定した。まず、下記表に示した例を概観した上で、特徴と傾向につい

¹⁴⁶ 「世俗部」について、実際には、「本朝（無表記）」「世俗に付く」「宿報に付く」「霊鬼に付く」「悪行に付く」「雑事に付く」と、さらにカテゴリー別に分けられている。

て以下にまとめた。

・『今昔物語集』においては、他の古典文学作品と比較して、「微妙」の例がぬきんで多い。「微妙」の例（「微妙（みめう）ナリ」および「微妙（めでた）シ」）は 205 件みられる¹⁴⁷。

・「巻第十三 本朝 仏法に付く 第四十三」の注釈によると、「微妙（みめう）」は、「美しく、すばらしい。「めでたき」と同意。」とあるように、「微妙（みめう）」「微妙（めでた）シ」、両者ともに、読みは異なるものの、現代語における、「（並外れて）すばらしい」といった意味で解釈でき、同じ概念を現すものとみて差し支えないようである。

・「本朝（日本）仏法部（仏法に付く）」、および「世俗部（世俗に付く）」における「微妙（みめう）ナリ」および「微妙（めでた）シ」の分布傾向をみると、「仏法部（仏法に付く）」については、ほとんど字音読み「微妙（みめう）ナリ」という形式で現れる。一方、「世俗部（世俗に付く）」については、ほとんど「微妙（めでた）シ」という形式で現れる。ただし、木村紀子（1992）も指摘するように、例外的に、一つの説話内に、「微妙（みめう）ナリ」および「微妙（めでた）シ」が同時に現れる場合もある（上述、「6.2.5 木村紀子（1992）」参照）。

・「微妙（みめう）ナリ」および「微妙（めでた）シ」の使い分けについては、同じく木村紀子（1992）によると、「概して、「微妙（みめう）」は観念的形容、「微妙（めでた）シ」は実感的形容だと言えるだろう。」との指摘がある。筆者においてもこの論に同意するが、必ずしも全てに当てはまるとは言い難い。一方、下記に示した例（巻第三十一 本朝 雑事に付く 第三十三）においては（下線は筆者による）、「既ニ御（おはし）マシ着タルニ、家ノ有様微妙（みめう）ナル事王ノ宮ニ不異(ことなら)ズ。」『此ノ女世ニ並無ク微妙（めでた）シ』ト聞ク。」とある。つまり、無情物（ここでは家）に対して「微妙（みめう）ナリ」、有情物（ここでは人間の女）に対して「微妙（めでた）シ」として使い分けている例もみられる。ただし、これについても確定的なものとは言い難い。

『日本古典文学全集』において、『今昔物語集』からの「微妙」の例は 205 件みられる。その中より以下に一部の例を抜粋した。なお、難読と思われる漢字には、適宜括弧内にふ

¹⁴⁷ 検索結果数は 205 例である。ただし、一説話内に複数現れることがしばしばあるため、実際の数はさらに多い。

りがなをつけた。欠字・規格外文字等については、「□」を挿入し補った。備考欄では、該当部分の現代語訳、注釈、および筆者によるコメントも付した。

6.9.2.1 検索語：「微妙（みめう）」（2020/12/09 時点）

図表 6.21：「微妙（みめう）」の実例（日本古典文学全集：『今昔物語集』）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 山階寺にして 維摩会を行ふ 語(こと)第三 p.163	亦、藤原ノ氏ノ上達部ヨリ始メテ五位ニ 至マデ、衾ヲ縫テ此ノ会ノ僧ニ施ス。惣 テ、会ノ儀式ノ嚴重サヨリ始メテ、講經 論義ノ微妙(みめう)ナル事、昔ノ浄名ノ室 ニ不異ズ。	・平安時代(1120年以降成立)。作者未 詳。1~5巻「天竺(てんじく)部」(イン ド)、6~10巻「震旦(しんたん)部」(中 国)、11~20巻「本朝(日本)仏法部」、 21~31巻「本朝世俗部」の31巻で構 成。日本古典文学全集では、本朝仏法 部・世俗部のみ収録。「微妙」について 注釈はないが、現代語訳によると、 「(講經や論議が)まったくすばらしい (ことは、)」とある。
2	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 多武の峰の増 賀聖人の語第 三十三 p.245	見レバ、泥(ひぢ)ニモ不穢(けがれ)ズ疵(き ず)モ無テ有レバ、父母喜テ懷キ取テ、「奇 異也」ト思テ返リ行ヌ。其ノ夜ノ夢ニ、 泥ノ上ニ巖(かざり)タル床有リ。微妙(み めう)ノ色ノ衣ヲ敷タリ。其ノ上ニ此ノ児 有リ。	・「微妙(みめう)」は、注釈によると、 「色(色葉字類抄)ミ 暈字「微妙 ミメ ウ。」とある。現代語訳によると、「何 ともいえず美しい(色の衣が敷いてあ る。)」とある。
3	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 天王寺の別当 阿闍梨の語第 三十六 p.270	初メ心ヲ一ツニシテ、他ノ心ヲ不交(まじ へ)スシテ法花經ヲ誦スルニ、一年ニ一 巻ヲ誦シテ、八年ニ一部ヲ誦畢(じゆしを) ハル。就中(なかむづく)ニ、其ノ音微妙(こ ゑ みめう)ニシテ、聞ク人皆首ヲ低ケ不 貴ズト云フ事無シ。	・「微妙(みめう)」は、現代語訳によ ると、「(とくに誦經の声が)微妙で」 と原文のままであるが、文脈から判断 すれば、「極めてすばらしい(美しい)」 といった意味であろう。注釈はない。
4	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 信誓阿闍梨經 の力に依りて 父母を活くる 語第三十七 p.275	此レヲ何ヨリ来レル人ト不知ズシテ怪ビ 思フ程ニ、童子阿闍梨ニ向テ微妙(みめう) ノ音(こゑ)ヲ挙テ誦シテ云ク。 我来聽法花 遂果四弘願 当從其口出 梅檀微妙香(みめうかう) ト誦シテ、暫ク阿闍梨ノ法花	・「微妙(みめう)」は、注釈によると、 「きわめて優れているさま。すばらし い。色(色葉字類抄)「微妙 ミメウ。」 とある。現代語訳によると、「(そも童 子は阿闍梨に向い、)美しい(声を高く あげて唱えた。)」とあり、経文につ いては、「梅檀微妙香」と原文のまま である。経文についても、「梅檀の極 めてすばらしい香り」といった意味で あろう。
5	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 金峰山の薊の 嶽の良算持經 者の語第四十 p.282, 283	菓蓏ヲ持来テ聖人ヲ供養ズ。加之、熊狐 毒蛇等モ皆来テ供養ズ。亦タ、聖人幻ノ 如クニ見レバ、形端正ニシテ身ニ微妙(み めう)ノ衣服ヲ着セル女人時々来テ、廻テ 礼拝シテ返去ヌ。(中略) 聖人問テ云ク、「栄花官爵ノ喜ビトハ何ニ」ト。 聖人答テ云ク、「喜ビト云フハ、所謂ル煩 惱不浄ノ体ヲ棄テ、清浄微妙(しやうじ やう みめう)ノ身ヲ可得キ、此レ也」ト 云テゾ、入滅シケル。	「微妙(みめう)」は、注釈によると、「色 (色葉字類抄)ミ 暈字「微妙 ミメ ウ。」とある。現代語訳によると、「(き れいな容姿の、)まことに美しい(衣服 をつけた女が、)」「清浄微妙(の身 を得ることになった、)」とある。「清浄 微妙」とは、「清らかですばらしい(美 しい)」といった意味であろう。
6	今昔物語集	義審歎キ悲デ、憑ミ奉ル所ノ本尊ニ人間	・注釈によると、「微妙(みめう)」は、

第6章 微妙

	<p>卷第十三 本朝 仏法に 付く 修行僧義睿大 峰の持経仙に 値(あ)ふ語第 一 p.287, 288</p>	<p>ニ出ム事ヲ祈請ズ。而ル間、地直キ林ニ 至ヌ。其ノ中ニ一ノ僧房有リ。微妙(みめ う)ニ造タリ。破風、懸居、格子、遣戸、 蔀、簀(す)、天井、皆吉ク造タリ。(中略) 「我レ仏ノ道ヲ修行ゼムガ為ニ此ノ山ヲ 通ル間、道ニ迷テ来レル也」ト。聖人此 ノ由ヲ聞テ、義睿ヲ房ノ内ニ呼ビ入レツ。 見レバ、形端正ナル童微妙(みめう)ノ食物 (じきもつ)ヲ捧テ来テ令食(くは)シム。義 睿此ヲ食テ、日来ノ餓皆直テ、楽シキ心 ニ成ヌ。</p>	<p>「きわめて優れているさま。すばらし い。色(色葉字類抄)「微妙 ミメウ」。 とある。左の初めの例は、「微妙(みめ う)ニ造タリ」とあり、形容動詞連用 修飾(副詞的)の形式である。現代語訳 によると、「すばらしく結構な(造り で、)」とある。次の「微妙(みめう) ノ食物」のほうは、現代語訳によると、 「すばらしい(食事をささげて食べさ せる。)」とある。</p>
7	<p>今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 下野の国の僧 古き仙の洞に 住する語第四 p.301</p>	<p>此ノ洞ニ籠居テ、偏ニ法花経ヲ読誦シテ 年月ヲ経ル間、忽ニ端正美麗ノ女人出来 テ、微妙(みめう)ノ食物(じきもつ)ヲ捧テ 持経者ヲ供養ズ。法空此レヲ怖レ怪ブト 云ヘドモ、恐レ此レヲ食フニ、其ノ</p>	<p>・現代語訳によると、「すばらしい(食 物をささげ持ってこの持経者に供養 する。)」とある。なお、僧にすばら しい食物を捧げたのは、羅刹女(らせ つによ:『法華経』持者を擁護する存 在)である。注釈はない。</p>
8	<p>今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 摂津の国の 多々院の持経 者の語第六 p.307</p>	<p>而ルニ、彼ノ聖人嗔恚ヲ以テ弟子童子ヲ 呵嘖シ罵詈ス。其ノ嗔恚ノ火忽ニ出来テ 宝塔ヲ焼也。若嗔恚ヲ止メテ経ヲ誦、微 妙(みめう)ノ宝塔世界ニ充滿ラム。汝ヂ本 国ニ返ル、速ニ聖人ニ此ノ事ヲ可告(つぐ べ)シ』ト聞ツル程ニ、蘇テ来レル也』ト 云フ。</p>	<p>・現代語訳によると、「まこと麗しい (宝塔が世界に充滿するであろう。)」 とある。「極めてすばらしい」として も本意は変わらない。注釈はない。</p>
9	<p>今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 比叡の山の僧 長円法花を誦 して靈験を施 す語第二十一 p.343</p>	<p>亦、清水ニ参テ、終日法花経ヲ誦スルニ、 夢ニ、端正美麗ナル女人ノ極テ気高キ、 身ヲ微妙(みめう)ニ莊嚴シタル、来テ、長 円ニ向テ、掌ヲ合セテ誦シテ云ク、 三昧宝螺声 遍至三千界 一乘妙法音 聴更無飽期 ト云フ、ト見テ夢覚ヌ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(夢に、端正で 美しくこの上なく気高い女性が、身 を)まことに立派によそおって(現れ、 長円に向い手を合せ、)」とある。注 釈はない。</p>
10	<p>今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 比叡の山の僧 広清の髑髏法 花誦する語第 三十 p.358</p>	<p>夢ニ、八ノ菩薩ヲ見ル。皆黄金ノ姿也。 瓔珞莊嚴ヲ見ルニ、心ノ及ブ所ニ非ズ。 広清此レヲ見テ、恐レ貴ムデ礼拝セムト 為ルニ、一ノ菩薩在マシテ、微妙(みめう) ノ音ヲ以テ広清ニ告テ宣ハク、「汝法花経 ヲ持テ、此ノ善根ヲ以テ生死ヲ離レテ菩 提ニ至ラム、ト願フ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(その中之一人 の菩薩が、)妙なる(声で広清におっし やる。)」とある。『旺文社 古語辞典 第 10版 増補版』、「たへ(妙)」には、「① 神々しいほどにすぐれている。何とも いえすすばらしい。霊妙だ。②じょう ずだ。巧妙だ。」とあり、「語感」とし て、「自然や芸道などがきわだってす ぐれ、神秘的にさえ思われる感じ。」 とある。したがって、上記「たへ」① の意が、「微妙(みめう)」と同義のも のであることがわかる。</p>
11	<p>今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 女人法花経を 誦して浄土を 見る語第三十 六 p.373, 374</p>	<p>其ノ寺ニ我レヲ将入ヌ。寺ノ門ヲ入テ見 レバ金堂、講堂、経蔵、鐘楼、僧房、門 楼、極テ多ク造リ重ネテ、莊嚴セル事実 (ことまこと)ニ微妙(みめう)也。其ノ中 ニ、天冠ヲ戴ケル天人、瓔珞ヲ懸タル菩 薩、員不知(かず)シラズ。(中略) 亦、一ノ高キ堂ヲ見レバ、仏在マシテ、 金色ノ光ヲ放テ照シ給フ。但シ、袈裟ヲ 面ニ覆ヒ給ヘリ。然レバ、御顔ヲ礼ミ奉 ル事無シ。微妙(みめう)ノ音(こゑ)ヲ出シ テ、我ニ告テ宣ハク、『汝法花経ヲ誦</p>	<p>・注釈によると、二つめの「微妙(みめ う)ノ音(こゑ)」について、「すばらし く、美しい声。『法華験記』は「伽陵 頻声」とする。」とある。現代語訳に よると、「莊嚴セル事実(ことまこと) ニ微妙(みめう)也。」は、「(それらが、 まことに美しく立派に(造り飾られ ています。)」とあり、「微妙(みめう) ノ音(こゑ)ヲ出シテ、」は、「(仏様は) 妙なる(お声を出してわたしにこうお っしゃいました。)」とある。</p>

第6章 微妙

		スルニ依テ、我ガ身ヲ汝ニ見セ、音(こゑ)ヲ令聞(きかし)ム。	
12	今昔物語集 卷第十三 本朝 仏法に 付く 女子死にて蛇 の身を受け法 花を聞き脱 るを得る語 第四十三 p.395	其の後、父ノ夢ニ、有リシ女子極テ穢ク汚タル衣ヲ着テ、心ニ思ヒ歎キタル気色ニテ有ル程ニ、貴キ僧来テ、其ノ衣ヲ令脱メタレバ、膚ハ金ノ色ニシテ透キ通レルニ、微妙(みめう)ノ衣及ビ袈裟ヲ令服メテ、僧自ラ女ヲ引キ立テ、紫ノ雲ニ乗セテ去ヌ、ト見テ夢覺ヌ。	・注釈によると、「美しく、すばらしい。「めでたき」と同意。色(色葉字類抄)「微妙 ミメウ。」とある。現代語訳によると、「(父の夢の中で、尊い僧が、死んだ娘に、)-(それに、)何ともいえずきれいな(衣と袈裟をつけさせ、)」とある。
13	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 信濃の国に蛇 と鼠との為 に法花を写 して苦し びを救ふ 語第二 p.405, 406	其ノ夜、守ノ夢仁二人ノ男有リ。皆形貞直クシテ、咲(ゑみ)ヲ含テ微妙(みめう)ノ衣ヲ着テ、守ノ前ニ出来テ、敬ヒ畏リテ守ニ申シテ云ク、(中略) 今、切利天上ニ可生シ。此ノ広大ノ恩徳、世々生々ニモ報ジ不可尽」ト云テ、二人共ニ空ニ昇ヌ。其ノ間、微妙(みめう)ノ音楽ノ音空ニ満テリ、ト見テ夢覺ヌ。	・注釈はない。現代語訳によると、「咲ヲ含テ微妙(みめう)ノ衣ヲ着テ」は、「(微笑をたたえ、)きれいな(衣装を身につけている。)」とある。「微妙(みめう)ノ音楽ノ音空ニ満テリ、」は、「微妙な(音楽の音が空に満ち満ちていた、)」とある。
14	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 女法花の力に 依りて蛇身 を転じて天 に産まる 語第四 p.416	其ノ後、大臣ノ夢ニ、彼ノ石淵寺ニテ来レリシ女霊身ヲ微妙(みめう)ニ莊嚴シテ、光ヲ放チ、大臣ノ前ニ来テ、咲ヲ含テ大臣ニ告テ云ク、	・現代語訳によると、「(大臣の夢に、あの石淵寺で現れた女の霊が、)まことに美しい(衣装を身につけ、)」とある。
15	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 野干の死に たるを救は むが為に 法花を写 す人の語 第五 p.418, 420	二条朱雀ヲ行クニ、朱雀門ノ前ヲ渡ル間、年十七八歳許有(ばかりあ)ル女ノ、形端正ニシテ姿美麗ナル、微妙(みめう)ノ衣ヲ重ね着タル、大路ニ立テリ。此ノ男此ノ女ヲ見テ、難過(すごしがた)ク思テ、寄テ近付キ触レバウ。(中略) 我ヲ救ヒ給フニ依テ、劫々ニ罪ヲ滅シテ、今切利天ニ生レヌ。此ノ恩量リ無シ。世々ヲ経ト云トモ難忘シ」ト云テ、空ニ昇ヌ。其ノ程空ニ微妙(みめう)ノ楽ノ音(こゑ)有リ、ト見テ夢覺ヌ。	・現代語訳によると、「微妙(みめう)ノ衣ヲ重ね着タル、」は、「きれいな(着物を重ね着して、)」とある。「其ノ程空ニ微妙(みめう)ノ楽ノ音(こゑ)有リ、」は、「(その間、空には)美しく妙なる(楽の音がしていた、)」とある。
16	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 修行の僧越 中の立山に 至りて小 (わか)き 女に会ふ 語第七 p.428	僧ハ此ノ事ヲ告ツレバ、返去ヌ。父母忽ニ女子ノ為ニ法花經ヲ書写供養ジ奉リツ。其ノ後、父ノ夢ニ、彼ノ女子微妙(みめう)ノ衣服ヲ着テ、掌ヲ合セテ、父ニ申ク、「我、威力、観音ノ御助ニ依テ、立山ノ地獄ヲ出デ、切利天ニ生レヌ」トゾ告ゲハル。	・現代語訳によると、「(父の夢に)美しい(衣装をつけた娘が現れ、)」とある。
17	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 越中の国の 書生の妻 死にて立 山の地獄に	其後、子共ノ心息マリテ、「我ガ母今ハ地獄ノ苦免カレタラム」ト思フ程、其ノ後太郎ガ夢ニ、母ハ微妙(みめう)ノ衣服ヲ着テ来テ告テ云ク、「我レ此ノ功德ニ依テ、地獄ヲ離レテ切利天ニ生レヌ」ト云テ、空ニ昇ヌ、ト見テ夢覺ヌ。	・現代語訳によると、「(その後、太郎の夢に、母が)美しい(衣装を着て現れ、)」とある。

第6章 微妙

	墮つる語第八 p.432		
18	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 元興寺の智光 頼光往生ずる 語第一 p.27, 29	「頼光ノ生タラン所ヲ知ラム」ト心ニ祈念 スルニ、智光、夢ニ、頼光ノ有ル所ニ至 ヌ。見レバ、其ノ所ノ莊嚴微妙(みめう) ニシテ浄土ニ似タリ。智光此レヲ怪ムデ、 頼光ニ問テ云ク、「此レ何ナル所ゾ」ト。 (中略) 仏智光ニ告テ宣ハク、「仏ノ相好、浄土ノ 莊嚴ヲ可觀シ」ト。智光ノ申サク、「此ノ 土ノ莊嚴微妙広博(しやうごむ みめう くわうばく)ニシテ、心眼ノ及所ニ非ズ。 凡夫ノ心ニ、何(いかで)カ此ヲ觀ゼム」ト。	・現代語訳によると、「其ノ所ノ莊嚴微 妙(みめう)ニシテ浄土ニ似タリ。」は、 「そこはもことに美しく飾られた所で 浄土そっくりである。」とある。「此ノ 土ノ莊嚴微妙広博ニシテ、」は、「この 浄土の美しさはまことに妙なるもの であり、また廣大無辺なものでありま す。」とある。注釈によると、「莊嚴微 妙広博」は、「いうにいわれぬほどめ でたく、かつ廣大無辺なさま。」とあ る。
19	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 比叡の山の頸 の下のこぶ有 る僧往生ずる 語第六 p.39	其ノ粥ヲ煮ムガ為ニ、一夜湯屋ノ□(あし かなへ)ノ辺ニ有ルニ、俄艶(にはかにえも いは)ズ馥(かうば)シキ香山ニ満テ、微妙 音楽(みめうのおむがく)ノ音(こゑ)空ニ 聞ユ。普照此レヲ怪シビ思フト云ヘドモ、 何事ト不知ズシテ、仮ソメニ寐タルニ、 夢ニ、一ツ宝ヲ以テ嚴(かざ)レル輦(こし) 有リ、	・注釈によると、「俄艶(にはかにえも いは)ズ馥(かうば)シキ香山ニ満テ、 微妙音楽(みめうのおむがく)ノ音(こ ゑ)空ニ聞ユ。」は、「これ以下の妙香 と微妙な音楽の記事は聖衆来迎の瑞 相として典型的なもの。」とある。現 代語訳によると、「妙なる(音楽が空に 聞えてきた。)」とある。
20	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 梵釈寺の僧兼 算往生ずる語 第六 p.41	ニ、兼算宜シ気ナル気色ニテ、弟子ノ僧 ヲ呼テ語テ云ク、「我レ既ニ命終リナムト 為ルニ、忽ニ空ノ中ニ微妙(みめう)ノ音楽 ノ音有リ。汝等同此レヲ聞クヤ否ヤ」ト。 弟子、「不聞ズ」ト答ヘテ、	・現代語訳によると、「(今、急に空の 中から)妙なる(音楽が聞えてきた。)」 とある。
21	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 比叡の山の横 川の尋静往生 ずる語第八 p.43	語テ云ク、「今我レ夢ニ、大キナル光ノ中 ニ数(あまた)ノ止事無(やむごと)ナキ僧 在(まし)マシテ、微妙(みめう)ノ宝ヲ莊(か ざ)レルノ輦(こし)ヲ持来テ、微妙(みめ う)ノ音楽ヲ唱テ西方ヨリ来テ、虚空ノ中 ニ有リ。此レ極樂ノ迎ナメリト思」。弟子 共此レヲ聞テ、貴ビ思フ事無限(かぎりな) シ。	・現代語訳によると、「微妙(みめう)ノ 宝ヲ莊(かざ)レルノ輦(こし)ヲ持来 テ、」は、「美しい(宝で飾ったひとつ の御輿を持ち、)」とある。「微妙(み めう)ノ音楽ヲ唱テ」は、「妙なる(音 楽を奏でながら)」とある。
22	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 比叡の山の西 塔の僧仁慶往 生ずる語第十 一 p.49	如此クシテ日来有ル間、遂ニ失ヌレバ、 葬シテケリ。其ノ後、隣ナル人ノ夢ニ、 大宮ノ大路ニ五色ノ雲空ヨリ下ル。微妙 (みめう)ノ音楽ノ音有リ。其ノ時ニ、仁慶 頭ヲ剃リ、法服ヲ着シテ、香炉ヲ取テ西 ニ向テ立テリ。	・現代語訳によると、「妙なる(音楽が 聞える。)」とある。
23	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 陸奥の国小松 寺の僧玄海往 生ずる語第十 九 p.66	而ル間、玄海夢ニ、我ガ身、左右ノ脇ニ 忽(たちまち)ニ羽生(はねはえ)ヌ。西ニ向 テ飛ビ行ク。千万ノ国ヲ過テ飛ビ行テ、 微妙(みめう)ナル世界ニ至ヌ。皆七宝ノ地 也。	・現代語訳によると、「この上なく美し い(世界に着いた。)」とある。
24	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に	子共此レヲ聞テ、泣々ク終夜堂ノ辺ヲ不 離レズ、不寝ズシテ聞クニ、曉ニ成テ、 当堂ノ内ニ微妙(みめう)ノ音楽ノ音有リ。	・現代語訳によると、「(堂の中から)妙 なる(音楽が聞えてきた。)」とある。

第6章 微妙

	<p>付く 信濃の国如法 寺の僧薬連往 生ずる語第二十 p.68</p>	<p>此レヲ聞テ、「奇異也。此レハ夢カ」ナド 思間ニ夜嗟(あけ)ヌ。</p>	
25	<p>今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 大日寺の僧広 道往生ずる語 第二十一 p.70</p>	<p>而ル間ニ、彼ノ広道ガ夢ニ、貞観寺、二 ノ寺ノ間音楽ノ音聞ユ。広道此ヲ聞テ驚 テ、「何ゾノ音楽ナラム」ト思テ、行テ見 レバ、其ノ所ニ微妙(みめう)ノ宝ヲ以テ荘 レル三ノ車有リ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(そこに)非常に きれいな(宝で飾られた三つの車があ る。)」とある。</p>
26	<p>今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 丹後の国の迎 講を始むる聖 人往生する (*ママ)語第 二十三 p.74, 75</p>	<p>守、「必ずシモヤ」ト思テ有ケルニ、既迎 講ノ日ニ成テ、儀式共微妙(みめう)ニシテ 事始マルニ、(中略) 仏ハ漸ク寄り来リ給フニ、観音ハ紫金ノ 台ヲ捧ゲ、勢至ハ蓋ヲ差、楽天ノ菩薩ハ 一鶏婁ヲ前トシテ微妙(みめう)ノ音楽ヲ 唱ヘテ、仏ニ随テ来ル。其間、聖人涙ヲ 流シテ念ジ入タリ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(儀式など)たい へん美々しく(始ると、)」「妙なる(音 楽を奏し、)」とある。</p>
27	<p>今昔物語集 卷第十六 本朝 仏法に 付く 観音に仕る人 竜宮に行きて 富を得る語第 十五 p.203, 204, 205</p>	<p>其ノ後、其ノ池ニ持行テ、可然(しかるべ) キ所ヲ見テ、砂フ堀リ遣テ、冷(すず)シク 成シテ放タレバ、水ノ中ニ入ヌ。心安ク 見置テ、男、寺ノ有ル所ヲ差テ行ケバ、 二町許行キ過ル程ニ、年十二三許ノ女ノ 形チ美麗ナル、微妙(みめう)ノ衣袴ヲ着タ ル、来リ会ヘリ。男此レヲ見テ、山深ク 此レ値レバ、「奇異也」ト思フニ、(中略) 「然(さ)テ、目ヲ見開ケ給ヘ」ト云ヘバ、 目ヲ見開テ見レバ、微妙(めでた)ク荘(か ざ)リ造レル門ニ至レリ。(中略) 云ヘバ、恐々ツ女ニ随テ行クニ、重々(ぢ うぢう)ニ微妙(みめう)ノ宮殿共有(くう でんどもあり)テ、皆、七宝ヲ以テ造レリ。 光リ耀ク事無限シ。既ニ行畢テ、中殿ト 思シキ所ヲ見レバ、色々ノ玉ヲ以テ荘テ、 微妙(みめう)ノ帳床ヲ立テ、輝キ合ヘ リ。暫ク有テ、気高ク怖シ気ニシテ、鬢 長クとし六十許ナル人、微妙(みめう)ニ身 ヲ荘(かざ)リテ、出来(いできたり)テ云 ク、(中略) 男、「此レハ、蛇ノ祖也ケリ」ト心得ツ。 此ノ人、人ヲ呼ブニ、気高ク怖シ気ナル 者共来レリ。「此ノ客人ニ主ジ仕レ」ト云 ヘバ、微妙(みめう)ノ食物ヲ持来テ居ヘタ リ。自モ食ヒ、男ニモ「食ヘ」ト勸ムレ バ、心解(こころとけ)テモ不思(おもは)ネ ドモ食ヒツ。其ノ味(あぢは)ヒ甘(むま)キ 事無限(かぎりな)シ。</p>	<p>・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と 「微妙(みめう)」が共存する例。全 6 例みられる。現代語訳によると、上か ら、「すばらしい(着物・袴をつけた美 しい女がやってくるのに出会った。)」 「まことにりっぱに(装飾された門の 所に来ていた。)」「(幾重にも重なっ た)すばらしい(宮殿があり、)」「言い ようもなく美しい(垂れ絹や帳台が置 かれ、)」「りっぱな(衣装に身を包ん で現れ、)」「すばらしい(食膳を持っ てきて前に据えた。)」とある。ここ で、左の例に、「奇異也」とあるが、 「奇異」とは、注釈によると、「驚きを 伴った不思議な思い。「奇異」の思い は説話の重要な要素の一つ。「内心に 怪しと思ひ」(霊異記)」とある。</p>
28	<p>今昔物語集 卷第十七 本朝 仏法に 付く 律師清範の文 殊の化身なる</p>	<p>走り入り給ヒニケリ。其ノ時ニ、寂照 思ハク、「彼ノ律師ヲバ、皆人、『文殊ノ 化身ニ在ス』ト云ヒシ。『説経ヲ微妙(み めう)ニシテ、人ニ道心ヲ令発レバ云フナ メリ』ト思ヒシニ、</p>	<p>・現代語訳によると、「まことにりっぱ に(説教をして、)」とある。</p>

第6章 微妙

	<p>ことを知る語 第三十八 p.390</p>		
29	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 六宮の姫君の 夫出家する語 第五 p.458, 460</p>	<p>年十余歳許ニテ、形チ美麗ニシテ、髪ヨリ始メテ姿様体此ハ弊(つたな)シト見ル所無シ。心バへ敵(いつくしく)シテ気ハヒ労(らう)タシ。此ク微妙(みめう)ナレバ、可然(しかるべ)キ君達ナドニモ合セタラムニ、露愚(つゆおろかに)ニ可思(おもふべき)ニ非ズ。(中略) 如此(かくのごと)クテ度々ニ成ヌレバ、其ノ日ト定メテ既ニ来リ始メヌレバ、云フ甲斐無クテ通ヒ行ク。女ノ有様ノ此ク微妙(めでた)ケレバ、男コ志ヲ尽シテ思タルモ理也。</p>	<p>・一説話の中に、「微妙(みめう)なり」と「微妙(めでた)し」が同時に現れる例。現代語訳によると、「(このように)すばらしい美人(なので、しかるべき公達にめあわしたとしてもけっして恥ずかしくないほどである。)」 「(男は、姫が)かくも美しい(のを見て)」とあるように、「微妙(みめう)なり」も「微妙(めでた)し」も、同義のものとして使われていることがわかる。</p>
30	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 讃岐の国の多 度の郡の五位 法を聞きて即 ち出づる語第 十四 p.507</p>	<p>「然(さ)ハ呼ビ奉ラム。聞ケ」ト云テ、「阿弥陀仏ヨヤ、ライノ。何コニ御マス」ト叫ベバ、海ノ中ニ微妙(みめう)ノ御音有テ、「此ニ有」ト答ヘ給ヒケレバ、入道、「此レハ聞ヤ」ト云フニ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(沖のほうから)なんともいえない美しい(声で、「ここにおよよ」とお答えがあった。)」とある。</p>
31	<p>今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 伊吹の山の三 修禪師天宮の 迎へを得る語 第十二 p.69</p>	<p>御額ニ白キ光ヲ至セリ。二ノ眉ハ三日月ノ如シ。二ノ青蓮ノ御眼見延テ、漸月ノ出ガ如シ。又様々ノ菩薩、微妙音楽(みめうのをむがく)ヲ調テ、貴事無限(たふときことかぎりな)シ。又空ヨリ様々ノ花降ル事、雨ノ如シ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(また、さまざまの菩薩は)妙なる(音楽を奏し)」とある。</p>
32	<p>今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 出雲寺の別当 浄覚父の成り し鯰の肉を食 ひて現報を得 て忽ち死ぬる 語第三十四 p.119</p>	<p>「高尾、比良、上津出雲寺ノ地、此ノ三ノ中ニ、何レカ可吉キ」ト有ケル。「此ノ寺ノ地ハ殊ニ勝レテ微妙(みめう)ナレドモ、住僧ナム監行(らむぎやう)ナルベキ」トテ、其レニ依テ止(とどま)レル所也。</p>	<p>・現代語訳によると、「(この上津出雲寺の地はとくにすぐれて)よい(所ではあるが、寺に住む僧が破戒僧になるだろう)」とある。</p>
33	<p>今昔物語集 卷第二十三 本朝 兼時敦行競馬 の勝負の語第 二十六 p.241</p>	<p>今昔、右近馬場ニシテ競馬有ケルニ、一番ニ尾張兼時、下野ノ敦行乗リタリケル。兼時、競馬ニ乗ル事極タル上手也。古ノ者ニモ露不恥、微妙(みめう)ナリケル者也。但シ悪キ馬ニ乗ル事以(ことをもつて)ノミナム少心(すこしこころ)モト無カリケル。</p>	<p>・現代語訳によると、「(昔の名手に恥じないほどの)すばらしい(乗り手である。)」とある。</p>
34	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 百濟川成と飛 弾の工と挑む 語第五</p>	<p>而ルニ、其比(そのころほひ)、飛弾(ひだ)ノ工ト云フ工有ケリ。都遷(みやこうつり)ノ時ノ工也。世ニ並無(ならびな)キ者也。武楽院ハ其工ノ起(たて)タレバ微妙(みめう)ナルベシ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(武楽院はこの工が手にかけてのものであるから、)かくもすばらしい(のであろう。)」とある。</p>

第6章 微妙

<p>35</p> <p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 源博雅の朝臣 会坂の盲の許 に行く語第二 十三 p.305</p>	<p>p.251</p> <p>今昔、源博雅朝臣ト云人有ケリ。延喜ノ御子ノ兵部卿ノ親王ト申人ノ子也。万ノ事止事無カリケル中ニモ、管絃ノ道ニナム極タリケル。琵琶ヲモ微妙(みめう)ニ弾ケリ。笛ヲモ艶(えもいは)ズ吹ケリ。此人、村上ノ御時ニ、□ノ殿上人ニテ有ケル。</p>	<p>・現代語訳によると、「(琵琶をひくことも)すばらしく、」とある。</p>
<p>36</p> <p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 大江朝綱の家 の尼詩の読み を直す語第二 十七 p.315</p>	<p>踏沙被練立清秋 月上長安百尺楼 ト云詩ハ昔シ唐ニ□云ケル人、八月十五夜ニ月ヲ翫(もてあそび)テ作レル詩也、其ヲ此人々詠ジケルニ、亦故朝綱ノ文花ノ微妙(みめう)ナリシ事共ヲ云ヒ語ケル間、丑寅方ヨリ、尼一人出来リテ、問テ云ク、「此ハ誰人ノ来テ遊ビ給フゾ」ト。</p>	<p>・現代語訳によると、「(また、故朝綱が詩文に)長じていた(ことなどを語り合っていると、)」とある。</p>
<p>37</p> <p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 藤原資業の作 る詩を義忠難 ずる語第二十 九 p.319</p>	<p>民部卿此ノ事ヲ伝ヘ聞テ、攀縁(へんねん)を發(おこ)シテ、此ノ詩共ヲ、皆麗句微妙(みめう)ニシテ、撰ブ所ニ私無キ由ヲ被申(まうされ)ケレバ、宇治殿、頗(すこぶ)ル義忠ガ言(こと)ヲ不心得思食(こころえずおぼしめし)テ、義忠ヲ召テ、「何ノ故有テ、此ル僻言(ひがごと)ヲ申テ事ヲ壞(やぶ)ラムト為ルゾ」ト、勸發(かむばつ)シ被仰(おほせられ)ケル。</p>	<p>・現代語訳によると、「(民部卿はこのことを耳にして激怒し、これらの詩はみなりっぱな)すばらしい(辞句のもので、選定には私情を交えてはいないと弁明されたので、)」とある。</p>
<p>38</p> <p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 藤原為時詩を 作りて越前守 に任せらるる 語第三十 p.321</p>	<p>然レバ、其申文ヲ尋ネ出テ、関白殿天皇ニ令御覽(ごらむぜしめ)メ給ケルニ、此ノ句有リ。然レバ、関白殿此ノ句微妙(みめう)ニ感ゼサセ給テ、殿ノ御乳母子ニテ有ケル藤原国盛ト云人ノ可成(なるべ)カリケル越前守ヲ止(とどめ)テ、俄(にはか)ニ此ノ為時ヲナム被成(なされ)ニケル。</p>	<p>・現代語訳によると、「(関白殿はこの句の)すばらしさに(感心なさって、)」とある。</p>
<p>39</p> <p>今昔物語集 卷第二十五 本朝 世俗に 付く 平将門謀反を 発し誅せらる る語第一 p.390</p>	<p>而ル間、新皇相模国ヨリ下総国ニ返リテ、未ダ馬ノ蹄ヲ不休(やすめぎ)ル、遺(のこ)ル所ノ敵等ヲ罰失(うちうし)ナハムガ為ニ、多ノ兵ヲ具シテ、常陸国ニ向フ。時ニ有ル藤原ノ氏ノ者共、堺ニシテ、微妙(みめう)ノ大饗ヲ儲(まうけ)テ新皇ニ奉ル。新皇ノ云、「藤原ノ氏ノ輩、平貞盛等有ラム所ヲ教ヨ」ト。</p>	<p>・現代語訳によると、「微妙(みめう)ノ大饗ヲ儲(まうけ)テ新皇ニ奉ル。」の部分は、「山海の珍味を備えて新皇をもてなした。」と意識してある。具体的に訳せば、「すばらしく豪華な(大宴会を設けて新皇をもてなした。)」となる。</p>
<p>40</p> <p>今昔物語集 卷第二十五 本朝 世俗に 付く 藤原保昌の朝 臣盗人の袴垂 に値ふ語第七 p.424</p>	<p>而ルニ、露家ノ兵ニモ不劣トシテ心太ク、手聞キ、強力ニシテ、思量(おもばかり)ノ有ル事モ微妙(みめう)ナレバ、公モ此ノ人ヲ兵ノ道ニ被仕(つかはる)ルニ、聊心(いささかもこころ)モト無キ事無キ。然レ、世ニ靡(なびき)テ此ノ人ヲ恐(お)ヂ迷(まど)フ事無限(ことかぎり)なしリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「思量ノ有ル事モ微妙(みめう)ナレバ、」の部分は、「思慮も深いので、」と意識してある。と意識してある。</p>
<p>41</p> <p>今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 加賀の国の蛇 と蜈(むかで)</p>	<p>人ノ足音数(あしおとあまた)シテ来也(くなり)ト聞程ニ、長櫃ニツ荷(になひ)テ持来タリ。酒ノ瓶ナドモ数有。長櫃ヲ開タルヲ見レバ、微妙(みめう)ノ食物共也(じきもつどもなり)ケリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(長櫃を見ると、)すばらしい(御馳走が入っていた。)」とある。</p>

	と諍(あらし) ふ島に行く人 蛇を助けて島 に住む語第九 p.515		
42	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 利仁の将軍若 き時京従り敦 賀に五位を将 (み)て行く語 第十七 p.554	身ノ内(うち)シ透(すき)タリケレバ、極(い みじ)ク寒気(さむげ)ナルニ、長櫃に火多 ク口(*欠字)テ、畳厚ク敷タルニ、菓子食 物(くだものじきもつ)ナド儲(まうけ)タ ル様、微妙(みめう)也。「道ノ程寒ク御マ スラン」トテ、練色ノ衣ノ綿厚ヲ三ツ引 重テ打覆(うちおほひ)タレバ、楽(たのし) ト云バ愚也(おろかなり)ヤ。	・現代語訳によると、「(畳を厚く敷き、 その上に果物や菓子を並べたが、)じ つに豪勢である。」とある。
43	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 竹取翁女兒を 見付けて養ふ 語第三十三 p.574	彼ノ翁ノ家ニ行幸有ケリ。既ニ御(おはし) マシ着タルニ、家ノ有様微妙(みめう)ナル 事王ノ宮ニ不異(ことなら)ズ。	・現代語訳によると、「(家のありさま の)すばらしいこと、(王宮さながらで ある。)」とある。

6.9.2.2 検索語：「微妙(めでた)し」「微妙(いみじ)く」(熟字訓)¹⁴⁸ (2020/12/09 時点)

図表 6.22：「微妙(めでた)し」「微妙(いみじ)く」の実例(日本古典文学全集：『今昔物語集』)

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 東大寺にして 花厳会を行な ふ語第七 p.170	此ノ事ハ、虚実ヲ不知ズト云ヘドモ、人 ノ語り伝フル所也。但シ、此ノ会ノ儀式、 作法、舞楽ノ興、微妙(めでた)クシテ、他 所ニ不似ズ。心ノ及ブ所ニ非ズ。極楽モ 此ヤ有ラムトゾ人云メル。	・平安時代(1120年以降成立)。作者未 詳。1~5巻「天竺(てんじく)部」(イン ド)、6~10巻「震旦(しんたん)部」(中 国)、11~20巻「本朝(日本)仏法部」、 21~31巻「本朝世俗部」の31巻で構 成。日本古典文学全集では、本朝仏法 部・世俗部のみ収録。まず、『旺文社 古 語辞典 第10版 増補版』、「めでたし」 には、「①賞美すべきである。すばら しい。りっぱだ。みごとだ。すぐれて いる。②祝う価値がある。祝賀すべき だ。めでたい。③お人好しだ。」とあ り、「語感」によると、「すばらしくよ いものに対して、強くほめたたえたい 感じ。」とある。以降、「微妙(めでた) し」の例については、①の意味で使わ れているとみられる。左の「微妙(め でた)キ」について注釈はないが、現 代語訳によると、「(この法会の儀式・ 作法、舞楽の興)非常にすばらし い(もので、)」とある。
2	今昔物語集 卷第十二	舍利ヲ下シ奉テ吉田ト云フ所ニテ此ノ会 ヲ行フ。多ノ僧ヲ請ジ音楽ヲ調ヘテ一日	・「微妙(めでた)キ」について注釈は ないが、現代語訳によると、「それは

¹⁴⁸ ごく少数ながら、「微妙(いみじ)く」と読ませる熟字訓の例(番号“47”および“56”)もあるが、それも含めた。

第6章 微妙

	本朝 仏法に 付く 比叡の山にし て舍利会を行 なふ語第九 p.174	ノ法会ヲ行ヒケリ。其ノ比、微妙(めでた) キ事ニナムシケル。	当時の)すばらしい(ことと人々の評 判になった。)」とある。
3	今昔物語集 卷第十二 本朝 仏法に 付く 比叡の山にし て舍利会を行 なふ語第九 p.175	舍利ヲ法興院ヨリ祇陀林へ渡シ奉ル間、 余(はか)ニ不似(に)ズ微妙(めでた)シ。(中 略)唐高麗ノ舞人楽人、菩薩鳥蝶ノ童、左 右ニ列セリ。音楽ノ音微妙(めでた)シ。	・「微妙(めでた)シ」について注釈は ないが、現代語訳によると、「(比べも ののないほど)立派な(ことであつ た。)」(「音楽の音色が)すばらしい。」 とある。
4	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 女法花の力に 依りて蛇身を 転じて天に産 まるる語第四 p.414	大臣、「然レバコソ。鬼ノ来テ人ヲ噉フ也 ケリ」ト思テ、弥ヨ慎テ、身ヲ固メ呪ヲ 誦シテ居タルニ、後ノ方ヨリ一人ノ女微 妙(めでた)キ有様ニテ漸ク歩ミ来ル。御明 ノ光ニ見ルニ、実(まこと)ニ怖シキ物カ ラ、有様美麗也。	・現代語訳によると、「(後ろのほうか ら一人の)たいへん美しい(姿をした 女が静かに歩み寄ってくる。)」とあ る。
5	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 源信内供横川 にして涅槃経 を供養ずる語 第三十九 p.500	而ルニ、東塔ノ四ノ谷并(ならび)ニ無動寺 マデ聞継(ききつぎ)テ書(かきけ)レバ、既 ニ十五部ニ成給ヒヌ。各(おのおの)目モ曜 (かかや)ク許(ばか)リ微妙(めでた)ク貴ク 書奉リケル。	・現代語訳によると、「(どれも目にも 輝くほど)美しく(尊く書き奉った。)」 とある。
6	今昔物語集 卷第十四 本朝 仏法に 付く 山の僧幡磨の 明石に宿りて 貴き僧を見る 語第四十四 p.518	陽信此レヲ見ル、貴ク悲キ事無限シ。「然 レバ、此ル者モ世ニハ有ケリ」ト思フニ、 奇異シ。調へ莊タル事共厳ク微妙(めでた) ケレバ、郷ノ者共モ百人許居並テ、「兼テ ヨリ、皆沐浴潔齊シテ有レ」ト教ヘタリ ケレバ、	・現代語訳によると、「(祭場の整備、 装飾などは、いかめしく)立派であ り、」とある。
7	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 源信僧都の母 の尼往生ずる 語第三十九 p.112	但シ、此様ノ御八講ニ参リナドシテ行(あ り)キ給フハ、法師ニ成シ聞エシ本意ニハ 非ズ。其(そこ)ニハ微妙(めでた)ク被思(お ぼさる)ラメドモ、姫ノ心ニハ違ヒニタ リ。姫ノ思ヒシ事ハ、『女子ハ数有レドモ、 男子ハ其一人也。其レヲ、元服ヲモ不令 為ズシテ、比叡ノ山ニ上ケレバ、学問シ テ身ノ才吉ク有テ、	・現代語訳によると、「(そなたは)光榮 に(思っておいででしょうが、このば ばの気持には反したものです。)」と ある。
8	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 鎮西の筑前の 国に流浪する 尼往生ずる語 第四十一 p.119, 120	此ノ尼音(こゑ)ヲ高クシテ前々(さきざ き)ノ如ク念仏ヲ唱ヘテ居タル程ニ、夜ニ 入テ、子丑ノ時許ニ成ヌラムト思フ程ニ、 後ノ島ノ中ニ世ニ不知ズ微妙(めでた)キ 光俄(にはか)ニ出来(いできた)レバ、家 女(いへのをむなこ)此レヲ見テ、驚キ怪 (あやしむ)デ、(中略) 家女モ此レヲ見テ、念仏ヲ申入テ有ル程 ニ、尼ハ居乍(みなが)ラ西ニ向テ、掌ヲ合 テ額ニ宛テ失ニケリ。家女世ニ此ク奇異	・現代語訳によると、「(今まで見たこ ともないほどの)美しい(光がにわか に現れた。)」(「(こうも驚くほど)すば らしい(ことを見て感激し尊び、)」と ある。

第6章 微妙

		(あさまし)ク微妙(めでた)キ事ヲ見ツル事ヲ悲ビ貴ビテ、泣々ク礼拝シケリ。	
9	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 義孝の中將往 生ずる語第四 十三 p.125	小將生タリシ時モ、身ノ才有テ文ヲ吉ク 作ケレバ、夢ノ内ニ作タル文モ微妙(めで た)キ物ニテナム有ル。夢ニ、「極楽ニ遊 ブ」ト告タルニ、亦終ニ往生ノ人也、ト ナム語り伝エタルトヤ。	・現代語訳によると、「(夢の中で作っ た詩も)すぐれた(ものである。)」と ある。
10	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 越中の前司藤 原仲遠兜率に 往生ずる語第 四十六 p.131	傍(かたはら)ナル人ニ告テ云ク、「我今兜 率天上(われいまとそつてんじやう)ニ可 生(むまるべ)シ」云テ、掌(たなごころ)ヲ 合テ失(うせ)ニケリ。其ノ時ニ、家ノ内ニ 艶(えもいは)ズ馥(かう)バシキ香匂(かに ほ)ヒ満テ、微妙(めでた)キ音楽ノ音空(こ ゑそら)ニ聞エケリ。	・現代語訳によると、「(その時、家 の中になんともいえず香ばしいかおり が満ち満ちて、空から)妙なる(音楽 の音が聞えてきた。)」とある。この一 節については、注釈によると、『法華 験記』「奇香鼻に薰じ、妙音耳に聞 く。」とある。御仏が(夢の中に)現れ るときの定型といえる。
11	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 女の藤原氏往 生ずる語第五 十 p.140	而ル間、漸ク年積テ老ニ臨デ、女、人ニ 語テ云ク、「我レ年来、『極楽ニ生レム』 ト願テ、昼夜ニ念仏ヲ唱ツルニ、今遥ニ 微妙(めでた)キ音楽ノ音(こゑ)ヲ聞ク。此 レ可往生キ相カ」ト。	・現代語訳によると、「(今、はるかに) 妙なる(音楽ノ音が聞えてきまし た。)」とある。
12	今昔物語集 卷第十五 本朝 仏法に 付く 伊勢の国の飯 高の郡の老た る姫往生ずる 語第五十一 p.142	姫右ノ手ニ一葉ノ蓮花ヲ持タリ。葩(はな びら)ノ広サ七八寸許ニシテ、光リ鮮ヤカ ニ、色微妙(めでた)クシテ、香馥(かかう) バシキ事無限(ことかぎりな)シ。更ニ此ノ 世ノ花ト不見エズ。看病ノ輩此(ともがら こ)レヲ見テ、「奇異也(さいなり)」ト思テ、	・現代語訳によると、「(色は)まことに 美しく」とある。
13	今昔物語集 卷第十六 本朝 仏法に 付く 観音に仕る人 竜宮に行きて 富を得る語第 十五 p.204	「然(さ)テ、目ヲ見開ケ給へ」ト云ヘバ、 目ヲ見開テ見レバ、微妙(めでた)ク荘(か ざ)リ造レル門ニ至レリ。	・現代語訳によると、「まことにりっぱ に(装飾された門の所)に来ている。)」 とある。
14	今昔物語集 卷第十七 本朝 仏法に 付く 毘沙門天の助 けに依りて金 を産まして 便を得る語第 四十四 p.407	其ノ後ハ、僧、「極(いみじ)キ童ト云ヘド モ、此ク思ハシク勞(らう)タキモ無シ。此 レハ可然(さるべ)キ事ナメリ」ト思テ過ケ ル程ニ、隣ノ房ノ僧共ナドハ、「微妙(め でた)キ若君ヲ然許貧(さばかりまづ)シキ 程ニ、何ニシテ儲(まうけ)タルニカ有ラ ム」トゾ云ケル。	・現代語訳によると、「(どうして)かく もすばらしい(若君を手に入れたので あろう)」とある。
15	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く	額ヲ土ニ付テ、度々礼拝シテ、屈(かがま) リ翔(ふるま)フ事微妙(めでた)シ。然シテ 卒観婆隠テゾ馬ニハ乗ケル。如此卒堵婆 ヲ見ル毎ニ為レバ、一道下リ乗り為ル程	・現代語訳によると、「(額を地面につ けて何度も礼拝し、)折り目正しく(恐 縮の態に振る舞う。)」とある。言い 換えれば「何度も礼拝し、恐縮の態に

第6章 微妙

	内記慶滋の保胤出家する語第三 p.445	ニ、時中ニ可行キ道ヲ、卯ノ時ヨリ申ノ時ノ下ル程ニゾ、	振る舞うことは非常にりっぱである」となる。
16	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 撰津守源満仲出家する語第四 p.451, 452	源賢君(ぐゑんけんのきみ)心ノ内ニ「喜」ト思テ、聖人達ヲ入レツ。微妙(めでた)ク面白ク造タル所ニ入レテ居ヘバ、守源賢君(かみ ぐゑんけんのきみ)ヲ以テ聖人ノ許ニ申ス様、(中略) 明日許(ばかり)ハ御足息(みあしやす)メガテラ留リ給ヘ」ト令云(いはしめ)タレバ、聖人達、「此ク参ヌ。只仰セニ随ヒテ罷リ可返キ也」ト云テ、其ノ夜湯沸シタリ。湯ノ有様微妙(めでた)ク物淨キ事、云ヒ可尽(つくすべ)クモ無ク造タリ。	・現代語訳によると、「りっぱに(粹をこらして造った部屋に案内してくつろがせると、)」「(湯殿のさまの)りっぱで、その見事なことは(口では言い尽くし得ないほどである。)」とある。
17	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 六宮の姫君の夫出家する語第五 p.460	如此(かくのごと)クテ度々ニ成ヌレバ、其ノ日ト定メテ既ニ来リ始メヌレバ、云フ甲斐無クテ通ヒ行ク。女ノ有様ノ此ク微妙(めでた)ケレバ、男コ志ヲ尽シテ思タルモ理也。	・現代語訳によると、「(男は、姫が)かくも美しい(のを見て)」とある。
18	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 小児に依りて硯破の侍出家する語第九 p.478, 479, 486	「奉ラム」トテ、忿(いそ)ギ出立チ給フ間、御口ノ具、御調度ナド、心ノ至ニ随ヒ、カノ及ブ限り、手ヲ尽シ給フ。其ノ中ニモ御硯(おほむすずり)ノ管極(はこ きわめ)テ微妙(めでた)カリケル。此ニ入タル硯有リ。此レハ伝ハリノ物ニシテ、昔ヨリ艶(えもいは)ヌ財也(たからなり)ケリ。(中略) 内ニモ聞シ食(め)シテ令好(このまし)メ給フ物ニテ、「然(さ)ル硯ヤ有ナル」ト尋サセ給ヒケレバ、大臣モ此ル財ヲ我ガ持テ御調度ニ具セム事ヲ微妙(めでた)キ事ト思給ケリ。(中略) 厨子ヲ開テ、此ノ硯ヲ取出シテ見ルニ、実(まこと)ニ伝ヘ聞ツルヨリモ、云ハム方無ク微妙(みめう)ナレバ、(中略) 大臣、「此ハ何ゾ。汝多ノ人ノ中ニ別ニ服ヲ黒クシタル」ト宣ヘバ、男泣々ク申(まうさ)ク、「己レ御硯ヲ微妙(めでた)シト聞キ、責テ見マ欲ク候ヒシ余リニ、殿ノ内ニ御シ、間、窃(ひそか)ニ取出シテ見候シ程ニ、取□テ落シテ打破テ候シヲ、	・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と「微妙(みめう)なり」とが同時に現れる例。現代語訳によると、上から、「(御硯箱は特に)りっぱな(物であった。)」 「(今度のお道具の中に入れることを)すばらしい(こと)と思っておいでになった。」「(まことに聞きしにまさる言語に絶するほどの)すばらしい(物であった。)」 「(わたくしは御硯が)すばらしい(ものであると聞きまして、)」とあるように、「微妙(めでた)し」も「微妙(みめう)なり」も、同義のものとして使われていることがわかる。
19	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 越前の守藤原孝忠の侍出家する語第十三 p.499	守此ヲ聞テ、極(いみ)ジク讚(ほ)メ感ジテ、我着ケル綿衣ヲ脱テ取セテケリ。亦、北ノ方モ、「哀(あはれ)ニ読タリ」ト感ジテ、薄色ノ衣ノ微妙(めでた)キヲ取セタリケレバ、侍此ノ二ノ衣ヲ搔キ抱テ、立テ去ヌ。侍ニ出タリケレバ、多ク居並タル侍共此レヲ見テ、驚キ怪ビテ問ケレバ、	・現代語訳によると、「(薄紫色の)りっぱな(衣装を与えたので、)」とある。
20	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 讃岐の国の多度の郡の五位	其ノ仏、心広クシテ、年来罪ヲ造リ積タル人ナレドモ、思ヒ返シテ一度、『阿弥陀仏』ト申シツレバ、必ズ其ノ人ヲ迎テ、樂(たのし)ク微妙(めでた)キ国ニ思ヒト思フ事叶フ身ト生レテ、遂ニハ仏トナム成ル」ト。(中略)	・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と「微妙(みめう)なり」とが同時に現れる例。現代語訳によると、「(楽しく)すばらしい(国にお迎えくださいます。)」 「(沖のほうから)なんともいえない美しい(声で、「ここにおるよ」と

第6章 微妙

	<p>法を聞いて即ち出づる語第十四 p.502, 507, 508</p>	<p>「然(さ)ハ呼ビ奉ラム。聞ケ」ト云テ、「阿弥陀仏ヨヤ、ヲイノ。何コニ御マス」ト叫ベバ、海ノ中ニ微妙(みめう)ノ御音有テ、「此ニ有」ト答ヘ給ヒケレバ、入道、「此レハ聞ヤ」ト云フニ、(中略) 其後亦七日有テ行テ見レバ、前ノ如ク木ノ膝ニ西ニ向テ、此ノ度ハ死テ居タリ。見レバ、口ヨリ微妙(めでた)ク鮮ナル蓮花一葉生タリ。住持(ちうち)此レヲ見テ、泣キ悲ビ貴(たふと)ビテ、口ニ生(おひ)タル蓮花ヲ折リ取ツ。「引モヤ隠サマシ」ト思ヒケレドモ、</p>	<p>お答えがあった。))」「(口から)えもいわれぬ色あざやかな美しい(蓮の花が一葉生えていた。))」とある。したがって、「微妙(めでた)し」も「微妙(みめう)なり」も、同義のものとして使われていることがわかる。</p>
<p>21</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 村上天皇の御子大斉院の出づる語第十七 p.510, 511, 512, 513</p>	<p>其ノ御時ニ斉院ニハ立セ給ヘル也。其ノ後、斉院ニテ御マス間、世ニ微妙(めでた)ク可咲(をかし)クテノミ御マセバ、上達部殿上人不絶ズ参レバ、院ノ人共モ緩ム事無ク、打チ不解(とけ)ズシテノミ有レバ、「斉院許ノ所無シ」トナム世ノ人皆云ヒケル。(中略) 髻(ほのか)ニ聞ケバ、搔合セ、楽一ツ許(ばかり)有リ。此レヲ聞クニ、微妙(めでた)キ事限無シ。箏(しやうのこと)ノ音不為(ね せ)ズ成ヌレバ、「今ハ内ニ返リ参ナム」ト為(す)ル程ニ、一人ノ云ク、「此ク微妙(みめう)ノ可咲(をかし)キ御有様ヲ人モ聞ケリト思シ食サムニ、女房ニ令知バヤ」ト云ヘバ、「現ニ然モ有ル事也」トテ、(中略) 御髪ヲ下シテ、尼ト成セ給ニケリ。其ノ後ハ道心ヲ発シテ、偏ニ弥陀ノ念仏ヲ唱ヘテ、終リ極テ貴クシテナム失サセ給ヒニケリ。「現世ニ微妙(めでた)ク可咲(をかし)クシテ過サセ給ヒニシカバ、後生ハ罪深クヤ御(おは)シマサムズラム」ト人皆思ヒケルニ、</p>	<p>・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と「微妙(みめう)なり」とが同時に現れる例。現代語訳によると、「(その後、斉院でおいでになる間、)世にもすばらしく(風流なご生活ぶりであったので、))」「(聞いていると、こよなく)すばらしい。」「(このように)すばらしく(趣ある箏の音色をよそながら聞せていただいた者があったと宮様のお耳に入りたいが、))」「(今生で)すばらしく(風雅なご一生をお送りになったから、))」とある。したがって、「微妙(めでた)し」も「微妙(みめう)なり」も、同義のものとして使われていることがわかる。</p>
<p>22</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 三条の大皇大后の宮の出家したまふ語第十八 p.514, 517, 518</p>	<p>今昔(いまはむかし)、三条ノ大皇大后宮ト申スハ、三条ノ関白大政大臣ト申ケル人ノ御娘也。円融院ノ天皇ノ御代ニ后ニ立セ給テ、微妙(めでた)ク時メキテ御マシケル間ニ、自然(おのづか)ラ年月ヲ積テ、老ニ臨ミ給ヒヌレバ、「出家セム」ト思シテ、(中略) ジテ、御読経ノ間、宮ノ内皆浄マハリテ、魚食ノ気皆断テ、僧房微妙(めでた)ク□テゾ僧共候ケル。僧ノ食物微妙(めでた)ク調ヘテ、毎日ニ湯涌シテ、僧ニ浴シ、布施供養、法ノ如ク慥ニ給ヒケリ(中略) 此ノ宮ハ時(ときの)関白ノ御娘、円融院ノ天皇ノ御時ニ后ニ立テ微妙(めでた)カリケルニ、皇子ヲモ女宮ヲモ否産奉(えうみたてまつ)リ不給(たまは)ザリケレバ、世ニ口惜(くちおし)キ事ニナム、</p>	<p>・現代語訳によると、「(円融天皇の御代に皇后に立たれ、)すばらしい(ご寵愛を受けておられたが、))」「(僧坊は)りっぱに(〔飾って〕僧たちが控える。))」「(僧の食物は)りっぱに(調進し、))」「(円融天皇の御代に皇后に立たれて)すばらしい(ことであったのに、))」とある。</p>
<p>23</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に付く 大安寺の別当の娘の許に蔵人の通ふ語第</p>	<p>今昔、大安寺ノ別当ニテ□ト云フ者有ケリ。其ノ娘ニ、形チ美麗ニ有様微妙(めでた)キ女有ケリ。其レガ許ニ蔵人□ノ□ト云フ者忍テ夜々通ケル程ニ、互難去ク相思テ有ケレバ、時々ハ昼モ留リテ、不返(かへら)ヌ時モ有ケリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(その娘に容姿うるわしい、)すばらしい(女がいた。))」とある。</p>

第6章 微妙

	<p>二十 p.523</p>		
<p>24</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 仏物の餅を以 て意酒を造り 蛇を見る語第 二十一 p.526, 527, 528</p>	<p>此ノ壺ヲ見付テ、「彼レハ何ゾノ壺ゾ」ト云テ、一人ノ男ヲ寄テ壺ノ蓋ヲ開テ臨クニ、先ヅ壺ノ内ヨリ微妙(めでた)キ酒ノ香匂出(か にほひ いで)タリ。奇異(あさまし)クテ、今二人ノ男ニ、「此」ト云ヘバ、(中略) 我ハ譬(たと)ヒ何なる物を棄置タル也トモ、只呑テム。命モ不惜(をし)ラズ」ト云テ、腰ニ付タリケル具ヲ取出テ、指教テ一坏呑タリケルニ、実(まこと)ニ微妙(めでた)キ酒ニテ有ケレバ、三坏呑テケリ。(中略) ニ有ケル男三人コソ其ノ野中ニテ、酒ノ壺ヲ見付テ、家ニ荷ヒ持行テ吉ク呑ケレ。実ニ微妙(めでた)キ酒ニテコソ有ケレ」ナド語ケルヲ、僧自然ラ伝ヘ聞テ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(まず、壺の中から)すばらしい(酒のかおりが流れ出た。)」(「(実に)すばらしい(酒だったから)」「(実に)すばらしい(酒であったそうだ)」とある。</p>
<p>25</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 般若寺の覚縁 律師の弟子の 僧師の遺言を 信(むべな)ふ 語第二十三 p.531, 532, 534</p>	<p>堂ノ未申(ひつじさる)ノ方(かた)ニ卯酉(うとり)ニ大キナル房ヲ立タリ。節モ無キ材木ヲ以テ、微妙(めでた)ク造タリ。西北ニ廊共ヲ造り出シテ、本ヨリ面白キ所ヲ弥ヨ此ク微妙(めでた)キ屋共ヲ造タレバ、関白殿モ渡ラセ給ヒテ、(中略) 此ク微妙(みめう)ニ此ノ寺ニ住ム程ニ、身ニ何トモ無キ病ヲ受ツ。(中略) 病無下ニ重ク成ヌレバ、弟子共ニ各没後(おのおのもつご)ノ事共令云知(ことどもいひしらし)メケルニ、此ノ房(ぼう)ノ微妙(めでた)キ事共(ことども)ヲ誰ニモ不云付(いひつけ)ザリケレバ、(中略) 御時ヨリ伝ハリノ止事無(やむごと)ナキ所ヲ、弥(いよいよ)ヨ微妙(めでた)ク造り瑩(みが)キ給ヘレバ、外ノ人ダニモ住マ欲(すままほし)クコソ可思(おもふべ)ケレ。増シテ我等ハ此ヲ去テハ、何クニカハ住マムト為ル」ト思ヒ合ヘリ。而ル間</p>	<p>・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と「微妙(みめう)なり」とが同時に現れる例。現代語訳によると、上から、「(節一つない材木で)まことに見事に(造りあげ、)」「(いちだんと)すばらしい(建物を多く建てたので、)」「(律師はこのように)結構なありさまで(この寺に住んでいるうち、)」「(この)結構な(僧坊を譲るということをだれにも言いつけなかったので、)」「(代々伝えられてきた尊いこの寺をその後いっそう)りっぱに(手を入れなされたから)」とある。したがって、「微妙(めでた)し」も「微妙(みめう)なり」も、同義のものとして使われていることがわかる。</p>
<p>26</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 陸奥国の神守 (かみ かみ)平 維叙(これの ぶ)に恩を報 する語第三十 二 p.562, 564</p>	<p>頗(しきり)ニ「疾(と)ク参レ、参レ」ト云ヘバ、「何ナル事ニカ有ラム」ト思テ、立出テ見レバ、二三尺許リ有ル唐車ノ艶ズ微妙(めでた)ク荘(かざり)タルニ、乗り給ヒタル人有リ。気高クシテ止事無気也(やむごと)なげなり。(中略) 其ノ後、奇異(あさまし)ク思テ、本語(もとかた)リシ人々ニ会テ、「此ノ度モ然々ノ夢ヲコソ見ツレ」ト云ヘバ、「実ニ前司殿ノ常陸ニ成リ給ヘテバ、神ノ御験哀(あは)レニ微妙(めでた)カルベキ事カナ」ハド云フ程ニ、京ヨリ除目(ぢもく)ノ書(ふみ)ヲ持下(もてくだり)タリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(二、三尺ほどの大きさのなんともいえず美しく(飾った唐車に乗っておられる方がいる。))」「(神様の霊験はなんと)すばらしい(ことだろう)」とある。</p>
<p>27</p>	<p>今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 東三条の内の 神僧に恩を報 ずる語第三十 三 p.566, 567</p>	<p>僧男ノ昇ル後ニ昇ルニ、スバロニ高々ト被昇(のぼら)ル。昇テ見レバ、「此ノ木ニ昇ルゾ」ト思ヒツルニ、微妙(めでた)キ宮殿有リ。其ノ屋ニ将入レテ居ヘツ。□ヲ持来テ食スレバ、僧此ヲ食ヒテ居(ゐ)タル程ニ、(中略) 鶯糸花(うぐひすいと)はなヤカニ、世ノ中ニ今メカシク、所々ニ節句参リ、世挙(よこぞり)テ微妙(めでた)キ事員不知(こと</p>	<p>・現代語訳によると、「(「自分は木に登った」と思ったのに、そこには)すばらしい(宮殿があった。))」「(なにもかも)すばらしい(ことづくめである。))」とある。</p>

第6章 微妙

		かずしらず。辰巳(たつみ)ヲ見レバ、様々ノ狩装束(かりしやうぞく)ノ姿共多クテ、船岳(ふなをか)ニ子日(ねのび)シ、男女其レニ付タル歌ヲ誦通(よみかよ)ハシ、	
28	今昔物語集 卷第十九 本朝 仏法に 付く 貧しき女の棄 つる子を取り て養ふ女の語 第四十三 p.582	今昔、何レノ時ニカ有ケム、女御ニテ御ケル人ノ御許ニ、童ニテ候ケル人ノ、若クシテ形チ美瀧ニ、有様微妙(めでた)クシテ、極(きはめ)タル色好ニテ、人に被愛(あいせられ)ナドシテ有ケルガ、長(おとな)ビテハ人ノ許(もと)ニ乳母(めのと)シテナム有ケル。	・現代語訳によると、「(若いころは容姿はことのほか)美しく、」とある。
29	今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 天狗仏と現じ て木末に坐す 語第三 p.35	今昔、延喜ノ天皇ノ御代ニ、五条ノ道祖神(さへのかみ)ノ在(まし)マス所ニ、大キナル不成ヌ柿ノ木有ケリ、其ノ柿ノ木ノ上ニ、俄ニ仏現ハレ給フ事有ケリ。微妙(めでた)キ光ヲ放チ、様々ノ花ナドヲ令降メナドシテ、極テ貴(たふと)カリケレバ、京中ノ上中下ノ人詣集(ひとまうであつま)ル事無限(ことかぎりな)シ。	・現代語訳によると、「燦然と(光を放ち、)」とある。
30	今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 染殿の后天宮 の為にねう乱 せらるる語第 七 p.46	今昔、染殿ノ后ト申スハ、文徳天皇ノ御母也。良房大政大臣ト申ケル閑白ノ御娘也。形チ美麗ナル事、殊ニ微妙(めでた)カリケリ。而ルニ、此后常ニ物ノ気ニ煩ヒ給ケレバ、様々ノ御祈共有ケリ。	・現代語訳によると、「(容姿のお美しさは)格別で(おありになった。)」とある。
31	今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 陽成院の御代 に滝口金の使 に行く語第十 p.57, 58, 59	吉ク臨ケバ、年二十余許ノ女、頭ツキ姿細ヤカニテ、額ツキ吉ク、有様此ハ弊シト見ユル所無シ、微妙(めでた)クテ臥タリ。道範此ヲ見ルニ、見可過キ心地無クテ思フニ、(中略) 女ノ傍ニ寄テ副ヒ臥スニ、気悪クモ不驚ズ。口覆ヒシウ、臥タル顔、云ハム方無ク近増シテ、弥(いよいよ)ヨ微妙(めでた)シ。道範喜ク思事無限シ。(中略) 大ニ驚テ、女の微妙(めでた)カリツル事モ忘レヌ。(中略) 奇異(あさまし)ク思ユレバ、親ク仕フ郎等ヲ呼テ、然々トハ不云ズシテ、「彼ニ微妙(めでた)キ女ナム有ル。我モ行タリツルヲ。何事カ有ラム、汝モ行」ト云ヘバ、	・現代語訳によると、「(どこといって非の打ちどころのない女が)さま美しく(寝ていた。)」(「そばで見れば見るほど)あでやかで、」「(すっかり仰天し、女の)すばらしかった(ことなどけし飛んでしまった)」(「あそこに)すばらしい(女がいるぞ。)」とある。
32	今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く 比叡の山の僧 心懐嫉妬に依 りて現報を感 ずる語第三十 五 p.125	百人乍(ひやくにんなが)ラ皆高座ニ登ヌ。百ノ仏像、百ノ菩薩像、百ノ羅漢像、皆微妙(めでた)ク書立奉テ、懸並(かけなら)ベ奉タリ。様々ノ造花共瓶ニ差シタリ、色々ノ仏供共モ色微妙(めでた)ク口ヒテ、盛り渡シタリ。	・現代語訳によると、「(これらをみな)すばらしく(お描きしてかけ並べ奉ってある。)」(「(色とりどりの)お供え物も)目にもあざやかに(盛り並べてある。)」とある。
33	今昔物語集 卷第二十 本朝 仏法に 付く	若(わかき)ヨリ思止事無(おぼえやむごと)な)カリケル者成。見ル目ヨリ始テ、馬ニ乗ル事ナム微妙(めでた)カリケルナム。朱雀院ノ御代ヨリ公ニ仕リテ、村上ノ御代	・現代語訳によると、「(乗馬の術が)すばらしかった。」とある。

第6章 微妙

	下毛野敦行我が門従り死人を出だす語第四十四 p.146	ナドハ盛ニ艶ヌ舎人ニテ有ケル。	
34	今昔物語集 卷第二十二 本朝 淡海公を継ぐ 四つの家の語 第二 p.165	然レバ只二郎ノ大臣ノ北家微妙榮給(ほくけ めでたく さかえたまひ)テ、山階寺ノ西ニ佐保殿ト云フ所ハ此ノ大臣ノ御家也、	・現代語訳によると、「(それゆえ、ただ二男の北家だけが)すばらしい(ご繁栄ぶりで、)」とある。
35	今昔物語集 卷第二十二 本朝 房前ノ大臣北家を始むる語第三 p.166	今昔、房前ノ大臣ト申ケル人御ケリ。此ハ淡海公ノ三郎也。身ノ才止事無ク御ケレバ、淡海公失給テ後ニ、世ノ思(おぼ)エ微妙(めでた)クシテ、程無ク大臣マデ成上リ給ヒニケリ。(中略)	・現代語訳によると、「(世の中の評判も)たいへんよく、(すぐに大臣まで出世なされた。)」 「(〇〇)」とある。
36	今昔物語集 卷第二十二 本朝 内膳ノ大臣悪しき馬に乗る語第四 p.167	房前ノ大臣ノ御孫、大納言真楯ト申ケル人ノ御子也。身ノ才止事無クテ、殿上人ノ程ヨリ公ニ仕リ給テ、其ノ思エ微妙(めでた)クナム御ケル。世ノ人皆重ク敬テ、不随ヌ者無カリケリ。	・現代語訳によると、「(殿上人のころから朝廷にお仕えになさって、)すばらしく(重んじられておいでになった。)」とある。
37	今昔物語集 卷第二十二 本朝 閑院ノ冬嗣ノ右大臣并に子息ノ語第五 p.169, 170	身ノ才賢クテ、万ノ事人ニ勝レテゾ御ケル。亦、和歌ヲゾ微妙(めでた)ク読給ケル。御娘ヲバ、文徳天皇ノ御后ニテ、水尾ノ天皇ノ御母也。染殿ノ后ト申ス、此也。其ノ后ノ御前ニ微妙(めでた)キ桜ノ花ヲ瓶ニ指テ被置(おかれ)タリケルヲ、父ノ大政大臣見給テ、読給ケル也、(中略) 此ノ中納言ノ御子ハ数御ケル中ニ、大政大臣閑白ニ成テ、御名ヲバ基経ト申ス人御ケル。其ノ御子孫繁昌シテ、于今榮テ微妙(めでた)ク。此ヲ思フニ、世ノ人、当時弊ケレドモ遂ニ子孫榮	・現代語訳によると、「(また、和歌を)たいへん上手に(お詠みになった。)」 「(いまでも榮えて)すばらしい(様子でおおいでになる。)」とある。
38	今昔物語集 卷第二十二 本朝 堀河ノ大政大臣基経ノ語第六 p.171, 172	大臣身ノ才並無(ざいならびな)ク御(おはし)ケレバ、年来公ニ仕テ、閑白大政大臣マデ成上リ給テ、糸止事無カリケリ。亦子孫繁昌ニシテ男女皆微妙(めでた)カリケリ。御娘ハ、醍醐ノ天皇ノ御后トシテ、朱雀院、村上ノ二代ノ天皇ノ御母也。(中略) 其ヨリ閑院トハ云也(いふなり)ケリ。堀河ノ院ハ、地形(ぢぎやう)ノ微妙(めでた)ケレバ晴ノ所ニシテ、大饗被行ケル時ニハ、尊者ノ車ヲバ堀河ヨリ東ニ立テ、牛ヲバ橋柱ニ繋ギテ、他ノ上達部ノ車ヲバ河ヨリ西ニ立並ベテ有ルガ微妙也(めでたきなり)。(中略) 此ク微妙(めでた)クテ御(おはし)ケル程ニ、年来(としごろ)ヲ経テ遂ニ此ノ大臣失セ給ニケルニ、	・現代語訳によると、「(その子孫は繁榮し、男女ともに皆)すばらしい(方ばかりであった。)」 「(堀河院は土地柄が)すばらしい(所なので、)」 「(そのありさまは)まことにすばらしい(ものであった。)」 「(かようになにかと)すばらしく(おありであったが、)」とある。
39	今昔物語集 卷第二十二 本朝 高藤ノ内大臣	然レバ此ノ君ハ伯父ノ殿原ノ御許ニ通ヒツ、ナム、過シ給ヒケルニ、此ノ君ハ形モ美麗ニ、心バヘモ微妙(めでた)クアリケレバ、伯父良房ノ大臣、「此レハ止事無(や	・現代語訳によると、「(この若君はご容貌も美しく気立ても)すぐれて(いらっしゃったので、)」 「(別人ではないかと思われるくらい)美しく(なっ

第6章 微妙

	<p>の語第七 p.179, 180</p>	<p>むごと(な)カルベキ者也」ト見給テ、(中略)喜ビ乍(なが)ラ有シ方ニ入テ見レバ、几帳ノ喬(そば)ニ鉉隠(はたかく)レテ居タリ。寄テ見レバ、見シ時ヨリモ長ビ増リテ、非ヌ者ニ微妙(めでた)ク見ユ。「世ニハ此ル者アリ」トマデ見ルニ、其ノ傍ニ五六歳計ナル女子ノ艶(えもいは)ヌ敵氣(いつくしげ)ナル居タリ。</p>	<p>ている。)』とある。</p>
<p>40</p>	<p>今昔物語集 卷第二十二 本朝 時平の大臣国 経の大納言の 妻を取る語第 八 p.183, 185, 186, 187</p>	<p>御名ヲバ時平トゾ申ケル。昭宣公ト申ケル関白ノ御子也。本院ト云フ所ニナム住給(ぢうしたまひ)ケル。年ハ僅(わづか)ニ三十許(さむじふばかり)ニシテ、形チ美麗ニ有様微妙(めでた)キ事無限シ。然レバ、延喜ノ天皇此ノ大臣ヲ極(いみじ)キ者ニゾ思食(おぼしめし)タリケル。(中略)可咲(をか)シキ事共語(ことどもかたり)タリケル次(ついで)ニ、大臣平中(おとどへいぢう)ニ宣(のたま)ハク、「我レガ申サム事実(ことまこと)ニ被思(おもはれ)バ、努不隠(ゆめかくさ)ズシテ宣ヘ。近来女(このごろをむな)ノ微妙(めでた)キハ誰カ有ル」ト。(中略)藤大納言ノ北ノ方コソ実(まこと)ニ世ニ不似(に)ズ、微妙(めでた)キ女ハ御スレ」ト。(中略)歌詠ヒ遊ビ給フニ、□(*規格外文字:おもしろ)ク微妙(めでた)シ。其ノ中ニモ左ノ大臣ノ御形ヨリ始メ歌詠ヒ給ヘル有様、世ニ不似(に)ズ微妙(めでた)ケレバ、万ノ人目ヲ付テ讚メ奉ルニ、此ノ大納言ノ北ノ方ハ、大臣ノ居給ヘル喬(そば)ノ簾ヨリ近クテ見ルニ、大臣ノ御形チ、音(こゑ)、気ハヒ、薰(たきもの)ノ香ヨリ始テ、世ニ不似(に)ズ微妙(めでた)キヲ見ルニ、我ガ身ノ宿世心疎(しくせこころう)ク思(おぼ)ユ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(容貌・容姿どことって)非の打ちどころがなかった。」「(どうです、最近の)すばらしい美人(にはだれがいますか)」「(藤大納言(国経)の北の方こそ、じつに世にもまれな)すばらしい美人(でいらっしやいます)」「(おもしろく)すばらしい。」「(左大臣は)ご容姿をはじめ、歌を歌いなされるご様子はたとえようもなくすばらしい(ので、)」「(すべてたとえようもなく)すばらしい(のを見ると、我が身の不運が思われ、情けなく、)」とある。</p>
<p>41</p>	<p>今昔物語集 卷第二十三 本朝 尾張の国の女 細畳(ほそて づくり)を取 り返す語第 十八 p.213</p>	<p>而ルニ、此ノ女麻ノ細畳(ほそてづくり)ヲ織テ、夫ノ大領ニ着タリケリ。其細畳直(そのほそてづくりうるはし)クシテ、微妙(めでた)キ事并無(めでたきことならびな)シ。其時ニ其国ノ司有リケリ。若桜部ノ□ト云フ。国ノ司トシテ有ル間、此大領ガ着タル衣ノ直(うるわ)シク微妙(めでた)キヲ見テ、其ノ衣ヲ取テ大領ニ云ク、「此レ汝ガ着物に不能(あたはず)」ト云テ、返し不與(あたはず)。</p>	<p>・現代語訳によると、「(その布はこの上なく)すばらしい(ものであった。)」 「(この大領の着物が)りっぱで)すばらしい(のを見て、)」とある。</p>
<p>42</p>	<p>今昔物語集 卷第二十三 本朝 相撲人大井光 遠が妹の強力 の語第二十四 p.233</p>	<p>今昔、甲斐国大井ノ光遠ト云左ノ相撲人有キ。短太ニテ器量ク力強ク、足□クテ微妙(めでた)カリシ相撲也。其レガ妹ニ年二十七八許ニテ、形チ有様美麗ナル女有ケリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(足さばきも(素早)くて、)すばらしい(相撲人であった。)」とある。</p>
<p>43</p>	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 北辺大臣と長 谷雄の中納言</p>	<p>而ルニ、大臣或時ニ、夜ル箏ヲ弾給ヒケル、終夜心ニ興有テ弾給フ間、曉方ニ成テ、難キ手ノ止事無ヲ取出テ弾給ヒケル時ニ、我ガ心ニモ、「極(いみ)ジク微妙(めでた)シ」ト思給ケルニ、前ノ放出ノ隔子ノ被上タル上ニ、物ノ光ル様ニ見ケレバ、</p>	<p>・現代語訳によると、上は、「我ながらいつかその音色に聞きほれておられた。」と意識してある。具体的には、「我ながら「大変すばらしい」とお思いなさっていると、」となろう。なお、左の上の例には、「極(いみ)ジク微妙</p>

第6章 微妙

	<p>の語第一 p.245, 246</p>	<p>(中略) 大臣此ヲ見テ、「我が微妙(めでた)キ手ヲ取出テ箏ヲ弾クヲ、天人ノ感テ下来テ舞フ也ケリ」ト思給フ。哀ニ貴ク思給ケリ。実ニ此レ、奇異ク微妙(めでた)キ事也。</p>	<p>(めでた)シ」とあるが、前項「6.9.1 上代から近世(日本古典文学全集)」における近世後期の「近世説美少年録(曲亭(滝沢)馬琴作)」では、「微妙」をすべて「微妙(いみじ)く」と読ませている。中・下は、現代語訳によると、「(わたしが)妙手を振るって(箏を弾いているのを聞いて、)」「(これはじつになんともいえず)すばらしい(ことである。)」とある。</p>
<p>44</p>	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 爪の上に於て かみがきを返 す男と針を返 す女の語第四 p.249</p>	<p>今昔、□天皇ノ御代ニ右近ノ陣ニ□ノ春近ト云舎人有ケリ。鞆ヲナム極ク微妙(めでた)ク蹴ケル。其春近ガ、後ノ町ノ井ノ箆ニ押懸リ立テ、「若キ女共ナドノ数有ケルニ見セム」ト思テ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(蹴鞠の)すばらしい(達人であった。)」とある。</p>
<p>45</p>	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 僧登照朱雀門 の倒るるを相 ざる語第二十 一 p.299</p>	<p>登照此ヲ聞クニ、「定メテ普賢講ノ笛ヲ吹テ、其ノ結縁ノ功德ニ依テ、忽ニ罪ヲ滅シテ、命延ニケリ」ト思フニ、哀レニ悲クテ、泣々ナム男ヲ礼ケル。侍モ喜ビ貴デ返ニケリ。此近キ事也。此ル新タニ微妙(めでた)キ相人ナム有ケル、トナム語り伝ヘタルトヤ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(これは近ごろの話である。このように観相あらたかな)すばらしい(相人もいるものだ、)」とある。</p>
<p>46</p>	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 村上天皇と菅 原文時と詩を 作り給ふ語第 二十六 p.313</p>	<p>天皇此ヲ聞食(きこしめし)テ、『我コソ此題ハ作抜(つくりぬき)タリ』ト思フニ、文時ガ作レル詩亦微妙(めでた)シ」ト被仰テ、文時ヲ近ク召テ、御前ニテ、「我が作ル詩ヲ偏頗無(へんばな)ク難無(なんなく)シテ、不憚可申(はばかりずまうすべ)シ」ト被仰(おほせられ)ケル。文時申テ云ク、「御製微妙(ぎよせいみめう)ニ候フ。下ノ七字ハ文時ガ詩ニモ増(まさり)テ候フ」ト。</p>	<p>・現代語訳によると、「(文時の作った詩もまた)すばらしいものだ。」「(御製は)すばらしいものでございます。)」とある。</p>
<p>47</p>	<p>今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 延喜の御屏風 に伊勢の御息 所和歌を読む 語第三十一 p.322, 326, 327</p>	<p>亭子院ノ天皇ノ御時ニ参テ有ケレバ、天皇極ク時メキ思食シテ、御息所(みやすむどころ)ニモ被成(なされ)タル也。形チ心バセヨリ始メ、故有(ゆゑあり)テ可咲(をか)しク微妙(めでた)カリケリ。和歌ヲ読ム事ハ其時ノ躬恒貫之(みつね つらゆき)ニモ不劣(おとらぎ)リケリ。(中略) 度々飲ム程ニ酔ヌ。女房達少将ヲ見レバ、赤ミタル顔付眼見(かほつきまみ)桜ノ花ニ句合テ、微妙(めでた)ク見ユル事無限(かぎ(り)なし)リ。(中略) 女ノ装束ヲ具シテ押出タリ。赤色ノ重ノ唐衣、地摺ノ裳、濃キ袴也。物ノ色極テ清ラニ微妙(めでた)シ。(中略) 門ヲ出テ隠マデ見ルニ、後手ノ歩タル姿、窈窕(たをやか)ニ微妙(めでた)シ。(中略) 天皇此レヲ披(ひらき)テ御覧ズルニ、先ズ書様(かきざま)ニ微妙(いみ)ジクテ、道風ガ書タル露不劣(つゆおと(ら)ず)ラ、(中略) 御前ニ候フ人々ニ、「此レ見ヨ」トテ給ハ</p>	<p>・一説話において、「微妙」が七か所現れる例。現代語訳によると、上から、「(容姿や人柄をはじめすべてにおくゆかしく風情があり、)すばらしい(方で、)」「(なんともいえず)すばらしく(見える。)」「(色合いはたいそう美しく)すばらしい。」「(その後ろ姿はまことに)優雅であった。」「(まず、その筆跡の)すばらしいこと、」「(それによっていちだんと歌がはえて、この上なく)すばらしく(聞えた。)」「(されば、御息所はやはり)すばらしい(歌人だ、とこう語り伝えているということだ。)」とある。ちなみに、上から五番目の例では、「微妙(いみ)ジク」と読ませている。四つ前の例、「第二十四 本朝 世俗に付く 北辺大臣と長谷雄の中納言の語第一」では、「極(いみ)ジク微妙(めでた)シ」とあるが、「微妙(いみ)ジク」と読ませるのは、前項「6.9.1 上代から近世(日本古典文学全</p>

第6章 微妙

		セタレバ、可咲(をかし)キ音共(こゑども)ヲ以テ詠ズルニ、イトゞ歌見(うたあらはれ)テ微妙(めでた)ク聞ユル事無限(かぎり)なしリ。(中略) 然レバ、御息所尚微妙(みやすむどころなほめでた)キ歌読也、トナム語り伝ヘタルトヤ。	集)」における近世後期の「近世説美少年録(曲亭(滝沢)馬琴作)」では、「微妙」をすべて「微妙(いみじ)く」と読ませているが、共通点が見出せる。ただし、『今昔物語集』においては「微妙」を「微妙(いみじ)く」と読ませる例はほとんどないため、例外的である。
48	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 在原業平の中 将東の方に行 きて和歌を読 む語第三十五 p.339	ナニシオハダ イザコト、ハム 都ドリ ワガオモフヒトハ アリヤナシヤト 船ノ人皆此レヲ聞テ、挙テナム泣ケル。 此ノ業平ハ此様ニシ和歌ヲ微妙(めでた) ク読ケル、トナム語り伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(この業平はか ように和歌を)すばらしく上手に(詠 んだ、とこう語り伝えているというこ とだ。)」とある。
49	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 業平右近の馬 場に於て女を 見て和歌を読 む語第三十六 p.341	此ノ中将ハ平城天皇ノ皇子、阿保親王ノ 子也ケレバ、品モ糸止事無キ人也。而ル ニ、世ヲ背テ心ヲ澄シテ、此様ニ行テ、 和歌ヲ微妙(めでた)ク読ケル、トナム語 リ伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(だが、この世 に背を向け、心を澄ませてかように振 る舞い、)すばらしい(和歌を詠んだ、 とこう語り伝えているということ だ。)」とある。
50	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 藤原道信の朝 臣父に送れて 和歌を読む語 第三十八 p.344	今昔、左近中将ニ藤原道信ト云人有ケリ。 法住寺ノ為光大臣ノ子也。一条院ノ御時 ノ殿上人也。形チ有様ヨリ始テ、心バへ 糸可咲(いとをかし)クテ、和歌ヲナム微妙 (めでた)ク読ケル。	・現代語訳によると、「(容貌・人品をは じめ、風雅な心の持ち主で、和歌を) たいそうじょうずに(お詠みになっ た。)」とある。
51	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 藤原義孝の朝 臣死にて後和 歌を読む語第 三十九 p.351	其ノ夜母ノ御夢ニ此ナム、 シカバカリ チギリシモノヲ ワタリ川 カヘルホドニハ ワスルベシヤハ ト。母驚キ覚テ後、泣キ迷ヒ給ヒケリ。 然レバ、和歌読ム人ハ、失テ後ニ読タル 歌モ此ク微妙(めでた)キ也、トナム語り伝 ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(されば、和歌 を詠む人というのは、死後詠んだ歌も このように)すばらしい(ものである、 とこう語り伝えているということ だ。)」とある。
52	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 大江匡衡和琴 を和歌に読む 語第五十二 p.371	此ノ匡衡ハ文章ノ道極タリケルニ、亦和 歌ヲナム此ク微妙(めでた)ク読ケル、トナ ム語り伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(この匡衡は漢 詩文の道をきわめた人であったが、ま た、和歌をこのように)すばらしく(詠 んだ、とこう語り伝えているというこ とだ。)」とある。
53	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 祭主大中臣輔 親郭公を和歌 に読む語第五	此ノ輔親ハ、能宣ト云ケル人ノ子也。彼 ノ能宣モ微妙(めでた)ク歌読(めでた)キヤト云 テ有ケレバ、相続テ此ノ輔親モ此ク歌ヲ 読ム也ケリ。此レヲバ伊勢ノ祭主ニ成伝 ハル孫也、トナム語り伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(その能宣も)す ばらしい(歌人であったから、)」とあ る。

第6章 微妙

	十三 p.373		
54	今昔物語集 卷第二十四 本朝 世俗に 付く 藤原惟規和歌 を読みて免さ るる語第五十 七 p.381	今昔、大齊院ト申スハ、邑上天皇ノ御子 ニ御座(おはしま)ス。和歌ヲナム微妙(め でた)ク読セ給ケル。其ノ齊院ニ御座ケル 時、藤原惟規ト云人、当職ノ蔵人ニテ有 ケル時ニ、	・現代語訳によると、「(和歌をたいそ う)すばらしく(お詠みになられた。)」 とある。
55	今昔物語集 卷第二十五 本朝 世俗に 付く 源頼義の朝臣 安陪貞任等を 罰つ語第十三 p.448	然(さ)テ守(かみ)、常ニ出羽国ノ山北ノ夷 (えびす)ノ主清原光頼并ニ弟武則等ニ可 与力(よりきすべ)キ由ヲ勸ム。光頼等此ヲ 思繚(おもひあつか)フ間、守常珍(かみつ ねにめづらし)ク微妙(めでた)キ物共ヲ送 テ、懃(ねむごろ)ニ語(かたら)フ時ニ、光 頼武則等、其ノ心漸(こころやうや)ク蕩 (とけ)テ、	・現代語訳によると、「(守はつねに珍 しい)りっぱな(品々を贈り懇願した ので、)」とある。
56	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 美作の国の神 漁師の謀に依 りて生贄を止 むる語第七 p.495	本ヨリ犬ト猿トハ中不吉者(なかよから ぬもの)ヲ、然(し)カ教ヘテ習(ならは)スレ バ、猿ダニ見レバ数懸(あまたたびかかり) テ噉殺(くひころ)ス。此様(かやう)ニ習ハ シ立テ、我ハ刀ヲ微妙(いみじ)ク磨(とぎ) テ持タリ。東ノ人妻ニ云ク、「我ハ其御代 ニ死侍リナントス。	・「微妙(いみじ)ク」と読ませる例。 前例、「第二十四 本朝 世俗に付く 北 辺大臣と長谷雄の中納言の語第一」で は、「極(いみ)ジク微妙(めでた)シ」と あるが、「微妙(いみじ)ク」と読ませ るのは、前項「6.9.1 上代から近世(日 本古典文学全集)」における近世後期 の「近世説美少年録(曲亭(滝沢)馬琴 作)」では、「微妙」をすべて「微妙(い みじ)く」と読ませているが、共通点 が見出せる。現代語訳によると、「我 ハ刀ヲ微妙(いみじ)ク磨(とぎ)テ持タ リ。」の部分は、「自分は刀を研ぎ澄ま して持っていた。」と意識してある。 具体的には、「自分は刀をよく(入念 に)研いで持っていた」となろう。『今 昔物語集』においては「微妙」を「微 妙(いみじ)く」と読ませる例はほとん どないため、例外的である。通常は「極 (いみじ)ク」と表記される。
57	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 参河(みかは) の国に犬の頭 の糸を始むる 語第十一 p.526	此ヲ見ニ、我家ニ□(*規格外文字:こ)ヲ 養富(かひとみ)テ絡懸(くりかく)ル糸ハ、 黒シ、節有(ふしあり)テ弊(あ)シ、此糸ハ 雪ノ如ク白シテ光有テ微妙(めでた)キ事 無限(ことかぎりなし)。此世ニ類(たぐ)ヒ ナシ。郡司此ヲ見テ、大キニ驚テ、「此ハ 何(いか)ナル事ゾ」ト問ヘバ、	・現代語訳によると、「(この糸は雪の ように白く、光沢があつてまったく) すばらしい。」とある。
58	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 能登の国の鳳 至の孫帯を得 る語第十二 p.530, 532	男も此ヲ見付タル。「去来(いざ)、行テ見 ン」トテ、走り寄テ見レバ、塗タル小桶 ノ蓋覆(ふたおほひ)ナル有。其ヲ取テ開テ 見レバ、通天(とうでん)ノ犀(さい)ノ角(つ の)ノ艶(えもいは)ズ微妙(めでた)キ帯(お び)有。此ヲ見テ、(中略) 守喜(かみよろこ)ビ乍(なが)ら帯ヲ京ニ 持上テ、関白殿ニ奉テケリ。其帯、多ク 帯ノ中ニ加ヘテ被置(おかれ)タラン。其ヨ リ後ハ有様ヲ不知(しらず)。此(かか)ル微 妙(めでた)キ財ナレバ、浪トモ見ユ、火ト	・現代語訳によると、「(通天の犀の角 でこしらえた)すばらしい(帯が入っ ていた。)」(このように)りっぱな(宝 物であるから、)」とある。

第6章 微妙

		モ見エケル也ケリ。其モ前世ノ福報ニ依(よりに)コソ、其帯モ得(え)メ、トナン語リ伝ヘタルトヤ。	
59	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 観 碩 聖 人(く わんけんしや うにん)在俗 の時盗人に値 ふ語第十八 p.560	此主人(このあるじ)ノ男、「早く食物奉(じ きもつたてまつ)ラセヨ」ト行ヘバ、郎等 共手毎(らうどうどもてごと)ニ取テ、目ノ 上ニ捧(ささげ)ツ、持来(もてきたる)ヲ、 主人寄テ取居(とりす)フ。黒柿ノ机ノ清氣 ナルニツヲ立タリ。盛立タル物共皆微妙 (ものどもみなめでた)クシテ、其味艶(そ のあちはひえもいは)ズ。吉(よ)ク極(こう) ジニタレバ、物吉(ものよ)ク食(くひ)ツ。	・現代語訳によると、「(盛り上げたご 馳走はどれも)すばらしく、」とある。
60	今昔物語集 卷第二十六 本朝 宿報に 付く 修行者人の家 に行きて女の 主を穢して死 ぬる語第二十 一 p.570	僧女ト只二人、深キ山ニ入テ、幡ヲ立并 (たてなら)べ、御洗米、時ノ菓子(くだも の)ナド、極(いみじ)ク事々シク調ヘ居(す ゑ)テ、祭文(さいもん)ヲ読テ祭畢(まつり をはり)ツ。女、「夫ノ無キ間ニ、微妙(め でた)キ祈ヲモシツル哉」ト思テ、急ギ返 ルヲ、僧女ノ若クテ清氣ナルヲ見(みる) ニ、	・現代語訳によると、「(夫の留守の間 に)すばらしい(祈祷をしたものだ。)」 とある。
61	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 川原院の融 (とほる)の左 大臣の霊を宇 陀院見給ふ語 第二 p.26	今昔、川原ノ院ハ、融ノ左大臣ノ造テ住 給ケル家ナリ。陸奥ノ国ノ塩竈ノ形ヲ造 テ、潮ノ水ヲ汲入テ、池ニ湛ヘタリケリ。 様々ニ微妙(めでた)ク可咲(をかし)キ事 ノ限(かぎり)ヲ造(つくり)テ住給ケルヲ、 其ノ大臣失テ後ハ、其ノ子孫ニテ有ケル 人ノ、宇陀ノ院ニ奉タリケル也。	・注釈によると、「色(色葉字類抄)「微 妙 ミメウ」とあるが、和語形容詞と して「メテタシ(*ママ)」と読む。」 とある。現代語訳によると、「(かよう にさまざまに)このうえなくすばらし い(風流なしつらいをして住んでおら れたが、)」とある。
62	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 在原業平の中 将の女鬼にく らはるる語第 七 p.35	或ル人ノ娘ノ、「形チ有様世ニ不知(しら) ズ微妙(めでた)シ」ト聞ケルヲ、心ヲ尽シ テ極(いみじ)ク仮借(けさう)シケレドモ、 「止事無(やむごとな)カラム智取ヲセム」 ト云テ、祖共(おやども)ノ微妙(めでた)ク 傳(かしづき)ケレバ、業平ノ中将力無クシ テ有ケル程ニ、何(いか)ニシテカ構ヘケ ム、彼(か)ノ女ヲ蜜(ひそか)ニ盗出シテケ リ。	・現代語訳によると、「(ある人の娘が 姿かたちこの世にまたとないほど)す ばらしい(と聞いて、)」「(だが、その 親たちが、「娘には高貴な婿をとるつ もりだ」と言っ、)掌中の玉と(大事 にして相手にしないので、)」とある。
63	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 鬼油瓶の形と 現じて人を殺 す語第十九 p.67	資トゾ申ケル。身ノ才微妙(めでた)ク、心 賢ク御ケレバ、世ノ人、賢人ノ右ノ大臣 トゾ名付タリシ。	・現代語訳によると、「(学殖)豊かで、 (賢明な方であったので、)」とある。
64	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 京極殿に於て 古歌を詠むる 音(こゑ)有る 語第二十九 p.93	此レヲ思フニ、此レハ狐ナドノ云タル事 ニハ非ジ。物ノ霊ナドノ此ノ歌ヲ、「微妙 (めでた)キ歌カナ」、ド思ヒ初テケルガ、 花ヲ見ル毎ニ常ニ此ク長メケルナメリト ゾ人疑ヒケル。	・現代語訳によると、「(なにかの霊な どがああ歌を)すばらしい(歌だと思 っていて、)」とある。

第6章 微妙

65	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 三善清行の宰相の家渡りの語第三十一 p.99	赤色ノ扇ヲ指隠タル上ヨリ出タル額ツキ、白ク清気也。額ノ捻(ひねり)タル程、眼尻長ヤカニ打引タルニ、尻目ニ見遣セタル、煩ハシク気高シ。「鼻口ナド何ニ微妙(めでた)カラム」ト思ユ。	・現代語訳によると、「(鼻や口などはどんなに)すばらしいか(と思いやられるほどである。)」とある。
66	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 狐女の形に 変じて幡磨 安高に値ふ 語第三十八 p.119, 120	紫苑色ノ綾ノ柏重(あこめかさ)ネテ着タル女ノ童ノ、前ニ行ク様体頭ツキ云ハム方無ク、月影ニ□テ微妙(めでた)シ。(中略) 其後、安高夜中暁ト不云(いは)ズ、内通りニ行(ありき)ケレドモ、狐懲(きつねこり)ニケルニヤ、更ニ不值(あは)ザリケリ。狐微妙(めでた)キ女ト変ジテ、安高ヲ□サムト為ル程ニ、希有(けう)ノ死(しに)ヲ不為(せ)ズシテナム有ケル。	・現代語訳によると、「(月の光に□で、その姿といい、)言いようもなくすばらしい。」「(狐は美しい(女に化けて))」とある。
67	今昔物語集 卷第二十七 本朝 霊鬼に 付く 近衛の舍人常陸の国の山中に於て歌を詠ひて死ぬる語第四十五 p.141	今昔、□ノ比(ころほひ)、□ノ□ト云フ近衛舍人有ケリ。神楽舍人ナドニテ有ルニヤ、歌ヲゾ微妙(めでた)ク詠ケル。	・現代語訳によると、「(歌を)すばらしく上手に(歌った。)」とある。
68	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 円融院の御子日に参る曾禰吉忠語第三 p.156	船岳(ふなをか)ノ北面ニ小松所々ニ群生(むれおひ)タル中ニ、遣水(やりみづ)ヲ遣リ、石ヲ立、砂ヲ敷テ、唐錦ノ平張ヲ立テ、簾ヲ懸、板敷ヲ敷キ、高欄ヲゾシテ、其ノ微妙(めでた)キ事無限シ。其レニ御マシテ其ノ廻ニ、同錦ノ幕ヲ引廻カシタリ。	・現代語訳によると、「(この上なく)すばらしい」とある。
69	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 尾張守□五節所語第四 p.160, 162	五節(ごせち)ノ所ニハ常寧殿(じやうねいでん)ノ戌亥(いぬゐ)ノ角(すみ)ヲゾシタリケルニ、簾ノ色、几帳ノ帷、打出シタル女房ノ衣共、微妙(めでた)ク縫重(ぬひかさ)ネタリ。此コソ色弊(いろつたな)カメレト見ユル無シ。(中略) 而ル間、若キ殿上人共、宿直所ニ□居テ、各云合タル様、「此ノ尾張ノ五節所ハ物ノ色ナド微妙(めでた)クシ立タル物カナ。	・現代語訳によると、「すばらしく(縫い重ねてあり、)」「(この尾張の五節所はさまざまの色彩で)じつにすばらしく(飾り立てているなあ。)」とある。
70	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 御導師仁浄半物に云ひ合ひて返さる語第十四 p.194	仁浄ハ本ヨリ然ル物云ヒニテ有ケルヲ、八重ガ然サ云ヒ返シタリケム心□(*規格外文字:にく)ク微妙(めでた)ケレ。昔ハ、女ナレドモ此ク物云ヒ可咲キ者共ナム有ケレバ、世ノ人モ興有テゾ思ケル、トナム語り伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(それに八重がこのように言い返したことは、心憎くも)すばらしい(ことである。)」とある。
71	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 金峰山の別当	然テ、夜明テ未ダ朝(つとめて)、別当ノ許ニ人ヲ遣テ、「急(き)ト御座(おはしま)セ」ト云ハセタレバ、別当程モ無ク杖ヲ突テ出来タリ。房主指向(ぼうずさしむか)ヒ居テ云ク、「昨日、人ノ微妙(めでた)キ平茸	・現代語訳によると、「(昨日、ある人が)見事な(平茸をくださったので、)」「(この老法師は長いこと、まだこんなに)見事に(調理された和太利は食べたことがありませんでしたのでな)」

第6章 微妙

	毒茸を食ひて酔はざる語第十八 p.204, 205	ヲ給ヒタリシヲ煎物(いりもの)ニシテ食(じき)セム、トテ申シ候ヒツル也。(中略)別当齒モ無キロヲ少シ類咲(ほほゑみ)テ云ク、「年来、此ノ老法師ハ、未ダ此ク微妙(めでた)ク被調美タル和太利ヲコソ不食候ナリヌレ」ト打云テ居タレバ、	とある。
72	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 左京大夫□異 名付く語第二 十一 p.212	堀川ノ中将、襦姿(なほしすがた)ニテ、形ハ光ル様ナル人ノ愛敬(あいぎやう)ハ泛(こぼれ)ニ泛テ、艶(えもいはず)ズ馥(かうばし)クテ参リ給ヘリ。襦(なほし)ノナヨ、カニ微妙(めでた)キ裾ヨリ青キ出掛ヲシタリ、指貫モ青キ色ノ指貫ヲ着タリ。	・現代語訳によると、「(なよやかな)美しい(直衣の裾から、青い出し袷を見せ、)」とある。
73	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 伊豆守小野五 友が目代の語 第二十七 p.223	先ズ、心ハ不知(しら)ズ、見目ハ吉キ目代形ナメリ。人物云ヒ、□(*規格外文字:にく)気ナル気色シタリ」ト思テ、「手ハ何ガ書ク」トテ、書セテ見レバ、手ノ書様、微妙(めでた)クハ無ケレドモ筆軽クテ目代手ノ程ニテ有リ。	・現代語訳によると、「(どのくらい文字が書けるかと、書かせてみたところ、筆跡はさほど)達筆(ではないが、さらさらと書き流して、)」とある。
74	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 中納言長谷雄 の家に頭はる る狗の語第二 十九 p.230	然レバ、実ノ鬼ニ非(あら)ネドモ、現(あらは)ニ人ノ目ニ鬼ト見ユレバ、鬼トハ占ケル也。其レニ、「『人ヲ犯シ、崇(たたり)ヲ可成(なすべ)キ者ニハ非ズ』ト占ヒタル、実ニ微妙(めでた)キ事也」ト云テゾ、人々皆占ヲ讚(ほ)メ喟(ののし)リケル。	・現代語訳によると、「(人に危害を加えたりたたりをするようなものではないと占ったのは、実に)大した(ものだ)」とある。
75	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 左京の属紀茂 経(さくわん きのもちつ ね)鯛の荒巻 を大夫に進 (たてまつ)る 語第三十 p.232	今朝持来リテ候ツルヲ、一二巻ハ宿ノ童部ト共ニ食ベ試候ツルニ、艶(えもいはず)微妙(めでた)ク鮮カニ候ヒツレバ、今三巻ハ穢(けが)シ不候(さぶら)ハズシテ置キ候ツルヲ、忿(いそ)ギ罷(まか)リ出デ候(さぶらひ)ツルニ、	・現代語訳によると、「(なんともいえず)おいしく(新鮮でしたので、)」とある。
76	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く 右近馬場の殿 上人の種合の 語第三十五 p.251, 253	此ク為ル程ニ、既ニ其ノ日ニ成タレバ、右近ノ馬場ノ大臣屋ニ各ノ渡リヌ。殿上人ハ微妙(めでた)キ襦姿(なほしすがた)ニテ、車ニ乗り烈(つらね)テ、集会ノ所ヨリ渡ヌ。(中略)ノ方ヨリ近衛舎人下野ノ公忠ガ盛(さかり)ノ御隨身(みずいじん)ニテ有ケル時ニ、左ノ競馬(くらべむま)ノ装束ノ微妙(めでた)キヲ着セテ、艶(えもいはず)ヌ馬ニ微妙(めでた)キ平文(ひやうもん)ノ移(うつし)ヲ置テ、其レニ乗セテ、方屋(かたや)ノ南ヨリ馬場ニ打出タリ。	・現代語訳によると、「(殿上人は)りっぱな(直衣姿で車を連ねて、集合所から出かける。)」(左方の競べ馬の)すばらしい(装束を)」(えもいわれぬ駿馬に)見事な(平文の移し鞍を置き、)」とある。
77	今昔物語集 卷第二十八 本朝 世俗に 付く	只繁リニ繁テ、花栄(はなさき)テ瓜成ヌ。其ノ瓜只大キニ成テ、皆微妙(めでた)キ瓜ニ熟シヌ。其ノ時ニ、此ノ下衆共此レヲ見テ、「此ハ神ナドニヤ有ラム」ト恐テ思	・現代語訳によると、「(どれれも)見事な(瓜に熟した。)」とある。

第6章 微妙

	外術を以て瓜を盗み食はるる語第四十 p.270	フ程ニ、翁此ノ瓜ヲ取テ食ヒテ、	
78	今昔物語集 卷第二十九 本朝 悪行に付く 明法博士善澄強盗に殺さるる語第二十 p.352	善澄才ハ微妙(めでた)カリケレドモ、露、和魂無カリケル者ニテ、此ル心幼キ事ヲ云テ死ヌル也トゾ、聞キト聞ク人ニ云ヒ被謗ケル、トナム語り伝ヘタルトヤ。	・現代語訳によると、「(善澄は、学才は)すばらしかった(が、思慮分別のまるでない男で、)」とある。
79	今昔物語集 卷第二十九 本朝 悪行に付く 鳥部寺に詣づる女盗人に値ふ語第二十二 p.354	「鳥部寺ノ賓頭盧(びんづる)コソ極(いみじ)ク験(しるし)ハ御(おは)スナレ」トテ、共ニ女ノ童一人許(わらはひとりばかり)ヲ具シテ、十月ノ二十日比ノ午時許(むまのときばかり)ニ、微妙(めでた)ク装(しやう)ゾキ立テ参ケルニ、既ニ参着テ居タル程ニ、少シ送レテ纏(さら)ラカナル雑色男一人亦詣デタリ。	・現代語訳によると、「たいそう美しく(着飾ってお参りに出かけたが、)」とある。
80	今昔物語集 卷第二十九 本朝 悪行に付く 妻を具して丹波の国に行く男大江山に於て縛らるる第二十三(*ママ:「語」の字はない) p.357	己ガ此ノ帯タル大刀(たち)ハ陸奥ノ国ヨリ伝ヘ得タル高名ノ大刀也。此レ見給ヘ」トテ抜テ見スレバ実(まこと)ニ微妙(めでた)キ大刀ニテ有リ。本ノ男此レヲ見テ欲キ事無限シ。今ノ男、其ノ気色ヲ見テ、「此ノ大刀要ニ御セバ、其ノ持給ヘル弓ニ被替ヨ」ト云ケレバ、	・現代語訳によると、「(見れば、まことに)すばらしい(太刀であった。)」とある。
81	今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に付く 平定文本院の侍従を仮借する語第一 p.419	其ノ家ニ侍従ノ君ト云若キ女房有ケリ。形チ有様微妙(めでた)クテ、心バヘ可咲キ宮仕ヘ人ニテナム有ケル。平中彼ノ本院ノ大臣ノ御許ニ常ニ行通ケレバ、此侍従ガ微妙(めでた)キ有様ヲ聞テ、	・現代語訳によると、「(容貌も姿も)たいそうすぐれ、」「(この侍従の)すばらしい(ことを耳にし、)」とある。
82	今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に付く 平定文に会ふ女出家する語第二 p.426	其ノ人ナム色濃キ練ヲ着タル。其レヲ仮借(けさう)スル也ケリ。然レバ其ノ武蔵ナムコノ返事ハシテ云ヒ通シケル。此ノ武蔵ハ形有様微妙(めでた)キ若人ニテナム有ケル。可然(しかるべ)キ人々数仮借(あまたけさう)シケレドモ、	・現代語訳によると、「(武蔵は姿かたちの)たいそう美しい(娘であった。)」とある。
83	今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に付く 近江守の娘浄蔵大徳を通ずる語第三 p.430	今昔、近江ノ守口ノ口ト云人有ケリ。家豊ニシテ子共数有ケル中ニ、一人ノ娘有ケリ。年未ダ若クシテ、形チ美麗ニ、髪長ク、有様微妙(めでた)カリケレバ、父母此レヲ悲ビ愛シテ、片時目ヲ放ツ事モ無クテ養ケル程ニ、	・現代語訳によると、「(顔かたちも美しく、髪も長く、物腰も)すばらしかった(ので、)」とある。
84	今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に	然様ニテ過ケル程ニ、後ハ偏(ひとへ)ニ此ノ女ヲ妻トシテ有ケレバ、万(よろづ)ヲ仕(まか)セテノミゾ過ケル。而ル間、撰津ノ	・現代語訳によると、「(女はますます)はなやかな(日々を送りながら年月を重ねていた。)」とある。

第6章 微妙

	<p>付く 身貧しき男を 去る妻撰津守 の妻と成る語 第五 p.442</p>	<p>守成(かみになり)ニケリ。女弥(いよいよ)ヨ 微妙(めでた)キ有様ニテナム年来過ケル ニ、本ノ夫ハ妻ヲ離レテ試ムト思ケルニ、</p>	
85	<p>今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に 付く 右近中将□鎮 西に行く語第 七 p.452</p>	<p>ル、前ニ箏ヲ置テ弾居タル手ツキ、月ニ □テ、糸微妙(めでた)ク可咲ク見ユ。少将 此レヲ見ルニ、心移リ畢テ行ク方ノ事ハ 忘ニケリ。</p>	<p>・現代語訳によると、「(その手つきが 月に□て、)えもいわず美しく見え た。」とある。</p>
86	<p>今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に 付く 大納言の娘内 舎人に取りら る語第八 p.457</p>	<p>今昔、□天皇ノ御代ニ、大納言□ノ□ト 云フ人有ケリ。子共数有(こどもあまたあ り)ケル中ニ、形チ美麗、有様微妙(めでた) キ女子一人有ケリ。父ノ大納言此ヲ愛シ 悲デ、片時傍ヲ不放ズシテ養ヒ傳テ、天 皇ニ奉ラムトシケルニ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(そのなかにとり わけ姿かたちの)美しい(娘が一人 いた。)」とある。</p>
87	<p>今昔物語集 卷第三十 本朝 雑事に 付く 人の妻化して 弓と成りて飛 び失する語第 十四 p.473</p>	<p>今昔、□ノ国□ノ郡ニ住ケル男有ケリ。 其ノ妻形チ美麗ニシテ、有様微妙(めでた) カリケレバ、夫離去ク思テ棲ケル程ニ、 妻夫寝タリケル間ニ、男ノ夢ニ見ル様、</p>	<p>・現代語訳によると、「(その妻は容貌 美しく、姿もまた)あうばらしかった (ので、)」とある。</p>
88	<p>今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 東山科の藤尾 寺の尼八幡の 新宮を遷し奉 る語第一 p.479, 480</p>	<p>同クハ我が居タル辺ニ大菩薩ヲ遷(うつ) シ奉テ、常々思ノ如ク崇(あが)メ敬(うや ま)ヒ奉ラム」ト思テ、忽(たちまち)ニ其 ノ辺ニ所ヲ撰テ、宝殿ヲ造リテ微妙(め でた)たくかざり)テ、大菩薩ヲ崇奉テ、年来 崇メ奉ケルニ、尼亦願ヒ思ケル様、(中略) 八月ノ十五日ヲ以テ放生会ヲ行テケリ。 其儀式、本宮ノ放生会ニ異ナル事無シ。 但シ、諸ノ止事無キ多ノ僧ヲ請ジ、微妙 (めでた)キ音楽ヲ奏シ、歌舞ヲ調ヘテ、此 ク法会ヲ行ケルニ、</p>	<p>・現代語訳によると、「(さっそくその 近くに土地を選定し、神殿を造り、) りっぱに(飾り立てて、大菩薩を勧請 し奉った。)」(「さまざま多くの高僧 を招き、)すばらしい(音楽を奏し歌舞 をととのえて法会を行ったが、)」と ある。</p>
89	<p>今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 鳥羽の郷の聖 人等大きな 橋を造りて供 養する語第二 p.483</p>	<p>唐高麗ノ舞人楽人等皆唐ノ装束ヲ用キ ル。京中ノ上中下ノ人皆物ヲ加フ。舞台、 楽屋、僧ノ幄(あげはり)ナドシ、皆微妙(め でた)クシ立テ、大鼓ニツツヲ荘(かざ)リテ 立タリ。其ノ日ニ成テ京中ノ上中下ノ人 皆来テ聴聞ス。</p>	<p>・現代語訳によると、「(それらをみな) すばらしく(飾り立て、)」とある。</p>
90	<p>今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 絵師巨勢広高 出家して還俗 する語第四 p.489</p>	<p>人ニモ不会(あは)ズシテ、髪を生(おほ)シ ケル間、堂ノ後ニ有ケル壁板ニ、徒也(つ れづれなり)ケルママニ、地獄ノ絵ヲナム 書タリケル。其絵于今有(そのゑいまにあ り)。万ノ人行テ皆此ヲ見ル。「微妙(めで た)キ物ニテ有」トナム云フ。今ノ長樂寺 ト云ハ其絵書居ケル堂也。</p>	<p>・現代語訳によると、「(多くの人が訪 れてこの絵を見たが、みな)実にすば らしい(ものだと言う。)」とある。</p>

第6章 微妙

91	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 大蔵の宗岡高 助娘を傳(か しづ)く語第 五 p.493, 494	ヨリモ、此ノ二ツノ船ノ莊タル様、出シ 衣共ノ欄ニ被打懸ツ、色々ニ重タルガ、 水ニ影ノ移テ世ニ不似ズ微妙(めでた)ク 見ユレバ、上達部殿上人此ヲ見テ、「彼レ ハ何ノ宮ノ女房ノ物見ルニカ」ト問ヒ被 尋(たづねられ)ケレドモ、(中略) 其ノ後ニモ事ノ折節ニ付ツ、高助此様 ニシテ娘ニ物ハ見セケリ。然レドモ其ノ 人ハ露不被知(つゆしられ)ザリケリ。然テ 此様ニ微妙(めでた)ク傳(かしづ)ケレバ、 上日ノ者、宮ノ侍、可然(しかるべ)キ諸司 ノ尉(ぜう)ノ子ナド、「聳(むこ)ニ成ラム」 ト云セケレドモ、	・現代語訳によると、「(水に映ってこ の世のものとも思われず)すばらしく (見えるので、)」「(さて、かように財 にあかせて)たいせつに(育てたの で、)」とある。
92	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 大峰を通る僧 酒泉郷に行く 語第十三 p.518	僧、「喜(うれし)」ト思テ、「人ノ家ニ立寄 テ、『此ノ郷ハ何ナル所ゾ』ナド問ハム」 ト思テ行ケル程ニ、其ノ郷ノ中ニ泉有リ。 石ナドヲ以テ畳(たた)ムデ微妙(めでた) クシテ、上ヘニ屋ヲ造リ覆タリ。僧此レ ヲ見テ、「此ノ泉ヲ飲ム」ト思テ寄タルニ、	・現代語訳によると、「(石などを敷き 詰めた)たいそうりっぱな(泉で、)」 とある。
93	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 常陸国口郡に 寄る大きな 死人の語第十 七 p.538	「若シ此(かか)ル大人寄来(おほきなるひ とよりき)タラバ何(いか)ガセムト為(す) ル。若シ箭(や)ハ立(たち)ナムヤ、試(こ ころみ)ム」ト云テ射タリケレバ、箭糸(やい) ト深く立ニケリ。然レバ此レヲ聞ク人、 「微妙(めでた)ク試(こころみ)タリ」トゾ 讚(ほ)メ感ジケル。	・現代語訳によると、「(そこで、これ を聞いた者は、)「あっぱれよく(試し た)」とほめそやした。」とある。
94	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 愛宕寺の鐘の 語第十九 p.541	「鑄師(いもじ)ノ云ケム様ニ、其ノ日掘出 タラマシカバ、槌(つ)ク人モ無クテ十二時 ニ鳴ラナマシ。然鳴マシカバ、鐘ノ音ノ 聞及バム所ニハ時ヲモ□(規格外文字:た しか)ニ知リ、微妙(めでた)カラマシ。極 (いみじ)ク口惜(くちお)シキ事シタル別 当也」トナム其ノ時ノ人云ヒ誇リケル。 然レバ騒シク、物念ジ不為ザラム人ハ	・現代語訳によると、「(鐘の音の聞え る所では時刻もはっきりわかり、)す ばらしかった(ろう。)」とある。
95	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 語第 五 p.552	而ル間、祇園ノ別当ニテ良算ト云フ僧有 ケリ。勢徳有(せいとくあり)テ世間叶(せ けんかなひ)タリケル僧也。其レニ、彼ノ 蓮花寺ノ堂ノ前ニ微妙(めでた)キ紅葉ノ 有ケルガ、十月ノ比、色ノ微妙(めでた) カリケレバ、祇園ノ別当良算折ニ遣(つか はし)タリケルヲ、	・現代語訳によると、「(ところで、か の蓮花寺の堂の前に)すばらしい(紅 葉軒があったが、)」「(十月ごろのこ と、それが)たいそう美しく(色づいた ので、)」とある。
96	今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 竹取翁女兒を 見付けて養ふ 語第三十三 p.573, 574, 575	後ニハ、「不打(うた)ヌニ鳴ル鼓(つづみ) ト云フ物有リ。其レヲ取テ得(えさ)セタラ ム折ニ自ラ聞エム」ナド云テ、不会(あは) ザリケレバ、仮借(けさう)スル人々、女ノ 形ノ世ニ不似(ニ)ズ微妙(めでた)カリケ ルニ耽(ふけり)テ、只此ク云フニ随(した がひ)テ、難堪(たへがた)キ事ナレドモ、 旧ク物知タル人ニ此等ヲ可求(もとむべ) キ事ヲ問イ聞テ、(中略) 而ル間、天皇此ノ女ノ有様ヲ聞シ食(め) シテ、「『此ノ女世ニ並無ク微妙(めでた) シ』」ト聞ク。我レ行テ実ニ端正ノ姿ナラ バ、速ニ后ニセン」ト思シテ、忽ニ大臣 百官ヲ引将テ、彼ノ翁ノ家ニ行幸有ケリ。	・一説話の中に、「微妙(めでた)し」と 「微妙(みめう)なり」とが同時に現れ る例。現代語訳によると、上から、「(女 の姿形がこの世のものとも思われず) 美しい(のに心奪われ、)」「(その女は 世にまたとない)美人(だと聞くが、)」「 (家のありさまの)すばらしいこと、 (王宮さながらである。))」「(まことに 世にたとえるものもないほど)美しい (ので、)」「(天皇は、あの女がまこと にこの世の者とも思われぬくらい)す ばらしい(姿形であったこと)をご覧に なったので、)」とある。したがって、 「微妙(めでた)し」も「微妙(みめう)

		<p>(中略) 彼ノ翁ノ家ニ行幸有ケリ。既ニ御(おはし)マシ着タルニ、家ノ有様微妙(みめう)ナル事王ノ宮ニ不異(ことなら)ズ。女ヲ召出(めしいださる)ルニ、即チ参レリ。天皇此ヲ見給ニ、実(まこと)ニ世ニ可譬(たとふべ)キ者無ク微妙(めでた)カリケレバ、(中略) 其ノ時ニ天皇、「実(まこと)ニ此ノ女ハ只人ニハ無キ者ゾ有ケレ」ト思シテ、宮ニ返リ給ニケリ。其ノ後ハ天皇、彼ノ女ヲ見給ケルニ、実ニ世ニ不似(に)ズ形チ有様微妙(めでた)カリケレバ、常ニ思シ出テ破無(わりな)ク思シケレドモ、更ニ甲斐無(かひな)クテ止ニケリ。</p>	<p>なり」も、同義のものとして使われていることがわかる。この説話においては、女の形容のときには、「微妙(めでた)し」、家の形容のときには、「微妙(みめう)なり」と使い分けているようでもあるが、確定はしがたい。</p>
97	<p>今昔物語集 卷第三十一 本朝 雑事に 付く 元明天皇の陵 を点ずる定恵 和尚の語第三 十五 p.578</p>	<p>吉野ノ郡蔵橋山ノ峰、多武峰ノ岸重レルガ後ニ峰有リ、前ヘニ七ノ谷向テ有リ、定恵和尚此ヲ見給テ、「哀レ、微妙(めでた)カルベキ止事無キ地カナ。但シ天皇ノ御墓所ニテハ左右ハ下レ</p>	<p>・現代語訳によると、「(ああ、)じつにすばらしく(尊い土地だ。)」とある。</p>

6.9.3 中古から近代 (CHJ：日本語歴史コーパス)

CHJによる検索では、「微妙」の検索結果数が全190件であった。(2020/10/09時点)。ちなみに、「微妙」の異表記体、「微眇」の検索を行ったところ、検索結果数は0件(該当なし)であった。まず、CHJによる「微妙」の実例を概観すると、結果として以下のような特徴と傾向がみられた。

- ・形容動詞連体修飾(「微妙(みめう)ノ」/「微妙(みめう)ナル」)は、典型的な「微妙」の用法とみられる。
- ・明治期に入ると、突然「微妙なる～」の形式が増え始める。その後、徐々に「微妙な～」の形式に移行していく過程が読み取れる。
- ・全体として、(形容動詞)述語文としての「微妙」(「微妙なり」「微妙である」「微妙だ」「微妙です」「微妙。」等)は、あまりみられない形式であった。

以下に、「微妙」の検索結果を示した。なお、『今昔物語集』からの例については、上述、「6.9.2 中古(日本古典文学全集：『今昔物語集』)」と重複する場合もある。

6.9.3.1 検索語：「微妙」（全190件より抜粋）（2020/10/09時点）

図表 6.23：「微妙」の実例（CHJ：日本語歴史コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	今昔物語集 30-今昔 1100_12003	会ノ儀式ノ厳重サヨリ始メテ、講經論義ノ微妙(みめう)ナル事、昔ノ浄名ノ室ニ異ズ。	・『今昔物語集』については前項「6.9.2 中古～」も参照。
2	今昔物語集 30-今昔 1100_12033	其ノ夜ノ夢ニ、泥ノ上ニ厳タル床有リ。微妙(みめう)ノ色ノ衣ヲ敷タリ。	
3	今昔物語集 30-今昔 1100_12037	童子阿闍梨ニ向テ微妙(みめう)ノ音ヲ挙テ誦シテ云ク。	
4	今昔物語集 30-今昔 1100_13001	形端正ナル童微妙(みめう)ノ食物ヲ捧テ来テ令食ム。	
5	今昔物語集 30-今昔 1100_13043	膚ハ金ノ色ニシテ透キ通レルニ、微妙(みめう)ノ衣及ビ袈裟ヲ令服メテ、	
6	今昔物語集 30-今昔 1100_15019	千万ノ国ヲ過テ飛ビ行テ、微妙(みめう)ナル世界ニ至ヌ。	
7	今昔物語集 30-今昔 1100_16015	重々ニ微妙(みめう)ノ宮殿共有テ、皆、七宝ヲ以テ造レリ。	
8	今昔物語集 30-今昔 1100_23018	其細畳直クシテ、微妙(めでたき)事并無シ。	・「めでたき」と読む。
9	今昔物語集 30-今昔 1100_25001	時ニ有ル藤原ノ氏ノ者共、堺ニシテ、微妙(みめう)ノ大饗ヲ儲テ新皇ニ奉ル。	
10	今昔物語集 30-今昔 1100_31033	既ニ御マシ着タルニ、家ノ有様微妙(みめう)ナル事王ノ宮ニ異ズ。	
11	今昔物語集 30-今昔 1100_13036	経蔵、鐘楼、僧房、門楼、極テ多ク造リ重ネテ、荘厳セル事実ニ微妙(みめう)也。	・中世。 ・まれな表現。
12	今昔物語集 30-今昔 1100_22006	他ノ上達部ノ車ヲバ河ヨリ西ニ立並ベテ有ルガ微妙(めでたき)也。	・「めでたき」と読む。
13	今昔物語集 30-今昔 1100_26017	菓子食物ナド儲タル様、微妙(みめう)也。	
14	今昔物語集 30-今昔 1100_13001	其ノ中ニ一ノ僧房有リ。微妙(みめう)ニ造タリ。破風、懸居、ニ子、遣戸、蔀、簀、天井、皆吉ク造タリ。	・中世 ・まれな表現
15	今昔物語集 30-今昔 1100_13021	端正美麗ナル女人ノ極テ気高キ、身ヲ微妙(みめう)ニ荘厳シタル、来テ、	・まれな表現
16	今昔物語集 30-今昔 1100_16015	鬢長ク年六十許ナル人、微妙(みめう)ニ身ヲ荘リテ、出来テ云ク、「何ラ。此方ニ上リ給へ」ト。	・まれな表現
17	今昔物語集 30-今昔 1100_19023	此ク微妙(みめう)ニ此ノ寺ニ住ム程ニ、身ニ何トモ無キ病ヲ受ツ。	・まれな表現
18	今昔物語集 30-今昔 1100_24023	管絃ノ道ニナム極タリケル。琵琶ヲモ微妙(みめう)ニ弾ケリ。笛ヲモ艶ズ吹ケリ。	・まれな表現
19	今昔物語集 30-今昔 1100_24026	文時申テ云ク、「御製微妙(みめう)ニ候フ。下ノ七字ハ文時ガ詩ニモ増テ候フ」ト。	・まれな表現
20	今昔物語集 30-今昔 1100_24030	然レバ、関白殿此ノ句微妙(みめう)ニ感ゼサセ給テ、殿ノ御乳母子ニテ有ケル藤原国盛ト云人ノ	
21	十訓抄 30-十訓 1252_03015	白象に乗りて、眉間の光を放ちて、道俗、貴賤、男女を照らす。すなはち微妙(みめう)の音声を出して、	・中世。
22	色深狭睡夢 52-洒落 1826_01026	是微妙(ひめう)の場にして。遊客最熟練すべき言なり。	・近世はこの1件のみ。 ・「ひめう」とある。
23	よりあひばなし 60C 口語 1874_05102	本の学問の仕かたがわるいと申したは、日本はことばの国で、玄と微妙(みめう)の詞が天然に備はつてある、そのこ	・以下、近代(明治期)。

第6章 微妙

		とばを学問の始めにかならず学んで、その運用の然る所以を	
24	国民之友 60M 国民 1887_01016	確然たる事實は微妙の議論よりも、雄辨なる證人なり、	・以下、読みは「びみょう」
25	国民之友 60M 国民 1887_03002	敢て其の微妙なる恩澤を、社會に光被せしむることなきは、固より怪むに足らざるなり	
26	国民之友 60M 国民 1888_26003	而して其の音吐高爽にして然も其餘韻悠揚、恰も微妙の天樂を聴くが如きの趣き有りとなす、	
27	国民之友 60M 国民 1888_31020	一度位は普通の人物に微妙の手際を現はさるゝのを見たものだと、	
28	女学雑誌 60M 女雑 1894_39013	即ち犯罪の文明に伴ふ如く微妙に變遷し來る也。	
29	女学雑誌 60M 女雑 1894_44016	縷々焉として斷えざる所ろに人をつなぎ人を生かす微妙(びめう)の音を共に聴かるゝも宜しからん。	
30	太陽 60M 太陽 1895_01021	従つて其間微妙の消息を悟る能はざるは之を如何ともすべからざるなり、	
31	太陽 60M 太陽 1895_02055	桑葉を化して此美麗なる絲となすは是れ微妙なる機能によるものにして	
32	太陽 60M 太陽 1895_03047	聖と云ひ賢と云ひ、尊勝と云ひ深高と云ひ其他幾多の幽玄微妙なる語を以てするが如く、	
33	太陽 60M 太陽 1895_06003	然れども色は社交に微妙なる感を與へ、忠の發動を毎に此に識認せらるゝなり。	
34	太陽 60M 太陽 1895_08013	何人たりとも或一國を知らんとせば其國人の言語を會得して微妙なる意味に通せざるべからずと存じ候	
35	太陽 60M 太陽 1895_09055	南溟の天地に逍遙するに非れば此微妙の動機に接する能はずといふに非るなり	
36	太陽 60M 太陽 1895_10021	物には遺傳性なるものありて、父母の有する性は、其善惡に關せず微妙の點と雖も、冥々の中に子孫に傳はるものなり、	
37	太陽 60M 太陽 1895_12032	其耽嗜切磋の巧、年をつみて微妙の域に入り、名を此道に擅にせりと、	
38	女学雑誌 60M 女雑 1895_11006	釋迦曰く『四十九年一字不説……吾に正法眼藏涅槃妙心實相無相微妙の法門あり不立文字教外別傳摩迦葉に附屬す』と我が聖主基督曰く『我なほ爾曹に多く語る可こと有れども今爾曹曉ることを得ず』	・釈迦のことば。「この上もなく美しい」といった意味か。
39	太陽 60M 太陽 1901_02021	先天無聲微妙の靈音は常に寸間に潜んで浙々瀝々として鳴り渡りてをる、	
40	太陽 60M 太陽 1901_07031	病を治する熟練なる醫者は病人の心機轉せしむる微妙の理を自然に會得するものが一番に功を奏する	
41	太陽 60M 太陽 1901_10048	殊に婦人に對する處置の如き感情に關する微妙なる問題にして	
42	太陽 60M 太陽 1909_01023	薄明のうちに閃めくその眼眸の焰。それは微妙(びめう)な恐ろしげな鏡とも言へやう、	
43	太陽 60M 太陽 1909_04015	怪み給ふな選舉費の天引や跳りは高利貸も跣足の微妙なものである。	・若干マイナス評価的文脈。
44	太陽 60M 太陽 1909_05018	土耳其議會が尚進みて如何に微妙に其局面を發展し得べきやは唯時間の経過によりて解決せらるべき	
45	太陽 60M 太陽 1909_05028	劇詩も斯かる藝術の一種で、微妙なる特質を有つて居るが、	
46	太陽 60M 太陽 1909_12017	此の微妙な區別を遣つて行くことは容易なことではあるまい。	
47	太陽 60M 太陽 1909_12058	其の權威は人民に對して尚ほ微妙の關係を有つて居る。	
48	女学世界 60M 女世 1909_16084	野路には、秋草が美しく咲き亂れて、林には鈴蟲が、鈴をふるやうな微妙な聲で歌つてゐるの、	
49	太陽	この邊から餘程微妙な諸問題が起つて來るが、之を防ぐ唯	・「微妙な問

第6章 微妙

	60M 太陽 1917_04018	一の妙用は	題」。現代語に近い用法。
50	太陽 60M 太陽 1917_04040	刻々に變化して行く雲の布置や色や形や、複雑な微妙(びめう)な海面の變化やが、彼の心を奪った。	
51	太陽 60M 太陽 1917_04040	その時糸から竿を傳つて何とも云へぬ快い微妙(びめう)な感じが手先に傳つて來る瞬間を待つのであつた。	
52	太陽 60M 太陽 1917_09034	こんな場合に吾々全員の命が助かるか助からぬかについて最も微妙の感情を有つてゐるものは彼である。	
53	太陽 60M 太陽 1917_10041	他の寺の僧達の誦した讀經ではとても味ふことの出來ない微妙(びめう)な深遠な感じに人々は撲たれた。	
54	太陽 60M 太陽 1917_13021	或は原料の形式に於ける自然の富、最も微妙に最も有効に出來た諸種の機械、	
55	太陽 60M 太陽 1917_14012	其のお底に日本人の漢學力は歐洲人の一朝一夕に學び能はざる微妙な域にまで達してをる。	
56	太陽 60M 太陽 1917_14022	本工業の如きは、諸工業中最も微妙なる知識及び技術を要するものであつて、	
57	太陽 60M 太陽 1925_01066	これ、本療法の微妙なる技術を要する所以である。	
58	太陽 60M 太陽 1925_02024	既に述べた様に、大きな違ひはないのであつて、ホンの微妙(びめう)な點に於て異つて居る。	
59	太陽 60M 太陽 1925_04031	また客を引くに値するだけの微妙な魅力があるであらう。	
60	太陽 60M 太陽 1925_04068	再生法の適用はその作用が非常に微妙であるので、持続した振動を生じ易いのである。	・まれな表現。
61	太陽 60M 太陽 1925_05013	此の複雑微妙な器官の構造や機能を文字だけの上で絮説することは、	
62	太陽 60M 太陽 1925_05028	國際經濟と云ふ微妙な關係は債務條約兩問題を保留又は互讓し	
63	太陽 60M 太陽 1925_11063	むしろ、坐つた時など、その姿の線に微妙な美しさと、安定の美があつて、	
64	太陽 60M 太陽 1925_12023	又大腦表皮にある神經細胞の微妙(びめう)な構造が材能に大關係を有するものであるから、	
65	太陽 60M 太陽 1925_12045	又得意先に對する微妙(びめう)な關係でも、その間の注意を怠らなかつたならば可成の剩費を省く	
66	婦人俱樂部 60M 婦俱 1925_03062	寶石のやうに輝く瞳、濡れたやうに赤い唇その物云ふ聲までが微妙(びめう)なりズムを以て私の耳に響くのであつた。私は、ある夢見心地のうちの引き入れられ乍ら、	
67	婦人俱樂部 60M 婦俱 1925_06024	バーの左側にある樂隊のボックスでは、人の心を浮き立たせるやうな、微妙(びめう)な音樂が溢れ、	
68	婦人俱樂部 60M 婦俱 1925_12083	その清澄な心ゆくばかり微妙(びめう)な餘韻が、音波のとゞく限り、	・用例は 1925年まで。

6.9.4 近代（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

「神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」による検索では、「微妙」の検索結果数が全1779件であった。(2020/10/18 時点)。以下の表に、「微妙」の該当記事について時系列で示した。

6.9.4.1 検索語：「微妙」（全 1779 件より抜粋）（2020/10/18 時点）

図表 6.24：「微妙」の実例（神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫）

番号	ID/新聞名 日付/見出し	実例	備考
1	都市(1-001) 東京時事新報 1911.12.15-1912.4.26 (明治 44) 日本の都市（一・二・四 ～六三） (一)緒言	故を以て今日我邦市政の攻究に従事するは一は其発展を促して以て国政の運用に資するものなると同時に一は其進歩に因りて往々陥り易き弊害を予防し世上の注意を喚起して以て円満微妙なる自治の發育を遂げしめんとする微衷に外ならず	・形容動詞連体修飾。「円満微妙なる～」という複合形式。
2	蚕糸業(01-098) 中外商業新報 1912.9.23 (大正 1) 政策に現われたる製糸業と紡績業 製糸家覚醒の時機 余論	古来製糸は特種工業なれば他の工業の如く諸般の發明現われずとの口念を去らざる者少からねど、紡績の微妙繊細なる各種機械が実施運用されつつ在るに見て少くも従前の儘なる操糸並に経営法を以てしては迎も進歩急速なる時運と副う能わざる可きを覚悟せざる可からず。(完)	・「微妙繊細なる～」という複合形式。
3	労働(1-041) 時事新報 1913.5.7-1913.5.11 (大正 2) 山間の田園都市（一～五）[日光電気精銅所に於ける職員の待遇（一～五）] (三) 所長の施設好影響を与う 負傷者漸次に減少の傾向 鈴木所長と語る(承前) 主従苦楽を共にす	彼の市に販ぐ茄子を贈るの親切は之を己が畑に丹精して穫たるものを贈るの親切に若かざると同じく之を受くる者の感慨亦霄壤の差異なくんば非ず微妙なる注意の向け方は纏て千波万波を動かして末遂に千里の彼岸に達し得べし	・形容動詞連体修飾。
4	工業金融及其機関(1-033) 大阪新報 1914.2.28-1914.3.4 (大正 3) 工業資金問題（一～五） [大阪市に於ける工業資金 其六]農銀専務弘世談 (三) 岩佐興銀支店長談	更に貸付け資金の調達之例外資輸入と之が需用との間に時期の一致を見る能わざる場合には如何にすべきかとの問題もあらんが抑外資輸入に就いて委細を述ぶる時は一朝一夕に尽きずと雖も要は極めて微妙の関係にあり機会を捕えざれば不可なり	・形容動詞連体修飾。「関係」と共起。
5	茶(1-179) 時事新報 1915.4.29-1915.5.1 (大正 4) 手揉と機械揉との比較 (一～三) 静岡にて 下田 (三) 機械製茶の得失 止み難き時例其欠点と改良 製品上の欠点	近頃に至っては大分に機械にも蒸しの必要な事を主張する者が多くなって一般に注意するようになり、中には大きな扇風機等を使用して居るものもあるが手揉に行われる蒸の手加減、殆んど二三秒の差で蒸し過ぎにもなれば若蒸しにもなる其間の極めて微妙な呼吸等は迎も迎も機械蒸しには望まれはせぬ	・形容動詞連体修飾。
6	石炭(02-095) 大阪朝日新聞 1916.12.15 (大正 5)	汽船運賃が昨今更に昂騰し門司浜運賃すら五円と云う驚くべき高率を示せる為諸掛りを合算すれば結局阪神着相場は内地同様となる訳にて今回の歐洲平和見越し	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

	炭価は此辺絶頂か [炭価の暴騰 (其九)]	が幾分なりとも一般人心に微妙なる感覚を伝え正に沸騰せんとする将来の新規企業熱に対し軽からざる衝動を与えたるものとせば張り詰めたる昨今の近海運賃も漸次下向くべき運命にありと言うべく同時に外国炭の輸入も左迄難事ならざるに至るべしと解する向き多し	
7	製糖業(04-042) 台湾日日新報 1917.3.2-1917.3.6 (大正6) 製糖能力問題(一~五) みやかわ生 (四) 不具的発達	然るに天の配剤の微妙にして且つ痛切なる、其の勃興絶頂期の大正元年以後数回に互る希有の大暴風雨の襲来あり。さしもの糖業熱も冷却するの憐れむ可き状態に陥り少なからず前途を悲観され、内地の与論囂々たるものありしは、猶吾人の記憶に新らたなる所なり	・形容動詞連用修飾。
8	外交(19-033) 大阪毎日新聞 1918.12.8 (大正7) 講和予備会議(巴里特電一日発) □の諸問題	故に独逸は波蘭問題に関し先ず其国境選定権を波蘭人並にチェック民族に与え是等の土地に対する独逸の要求権は之を抛擲せざるべからず次にダンチヒの問題は事頗る微妙なるものなれども東西普魯西の自然的交通路に対する独逸の要求を容れ特に協定をなすの必要あり	・形容動詞連体修飾。
9	都市(5-058) 京都日出新聞 1919.10.14-1919.10.17 (大正8) 都市計画の基礎としての都市測量(一~四) 京都市囑託 重永潜(一)	今や一の組織ある科学ゲッデス氏の所謂シビックサイエンスとして観念せらるるの気運に向いつつある都市計画は複雑微妙なる一の有機体としての都市を綿密詳細に観察して新に計画し或は改良を加うべき個所に対し現代の科学的方法を適用する事によりて十分なる効験を挙げんとするものである。	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙なる~」という複合形式。
10	外交(45-049) 大阪朝日新聞 1920.9.16 (大正9) 緩衝国成立の条件 軍人外交終滅と経済的後援	外務省の役人が、其役目を軍人に委して恬として恥ざる間は、政府の内外に於て軽視されるは当然であると謂わねばならぬ。吾人は此機会に於て外務当局の発憤を希望すると同時に、日露の変局に処すべき緩衝国の設立の如き微妙なる機関は、恰も産婦の診察に眼科医を差向けるが如く、全く専門違いの頭脳の特主たる軍人によって成就さるべきものでないことを表明せんとするものである。	・形容動詞連体修飾。
11	労働問題(16-008) 大阪毎日新聞 1921.1.1-1921.1.7 (大正10) 労働者教育運動の軌近の発達(一~七) 文学博士 米田庄太郎(一) 一、労働者運動発達の諸方針	而して米国にありても大体上同一の傾向が認められると思う。是れ米国に於ける労働運動の発達は、大体上英国に於ける労働運動の発達の反映であると看作し得られるからである。併し労働運動の発達が或程度以上に達したる後は、自ら夫々の国民の特有の事情に順応して微妙なる分化をなすものであるから、米国にありても其の国特有の種々なる事情は、自ら英国に於けるとは異なる労働運動を発達させて来た。	・形容動詞連体修飾。
12	貨幣及兌換銀行券(9-036) 京城日報 1922.4.26 (大正11) 奉票暴落に就て	又反対に大に反撥して来るかも予想の限りではない張使の頭脳は随分と各方面に極めて鋭敏に且つ微妙に働くから奉票の通用区域の如きも或は此の際大に拡大されて来るかも知れない是又大に注目し値する処だろう	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
13	国際貿易(20-019) 中外商業新報 1923.11.21-1923.11.23 (大正12) 英国の朝野にうずまく保護関税問題(上・中・下) (下) 政府案に反対論の根拠	これを英帝国の結合の方面より観察しても、第一に由来世界の経済組織は微妙な時計の機械のように混雑して居り、これが局部的変更は全般の組織に影響するを常とする、故に歴史的に自由貿易主義の上に築かれた英国の産業を保護主義に変更せんとするならば、これに備える充分なる用意が要る	・形容動詞連体修飾。現代語であれば、「精巧な/精密な」等の表現を使うか。
14	蚕糸業(14-086) 中外商業新報	由来取引所は、物価調節には微妙の働をなすものであるが、若し取引所が、実物関係者の保険売買を容易な	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

	1924.10.11-1924.10.12 (大正 13) 生糸価格の激変に善処すべき工夫ありや (上・下) 奥村鹿太郎 (寄) (下)	らしむる外に、局外者の投機的参加を旺盛ならしむるよう組織を完備しなかったならば、本来の機能を発揮し得ざるのみならず、しばしば少数の玉のために相場を攪乱されて、物価の激変を余儀なからしむることとなるのである。	
15	電気工業(11-052) 大阪毎日新聞 1925.4.18 (大正 14) 水利権の獲得競争	ために之が対策として東電は火力発電所建設、名古屋送電計画長富電力をして黒部川水利権の出願後東邦大同両電力の離間策等凡そ案出し得べきあらゆる対策を施したため、東邦と姉妹会社にあたる大同は却て東電に左袒の色明かとなり極めて微妙なる関係に立つに至ったが、電力供給の競争は遂に根本に遡って水利に権獲得の競争にまで進み現に東電と日電とは富山県下黒部川を中心として利権獲得に狂奔するに至った	・形容動詞連体修飾。
16	金・銀(05-129) 東京朝日新聞 1926.6.30 (大正 15) 百貫目の金鉢から一匁の金 金と物どう動く 時計と入歯用 好景気の時は装身	もちろん宝石類もこの方面には大いに需要されているが金細工に至っては時と場所とに拘らず、たれでも必ず一品位は備えつけられている程、金は万人向である。それに金工芸品は世の景気不景気が直接微妙に働いて景気がくると、その売れ方は非常なものである、これに反し不景気となると、金細工を売るものはあっても買手がない、それ程景気不景気がてき面響くのである。	・形容動詞連体修飾。副詞的用法。
17	アメリカ(6-100) 中外商業新報 1927.3.1-1927.3.7 (昭和 2) 米国財界の近状 (一~六・完) 三井物産大阪支店次長 太田静男 (四) 歌劇入場券に四十弗の打歩 フロリダのゴム生産費二弗	そこで各会社、商店、個人などが努めて例年七、八月になると翌年度型という変わった型のものを売り出すのを今や遅しと待ち受けてわれ先きにと購入し、一二年前のものを他に転売し、それ以上古き型のものや使用すると修繕費を多く要し経費の嵩むものなどはガレヂ一代だけでも十五ドルも要するので遠く郊外に乗り出して乗り捨てて来る、この微妙な心理作用に喰ひ入って自動車会社が製造し販売する	・形容動詞連体修飾。
18	銀行(19-011) 中外商業新報 1928.8.18-1928.8.24 (昭和 3) 休業銀行の整理について… (一~四) 大蔵省銀行局長 保倉熊三郎氏述	従って銀行の如く債権者の数が非常に多数で、且つ少額の債権者が極めて多くその影響するところは債権者の個人的利害関係のみに止まらずして極めて微妙な関係から一般経済界にも、社会的にもいろいろ深刻なる影響のあるものについては、なお相当研究の余地があるように感ぜられた点もあって、	・形容動詞連体修飾。「関係」と共起。
19	綿糸紡績業(15-086) 大阪時事新報 1929.6.27-1929.7.7 (昭和 4) 深夜業廃止と紡績(一~十) (九) 女工の賃銀計算は複雑一人一日の賃銀は減る一人月収の増減は半々	そんな関係で会社内に於ても、計算事務に携わる少数の社員の外、女工の賃銀を詳しく知るものが無い、而して賃銀の計算が複雑なるだけ、そこに微妙な働きがあり、一寸した匙の盛り加減で、どうにでも手心が加えられるそうである、	・形容動詞連体修飾。
20	アジア諸国(4-070) 時事新報 1930.12.27 (昭和 5) 米国自動車の満蒙大発展 遠からず自動車の洪水を見るだろう	産地から鉄道までの中間輸送をする丈でも一寸どこまで需要があるか分らない程だ、而も茲には鉄道敷設に微妙にして困難なる事実がある、かくして米国は自国で消化し切れない、夥しい自動車の一大市場を満蒙に見出したのである。銀座の円タク洪水の様な満洲のアメリカ自動車洪水それからアメリカ文化の浸水	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

21	電気工業(14-124) 大阪毎日新聞 1931.5.1 (昭和 6) 東電、東邦提携して日電に対抗するか 日電の積極的東京進出に東電の態度硬化す	現行料金年キロ百二十八円七十七銭二厘に対して六十三円五十銭の徹底的安値をもって交渉を開始せんとしている関係より見ても、日電の東京進出を中心とする東電、東邦の動きは相当微妙なものであり、場合によっては提携して日電に当る機運を促進しかねない情勢になって来た	・形容動詞連体修飾。
22	国際貿易(41-141) 報知新聞 1932.7.20 (昭和 7) 『印度関税引上問題』 本邦綿布、人絹布の脅威力と引上運動の裏表	世界の関税戦は恐慌の深まるにつれて、これが克服策としていよいよ激化し、それがまた各国の恐慌状態をより一層悪化せしめているこれは現代世界経済の運命でありあらゆる国家が否応なく、この渦巻にまき込まれているが、特に植民地、半植民地において、関税戦争は複雑微妙な相を帯びている、インドがその適例である	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙な~」という複合形式。
23	日本の対外貿易(28-138) 大阪時事新報 1933.10.11 (昭和 8) 十二月の転換期如何で決する 未曾有の飛躍を見た本年度の貿易尻	そこで美しい東京商人の結びつきも、将来は必ず大阪式打算的商法を加味せねば立ち行かぬことになるであろう、その意味から大阪における取引の実際と、その考え方やり方は、今後ますます研究されてよい、しかしここで注意すべきは、真の大阪人の手腕は相場の微妙な動きを利用し、あるチャンスを巧みに掴んで売って出るといったところのみ、理想的に発揮されるという点だ	・形容動詞連体修飾。
24	港湾(10-093) 満州日報 1934.5.23-1934.5.27 (昭和 9) 北鮮三港を渡る 川島 【四】D…羅津港完成後影響 日本との距離及び運賃関係	尤も右運賃は本年六月までの仮営業期間の暫定的のもので、六月以降の正式運賃が如何なる形式を執るかは、一層多くの興味をもってみられているが、今後の満洲鉄道政策の根幹は大連向けと北鮮向けとの鉄道と港湾とを如何にして最も能率的に利用するかに置かれているので、相当微妙な運賃政策が講ぜられるであろうことを想像される	・形容動詞連体修飾。
25	政治(65-147) 神戸又新日報 1935.8.31 (昭和 10) アフリカ再分割 独逸引入れの苦しい策戦 時局解説	伊太利はこれを利用し、旧ドイツ領の復活によってドイツを誘い一面においてはこれを以てフランスを脅かし、三国の微妙な関係において更に英国を牽制せんとする案が即ち全アフリカ再分轄案で、英国がこれに応ずることの出来ないということを承知しての上での話であるからこれは畢竟伊太利の敵本的野心の存する所を明かに伊エ紛争を最大限度有利に導かんとする下心に他ならない、	・形容動詞連体修飾。
26	金・銀(14-118) 国民新聞 1936.8.30 (昭和 11) 十一年振りの飛躍“白金狂時代”到来す 今月に入って急ピッチ グングン三十円台へ	国防上の重要資源たるプラチナに対する軍部並に内閣資源局の関心は非常なものだ、軍事上の精密計器にはいやでも莫大なプラチナが必要なのだ、プラチナの国内保有量の多少が戦場の勝負に微妙な役割を持っていることは非常時国民の常識として知って置く必要がある	・形容動詞連体修飾。
27	日本(27-072) 大阪朝日新聞 1937.1.27 (昭和 12) 膨脹政策に伴う悪影響を防止せよ 物価対策と日英提携を強調 日商議員招待会で 結城会頭の演説	財政の膨脹もこれに伴う増税もそれが適正と認められる限りは内外の情勢に鑑み蓋しやむを得ぬことであろう、しかしながらその及ぼす影響は極めて重大であり、かつ財界、産業界においては理論以外に微妙な心理作用を伴うものであるからその実行に当っては十分これらの実情を明察し悪影響の防止に万全を期すべきである	・形容動詞連体修飾。
28	電気工業(19-102) 大阪朝日新聞 1938.2.7 (昭和 13) 電力案、総動員法案一部修正して通過か	一方院の内外における賛否の運動は最近更に激しくなり、院内においては賛成議員が横断的に結成して政府側を側面的に援護し、更に従来反対的立場にあった議員のうちに修正通過論が微妙に動き出し侮り難い勢力を示すにいたった	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

第6章 微妙

	衆院反対派も緩和の色		
29	日本(29-029) 読売新聞 1939.10.15(昭和14) 欧洲戦争の影響 無条件的楽観許さず 北陸銀行大会 結成日 銀総裁戒む	複雑怪奇なる国際情勢下において国防の充実、生産力の拡充は一段と緊要の度を加え、諸般の経済統制は愈よ強化せらるべき情勢に在るのみでなく海外諸国間の関係も日々微妙なる変化を続けておるのであるから格別慎重の態度を以てことに当たることが必要である	・形容動詞連体修飾。
30	日本の対外貿易(0f-070) 日本工業新聞 1940.8.14(昭和15) 対中南米貿易増進策慎重検討	世界経済新情勢に対処する我が国今後の通商貿易政策は新東亜の経済圏確立と対第三国外交政策上極めて注目されるが特に中南米に対する通商貿易の促進は対米関係の微妙なる今日何等かの根本策の樹立が急務とされている	・形容動詞連体修飾。
31	朝鮮・台湾・満州(16-190) 大阪毎日新聞 1940.5.19-1940.5.21(昭和15) 本社主催 台湾を語る座談会(1~3) (3)労力と農業生産 内地人には向かない	米と砂糖の相剋関係であるが、米はさらに内地とも相剋している、自分が在職中(明治三十二年-大正十三年)からすでに総督府が砂糖に便宜をはかり、米を圧迫しているとの風評があった、しかし自分は台湾にいたとき、かえって米の方に関係が深かったが、圧迫を感じなかった、ただ米の改良が遅れていることは事実である、これが改良を具体的に計画的にやりだしたのは四十二年で、自来今日までこの両者は微妙な関係におかれながらも発達して来た、一昨年十五年振りに渡台したところ米と砂糖の数に驚かされたのであるが、自分はいま単純に台湾だけをきりはなして考えるべきでないと思っている	・形容動詞連体修飾。
32	朝鮮・台湾・満州(16-158) 大阪毎日新聞 1941.12.6(昭和16) 東亜経済懇談会 きょう第二日 鉱物開発、食糧自給 両部会で活潑な論議 地下資源の総動員へ 日満華蒙打って一丸 津田鉱産局長講演要旨	しかるに昨今の情勢は一層微妙となって鉱業の分野においても、また有事既応の決戦体制を整えておかねばならぬ時代に際会している、現在は正しく百の議論より一の実行といった気持でこの大東亜における鉱物開発を考えねばならぬ	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。
33	化学工業(06-087) 日本工業新聞 1941.10.7(昭和16) 石原産業の硫酸 新規計画は操業難か	石原産業海運の四日市市場第二期工事は此程完成をみたので副次生品たる硫酸も愈よ全面的に操業する段取りとなったが、何分にも同工場は地理的に不便なところにあるため製品の輸送に困難を来たしている一方、硫酸過剰等の問題もありその操業は行悩みの状態にあり、これを繞って官民業者相互間に微妙な動きをみせている模様で成行を注目されている	・形容動詞連体修飾。
34	東南アジア諸国(15-047) 大阪毎日新聞 1941.11.5-1941.11.6(昭和16) サイゴン財閥の実体(上・下) サイゴンにて特派員 松田	日仏印経済協定は成立したが、かかる情勢下におかれている日仏印間の経済提携はいくべくして容易に実効を収め得ないことは当然といわねばならぬ、日本としてはサイゴン財閥の本質的性格と仏印の内部事情の複雑性、さらに英米など外部勢力との微妙な関係を十分認識してかかることが急務だ、すでに経済協定の実施された今日日仏印間にはなお幾多の難関、支障が横たわっている	・形容動詞連体修飾。
35	護謨工業(05-111) 日本工業新聞 1942.7.17(昭和17) ゴム原料配給社案に輸入組合、断然反対 一元組合組織を要望	而して現在は共同配給制を採って居り卸商業者に四割、輸入業者の卸商部門に六割の口銭分配協定が適用されて居り、輸入業者の配給に占める勢力は断然強いので会社案は結局ゴム工連と輸入組合員の調整問題としての意義をもって微妙なる対立を示している、	・形容動詞連体修飾。

36	都市(13-113) 大阪朝日新聞 1942.11.14 (昭和 17) 躍進する港都 (上・下) (下)神戸からのお願い 蔬菜一千万貫 まず道路 路網を整備 六ヶ村の 要望	以上述べたことを考えた場合六ヶ村の合併は当然こうあるべき運命におかれていたともいい得る、ただ今後に残された問題はいつ正式合併を承認されるかということ、これでこれが成否は今後の編入を予定されている東部五ヶ町村はじめ明石郡の三ヶ町村、明石市等にも複雑微妙な影響を与えることであるから関係者の一層の努力が要望されるわけだ	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙な～」という複合形式。
37	東南アジア諸国 (15-118) 東京日日新聞 1943.5.3 (昭和 18) 仏印民族政策の新方向 自給経済確立へ原住民 の協力を要求 仏文化で宣伝工作	しかし仏印政庁が民族政策に関して最近特に細い注意を払うようになったことは民族問題に関しまだ解決されない多数の問題が残されていることを示している、政庁政策の転換に対し原住民が必ずしも顕著な反応を示していないこともその一証左であろう 東亜の戦雲は益々深まらんとしこれに伴って仏印の立場は一層の微妙さを加えつつある折柄、現在の仏印の民族政策が将来如何なる進展を見せるかは注目に値する	・名詞化「微妙さ」。

6.9.5 近代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

上述、「6.9.3 中古から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」によって得られる事例が、おおむね 1925（大正 14）年までとなるため、昭和前期（戦前期）の実例を得ることができない。したがって、それを補う手段として、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」を用いて朝日新聞記事の検索を行った。期間は、1925 年 1 月 1 日から 1945 年 8 月 15 日までとする。検索条件は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」／キーワード「微妙」／発行日「1925/01/01 から 1945/08/15」／その他指定なしとした。

まず、1925 年から 1945 年 8 月にかけての朝日新聞記事上における「微妙」の実例を概観すると、結果として以下のような傾向と特徴がみられた。

- ・主な形式として三つ挙げられる。形容動詞連体修飾の形式（「微妙な～」「微妙なる～」「微妙の～」）・（形容動詞）述語文の形式（「～が（は）微妙。」）・形容動詞連用修飾（副詞的用法：「微妙に＋用言」）である。
- ・形容動詞連体修飾の形式（「微妙な～」「微妙なる～」「微妙の～」）が最も多くみられる。「微妙な～」と「微妙なる～」を比較すると、昭和前期においては「微妙な～」の形式のほうが多くみられる。「微妙の～」の形式についてはまれである。
- ・「～が（は）微妙。」という形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式は、次項「6.9.6 現代」（1945 年 8 月以降、1970 年代まで）と比較すればやや少ないようである。

- ・形容動詞連用修飾（副詞的用法：「微妙に＋用言」）の形式は、数としては少ないが、1920年代から1940年代を通じて現れる。
- ・次項「6.9.6 現代」（1945年8月以降、1970年代まで）にはほとんどみられない、「を」格につながる「微妙」（例：「微妙を極むる」）が、1920年代から1940年代を通じて現れる。ただし数は少ない。形容動詞語幹で名詞的に使われているようである。
- ・「複雑微妙（な／なる／の）」という複合形式で現れる場合が間々ある。この形式は現代（1945年8月以降）ではほとんどみられない。
- ・共起しやすい語として、「動き」「動向」「変化」「関係」「情勢」「政情」「局面」「影響」「空気」「立場」等が挙げられる。次項「6.9.4 現代」（1945年8月以降、1970年代まで）でよくみられる、「時期」「違い」「ずれ（ズレ）」「ゆれ」等の語はほとんどみられない。
- ・見出し文で「微妙」を用いて、本文中で「デリケート」と言い換えている例が、1930年代後半から1940年代初頭にみられた（“63”1939年2月24日「全助教授が留任 再建に微妙な影響」／“75”1941年11月25日「日米会談、情勢いよいよ微妙」）。当時、すでに「微妙」の言い換え表現としての「デリケート」が定着しているようである。

続いて、以下に表にして時系列でまとめた。

6.9.5.1 検索語：「微妙」（全270件より抜粋）（2020/10/05時点）

図表 6.25：「微妙」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：近代）

番号	発行日 社／刊種	実例	備考
1	1925年7月15日 東京／朝刊	税整案内示にからむ政府側の微妙な掛引 ウカとは成案を見せられず頻りに政友会の腹を探つて 慎重に策戦を練る／具体案作成は此際見合せ 政府案も出来てゐるからと憲政会は思切る／根本整理の腹で暫く政府案を観望 きのみ出身閣僚と政友委員打合せ	・形容動詞連体修飾。
2	1925年7月27日 東京／朝刊	けふぞ太刀洗へと両機大阪を出発 快晴に勇んだ四勇士 城東練兵場白熱の歓送裏に 訪欧飛行の第二日／初風の気化器不調の為 両機神戸から引返す 直に立川から新品を取寄せ 作業を待つてけふ出発と決す／微妙なる気化器の作用 朝鮮海峡の難関を控へて あくまで自重する安辺大尉	・形容動詞連体修飾。飛行機の機械に対し「微妙」が使われる。本文によると「どうも気化器が云ふことを聞いて呉れません」「新しく装備した気化器はどうしても空気の量

第6章 微妙

			の調整が旨い 工合に行きま せん」とある ためマイナス 評価性のよう である。
3	1926年1月25日 東京／朝刊	各派解散を恐れてグズグズで終りさうだが興味は今後政局は極めて微妙	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
4	1926年3月17日 東京／夕刊	伸びゆく力(18) 微妙に動く美しい指 仙台から東京へ響いた天才の琴の音<写>	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。プラス 評価性。
5	1926年11月19日 東京／朝刊	5A-4 八回に形勢逆転し 早大危く優勝す 特記すべき法政軍の奮戦 東宮杯かくて早大へ/勝敗を分つ微妙な力 ネット裏から/きのふ早法決勝戦<写>/六大学野球リーグ戦成績(上)<図表>	・形容動詞連 体修飾。
6	1927年2月10日 東京／朝刊	政局の帰向は如何 各方面が思い思いの観測/微妙で複雑/研究会 渡辺千冬<写>	・形容動詞連 用形。
7	1927年9月16日 東京／朝刊	貴院に流るる微妙な動き新団体成立に伴う注目すべき交友派の行動	・形容動詞連 体修飾。
8	1927年12月12日 東京／朝刊	貴族院にみなぎる反政府的の空気 議会の開期ようやく切迫して 各派の関係微妙	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
9	1928年1月20日 東京／朝刊	解散の時機を回り 微妙を極むる政機 政府の握るその切り札の投げらるるは何日	・形容動詞語 幹か。名詞的 に使われている。
10	1928年5月1日 東京／夕刊	我子のしつけ方 幼年の巻(8)/棄てたねこ子供は探しに行きました微妙な愛の教育	・形容動詞連 体修飾。本文 文脈によると プラス評価 性。
11	1928年11月22日 東京／朝刊	機智の慶応、元氣一杯の早大 勝敗の決は微妙な点で、明日呼物のラ式戦/ラグビー	・形容動詞連 体修飾。
12	1929年3月8日 東京／朝刊	握りつぶしを前提として、道行すこぶる微妙 賛否、中立各々作戦に苦しむ 議税案の運命暗黒	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
13	1929年4月4日 東京／朝刊	蔣馮時代へ 戦局の微妙な変転 南京特派員2日発	・形容動詞連 体修飾。
14	1929年11月25日 東京／朝刊	参加5国間の微妙な関係 問題となる主要点	・形容動詞連 体修飾。
15	1929年11月26日 東京／朝刊	微妙な日露交渉 カニ工船取締規則改正から	・形容動詞連 体修飾。
16	1929年12月13日 東京／朝刊	解散議会を前に、政戦微妙に動く 政府、議会まで諸策動を厳戒	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
17	1930年5月5日 東京／朝刊	貴院の保守進歩両勢力 政府追究に集中さる 統帥権問題の微妙なる関係 政府はますます苦境	・形容動詞連 体修飾。
18	1930年7月3日 東京／朝刊	米の生産費調べ 微妙な損益の分れ目<表>	・形容動詞連 体修飾。
19	1930年7月18日 東京／朝刊	国防欠陥を現わすも、露骨な形式を避く 微妙な奉答文の字句	・形容動詞連 体修飾。
20	1930年10月2日 東京／朝刊	小橋、佐竹の両巨頭 きょう第1回公判 興味ある微妙な事件	・形容動詞連 体修飾。
21	1931年3月2日 東京／朝刊	登院問題をめぐり政機微妙に動く 今週から来週にわたって政界頓に緊張せん	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。

第6章 微妙

22	1931年9月1日 東京／夕刊	省廃合問題の微妙な動き 一兩日中の形勢注視さる	・形容動詞連体修飾。
23	1931年10月5日 東京／朝刊	中央政府との交渉 陸軍側、極力反対 微妙なる今後の対策	・形容動詞連体修飾。
24	1932年1月31日 東京／朝刊	軍縮、賠償、戦債 微妙な関係 米国の出様注目さる	・形容動詞連体修飾。
25	1932年4月24日 東京／朝刊	顧維鈞の体面と満州国承認に関連 微妙な多角関係に悩む調査員	・形容動詞連体修飾。
26	1932年7月10日 東京／朝刊	本社特派記者班の鮮満視察記 A班記者／日、満、露が微妙に交錯する豆満江 その流域は「東洋のバルカン」	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
27	朝日新聞 東京朝刊 1932/09/30	「微妙に動く日仏独関係」	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
28	朝日新聞 東京朝刊 1932/10/11	女性相談／問・結合に先立ち一切を 異性は何故に理解せぬか 問・若い娘心は微妙です 意図はよいが方法が	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
29	1933年5月1日 東京／朝刊	政府、政友会の微妙な駆引 内心は互にびくびく	・形容動詞連体修飾。
30	1933年9月21日 東京／夕刊	被告交々最後の言 海軍公判終局へ 微妙なる自然の摂理を解く 清瀬弁護士の弁論	・形容動詞連体修飾。
31	1933年12月21日 東京／朝刊	初会合は、単に瀬踏み程度 前途は、相当複雑微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
32	朝日新聞 東京朝刊 1935/04/17	対独問責決議案 成立に仏国躍起 微妙！ 理事会の空気	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
33	1934年3月12日 東京／朝刊	会期余す所2週間 政府樂觀出来ず 両院に微妙な情勢	・形容動詞連体修飾。
34	1934年5月2日 東京／朝刊	紙上医学大会(17)／地球から落ちる！！ 強迫観念はどうして起るか 微妙なる人の精神	・形容動詞連体修飾。
35	1934年9月28日 東京／朝刊	政友 国家本位に立ち、党略利用を戒む 問題は微妙な党内事情	・形容動詞連体修飾。
36	1934年12月23日 東京／朝刊	きょう各派勢揃い、議会あす召集！ 爆弾動議の跡始末を超越し、複雑微妙な政治情勢	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙な～」という複合形式。
37	1935年1月18日 東京／朝刊	首相と3党首、あす改めて会同 政府重大政策遂行に挙国の支援を懇請／政府は一安心 政友の情勢好転と観る／正面衝突回避へ 微妙な政友の動向	・形容動詞連体修飾。
38	1935年3月11日 東京／朝刊	本社主催 日露戦争30年 海戦座談会(3)／大山さんの一言 火蓋は海軍で 美わしい開戦秘話／微妙な陸、海関係 山県さんへ意見書／囿にされた千代田大本營の作戦計画<写><イラスト>	・形容動詞連体修飾。
39	1935年5月20日 東京／夕刊	微妙な各国の態度 伊エ紛争の連盟理事会／イタリー／イギリス／フランス	・形容動詞連体修飾。
40	1935年11月27日 東京／朝刊	副会長の増員提案 生産、販売両部門から各1名 中央蚕糸会の複雑微妙な空気	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙な～」という複合形式。
41	1935年12月4日 東京／朝刊	東株理事長問題、商相の裁断如何 微妙な関係に動く	・形容動詞連体修飾。
42	1936年1月5日 東京／朝刊	政局展望(4)／政友各分派の態度／微妙な明暗の動き 主戦的氣勢の底にひそむ解散回避の気流	・形容動詞連体修飾。
43	1936年2月12日 東京／朝刊	総選挙の勝敗 特別議会終了後に政局の変動必至 政府早くも対策考慮／改造か総辞職か、複雑微妙な政情<写>	・形容動詞連体修飾。「複雑微妙な～」という複合形式。

第6章 微妙

44	1936年4月26日 東京／夕刊	対独覚書を繞り 仏独の微妙な駆引 英国を抱込みに躍起 有利に展開を期待す	・形容動詞連 体修飾。
45	1936年11月1日 東京／夕刊	再燃国鉄疑獄 織細、微妙をつくし、内田前鉄相を取調べ 夕刻一先ず帰宅を許す<写>	・形容動詞語 幹か。名詞的 に使われている。
46	1936年12月30日 東京／朝刊	増税大修正の場合、政府解散で酬ゆ 微妙に動く議会の論戦	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
47	1937年2月15日 東京／朝刊	複雑微妙の情勢下 きょう林内閣初の議会 第1日の質 問・動向をトす<写>	・形容動詞連 体修飾。「複雑 微妙の~」とい う複合形式。
48	1937年4月25日 東京／朝刊	古船輸入 船主と貿易業者の利害微妙に対立 通信省の態 度も慎重	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。ただ し、「対立」に かかる。
49	1937年8月10日 東京／号外	南京微妙に動く 蔣、諸将領と個別会見／青島・人心動揺	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
50	1937年8月16日 東京／朝刊	紙上相談応接室(婦人)／問・英国人との結婚 子孫のことが 心配 答・微妙な人間性／野上弥生子	・形容動詞連 体修飾。
51	1937年10月4日 東京／夕刊	「反日は民意ならず」「赤色スペイン」に反駁のカ氏 駐日代 表間に微妙の変化<写>	・形容動詞連 体修飾。
52	1938年2月20日 東京／夕刊	両重大法案・並行審議 政界微妙に明暗変転 結論までには 幾曲折	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。ただ し、「明暗変 転」にかかる。
53	1938年3月7日 東京／朝刊	法案の前途尚多難 会期延長は必至 政情愈々微妙を加う ／政府・政党関係 電力案の運命 総動員法案	・形容動詞語 幹か。名詞的 に使われている。
54	1938年4月7日 東京／朝刊	首相の心境を繞って、議会後の政局微妙! 注目の的、木戸 文相の園公訪問<写>	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
55	1938年6月21日 東京／夕刊	お盆の邦画は微妙なセリ合い 結局松竹、東宝の決戦か 各社 の封切もの決定す	・形容動詞連 体修飾。
56	1938年7月14日 東京／夕刊	特輯国際ニュース／極東政策／世界の焦点・米国／不介入主 義清算か 関頭に立つ米外交 微妙に動く対日輿論<写>	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
57	1938年8月21日 東京／朝刊	チェコ、西班牙問題 行詰りに英の悩み 微妙なる欧州政局	・形容動詞連 体修飾。
58	1938年9月20日 東京／朝刊	大衆文学の取締について(3)／微妙な言葉の綾／伊集院齊	・形容動詞連 体修飾。
59	1938年10月11日 東京／朝刊	洪波提携の新運動 英は不承認の態度 英独伊3国関係な お微妙<写>	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
60	1938年10月26日 東京／朝刊	外交再吟味へ 微妙なる国際関係	・形容動詞連 体修飾。
61	1939年1月25日 東京／夕刊	欧州・政局微妙に動く バルセロナの戦慄、人戦派敗退の影 響<地図>	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
62	1939年2月18日 東京／夕刊	仏印・微妙の動き 海南島占領の影響	・形容動詞連 体修飾。
63	1939年2月24日 東京／朝刊	全助教授が留任 再建に微妙な影響(*以下抜粋) 平賀総長は山崎博士を顧問に再建に向ふ事となつたが、橋爪	・形容動詞連 体修飾。「デリ

第6章 微妙

		助教授の留任は今後の再建工作にデリケートに影響して行くものとみられ、大いに注目されてゐる	ケート」と言い換えている。
64	1939年3月26日 東京／夕刊	中立法の修正見合せ 米上院議員間に抬頭 国際情勢の微妙を映す<写>	・形容動詞語幹か。名詞的に使われている。
65	1939年6月14日 東京／朝刊	独、伊、西の提携緊密 3巨頭近く会談か バルカン情勢も微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
66	1939年10月11日 東京／朝刊	第3次日印会商を前にして(下)／前途見透し困難 欧州戦乱微妙に響く<表>	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
67	朝日新聞 東京朝刊 1939/12/09	ソ連への物資依存、独逸の立場は微妙 西部戦線の即決困難	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
68	1940年1月16日 東京／夕刊	米内さん結構 微妙な政変に不平の夕刊売り “街”に聴く評判記<写>	・形容動詞連体修飾。
69	1940年2月6日 東京／朝刊	議長不信任案立消え 懲罰問題微妙な波紋 衆院予算総会愈開く	・形容動詞連体修飾。
70	1940年6月6日 東京／朝刊	独、伊、ソの関係微妙 バルカンの利害一致せず	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
71	1940年12月15日 東京／朝刊	便乗するな隣組 区議選違反が投げる微妙な問題	・形容動詞連体修飾。
72	1941年2月24日 東京／朝刊	翼賛会改組に絡み分裂の危機内包 議員倶楽部の動向微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
73	1941年2月27日 東京／朝刊	微妙な局面到来 仏印当局宣伝に躍起	・形容動詞連体修飾。
74	1941年6月16日 東京／朝刊	微妙な独ソ関係 独の態度依然冷静	・形容動詞連体修飾。
75	1941年11月25日 東京／朝刊	日米会談、情勢いよいよ微妙(*以下抜粋) 他方廿二日夜の非公式会談で米国が具体的な提案を出したものの可否かは確証し難いが、会談が漸次討議の諸問題要点にふれて来てゐることは想像される。従つて会談はますますデリケートとなるのみだ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。「デリケート」と言い換えている。
76	1941年12月6日 東京／朝刊	中立に苦悩する泰(上)／親善にも伸縮性 起伏する対日感情／渦巻く英独宣伝戦 泰国外交の本体 微妙な日泰外交 依然たる友邦関係／前バンコック特派員 青木真<写>	・形容動詞連体修飾。
77	1942年3月27日 東京／朝刊	微妙に動く春季攻勢の展開 ソ連内の連絡寸断 独が狙う新目標の力点	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
78	1942年8月4日 東京／朝刊	周の除名に謎 国共対立、裏は微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
79	1942年10月24日 東京／朝刊	重慶の実相を語る 国府要人を囲んで(4)／米との連絡に腐心 複雑、微妙な対ソ関係	・形容動詞連体修飾。
80	1942年11月6日 東京／朝刊	南太平洋海戦と国民の覚悟 米、敗戦と不信挽回に躍起 総力挙げて再反攻に当れ／海戦後の情勢なお微妙 敵・空母優先建艦主義へ 敵の戦争遂行策変らず	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
81	1943年1月14日 東京／夕刊	土(トルコ)の立場微妙 米英抱き込みに必死	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
82	1943年4月28日 東京／夕刊	ソ連、波蘭と断交 米英にも微妙な影響	・形容動詞連体修飾。
83	1943年7月3日	微妙を極むる欧州戦局	・形容動詞語

	東京／朝刊		幹か。名詞的に使われている。
84	1943年10月5日 東京／夕刊	第2戦線結成、米国でも要求 微妙な3国関係	・形容動詞連体修飾。
85	1944年3月2日 東京／朝刊	享楽追放その後／浮ぶ都電200車輛 大劇場の休場で足は緩和 「高級」「下級」とは 判定微妙の料理店	・形容動詞連体修飾。
86	1944年3月2日 東京／朝刊	ソ芬関係愈よ微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
87	1944年5月20日 東京／朝刊	社説／欧州戦局の微妙な推移	・形容動詞連体修飾。
88	1944年9月20日 東京／朝刊	手間どる英の東亜反攻 クェベック会談、微妙な英米関係	・形容動詞連体修飾。
89	1945年1月13日 東京／朝刊	社説／微妙なる米ソ関係 新兵器のみを追う勿れ	・形容動詞連体修飾。
90	1945年5月4日 東京／朝刊	危局の独逸と新総統 最後段階近し ヒムラー氏とも微妙な関係	・形容動詞連体修飾。

6.9.6 現代（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

下述、「6.9.7 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」によって得られる実例が、おおむね1970年代半ばからとなる。したがって、それを補う手段として、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」を用いて朝日新聞記事の検索を行った。期間は、1945年8月16日から1979年12月末日までとする。検索条件は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」／キーワード：「微妙」／発行日：「1945/08/16 から 1979/12/31」／その他指定なしとした。

まず、1940年代半ばから1970年代にかけての朝日新聞記事上における「微妙」の実例を概観すると、結果として以下のような傾向と特徴がみられた。

- ・主な形式として二つあげられる。「～が（は）微妙。」という形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式、「微妙な～」という形容動詞連体修飾の形式である。形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式が比較的多い理由は、簡潔明解な表現が求められる新聞というメディアの特性上によるものと考えられる。

- ・形容動詞連用修飾（副詞的用法）「微妙に」の形式は、比較的少ない。例外的に「反映」や「影響」にかかる「微妙に」の形式もみられる。「反映」や「影響」は名詞とみられるが、サ変動詞の語幹といった考え方もできる。

- ・1940年代半ばから1970年代にかけての朝日新聞の記事上において、連体修飾の形式で「微妙」と共起しやすい語は、「時期」「局面」「情勢」「段階」「立場」「関係」「ゆ

れ」「動き」「違い」「差」「ずれ（ズレ）」「影」等の語である。

・「微妙」が使われる場合、たいていが背景に不安要素や問題点があり、マイナス評価性を帯びる。これは形式を問わない。少なくとも書き手（記者）が記事において「微妙」を使う場合、何らかの好ましくない結果を暗示（あるいは危惧）しているようである。ただし、「補償問題で微妙な違い」という例のように、単純に微少な差異を表すだけの場合もある。さらに、少数ではあるが、美容や芸術関係の記事において使われる「微妙」は、たいていがプラス評価性である。

・試みに、上記と同じ検索条件（「朝日新聞縮刷版 1879~1999」／発行日「1945/08/16から1979/12/31」／その他指定なし）で、キーワードのみ「ビミョー」「ビミョウ」に変更し検索を行ったところ、結果は両者とも0件であった。

続いて、以下に表にして時系列でまとめた。

6.9.6.1 検索語：「微妙」（全1512件より抜粋）（2020/10/05時点）

図表 6.26：「微妙」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：現代）

番号	発行日 社／刊種	実例	備考
1	1945年8月30日 東京／朝刊	複雑化す印支処理 微妙・モスクワの投影	
2	1945年10月6日 東京／朝刊	微妙複雑なる過程 後継内閣への大命降下／円滑な折衝の手腕、後継首班の噂に上る人々	・「微妙複雑なる～」という複合形式。
3	1945年10月27日 東京／朝刊	ジャワの政情微妙	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
4	1945年12月7日 東京／朝刊	政界への影響微妙	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
5	1946年1月26日 東京／朝刊	共産党との共同闘争の動向微妙__対共産党態度	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
6	1946年2月11日 東京／朝刊	該当か否か微妙な鳩山氏__鳩山氏の追放	・形容動詞連体修飾。
7	1946年3月3日 東京／朝刊	満州、イラン問題で米ソ関係微妙な対立__対米	・形容動詞連体修飾。
8	1946年6月27日 東京／朝刊	微妙な動き 強硬論と調停の声__行政管理問題	・形容動詞連体修飾。
9	1946年8月24日 東京／朝刊	溥儀氏証言の信憑性、微妙に進展 現われぬ“メモ”提出中止__溥儀氏証人台へ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
10	1946年9月9日 東京／朝刊	ゼネスト微妙な成行__海員	・形容動詞連体修飾。
11	1947年8月15日 東京／朝刊	危機回避の微妙な動き__東京裁判	・形容動詞連体修飾。
12	1947年11月13日	微妙な農相問題__平野農相問題	・形容動詞連

第6章 微妙

	東京／朝刊		体修飾。
13	1947年11月17日 東京／朝刊	やまは両三日中 炭鉱国管の動き微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
14	1948年2月8日 東京／朝刊	微妙な総辞職コース__片山内閣総辞職	・形容動詞連体修飾。
15	1948年7月24日 東京／朝刊	政府直ちに対策 微妙な社会党の動向__国家公務員法問題	・形容動詞連体修飾。
16	1948年10月3日 東京／朝刊	政局、微妙に動く 首相、昭電事件の成行を苦慮	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
17	1949年4月4日 東京／朝刊	微妙な参戦の時期 二つのポイント、アチソン長官の肩に__北大西洋同盟問題	・形容動詞連体修飾。
18	1949年11月17日 東京／朝刊	微妙な法律問題__国府代表資格問題	・形容動詞連体修飾。
19	1950年3月7日 東京／朝刊	早急改選へ動く=自由党の役員問題微妙__自由党	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
20	1950年3月16日 東京／朝刊	五井産業事件・参院法務委開く 微妙な“松本証言” 委員間で激しい応酬__五井産業事件	・形容動詞連体修飾。
21	1950年10月20日 東京／朝刊	微妙なインドシナ情勢 第二の朝鮮の危険__ベトナム	・形容動詞連体修飾。
22	1951年3月4日 東京／朝刊	佐藤検事総長も反対 検察異動・動き微妙__検察異動	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
23	1951年3月31日 東京／朝刊	解説 微妙な首相の立場__電力人事問題	・形容動詞連体修飾。
24	1951年7月10日 東京／朝刊	解説 綿相場に微妙な影響__米綿問題	・形容動詞連体修飾。
25	1952年2月3日 東京／朝刊	市長の立場も微妙 熱海事件 社長を逮捕__熱海公金事件	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
26	1952年8月31日 東京／夕刊	(4) 微妙な中立政策=写真 インドの印象=大島昭	・形容動詞連体修飾。
27	1952年11月17日 東京／朝刊	外交特権なし 微妙なゾーリン・ソ連国連代表__信託統治理事會	・形容動詞連体修飾。
28	1953年1月15日 東京／朝刊	「ストーブ・リーグ」を衝く 微妙な小鶴らの動き__プロ野球	・形容動詞連体修飾。
29	1953年1月19日 東京／朝刊	首相の断に懸る 三役改選、動き微妙__自由党	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
30	1953年3月13日 東京／朝刊	三木氏、微妙な発言__内閣不信任案	・形容動詞連体修飾。
31	1953年4月5日 東京／夕刊	なお微妙な食違い?__休戦会談	・形容動詞連体修飾。
32	1953年5月22日 東京／朝刊	対ソ会談へ 時機は微妙 米は気乗薄__巨頭会談	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
33	1953年6月29日 東京／朝刊	人事院勧告の時期微妙 新給与ベース 一万五千元台__公務員の給与問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
34	1953年12月4日 東京／朝刊	インドとの関係微妙 米の対パキスタン政策__米・パキスタン協定	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
35	1954年2月1日 東京／朝刊	憲法調査会 今月半ばに発足 保守再編へ微妙な影響か__自由党	・形容動詞連体修飾。
36	1954年2月13日 東京／朝刊	インドシナ戦局に微妙な影__国際週間録音	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

37	1954年2月27日 東京／夕刊	微妙な汚職の限界 政治責任とは別問題__汚職憤る国民の 声	・形容動詞連 体修飾。
38	1954年4月20日 東京／朝刊	微妙な仏・ベトナム会談 大幅譲歩を用意__インドシナ問題	・形容動詞連 体修飾。
39	1955年1月17日 東京／朝刊	土俵の上の微妙な心理__大相撲	・形容動詞連 体修飾。
40	1955年1月28日 東京／夕刊	日ソ調整、微妙な動き ソ連から意志表示__日・ソ関係の調 整	・形容動詞連 体修飾。
41	1955年9月10日 東京／朝刊	微妙な段階へ ソボレフ発言で__軍縮小委員会	・形容動詞連 体修飾。
42	1956年4月12日 東京／朝刊	解説＝SEATO諸国に微妙な影響 中立かかげて民族独立 __総選挙	・形容動詞連 体修飾。
43	1956年5月16日 東京／朝刊	日ソ復交交渉へ 財界の意見は微妙 一部には積極論も出 る__経済	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
44	1956年11月1日 東京／朝刊	微妙な表情、総裁“三候補”__記者席	・形容動詞連 体修飾。
45	1957年1月29日 東京／朝刊	解説＝中東情勢再び険悪化 イスラエル軍の撤退微妙__ 中・近東	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
46	1957年2月19日 東京／朝刊	微妙な組織化問題 業者はボス支配を心配__中小企業	・形容動詞連 体修飾。
47	1957年9月21日 東京／夕刊	日本、微妙な立場 ソ連の核実験反対提案で__日本代表団	・形容動詞連 体修飾。
48	1957年12月13日 東京／朝刊	西独、微妙な反応 外相談 慎重に検討する__プ書簡の反応	・形容動詞連 体修飾。
49	1958年2月6日 東京／朝刊	米、立場は微妙 ソ連側は一步妥協へ__巨頭会談	・(形容動詞) 述語文。形容 動詞語幹。
50	1958年6月2日 東京／朝刊	微妙な派閥の駆引き__自由民主党	・形容動詞連 体修飾。
51	1958年8月31日 東京／朝刊	米国の反応は微妙 フ首相声明に__核実験停止問題	
52	1959年2月11日 東京／朝刊	「ダレス入院」衝撃うけた米国“微妙な外交”に暗影__ダレ ス長官入院	・形容動詞連 体修飾。
53	1959年2月26日 東京／朝刊	(上) 内戦なしに革命 微妙に動く「対ソ関係」__トルコの 印象	・形容動詞連 用修飾。副詞 的用法。
54	1959年8月25日 東京／朝刊	(3) 岸と河野__微妙な関係	・形容動詞連 体修飾。以下 (12)まで「微 妙な関係」。こ こでの「微妙」 は、「気まずい /ぎくしゃく した/かみ合 わない/うま くいかない」 等と置き換え 可能であり、 マイナス評価 的といえる。
55	1959年9月2日 東京／朝刊	(9) 自治庁と知事会__微妙な関係	・形容動詞連 体修飾。
56	1959年9月3日 東京／朝刊	(10) 大蔵省と日銀__微妙な関係	・形容動詞連 体修飾。
57	1959年9月4日 東京／朝刊	(11) 厚生省と医師会__微妙な関係	・形容動詞連 体修飾。

第6章 微妙

58	1959年9月5日 東京／朝刊	(12) 武官と文官__微妙な関係	・形容動詞連体修飾。
59	1959年12月21日 東京／朝刊	首相会談、二十六日は困難 ネール首相の立場微妙__中印関係	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
60	1960年2月28日 東京／夕刊	調整に微妙な影響 日本医師会長の改選 医療行政__医事・衛生	・形容動詞連体修飾。
61	1960年3月6日 東京／朝刊	グラフに見る微妙な物価__物価	・形容動詞連体修飾。
62	1960年6月9日 東京／朝刊	教科書を知らなかった? 微妙な問題はらむ特許__科学	・形容動詞連体修飾。
63	1960年6月21日 東京／朝刊	微妙な生産者米価__風	・形容動詞連体修飾。
64	1960年8月1日 東京／朝刊	微妙な景気の現段階__社説	・形容動詞連体修飾。
65	1961年2月25日 東京／夕刊	微妙に変化した英仏関係 英の欧州共同市場参加__ヨーロッパ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
66	1961年3月18日 東京／朝刊	日本の立場微妙 米上院O E C D条約を批准__経済	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
67	1961年5月20日 東京／朝刊	微妙な政財界の景気判断__風	・形容動詞連体修飾。
68	1962年1月29日 東京／朝刊	微妙さ加える米と豪 西イリアンめぐり苦境に 野末特派員__西イリアン問題	・名詞化。「微妙さ」。
69	1962年5月8日 東京／朝刊	南ベトナム 米の介入微妙な段階へ__軍事	・形容動詞連体修飾。
70	1962年6月1日 東京／朝刊	微妙な五月のうごき 不渡り増勢は鈍り、倒産は最大__手形・預金	・形容動詞連体修飾。マイナス評価の文脈。
71	1962年6月15日 東京／夕刊	微妙な段階__経済气象台	・形容動詞連体修飾。
72	1962年9月1日 東京／朝刊	微妙な朴議長の大統領出馬問題__韓国	・形容動詞連体修飾。
73	1962年12月4日 東京／朝刊	「おとうと」 微妙な心の動き描く__ラジオ・テレビ(月曜あんない)	・形容動詞連体修飾。
74	1963年2月16日 東京／夕刊	政情、一段と微妙 朴出馬 金引退説も出る__政情	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
75	1963年2月19日 東京／朝刊	好感よんだ朴声明 微妙な金氏の立場__政情	・形容動詞連体修飾。
76	1963年2月23日 東京／夕刊	日韓交渉 韓国内情微妙 促進・慎重論が互角__政情	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
77	1963年9月28日 東京／朝刊	微妙なくい違い 経企庁と日銀の月例報告__経済	・形容動詞連体修飾。
78	1964年1月28日 東京／夕刊	日米に微妙な違い 中国問題 大平・ラスク会談__日米経済委	・形容動詞連体修飾。
79	1964年3月15日 東京／朝刊	自社幹部会談めぐり 今週 微妙な段階に I L O特別委の設置__I L O関係	・形容動詞連体修飾。
80	1964年3月29日 東京／朝刊	ギリシャ系とトルコ系で全く食違う思惑 微妙な国連軍の立場__キプロス紛争	・形容動詞連体修飾。
81	1964年4月17日 東京／朝刊	複雑で微妙な仕組み「昆虫の世界」__ラジオ・テレビ	・形容動詞連体修飾。
82	1964年5月22日 東京／朝刊	別れた男女の微妙な心理 会話でつづるドラマ「底流」__ラジオ・テレビ	・形容動詞連体修飾。
83	1964年9月01日	東西調整に影響微妙 中共の対ソ返書 事実上の「決別状」__	・(形容動詞)

第6章 微妙

	東京／朝刊	世界共産党会議	述語文。形容動詞語幹。
84	1964年11月17日 東京／朝刊	モンゴル旅行記 微妙な中国との関係__モンゴル	・形容動詞連体修飾。
85	1964年12月23日 東京／夕刊	南ベトナム 微妙な局面 援助の停止も考慮 米國務省軍の干渉非難	・形容動詞連体修飾。
86	1965年1月22日 東京／朝刊	南ベトナム微妙な底流 不安定な軍民内閣 仏教徒公然と反政府行動	・形容動詞連体修飾。
87	1965年4月28日 東京／朝刊	(解説)ベトナム、けわしい交渉への道 共産側にも微妙な差	・形容動詞連体修飾。
88	1965年6月11日 東京／朝刊	当面、拠点防衛か「ベトナム」米首脳協議 米世論は微妙な変化__ベトナム戦争に新局面	・形容動詞連体修飾。
89	1965年10月29日 東京／朝刊	中国ぬきの開催、微妙な情勢 各国首脳苦慮__AA(アジア・アフリカ)会議	・形容動詞連体修飾。
90	1965年12月17日 東京／朝刊	社党、諾否は微妙 自民との会談 強硬論も出始める きょう中執委	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
91	1966年1月5日 東京／朝刊	米、平和攻勢を持続か 「北」の非難は予期 微妙な反応の現れ待つ	・形容動詞連体修飾。
92	1966年2月23日 東京／朝刊	“国鉄値上げ”衆院通過「一日実施」なお微妙 参院運輸委引延ばし図る	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
93	1966年4月20日 東京／朝刊	72年五輪開催地決定へ 21日からIOC総会 札幌(冬季)の当落は微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
94	1966年5月31日 東京／朝刊	追うもの追われるものの心理 微妙にからみ合う自信と不安	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
95	1966年7月7日 東京／朝刊	中国対策 率直に討議 椎名・ラスク会談 貿易問題、微妙なズレ	・形容動詞連体修飾。
96	1967年3月17日 東京／朝刊	不安抱くキ政権 南ベトナム駐在米大使の交代 微妙な政策転換を予感	・形容動詞連体修飾。
97	1967年3月18日 東京／朝刊	検察の判断微妙 田中法相の茶会はがき事件 政治活動か事前運動か__衆院選	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
98	1967年6月16日 東京／朝刊	韓国政情 デモ激化で微妙 高校生主力に一万 ソウルのデモ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
99	1967年7月20日 東京／朝刊	貿易大学の設立は微妙 参院野党が強硬__商工委	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
100	1967年9月13日 東京／朝刊	双方、微妙な違い 力点の置き方 「沖縄・貿易」と「アジア」 今夜ひらく	・形容動詞連体修飾。
101	1967年11月15日 東京／朝刊	テレビ カラー化の現状 微妙な受信料値上げの行くえ__放送	・形容動詞連体修飾。
102	1968年1月6日 東京／朝刊	サイゴンは苦境に 解放戦線との立場微妙 ハノイの“和平攻勢”	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
103	1968年1月8日 東京／朝刊	ベトナム情勢 非常に微妙な段階 ウ・タント総長語る	・形容動詞連体修飾。
104	1968年3月1日 東京／朝刊	微妙に響く“大攻勢” 支持層ますタカ派__大統領選挙	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
105	1968年5月27日 東京／朝刊	微妙な13勝 きょう横綱審議会__玉乃島の横綱問題	・形容動詞連体修飾。
106	1968年5月31日 東京／朝刊	フランス政局の今後 選挙の行方は微妙__フランスの危機	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。

第6章 微妙

107	1968年7月27日 東京／朝刊	金融界に微妙な波紋 英三銀行の合併否決__気流	・形容動詞連体修飾。
108	1968年10月8日 東京／夕刊	随所に变化の伏線? 微妙な動き、パリ会談__ベトナム和平 パリ会談	・形容動詞連体修飾。
109	1969年1月19日 東京／朝刊	入試復活 なお微妙な情勢 政府に根強い慎重論__東大紛争	・形容動詞連体修飾。
110	1969年1月31日 東京／朝刊	やや討議ムードに 相互撤退 米・南、微妙なズレ	・形容動詞連体修飾。
111	1969年2月27日 東京／朝刊	微妙な時期に打撃 イスラエル首相の急死__イスラエル首相の急死	・形容動詞連体修飾。
112	1969年4月27日 東京／朝刊	レールほぼ合格 鉄鋼合併審査 他品種はなお微妙 公取委	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
113	1969年5月21日 東京／朝刊	微妙になった優勝の行方__東京六大学野球	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
114	1970年5月9日 東京／朝刊	4選手は微妙 西鉄再調査__八百長野球	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
115	1970年6月27日 東京／朝刊	ファンの心理は微妙です 黒い霧の中のプロ野球 西鉄、東映の観客増加	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
116	1970年6月27日 東京／朝刊	景気判断なお微妙__経済気象台	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
117	1970年9月11日 東京／朝刊	人の心に微妙に映ることば__ひととき	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
118	1970年11月20日 東京／朝刊	両社、微妙な関係 五万円台カラーTV__耳	・形容動詞連体修飾。
119	1971年1月5日 東京／夕刊	ガンかガンもどきか 専門医が論戦 技術進歩で診断微妙__医事	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
120	1971年2月9日 東京／朝刊	ラオス、内戦拡大を懸念 南ベトナム軍の侵攻 「北」側報復の脅威 右派台頭 プーマ政権微妙 憂色濃いビエンチャン__ラオス	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
121	1971年2月24日 東京／朝刊	景気の行方 いぜん微妙 回復は来年以降__景気動向	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
122	1971年6月11日 東京／夕刊	捕虜問題、微妙な動き 米、「北」私的な接触続く__捕虜釈放問題	・形容動詞連体修飾。
123	1971年7月13日 東京／朝刊	反主流の動き微妙 参院議長選 きょう自民議員総会	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
124	1971年7月20日 東京／朝刊	各国の反応は微妙 ニクソン訪中に東南ア__アジア諸国	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
125	1971年9月17日 東京／朝刊	(記者座談会) 成田闘争“死者”生んだ背景 過激派学生の現状に見る 追うつめられた焦り 農民とも微妙なミゾ?	・形容動詞連体修飾。
126	1971年10月13日 東京／朝刊	成果競う中ソ訪問外交 微妙に食違う評価 共同声明に苦心の跡__世界	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
127	1971年10月28日 東京／朝刊	ソ連の正しさ強調 プラウダ 微妙な立場にじむ__ソ連	・形容動詞連体修飾。
128	1971年11月14日 東京／朝刊	あなたの食欲を左右する科学 感情も微妙に影響 中枢が操作「食い気」と「満腹」__みんなの健康	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
129	1972年1月14日	(6) 微妙な反応 総評は反対の立場 野党の評価もわかれ	・形容動詞連

第6章 微妙

	東京／朝刊	る__豊かな勤労者へ 財形制度スタート	体修飾。
130	1972年2月7日 東京／朝刊	転機迫られる軍縮委 「中国」が微妙な影 問われる構成・討議内容	・形容動詞連体修飾。
131	1972年2月10日 東京／朝刊	勝負あった？ワックス作戦 仏などに微妙な差 ここでもスイス優勢__スキー	・形容動詞連体修飾。
132	1972年3月8日 東京／朝刊	微妙に揺れる靖国法案 拍手とヤジで騒然 中曽根氏の「再検討論」 成立促進国民大会	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
133	1972年5月15日 東京／夕刊	日米関係に微妙な変化 消滅した“人質沖縄” 日本の主体性、冷静にむしろ期待 米の反応	・形容動詞連体修飾。
134	1972年6月15日 東京／朝刊	ベトナム“和戦”、微妙な岐路に 小規模ゲリラ戦へ 砲撃など最高の110件 「北」軍攻勢に変化__ベトナム戦争	・形容動詞連体修飾。
135	1972年10月6日 東京／朝刊	高句麗文化との関連性 南北で微妙な食違い__南北朝鮮の学者来日	・形容動詞連体修飾。
136	1972年12月14日 東京／朝刊	日銀総裁、微妙な発言 預金準備率の引上げ考慮？__預金準備率の引上げ	・形容動詞連体修飾。
137	1973年1月4日 東京／夕刊	修習生志願の台湾青年 帰化・採用へ見通し 首相訪中が微妙に動く？	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
138	1973年2月6日 東京／朝刊	通貨情勢なお微妙 ドル、反発後軟化 欧州市場 EC重視、対策検討へ	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
139	1973年3月2日 東京／朝刊	清掃工場からの有害ガス 不安な区では実施微妙__ゴミ公害対策	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
140	1973年4月8日 東京／朝刊	パイプラインにメド 「花見川」ほぼ決る 本格ルート 暫定ルート、月内着工へ 年内開港なお微妙__成田空港	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
141	1973年8月15日 東京／夕刊	韓国内、複雑な反応 金氏本人も立場微妙__韓国側	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
142	1973年9月21日 東京／朝刊	(下) シベリア開発 極東安保 微妙な影 米中もからみ強い関心__日ソ新時代 頂上会談を前に	・形容動詞連体修飾。
143	1973年10月17日 東京／朝刊	自民内に微妙な影 全国新幹線網計画 強気で走る首相周辺 福田氏は根強く批判	・形容動詞連体修飾。
144	1973年12月15日 東京／夕刊	(中) さめた目 公害に高まる関心 賛成派も微妙な変化	・形容動詞連体修飾。
145	1974年1月1日 東京／朝刊	人民大会の時期は微妙__全国人民代表大会	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
146	1974年2月28日 東京／朝刊	青天白日旗で微妙な発言 大平外相__外務委	・形容動詞連体修飾。
147	1974年3月19日 東京／夕刊	微妙な値上げの時期__NHK予算	・形容動詞連体修飾。
148	1974年4月23日 東京／朝刊	二月から景気下降 経企庁 微妙な変化認める__景気動向(経済見通し)	・形容動詞連体修飾。
149	1974年5月27日 東京／夕刊	文芸時評(上) ロマネスクな味微妙 和田芳恵 二つの短篇 昭和10年代の形成連想	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
150	1974年7月18日 東京／朝刊	米ソの行動、微妙な情勢__キプロス戦争(トルコ軍上陸)	・形容動詞連体修飾。
151	1974年10月10日 東京／朝刊	(解説) 景気対策に微妙な影響も__金融引き締め	・形容動詞連体修飾。
152	1974年12月10日 東京／朝刊	紅さず化粧 さわやかに微妙な感情表現__美容	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
153	1974年12月28日 東京／朝刊	微妙な中村さん帰還 インドネシア 日本兵扱いを希望__中村輝夫さん	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

154	1975年1月23日 東京／夕刊	微妙な欧米の景気動向__経済気象台	・形容動詞連体修飾。
155	1975年1月27日 東京／朝刊	千秋楽 輪島に勝てぬ北の湖 夏場所から6連敗 魁傑、微妙な「11勝」	・形容動詞連体修飾。
156	1975年3月23日 東京／朝刊	外務省、インドシナ情勢憂慮 復興援助など微妙__インドシナ情勢	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
157	1975年4月16日 東京／朝刊	微妙に揺れるシアヌーク殿下の胸中 元首へ意欲一転、引退説	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
158	1975年5月14日 東京／朝刊	まだ見えぬ島に熱い視線 太平洋の海底火山 公海上の微妙な位置__海底火山	・形容動詞連体修飾。
159	1975年7月6日 東京／朝刊	日本美をドレスに 芦田淳さんの発表会から 微妙な色彩漂う上品さ__服飾	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
160	1975年8月24日 東京／朝刊	バランス微妙なタイの政治__社説	・形容動詞連体修飾。
161	1975年9月16日 東京／朝刊	静かなブーム 紙人形づくり 微妙な味わい 和紙の美しさ__趣味・娯楽	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
162	1975年9月23日 東京／朝刊	電力料金、微妙に 北電と電源開発__燃料費問題	・形容動詞連用形。連用中止法か。
163	1975年10月11日 東京／朝刊	(解説) 失敗は許されず 微妙な日本の立場	・形容動詞連体修飾。
164	1975年11月14日 東京／朝刊	共通一次試験にゴー 国大協が推進方針 53年春実施は微妙 大学の7割弱が賛成	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
165	1975年12月16日 東京／朝刊	日豪エンジン共同生産 計画実現、微妙に 豪政権交代で__その他の国々	・形容動詞連用形。連用中止法か。
166	1976年1月8日 東京／朝刊	「四、五月解散」微妙に 予算関連法に全力 三木・椎名会談で一致	・形容動詞連用形。連用中止法か。
167	1976年1月26日 東京／朝刊	教研集会 主任制闘争に戸惑い 微妙な現場の反応 危機感と地位の板ばさみ__日教組(教研集会)	・形容動詞連体修飾。
168	1976年2月4日 東京／夕刊	気象条件悪く打ち上げ微妙 内之浦のロケット__科学衛星「コルサ」	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。文脈によると「危ぶまれている」の婉曲表現として「微妙」が使われているようである。
169	1976年2月18日 東京／朝刊	社内に微妙な事情 証人尋問でもれる 丸紅と全日空__気流	・形容動詞連体修飾。
170	1976年3月23日 東京／朝刊	(解説) 南極の資源戦争 回避できぬ開発参加 「学術研究」貫く日本も微妙に__南極	・形容動詞連用形。連用中止法か。
171	1976年4月23日 東京／朝刊	孤立深まるローデシア 南アの援助微妙に ザンビア 武力闘争支援を提唱 武器貸与停止を英紙報道 南アは否定__ローデシア	・形容動詞連用形。連用中止法か。
172	1976年6月8日 東京／朝刊	ジョンソン帰国希望 親指の神経炎治療を理由に 球団と微妙なトラブル__プロ野球	・形容動詞連体修飾。
173	1976年6月26日 東京／朝刊	(下) 新たな模索 微妙な対中ソ関係__統一ベトナムの課題	・形容動詞連体修飾。

第6章 微妙

174	1976年7月7日 東京／朝刊	微妙な違いでうまさ台なし 料理の温度__ミセス一年生	・形容動詞連体修飾。
175	1976年7月17日 東京／朝刊	100メートル レオナルドも出場微妙 練習で足首痛める	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
176	1976年9月7日 東京／朝刊	板門店 分割警備に合意 境界設け往来制限 南北統一に微妙な影響	・形容動詞連体修飾。
177	1976年11月15日 東京／朝刊	ふえるミニ国家 国連に微妙な問題 実効力薄い“多数決”大半、分担金に苦しむ	・形容動詞連体修飾。
178	1976年12月14日 東京／朝刊	アルバニアに集まる関心 流動する中国と微妙な関係 ウイーンから__座標	・形容動詞連体修飾。
179	1977年1月10日 東京／朝刊	新島への成長 現状では微妙__新島問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。文脈によると「即断はできない」「わからない」の婉曲表現として「微妙」が使われているようである。
180	1977年1月22日 東京／朝刊	男の下着 しゅう恥心か寒さか 微妙にゆれる四十代__服飾	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
181	1977年2月15日 東京／朝刊	波乱含み円相場 からむ各国の思惑 首脳会議控え動き微妙__「円高」問題	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
182	1977年5月18日 東京／朝刊	タイの言論統制法案 新聞、一斉に反対 政局に微妙な影響も	・形容動詞連体修飾。
183	1977年6月14日 東京／朝刊	微妙に違う“調味料” 三つの野党政策協定 立場の差使い分け	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
184	1977年8月12日 東京／夕刊	パナマ運河 支配権移譲に猛反対 米議会 新条約批准は微妙	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
185	1977年10月2日 東京／朝刊	日航機乗っ取り 人質解放へツバぜり合い 早期收拾押したバングラ側 日本政府と微妙な差 全員同時か二段構えか	・形容動詞連体修飾。
186	1977年12月20日 東京／朝刊	(解説) 厳しさを増す日ソ関係 領土問題どう展望 「日中」「経済」絡み微妙 来月九日から外相定期協議	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
187	1977年12月21日 東京／夕刊	両洋の眼(32) 微妙な“火事ことば”に感心	・形容動詞連体修飾。
188	1978年1月7日 東京／朝刊	園田外相あす訪ソ「領土」微妙な駆け引き__閣僚	・形容動詞連体修飾。
189	1978年1月9日 東京／朝刊	インドシナ 主導権争い絡む 中ソの影も微妙に反映__インドシナ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。ただし、「反映」にかかるため例外的。
190	1978年1月27日 東京／朝刊	「梅散れば、桜咲くさ」経団連会長交代は微妙__气流	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
191	1978年3月5日 東京／朝刊	(解説) 右翼運動に微妙な変化 大同団結の動きも__政治思想団体	・形容動詞連体修飾。
192	1978年4月17日	社党の動向微妙__横浜市長選	・(形容動詞)

第6章 微妙

	東京／夕刊		述語文。形容動詞語幹。
193	1978年4月24日 東京／朝刊	「割り切れなさ」残す 大韓航空機銃撃事件 日ソ関係に微妙な影	・形容動詞連体修飾。
194	1978年4月26日 東京／朝刊	都知事選 「社共」に微妙な態度、美濃部知事 上田氏（共産）と会談	・形容動詞連体修飾。
195	1978年4月26日 東京／朝刊	響くカプーオ暗殺 ナミビア 国連総会に微妙な影__国連ナミビア総会	・形容動詞連体修飾。
196	1978年5月15日 東京／夕刊	新法適用 第一要さいなど三件 午後にも命令通知 成田「攻防」微妙な情勢	・形容動詞連体修飾。
197	1978年6月18日 東京／朝刊	大平幹事長 「党員集めは当然」 総裁公選 首相と微妙なズレ	・形容動詞連体修飾。
198	1978年7月15日 東京／朝刊	「微妙な勝負には確認の物言いを」 理事長が審判長に注意	・形容動詞連体修飾。
199	1978年8月29日 東京／朝刊	対ソ関係、微妙に 華国鋒主席迎えるイラン__イラン訪問	・形容動詞連用形。連用中止法か。
200	1978年9月12日 東京／夕刊	国鉄ストは微妙 政策要求トップ交渉にらむ__国労・動労（スト中止）	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
201	1978年9月27日 東京／朝刊	薄まる“血縁”ハワイの日系社会 知事選で真っ二つ アリヨシ氏の再選微妙__ハワイ州知事予備選挙	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
202	1978年10月16日 東京／朝刊	インドシナ三国に微妙な変化__アジアで（特集）	・形容動詞連体修飾。
203	1978年11月2日 東京／朝刊	反サダト、微妙なズレ きょうアラブ首脳会議__アラブ首脳会議	・形容動詞連体修飾。
204	1978年12月17日 東京／朝刊	中国の出方注視 微妙なインドシナ情勢__日本	・形容動詞連体修飾。
205	1979年1月10日 東京／朝刊	心境に微妙な変化 鈴木俊一氏の話__保守・中道陣営の動き	・形容動詞連体修飾。
206	1979年1月25日 東京／朝刊	イラン軍が全空港封鎖 ホメイニ師帰国は微妙__帰国妨害の動き（空港閉鎖）	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
207	1979年1月30日 東京／朝刊	因縁の微妙な判定__フライ級タイトル戦	・形容動詞連体修飾。
208	1979年2月20日 東京／朝刊	中越衝突、微妙な局面 中国軍、撤退開始か ベトナム 正規軍北上説も 行動限定、拡大せぬ 鄧副首相__中国軍 大規模侵攻開始	・形容動詞連体修飾。
209	1979年3月3日 東京／朝刊	成果微妙な「南北対話」__韓国・北朝鮮対話（板門店）	・形容動詞連体修飾。
210	1979年4月5日 東京／朝刊	「在韓米軍撤退は微妙な段階」 韓国合同参謀本部議長__在韓米軍	・形容動詞連体修飾。
211	1979年6月14日 東京／朝刊	国会、異例の空転閉幕へ 法案、不成立の公算「廃案」か「継続」か微妙	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
212	1979年8月8日 東京／夕刊	補償問題で微妙な違い 東名炎上 公団総裁と建設相	・形容動詞連体修飾。
213	1979年8月30日 東京／朝刊	（解説）景気の推移 後半は微妙__国民総支出・総生産（GNP）	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
214	1979年10月8日 東京／朝刊	自民「安定多数」は困難か 過半数も微妙 頼りは無所属民共30を越す勢い 社会後退、公明ほぼ現状__開票結果	・（形容動詞）述語文。形容動詞語幹。
215	1979年10月25日 東京／朝刊	微妙な結果に各派思惑 「厳しい」と首相周辺 福田派、退陣期待と失望	・形容動詞連体修飾。
216	1979年11月8日 東京／朝刊	天候・報道 微妙に影響 総選挙の前と後 本社追跡調査から	・形容動詞連用修飾。副詞

			的用法。ただし、「影響」にかかるため例外的。
217	1979年11月10日 東京／朝刊	P L O の仲介微妙 ローマ法王も特使派遣__海外の反響と動き	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。
218	1979年12月4日 東京／夕刊	榎倉、微妙な効果 今日の作家79展 作家・評論家が企画__美術	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
219	1979年12月29日 東京／朝刊	年末年始のお天気 初日の出は微妙__気象	・(形容動詞)述語文。形容動詞語幹。

6.9.7 現代 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)

本項では、現代語の「微妙」、カタカナ表記「ビミョー」「ビミョウ」、ひらがな表記「びみょう」「びみょー」、について、BCCWJ (現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版) による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし) である。検索結果数は、「微妙」が 2746 件、「ビミョー」が 48 件、「ビミョウ」が 5 件、「びみょう」が 5 件、「びみょー」が 0 件 (該当なし) であった。

まず、以下に「微妙」「ビミョー (「ビミョウ」含む)」「びみょう」についての検索結果数を以下の図表に示した (2020/10/06 時点)。なお、「ビミョー (検索結果数 : 48 件)」には、「ビミョウ (検索結果数 : 5 件)」を含めた。

図表 6.27 : BCCWJ による「微妙」「ビミョー」「びみょう」の検索結果数 (2020/10/06 時点)



上記図表を概観すると、現代語においては、無標としての漢字表記「微妙」が大勢を占

めることがわかる。一方、有標の異表記体の中では、「ビミョー」が比較的多いということが示唆された。

さらに、カタカナ表記「ビミョー（「ビミョウ」含む）」と、ひらがな表記「びみょう」の二者についてみると、カタカナ表記「ビミョー（「ビミョウ」含む）」のほうが数が多いことがわかる。中でも、「ビミョー（検索結果数：48件）」が最も多い。しかし、両者（カタカナ表記およびひらがな表記）の数は、それぞれ無標である漢字表記「微妙」の五十分の一強、五百五十分の一弱となり、非常に少ない。例えば、上述、「3.7「結構」の実例」、「3.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」において、「結構」に対する「けっこう」の検索結果数が三分の一弱であったことに比較すれば、割合としては相当に低い。この点については、上述、「5.7「適当」の実例」、「5.7.5 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」における「適当」とその他異表記体の事例と同様の傾向を示している。

ただし、カタカナ表記「ビミョー」について、別媒体の「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」による検索を行ったところ、検索結果数は4030件であった（2021/02/16時点）。したがって、BCCWJによる結果のみで「ビミョー」の使用頻度が少ないと判断することは拙速であろう。上記「Ameba | 芸能人・有名人ブログ」の結果も考慮すれば、現代語における「ビミョー」は、ブログ・SNS上では比較的好まれる表記形態といえそうである。

次に、下表を概観した上で、現代における「微妙」の傾向と特徴について以下にまとめた。

- ・主に現れる形式は、最も多いのが形容動詞連体修飾（「微妙な～」）、続いて形容動詞連用修飾（副詞的用法）（「微妙に」）である。
- ・（形容動詞）述語文（「～は微妙です」「～は微妙だ」「～は微妙。」等）の表現は、書籍等の実例では少ない。ただし、ブログ上（「Yahoo!知恵袋 2005」「Yahoo!ブログ 2008」）では比較的好くみられる表現である。なお、ブログ上に現れる（形容動詞）述語文の形式は、マイナス評価性を示す場合が多い。
- ・「微妙」は、支点を中心に前後左右に細かく揺れ動いて定まりがないというイメージが見出せる。したがって、動作性を示す語（変化・差異・ずれ等々）とは共起しやすいとみられる。
- ・カタカナ表記「ビミョー」（「6.9.7.2」）、「ビミョウ」（「6.9.7.3」）の実例をみると、

書籍からのものは非常に少なく、ほとんどが「Yahoo!知恵袋 2005」「Yahoo!ブログ 2008」からのものである。ここで「ビミョー」についてみると、BCCWJ上の初出の例が2003年のもの（上記表“1”）である。これは、カタカナ表記の「ビミョー」が「2002（平成14）年」の流行語であったことと時期的に一致する（「6.2.10 米川明彦（2019）」参照）。

続いて、以下に、BCCWJから得られた「微妙」「ビミョー」「ビミョウ」「びみょう」の実例を表にして示した。

6.9.7.1 検索語：「微妙」（全2746件より抜粋）（2020/10/07時点）

図表 6.28：「微妙」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	国会会議録 1976 OM12_00001	の分については捜査続行中であるということで、非常に先ほども微妙な発言だったと思うのですが、伝えられる政府高官、政治家の事情	・形容動詞連体修飾。
2	外岡秀俊(著)北帰行 1976 OB1X_00008	或都合」を理由に退学する十七歳の秋まで、思春期のころを微妙な色彩で染めあげ、その後の精神形成を基礎づける上でもっとも重要な歳月を	・形容動詞連体修飾。
3	国会会議録 1977 OM15_00003	楽しくいくような感じを非常に受けるわけですが、しかし、事態は非常に微妙なものもございますので、やはりこれは真剣に対処していただかなくちゃいけ	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
4	宮尾登美子(著)一絃の琴 1978 OB1X_00040	の誤りを正すため短い個所を弾いてみせることもあり、そんなとき蘭子はどんな微妙な音いろも聞き逃すまいとしてきつと鋭く耳を立てる。先生は別格、と考	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
5	永井路子(著)北条政子 1978 OB1X_00091	都落ちするとまもなく、自分もゆくえをくらませてしまった。おかげで微妙な立場に立たされたのは父の河越重頼である。「小菊は鎌倉	・形容動詞連体修飾。「微妙な立場」という表現は慣用的。
6	防衛白書 1979 OW1X_00544	申し継ぎを受け、ソーナー室の哨戒直員にも細かい指示を与えた後、機器の微妙な調整を行いながら、ソーナーによる捜索を開始した。	・形容動詞連体修飾。「細かい調整」といった意味で評価性は中立。
7	吉行理恵(著)小さな貴婦人 1981 OB2X_00052	が、毛糸売場には外国製品を置いてある。毛糸は外国製のほうが微妙で美しい色があり、手触りもいいような気がする。	・形容動詞連用修飾。プラス評価性。まれな表現。
8	国会会議録 1981 OM25_00002	で六十歳定年制というものの関係には、似ているようであって微妙な違いはある。この辺についてどのような問題点なり見解をお持ち	・形容動詞連体修飾。「微妙な違い」という表現は慣用的。
9	千玄室(著)なんて美しい女性だろう！ 1981 OB2X_00291	同じお吸いものにしても、味つけから、いただきかけんの温度まで、微妙に心くばりしているわけですから、名の通った一流料亭だったら、出され	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。プラス評価性。
10	赤川次郎(著)探偵物語 1982 OB2X_00165	年齢であるが、人によっては、そろそろ方々にガタが来るといふ、微妙な年齢である。辻山がどちらのグループに属するかは言うまでもない。	・形容動詞連体修飾。「ガタが来る」という表

第6章 微妙

			現からしてもマイナス評価性であろう。1980年代前半からこのような用法がみられる。
11	片岡義男(著)メイン・テーマ 1984 OB2X_00245	ぜんたいに均一にあせたのではなく、ところによって色の濃淡に微妙な差がある。このようなあせ具合が、このTシャツぜんたいの洒落た雰囲気	・形容動詞連体修飾。
12	観光白書 1984 OW2X_00530	てきている。しかしながら、自然は、生物、大気、水、土等の微妙なバランスの上に成り立っているものであり、健全な観光やレクリエーションを通じた	・形容動詞連体修飾。評価性は中立。
13	原田宗典(著)優しくって少しばか 1986 LBa9_00016	そして林檎のワイン煮も…総てが、ほんの少しずつおかしい。どこかが微妙にずれているのだ。…美也とのことを知ったのかも	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「おかしい」という表現から若干マイナス評価性であろう。
14	渡辺淳一(著)化身 1986 OB3X_00036	アメリカから帰ってきてからの、霧子の微妙な変化はなにによるのか… ニューヨークで、真剣に仕事に取り組んでいる	・形容動詞連体修飾。
15	田中英一(著)グルメのためのシネガイド 1986 LBa7_00024	珍味も並べたててしまった。おかしいことに、それが本場の西部劇にも微妙な影響を及ぼし、さらに世界的なアンティークブームもまた西部劇の世界に入り込んだ	・形容動詞連体修飾。
16	池端雪浦(著)フィリピン革命とカトリシズム 1987 LBb2_00007	拒否宣言を行なう有様であった。最高司教に指名されたアグリパイの立場も微妙であった。かれは八月十六日にフィリピン人司祭に宛てて呼びかけを	・(形容動詞)述語文。まれな表現。
17	澤地久枝(著)雪はよごれていた 1988 OB3X_00234	陸軍省のものに命じて打たしたはずである) この電報の内容はきわめて微妙だが、それはない。陸士の期教を書くのは、同期生の結束が	・(形容動詞)述語文。まれな表現。
18	梅棹忠夫(著)日本語と日本文明 1988 LBc8_00007	な、そういう意味での不快感を抱くのである。言語のようなひどく微妙な問題を扱おうとするとき、『政策』などと言い出す人は、内心よほど	・形容動詞連体修飾。「微妙な問題」という表現は慣用的。
19	ディートマル・ホルント(著)/岡美知子(訳)ファルスタッフ 1988 LBc7_00002	の外面的輪郭を受け継ぐにとどめ、細部を充実して、そこに決定的で微妙なニュアンスを移している。それによってストーリーは充実し休む間もなくなる。	・形容動詞連体修飾。「微妙なニュアンス」という表現は慣用的。
20	小林秀雄(著)「文芸春秋」にみる昭和史 1988 OB3X_00079	了ったのではあるまいか。その為に、批判精神は、その生きた微妙さを失い、想像力も忍耐力も失い、抽象化して了ったので	・名詞化。
21	金賛汀(著)日の丸と赤い星 1988 LBc3_00022	れているのですね」漢族中心社会である中国の少数民族の立場は微妙なものである。「文革」と朝鮮族の悲劇今回の延辺旅行で予想	・形容動詞連体修飾。
22	津本陽(著)下天は夢か 1989 OB3X_00152	た責任を親戚、譜代衆から問われていたが、彼らの評価も微妙に変わってきた。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「責任」という表現から若干マイナス評価性であろう。
23	亀井秀雄(著)前田愛著作集 1989 LBd9_00187	とくに一葉の作品は地の文と会話や心内語との境界が微妙に重なり、その意味で多声的な文体と言えるのだが、そこから強いて個々	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

第6章 微妙

24	石井弓夫(著)自然災害を知る・防ぐ 1989 LBe5_00001	海岸は風波によって侵食されつつ、また砂の供給を受けるといふ微妙なバランスによって成り立っている。これが何かの原因でくずれたのが	・形容動詞連体修飾。評価性は中立。「紙一重」ともいえるか。「自然/生態系」の「微妙なバランス」という慣用的表現。
25	北方謙三(著)危険な夏 1990 LBe9_00102	いろいろと吹きこんどかなげりやな。ああいうのが、どっちの味方かってことが、微妙に勝負を左右することがあるもんさ」 深江が指示したことで	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
26	田辺聖子(著)春情蝸の足 1990 LBe9_00070	同じだが、妻の母は大阪ニンゲンではない。だから吉沢と妻は微妙なところで、感覚がくいちがう。大阪のうどんはお汁が旨いので、	・形容動詞連体修飾。
27	田中克彦(著)草原の革命家たち 1990 LBe2_00056	事実上の初代大使としてクーロンにあったユーディンである。二人の記録に微妙な差があるのは、一方がコミンテルン、一方はソビエト国家という異なる機関に	・形容動詞連体修飾。
28	池澤夏樹(著)スタイル・ライフ 1991 Lbf9_00037	ほどの間に彼は巧みに包丁を動かし、火を使い、調味料を微妙に加減して、いくつかの料理を作った。玄人の仕事ではない	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
29	加藤類子(著)虹を見る 1991 Lbf7_00043	人のを聴いてみると、節廻し一つにしても言ふに言はれぬ微妙な味がある。その抑揚の味のよさを、聴いて味はふだけでなく	・形容動詞連体修飾。「言ふに言はれぬ微妙な味」はプラス評価性。
30	笹間良彦(著)甲冑鑑定必携 1992 LBg7_00041	「寫し」(うつし)というが、寫しと贋物の違いの判定は、極めて微妙である。寫しとして公示されたものは、あくまで寫しであるが、	・(形容動詞)述語文。まれな表現。
31	杉森久英(著)塀の中のおろぎ 1993 LBh9_00183	て見てくると、日本海の魚と太平洋の魚は、いろんな点で微妙なちがいがあろうである。これも塩分のせいだろうか。私のフィッシュ・	・形容動詞連体修飾。「微妙な違い」も慣用的表現。
32	実著者不明/分担不明 メトロポリタン美術館ガイド 1993 LBh7_00036	な関連があり、千六百六十年代後期に描かれたものと考えられる。微妙で繊細な雰囲気をもつこの作品において、画家は、敏感な心の動き	・形容動詞連用修飾。プラス評価性。
33	ニコライ・ゴーゴリ(著)/木村彰一(訳)世界の文学セレクション36 1994 Lbi9_00182	世にもとらえがたく微妙なものばかりなのだ。ああ！なんという微妙さだ！…。『だめだ』とチチコフは肚のなかで呟いた。	・前者は形容動詞連体修飾。後者は名詞化。「だめだ」という表現からマイナス評価性であろう。
34	NHK 取材班編 太平洋戦争日本の敗因 1995 LBj2_00079	発言である。しかし実のところ、スターリンがどう思ったかというような微妙な点になると、ソビエト側の資料がほとんど公開されていないために	・形容動詞連体修飾。「微妙な点」も慣用的表現。
35	五木寛之(著)晴れた日には鏡をわすれて 1995 LBj9_00058	イングリッドの掌がゆっくりと乳房をすくうように動き、さりげなく爪の先が微妙な動きかたをした。わたしは自分の乳首が、固い花の蕾がひらく	・形容動詞連体修飾。
36	浅黄斑(著)人妻小雪奮戦記 1996 LBk9_00195	主人公のキャラクターを作るにあたって、考えた。チャルメラの微妙な音色の違いから、事件の真相を突き止めていくという話だから、主人	・形容動詞連体修飾。「微妙な違い」は慣用的表現。
37	椎名誠(著)おろかな日々 1996 LBk9_00096	を治める政治家たちの顔がつまらない顔をしているのもひとつの微妙なバランスというものなのかもしれないけれど。	・形容動詞連体修飾。「微妙なバランス」は慣用的表現。
38	篠田節子(著)女たちの	来いと言われたから、その気になった。人の気持ちと	・形容動詞連体

第6章 微妙

	ジハード 1997 OB5X_00114	いうのは微妙なものだ。「いや、いいよ。本当に暑いし、腰が痛くなる	修飾。
39	国会会議録 1997 OM55_00003	これはこういう席で私から申し上げるのもあれですが、大変難しい、微妙に揺れ動くものだと聞いております。私自身はもちろん行刑の現場にいた	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
40	国会会議録 1998 OM55_00009	民主主義は一体どうなのかというときに、ジョアンさんがいらっしゃる中でちょっと微妙な発言をさせていただくことになるかもしれませんが、我が国の	・形容動詞連体修飾。「ちょっと微妙な発言」というと筆者にはマイナス評価性が感じられる。
41	北方謙三(著)三国志 1998 LBm9_00193	「ところで、馬超。蜀は、曹操を打ち払えるのか?」「微妙なところだ。諸葛亮は、大きな賭けに出ている。漢中争奪だけでなく	・形容動詞連体修飾。
42	百々由紀男(著)芥川賞・直木賞は、とれる! 1999 LBn9_00077	「であろう」「である」「だ」といくつもあって、それぞれ微妙なニュアンスの差がある。些細といって無視できない。あらゆる文章は手を	・形容動詞連体修飾。「微妙なニュアンス」という表現は慣用的。
43	伊藤比呂美(著)居場所がない! 1999 LBn9_00061	弱ければ、水の質も、鍋の質もちがう。同じ名前の野菜でも微妙に味や歯ごたえがちがうから、料理のしかたも変えなくてははいけない。アジア	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「微妙」と「違い違う」は共起しやすい。
44	福良宗弘(著)茶の湯の心理 1999 LBn7_00031	目に見えて表現のやさしい場面であり、極わずかな感覚を大切にした微妙さ、繊細さ、丹念さ、巧妙さ、精巧さといった緻密な感性で	・名詞化。和文文化について語るるとき現れるプラス評価性の「微妙」。
45	谷口正幸(著)高血圧 2000 LB04_00060	圧力がかかりますが、この圧力が「血圧」です。血圧はさまざまな要因で微妙に変化する人間の血圧は、海の中で暮らす生物に比べると約6	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「微妙」と「変化」は共起しやすい。
46	清水義範(著)短篇ベストコレクション 2000 LB09_00229	を視ていて、よく知っているその司会者が、今、人生でいちばん微妙なところにさしかかっているのだろうなあと考え、彼の悩みと希望をあれこれ想像	・形容動詞連体修飾。「微妙なところ」も慣用的表現。
47	巖谷國士(著)アジアの不思議な町 2000 LB02_00085	EUへの正式加盟をめざしてもいるから、湾岸戦争にさいしては微妙な立場をとった。それにしても、いまではこの国の総面積	・形容動詞連体修飾。
48	霜島ケイ(著)陰月の冠者 2000 LB09_00016	高良は立場上は敵にならないだろうけど、味方かどうかというのは微妙なところですよ。つーか、敵だとか味方だとか、今のとこ本人	・形容動詞連体修飾。「微妙なところ」も慣用的表現。
49	八坂裕子(著)COSMOPOLITAN日本版 2001 PM11_00013	十七歳のブルジョワ娘セシール(J・セバーグ)と、その父の恋人の、微妙な関係を描く。超ショートヘアのジーンズの、横顔と笑顔が飛び抜けてフレッシュ	・形容動詞連体修飾。「微妙な関係」も慣用的表現。
50	実著者不明/嵐山光三郎(著)週刊現代 2001 PM11_00853	てさまざまな個性がある。情感だの力強さだの効能だの、それぞれが微妙な味わいを持っている。濃くてトロミのある湯、サラサラと肌にやさしい湯	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
51	佐藤幸人(著)新興民主主義国の経済・社会政策 2001 PB13_00556	必ずしも政争の具となるとはかぎらないが、インタビューでは、財政支出など微妙な問題が絡む場合には野党に反対されるのではないかという懸念	・形容動詞連体修飾。「微妙な問題」も慣用的表現。
52	真柄恵理(著)POPE	健康サンダルといえばドイツ、この〈ユッタ・ニュー	・形容動詞連体

第6章 微妙

	Y E 2001 PM11_00941	マン)も履き心地を考えてソールに微妙なカーブを施してある。2万九千円。	修飾。
53	大江健三郎(著)/小澤征爾(著)同じ年に生まれて 2001 PB17_00117	大江 ははあ。小澤 それは言葉に関係があるんじゃないか。微妙なところを聞き分ける耳があるんじゃないかなと思ったことがあるんです	・形容動詞連体修飾。「微妙なところ(とこ)」も慣用的表現。
54	中山蛙(著)ライカのしくみ 2001 PB15_00129	止むに止まれぬ事情もあったりしながら、少しずつ改良されていて、微妙に異なる描写をすることも、興味と研究の対象となるのである。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
55	宇都宮裕章(著)数えることば 2001 PB18_00041	テイル形における数えることばをどのように解釈するかは非常に微妙です。それは、テイル形が出来事などの局面を表しているか、その局面	・(形容動詞)述語文。まれな表現。
56	リンダ・ハワード(著)/林啓恵(訳)ふたりだけの荒野 2002 PB29_00375	ひょっとしたら、ものごとは起こるべくして起こり、善と悪が微妙に釣り合う宇宙規模の天秤など存在しないのかもしれない。現在を生きなけれ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
57	佐藤隆介(著)/新潟日報社(著)新潟日報 2002 PN2i_00009	温めて飲む酒は他に老酒ぐらいしかなく、温め方つまり燗のつけ方の微妙なバリエーションの奥深さにおいては、老酒は日本酒の足許にも及ばない	・形容動詞連体修飾。
58	津田司(著)基本的臨床技能の学び方・教え方 2002 PB24_00255	しかも重要なことは、このようなコミュニケーションの障害は、目に見えないところで微妙に進行することである。そして、気づかないうちに深刻な感情のもつれを招く	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
59	本庄真穂(著)O g g i 2002 PM21_00357	という“D&G”のヴィンテージ風ウォッシュドジーンズは¥三万前後でゲット。微妙なブラウンの肌合いがお気に入り。う今年、何かと便利な“エポカ	・形容動詞連体修飾。
60	分担不明 m a r i e c l a i r e J a p o n (マリ・クレール 日本版) 2002 PM21_00420	感動を与えて上位に食い込む健闘ぶり。「眉毛の形を自然に整えながら、微妙な光沢感もプラスできる」(二十九歳・商社)という超微粒子の	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
61	広田尚敬(著)鉄道写真 2002 PB2n_00129	止まることはない。それにカメラに対する絶対的な信頼と自信がなければ、微妙なシャッターチャンスは得られない。実はEOS使用には、もうひとつ意味	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。この「微妙」は「絶妙」とも入れ替えが可能。
62	村上春樹(著)海辺のカフカ 2002 OB6X_00056	と可能性の境界線さえみつからない。君にわかるのは、自分が今とても微妙な場所にいるということだけだ。微妙で、同時に危険な場所だ。	・前者は形容動詞連体修飾。後者は形容動詞連用修飾。「危険」という表現からして若干マイナス評価性か。
63	帯木蓬生(著)国銅 2003 LBr9_00233	鮎は十分に脂がのり丸々と肥っていて、頭からかぶりつくとき微妙な苦みが口の中に広がる。春の草の匂いもした。	・形容動詞連体修飾。文脈からするとプラス評価性。
64	伊藤まみ(著)香港 2003 LBr8_00007	香港英語の発音 香港英語と日本英語は発音が微妙に違うからやや注意が必要。香港英語のコツとしては…・語尾	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「微妙」と「違い違う」は共起しやすい。
65	阿刀田高(著)花あらし 2003 LBr9_00187	食事も気ままに採ればいい。一本職の作家になったみたいと、微妙な快感を覚えた。パーティの楽しさも心の内奥にあって揺れて	・形容動詞連体修飾。プラス評価性。
66	実著者不明 C A R B O Y	遅れ気味ようだ。とりあえず、ひととおりのチューンパーツはあるが、今後の開発は微妙。メーカー内に	・(形容動詞)述語文。形容動詞

第6章 微妙

	2003 PM35_00210	入っただけに、昔のようなハードチューンパーツは…。オートエクゼ	語幹。今後の開発はなさそうということを示唆させる表現。
67	西村京太郎(著)寝台特急「あさかぜ1号」殺人事件 2003 LBr9_00114	「ご存じですか？」と、きいてみた。田原は、一瞬、微妙な笑いを口元に浮かべてから、「実は、ある人に頼まれて	・形容動詞連体修飾。
68	高瀬廣居(著)ぼくの赤ん坊 2003 LBr3_00014	このドラマは、弟や妹をもった上の子どもの微妙な心理をよく見抜いて、赤ちゃん本位の生活に傾きがちな親に反省を求め	・形容動詞連体修飾。「微妙な心理」という表現も慣用的。
69	赤川次郎(著)死なないで 2004 LBs9_00022	「何かまずいことでも？」七代は、戸田の口調が微妙に変っていることに気付いた。窓の所へ行って、カーテンを細く	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
70	小澤典代(著)人がつなぐ暮らし、手が伝える大切なこと 2004 PB45_00314	油の香りが美味。おなじみの「ゴーヤチャンプルー」も、家庭によって、微妙に味付けがかわります。屋嘉比さんの味は、玉ねぎとニンジンをよく炒めること	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
71	ブルーガイド国内出版部編 大人の横浜・鎌倉 2004 LBs2_00073	梅(2月中旬～3月中旬)梅は種類が豊富で開花時期にも微妙なズレがある。全山を覆い尽くす梅林で、次から次へとそれらの	・形容動詞連体修飾。「微妙なズレ(ずれ)」も慣用的表現。
72	「東京の帽子百二十年史」編纂委員会編 東京の帽子百二十年史 2005 LBt5_00012	木型を削ったり足したりして日本人に合うように調整しました。微妙な曲線は、帽子の命です。この曲線の型をつくる最良の材料が木材	・形容動詞連体修飾。
73	リリー・フランキー(著)東京タワー 2005 OB6X_00171	になり、オトンとの別居生活を始めることになった。なぜ、そんな微妙な関係性の別居になったのか、どういう意図があったのかは	・形容動詞連体修飾。「微妙」と「関係」も共起しやすい。
74	酒井潔(著)自我の哲学史 2005 PB51_00042	この三段階の関係(総合)は、それぞれ二つの項の微妙なバランスのうえにかろうじて成り立っているのだが、そのバランスが壊れて軌轍を	・形容動詞連体修飾。慣用的表現「微妙なバランス」。
75	毎日新聞社(著)毎日新聞 2005 PN5b_00023	の後にこれを掛けることによって、薄絹で覆ったような半透明で微妙な色合いが出て、作品に何とも言えない柔らかみ加わるのだ	・形容動詞連体修飾。「微妙な色合い」という表現も慣用的に出てくる。評価性はプラス。
76	長田正(著)ロボットは人間になれるか 2005 LBt5_00019	もちろん、物体を握る力も、その性質や作業の内容に応じて微妙に調節する必要がある。指先の位置・姿勢の制御を行うには、モーター	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
77	塚本由晴(著)/水上優(著)/藤本壮介(著)フランク・ロイド・ライトのルーツ 2005 LBtn_00026	を許容していたとしたら、つまり体験するものと構想するものとの微妙な差異の両義性を意図していたら、それは結構おもしろいかもしれ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
78	酒井智巳(著)はじめてつくるプリアンプ 2005 LBt5_00030	可聴帯域などで聴いてすぐ分かる場合は気付きやすいが、耳に聴こえない音や微妙な発振は分からない場合もあり、それを調べようとすると測定器が必要に	・形容動詞連体修飾。
79	山内健治(著)/朝日新聞社(著)朝日新聞 2005 PN5a_00021	沖縄では集落(字)のことを意味する。だからシマ言葉とは微妙なイントネーションも含めて各集落で異なり、シマの生活を語る大事なツールであり	・形容動詞連体修飾。
80	小林恭二(著)稲畑汀子(著)俳句研究 2005 PM52_00030	中村草田男も「萬緑」という季語を選びましたが、これはちょっと微妙です。「萬緑」は草田男が立てた新しい季語であり、広く認められは	・(形容動詞)述語文。まれな表現。文脈からす

第6章 微妙

			ると若干マイナス評価性。
81	塚本由晴(著)/水上優(著)/藤本壮介(著)フランク・ロイド・ライトのルーツ 2005 LBtn_00026	単に勝手なことを言っているだけだということになってしまう。だから微妙ですよね。塚本でも、individualでもmassでもない、	・(形容動詞)述語文。まれな表現。文脈からすると若干マイナス評価性。
82	阪井敏郎(著)芥川賞の若者の深層心理 2005 PB59_00557	齋藤孝氏(明治大学教授)は、二作共、「言葉にしにくい微妙な感覚」を、丁寧に表現しているとし、二作のヒロインが、	・形容動詞連体修飾。
83	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_01556	が多いです。ロック系だとコザですね。ただ栄えているかという微妙です。お客さんは米兵が多いです。	・(形容動詞)述語文。文脈からすると若干マイナス評価性。
84	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_07268	3年前の米を食べてます。なんか微妙にまずいんですけど、やばいでしょうか？米は賞味期限あるのでしょうか？	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「まずい」「やばい」等の表現からするとマイナス評価性。
85	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_14694	素直に仲間だっと思ってる場合もあるしな～微妙 それだけでは判断材料にはならないかもね～ まあ	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。マイナス評価性。
86	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_06235	に影響を与えるでしょうが、天然水がどの程度直接味に影響を与えるかは微妙です。基本的にメーカーも売れないものを造りたくは無いので、売れるよう	・(形容動詞)述語文。ブログ上では比較的よく現れる表現。
87	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_01567	テレビのチカラは微妙に凄いです、どこまで本当か最近分からなくなってきました。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。本来「微妙」は程度の微少さを表すため「凄」とは結びつき難いはずであるが、書き手は表現を和らげる意図をもって「微妙」を使っているのではないか。
88	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_00425	むしろ沖縄は暑いし。海外はどこまで「治安が悪くない」のか微妙です。オーストラリアは基本的に治安は良く、フレンドリーですよ。ケアンズは治安もよく	・(形容動詞)述語文。ブログ上では比較的よく現れる表現。
89	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_00819	ない知り合いのところって少し抵抗ありませんか。私だけでしょうか・・・微妙ですね～(^-^;)私もちよっと気になってしまう方です。落とされてもなん	・(形容動詞)述語文。文脈からすると若干マイナス評価性。
90	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_12934	けどいったこと無いもん」って言われました・・・男として微妙なショック感に見舞われています。やるときはいつも向こうから声掛けてくる	・形容動詞連体修飾。文脈からするとマイナス評価性。
91	Yahoo!知恵袋 2005 OC11_00606	いないのですが・・・どのようにするのが一番いいのでしょうか？微妙ですね～。中の良いご友人なら、これからの関係を考えて行かすべき	・(形容動詞)述語文。
92	Yahoo!知恵袋	言われました。手元にエクスパックが無いのと商品の	・形容動詞連体

第6章 微妙

	2005 OC14_06691	大きさが入るか微妙です。購入して入らなかったらと思うと。。質問もなかったのに	修飾。この「微妙」は「心配」や「不安」とも入れ替え可能であるためマイナス評価性となる。
93	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_00328	基本かと思いますが、ジャケット・タイトスカートのスタイルではまずいでしょうか？ 微妙。いままでどんな仕事しててどんな仕事に転職？業界によって違うと思う	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。マイナス評価性か。
94	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_00331	するのかとか情報が欲しいです。お願いします♪ストレートで飲むのは微妙です。。。。「何かを焦がした匂い」します。濃い目に入れる	・(形容動詞)述語文。文脈からすると若干マイナス評価性。
95	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_00895	長谷川京子がドラマでつけてた白バラのピアスを今してたら微妙ですか？でも定番だから大丈夫なのかと想ってたのですが・	・(形容動詞)述語文。この「微妙」は「変」や「おかしい」とも入れ替え可能であるため若干マイナス評価性。
96	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_06167	あなたは、親友もしくは、親しい友人ととらえていても、彼女は、微妙に違うみたいですね。普通に読んで、あなたの感謝の言葉から、友人の	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。マイナス評価性。
97	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_01438	友達の意見が一番かも知れません。私もよく分かりません。とにかく微妙です。	・(形容動詞)述語文。
98	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_07554	七十八あって五十八キロ、マッチ棒みたいなんです。女の子にはなぜか微妙と言われます。。モテ男になりたいです。このままイケメンずらで行くべき	・形容動詞語幹+「(格助詞)と」。マイナス評価性。
99	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_00374	店員さんに許可を得なくてははいけません。バイトだったら判断できるかも微妙です。	・(形容動詞)述語文。文脈からすると若干マイナス評価性。
100	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_04076	二十分あたりで中田浩二が一発レッド。以降ウクライナが完全に試合を支配。微妙な判定のPKを与え、日本が0 - 1で負け。	・形容動詞連体修飾。文脈からするとマイナス評価性。サッカー・ボクシング等スポーツ関連でよく現れる慣用的な「微妙な判定」。
101	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_08909	それを何とか見れるようにはならないのでしょうか。感情がまったく読めなくて微妙です。まあ、メールなんて感情はもともと読めないけれど。。。無理でしょうか??	・(形容動詞)述語文。文脈からするとマイナス評価性。
102	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_05637	知り合って2年、ですよ？告白して成功するかどうかは微妙かも…？カップルにオススメのお店に行きたいっていうくらいだから嫌わ	・形容動詞語幹。マイナス評価性。
103	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_05737	最近の車のデザインって微妙じゃないですか？なんか近未来デザイン?!というか、丸いというか	・形容動詞連用修飾。文脈からするとマイナス評価性か。
104	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00736	のあいいうえおが勝ってしまう上、英語、米語、方言によって微妙に違うので対応が難しい。しかし、「T」な	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

第6章 微妙

		ら、方言の影響をほとんど	法。
105	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25253	ときはらくちい～～んなんだけど今日解凍した鶏肉 微妙な量でさあ～（「ー」； ヒヤリ しょうがない から	・形容動詞連体 修飾。「ヒヤリ」 「しょうがない」 等の表現から するとマイ ナス評価性。
106	Yahoo!ブログ 2008 OY04_05977	ただけど、最初にそれを横にして「H」って見せて、 微妙な空気に・・・ 流星は名前書いただけだけど、	・形容動詞連体 修飾。「微妙な 空気」というの はマイナス評 価性であろう。
107	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04628	食べ始めと終わりで味が違いお得なんだか、微妙なん だか（「ー」；不味くはないですが、、、ええ、、、	・文脈からする とマイナス評 価性。「不味く はない」という が、おそらく 「うまくもな い」であろう。
108	Yahoo!ブログ 2008 OY14_38736	これが定価一万円期待が膨らむ!?次、ポロシャツ。。。 またまた微妙 次、Tシャツ凹〇ドテッ。。。終わっ た。。。高機能ジャケット系を	・単独で現れる 「微妙」。間投詞 的。マイナス評 価性。
109	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13395	風景とかも自分の人生思い起こされるのだったりし た。あとは演技が微妙に思った。二十三歳の女の か。最初はいいかと思った	・形容動詞連用 修飾。副詞的 用法。「最初は いいかと思った」 という表現か らするとマイ ナス評価性。
110	Yahoo!ブログ 2008 OY15_00623	何と、和服姿のスカレットちゃんの姿も見えます ね。。。微妙に似合っていませんが。。。 (笑) やはり、ウ エディングドレス姿は、	・形容動詞連用 修飾。副詞的 用法。マイナス 評価性ではあ るが、「(笑)」と いう表現から しても深刻さ はない。
111	Yahoo!ブログ 2008 OY15_02818	コトが起きるとは思ってなかったんだな・・・ん?お 天気が微妙になってきたから、そろそろ乱は終了だね。 じゃ疲れたからペンションは	・形容動詞連用 修飾。「天気が 微妙」という表 現は近代から みられる慣用 的表現。
112	Yahoo!ブログ 2008 OY01_02154	あるとかで、下げてきた今のところでは問題なしなの か? 微妙。極めつけ、一のバカが消費税引き上げを 名言。この景気で何を言ってる	・単独で現れる 「微妙」。間投詞 的。マイナス評 価性。
113	Yahoo!ブログ 2008 OY15_12419	もみじの紅葉はまだだし、半分花の落ちたアジサイが あったりと微妙な時期でした…でも文化の日ってこと で入園料は無料!園内は	・形容動詞連体 修飾。文脈から するとマイナ ス評価性であ ろう。
114	Yahoo!ブログ 2008 OY14_29443	の恋人と噂されるロナルド・チェン (鄭中基) と彼女 の仲までが微妙になっていると報じられている。マス コミからシャーリーンとロナルドがケンカし	・形容動詞連用 修飾。副詞的 用法。マイナス 評価性。恋人同 士の仲(関係)が 「微妙」。つまり

第6章 微妙

			うまくいって いないという こと。
115	Yahoo!ブログ 2008 OY03_05642	同じお肉系の『あまつぼ』へ。結論を言ってしまうとこのセレクトは微妙に失敗だったかもですね。あまつぼ非常に美味しいのですが、1品辺り	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。マイナス評価性。
116	Yahoo!ブログ 2008 OY04_00281	四．五枚前後見つけました。いつものように同じようなポーズで、微妙に角度が違うもの…ですね。(笑)	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。評価性は中立。
117	Yahoo!ブログ 2008 OY14_26541	まあ、減ったり・・・増えたり・・・を繰り返しております・・・微妙・・・今回は、なんとなの、先日のどっかい苺ショートケーキを食べて	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。マイナス評価性。
118	Yahoo!ブログ 2008 OY14_06701	ファン・ニステルローイの先制点の場面で、オフサイドかどうかの微妙な判定が・・・。UEFAは、イタリアのパヌッチがピッチ外で倒れ	・形容動詞連体修飾。文脈からするとマイナス評価性。サッカー・ボクシング等スポーツ関連でよく現れる慣用的な「微妙な判定」。
119	Yahoo!ブログ 2008 OY14_39418	明日で冬休み終わりなんですけど長かったような短かったような…微妙な感じですね笑 今回の冬休みはホント微妙やった でもまあ楽しかったよ(*・▽・*)	・前者は形容動詞連体修飾。後者は(形容動詞)述語文。「長くもある」といった書き手の揺れ動く心理を反映している。
120	Yahoo!ブログ 2008 OY07_00300	安いけど、ジム通ってそこでやるヨガ教室の方が安いような。。微妙なお値段でした。回数券を買えばもう少し安くはなるみたいだけど、	・形容動詞連体修飾。「微妙なお値段」というのは書き手が想定していた値段よりは若干(あるいはかなり)高いということになる。
121	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13395	二十三歳の女のとか。最初はいいかと思ったけど微妙に思った。みんな自然ってより演技してるって演技だった。それがヤだっ	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「演技してるって演技」「それがヤ」といった表現からしてもマイナス評価性。
122	Yahoo!ブログ 2008 OY07_00867	のですが、ターンが入ったり、リズムチェンジが入ると、拍のとりかたに微妙に違和感を感じてきて、その結果、動きが崩壊しかけてました・	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「違和感を感じて」「動きが崩壊」といった表現からしてもマイナス評価性。

第6章 微妙

123	Yahoo!ブログ 2008 OY04_05350	切な過ぎます。また、そんな静奈の気持ちを感じ取った3兄妹の間には微妙な空気が…。	・形容動詞連体修飾。「微妙な空気」というのはマイナス評価性であろう。
124	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37067	器に影響でそうだよ…っていても、ベッドのしたとか、微妙～～な広さの隙間はなかなかまめに掃除しきれものんじゃないん	・形容動詞連体修飾。
125	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08249	水！空水・・・グダグダなネーミングですね（苦笑）キャラクターも超微妙です（爆）	・(形容動詞)述語文。マイナス評価性ではあるが、「(苦笑)」「(爆)」という表現からしても深刻さはない。
126	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03547	っていうオランダ人の話なんですけど。暗えーし、なんか微妙な曲だ！（笑）あんま好きじゃないなーあとなんかスペインらしく、なっがな	・形容動詞連体修飾。「暗えーし」「あんま好きじゃない」という表現からしてマイナス評価性。
127	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03564	日本に来てからもやはりこれ、本人のお気に入りです。肌の微妙な凹凸にフィットする首振り式2枚刃は独立して動くサスペンション付き、	・形容動詞連体修飾。評価性は中立。
128	Yahoo!ブログ 2008 OY14_38945	読んだ有川作品で出てきたの。「押して知るべし」きゃ～～なんかアタシ微妙に間違っただ気がする～～と思ったらやっぱり間違ってた、あ～～あ。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。書き手としては直接表現を避けるために、ぼかし表現の意図をもって「微妙に」を使っているようでもある。
129	Yahoo!ブログ 2008 OY03_01071	心配していたより太ってなかったけど、痩せた☆と思える数字でもなく微妙…しかも身長百五十一だったのに、百五十、六って（ノ＞ㇿ	・形容動詞語幹。最悪の事態は免れたものの、期待に添った結果にも至らず、やや不満といった心理を表しているようである。

6.9.7.2 検索語：「ビミョー」（全48件より抜粋）（2020/10/07時点）

図表 6.29：「ビミョー」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	今井良(著)/山崎元(著)/ 斉藤武宏(著)/松尾スズ キ(著)/桜木ピロコ(著) 週刊SPA! 2003 PM31_00683	片膝同士が触れるか触れないかの九十度のポジショ ニングで座るのがベスト。このビミョーな距離感で、女 性を濡らすんですよ！」ふじしろなおみ●歌舞伎町[f e i z	・形容動詞連体 修飾。
2	歌野晶午(著)女王様と 私 2005 PB59_00500	待つものだ。女は男を待たせる義務がある。しかし、 今日もビミョーにすっぱクサイな」肩を大胆に露出し たビスチェ・タイプの黒いミニの	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。「すっぱク サイ」という表 現からすると マイナス評価 性。
3	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_10876	と思う時があります。激ダサというわけではないので すが、なんかビミョーというか……。カレカノファン の方、どう思われます？アニメしか	・形容動詞語幹 +「(格助詞)と」。 マイナス評価 性。
4	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_07622	メール便ってセブンイレブン以外のコンビニはビミョ ーなラインで揃えてますよね。セブンの圧力とかあ るんでしょーか。	・形容動詞連体 修飾。
5	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_09078	どうしよう……。子供には三十二歳とビミョーにウ ソをついてしまいました。とつても平和でとつても退 屈な毎日。毎年この繰り返し	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。「ウソをつ いて」という表 現からすると マイナス評価 性。
6	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_10835	邪魔なものの整理整頓ものを捨てる時ってどうやっ たら捨てられる？ビミョー……。愛着が残ってしま って捨てられない！ええいままよと思いきり	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。
7	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_05796	と、「十時前5分」。福岡に来て経験した言葉です。ビ ミョーに変だと思いませんか？英語の発想に似ていま すネ。	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。「変」とい う表現からす ると若干マイ ナス評価性。
8	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_09751	子役で活躍していた森廉君を最近見かけません。ビミ ョーな年齢になっちゃったのかな？H2に出てました よ☆すごく	・形容動詞連体 修飾。「ビミョ ーな年齢」とい うのは子供と もつかず大人 ともつかずの 年齢というこ とか。
9	Yahoo!知恵袋 2005 OC12_05766	関西では大阪弁と神戸弁。京都弁や奈良弁等々ビミョ ーに違うのでネイティブの関西人は同じ関西人でも大 体どこの人かくらい	・形容動詞連用 修飾。副詞的用 法。「違い/違う」 は「微妙(ビミ ョー)」と共起 しやすい。
10	Yahoo!ブログ 2008 OY14_19404	マフィンもバナナ味がおいしい。バナナの繊維が黒い すじになって見た目がちょっとビミョーだけど…袋に も書いてあります。	・(形容動詞)述 語文。マイナス 評価性か。

第6章 微妙

11	Yahoo!ブログ 2008 OY01_00039	てましたねえ。ただ、こいつは最後まで売られる展開になるかどうかがビミョー。ちとヤバいんジャマイカと予想してます。	・(形容動詞)述語文。「ヤバい」という表現からするとマイナス評価性か。
12	Yahoo!ブログ 2008 OY04_06866	ありがとうございます。私は正直不安でした。高須に似てるっていわれるのもビミョーで(笑)お話いただいたときに監督にそっくりだって言われたので	・(形容動詞)述語文。「不安」という表現からするとマイナス評価性か。ただし「(笑)」という表現からしても深刻さはない。
13	Yahoo!ブログ 2008 OY09_01084	風を吹き荒れさせるお日さんは、嫌いでごんす。お日さんと地球のビミョーな関係、これ壊さずにいきやしょーね。人類の歴史が過去のもの	・形容動詞連体修飾。「微妙(ビミョー)な関係」は慣用的表現。
14	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04835	ラガーにちょいと色がついた感じかな？味は。。。ビミョー(^^)；	・(形容動詞)述語文。「(^^)；」という表現からするとマイナス評価性だろう。
15	Yahoo!ブログ 2008 OY13_04405	はダーティやからやる？でもな、うそをつく必要のないところで話をビミョーにかえる意味は?????たとえば。単なるワープロ打ちを、「事務作業	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
16	Yahoo!ブログ 2008 OY14_31673	たことだけど、なんか、アレンジを変えて歌うっていうのはどこかビミョーな気がしたのは私だけ・・・？	・形容動詞連体修飾。マイナス評価性か。
17	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13103	これはおねえちゃんが使ってた2代目しまじろう。虎さん？クマさん？ビミョーな感じだけど、実は、トラ・・・(*´m`*) ♪	・形容動詞連体修飾。「AともBとも判別付けがたく迷いがある」といった状態か。
18	Yahoo!ブログ 2008 OY14_51530	←擬人化→○ 花とか楽しいよねーロボット→？ ビミョー サイボーグ→× 人造人間はちょっと。レプリカナ r (ry女装→◎	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。
19	Yahoo!ブログ 2008 OY15_17190	か久々って気がします(大汗しかし書いてあることは、いつもの通りビミョーなことが書いてあります(滝汗必勝祈願において「時を待たねば	・形容動詞連体修飾。「滝汗」という表現からするとマイナス評価性か。
20	Yahoo!ブログ 2008 OY15_05914	炎天下。ビミョーにアップダウンが続く大島(約十二km)を何とかクリア！小休止	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
21	Yahoo!ブログ 2008 OY14_48780	てるし…お腹の風邪かな(°Д°)ゞ それにしても…風邪ひくとビミョーにウルサイ旦那サンや(´～`;))	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「ウルサイ」という表現からするとマイナス評価性か。
22	Yahoo!ブログ 2008 OY04_08942	←もう何十回も言っていますが^^; やっぱり放送局が違うとビミョーに字幕が違います^^ 1話でソンス社長がバク・ヘジン(ハン・ゴウン)を	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「違い/違う」は「微妙(ビミョー)」と共に

第6章 微妙

			しやすい。
23	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18323	二十五・最近、背が縮んだ気がする。→→ ビミョー に縮んでいる気がしますw	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
24	Yahoo!ブログ 2008 OY04_07084	CD買って、出口に集合場所が書いてあったのですが・・・ ビミョー にわからず・・・(汗)終演後、センター席だったため・・・	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
25	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03184	食べたりして、快調！快調！！しかーし！！山梨の山空は超！ ビミョー だったのですた・・・。(苦笑)真っ青な空に掛かる雲は、	・(形容動詞)述語文。マイナス評価性か。ただし何が「ビミョー」なのか具体的にはわからない。
26	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00363	wヤル気をなくしたので野球部のマネージャーやってるやつと喋ってました。 ビミョー に恋バナしたり色々楽しかったぜよ。そんじゃ、まった。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「色々楽しかった」という表現からするとマイナス評価性ではない。「ちょっと」といった意味で使っているのか。
27	Yahoo!ブログ 2008 OY14_48166	日発売のアムロちゃまのニューシングル、プロモーションビデオが、アニメ。なんだって(´;ω;`) ビミョー (´ロ´;) 安室ちゃんが良い……	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。当初の期待を裏切られてがっかりしているさまを「ビミョー」で表現している。マイナス評価性。
28	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04352	昨日も朝から ビミョー なお天気でした。	・形容動詞連体修飾。天気の内容としての「ビミョー」。近代からみられる慣用的表現。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY15_15869	たのは全然悔しくなんてありません。本当に悔しくアリマセン。本当デス。 ビミョー な寒さに耐えながら、冷えきった寿司で空腹を満たした漢ドモのマスイーンデス	・形容動詞連体修飾。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY01_02859	てしまったのですけど、「みずほ」も下がりましたね。んなわけで、 ビミョー に右肩騰がりのグラフをただ一人描いてます。このまま行けば…という感じ	・形容動詞連用修飾の形をとるが、「右肩騰がり」か「グラフ」にかかるとすれば本来連体修飾「ビミョーな」であろう。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY11_09266	と一緒に3人でご飯を食べに行きました。久しぶりにあってなんか ビミョー な雰囲気になったんですがすぐに打ち解けて以前のように和やかな雰囲気に	・形容動詞連体修飾。「気まずい」とも入れ替えられそうでありマイナス評価性か。

第6章 微妙

32	Yahoo!ブログ 2008 OY14_02670	からの天井。点滴がぶら下がってます。今とどっちが楽かって？うーん、 ビミョー ・・・	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。若干マイナス評価性か。
33	Yahoo!ブログ 2008 OY03_09677	あれ、こんな舌触りだっけ～？ カブとも大根とも違う ビミョー な感じ(@__@。もしかしたら、スが入る直前かも・・・	・形容動詞連体修飾。「感じ」とも比較的よく共起する。
34	Yahoo!ブログ 2008 OY03_05537	石鹸が終わったら早速つかいまーっす!!! ところで・・・ ビミョー なおみやげもあったよ(苦笑) ナゼに、5フィジーセントコイン・	・形容動詞連体修飾。「(苦笑)」「ナゼに」という表現からするとマイナス評価性か。

6.9.7.3 検索語：「ビミョウ」（全5件）（2020/10/07 時点）

図表 6.30：「ビミョウ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_00987	出来ると思いますので色々試してみてください。(でも、全身ヴェールは ビミョウ な気がします…^^;)ちなみに、ターゲットは「十八～二十三歳	・形容動詞連体修飾。「でも」「^^;）」という表現からするとマイナス評価性か。
2	Yahoo!ブログ 2008 OY15_11962	だけで・・・。しかしモトブレイクが月2回程度で七千五百円は・・・ ビミョウ だ・・・。ツクバで1万5千円くらい払って四十分ぐらい走ると	・(形容動詞)述語文。値段の評価に使われる「ビミョウ(微妙)」書き手が想定していた値段よりは若干(あるいはかなり)高いということになる。マイナス評価性か。上記「微妙」「120」も参照。
3	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08548	ん～ ビミョウ フカフカ膨らんできちゃってちと中身も柔らかい 半端なかきもちになっちゃった	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。文脈から詳しく読み取れないが「半端な」という表現からすると若干マイナス評価性か。
4	Yahoo!ブログ 2008 OY03_07433	で描かれています。毎回のことながら発売されているポジションの味って ビミョウ ですね。今回のポジションに限って言えばホントに薬っぽすぎますよ。炭酸	・(形容動詞)述語文。「薬っぽすぎ」という表現からするとマイナス評価性か。「微妙(ビ

			ミョー/ビミョウ)」と「味」は共起しやすい。
5	Yahoo!ブログ 2008 OY04_01300	なんなのってなくらいビューティフルです・・・ゴボウのアイスか・・・ ビミョウ かも・・・食べてみると・・・分らないって以外とはまるかも	・(形容動詞)述語文。「おいしいのかおもしろくないのかわからない揺れ動く感情」を「ビミョウ」で表現しているか。若干マイナス評価性か。

6.9.7.4 検索語：「びみょう」（全5件）（2021/02/09 時点）

図表 6.31：「びみょう」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	出典 出版年/ID	実例	備考
1	村山早紀(著)新シェーラひめのぼうけんペガサスの騎士 2004 PB49_00318	の旅をしている人たちって、ふつう、『正義の味方』になるんじゃないのかなあ？」 「… びみょう にちがうような気がするんだけど」 サファイヤが、頭をかかえたところで、ジュドルが考え考え、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。下記"3","5"にもあるように「びみょうにちがう(違う)」は慣用的表現とみられる。
2	Yahoo!ブログ 2008 OY03_09010	モヤシがかなりタップリ入っていて、スープとともにモヤシをいただきますと、シャキシヤキとした歯ごたえと背脂が びみょう にからんだこってりさがいまって、けっこう、モヤシだけでも食べ進んでしまうのです。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。プラス評価性の文脈で使われる「びみょうに」。
3	Yahoo!ブログ 2008 OY05_02790	携帯で 揺れる お花 を 撮ったらかなり ぼけぼけ～～(爆笑) 彼岸花の 色が びみょう ～～に 違う 所も お見せしたかったのですがぼけすぎ～～(爆笑) かえって 風が	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
4	Yahoo!ブログ 2008 OY14_27501	希望してたチューリップ頭にはなれませんでしたミ：D) — _ ガクッこれは…マッシュルーム？ びみょう だけど可愛いかも？ (。-▽-) 二十二日から始まったハロウィンイベントも昨日からは 窓の外にカボチャが現れました	・形容動詞終止形+逆説の接続助詞「けど(けれども)」。「だけど」の後節が「可愛い」とあるため「びみょう」はマイナス評価性。
5	Yahoo!ブログ 2008 OY11_03778	「松風」という品種 お散歩で良く見かける品種 …… ↑ びみょう に違います。 和風です！ 右側の元気の無いのは「黄花ほととぎす」・・・育つかな	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

6.9.8 現代 (NUCC : 名大会話コーパス)

本項では、現代語の「微妙」について、「NUCC : 名大会話コーパス」による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし)である。以下に、「微妙」の実例について、表にまとめたものを示した。

6.9.8.1 検索語 : 「微妙」(全 156 件より抜粋) (2020/10/11 時点)

図表 6.32 : 「微妙」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data104	渡してきたテープ、あ、テープっていうかMDが一、74分という微妙な分数だったの。うんうんで、うちさー、これMDLPついてるからー、	・若年代から昇順に並べた。形容動詞連体修飾。
2	女性 10 代前半 2002 data103	白い靴下じゃ微妙でしょう。うん。微妙ってっていうか変だよ。ふつーに。微妙。じゃあ、黒いタイツだよ。ふつーに変だ。はいお、すげ。私さ	・「変だよ」という表現からするとマイナス評価性。
3	女性 10 代前半 2002 data103	ごみ箱が写るな。いいよ。微妙じゃない?いち、にのさん、はい。微妙だ。私がね、撮るとぶれるんだって。えー、** *じゃあ、	・「撮るとぶれる」という表現からするとマイナス評価性。
4	女性 10 代前半 2002 data104	だって一緒だって。でも、F150の絵ってさー、なんかでさー、微妙だしさー、絵よりもー、なんかほかにもうちょっと得意なことがある気	・「ほかにもうちょっと得意なことがある」という表現からするとマイナス評価性。
5	女性 10 代前半 2002 data104	うん私も。っていうか、Zさん受かんない。Zさん、顔が微妙だよ。顔もねー、髪型からして微妙だね、あれは。ねえ	・人の容姿の評価について使われる「微妙」。マイナス評価性。
6	女性 10 代前半 2002 data104	あーうん。えっいくらなの、お小遣い。月に1200円。微妙な金額だね。そう、だから、最初は1000円だったん	・これは、「中途半端」といった意味であろう。
7	女性 10 代後半 2001 data072	市ヶ谷かー。そうそうそうそうふーん。うーん。どうなんだー。微妙に遠いね。微妙に遠いっちゃ遠いよね。ほんとだよ。ねえ。そっかーBとかだったら	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
8	女性 10 代後半 2001 data072	本当だよー。超悔しかった。結構微妙だしねー、あの授業。ねー超微妙だよ。しかも。私でさえも微妙だとたまに思うもん。うんー、土曜	・(形容動詞)述語文。
9	女性 10 代後半 2001 data072	微妙だしねー、あの授業。ねー超微妙だよ。しかも。私でさえも微妙だとたまに思うもん。うんー、土曜日なのにさー、土曜日の1	・(形容動詞)述語文。
10	女性 10 代後半 2001 data072	が出てるときだったら。でも。おお。明日来る?あつ、わかかんない。微妙。私、あつ、でも明日は、明日は行くわ。あつ、そうあのあの	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。「あつ、わかかんない。微妙。」と言った直後に「明日は行くわ。」と言

第6章 微妙

			い直している。心理的に揺れているさまを「微妙」で表現しているか。若干マイナス評価性か。
11	女性 10代後半 2001 data072	浅草でしょう？行ったことない。どうなん？花屋敷、超微妙だよ。あ、微妙なの。うん。超、超ちっちゃいの。あつ、そうなんもうねー、怖い	・「超ちっちゃい」という表現からするとマイナス評価性。
12	女性 10代後半 2001 data072	そううん、なんか、アメリカの国旗みたいなシャツ着てるしさー。へえー超微妙だった。うそストライプ？うん、そうそう。	・(形容動詞)述語文。
13	男性 10代後半 2002 data119	を使いながら言うと思う。でもNもね、あんま得意じゃない、俺。微妙になんかねえ、N変なところがあるんだって、すげえ。なんか不能	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「変な」にかかるか。
14	女性 10代後半 2002 data125	うん何かね、北海道にも函館弁はまた何か違うのがあってー。微妙に変わるのかな。ちょっと何か、浜言葉ってー、わかりづらいついて言った。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。評価性は中立。
15	女性 10代後半 2001 data077	なんか、なんかさ。大丈夫？大丈夫だよ。えっ？えっ？微妙。赤いのが出なくなった。だね。うん。ま、あとから聞いて	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。
16	女性 10代後半 2002 data085	解約しちゃうの。何かねー、お金ないって切ないね、微妙に。何か、悟ったんだけど、今。そうそうそう、ね。	・形容動詞連用形。
17	女性 20代前半 2001 data087	スプーンある？うん。やろうか。うん、大丈夫。ありがと。ちょっと、油っこい。微妙だね、これね。俺油っこいの好きやからいいけど。ふんふんふんまずくは	・(形容動詞)述語文。
18	女性 20代前半 2002 data127	江戸っ子が話してるようななんかその変な空間。ああわかる。微妙な。微妙ーな。うん。はあー。もうだからとにかく疲労が、疲労がたまってるんです	・「その変な空間」「だからとにかく疲労が」という表現からするとマイナス評価性。
19	男性 20代後半 2001 data025	言うたら、Lさん側。L派そうやる。ああ、なるほどね、そういう微妙な。ああ、じゃ、言うに言えないって感じ。あつ。飲み過ぎ。言うに	・形容動詞連体形。
20	女性 20代後半 2001 data049	1400円ってこと？うんあつ、そうだね。あ、でも、微妙に違うじゃん、なんか。***やっぱ、ケーキしか。これ何、あ、	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。評価性は中立。
21	女性 20代後半 2001 data067	何にしよー。アイスティーかな。あたしどうしようかなー。微妙におなか空いたけど、我慢しよ。サンドイッチ食べれば？うーん何か、まずそうな	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
22	女性 20代後半 2001 data003	やって諦めるしかないよね。ないよね。どっか空いてないかな。微妙に空いてないね。うんくそっ。これN君の車？	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
23	女性 20代後半 2001 data021	ほんでさーなんかさー、あの一、これ気になるね。うん。***微妙だね、これね。そうそう、そんでー、なんかコンピュータをーパソコンを4月	・(形容動詞)述語文。
24	男性 20代後半 2001 data025	くってやると、こう、ぷるっ、ぷるっ、ぷるって、こう、どんどんどんこう、微妙に見ててわかんないけど、ずらすわけよ。ここね、ここね押しつけながらね	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
25	女性 30代前半 2002 data053	そいでこっちはごめんなさいと思いつづけるっていう感じで。ほーほー、微妙な言い回しなんだ。なかなか、つらいものがある。なるほどねー。やっぱりさ、で	・形容動詞連体修飾。

26	女性 30 代後半 2002 data113	ないから。ええだから、こう、こういう***。こぼしちゃう？あ、微妙。こぼしそぎりぎりまでいってこぼれない。赤も、こういう***人が	・単独で現れる「微妙」。間投詞的。
27	男性 40 代後半 2002 data090	フランスやったらそんな子ども遊べないし。だけどあんた、公園デビューていうやつは微妙やで。だってほんまに集合体としてやってるんやったらデビューもへったくれ	
28	女性 50 代前半 data085	いくらぐらいいるの？よくわかんないな。ね。8万***。微妙、あなたも微妙なとこだね。微妙なところ。私は。ほんとに微妙な	

6.9.9 2020年9月の1ヶ月間（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

本項では、「微妙」、および、カタカナ表記「ビミョー」について、近年における傾向をみるために、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による直近1ヶ月間の朝日新聞記事の検索を行った(2020/10/26時点)。期間は、2020年9月1日から2020年9月30日までの1ヶ月間とした¹⁴⁹。検索条件は、「朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA」／キーワード:「微妙」および「ビミョー」／発行日:「2020/09/01 から 2020/09/30」／その他指定なしとした。「微妙」の検索結果数は、全26件であった。

まず、朝日新聞関連記事上における2020年9月、1ヶ月間の「微妙」、2019年10月から1年間の「ビミョー」の実例を概観すると、結果として以下のような傾向と特徴がみられた。

- ・主な形式として三つ挙げられる。「微妙な～」という形容動詞連体修飾の形式、「微妙に+用言」という形容動詞連用修飾（副詞的用法）の形式、「～が（は）微妙。」という形容動詞語幹で言い切る（形容動詞）述語文の形式、である。中でも比較的多いのが、形容動詞連体修飾の形式と形容動詞連用修飾（副詞的用法）の形式である。
- ・「微妙」と共起しやすい語として、「変化」「違い」「異なり」「加減」「ずれ」「揺れ」「状況」「反応」「問題」等が挙げられる。中でも「変化／変わる」「違い／違う」が共起する例が比較的多い。
- ・「微妙」について、直近1ヶ月間の例においても、美術工芸品に対して使われる「微妙」が現れる。これはたいていがプラス評価性である。
- ・直近1年間におけるカタカナ表記「ビミョー」の検索結果数は、2件のみであった。

¹⁴⁹ ただし、「ビミョー」については検索結果数が少ないため、発行日を2019年10月から1年間（2019/10/01 から 2020/09/30 まで）に変更した。検索結果数は2件であった。

したがって、「ビミョー」は、新聞紙上ではあまり使われない表現であることが示唆される。

続いて、以下に「微妙」および「ビミョー」の実例を表にして時系列でまとめた。

6.9.9.1 検索語：「微妙」（全26件より抜粋）（2020/10/26時点）

図表 6.33：「微妙」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年9月の1ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 09月01日 朝刊 囲碁将棋	揺れる形勢 第78期将棋名人戦七番勝負 第5局第7譜 5人銀で応えた豊島もさすがだった。局面はぎりぎりのところで均衡が保たれている。さすが名人戦という戦いだ、形勢はここから微妙に揺れる。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
2	2020年 09月01日 朝刊 秋田全県 ・1地方	（キラリ 秋田の企業）秋田今野商店 大仙市 /秋田県 ■育種に5カ月 今野社長は「当社の核は菌の育種と培養の技術です」と話す。菌は話さないが、においを発したり色を変えたり温度を上げ下げしたりして自己主張する。「その微妙な変化を体感して判断することが、菌を扱う上で大切。いわば、菌と対話できる職人の技が生きている業界です」。	・形容動詞連体修飾。
3	2020年 09月02日 朝刊 群馬全県 ・1地方	太田市長、党員抜き総裁選批判 /群馬県 安倍政権の評価は「成果はないけど安定はしていた」と微妙。国民への布マスク配布や1人10万円の定額給付金を例に、「自治体を上手に使えばもっとうまくいったのでは。自治体への理解が足りなかった」などとした。	・形容動詞語幹。
4	2020年 09月02日 朝刊 播磨 ・1地方	夢前の味、浮かべて7種 ご当地ソフトでフロート /兵庫県 このうち「たつの醤油（しょうゆ）もろみ+ウーロン茶」は、味も香りも「微妙」だが、何とも言えない味で話題性が見込めると販売を決めた。	・（形容動詞）述語文。
5	2020年 09月03日 夕刊 夕刊F 木曜2面	見つめ直して、再び立つ舞台 P・シェーファーの3人芝居、2作連続上演 ■気負いなく、心は静かに 「あなたの目」小林聡美 年上の夫との夫婦生活に迷いが出始めた妻を演じる。「夫婦の微妙な普遍的な問題で、いまも皆さんに共感していただける内容です」。想像とは違う結婚生活への戸惑い、焦り。「初めは刺激的で楽しかったことが、時間が経つと負担になってくる。	・形容動詞連体修飾。
6	2020年 09月07日 朝刊 2総合	3氏の言葉、にじむ政治姿勢は 菅氏・石破氏・岸田氏 自民党総裁選 菅氏はかつて小渕派や古賀派に所属していたが、09年から無派閥に。派閥には否定的な考えを示し、10年4月の自らのブログでは「（自民党は）思い切った『世代交代』、『派閥解消』の断行、そして執行部の人事刷新が必要」と指摘した。だが、総裁選で計5派閥から支持を受け、発言は微妙に変化している。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
7	2020年 09月09日 朝刊 愛媛全県 ・1地方	四万十川「恋の石」の秘密 何度倒れても起き上がるのは… /愛媛県 ■高さ45センチ、重さ15キロ 半家沈下橋は毎年秋に開催される四万十川ウルトラマラソンのコースだ。取材した昨年10月20日に奇妙な石に気づいた。翌11月、今年2月、3月、6月と気になって何度も見に行った。地元の話では、大雨や嵐だとその石はひっくり返るらしい。だが観察していくと石は起き上がっていた。方向や位置が微妙に変わっていた。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
8	2020年	（評・映画）「窮鼠はチーズの夢を見る」 主演2人、佇まいと表情	・形容動詞連

第6章 微妙

	09月11日 夕刊 夕刊F 金曜2面	と 大倉扮する大伴は節操のない女性遍歴を持つ会社員。成田扮する今ヶ瀬は大学時代の後輩で興信所の探偵。大伴は自分の浮気調査をしていた今ヶ瀬と7年ぶりに再会し、「学生時代からずっと好きだった」と告白される。あっさり妻と離婚した大伴の家に転がり込む今ヶ瀬。彼の思いを受け入れる大伴。しかし、不倫相手や昔の恋人、後輩女子社員が介在し、2人の関係が微妙に変わっていく。	用修飾。副詞的用法。
9	2020年 09月11日 夕刊 夕刊F 金曜2面	(プレミアムシート)「ミッドウェイ」表の爆撃、裏の情報戦 真珠湾攻撃とミッドウェー海戦。太平洋戦争の前半における日米の激突が題材で、二つの戦いが迫力満点で描かれるが、そのあり方が微妙に異なるものを体現して興味深い。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
10	2020年 09月11日 朝刊 1道	懐かしの映画看板、再び 旭川の藤林さん、半世紀ぶりに絵筆 / 北海道 「構図に自分で手を加えることは許されない」。それでも職人の腕は、原画の色に合わせて塗る「色合わせ」で問われた。遠くから見ても迫力が伝わるよう、陰影を強調した。女性の顔は微妙な色の違いで別人に見えてしまうこともあり、細心の注意を払った。	・形容動詞連体修飾。
11	2020年 09月14日 夕刊 夕刊解説	(現場へ!) オンライン進化論: 1 会う? 会わない? 揺れる社会 百木によると、政治思想家のハンナ・アーレント(1906~75)は著書「人間の条件」で、異なる意見を持つ人々が同じ空間に集い、議論することが公共性であると指摘している。しかし、オンラインのやりとりでは相手の微妙な反応がわからず、立場や意見が違う間柄だと互いの距離感を埋めにくい。いきおい、親しい者どうしでの対話に傾きがちな。「多様な意見を反映させる議論が難しくなる」と百木は語る。	・形容動詞連体修飾。
12	2020年 09月15日 朝刊 1外報	中国・EU首脳会議「投資協定で進展」 香港問題、懸念伝える EU議長 中国と欧州連合(EU)の首脳が14日、テレビ会議方式で会談した。米国との対立が激しくなる中国、多国間主義を旗印にするEU。ともに協力の必要性を感じつつも、香港や台湾の問題では相いれない。経済や環境での協力を議論する首脳会議は、微妙な間合いをはかる場にもなった。	・形容動詞連体修飾。
13	2020年 09月16日 夕刊 夕刊解説	(取材考記) シンガポール、コロナ禍でビザ条件厳しく 外国人の雇用バランス、日本も議論を 西村宏治 外国人を受け入れたから繁栄し、生活水準も上がった——。そんな考え方は、この国では広く共有されている。おかげで国民の不満も極端な外国人排斥にはつながらず、政府は外国人と国民の雇用のバランスを取る微妙なかじ取りができていくように思う。	・形容動詞連体修飾。
14	2020年 09月19日 朝刊 岡山全県 ・1地方	高梁市長選は無投票公算大 あす告示、市議選も / 岡山県 市長選には、4選を目指す現職の近藤隆則氏(61)のほかに立候補の動きはなく、無投票となる公算が大きい。市議選については立候補予定者説明会に19陣営が参加し、他に1人が準備を進めているが、選挙戦になるかどうかは微妙な状況だ。投開票は27日。	・形容動詞連体修飾。
15	2020年 09月19日 朝刊 宮城全県 ・2地方	みちのく歌壇・俳壇・柳壇 / 東北・共通 ■みちのく柳壇 木田比呂朗選 コロナ禍に付かず離れず微妙な間(能代市) 相沢統一	・形容動詞連体修飾。
16	2020年 09月23日 夕刊 夕刊F 水曜2面	(時代の栞)「宮本武蔵」 1939年刊・吉川英治 庶民の生きる指針となった剣豪 武蔵の名を高める一因となった数々の水墨画も、同一人物の画(え)とは考えられないほど技術や作風に隔たりがある。「正面達磨(だるま)図」など、武蔵自身のものである可能性が高い作品に共通するのは、「ゆっくりとした運筆による頼りなげな描線と、未熟さを残す水墨法の醸し出す微妙な味わい」(大倉さん)という。	・形容動詞連体修飾。美術工芸品に対して使われる「微妙」。プラス評価性。
17	2020年 09月23日 朝刊	東日大昌平が初優勝 学法石川も東北大会へ 秋季県高校野球 / 福島県 特に効果的だったのはツーシーム。「1週間前にブルペンで握りを	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。

第6章 微妙

	福島全県 ・1地方	変えてみたら投げられた。これは使えるって、練習したんです」。直球と同じ速度で微妙に変化する球に、強打の福島商打線は翻弄(ほんろう)された。	
18	2020年 09月24日 朝刊 2道	(北の文化) 北海道のザンネン：2 浮穴みみ /北海道 函館の海上に、ぼっかり浮いた人工島がある。橋で陸地とつながっている。 場所も微妙に近い。形もやや似ている。それはまるで、弁天台場ではないか。だが、違った。緑の島という埋立地、函館港のシンボル緑地だそうである。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
19	2020年 09月26日 朝刊 週末be ・b05	(のちゃんのDO科学) 平均寿命はどう計算するの？ 先生 そうね。次(つぎ)にこの死亡率をもとに「ちょうど10歳の方が次の1年間(ねんかん)に死亡する確率(かくりつ)」を出します。これは実際(じっさい)に死んだ人の割合(わりあい)とは微妙(びみょう)に違(ちが)うもので、いろいろな公式(こうしき)を使って計算するの。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
20	2020年 09月26日 夕刊 1社会	ワタシ、実は新種のエイでした かがしま水族館、気づかず20年超 【西部】 かがしま水族館(鹿児島市本港新町)が開館当初から20年以上も「トンガリサカタザメ」として展示してきたエイが、実は新種のエイだったことがわかった。頭の「トンガリ具合」などがトンガリサカタザメとは微妙に違い、飼育員は「だれも気づきませんでした」と話している。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。
21	2020年 09月26日 朝刊 囲碁将棋	悪手 第79期将棋名人戦A級順位戦2回戦 第6局第4譜 午後9時過ぎ。形勢は微妙だ。控室の村山七段は「稲葉さんがうまく粘っている」と言っていた。	・(形容動詞)述語文。
22	2020年 09月26日 朝刊 鹿児島全県 ・1地方	20年展示のエイ、実は新種 かがしま水族館 「モノノケトンガリサカタザメ」/鹿児島県 トンガリサカタザメと比べて、三角形のトンガリ具合に鋭さがなく、二つの背びれの先端もやや丸く、胸びれの中央に黒色斑があるという。いずれも「微妙な違い」で、一般の人には判別は難しいという。	・形容動詞連体修飾。
23	2020年 09月27日 朝刊 備後 ・1地方	(びんご案内人) 尾道暮らし：鴻上和雄さん まかせて安心、仕入れ先 /広島県 そばは、そば粉と水、そば打ちの道具で作ります。そばつゆは、しょうゆと砂糖、みりんで「かえし」をつくって寝かせておき、昆布とカツオでとった出汁(だし)と合わせれば出来上がりです。こう書くとシンプルな作業ですが、加減が微妙なところがいろいろあって気を遣います。	・形容動詞連体修飾。
24	2020年 09月28日 朝刊 オピニオン 2	(社説) 日中首脳対話 原則貫き重層的関係を 米国の同盟国である一方、経済では中国と結びつきが深い。そんな立場の日本は今後さらに微妙なバランスが求められる。	・形容動詞連体修飾。
25	2020年 09月28日 朝刊 北海道総合	河野北方相、領土解決に意欲 根室訪問、元島民らと微妙なずれも /北海道 地元首長や北方四島の元島民らとの懇談では、SNSを使った若者への領土問題の発信強化や、今年は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった四島との交流事業の再開に意欲を示した。だが、問題解決の手法などでは、元島民らとの間で微妙なずれも見られた。	・形容動詞連体修飾。
26	2020年 09月29日 朝刊 新潟全県 ・1地方	渡辺選手が骨折、J2アルビ 今季7得点 サッカー /新潟県 試合中に負傷したとみられ、後半32分に交代を求めるしぐさを見せ、直後にベンチに下がった。12月20日の大宮との今季最終戦までに復帰できるか微妙という。	・(形容動詞)述語文。

6.9.9.2 検索語：「ビミョー」（全2件／2019年10月から1年間）（2020/10/28時点）

図表 6.34：「ビミョー」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2019年10月から1年間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 02月19日 朝刊 名古屋共通 ・地域総合	(ママ記者・川村真貴子のもふもふ教育コラム) 子どもの発熱 登校・登園、周囲への感染考えて／東海・共通 親にとって悩ましいのは、子どもが前日に高熱を出したり朝に微熱があったりした時に学校や幼稚園、保育園に登校、登園させるかということ。共働きの家庭では、子どもが出かけられるかどうかは重大な問題です。「ビミョーに体調不良」の子どもを送り出すか、休ませるか。皆さんはどう判断されていますか。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。ただし「体調不良」にかかる。
2	2020年 09月10日 朝刊 名古屋共通 ・地域総合	東海柳壇 なかはられいこ選 /東海・共通 ハエタタキ分かんねえだろ君達は(瀬戸市) 中川喜代子 【評】笑った。ハエタタキを見て「これ、なに？」と訊く青少年の姿があたまに浮かぶ。これで蠅を叩いて潰すのだよ、と説明したら、最近のやたら清潔好きな若者たちに「ぎゃー」とか叫ばれそう。「分かんねえだろ」には皮肉やら自虐やらがビミョーに含まれていて、そこも魅力的。傑作とはこんな作品のことだと思ふ。	・形容動詞連用修飾。副詞的用法。「含まれて」にかかるため、評価性は中立。

6.9.10 中国古典籍（中国哲学書電子化計画：先秦兩漢）

「先秦兩漢」期における、「微妙」の検索結果数は、全28件であった。なお、「微妙」の異体字「微眇」の検索結果数は、全16件であった。以下に、「中国哲学書電子化計画」、「先秦兩漢」期における「微妙」および「微眇」の実例を表にして示した。まず、検索結果の例文の冒頭、「打開字典」をクリックすると、個々の漢字の意味が英文で示される。該当字（「微」「妙」「眇」）の意味記述について、以下の図表に示した（日本語訳は筆者による）。

図表 6.35：「中国哲学書電子化計画」内「字典」における「微」「妙」「眇」の意味記述

語	意味記述
微	small (小さい; (数量が)少ない; 取るに足りない; 卑劣な), prefix micro- (接頭辞: 「小」「微」), trifling (くだらない、取るに足りない; わずかな)
妙	mysterious (不可解な、奇怪な、なぞめいた、神秘的な、不思議な), subtle (微妙な、細かい; かすかな; 難解な; 鋭敏な; 巧みな、器用な; 策略のうまい、陰険な、ずるい); exquisite (絶妙な、実にみごとな、精巧な; (感覚などが)鋭敏な; (趣味などが)洗練された; (苦痛・快感などが)強烈な)
眇	blind in one eye (片目が見えない); minute (極めて小さい、微小な、微細な、細かい、わずかな), minuscule (極小の、非常に小さい、極めて小さい)

以上、概観すると、まず、「微」についてはマイナス評価性の要素がやや強いようでもある。ただし、“small (小さい)”については場合によってはプラス評価性を帯びることもありうる。一方、「妙」については英訳が“mysterious”、“subtle”、“exquisite”とあり、三

語ともに反義併存的要素があることがわかる。「眇」については“minute”、“minuscule”とあり、極小さに焦点が置かれているようである。

続いて、以下に「中國哲學書電子化計劃」、「先秦兩漢」からの「微妙」および「微眇」の実例を表にして示した。なお、原典のテキスト表示にならば、表記は中国語繁体字を基本とした。ただし、明朝体でない字形の場合、他の書体で代替している場合がある。得られた実例は、検索結果の順序通りに並べた。したがって、必ずしも完全な通時順とはなっていない場合もある。検索結果数については、延べ数を示したものである。一作品中に複数の該当例がある場合もあるため、下表の実例数とは一致しないこともある。

6.9.10.1 検索語：「微妙」（全 28 件）（2021/01/15 時点）

図表 6.36：「微妙」の実例（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《先秦兩漢》 《儒家》 《荀子》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《議兵》 11	故齊之技擊，不可以遇魏氏之武卒；魏氏之武卒，不可以遇秦之銳士；秦之銳士，不可以當桓文之節制；桓文之節制，不可以敵湯武之仁義；有遇之者，若以焦熬投石焉。兼是數國者，皆干賞蹈利之兵也，傭徒鬻賣之道也，未有貴上安制綦節之理也。諸侯有能微妙之以節，則作而兼殆之耳。故招近募選，隆執詐，尚功利，是漸之也；禮義教化，是齊之也。故以詐遇詐，猶有巧拙焉；以詐遇齊，辟之猶以錐刀墮太山也，非天下之愚人莫敢試。故王者之兵不試。湯武之誅桀紂也，拱挹指麾，而強暴之國莫不趨使，誅桀紂若誅獨夫。	
2	《先秦兩漢》 《儒家》 《春秋繁露》 [西漢] 紀元前 206-9 年 董仲舒著 《同類相動》 1	今平地注水，去燥就濕，均薪施火，去濕就燥。百物去其所與異，而從春所與同，故氣同則會，聲比則應，其驗然也。試調琴瑟而錯之，鼓其宮則他宮應之，鼓其商而他商應之，五音比而自鳴，非有神，其數然也。(中略)天有陰陽，人亦有陰陽。天地之陰氣起，而人之陰氣應之而起，人之陰氣起，而天地之陰氣亦宜應之而起，其道一也。明於此者，欲致雨則動陰以起陰，欲止雨則動陽以起陽，故致雨非神也。而疑於神者，其理微妙也。非獨陰陽之氣可以類進退也，雖不祥禍福所從生，亦由是也。無非己先起之，而物以類應之而動者也。故聰明聖神，內視反聽，言為明聖，內視反聽，故獨明聖者知其本心皆在此耳。故琴瑟報彈其宮，他宮自鳴而應之，此物之以類動者也。其動以聲而無形，人不見其動之形，則謂之自鳴也。又相動無形，則謂之自然，其實非自然也，有使之然者矣。物固有實使之，其使之無形。	
3	《先秦兩漢》 《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年 王充著 《骨相》 22	有傳孔子相澹臺子羽、唐舉占蔡澤不驗之文，此失之不審。何隱匿微妙之表也。相或在內，或在外；或在形體，或在聲氣。察外者，遺其內；在形體者，亡其聲氣。孔子適鄭，與弟子相失，孔子獨立鄭東門。鄭人或問子貢曰：「東門有人，其頭似堯，其項若皋陶，肩類子產。然自腰以下，不及禹三寸，僂僂若喪家之狗。」子貢以告孔子，孔子欣然笑曰：「形狀未也，如喪家狗，然哉！然哉！」夫孔子之相，鄭人失其實。鄭人不明，法術淺也。孔子之失子羽，唐舉惑於蔡澤，猶鄭人相孔子，不能具見形狀之實也。以貌取人，失於子羽；以言取人，失於宰予也。	
4	《先秦兩漢》 《儒家》 《論衡》 [東漢]80 年	儒者說五經，多失其實。前儒不見本末，空生虛說；後儒信前師之言，隨舊述故，滑習辭語，苟名一師之學，趨為師教授，及時蚤仕，汲汲競進，不暇留精用心，考實根核。故虛說傳而不絕，實事沒而不見，五經並失其實。《尚書》、《春秋》事較易，略正題	

第 6 章 微妙

	王充著 《正說》 1	目羸粗之說，以照篇中微妙之文。	
5	《先秦兩漢》 《道家》 《道德經》 [戰國] 紀元前 475-221 年 [又名：《老子》] 15	古之善為士者，微妙玄通，深不可識。夫唯不可識，故強為之容。豫兮若冬涉川；猶兮若畏四鄰；儼兮其若容；渙兮若冰之將釋；敦兮其若樸；曠兮其若谷；混兮其若濁；孰能濁以靜之徐清？孰能安以久動之徐生？保此道者，不欲盈。夫唯不盈，故能蔽不新成。	
6	《先秦兩漢》 《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 [又名：《通玄真經》] 《道原》 6	老子曰：夫人從欲失性，動未嘗正也，以治國則亂，以治身則穢，故不聞道者，無以反其性，不通物者，不能清靜。(中略)廣厚有名，有名者貴全也；儉薄無名，無名者賤輕也；殷富有名，有名尊寵也；貧寡無名，無名卑弱也；雄牡有名，有名者章明也；雌牝無名，無名者隱約也；有餘者有名，有名者高賢也；不足者無名，無名者任下也。有功即有名，無功即無名，有名產於無名，無名者有名之母也，天之道有無相生也，難易相成也。是以聖人執道，虛靜微妙以成其德，故有道即有德，有德即有功，有功即有名，有名即復於道，功名長久，終身無咎，王公有功名，孤寡無功名，故曰聖人自謂孤寡，歸其根本。功成而不有，故有功以為利，無名以為用。	
7	《先秦兩漢》 《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 [又名：《通玄真經》] 《精誠》 13	老子曰：大道無為，無為即無有，無有者不居也，不居者即處無形，無形者不動，不動者無言也，無言者即靜而無聲無形，無聲無形者，視之不見，聽之不聞，是謂微妙，是謂至神，「綿綿若存」，「是謂天地根。」道無聲，故聖人強為之形，以一句為名天地之道。大以小為本，多以少為始，天子以天地為品，以萬物為資，功德至大，勢名至貴，二德之美與天地配，故不可不軌大道以為天下母。	
8	《先秦兩漢》 《道家》 《文子》 [東漢-晉] 212-231 年 [又名：《通玄真經》] 《九守》 《守弱》 1	老子曰：天子公侯以天下一國為家，以萬物為畜，懷天下之大，有萬物之多，即氣實而志驕，大者用兵侵小，小者倨傲凌下，用心奢廣，譬猶飄風暴雨，不可長久。是以聖人以道鎮之，執一無為而不損沖氣，見小守柔，退而勿有，法於江海，江海不為，故功名自化，弗強，故能成其王，為天下牝，故能神不死，自愛，故能成其貴，萬乘之勢，以萬物為功名，權任至重，不可自輕，自輕則功名不成。夫道，大以小而成，多以少為主，故聖人以道邪天下，柔弱微妙者見小也，儉嗇損缺者見少也，見小故能成其大，見少故能成其美。天之道，抑高而舉下，損有餘奉不足，江海處地之不足，故天下歸之奉之，聖人卑謙，清靜辭讓者見下也，虛心無有者見不足也，見下故能致其高，見不足故能成其賢，矜者不立，奢者不長，強梁者死，滿溢者亡，飄風暴雨不終日，小谷不能須臾盈，飄風暴雨行強梁之氣，故不能久而滅，小谷處強梁之地，故不得不奪，是以聖人執雌牝，去奢驕，不敢行強梁之氣，執雌牝，故能立其雄牡，不敢奢驕，故能長久。	
9	《先秦兩漢》 《道家》 《文始真經》 [又名：《關尹子》] 《五鑑》 5	關尹子曰：「知心無物，則知物無物；知物無物，則知道無物。知道無物，故不尊卓絕之行，不驚微妙之言。」	
10	《先秦兩漢》 《道家》 《老子河上公章句》 《道經》 《成象》 1	谷神不死，谷，養也。人能養神則不死也。神，謂五臟之神也。肝藏魂，肺藏魄，心藏神，腎藏精，脾藏志，五藏盡傷，則五神去矣。是謂玄牝。言不死之有，在於玄牝。玄，天也，於人為鼻。牝，地也，於人為口。天食人以五氣，從鼻入藏於心。五氣輕微，為精、神、聰、明、音聲五性。其鬼曰魂，魂者雄也，主出入於人鼻，與天通，故鼻為玄也。地食人以五味，從口入藏於胃。五味濁辱，為形、骸、骨、肉、血、脈六情。其鬼曰魄，魄者雌也，主出入於人口，與地通，故口為牝也。玄牝之門，是謂天地根。	

第6章 微妙

		根，元也。言鼻口之門，是乃通天地之元氣所從往來也。綿綿若存，鼻口呼噓喘息，當綿綿微妙，若可存，復若無有。用之不勤。用氣當寬舒，不當急疾勦勞也。	
11	《先秦兩漢》 《道家》 《老子河上公章句》 《道經》 《顯德》 1	古之善為士者，謂得道之君也。微妙玄通，玄，天也。言其志節玄妙，精與天通也。深不可識。道德深遠，不可識知，內視若盲，反聽若聾，莫知所長。夫唯不可識，故強為之容。謂下句也。與兮若冬涉川；舉事輒加重慎與。與兮若冬涉川，心難之也。猶兮若畏四鄰；其進退猶如拘制，若人犯法，畏四鄰知之也。儼兮其若容；如客畏主人，儼然無所造作也。渙兮若冰之將釋，渙者，解散。釋者，消亡。除情去欲，日以空虛。敦兮其若朴，敦者，質厚。朴者，形未分。內守精神，外無文采也。	
12	《先秦兩漢》 《道家》 《老子河上公章句》 《道經》 《巧用》 1	聖人不賤名而貴玉視之如一。是謂襲明。聖人善救人物，是謂襲明大道。故善人者，不善人之師；人之行善者，聖人即以為人師。不善人者，善人之資。資，用也。人行不善者，聖人猶教導使為善，得以給用也。不貴其師，獨無輔也。不愛其資無所使也。雖智大迷，雖自以為智。言此人乃大迷惑。是謂要妙。能通此意，是謂知微妙要道也。	
13	《先秦兩漢》 《道家》 《老子河上公章句》 《道經》 《聖德》 1	道常無名，道能陰能陽，能弛能張，能存能亡，故無常名也。樸雖小，天下莫能臣也。道樸雖小，微妙無形，天下不敢有臣使道者也。侯王若能守之，萬物將自賓。侯王若能守道無為，萬物將自賓，服從於德也。天地相合，以降甘露，侯王動作能與天相應和，天即降下甘露善瑞也。民莫之令而自均。天降甘露善瑞，則萬物莫有教令之者，皆自均調若一也。始制有名，始，道也。有名，萬物也。道無名能制於有名，無形，能制於有形也。名亦既有，既，盡也。有名之物，盡有情欲，叛道離德，故身毀辱也。	
14	《先秦兩漢》 《法家》 《韓非子》 [戰國] 紀元前 475-221 年 [又名：《韓非》]， 《韓子》] 《五蠹》 9	且世之所謂賢者，貞信之行也。所謂智者，微妙之言也。微妙之言，上智之所難知也。今為眾人法，而以上智之所難知，則民無從識之矣。故糟糠不飽者不務梁肉，短褐不完者不待文繡。夫治世之事，急者不得，則緩者非所務也。今所治之政，民間之事，夫婦所明知者不用，而慕上知之論，則其於治反矣。故微妙之言，非民務也。若夫賢良貞信之行者，必將貴不欺之士。不欺之士者，亦無不欺之術也。布衣相與交，無富厚以相利，無威勢以相懼也，故求不欺之士。今人主處制人之勢，有一國之厚，重賞嚴誅，得操其柄，以修明術之所燭，雖有田常、子罕之臣，不敢欺也，奚待於不欺之士？今貞信之士不盈於十，而境內之官以百數，必任貞信之士，則人不足官，人不足官則治者寡而亂者眾矣。故明主之道，一法而不求智，固術而不慕信，故法不敗，而群官無姦詐矣。	
15	《先秦兩漢》 《法家》 《商君書》 [戰國] 紀元前 475-221 年 [又名：《商子》] 《定分》 6	夫微妙意志之言，上智之所難也。夫不待法令繩墨而無不正者，千萬之一也，故聖人以千萬治天下。故夫智者而後能知之，不可以為法，民不盡智。賢者而後知之，不可以為法，民不盡賢。故聖人為法，必使之明白易知。名正，愚智遍能知之。為置法官，置主法之吏，以為天下師，令萬民無陷於險危。故聖人立天下而無刑死者，非不刑殺也，法令明白易知，為置法官吏為之師以道之知。萬民皆知所避就；避禍就福，而皆以自治也。故明主因治而治之，故天下大治也。	
16	《先秦兩漢》 《兵家》 《孫子兵法》 [春秋] 紀元前 515-512 年 孫武著 《用間》 3	故三軍之事，親莫親于間，賞莫厚于間，事莫密于間，非聖智不能用間，非仁義不能使間，非微妙不能得間之實。微哉，微哉，無所不用間也。間事未發而先聞者，間與所告者皆死。	・「字典」の項目に英訳あり。それによると、「微妙」は、「subtle」とある。
17	《先秦兩漢》 《兵家》 《六韜》 [戰國]	武王問太公曰：「律音之聲，可以知三軍之消息、勝負之決乎？」太公曰：「深哉！王之問也。夫律管十二，其要有五音：宮、商、角、徵、羽，此其正聲也，萬代不易。五行之神，道之常也，可以知敵。金、木、水、火、土，各以其勝攻之。古者，三皇之世，	

第 6 章 微妙

	紀元前 475-221 年 《龍韜》 《五音》 1	虛無之情以制剛彊。無有文字，皆由五行。五行之道，天地自然。六甲之分，微妙之神。其法：以天清淨，無陰雲風雨，夜半遣輕騎，往至敵人之壘，去九百步外，偏持律管當耳，大呼驚之。有聲應管，其來甚微。角聲應管，當以白虎；徵聲應管，當以玄武；商聲應管，當以朱雀；羽聲應管，當以勾陳；五管聲盡不應者，宮也，當以青龍。此五行之符，佐勝之徵，成敗之機。」 武王曰：「善哉！」	
18	《先秦兩漢》 《兵家》 《六韜》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《龍韜》 《五音》 2	太公曰：「微妙之音，皆有外候。」 武王曰：「何以知之？」 太公曰：「敵人驚動，則聽之；聞枹鼓之音者，角也；見火光者，徵也；聞金鐵矛戟之音者，商也；聞人嘯呼之音者，羽也；寂寞無聞者，宮也。此五者、聲色之符也。」	
19	《先秦兩漢》 《雜家》 《淮南子》 [西漢] 紀元前 206-9 年 [又名：《淮南》， 《鴻烈》] 《俶真訓》 7	夫道有經紀條貫，得一之道，連千枝萬葉。是故貴有以行令，賤有以忘卑，貧有以樂業，困有以處危。夫大寒至，霜雪降，然後知松柏之茂也。據難履危，利害陳於前，然後知聖人之不失道也。是故能戴大員者，履大方，鏡太清者視大明，立太平者處大堂。能遊冥冥者與日月同光。是故以道為竿，以德為綸，禮樂為鉤，仁義為餌，投之于江，浮之於海，萬物紛紛孰非其有。夫挾依於跂躍之術，提挈人間之際，揮揆挺捫世之風俗，以摸蘇牽連物之微妙，猶得肆其志，充其欲，何況懷環瑋之道，忘肝膽，遺耳目，獨浮游無方之外，不與物相弊撥，中徙倚無形之域，而和以天地者乎！若然者，偃其聰明，而抱其太素，以利害為塵垢，以死生為晝夜。	
20	《先秦兩漢》 《雜家》 《淮南子》 [西漢] 紀元前 206-9 年 [又名：《淮南》， 《鴻烈》] 《脩務訓》 8	夫純鉤、魚腸之始下型，擊則不能斷，刺則不能入，及加之以砥礪，摩其鋒鏑，則水斷龍舟，陸割犀甲。明鏡之始下型，矇然未見形容，及其粉以玄錫，摩以白旃，鬢眉微豪，可得而察。夫學，亦人之砥錫也，而謂學無益者，所以論之過。知者之所短，不若愚者之所修；賢者之所不足，不若眾人之有餘。何以知其然？夫宋畫吳冶，刻刑鏤法，亂修曲出，其為微妙，堯、舜之聖不能及。蔡之幼女，衛之稚質，桐纂組，雜奇彩，抑墨質，揚赤文，禹、湯之智不能逮。夫天之所覆，地之所載，包於六合之內，托於宇宙之間，陰陽之所生，血氣之精，含牙戴角，前爪後距，奮翼攫肆，岐行螭動之蟲，喜而合，怒而鬥，見利而就，避害而去，其情一也。	
21	《先秦兩漢》 《雜家》 《鬼谷子》 [戰國] 紀元前 475-221 年 《中經》 8	「守義」者，謂守以仁義，探心在內以合者也。探心，探得其主也。從外制內，事有繫，曲而隨之也。故小人比人，則左道而用之，至能敗家奪國。非賢智不能守家以義，不能守國以道，聖人所貴道微妙者，誠以其可以轉危為安，救亡使存也。	
22	《先秦兩漢》 《史書》 《史記》 [西漢] 紀元前 109-91 年 司馬遷著 《列傳》 《老子韓非列傳》 24	太史公曰：老子所貴道，虛無，因應變化於無為，故著書辭稱微妙難識。莊子散道德，放論，要亦歸之自然。申子卑卑，施之於名實。韓子引繩墨，切事情，明是非，其極慘礪少恩。皆原於道德之意，而老子深遠矣。	
23	《先秦兩漢》 《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445 年 《列傳》	後得赦出，復歷三卿，輒以疾辭，乞骸骨歸田里。詔拜中散大夫，遂杜門絕跡。每三公缺，朝廷皆屬意於祐，以譖毀不用。延篤貽之書曰：「昔太伯三讓，人無德而稱焉。延陵高揖，華夏仰風。吾子懷蘧氏之可卷，體甯子之如愚，微妙玄通，沖而不盈，蔑三光之明，未暇以天下為事，何其劭與！」	

第 6 章 微妙

	《黨錮列傳》 32		
24	《先秦兩漢》 《史書》 《後漢書》 [南北朝] 420-445 年 《志》 《律歷上》 18	音聲精微，綜之者解。元和元年，待詔候鍾律殷彤上言：「官無曉六十律以準調音者。故待詔嚴崇具以準法教子男宣，宣通習。願召宣補學官，主調樂器。」詔曰：「崇子學審曉律，別其族，協其聲者，審試。不得依託父學，以豐為聰。聲微妙，獨非莫知，獨是莫曉。以律錯吹，能知命十二律不失一，方為能傳崇學耳。」太史丞弘試十二律，其二中，其四不中，其六不知何律，宣遂罷。自此律家莫能為準施弦，候部莫知復見。熹平六年，東觀召典律者太子舍人張光等問準意。光等不知，歸閱舊藏，乃得其器，形制如房書，猶不能定其弦緩急，音不可書以時人，知之者欲教而無從，心達者體知而無師，故史官能辨清濁者遂絕。其可以相傳者，唯大推常數及候氣而已。	・「聲微妙」とあり、『今昔物語集』との接点もみられる。
25	《先秦兩漢》 《醫學》 《黃帝內經》 [戰國-西漢] 紀元前 475-9 年 《素問》 《脈要精微論》 4	岐伯曰：反四時者，有餘為精，不足為消。應太過，不足為精；應不足，有餘為消。陰陽不相應，病名曰關格。帝曰：脈其四時動奈何，知病之所在奈何，知病之所變奈何，知病乍在內奈何，知病乍在外奈何，請問此五者，可得聞乎。岐伯曰：請言其與天運轉大也。萬物之外，六合之內，天地之變，陰陽之應，彼春之暖，為夏之暑，彼秋之忿，為冬之怒，四變之動，脈與之上下，以春應中規，夏應中矩，秋應中衡，冬應中權。是故冬至四十五日，陽氣微上，陰氣微下；夏至四十五日，陰氣微上，陽氣微下。陰陽有時，與脈為期，期而相失，知脈所分，分之有期，故知死時。微妙在脈，不可不察，察之有紀，從陰陽始，始之有經，從五行生，生之有度，四時為宜，補寫勿失，與天地如一，得一之情，以知死生。是故聲合五音，色合五行，脈合陰陽，是知陰盛則夢涉大水恐懼，陽盛則夢大火燔灼，陰陽俱盛則夢相殺毀傷；上盛則夢飛，下盛則夢墮；甚飽則夢予，甚飢則夢取；肝氣盛則夢怒，肺氣盛則夢哭；短蟲多則夢聚眾，長蟲多則夢相擊毀傷。	
26	《先秦兩漢》 《出土文獻》 《郭店》 《老子甲》 5	古之善為士者，必微妙玄達，深不可識，是以為之頌：豫乎若冬涉川，猶乎其若畏四鄰，敢乎其若客，渙乎其若釋，屯乎其若樸，沌乎其若濁。孰能濁以靜者，將徐清。孰能牝以主者，將徐生。保此道者不欲尚涅。	

6.9.10.2 検索語：「微妙」（全 16 件）（2021/03/25 時点）

図表 6.37：「微妙」の実例（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《先秦兩漢》 《儒家》 《大戴禮記》 [東漢] 100-200 年 [又名:《大戴記》,《大戴禮》] 《禮察》 3	若夫慶賞以勸善，刑罰以懲惡，先王執此之正，堅如金石，行此之信，順如四時；處此之功，無私如天地爾，豈顧不用哉？然如曰禮云禮云，貴絕惡於未萌、而起信於微妙，使民日從善遠罪而不自知也。孔子曰：「聽訟，吾猶人也，必也使無訟乎。」此之謂也。	
2	《先秦兩漢》 《儒家》 《潛夫論》 [東漢] 102-167 年 王符著 《慎微》	夫積微成顯，積著成，鄂譽鄂譽；鄂致存亡，聖人常慎其微也。文王小心翼翼，成王夙夜敬止，思慎微妙，早防未萌，故能太平而傳子孫。	

第6章 微妙

<p>3</p>	<p>6 《先秦兩漢》 《法家》 《管子》 [戰國-漢] 紀元前 475-220 年 《水地》 5</p>	<p>人，水也。男女精氣合，而水流形。三月如咀，咀者何？曰五味。五味者何，曰五藏。酸主脾，鹹主肺，辛主腎，苦主肝，甘主心。五藏已具，而後生肉。脾生隔，肺生骨，腎生腦，肝生革，心生肉。五肉已具，而後發為九竅：脾發為鼻，肝發為目，腎發為耳，肺發為竅，五月而成，十月而生；生而目視耳聽心慮；目之所以視，非特山陵之見也，察於荒忽。耳之所聽，非特雷鼓之聞也，察於淑淑。心之所慮，非特知於羸羸也，察於微妙。故修要之精。</p>	<p>・「察於微妙」は、細かく調べる、といった意味か。検索結果例のうち、左の例が最古のものともみられる。</p>
<p>4</p>	<p>《先秦兩漢》 《雜家》 《淮南子》 [西漢] 紀元前 206-9 年 [又名:《淮南》,《鴻烈》] 《說山訓》 4</p>	<p>江河所以能長百穀者，能下之也。夫惟能下之，是以能上之。天下莫相憎於膠漆，而莫相愛於冰炭。膠漆相賊，冰炭相息也。牆之壞，愈其立也；冰之泮，愈其凝也，以其反宗。泰山之容，巍巍然高，去之千里，不見堦堦，遠之故也。秋豪之末，淪於不測。是故小不可以為內者，大不可以為外矣。蘭生幽谷，不為莫服而不芳。舟在江海，不為莫乘而不浮。君子行義，不為莫知而止休。夫玉潤澤而有光，其聲舒揚，渙乎其有似也。無內無外，不匿瑕穢，近之而濡，望之而隧。夫照鏡見眸子，微察秋毫，明照晦冥。故和氏之璧，隨侯之珠，出於山淵之精，君子服之，順祥以安寧，侯王寶之，為天下正。陳成子恒之劫子淵捷也，子罕之辭其所不欲，而得之所欲，孔子之見黏蟬者，白公勝之倒杖策也，衛姬之請罪於桓公，子見子夏曰：「何肥也？」魏文侯見之反被裘而負芻也，兒說之為宋王解閉結也，此皆微妙可以觀論者。</p>	
<p>5</p>	<p>《先秦兩漢》 《史書》 《史記》 [西漢] 紀元前 109-91 年 司馬遷著 《本紀》 《孝文本紀》 13</p>	<p>十一月晦，日有食之。十二月望，日又食。上曰：「朕聞之，天生蒸民，為之置君以養治之。人主不德，布政不均，則天示之以菑，以誠不治。乃十一月晦，日有食之，適見于天，菑孰大焉！朕獲保宗廟，以微妙之身託于兆民君王之上，天下治亂，在朕一人，唯二三執政猶吾股肱也。朕下不能理育群生，上以累三光之明，其不德大矣。令至，其悉思朕之過失，及知見思之所不及，句以告朕。及舉賢良方正能直言極諫者，以匡朕之不逮。因各飭其任職，務省繇費以便民。朕既不能遠德，故憫然念外人之有非，是以設備未息。今縱不能罷邊屯戍，而又飭兵厚衛，其罷衛將軍軍。太仆見馬遺財足，餘皆以給傳置。」</p>	
<p>6</p>	<p>《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名:《前漢》] 《紀》 《文帝紀》 14</p>	<p>十一月癸卯晦，日有食之。詔曰：「朕聞之，天生民，為之置君以養治之。人主不德，布政不均，則天示之災以戒不治。乃十一月晦，日有食之，適見于天，災孰大焉！朕獲保宗廟，以微妙之身託于士民君王之上，天下治亂，在予一人，唯二三執政猶吾股肱也。朕下不能治育群生，上以累三光之明，其不德大矣。令至，其悉思朕之過失，及知見之所不及，鈍以啟告朕。及舉賢良方正能直言極諫者，以匡朕之不逮。因各敕以職任，務省繇費以便民。朕既不能遠德，故貫然念外人之有非，是以設備未息。今縱不能罷邊屯戍，又飭兵厚衛，其罷衛將軍軍。太僕見馬遺財足，餘皆以給傳置。」</p>	<p>・左の例の原典は、上記“5”の《史記》とみられる。</p>
<p>7</p>	<p>《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名:《前漢》] 《紀》 《宣帝紀》 66</p>	<p>又曰：「朕微妙時，御史大夫丙吉、中郎將史曾、史玄、長樂衛尉許舜、侍中光祿大夫許延壽皆與朕有舊恩。及故掖庭令張賀輔導朕躬，修文學經術，恩惠卓異，厥功茂焉。詩不云乎？『無德不報。』封賀所子弟子侍中中郎將彭祖為陽都侯，追賜賀諡曰陽都哀侯。吉、曾、玄、舜、延壽皆為列侯。故人下至郡邸獄復作嘗有阿保之功，皆受官祿田宅財物，各以恩深淺報之。」</p>	<p>・「朕微妙時」とは、「朕(皇帝自称)が小さい時(幼少時)」といった意味なのであろうか。</p>
<p>8</p>	<p>《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111 年 [又名:《前漢》]</p>	<p>至孝成世，劉向總六曆，列是非，作五紀論。向子歆究其微妙，作三統曆及譜以說春秋，推法密要，故述焉。</p>	

第6章 微妙

	《志》 《律曆志》 《律曆志上》 22		
9	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《志》 《五行志》 《五行志上》 28	武帝建元六年六月丁酉，遼東高廟災。四月壬子，高園便殿火。董仲舒對曰：「春秋之道舉往以明來，是故天下有物，視春秋所舉與同比者，精微妙以存其意，通倫類以貫其理，天地之變，國家之事，粲然皆見，亡所疑矣。按春秋魯定公、哀公時，季氏之惡已執，而孔子之聖方盛。夫以盛聖而易孰惡，季孫雖重，魯君雖輕，其勢可成也。故定公二年五月兩觀災。兩觀，僭禮之物，天災之者，若曰，僭禮之臣可以去。	
10	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《志》 《藝文志》 70	《易》曰：「先王作樂崇德，殷薦之上帝，以享祖考。」故自黃帝下至三代，樂各有名。孔子曰：「安上治民，莫善於禮；移風易俗，莫善於樂。」二者相與並行。周衰俱壞，樂尤微妙，以音律為節，又為鄭衛所亂故無遺法。漢興，制氏以雅樂聲律，世在樂官，頗能紀其鏗鏘鼓舞，而不能言其義。六國之君，魏文侯最為好古，孝文時得其樂人竇公，獻其書，乃周官大宗伯之大司樂章也。武帝時，河間獻王好儒，與毛生等共采周官及諸子言樂事者，以作樂記，獻八佾之舞，與制氏不相遠。其內史丞王定傳之，以授常山王禹。禹，成帝時為謁者，數言其義，獻二十四卷記。劉向校書，得樂記二十三篇，與禹不同，其道浸以益微。	
11	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《傳》 《賈誼傳》 29	凡人之智，能見已然，不能見將然。夫禮者禁於將然之前，而法者禁於已然之後，是故法之所用易見，而禮之所為生難知也。若夫慶賞以勸善，刑罰以懲惡，先王執此之政，堅如金石，行此之令，信如四時，據此之公，無私如天地耳，豈顧不用哉？然而曰禮云禮云者，貴絕惡於未萌，而起教於微妙，使民日遷善遠罪而不自知也。孔子曰：「聽訟，吾猶人也，必也使毋訟乎！」為人主計者，莫如先審取舍；取舍之極定於內，而安危之萌應於外矣。安者非一日而安也，危者非一日而危也，皆以積漸然，不可不察也。	
12	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《傳》 《張湯傳》 22	彭祖又小與上同席研書，指欲封之，先賜爵關內侯。故安世深辭賀封，又求損守冢戶數，稍減至三十戶。上曰：「吾自為掖廷令，非為將軍也。」安世乃止，不敢復言。遂下詔曰：「其為故掖廷令張賀置守冢三十家。」上自處置其里，居家西門雞翁舍南，上少時所嘗游處也。明年，復下詔曰：「朕微妙時，故掖廷令張賀輔道朕躬，修文學經術，恩惠卓異，厥功茂焉。《詩》云：『無言不讎，無德不報。』其封賀弟子侍中關內侯彭祖為陽都侯，賜賀諡曰陽都哀侯。」時賀有孤孫霸，年七歲，拜為散騎中郎將，賜爵關內侯，食邑三百戶。安世以父子封侯，在位大盛，乃辭祿。詔都內別減張氏無名錢以百萬數。	・上記“7”の《宣帝紀》と一部重複する。
13	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《傳》 《魏相丙吉傳》 11	吉為人深厚，不伐善。自曾孫遭遇，吉絕口不道前恩，故朝廷莫能明其功也。地節三年，立皇太子，吉為太子太傅，數月，遷御史大夫。及霍氏誅，上躬親政，省尚書事。是時，掖庭宮婢則令民夫上書，自陳嘗有阿保之功。章下掖庭令考問，則辭引使者丙吉知狀。掖庭令將則詣御史府以視吉。吉識，謂則曰：「汝嘗坐養皇曾孫不謹督答，汝安得有功？獨渭城胡組、淮陽郭徵卿有恩耳。」分別奏組等共養勞苦狀。詔吉求組、徵卿，已死，有子孫，皆受厚賞。詔免則為庶人，賜錢十萬。上親見問，然後知吉有舊恩，而終不言。上大賢之，制詔丞相：「朕微妙時，御史大夫吉與朕有舊恩，厥德茂焉。詩不云虞？『亡德不報。』其封吉為博陽侯，邑千三百戶。」臨當封，吉疾病，上將使人加紼而封之，及其生存也。	・同じく、上記“7”の《宣帝紀》と一部重複する。
14	《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年	上封事曰：「臣聞公子季友有功於魯，大夫趙衰有功於晉，大夫田完有功於齊，皆疇其官邑，延及子孫，終後田氏篡齊，趙氏分晉，季氏顯魯。故仲尼作春秋，跡盛衰，譏世卿最甚。乃者大將軍決大計，安宗廟，定天下，功亦不細矣。夫周公七年耳，而大將軍二十歲，海內之命，斷於掌握。方其隆時，感動天地，侵迫陰陽，	

第6章 微妙

	<p>[又名:《前漢》] 《傳》 《趙尹韓張兩王傳》 29</p>	<p>月朧日蝕，晝冥宵光，地大震裂，火生地中，天文失度，祲祥變怪，不可勝記，皆陰類盛長，臣下顯制之所生也。朝臣宜有明言，曰陛下褒寵故大將軍以報功德足矣。間者輔臣顯政，貴戚太盛，君臣之分不明，請罷霍氏三侯皆就弟。及衛將軍張安世，宜賜几杖歸休，時存問召見，以列侯為天子師。明詔以恩不聽，群臣以義固爭而後許，天子必以陛下為不忘功德，而朝臣為知禮，霍氏世世無所患苦。今朝廷不聞直聲，而令明詔自親其文，非策之得者也。今兩侯以出，人情不相遠，以臣心度之，大司馬及其枝屬必有畏懼之心。夫近臣自危，非完計也，臣敞願於廣朝白發其端，直守遠郡，其路無由。夫心之精微口不能言也，言之微妙書不能文也，故伊尹五就桀，五就湯，蕭相國薦淮陰累歲乃得通，況乎千里之外，因書文論事指哉！唯陛下省察。」上甚善其計，然不徹也。</p>	
<p>15</p>	<p>《先秦兩漢》 《史書》 《漢書》 [新-東漢] 36-111年 [又名:《前漢》] 《傳》 《外戚傳》 《外戚傳下》 3</p>	<p>初后父嘉自元帝時為大司馬車騎將軍輔政，已八九年矣。及成帝立，復以元舅陽平侯王鳳為大司馬大將軍，與嘉並。杜欽以為故事後父重於帝舅，乃說鳳曰：「車騎將軍至貴，將軍宜尊重之敬之，無失其意。蓋輕細微妙之漸，必生乖忤之患，不可不慎。衛將軍之日盛於蓋侯，近世之事，語尚在於長老之耳，唯將軍察焉。」久之，上欲專委任鳳，乃策嘉曰：「將軍家重身尊，不宜以吏職自彘。賜黃金二百斤，以特進侯就朝位。」後歲餘薨，諡曰恭侯。</p>	
<p>16</p>	<p>《先秦兩漢》 《出土文獻》 《馬王堆》 《老子乙》 《老子乙道經》 15</p>	<p>古之企為道者，微妙玄達，深不可志。夫唯不可志，故強為之容，曰：與呵其若冬涉水，猷呵其若畏四叟，嚴呵其若客，洩呵其若淩澤，沌呵其若樸，澹呵其若濁，莊呵其若浴。濁而靜之，徐清。女以重之，徐生。葆此道□□欲盈。是以能斂而不成。</p>	<p>・左の「微妙玄達」という表現は、近代の国語辞書における「微妙」の意味記述との関連もみられる。上述、「6.3.3 近代の国語辞書10種における「微妙」~」参照。</p>

6.9.11 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

「漢代之後」（漢代以後）期における、「微妙」の検索結果数は、全79件であった。なお、「微妙」の異体字「微眇」の検索結果数は、全8件であった。以下に、「中國哲學書電子化計劃」、「漢代之後」期における「微妙」および「微眇」の実例を表にして示した。

6.9.11.1 検索語：「微妙」（全79件）（2021/01/15 時点）

図表 6.38：「微妙」の実例（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	《漢代之後》 《魏晉南北朝》 《道德真經註》 [三國]220-265年 王弼著 15	古之善為士者，微妙玄通，深不可識。夫唯不可識，故強為之容：豫兮若冬涉川，冬之涉川，豫然若欲度，若不欲度，其情不可得見之貌也。猶兮若畏四鄰，四鄰合攻，中央之主，猶然不知所趣向者也。上德之人，其端兆不可覩，德趣不可見，亦猶此也。儼兮其若客，渙兮若冰之將釋，敦兮其若樸，曠兮其若谷，渾兮其若濁。凡此諸若，皆言其容，象不可得而形名也。孰能濁以靜之徐清？孰能安以久動之徐生？	
2	《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343年 《內篇》 《論仙》 7	若夫仙人，以藥物養身，以術數延命，使內疾不生，外患不入，雖久視不死，而舊身不改，苟有其道，無以為難也。而淺識之徒，拘俗守常，鹹曰世間不見仙人，便云天下必無此事。夫目之所曾見，當何足言哉？天地之間，無外之大，其中殊奇，豈遽有限，詣老戴天，而無知其上，終身履地，而莫識其下。形骸己所自有也，而莫知其心志之所以然焉。壽命在我者也，而莫知其脩短之能至焉。況乎神仙之遠理，道德之幽玄，仗其短淺之耳目，以斷微妙之有無，豈不悲哉？	
3	《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343年 《內篇》 《至理》 1	抱朴子曰：微妙難識，疑惑者衆。吾聰明豈能過人哉？適偶有所偏解，猶鶴知夜半，燕知戊巳，而未必達於他事也。亦有以校驗，知長生之可得，仙人之無種耳。夫道之妙者，不可盡書，而其近者，又不足說。昔庚桑胥，文子齋顏，勤苦彌久，及受大訣，諒有以也。夫圓首含氣，孰不樂生而畏死哉？然榮華勢利誘其意，素顏玉膚惑其目，清商流徵亂其耳，愛惡利害攪其神，功名聲譽束其體，此皆不召而自來，不學而已成，自非受命應仙，窮理獨見，識變通於常事之外，運清鑒於玄漠之域，寤身名之親疏，悼過隙之電速者，豈能棄交修賒，抑遺嗜好，割目下之近欲，修難成之遠功哉？	
4	《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343年 《內篇》 《登涉》 1	上士入山，持三皇內文及五岳真形圖，所在召山神，及按鬼錄，召州社及山卿宅尉問之，則木石之怪，山川之精，不敢來試人。其次即立七十二精鎮符，以制百邪之章，及朱官印包元十二印，封所住之四方，亦百邪不敢近之也。其次執八威之節，佩老子玉策，則山神可使，豈敢為害乎？余聞鄭君之言如此，實復不能具知其事也。余師常告門人曰：「夫人求道，如憂家之貧，如愁位之卑者，豈有不得耶？但患志之不篤，務近忘遠，聞之則悅，偃偃前席，未久，則忽然若遺，毫釐之益未固，而丘山之損不已，亦安得窮至言之微妙，成罔極之峻崇乎？」	
5	《魏晉南北朝》 《抱朴子》 [晉]300-343年 《外篇》 《尚博》 3	或曰：「著述雖繁，適可以騁辭耀藻，無補救於得失，未若德行不言之訓。故顏閔為上而游夏乃次。四科之格，學本而行末，然則綴文固為余事，而吾子不褒崇其源，而獨貴其流，可乎？」抱朴子答曰：「德行為有事，優劣易見。文章微妙，其體難識。夫易見者粗也，難識者精也。夫唯粗也，故銓衡有定焉；夫唯精也，故品藻難一焉。吾故舍易見之粗，而論難識之精，不亦可乎！」	
6	《魏晉南北朝》 《人物志》	夫辯，有理勝，有辭勝。理勝者，正白黑以廣論，釋微妙而通之。辭勝者，破正理以求異，求異則正失矣。夫九偏之材，有同、有	

第 6 章 微妙

	[東漢-三國] 190-249 年 《材理》 25	反、有雜。同則相解，反則相非，雜則相恢。故善接論者，度所長而論之；歷之不動則不說也，傍無聽達則不難也。不善接論者，說之以雜、反；說之以雜、反，則不入矣。善喻者，以一言明數事；不善喻者，百言不明一意；百言不明一意，則不聽也。是說之三失也。	
7	《魏晉南北朝》 《神仙傳》 《卷四》 《玉子》 1	玉子者，姓張震，南郡人也。少學眾經，周幽王徵之不起，乃嘆曰：「人居世間，日失一日，去生轉遠，去死轉近，而貪富貴，不知養性。命盡氣絕即死。位為王侯，金玉如山，何益於是為灰土乎？獨有神仙度世可以無窮耳。」乃師長桑子，受其眾術，乃造一家之法，著道書百余篇，其術以務魁為主，而精於五行之意，演其微妙以養性治病，消災散禍。能起飄風發木折屋，作雲雷雨霧，以草芥瓦石為六畜龍虎，立便能行，分形為數百千人。能涉行江漢，含水噴之，立成珠玉，遂不復變也。	
8	《魏晉南北朝》 《神仙傳》 《卷四》 《天門子》 1	天門子者，姓王，名綱。尤明補養之要，故其經曰：「陽生立於寅，純木之精；陰生立於申，純金之精。夫以木投金，無往不傷，故陰能溲陽也。陰人著脂粉者，法金之白也。是以真人道士莫不留心駐意，精其微妙，審其盛衰，我行青龍，彼行白虎，彼前朱雀，我後玄武，不死之道也。又陰人之情也，有急於陽，然能外自狀抑，不肯請陽者，明金不為木屈也。陽性氣剛躁，誌節疎略，至於遊晏，則聲氣和柔，言辭卑下，明木之畏金也。」天門子既行此道，年二百八十歲，色如童子，乃服珠體得仙，入玄州去也。	
9	《魏晉南北朝》 《神仙傳》 《卷四》 《太陽女》 1	太陽女者，姓朱名翼。敷演五行之道，加思增益，致為微妙行用，其道甚驗甚速。年二百八十歲，色如桃花，口如含丹，肌膚充澤，眉鬢如畫，有如十七八者也。奉事絕洞子。丹成以賜之，亦得仙升天也。	
10	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《魏書二十一》 《衛覬傳》 3	明帝即位，進封闔鄉侯，三百戶。闔音聞。覬奏曰：「九章之律，自古所傳，斷定刑罪，其意微妙。百里長吏，皆宜知律。刑法者，國家之所貴重，而私議之所輕賤；獄吏者，百姓之所縣命，而選用者之所卑下。王政之弊，未必不由此也。請置律博士，轉相教授。」事遂施行。時百姓凋匱而役務方殷，覬上疏曰：「夫變情厲性，彊所不能，人臣言之既不易，人主受之又艱難。且人之所樂者富貴顯榮也，所惡者貧賤死亡也，然此四者，君上之所制也，君愛之則富貴顯榮，君惡之則貧賤死亡；順指者愛所由來，逆意者惡所從至也。	
11	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《蜀書五》 《諸葛亮傳》 34	蜀記曰：晉永興中，鎮南將軍劉弘至隆中，觀亮故宅，立碣表閭，命太傅掾犍為李興為文曰：「天子命我于沔之陽，聽鼓鞀而永思，庶先哲之遺光，登隆山以遠望，軾諸葛之故鄉。蓋神物應機，大器無方，通人靡滯，大德不常。故谷風發而騶虞嘯，雲雷升而潛鱗驤；摯解褐於三聘，尼得招而褰裳，管豹變於受命，賁感激以回莊，異徐生之摘寶，釋卧龍於深藏，偉劉氏之傾蓋，嘉吾子之周行。夫有知己之主，則有竭命之良，固所以三分我漢鼎，跨帶我邊荒，抗衡我北面，馳騁我魏疆者也。英哉吾子，獨含天靈。豈神之祇，豈人之精？何思之深，何德之清！異世通夢，恨不同生。推子八陣，不在孫、吳，木牛之奇，則非般模，神弩之功，一何微妙！千井齊整，又何祕要！昔在顛、天，有名無迹，孰若吾儕，良籌妙畫？臧文既沒，以言見稱，又未若子，言行並徵。夷吾反玷，樂毅不終，奚比於爾，明哲守沖。臨終受寄，讓過許由，負辰莅事，民言不流。刑中於鄭，教美于魯，蜀民知恥，河、渭安堵。匪臯則伊，寧彼管、晏，豈徒聖宣，慷慨屢歎！	
12	《魏晉南北朝》 《三國志》 [西晉]265-300 年 《吳書十八》 《趙達傳》 2	達寶惜其術，自闕澤、殷禮皆名儒善士，親屈節就學，達祕而不告。太史丞公孫滕少師事達，勤苦累年，達許教之者有年數矣，臨當喻語而輒復止。滕他日齋酒具，候顏色，拜跪而請，達曰：「吾先人得此術，欲圖為帝王師，至仕來三世，不過太史郎，誠不欲復傳之。且此術微妙，頭乘尾除，一筭之法，父子不相語。然以子篤好不倦，今真以相授矣。」飲酒數行，達起取素書兩卷，大如手指，達曰：「當寫讀此，則自解也。吾久廢，不復省之，今欲思論一過，數日當以相與。」滕如期往，至乃陽求索書，驚言失之，云：「女婿昨來，必是渠所竊。」遂從此絕。	

第 6 章 微妙

13	《隋唐》 《群書治要》 [唐]631年 《卷三十四》 《老子》 《道經》 14	善人者，不善人之師也。人之行善者，聖人即以為人師也。不善人者，善人之資也。資，用也。人行不善，聖人教道使為善，得以為給用。貴其師，不愛其資，無所使也。雖智大迷，雖自以為智，言此人乃大迷惑。是謂要妙。能通此意，是謂知微妙要道。	
14	《隋唐》 《群書治要》 [唐]631年 《卷四十七》 《政要論》 《決壅》 1	夫人君為左右所壅制，此有目而無見，有耳而無聞，積無聞見，必至亂正，故國有壅臣，禍速近鄰，人臣之欲壅其主者，無國無之何也。利在於壅也。壅則擅寵於身，威權獨於己，此人臣日夜所禱祝面面恐而字誤求也。人臣之壅其君，微妙工巧，見壅之時，不知也。率至亡敗，然後悔焉。	
15	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六十五》 《產業部上》 《織》 10	【賦】《後漢王逸機賦》曰：帝軒龍躍，庶業是昌，俯覃聖恩，仰覽三光，爰制布帛，始垂衣裳，於是取衡山之孤桐，南岳之洪樟，結靈根於盤石，託九層於巖傍，性條暢以端直，貫雲表而剗倉，儀鳳晨鳴翔其上，怪獸群萃而陸梁，於是乃命匠人，潛江奮驥，踰五嶺，越九岡，斬伐剖析，擬度短長，勝復迴轉，剗像乾形，大匡淡泊，擬短則川平，光為日月，蓋取昭明，三軸列布，上法台星，兩驥齊首，儼若將征，方圓綺錯，微妙窮奇，蟲禽品獸，物有其宜，兔耳踞伏，若安若危，猛犬相守，竄身匿跡，高樓雙峙，下臨清池，遊魚銜餌，澆滯其陂，鹿盧並起，纖繳俱垂，一往一來，匪勞匪疲，於是暮春代謝，朱明達時，蠶人告訖，舍罷獻絲，或黃或白，蜜蠟凝脂，纖織靜女，經之絡之，爾乃窈窕淑媛，美色貞怡，解鳴珮，釋羅衣，披華幕，登神機，乘輕杼，覽床帷，動搖多容，俯仰生姿。	
16	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷六十五》 《產業部上》 《鍼》 3	《漢曹大家鍼繡賦》曰：鎔秋金之剛精，形微妙而直端，性通遠而漸進，博庶物而一貫，惟鍼繡之列跡，信廣博而無原，退逶迤以補過，似素絲之羔羊，何斗筭之足筭，咸勒石而升堂。	
17	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷七十六》 《內典上》 《內典》 47	《梁王筠國師草堂寺智者約法師碑》曰：結宇山椒，疏壤幽岫，蓄雲泄雨，靄映房櫳，浴日涵星，翻光池沼，震居暇豫，留思幽微，研精經藏，探求法寶，香城實相之談，金河常樂之說，究竟微妙，洞達幽玄，掖庭為道心之宮，華林構重雲之殿，師子之座，高廣於燈王，聽法之筵，眾多於方丈，開寶函之奧典，闡金字之微言，顯證一乘，宣揚三慧，辯才無閼，遊戲神通，莫不皆悟無生，咸知妄想，隨類得解，俱會真如。銘曰：形在江湖，心超紙鷲，思協風雲，量包宇宙，軒瞰蒼波，窗承翠嶺，須枕煙露，堅持光景。	
18	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624年 《卷七十七》 《內典下》 《寺碑》 1	又《大覺寺碑》曰：維天地開闢，陰陽轉運，明則有日月，幽則有鬼神，初地遼遠，末路悠長，自始及終，從凡至聖，積骨成山，祇劫莫數，垂衣拂石，恆河難計，及冠日示夢，蒙羅見謁，應世降神，感物開化，顏如滿月，心若盈泉，體道獨悟，含靈自曉，居三殿以長想，出四門而永慮，聲色莫之留，榮位不能屈，道成樹下，光屬天上，變化靡窮，神通無及，置須彌於葶藶，納世界於微塵，闢慈悲之門，開仁壽之路，殫煩惱於三塗，濟苦難於五濁，非但化及天龍，教被人鬼，固亦福霑行鴈，道洽遊魚，但群生無感，獨尊罷應，雜色照爛，諸山搖動，布金沙而弗受，建寶蓋而未留，遂上微妙之臺，永升智慧之殿，而天人慕德，像法興靈，圖影西山，承光東壁，主上乃據地圖，攬天鏡，乘六龍，朝萬國，牢籠宇宙，襟帶江山，道濟橫流，德昌頽曆，四門穆穆，百億師師，乘法缸以徑度，駕天輪而高舉，神功寶業，既被無邊，鴻名懋實，方在不朽，祇掌措言，雖不盡意，執筆書事，其能已乎。	
19	《隋唐》 《藝文類聚》	《梁王僧孺中寺碑》曰：夫玉律追天，故躋次之期不變，緹室候景，則發斂之氣罔踰，是以忘言種覺，絕累於後心，寄像聲形，啟機	

第 6 章 微妙

	[唐]624 年 《卷七十七》 《內典下》 《寺碑》 2	於前教，兼真假之雙燭，均空有而兩忘，蘊三明而過十地，圓萬行而包四等，道周百億，化起大千，獎導群有，滋濡萬類，是用發廣大心，吐微妙理，將同商主，取喻醫王，開方便門，示真實相，固以濯之慈水，銷以慧刀，永言六趣，用均一子，中寺者，晉太元五年，會稽王司馬道子之所立也。	
20	《隋唐》 《藝文類聚》 [唐]624 年 《卷七十七》 《內典下》 《寺碑》 47	【書】《梁簡文帝與廣信侯書》曰：伏承淨名法席，親承金口，辭珍鹿苑，理愜鷲山，微妙密藏，於斯既隆，莊嚴道場，自茲彌闡，豈止心燈夜執，亦乃意絮晨飛，每憶華林勝集，亦叨末位，終朝竟夜，沐浴妙言，至於席罷日餘，退休旁省，攜手登臨，兼展談笑，仰望九層，俯窺百尺，金池動月，玉樹含風，當於此時，足稱法樂。	
21	《隋唐》 《通典》 [唐]801 年 杜佑著 《兵十三》 3	又曰：「倍則分之。己二敵一，則一術為正，一術為奇；彼一我二，不足為變，故疑兵分離其軍也。故太公曰：「不能分移，末可語奇。」微乎微微，至於無形；言其微妙，所不可見。神乎神神，至於無聲，故能為變化司命。」言變化之形，倏忽若神，故能料敵死生，若天之司命。	
22	《宋明》 《四書章句集注》 [南宋] 1150-1200 年 朱熹著 《中庸章句》 《中庸章句序》 2	蓋嘗論之：心之虛靈知覺，一而已矣，而以為有人心、道心之異者，則以其或生於形氣之私，或原於性命之正，而所以為知覺者不同，是以或危殆而不安，或微妙而難見耳。然人莫不有是形，故雖上智不能無人心，亦莫不有是性，故雖下愚不能無道心。二者雜於方寸之間，而不知所以治之，則危者愈危，微者愈微，而天理之公卒無以勝夫人欲之私矣。精則察夫二者之間而不雜也，一則守其本心之正而不離也。從事於斯，無少閒斷，必使道心常為一身之主，而人心每聽命焉，則危者安、微者著，而動靜云為自無過不及之差矣。	
23	《宋明》 《四書章句集注》 [南宋] 1150-1200 年 朱熹著 《中庸章句》 《中庸章句》 33	輪，由、酉二音。詩大雅皇矣之篇。引之以明上文所謂不顯之德者，正以其不大聲與色也。又引孔子之言，以為聲色乃化民之末務，今但言不大之而已，則猶有聲色者存，是未足以形容不顯之妙。不若烝民之詩所言「德輶如毛」，則庶乎可以形容矣，而又自以為謂之毛，則猶有可比者，是亦未盡其妙。不若文王之詩所言「上天之事，無聲無臭」，然後乃為不顯之至耳。蓋聲臭有氣無形，在物最為微妙，而猶曰無之，故惟此可以形容不顯篤恭之妙。非此德之外，又別有是三等，然後為至也。	
24	《宋明》 《四書章句集注》 [南宋] 1150-1200 年 朱熹著 《論語集注》 《憲問第十四》 36	或曰：「以德報怨，何如？」或人所稱，今見老子書。德，謂恩惠也。子曰：「何以報德？言於其所怨，既以德報之矣；則人之有德於我者，又將何以報之乎？以直報怨，以德報德。」於其所怨者，愛憎取舍，一以至公而無私，所謂直也。於其所德者，則必以德報之，不可忘也。或人之言，可謂厚矣。然以聖人之言觀之，則見其出於有意之私，而怨德之報皆不得其平也。必如夫子之言，然後二者之報各得其所。然怨有不讎，而德無不報，則又未嘗不厚也。此章之言，明白簡約，而其指意曲折反復。如造化之簡易易知，而微妙無窮，學者所宜詳玩也。	
25	《宋明》 《金瓶梅》 [明]1590-1610 年 《打貓兒金蓮品玉門葉子敬濟輸金》 21	蓋聞電光易滅，石火難消。落花無返樹之期，逝水絕歸源之路。畫堂繡閣，命盡有若長空；極品高官，祿絕猶如作夢。黃金白玉，空為禍患之資；紅粉輕衣，總是塵勞之費。妻孥無百載之歡，黑暗有千重之苦。一朝枕上，命掩黃泉。青史揚虛假之名，黃土埋不堅之骨。田園百頃，其中被兒女爭奪；綾錦千箱，死後無寸絲之分。青春未半，而白髮來侵；賀者才聞，而弔者隨至。苦，苦，苦！氣化清風塵歸土。點點輪迴喚不回，改頭換面無遍數。南無盡虛空遍法界，過去未來佛法僧三寶。無上甚深微妙法，百千萬劫難遭遇。我今見聞得受持，願解如來真實義。	
26	《宋明》 《廣韻》 [北宋] 1007-1008 年 《上平聲》	微：妙也，細也，少也。《說文》曰：隱行也。無非切，八。	・「微：妙」という形式。「微」の説明として、「妙也」

第6章 微妙

	《微》 《微》 1		とある。
27	《宋明》 《廣韻》 [北宋] 1007-1008年 《上聲》 《銑》 《顯》 5	𦉰：衆明也，微妙也，從日中見絲今作𦉰。又五合切。	
28	《宋明》 《孝經注疏》 [北宋]960-1127年 《御製序并注》 29	劉炫明安國之本，陸澄譏康成之注。 【疏】正義曰：《隋書》云：「劉炫字光伯，河間景城人。炫左畫方，右畫圓，口誦目數，耳聽五事，並舉無所遺失。仕後周，直門下省，竟不得官。縣司責其賦役，炫自陳於內史，乞送吏部。吏部尚書韋世康問其所能，炫自為狀曰：『《周禮》、《禮記》、《毛詩》、《尚書》、《公羊》、《左傳》、《孝經》、《論語》，孔、鄭、王、何、服、杜等注，凡三十家，雖義有精麤，並堪講授。《周易》、《儀禮》、《穀梁》，用功頗少；子史文集，嘉言美事，咸誦於心；天文律歷，窮覈微妙；公私文翰，未嘗舉手。』吏部竟不詳試，除殿內將軍。仕隋，歷太學博士，罷歸河間，賊中餓死，諡宣德先生。	
29	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《地部二十三》 《水上》 24	《淮南子》曰：天下之物，莫柔弱於水，上天則為雨露，下地則為潤澤，萬物弗得不生，百事不得不成，大苞群生而無所私，澤及跂蹠，蹠行也。蹠，微小之蟲也。(中略)是故清靜者，德之至也；而柔弱者，道之要也；要，約也。虛無恬愉者，萬物之用也。萬物由之得為人用。肅然應感，殷然反本，則淪於無形矣。所謂無形者，一之謂也。一者，道之本也。所謂一者，無匹合於天下者也。卓然獨立，塊然獨處，上貫九天，下貫九野，九天，八分中央也。九野亦如之。圓不中規，方不中矩，大渾而為一葉，無根言微妙也。懷囊天地，為道開門，開道之門。穆忝隱閔，純德獨存，穆忝隱閔，皆無形之類也。純，不雜揉也。布施而不既，用之而不勤。既，盡也。勤，勞也。	
30	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《宗親部二》 《伯叔》 16	臧榮緒《晉書》曰：阮籍隨叔父至東，兗州刺史王昶聞籍奇偉，請與相見。乃嘆息，以不能測也。 又曰：王湛字處沖，司徒渾之弟也。兄子濟輕之，嘗詣湛，見床頭有《周易》，問曰：「叔父何用此為？」湛曰：「體中不佳，時脫復看耳。」濟請言之。湛因剖析玄微，妙有奇趣，皆所未聞也。濟才氣抗邁於湛，略無子侄之敬。既聞其言，不覺慄然，心形俱肅，遂留連彌日，累夜自視缺然。乃嘆曰：「家有名士，三十年而不知，濟之罪也。」濟有從馬絕難乘，濟問湛曰：「叔頗好騎否？」湛曰：「亦好之。」	・「剖析玄微，妙有奇趣」という形式。
31	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《學部三》 《易》 15	《晉書》曰：王湛字處沖，司徒渾之弟也。初有隱德，人莫能知，兄弟宗族皆以為癡，其父永獨異焉。兄子濟每輕之，嘗詣湛，見床頭有《周易》，問曰：「叔父何用此為？」湛曰：「體中不佳，時復看耳。」濟請言之，湛因剖析玄理，微妙有奇趣，皆濟所未聞也。濟遂留連彌日累夜，自視缺然。乃嘆曰：「家有名士三十年而不知，濟之罪也。」	・上記の例と一部重複するが、「剖析玄理，微妙有奇趣」という形式が正式か。
32	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《釋部三》 《僧》 8	《洛陽伽藍記》曰：融覺寺比丘曇謨最善於釋學，講《涅槃》、《花嚴》，僧徒千人。天竺國胡沙門菩提流支見其徒禮之，號為菩薩。流支解佛義，知名西土，西土諸夷號為羅漢。流支讀曇謨《最大乘義》章，每彈指贊嘆，唱言微妙，即為胡書寫之，傳於西域。西域沙門常東向遙禮之，號為東方聖人。 又曰：僧肇法師制四論，合為一卷，曾呈廬山遠大師，大師嘆仰不已。又呈劉遺民，嘆曰：「不意方袍復有平叔。」方袍之語出遺民也。	
33	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年	《老子》曰：道可道，非常道，虛極之妙也。無名天地之始，有名萬物之母。無名者，妙本也，道沖而用之或似不盈，淵乎似萬物之宗。(中略)又曰：知者不言，言者不知。所以言者以音相聞，	

第 6 章 微妙

	《道部一》 《道》 1	譬如知音者，識音以弦，心知其音，口不能傳道。深微妙知者，不言也。太上曰知者不言，言能以救物。 又曰：上士學道，授之以神，中士授之以心，下士授之以耳。以神聽者通無形，以心聽者知內情，以耳聽者聞外聲。	
34	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《道部四》 《天仙》 11	《真誥》曰：章震，南郡人，少學經畫，周幽王時人，而常嘆曰：「人生世間，日失一日，去生轉遠。」乃著道書百餘篇。精於五行，演其微妙，以養性治病為旨。后入崆峒山仙去。 又曰：王遠字方平，東海人。舉孝廉，除郎中，累遷至中散大夫，博學，尤明天文圖讖河洛之要，逆知天下盛衰之期。漢桓帝詞位，聞之，連詔不出，使郡國逼載以至京師，但低頭閉口不答詔。乃題宮門板四百餘字，皆說方來。帝惡之，歸鄉里。同郡故太尉公陳耽為方平駕道室，旦夕事之。方平在耽家四十餘年，后語耽云：「吾當去，明日日中發。」至明日，果卒。耽知仙去，曰：「先生舍我矣。」	
35	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《道部十五》 《仙經下》 40	《靈寶真一訣》曰：洞玄自然經，本文出乎太上道也者，彌綸無極，微妙無形。	
36	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《工藝部七》 《數》 5	《吳志》曰：顧譚每省簿書，未嘗下算，徒屈指心計，盡發疑謬，下吏以此服之。(中略)達云：「但有名無實。」其精微若是。達寶惜其術，自闕澤、殷禮，皆名儒善士，屈節就學，秘而不告也。太史丞公孫滕，師事之累年，賚酒拜跪而請，達曰：「吾先人得此，欲圖為帝王師。至仕來三世，不過太史郎，誠不欲復傳之！且此術微妙，頭乘尾除，一算之法，父子不相語。」初，孫權行師征伐，每令達有所推步，皆如其言。問其法，終不言，由此見非。達常笑謂諸星氣風術者，曰：「當回算帷幕，不出戶牖，以知天道；而反晝夜暴露，以望氛祥，不亦難乎！」	
37	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《工藝部七》 《畫上》 24	《淮南子》曰：畫西施之面者，美而可悅；規孟賁之目者，大而可畏。 又曰：宋畫吳冶，其為微妙，堯、舜之聖不能及也。	
38	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《資產部十》 《針》 24	曹大家《針賦》曰：鎔秋金之剛精，形微妙而直端，性通達而漸進，博庶物而一貫。	
39	《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984 年 《資產部十三》 《冶》 12	《淮南子》曰：夫宋工畫吳冶，刻形鏤法，其為微妙，堯、舜之聖不能及也。	
40	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年 《神仙五》 《天門子》 1	天門子者，姓王名綱。尤明補養之要。故其經曰：「陽生立於寅，純木之精；陰生立於申，純金之精。天以木投金，無往不傷，故陰能疲陽也。陰人所以著脂粉者，法金之白也。是以真人道士，莫不留心注意，精其微妙，審其盛衰。我行青龍，彼行白虎，取彼朱雀，煎我玄武，不死之道也。又陰人之情也，每急於求陽。然而外自收收原作戕，據明鈔本改。抑，不肯請陽者，明金不為木屈也。陽性氣剛燥。志節疎略。至於遊宴，言和氣柔。辭語卑下。明木之畏於金也。」天門子既行此道，年二百八十歲，猶有童子之色。乃服珠體得仙，入玄洲山去也。出《神仙傳》	
41	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984 年	玉子者。姓韋明鈔本章作章。名震，南郡人也。少好學衆經。周幽王徵之不出。乃歎曰：「人生世間，日失一日，去生轉遠，去死轉近。而但貪富貴，不知養性命，命盡氣絕則死，位為王侯，金	

	《神仙五》 《玉子》 1	玉如山，何益於灰土乎。獨有神仙度世，可以無窮耳。乃師長桑子。具受衆術。乃別造一家之法。著道書百餘篇。其術以務魁為主，而精於五行之意，演其微妙，以養性治病，消災散禍。能起飄風，發屋折木，作雷雨雲霧。能以木瓦石為六畜龍虎立成，能分形為百千人。能涉江海。含水噴之，皆成珠玉，亦不變。(中略)出《神仙傳》	
42	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《鬼神》 57	問：「下武詩『三后在天』，先生解云：『在天，言其既沒而精神上合於天。』此是如何？」曰：「便是又有此理。」用之云：「恐只是此理上合於天耳。」曰：「既有此理，便有此氣。」或曰：「想是聖人稟得清明純粹之氣，故其死也，其氣上合於天。」曰：「也是如此。這事又微妙難說，要人自看得。世間道理有正當易見者，又有變化無常不可窺測者，如此方看得這箇道理活。又如云：『文王陟降，在帝左右。』如今若說文王真箇在上帝之左右，真箇有箇上帝如世間所塑之像，固不可。然聖人如此說，便是有此理。如周公金縢中『乃立壇墠』一節，分明是對鬼。『若爾三王是有丕子之責於天，以旦代某之身。』此一段，先儒都解錯了，只有晁以道說得好。	
43	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《大學一》 《綱領》 3	某要人先讀大學，以定其規模；次讀論語，以立其根本；次讀孟子，以觀其發越；次讀中庸，以求古人之微妙處。大學一篇有等級次第，總作一處，易曉，宜先看。論語卻實，但言語散見，初看亦難。孟子有感激興發人心處。中庸亦難讀，看三書後，方宜讀之。字	
44	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《大學五或問下》 《傳五章》 《然則吾子之意亦可得而悉聞一段》 21	問：「或問云：『心雖主乎一身，而其體之虛靈，足以管乎天下之理；理雖散在萬物，而其用之微妙，實不外乎一人之心。』不知用是心之用否？」曰：「理必有用，何必又說是心之用！夫心之體具乎是理，而理則無所不該，而無一物不在，然其用實不外乎人心。蓋理雖在物，而用實在心也。」又云：「理遍在天地萬物之間，而心則管之；心既管之，則其用實不外乎此心矣。然則理之體在物，而其用在心也。」次早，先生云：「此是以身為主，以物為客，故如此說。要之，理在物與在吾身，只一般。」燾	
45	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《論語五》 《為政篇上》 《吾十有五而志于學章》 25	「志于學，是一面學，一面力行。至『三十而立』，則行之效也。學與不惑，知天命，耳順相似。立與從心不踰矩相似。」又問：『四十而不惑』，何更待『五十而知天命』？」曰：「知天命，是知得微妙，而非常人之所可測度矣。耳順，則凡耳聞者，便皆是道理，而無凝滯。伊川云：『知天命，則猶思而得。到耳順，則不思而得也。』」備	
46	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《論語二十二》 《先進篇下》 《子路曾皙冉有公西華侍坐章》 40	廖子晦李唐卿陳安卿共論三子言志，及顏子喟然之歎，錄其語質諸先生。(中略)或問：「程子云：『子路只緣曉不得為國以禮底道理。若曉得，便是此氣象。』如公西冉求二子，語言之間亦自謙遜，可謂達禮者矣，何故卻無曾點氣象？」曰：「二子只是曉得那禮之皮膚，曉不得那裏面微妙處。他若曉得，便須見得『天高地下，萬物散殊，而禮制行矣；流而不息，合同而化，而樂興焉』底自然道理矣。曾點卻有時見得這箇氣象，只是他見得了便休。緣他見得快，所以不將當事。他若見得了，又從頭去行，那裏得來！曾參則元來未見這箇大統體，先從細微曲折處行都透了，見得箇大體。曾氏父子二人極不同。世間自有一樣人如此高灑，見得底，學不得也。學者須是學會子逐步做將去，方穩實。」又問：「子路氣象須較開闊如二子。」曰：「然。」	
47	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《論語二十六》 《憲問篇》 《以德報怨章》 5	問：『以德報怨』章，注謂『旨意曲折反覆，微妙無窮』，何也？」曰：『以德報怨』本老氏語。『以德報怨』，於怨者厚矣，而無物可以報德，則於德者不亦薄乎！呂申公為相，曾與賈種民有怨，卻與之郡職，可謂『以德報怨』，厚於此人矣，然那裏人多少被其害！賈素無行，元豐中在大理為蔡確鷹犬，申公亦被誣構。及公為相，而賈得罪，公復為請知通利軍。『以直報怨』則不然，如此人舊與吾有怨，今果賢邪，則引之薦之；果不肖邪，則棄之絕之，是蓋未嘗有怨矣。老氏之言死定了。孔子之言意思活，移來移去	

第 6 章 微妙

		都得。設若不肖者後能改而賢，則吾又引薦之矣。」淳	
48	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《孟子十》 《盡心上》 《公孫丑曰道則高矣美矣章》 4	「君子引而不發，躍如也。」須知得是引箇甚麼？是怎生地不發？又是甚麼物事躍在面前？須是聳起這心與他看，教此心精一，無些子夾雜，方見得他那精微妙處。又曰：「道理散在天下事物之間，聖賢也不是不說，然也全說不得，自是那妙處不容說。然雖不說，只才挑動那頭了時，那箇物事自跌落在面前。如張弓十分滿而不發箭，雖不發箭，然已知得真箇是中這物事了。須是精一其心，無些子他慮夾雜，方看得出。」僩	
49	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《中庸一》 《章句序》 5	問：「既云上智，何以更有人心？」曰：「招著痛，抓著癢，此非人心而何？人自有人心、道心，一箇生於血氣，一箇生於義理。饑寒痛癢，此人心也；惻隱、羞惡、是非、辭遜，此道心也。雖上智亦同。一則危殆而難安，一則微妙而難見。『必使道心常為一身之主，而人心每聽命焉』，乃善也。」僩	
50	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《中庸二》 《第十二章》 2	問：「或說形而下者為費，形而上者為隱，如何？」曰：「形而下者甚廣，其形而上者實行乎其間，而無物不具，無處不有，故曰費。費，言其用之廣也。就其中其形而上者有非視聽所及，故曰隱。隱，言其體微妙也。」鉅	
51	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《中庸三》 《第三十三章》 17	因問孔子「空空」、顏子「屢空」與中庸所謂「無聲無臭」之理。曰：「以某觀論語之意，自是孔子叩鄙夫，鄙夫空空，非是孔子空空。顏子簞瓢屢空，自對子貢貨殖而言。始自文選中說顏子屢空，空心受道，故疏論語者亦有此說。要之，亦不至如今日學者直是懸空說入玄妙處去也。中庸『無聲無臭』，本是說天道。彼其所引詩，詩中自說須是『儀刑文王』，然後『萬邦作孚』，詩人意初不在『無聲無臭』上也。中庸引之，結中庸之義。嘗細推之，蓋其意自言慎獨以修德。至詩曰『不顯維德，百辟其刑之』，乃『篤恭而天下平』也。後面節節贊歎其德如此，故至『予懷明德』，以至『德輶如毛』，毛猶有倫，「上天之載，無聲無臭」，至矣！」蓋言天德之至，而微妙之極，難為形容如此。為學之始，未知所有，而遽欲一蹴至此，吾見其倒置而終身述亂矣！」大雅	
52	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《中庸三》 《第三十三章》 19	公晦問：「中庸末章說及本體微妙處，與老子所謂『玄之又玄』，莊子所謂『冥冥默默』之意同。不知老莊是否？」先生不答。良久，曰：「此自分明，可且自看。某從前汙口答將去，諸公便更不思量。」臨歸，又請教。曰：「開闔中又著細密，寬緩中又著謹嚴，這是人自去做。夜來所說『無聲無臭』，亦不離這箇。自『不顯維德』引至這上，豈特老莊說得恁地？佛家也說得相似，只是他箇虛大。凡看文字，要急迫亦不得。有疑處，且漸漸思量。若一下便要理會得，如何會見得意思出！」賀孫	
53	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《易十一》 《上繫下》 《右第八章》 15	問「顯道，神德行」。曰：「道較微妙，無形影，因卦辭說出來，道這是吉，這是凶；這可為，這不可為。德行是人做底事，因數推出來，方知得這不是人硬恁地做，都是神之所為也。」又曰：「須知得是天理合如此。」學蒙	
54	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《易十二》 《繫辭下》 《右第四章》 10	「入神」，是到那微妙人不知得處。一事一理上。淵	
55	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》	或問「人心、道心」之別。曰：「只是這一箇心，知覺從耳目之欲上去，便是人心；知覺從義理上去，便是道心。人心則危而易陷，道心則微而難著。微，亦微妙之義。」學蒙	

	《大禹謨》 13		
56	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》 《大禹謨》 17	道心是知覺得道理底，人心是知覺得聲色臭味底，人心不全是不好，若人心是全不好底，不應只下箇「危」字。蓋為人心易得走從惡處去，所以下箇「危」字。若全不好，則是都倒了，何止於危？危，是危殆。「道心惟微」，是微妙，亦是微味。若說道心天理，人心人欲，卻是有兩箇心！人只有一箇心，但知覺得道理底是道心，知覺得聲色臭味底是人心，不爭得多。「人心，人欲也」，此語有病。雖上智不能無此，豈可謂全不是？陸子靜亦以此語人。非有兩箇心。道心、人心，本只是一箇物事，但所知覺不同。「惟精、惟一」，是兩截工夫；精，是辨別得這箇物事；一，是辨別了，又須固守他。若不辨別得時，更固守個甚麼？若辨別得了又不固守，則不長遠。惟能如此，所以能合於中道。又曰：「『惟精惟一』，猶『擇善而固執之』。」 佐	
57	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》 《大禹謨》 18	人心亦只是一箇。知覺從饑食渴飲，便是人心；知覺從君臣父子處，便是道心。微，是微妙，亦是微晦。又曰：「形骸上起底見識，或作「從形體上生出來底見識」。便是人心；義理上起底見識，或作「就道理上生出來底見識」。便是道心。心則一也，微則難明。有時發見些子，使自家見得，有時又不見了。惟聖人便辨之精，守得徹頭徹尾，學者則須是『擇善而固執之』。」 方子	
58	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》 《大禹謨》 35	人心是知覺，口之於味，目之於色，耳之於聲底，未是不好，只是危。若便說做人欲，則屬惡了，何用說危？道心是知覺義理底；「惟微」是微妙，亦是微隱。「惟精」是要別得不雜，「惟一」是要守得不離。「惟精惟一」，所以能「允執厥中」。至	
59	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》 《大禹謨》 36	問：「微，是微妙難體；危，是危動難安否？」曰：「不止是危動難安。大凡祇人欲，自是危險。其心忽然在此，忽然在彼，又忽然在四方萬里之外。莊子所謂『其熱焦火，其寒凝冰』。凡苟免者，皆幸也。動不動便是墮坑落塹，危孰甚焉！」文蔚曰：「徐子融嘗有一詩，末句云：『精一危微共一心。』」文蔚答之曰：「固知妙旨存精一，須別人心與道心。」曰：「他底未是，但只是答他底亦慢，下一句救得少緊。當云：『須知妙旨存精一，正為人心與道心。』」又問「精一」。曰：「精是精別此二者，一是守之固。如顏子擇中庸處，便是精；得一善拳拳服膺弗失處，便是一。伊川云：『惟精惟一』，所以至之；「允執厥中」，所以行之。」此語甚好。」文蔚	
60	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《尚書一》 《大禹謨》 38	問：「惟精惟一」。曰：「人心直是危，道心直是微。且說道心微妙，有甚準則？直是要擇之精！直是要守之一！」揚	
61	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《周子之書》 《誠幾德》 16	「發微不可見，充周不可窮之謂神」，言其發也微妙而不可見，其充也周遍而不可窮。「發」字、「充」字就人看。如「性焉、安焉」、「執焉、復焉」，皆是人如此。「微不可見，周不可窮」，卻是理如此。神只是聖之事，非聖外又有一箇神，別是箇地位也。端蒙	
62	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270 年 《張子之書一》 53	問「精義入神」一條。曰：「入神，是入至於微妙處。此卻似向內做工夫，非是作用於外，然乃所以致用於外也。故嘗謂門人曰：『吾學既得於心，則修其辭；命辭無差，然後斷事；斷事無失，吾乃沛然。』」精義入神者，豫而已。」橫渠可謂『精義入神』。橫渠云：「陰陽二氣推行以漸，謂化；闔闢不測，謂神。」伊川先生說神化等，卻不似橫渠較說得分明。」賀孫	
63	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷一百三十》 《贈懷一上人》	故我一來事，永承微妙音。竹房見衣鉢，松宇清身心。	

第 6 章 微妙

	崔顥著 15		
64	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷一百五十五》 《宿大通和尚塔， 敬贈如上人，兼呈 常、孫二山人》 崔曙著 2	一承微妙法，寓宿清淨土。身心能自觀，色相了無取。	
65	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷一百五十九》 《還山貽湛法師》 孟浩然著 2	晚途歸舊壑，偶與支公鄰。導以微妙法，結為清淨因。	
66	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷三百五十三》 《巽公院五詠：淨 土堂》 柳宗元著 2	華堂開淨域，圖像煥且繁。清泠焚眾香，微妙歌法言。	
67	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百二十六》 《古意九首》 貫休著 29	月上來打門，月落方始歸。授我微妙訣，恬澹無所為。	
68	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百二十七》 《冬末病中作二 首》 貫休著 3	風鐘遠孤枕，雪水流凍痕。空餘微妙心，期空靜者論。	
69	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百四十七》 《贈念法華經》 僧》 齊己著 4	況聞此經甚微妙，百千諸佛真秘要。靈山說後始傳來，聞者雖多持者少。更堪誦入陀羅尼，唐音梵音相雜時。	
70	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百五十七》 《七言》 呂岩著 104	自是凡流福命薄，忍教微妙略輕傳。	
71	《清代》 《全唐詩》 [清]1705 年 《卷八百六十二》	金欲煉時須得水，水遇土兮終不起。但知火候不參差，自得還丹微妙旨。人世分明知有死，剛只留心戀朱紫。	

第6章 微妙

	《示胡二郎歌》 成都醉道士著 2		
72	《清代》 《全唐詩》 [清]1705年 《卷八百九十六》 《定風波》 李珣著 3	已得希夷微妙旨，潛喜，荷衣蕙帶絕纖塵。	
73	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《彳部》 《十》 7	微：《唐韻》《集韻》《韻會》《正韻》扶無非切，音微。《爾雅·釋詁》幽微也。《易·繫辭》知微知彰。《書·大禹謨》道心惟微。又《廣韻》微，妙也。《禮·禮運》德產之致也精微。又《說文》隱行也。《史記·秦始皇紀》微行咸陽。又《廣韻》細也。《孟子》乃孔子，則欲以微罪行。又《玉篇》不明也。《詩·小雅》彼月而微，此日而微。又《韻會》衰也。《詩·小雅》式微式微。《箋》微乎微者也。《史記·杞世家》杞小微。又《韻會》賤也。《尚書序》虞舜側微。又《爾雅·釋詁》匿微也。《註》微謂逃藏也。《左傳·哀十六年》白公奔山而縊，其徒微之。《註》微，匿也。又《爾雅·釋詁》蔽，微也。《晉語》公子重耳過曹，曹共公聞其駢脅，謀其將浴，設微薄而觀之。《註》微，蔽也。又殺也。《禮·檀弓》禮有微情者。《疏》微，殺也，言賢者喪親，必致滅性，故制使三日而食，哭踊有數，以殺其內情。又伺察也。《前漢·郭解傳》使人微知賊處。《註》微，伺問之也。又《爾雅·釋訓》軒瘍爲微。《註》軒，脚脛。瘍，瘡也。《詩·小雅》既微且樞。又《韻會》非也。《詩·邶風》微我無酒。又《韻會》無也。《禮·檀弓》齊餓者，不食嗟來之食。曾子曰：微與。《註》微，猶無也。又國名。《書·牧誓》微盧彭濮。《傳》微在巴蜀。又《爾雅·釋山》未及上翠微。《疏》未及頂上，在旁坡陀之處，山氣青縹色，故曰翠微也。又紫微，太微，少微，扶星名。《晉書·天文志》紫微垣十五星在北斗。北一曰紫微，天帝之座也，天子之常居也。太微，天子庭也。五帝之座也，十二諸侯府也。少微，在太微西，士大夫之位也，明大而黃，則賢士舉也。又三微。《後漢·章帝紀》春秋於春每月書王者，重三正，慎三微也。《註》三微者，三正之始，萬物皆微，物色不同，故王者取法焉。十一月，時陽氣始施於黃泉之下，色皆赤，赤者陽氣，故周爲天正，色尚赤。十二月，萬物始牙而色白，白者陰氣，故殷爲地正，色尚白。十二月，萬物莖甲而出，其色皆黑，人得加功展業，故夏爲人正，色尚黑。又姓。《左傳·哀八年》微虎。《註》魯大夫。又微生，複姓。《論語》微生高。 考證：〔《書·舜典》虞舜側微。〕謹按舜典無此文，係出書序。謹將書舜典改爲尚書序。	・「微，妙也。」という形式。《廣韻》からの引用。
74	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《心部》 《八》 92	惚：《廣韻》《集韻》《韻會》《正韻》扶呼骨切，音忽。恍惚，微妙不測貌。又心志愒惘也。《老子·道德經》惟恍惟惚。又通作習。《揚子·法言》神心惚恍。《傳》作習惚。亦通作笏。《莊子·至樂篇》芒乎笏乎。《註》與惚同。又通作忽。《史記·司馬相如傳》芒芒恍惚。《漢書·音義》恍惚，眼亂似有無也。又叶盧屈切《枚乘·七發》恍兮惚兮，聊兮慄兮，混汨汨兮。汨 mì，莫筆切。	
75	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《日部》 《十》 21	晷：《廣韻》《集韻》扶呼典切，音蜺。《說文》晷，衆微妙也。从日中視絲，古文以爲顯字。或曰衆口貌。讀若唵。唵或以爲繭。繭者，絮中往往有小繭也。《廣韻》今作晷。衆明也，微妙也。《類篇》頭明飾也。一曰著也，光也。亦姓。又《唐韻》五合切《集韻》鄂合切，扶音蛤。又《集韻》渠飲切，音噤。義扶同。 考證：〔《說文》作晷，微妙也。〕謹照原文晷上刪作字。晷下增衆字。	・左例、《說文》には、「晷，衆微妙也。」「作晷，微妙也。」という形式もみられる。
76	《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《玄部》 《玄部》	玄：《廣韻》《集韻》《韻會》《正韻》扶瑚涓切，音懸。《易·坤卦》天玄而地黃。《疏》玄，天色。《揚雄·甘泉賦》將郊上玄定泰時。《註》上玄，天也。《隋書·高帝紀》受命上玄，廓清區宇。聖靈垂祐，文武同心。《梁書·朱异傳》聖明御寓，上應蒼玄。又《黃庭	

第6章 微妙

1		<p>經》心爲上玄。又《說文長箋》黑而有赤色者爲纁，有黃色者爲玄。《禮·王制·疏》玄衣法天。《禮運·五色六章疏》五色加天玄爲六章。又干支名。《爾雅·釋天》壬曰玄默。又月建九月爲玄月。又理之微妙者爲玄。《參同契》惟昔聖賢，懷玄抱真。《顏延之詩》探道好淵玄，觀書鄙章句。《姚嵩·上述佛義表》理玄者，非可以言稱。事妙者，固非常詞之所贊。又清靜也。《前漢·揚雄傳》人君以玄默爲神，澹泊爲德。又《西域傳》值文景玄默，養民五世，天下殷富，財力有餘，土馬強盛。又深也。</p>	
77	<p>《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《禾部》 《四》 15</p>	<p>秒：《唐韻》亡沼切《集韻》《韻會》弭沼切，𠀤音眇。《說文》禾芒也。春分而禾生，夏至晷景可度。禾有秒，秋分而秒定。《韻會》秒之言妙也，微妙也。《前漢·敘傳》產氣黃鐘，造計秒忽。《註》秒，禾芒。忽，蛛網細者。</p>	
78	<p>《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《言部》 《九》 25</p>	<p>諦：《唐韻》都計切《集韻》《韻會》《正韻》丁計切，𠀤音帝。《說文》審也。《書·洪範·孔傳》必微諦。《疏》聽當別彼是非，必微妙而審諦也。《後漢·祭祀志》禘之爲言諦也。諦謔昭穆尊卑之義。又《李雲傳》帝者，諦也。《註》審諦於物也。《魏志·明帝紀》君諦視之勿誤也。《關尹子·九藥篇》諦毫末者，不見天地之大。《劉勰·新論·專學篇》心不在學而強諷誦，雖入於耳而不諦於心。又四諦。《魏書·釋老志》初根，人爲小乘，行四諦法。《釋典·心經》四諦：苦集滅道。苦謂生老病死，集謂集聚骨肉財帛，滅謂壞滅，道謂修行。又二諦：世諦以世俗顯緣起之事，諸法歷然，勸臣子以忠孝，勸家國以和治，此依俗諦。真諦彰本寂之理，一性泯然，是非雙泯，能所俱亡，此依真諦。</p>	
79	<p>《清代》 《康熙字典》 [清]1710-1716年 《鳥部》 《鳥部》 1</p>	<p>鳥：《唐韻》都了切《集韻》《韻會》丁了切，𠀤音薦。(中略)《左傳·昭十七年》少皞摯之立也，紀於鳥，爲鳥師，而鳥名。又秦之先有鳥俗氏。《史記·秦本紀》大費生子二人，一曰大廉，實鳥俗氏。《索隱曰》以仲衍鳥身人言，故爲鳥俗氏。又丹鳥，白鳥，俱蟲名。《夏小正》丹鳥者，丹良也。白鳥者，蚊蚋也。又妙音鳥。《法華經偈頌》聖主天中王，迦陵頻伽聲。《註》迦陵頻伽，妙音鳥也。鳥未出聲時，卽發音微妙，一切天人聲皆不及，惟佛音類之，故以取況。又《正韻》尼了切，音裊。義同。又《集韻》《類篇》𠀤與鳥同。</p>	<p>・《法華經偈頌》からの出典で、「迦陵頻伽，妙音鳥也。」「卽發音微妙」とあるため、「きわめてすばらしい」といった意味で使われているとみられる。</p>

6.9.11.2 検索語：「微妙」（全8件）（2021/03/25 時点）

図表 6.39：「微妙」の実例（中国哲学書電子化計画：漢代之後）

番号	時代/作品名 年代/項目等	実例	備考
1	<p>《漢代之後》 《宋明》 《太平御覽》 [北宋]977-984年 《時序部一》 《歷》 6</p>	<p>《漢書·律歷志》(*中略)至孝成世，劉向總六歷，列是非，作《五紀論》，向子歆究其微妙，作《三統歷》及譜。</p>	<p>・上述、「6.9.10.2 検索語「微妙」~」の“8” 《漢書》《律歷志》《律曆志上》22と重複。</p>
2	<p>《宋明》</p>	<p>《漢書》曰：武帝拜張騫為中郎將，使西域。</p>	<p>・上述、</p>

第6章 微妙

	《太平御覽》 [北宋]977-984年 《職官部三十九》 《中郎將》 1	又曰：宣帝即位，詔曰：「朕微妙時，故掖庭令張賀輔導朕躬，賀有孤孫霸七歲，拜為中郎將。」 又曰：宣帝時，楊惲為中郎將。郎官故事，郎出錢市財用，給文書，乃得出，名曰「山郎。」	「6.9.10.2 檢索語「微妙」~」の“7”《漢書》《宣帝紀》66と一部重複。
3	《宋明》 《太平廣記》 [北宋]977-984年 《權倖》 《李林甫》 1	張九齡在相位，有謬誤匪躬之誠。玄宗既在位年深，稍怠庶政。每見帝，無不極言得失。李林甫時方同列，聞帝意，陰欲中之。時欲加朔方節度使牛仙客實封，九齡因稱其不可。甚不叶帝旨。他日，林甫請見，屢陳九齡頗懷誹謗。於時方秋，帝命高力士持白羽扇以賜，將寄意焉。九齡惶恐，因作賦以獻；又為歸鶯詩以貽林甫，其詩曰：海鶯何微妙。乘春亦暫來。豈知泥滓賤，只見玉堂開。繡戶時雙入。華軒日幾迴。無心與物競，鷹隼莫相猜。林甫覽之，知其必退，恚怒稍解。九齡泊裴耀卿罷免之日，自中書至月華門，將就班列，二人鞠躬卑遜，林甫處其中，抑揚自得。觀者竊謂一鵬挾兩兔。俄而詔張裴為左右僕射，罷知政事。林甫視其詔，大怒曰。猶為左右丞相邪。二人趨就本班，林甫目送之。公卿已下視之，不覺股慄。出《明皇雜錄》	
4	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《理氣下》 《天地下》 68	曆數微妙，如今下漏一般。漏管稍澀，則必後天；稍闊，則必先天，未子而子，未午而午。淵	
5	《宋明》 《朱子語類》 [金]1270年 《易九》 《革》 5	「澤中有火，革」，蓋言陰陽相勝復，故聖人「治曆明時」。向林艾軒嘗言聖人於革著治曆者，蓋曆必有差，須時改革方得。此不然。天度固必有差，須在吾術中始得。如度幾年當差一分，便就此添一分去，乃是。又云：「曆數微妙，如今下漏一般。漏管稍澀，則必後天；稍闊，則必先天，未子而子，未午而午。」淵	・左の例と上記“4”の例は全く同じ。
6	《清代》 《全唐詩》 [清]1705年 《卷四十八》 《詠燕》 張九齡著 1	海燕何微妙，乘春亦暫來。豈知泥滓賤，只見玉堂開。	・上記“3”の例と重複。
7	《清代》 《全唐詩》 [清]1705年 《卷二百二十五》 《寄岳州賈司馬六丈、巴州嚴八使君兩閣老五十韻》 杜甫著 21	典郡終微妙，治中實棄捐。安排求傲吏，比興展歸田。	
8	《清代》 《全唐詩》 [清]1705年 《卷五百七十四》 《欲游嵩岳留別李少尹益》 賈島著 2	微妙此來將敢問，鳳凰何日定歸池。	

6.10 「微妙」のまとめ

「微妙」の考察から判明した事項のまとめをもって「第6章 微妙」の締めくくりとする。以下、箇条書きとした。

- ・「微妙」という語は、漢語由来、特に仏教系の用語として日本に移入されたものとみられる。「6.1 概論」。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「五行之道，天地自然。六甲之分，微妙之神。」（《先秦兩漢》《兵家》《六韜》[戰國] 紀元前 475-221 年《龍韜》《五音》1）が挙げられる（「6.9.10 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）」、「6.9.10.1 検索語：「微妙」、資料番号“17”）。
- ・「微妙」は、本来、「非常に程度の高い称賛」を意味したようである（「6.1 概論」）。
- ・中古期の『今昔物語集』では、「微妙」が重要なキーワードとして現れる。そこでは、「微妙なり」「微妙(めでた)し」という形でプラス評価性の賞讃を表す語として多用される（「6.1 概論」、「6.2.3 佐藤武義（1984）」、「6.2.4 高橋貢（1984）」、「6.2.5 木村紀子（1992）」ほか）。
- ・近代期の代表的国語辞書、『言海』（1889~91：明治 22~24）には、「微妙：奥深く妙なること」とある。これは、「奥深く、幽玄な妙味」といった、やや深淵な語感である。したがって、「微妙」は文語的要素が強い語であったということがうかがえる（「6.3.3 近代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」）。
- ・近世期における「微妙」は、漢文訓読系の硬めの文章に用いられた文語的な要素の強い語であったとみられる。これは、漢文訓読系の文章で、「いみじ」という語に漢語系の「微妙」を当てたという事実が一つの根拠となる。ここから、近世後期においてもなお、日常語レベルでは「微妙(みみょう)」という語が使われることはまれであったということが示唆される（「6.2.4 高橋貢（1984）」、「6.2.4.2 考察（「微妙」と「いみじ」の関連性）」）。
- ・現代における「微妙」は、大きく二つの意味を持つ。端的にいえば、「①一言では言い表せない趣があること。」「②どちらともはっきり言い切れない状態」である（「6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」）。
- ・近年（2000 年代初頭あたり）、上記②の意味に、マイナス評価性が加わった「否定的な気分を婉曲にあらわす語」としての「微妙」の用法というものが現れている（「6.4.1 現代の国語辞書 10 種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」）。
- ・現代の「微妙」は、「①美しさや味わいが趣き深くすぐれている」といったプラス評価性

の意味と、「②どちらかといえば良くない」といったマイナス評価性の意味を双方持つ、反義併存性を示す語であるとみられる。ただし、上記①のプラス評価性の用法は、近年においては減少しつつあるとみられる（「6.1 概論」）。

・「微妙」の英訳としての“delicate”、あるいは英語“delicate”の日本語訳としての「微妙」については、おそらく、明治の後期（30年代後半から40年代にかけて）あたりに定着したのではないかと考えられる（「6.2.1 佐藤喜代治（1979）」）。

・現代における、いわゆる「若者ことば」としての返答の「微妙」は、一見、ぶっきらぼうな表現であるようにも感じられる。しかし、その発話には、他者配慮のストラテジーが動機としてあるとも考えられる（「6.2.8 矢澤真人（2005）」）。

・現代語における「微妙（ビミョー）に」といった連用修飾の形式（副詞的用法）は、「微妙（ビミョー）に～ない」といったマイナス評価性の表現の後続を暗示する効果、つまり呼応の副詞的な機能も一部持つものとみられる（「6.2.9 矢野耕平（2014）」）。

・例えば、会話上において、話し手が、[bimio:]と発話した場合、聞き手には、果たして「微妙」なのか「ビミョー」なのかは判別できない。したがって、実際の言語運用場面を想定すると、表記の違いというものは意識されないため、どう扱うべきであろうかといった問題が生じる。会話等の音声言語のやりとりにおいては、表記のバリエーションといったものが介在しえない。これは表記の限界といえよう。「表記の多様性（バリエーション）」というのは、あくまでも、書きことばにおいて有効となるものである。（「6.2.10 米川明彦（2019）」）。

第7章 やばい

7.1 概論

7.1.1 「やばい」の評価性

本来、「やばい」は、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」（下述、「7.3.2『日本隠語集』（1892）」参照）のように、特殊な社会集団¹⁵⁰の間で使われたマイナス評価性を示す隠語であった。一方、近年においては（おおむね2000年代以降）、「やばい」のマイナス評価性が漂白され、「すごい」「素晴らしい」「よい」といったプラス評価性の意味を持つに至っている（下述、「7.2.6 米川明彦（2017）」、「7.2.7 米川明彦（2019）」、「7.4.2 現代の国語辞書10種における「やばい」の意味記述の比較」、「7.4.3『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「やばい」の意味記述の変遷」、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」等参照）。

ただし、現代においても、「やばい」は本来の「危険」という意味でも使われる。つまり、現代語の「やばい」は、「危険・あぶない」といったマイナス評価性の意味と、「すごい」「素晴らしい」「よい」というプラス評価性の意味を一語に内在する、反義併存的性質をもった語であるといえよう。

ここで、「やばい」と類義語との関係について簡潔にみていく。例えば、「やばい」と非常に性質が似た古語として、「いみじ」「ゆゆし」等が挙げられる。「いみじ」「ゆゆし」は、「やばい」と同様に反義併存的性質を持つ語である。つまり、本来マイナス評価性を示したものが意味の上昇（向上）の過程を経てプラス評価性へ移行した点において共通性を持つ（下述、「7.2.4 矢野耕平（2014）」、「7.2.4.2 考察（プラス評価性「やばい」の出現時期）」等参照）。古来から日本語に「いみじ」「ゆゆし」等の反義併存的性質を持つ語が存在したことを考慮すれば、近年における「やばい」の変化が決して特殊なケースではないということも指摘しておく。

一方、現代語の観点からは、「すごい」「すさまじい」「恐ろしい」「ひどい」等の語が「やばい」と類似性を示す語として挙げられる。これらの語についても、上記同様本来マイナ

¹⁵⁰ ここでは、榎垣実（1956）でいうところの「不健全・反社会的集団」等を指す。下述、「7.1.5.2 隠語」、「1. 狭義の隠語」、「②」参照。

ス評価性を示したものが意味の上昇（向上）の過程を経てプラス評価性へ移行した点において共通性を持つ（下述、「7.2.3 矢澤真人（2005）」、「7.2.3.1 問題な「やばい」」等参照）。

さらに、「やばい」と近年の流行語「ハンパない」との類似性について試みる。『現代用語の基礎知識 2005 年版』、「若者用語の解説」内における、「「空気を読んで」会話する若者。意味は文脈で決まる！通じる人には通じる！」では、「ハンパない」についての解説がある（堀内克明・山西治男記述／下述、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約 50 年分における「やばい」の変遷」等参照）。それによると、例えば、ある食べ物が「ハンパない」と言ったとき、「ハンパではないくらい美味しい」の意味にも、「ハンパではないくらいまずい」の意味にも使われ、どちらの意味になるかは、発言時の状況・文脈によって決まってくる、とある。ここから「ハンパない」も「やばい」と同様に反義併存的性質を示し、互いに類義の関係にあることがわかる。つまり、「やばい」を「ハンパない」と入れ替え、ある食べ物が「やばい」と言ったとき、「やばいくらい美味しい」、あるいは、「やばいくらいまずい」といった両方の解釈が可能となる。現代においては、堀内・山西が述べるとおり、「やばい」「ハンパない」等の「文脈・場面依存性」が高く、「通じる人には通じる」表現が比較的好まれるといった傾向も指摘できよう。

7.1.2 「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」とは

「やばい」という語の変遷をみると、「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」との関係性について考える必要がある。以下に、「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」について簡潔にまとめた。

7.1.2.1 俗語

「俗語」という語は、一見したところ漠然として捉えがたいものである。さらに、「俗語」の「俗」の字には、「俗悪」「雅俗」「俗物」「俗っぽい」等々、どこかマイナス評価性の語感が伴うようでもある。

米川明彦（2003）は、「俗語概説」¹⁵¹において、「俗語の定義」を示している。「俗語」の特徴について端的に解説したものである。以下に、米川による「俗語の定義」を示した（便宜上番号をつけた／一部編集）。

¹⁵¹ 米川明彦（2003）『日本俗語大辞典』、巻末に所収。

・「俗語の定義」

- ①話しことばにおいて、公・改まった場等では使えない（使いにくい）もの。
- ②語形・意味・用法・語源・使用者等において、荒い・強い・大げさ・汚い・下品・卑猥・俗っぽい・くだけた・誤った・侮った・幼稚・リズムカル・軽い・ふざけた等の感情を想起させる語や言い回しを含むもの。
- ③たいていの場合、「俗語」は、対応する公・改まった場等で使われる類義表現を持つ。
- ④「俗語」の候補語として、若者語・流行語・業界用語・隠語・卑語・差別語の大部分・一部が挙げられる。また、一般語の口頭語形も含まれる。

7.1.2.2 考察（俗語）

以上、米川は、「俗語」について、かなり幅の広い解釈を取る。例えば、上記④をみると、「若者語・流行語・業界用語・隠語・卑語・差別語」を包括する上位の概念として「俗語」を位置づけている。

ここで、上記「俗語の定義」と、「やばい」を照らし合わせると、上記①については、現時点でも「やばい」はフォーマルな場では使用がはばかれるものとみられるため当てはまる。上記②については、若干わかりにくい表現であるものの、「やばい」は、「荒い・強い・大げさ・汚い・下品・卑猥・俗っぽい」等の感情を想起させる点において当てはまる。上記③について、「やばい」は、フォーマルな場においては、「危険」「危ない」「まずい」「よろしくない」、あるいは、「素晴らしい」「よい」等の類似の対応表現を持つ点で当てはまる。上記④について、米川は、「俗語」を種々の位相語を包摂する上位段階の語として位置づけている。例えば、「若者語」「流行語」「隠語」等は、大きく「俗語」グループの下位分類ということになる。「やばい」についてみれば、複数の下位分類（隠語／卑語／若者語／流行語）に所属することがわかる。

7.1.2.3 隠語

一方、「やばい」は、「(官憲の手配がきびしくて) あぶない。(隠語)」(『辞海』(1952 : 昭和 27) / 下述、「7.4.1 近代の辞書 11 種における「やばい」の意味記述の比較」参照) とあるように、本来は「隠語」としての出自を持つものである。「隠語」については、米川明彦 (1998) によると、特定集団内の秘密保持を目的として、語を言い換えたり、意味を変えたりして使うもので、上述、「俗語」の一種とされる (下述、「7.2.1 米川明彦 (1998)」

参照)。

なお、榎垣実(1956)は、「隠語概説」¹⁵²において、「隠語」について、「1. 狭義の隠語」「2. 広義の隠語」と二分類している。以下に「1. 狭義の隠語」「2. 広義の隠語」について簡潔にまとめた(便宜上番号をつけた)。

・「1. 狭義の隠語」

- ①「隠語」を日本で使い始めた頃は、「かくしことば」と呼称した。
- ②一般人に知られては困るような仕事に携わる、内部に秘密を持った社会集団、主に不健全・反社会的集団が使うものであった。
- ③「隠語(かくしことば)」を音読したものが、「隠語(いんご)」である。
- ④「狭義の隠語」とは、仲間以外の人にわからないように人為的に作った言葉・盗賊等の特殊語を意味するものである。

・「2. 広義の隠語」

- ①世間には、種々の特殊な社会集団がある。主に身分・職能等で結ばれた人々の仲間である。
- ②その社会集団には、他の集団にはみられない生活習慣があり、表現するための言葉も当然異なったものになる。
- ③したがって、その社会集団の内部でのみ通じる言葉が生まれる。
- ④それは秘密保持という目的から生まれたものでなくても、仲間以外には通じない特殊な言葉という点において、上記の盗賊仲間が使うもの(*上記、「1. 狭義の隠語」の②)と変わりがない。
- ⑤そのような特殊な言葉が多くの社会集団で生まれており、ときには一般語の中にもまで入り込んでいる。「広義の隠語」は、これらをも包摂するものである。

7.1.2.4 考察(隠語)

以上を概観した上で、「やばい」を当てはめてみると、「やばい」は、「俗語」である以前に、まずは「隠語」として存在していたことがわかる。上記、榎垣の論を援用すれば、「やばい」は、まず、「1. 狭義の隠語」に該当し、②のいわゆる「特定の反社会的集団」にのみ使われたことばであった。

¹⁵² 榎垣実(1956)『隠語辞典』、巻末に所収。

ここで、上記、「2. 広義の隠語」、⑤に、「ときには一般語の中にまで入り込んで」とある。「やばい」についても、現代における使用頻度の高さを考えれば、ある時期にいわゆる「特定の反社会的集団」と一般社会との間に密な接触があったということが考えられる。下述、「7.2.1 米川明彦 (1998)」によると、戦後の混乱期に、ヤミ屋が横行し、一般人との接触が多くあり、ヤミ屋の隠語が一般人にも入ってきたという。このような背景もあり、「やばい」が一般社会のことばにも入り込んだことが推測できる。つまり、戦後の混乱期は、「隠語」としての「やばい」が、「俗語」としての「やばい」に移行する一つのきっかけを作った時期であったともいえよう¹⁵³。

7.1.2.5 若者語

次に、「若者語」についても簡潔にみていく。現代において、「やばい」と「若者語」とは密接な関連性が認められる（下述、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」参照）。米川明彦 (1998)『若者語を科学する』では、「1 若者語研究とは」、「2 若者語とは」において若者語の定義が示される（下述、「7.2.1 米川明彦 (1998)」も参照）。以下、米川の「若者語の定義」についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

・「若者語の定義」

①若者語とは、中学生から三十歳前後の男女が、仲間内で、会話促進・娯楽・連帯・イメージ伝達・隠蔽・緩衝・浄化などのために使う、規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回しである。

②個々の語について個人の使用、言語意識にかなり差がある。また時代によっても違う。若者言葉（*ともいわれる）。

まず、上記①では「若者語とは、中学生から三十歳前後の男女が」とあり、具体的な年齢層を規定づけている。ただし、米川は、若者語は単に「若い世代の言葉」というわけではない、とも述べる。例えば、上記①「仲間内で、会話促進・娯楽・連帯・イメージ伝達・

¹⁵³ ただし、筆者の推論では、第二次大戦中に徴兵された一般人が、軍隊内においていわゆる「特定の反社会的集団」の隠語を身につけた可能性があり得るといったことも指摘しておく。部隊配属は自らの出身地、社会的出自等は関係なく行われるわけであり、それはつまり、軍隊生活を通して自らの所属する社会集団以外の人々と密に接触する環境があったということを意味するものである。後に軍役を終えて一般社会に戻った人々が、そのまま軍隊で覚えた隠語を使い続け、結果的にそれらの語が一般社会に流布したという可能性もあり得る。

隠蔽・緩衝・浄化などのために使う、規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回し」が適用されるため、単に若い世代に使われる新方言等は必ずしも若者語ではないとも述べる¹⁵⁴。

7.1.2.6 流行語

「流行語」については、新しくはないものの、『国語学大辞典』（1980）による解説が的を射ている（寿岳章子記述）。以下に主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①その時代に適応し、感化的意味がきわめて強い、爆発的な民衆の使用語。
- ②多くは徐々に消滅するが、一般語彙に定着する場合もある。
- ③「はやりことば」ともいう。
- ④流行語の存在は、日常生活において必然的・普遍的なものである。
- ⑤好奇心旺盛で、キャンペーン型とされる日本人にとっては、流行語は必須なものであった。
- ⑥国語教育等での扱いについては、適当な抑制が望まれる。しかし、その存在を否定はできない。
- ⑦社会における情報化が進展するほどに、流行語の新陳代謝も激しくなる。
- ⑧現在（＊1980年前後）のように、文字情報に加え、ラジオ・テレビ等によりことばが発信され使用を強制される時代は、濃密な流行語の時代といえる。

7.1.2.7 考察（流行語）

上記の「流行語」についての解説は、令和の現代においても、ほぼ当てはまるといってもよいであろう。「やばい」との関連性からみると、上記②の「多くは徐々に消滅するが、一般語彙に定着する場合もある」点が重要であろう。「やばい」の場合、「隠語」→「俗語」→「流行語」という変遷を経て、結果的に一般語彙に定着した一例と考えられる。

上記⑥では、「国語教育等での扱いについては、適当な抑制が望まれる。」とある。現代においては、国語教育のみならず、外国人に対する日本語教育においても、流行語や俗語をいかに扱うべきかといった問題が浮上してくる。この点については、本稿では詳しく触れ

¹⁵⁴ あまりに厳格な定義でくくってしまうと、「若者ことば」のカオス的許容性というものがなくなってしまうのではとも感じられる。

ないものの、今後、活発な論議が促されるべきであろう¹⁵⁵。

上記⑦の「流行語の新陳代謝」についてみると、当時（1980年前後）と比較すれば、インターネット全盛の現代では、情報の流動化といったものが当時の比ではない。当然、流行語のはやり廃りのサイクルも非常に早いとみられる。したがって、流行語の寿命が短期化し、それだけ消滅する流行語も増加するといったことが指摘できる。

一方、「やばい」については、近年、有名お笑い芸人による、「ヤバイよヤバイよ（リアルにヤバイよ）」等が、人気テレビ番組経由で発信され、（再）流行語化した事例もみられるように、いっこうに廃れる気配がみられない。「やばい」という語は、おおよそ二百年もの長きにわたりしぶとく生き残り、現在なお勢力を拡大しつつあるといった状況にある¹⁵⁶。やや非科学的な内容になるものの、「やばい」という語が持つ言霊の非常に強いエネルギーといったものが筆者には感じられてならない。

以上、「やばい」の変遷と反義併存的な側面、さらに、「俗語」「隠語」「若者語」「流行語」について概観した。次節以降では、「やばい」について、共時的および通時的観点から、先行研究・辞書等の資料を基として総合的な考察を行う。

7.2 先行研究および資料

本節では、「やばい」関連の先行研究および資料を取り上げ、論点を整理した上で考察を行う。

7.2.1 米川明彦（1998）

7.2.1.1 隠語から出た若者語としての「やばい」

米川明彦（1998）『若者語を科学する』、「VI 若者語の出自」では、「隠語から出た若者語」として六つの語を挙げる。その中の一つが、「やばい」である¹⁵⁷。米川によると、戦

¹⁵⁵ 過日、筆者がある学会で「やばい」について研究発表した際、日本語教育関係者同士による俗語を日本語教育で取り上げるべきか否かについての活発な議論があった。現場の当事者もそれ相応の関心を持っているとみられる。

¹⁵⁶ 管見の限り、少なくとも江戸期の寛政元年（1789年）には、「やば」についての資料がみられる（下述、「7.9 「やばい」の実例」、「7.9.7 『近世上方語辞典』～」参照）。

¹⁵⁷ なお、六つの語の内訳は、「①しかとする／②せこい／③つるむ／④はくい／⑤まぶい／⑥やばい」となる。

後まもなく、ヤミ屋が横行し、国民の多くが生活のために法を犯さざるを得なかった時期に、ヤミ屋の隠語が一般人にも入ってきたという。また、浮浪児が街にあふれ、不良化しテキ屋の言葉を覚えた時期があったともいう。以下に主要な部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①『現代用語の基礎知識』、「若者用語」に、「やばい」が初出したのは1980年版であり、「やくい・やばい」の見出しに「危険な。あぶない。まずい。」と意味が記されている。
- ②「やばい」の語源は「あやぶい」であろう。「あ」が省略され、「ぶ」が「ば」に母音転化した。
- ③昭和初期の小説、川端康成（1929, 1930）『浅草紅団』に、「私と歩くのはやばい（危ない）からお止しなさいついでいふんだ」とあり、「ヤバイ」には注釈がつけられている。
- ④一方、戦後の小説、石坂洋次郎（1949, 1950）『石中先生行状記』「祭礼の巻」に、「ああ、あれですか。ちがいますよ。こないだから、むかし東京で知り合いだった親分の添書をもって、テキ屋が一人転がりこんで来てるんですよ。あっちで何かヤバイ事があったらしいんで…」とあり、一般人が「ヤバイ」を使用し、注釈なしで書かれている。
- ⑤雑誌『小説公園』（1955年1月号）所収、安西薫「ダブル・ハットのシミチョロ」には、「「ヤバイ」（きたない、けち、危い）「ハクイ」（いい）、などしばしば堅気？の学生まで使っている。」とあり、不良学生用語が一般学生にも入っていることがうかがえる。
- ⑥また、大下宇陀児（1955）『虚像』「新しい姉・二」では、刑事が「高飛びは、自動車強盗の件でヤバイような気がしたからだ、という」と述べ、「やばい」に注釈はない。
- ⑦「やばい」は、本稿（*『若者語を科学する』）で挙げた語（*六語「しかとする」「せこい」「つるむ」「はくい」「まぶい」「やばい」）の中では、最も早くから一般に広まっていた隠語出自の語である。

7.2.1.2 考察（「やばい」の語源）

上記①に、「『現代用語の基礎知識』、「若者用語」に、「やばい」が初出したのは1980年版」とある。ただし、これについては若干の疑問がある。これについては、下述、「7.5『現

代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」にて示した。

上記②では、「やばいの語源」について触れている¹⁵⁸。「やばい」の語源については、諸説が混交している（上述、「1.3.4 考察対象辞書の選定」、「注釈」も参照）。上記②の説はそれら諸説からの一説であるため、確証はないようである。ただし、上記②の音韻変化説については、有力説の一つにはなろう。ちなみに、「やばい」の音韻変化説については、田井伸行（1978）の説もある。それによると、「「たいへん危険である」という意のイヤアブナイ（彌危ない）は、イの脱落、ヤアの縮約、ブナ [b (un) a] の縮約でヤバイ（危い）・ヤバ（危）という隠語になった。早口に発音するとき、脱落、縮約、添加が複合的に作用して種々のことばが生まれた。」とある。

上記③から⑥までの事例を基に、「やばい」の一般社会への定着について以下にまとめると、「戦前期（昭和前期）あたりまで「やばい」は一般的な語ではなく、文章掲載時に注釈を要した。一方、戦後期の小説等では、「やばい」が注釈なしで使われるようになってきた。これは、「やばい」が戦後の混乱期、ヤミ屋・テキ屋等の経由で一般人に入り込み、意味を容易に解するようになったためである」ということになる。

上記⑦において、「「やばい」は最も早くから一般に広まっていた隠語出自の語である」とあるが、「やばい」が何らかの理由で一般人に受け入れられやすかった¹⁵⁹ということも要因の一つとして考えられる。これは戦後期から現代にかけての「やばい」の発展とも関わるものである。

7.2.2 文化庁（2005, 2015）

7.2.2.1 『国語に関する世論調査』における「やばい」

文化庁（2005）『平成16（2004）年度 国語に関する世論調査』（平成17（2005）年1月調査）、「Ⅱ 調査結果の概要」、「21. 言い方の使用頻度」、および、文化庁（2015）『平成26（2014）年度 国語に関する世論調査』（平成27（2015）年1月調査）、「Ⅱ 調査結果の

¹⁵⁸ 筆者は、「「やばい」の自然発声音由来説」というものを立てておく。つまり、人がさまざまの恐怖に直面したときに、自然に発せられる「ヤッ！」とか「バッ！」とかいう音が「やば」あるいは「やばい」の起源となるものとみなす。この説を基にして、なんらかの外的刺激により、心が激しく揺さぶられたときに自然発生的にでる音が「ヤバッ！」や「ヤバイ！」であるとすれば、現代語において「やばい」が感動詞的に多用される状況が説明しやすくなる（大島正健（1931）等参照）。

¹⁵⁹ 音節が短く（三音節）、発声しやすい等の音声的な要素が関わっている可能性もある。

概要」、「22. 言い方の使用頻度」において、「やばい」についての設問がみられた。近年の「やばい」の反義併存性の進行がデータによって示されており、興味深い内容といえる。

ここでは、「平成 17（2005）年 1 月調査」、および、「平成 27（2015）年 1 月調査」における「やばい」の使用頻度に対する意識調査を比較・対照し、10 年間の変化の過程を概観してみる。まずは、「平成 17（2005）年 1 月調査」における回答表の一部を以下に示した。

問 21 [回答表] あなたは、ここに挙げた (1) から (6) の言い方をすることがあります
か、それともありませんか (* (4) 「やばい」の項目のみ抜粋)。

(4) 「とてもすばらしい (良い、おいしい、かっこいい等も含む)」という意味で「や
ばい」と言う (* 下線はママ)

さらに、上記 (4) の回答結果について、以下にまとめた (便宜上番号をつけた)。

① 「ある (計)」(「よくある : 5.1%」「ときどきある : 13.1%」の合計) の割合は、18.2%
で 2 割以下である。一方、「ない (計)」(「ない : 68.5%」「ほとんどない : 12.9%」の
合計) の割合は、81.4%で 8 割を越える。

② 地域ブロック別では、いずれの地域ブロックでも「ない (計)」と答えた人が多数 (い
ずれの地域も 7 割以上) を占める。一方「ある (計)」の割合は、北陸で高く (26.5%)、
北海道で低い (11.7%)。ちなみに、関東は 19.5%、近畿は 14.7%である。

③ 性別では、「ある (計)」の割合は、男性 (20.1%)、女性 (16.7%) で、男性が高い。
本文付属表 17 にて詳細をみると、「ある (計)」の割合は、男性 (16~19 歳) が 75.6%¹⁶⁰、
男性 (20~29 歳) が 51.7%とあり、女性 (16~19 歳) が 65.8%、女性 (20~29 歳) が 53.2%
とある。一方、男性 (60 歳以上) が 8.1%、女性 (60 歳以上) が 3.6%で、年齢による
格差が大きい。

以上、「平成 17（2005）年 1 月調査」を概観すると、上記①の全体傾向については、プ
ラス評価としての「やばい」を使う割合は 2 割弱であった。

¹⁶⁰ 「ある (計)」の割合について、男性 (16~19 歳) の 75.6%という数値は、全ての年齢
層 (性・年齢別男女 12 カテゴリー) の中で最も高い。一方、最も低かったのは、女性 (60
歳以上) で、3.6%であった。

7.2.2.2 調査の比較（「2005（平成17）年」および「2015（平成27）年」）

次に、「平成17（2005）年1月調査」、および、「平成27（2015）年1月調査」における「やばい」の設問から、「ある」の割合の比較を行った。以下、表にまとめたものを示した。なお、小数点以下は、切り捨てとした。パーセンテージの表示は省略した。最も高い数値は網掛け、最も低い数値はイタリック体とした。「性別・年齢」欄については、60歳以上は除外した。2005年と2015年で分類法が異なり、単純比較できないためである。

図表 7.1：文化庁（2005, 2015）「言い方の使用頻度」「やばい」の設問における「ある」の割合の比較

設問 （*2005, 2015 共通）		「とてもすばらしい（良い、おいしい、かっこいい等も含む）」という意味で「やばい」と言う		備考	
返答		ある	ある		
調査年		2005	2015	・10年間の変遷を比較。	
総数		18	26	・全体では8ポイント増加。	
性別	男	20	28	・男性は8ポイント増加。女性は10ポイント増加。	
	女	15	25		
性別・年齢	男	16~19	75	88	・全ての年代で増加。 ・2005の最も高い使用率は16~19で75。 ・2015の最も高い使用率は16~19で88。 ・20~29は29ポイント増加。伸び率は最も高い。 ・30~39は27ポイント増加。 ・40~49は19ポイント増加。 ・年代間の差が比較的大きい。
		20~29	51	80	
		30~39	24	51	
		40~49	19	38	
		50~59	<i>11</i>	<i>16</i>	
	女	16~19	65	95	
		20~29	53	77	
		30~39	23	56	
		40~49	14	29	
		50~59	<i>9</i>	<i>19</i>	

7.2.2.3 結果

結果として、以下のことが判明した。

- ・「2005（平成17）年1月調査」と、「2015（平成27）年1月調査」の10年間の変遷について比較・対照を行った。
- ・「性別」についてみると、男性は8ポイントの増加、女性は10ポイントの増加であった。したがって、女性の伸び率は、男性の1.25倍であった。

・「性別・年齢別・男性」についてみると、全ての年代で数値が増加した。「2005年」における最も高い使用率は「16～19歳」で75%であった。「2015年」における最も高い使用率は「16～19歳」で88%であった。「ある」の返答の割合は、「20～29歳」は29ポイント増加した（最も高い伸び率）。「30～39歳」は27ポイント増加した。「40～49歳」は19ポイント増加した。「50～59歳」は5ポイント増加した。年代間の差が比較的大きく、年代が上がるにつれ、伸び率は漸減するといった傾向を示した。

・「性別・年齢別・女性」についてみると、全ての年代で数値が増加した。「2005年」における最も高い使用率は「16～19歳」で65%であった。「2015年」における最も高い使用率は「16～19歳」で95%であった。「ある」の返答の割合は、「16～19歳」は30ポイント増加した。「20～29歳」は24ポイント増加した。「30～39歳」は33ポイント増加した（最も高い伸び率）。「40～49歳」は15ポイント増加した。「50～59歳」は10ポイント増加した。女性についても、年代間の差が比較的大きく、年代が上がるにつれ、伸び率は漸減するといった傾向を示した。ただし、「30～39歳」が33ポイントの増加で、最も高い伸び率を示しており、比較的年齢が上の層にまで急激に浸透しているといった状況がうかがえる。

・「2005年」および「2015」の「ある」の割合について男女比較を行うと、例えば「16～19歳」についてみれば、「2005年」については、男性が75%、女性が65%と女性が10ポイント低かった。一方、「2015」については、男性が88%、女性が95%と女性が7ポイント上回るといった逆転現象を示した。ここから、近年、特に10代後半の女性に「やばい」が急速に浸透し好まれているといった状況がうかがえる。

7.2.3 矢澤真人 (2005)

7.2.3.1 問題な「やばい」

『続弾！問題な日本語—何が気になる？ どうして気になる？』（2005）では、「やばいよ、この味」の項目において、「やばい」が取り上げられる（矢澤真人記述）。ここでは、Q&A方式により読者の質問に回答する形式をとる。以下、主要部分についてまとめた（便宜上番号をつけた）。

① [質問]：若い人が「やばい」をよい意味で使っているのに戸惑う。このまま定着す

るのか。

② [答え] : 「やばい」は、もともと、盗人の隠語（仲間内だけで通じるように仕立てた言葉）で、「捕まるおそれがある、危険だ」等を意味した。しかし、現在は、少し意味が広がり、「勉強していないから、今度の試験、やばいよ」というように、「自分に不利な状態が迫っている」という意味で使われている。

③しかし、最近（2005年時点）、若者間で、「やばいよ、この味」のような言い方がなされる。これは、おいしさが際だっていることを表す。

④「やばい」のこれらの用法には三つの特徴（*以下、⑤から⑧まで）がある。

（*以下、一つ目の特徴：⑤ ⑥）

⑤（*「やばい」を）ほめ言葉にしか使わない人が多い。当然、「やばい、遅刻しそうだ」という従来用法はある。しかし、「やば、これまずっ!」「やばい、さっむー!」などのマイナスの評価には使いにくいようである。ほめ言葉としての「やばい」は、「(感動して)自分がやばくなるほどだ、自制がきかなくなってしまうそうさ」という意味であろう。

⑥また、「恐ろしく（すごく）うまい」という表現も、本来は、「自分が恐ろしい（すごい）と感じるほどうまい」ということであるから、使い方は同じである。「恐ろしく」や「すごく」は、「恐ろしく（すごく）うまい」「恐ろしく（すごく）まずい」のように、評価のプラス・マイナスにかかわらず、単純に程度の甚だしさを表す。一方、「やばい」はマイナス評価を表す「やばい」をプラス評価の「うまい」と一緒に用いるミスマッチにより刺激的な表現にしている。

（*以下、二つ目の特徴：⑦）

⑦「すごい」は、「すげーでかくなった」のように副詞的に用いられる。一方、「やばい」は、「このカレー、やっべーうまくなった」のように副詞的に使うと不自然と感じる人が多い。「やっべ、これうめー」「うんめ、ちょっと、やべーよ、これ」のように、感動詞的な用法が中心である。「これ、やっべーうまくなった」という表現について、高校・大学生に調査したところ、多数が不自然と判断した。

（*以下、三つ目の特徴：⑧）

⑧食事中・食後すぐに、「やっべ、うめー」等はいうが、「(食後時間がたってから)
Q: あのカレー、おいしかった? A: うん、うまかった、やっべー」のような、その場を離れた思い起こしや報告の表現ではあまり使われない。一方、「すごい」ならば、

「昨日食べたカレー、すんげう良かったよ」のように自然に使える。「やばい」は、その場との結びつきがきわめて高い表現のようである。

⑨最近の若者達の「やばい」は、ミスマッチの効果による刺激的な表現として、感動詞のように使われているようであるが、この刺激は多用されることによって薄れてゆく。

⑩一部に、「やばい」を「すごい」「恐ろしく」と同様に、程度を表す副詞のように使っている人もいるが、他のさらに刺激的な表現に取って代わられてしまうのではないだろうか。

7.2.3.2 考察（「やばい」の意味の軽薄化）

まず、上記②では、本来、「危険」を意味した「やばい」が、現在、少し意味が広がり、「自分に不利な状態が迫っている」という意味で使われている、とある。つまり、発話者からみた場合、「やばい」の対象が、「自分にとって危険なもの」から、「自分にとって不利なもの」に移行したということになる。これはつまり、現代においては、本来の「やばい」という語の持つ過激さが薄れたことにより、切迫感が相当に緩和されたことを意味する。したがって、さしたる危険性も感じられないような、自分にとって多少不都合な事態に対しても「やばい」が使えるようになったといえよう。この「やばい」の例として、「今日の課題やるの忘れてた。やばいなあ。」「寝ぐせが直らなくてやばい。」等が挙げられる。

上記③では、「若者間で、「やばいよ、この味」のような言い方がなされる」と、「やばい」のプラス評価の用法について指摘している。さらに、上記⑤では、「ほめ言葉にしか使わない人が多く、マイナスの評価には使いにくい」とある。しかし、この点については疑問である。従来の「やばい」は、マイナス評価性の感情を表明する語である。したがって、当然マイナス評価の対象と結びつきやすいと考えられるため、矛盾が感じられる。現代の「やばい」は、むしろプラス評価・マイナス評価どちらの場面・状況においても使えるからこそ混乱を招くわけである。

上記⑥では、「恐ろしく」・「すごく」は、評価のプラス・マイナスにかかわらず、単純に程度の甚だしさを表す、とある。一方、⑥後半では、「やばい」はマイナス評価を表す「やばい」をプラス評価の「うまい」と一緒に用いるミスマッチにより刺激的な表現にしている、とある。しかし、「恐ろしく」や「すごく」も、本来はマイナス評価性の語であったものが、そこからプラス・マイナスの評価性にかかわらず程度の甚だしさを現す方向に移行

したとみられる。さらに、「やばい」は核の意味（中核的意味）として「程度の甚だしさ」を持つと考えられる。したがって、「やばい」の性質は、「恐ろしく」や「すごく」と類似していることとなる。「やばい」のみが特殊というわけではないということを指摘しておく。

上記⑦では、「すごい」が副詞的に使われる一方で、「やばい」を副詞的に使うと不自然と感じる人が多く、感動詞的な用法が中心である、という。例として（以下、便宜上 a, b とした）、a.「やっべ、これうめー」 b.「うんめ、ちょっと、やべーよ、これ」を挙げる。ここで、上記例をみても、b.の例については感動詞的な用法ではないようである。これは、「うまい。これはちょっとやばい。」となり、普通の形容詞文の倒置形である。筆者の考えるところの感動詞的「やばい」は、「あっ／おっ／わっ」のように何らかの対象を感知したときに、感情が高ぶり自然発生的に出る音声に近いものである。

さらに、上記⑦後半では、「これ、やっべーうまくなった」という「やばい」の副詞的表現について述べる。高校・大学生への調査によると、多数が不自然と判断した（2005 時点）、とある。ただし、これについては、「やばいくらい」「やばいほど（に）」といった副詞的役割を果たす「やばい」関連語がすでにある。したがって、おそらく、「やばい」単独で副詞の機能を果たすようになることは当面の間はないであろう。しかし、戦後における「やばい」の意味・用法の拡大を考慮すると、今後「やばい」の副詞化が進むといった可能性も否定はできないであろう。これについては、今後の経過を注視する必要がある。

上記⑧では、「やばい」と時制との関連について述べる。食中・食後すぐの、「やっべ、うめー」等はいうが、食後時間がたってからの「うん、うまかった、やっべー」のような、場を離れた思い起こし・報告の表現ではあまり使われないとあるが、そうとも言い切れないようである。実際の言語使用上においては、「昨日食べたラーメン、かなりやばかったよ」といった類の表現もよく聞かれる。したがって、⑧後半にある、「「やばい」は、その場との結びつきがきわめて高い表現」とも言い切れないと考える。参考として、以下に、過去形の「やばかった」が、プラス評価の文脈・場面で使われる例を挙げておく（下線は筆者による／一部抜粋・編集）。

ジョーカー見てきました!!□ しかも、2回目 ホアキン・フェニックスの演技がやばかったね 2回目でも全然飽きない!!□ どんな役作りしたら、こんな演技ができるんだって思う！ マジで感動した!!□（2019/10/14「玉城大志オフィシャルブログ Powered by Ameba」「この映画はマジで凄かった！！」）

ただし、実際の傾向をみると、「やばい」の過去形「やばかった」は、「やばい」本来のマイナス評価の文脈・場面で使われる傾向が高いようである。ちなみに、2019年の9、10月、関東近辺は二度大型台風の直撃を受けたが、その後「台風やばかったね（これはマイナス評価性の語感）」という表現が巷間にてよく聞かれたという事例も挙げておく。

上記⑨では、「やばい」が、刺激的な表現として、感動詞のように使われ、この刺激は多用されることによって薄れてゆく、とある。一般的に、人間の感覚は、一定の刺激を受け続けるとその刺激について鈍感になるという。確かに、「やばい」についても近年において以上のような傾向が当てはまるようである。

例えば、近年、「やばい」を単独で使わず、高い程度を表す接頭辞「超」「激」「鬼¹⁶¹」「マジ」等をつけた、「超やば」「激やば」「鬼やば」「マジやば」といった表現がみられる。あるいは、高い程度を表す接尾辞「～すぎる」をつけた、「やばすぎる」等の表現も多用される現状がある。これは、現代において「やばい」が多用されることにより、本来持っていた過激さ・どぎつさといった語感が薄れてしまったことを示唆するものである。したがって、高い程度を表す接頭辞・接尾辞をつけることにより、それ（程度が緩和された分）を補っているとの見方もできよう¹⁶²。一方、多様なバリエーションが生まれているということは、「やばい」が依然として世間において好まれているということも指摘できる。

上記⑩では、「やばい」が他のさらに刺激的な表現に取って代わられてしまうのではないだろうかという懸念が示される。しかし、近年においては、上述したように、「やばい」の新たな派生語の出現もあり、むしろ、「すごい」「恐ろしく」等の類義語も「やばい系統の語」に取って代わられている現状がある。したがって、「他のさらに刺激的な表現に取って代わられてしまう」ということはなさそうである。「やばい」が約二百年にわたりしぶとく生き残ってきた歴史をみれば、そう簡単に他の語に取って代わられるということもないであろう。

¹⁶¹ 例えば、『現代用語の基礎知識 2010年版』、「若者」に「鬼」がみられ、「とても。やばいくらい。（中略）鬼〇〇は最上級を意味する。」とある。

¹⁶² 例えば、『現代用語の基礎知識 2020年版』、「若者」の冒頭コラムに、「「ヤバい」だけでは物足りないのか、わざわざ長くして「やばたにえん」と表現する。「やばたにえん」や「やばたにえんの無理茶漬け」は2018年に出てきたが、（以下略）」とある。

7.2.4 矢野耕平 (2014)

7.2.4.1 若者の決まり文句としての「やばい」

矢野耕平 (2014) 『13 歳からのことば事典「まじ、ヤバい！」気持ちをもっと正しく伝えるには？—語彙力&表現力をのばす心情語 600—』では、若者の決まり文句としての「やばい」についての記述がみられる。まず、「はじめに」からの一節を以下にまとめた（下線は筆者による）。

- ・何かイヤなこと、不快なことが起きたら、みなさんはどんなことばを発しているのでしょうか。「きもい」「うざい」「やばい」…それとも「むかつく」？そんな「決まり文句」を連呼していませんか？
- ・わたしは進学塾で20年以上指導をしてきましたが、みなさんが、少しずつ豊かな心情語を忘れていっているように思います。代わりによく聞くのが、すでに述べた「きもい」「うざい」「やばい」…。
- ・本書では、「きもい」「やばい」「うざい」「痛い」「ビミョー¹⁶³」など、世間で誤用と非難されがちな若者特有の心情語も多く取り上げています。

以上をまとめれば、現代の若者が、従来あるバラエティー豊かな心情語を忘れ、「きもい」「うざい」「やばい」等の限られた決まり文句で代用させてしまいがちといったことになる。したがって、矢野によれば、「決まり文句」としての「やばい」は、「世間で誤用と非難されがちな若者特有の心情語」ということになる。「やばい」は、本文の「1章 よく使うけど大人に理解してもらえないことば」に項目がみられる。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①1990年代から、若者の間で、「格好悪い」の意味で使われるようになった。
- ②2000年前後より、「とてもよい／格好いい／とてもおいしい／楽しい／感動する」等の肯定的な意味で使われ始めた。
- ③文脈や、「やばい」を発する人の声色・表情等から、肯定的なのか否定的なのかを読み取らなければならない。
- ④古来、「やば」は、「不都合」を表した。江戸時代、盗人らが身に危険が迫ったとき

¹⁶³ 「ビミョー」については、上述、「6.2.9 矢野耕平 (2014)」にて扱った。

に「やばい」を使うようになったとされる。

⑤「いやあぶない」が省略されたものという説もある。

(*これは詳しい記述はないが、田井伸行(1978)の説であろう。これについては、上述「7.2.1 米川明彦(1998)」、「7.2.1.2 考察」参照)

⑥戦後、若者の間で、まず「危険」という意味で広まり、現在のように強く肯定・否定するときにも転用されるようになった。

⑦古語に「はなはだし」という形容詞があるが、程度がひどいことを表し、文脈により、「とても良い」「とても悪い」の使い分けがされる。その点において、現代語「やばい」との関連性が見いだせる。

⑧例(肯定的):この前、街でテレビのロケをしていて、アイドルの××を見たんだけど、やばかった(*下線はママ)。

⑨例(否定的):今日の試験の点数は絶望的なくらいにやばかった(*下線はママ)。

⑩言い換えの心情語としては、「危うい／危険／驚異的／深刻／素晴らしい／不気味／不都合／魅力的」(*以上掲載順)がある。

(*反義併存的な性質を持った現代語の「やばい」であるから、プラス評価性の言い換えの心情語をもう少し提示することも必要であろう。例えば、「おいしい」、「結構な」、「見事な」「容姿端麗な」「気持ちの良い」等々である。)

7.2.4.2 考察(プラス評価性「やばい」の出現時期)

上記②では、肯定的な意味(つまり、プラス評価性)で使われる「やばい」が出始めたのは、2000年前後とある。一般的には、「2000年前後」という時期は妥当であると考えられる。しかし、実際には、プラス評価性の「やばい」の使用例は1970年代にすでにみられる。以下に、矢沢永吉(1978)『成り上がり』からの例を示しておく(下述、「7.9「やばい」の実例」、「7.9.4 現代(BCCWJ:現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)」、「7.9.4.2 検索語:「ヤバイ」、資料番号“1”/下線は筆者による)¹⁶⁴。

ミーノに行って、ナオンにキャアキャアいわれ、モテだしていく。それが1回目の時

¹⁶⁴ 同様に、1970年代における「やばい」のプラス評価性の実例資料として、『アサヒグラフ』(1978)からのものも挙げられる(下述、「7.9「やばい」の実例」、「7.9.3 近代から現代(その他の資料)」、「7.9.3.1 検索語:「やば」「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」等」、資料番号“40”参照)。

は、「オオ、ヤバイよ。モテてるな」。2回目、「うん、モテてる」。3回目、4回目…
当たり前になる（矢沢永吉（著）成りあがり 1978 OB1X_00033）

以上の例は、「ナオンにキャアキャアいわれ、モテだしていく。」「オオ、ヤバイよ。モテてるな」といった前後の表現から、プラス評価性の「ヤバイ」とみられる。感動詞（間投詞）的な性質を持つものともいえよう。仮に、上記の「ヤバイ」の用法（プラス評価性）が当時としては特殊なものであったとしても、ファン経由で徐々に世間に浸透し流布していくといった可能性も考えられる。ここから、現代におけるプラス評価性の「やばい」の萌芽は1970年代にあったという仮説が立てられよう。

上記③では、「文脈や、「やばい」を発する人の声色・表情等から、肯定的なのか否定的なのかを読み取らなければならない」とある。つまり、「やばい」は、会話上において、文脈・場面依存性が強いということになる。これは反義併存性を示す語の利便性ゆえのデメリットともいえよう。

上記⑤では、「やばい」の語源について触れ、「「いやあぶない」が省略されたものという説もある」としている。本文に詳しい記述はないが、おそらく、田井伸行（1978）の音韻変化説であろう。これについては、上述、「7.2.1 米川明彦（1998）」、「7.2.1.2 考察」に示した。

上記⑦では、「やばい」の類義語として、古語、「はなはだし」を挙げる。「はなはだし」は、「程度がひどいことを表し、文脈により、「とても良い」「とても悪い」の使い分けがされる」と述べ、現代語「やばい」との関連性を指摘している。ここではさらに、「やばい」と非常に性質が似た古語として、「いみじ」「ゆゆし」を挙げておく。「いみじ」「ゆゆし」は、「やばい」と同様に反義併存的な性質を持つ語である。加えて、マイナス評価性からプラス評価性への意味の移行といった点においても共通性を持っている。なお、「いみじ」については、上述、「6.2.4 高橋貢（1984）」、「6.2.4.2 考察（「微妙」と「いみじ」の関係性）」においても考察を行った。

上記⑧では、肯定的な（プラス評価性の）「やばい」の例として、「この前、街でテレビのロケをしていて、アイドルの××を見たんだけど、やばかった」という文を挙げている。これは、プラス評価性の「やばい」の例とされる。ただし、例としては適切ではない。なぜなら、この文脈では、（私が）実際にこの目でアイドルの××を見たら、理想とかけ離れており非常に幻滅した、といった解釈もできるからである。ここで、プラス評価性の「や

「やばい」の参考例を以下に示しておく（下述、「7.9「やばい」の実例」、「7.9.4 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）」、「7.9.4.2 検索語：「ヤバイ」、資料番号“86”／下線は筆者による）。

もう、すごい感動でした！！隣のIさんも「これ、ヤバイですよ～っ！」と感動の笑顔で食べまくっています（笑）（Yahoo!ブログ 2008 OY03_10742）

つまり、プラス評価性の「やばい」の文例を提示するときは、場面・文脈から推察可能な要素がなければ判定ができないため注意を要する。上記の例であれば、「やばい」の前後に、「もう、すごい感動」「感動の笑顔」「食べまくって」「(笑)」等の表現がみられるため、「やばい」がプラス評価性であると判定ができることとなる。

上記⑩では、言い換えの心情語として、「危うい／危険／驚異的／深刻／素晴らしい／不気味／不都合／魅力的」（*以上掲載順）、を挙げている。ここで、プラス評価性の語をみると、「素晴らしい」「魅力的」のみである。これについては、反義併存的な性質を持った現代語の「やばい」であるから、プラス評価性の言い換えの心情語をもう少し提示することが必要であろう。例えば、「おいしい」「結構な」「見事な」「容姿端麗な」「気持ちの良い」等を挙げておく。

7.2.5 窪菌晴夫（2017）

7.2.5.1 世代差がみられる「やばい」の意味解釈

窪菌晴夫（2017）『通じない日本語 世代差・地域差からみる言葉の不思議』、「第3章 パンツをはかない女性たち」、「1 「やばい」話」では、世代によって捉える意味が異なることにより生じる誤解、あるいは、意味の上昇という観点から「やばい」を取り上げている。以下に、「世代間のコミュニケーション障害」、および、「意味の上昇」について主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

・「世代間のコミュニケーション障害」

①2009年のワールドベースボールクラシック（WBC）における日本優勝時のイチローのインタビュー発言、「やばいっすよ。最高です」が印象的であった。

②決勝打を放ち、「最高です」というのは理解できるが、そこに、「やばい」が並んで

出てくることに（*作者である窪菌は）違和感を覚えた。同様に、違和感を覚えた中高年層も多かったのではないか¹⁶⁵。

③中高年層は、「やばい」を、「危険だ、まずい」という意味で捉えている。「何らかの悪事が警察にみつきりそうだ」「思いがけず何か危険なことが起きそうだ」のような場面で使うことばという認識がある。

④一方、若者たちは、「素敵だ、最高だ」という意味で「やばい」を使っている。イチロー（*当時30代半ば）が使ったのは、この「やばい」である。

⑤これは、「最高」と同義のことばであるから、「やばい」と「最高」が一緒に使われても不思議ではない。

⑥中高年層が「危険だ、まずい」という意味で使う「やばい」を、若者達は「素敵だ、最高だ」という意味で使うため、当然、「世代間のコミュニケーション障害」が生じる。

⑦例えば、ブティックで試着中の中年女性が、若い男性店員に、「奥さん、やばいっすよ、これ。」と言われ、理解できなかったという逸話がある。

⑧店員は褒めたつもりでも、「やばい」の新しい語義を知らない中年女性は、「ひどいですよ、その服」とでも言われた気がしたであろう。

⑨一方、若者達は、「やばい」を「危険だ、まずい」という旧来の意味でも使っている。

⑩中高年層には理解しがたいが、若者たちは、「やばい」を否定的意味と肯定的意味と、両者を共存させ使い分けている。

⑪否定的意味の「やばい」と肯定的意味の「やばい」は、両者「普通ではない」という共通項を持つが、なぜ、このような共存が可能なのか不思議である。

⑫若者同士は、会話で誤解が生じないのかという素朴な疑問がわいてくる。

7.2.5.2 考察（世代差がみられる「やばい」の意味解釈）

上記②では、「(イチローが) 決勝打を打ち、「最高です」というのは理解できるが、そこに、「やばい」が並んで出てくることに（*作者である窪菌は）違和感を覚えた」「同様に、違和感を覚えた中高年層も多かったのではないか」とある。これは、「やばい」（従来の意味としての「危険だ、まずい」と、「最高です」といった表現が並ぶと対立的で合わ

¹⁶⁵文脈によると、「プラス評価の状況において、「やばい」を使うこと」に違和感を覚えるといった主旨のようである。一方、筆者にとって、中高年層はむしろ公の場において、（属性が悪いとされる）「やばい」という語を使うという行為そのものに違和感を覚えるのではなからうかと考える。この点において、作者との認識がややずれる。

ないといったことを意味するものと考えられる。つまり、中高年層が「プラス評価性の状況において、「やばい」を使うこと」に違和感を覚えるといった主旨のようである。一方、筆者の観点では、中高年層は、(ヒーローインタビュー等の) 公式の場において、(属性が悪いとされる)「やばい」という語を発話する行為そのものが場にそぐわず違和感を覚えたのではなかろうかとみなした。この点において、作者(窪菌)との認識がややずれた。

上記④では、若者たちが、「素敵だ、最高だ」という意味で「やばい」を使い、イチロー(*当時30代半ば)が使ったのは、この「やばい」である、としている。ただし、「若者たち」とあるが、当時のイチローの年齢は36歳前後である。したがって、当時のイチローは「若者たち」のカテゴリーには含まれるのかどうかは明言しがたい。

ここで当時のプラス評価性の「やばい」の使用状況について試みる(上述、「7.2.2 文化庁(2005, 2015)」、「7.2.2.1『国語に関する世論調査』における「やばい」参照)。まず、「平成17(2005)年1月調査」における「やばい」についての設問には、「「とても素晴らしい(良い、おいしい、かっこいい等も含む)」という意味で「やばい」と言う」とある。それに対する30代男性(30~39歳)の「はい」の回答率をみると、24%であった。さらに、「平成27(2015)年1月調査」をみると、30代男性(30~39歳)の「はい」の回答率は、51%であった。つまり、2005年から2015年までの10年間で、27ポイント上昇したことになる。ちなみに、ほぼ全ての年代層において「はい」の回答率の上昇がみられた。この調査からは、上記ヒーローインタビューが行われた2009年においては相当数の30代男性がプラス評価性の「やばい」を使用する状況がうかがえる。

上記⑩では、「中高年層には理解しがたいが、若者たちは、「やばい」を否定的意味と肯定的意味と、両者を共存させ使い分けている」とあり、現代語「やばい」の反義併存性について指摘している。さらに、上記⑩では、否定的意味の「やばい」と肯定的意味の「やばい」には、「普通ではない」という共通項があるが、なぜ、このような共存が可能なのか不思議である、としている。これについては、「やばい」の中核的意味が「程度において非常に高いこと」であるからという説明ができる。つまり、感情のプラス・マイナスの評価性に関わりなく、何につけ程度がはなはだしい状況であれば使用可能ということになる。

7.2.5.3 意味の上昇としての「やばい」

続いて、以下に「意味の上昇」について主要部分をまとめた(便宜上番号をつけた)。

・「意味の上昇」

①本来、否定的な意味しか持たなかった「やばい」が、なぜ上記のような肯定的意味を持つようになったのか。

②その過程はよくわからないが、この例は、時代とともに言葉の意味が変化することを示している。

③「やばい」の場合、悪い意味「危険だ、まずい」から、良い意味「素敵だ、最高だ」に変化した。言語学で、「意味の上昇 (raising of meaning)」と呼ばれる言語変化の一種である。

④日本語でも英語でも、時間の経過とともにことばの意味が変化することがある。言語学では、一般的に、変化の方向性によって、「上昇」「下降」「拡大」「縮小」の4種に分類される。

⑤「やばい」については、「意味の上昇」が起こったことになる。

⑥また、若者達は、「やばい」の本来の意味と新しい意味と、両者を使い分けているため、「意味の拡大」も同時に起こっていることになる。

7.2.5.4 考察 (意味の上昇としての「やばい」)

上記⑤では、「やばい」については、「意味の上昇」が起こった」とある。トラウゴット／ダッシャー (2019) では、意味の向上 (上昇) より意味の悪化のほうが起こりやすい傾向がある、としている。ここで、本稿の各論にて扱った五つの語 (「結構 (第3章)」「大丈夫 (第4章)」「適当 (第5章)」「微妙 (第6章)」「やばい (第7章)」) のうち、通時的にみて「意味の上昇 (向上)」を示したのは、「やばい」のみであった。

7.2.6 米川明彦 (2017)

7.2.6.1 俗語・隠語としての「やばい」

米川明彦 (2017) 『俗語入門—俗語はおもしろい!—』、「1. 俗語ってどんなことばか」、「1.2 俗語とは一定義と特徴」、「7) 俗語は使用者が問題」、および、「10. 俗語も変わっていく」、「10.2 やばい—ドロボー・スリの隠語」において、「やばい」についての記述がみられる。

まず、「7) 俗語は使用者が問題」においては、「たとえばヤクザが使うことばならそれ

だけで俗語と感じる」とある。続いて、戦後まもない『朝日新聞』、「天声人語」(1948/02/17)からの一節を引用している。それによると、「ヤクザの言葉が小学生の日用語になろうとしている」「浮浪者の世界の隠語が、意外な人気と速度とをもって普及化しつつある」とある。さらに、米川は、「一般人が犯罪者やその他の反社会的集団のことばを口にするとき、俗語と意識される」とも述べる。

米川によると、「やばい」はもと犯罪者隠語で、犯罪が見つかりそうな危険なさまを表し、そのため20世紀末頃まではそういった輩の語であったため俗語とされてきたという。しかし、近年は語源が不明になり¹⁶⁶、意味も変化し、使用者が増えたため、その意識（*「やばい」が俗語であるという意識）は薄らいだ、とも述べている。

一方、「10.2 やばい—ドロボー・スリの隠語」においては、「やばい」の語誌的情報について詳述している。以下に主要部分をまとめた（便宜上番号をつけた）。

- ①近年、テレビ番組で、芸能人が「大変おいしい」という場面で「やばーい!」「やばっ!」等、感動詞のように発しているのをよく聞く。
- ②「やばい」は、もと使用者の属性が悪い隠語であった。しかし今や、一般の若者や大人までもが使う、国語辞書にも掲載されている俗語になった。
- ③これは、意味・使用者が向上した例である。
- ④「やばい」は、戦後、ヤミ屋が横行した時代に、不良少年経由で一般の若者にも広まった。
- ⑤『現代用語の基礎知識』、「若者用語」に「やばい」が初出したのは、1980年版である。
- ⑥2000年代になってから、良い意味でも使われるようになり、意味が変化した。
- ⑦従来は、「やばい→あぶない→避けたほうがいい」であったものが、それに加え、新しい用法では、「やばい→あぶない→のめり込みそう・魅力がありすぎる→すごいいい」となった。「すごい」に近いものである。
- ⑨このように、「やばい」は、今や犯罪者の隠語とは誰も思わないほどに、一般人が使う俗語となった。
- ⑩しかし、ある調査によると、「やばい」は、「気持ちが悪い日本語」の9位にランク

¹⁶⁶ 「近年は語源が不明になり」という表現の意味するところはわかりかねる。ただし、「やばい」については、さまざまな語源説があるが決定的なものはないようである（上述、「米川明彦（1998）」、「7.2.1.2 考察（「やばい」の語源）」等参照）。

される語でもある。

7.2.6.2 考察（感動詞的な「やばい」）

まず、上記①の「やばい」の感動詞的な用法については、『大辞林 第四版』（2019）にも記述がみられる（下述、「7.4.2 現代の国語辞書 10 種における「やばい」の意味記述の比較」参照）。それによると、補足説明として、「若者言葉では「格好良い」を意味する肯定的な文脈から、「困った」を意味する否定的文脈まで、広く感動詞的に用いられる」とある。この現象については、近年顕著にみられるものであり、筆者も同意する。ただし、筆者の想定する感動詞としての「やばい」は、若干異なる。「やばい」を感動詞的に使う場合、意味らしい意味を伴わない場合もあろうというのが筆者の意見である。つまり、無意識のうちに発せられる「あっ」とか「わっ」とかいうような自然発生的な音声に近いものも含める。例えば、突如、不都合な場面に遭遇したときに思わず発せられる、「ヤバっ」等である。

上記②について、「今や、一般の若者や大人までもが使う、国語辞書にも掲載されている俗語になった」とある。ここからは、あたかも「やばい」が国語辞書に掲載されたのが最近であるかのように感じられる。しかし実際には、一般的辞書において、戦後の比較的早い時期にすでに「やばい」を項目見出しに挙げている辞書もある。例えば、『三省堂国語辞典 初版』（1960：昭和 35）には、すでに「やばい」の立項がある（下述、「7.4.3 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「やばい」の意味記述の変遷」参照）。

上記⑤では、『現代用語の基礎知識』、「若者用語」に「やばい」が初出したのは、1980年版である」としている。確かに、『現代用語の基礎知識』、「若者用語」における「やばい」の初出は1980年版である。ただし、『現代用語の基礎知識』そのものにおける「やばい」の初出は1980年版ではない。これについては、下述、「7.5 『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」にて示した。

7.2.7 米川明彦（2019）

7.2.7.1 流行語としての「やばい」

米川明彦（2019）『平成の新語・流行語辞典』では、「やばい」の項目がみられる。まず、「序文」によると、「本書は（中略）平成の約30年間に生まれた新語や流行語などを用例と

ともに解説した本邦発のことばの辞典である」とある。平成30年間に年ごとに分け、該当の新語・流行語が生まれた年、あるいは流行した年に掲載するという形式をとる。

「やばい」については、2001（平成13）年の章に掲載がある。つまり、「やばい」の流行年が2001（平成13）年ということになる。まず、以下の表に、「やばい」の掲載年（流行年）および解説を示した。

図表 7.2：『平成の新語・流行語辞典』における「やばい」の掲載年（流行年）および解説

掲載年 (流行年)	語	解説
2001 (平成13)	やばい	もともと犯罪者隠語で犯罪が見つかりそうで危ない意で明治時代から使われ、危険の意でも不良少年から一般人へと広まったが、この頃(*2001年のことか)、若者の間では「とても良い」意味にも使われだした。

7.2.7.2 考察（「やばい」の流行期）

以上の記述によると、「やばい」が2001年になぜ流行したのかについての理由は記されていない。おそらく、2001年頃に、「若者の間では「とても良い」意味にも使われだした」とことと関連があるのだろう。しかし、「やばい」については、80年代にすでに流行した時期があったとみられる¹⁶⁷。例えば、1984年の朝日新聞の記事（1984/12/19）に、「小学生の流行語を、日本子供を守る会が調査」というものがあつた。それによると、今年（1984年）の流行語上位10語を挙げ、「ヤバイ」が一位であつた。したがって、2001年頃の流行というのは、「やばい」の第二次流行ということになるだろう。

さらに、解説内には、『現代用語の基礎知識 2002年版』、「若者用語」からの引用で、「やばい／やべ（*ママ）¹⁶⁸／やばやば（略）手をつけられないほどのめり込みそうな。魅力がありすぎる。すごくいい。」とある。」との記述もみられる。『現代用語の基礎知識 2002年版』、「若者用語」における「やばい」の詳細については、下述、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」に示した。

¹⁶⁷ 下述、「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」、「7.8「ヨミダス歴史館」における「やばい」の年代別検索結果（平成期）」、注釈も参照。

¹⁶⁸ 実際は、「やばい／やべえ／やばやば」である。下述、「7.5『現代用語の基礎知識』50年分～」参照。

7.3 近現代の特殊用途辞書における「やばい」

本節では、近現代の特殊用途辞書等にみられた「やばい」の意味記述を通時的に参照した上で考察を行った。参考資料は、主に隠語・俗語辞書、もしくは警察関係資料等である。ただし、「やばい」については、近代期の資料が決して多いとはいえない。したがって、例外的に、コーパス資料以外の一般書にみられる「やばい」の実例も資料的に価値があるものとして、なるべく幅広い分野から取り上げることとした。

7.3.1 『通客必携符牒便覧』（1891）における「ヤバイ」

片岡橘坪編（1891：明治24）『通客必携符牒便覧』、「香具師及観物師符牒」に、「ヤバイ」の記述がみられた。編者の片岡橘坪については、詳細情報は得られなかった。ただし、本書奥付には、「千葉県平民」とあり、住所が、「千葉県千葉郡千葉町寒川三百四拾九番地寄留」とある。なお、印刷兼発行人の竹内清輔、および、発行所の老萬傳授社の住所が、「千葉県千葉郡千葉町寒川九百拾七番地」とある。したがって、当時、千葉地域で出版された書籍であることがわかる。以下の表に「ヤバイ」の意味記述を示した。

図表 7.3：『通客必携符牒便覧』における「ヤバイ」の意味記述

目次	見出し	意味記述	備考
香具師及 観物師符牒 *1	ヤバイ 夏は白鷺 *2	(査官*3を云ふ)(見せもの師に*4て用ふる 符牒なり*5	・*1~5は欄外下に注記した。

*1：表紙の「目次」には、「香具師観物師の符牒」とあり、「及」の字はない。一方、本編（頁十三）には、「香具師及観物師符牒」とある。「香具師」は、一般的に、「やし」と読むが、本編（頁十三）には、「こうぐし」「みせものしのふてう」とルビが振ってある。

*2：「白鷺」には、「しらさぎ」とルビが振ってある。ちなみに、「白鷺」は、当時の警察系官吏に対する隠語である。おそらく、夏期の制服が白一色のものであったことに由来するようである。

*3：「査官」には、「をまわり」とルビが振ってある。

*4：「に」については、実際の表記は変体仮名であるが、便宜上「に」に変換した。

*5：閉じ括弧はなかった。

上記の「ヤバイ」は、「をまわり」を指すとあるので、品詞は名詞ということになる。自分自身に危険性や恐怖心を喚起させる対象が「ヤバイ」ということであろう。ここでは、

香具師・見世物師の符牒とあるから、必ずしも犯罪関係者に限定した符牒というわけではない。

なお、木村義之・小出美河子編『隠語大辞典』、「辞書編 収録文献解題」を参照すると、下述、「7.3.2」の稲山小長男編（1892：明治 25）『日本隠語集』が「やばい」についての最も古い出典のようである。ただし、上記、片岡橘坪編（1891：明治 24）『通客必携符牒便覧』は、稲山小長男の『日本隠語集』より一年早い出版ということになる。したがって、管見の限り、隠語・俗語・警察資料関係の資料に限定すれば、『通客必携符牒便覧』にみられる「ヤバイ」が、明治期において最も古い出典であった¹⁶⁹。

¹⁶⁹ あくまでも、「現行において」である。さらに古い出典がある可能性が十分考えられる。

7.3.2 『日本隠語集』(1892)における「ヤバイ」

稲山小長男編(1892: 明治25)『日本隠語集』において、「ヤバイ」および「ヤバイ関連語」の記述がみられた。『日本隠語集』は、榎垣実編(1956)『隠語辞典』、巻末「日本隠語研究文献解題」に、「わが国の最初の隠語辞典として貴重な資料」とある。

まず、検事阿部義彰による「序(*まえがき)」によると、当時、编者(稲山)が広島県警部であったことがわかる。収録語数は、約3500語とある。次に、巻頭、「例言」の一部を以下に示した(便宜上、カタカナ表記をひらがな表記に変更した)。

- 一 此書は素余が職務上必要あるを感じ犯罪の捜査被告人の訊問及び良民保護の用に供せん為め編纂せり
- 一 余が此挙あるの報一度び各地に達するや裁判所 警察署 憲兵 監獄等より印刷配布せんことを請求せらるる実に数千の多きに及び謄写以て希望を満す能わざるより印刷に付したり
- 一 此書の材料は全国各監獄本支所に求め囚徒に就き常用の隠語は既往現今の別なく悉皆調査し…(以下略)

以上、「例言」をみると、『日本隠語集』は、犯罪捜査関係者の特殊用途の用語集であったことがわかる。当時(明治中期)、犯罪者隠語については、全国の当局関係者からの要望が非常に多かったようである。「此書の材料は全国各監獄本支所に求め」とあるので、当時、全国組織的に大規模な調査を行ったということがわかる。

構成については、「例言(*まえがき)」を参照すると、まず全体が九類に分けられ、さらに類ごとに府県別に見出し語を挙げていく形式をとる。まず、以下に「一 編纂の順序」から、本書の構成および、「ヤバイ」「ヤバイ関連語」の出現箇所を表にして示した。

第7章 やばい

図表 7.4 : 『日本隠語集』の構成および「ヤバイ」「ヤバイ関連語」の出現箇所

類	名称	備考
第一類	言語及ヒ動作 (*本編欄外: 言語及ヒ動作之部)	・「ヤバイ(ヤバイ関連語)」の項目あり。
第二類	金銭器具物品の名称 (*本編欄外: 金銭器具物品之部)	
第三類	飲食物ノ名称 (*本編欄外: 飲食物之部)	
第四類	衣服ノ名称 (*本編欄外: 衣服之部)	
第五類	官吏ノ言行官署ノ名称 (*本編欄外: 官吏及官舎之部)	・「ヤバイ(ヤバイ関連語)」の項目あり。
第六類	人身ニ関スル名称 (*本編欄外: 人身之部)	
第七類	家屋及ヒ建造物ノ名称 (*本編欄外: 家屋其他建造物之部)	
第八類	天然ニ関スル名称 (*本編欄外: 天然之部)	
第九類	動物ノ名称 (*本編欄外: 動物之部)	

以上、全編を通じて概観すると、「ヤバイ」および「ヤバイ関連語」の項目（見出し）がみられるのは、「第一類 言語及ヒ動作 (*本編欄外上: 言語及ヒ動作之部)」および、「第五類 官吏ノ言行官署ノ名称 (*本編欄外上: 官吏及官舎之部)」である。以下に、「ヤバイ」および「ヤバイ関連語」について、本編に記載どおりの順序で表にまとめたものを示した（便宜上、意味記述のみカタカナ表記をひらがな表記に変更）。

図表 7.5 : 『日本隠語集』における「ヤバイ」「ヤバイ関連語」の意味記述

類	府県名	見出し	意味記述	備考
第一類 言語 及ヒ 動作 之部	東京府管内 に通する語	シケ ヤハイ(又ハ ヒケ(又ハ チヤツ(又ハ チン(又ハ カヤ(又ハ アバイ(又ハ マク(*とじ括弧なし。以下同。))	悪きこと則ち自から為したること又ハ他人の為したることを云ふ	・「ㄗ」(*コト)は全て「こと」に変換した。以下同じ。「ヤハイ」はママ。
第一類 同上	京都府管内 に通する語	ヤホイ 又ハ クライ 又ハ ヤバイ ヤバイ	大丈夫ならざることを云ふ(*隣接して「ハクイ(又ハ テンカチ」(意味:大丈夫なることを云ふ)とあるので、「ヤバイ」と「ハクイ」は反義関係とみられる。)	
第一類 同上	大阪府管内 に通する語	ヤバイ(又ハ ヒーヤン ヤバイ	危なきことを云ふ 則ち犯罪の発覚せんとし又は逮捕せられんとする場合のことを云ふ	・上記同様、本義に近いものか。
第一類 同上	埼玉県管内 に通する語	ヤバイ ヤバイ ヤバイ	危険のことを云ふ 何事をなすも守衛者に認められんとすることを云ふ 悪事に発覚せんとする場合則ち危険など云ふことなり	
第一類 同上	三重県管内 に通する語	ヤガヒ(*ママ)	危険など云ふことにして悪事の発覚せんとする場合を云ふ	
第一類 同上	静岡県管内 に通する語	ヤバヒ ガハン カマツテアル モ ゲソカクヤナレハ	危険なること則ち悪事の発覚せんとする場合のことを云ふ 此に来て居る押丁は足痛の由逃足するも恐るに足らずと云ふ	・「ヤバクハナイ」は、「恐る

第7章 やばい

		ケルトモ ヤバクハナイ		に足らず」とある。
第一類 同上	滋賀県管内 に通する語	ヤバイゾ々々々々	恐ろしいことを云ふ則ち危険など云ふことなり	
第一類 同上	岐阜県管内 に通する語	ヤワイ	油断のならぬこと又は抜目がないと云ふこと	
第一類 同上	長野県管内 に通する語	ヤバイ	危険のこと則ち悪事の発覚せんとする場合のことを云ふ	
第一類 同上	福井県管内 に通する語	ヤブイ	警邏嚴重にして為に能わさることを云ふ	
第一類 同上	石川県管内 に通する語	ヤボイ	危険なる場合に用ゆる言語なり	
第一類 同上	島根県管内 に通する語	ヤバイ	恐怖のことを云ふ	
第一類 同上	岡山県管内 に通する語	ヤバイ	危険なことを云ふ	
第一類 同上	徳島県管内 に通する語	ヤバイ	人の見に来ることを云ふ	
第一類 同上	福岡県管内 に通する語	ヤバイ	危険なることを云ふ則ち悪事の発見を恐るるの語なり	
		リハガ廻ツタカラ ヤハヒ	見張の役人が廻つたから危険など云ふことを云ふなり	
第一類 同上	北海道庁 管内 に通する語	ツカレ(又ハ ヤバイ	窃盗せんとして覚知せらるることを云ふ	
第五類 官吏及 官舎 之部	京都府管内 に通する語	ヤバイ	巡回充分なることを云ふ	
		ナカタ カラスガ ハグイカラ ヤバイ	中々看守が能く気の付く人であるから恐るべしということ	
第五類 同上	大阪府管内 に通する語	ヤバイ 又ハ ヌレタ	看守 工場巡回することを云ふ	
第五類 同上	神奈川県 管内 に通する語	ヤバイ	故参の巡查看守を云ふ	
第五類 同上	埼玉県管内 に通する語	ヤバイ	何事をなすも守衛者に認められんとすることを云ふ	
第五類 同上	茨城県管内 に通する語	ヤバエ	視察敏活なる看護者を云ふ	・「エ」は茨城方言か。
第五類 同上	三重県管内 に通する語	風 又ハ ヤバイ	戒護の厳なることを云ふ	
第五類 同上	静岡県管内 に通する語	イナズマ ガマ□* タンカバルトヤバイ	看守長来るを以て高声にて悪事を談する勿れと云ふ (*収監者仲間に対して発することば)	・「□*」は判読困難だが、「リ」か。
		ガハン ガ ケンジテイル ヤバイ	看守が見て居るからこわいと云ふ (*収監者仲間に対して発することば)	
第五類 同上	長野県管内 に通する語	ケイアン 又ハ ヤハ	巡査のことを云ふ	・「ヤハ」はママ。
		ヤバノ親玉 又ハ 馬鹿ノ親玉	警部のことを云ふ	
		ヤバ	看守のことを云ふ	
		ヤバ助 又ハ 馬鹿 又ハ 秋葉	看守のことを云ふ	
第五類 同上	鳥取県管内 に通する語	ヤバイ	八釜敷(*やかましき)役人のことを云ふ	
第五類 同上	岡山県管内 に通する語	水車 又ハ ヤバ	巡査のことを云ふ	
第五類 同上	徳島県管内 に通する語	ヤバイ	役人来よることを云ふ	

7.3.2.1 結果と考察

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・第一類、「大阪府管内」「ヤバイ（又ハ ヒーヤン）」に、「危なきことを云ふ 則ち犯罪の発覚せんとし又は逮捕せられんとする場合のことを云ふ」とあるが、これは、「やばい（ヤバイ）」の基本義に近いものと考えられる。（犯罪実行者が、）犯罪現場を押さえられ、逮捕されるかされないかという非常に切迫した状況時に心中にわき上がる恐怖の感情を指して「やばい」としたのであろう。
- ・第一類、「京都府管内」「ヤバイ」に、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」とあるが、これは「やばい」の核の意味に近いものと考えられる。
- ・地域（管内）別にみると、「やばい（および関連語）」はすでに全国的に分布していることがわかる。ただし、西日本に分布の比重があることがわかる。さらに、東北地方（岩手・秋田・宮城・山形・福島管内）においては、「やばい（および関連語）」はみられなかった。なお、第一類、「北海道庁管内」には、「ツカレ（又ハ ヤバイ）」がみられるが、北海道は西日本からの開拓者が比較的多いという事情が関係すると考えられる。
- ・意味記述について概観すると、「守衛者／看守／看守長／巡査／警部／役人」等、官吏の具体名が頻出する。
- ・第五類、「長野県管内」をみると、「ヤバ」について、「巡査／警部／看守」とある。そうすると、自分（ここでは収監された囚人）にとって、恐怖を感じさせる、あるいは実際に苦痛を与えられる対象（人）が、「ヤバ」ということになる。
- ・一方、対象である、「ヤバ」を見たときに、反射的に心にわき上がる感情（つまり、激しい恐怖心）が、「ヤバイ」ということになる。「ヤバ」は、具体的な対象、「ヤバイ」は、心的な感情ということになる。当時の囚人にとって、「ヤバ」（巡査／警部／看守）は、実際に肉体的苦痛を与えられかねない存在であるため、一瞥したときの恐怖感は尋常なものではなかったであろう。
- ・例えば、第五類、「徳島県管内」「ヤバイ」に、「役人来よることを云う」とあるが、まさに、「ヤバ」（ここでは役人）が来ることによって想起される恐怖の感情こそが、「ヤバイ」なのであろう。

7.3.3 『隠語輯覧』(1915)における「やばい」

富田愛次郎(警視)監修(1915:大正4)『隠語輯覧』において、「やばい」および「やばい関連」の記述がみられた。榎垣実編(1956)『隠語辞典』、巻末「日本隠語研究文献解題」においても記載がある。『隠語輯覧』は、「編纂の梗概(*まえがき)」によると、京都で御大典(曠古ノ大典)が行われる際の警備上の必要性から編集されたものである。また、採集語数はおおよそ6300余とある。監修者の富田愛次郎は、出版時(大正4(1915)年11月)は京都府警察部保安課長で、階級は警視とある。ただし、上記榎垣「日本隠語研究文献解題」によると、上述、「7.3.2」の『日本隠語集』(1892:明治25)と重複した語が多く、誤植も多いとの指摘がみられる。まず、以下に『隠語輯覧』における「やばい」「やばい関連語」の意味記述を示した(カタカナ表記をひらがな表記に変更)。

図表 7.6:『隠語輯覧』における「やばい」「やばい関連語」の意味記述

類	見出し	意味	備考
第二類 人物風俗 (や)	やば	刑事巡査 — 隠語「やばい」(危虞の念)の転訛	・全て人間を指す名詞。
	やばい	刑事巡査 — 危虞の念慮を意味す	
	やぼくり	刑事巡査	
	やばなお	売春婦	
	やばいーひげ	機敏なる刑事其他私服巡査	
第三類 犯罪行為 (や)	やばい	拘摸(*スリ)通行人に尾行するの意 — 一般的用語に於いて、危険状態切迫の意味に通ず	
第四類 言語動作 (や)	やぶ	危険の状態 — 五月蠅(*うるさ)さを感じずるの意 — 不成功を予見し得べき時機	
	やばい	本類「やば」同意(*第四類に「やば」はみられない。よって上記「やぶ」のことか。)	
	やばかる	不成功	
	やばかいた	不成功	
第五類 一般建物 (や、ゆ)	やばどば	警察本分署 — 巡査駐在署	・上述『日本隠語集』「第七類 家屋其他建造物之部」「鳥取県管内に通ずる語」、「ドバ」の項目に、「家ノコトヲ云フ」とある。つまり、「ヤバ」+「ドバ」で警察署ということになる。
第七類 雑纂 (や)	やばい	大阪地方	・地域名を指している。

7.3.3.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「第二類」、「人物風俗」にみられる「やば」「やばい」「やぼくり」「やばなお」「やばいーひげ」は、全て刑事巡査を指す名詞である（「やばなお」を除く）。これは発話者の立場からみれば、危険、あるいは恐怖が喚起される対象となる。
- ・「第三類」「犯罪行為」、および「第四類」「言語動作」における「やばい」（および関連語）の意味記述からキーワードを取り出すと、「危険状態切迫／危険の状態／うるささを感じる／不成功の予見／不成功」となる。
- ・「第七類」「雑纂」では、「やばい」が地域名（大阪地域）を指すとある。これについては、稲山小長男編（1892：明治 25）『日本隠語集』には記載がみられなかった（上述、「7.3.2『日本隠語集』（1892）」参照）

7.3.4 『犯罪科学ノ研究』（1915）における「やばい」

山田一隆（1915：大正 4）『犯罪科学ノ研究』において、「やばい」関連の記述がみられた。山田は、本書出版当時、警視庁検閲係長であったとみられる。「第十三章 犯罪隠語」から、「やばい」の例を以下に抜粋した（「ヤバイズキ」「ヤバイ」「ズキ」以外はカタカナ表記をひらがな表記に変更／下線は筆者による）。

今一例を挙げれば「ヤバイズキ」と云ふことは「ヤバイ」は危険のことで警察を意味し「ズキ」は手配になって居ることであり、故にこれを翻訳せば警察では手配になって居ると云ふことでもあります。

ここでは、「ヤバイ」は危険のことで警察を意味し」とあるように、ここでの「やばい」は名詞として使われているとみられる。以下、具体的にみると、本来的に、「やばい」は「自らに不利益をもたらす対象を察知した時に自然にわき上がる恐怖の感情」を意味するとみられる。犯罪者は、警察の存在を視覚的に感知したとき、それが引き金（トリガー）となって危険を想起させる恐怖の感情が反射的にわき上がることとなる。つまり、犯罪者にとって恐怖や危険といった「ヤバイ」感情を喚起させる対象が警察であることから、隣接性および指示対象の拡大の作用も働き、「ヤバイ」＝「警察」となったという解釈ができよう。

7.3.5 『袖珍コンサイス万用字引』(1922)における「やば(矢場)」

物集高見監修(1922)『袖珍コンサイス万用字引』では、「第三編：日常常識語」に、「矢場(やば)」の記述がみられた。まず、以下に「矢場(やば)」の意味記述を示した。

「矢場」①不都合。奇怪なるをいふ。(関西の方言)②表面大弓場にて内々女を抱え客を引かしむる家のこと。

上記では、漢字表記が「矢場」となっている。しかし、通常は「やば」にこの字を当てない。本来、「矢場」といえば楊弓場のことを指し、通常は上記②の意味のみで立項される。ただし、ここでは①にある「関西の方言」という点に着目したい。実際、上述、「7.3.2『日本隠語集』(1892)における「ヤバイ」」においては、「ヤバイ/ヤバ」の分布は西日本よりである。仮に関西の方言だとすれば、「ヤバイ/ヤバ」が日常で使用されることになり、すると隠語の役割を果たさなくなるわけで矛盾が生じる。これはやはり、「ヤバイ/ヤバ」が関西の方言というより、むしろ古くから関西地域で行われていた隠語であったとするほうが無理のない解釈であろう。

一方、漢字表記の「矢場」についてみると、「やば」の由来が「矢場」ということも可能性として否定はできない。ただし、これも、多数ある「やばい/やば」語源説の一つといえるものであり、確証があるものとはいえないであろう(「7.2.1 米川明彦(1998)」、「7.2.1.2 考察(「やばい」の語源)」参照)。

7.3.6 『時勢に後れぬ 新時代用語辞典』(1930)における「やばい」の意味記述

長岡規矩雄(1930：昭和5)『時勢に後れぬ 新時代用語辞典』において、「やばい」の記述がみられた¹⁷⁰。本書は、他の隠語関係資料とは若干性質を異にするものである。ただし、榎垣実編(1956)『隠語辞典』、巻末「日本隠語研究文献解題」に記載があるため、取り上げることにした。

榎垣の「日本隠語研究文献解題」の解説によると、この書は、全39類に分けられ、文芸用語・金言名句・和製英語等を掲載し、その中に隠語関係のものが14類あるという。まず、本文「凡例」の一部を以下に参照してみる。

¹⁷⁰ 筆者が閲覧したものは増補版(1930：昭和5)である。しかし、初版も同じ年の発行であり、「序」によると、巻末に新語を増補したのみのようである。

「以て現代社会人に必須な最新知識の総合辞典たるの光栄を担わんとして編纂せるものである」

「本辞典は、『新時代用語辞典』と称するも、現代人に特に親しみのある言葉は、例へ旧隠語の如きものであつても、これが収録にいささかの躊躇もしなかつた。それはかかる言葉こそ時代と共に新味ある内容を加え、寧ろ最も新しい言葉としての生命を宿すものであるからである」

さらに、「序」によると、「収むる処の語彙も実に七千語の多きに達した」ともある。以下に、「ヤバイ」の意味記述を示した。

ヤバイ：危険なこと。危険な時は夜、匍匐（*ほふく）して呼吸をこらすから。

7.3.6.1 考察（「ヤバイ」の独特な意味記述と解釈）

上記の記述によると、「ヤバイ」について、「夜、匍匐（*ほふく）して呼吸をこらす」とある。一見したところ独特な記述であるため、当初は、見当がつかなかった。ここでは、以下に筆者の解釈を示しておく。

まず、「匍匐（*ほふく）」とは「はうこと」である。次に、「夜」に「はう」わけであるから、「夜（や）はう」となる。続いて連濁して「夜ばう」となる。さらに語尾が変化して「夜ばう」→「夜ばい」→「やばい」となる。つまり、犯罪者が夜、危険を察知して息をこらしながらはいつくばっているという状況が「やばい」ということになる。

仮にこの解釈が著者長岡のそれと一致するとしても、単なる言葉遊びの域を出ないのであるというきらいがある。しかし、隠語は特定の目的のために人為的に作り出すことばであることから、以上のような連想的解釈を経て作られることばも実際には多いとみられる。「やばい」の語源が多数あり、決定的なものがないことを考慮すれば、以上の解釈も参考の余地はあろう。

7.3.7 『翠聲・オン・パレード』（1931）における「やばい」

松井翠聲（1931：昭和6）『翠聲・オン・パレード』、「チョーフ・グレ帳ーテキヤ案内ー」の最終節（p.51）に、「やばい」がみられた。松井翠聲は、昭和前期に多方面で活躍したマルチタレント的存在であったようである。以下に、「チョーフ・グレ帳ーテキヤ案内ー」の

最終節、「やばい」該当部分を抜粋した（下線は筆者による）。

いや、テキヤ仲間のからくり、ぼろい儲け、客の前でチョーフで其奴の悪口を言つてやる時の愉快さ、あげれば切りがないが余り調子にのつてべらべら喋つてネタをバラシたりすると、何時ドス（短刀、ナイフ）やパチンコ（ピストル）を見舞はれるか解らないからヤバイ（危険、天気が怪しい等をテンガイがヤバイと云ふ如し）ならないうちに止めると仕様、（*ママ：文の終わりだが、“。”でなく“、”である）」

「チョーフ・グレ帳ーテキヤ案内ー」では、テキヤの商売方法（シノギ方）について、実際のテキヤ用語（つまり隠語）を用いてユーモラスに描写している。昭和前期（昭和戦前期）、一般書において、「やばい」の記述がみられるケースは非常にめずらしいといえる。その点においては、貴重な資料といえよう。

なお、上記例には、「天気が怪しい等をテンガイがヤバイと云ふ」とある。ここでは、「ヤバイ」の指示対象が「天気」ということになる。つまり、天気が怪しいからといって本人にとってさしたる危機的状況が差し迫るといってもない。にもかかわらず、「テンガイがヤバイと云ふ」のである。これは、昭和前期（1930年前後）において、すでに、「やばい」の使用域が拡張、あるいは意味の希薄化が進んでいることを示すものといえよう。

7.3.8 『全国隠語集 符牒なら何んでも』（1933）における「やばい」

西堀忠治（1933：昭和 8）¹⁷¹『全国隠語集 符帳なら何んでも』において、「やばい」の記述がみられた。編者の西堀は、和歌山県在住の警察関係者であったとみられる。本文、「序」によると、「警察の職に奉し劇務（*ママ）の傍 符牒隠語の類を蒐集し之を研究せられつつありし…（中略）」とある。なお、この書の特徴として、他の隠語関係の資料集と異なり、隠語の実践的使用例が挙げられており、解説が豊富で理解しやすいという点を挙げておく。

まず、「七、一般に共通せる隠語各種」、および、「十九、各種共通隠語いろは順索引」をみると、カタカナ表記で、「ヤバイ 危険」とある。さらに、「九、盗犯常習者の隠語に就いて」、および、「十二、掏摸（スリ）の種類及使用語と隠語」において、使用例をまじえ

¹⁷¹ 筆者が実際に閲覧したものは1935（昭和10）年の「五版」であるが、内容等、大きな変更はないようなので、「初版」の出版年（1933：昭和8）を挙げておいた。

た解説（犯罪状況をまじえた隠語による語句解説）中に、「ヤバイ」がみられた。以下に表にして示した（一部抜粋、使用例の網かけは筆者による）。

図表 7.7:『全国隠語集 符帳なら何んでも』における「ヤバイ」の意味記述と使用例

章	章題	意味記述 / 「ヤバイ」使用例
七	一般に共通せる隠語各種	ヤバイ 危険
十九	各種共通隠語いろは順索引	ヤバイ 危険
九	盗犯常習者の隠語に就いて	さて目的を達した彼等はアゲテ（窃盗）て（*ママ）来たブツ（物）の処分をしてしまうのだが勿論ナマ（現金）はその必要ないがダイモノ（物品）などの処分は大抵の場合ヤバイ（危険）間サツ（警察署）にヅカ（感付）れない様に又はダイアガラナイ（露見されない）様に小時の間どこかにオザメ（隠して）て置いて時日が経過してからトーバ（遠方）へカワシ（送り）たり又トキヤ（贓品を扱ふところ）で処分して、ナマに変へるか亦グニカマシタリ（入質したり）してナマに変へるのであります、（以下略）
十二	掏摸(スリ)の種類及使用語と隠語	亦最近のモサは常習者としてデカ（刑事巡査）にメングレ（顔を知られる）した者が多くゴト（仕事）が困難で且つ日中はデカにケツ（尾行）せられてヤバイ（危険）ので大都会のモサはヌケ使ふと称して早朝デカが出勤する前に稼ぎする傾向があります

当時の犯罪者隠語が実際の使用例に即して示されており、「ヤバイ」の例も具体的でわかりやすい。上記例、「九、盗犯常習者の隠語に就いて」から、「ダイモノ（物品）などの処分は大抵の場合ヤバイ（危険）間サツ（警察署）にヅカ（感付）れない様に」、あるいは「十二、掏摸（スリ）の種類及使用語と隠語」から、「日中はデカにケツ（尾行）せられてヤバイ（危険）ので」とあるように、やはり当時（昭和前期）の「やばい」は警察の存在とセットで使われる状況が大半のようである。

7.3.9 『隠語構成様式並に其語集』（1935）における「やばい」の意味記述

樋口栄（1935：昭和10）『隠語構成様式並に其語集』において、「やばい」および「やばい」関連の記述がみられた。榎垣実編（1956）『隠語辞典』、巻末「日本隠語研究文献解題」によると、『隠語構成様式並に其語集』は、「昭和3年以来集められた隠語の集大成であって、わが国で隠語辞典と呼ぶべきものの最初であろう」とある。さらに、編者樋口栄は、法医学・犯罪学・異常少年保護等に献身した篤学者であった、ともある。以下、「やばい」および「やばい関連」の語について表にまとめたものを示した。なお、掲載順序通りに降順に並べた。

第7章 やばい

図表 7.8 : 『隠語構成様式並に其語集』における「やばい」「やばい関連」の意味記述

カテゴリー	見出し	意味記述	備考
第二編 現在の隠語 犯罪語 (4)一部分の 犯罪者間に 用ひられる もの (ロ)山窩の 使用するも の	ペーチヤン	巡査を云ふ。やばとも云ふ。(＊下線はママ)	
第二編 現在の隠語 不良青少年 語 硬派＊1(欄 外下参照)	やばい	危険なるを云ふ。	
第二編 五十音順引 用隠語	やば	刑事。「やばい」より来たものにて其の語の略。	・＊2(欄外下参照)
	やば [矢場]	表面大弓場にて内々女を抱え客を引かしむる家を云ふ。	・参考。
	やばい	身の危険なこと。危険な場所のこと。或は犯罪発覚せんとする場合。又は下手をしたこと。刑事のこと 大阪地方のこと等を云ふ。	・総合的な意味記述。
	やばいひげ	機敏なる刑事のこと。	
	やばかいた	不成功を云ふ。	
	やばかつた	不成功の状態をいふ(＊「いふ」はママ)	
	やばかる	不成功を云う	
	やばくり	刑事を云う	
	やばどば	警察署。巡査駐在所。	
	やばなを	「矢場の女」といふ意にて売春婦のこと。「矢場」参照。「なを」は女のこと。	・参考
	やぶ	危険を云ふ。	
	やぶ	有罪の判決が確定したこと「やぶ」とも云ふ。	
	やぶ [藪]	あやふやなこと。或は医者のこと。「藪井竹庵」より(＊「。」はなし)	・参考
	やほい	通行人に拘摸が尾行すること。【石川県】	
やばくり	刑事。巡査を云ふ。		
第二編 各地方隠語 茨城県隠語	やばえ	視察の敏活なる戒護者を云ふ。	・前項『日本隠語集』とほぼ同じ記述。
同上 神奈川県 隠語	やばい	古参の巡查看守を云ふ。	・前項『日本隠語集』と同じ記述。
同上 静岡県隠語	やばい	危険なる事を云ふ。	
	がはんがけんじてゐるやばい	「看守が見て居るから危険だ」との意。	・前項『日本隠語集』とほぼ同じ記述。
同上 長野県隠語	やばい	危険なる事を云ふ。	
	やば	密偵を云ふ。	
	けいあん	巡査を云ふ。「やば」とも云ふ。	
	やばのおやだま	警部を云ふ。「ばかのおやだま」とも云ふ。	
	やば(＊別項目)	看守を云ふ。	
やばすけ	看守を云ふ。「ばか」とも云ふ(＊「。」はなし)		
同上	やわい	油断ならぬ事。抜目が無との事(＊「。」はなし)	・前項『日本隠

第7章 やばい

岐阜県隠語			語集』とほぼ同じ記述。
同上 滋賀県隠語	やばいぞ やばいぞ	危険々々の意。	・地域名/見出しについては前項『日本隠語集』と同じ記述。
同上 岡山県隠語	やばい	危険なりとの意	
同上 徳島県隠語	やばい	人が見に来る事を云ふ。	
	やばい(*別項目)	役人の来たる事を云ふ。	
同上 福岡県隠語	やばい	危険なる事を云ふ。	
	りはがまわったからやばい	見張りの役人が廻つて居るから危険だとの意。	
第二編 性的隠語	やばなを	売春婦を云ふ。	・参考
第二編 山窩隠語	ペーちゃん	巡查。「やば」とも云う	
	やば	巡查。「ペーちゃん」に同意。	
	やわい	危い。危険だとの意	
第二編 露天商人及 犯罪者常用 隠語 犯罪者及び 露天商人共 通	やばい	危険の意。 <u>いそい</u> に同じ。(*下線はママ) 同項参照。	
第二編 露天商人及 犯罪者常用 隠語 犯罪者間の み	やばかつた	不成功に終わった事を云ふ。	

*1:「不良青少年語」の冒頭解説には、「硬派は騒拂ひ、脅迫、恐喝、等暴力的なるもの、所謂ぐれ(*下線はママ) 則ちテロ派とでも云ふべきものである。」とある。一方、「軟派と云ふものは主として女色方面に関してのもの則ちエロ派とでも云ふべきものであり、」とある。なお、第二編「現在の隠語」の「結論」においては、不良青少年語について、「硬派は、犯罪語、花柳語、男学生語、等其他のものが混淆したものと観てよい」「同じく軟派も男、女学生語、花柳語、硬派用語等の混肴(*ママ)によつて構成せられた事を示したものの」とある。

*2:意味記述に、「やば」は「やばい」より来た」とあるが、筆者はその逆、「やばい」は「やば」より来た、とみなしている。

7.3.9.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・ 上述、「7.3.2『日本隠語集』」と同様に、「刑事／巡査／看守／役人」等、官吏の具体名が頻出する。
- ・ 概観すると、おおむね「やばい」は、「危険」を意味するが、神奈川県隠語、「やばい」には、「古参の巡査看守を云う」ともある。まれに、「やばい」が官吏そのものを対象とすることもあるとみられる。ただし、基本的には、「やばい」が「危険」関連、「やば」が官吏関連（人間）を指すとみられる。
- ・ 地域別にみると、関東以西の府県が中心であり、東北地方はみられない。その点において、上述、「7.3.2『日本隠語集』」と類似性が認められる。
- ・ 山窩（サンカ）隠語と犯罪者隠語は、共通点がある。
- ・ 出版時の1935（昭和10）年前後において、すでに「やばい」が「不良青少年語」として使われていたようである。

7.3.10 『隠語全集』（1952）における「やばい」の意味記述

最高検察庁刑事部監修・編著（1952）『隠語全集』において、「やばい」および「やばい関連」の記述がみられた。『隠語全集』については、榎垣実編（1956）『隠語辞典』、巻末「日本隠語研究文献解題」、あるいは、木村義之・小出美河子編（2000）『隠語大辞典』、巻末「辞書編収録文献 解題」にも記載がみられない。

全体の構成をみると、「隠語の部」「符牒の部」「方言の部」三部に分かれる。各部ともに五十音順で語が並べられている。まず、以下に、『隠語全集』、「序」（最高検察庁次長検事 岸本義広記述）から、主要部分を抜粋した。

- ・ 本書は、日本全国における犯罪者間の隠語を集めたものである。
- ・ 昭和26年秋、全国各検察庁より当庁に報告された資料を主とし、かつ、昭和23年法務庁研修所で編纂の隠語符牒集を参照しつつ隠語、方言、符牒に三大別して、一万数千語の語義、使用地域等を明らかにした。
- ・ 現在における犯罪用語の大部分を網羅したものであることができるように思われるが、犯罪捜査上の一助ともなれば幸いである。
- ・ なお、本書は当庁刑事部事務取扱検事三堀博君の企画に成るものであつて、（以下略）

『隠語全集』は、上記に、「犯罪捜査上の一助ともなれば幸い」とあるように、上述、「7.3.2」

第7章 やばい

の『日本隠語集』（1892）と同様に、犯罪捜査関係者の特殊用途の用語集であり、やはり全国から語彙を収集している。最高検察庁刑事部の監修（編著）¹⁷²とあることから、信頼性は高いものとみられる。以下、「やばい」および「やばい関連」の語について表にまとめたものを示した。

図表 7.9：『隠語全集』における「やばい」「やばい関連」の意味記述

目次	隠語	意義	使用されている方面	報告をよせられし庁名	備考
隠語の部	やく	危い	全般	横浜、長野、静岡	
同上	やくい	危ぶない(*ママ)	前科者 不良仲間	鹿児島	
同上	やばい	非常警戒	犯罪者	徳島	
同上	やばい	非美人	主に炭鉱等に 使われる	鹿児島	
同上	やばい	不景気	犯罪者	神戸	
同上	やばい	危い	犯罪者間 不良仲間	青森、盛岡、秋田、山形、 新潟、水戸、東京、横浜、 甲府、長野、静岡、富山、 金沢、津、大津、神戸、徳 島、松山、広島、福岡、熊 本、長崎、鹿児島、	・報告庁名が多い。 ・報告庁名が 順不同で並べ られていたた め、整理した (北から南へ)。
同上	やばいもの	赃物	犯罪者間 (高山)	岐阜	
同上	やば箱	公安官の乗っ ている汽車	不良仲間	新潟	
同上	やぶ	真物	不良仲間	津	・異色の記述。 反語的か。
同上	やぶねた	悪い商売	不良仲間の 屋仲間	水戸	
同上	やわい	油断が出来ぬ	—	福井	・「使用されて いる方面」に 記載はなし。
符牒の部	やばい	危険	古物商 古着屋	大阪	
方言の部	やばち	きたない	—	函館	・参考。「使用 されている方 面」に記載は なし。

7.3.10.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「やばい」については、報告庁名が多く、全国的に幅広く分布していることがわかる。

¹⁷² 表紙には、「最高検察庁刑事部 監修」、奥付には、「編著者 最高検察庁刑事部」とある。

- ・「使用方面」については、「不良仲間」の記述が目立つ。不良仲間は、一般人と接点が見いだせるため、「やばい」関連の語が、不良仲間を通して一般人に入り込んだとする米川明彦(2017)の説との関連が見いだせる(上述、「7.2.6 米川明彦(2017)」参照)。
- ・神戸庁舎からの報告による「やばい」は、使用方面が「犯罪者」で意義が「不景気」とある。当時(昭和20年代半ば)、すでに「やばい」が拡大適用されていたとみられる。

7.4 近現代の一般辞書における「やばい」

7.4.1 近代の国語辞書11種における「やばい」の意味記述の比較

本項では、明治中期から昭和前期にかけて出版された国語辞書(一部和英辞書を含む)11種を用いて、通時的観点から、「やばい」の意味記述について比較・対照を行った。なお、「やばい」に限っては、『広辞林 新訂版』(1934:昭和9)¹⁷³も加えて11種の比較とした。まず、11種の辞書の内訳を、以下の表に示した。

図表 7.10: 近代の国語辞書11種の内訳

編者/著者	正式名称	略称	出版年	出版社(人)
J.C. ヘボン	改正増補 和英 英和 語林集成	和英語林3版	1886: 明治19	丸善商社
高橋五郎	漢英対照 いろは辞典	漢英対照いろは	1888: 明治21	長尾景弼
大槻文彦	日本辞書 言海	言海	1889~91: 明治22~24	大槻文彦
山田美妙 (武太郎)	日本大辞書	日本大辞書	1893: 明治26	日本大辞書 発行所
落合直文	日本大辞典 ことばの泉	ことばの泉	1898: 明治31	大倉書店
松平圓次郎 山崎弓束 堀籠美善	俗語辞海	俗語辞海	1909: 明治42	集文館
上田万年 松井簡治	大日本国語辞典	大日本国語辞典	1915~19: 大正4~8	富山房 金港堂
金沢庄三郎	広辞林 初版	広辞林初版	1925: 大正14	三省堂
金沢庄三郎	広辞林 新訂版	広辞林 新訂版	1934: 昭和9	三省堂
新村出	辞苑	辞苑	1935: 昭和10	博文館
金田一京助	辞海	辞海	1952: 昭和27	三省堂

「やばい」の意味の分類については、原典の意味記述を参照の上、さらに筆者の任意で仕分けた。スペースの関係上、意味の記述のみとし、例文等は省略した。『言海』『日本大

¹⁷³ 管見の限り、一般国語辞書において、「やばい」の立項が最初になされたものは、『広辞林 新訂版』(1934:昭和9)であるとみられる。

辞書』については、意味記述をカタカナ表記からひらがな表記に変更した。なお、『辞海』のみ 1952（昭和 27）年の出版、つまり、現代（昭和戦後期）のものである。しかし、武藤康史（2008）¹⁷⁴によると、昭和 13 年に、金田一京助が『辞海』（当初の予定は昭和国語大辞典）にとりかかったとあるため、便宜上近代の辞書に含めた。以下に表にまとめたものを示した。

図表 7.11：近代の国語辞書 11 種における「やばい」の意味記述の比較

辞書名	見出し「やば」	見出し「やばい」	備考
和英語林 3 版 (1886)	—	—	・見出しはみられず。
漢英対照 いろは(1886)	—	—	・見出しはみられず。
言海 (1889-91)	—	—	・見出しはみられず。
日本大辞書 (1892-93)	—	—	・見出しはみられず。
ことばの泉 (1898)	—	—	・見出しはみられず。
俗語辞海 (1909)	—	—	・見出しはみられず。
大日本 国語辞典 (1915-19)	やば(名・副)奇怪なること。不都合なること。又、その事柄。やば。上方の方言。	—	・1929(昭和 4)年初版 修正版を参照した。
広辞林初版 (1925)	—	—	・見出しはみられず。
広辞林新訂版 (1934)	—	やばい(形)官憲の手配厳しく危険なり。	・一般国語辞書では 最も早いとみられる。
辞苑 (1935)	—	—	・見出しはみられず。
辞海 (1952)	—	やばい(形口)(官憲の手配がきびしくて)あぶない。(隠語)	・広辞林新訂版とほぼ 同じ記述。

7.4.1.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・全 11 種の辞書のうち、「やば」、および、「やばい」の見出し項目がみられたのは、3 種（『大日本国語辞典』（1915~19）、『広辞林 新訂版』（1934）、『辞海』（1952））のみであった。

- ・『大日本国語辞典』（1915~19）では、「やば」の立項がみられた。「やば（名・副）奇怪なること。不都合なること。又、その事柄。やば。上方の方言。」とある。管見の

¹⁷⁴ 『国語辞典の名語釈』巻末、「国語辞典年表」より。

限り、一般国語辞書における「やば」の見出し項目の立項について、上田万年・松井簡治編（1915~19：大正 4~8）『大日本国語辞典』が最も早いとみられる。

・『広辞林 新訂版』（1934）では、「やばい」の立項がみられた。「やばい（形）官憲の手配厳しく危険なり。」とある。管見の限り、一般国語辞書における「やばい」の見出し項目の立項について、金沢庄三郎編（1934：昭和 9）『広辞林 新訂版』が最も早いとみられる。

・金田一京助編『辞海』（1952：昭和 27）では、「やばい」の立項がみられ、「やばい（形口）（官憲の手配がきびしくて）あぶない。（隠語）」とある。ここで、再び上記、『広辞林 新訂版』をみると、「やばい（形）官憲の手配厳しく危険なり。」とある。したがって、『辞海』における「やばい」の記述内容は、『広辞林 新訂版』からの流れを汲んでいるということが想定される。一方、『辞海』と同年の出版となる、同じく金田一京助編『明解国語辞典 改訂版』（1952）では、「やばい」の立項がみられなかった（下述、「7.4.3『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「やばい」の意味記述の比較」参照）。当時（戦中から戦後期）、すでに国民的辞書と目され広く普及していた『明解国語辞典』であるが、「やばい」を立項することはまだ時期尚早とみなしていたのであろうか。

7.4.2 現代の国語辞書 10 種における「やばい」の意味記述の比較

本項では、現代の国語辞書における「やばい」の意味記述について、比較・対照した上で考察を行った。便宜上、分冊構成になっているものを「大型」（『日本国語大辞典』のみ）、『広辞苑』サイズの物を「中型」（3 種）、『新明解』サイズの一般的小型辞書を「小型」（6 種）とみなした。まず、10 種の辞書の内訳を、以下の表に示した。なお、『日本国語大辞典』および『デジタル大辞泉』は“Japan Knowledge Lib”による¹⁷⁵。

¹⁷⁵ 2020 年 8 月閲覧。https://jpanknowledge.com/lib/search/basic/?

図表 7.12 : 現代の国語辞書 10 種の内訳

カテゴリー	正式名称	略称	出版年	出版社
大型 1 種	日本国語大辞典	日国	オンライン	小学館
中型 3 種	デジタル大辞泉	—	オンライン	小学館
	広辞苑 第 7 版	広辞苑 7 版	2018	岩波書店
	大辞林 第 4 版	大辞林 4 版	2019	三省堂
小型 6 種	明鏡国語辞典 第 2 版	明鏡 2 版	2010	大修館書店
	新明解国語辞典 第 7 版	新明解 7 版	2012	三省堂
	旺文社国語辞典 第 11 版	旺文社 11 版	2013	旺文社
	三省堂国語辞典 第 7 版	三国 7 版	2014	三省堂
	現代国語例解辞典 第 5 版	現国例 5 版	2016	小学館
	岩波国語辞典 第 8 版	岩波 8 版	2019	岩波書店

7.4.2.1 大型・中型辞書 4 種

まず、大型・中型辞書 4 種について比較したものを以下の表に示した。

図表 7.13 : 現代の大型・中型辞書 4 種における「やばい」の意味記述の比較

	意味 1 (形)	意味 2 (形)	備考
日国	(形口)「やば」の形容詞化)危険や不都合が予測されるさまである。危ない。もと、てきや・盗人などが官憲の追及がきびしくて身边が危うい意に用いたものが一般化した語。*1	—	
デジタル大辞泉	(形)(形容動詞「やば」の形容詞化)危険や不都合な状況が予測されるさま。あぶない。*2	—	
広辞苑 7 版 (2018)	①不都合である。危険である。	②のめり込みそうである。 *3	・品詞の指定はなし。②は微妙な記述だが、プラス評価性。
大辞林 4 版 (2019)	(形)「やば」の形容詞化。もと、盗人・香具師などの隠語)①身に危険が迫るさま。あぶない。 ②不都合が予想される。	③若者言葉で、すごい。自身の心情がひどく揺さぶられている様子についていう。*4	

*1 (日国 2 版) : 「補注」に、「彼女とゴミ箱」(昭和六年、一瀬直行)には、「絶えず移動する屋台押しには、もっと大きなヤバイ(危険)が待ってゐるのだ」という、名詞の例が見られる。」とある。

*2 (デジタル大辞泉) : 「補説」に、「若者の間では、「最高である」「すごくいい」の意にも使われる。「この料理やばいよ」とある。

(*筆者注 : 「やばい」が上記、「すごくいい」の意味で使われることも当然ある。ただし、近年はもう少し程度の軽い「やばい」も多用されているようである。その理由として、あまりに「やばい」が多用されることによって、本来の過激なまでのどぎつさが薄れてしまったからということが考えられる。「やばい」の意味の希薄化」ということになる。)

*3 (広辞苑 7版) : 例文として、「この曲はくせになってやばい」とある。

*4 (大辞林 4版) : 補足として、「若者言葉では「格好良い」を意味する肯定的な文脈から、「困った」を意味する否定的文脈まで、広く感動詞的に用いられる」とある。

(*筆者注:「感動詞的」という表現には筆者も同意する。ただし、「やばい」を感動詞的に使う場合、意味らしい意味を伴わない場合もあるというのが筆者の認識である。つまり、なんらかの外的刺激を受けたときに無意識のうちに発せられる、「あっ」とか「わっ」とかというような自然発生的な音声に近いものも含まれるとみなしている。)

7.4.2.2 小型辞書 6種

次に、小型辞書 6種について比較したものを以下の表に示した。

図表 7.14 : 現代の小型辞書 6種における「やばい」の意味記述の比較

	意味 1 (形)	意味 2	意味 3	備考
明鏡 2版 (2010)	(形)[俗]①自分に不利な状況が身近に迫るさま。また、そのような状況が予測されるさま。	—	(形)[俗]程度が激しいことを表す語。はなはだしい。ひどい。 *1 *2 *3	
新明解 7版 (2012)	(形)(もと、香具師や犯罪者仲間などの社会での隠語)①違法なことをするなどして、警察の手が及ぶおそれのある状態だ。	—	—	
	(形)②自分の身に好ましくない結果を招く様子だ。(①②とも口頭語的表現)*4			
旺文社 11版 (2013)	(形)[俗]危険だ。不都合だ。まずい。*5	—	—	
三国 7版 (2014)	(形)[俗]①あぶない。	(形)[俗]③すばらしい。むちゅうになりそうであぶない。*6	(形)[俗]④[程度が]大きい。*6	
	(形)[俗]②まずい。だめ。			
現国例 5版 (2016)	(形)危険や不都合が予測されるさまである。危ない。*7	—	—	
岩波 8版 (2019)	(形)[俗]①危険や悪い事が起こりそうな形勢だ。あぶない。*8	③すごい。驚くほどである。*9	—	
	②まずい。好ましくない。			

*1 (明鏡 2版) : 「表現」によると、「多く望ましくないことについていうが、近年、若者がプラスの評価に用いることもある。「これ、おいしい!やばいよ!」とある。

*2 (明鏡 2版) : 解説によると、「形容動詞「やば(=不都合なさま)」が形容詞化した語。もと盗人などが身边が危ない意で使った隠語。」とある。

*3 (明鏡 2版) : 「表記」によると、「「ヤバイ」「ヤバい」とも。」とある。

*4 (新明解 7版) : 「運用」によると、「最近の若者の間では「こんなうまいものは初めて

食った。やばいね」などと一種の感動詞のように使われる傾向がある」とある。

*5 (旺文社 11 版) : 「参考」によると、「もと、てきや・盗人などの隠語。若者言葉で「すごい」「格好いい」などの意で用いることがある。」とある。

*6 (三国 7 版) : 解説によると、「③は 1980 年代から例があり、21 世紀になって広まった言い方。④はそのあとに広まった」とある。

*7 (現国例 5 版) : 解説によると、「もと、てきや、盗人などが身边が危ない意に用いたものが一般化した俗語。」とある。

*8 (岩波 8 版) : 解説によると、「ならず者の隠語から。」とある。

*9 (岩波 8 版) : 解説によると、「③は近年、若者を中心に広まる。良い意味にも悪い意味にも使う。感動詞的に相づちにも使う。「やば、久しぶり」「それ、やばい」とある。

7.4.2.3 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」のうち、プラス評価に関する記述については、『デジタル大辞泉』『広辞苑 7 版』『大辞林 4 版』『明鏡 2 版』『新明解 7 版』『旺文社 11 版』『三国 7 版』『岩波 8 版』にみられた (前 10 冊中の 8 冊)。うち、ブランチとして項目立てしているのは、『広辞苑 7 版』『大辞林 4 版』『三国 7 版』『岩波 8 版』であった。『デジタル大辞泉』『明鏡 2 版』『新明解 7 版』『旺文社 11 版』については、解説あるいは補足にて触れている。

- ・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」のうち、『日国』『現国例 5 版』については、プラス評価の「やばい」についての記述がみられない。

- ・「小型辞書 6 種」については、全てに、「俗語」あるいは「隠語」の位相の指定がみられた。

- ・「大型・中型辞書 4 種」、「小型辞書 6 種」のうち、意味のブランチについて、最も多かったのは、『三国 7 版』の 4 分類であった。

- ・辞書によって、意味記述の量にかなりの差がみられる。例えば、『旺文社 11 版』、『現国例 5 版』のように、ごく簡潔な記述のみの場合もある。関心度に程度差があるといってよさそうである。

- ・『新明解 7 版』『岩波 8 版』では、「感動詞 (的)」という表現がみられた。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「やばい」の意味のうちマイナス評価性とみなされるものを「意味1」として分類した。まず、「意味1」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 a, b とした）、a「身に危険が迫る／危ない／危険」、b「不利な状況が身近に迫る／不都合／まずい／だめ／好ましくない」が取り出せる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「やばい」の意味のうちプラス評価性とみなされるものを「意味2」として分類した。まず、「意味2」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 c, d とした）、c「夢中になりそうで危ない／心情がひどく揺さぶられる／のめり込みそうな」、d「すばらしい／すごい／驚くほど」が取り出せる。

・「大型・中型辞書4種」、「小型辞書6種」について、「やばい」の意味のうち程度性に焦点が当てられたとみなされるものを「意味3」として分類した。まず、「意味3」からキーワードとみられるものを抽出すると（便宜上 e とした）、e「程度が激しい／程度が大きい／はなはだしい／ひどい¹⁷⁶」が取り出せる。左の e グループは、まとめれば、「程度性のはなはだしさ」といったものになる。これは、「やばい」の中核的な意味とも考えられ、上記 a から d の語義グループを底辺で支える形となる。

・以上の結果の考察を基に、「やばい」の語義の移行についてまとめると、おおむね以下のとおりになる。

a「身に危険が迫る／危ない／危険」→ b「不利な状況が身近に迫る／不都合／まずい／だめ／好ましくない」→ c「夢中になりそうで危ない／心情がひどく揺さぶられる／のめり込みそうな」→ d「すばらしい／すごい／驚くほど」

¹⁷⁶ 「ひどい」については、『明鏡2版』によると、「程度がはなはだしい。」とあり、続く「表現」では、「多く悪い意味で使うが、(中略)いい意味でつかうこともある。」とある。

7.4.2.4 「やばい」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）

以下に、上記、現代の国語辞書 10 種を基にした「やばい」の語義の移行についてのイメージ図を示した。なお、「やばい」については、やや変則的となるものの、おおむね語義の移行順は、上から下（右斜め下）となる。

図表 7.15 : 「やばい」の語義の移行イメージ図（現代の国語辞書 10 種を基に）

名詞	形容詞			
ϕ (*「やば」) 危険・恐怖を喚起させるヒト・モノ				
	a 身に危険が迫る 危ない/危険			
		b 不利な状況が身近に迫る 不都合/まずい だめ/好ましくない		
			c 夢中になりそうで危ない 心情がひどく揺さぶられる (自制がきかないほどに)のめり込みそうな	
				d すばらしい/すごい 驚くほど
e 程度が激しい/程度が大きい/はなはだしい/ひどい				

7.4.3 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「やばい」の意味記述の変遷

本項では、『明解国語辞典』（初版／改訂版）、および、『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）を用いて、「やばい」の意味記述の変遷について通時的に概観した。なお、『明解国語辞典』および『三省堂国語辞典』の概要については、上述、「3.4.2『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初版から第7版まで）における「結構」の意味記述の変遷」に示した。まず、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの版・出版年・編者の流れを時系列で表にして示した。

図表 7.16 : 『明解国語辞典』『三省堂国語辞典』の版・出版年・編者の流れ

名称 (略)	版	出版年	編者
明解	初版	1943 (昭和 18)	金田一京助
明解	改訂版	1952 (昭和 27)	金田一京助
三国	初版	1960 (昭和 35)	金田一京助・見坊豪紀・山田忠雄・金田一春彦
三国	第二版	1974 (昭和 49)	金田一京助・金田一春彦・見坊豪紀*1・柴田武・山田忠雄
三国	第三版	1982 (昭和 57)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武
三国	第四版	1992 (平成 04)	見坊豪紀*1・金田一京助・金田一春彦・柴田武・飛田良文
三国	第五版	2001 (平成 13)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第六版	2008 (平成 20)	見坊豪紀・金田一京助・金田一春彦・柴田武・市川孝・飛田良文
三国	第七版	2014 (平成 26)	見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大
*1 : 『三国』の「第二版」「第三版」「第四版」では、見坊豪紀に「主幹」の表示あり。			

続いて、以下に、『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「やばい」の意味記述について通時的観点から表にして示した。紙幅の関係上、端的にまとめた。『明解国語辞典』については、便宜上現代かな遣いに変更した。『三省堂国語辞典』については、『初版（1960：昭和35）』の後に『新装版（1968：昭和48）』がある。ただし、内容に変更がないため、省略した。

図表 7.17 : 『明解国語辞典 初版』から『三省堂国語辞典 第7版』までの「やばい」の意味記述の変遷

版	意味1(形)	意味2(形)	意味3(形)	意味4(形)	備考
明解 初版 (1943)	—	—	—	—	・「やばい」の見出し項目はなし。
明解 改訂 版 (1952)	—	—	—	—	・「やばい」の見出し項目はなし。
三国 初版 (1960)	(形)[俗]あぶない。	—	—	—	・「やばい」の見出し項目が現れた。[俗]の位相付き。
三国 2版 (1974)	(形)[俗]同上 *1 例文追加	—	—	—	・三国初版と同じ。例文が追加。
三国 3版 (1982)	(形)[俗]①同上 *1 例文も同上	(形)[俗]②ま ずい。だめ。	—	—	・新たに意味②が追加。
三国 4版 (1992)	(形)[俗]①同上 *1 例文同上	(形)[俗]②同 上 *2 例文 追加	—	—	・例文が追加。
三国 5版 (2001)	(形)[俗]①同上 *1 例文同上	(形)[俗]②同 上 *2 例文 同上	—	—	・三国4版と全く同じ。
三国 6版 (2008)	(形)[俗]①同上 *1 例文同上	(形)[俗]②同 上 *2 例文 同上	(形)[俗]③すばらしい。 むちゅうになりそうで あぶない。*3 例文追加	(形)[俗]④[程度が] はなはだしい。*4 例文追加	・新たにプラス 評価性の意味 ③と高程度の ④が追加。
三国 7版 (2014)	(形)[俗]①同上 *5 例文追加	(形)[俗]②同 上 *2 例文 同上	(形)[俗]③すばらしい。 むちゅうになりそうで あぶない。*3 例文も同 上 ▷(*注記)[③は1980 年代から例があり、21 世紀になって広まった 言い方。(*右欄の)④は そのあとに広まった]	(形)[俗]④[程度が] 大きい。*6 例文 追加	・例文が二例追 加。

*1 例文 (『三国2版』(1974)) : 「やばい仕事」

*2 例文 (『三国4版』(1992)) : 「そのやり方ではやばい」

*3 例文 (『三国6版』(2008)) : 「今度の新車はやばい」

*4 例文 (『三国6版』(2008)) : 「教科書の量がやばい」

*5 例文 (『三国7版』(2014)) : 「やばい仕事／やばい、警察が来るぞ」

(*筆者注 : 従来の上記*1の例文、「やばい仕事」はそのまま、「やばい、警察が来るぞ」が追加された。)

*6 例文 (『三国7版』(2014)) : 「教科書の量がやばい／やばい (=すごく) おいしいよ」

(*筆者注 : 従来の上記*4の例文、「教科書の量がやばい」はそのまま、「やばい (=すごく) おいしいよ」が追加された。)

(*筆者注：*6 後ろの例文「やばい (=すごく) おいしいよ」は疑問。「やばい」に副詞の役割はないはずである。)

7.4.3.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

・上記の時系列の比較表をみると、版を重ねる（時代を経る）ごとに意味のブランチも増すことがわかる。全体的にみると、三段階の変化が認められる。以下、第一段階は『三国初版』（1960）における「やばい」の見出し項目の初出。第二段階は『三国3版』（1982）における転義②の追加。第三段階は『三国6版』（2008）におけるプラス評価性③、および程度性の高さに着目した④の語釈の追加である。ここから、現代における「やばい」の多義語化の進展が見て取れる。

・『明解初版』（1943）、『明解改訂版』（1952）では、「やばい」の見出し項目がみられなかった。

・『三国3版』（1982）から『三国5版』（2001）までの約20年間は、ほとんど変化がみられなかった。

・大きな変化がみられたのは、『三国6版』（2008）であった。新たにプラス評価性の「意味3」と程度性の高さに焦点を置いた「意味4」が追加された。

・「やばい」の意味のうちマイナス評価性、かつ本来の意味に近いものと考えられるものを「意味1」として分類した。「意味1」については、『三国初版』（1960）で初出した。以下、俗語の指定つきで、「あぶない。」とある。この記述については、以降『三国7版』（2014）までの半世紀以上の間変更がみられなかった。「意味1」における「あぶない。」は、現代語「やばい」においても基本義と考えられるものである。

・「やばい」の意味のうちマイナス評価性、かつ「意味1」の第一転義と考えられるものを「意味2」として分類した。「意味2」については、『三国3版』（1982）で初出した。以下、俗語の指定つきで、「②まずい。だめ。」とある。この記述については、以降『三国7版』（2014）までの約30年間変更がみられなかった。

・「やばい」の意味のうちプラス評価性と考えられるものを「意味3」として分類した。「意味3」については、『三国6版』（2008）で初出した。以下、俗語の指定つきで、「③すばらしい。むちゅうになりそうであぶない。」とある。この記述については、次版『三

国7版』(2014)でも変更がみられなかった。なお、「やばい」のプラス評価性への移行については、以下、x,yのような展開が考えられる。

x「(対象が)非常にすばらしい(よい)ために、のめり込んで自制がきかなくなりそうであぶない」→「(対象が)非常にすばらしい(よい)」

y「(対象が)自らが畏敬の念を抱くほど(恐ろしいほど)に非常にすばらしい(よい)」
→「(対象が)非常にすばらしい(よい)」

・「やばい」の意味のうち程度性の高さに着目したと考えられるものを「意味4」として分類した。「意味4」については、『三国6版』(2008)で初出した。以下、俗語の指定つきで、「④[程度が]はなはだしい。」とある。この記述については、次版『三国7版』(2014)では、「④[程度が]大きい。」と若干の語句の変更がみられた。左の④について、『7版』の注記では、「③(すばらしい。むちゅうになりそうであぶない。)は1980年代から例があり、21世紀になって広まった言い方。④はそのあとに広まった。」とある。ただし、「程度のはなはだしさ」、あるいは、「程度の激しさ」は、「やばい」という語が本来備えている中核的な意味であろうというのが筆者の認識である(上述、「7.4.2.4「やばい」の語義の移行イメージ図(現代の国語辞書10種を基に)」等参照)。ここで、『三国7版』、「④[程度が]大きい。」の例文(上記*6)をみると、「やばい(=すごく)おいしいよ」とある。しかし、この例文に対しては、若干の疑問がある。「やばいおいしい」という表現は、「やばい」に副詞的な役割を持たせているとみることもできる。しかし、「やばい」に副詞の役割はないはずであり、違和感を覚える¹⁷⁷。当然、意味記述に「副詞」の指定はない。ただし、「やばい」の後に句点をつけ、「やばい、おいしい」とするならば事情は異なる。この場合、「やばい」に感動詞(あるいは間投詞)としての役割を持たせることになり、説明が可能となる。しかし、『三国7版』にはこの点についての記述はみられない。一方、『大辞林 第4版』(2019)には、この点についての記述がみられる(上述、「7.4.2 現代の国語辞書10種における「やばい」の意味記述の比較」、「7.4.2.1 大型・中型辞書4種」参照)。なお、現代語の「やばい」は、感動詞(あるいは間投詞)的な性質を多分に示すものでであろうというのが筆者の認識である。

¹⁷⁷ これについては、上述、「7.2.3 矢澤真人(2005)」も参照。

7.4.4 日本語学習者向け辞書における「やばい」

本項では、3種の日本語学習者向け辞書（以下、国際交流基金（1986）『基礎日本語学習辞典』／文化庁（1990）『外国人のための 基本語用例辞典（第三版）』／坂田雪子監修 にほんごの会企業組合編（1995）『日本語を学ぶ人の辞典』）を参照した。その中で、坂田雪子監修 にほんごの会企業組合編（1995）『日本語を学ぶ人の辞典』にのみ、「やばい」の見出し項目がみられた。日本語学習用辞書に「やばい」を掲載するというのは、なんらかの意図があると考えられるが、興味深い事実である。以下に、『日本語を学ぶ人の辞典』における「やばい」の意味記述を示した（一部編集）。

図表 7.18 : 『日本語を学ぶ人の辞典』における「やばい」の意味記述

語	意味記述
やばい	ぐあいが悪くて、危険な状況だ。 英語：will be in trouble; chancy. 中国語：不妙；危険。 「教室でタバコを吸っているのを先生に見つかりとやばい」（*形容詞述語文） 「やばい仕事だが、もうかるからやる」（*形容詞連体修飾） （話しことば）

7.4.4.1 考察

上記の意味記述には、「話しことば」の指定はあるものの、例えば、「俗語」や「悪いことば」といった指定がみられない。これは、日本社会に対する予備知識・背景等に乏しい日本語学習者の立場に立てば、やや説明が足りないといえよう。やはり、日本語学習者向け辞書であれば、「やばい」について、「フォーマルな（改まった）場面では使えない」といった断り書きは必要であろう。日本語学習者向け辞書に「やばい」のような出自の属性がよくないとされることばを掲載するときは、適切な説明が求められよう。

7.5 『現代用語の基礎知識』過去約 50 年分における「やばい」の変遷

本節では、『現代用語の基礎知識』の過去約 50 年分の資料を基に、「やばい」および「やばい」関連語が、『現代用語の基礎知識』において、いつ頃に現れ、またどのような解説（意味記述）がなされたかについて、通時的に考察した。

ここでは、便宜上、「やばい」の変遷を三期に分けて示した。三期の内訳は、「第一期

(1969~1979)：潜在期」・「第二期（1980~1999）：揺籃期」・「第三期（2000~2020）：安定期」である。以下、三つの期ごとにみていく。

7.5.1 「第一期（1969~1979）：潜在期」

まず、1969年から1979年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみていく。以下、表にして示した。

図表 7.19：『現代用語の基礎知識』における過去約50年間の「やばい」の変遷①（1969~1979）

年版	カテゴリー	「やばい（ヤバイ）」 /「やばい」関連語	備考
1969~1977	—	—	・「全用語索引」等に、関連語も含め、「やばい（ヤバイ）」/「やばい」関連語はみられず。
1978	若者のライフスタイルを理解する用語集 (平野秀秋記述)	「ヤクイ」:「やばい」とか「まずい」の意味。	・1978年版「若者のライフスタイルを理解する用語集（平野秀秋記述）」→「リズム感のある暴走族の言葉」→「ヘクル」の項目内「ヤクイ」の解説に「やばい」が出現。『現代用語の基礎知識』においては、管見の限りこれが「やばい」の初出。 ・以下、「ヘクル」の解説:「失敗した」の意味。操作を誤ったり、予想に反した現実直面した時に使う。「しまった」と同じ意味。シクルともいう。これと韻を踏んで、ヤクイという言葉がある。これは「やばい」とか「まずい」の意味。
1979	—	—	・「全用語索引」等に、関連語も含め、「やばい（ヤバイ）」/「やばい」関連語はみられず。

7.5.1.1 結果（「第一期（1969~1979）：潜在期」）

以上、1969年から1979年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみた。その結果として、以下のことが明らかになった。

- ・1969年版から1977年版までは、「全用語索引」・「本文」等に、関連語も含め、「やばい」はみられなかった。
- ・1978年版「若者のライフスタイルを理解する用語集（平野秀秋記述）」、「リズム感のある暴走族の言葉」、「ヘクル」の項目内、「ヤクイ」の解説に、「やばい」が現れた。『現代用語の基礎知識』においては、管見の限りこれが「やばい」の初出である¹⁷⁸。

¹⁷⁸ なお、米川明彦（2017）『俗語入門—俗語はおもしろい！—』には、「『現代用語の基礎知識』若者用語に「やばい」が初めて出たのは1980年版で、」とある（p.131）。確かに、「若者用語の解説」における「やばい」の初出は1980年である。ただし、『現代用語の基礎知識』全体における「やばい」の初出は、管見の限り1978年である。

・1979年版では、「全用語索引」・「本文」等に、関連語も含め、「やばい」はみられなかった。

1970年代は「やばい」潜在期」とみられ、まだ顕在化はしていない状態とみられる。

7.5.2 「第二期（1980~1999）：揺籃期」

次に、1980年から1999年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみていく。以下、表に示した。

図表 7.20：『現代用語の基礎知識』における過去約50年間の「やばい」の変遷②（1980~1999）

年版	カテゴリー	「やばい（ヤバイ）」 /「やばい」関連語	備考
1980~1982	若者用語の解説	「やくい・やばい」：危険な。危ない。まずい。	・1980から「若者用語の解説」（堀内克明記述）が開始。以降、2020まで継続中。 ・1980に「若者用語の解説」において、「やくい・やばい」という見出しで、「やばい」が現れた。 ・「全用語索引」に「やばい」が現れたのは、1980が最初。
1983~1986	—	—	・1983年版から1986年版まで、「やばい」の項目はみられず。 ・ただし、1984年版「若者用語」→「〇〇びっち」の項目内に「やばい」が出現（以下抜粋）。「悪いことについて用いる意味のない言葉。「やばしびっち」は「やばい」の意。」
1987	若者用語の解説	「やばせん」：まずいこと。危ないこと。	・見出しは「やばせん」のみ。
1988	若者用語の解説	「やばい／やばせん」：危い。危いこと。 （*「危い」は、ママ。通常の送り仮名は「危ない」。以下同じ。）	・1988年版「若者用語の解説」「冒頭コラム」に、「やばい」関連の記述あり（以下抜粋）。 「博報堂生活総合研究所が、よく使われる新人類語のトップ・テンを選んだ。①マジ②サイテー③アブナイ④一応⑤ヤバイ⑥チェックを入れる⑦プツン⑧カッター⑨別にいい⑩オッシャレーという順であった。」
1989~1991	—	—	・「やばい」の項目はみられず。 ・ただし、1990年版「若者用語」「ゲロゲロ」の解説に「やばい」がみられた。以下、「ゲロゲロ」の解説を抜粋。 「ゲロゲロ」：嫌だ。やばい。信じられない。えーっ驚いた。ぞーっ。（以下略）
1992, 1993	若者用語の解説	「やべえー」：やばい。まずい。危い。	・「若者用語」の見出しは、「やばい」の異形式の「やべえー」。
1994~1996	—	—	・「やばい」の項目はみられず。
1997, 1998	若者用語の解説	「やばめ」：やばい(まずい)状態。「かなりやばめ」と平板か上がり調子で言う。	・「若者用語」の見出しは、「やばめ」。「やばめ」の解説に「やばい」がみられた。
1999	若者用語の解説	「やばめ」：やばい(まずい)状態。「やばすぎる」：とても困る。いやだ。	・「やばめ」「やばすぎる」は、別々の見出し。

7.5.2.1 結果（「第二期（1980~1999）：揺籃期」）

以上、1980年から1999年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみた。その結果、以下のことが明らかになった。

- ・堀内克明記述、「若者用語の解説」は、1980年から開始したが、その際、「やくい・やばい」という見出しで、「やばい」が現れた。つまり、1980年は、「全用語索引」に「やばい」が初出した年であった。
- ・1988年版「若者用語の解説」の冒頭コラムに、博報堂生活総合研究所による「よく使われる新人類語トップ・テン」の記述がみられた。それによると、「やばい」は5位であった。そこから、「やばい」は、当時の新人類（若い世代を指す流行語）が好んで使う語であることが示唆された。
- ・1980年代の「若者用語の解説」において、「やばい」および関連語が現れた年は、1980年・1981年・1982年・1987年・1988年であった。
- ・1990年代の「若者用語の解説」において、「やばい」および関連語が現れた年は、1992年・1993年・1997年・1998年・1999年であった。
- ・1980年代・1990年代を通して、「若者用語の解説」における、「やばい」および関連語の解説をみると、全てマイナス評価の意味であった。
- ・1980年代から1990年代にかけて、「やばい」の関連語（やくい／やばせん／やべえー／やばめ／やばすぎる等）も数種現れた。一般的に、人気商品には類似品が多く現れるが、それに類似した現象と考えられる。

1980年代から1990年代にかけては、「やばい」が顕在化し、発展の過程にあった時期と考えられる。したがって、「やばい揺籃期」といえよう。

7.5.3 「第三期（2000~2020）：安定期」

次に、2000年から2020年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみていく。以下、表に示した。

図表 7.21 : 『現代用語の基礎知識』における過去約 50 年間の「やばい」の変遷③ (2000~2020)

年版	カテゴリー	「やばい (ヤバイ)」 / 「やばい」 関連語	備考
2000	—	—	・「やばい」の項目はみられず。
2001, 2002	若者用語 の解説	「やばい / やべえ / やばやば」: 危ない。変だ。あやしい。すごい。手に負えない。手がつけられないほどのめり込みそうな。魅力がありすぎる。*すごい。(*「すごい」のみ 2002 で追加。下表も参照。)	・2001 にて、初めて「やばい」のプラス評価の意味記述が現れる。 ・それとともに、意味記述の内容がより具体的になり、量も増した。 ・2002 には、さらに「すごい」というプラス評価の語句が追加。
2003~ 2017	若者用語 の解説	「やばい / やべー」: あぶない・最悪な状態にも、すごいとき・最高の状態にも使う。意味は文脈によって決まる。「マジやばい」。	・2003 以降、「若者用語」(堀内克明記述)に、山西治男が加わる。 ・2003 「やばい」の意味記述(解説)が変更される。以降、2020 まで記述は変更なし。 ・2005 から「若者のことばの解説」に名称変更。 ・2006 「社会風俗用語の解説」にも、「やばい」の解説あり(神足祐司記述)。以下に示す。 「ヤバイ」: 「やばーい」と伸ばして発音する。本来ヤクザが“発明”した「危険」という意味の言葉だが、それが「危ないほどにハマる」とか「危ないほどにおいしい」など「すごい」という良い意味の評価に変わった。
2018~ 2020	若者	「やばい / やべー / やばみ / やばたん」: 同上	・2003~2020 まで、「やばい」関連の意味記述に変更なし。 ・2019 「若者」のコラムに、「マジ」や「ヤバイ」など、元は若者言葉であったものが、いつしか「大人もつい言ってしまう」表現になった例は多々あるが、(中略)」とある。

7.5.3.1 「若者用語の解説」における「やばい / やべえ / やばやば」の意味記述の比較

補足として、2001 年版・2002 年版、「若者用語の解説」における「やばい / やべえ / やばやば」の意味記述(解説)について、以下に詳細に比較してみる。便宜上、個々の意味記述に番号をつけた。

図表 7.22 : 2001・2002 年版「若者用語」における「やばい / やべえ / やばやば」の意味記述の比較

年版	評価性	意味記述	備考
2001	マイナス評価 (四つ)	①危ない。②変だ。③あやしい。④手に負えない。	
	プラス評価 (三つ)	⑤すごい。⑥手がつけられないほどのめり込みそうな。 ⑦魅力がありすぎる。	・プラス評価性の意味記述の初出。
2002	マイナス評価 (四つ)	①危ない。②変だ。③あやしい。④手に負えない。	・2001 年版と同じ。
	プラス評価 (四つ)	⑤すごい。⑥手がつけられないほどのめり込みそうな。 ⑦魅力がありすぎる。*⑧すごい。	・*「⑧すごい」が追加され、プラス評価性の意味記述が増える。

上記表をみると、「2001 年版」が、プラス評価性の意味記述の初出となる。さらに、翌年「2002 年版」で上記「⑧すごくいい。」が追加され、プラス評価性の意味記述が増えることとなる。

7.5.3.2 結果と考察（「第三期（2000~2020）：安定期」）

以上、2000 年から 2020 年までの『現代用語の基礎知識』における「やばい」の変遷をみた。その結果、以下のことが明らかになった。

- ・ 2001 年版「若者用語の解説」にて、初めて「やばい」のプラス評価の意味記述が現れた。それとともに、意味記述の内容がより具体的になり、量も増した。
- ・ 2002 年版では、さらに、「すごくいい」というプラス評価の語句が追加された。
- ・ 2003 年版「若者用語の解説」にて、「やばい」の意味記述（解説）が変更される。その後、2020 年版まで、記述の変更はない。
- ・ 2006 年版では、「社会風俗用語の解説」においても、「ヤバい（カナ表記）」がみられた（神足祐司記述）。それによると、やくざ由来の「危険な」を意味する「ヤバい」が、「すごい」というプラス評価の意味に変化したとある。
- ・ 2003 年版から 2020 年版まで、「やばい」関連の意味記述に変更がない。これは、「やばい」が一般に定着し安定期に入ったことの証左と考えられる。
- ・ 2019 年版「若者（用語の解説）」のコラムに、「マジ」や「ヤバい」など、元は若者言葉であったものが、いつしか「大人もつい言ってしまう」表現になった例は多々あるが、（中略）」とあるが、これも、「やばい」が日常語として幅広い世代に一般化したことの意味付けとなろう。

2000 年代は、「やばい」が一般的に受け入れられ、安定期に入った時期とみられる。2000 年代初頭に「やばい」にプラス評価の意味が付加されているが、これは、「やばい」が日常語化し使用領域が拡大したことにより、意味の転化が促進されたとも考えられる。

以上、全体を総括すると、まず驚嘆するのは、「やばい」という語の息の長さである。上記の考察でもわかるように、『現代用語の基礎知識』において、「やばい」は約 40 年もの期間、いわゆる「若者語」として存在し続けている。堀内克明は、1984 年版「若者用語の解説」で、「定説では、俗語や流行語の生命は短いことになっているが長命なものも多い。」と述べるが、「やばい」は、この「長命なもの」の部類の代表といっても差し支えないであ

ろう。

約 40 年前に「やばい」を好んで使っていた世代が、今や壮年の域に達している。それらの元「若者」が現在なお「やばい」を使うとすれば、現代語としての「やばい」は、「若者語」という狭い枠では括れなくなっているのではないか。一方、現代の若者世代は、「やばい」に新たなプラス評価の意味を付加して、かつてとは異なる用法で「やばい」を使っている。したがって、「やばい」の使用域が大幅に拡大したとすることができる。

7.6 類語辞書における「やばい」

本節では、『角川類語新辞典』（1981）、『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「やばい」の位置づけについて、まとめた上で考察を行った。なお、場合によっては論点、問題点等を指摘し、筆者の提言も行った。

7.6.1 『類語国語辞典』（1985）における「やばい」

7.6.1.1 「やばい」の位置づけ

『類語国語辞典』（1985）は、『角川類語新辞典』（1981）の後継版となる。したがって、基本仕様はほぼ同じである。「やばい」については、前版の『角川類語新辞典』にはみられなかった。一方、『類語国語辞典』（1985）には、「やばい」が俗語の位相付きで追加された。まず、『類語国語辞典』（1985）における「やばい」の位置づけについて、以下の表に示した。本文中に挙げられた「やばい」の類義語については、一部を抜粋した。

図表 7.23：『類語国語辞典』における「やばい」の位置づけ

分類①→	分類②→	分類③→	分類④→	分類⑤→	分類⑥	品詞	前後の類義語
A 自然→	1 性状→	16 状態→ 外部から見た物事のありさま	164 安危→ 安全と危険	b 危険→ 危ないこと	7 やばい 危険だ。あぶない(俗語) *例文1	(形)	危険/危ない/際 疾い/危うい/剣 呑/物騒/無用心/ 不健全/有害/有 毒/薄氷を踏む/ 虎の尾を踏む/ リスク

*例文1：やばい仕事を身に引き受ける

7.6.1.2 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「やばい」は、「A 自然→1 性状→16 状態→164 安危→b 危険」の場所に位置する。位置づけは、一カ所のみである。
- ・『類語国語辞典』において、「やばい」は、マイナス評価の意味（危険だ。あぶない [俗語]）のみ取り上げられている。
- ・「やばい」は、上記「分類④」の「164 安危」までは、「大丈夫」（第4章）と共通であり、『類語国語辞典』の語彙分布においては比較的近い存在である。つまり、「164 安危」カテゴリーにおいて、安全なほうが「大丈夫」、危険なほうが「やばい」となる（上述、「4.5.1 『角川類語新辞典』（1981）における「大丈夫」の位置づけ」参照）。その観点からすれば、「大丈夫」と「やばい」は反義の関係にあるともいえる。
- ・「やばい」と同等の位置にある類義語として、「危険／危ない／際疾い／危うい／剣呑／物騒／無用心／不健全／有害／有毒／薄氷を踏む／虎の尾を踏む／リスク」等が挙げられる。

7.6.1.3 『類語国語辞典』を基にした「やばい」の位置づけ（筆者提案）

以上、『類語国語辞典』における「やばい」の位置づけについて概観した。ただし、現代の「やばい」についてみた場合、上記の「164 安危→b 危険」一カ所の位置づけのみでは、とうてい「やばい」の多義性が反映されていないように感じられる。そこで、補足として、『類語国語辞典』の分類に準拠した形で「やばい」の新たな位置づけの候補を提案してみた。以下に表にして示した。

図表 7.24 : 『類語国語辞典』を基にした「やばい」の位置づけ (筆者提案)

	分類①→	分類②→	分類③→	分類④→	分類⑤→	分類⑥	前後の類義語
本来の位置	A 自然→	1 性状→	16 状態→ 外部から見た物事のありさま	164 安危→ 安全と危険	b 危険→ 危ないこと	7 やばい 危険だ。あぶない(俗語)	危険/危ない/際疾い/危うい/剣呑/物騒/無用心/不健全/有害/有毒/薄氷を踏む/虎の尾を踏む/リスク
提案①	A 自然→	1 性状→	16 状態→	163 過激→ 非常に激しいこと	—	(仮)やばい	酷い/どぎつい/強い/凄まじい/凄い/物凄いい/過激/激烈/猛烈/強烈
提案②	A 自然→	1 性状→	19 程度→ 物事の度合い	190 程度→ 高低・深淺・強弱・軽重・多少・優劣などの度合い	b 過度→ 程度を超していること	(仮)やばい	過度/極度/度外れ/桁外れ/桁違い/圧倒的/断然/極端/超/滅茶/滅茶苦茶/馬鹿/突拍子もない
提案③	A 自然→	1 性状→	19 程度→	195 大変→ 程度が甚だしいこと	—	(仮)やばい	大変/非常/過大/酷い/ど偉い/本当に/とっても/恐るべき/恐ろしい/凄い/物凄いい/痛く/極めて/甚だしい/計り知れない/徒ならぬ/言語に絶する/目に余る/目も当てられない
提案④	B 人事→	6 性向→	69 心境→ 物事について考える心の状態	695 不気味 何となく恐ろしい感じ	—	(仮)やばい	怖い/恐ろしい/おっかない/陰悪/未恐ろしい/気味が悪い/凄いい/物凄いい/ショッキング/ぞっと/冷や冷や/
提案⑤	B 人事→	6 性向→	69 心境→	695 不気味	a 不可解→ 訳が分からないこと	(仮)やばい	疑わしい/臭い/不可解/不審/怪しい/奇怪/怪奇/怪異/おかしい/胡散臭い/
提案⑥	C 文化→	7 社会→	79 人倫→ 人と人との関係。人として守るべき道徳	797 善悪→ 善いことと悪いこと	b 悪→ 道徳にかなわないこと	(仮)やばい	悪/悪質/悪辣/あくどい

7.6.1.4 考察 (「やばい」の位置づけの提案)

以上、「やばい」の新たな位置づけの候補を提案した。上記、「提案① ② ③」については、程度性の過激さに焦点を当てた。程度性の高さにのみ焦点を当てれば、何らかの外的刺激により感情が過度に高ぶった状態のときに、「やばい」が使えることになる。したがって、現代における「すごい・素晴らしい」を意味する「やばい」については、プラス評価

の方面に感情が過度に高ぶった状態のときに使うという説明ができる。「提案④」については、人間の精神状態における極度な不安感、「提案⑤」については、疑わしさ・気味の悪さからくる恐ろしさに焦点を当てた。「提案⑥」については、倫理からの過度の逸脱という点に焦点を当てた。

上記の「前後の類義語」欄をみれば、マイナス評価の語が多いが、提案するにあたり、必ずしもその点にのみ焦点を当てたわけではない。例えば、「凄まじい／凄い／過激／桁外れ／滅茶苦茶／恐ろしい」などの語が取り出せる。これらの語は本来、マイナス評価の語として使われるものであったが、最近はプラス評価の意味でも使われている。つまりは反義併存的な語類である。これらは窪菌晴夫(2017)でいうところの、「意味の上昇(向上)」を示す語類といえよう(上述、「7.2.5 窪菌晴夫(2017)」)。「やばい」もこれらの語と類似の性質を持つといえる。つまり、程度性を表す語は、マイナス評価からプラス評価に転じる例が少なからずあるということもいえそうである。

例えば、『現代用語の基礎知識 2004 年版』、「若者用語の解説」、「ありえない、イタイ。“空気”を読んでする会話」に、「ありえない」についての記述がみられる(堀内克明・山西治男記述)。それによると、「ありえない」は状況・文脈によって、「信じられないくらいひどい」の意味にも「信じられないくらいすばらしい」の意味にもなるとある。つまり、「ありえない」は、マイナス評価からプラス評価に転じた例とみられ、反義併存性を示す語といえよう。したがって、「やばい」と同様の性質を持つものといえる。

トラウゴット／ダッシャー(2019:67)によると、意味の向上より意味の悪化のほうが起こりやすい傾向があるというが、程度性を表す語についていえば、必ずしも当てはまらないようである(上述、「2.1.7 トラウゴット／ダッシャー(2019)」、「2.1.7.9 意味変化の傾向(ブレル)」参照)。

7.6.2 『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「やばい」の位置づけ

ここでは、『分類語彙表 増補改訂版』(2004)における「やばい」の位置づけについてみて行く。分類法については、最上位の「類」は、四つに分けられる。1. 体の類(名詞) 2. 用の類(動詞) 3. 相の類(形容詞・形容動詞・副詞・連体詞) 4. その他の類(一部の副詞・接続詞・感動詞)となる。以下、表にまとめたものを示した。

図表 7.25 :『分類語彙表 増補改訂版』における「やばい」の位置づけ

類 →	部門 →	中項目 →	分類項目 →	段落*1	前後の段落 (抜粋)*2	備考
3→ 相 の 類	3.1→ 抽象的 関係	3.13→ 様相	3.1346→ 難易・ 安危	14 後がない 逃げ場が ない 際ど い やばい 絶体絶命	13 急 緊急 火急 緊切 切迫した 急 迫した 切羽詰まった 12 危うい 危ない スリリング 危な っかしい 危なっかしげ 険しい 厳 しい ハード ゆゆしい 危険 けん ん 険悪 不穏 きな臭い 04 難い -難い 耐え難い・堪え難い 03 難しい 厄介 手も足も出ない 手 がつけられない どうしようもない 歯が立たない 02 無理 至難 困難 難儀 困った	・前後の段落 にて類義語を みると、かな りの数に上 る。 ・分類項目 3.1920 程度 の位置にも 置くべきで あろう。

*1：意味上の語集団。本文解説によると、「なるべく意味・用法の広いほうから狭いほうへ配列しているが、必ずしも厳格ではない。」とある。段落欄に掲載の語は互いに性質が近い語ということになる。

*2：上から順に、意味が近いとされるものから降順に示した。

7.6.2.1 結果

結果をまとめると、以下のとおりであった。

- ・「やばい」の位置づけは、分類項目「3.1346 難易・安危」、段落“14”の一カ所のみであった。つまり、ここでの「やばい」は、従来のマイナス評価性としてのものである。

- ・現代語の「やばい」の性質を考慮した場合、分類項目「3.1920 程度」内の段落“26”の位置にも置くべきであろう。段落“26”に位置づけられた語を抜粋すると、「甚だしい／著しい／大変／非常／驚くべき／極めて／めったやたら／めちゃくちゃ／ひどく／恐ろしい／すばらしい／どぎつい」等々であった。これらの語は、まさに現代語「やばい」の類義語といえるものである。上記の分類項目、「3.1346 難易・安危」の位置のみでは、現代の「やばい」の多義性を十分に反映できないであろう。これについては、改善が望まれよう。

- ・さらに、「やばい」の位置づけの提案として、分類項目「3.1302 趣・調子」、段落“03”（段落内の語例：都合がよい／不都合／まずい／不具合／絶好調／順調）、および、段落“07”（段落内の語例：見事／すばらしい／あっぱれ／立派／すてき／目覚ましい）、あるいは、分類項目「3.1332 良不良・適・不適」、段落“01”（段落内の語例：よい／

いい／結構／グッド／格好のよい／かっこいい)、および、段落“06”(段落内の語例：悪質／邪悪／極悪／不良／劣悪／最悪)、あるいは、分類項目「3.1345 美醜」、段落“01”(段落内の語例：美しい／美的／きれい)、および、段落“08”(段落内の語例：見た目のよい／見てくれのよい／器量のよい／ハンサム)、および、段落“09”(醜い／醜悪／不細工／不器量／見苦しい／みっともない)等を挙げておきたい。

7.7 「やばい」の語義関連表

本節では、上述、「やばい」についての先行研究・資料等を勘案し、通時的・共時的観点も加味した上で語義関連表(チャート)を作成した。なお、スペースの制約上、意味記述については簡潔に示した。タテ軸(列：語義の展開)は、番号順(例：① ② ③…)で、時間軸は上から下へとした。ヨコ軸(行：品詞の展開)はアルファベット順(a b c…)で、時間軸は左から右へとした。①aを本来の意味(原義)にあたるものとした。下記表(チャート)を見れば、「やばい」の各語義について、おおよその位置づけが特定できる。なお、あくまでも「やばい」という語に関する全体的把握のためのイメージ表である。したがって、絶対的正確性を期するものではない。以下に表(チャート)を示した。

図表 7.26 : 「やばい」の語義関連表(チャート)

品詞(行) →	a	b	c
番号(列) ↓	名詞(やば)	形容詞(マイナス評価) 中核的な意味： 程度が極端なこと	形容詞(プラス評価) 中核的な意味： 程度が極端なこと
①	守衛者/看守/看守長/巡査/警部/役人等の官吏	恐ろしく耐えがたい苦痛	怖いほどにのめり込み そうな
②		危険/危ないこと	すごい/すごくいい/魅力 がありすぎる/最高な
③		恐怖/恐ろしいこと	
④		怪しいこと	
⑤		不都合	
⑥		日常のちょっとした不 都合/問題	
備考	・現在は使われない。恐怖の対象としての人間(刑事・巡査・看守等)を指すもの。	・マイナス評価性。	・プラス評価性。

7.8 新聞紙上における「やばい」

7.8.1 「ヨミダス歴史館」における「やばい」の年代別出現頻度（平成期）

一般新聞紙上における「やばい」について、1980年代後半ぐらいまでは出現頻度が非常に低いとみられる。例えば、「朝日新聞 記事データベース 聞蔵Ⅱビジュアル」による調査では、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」、「検索語：「やばい」「ヤバイ」」、「検索年代：「1879~1926年（明治・大正）」、「1926~1945（昭和 戦前）」、「1945~1989（昭和 戦後）」にチェック」の条件で検索を行ったところ、結果は「やばい」が2件（ともに1980年）、「ヤバイ」（1984年）が1件であった¹⁷⁹。おそらくは、「やばい」が本来隠語の出自であり、一般的に属性の悪い語という認識があったため、倫理規定等に触れ規制されていた時期があったとみられる。

本項では、新聞紙上における「やばい」の出現頻度を調査し、平成期における変化の傾向をみていく。調査方法は、読売新聞記事検索システム「ヨミダス歴史館」を用いて、一定条件の基に読売新聞における平成期30年間の「やばい」（異表記「ヤバイ」「ヤバい」を含む）の出現数を比較した。なお、「やばい」の異表記のバリエーションとして、全カタカナ表記の「ヤバイ」、活用語尾のみひらがな表記の「ヤバい」が挙げられる。ここで、「ヤバい」はひらがな表記かカタカナ表記かという微妙な問題が生じる。ただし、今回の調査においては、便宜上、「ヤバイ」と「ヤバい」を一グループとしてカタカナ表記とみなした。

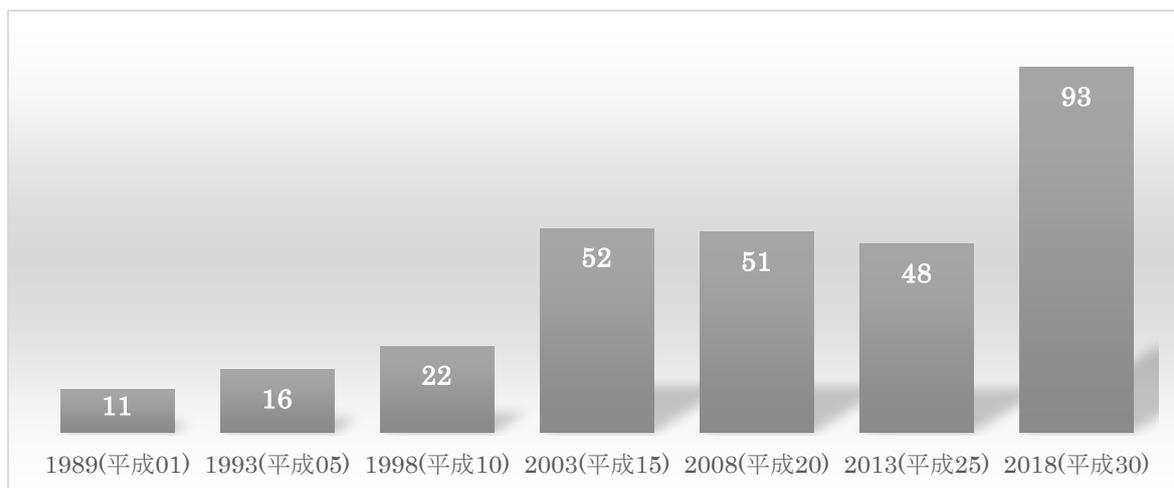
検索条件は、以下のとおりである。「ヨミダス歴史館 TOP」→「平成・令和 1986～」→「検索語：「やばい」および「ヤバイ」「ヤバい」・「検索方式：全文検索」・「全国版・地域版検索：全てを対象にする」・「分類検索（大分類・詳細分類）：すべて」。平成期約30年間であるから、30期に細かく分けて推移をみるという方法も考えられる。しかし、本調査では、5年ごと、7期に分割する程度が全体の俯瞰がしやすく最適であると判断した。

なお、調査媒体の信頼性という観点を考慮し、読売新聞を選定した。ただし、「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」含む）の使用頻度の推移については、決して今回の調査が絶対的なもの

¹⁷⁹ 1984年12月19日、家庭面の記事の主旨は、「小学生の流行語を、日本子供を守る会が調査」というものである。それによると、今年（1984年）の流行語上位10位は、「①ヤバイ②ダサイ③ナウイ④ナンデスカー⑤セコイ⑥マジ⑦ザンゲ⑧エロイ⑨イモ⑩エー」とあり、「ヤバイ」が一位であった。記事によると、「このうち、ヤバイ、ダサイ、ナウイ、セコイ（みみっちい）、マジ（まじめ）、イモ（田舎くさい）は、前回も十位までに入っており、根強い」とあり、80年代前半に若年層の間で「やばい」が流行していたことがわかる。

のではない。仮に他の媒体を用いて調査を行えば、異なる結果が出ることもありうる。あくまで全体的傾向のひとつの目安との位置づけである。調査期間は、平成元（1989）年から平成30（2018）年までの30年間である。5年ごとに7期に分割し、推移を観察した。結果を以下の図表に示した。

図表 7.27：読売新聞における平成期約30年間の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」含む）の出現数の推移



7.8.2 結果

結果として、以下のことが判明した（便宜上番号をつけた）。

- ①全体としてみれば、平成期約30年間において「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」含む）の使用は増加し続けている。
- ②1989（平成元）年から2003（平成15）年にかけては、漸増している。特に、1998（平成10）年から2003（平成15）年にかけては、二倍以上の増加を示している。
- ③2003（平成15）年から2013（平成25）年にかけては、横ばいで安定的に推移している。
- ④2013（平成25）年から2018（平成30）年にかけては、さらに約二倍の増加を示した。
- ⑤1989（平成元）年の出現数（11件）と2018（平成30）年の出現数（93件）を比較すると、約九倍の増加となる。

7.8.3 考察（「やばい」の出現数の推移）

全体としてみれば漸増の結果を示しているが、二つのヤマがあることがわかる。つまり、上記②「1998（平成 10）年から 2003（平成 15）年にかけての二倍以上の増加」と、上記④「2013（平成 25）年から 2018（平成 30）年にかけての約二倍の増加」である。まず、上記②については 2000 年前後を境として「やばい」の使用が増加しているということを示唆するものである。ここで、上述、「7.2.7 米川明彦（2019）」によると、「やばい」が流行したのは 2001（平成 13）年とあり、流行したとされる時期と上記②の増加とが一致をみせていることがわかる。ちなみに、2000 年代初頭の時期は、同じく米川明彦（2019）によると、「若者の間では（「やばい」が）「とても良い」意味にも使われだした」時期でもある。さらに、上記④の増加については、上記③の安定期を経て「やばい」が一般社会においてある程度受け入れられた後に、マスメディアにおいて芸能人等が積極的に使用しはじめたということも増加の要因の一つなのではないかと考える。

最後に、流行語の観点から「やばい」についてみると、現代においては大きく三つの流行期の存在が認められそうである。第一次流行期は 1980 年代、第二次流行期は 2000 年代前後、第三次流行期は 2010 年代後半から現在にかけてである。第一次についてはまだまだ世間において賛否両論があった草創期、第二次については安定・発展期、第三次については成熟期といった位置づけになるであろう。

7.9 「やばい」の実例

本節においては、「やばい」の実例について、各種コーパス・新聞記事検索システム等から実例を採取し、通時的に配列した上で、語の変遷の傾向・特徴をみていく。考察対象期間は、上代から現代までの全範囲とする。ただし、全範囲において検索を行ったものの、「やばい（やば）」関連の実例は、おおむね近世後期から現れる。したがって、実例の提示は近世後期以降となった。

7.9.1 上代から近世（日本古典文学全集）

『日本古典文学全集』において、「やばい」関連語（「やば」「やばな」等を含む）の例がみられたのは、近世後期の作品、十返舎一九作『東海道中膝栗毛』のみであった。つまり、

『日本古典文学全集』収載の資料においては、近世後期以前の「やばい」関連語はみられないということになる。まず、下記表に示した例を概観した上で、特徴と傾向を以下にまとめた。

・『東海道中膝栗毛』においては、全て「やばなこと」という形式で現れた。これは、文法的にみれば、形容動詞「やばだ¹⁸⁰」の連体形「やばな」＋「こと」という説明ができよう。つまり、近世後期においては、現代語における形容詞「やばい」としての形式は、まだ現れていないといったことが指摘できる。

・「やばなこと」については、『東海道中膝栗毛』から、3件の例が得られた。うち2例は、「やば」の横に漢字表記がなされており、それぞれ、「奇怪」（下記の例“2”）・「危」（下記の例“3”）という漢字が当てられている。ここで、下表の例“1”、「やばなことする」についての注釈によると、『続膝栗毛』十二中に「やばなことするとは、御法度をそむくをいふ上がたのつうげん也。」とある。さらに、下記の例“3”、「やば(危)なことさらすな」については、注釈によると、「法に触れるような、危険な橋を渡らぬようにせよ。」とある。加えて、『日本古典文学全集』、「近松門左衛門集 (3)『出世景清』第二 清水寺轟坊の場 [一一] 討手の退却 p.31」に、「奇怪」の例がみられ、注釈によると、「けしからぬこと、の意。」とある。以上を考慮すれば、「やば」は、上方ことばで、「違法まがいの危険な（けしからぬ）行為」を意味したと考えられる。

続いて、以下に、『日本古典文学全集』からの「やば」の例を表にして示した。

7.9.1.1 検索語：「やば」（全3件）（2020/12/25 時点）

図表 7.28：「やば」の実例（日本古典文学全集）

番号	作品名 項目/頁	実例	備考
1	東海道中膝栗毛 道中膝栗毛六編 上(伏見→京) p.349	トいふうち、ひとりが弥次郎のかたはらにあるつゝみを見つけ 「イヤ権助さん、あこにあるわいの。そじやさかい、わしがいふまいことか。さきへあがつた衆を問ふて見やんせといふたじやないかい ごん助「ホンニこれじやわいな トとりにかゝれば、弥次郎ちやつとひかへて 弥次「コリヤ何ひろぐ。此つゝみはおい	・江戸時代後期。1802~09年成立。十返舎一九作。『日本古典文学全集』における『東海道中膝栗毛』では、現代語訳はない。左例の話の舞台は関西である。注釈によると、「やばなことする」について、『続膝栗毛』十二中に「やばなことするとは、御法度をそむくをいふ上がたのつうげん也。」とある。ここで、「つうげん(通言)」について、『日本国語大辞典』をみると、

¹⁸⁰ ただし、『日本古典文学全集』における検索では、「やばだ」の形式で現れる例は一つもなかった。

		<p>らがのだけは ごん助「ナニぬかしくさる。おどれら、 やばなことはたらきくさるな。コリヤ見 い。ふろしきのはしに、こちの名が書い てあるわい トいわれて弥次郎びつくりし、よく／＼ みればじぶんのつゝみでなし。きもをつ ぶして 弥次「ホンニコリヤまちがつた。ソレも どすぞ。おいらがのほどこにある ごん助「あんだらつくせ。ナニおどれら がつゝみを、たれがしろぞい</p>	<p>「①普通一般に行われていることばや いいまわし。とおりことば。通語。② ある土地や社会で用いられているこ とば。特に遊里などで、通人の間で使 用する特殊なことばをもいう。通語。 つうごん。」とある。上記「やばなこ とする」の注釈における「つうげん」 とは、『日国』②の意味に該当するも のと考えられる。したがって、「やば」 は、当時、上方(関西地域)において通 人の間で使われた特殊なことばであ ったのであろうと筆者は推察する。</p>
2	<p>東海道中膝栗 毛 道中膝栗毛七 編 下(京内め ぐり(3)) p.416</p>	<p>弥次「けたいとは、何がけたいだね ていしゆ「なにがとはちよこいふてじや。 よふおもふても見さんせ。わしや此年ま でやどやしておつたが、つゝみに梯子もて きた客をとめたことはないわいな。いつ たい遠国のおかたが、何しに梯子もてあ るかんすやら、こちはとんとよめんわい な。もしも、屋ねからおどりこむ衆じや ないかと、家内のもんがぼや(小言)いてじ やあつたが、なるほどやば(奇怪)なこと、 しかねん衆と見へるわいな トていしゆやつきとなり、すこしことば あら／＼しくいふ。このおどりこむとは、 上がたにては、夜盗のをおどりこみ といふゆへなり。もとより弥次郎兵へ、 むかばらたちなれば 「イヤおめへおかしなことをいふ。わつち らア、しら、きてうめんのお旅人さまだ。 おつにひねくつたことをいふと、了簡が なりやせぬぞ ていしゆ「ヲゝいしこやの。なにいふた てゝ、こなんたちが、梯子もてござんし たから、おこつた事じやわいな</p>	<p>・左例の「奇怪」という語は、『日本古 典文学全集』においては、「やば」の 右隣に表記されている。「やば」につ いて注釈があるが、内容は上記の例と 同じである。</p>
3	<p>東海道中膝栗 毛 道中膝栗毛八 編 下(生玉→ 住吉) p.484</p>	<p>北八「エゝいくぢのねへこつた。サア立 ねへな 弥次「コレサそのやうにひつばるな あい た／＼ ト立あがりしが、ひよろ／＼としてある かれず。せんかたなくて、四ツばいにげ んくわんまで、やう／＼とはひ出れば、 そろひのかんばんきたる、ぼうつきの男 ども、くち／＼に 「ゑらいあんだらじやな。敵等はおほか た、あないなこといふて、酒のみにがな うせおつたもんじやあるぞい。昼盗賊め が、やば(危)なことさらすな 北八「なんだ、いめへましいやつらだ。 よこつつらはりとばすぞ ぼうつき「アゝいしこやの、どやいてこ ませやい トみな／＼立かゝるを、左平次中にいり、 おしなだめて 「サアゑいわいの、こちごんせ／＼</p>	<p>左例の「危」という語は、『日本古典 文学全集』においては、「やば」の右 隣に表記されている。左例の「ぼうつ き(警備の者)」が、弥次と北八に発し た、「やば(危)なことさらすな」につ いては、注釈によると、「法に触れる ような、危険な橋を渡らぬようにせ よ。」とある。</p>

7.9.2 中古から近代 (CHJ: 日本語歴史コーパス)

CHJによる検索では、「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」「やばな」「ヤバナ」「やば」「ヤバ」等、いずれも該当結果は0件であった。

7.9.3 近世から現代 (その他の資料)

上述、「7.9.2 中古から近代 (CHJ: 日本語歴史コーパス)」では、実例が得られなかった。したがって、本項では、代替として、「Japan Knowledge Lib」「Google ブックス」「青空文庫」「国立国会図書館デジタルコレクション」等を用いて、「やばい」関連語の検索を行った。期間は、近世から現代 (1990年頃) までとした。まず、下記表に示した例を概観した上で、特徴と傾向を以下にまとめた。

- ・1930年代 (昭和前期) あたりから、一般向け書籍あるいは雑誌の記事等から「ヤバイ」の例が少数みられるようになる。
- ・表記については、「ヤバイ」とカタカナで表記されることがほとんどである。
- ・1950年代 (昭和中期) 以降、一般向け書籍あるいは雑誌の記事等から「ヤバイ (やばい)」の例が確認できるようになる。
- ・一般向け書籍あるいは雑誌の記事等で「ヤバイ (やばい)」が好んで使われ始めるようになるのは、1970年代半ば (昭和50年前後) 以降のようである。
- ・下表“40” (アサヒグラフ 第2842~2855巻 1978 (昭和53) 年) の例には、「日本語のロックとか英語のロックとかいう次元を飛び越えてしまった喜納昌吉の出現は、実にヤバイ。少なくとも僕にとっては、」 (下線は筆者) とある。この「ヤバイ」は、評者が喜納昌吉を高く評価しているという文脈上に現れる。したがって、プラス評価性を示すものとみられる。なお、同様の例が、次項「7.9.4 現代 (BCCWJ: 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版)」 「7.9.4.2 検索語「ヤバイ」」、「1」 (矢沢永吉 (1978) 『成りあがり』) の例にもみられる。このような表現例は、管見の限り、1970年代 (昭和50年代) 後半から徐々に現れてくるようである。

続いて、以下の表に、「やばい」関連語の実例を示した。

7.9.3.1 検索語：「やば」「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」等（2020/12/01 時点）

図表 7.29：「やば」「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」等の実例（その他の資料）

番号	著者/書名 出版年	実例	備考
1	十返舎一九(著) 東海道中膝栗毛 1810(文化7)~ 1814(文化11)頃	「六編上編」(伏見から京都へ) ([81] p.349) 弥次「コリヤ何ひろぐ。此つつみはおいらがのだは」 どん助「ナニぬかしくさる。おどれら、やばなことはたらきくさるな。コリヤ見い。ふるしきのはしに、こちの名がかいてあるわい」	・「Japan Knowledge Lib」「日本古典文学全集」。「やば」の注釈に『続膝栗毛』十二中に「やばなことすとは、御法度をそむくをいふ上がたのつうげん也」とある。以下、「3」までは上述、「7.9.1.1」「やば」の例と重複。
2	十返舎一九(著) 東海道中膝栗毛 1810(文化7)~ 1814(文化11)頃	「八編上・中・下(扉)」 ([81] p.416) 屋ねからおどりこむ衆じやないかと、家内のもんがぼやいてじやあつたが、なるほどやば(奇怪)なことしかねん衆と見へるわいな	・同上。「八編」は大阪見物。「やば」は「奇怪」とある。
3	十返舎一九(著) 東海道中膝栗毛 1810(文化7)~ 1814(文化11)頃	「八編下巻」(生玉から住吉へ) ([81] p.484, 485) 「ゑらいあんだらじやな。敵等はおほかた、あないなこといふて、酒のみにがなうせおつたもんじやあるぞい。昼盗賊(がんどう)めが、やば(危)なことさらすな 北八「なんだ、いめへましいやつらだ。よこつつらはりとばすぞ	・同上。「八編」は大阪見物。「やば」の注釈に「法に触れるような、危険な橋を渡るぬようにせよ」とある。「やば」は「危」とある。
4	大阪府巡査教習所編 警眼法令集 1917	「犯罪常習者及囚徒間隠語集」「三 犯罪行為ヲ暗示スル隠語」より ○危険ナル場所ヲ指シテ、ヤバイ、ズル、ズラマク、 ○用心悪イ、サキヤバイ、 「十 雑種ニ関スル隠語」より ○悪イ、クヤナ、ヤバイ、	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
5	川端康成(著) 浅草紅団 1929~1930	四一「この間お糸に紹介してくれたのはいいが、私と歩くのはヤバイ (危い) からお止しなさいっていふんだ」	・「Japan Knowledge Lib」『日本国語大辞典』「やばい」の項目より。
6	文藝春秋 昭和5年8月号 浦田英介(著) 實話/失業者の手記 1930	p.273 同じヌケにも危険性の軽減はあるが普通ヌケはヤバイ(危険)といふことになつてある。だから二人で商賣をする(之を打込みといふ)場合は、一人は必ず見張番をするのである、若し巡査が来た場合、そ P.278 デチボ 男同 オシヤマ 藝者 キス 酒 タンポ おかず シク 呑む 踊ツ子 どぜう グニ 質 ヤバイ 危険 ペテン 頭、帽子 モク タバコ スキバラシ 小便 ス	・「Japan Knowledge Lib」『文藝春秋アーカイブズ』。P.278に「ヤバ(巡査)」の記述もあり。
7	松井翠聲(著) 翠聲・オン・パレード 1931 往来社	いや、テキヤ仲間のからくり、ぼろい儲け、客の前でチョーフで其奴の悪口を言つてやる時の愉快さ、あげれば切りがないが余り調子にのつてべらべら喋つてネタをバラシたりすると、何時ドス(短刀、ナイフ)やパチンコ(ピストル)を見舞はれるか解らないからヤバイ(危険、天気が怪しい等をテンガイがヤバイと云ふ如し)ならないうちに止めると仕様、	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。「7.3.6『翠聲・オン・パレード』」も参照。「天気(テンガイ)がヤバイ」という表現は1930年代初頭からあったことにな

第7章 やばい

			る。
8	一瀬直行(著) 彼女とゴミ箱 1931	絶えず移動する屋台押しには、もっと大きなヤバイ(危険)が待ってあるのだ	・名詞的に使われる「ヤバイ」。「Japan Knowledge Lib」『日本国語大辞典』『やばい』の項目より。
9	外来語研究 第1~4巻 1932 名著普及会	p.337 イミシン”意味深長, “ガチ”がっちり>寸分の間もないこと. “ダンチ”段違ひ. “ドカン”鈍感. “トコセン”床専門>女給等が人肉の市を専門にするの意“ドーマリ”何うも有難う. “モチ”勿論. “ヤバイ”危い、上記の語とは趣を異にするが, “トロゲン”(土口原)...	・「Google ブックス」。
10	林不忘(長谷川海太郎)(著) 丹下左膳・日光の巻 1934 読売新聞	今まで毎々(まいまい)ヤバイからだになって、一晩のうちに何十里と、江戸を離れてしまわなければならない必要にせまられるから、いやでも応でも、早足は渡世道具のひとつ。で……やっど追いついたのが、この神奈川の腰かけ茶屋。	・「林不忘」は長谷川海太郎のペンネーム。大正から昭和初期にかけての流行作家。「青空文庫」。
11	文藝春秋 昭和15年1月号 (新年特別号) 岩井良太郎(著) 關西あきんど手口鑑 1940	P.273 資本家共によつて企てられたことだけは事實である。もう少し悪どいになると、某紡績會社が大阪での闇取引はヤバイと見たものか三百萬圓の綿絲を怪汽船に積込み、瀬戸内海	・「Japan Knowledge Lib」「文藝春秋アーカイブズ」。
12	文藝春秋 昭和22年9月号 中島健藏(著) 暴力と治安 1947	p.23 ふつて社會に生きて行くべき存在ではない。そのことは彼ら自身よく知つている。彼らの足もとはしばしばヤバイのである。こうはなりたくねエが、という前おきつきで、決して	・「Japan Knowledge Lib」「文藝春秋アーカイブズ」。
13	三好十郎(著) 肌の匂い 1950 早川書房	ヤバイ? ……じや、なんかしたんですの、悪いこと? 「ううん、いや、そんなわけじや無いけど、その、仲間のチョットしたゴタゴタで、とにかく、當分出て來ない方がいいから——」 「一體、どんな仕事しているんですの?」 「知りませ …」	・「青空文庫」。
14	舟橋聖一(著) 風流抄 1954 文藝春秋新社	新橋つらさで、知らずに立つてる仲間に、ヤバイよ、ヤバイよと知らせて歩くうち、とうとう、自分が刈りこまれたり、そうかと思うと、一齊で、仲間がみんなトラックにのせられてるのを見ると、自分だけ逃げるわけにもいかず、つい一緒に …	・「Google ブックス」。
15	梅崎春生(著) 砂時計 1954~1955	二四「どうも今日の研究所出勤はヤバイような気がする」	・「Japan Knowledge Lib」『日本国語大辞典』『やばい』の項目より。
16	新聞集成昭和編 年史 第28巻 第3部 1955 大正昭和新聞研究会	p.70 ヤバイ(危い)という与太者ことば、チャプチャプ(飯)という米兵ことば、そして、ノガミ(上野)と同じようにズマ(沼津)といい、ポリ公(警管)と同じにセン公(先生)という。もとより父兄、村びとたちもこの状態を傍觀してはいなかった。女たちに …	・「Google ブックス」。
17	新日本文学 第96~101号 1955 新日本文学会	p.86 ヤバイ」というのはテキ屋言葉の「危い」であり「アバよ」が何であるかぐらひは私だつてしつてゐる。ハハア。ここへももう手がまわつたのではないかしらと思つ私はどきんとした。だが「アバよ」とあるからには、中浜自身早く何か危険を … p.110 ただ、で想像もできなかつたことがひとつ解つてとても愉快なんだ」机の上に「とともヤバイよ。あばよ」と鉛筆で	・「Google ブックス」。

第7章 やばい

		走り書きした紙片がとんどは中浜が帰つてきたのだというのである。守番をたのんでおいて、女房とふたりで一日家をからっぽ ...	
18	加藤康司(著) 続・赤えんぴつ 新聞づくり三十年 1957 虎書房	p.15 ヤバイ(危い)がヤハイとなったり、ホヤク(飲食する)がボヤクとなったりした濁点の誤りなどはすぐ分るけれども、ワケル(逃げる)などはフケルの誤りだと考えていいのか、新しい資料と考えていいのか迷うことが多かった。この本は四人達から ...	・「Google ブックス」。
19	高見順(著) 都会の雌雄 1959 講談社	目次:三 ヤバイ橋	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
20	言語生活 第 94~99 号 1959 筑摩書房	p.47 やばいぞ」などと叫び合っているのを聞いたことがある。政治座談会でも、○ K さんは岸さんに強いんだけど、岸さんの指導力はどんなものでしょうか。○僕も H 内閣の時にくびられたけれども、何とも思わなかったね。のような例が ...	・「Google ブックス」。
21	新日本文学 第 156~157 号 1960 新日本文学会	p.66 ふきだした)日本はやばったくて、公社ときたら中でも一番ヤバイですからね」「どんなところが、やばったいかね」と分局長がイスに沈みこみながらいった。「どんなところって、ぜんぶですけど」と竹田はあっさりいった。「たとえば、 ... p.85 組合をやっているだけでヤバイと彼女は始終きめつけるので、付き合いにくくなってしまったのだ。彼はこの頃は、きん子が他のボーイフレンドと仲良くするのを眺めてせいせいするようになった。せい子は、遊んでいるきん子とちがって銀行に ...	・「Google ブックス」。
22	ハル・エルスン(著)ほか 警察にはしゃべるな(世界ミステリシリーズ) 1961 早川書房	目次:女はヤバイ	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
23	新元博文 山田 塊也(著) 奄美独立革命論 1961 三一書房	p.312 若者たちはそれぞれに良い面構えをしている。敵に回したらヤバイが、一度心を通じたら地獄の底までつき合う連中だ。ワルサ加減に惚れ合うのだ。信頼は警察に対する憎しみによって結ばれる。警察とはまさに悪の象徴であり、宿敵薩摩で ...	・「Google ブックス」。
24	文學界 第 16 卷 第 7~9 号 1962 文學界社	p.222 いいわねえ」上海へ行くって言い出すに違いないと思って、お金を用意して来たんですよ」「なんだ、この野郎。上海はヤバイと言っといて.....」「支度金」らしくちゃんと紙で包んで金を、出してしらべると三千元だった。「こんなハシタ金!	・「Google ブックス」。
25	高見順(著) 愛が扉をたたく時 1962 講談社	p.44 ... 出ましたね」働かすか分らない」「捨てるにや、惜しい品物ですからねえ。だと言って、素「したたか者?」私がさえぎると、男は、にやりと笑った。問わないでも、語るに落ちたと「ヤバイか?」「なんせ、あの女は、したたか者だから。 p.47 その一方、私は彼女が、まさか、そんなヤバイことに手トラちゃんと松宮みどりが、二人であの「品物」を処分を出すわけはあるまいとも思うのだった。小悪魔のようなしようとしているのではないか。男には、私が横取りした彼女ではある ...	・「Google ブックス」。

第7章 やばい

26	高見順(著) いやな感じ 1963 文藝春秋新社	俺は俺に子供ができたことを、東京のおやじや兄貴に知らせなかったが、ヤバイという恐れからその気持をおさえた。波子との結婚届も、出せないから出してない俺は、子供の籍を入れることも不可能だった。俺にはそれだけが、たまらない ...	・「青空文庫」。
27	町田浩二(著) 詐欺の天才奮戦 記:手記 1963 青春出版社	目次:女はヤバイとわかっちゃいるけど	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
28	キネマ旬報 1964 黒甕社	p.139 いきりぶちかますよ」マヤ「あたいに貸しな!」さわしくないわね。それに、最後にはるようになってる。)それより、今夜、泊めてせん「...ブルの同伴の外人客に近づいて、伊吹「ホテル、一寸ヤバイんだ」つづけさまに五、六回打つ。 p.149 かなりヤバイらしくて、当分日本を離マヤ「ポン中?」せん「とんでもない。あんなポン中のイー生養ってもら条件で売買契約するせん「言わなかった?あいつ、今度はンボなんて... ..」「... ..あんだ、嫉いてるの?」売りするのと、結婚届に ...	・「Google ブックス」。
29	人間形成 第1巻 1964 毎日新聞社	p.175 このオジさんたちには「客を旅館に送り込むヤバイ(あぶない)役は、圭介の方がいい。サッ(警察)につかまっても少年だから罪にならない」という打算がある。二年の二学期— 圭介には、ついに学校の門も閉ざされたのである。その日以来、	・「Google ブックス」。
30	倉橋由美子(著) 聖少女 1965 新潮社	112 ページ 「ヤバイようだな」ぼくは愉しくなり、なにか口上をのべてみるとエスキモーをうながした。エスキモーが、「おれたちはなあ、きのうネリカンから逃げてきたんだけどよ、しばらく遊んでからネリカンに帰ってやろうと ...	・「Google ブックス」。
31	加太こうじ(著) 日本のヤクザ 1965 大和書房	p.44 ヤバイ、フケル(逃げる)、トブ(逃げる)、トンズラ(逃げる)などは共通であって、ニュアンスがことなるものである。ドスは、おどすことから転化した符牒だが一般化した。ヤサ(家)とシキ(店)とドヤ(宿は)テキヤ用語だが、今では博徒やグレン隊 ... p.197 ... とか恐喝とかのヤバイ(危険な)仕事をしてしのぐ者もできるようになった。こういう面で博徒と仕事が接近するわけである。しかし、なかには博徒、テキヤの組織内にありながら、その商売は普通の商店とちよつともちがわないものもある。 p.198 粗悪品)を卸すとか、あるいはもっとヤバイ品物の中継をすとかである。しかし、そういう面でも収入は少く、正規の商店での収入が生活の資になっているという、よくよく考えてみると趣味でテキヤや博徒をやっているとしか思えぬ者も ...	・「Google ブックス」。
32	ザ・ベストミステリーズ: 推理小説代表作 選集 第1部 1965 講談社	p.177 こんど三人だけでやれば割前もでかいてわけた」「手はそろいましたよ」「それだけヤバイかも知れねえぞ」青年は主人夫婦を探るように見ながら言った。「兄貴がヤバイことするもんか」中松工業の広大な敷地の一隅にある副社長邸の居間 ...	・「Google ブックス」。
33	安岡章太郎(著) 思想音痴の発想 1966 芳賀書店	80 ページ イタダくときは四つ全部いっしょにイタダいちゃうのよ。そうね、キャディラックなんかだったら、五、六万ぐらい	・「Google ブックス」。

第7章 やばい

		にはなるわ」「あんなものが五万円もするのか」「そうよ、だって部品は日本じゃなかなか買えないもの。都内じゃヤバイから ...	
34	篠田敏造(著) 明治百話 1969 角川書店	136 ページ 芸妓を「オシャマス」自分たちのことを「アイガモ」または「アイチャン」捕ることを「ツンヲシタ」探偵のきびしいことを「ヤバイ」のがれることを、「ズラカル」「どうもヤバイから、当分ズラカル」といいます。地方行を「ドサへ行ク」 ...	・「Google ブックス」。
35	開高健(著) 青い月曜日 1969 文藝春秋	p.169 儲かるのか、と聞いたら、ほんまやと答えた。だまさんといてや、というと、水臭いな、おまえ、といった。なんぞヤバイことやろうという、今日日明るいここにボロくちがあると見てんのか、昼あんどんといった。あとについていくと彼は ...	・「Google ブックス」。
36	キネマ旬報 (542)(1356) 1971-02 キネマ旬報社	目次:映画批評 女子学園・ヤバイ卒業/田山力哉	・「国立国会図書館 デジタルコレクション」。
37	池田弥三郎(著) 暮らしの中のことわざ 1977 毎日新聞社	p.99 「ヤバイ!」などという。そういうことばはもう、何も知らないで、どんどん新陳代謝されていってしまう。「矢場って知ってるか。知らないだろう」ところで「矢場」という語がある。「弓場」という。そんなことばが出てくると、「ヤバイ! p.222 いくらざつくばらんでも、「ヤバイ」なんていうことばは新入社員が社長の前にシャッココばってるときにはいわないだろう。それをそういう場所では使わない、というのは、会社や職場で特有の略語や専門語を使うということは、一種の ...	・「Google ブックス」。
38	アサヒカメラ 第 62 巻 1977 朝日新聞社	p.475 カメラマンや海外旅行の多いアマチュアの人たちで、この袋の愛用者が最近随分多くなったけど、実は、これをそのまま過信するとヤバイことになる。こいつの X 線カット率は六五~七五%だ。鉛の厚さは〇・二ぐらい。ぼくの経験からいえ ...	・「Google ブックス」。
39	週刊平凡 19(23) 1977-06 平凡出版	目次:白い山脈——モク、やばい…の巻 / 白木卓	・「国立国会図書館 デジタルコレクション」。
40	アサヒグラフ 第 2842~2855 巻 1978 朝日新聞社	p.86 伝統的なものに対する意識に駆られる一方で、容易にそこへ達する事が出来ないところにいる東京の僕にとって、日本語のロックとか英語のロックとかいう次元を飛び越えてしまった喜納昌吉の出現は、実にヤバイ。少なくとも僕にとっては、 ...	・「Google ブックス」。形容動詞語幹。「次元を飛び越えてしまった」という表現からするとプラス評価性であろう。
41	野坂昭如(著) あやふや 1978 河出書房新社	p.82 こいつらも、表に出んし、選挙にからむあらゆるヤバイことを知ってるだけに、あくどいことしよるわ」変り者の話をきいて田村は、「しかし、おもしろそうだなあ、ぼくはわりに陰で人をそそのかしたり、作戦をねるのが好きだからなあ」 ... p.101 探偵社とかいってたけど、ヤクザっぽくてねえ、ヤバイからすぐやめちゃったけど」サンポ自嘲的にいった。よく四十代の間人は、自分たちの若い頃とくらべ、今は何をしても食えんと、いかにも現在が恵まれてるようなことをいう。たしかに ...	・「Google ブックス」。

第7章 やばい

		p.75 働きにいかないんですか、ここの人達は」「さあなあ、働いてはいるんだろうけどよ」ジョー口を濁して、「ハロー、ケニス」声をかけが駄目 たりへ出かけて、マリファナを売れば、わたしが、手をふり、「ヤクはやばいよ、俺よく知ってん ...	
42	月刊セブンティーン 11(10) 1979-09 集英社	目次:大役に意欲的に挑戦中/沢田研二 ほんとうにおもしろくてヤバイ映画ですワ!!/	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
43	朝日ジャーナル 第 21 巻 第 34~42 号 1979 朝日新聞社	p.83 そんなにおおげさじゃなくてさ、けっこう遊んでいるけど、周りがうるさいし、学校でも先生が進学のこといろいろいうから、なんとなくやっぱり勉強を中心にしないとヤバイような気になってきて p.84 かれらの発言の中に「ヤバイ」という表現が何度も出てきたことが気になった。ひょっとすると中学生たちの奇妙なバランス感覚を支えているものは、「人並みにやってないとヤバイ」と	・「Google ブックス」。
44	小室加代子(著) ラブ・ラブ・ライフ 小室加代子評論集 1979 BOC 出版部	p.90 先ほど「女はヤバイ」などとヤクザ風に語ったのも、ヤバイという風俗語でしか、女を語ること ... p.93 やっぱりヤバくない男たちは、このヤバイ女たちにどう対応しているか。 p.96 だからやっぱり、女はヤバイし、この拙文を読んだ女のダレカレが、「なによオ、女の中の女の敵」とよぼわる姿も目に浮かぶ。けれど、ヤバくない男たちだって、実は、まったく、男自身の問題にたちかえれ ...	・「Google ブックス」。
45	落合聰三郎編 玉川中学校劇集 1 第 1 巻 1980	あかね めっかったら、あたしが怒られるんだよ。 マサ そうか、ここから先はヤバイな。	・「Google ブックス」。
46	オール 読物 35(3) 1980-03 文藝春秋	目次:やばい関係 管理売春でサツが目をつけたからと、トーちゃんはすっかり弱気に/古山高麗雄	・「Google ブックス」。
47	ハローフレンド 2(9)(20) 1981-09 講談社	目次:レモングラフィティ(最終回)だってヤバイよ 15 歳/あまねかずみ	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
48	ミュージック・ライフ 31(17)(434) 1981-12 シンコー・ミュージック	目次:特別企画 あの人この人まがり角 ちょっとヤバイミュージシャン/	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
49	シナリオ 38(10)(411) 1982-10 日本シナリオ作家協会	目次:「コールガール」創作ノート ヤバイ仕事/中野顕彰	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
50	セブンティーン 15(51)(755) 1982-11 集英社	目次:映画『戦場のメリークリスマス』ヤバイなあ 来年はアカデミー賞たぜ/	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
51	アサヒカメラ 67(16)(628) 1982-12 朝日新聞出版	目次:エンジョイ V-DEO 芸術を越えてしまう“やばい玩具”/森山大道	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。

第7章 やばい

52	朝日ジャーナル 25(13)(1259) 1983-03 朝日新聞社	目次:テレビはナマでなくちゃ.ヤバイ ことがいっぱいやれた六〇年代--作家 小林信彦氏(ジャーナル・インタビュー)/ 小林信彦 平池芳和	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
53	地方行政 10月29日(7691) 1983-10 時事通信社	目次:やばい橋を渡る減税(自治省)/	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。上記"19"「高見順(著) 都会の雌雄 1959」にも「ヤバイ橋」とあるように、「やばい橋を渡る」という表現は慣用的に使われたようである。
54	稲垣吉彦(著) ことばの輪 1983 文藝春秋	p.183 「ヤバイ」「セコイ」などもれっきとした(?)法外用語で、法務庁研修所編『隠語符牒集』(昭 R)にちゃんとのっている。学生、若者大衆は、言語上からいえば準法外者だから、「ヤバイ、セコイ」をごく自然に使うが、いつのまにか一般の	・「Google ブックス」。
55	週刊ポスト 16(1)(732) 1984-01 小学館	目次:愛染恭子のすっぽんポンインタビュー(1)--逮捕直前!筒見待子と対決!「タぐれ族」も「ホンバン」もヤバイよね	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
56	豊田穰(著) 日本交響楽 1984 講談社	p.187 ... フィリピンの線に来ると考えているらしいが、こちらに来る可能性も大いにあるんだぞ。特にガダルカナルに飛行場を造るといことになると、米軍も我が米蒙分断作戦に気づくかもしれないな「そうすると、こちとらもヤバイですな」 . p.188 日本人を見るのは、初めてらしい。周囲はジャングルで、海岸のヤシ林以外は、文明の香りが全然ない。「いやあ、これは熱帯というよりは、ターザンの世界だね」孝平は泣き声を出したが、「なんだ、とにかく命のヤバイくらいの所がいい ... p.212 ヤバイのヤバくないのって.ちよつとでも、飯盒で飯を焚く煙を出すと、すぐに上空を舞っているアメ公の飛行機が爆弾を落としたり銃撃をやるんで、昼は飯も焚けやしねえよ。それにヤバイのは敵ばかりじゃねえんだよ」「敵ばかりじゃ	・「Google ブックス」。
57	国文学 解釈と鑑賞 第 632~635 卷 1984 至文堂	p.150 その逆に、ヤバイ、ヤベーは埼玉県の方に多くみられ、神奈川へ行くと低くなっている。即ち、ドジッタは神奈川から、ヤバイ、ヤベーは埼玉からの新方言と云えよう。又、ドジッタ、ヤバイ、ヤベー共男性に多く使われる語形と思われるが、 ...	・「Google ブックス」。埼玉の新方言としての「ヤベー」。
58	日商岩井の英語でビジネス 1985 サンケイ出版	120 ページ (たぶん、この発言で私は苦境に立つことになるが)この場合の hot は「困った,危険な,ヤバイ」という意味。“This watch is hot .”(この時計はヤバイ品だ)“a hot situation”(ヤバイ状況)などと使う。営業担当重役の部屋に,人事担当の同僚が頭を ...	・「Google ブックス」。“hot”の訳として「ヤバイ」を当てている(1985年当時)。
59	内田康夫(著) 平家伝説殺人事件 1985	「だけど、何をやるつもり?」「いま言うわけにはいかんよ。あんたの返事次第だ」「どうせ、ヤバイことなんでしょう。人殺しなんかするんじゃないの?」	・「Google ブックス」。
60	志茂田景樹(著) 異端の黒譜 1985	異様な気配ですからね、へたなことを言うとヤバイから。ま、そう言ったらですね、他人の家へ黙って入っちゃいかんぞ、と何度も念を押してから、カネを払ってくれました	・「Google ブックス」。

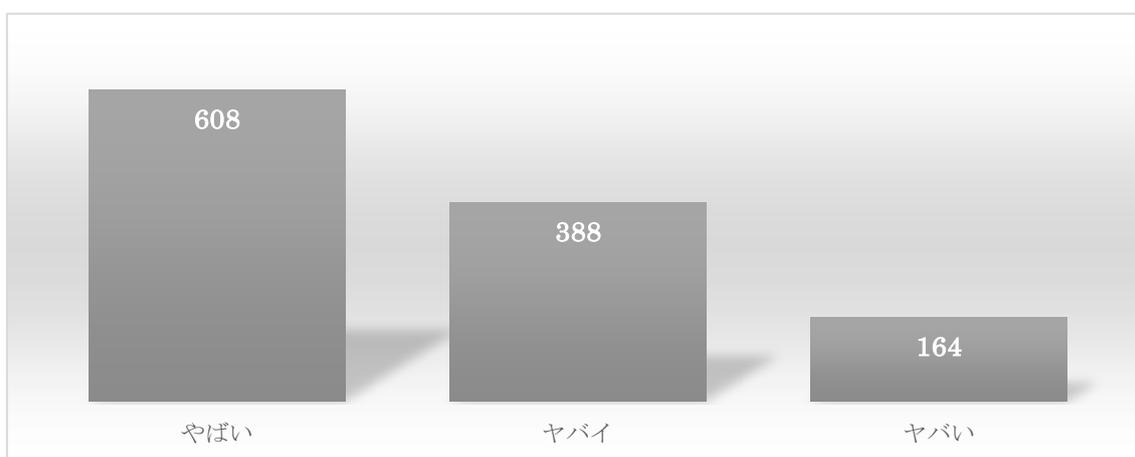
第7章 やばい

		つけ。それから外へ出たんだけど、どうもあの中にいた人間のこと ...	
61	近代映画 42(4)(603) 1986-04 近代映画社	目次:浅香唯/夢と悩みが交錯!花の高校1年生ヨ数学の試験は居眠り(やばい!)して5点 /	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
62	週刊平凡 28(17) 1986-05 マガジンハウス	目次:おとこ気インタビュー/このごろヤバイですよ/杉本哲太 鈴木康一	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
63	セブンティーン 19(26)(932) 1986-07 集英社	目次:ゴムのアルバイト・インタビュー(6)ゲスト・デーモン小暮 ヤバイな~神父なのに悪魔がうらやましくなってきた/	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
64	思想の科学 第7次 (91)(428) 1987-07 思想の科学社	目次:宇崎竜童の電話で30分 ヤバイことは、イロイロある宇崎竜童	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
65	オール讀物 42(8) 1987-08 文藝春秋	目次:日本中を席卷した塀シリーズ番外篇 塀の上の懲りない面々 出所後の再就職は金貸しの頭。ムショに戻るヤバイ予感を胸に秘め塀の上で踊る懲りていないスジ者たち/安部譲二	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
66	スーパーボンボン 2(2) 1988-03 講談社	目次:人気 No.1 ギャグ! やばいぜ!つっぱりブラザーズ/柴山みのる	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
67	明星 37(12) 1988-12 集英社	目次:光 GENJI 『ワイルドで行こう!』——ヤバイぜ!オレたちヘンな気持ちになっちゃいそ/岩永省三	・「国立国会図書館デジタルコレクション」。
68	内田康夫(著) 琥珀の道(アンバー・ロード) 殺人事件 1989	この人は権東さんといって、十年前ごろ、東京から流れて来た人ですよ。すぐその空き家を借りて、一人で住んでいました。最初のうちはおとなしくて、たぶんあれは東京で何かヤバイことがあって、隠れているに違いないって、噂してまし ...	・「Google ブックス」。
69	佐野美津男(著) 浮浪児の栄光 戦後無宿 1990 辺境社	p.66 しかし脱走がヤバイのはわかりきった話だ。わたしは決意を新たに校庭の周囲を見回した。そしてわたしは外野手を志願したが、このおもいつきは浅はかであった。施設の野球では外野手の後方にさらに外野手すなわち見張りが ... p.74 わたしとは違う人間がいるという実感だった。ジョーはすばやくおどろき、すばやく安心すると、また眠って石にもどった。わたしはじっと耳を澄ましていた。「なに、声だと。あ、ほんとだ、ヤバイぞ。うん、なんだ。あれは、おまえ、漁師 ... p.115 ヤバイのはこちとらも同様だからとわたしたちは共同行動で行くことになった。このあとの記憶はやや中断するのだが、ふたりが窓から樋をつたって地上にとびおりた瞬間、なんのはずみか、いったいなにがヤバイのか。もしかすると ...	・「Google ブックス」。
70	月刊朝日 第2巻 第1~3号 1990 朝日新聞社	p.198 もうこれ以上はヤバイって」正装したお嬢様風の麻子がヤバイなどと乱暴な言葉を使うと、いかにもさし迫ったことのように響いた。「ヤバイって?」「いいから、そう言ってやってよ。顧客係のおじさんをあんまり甘くみちやいけないうって」	・「Google ブックス」。

7.9.4 現代（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版）

本項では、「やばい」および、異表記「ヤバイ」「ヤバい」について、「BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版」による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」（特に指定なし）である。まず、以下に「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」についての検索結果数を図表にして示した（2020/10/05 時点）。

図表 7.30：BCCWJによる「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」の検索結果数（2020/10/05 時点）



以上、概観すると、現代語においては、「やばい」の異表記体として、カタカナ表記「ヤバイ」あるいは「ヤバい」が使われていることがわかる。カタカナ表記「ヤバイ」については、おおむね無標とみなされる「やばい」の三分の二弱となる。もう一方の、語幹がカタカナ表記の「ヤバい」¹⁸¹については、おおむね無標「やばい」の三分の一弱となる。ただし、「ヤバイ」と「ヤバい」両者まとめてカタカナ表記グループとみた場合、検索結果数は552件となり、無標の「やばい（608件）」とほぼ均衡するという事実に着目しておきたい。つまり、現代語においては、無標とみられる「やばい」と、異表記体であるカタカナ表記グループ「ヤバイ」と「ヤバい」が、ほぼ均衡状態で使われているということが示唆される。

次に、下記表に示した実例を概観した上で、特徴と傾向を以下にまとめた。

- ・一般書籍からの例（1970年代後半から2000年代前半）については、おおむね、マ

¹⁸¹ 本稿においては、「ヤバい」もカタカナ表記グループに含めることとする。

マイナス評価性の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」）である。一方、例えば、「7.9.4.1 検索語「やばい」、²¹」の例（藤森ちひろ（2003（平成 15））『甘い罪の果実』）には、「痛みよりも快感でわけがわからなくなった。『やばいな、はまりそうだ…』」（下線は筆者）とあり、2000 年代初頭からは、プラス評価性の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」）も現れてくる。

・「Yahoo!ブログ」（BCCWJ では 2008（平成 20）年のみ）からの例については、全体として、おおむね七割弱程度がプラス評価性の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」）であった。つまり、ブログ上の話しことば的要素の強い書きことばにおいては、プラス評価性の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」）の使用が比較的多いという傾向が示された。これは、マイナス評価性の「やばい」（「ヤバイ」「ヤバい」）が多く現れる 2000 年代以前の一般書籍からの例と比較すると対照的である。

続いて、以下に、BCCWJ（現代日本語書き言葉均衡コーパス）から、「やばい」「ヤバイ」「ヤバい」「やば」「ヤバ」の例を表にして示した。

7.9.4.1 検索語：「やばい」（全 608 件より抜粋）（2020/10/03 時点）

図表 7.31：「やばい」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	日付 出典	実例	備考
1	警察白書 1977 OW1X_00102	そのアパートでは仕事をする気にはなれなかった。物色時間は、長いとやばいので3分くらいだ。	・形容詞文。
2	馬場康夫(著)見栄講座 1983 OB2X_00294	芸能人が大麻所持で逮捕されたとき、「やばい、あいつは俺と同じルートだ」と言ってるたえ、カッコをつけましょう。	・感動詞(間投詞)的。
3	片岡義男(著)メイン・テーマ 1984 OB2X_00280	そして、あたりは静かだ。「やばいなあ」感嘆するように、西田が言った。「やばいよ」	・感動詞(間投詞)的。
4	小松左京(著)首都消失 1985 OB2X_00053	その腕の中にじかに抱きしめる事になった。「やばいな…」美恵子は、朝倉の裸の胸に、	・感動詞(間投詞)的。
5	栗本薫(著)死はやさしく奪う 1986 LBa9_00051	「奴なんかに、押さえられると思うのかよ。まあいい。あんまり、やばいことはしねえよ。	・形容詞連体修飾。
6	赤川次郎(著)盗みに追いつく泥棒なし 1987 OB3X_00137	上質の毛皮が、かなり大量に手に入る」「ふむ。やばいしろものじゃないだろうな」	・形容詞連体修飾。
7	大江健三郎(著)叫び声 1990 LBe9_00065	「ここですか？」Mがいった。「ここでたくのはやばい」「見つかるのがこわいのか？」	・形容詞文。
8	喜多嶋隆(著)ダウンタウン・エンジェル 1992 LBg9_00225	チンピラたちの顔が、青くなった。「や…やばい…」「ずらかれ！」と、3人のチンピラ。	・感動詞(間投詞)的。
9	横山充男(著)少年の	おぼれちゃうんじゃないのか。」「そっか。やばいよな。」	・感動詞(間投詞)的。

第7章 やばい

	海 1993 LBhn_00009		詞)的。
10	溝口敦(著)チャイナマフィア 1994 LBi3_00026	日本でコカインを捌かないか、とサンプルを押しつけてくる。いくらなんでもやばいので、最近台湾人を敬遠している」	・形容詞文。
11	森口博子(著)出逢いふれあい十年十色 1995 LBj7_00049	でも、田尾さんは「やばいなあ」なんて言いながらも、言われたとおりの一分という時間にまとめて	・感動詞(間投詞)的。
12	椎名誠ほか(著)いろはかるたの真実 1996 LBk9_00129	あ、なるほど。それが正解だ。椎 やばいなあ。おれたち、負けたな。	・感動詞(間投詞)的。
13	浅田次郎(著)地下鉄に乗って 1997 LBI9_00086	左右の少年たちも珍しげに覗きこむ。「ほら、やばいぜ。やっぱり二世だよ、こいつ」	・感動詞(間投詞)的。
14	康明道(著)北朝鮮の最高機密 1998 LBm3_00062	追いつ追われつの追撃戦が始まった瞬間であった。瀋陽もやばいと思ったわたしは長春へ移った。	・形容詞文。
15	リザ・コディ(著)汚れた守護天使 1999 LBn9_00145	向かう車のなかでビジネスの話をしたから運転してくれと言った。やばいビジネスだったにちがいない。だって、中国語がわからないあたしに運転	・形容詞連体修飾。
16	宮本輝(著)睡蓮の長いまどろみ 2000 LBo9_00151	俺には異常者を挑発して、一戦を交える気はないよ。そんなやばいことはごめんだな」	・形容詞連体修飾。
17	大槻ケンヂ(著)大槻ケンヂの読みだおれ 2001 LBp0_00003	これマジ呼吸できないよ」まだ余裕はあった。「…いや、これやばいぞ」笑いが消えた。「…死ぬっ！」思った途端に	・形容詞文。
18	香川照之(著)中国魅録 2002 PB27_00002	うっすらとした堆積が道に出来ている。やばい、やばい、このまま降り積もったらやばいことになる。まだ夏のシーンを撮影していないのだ。	・初め二つは感動詞(間投詞)的。三つ目は形容詞連体修飾。
19	実著者不明 実務逮捕手続書 2002 PB23_00704	〇〇の現行犯人と認めて逮捕すべくかけよると、被疑者黒井が「やばい。」と叫んで駆けて逃走を図ったが、本職がすぐに追いかけて	・感動詞(間投詞)的。
20	仁木健(著)マテリアル・クライシス 2003 PB39_00612	最低直径数キロはかんたん吹きとばす。それを自然に想像させる。(…やばい、どうする!?)	・感動詞(間投詞)的。
21	藤森ちひろ(著)甘い罪の果実 2003 PB39_00460	繋がったときには痛みよりも快感でわけがわからなくなった。『やばいな、はまりそうだ…』その最中、ふと落ちた桐堂の呟き。	・感動詞(間投詞)的。「快感」「はまりそう」等の語から、若干プラス評価的。
22	成田良悟(著)バッカーノ! 1931 2003 PB39_00527	刺青のガキが言った『大変な事』ってなあ一体なんだろうね? やばいなあ、気持ちが高ぶり過ぎてきたよオイ。そろそろ解放しねえとぶっ壊れるな、	・感動詞(間投詞)的。「気持ちが高ぶり過ぎてきた」という表現から、若干プラス評価的。
23	丹生谷真美(著)たて書きの手紙 2004 LBS8_00013	「私的には」「ハマる」「〇〇のやつ」「まじ」「やばい」「〇〇だよ」などなど。どれも美しい女性にはふさわしくない、品性	
24	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_07268	3年前の米を食べてます。なんか微妙にまずいんですけど、やばいでしょうか? 米は賞味期限あるのでしょうか?	・形容詞文。
25	Yahoo!知恵袋 2005 OC04_01290	残業代は貰えていませんが…。これってやばいでしょうか? ちなみに有限会社なんです、これって関係ないですよね?	・形容詞文。
26	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_09140	アメリカの西海岸スタイルが熱いです。その中でもF A Tというブランドはマジでやばいですよ。スタッフの人	・形容詞文。「西海岸スタイル

第7章 やばい

		たちとかのファッションもとても参考になります。	が熱いです」という表現からプラス評価性。
27	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_01361	二千三年4月が賞味期限のミートソースの缶詰ってやばい ですか？缶詰なので、多分大丈夫だと思います。あくまで「賞味期限」	・形容詞文。
28	Yahoo!知恵袋 2005 OC13_01022	串揚げを食べたいのですが、天王寺近辺のお店へ一人で行くのはやばい ですか？あそこらへんは怖いイメージがあるのですが…	・形容詞文。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY14_47324	ってカルキやば過ぎだった！あの人何なんだろう？やばいよー。 何か可愛いよー！！	・一つ目は形容詞文。二つ目は感動詞(間投詞)的。プラス評価性。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY14_09700	テストも終了ですが、明日の教科…生物…全く手付かずです…(x^x;) やばい！？原型質分離と溶血しかわからないという、状況	・感動詞(間投詞)的。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY15_20223	森男の兄貴の真助サマは僕と誕生日が同じ！！やばい、テンションあがる！笑	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
32	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18947	足ながく見えるやつだった！(笑)そしてめちゃくちゃおもしろい！！やばい！さすが長年に渡り何回も再演される話だけあるわ！！すごいおもしろい！	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
33	Yahoo!ブログ 2008 OY14_20727	かこよす二十二歳とか若すぎる惚れるわ(^ω^)バスケ歴十七年ギター歴6年やばいわもう1時間で大好きになった。笑うん。寝よ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
34	Yahoo!ブログ 2008 OY04_05005	やってみた、笑そのあと、友達ン家でWiiのバイオハザードやった！！やばいっ><楽しい(・・)また、遊びたいな★！	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
35	Yahoo!ブログ 2008 OY14_48189	背景をゴシッククロス？にしました！やばい！可愛い！！！！！！！！萌え←もっとゴシック出ないかなあ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
36	Yahoo!ブログ 2008 OY14_16468	ってかテスト勉強やばいんですけど！！	・形容詞文。
37	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04209	ちょっとツポにはまっちゃうもの、多いんですよ！うひゃ！やばい、、とても「当時らしい」素敵な茶色の皮しば模様がついたプラスティックボディ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
38	Yahoo!ブログ 2008 OY14_29258	何かめっちゃ甘かったような気がするww夏祭り？やばいわあ浴衣めっちゃ萌えたww泣きそうなくらい浴衣似合ってたよwww可愛かったよお	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
39	Yahoo!ブログ 2008 OY14_14815	もっとあったとは思いますがwwかなり熱唱しました☆やばい・・・ハマりましたね・・・もっと歌いたかったんですが・・・	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
40	Yahoo!ブログ 2008 OY14_32239	最優秀賞、とれました！！！！！！やばいよ、やばいよ！ガチで嬉しいよ！こんなに嬉しかったの久しぶりかもだし、学校で泣く	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
41	Yahoo!ブログ 2008 OY14_53133	やばい腰がいたい…ふぬおお原因が分かりませんぞー！！	・感動詞(間投詞)的。
42	Yahoo!ブログ 2008 OY14_29328	未だに部活引退できてません☆めっちゃ忙しくて引退できません☆やばいでえす☆(殴いやホントにやばいんですよ。今週中には引退	・形容詞文。
43	Yahoo!ブログ 2008 OY04_00460	この歌のユチョンの声がやばいとかこの歌のチャミの高音、素敵	・プラス評価性。形容詞文。
44	Yahoo!ブログ 2008 OY04_00741	いやいや、JUNSTYLEで流れたね♥One Loveのフルが(^-^)やばいなあ…めっちゃいい曲だ♥	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
45	Yahoo!ブログ 2008 OY14_03397	春馬くん(▽)やばいよやばいよ～かっこよすぎるんちゃいます～(ω)★だあい好き(ノ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。

第7章 やばい

			投詞)的。
46	Yahoo!ブログ 2008 OY14_38503	明日から学校…いやーッ (泣) まだ休みたいッ正月太りしてやばいし…あァーあ…テスト勉強もゼンゼンだし…最悪だァー… (泣)	・形容詞文。
47	Yahoo!ブログ 2008 OY14_49153	よかったああああwww美佳さんリアルにやばかったらしい・・・orzははは銀魂やばいっすね`q`www神威さいきんやばいよねええー	・プラス評価性。形容詞文。
48	Yahoo!ブログ 2008 OY14_42035	今日友達の家で遊んだwアンカフェ見た一覚醒ヒロイズム流星ロケットtakuyaやばいわw超かっこいいんすけどっ何か友達がめずらしくアンカフェを褒めてくれ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
49	Yahoo!ブログ 2008 OY14_08091	やばいけど(o`Д`o)しかも話聞くと超やばいんだけどw真ちゃんはここにいます!かわいーかっこいいーだいすき	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
50	Yahoo!ブログ 2008 OY14_26488	一言で言うところな感じっしかも、いいところで、「最愛」が流れるからまたやばい!ほんまいい歌やし、切ないしー・・・。あーやっぱ堤さん、LOVE♪	・プラス評価性。形容詞文。
51	Yahoo!ブログ 2008 OY14_32660	華族(*`*)今ね、キてる(*`*)浮雲とか恋≠嘘。とかやばいね。好きすぎるね	・プラス評価性。形容詞文。
52	Yahoo!ブログ 2008 OY14_00736	思われてるより遥かに愛してます><大好きだあー…やばいやばい←痛い痛いwww、	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
53	Yahoo!ブログ 2008 OY04_08394	わくわくしながら封筒を開けたら・・・結構・・・良い座席でしたあ☆やばいっ!こりゃ～あ、仕事頑張らなくっちゃ!!っで!必ずお休みをゲット	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
54	Yahoo!ブログ 2008 OY14_46538	ほんとにりにあるに鳥肌がたつた!!!!!!!!!!!!!!やばいよ!!!!!!まち!!!!!!おめでとう!!!!!!	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。「やばい」と同様の反義併存的な「鳥肌がたつ」についてもプラス評価性。
55	Yahoo!ブログ 2008 OY15_12143	新幹線に乗ってます。☆マイ伝初めて&初代数十年ぶりに見た。やばい主題歌CD欲しい。☆企画楽しい☆『スタスクダンシングフラワー』&『トースタースクリーム』	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
56	Yahoo!ブログ 2008 OY03_04203	(・ノω・) コッソリ・・・マジやばい!本当に美味しい!しかも全部飲んでも明日に残らない感じ?	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
57	Yahoo!ブログ 2008 OY14_20366	インクリボン見つけたときの感動といたらもう・・・!←あああやばいねこれは`^`ほんとにいい二千五百二十五`▽`▽`▽`▽`ふへへ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
58	Yahoo!ブログ 2008 OY14_41455	理由を聞かれてた時あの制服似合いすぎだろって思った♡制服萌え♡やばい「火龍」にいたときの服装も、元ヤンてのが伝わりますねwww	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
59	Yahoo!ブログ 2008 OY14_41455	まっすーの筋肉さすが!!すごい厚み!!!やばいです。鼻血出ます。直視できませんよ～～～	・プラス評価性。形容詞文。
60	Yahoo!ブログ 2008 OY15_13576	ぞうきんがけぐらい出来るだろう。バケツに水を汲んでタオルで拭いてみた。やばい・・・とまらない。拭き続けること2時間。綺麗になったぞお。	・プラス評価的か。感動詞(間投詞)的。
61	Yahoo!ブログ 2008 OY15_10605	とりあえず、十四話までみた。いや～～～おもしろくて、この時間。やばいな～(▼);明日仕事なんですが・・・。なぜかまた、	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
62	Yahoo!ブログ 2008 OY15_21565	雨風が酷くて吹き降りが入り出したのだ!テントがやばいので、車などにくくりつけたが、それでもテントの揺れが納まらずに	・形容詞文。
63	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21887	うはー!ロボット兵(ω`´)やばい、でかい、ちびっ子多い、数たそいじめんの楽しい(▼`´)	・感動詞(間投詞)的。
64	Yahoo!ブログ	いやいや、JUNSTYLEで流れたね♥On e L o v	・プラス評価

第7章 やばい

	2008 OY04_00741	eのフルが (^-^) やばいなあ…めっちゃいい曲だ♥	性。感動詞(間投詞)的。
65	Yahoo!ブログ 2008 OY14_00363	保釈されたことを自身のブログで明らかにしました。ブログには「やばいくらい過去最大の集客」とも書いてあります。	・プラス評価的か。「やばいくらい」で副詞的な性質を示す。
66	Yahoo!ブログ 2008 OY14_26825	暇組3人で集まりー！合唱祭のビデオ見てたんよ～！はげやばいw一体化w本当にやばかったw笑いまくったねw笑い夜は別れを告げ	・プラス評価性。形容詞文。
67	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50287	生はるまきが拝める（はるまきて晴昭晴昭晴昭ゞ（^▽^*）ノ。+←楽しむすぎてもうやばいよ軽く死ぬる	・プラス評価性。形容詞文。
68	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50687	有吉が楽しむすぐる件についててか。まじ有田さんがやばい爆笑。腹が折れるおね^^	・プラス評価性。形容詞文。
69	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13395	最初はそうでもないかと思ったけど、超可愛かった。やばいは。風呂入って出てきたり、生理になったり、ごちそうさまだった	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
70	Yahoo!ブログ 2008 OY15_02851	こうしてみると課題山盛りやね。多すぎてやばいけど1つつ潰していこうかな～。	・形容詞文。
71	Yahoo!ブログ 2008 OY14_00334	背中も痛いし…早く帰りたい保健室行こうかまよってるし…リアル苦しいやばい…	・感動詞(間投詞)的。
72	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33094	ぶっ飛ばすよ？(^ω^)知ってるかい？私、きれさせたら一番やばいって家族にも言われてるんですよ？？？ほんと、やめといた方	・形容詞文。
73	Yahoo!ブログ 2008 OY13_01193	古代の英知が秘められる水晶の頭蓋骨を探る旅、「RETURN..」やばい、私、すっかりその気になりましたこれはもうペルーに行くっきゃないっしょ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
74	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00819	ちなみに実力テストは国数英の3教科です。うち2教科がやばいです。やばいです。助けてください。なんでもなおしで頭を治してください	・形容詞文。
75	Yahoo!ブログ 2008 OY14_42670	雰囲気とか髪型とか表情とか。頭ん中9割が音楽だやばい。てか早く七日になれーCD J F 特集ー J A P A Nー。	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
76	Yahoo!ブログ 2008 OY14_50969	みたいなの、誰か知りませんか？おなかのお肉がやばいから運動しなきゃやばいぞよ あ、今日ってエイプリール fools じゃん！	・形容詞文。
77	Yahoo!ブログ 2008 OY14_14815	もっとあったとは思いますがwwかなり熱唱しました☆やばい・・・ハマりましたね・・・もっと歌いたかったんですが・・・	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
78	Yahoo!ブログ 2008 OY03_00987	心配になってきましたサイフの中に現金、いくらあったっけ・・・やばいな実家まででも帰れるかどうか微妙なところですよ・・・と、そこへ	・感動詞(間投詞)的。
79	Yahoo!ブログ 2008 OY14_06396	ちょ、アニキ泣くとかわたしももらい泣き・・(つ△;)過去回想がやばいです。いつも笑ってる、素敵なおボスだったんだろぅなーって。	・プラス評価的か。形容詞文。
80	Yahoo!ブログ 2008 OY14_08091	びろ やばいだけど(o°Д°o)しかも話聞くと超やばいんだけどw真ちゃんはこちらにいます！かわいーかっこいいーだいすき	・プラス評価性。形容詞文。
81	Yahoo!ブログ 2008 OY14_52022	最近高校が楽しくなってきたー！！やばいね！←もうねーうんwwww銀魂www下ネタwwこの時間	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
82	Yahoo!ブログ 2008 OY15_15425	収支一万五百円PS)稼動が少ない割に左手首がかなりやばいですね。キーボードの叩きすぎが原因かもしれませんが明日も稼動できたら	・形容詞文。
83	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18947	そしてめちゃくちゃおもしろい！！やばい！さすが長年に渡り何回も再演される話だけあるわ！！すごいおもしろい！	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
84	Yahoo!ブログ 2008 OY14_45682	ゆかによれば慶ちゃんが司会でシゲがバン格拉デシュの海外レポーター。やばいしょ、確実萌え死にだって←し	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。

第7章 やばい

		かもテスト終了してめっちゃ幸せなときに	投詞)的。
85	Yahoo!ブログ 2008 OY14_07374	今日はカラオケ一時間行った後にゲーセンに行ってきましたあそしそてやばいくらい金使い込んできたし；；最近なんか音楽系のゲームにはまっちゃってさあ^^；	・「やばいくらい」で副詞的な性質を示す。
86	Yahoo!ブログ 2008 OY14_12573	友達とプールに行ってきました〜もう。楽しかったですよ〜やばいくらい・・・で、今日は、晩御飯は、カップめんち、スーパーで買ってき	・プラス評価性。「やばいくらい」で副詞的な性質を示す。
87	Yahoo!ブログ 2008 OY15_12204	冗談はさておき、憲伸もメジャーに行ってしまうそうだし、来季はマジでやばいぜ(；°_°)ゴクリ…	・プラス評価性。形容詞文。

7.9.4.2 検索語：「ヤバイ」（全 388 件より抜粋）（2020/10/05 時点）

図表 7.32：「ヤバイ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	日付 出典	実例	備考
1	矢沢永吉(著)成り上がり 1978 OB1X_00033	ミーノに行って、ナオンにキアキアいわれ、モテだしていく。それが1回目の時は、「オオ、ヤバイよ。モテてるな」。2回目、「うん、モテてる」。3回目、4回目…当たり前になる	・「オオ、ヤバイよ。モテてるな」という表現から、プラス評価性の「ヤバイ」とみられる。感動詞(間投詞)的。
2	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00292	喧嘩も場数踏んでる感じ。だってすぐ集まってきたもんね、三十人。ヤバイよ、これは。けど、こっちとしてももう引けない。こうなりや最後まで	・感動詞(間投詞)的。
3	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00305	俺が悪やると、おやじの立場上ヤバイってこともあったんだ。というのは、そのころからある問題が	・形容詞文。
4	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00305	そういうおやじの立場からいって、俺が悪をやっちゃヤバイということもわかるわけ。町の人はおやじに対して、賛否半々じゃ	・形容詞文。
5	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00305	毎日、納豆食ってるわけにもいかないもの。所得が不安定ってのはヤバイよ。で、次は新聞配達に移るわけだ。朝夕配った。卵売り	・形容詞文。
6	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00292	岡林さん・加川さんのラインを復活させたい。復活させなきゃ、フォークはヤバイことになるんじゃないか、そういう意識は強くもってる。それはさておき	・形容詞文。
7	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00292	むこうのごついのが、ここは船の上だし、先公もいてヤバイから、六、四のつきあいということでケリをつけようともちだしてきた。	・形容詞文。
8	田原俊彦(著)君だけマイラブ 1981 OB2X_00037	てすむようなことでも、目にジワッと涙がたまってきた、「ヤバイ、また母さんにおこられる」って感じで、すごくアせる。学校でもそう	・感動(間投)詞的。
9	E・ウェイナー(著)/平尾圭吾(訳)ハワード・ザ・ダック 1986 LBa9_00041	彼らの一人が、ブッとびはじめた時、ハワードはようやく、こりゃヤバイんじゃないか、と思いはじめた。	・形容詞文。
10	吉川良(著)どうせなら中産階級 1987 LBb9_00106	バカ犬にツバひっかけたんだ。俺だってさ、お得意と喧嘩しちゃヤバイの判ってるよ。けどさ、野良犬みたいなおまえこそ死ねって、ガンガン言うんだ	・形容詞連体修飾。
11	沢木耕太郎(著)バーボン・ストリート 1989 LBd9_00055	「くだらねえ」「下手をすると、そこでヘナヘナになったりして、ヤバイったらありゃしない」「だけど、最近はこの店なんか流れてる、スロー	・形容詞文。

第7章 やばい

12	速水彩(著)青いプリンク 1990 LBen_00013	お父さんの小屋までは、まだもう少し。「あっ、ヤバイなあ…」空をきゅうに黒い雲がおおいはじめた。おまけに霧まで出	・感動詞(間投詞)的。
13	水木楊(著)ジールズ国脱出記 1990 LBe9_00216	あいつはお前をバラそうというけどね。ヤバイよ。いくらなんでもね。ヤバイ、そうだろう?殺しなんて…」彼はそれから何事か言葉にならぬ言葉	・感動詞(間投詞)的。
14	生田直親(著)雪のコンチェルト 1991 LBf9_00177	ヤバイやつとヤバくないやつの色分けができるんだけど…ジムって外人は、とってもヤバイ気がするんだ」「どうしてかしら?」	
15	宗田理(著)ぼくらの秘島探険隊 1991 LBf9_00053	「そうだよ」と答えた。「こんどは、ちょっと注意しないとヤバイぜ」日比野は、ヤバイと言いながら大きなあくびをした。	
16	シドニイ・シェルダン(著)/中山和郎(訳)/天馬龍行(訳)明日があるなら 1991 OB4X_00137	彼が街へ来たら溶かしちゃいな。雪だるまはヤバイ。わかったな?」ジョー・ロマーノは肝に銘じた。	・形容詞文。
17	景山民夫(著)俺とボビー・マギー 1992 LBg9_00069	田所局長は、冷静な声で応じた。局長の冷静な口調するのは、ヤバイことの兆候である。そもそも、根が冷静な人物ではないのだから。	・形容詞連体修飾。
18	村上由見子(著)イースト・ミーツ・ウエスト 1993 LBh7_00049	「移民の中にはそうとうヤバイことした連中がいたのは確か。賭けごと師や売春婦、ポン引きが	・形容詞連体修飾。
19	内館牧子(著)ひらり 1993 LBh9_00248	としゃべっているとこ見てたら…」「好きになった」「そう。ヤバイよ、何かわたし、結構本気になるそう」みのは、手のひらの汗を	・「好きになった」「結構本気になるそう」といった表現からプラス評価性。感動詞(間投詞)的。
20	天樹征丸(著)金田一少年の事件簿 1996 OB5X_00103	「ああ、そうさ。それもとぶん、警察ざたになったらヤバイようなことだと思う。そして今のところその事実は、あの『電脳山荘』	・形容詞文。
21	末藤浩一郎(著)添乗員は見たどっきり激安バスツアー 1997 LBl6_00003	自殺?) 霊感の強いというガイドさんは本気で怖がっていた。ヤバイ部屋の番号は七百三号室か七百五号室だと言う。	・形容詞連体修飾。
22	志摩千歳(著)ほいほい旅団ベトナムへ行く 1998 LBm2_00057	これはヤバイ…と私たちはワケもなく戦慄した。何がヤバイのかよくわからないが、どうもヤバイような気がする。ダーリン早川の盗難	
23	神坂次郎(著)勝者こそわが主君 1998 LBm9_00264	いつまでも官憲に知られない筈はなかった。「どうにもヤバイな」ということで大蔵と別れ、繁とヒモは大阪から遁走。四国	・形容詞文。
24	ビートたけし(著)コマネチ! 1999 LBn7_00033	いきなり隣にギギッと座るジジイがいるわけ。見たら、セイちゃん。あっ、ヤバイなと思ったら、「エへへへ」って笑って、「おい、ツービート、おれだ	・感動詞(間投詞)的。
25	恩田陸(著)上と外 2000 LBo9_00100	「うん。笑いごとじゃないよな。ヤバイヤバイ」練は小さく息を吸うと背筋を伸ばした。なんとなく腹	・感動詞(間投詞)的。
26	カトリーヌあやこ(著)/落合ゆかり(著)いきなりミーハー突撃隊 2001 PB17_00172	ここに1日いても回りきれないかもしれない。カト「ヤバイよ。あたしら。目が買い物オバ化してる」おち「なんで、こんなに	・感動詞(間投詞)的。
27	橋田信介(著)戦場特派員 2001 LBp9_00127	局は肉片の映像は使わない。放映は無理なのだ。ガイドの兵士がヤバイから逃げようという。そりゃそうだ。血だらけの現場をあとにしなげら、いま	・形容詞文。
28	舘川範雄(著)「」(*ママ) 2001 PB17_00195	みのもんたの力まで借りなくたってさ。小堺でも、このままじゃ、ヤバイっすよ!関根 それに、教えに来る料理人、すごく厳しいだろ!?	・形容詞文。
29	小野員裕(著)/東海林さ	東海林 カレー羊羹。椎名 ああ、できそうだな、ヤ	・感動詞(間投詞)的。

第7章 やばい

	だお(著)/椎名誠(著)太 っ腹対談 2002 LBq9_00209	パイな。東海林 カレー納豆。椎名 もう死刑だ！東 海林 許して(笑)	詞)的。
30	伝加代子(著)女性セブ ン 2002 PM21_00574	「そこそこいい人」だったし、二十九才で、ほんとにこ のままじゃヤバイかも、と結婚。こんないかげんな 気持ちで結婚して大丈夫なのか	・形容詞文。
31	サクライヨシユキ(著)/ ニイジマヤスノリ(著)/ ニシマサチカ(著)Bo on (ブーン) 2002 PM21_00192	八百ショップでヘビープレイ中、DELIのアルバム 「DRAMATICA」ヤバイ一枚。¥千八百SHOP DATATIP TOP	・プラス評価 性。形容詞連体 修飾。
32	村上春樹(著)海辺のカ フカ 2002 OB6X_00056	「べつに説明してもらわなくてもいいんだけどさ、でも それ、ヤバイところじゃないわよね?」「ぜんぜんヤバ イところじゃない。大丈夫だよ」	・形容詞連体修 飾。
33	実著者不明CARB OY 2002 PM25_00050	AE九十二/百一/十一ハードなサスやネガキャン車 はヤバイ!●ちょっとビックリだが、EPシリーズか らAE九十二以降のFFレビン&トレノは	・プラス評価 性。形容詞文。
34	召祭薫(著)青春の推理 2003 PB39_00101	大山もあわてだして、タバコを捨て、革靴で、ふみつ けた。「ヤバイなあ。俺は、ここでつかまると、今度は 停学じゃすまない。退学になっ	・感動詞(間投 詞)的。
35	久藤冬貴(著)ブルーロ ーズ・ブルース 2003 LBr9_00043	ううん、父には秘密「きゃー!」洋子が歓声を上げた。 ヤバイ。何か勘違いしてる。「それって駆け落ちって事 ね?すごいわ!	・感動詞(間投 詞)的。
36	実著者不明 週刊現代 2004 PM41_00026	開発者を逮捕騒然!これはヤバイ『Winnny』使っ た人間にも捜査の手が!「京都府警は本気	・形容詞文。
37	木更容子(著)Oggi 2004 PM41_00565	超話題、モデルやタレントもみな夢中。ハッキリいっ て、今すぐ実践しないとヤバイです!	・「今すぐ実践 しないとヤバ イ」は、「今す ぐ実践したら ヤバくない」と 言い換え可能 である。つまり マイナス評価 性であろう。形 容詞文。
38	久保象(著)大麻所持逮 捕の全記録 2004 PB43_00691	もっともポピュラーなケミカルなドラッグ「覚せい剤」 (年間一兆円の売上)はヤバイと思う。たとえば規制の ゆるい海外で大麻を経験した者が、覚せい剤も	・形容詞文。
39	中谷彰宏(著)「みっと もかわいい」君が好き。 2004 PB41_00081	僕の本で悪い例を読んで、「これ私、やっていた、ヤバ イ」と気づいた瞬間に冷や汗が出るそうです。そうい う時は、いい顔	・感動詞(間投 詞)的。
40	実著者不明FRID AY 2005 PM51_00359	その際、業者が「本当なら六ヶ所村に持っていかなく てはならないヤバイ物も混じっている」と話している のも耳にしたという。	・形容詞連体修 飾。
41	大槻ケンヂ(著)綿いっ ぱいの愛を! 2005 LBt9_00074	そういえば、その頃通っていた学校にもヤバイ先生が いた。中年のこの教師、教育番組にも出演する一見真 面目先生	・形容詞連体修 飾。
42	分担不明Cancam 2005 PM51_00077	「渋谷百九のFLAGSで¥一万四千。かかとかから続く ラインストーンがヤバイ!」酒井さんにQUESTI ON3Q1 酒井流おしゃれのこだわりは?	・プラス評価 性。形容詞文。
43	向谷匡史(著)ヤクザと いう生き方 2005 PB53_00151	と同時に、バンバンバンとカチ込める(拳銃を発射で きる)わけ。マジ、ヤバイっすよ」では、どうやって 待機場所という秘密アジトをつきとめるのか	・感動詞(間投 詞)的。
44	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_05993	震度1, 2位なら大丈夫だと思いますけど。5はさず がにヤバイですか?先日東京で、震度5があったとき 車でしたが、アスファルトの	・形容詞文。
45	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_05994	彼氏が今まで出来たことがありません軽くヤバイです か?十八歳・大学生全然これから!だと思っよ。今、	・形容詞文。
46	Yahoo!知恵袋	が1台こけ、それにぶつかって他のバイクも何台かこ	・感動詞(間投

第7章 やばい

	2005 OC06_05428	け・・・ヤバイ！とブルブル震えながら逃げたのでそれ以上見てませんが、けっこう壮絶な	詞)的。
47	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_11362	バスタって食べても大丈夫でしょうか？未開封でまだバリバリです。生ものだったらヤバイですが、乾物ですから、2ヶ月程度じゃ、そうそう変化は起こりません。	・形容詞文。
48	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_11585	も痛いです。机の微妙な高さのせいで右肩・右手首がなんかヤバイ。。。。。。。。。	・形容詞文。
49	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_06441	三十秒後には、「非常に悪い」評価をもらうハメになります。ヤバイ人と感じたら、すばやく手を引く！これが、ヤフオクのコツです。	・形容詞連体修飾。
50	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_02494	そんなに歴史ある会社なのですか？実弾をプチこまれるようなヤバイ会社です。それだけでイメージ悪すぎ。。。。。。。	・形容詞連体修飾。
51	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_10038	同じような進路みたいだし・・・。台風・地震・津波のトリプルパンチはヤバイよね・・・。なんか、今回はヤバイ気がする。いつもは台風	・一つ目は形容詞文。二つ目は形容詞連体修飾。
52	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_03065	まま教えない事もあります。正直に言って、3歳でまだこんな状態ってヤバイですか？みなさんのお子さんはどうでしたか？また、なにかアドバイス	・形容詞文。
53	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_11037	三十代の女です。体脂肪率三十五%ってヤバイですよね…特に運動もしていなく食事制限もしていません。	・形容詞文。
54	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_07462	6か7袋です・・・食べ始めるととまらないので本当にヤバイです。昨日も食べてしまいました。。。。。	・形容詞文。
55	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_01134	コンタクトも眼も特に問題なくきてますが、やっぱヤバイですか？使い捨てレンズを長く使用すると、どのような問題点があるのでしょうか	・形容詞文。
56	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_10089	二十八歳の独身男性ですが頭髪がかなりヤバイです。このままいけば三十五～四十歳くらいで全滅の恐れが。。。	・形容詞文。
57	Yahoo!ブログ 2008 OY04_04191	この時のしてやったって感じの顔が最高に良い!!! ヤバイね!!そしてまたまた亀ちゃんの番!!2順目のにまたまた指	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
58	Yahoo!ブログ 2008 OY14_45534	でも『ユグドラシル』のDVD買ったv v金髪藤君がヤバイv v CDもなぜか『Jupiter』以外は揃えたw w嫌いじゃないけど、	・プラス評価性。形容詞文。
59	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33379	って・・・シングルのデモで「すでに燃え」てきた。ヤバイ・・・これって、鎮静剤どころか「起爆剤」かも・・・ッ!	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
60	Yahoo!ブログ 2008 OY04_04469	カッコよかった!もうフロアはグッチャグチャです、、、そして続いて「CPX」もうヤバイ!一気に爆発するように盛り上がってました!カッコ良すぎです!	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
61	Yahoo!ブログ 2008 OY15_01875	食べました。ここは楽しいね。この店のソフトクリームはヤバイよ。何がヤバイかは試してみてちょうだいな。明日は仕事だあ〜っと思ってたら、	・プラス評価性。
62	Yahoo!ブログ 2008 OY14_41231	下沖君と菊池君の2人共観れると思うとテンションがヤバイです(笑)実は!!!早稲田実業の小野田くん(右)鈴木くん	・プラス評価性。形容詞文。
63	Yahoo!ブログ 2008 OY05_02315	最近良く話に、『テレビの心霊番組では、本当にヤバイ場面は放送しない』という物があります。あまりに凄い映像は、	・形容詞連体修飾。
64	Yahoo!ブログ 2008 OY14_42408	執事にややハマり中・・・??あんな執事欲しいーーー!!!!ヤバイ!!!!////てかシエル守りたいッ♪※ウチは忍びで超強い設定	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
65	Yahoo!ブログ 2008 OY04_02151	台本にして、十五ページ。それを見た木村くんは?「ヤバイ!今、ちょっと流し読みしただけなのに、泣きそ	・プラス評価性。感動詞(間

第7章 やばい

		うになった ‘って言っ	投詞)的。
66	Yahoo!ブログ 2008 OY03_08034	道内はドカ雪の嵐。空港は閉鎖になるわ高速道路は通行止めだわでヤバイモードぶんぶん。案のじょう車が亀さんになっています。そんなコンディションに山の中	・形容詞連体修飾。
67	Yahoo!ブログ 2008 OY04_04191	この時のしてやったって感じの顔が最高に良い!!! ヤバイね!!そしてまたまた亀ちゃんの番!!!	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
68	Yahoo!ブログ 2008 OY03_00995	は最高です♪最後の1個にマヨネーズをかけて見たらとってもGOOD!マジでヤバイ美味しさでした!アメリカンチェリーとプチトマトです♪	・プラス評価性。形容詞連体修飾。
69	Yahoo!ブログ 2008 OY14_25785	自分の車の乗り心地がこんなに辛いと感じるとは(汗体調悪い時は結構ヤバイ車です。さて、なんとかジャスコにたどり着き・・・	・形容詞連体修飾。
70	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37449	遠出とか、遊ぶことに。これ以来色々としましたが、激楽しくてヤバイです。十一月ドラ家にお泊りご本人同席のマキコレワインオフ会高校の同級	・プラス評価性。形容詞文。
71	Yahoo!ブログ 2008 OY15_21506	ギターの鳴りが好みなんだよおおおお!!詞は結構ヤバイ言葉がぼんぼん出てきますけどね。BLだし、いいでしょう。で、いっ	・形容詞連体修飾。
72	Yahoo!ブログ 2008 OY04_00444	の必死な姿に萌える(爆)舌足らずなところがね・・・ヤバイね(笑)マイマイ・・・結構、声が好みなんです(爆)	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
73	Yahoo!ブログ 2008 OY11_02320	イセタンスーパーで食品の充実に感動し、つい涙が出そうに・・・ヤバイ?中国に住んでいるみなさん、バンコクに遊びに来るときは買出しも兼ねると	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
74	Yahoo!ブログ 2008 OY04_07930	潤くん表紙だけど、髪切ってて、可愛くなってる♥絶対買う買う買う~(ヤバイこの潤くん大好き~い)	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
75	Yahoo!ブログ 2008 OY08_00819	明日です。助けてくださいホークです数学が結構ヤバイです。英語もやばいです。国語はなんとかなりそうです。ちなみに実力テスト	・形容詞文。
76	Yahoo!ブログ 2008 OY15_06217	ヤバイ!!ぜったいヤバイ!!何がっ?・・・ってこれのことさ♪スズキのスクーター「ジェンマ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
77	Yahoo!ブログ 2008 OY14_37196	こんな時間にばくばくモグモグ(^^)ヤバイね~これ美味しい!リッツのカマンベールペッパー。チーズにピリッとコショウがアクセント。セブンイレブン	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
78	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33023	先生に送ってもらっちゃったよー★、先生の車ちょー綺麗だったwwヤバイ!!!あー・・・頭くらくらするー；；大丈夫なのか??	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
79	Yahoo!ブログ 2008 OY14_22717	車の長蛇の列。しかも乗ってるのみんな黒服サングラス!!!!!!ビジュアルがヤバイ!!!!!!笑うしかない!!!!!!なんて楽しいんだ	・プラス評価性。形容詞文。
80	Yahoo!ブログ 2008 OY04_07775	顔がっ//顔がニヤけるっ//ヤバイヤバイ;朝日奈がもらう定額給付金は、このライブのグッズ代に消えるであらう・・・	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
81	Yahoo!ブログ 2008 OY14_06539	だたの中連だけど。笑今日はポパイを取りに行く(≧▽≦)キャー♪ヤバイよなーっ(*´▽`嬉)あ、ラフレさ、今週誰か死ぬらしいんだけど。宗佑?	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
82	Yahoo!ブログ 2008 OY03_12072	下には、ぷるっぷるのコブチャンがたっぷり!これがまた、辛味噌つけて食べるとヤバイほど旨かったです♪シメは麺と辛味噌を入れて、ピリ辛ラーメンに。	・プラス評価性。「ヤバイほど」で副詞的な性質を示す。
83	Yahoo!ブログ 2008 OY15_15541	ケーキを用意してもらってからの付き合いです。このケーキ、マジにヤバイ!ヤバイ位に旨いです。	・プラス評価性。一つ目は形容詞文。二つ目は「ヤバイ位

第7章 やばい

			に」で副詞的な性質を示す。
84	Yahoo!ブログ 2008 OY04_01103	これは観た方がよいよ~~~~。息子も途中で「ヤバイ (><)」って言いながら大笑いしてた！子供から大人まで笑を共有できる映画なんて	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
85	Yahoo!ブログ 2008 OY04_08611	に写真をもらおう。(ニタニタ) ここからは、目が覚めます(爆) ヤバイほど、ベリメンがキャワ！！	・プラス評価性。「ヤバイほど」で副詞的な性質を示す。
86	Yahoo!ブログ 2008 OY03_10742	もう、すっごい感動でした！！隣のIさんも「これ、ヤバイですよ〜っ！」と感動の笑顔で食べまくっています(笑)	・プラス評価性。形容詞文。
87	Yahoo!ブログ 2008 OY04_08530	すってきですね♪ヤバイです♪もっと聴いてたいです。長澤知之/E X I S T A R	・プラス評価性。形容詞文。
88	Yahoo!ブログ 2008 OY14_18822	毎年異常気象って騒ぐけれど、今年は特に異常じゃないですか。本当ヤバイですよ。	・形容詞文。
89	Yahoo!ブログ 2008 OY14_01893	今度はさらに大きい地震が！！横になったまま「これはヤバイか？」と思っていたら、本棚の上に置いてあったぬいぐるみが落下	・形容詞文。
90	Yahoo!ブログ 2008 OY04_08936	なあ〜。どうしようか、悩みます。それにしても、I a m x x x のジャケ写はヤバイ♥♪画像はベストのじゃなくて、I a m x x x です。	・プラス評価性。形容詞文。
91	Yahoo!ブログ 2008 OY14_08767	忘れて、2度洗ってしまいました。y u - s u k e です。ヤバイ！ボケが始まった、、そんな時はキレイなもので癒されないと、	・感動詞(間投詞)的。
92	Yahoo!ブログ 2008 OY08_01278	しかも風邪でしんどかったから最悪・・・卒業式始まって校歌を歌った。ヤバイ！！うるうるきた。うちら8期生が入学した時に出来た曲	・プラス評価性。感動(間投)詞的。

7.9.4.3 検索語：「ヤバイ」(全164件より抜粋)(2020/10/05時点)

図表 7.33 : 「ヤバイ」の実例 (BCCWJ : 現代日本語書き言葉均衡コーパス)

番号	日付 出典	実例	備考
1	喜多嶋隆(著)ジェームス・ディーンに、似ていた 1988 LBc9_00168	サンドイッチにする！ぐいぐいと、幅をせばめてくる。ヤバイ！敵のバイクのカウルが、こっちのペダルに触れそうになる！	・感動(間投)詞的。
2	山村美紗(著)不倫家族殺人事件 1989 LBd9_00005	信彦って、もう帰ったかな？僕たちに姿を見られたのでヤバイと思って」「暗くなってからにするんじゃない？まだいるか	
3	山崎哲(著)/芹沢俊介(著)<恋愛>事件 1990 LBe3_00037	濃密なものって、ちょっと見られないですね。山崎 それ以上濃密になるとヤバイんです(笑)。殺すか殺されちゃうかになっちゃう。芹沢 そうなる	・形容詞文。
4	山浦弘靖(著)あたしはニネコ片想いだってかまわない 1992 LBg9_00112	おさまったようだ。とにかく、このまま、当分、猫の姿でいないとヤバイ。気持ちを引きしめる玉美サンだった。	・形容詞文。
5	内田康夫(著)札幌殺人事件 1995 LBj9_00150	ひどい目に遭ったというわけです。暗かったからいいけど、もうちょっとでヤバイことになるところでした。実戦経験がなかったからしょうがないけど、自分は	・形容詞連体修飾。
6	清水義範(著)パールのようなもの 1995 LBj9_00049	犯罪用品ショップなんてないのである。スリ、泥棒、強盗その他、よるずヤバイ仕事の道具取り揃えています。なんて書いたチラシが新聞に入ってくることも	・形容詞連体修飾。

第7章 やばい

7	浅黄斑(著)人妻小雪奮戦記 1996 LBk9_00195	すなわち、私たち夫婦について書くことになってしまうからだ。うーん、やっぱりヤバいよなあ…と言いながら、ペンは勝手に進んでいくのだが…。	・形容詞文。
8	浅田次郎(著)地下鉄に乗って 1997 LB19_00086	わ、早えなあ。おい、水が足らねえんじゃねえのか、死んじゃったらヤバいぞ」「たいそうなことって、慣れてねえんですよ。バクダンを初めて	・形容詞文。
9	仙道はるか(著)高雅にして感傷的なワルツ 1998 LBm9_00216	の俺は、あんたにクリーニング代を払うどころか、この飲み代を払うのもヤバい状態だってことだ」自己嫌悪で、さすがに台詞の後半では美幸も	・形容詞連体修飾。
10	実著者不明 スノーボードクリニック 1999 LBn7_00050	股関節も暖めておけば下半身の動きがスムーズになる肩転倒時にヤバい衝撃を受けやすいのが肩。前後・上下にしっかりと伸ばしておこう。	・形容詞連体修飾。
11	馳星周(著)虚の王 2000 LB09_00063	そんなときに、同じ組の極道に手を出してみろ」「それはヤバいね」「だろう」「けどさ、やられっぱなしはよくないよ」	・形容詞文。
12	花形みつる(著)グッバイムカつきベイビー 2001 PB1n_00003	「ゲッ。頭の他に、手もさされてるぜ」「ヤバいじゃん」「ど、どーする?」「やっぱ、オバサンをよんだ方が	・感動詞(間投詞)的。
13	梓林太郎(著)鹿島槍ヶ岳殺人事件 2002 PB29_00413	ことがそんなに恐いのか。ということは、信州厚生病院では、よほどヤバいことをやっているとみていいな」「高浜さんだって、霧や	・形容詞連体修飾。
14	ユール(著)Whydunit 2002 PB29_00201	何かマズい事をして、それをオオサキに見られて、ヤバいと思ったのね。もしそれがオオサキじゃなければ、その場を逃げるだけ	
15	沢田眉香子(著)/渡辺三恵(著)/青山裕都子(著) Meets Regional 2003 PM31_00249	十一：00AM～8：30PM 火曜休丁寧なシャンプーだけでもヤバいのに、鼻がひくひくなるいい香りのローションを付けて施術される気功マッサージに	・「丁寧なシャンプー」「鼻がひくひくなるいい香り」といった表現からプラス評価性。形容詞文。
16	吹上流一郎(著)木村拓哉軌跡 2003 PB37_00081	ところが木村ときたら、『相手しちゃうと、事務所にもヤバいしき』なんて言いながら、よく学校の裏から逃げるようにして帰って	・形容詞文。
17	ジョン・グリシャム(著)/天馬龍行(訳)呼び出し 2004 LBs9_00171	警察官がたずねた。ありきたりだったが、問題の核心をつくヤバい質問だった。数分の一秒間、職務質問一所持品検査一逮捕一尋問	・形容詞連体修飾。
18	平山夢明(著)東京伝説 2004 PB49_00599	時なんかは〈お釣りお願いします〉っていうのね。これがマジでヤバいっていう暗号。すぐにドライバーの兄さんが飛んできてくれるの」	
19	大沢在昌(著)帰ってきたアルバイト探偵 2004 LBs9_00088	スネに傷もつ親父は、とたんに落ちつかない表情になった。「お前それヤバいだろう。康子怒ったら、かなり恐いし。第一、いつもいつてるじゃないか	・形容詞文。
20	岡田尊司(著)悲しみの子どもたち 2005 LBt3_00031	呼ばれる現象である。あるところまで落ちて、ふと本人が、このままではヤバいと、我に返ったように気持ちが切り替わるのである。	・形容詞文。
21	重松清(著)疾走 2005 LBt9_00016	が先に出て、あたしはタイミングをずらして…そうしないと、マジ、ヤバいもん」ホテルを出ると、玄関のすぐ前の大通りを渡る。右側にしばらく	・形容詞文。
22	Yahoo!知恵袋 2005 OC10_00769	トップレベルの高校を狙うと言うのであればかなり厳しいと言えませんが、とりあえずヤバいというわけではないと思いますよ。評定素点四十五の生徒でも	
23	Yahoo!知恵袋 2005 OC09_13160	今、同じクラスにヤバいほど好きな人がいます。でも、その人はクラスで結構明るくて人気	・プラス評価性。「ヤバいほど」で副詞的な性質を示す。「ヤバいほど～」という表現は、

第7章 やばい

			たいていプラス評価性のようである。
24	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_05026	ヤンママってヤバい人ですか？ヤバくないよ~~~~ ~~~~~	
25	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_05196	楽天にイワクマがいなくなったら、けっこうヤバい？ 西武から松坂がいなくなるくらい・・・ヤバかったです。	・形容詞文。
26	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_08554	のCollision Courseお勧めですよ ～！！お互いの持ち味が出ててチョーヤバいです っ！！ニヤケます！あっちなみに上の方おすすめ のフランチフェルディナンドもイイ	・プラス評価性。形容詞文。
27	Yahoo!知恵袋 2005 OC08_03224	基本ヘニンクチップでもまた旨いっす☆そこへキム チなんか加えてもこれまたヤバいっす！！味付けは高 級感を出したいならウェイパーお薦めします！少々高 いです	・プラス評価性。
28	Yahoo!ブログ 2008 OY14_35340	最近急に全蔵がヤバいです。スゴイ好き。可愛い！可 愛いって、場違いにも程がある！登場回数少ない	・プラス評価性。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21962	ドラマCM流れてます！！新曲も♥最高ですなwって か小窓にのちゃんヤバいんですけど！！！！好きすぎ る！！ドラマの見所しっかり言っちゃってます	・形容詞文。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY14_10698	ヤバいうまい！！！！ガクン！！！！ありがと う！！！！	・プラス評価性。「ヤバい」 が「うまい」にかかるとみれば、副詞的用法 であるが、この場合は「ヤバい、うまい」と みなし、感動(間投)詞的とみたほうが自然。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY14_38668	細木数子先生、尊敬します・・・。どうしよう。すご いよ。種子ヤバいよちょっとちょっと。しかも俺霊合 星人だから再会の運氣もあるし。	・プラス評価性。感動詞(間 投)詞的。「すごい」の同義として「ヤバい」を 使っているようである。
32	Yahoo!ブログ 2008 OY13_00240	劉(りゅう) >があった。「ここだな」「ええ。何かち よっとヤバい空気漂ってますね。普通のホストクラブ と違うような」「ああ。とにかくいったん	・形容詞連体修飾。
33	Yahoo!ブログ 2008 OY15_16596	腐友以外に東京行きを告げてないR子ちゃん。ニュー スに映ったらちよっとヤバい。それに荷物から、見る 人が見れば分かる危ないものが覗いてる(>__<)あ にも貼付けましたが3曲目の『THE BUNGY』。 ヤバいわ！4. エトランジェ6. バニーガールとダニ ーボーイ7. 有言不実行成仏8.	・形容詞文。
34	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03715	フオート↑↑写メ二枚添付してみたけど見れるかな？ アリーナの殿下ヤバいねゞ(≧▽≦☆)	・プラス評価性。感動詞(間 投)詞的。
35	Yahoo!ブログ 2008 OY14_34567	&ひばりの話がきけてすごくためになった。地下(1 階?)もヤバいステキ空間☆ウォレス&グルミット。	・プラス評価性。形容詞連体 修飾。
36	Yahoo!ブログ 2008 OY15_22412	見た目・キャラの雰囲気ではやはり新宿が1番ですよ！ いやあ～子猫ちゃんはヤバい。子猫ちゃんなんて子安 くらいしか言わないと思っていたよ。	・プラス評価性。形容詞文。
37	Yahoo!ブログ 2008 OY15_07643	旅には色んな出会いがあって、色んな苦労があって、 色んな刺激がある。ヤバいね♪ちなみに、イスタンプ	・プラス評価性。感動詞(間

第7章 やばい

		ールではムール貝がただで取れます！！	投詞的。
39	Yahoo!ブログ 2008 OY15_16533	ホームプールが初営業。更衣室で体重計に乗ったら4kg増。ヤバい！！と、必死に四千m泳ぎました。S本さん、T崎さん、	・感動詞(間投詞)的。
40	Yahoo!ブログ 2008 OY14_23382	って呼んでるし♥なぜかそこだけ役名なんだよね！！いや～ヤバいわwモノマネ？のやつで、狩野さんの「ラーメン、つけ麺、僕イケメン！	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
41	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33592	たらこれがあった(▽)「受験に勝！！」って書いてあるからヤバい！とか思ってつい買っちゃったwww	・プラス評価性。
42	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18947	五千円ぐらいでだれか行かない？(爆)和樹もかっこいいけど大口さんがヤバい！素敵すぎる～(〇〇)萩野さん・・・かわゆす(ww)	・プラス評価性。形容詞文。
43	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33754	指定は【声優】1最近思う【声優】最近はねえ・・・よっちゃんがヤバいんだよねえ～vV←つつんよりよっちゃんが・・・ぐいー	・プラス評価性。形容詞文。
44	Yahoo!ブログ 2008 OY15_23742	で、最近はほんとうに「capeta」の内容の方がおもしろいです、熱いです、ヤバいですw	・プラス評価性。形容詞文。
45	Yahoo!ブログ 2008 OY15_17265	2ゲーム目と同じくサッパリ分かりません。スコアは・・・七十一メッチャヤバいです(^^ゞこりゃコツを掴むまで苦戦しそうです。何とかしたくて	・形容詞文。
46	Yahoo!ブログ 2008 OY14_16463	ロクシタンhttp://www.loccitane.co.jp/shop/夕食はマロニエゲートでスペイン料理を。超おいしい！マッシュルームのソテー、マジヤバい～って、本当に美味(〇〇)パエリアも本格的でずーと十年以上食べたかった料理	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
47	Yahoo!ブログ 2008 OY14_32115	必至のような気がして来ました…。『風のガーデン』うあああああ…ヤバい。最後、なんか涙出た。今日。あ～～…てゆーか、蜂屋の	・「最後、なんか涙出た」と書き手が感動したわけであり、プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
48	Yahoo!ブログ 2008 OY14_36172	サーカスで活躍する遠藤平吉が出てただけでドキドキしてしまいました。ヤバいなワタクシ(笑)そんな金城武、前作「レッドクリフ」ではただ1人アクションが	・プラス評価性。形容詞文。
49	Yahoo!ブログ 2008 OY01_00622	今後いろいろな施設の老朽化は進んでいきます。道路も橋もヤバい。そういう意味でも道路財源は必要なのかもしれないのに、新しい	・形容詞文。
50	Yahoo!ブログ 2008 OY14_43689	から来たメールの言葉その2。「ヤバスorやばし」まあこれは普通にヤバいと言う意味で使います。まあこんな変なメールばかりですよ(笑)みんな	・「やばい」の変化型としての「ヤバス」「やばし」。
51	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33754	てくれたら鼻血出ますわほんまつか鼻血どころじゃないよね失神モンだよヤバいってヤバすぎるんだよマジで3直感的な【声優】んー、なんだろ、	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
52	Yahoo!ブログ 2008 OY14_21962	萌ってか亮ちゃんとの距離が近い近い♥あああああ、ヤバい可愛いっす♥ローションパレーに3兄妹めっちゃ笑ってますw	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
53	Yahoo!ブログ 2008 OY14_03940	広島風のお好み焼き、私の記憶が確かなら、初めて食べますが、ヤバいです！！みなさんも是非広島に来たらお好み焼きを☆お店のお母さん	・プラス評価性。形容詞文。
54	Yahoo!ブログ 2008 OY11_02070	スパゲティな～ミセステリーと同じ味でめっちゃ馬！！馬～(爆)ヤバいわハまるwしりりん…今度行こなっ(▽)ノ”これ	・プラス評価性。感動詞(間投詞)的。
55	Yahoo!ブログ 2008 OY14_39821	の就活話を聞いていると危機感をひしひしと感じます…。何っかもうヤバいな自分…悠長にしすぎだ！！とりあえずESをまた書かなければなるまいて	・形容詞文。

第7章 やばい

56	Yahoo!ブログ 2008 OY01_00039	ただ、こいつは最後まで売られる展開になるかどうか がビミョー。ちとヤバいんジャマイカと予想してます。 wそんなわけで、こうなってくると誰が	・形容詞文。
57	Yahoo!ブログ 2008 OY13_00240	間で噂になってたんだ。純粋に飲食する以外に何かヤ バい薬か何か隠してるんじゃないの？」と訊くと、ホ ストは再び	・形容詞連体修飾。

7.9.4.4 検索語：「やば」（全32件）（2021/02/10時点）

まず、下記表に示した実例を概観した上で、特徴と傾向を以下にまとめた（下述「7.9.4.5 検索語「ヤバ」も同様）。

- ・「やば」と結合して複合形容動詞（あるいは複合動詞）の形式をとる場合がしばしばみられる。
- ・「やばっ!」「やば…」といった感動詞（間投詞）的表現もしばしばみられる。

図表 7.34：「やば」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	日付 出典	実例	備考
1	末藤浩一郎(著)添乗員 は見たどつきり激安パ スツアー 1997 LB16_00003	持って来た方がいいわよ、って言われたらしいよ 新 庄さんは例外として、これはかなり、やばそうな話で ある。 城東さんが言う相部屋というのは、オレと幽 霊の相部屋という意味だったのだ。	・「やばそうな」 で体言にかか る。
2	大野田徹郎(著)わがま まなアジア 2001 PB12_00195	された。合掌。どうでもいいけど人骨でマップ作るこ とはないだろう。やばすぎるカンボジア地図。	・「やばすぎる」 で体言にかか る。複合動詞 的。慣用的表 現。
3	あすか正太(著)撃破! 日本消滅計画 2002 PB29_00346	教師の声だった。車で巡回中の彼らが、倒れている眉 村を見つけて叫んだのだ。「やばっ!」のえるは 自転車のペダルに足をかけた。「じゃ、行ってくる わ。じゃーねーっ!	・「やばっ!」 で感動詞(間投 詞)的。
4	佐藤亮一(著)/小林初夫 (著)全国方言小辞典 2002 LBq8_00002	やばつい 湿っぽくて気持ち悪い コップの水まげらえ でやばつい(=コップの水をこぼされて気持ち悪い)	・「やばつい」 で一語の形容 詞。意味はマイ ナス評価性。
5	国会会議録 2002 OM61_00002	百万で売るか、それとも坪三十万で売るかとなった場 合に、サンプリングテストを大体やってみて、やばそ うなところをどういうふうに切るかということによっ て土地の形状を、工程だけではなくて、土地の	・「やばそうな」 で体言にかか る。国会会議録 で「やば」とい う語が現れる のは珍しい。
6	榎木洋子(著)緑のアル ダ 2003 PB39_00040	魔法使いたちが集まって、街道の近くの近くの山火事 消そうとしてんのよ。まーそのかわり、今度はこっち 側がやばそーだけどな。 そう言うと、風の精霊は笑 い声を上げながら空高く	・「やばそーだ」 で複合形容動 詞的。
7	戸梶圭太(著)あの橋の 向こうに 2003 PB39_00570	いっそのこと山に生えてる大木とかでもいい。なんも しなくていいんだもん。やばっ! 仕事仕事。 ナカ ノ精機 住所百七十五の0069 練馬区豊玉北	・「やばっ!」 で感動詞(間投 詞)的。
8	戸梶圭太(著)あの橋の	「ひいいい!」 芳美の目玉が飛び出そうになった。心	・「やば…」で

第7章 やばい

	向こうに 2003 PB39_00570	臍に冷たい槍が突き刺さった。「やば…」送っちゃった。送られちゃった。顔も覚えてない居酒屋の店長	感動詞(間投詞)的。
9	戸梶圭太(著)あの橋の向こうに 2003 PB39_00570	歩きながら二個目のおにぎりを剥く。びかつ。空が光った。(やばっ、降る。急がなきゃ)おにぎりにかぶりつきながら足を早める。(その彼が、すごく、なんていうか個性的で	・「やばっ」で感動詞(間投詞)的。
10	あべ悠里(著)誘拐してみる？ 2003 PB39_00270	残った若い男がケイの前にしゃがみ込み、全身をなめ回すようにジロジロとながめている。(やばっ)出て行った中年男のほうは、あきらかに父親の金が狙いのようだが、	・「やばっ」で感動詞(間投詞)的。
11	高岡ミズミ(著)ハッピーハーレム 2003 PB39_00461	七生が鍵を開けると、開いたドアの隙間から見たのは、黒いスーツだった。「やば…」七生が顔を確認する前に、城崎がドアを閉めに飛んでくる。が、ドアは閉まらなかった。	・「やば…」で感動詞(間投詞)的。
12	アラン・ディーン・フオスター(著)/江崎リエ(訳)リディック 2004 PB49_00199	強かった仲間のことを思い出していた。「あいつはいつもめんどろを起こしてた。最初からそうだったよ。やばそうなやつだと思ったんだ」その後ろで、三人目の看守が何か冗談めかしたことを言おうと	・「やばそうな」で体言にかかる。
13	実著者不明/清水草一(著)F E N E K 2004 PM45_00033	いっぽうのエレメントは防水タイプというが見た目は布目シート。水は当然シート内に染み込んでいく。一見やばそうだが裏打ちの防水コートがあり、自然に乾くのを待てばいいということだ。	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。
14	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_07664	私はハードディスク代を負担するべきなのでしょう？ハード交換の相場はそんなものですが当初出品したときは異音(やばそうな音の意味合いで)しなかったんですよね？してたら書かないとダメだと思いますが。	・「やばそうな」で体言にかかる。
15	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_05498	こんなこと書いてるサイトがありました。実害とかでてるんですか？常時接続でこんなウイルスにやられたらやばすぎですよ！感染を確認するにはマメなウイルスチェックですか？パソコンに電話回線を收容してなければ全く	・文脈からすると、複合形容動詞的「やばすぎだ」となるようである。
16	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_08847	=七万二千二百二十三&b u r l=の質問のお答えに「新生銀行はやばそうなのでやめておきましょう。」ありましたが、何がヤバそうなのでしょう？みてると結構おすすめする方のほうが多いと思っていたのですが。	・「やばそうな」と「ヤバそうな」二種の表記があるが、「新生銀行はやばそうなので」の文は引用文。書き手は「ヤバそうな」としている。
17	Yahoo!知恵袋 2005 OC03_00163	程前に被害者の方のリンクを見たのですが見当たりません。どなたかご存知でしょうか？これか？思いっ切りやばそうじゃん。大体、アメリカの保険制度は全く違うから診療報酬なんて呼び方もしないだろ？	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。
18	Yahoo!ブログ 2008 OY14_34064	卒論のこと考えすぎてノイローゼになりそうです……今頃、やばさに気づきましたY(>_<)Y出しても卒業できるかは、口答審問にかかっているし…親には、留年したら	・接尾辞「さ」を付けて「やばさ」として名詞的に使われる。
19	Yahoo!ブログ 2008 OY14_38946	んでこんなにあたしばっかせないかんねん、的な気もする…。元気があればする。あと、フランス語…やばすぎるんだけどどうしよう。つか、あの人はくるんだろうか？うーん。あああああこええ。	・「やばすぎる」で複合動詞的。慣用的表現。
20	Yahoo!ブログ 2008 OY04_03686	もしこれから行かれる方は、しっかりアルバム覚えてくださいー♪(時間がなくて覚えられない人でした～～やばすぎ～～笑)でもアルバムじゃないのはモチロンばっちりだからねー！！”	・「やばすぎる」で複合動詞的。複合形容動詞「やばすぎだ」

第7章 やばい

			の語幹とも考えられる。慣用的表現。ここでは感動詞(間投詞)的。
21	Yahoo!ブログ 2008 OY14_14675	どお~~~~しよ~~~~緊張してきた!!!!!!((ワラやばすぎる~~~~テンション最上級なんですケド!!!!!!ハンパない!!!!	・「やばすぎる」で複合動詞的。慣用的表現。ここでは感動詞(間投詞)的。
22	Yahoo!ブログ 2008 OY07_00083	その後も一向に良くならず、むしろどんどん落ち込み、あ、何となくやばそう、、と 思いながらも 何も出来ず、ただ 鬱の波なのか?と 思いながら 飲み込ま	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。語幹で止めた形式。
23	Yahoo!ブログ 2008 OY14_16956	頑張ったよ。現文&数IIテストはまあまあかな。明日のテストが問題…英語と日本史～！日本史なんかやば過ぎだ!!!しかも2時間テスト終わったら3～6時間目まで授業!もう嫌だあ~~~~。グチばっかで	・「やば過ぎだ」で複合形容動詞的。
24	Yahoo!ブログ 2008 OY01_03401	前場で+七万五千足がやばいので(臭いじゃないよ)昼に病院行ってきます親指が腫れててこれやばそう毎日悪化してるし後場おつ～(。-`ω´-) (・ω´) 帰ってきたら十四時だったよ	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。語幹で止めた形式。
25	Yahoo!ブログ 2008 OY14_49153	に一出てきてほしかったなっ\ (^o^)/wつかこの↓に一に一が忘れられない・・・これはやばすぎるでしょ^q^!!!!	・「やばすぎる(やばすぎる)」で複合動詞的。慣用的表現。
26	Yahoo!ブログ 2008 OY11_05564	ワンクリック募金です。協力願いますm (__ __m) 今日の眩き> (^ _ > ^) 埃w w w w やばすぎw w w w w	・「やばすぎる」で複合動詞的。複合形容動詞「やば過ぎだ」の語幹とも考えられる。慣用的表現。ここでは感動詞(間投詞)的。
27	Yahoo!ブログ 2008 OY14_45112	! ?ちゃんとみた!! ? ?止めてみた!! ! ? ? ? ←やばすぎるでしょ!!!!!!可愛いしかっこいいし半端なかったでしょ! ?もう死んだ・・・お腹いっぱいです	・「やばすぎる」で複合動詞的。慣用的表現。ここでは感動詞(間投詞)的。
28	Yahoo!ブログ 2008 OY14_34590	翔君は体系的(*ママ:「体型的」か)に無理だし(無駄に筋肉ついてます)相葉ちゃんは汗やばそうだし(←爆)にしても、十時間ず〜と一緒に	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY14_47324	でも、あの人はまじすごいと思う。ま、ルキが一番ですけどーってかルキやば過ぎだった!あの人何なんだろう?やばいよー。何か可愛いよーー!!	・「やば過ぎだ」で複合形容動詞的。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY14_05381	プロデューサー気取りですか?番外。深夜にスカパーのキッズステーションでやってたCGアニメがやばすぎる。久々なのにまたつまらぬことを・・・。	・「やばすぎる」で複合動詞的。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13991	のですが、見ようかな(前登場したときも迷ったすえに見なかったんですけどね、ハマるとやばそうだったから。子安本人もかなりお気に入りのキャラのようですし。	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。
32	Yahoo!ブログ 2008 OY14_20475	に勝てた。だから、これからもできる限り抵抗して頑張ってみる。午後は、ひきこもりっぽい空気。どうしてもやばそうだと思ったので、「どっかいこう」と提案。まだ早いんだけど、振袖みにいってきたよ	・「やばそうだ」で複合形容動詞的。

7.9.4.5 検索語：「ヤバ」（全39件より抜粋）（2021/02/10時点）

図表 7.35：「ヤバ」の実例（BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス）

番号	日付 出典	実例	備考
1	松山千春(著)足寄より 1979 OB1X_00305	ハシゴかけて登った。ガタッと音がした。それでわかっちゃったんだな。「このガキ！」大ヤバ！逃げたね。俺、そのころはまだ鈍かったんだけど、なぜか逃げ足だけは速かった。これは自他とも	・「大ヤバ！」で感動(間投)詞的。
2	吉行和子(著)気分は夕焼け色 1986 LBa7_00015	ごまかして逃げるわよ。だって、もしのけぞって泣かれたら困るじゃない。どんな災難がふりかかるか分ったもんじゃないからヤバそうなことにはなるべく近づかないことにしてるわけよ、ほんと悲しいわ私って。	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
3	栗本薫(著)終わりのないラブソング 1991 LBf9_00122	いまのお前すごく好きよ。お前と竜さんの感じもすごくいいと思う。な、ジロー」「だな。なんかヤバそうな危っかしい気もするけど、見ててかーいいよ、二人とも」「よしてよ」	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式
4	真野朋子(著)わたしから好きになる 1992 LBg9_00015	説経されていたら、隆だってやる気をなくすだろう。そのうち夜がしらじらと明けてきてしまった。ヤバッ…と思って、あわてて話を打ち切った。でも男って案外繊細だから、そういう時に切り替えがきか	・「ヤバッ」で感動詞(間投詞)的。
5	響野夏菜(著)東京 S 黄尾探偵団 2001 PB19_00531	も直らないということは、かまわないのかも知れなかった。もし、ぶたれたくてやっているのなら、ちよいヤバだが、それはさておき。 そうなのだ。未来のスティラニ大公妃は、行衛の昔の彼女なのだー。	・名詞「ヤバ」とみるか、形容動詞「ヤバだ」とみるか二通りの解釈可能。
6	榊田武宗(著)「社会の窓」から何が見えるのか 2001 PB10_00068	いったん郷里に戻って、再び池袋に戻ってきたということです。闇金業界に戻りたいんだけど、まだヤバだから仕方なくウェイターをやっているということでした。「何処の店でウェイターやってんだ」って訊いたら、	・上記の例に同じ。
7	野村謙(著)ドリフト天国 2001 PM15_00163	・押す・あおる・壊す” 4拍子そろった暴れん坊だそーです。「GT二千五百四十タービンとこの性格が組み合わさると、ヤバかよ、きっと！」とのむけんもタジタジ。地元は旭川だそーで、今日はたまたま来てたんだってさ！	・これは名詞的な「ヤバ」か。
8	ユール(著)Whydunit 2002 PB29_00201	取り敢えず、脅しになる武器なり何なりを持つとするよな。ナイフとか、ピストルとか、そういう見るからにヤバそうなやつを」「まあそうね」「あと、脅す気がなくて、最初から相手をやっつけるつमोरの強盗も	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
9	D [di:] (著)/鹿島田真希(著)/黒田晶(著)文藝 2002 PM22_00080	自傷系！晶> いたいのはさ、そういう発作的な暴力とかヤバさに当たる確率が増えると思うのさ。「暴力的な衝動」も含め	・接尾辞「さ」を付けて「ヤバさ」として名詞的に使われる。
10	大和龍門(著)大和龍門サムライ人間論 2002 PB21_00161	非がなければだぞ。カン違いしないでほしいのは、むやみに恐怖や痛みに立ち向かう必要はないってことだ。ヤバそうなら近づかない。警察を呼ぶ。小学生でも知っている基本中の基本事項を守ればいいんだよ。	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。
11	分担不明 MONEY japan 2003 PM31_00622	そして、売却は上場廃止直前の十二月二十日。「この日は、朝からヤバそうな気配を発していたので、後場中に十二円で全額売り逃げました。フ〜ッ、危なかった！	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
12	森浩美(著)推定恋愛 2005 PB59_00244	見積書の打ち込みをしていた。「ああ悪い、起こしたか？」と謝りながら、「うちの会社も相当ヤバそうなんですさ」と険しい口調で言い「誰か大口の契約でもプレゼントしてくれないもんかなあ…」と	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。

第7章 やばい

13	桐葉揺(著)濡れる制服美女 2005 PB59_00265	相手の声はくぐもって低い。春樹さまとやらが来たんだわ、超ヤバ…。春菜はベッドから飛び降りた。エプロンとスカートを外したままで、絹香から借りたガウンを探したが	・「超ヤバ…」で感動詞(間投詞)的。
14	保坂展人(著)/大川豊(著)/岩瀬達哉(著)/若林亜紀(著)官の錬金術 2005 PB53_00002	どうりでNHKが問題にしないわけだ。磯野元プロデューサーの着服も問題だけど、こっちのほうがヤバすぎる。岩瀬◆ぼるもうけ。内容はあるんですか。勉強になるとか、何か時間つぶしだけなのかな、	・「ヤバすぎる」で複合動詞的。
15	Yahoo!知恵袋 2005 OC01_10060	そして、1位は当然とれるのでしょうか？まさかとは思いますが、そうでなければヤバ杉ると思いますが。アルバムじゃねー！まあ1位なんてかなり昔からムリ！	・「ヤバすぎる(ヤバ杉る)」で複合動詞的。ことば遊び的要素がある。
16	Yahoo!知恵袋 2005 OC06_06472	が好きになってしまいました。これは老けてきた証拠ですか。。。？ある意味やばいですか？別にヤバかないですよ、私は十八で免許を取ってから、ミニバン好きでしたよ、どんな車でも本人が好きなら	・形容詞「ヤバい」の連用形接続「ヤバくない」の方言形と考えられる。
17	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_05578	ヤバ！口臭がキツクなった！！口臭を瞬時に取る方法を教えてください。氷の固まりを口の中に入れる	・「ヤバ！」で感動詞(間投詞)的。
18	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_08847	b u r l =の質問のお答えに「新生銀行はやばそうなのでやめておきましょう。」ありましたが、何がヤバそうなのでしょうか？みてると結構おすすめする方のほうが多いと思っていたのですが。	・「やばそうな」と「ヤバそうな」二種の表記があるが、「新生銀行はやばそうなので」の文は引用文。書き手は「ヤバそうな」としている。
19	Yahoo!知恵袋 2005 OC14_07041	したいんですけど自己紹介みたらプロモ盤・サンプル盤ですって書いてあるんですけど意味分かる方いますか？なんかヤバそーだから一応聞いてみる。。。プロモ版もサンプル版もどちらも違反です。	・「ヤバそうだ(ヤバそーだ)」で複合形容動詞的。
20	Yahoo!知恵袋 2005 OC02_05225	解りません。どなたあ教えてください。ちなみにインストールは済んでます。起動というより設定の問題だと思うよ。ヤバ！つかまっちゃうから逃げるね～	・「ヤバ！」で感動詞(間投詞)的。
21	Yahoo!ブログ 2008 OY04_01444	ヤババイイケメン過ぎて寝れなくなった今日は最強で最高な時を過ごした！！イケメンイケメンありがとう☆めめっちゃありがとうさやちゃありがとう	・文脈からすると「ヤバイ」を「ヤババイ」とすることで強調効果を出しているようである。プラス評価性。
22	Yahoo!ブログ 2008 OY14_06977	天馬の道&青銅のイノシシだよ★天馬めっちゃ難Uわぁ(泣練習頑張らないと先輩に怒られるわ↓↓まぢヤバ素ぢやわぁ…吹奏楽やってる人とカ音楽好きな人とカよかったらコメちよーだいね★+	・「ヤバイ」→「ヤバシ」→「ヤバス」→「ヤバ素」としたようである。ことば遊び的要素がある。
23	Yahoo!ブログ 2008 OY14_35964	間多くの通行人が外から店内を除いて(*ママ:「覗いて」か)通行しますが3人程客も入りました。最初沖縄風?のヤバそうなラーメンが出てくるかと思いましたがでてきたラーメンは豚骨アッサリ風でみためも良いですがラーメン	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
24	Yahoo!ブログ	この時、東京駅で車掌さんに起こされてよかったぁ	・「ヤバっ！」

第7章 やばい

	2008 OY11_03556	～！危うく車庫まで行くところでした……。ヤバっ！	で感動詞(間投詞)的。
25	Yahoo!ブログ 2008 OY14_19130	お薬をもらって帰りましたが、姉姫も夜になり鼻水が……。ヤバそうです……。そして、帰りにセブンイレブンに寄ってみると……。こんなものを発見！！ キットカット	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。
26	Yahoo!ブログ 2008 OY14_17832	みたいなの！(笑)怪談話しに出てきそうなくらいマニアックな浴衣姿(爆)こりゃヤバい！	・「ヤバい」「みたい」「そう」「ぐらい」というように特定の活字のサイズを下けている。これも視覚的な強調効果を狙っているようである。
27	Yahoo!ブログ 2008 OY14_14675	夢叶いすぎなんですけど！！！！うち友達とずーーとヤスクン出でてはなしてたんですよ。ヤバイ！！！！！！うれしすぎる~~~~~どおしよっか☆今日のエイト大賞は”ヤス	・上記と同じ。「夢叶いすぎ」「うれしすぎる」といった表現からプラス評価性。
28	Yahoo!ブログ 2008 OY15_18883	階のベランダのトタンが……。今のうちに修理しとかないとは思いましたが……。さすがにヤバそうな雰囲気が……。総二階なんで2階の屋根に登ろうとしたら長〜いハシゴで……。折しも	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
29	Yahoo!ブログ 2008 OY14_24186	電池ヤバ〜すΣΣめもり1個しかないΣΣネット接続しすぎ←	・表記が独特な例。上記"22"の例と同様に、「ヤバい」→「ヤバし」→「ヤバす」となったものか。
30	Yahoo!ブログ 2008 OY15_12504	リーグ戦大敗。この悪い癖は、今年はまだ治らなさそうやなあ。ということは、来週末の天皇杯がヤバ……。しかしこの敗戦を糧に、渡豪せんとアカン。みんな、心に刻み込んだはずや。3失点って、	・形容詞「ヤバイ」、あるいは形容動詞的「ヤバだ」の語幹で止め余韻を残したものとみられる。
31	Yahoo!ブログ 2008 OY15_17442	兄ならリーバーかも！！三十二。弟（または妹）にするなら？あ…ヤバい…度忘れした…あの…最初に出てきた…友達のリオが悪魔になって	・上記"26"の例と同様。感動詞(間投詞)的。
32	Yahoo!ブログ 2008 OY14_09474	ああ…ヤバっ過ごしてきた時間に比べたら 全然少ないのに待ち遠しくて仕方ない恋しくて 逢いたくて仕方ないよあと少し もう少し	・「ヤバっ」で感動詞(間投詞)的。
33	Yahoo!ブログ 2008 OY14_33754	した時とかニッコリしてくれたら鼻血出ますわほんまつか鼻血どころじゃないよね失神モンだよねヤバいってヤバすぎるんだよマジで3直感的な【声優】んー、なんだろ、嵌れば生活の糧だよー	・「やばすぎる(ヤバすぎる)」で複合動詞的。慣用的表現。プラス評価性。
34	Yahoo!ブログ 2008 OY14_00081	悪い…。痰が溜まってるんかな？？ まあとにかく今週末はヤバそうです、うん。	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。
35	Yahoo!ブログ 2008 OY01_01143	・(笑) そーですねえー、初心者の人と資金が心細い人は★ヤバそうな相場には近づかない★経験があり資金にも余裕のある人は少し	・「ヤバそうだ」で複合形容動詞的。連体修飾の形式。
36	Yahoo!ブログ	新橋の聖地に来ています、相変わらず来た時は閉まっ	・上記"26"の例

第7章 やばい

	2008 OY03_11906	た状態…他の参加者へ「やばい」メール打ってるところにママ登場！「そんなに休まないよ～」と仰せ、信じて良いのか！？それ	と同様。
37	Yahoo!ブログ 2008 OY14_31353	1号機リアダンパー周り・・・シャフト曲がり、サスアーム骨折&脱臼><2号機ブレーキ破損。1号機もちょっとヤバメでございます・・・あとは久々のスパ一舐め2回。1号機羽根もげかけ、2号機フロントダンパーシャフト曲がり	・接尾辞「め(メ:目)」を付けて「ヤバメ」として名詞的に使われる。
38	Yahoo!ブログ 2008 OY14_45136	量なのにはぼ一人でペロっと食べちゃった。今日はまだ最後までできていない連弾の特訓。ちょっと頑張らないとヤバ気味であります・・・。うーちゃんは自分の部屋や洗面所等の電気のつけっぱなしがかなり多いので	・名詞「ヤバ」+「気味」で複合名詞的。「カゼ気味」等と同様か。
39	Yahoo!ブログ 2008 OY14_13008	1宿題多すぎだつてば～。先生、何とかしてください！！2え？アタシって受験生？？ヤバ。勉強勉強。3数学のワークの答えが無いー。配られたっけ？アレ？？	・「ヤバ」で感動詞(間投詞)的。

7.9.5 現代 (NUCC : 名大会話コーパス)

本項では、現代語の「やばい」について、「NUCC : 名大会話コーパス」による検索を行った。検索条件は、「短単位検索」(特に指定なし)である。以下に、「やばい」の実例について、表にまとめたものを示した。

7.9.5.1 検索語 : 「やばい」(全 145 件より抜粋)(2020/10/05 時点)

図表 7.36 : 「やばい」の実例 (NUCC : 名大会話コーパス)

番号	性別/年代 記録年/ID	実例	備考
1	女性 10 代前半 2002 data103	うわー、すげー。うん？そう三つ編みにしてあったね。やばい、やばい、やばい、これは。あー、変になっちゃうよん。だいじょぶ、直せばいいから。ピルン	・以下、若年代から昇順に並べた。
2	女性 10 代前半 2002 data103	知ってるっしょ。チャチャチャ、チャン、チャ。だー、踊るなー。ちょっとちょっとね。もうやばいからこれ流れてくともう。うん、もう踊りたい気分しょ。あー、あー。	
3	女性 10 代前半 2002 data103	これだけの気がする。だいじょぶ、だいじょぶ。それはないから。ほんとにねー、やばいね。いや太さがやばい。何を言っとん。よくこんな細いもんはしてる。	
4	女性 10 代前半 2002 data103	やるか。桜井さんかっこいいよね。かっこいい。うんかなりかっこいい。ねー。やばいよ。やばいくらいかっこいい。鼻血出そうだ。本気で出そうだ。んー、	・プラス評価性。
5	女性 10 代前半 2002 data104	ときましよう。ああ、Tさんね。Tさんに似てるこれは。ばれたらやばいもんね。っていうか、でもCなんて***あったよ。言いまく	
6	女性 10 代前半 2002 data104	に勝手に、ちょっとわかってもらっちゃ困るよ、君。もう全くねー、ほんと。やばい、この部屋ちょっと、模様替えしたいな。汚い。なんでー。いやなんか、こう	
7	女性 10 代前半 2002 data104	言って、で、で、あの天パの眼鏡いいよーなとか。ちよっ、ちよっやばいよねー。っていうか、Q君はちよっイメチェンをした方がいいという	

第7章 やばい

8	女性 10代前半 2002 data104	それはいい。それはいい選択だった。私もそう思う。かなりやばい？やばいよね、でも。***、うん。でも、私東京へ行こうと	・「いい選択だった」という表現からするとプラス評価性か。
9	女性 10代後半 2001 data072	大変そうだけど。うん。そう、だから結構大変そうとか、頑張んなきゃやばいかなとか思って、やっぱり資格とか取れるやつは全部取っという方が	
10	女性 10代後半 2001 data072	に歩くしさ。ねー最近歩いてるから、ちょっと、運動が。いいねー。うんやばい、やせないと。なんか最近冬になって超太った。何もしない	
11	女性 10代後半 2001 data072	ていうか、あの授業、本当にやばいよね？普通にやばいんだけど。やばい。で、でも何気にちゃんと聞いてるとちゃんとしてることやってるんだ	
12	女性 10代後半 2001 data072	超迷うよー。大変だよー、結構ねー。大変はーと思って。英語はやばいなーと思ってさ。やばいよー。かなりやばいよ。どうしよう。本当は英会話	
13	女性 10代後半 2001 data072	テストやるらし、やるらしいよね。やっぱーい。ていうか、あの授業、本当にやばいよね？普通にやばいんだけど。やばい。で、でも何気にちゃんと	
14	女性 10代後半 2001 data072	かそっかーお金がないんだよねー、本当に。ねー、ないよー。やばい。週何でバイトしてる？今週は4だね。4か。きつい。私	
15	女性 10代後半 2001 data072	あーLちゃん。Lちゃん。何気、かわいい。かわいい。あのちょうネクタイがやばいよね。ね。あの人だから似合うんだよ、きつと。本当だよー。	・プラス評価性。
16	女性 10代後半 2002 data102	日11時。微妙ー。全然わかんない。ふーん。あーどうしよう。勉強さーやばいわ、ほんとに。うんこればんはまだいいけどさー、あの一、***。	
17	女性 10代後半 2001 data077	いらんかも。最近あんまりユニクロ行かなくなってきた。ねー。うん。ちょっとやばいんでしょ。うーん、だってもういいもん。なんか。確かにそこまで見る気	
18	男性 10代後半 2002 data119	をしなканのじゃないの。もう、おやじや。生きていて一番やばいなあと思ったこと、ヒヤッとしたことはどんなことか。なんだろうなあ。	
19	女性 20代前半 2001 data073	絶対。無理、無理。絶対無理。バイトしても厳しいよね。いやー。いやーやばい。探さなきゃな。3年なったら楽になるかなとか思ってるけどさ	
20	女性 20代前半 2001 data073	結構ある。結構あるよねー。あー、やばいよー。追いつめられてゆくよー。やばいな、ほんと。再来週あたりからほんとに厳しくなってきた。たぶんね、U	
21	女性 20代前半 2001 data071	って、携帯1日忘れちゃうとすっごいショックだもん。だよー。全然。ほんとやばいなーとか思う。うんうん。今どんな連絡来てんだろうみたいだね。うん	
22	女性 20代前半 2001 data071	てー、やるんだねー。うんねー、ねーうーん。へえー。とか言って。やばい。あー、そうゆ、なんかそういうときってさー、なんか帰りたいたんだ	
23	女性 20代前半 2001 data063	今やばいです。修論、どれしようってことになるし。そう、もう、相当やばいんですよ。発表とかあるんですか、その、修論に向けての中間	
24	女性 20代前半 2002 data091	短期のバイトしようかな。ねえ土日だけとか。うんほんとにお金ない、やばい。ほんとにない、ほんとにないよね。うんなんか、って学部時代の友だち	
25	女性 20代前半 2001 data006	かパンケーキの上に、ソフトクリームが乗ってんの。すっごいおいしいよ。うまそう。やばいって味。いろいろ知ってますね。いやいや。	・「すっごいおいしい」「うまそう」といった表現からしてプラス評価性。

第7章 やばい

26	女性 20 代前半 2002 data105	地震だけは起こらないでほしいなー。そだよそだよー、この辺もやばいし、私実家に帰ってもやばいしー。そっかうん。え、阪神大	
27	女性 20 代前半 2002 data098	うん。ごめん。さっき下で会っちゃってさ、先生に。あ、そうだ。やばい、私。あっすてきて。先生さー、すてきじゃない？うんほんと、すごい、ほんと	・「すてき」「すごい」といった表現からしてプラス評価性。
28	男性 20 代前半 2001 data005	てる可能性があるとかって。ほんと。そだよ。だから、ミンチはやばい。何で、何で？何でって。その、ミンチを作るときに、一緒	
29	女性 20 代後半 2001 data021	も泣きそうになんじゃない？うーん、テレビはねー、うーん、ドラマでもーやばいときはたまにあるんだってー。でもねー特にやばいのはねー、高校球児	・文脈からするとプラス評価性か。
30	女性 20 代後半 2001 data021	でもねー特にやばいのはねー、高校球児とかのードキュメント？あれはやばいねー。おっさんじゃなーい？おっさんっていうよりおばさんでしょ。おっさんおっさん	・文脈からするとプラス評価性か。
31	女性 20 代後半 2001 data003	そうもうだめだーと思った。あれ絶対胃袋大きくなってると思う。あーあ、やばいなあ。親に太ったねって言われると、何かほんとにショックでしょうが	
32	女性 30 代前半 2001 data106	会議用だっって言ってたよ、B先生が。あ、そうなんだ。やばい、電池がないのかなあ。あー、そうかもしれない。電池の換えなんて	
33	男性 40 代前半 2001 data078	あつという間で、あれまた月曜日っていう感じで。ちょっとそっちの方がやばいんですけど。ふーん、そう。結構、1日たつのは早いんだけどさ	
34	女性 60 代後半 2001 data009	そうだ、それ？あ、じゃ、だれかがうん、違う違う。あれでもやばい車。いやあれだ。ふーん。ここに、真ん中に止まっていたの。じゃ、	

7.9.6 2020 年 7 月から 3 ヶ月間（朝日新聞 聞蔵Ⅱ）

本項では、「やばい」、および、カタカナ表記「ヤバイ」「ヤバい」について、近年における傾向をみるために、「朝日新聞 聞蔵Ⅱ」による 2020 年 7 月から 3 ヶ月間の朝日新聞関連記事の検索を行った（2020/10/26 時点）。期間は、2020 年 7 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までの 3 ヶ月間とした¹⁸²。検索条件は、「朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA」／キーワード：「やばい」 および「ヤバイ」「ヤバい」／発行日「2020/07/01 から 2020/09/30」／その他指定なしとした。以下、表にして時系列でまとめた。

¹⁸² 例えば、「やばい」の直近 1 ヶ月間（2020/09/01 から 2020/09/30）の検索結果数は 6 件であり数が少ない。そのため、「やばい」（および「ヤバイ」「ヤバい」）のみ直近 3 ヶ月間とした。

7.9.6.1 検索語：「やばい」（全22件より抜粋）（2020/10/26時点）

図表 7.37：「やばい」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年7月から3ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 07月02日 夕刊 社会総合	防災、立ち上がった遺族 息子失ったままでは、資格取り社会貢献 西日本豪雨2年 2018年7月6日。 激しい雨の中、植木さんは職場から自宅へ急いでいた。途中で車を止め、自宅にいた長男の将太郎さん（当時18）に「じいちゃんの家 に避難してね」と電話した。数分後に折り返しかかってきた電話は「や ばい」という声で切れた。	・感動詞的。
2	2020年 07月08日 デジタル	《朝日新聞デジタル》（カイシャで生きる：39）性的少数者、会社の中 にいる当事者だからこそ伝えられる ■やばい…ぜったいにイヤだ 自分は女ではない。けれど、体のつくりは女性。一般的に、女性の方 が男より肝臓は小さい。その分、危険がやってくるのも早いのだと いう。 〈やばい。このままなら世の中に私という存在、爪痕を残さないま ま死ぬことになる。ぜったいにイヤだ〉 まず、断酒した。 どんな爪痕を世の中に残すか、考えた。若い人たちに私と同じ苦し みを味わわせたくない、と思った。精神疾患、貧困、性的少数者の人 たちを支援する団体の活動に力を入れた。	・感動詞的。
3	2020年 07月09日 夕刊 夕刊F 木曜4面	（一語一会）ミュージシャン・小説家、尾崎世界観さん 小学校の図 工の教師からの言葉 段ボールに入った、様々な形をした木のかげらに吸い寄せられ、コン コソと物色し始めた。 ギュッと後ろから、肩をつかまれた。振り向くと図工の先生が立っ ていた。「この手の感じ、やばいな」。怒られる、と身がすくんだ。 だが、先生の言葉は意外だった。 「やりたいなら、やりたいって言えよ。隠れてやるんじゃないくて」 「やりたいです」「いいよ」。尾崎さんは木工を許された。	・形容詞述 語文。
4	2020年 07月12日 朝刊 2社会	（窓）長い3回の汽笛 それがいま、自分が棧橋で汽笛に聴き入っている。1回、2回、3回。 長い3回は、別れのあいさつの意味がある。 ああもう、やばい。年のせいかな。絶対泣かぬぞ。 佐々木さんは、目がうるむのを必死でこらえていた。さるびあ丸は、 岸からゆっくりと離れていった。	・感動詞的。
5	2020年 07月17日 朝刊 長野全県 ・1地方	（#わたしたちの夏舞台）高校野球編：4 松本第一→中央大 高校 野球が終わりじゃない 中央大・主将、牧秀悟選手/長野県 僕の持ち味は、気持ちの強さと勝負強さ。打力がついたことで、より それをいかせるようになりました。得点圏に走者がいる時は、テンシ ョンが上がります。「打てなかったらやばい」じゃなくて「俺がやっ てやる」。緊張を楽しむようにしています。	・形容詞述 語文。
6	2020年 07月17日 朝刊 横浜・1地 方	（コロナ社会を生きる）自然の中で、新しい音楽を トランペット奏 者・近藤等則さん/神奈川県 80年代から90年代にかけて、俺は、ルンルンだった。でも、「民 族間」という含みがある「インターナショナル」に代わって、「グロ ーバルスタンダード（世界標準）」という言葉が多用されだしたあた りから、やばいことになると思った。音楽も世界経済にのみ込まれ、 金もうけの装置になり、消費されるだけのものになってしまうと。	・形容詞連 体修飾。
7	2020年 07月23日 朝刊 1社会	大阪最多、外出自粛は求めず 旧基準なら「赤信号」直前 新型コロ ナ 【大阪】 ■家で食べようか/除外が心配 一方、大阪市の女性会社員（35）はニュースで感染者が大幅に増え たことを知り、「これはやばい」と思った。この日はミナミで恋人と	・形容詞述 語文。

第7章 やばい

		夕食の予定だったが、「テイクアウトで家に持ち帰って食べようか」と迷っていた。	
8	2020年 07月27日 朝刊 神戸 ・1地方	豊岡が中盤大量得点、4回戦へ 高校野球独自大会・第6日 /兵庫県 迎えた裏の攻撃。打席に立った中井壯樹君（3年）は、試合の流れが長田に傾いたのを感じていた。仲間の後押しを感じながらバットを振ると、打球は右翼席へ入り、2点本塁打に。 「ナイスバッティング」とベンチの仲間に迎えられて中井君の口は「やばい」と動いた。その顔には、照れたような笑みがあった。	・文脈からするとプラス評価性の「やばい」。感動詞的。
9	2020年 07月31日 朝刊 スポーツ 1	コロナ失業、アスリート救済 練習法など有料配信→選手らに収益【大阪】 「予言」通り、多くのチームが人件費を抑えるため「リストラ」に着手した。最低限の支出で2020～21年シーズンをしのげれば、その翌シーズンには立て直せる。財政基盤の脆弱（ぜいじゃく）なチームがそんな青写真を描くのも無理はない。 「来季の契約、やばいことになるな」という、その選手の予感は的中。契約更新に至らず、なんとか新天地を見つけた。	・形容詞連体修飾。
10	2020年 07月31日 朝刊 文化文芸	芥川賞・直木賞、受賞者エッセー 高山羽根子さん、馳星周さん 高校に入った時点で、一番競争の要素がすくなく思えた美術が好きになった。相変わらず学校は嫌いで、勉強がいよいよやばいくらいでなくなっていったので、美術方面に進学しようと考えた。美術の学校に入るための勉強はほとんどデッサンで、やればやっただけなんとなく恰好（かつこう）がついた。	・「やばいくらい」で副詞的に使われている。
11	2020年 08月02日 朝刊 2社会	被災の朝、止まらぬ119番通報 人吉・球磨 【西部】 午前8時過ぎには、こんな通報記録が残る。「2階に来ているが、天井にあたる」「やばいです。腰まで来てます。まだ何十名います」。入所者14人が亡くなった球磨村の特別養護老人ホーム「千寿園」からだだった。	・形容詞述語文。
12	2020年 08月04日 朝刊 福井全県 ・1地方	（白球に思いこめて）敦賀気比、譲らぬ栄冠 高校野球独自大会・決勝 /福井県 準決勝までの4試合は、「強い球を投げようと力んでしまった」と計7失点。高いレベルを目指しているだけに「エースなのに迷惑をかけていて、ずっと『やばい』と感じていた」。迎えた大一番。「これまでの反省を生かし、無駄な力を抜いた」と静かに闘志を燃やした。	・感動詞的。
13	2020年 08月09日 朝刊 教育1	（いま子どもたちは）ゆっくりした居場所：1 自分らしくいるって心地いい 6月、学校が再開した。今までのように家にいても居心地が良くなかった。「このままじゃ、さすがにやばいんじゃない?」。そう思い立ち、「フリースクール」の文字をネットで検索してみた。家から近くて、電車で通えるところ。それがネモだった。「見学に行きたい」と母親に伝えた。	
14	2020年 08月16日 朝刊 スポーツ 2	渋野予選落ち、14オーバー ゴルフ・米女子ツアー 14日 ■全英連覇へ焦り 連覇が懸かる全英女子オープン開幕まで数日しかない。「この打ち方をしていたらやばい」。珍しく焦りを口にした。（時事）	・形容詞述語文。
15	2020年 08月19日 朝刊 圏 ・1地方	木更津総合、頂点に 高校野球独自大会・決勝 /千葉県 ■堂々と冷静に、最高の投球 専大松戸・西村卓真君（3年） 同点に追いついた直後の五回1死一、三塁。一塁走者への牽制（けんせい）球がすっぽ抜けた。「やばい、捕ってくれ」。しかし、白球は一塁手のミットの上を越え、ファウルゾーンに転がった。その間、三塁走者が本塁を踏んだ。	・感動詞的。
16	2020年 09月04日 朝刊 文化文芸	（語る 人生の贈りもの）松永真：4 「資生堂書体」に退屈、五輪なのに… ものすごく退屈でした。オリンピックで東京中が音を立てていた。仕事したくてうずうずしていました。その頃、僕の前に座っていたのが、芸大の先輩だった石岡瑛子さんでした。宣伝部以外の仕事をする僕のやんちゃぶりを見ていつも笑っていました。「松永くん、やばいわよ」って。	・本文によると1960年代半ばの話。

第7章 やばい

17	2020年 09月11日 週刊 週刊朝日	King & Prince スペシャルインタビュー 「エンターテインメントは止めちゃだめだと思う」 高橋 いやいや。ベッドだとリラックスしすぎるし、あっハンモックっていいじゃんって思いついて。買ったらずばい。もう家ではハンモックにしかないもん。	・文脈からするとプラス評価性の「やばい」。
18	2020年 09月14日 週刊 アエラ	聞いてよ！子どもの声と不満 ストレスも不安も増える一方 ◆成長期には柔軟性低下 埼玉県在住の男性（40）の小学3年の息子は今年3月から2カ月半で6キロ増え、38キロになった。「やばい」と思ってネットで成長曲線を調べると、身長は標準よりやや高いぐらいだが、体重はカーブの上にはみ出していた。	・感動詞的。
19	2020年 09月16日 朝刊 石川全 県・1地方	（賭ける病：上）お金、簡単にもらえるんや 一日中パチスロ「時間足りない」／石川県 営業時間が深夜1時までになる年末でさえ、時間が足りないと感じた。 「一日に何回も万札入れてるとやばいな、さすがに突っ込みすぎたかなって」。だが、「その分稼ごう」というマインドになり、結局所持金がなくなるまで続けた。	・形容詞述語文。
20	2020年 09月23日 朝刊 茨城全 県・1地方	絞り込めぬ犯人像 境の4人殺傷事件から1年 物証乏しく、動機も判然とせず／茨城県 夫婦は2階寝室の布団の上で倒れており、就寝中に襲われたとみられる。長男と次女の証言から、子ども部屋の電気をつけたのは犯人で、中肉で全身黒ずくめの男だった。パトカーのサイレンが聞こえると、「やばい」と言って立ち去ったという。	・感動詞的。
21	2020年 09月25日 週刊 週刊朝日	まだあった、安倍夫妻疑惑のレガシー アッキーが広告塔「ポリスマガジン」舞台に投資トランプ60億円 A氏がこう振り返る。 「ポリスマガジンの名前を利用して詐欺師が暗躍するというのがあるかもしれないと思った。やばいなあと思ったが、編集には経費もかかるので売った」	

7.9.6.2 検索語：「ヤバイ」（全3件）（2020/10/27時点）

図表 7.38：「ヤバイ」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年7月から3ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 08月15日 朝刊 盆暮 テレビ1	岡崎体育 「よなよなラボ」MC 緩く鋭く、新しい表現 「盆地テクノ」という独自の音楽スタイルと凝ったミュージックビデオが人気を集める、31歳のシンガー・ソングライター。スマホの画面だけを60分放送する番組「よなよなラボ」（NHK、月1回放送）のMCを3人組バンド「ヤバイTシャツ屋さん」とともに務めている。	・形容詞連体修飾。「ヤバイTシャツ屋さん」は音楽グループの名称。
2	2020年 08月28日 週刊 週刊朝日	「美少年」インタビュー 「今は心でギュッとつなごう！」 一ドラマのタイトルは「真夏の少年～19452020」ですが、夏は好きですか？ 佐藤龍我 僕は……苦手。学校行くだけでびしょびしょになるし。無理！ 藤井 龍我、ライブのときとかも汗ヤバイもんね（笑）。 浮所 えー、でも汗かくの気持ちいいじゃん。サウナとか。 佐藤 サウナと夏の暑さは違う！ ■年の差感じない身近な大人は… 一ドラマでは、博多華丸さん演じるタイムスリップした軍人との友情や、水野美紀さん演じる道史（那須）のお母さんとの交流も印象的ですが、年の離れた大人との交流は今までありましたか？	・一つめは形容詞述語文。二つめは単独の「ヤバイ」ならば感動詞（間投詞的）。

第7章 やばい

		<p>全員 ジャニー（喜多川）さん！！</p> <p>岩崎 僕らが言うのもあれだけど、年の差、感じなかったなあ……。</p> <p>佐藤 学生みたいなノリのときもあったよね。</p> <p>浮所 いつもタメ語でしゃべってたし、全然年上な感じしなかったよね。</p> <p>金指 「マジ」とか「ヤバイ」とか、普通に使ってたしね（笑）。</p> <p>藤井 新しい物を常に探してた感じ。</p> <p>那須 流行りものとかも常に気にしてた。</p> <p>金指 「いま何が流行ってるの？」ってね。</p>	
3	2020年 09月22日 デジ専	<p>《朝日新聞デジタル》（魂の中小企業）元漫才コンビの兄弟、大いに笑わせ中。ただし、漫才でじゃああ〜りません さて、弟の方である。</p> <p>お笑いは好きだった。けれど、芸人になることなど考えたことがなかった。</p> <p>高校を卒業するまで、まったくと言っていいほど勉強してこなかった。</p> <p>〈このまま楽しっていたら、人生ヤバイぞ〉</p> <p>無理しても勉強する環境に身を置こう、と思った。アメリカはミシガン州の大学に入学した。経営学部の会計学科を選んだ。ちなみに、ミシガン州は、自動車の都市、デトロイトがあるところである。</p>	・形容詞述語文。

7.9.6.3 検索語：「ヤバイ」（全7件より抜粋）（2020/10/27時点）

図表 7.39：「ヤバイ」の実例（朝日新聞 聞蔵Ⅱ：2020年7月から3ヶ月間）

番号	発行日 刊種/面名	実例	備考
1	2020年 07月16日 夕刊 夕刊F 木曜5面	<p>（おんなのイケ麺）はらだ有彩さん 瓢亭 夕霧そば〈冷〉天ぷら付 そばの名前は、近松門左衛門の作品に登場する見目麗しく芸事にも秀でた大坂の太夫「夕霧」にちなんでいるそう。知人の紹介で初めて訪れた時期が、ちょうど昔話や古典に登場する女性を扱った「日本のヤバイ女の子」のWEB連載が始まった頃で。古典にゆかりがある名前にも興味が湧いたんです。</p>	・形容詞連体修飾。
2	2020年 07月27日 週刊 アエラ	<p>政策迷走どこへGo To 感染防止か経済活性化かで対立鮮明 新型コロナ感染拡大の行方 ◆混乱の責任は国民にも そして、コロナの第2波がやって来そうな今秋以降、「今度こそヤバイ」と小幡さんが指摘するのは、国の財政破綻の危機だ。コロナの流行で医療破綻が起き、救済のための資金が必要になり、財政破綻の大パニックを迎える。これが小幡さんの予想するシナリオだ。</p>	・形容詞述語文。
3	2020年 09月17日 夕刊 夕刊F 木曜1面	<p>（評・音楽）King Gnu 確かな表現と勢いみせた配信 「白日」を歌い終えたところで、ボーカル&キーボードの井口理が「ヤバイ緊張感だね。こんなことライブ中に言っているのかわかんないけど、むちゃくちゃ大変だね、これ」と、配信ライブならではの逡巡（しゅんじゅん）を言葉にする。</p>	・形容詞連体修飾。
4	2020年 09月26日 朝刊 但馬 ・1地方	<p>（新・生きもの探訪記）オヨギイソギンチャク 触手動かし、異例の行動力 本庄四郎／兵庫県 ほどなく、両手でしっかり何かをつかみながら学生が見せに来た。 「これはなんですか？」 「おおお、手づかみ！ まあ手袋してるからいいけど、素手だとヤバイかも！」 手の中にあったのはオヨギイソギンチャクだった。</p>	・形容詞述語文。

7.9.7 『近世上方語辞典』（補足資料）

前田勇編（1964）『近世上方語辞典』では、「やばな」および「やばしごと [やば仕事]」の項目がみられた。付属の例は全4件であった。まず、下表の用例をみると「やばな+名詞」あるいは「やば+名詞」、つまり連体修飾の形式で現れる。なお、下表の実例“1”、“2”についてみると、歌舞伎および浄瑠璃の演目であり、成立年は1789（寛政元）年とある。したがって、「やば（やばな）」という形式に限れば、近世後期（18世紀後半）にはすでに用例が確認できることとなる。ただし、これらよりさかのぼった例は管見の限り確認できていない。

ここで、前田の語釈によると「やばい」については、「やばい」（但し用例未見）」とある。「7.9「やばい」の実例」全体をみても、「やばい」という形式では近世の資料には現れない。したがって、「やばい」が実際の資料上に現れるのは近代（明治期）以降になるとみられる。続いて、「やば（やばな）」の実例について以下の表に示した。

7.9.7.1 「やば（やばな）」（全4件）

図表 7.40 : 「やば（やばな）」の実例（『近世上方語辞典』（1964））

番号	書名/出版年	実例	備考
1	韓人漢文手管始四 1789(寛政1)	おれが持っているやばなによつて、景図の一卷、是をお前へあづけます	・見出し項目は「やばな(形動)」。語釈は、「ただし終止・連体形のみ。法に触れるような。あぶない。「やばい」（但し用例未見）に同じ。」とある。なお、書名の読みは「かんじんかんもんでくだのはじまり」。時代物の歌舞伎狂言。左の例は、『広辞苑 第七版』（2018）、「やば」の項目内にも記載がある。
2	木下蔭狭間合戦十 1789(寛政1)	件の太刀を手まへうとかまつた所が、ぼくが上つてやばな事やい	・同上。なお、書名の読みは「このしたかげはざまかっせん」。時代物の人形浄瑠璃。初演は大坂。
3	草津温泉道中続 膝栗毛十二中	やばな事するとは、御法度にそむくといふ上方の通言也(*本文注釈:無頼の徒の隠語)	・同上。上述「7.9.1.1 検索語:「やば」～」も参照。ここでの舞台は上州の草津温泉。成立年情報はないが、1820(文政3)年とみられる。
4	契情小倉の色紙 今宮 1840(天保11)	最前沖右衛門にあらかた聞たやば仕事、やり付けては見ませうが	・見出し項目は「やばしごと[やば仕事]」。語釈は、「やばな仕事。」とある。

7.10 「やばい」のまとめ

「やばい」の考察から判明した事項のまとめをもって「第7章 やばい」の締めくくりとする。以下、箇条書きとした。

- ・本来、「やばい」は、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」（「7.3.2『日本隠語集』（1892）」）のように、特殊な社会集団の間で使われたマイナス評価性を示す隠語であった（「7.1 概論」）。

- ・「やばい（やば）」についての文献資料は、おおむね近世後期（江戸時代後期）から現れてくる。最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「件の太刀を手まへうとかまつた所が、ぼくが上つてやばな事やい」（木下蔭狭間合戦十 1789（寛政 1））が挙げられる（「7.9.7『近世上方語辞典』（補足資料）」、「7.9.7.1「やば（やばな）」」、資料番号“2”）。

- ・近年においては（おおむね 2000 年代以降）、「やばい」のマイナス評価性が漂白され、「すごい」「素晴らしい」「よい」といったプラス評価性の意味を持つに至っている（「7.5『現代用語の基礎知識』過去約 50 年分における「やばい」の変遷」等）。

- ・現代語の「やばい」は、「危険・あぶない」といったマイナス評価性の意味と、「すごい」「素晴らしい」「よい」というプラス評価性の意味を一語に内在する、反義併存的性質をもった語であるとみられる（「7.1 概論」）。

- ・戦後の混乱期に、ヤミ屋が横行し、一般人との接触が多くあり、ヤミ屋の隠語が一般人にも入ってきたという。このような背景もあり、「やばい」が一般社会のことばにも入り込んだことが推測できる（「7.2.1 米川明彦（1998）」）。ただし、それに加え、筆者の推論では、第二次大戦中に徴兵された一般人が、軍隊内において、いわゆる「特定の反社会的集団」の隠語を身につけた可能性があり得るといったことも指摘しておく。これは、「軍隊内における隠語伝播説」としておく（「7.1.5.4 考察（隠語）」）。

- ・「やばい」の場合、「隠語」→「俗語」→「流行語」という変遷を経て、結果的に一般語として定着した一例と考えられる（「7.1.5.7 考察（流行語）」）。

- ・古語「いみじ」「ゆゆし」と「やばい」は、語の成り立ち、反義併存性（マイナス評価からプラス評価への移行）といった点において類似性が非常に高い（「6.2.4.2 考察（「微妙」と「いみじ」の関連性）」、「欄外注釈」／「7.2.4 矢野耕平（2014）」、「7.2.4.2 考察（プラス評価性「やばい」の出現時期）」）。

- ・管見の限り、隠語・俗語・警察検察関係の資料に限定すれば、片岡橘坪編（1891：明治

24)『通客必携符牒便覧』にみられる「ヤバイ」が、近代（明治期）において最も古い出典であった。片岡橘坪編（1891：明治 24）『通客必携符牒便覧』は、稲山小長男編（1892：明治 25）『日本隠語集』より一年早い出版である。（「7.3.1『通客必携符牒便覧』（1891）における「ヤバイ」」）。

・『日本隠語集』（1892：明治 25）における「ヤバイ」の分布状況をみると、「やばい（および関連語）」は当時（明治 20 年代前後）、すでに全国的に分布していることがわかる。ただし、西日本に分布の比重があることがわかる（「7.3.2『日本隠語集』（1892）における「ヤバイ」」、「7.3.2.1 結果と考察」）。

・「やばい」の語源説については、音韻変化説をはじめとして、多種多様なものがある。ただし、決定的なものはないとみられる。筆者は、「やばい」の自然発声音由来説」というものを立てておく。つまり、人がすさまじいまでの恐怖に直面したときに、自然に発せられる「ヤッ！」とか「バッ！」とかいう音そのものが「やば」あるいは「やばい」の起源となるものとみなす。この説を基にした上で、なんらかの外的刺激により、心が激しく揺さぶられたときに自然発生的にでる音が「ヤバッ！」や「ヤバイ！」であるとすれば、現代語において「やばい」が感動詞的に多用される状況が説明しやすくなる（「7.2.1 米川明彦（1998）」、「7.2.1.2 考察（「やばい」の語源）」）。

・現代においては、本来の「やばい」という語の持つ過激さが薄れ、切迫感が相当に緩和されたとみられる。したがって、さしたる危険性も感じられないような、自分にとって多少不都合な事態に対しても「やばい」が使えるようになっている（「7.2.3 矢澤真人（2005）」、「7.2.3.2 考察（「やばい」の意味の軽薄化）」）。

・肯定的な意味（つまり、プラス評価性）で使われる「やばい」が出始めたのは、一般的には 2000 年前後とされる。しかし、実際には、プラス評価性の「やばい」の使用例は 1970 年代にすでにみられる。現代におけるプラス評価性の「やばい」の萌芽は 1970 年代にあったようである（「7.2.4 矢野耕平（2014）」、「7.2.4.2 考察（プラス評価性「やばい」の出現時期）」）。

・「やばい」の意味の変遷をみたとき、マイナス評価性からプラス評価性へという、意味の向上（上昇）の作用が働いたということがわかる（「7.2.5 窪菌晴夫（2017）」、「7.2.5.3 考察（意味の上昇）」）。

・『現代用語の基礎知識』、「1978 年版」、「若者のライフスタイルを理解する用語集（平野秀秋記述）」、「リズム感のある暴走族の言葉」、「ヘクル」の項目内、「ヤクイ」の解説に、

「やばい」が現れた。管見の限り、『現代用語の基礎知識』においては、これが「やばい」の初出である（「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」）。

- ・流行語の観点から「やばい」についてみると、現代においては大きく三期に分けられる。

すなわち、第一次流行期は1980年代、第二次流行期は2000年代前後、第三次流行期は2010年代後半から現在にかけてである。第一次流行期についてはまだまだ世間において賛否両論があった草創期、第二次流行期については発展・安定期、第三次流行期については成熟期といった位置づけができる（「7.8 新聞紙上における「やばい」」、「7.8.3 考察」）。

第8章 結論と課題

8.1 まとめと結論

本稿の各論にて扱った五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）の考察から判明した事項のまとめ、および全体のまとめをもって結論としたい。

8.1.1 「結構」（第3章）のまとめ

- ・「結構」という語は、漢語由来のものと考えられる（「3.1 概論」）。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「經術深則高才者洞達，鹵鈍者醒悟。文梓乾云，而不可名臺榭者，未加班輪之結構也」（「魏晉南北朝」、『抱朴子』、[晉] 300-343年、「勸學」8）が挙げられる（「3.7.9 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：漢代之後）」、「3.7.9.1 検索語：「結構」、資料番号“1”）。
- ・「結構」は、大陸から日本に移入された後に大きく多義性を獲得した語であり、日本において多義化した語のまさに典型とみられる（「3.1 概論」）。
- ・「結構」の特徴として、漢語由来であるにもかかわらず日常語として多用される語であるということが挙げられる。もはや現代においては、「結構」が漢語由来のものとは意識すらされていないともいえよう（「3.1 概論」）。
- ・「結構」の意味の変遷には、語の経済性の作用、および隣接性（メトニミー：換喩）による作用も働いているとみられる。ただし、実際のところ、「短縮」、「メトニミー（換喩）的な変化」、あるいは、「言語的原因による変化」等々が複合的に作用したとみるほうが現実的解釈といえよう。（「3.1 概論」、「3.2.2 鈴木彦四郎（1976）」等）。
- ・現代語「結構」の特徴的な用法として、「十分であること」から発展したとみられる「婉曲に断る場合」に使われる用法がある。伊藤由美（2017）では、「ダブルミーニングの「結構（です）」」としている。ただし、上記表現は、「問題なことば」「気になることば」の一つとして一般的に認識されているようである（「3.1 概論」、「4.2.5 伊藤由美（2017）」）。
- ・複合語「結構」は、もともとの構成要素が動作語であるから、本来動作性を示す語であるとみられる。しかし、通時的な変遷を経て動作語から形容語へと比重が移行したとみら

れる（「3.2.4 佐藤喜代治（1979）」）。

・動作語から形容語への比重の移行については、すでに近世期には起きていた現象のようである（「3.7 「結構」の実例」、「3.7.1 上代から近世（日本古典文学全集）」参照）

・『和英語林集成』（初版／再版／第三版）の全体を概観すると、当時（明治前期から中期）の「結構（結構）」は、かなり程度の高いほめことばとして使われていたことが示唆される（「3.3.1 『和英語林集成』（初版／再版／第三版）における「結構（結構）」の意味記述の比較」）。

・近代（主に明治期）においては、「結構」と異表記「結構」が同時に存在していた。筆者が行ったCHJ（日本語歴史コーパス）による調査では、両者の比率は、「結構（446件）」：「結構（176件）」が、約10:4となった。したがって、近代（明治期）においては、「結構」（手偏の「構」）の出現比率が思いのほか高いことがわかった。ただし、明治期末頃から大正期にかけて、しだいに「結構」の表記がみられなくなり、それ以降は、「結構」が主流になったとみられる（「3.7.2 中世から近代（CHJ：日本語歴史コーパス）」）。

・副詞としての「結構（けっこう）」の資料は、管見の限り明治期においても非常に少ない。これは副詞としての「結構（けっこう）」が主に会話上において用いられていたためとみられ、書きことばとしての資料には反映されにくかったといった背景があるとみられる（「3.2.8 堀井令以知（2003）」参照）。

・「結構」については、品詞あるいは意味によって表記を使い分けるという傾向がみられるようである。例えば副詞としての「結構」は、「けっこう」とひらがなで表記される場合が比較的多い（「3.5.2 『分類語彙表 増補改訂版』（2004）における「結構」の位置づけ」等）。

・現代中国語では「結構」は「構造」「ストラクチャー（structure）」を意味する。つまり、現代中国語における「結構」は、本来の意味と考えられるものを現代に引き継いでいることになる。一方、現代日本語においては、本来の意味から移行を経た派生の意味、例えば「よい」「十分」「かなり（の程度）」等が中心として使われるようになった（「3.2.9 張麟声（2004, 2016）」）。

・現代語における「結構」の特徴として、副詞としての用法が非常に多い点が挙げられる（「3.7 「結構」の実例」等）。

・現代語における「結構」は、意味らしい意味はない語調調整的な用法も一部みられる（「3.2.6 渡辺実（1990）」、「3.7 「結構」の実例」等）。

8.1.2 「大丈夫」（第4章）のまとめ

- ・「大丈夫」という語は、漢語由来のものと考えられる（「4.1 概論」、「4.2.1 鈴木修次（1978）」）。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として（下線は筆者による）、「所謂大丈夫者，謂其智之大也。所謂處其厚不處其薄者，行情實而去禮貌也。」（《法家》《韓非子》[戰國] 紀元前 475-221 年《韓非子》[又名：《韓非》，《韓子》]《解老》8）が挙げられる（「4.7.8 中国古典籍（中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢）」、「4.7.8.1 検索語：「大丈夫」、資料番号“12”）。
- ・「大丈夫」については、大陸から日本への移入後、独自に転義が進んだとみられる。つまり、「立派な男子、ますらお」から想起される性質・状態（問題・心配等がなく安心・安全であること）そのものに焦点が置かれるようになり、現代においては状態性形容動詞としての用法が主流になったという背景がある（「4.1 概論」）。
- ・「大丈夫」の特徴として、漢語由来であるにもかかわらず日常語として多用される語であるということが挙げられる。もはや現代においては、「大丈夫」が漢語由来のものとは意識すらされていないともいえよう（「4.1 概論」）。
- ・鈴木修次（1978）のいう「陸封」現象は、海水・淡水を行き来していたある魚類が地形変化等で淡水中に閉じ込められ、そこで生涯暮らすようになり、独自の変化を遂げる現象を指す。「大丈夫」は、その「陸封」現象の典型とみられる。なお、筆者は上記と同概念のものを「言語のガラパゴス化」としておく（「2.1.8 張潔（2015）」、「2.1.8.4 鈴木修次（1978）」における「陸封」（「大丈夫」との関連性））。
- ・「大丈夫」の意味の変遷には、隣接性（メトニミー：換喩）による作用も働いているとみられる（「4.2.1 鈴木修次（1978）」参照）。
- ・「相手からの勧誘・提案に対する「結構（です）」という返答表現」（婉曲な断りの「結構（です）」）と類似の表現として、近年においては、「大丈夫（です）」が好んで使われる現状があるようである。上記について、伊藤由美（2017）では、「ダブルミーニングの「大丈夫（です）」「結構（です）」としている（「4.1 概論」、「4.2.5 伊藤由美（2017）」）。
- ・近年多用される、返答の際に用いる「大丈夫（です）」については、発話するときの真意として、「いいえ」を発話したくない心理が背景にあるとみられる。つまり、相手に「いいえ」を言わずに婉曲的に断りの意思表示をするために、「大丈夫（です）」といった表現を用いるわけである。これは効果的な会話ストラテジーの一種とみてよいであろう（「4.2.2 砂川有里子（2005）」、「4.2.2.2 考察（近年における「大丈夫」の用法）」）。

・返答の際に用いる「大丈夫（です）」については、特に発話者の聞き手（相手）に対する気遣いの表明といった点も大事な要素といえよう（「4.2.3 高橋巖（2014）」、「4.2.3.2 考察（返答の「大丈夫」のバリエーション）」）。

・現代語としての「大丈夫」については、本来の意味とみられる名詞としての用法（「立派な男子。ますらお。」、『岩波国語辞典 第8版』（2019））がほぼ使われていないといった現状がある。例えば、『三省堂国語辞典 第7版』（2014）のように、上記の人物呼称としての「大丈夫」を立項していない国語辞書もみられる（「4.4 現代の国語辞書における「大丈夫」」、「4.4.1.2 小型辞書6種」等）。

・現代において、副詞としての「大丈夫」の用法はほぼみられないと考えられる。ただし、実例資料を参照すると、副詞的な「大丈夫」の用法は、少数ではあるものの、明治・大正期にはみられた。一方、現代の国語辞書では副詞の立項をしているものがほとんどである。一部、『三省堂国語辞典 第7版』（2014）のように、「(副) [古風] きっと。まちがいなく。」と位相表示をしてある場合もある。このあたり、実際の使用状況と辞書の記述がずれているといったことを示唆するものである。

8.1.3 「適当」(第5章)のまとめ

- ・「適当」という語は、漢語由来のものと考えられる(「5.1 概論」)。
- ・中国古典籍から、最古のものうちの一例として(下線は筆者による)、「偃也聞之、喪亂有小大。大喪大亂之刻也、不可犯也。父母死為大喪、讒在兄弟為大亂。今適當之、是故難。」(《史書》《國語》[戰國]紀元前475-221年《晉語二》17)が挙げられる(「5.7「適当」の実例」、「5.7.8.1 検索語:「適當」、資料番号“10”」)。
- ・「適当」は、本来、「ぴったり合う・当てはまる(かなう)」(加納義光(2014)『漢字語源語義辞典』、「適」の項目内、「適当」より)を意味したと考えられる(「5.1 概論」)。
- ・現代中国語における「適当」は、「適切である。ふさわしい。」(『プログレッシブ中国語辞典 第2版』(2013))、あるいは、“suitable; proper; fit; appropriate”(『新簡明漢英詞典』(2002))とあるように、現代においても本来の意味とされるものを保っているようである(「5.1 概論」)。
- ・「適当」におけるマイナス評価性の意味(「いい加減」等々)は、日本において独自に転義が進んだ結果として得られたものとみられる(「5.1 概論」)。
- ・「適当」の語義の変遷を端的にみれば、「①ぴったり」→「②ほどほど」→「③だいたい・いい加減」の過程を経たということが考えられる(「5.1 概論」)。
- ・「適当」は、語構成からみても、本来は、「ぴったり合う・当てはまる」を意味したとみられる。その絶対的な(誰がみても疑う余地がない)「ぴったり合う・当てはまる」状態から、意味の悪化・拡大の過程を経て、「ほどほどに・適度に当てはまる」という意味に移行したという解釈ができる。さらに、「ほどほどさ」の尺度というものは、個々人によって相対的に異なるため、ずれが生じてくる。その度が過ぎればマイナス評価性の方向に移行してしまい、結局は、「きちんとしたところがなく無責任である」というところまで行き着いたということになる。つまり、「適当」は、意味の変化に相対化の概念が作用したということがいえそうである(「5.2.4 松井栄一(2008)」、「5.2.4.3 考察(「いい加減」の類義語グループ)」)。
- ・近年においては、「適当」の代表的三つの意味、「①ぴったり」「②ほどほど」「③だいたい/いい加減」に当てはまらないとみられるもの、つまり、「任意に、随意に、ランダムに」といった意味が存在しているとみられる(「5.1 概論」)。筆者は、この種の用法における「適当」を、「随意(任意)の適当」としておく(「5.2.6 窪菌晴夫(2017)」)。

・「適當」と、同音の異体字「的当」は、少なくとも近代（明治・大正期あたり）までは、併存していたとみられる。ただし、近代においては、「的当」の用例は少数である。日本においては、近世期あたりまで、「的当」の表記が主として使われていた可能性が示唆される。一方、「適當」という語は、歴史的にみれば、主に近代以後になってから使われ始めたようである。したがって、「適當」は、「中国古典漢語を復活させて用いた翻訳語」（沖森・肥爪（2017））の一種とみなされる可能性も否定できない（「5.2.5 増井金典（2012）」、「5.2.5.2 「適當」と「的当」の関係性」等）。

・近代（特に明治期）、「適當」と「的当」がほとんど同義のものとして存在していたとみられる。ただし、明治期においては、すでに「適當」の表記形のほうが圧倒的優勢を保っていたということが資料の検証からうかがえる（「5.3.2 『A dictionary of Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典』における「適當」の意味記述」）。

・「適當」には、感情を抜きにして客観的に評価するという傾向がみられる。一方、「適當」の類義語とされる「いい加減」「ほどほど」は、発話者の感情をこめやすいという傾向がみられる（「5.2.1 門倉正美（1996）」）。

・「適當」という語の意味解釈は、未だに辞書によって異なる。したがって、ゆれが認められるということになる（「5.2.2 森田良行（1996）」、「5.2.2.2 考察（「適當」の程度性）」）。

・「適當」を核にした類義語グループをまとめると相当に語数が多くなる。これは、「適當」の語の使用域が相当に幅広いといった理由によるものと考えられる（「5.2.3 田忠魁・泉原省二・金相順（1998）」、「5.2.3.2 類義語を通して見た「適當」（まとめ）」）。

8.1.4 「微妙」(第6章)のまとめ

・「微妙」という語は、漢語由来、特に仏教系の用語として日本に移入されたものとみられる。(「6.1 概論」)。

・中国古典籍から、最古のものうちの一例として(下線は筆者による)、「五行之道，天地自然。六甲之分，微妙之神。」(《先秦兩漢》《兵家》《六韜》[戰國]紀元前475-221年《龍韜》《五音》1)が挙げられる(「6.9.10 中国古典籍(中國哲學書電子化計劃：先秦兩漢)」、「6.9.10.1 検索語：「微妙」、資料番号“17”)。

・「微妙」は、本来、「非常に程度の高い称赞」を意味したようである(「6.1 概論」)。

・中古期の『今昔物語集』では、「微妙」が重要なキーワードとして現れる。そこでは、「微妙なり」「微妙(めでた)し」という形でプラス評価性の賞讃を表す語として多用される(「6.1 概論」、「6.2.3 佐藤武義(1984)」、「6.2.4 高橋貢(1984)」、「6.2.5 木村紀子(1992)」ほか)。

・近代期の代表的国語辞書、『言海』(1889~91：明治22~24)には、「微妙：奥深く妙なること」とある。これは、「奥深く、幽玄な妙味」といった、やや深淵な語感である。したがって、「微妙」は文語的要素が強い語であったということがうかがえる(「6.3.3 近代の国語辞書10種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」)。

・近世期における「微妙」は、漢文訓読系の硬めの文章に用いられた文語的な要素の強い語であったとみられる。これは、漢文訓読系の文章で、「いみじ」という語に漢語系の「微妙」を当てたという事実が一つの根拠となる。ここから、近世後期においてもなお、日常語レベルでは「微妙(みみょう)」という語が使われることはまれであったということが示唆される(「6.2.4 高橋貢(1984)」、「6.2.4.2 考察(「微妙」と「いみじ」の関連性)」)。

・現代における「微妙」は、大きく二つの意味を持つ。端的に言えば、「①一言では言い表せない趣があること。」「②どちらともはっきり言い切れない状態」である(「6.4.1 現代の国語辞書10種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」)。

・近年(2000年代初頭あたり)、上記②の意味に、マイナス評価性が加わった「否定的な気分を婉曲にあらわす語」としての「微妙」の用法というものが現れている(「6.4.1 現代の国語辞書10種における「微妙」の意味記述の比較」、「6.1 概論」)。

・現代の「微妙」は、「①美しさや味わいが趣き深くすぐれている」といったプラス評価性の意味と、「②どちらかといえば良くない」といったマイナス評価性の意味を双方持つ、反義併存性を示す語であるとみられる。ただし、上記①のプラス評価性の用法は、近年にお

いては減少しつつあるとみられる（「6.1 概論」）。

・「微妙」の英訳としての“delicate”、あるいは英語“delicate”の日本語訳としての「微妙」については、おそらく、明治の後期（30年代後半から40年代にかけて）あたりに定着したのではないかと考えられる（「6.2.1 佐藤喜代治（1979）」）。

・現代における、いわゆる「若者ことば」としての返答の「微妙」は、一見、ぶっきらぼうな表現であるようにも感じられる。しかし、その発話には、他者配慮のストラテジーが動機としてあるとも考えられる（「6.2.8 矢澤真人（2005）」）。

・現代語における「微妙（ビミョー）に」といった連用修飾の形式（副詞的用法）は、「微妙（ビミョー）に～ない」といったマイナス評価性の表現の後続を暗示する効果、つまり呼応の副詞的な機能も一部持つものとみられる（「6.2.9 矢野耕平（2014）」）。

・例えば、会話上において、話し手が、[bimio:] と発話した場合、聞き手には、果たして「微妙」なのか「ビミョー」なのかは判別できない。したがって、実際の言語運用場面を想定すると、表記の違いというものは意識されないため、どう扱うべきであろうかといった問題が生じる。会話等の音声言語のやりとりにおいては、表記のバリエーションといったものが介在しえない。これは表記の限界といえよう。「表記の多様性（バリエーション）」というのは、あくまでも、書きことばにおいて有効となるものである。（「6.2.10 米川明彦（2019）」）。

8.1.5 「やばい」(第7章)のまとめ

・本来、「やばい」は、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」(「7.3.2『日本隠語集』(1892)」)のように、特殊な社会集団の間で使われたマイナス評価性を示す隠語であった(「7.1 概論」)。

・「やばい(やば)」についての文献資料は、おおむね近世後期(江戸時代後期)から現れてくる。最古のものうちの一例として(下線は筆者による)、「件の太刀を手まへうとかまつた所が、ぼくが上つてやばな事やい」(木下蔭狭間合戦十 1789(寛政1))が挙げられる(「7.9.7『近世上方語辞典』(補足資料)」、「7.9.7.1「やば(やばな)」」、資料番号“2”)。

・近年においては(おおむね2000年代以降)、「やばい」のマイナス評価性が漂白され、「すごい」「素晴らしい」「よい」といったプラス評価性の意味を持つに至っている(「7.5『現代用語の基礎知識』過去約50年分における「やばい」の変遷」等)。

・現代語の「やばい」は、「危険・あぶない」といったマイナス評価性の意味と、「すごい」「素晴らしい」「よい」というプラス評価性の意味を一語に内在する、反義併存的性質をもった語であるとみられる(「7.1 概論」)。

・戦後の混乱期に、ヤミ屋が横行し、一般人との接触が多くあり、ヤミ屋の隠語が一般人にも入ってきたという。このような背景もあり、「やばい」が一般社会のことばにも入り込んだことが推測できる(「7.2.1 米川明彦(1998)」)。ただし、それに加え、筆者の推論では、第二次大戦中に徴兵された一般人が、軍隊内において、いわゆる「特定の反社会的集団」の隠語を身につけた可能性があり得るといったことも指摘しておく。これは、「軍隊内における隠語伝播説」としておく(「7.1.5.4 考察(隠語)」)。

・「やばい」の場合、「隠語」→「俗語」→「流行語」という変遷を経て、結果的に一般語として定着した一例と考えられる(「7.1.5.7 考察(流行語)」)。

・古語「いみじ」「ゆゆし」と「やばい」は、語の成り立ち、反義併存性(マイナス評価からプラス評価への移行)といった点において類似性が非常に高い(「6.2.4.2 考察(「微妙」と「いみじ」の関連性)」、「欄外注釈」/「7.2.4 矢野耕平(2014)」、「7.2.4.2 考察(プラス評価性「やばい」の出現時期)」)。

・管見の限り、隠語・俗語・警察検察関係の資料に限定すれば、片岡橘坪編(1891:明治24)『通客必携符牒便覧』にみられる「ヤバイ」が、近代(明治期)において最も古い出典であった。片岡橘坪編(1891:明治24)『通客必携符牒便覧』は、稲山小長男編(1892:

明治 25)『日本隠語集』より一年早い出版である。(「7.3.1『通客必携符牒便覧』(1891)における「ヤバイ」)。

・『日本隠語集』(1892: 明治 25)における「ヤバイ」の分布状況を見ると、「やばい(および関連語)」は当時(明治 20 年代前後)、すでに全国的に分布していることがわかる。ただし、西日本に分布の比重があることがわかる(「7.3.2『日本隠語集』(1892)における「ヤバイ」」、「7.3.2.1 結果と考察」)。

・「やばい」の語源説については、音韻変化説をはじめとして、多種多様なものがある。ただし、決定的なものはないとみられる。筆者は、「やばい」の自然発声音由来説」というものを立てておく。つまり、人がすさまじいまでの恐怖に直面したときに、自然に発せられる「ヤッ!」とか「バッ!」とかいう音そのものが「やば」あるいは「やばい」の起源となるものとみなす。この説を基にした上で、なんらかの外的刺激により、心が激しく揺さぶられたときに自然発生的にでる音が「ヤバッ!」や「ヤバイ!」であるとすれば、現代語において「やばい」が感動詞的に多用される状況が説明しやすくなる(「7.2.1 米川明彦(1998)」、「7.2.1.2 考察(「やばい」の語源)」)。

・現代においては、本来の「やばい」という語の持つ過激さが薄れ、切迫感が相当に緩和されたとみられる。したがって、さしたる危険性も感じられないような、自分にとって多少不都合な事態に対しても「やばい」が使えるようになっている(「7.2.3 矢澤真人(2005)」、「7.2.3.2 考察(「やばい」の意味の軽薄化)」)。

・肯定的な意味(つまり、プラス評価性)で使われる「やばい」が出始めたのは、一般的には 2000 年前後とされる。しかし、実際には、プラス評価性の「やばい」の使用例は 1970 年代にすでにみられる。現代におけるプラス評価性の「やばい」の萌芽は 1970 年代にあったようである(「7.2.4 矢野耕平(2014)」、「7.2.4.2 考察(プラス評価性「やばい」の出現時期)」)。

・「やばい」の意味の変遷をみたとき、マイナス評価性からプラス評価性へという、意味の向上(上昇)の作用が働いたということがわかる(「7.2.5 窪菌晴夫(2017)」、「7.2.5.3 考察(意味の上昇)」)。

・『現代用語の基礎知識』、「1978 年版」、「若者のライフスタイルを理解する用語集(平野秀秋記述)」、「リズム感のある暴走族の言葉」、「ヘクル」の項目内、「ヤクイ」の解説に、「やばい」が現れた。管見の限り、『現代用語の基礎知識』においては、これが「やばい」の初出である(「7.5『現代用語の基礎知識』過去約 50 年分における「やばい」の変遷」)。

・流行語の観点から「やばい」についてみると、現代においては大きく三期に分けられる。すなわち、第一次流行期は1980年代、第二次流行期は2000年代前後、第三次流行期は2010年代後半から現在にかけてである。第一次流行期についてはまだまだ世間において賛否両論があった草創期、第二次流行期については発展・安定期、第三次流行期については成熟期といった位置づけができる（「7.8 新聞紙上における「やばい」」、「7.8.3 考察」）。

8.1.6 全体のまとめ

- ・各論にて扱った五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適當（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」のうち、漢語系の四つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適當（第5章）」「微妙（第6章）」）についてみると、大陸から移入後、本来の意味としての用法は文語的性格が強かったものとみられる。しかし、時代が下るとともに、口語化と転義（多義語化）が同時進行したということが考えられる（「第2章 総論」等）。
- ・漢語系の四つの語（同上）についてみると、副詞としての用法（あるいは連用修飾としての用法）が、本来の意味から最も離れた用法であるとみられる。森田良行（2008）においても、「形容詞・形容動詞の連用形が程度の連用語として用いられるときは、本義ではなく転義として用いられる」との指摘がある（「第2章 総論」等）。
- ・意味の拡大・一般化という観点からすると、各論にて扱った五つの語（同上）は、全て該当するものと考えられる（「第2章 総論」等）。
- ・意味の向上（上昇）、あるいは、意味の下降（悪化・下落）という観点からすると、各論にて扱った五つの語（同上）のうち、意味の向上（上昇）の傾向をみせたものは、「やばい（第7章）」であった。一方、意味の下降（悪化・下落）の傾向をみせたものは、「結構（第3章）」「適當（第4章）」「微妙（第6章）」であった（「第2章 総論」、「7.2.5 窪菌晴夫（2017）」等）。
- ・隣接性（メトニミー：換喩）という観点からすると、各論にて扱った五つの語（同上）のうち、「結構（第3章）」と、「大丈夫（第5章）」が該当するものと考えられる（「第2章 総論」、「3.2.2 鈴木彦四郎（1976）」、「4.2.1 鈴木修次（1978）」等）。
- ・シネクドキ（提喩）的な作用という観点からすると、「結構（第3章）」が一部該当するものと考えられる（「第2章 総論」、「2.1.6 靱山洋介（2014）」）。
- ・意味の歴史的な変遷をみると、「短縮」、「メタファー（隠喩）的な変化」「メトニミー（換喩）的な変化」、「シネクドキ（提喩）的な変化」あるいは「言語的原因による変化」等々が複合的に作用しているとみるほうが現実的な解釈といえるであろう。つまり、一つの要因が決定的な作用を及ぼしたといった可能性は低いとみられる。（「第2章 総論」、「3.2.2 鈴木彦四郎（1976）」等）。
- ・表記の観点からすると、各論にて扱った五つの語（同上）のうち、カタカナ表記がなされる場合、若干マイナス評価を伴って使われる傾向をみせるものがある。例えば、「適當（第

5章)」におけるカタカナ表記「テキトー」、「微妙（第6章）」におけるカタカナ表記「ビミョー」が挙げられる（「2.7 表記の多様性」、「2.7.2 笹原宏之（2017）」等）。

・反義併存性の観点からすると、各論にて扱った五つの語（同上）のうち、「結構（第3章）」については、返答時における「結構（です）」が、“OK”、あるいは“NO”（婉曲的な断りの表現）の対立的な意思の表明が可能という点において反義併存的な性質を示すと考えられる（「4.2.5 伊藤由美（2017）」等／以下、「大丈夫（第4章）」から「やばい（第7章）」まで反義併存性の観点から）。

・「大丈夫（第4章）」については、上記同様に、返答時における「大丈夫（です）」が、“OK”、あるいは“NO”（婉曲的な断りの表現）の対立的な意思の表明が可能という点において反義併存的な性質を示すと考えられる。ただし、上記の「結構（です）」「大丈夫（です）」（ダブルミーニングの「結構」「大丈夫」）について、現代語においては、「結構（です）」より「大丈夫です」のほうが、より幅広い世代に好まれる表現のようである（「4.2.5 伊藤由美（2017）」等）。

・「適当（第5章）」については、連体修飾の形式「適当な～」、および、連用修飾の形式（副詞的用法）「適当に～」が、場面・状況次第では、プラス評価性、マイナス評価性、どちらの性質も持ちうるという点において反義併存的な性質を示すと考えられる（「5.2.6 窪菌晴夫（2017）」）。

・「微妙（第6章）」については、現代語としての「微妙」は、大きく二つの意味、「①一言では言い表せない趣があること（プラス評価性）」「②どちらともはっきり言い切れない状態」がある。しかし、近年（2000年代初頭あたり）、上記②の意味に、マイナス評価性が加わった「否定的な気分を婉曲にあらわす語」としての「微妙」の用法というものが現れてきたという点において反義併存的な性質を示すと考えられる（「6.1 概論」、「6.4.1 現代の国語辞書10種における「微妙」の意味記述の比較」）。

・「やばい（第7章）」については、本来、「恐ろしき行いがたき耐へがたき苦痛を云う」（「7.3.2 『日本隠語集』（1892）」）のように、特殊な社会集団の間で使われたマイナス評価性を示す隠語であった。一方、近年においては（おおむね2000年代以降）、「やばい」のマイナス評価性が漂白され、「すごい」「素晴らしい」「よい」といったプラス評価性の意味を持つに至っているという点において反義併存的な性質を示すと考えられる（「7.1 概論」、「7.2.6 米川明彦（2017）」、「7.2.7 米川明彦（2019）」、「7.4.2 現代の国語辞書10種における「やばい」の意味記述の比較」、「7.4.3 『明解国語辞典』（初版と改訂版）および『三省堂国語辞典』（初

版から第 7 版まで) における「やばい」の意味記述の変遷」、「7.5 『現代用語の基礎知識』
過去約 50 年分における「やばい」の変遷」等)。

8.2 今後の課題

以下に、今後の課題を提示して締めくくりとする。

・表記のバリエーション：

表記のバリエーションと意味との関係性について、本稿ではある程度触れたが十分とは言いがたい。本稿各論において考察した、「結構」と「けっこう」、「大丈夫」と「だいじょうぶ」、「適当」と「テキトー」、「微妙」と「ビミョー」、「やばい」と「ヤバイ／ヤバい」等々、今後は個別に考察を深めていくことが課題となる。

・日本語教育分野との関係性：

これについては、当初はかなり踏み込んだ考察を行おうと予定していたものの、結果として深く掘り下げることができなかった。しかし、本稿で扱った五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）は、日常語として日々の生活とも密接に結びついているため、日本語教育分野においても重要性が見いだせるというのが筆者の認識である。今後は各該当語について共時的観点から焦点を絞った考察を行うことが課題となる。なお、本稿で示した内容が多少なりとも日本語教育分野で役立てられれば幸いである。

・反義併存性を示す漢語：

現代日本語において、反義併存性を示す漢語が比較的多くみられる（例：「多少」「加減」「上下」「伸縮」「難易」「寒暖」「勝負」「明暗」「美醜」「好悪」等々）。これらは日本語における反義併存性の典型的事例の一つであり、体系的にまとめれば興味深いものと考えられる（上述、「2.3 反義」、「2.3.3 『言語学大辞典 第6巻 述語編』（1996）」、「2.3.3.2 考察」参照）。本稿においては十分な考察が行えなかったが、この分野については今後の研究課題となる。

・中国古典籍資料の考察：

本稿においては、各論にて扱った五つの語（「結構（第3章）」「大丈夫（第4章）」「適当（第5章）」「微妙（第6章）」「やばい（第7章）」）のうち、漢語系の四つの語（「結構（第

3章)」「大丈夫(第4章)」「適当(第5章)」「微妙(第6章)」)について、「中國哲學書電子化計劃」から中国古典籍の実例資料を提示した。しかし、今回、十分な考察ができたとは言いがたい。今後は、日中対照という観点から中国語母語話者(日本語研究者)の協力を得つつ研究を進展させることが課題となる。

【参考文献・資料】

(人名の五十音順／外国人名は、カタカナ表記の姓の五十音順)

【ア行】

【ア】

青木保 (2001) 『異文化理解』 岩波書店

青木直子・尾崎明人・土岐哲 (2001) 『日本語教育を学ぶ人のために』 世界思想社

秋月高太郎 (2009) 『日本語ヴィジュアル系 ―あたらしいにほんごのかきかた』 角川書店

朝日新聞社 (2003) 『ことばの知恵袋[とっさの日本語便利帳]』(『朝日現代用語 知恵蔵 2003』
別冊付録)

畔柳都太郎編 (1904) 『明治通俗和英節用集』 宝文館

【イ】

イーストレーキ (エフ・ダブリュー・イーストレーキ : F. W. Eastlake) (1902) 『New
Japanese-English Conversation Dictionary (和英会話辞書)』 人民新聞社出版部

飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子 (2003) 『新世代の言語学 ―社会・文化・人を
つなぐもの―』 くろしお出版

飯間浩明 (2013) 『辞書を編む』 光文社

庵功雄・張志剛 (2015) 「漢語サ変動詞にみる近代語と現代語 ―コーパスを通しての考察
―」(日本語学会 (2015) 『日本語の研究』 11-2, 所収)

池上嘉彦 (1978) 『意味の世界 現代言語学から視る』 日本放送出版協会

池上嘉彦 (1984) 『記号論への招待』 岩波書店

池上嘉彦 (1991) 『〈英文法〉を考える 〈文法〉と〈コミュニケーション〉の間』 筑摩書房

池上嘉彦 (2006) 『英語の感覚・日本語の感覚 <ことばの意味のしくみ>』 日本放送出版
協会

池上嘉彦 (2007) 『日本語と日本語論』 筑摩書房

池田純 (2017) 「二字漢語「適当」の変遷 ―近代から現代にかけて―」(2016 (平成 28)

-
- 年度 拓殖大学大学院 言語教育研究科 日本語教育学専攻 修士論文)
- 池田純 (2019a) 「多義性を持つ漢語についての考察 — 「大丈夫」を例に一」(東アジア日本学研究会『東アジア日本学研究 創刊号』所収)
- 池田純 (2019b) 「多義性を持つ漢語についての考察 — 「結構」を例に一」(東アジア日本語教育・日本文化研究会『東アジア日本語教育・日本文化研究 第二十二輯』所収)
- 池田純 (2019c) 「多義性日本漢語の通時的な語義の変化についての考察 — 「適当」を例に一」(漢日対比言語学研究(協作)会編『漢日語言対比研究論叢第10輯』浙江工商大学出版社 所収)
- 池田純 (2020) 「反義併存的な語に関する考察 — 「微妙」を例に一」(拓殖大学大学院 言語教育研究科『言語教育研究』編集委員会『拓殖大学大学院 言語教育研究 2019年度第20号』所収)
- 池田摩耶子 (1973) 『日本語再発見 異質の認識』三省堂
- 池田弥三郎 (1976) 『暮らしの中の日本語』毎日新聞社
- 池田弥三郎 (1980) 『暮らしの中のことわざ』旺文社
- 生田長江校閲 素人社出版部編 (1924) 『現代語辞典』素人社
- 石井庄司・小西甚一編 (1963) 『新国語辞典』大修館書店
- 石田瑞麿著 (1997) 『例文 仏教語大辞典』小学館
- 磯貝英夫・室山敏昭編 (1989) 『類語活用辞典』東京堂出版
- 井出祥子 (2006) 『わきまへの語用論』大修館書店
- 伊藤由美 (2017) 『できる大人は、男も女も断り上手』ワニブックス
- 稲山小長男編 (1892) 『日本隠語集』後藤待賓館
- 井上十吉編 (1909) 『新訳和英辞典』三省堂
- 井上ひさし (1993) 『ニホン語日記』文藝春秋
- 井上ひさし ほか (1999) 『日本語よ どこへ行く 講演とシンポジウム』岩波書店
- 井上史雄 (1998) 『日本語ウォッチング』岩波書店
- 井上史雄 (2013) 『ことばの散歩道』明治書院
- 井上優 (2002) 「「言語の対照研究」の役割と意義」(国立国語研究所 (2002) 『日本語と外国語との対照研究 X 対照研究と日本語教育』くろしお出版 所収)
- 井上優・木村英樹・生越直樹 (2002) 「日本語／中国語／朝鮮語研究と「対照研究」」(国立国語研究所 (2002) 『日本語と外国語との対照研究 X 対照研究と日本語教育』くろし
-

お出版 所収)

今井邦彦 (2001) 『語用論への招待』大修館書店

今井邦彦 (2011) 『あいまいなのは日本語か、英語か? 日英語発想の違い』ひつじ書房

今井邦彦 (2015) 『言語理論としての語用論 ー入門から総論までー (開拓社 言語・文化選書 50)』開拓社

今井新悟編著 (2011) 『イメージでわかる言葉の意味と使い方 日本語多義語学習辞典 形容詞・副詞編』アルク

今井むつみ (2010) 『ことばと思考』岩波書店

岩淵悦太郎 (1985) 『語源散策』河出書房新社

岩本俊郎・浪本勝年編著 (2010) 『現代日本の教育を考える ー理念と現実 [改訂版]』北樹出版

岩本裕著 (1988) 『日本佛教語辞典』平凡社

【ウ】

上田万年・松井簡治 (1915~19) 『大日本国語辞典 (第一巻から第四巻まで)』富山房・金港堂書籍

上田万年・物集高見閣 文化出版社出版局編 (1927) 『現代語新辞典 これさへあれば』文化出版社

上田万年・松井簡治 (1939~41) 『大日本国語辞典 修訂版』富山房

榎垣実 (1956) 『隠語辞典』東京堂

ウルマン (Stephen Ullman) (山口秀夫訳) (1964) 『意味論』紀伊國屋書店

【エ】

穎原退蔵著・尾形仂編 (2008) 『江戸時代語辞典』角川学芸出版

『英語青年 (The Rising Generation)』第 59 巻 第 9 号 総号第 772 号 (1928) 英語青年社

NHK 放送文化研究所 日本語プロジェクト (2003) 『使いこなせば豊かな日本語』日本放送出版協会

NHK 放送文化研究所編 (2018) 『放送研究と調査』9 月号 日本放送出版協会

遠藤裕子 (2005) 「語と語の関係」(日本語教育学会編 (2005) 『新版 日本語教育事典』大

【オ】

- 旺文社編 (1960) 『旺文社 国語辞典』 旺文社
- 旺文社編 (三好行雄・J. B. ハリス監修) (1998) 『英訳つき 国語総合新辞典』 旺文社
- 大久保忠国・木下和子編 (1991) 『江戸語辞典』 東京堂出版
- 大島正健 (1931) 『国語の語根と其の分類』 第一書房
- 大槻文彦 (著作兼発行) (1891) 『日本辞書 言海 (四冊一括版)』
- 大野晋・柴田武編 (1977) 『岩波講座 日本語 9 語彙と意味』 岩波書店
- 大野晋・浜西正人編 (1981) 『角川 類語新辞典』 角川書店
- 大野晋・浜西正人編 (1985) 『類語新辞典』 角川書店
- 大野晋・丸谷才一・大岡信・井上ひさし (1990) 『日本語相談 三』 朝日新聞社
- 大野晋 (1999) 『日本語練習帳』 岩波書店
- 大野晋・森本哲郎・鈴木孝夫 (2001) 『日本・日本語・日本人』 新潮社
- 大野敏明 (2002) 『日本語と韓国語』 文藝春秋
- 大村喜吉 (1960) 『齋藤秀三郎伝 一その生涯と業績一』 吾妻書房
- 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編著 (2016) 『文化とコミュニケーション (叢書 現代の社会学とメディア研究 第2巻)』 北樹出版
- 岡倉由三郎編 (1929) 『研究社 新英和中辞典』 研究社
- 岡倉由三郎編 (1933) 『研究社 新和英中辞典』 研究社
- 尾形彦太郎 (1932) 『犯罪隠語集』 熊本巡查看守志願生教習所
- 小川誉子美・前田直子 (2003) 『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現 一待遇表現一 上級』 スリーエーネットワーク
- 沖森卓也・中村幸弘編 (2003) 『ベネッセ 表現読解国語辞典』 ベネッセコーポレーション
- 沖森卓也編著 (2010a) 『日本語ライブラリー 日本語概説』 朝倉書店
- 沖森卓也編著 (2010b) 『日本語ライブラリー 日本語史概説』 朝倉書店
- 沖森卓也 (2010c) 『はじめて読む日本語の歴史』 ベレ出版
- 沖森卓也・肥爪周二編著 (2017) 『日本語ライブラリー 漢語』 朝倉書店
- 奥山益朗編 (1999) 『状況分類別 敬語用法辞典』 東京堂出版

尾崎喜光 (2006) 「依頼・勧めに対する断りにおける配慮の表現」(国立国語研究所編 (2006)

『国立国語研究所報告 123 言語行動における配慮の諸相』くろしお出版 所収)

小山内薫監修 (1925) 『最新現代用語辞典』三進堂書店

落合直文 (1898) 『ことばの泉』大倉書店

落合直文著 芳賀矢一改修 (1927) 『日本大辞典 言泉 (改修言泉) 第四卷』大倉書店

落合直文著 芳賀矢一改修 (1928) 『日本大辞典 言泉 (改修言泉) 第五卷』大倉書店

尾本国太郎・江口虎之輔共編および出版 (1885) 『和英対訳 いろは字典』

尾本国太郎・江口虎之輔共編および出版 (1887) 『和英対訳 いろは字典 (第二版)』

【カ行】

【カ】

鹿島央 (2002) 『日本語教育をめざす人のための 基礎から学ぶ音声学』スリーエーネット
ワーク

梶原しげる (2012) 『ひっかかる日本語』新潮社

片岡橘坪編 (1891) 『通客必携符牒便覧』壺萬傳授社

学研編 (2002) 『学研ニューコース 中学国文法』学習研究社

加藤重広 (2014) 『日本人も悩む日本語 ことばの誤用はなぜ生まれるのか?』朝日新聞出
版

蒲谷宏 (2007) 『大人の敬語コミュニケーション』筑摩書房

ガビンズ (ジョン・ハリントン・ガビンズ: J. H. Gubbins) (1889~92) 『A dictionary of
Chinese-Japanese words in the Japanese language. 漢語英訳辞典 全三冊』長尾景弼発行
博聞本社

金井保三 (1901) 『日本俗語文典 全』宝永館 (北原保雄・古田東朔編 (2000) 『日本語文
法研究書大成 第7回配本』勉誠出版による復刻版)

金沢庄三郎編 (1911) 『辞林 四十四年版 (第四版)』三省堂

金沢庄三郎編 (1925) 『広辞林 (初版)』三省堂

金沢庄三郎編 (1934) 『広辞林 新訂版』三省堂

金子準二 (1939) 「犯罪隠語に就いて (上)」(『日本医事新報』第 888 号所収)

-
- 金子準二（1939）「犯罪隠語に就いて（下）」（『日本医事新報』第 889 号所収）
- 金子準二（1941）『文化と犯罪の性格』畝傍書房
- 金武伸弥（2004）『新聞と現代日本語』文藝春秋
- 鎌田正・江連隆・青木五郎（2003）『理解しやすい 漢文』文英堂
- 鎌田正・米山寅太郎（2011）『新漢語林 第二版』大修館書店
- 神永暁（2015）『悩ましい国語辞典 一辞書編集者だけが知っていることばの深層一』時事通信出版局
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一編（1996）『言語学大辞典 第 6 卷 述語編』三省堂
- 亀田尚己・青柳由紀江・J. M. クリスチャンセン（2015）『日英ことばの文化事典』丸善
- 川崎洋（1981）『流行語』毎日新聞社
- 河原俊昭・山本忠行編『多言語社会がやってきた 世界の言語政策 Q&A』くろしお出版
- 川本茂雄・國廣哲彌・林大編（1979）『日本の言語学 第 5 卷 意味・語彙』大修館書店
- 神崎宣武・白幡洋三郎・井上章一編（2016）『日本文化事典』丸善出版

【キ】

- 北原保雄・東郷吉男編（1989）『反対語・対照語辞典』東京堂出版
- 北原保雄編著（1995）『概説日本語』朝倉書店
- 北原保雄編（2002）『明鏡国語辞典 初版』大修館書店
- 北原保雄監修（2003）『岩波 日本語使い方考え方辞典』岩波書店
- 北原保雄編著（2005）『続弾！問題な日本語 一何が気になる？ どうして気になる？』大修館書店
- 北原保雄監修（2006）『みんなで国語辞典！ これも、日本語』大修館書店
- 北原保雄編著（2007）『問題な日本語 その 3』大修館書店
- 北原保雄編著（2011）『問題な日本語 その 4』大修館書店
- 北原保雄（2010）『日本語の形容詞』大修館書店
- 北原保雄編（2010）『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 木村紀子（1992）「今昔物語集の用字意識」（奈良大学編集兼発行（1992）『奈良大学紀要 第 20 号』所収）
- 木村義之・小出美河子編（2000）『隠語大辞典』皓星社

教科研東京国語部会・言語教育研究サークル（1964）『語彙教育 その内容と方法』 麥書房
金水敏（2018）「小説における仮名の一用法と翻訳 一村上春樹作品を例に一」（『ことばと文字』編集委員会編（2018）『ことばと文字』10号 日本のローマ字社 所収）
金田一京助編（1943）『明解国語辞典』三省堂
金田一京助編（1952）『辞海』三省堂
金田一京助編（1952）『明解国語辞典 改訂版』三省堂
金田一京助ほか編（1960）『三省堂国語辞典 初版』三省堂
金田一京助ほか編（1968）『三省堂国語辞典 新装版』三省堂
金田一京助ほか編（1974）『三省堂国語辞典 第二版』三省堂
金田一春彦（1977）『話し言葉の技術』講談社
金田一春彦（1988）『日本語 新版（上）』岩波書店
金田一春彦（1988）『日本語 新版（下）』岩波書店
金田一春彦・林大・柴田武編（1988）『日本語百科大事典』大修館書店
金田一春彦（1991）『日本語の特質』日本放送出版協会
金田一秀穂（2008）『「汚い」日本語講座』新潮社

【ク】

グウェン・ヴァン・ハン（Nguyen Van Khang）／ホアン・アイン・ティ（Hoang Anh Thi）
／レ・タイン・キム（Le Thanh Kim）編『常用漢越熟語辞典（Tu dien Nhat - Viet）』トイダイ出版社（NHA XUAT BAN THOI DAI）
工藤浩ほか著（2009）『改訂版 日本語要説』ひつじ書房
國廣哲彌（1982）『意味論の方法』大修館書店
国広哲弥（1997）『理想の国語辞典』大修館書店
国広哲弥（2002）「類義語・対義語の構造」（飛田良文・佐藤武義編『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院 所収）
窪蘭晴夫（2017）『通じない日本語 世代差・地域差からみる言葉の不思議』平凡社
グライス（ポール・グライス：Paul Grice）（清塚邦彦訳）（1998）『論理と会話』勁草書房
倉島節尚（2002）『辞書と日本語 国語辞典を解剖する』光文社
倉島長正（2003）『日本語一〇〇年の鼓動 日本人なら知っておきたい国語辞典誕生のいき

さつ』小学館

クリスタル (デイヴィッド・クリスタル : David Crystal) (風間喜代三・長谷川欣佑監訳)

(1992) 『言語学百科事典』大修館書店

桑本裕二 (2010) 『若者ことば 不思議のヒミツ』秋田魁新報社

【ケ】

見坊豪紀ほか編 (1982) 『三省堂国語辞典 第三版』三省堂

見坊豪紀ほか編 (1992) 『三省堂国語辞典 第四版』三省堂

見坊豪紀ほか編 (2001) 『三省堂国語辞典 第五版』三省堂

見坊豪紀ほか編 (2008) 『三省堂国語辞典 第六版』三省堂

見坊豪紀ほか編 (2014) 『三省堂国語辞典 第七版』三省堂

『現代用語の基礎知識』(1969年版から2020年版まで) 自由国民社

『現代用語の基礎知識 2005 別冊付録』自由国民社

【コ】

礫川全次 (2011) 『隠語の民俗学 差別とアイデンティティ』河出書房新社

紅玉堂編集部編 (1924) 『活用 現代新語辞典』紅玉堂書店

国語学会編 (1980) 『国語学大辞典』東京堂出版

国語辞典編集委員会編著 (2014) 『教育部公布 標準字体 学生辞典 修訂五版』世一文化

国際交流基金 (1986) 『基礎日本語学習辞典』凡人社

国立国語研究所 (1964) 『国立国語研究所資料集 6 分類語彙表』秀英出版

国立国語研究所 (1972) 『国立国語研究所報告 44 形容詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版

国立国語研究所 (1984) 『日本語教育指導参考書 12 語彙の研究と教育 (上)』大蔵省印刷局

国立国語研究所 (1985) 『日本語教育指導参考書 13 語彙の研究と教育 (下)』大蔵省印刷局

国立国語研究所 (1991) 『日本語教育指導参考書 19 副詞の意味と用法』大蔵省印刷局

国立国語研究所 (1997) 『国立国語研究所報告 114 テレビ放送の語彙調査 II』大日本図書

-
- 国立国語研究所編（2001）『新「ことば」シリーズ 13「ことば」を調べる考える』財務省印刷局
- 国立国語研究所（2002）『日本語と外国語との対照研究 X 対照研究と日本語教育』くろしお出版
- 国立国語研究所編（2004）『国立国語研究所 資料集 14 分類語彙表 増補改訂版』大日本図書
- 国立国語研究所編（2005）『国立国語研究所資料集 15 太陽コーパス 雑誌『太陽』日本語データベース（CD-ROM 版）』博文館新社
- 国立国語研究所編（2006）『国立国語研究所報告 123 言語行動における配慮の諸相』くろしお出版
- 国立国会図書館編（2008）「第 152 回常設展示 辞書を片手に世界へ —近代デジタルライブラリーにみる明治の語学辞書—」
- 国立国語研究所編（2009）『新「ことば」シリーズ 22 辞書を知る』ぎょうせい
- 『ことばと文字』編集委員会編（2018）『ことばと文字』日本のローマ字社
- 言葉の知識探検隊（2012）『頭が悪そうに見える「恥ずかしい日本語」』PHP 研究所
- 小西友七（1996）『英語のしくみがわかる 基本動詞 24』研究社出版
- 小松寿雄・鈴木英夫編（2011）『新明解 語源辞典』三省堂
- 五味政信（2015）『五味版 学習者用ベトナム語辞典』武蔵野大学出版会
- 近藤安月子・小森和子編（2012）『研究社 日本語教育事典』研究社
- 今野真二（2013）『漢字からみた日本語の歴史』筑摩書房
- 今野真二（2020）『日本語の連続／不連続 百年前の「かきことば」を読む』平凡社

【サ行】

【サ】

- サール（ジョン・R・サール：John R. Searle）（山田友幸監訳）（2006）『表現と意味 一言語行為論研究』誠信書房
- 最高検察庁刑事部監修・編著（1952）『隠語全集』刑務協会
- 財前兼（2010）『字体のはなし 超「漢字論」』明治書院

-
- 齋藤秀三郎（1928）『齋藤和英大辞典』日英社
- 齋藤秀三郎（1930）『齋藤和英大辞典（縮刷版）』日英社
- 齋藤秀三郎（1999）『NEW 齋藤和英大辞典』日外アソシエーツ（日英社刊『齋藤和英大辞典』（1928）の復刻版）
- 佐伯梅友・中田祝夫・林大編著（1961）『国語国文学研究史大成 第15巻 国語学』三省堂
- 佐伯梅友（1966）『国語概説 改訂版』秀英出版
- 阪倉篤義ほか編（1971）『講座国語史 第3巻 語彙史』大修館書店
- 坂田雪子監修 にほんごの会企業組合編（1995）『日本語を学ぶ人の辞典』新潮社
- 阪本一郎監修（1959）『基本小学国語辞典』教育出版
- 坂本百大・川野洋・磯谷孝・太田幸夫編（2002）『記号学大事典』柏書房
- 佐久間淳一（2007）『はじめてみよう言語学』研究社
- 佐久間信恭・広瀬雄編（1909）『和英大辞林』郁文舎
- 佐久間信恭（1904）『会話作文 和英中辞林』郁文舎・積文社
- 笹原宏之（2011）『漢字の現在 リアルな文字生活と日本語』三省堂
- 笹原宏之（2017）「表記の多様性」（『ことばと文字』編集委員会編（2017）『ことばと文字』8号 日本のローマ字社 所収）
- 佐竹秀雄（2000）「文字表記」（中村明編（2000）『別冊国文学・NO. 53 現代日本語必携』学燈社 所収）
- 佐藤綾子（2007）『思いやりの日本人』講談社
- 佐藤喜代治編（1971）『国語語彙の歴史的研究』明治書院
- 佐藤喜代治編（1977）『国語学研究事典』明治書院
- 佐藤喜代治（1979）『日本の漢語』角川書店
- 佐藤喜代治編（1982）『講座日本語の語彙 第2巻 日本語の語彙の特色』明治書院
- 佐藤喜代治編（1983）『講座日本語の語彙 別巻 語彙研究文献語別目録』明治書院
- 佐藤喜代治ほか編（1996）『漢字百科大事典』明治書院
- 佐藤喜代治（1998）『漢語漢字の研究』明治書院
- 佐藤武義（1984）『今昔物語集の語彙と語法』明治書院
- 佐藤亨（1983）『近世語彙の研究』桜楓社
- 佐藤亨（1993）「日本語の語彙体系と漢語・漢字」（『日本語学』（1993）第12巻 第8号 通巻132号 明治書院 所収）
-

佐藤亨（2013）『現代に生きる日本語漢語の成立と展開 ー共有と創生ー』明治書院
サピア（エドワード・サピア：Edward Sapir）安藤貞雄訳（1998：原著 1921）『言語 こと
ばの研究序説』岩波書店
三省堂編修所編（2002）『グランドコンサイス和英辞典（初版）』三省堂

【シ】

柴田昌吉・子安峻著述兼出版（1882）『増補訂正 英和字彙（第二版）』
柴田武（1958）「集団語とは」（日本放送協会（1958）『NHK 国語講座 第 10 巻 日本語の常
識』宝文館 所収）
柴田武（1965）「言語における意味の体系と構造」（川本茂雄・国広哲弥・林大編（1979）
『日本の言語学 第 5 巻 意味・語彙』大修館書店 所収）
柴田武監修 武藤康史編（2001）『明解物語』三省堂
柴田武（2002）「国語辞書はどうあるべきか」（飛田良文・佐藤武義編（2002）『現代日本語
講座 第 4 巻 語彙』明治書院 所収）
下中弥三郎編（1936）『大辞典 第 21 巻』平凡社
下中邦彦編（1965）『日本語の歴史 6 新しい国語への歩み』平凡社
城生佰太郎・松崎寛（1995）『日本語「らしさ」の言語学』講談社
尚学図書編（1989）『日本方言大辞典 上巻』小学館
尚学図書編（1989）『日本方言大辞典 下巻』小学館
白井恭弘（2004）『外国語学習に成功する人しない人 第二言語習得論への招待』岩波書店
新語研究会編（1926）『新らしい言葉は 何んでもわかる』ヤナセ書院
陣内正敬（2006）「ぼかし表現の二面性 ー近づかない配慮と近づく配慮ー」（国立国語研究
所編（2006）『国立国語研究所報告 123 言語行動における配慮の諸相』くろしお出版 所
収）
新堀通也（1967）「教育社会学」（西尾実・石橋幸太郎監修（1967）『言語教育学叢書 第 1
期・3 巻 言語教育と関連諸科学（1）』文化評論出版 所収）
新村出編（1935）『辞苑』博文館
新村出編（1955）『広辞苑 第一版』岩波書店
新村出編（1969）『広辞苑 第二版』岩波書店

新村出編（1976）『広辞苑 第二版補訂版』岩波書店

新村出編（1983）『広辞苑 第三版』岩波書店

新村出編（1991）『広辞苑 第四版』岩波書店

新村出編（1998）『広辞苑 第五版』岩波書店

新村出編（2008）『広辞苑 第六版』岩波書店

新村出編（2018）『広辞苑 第七版』岩波書店

【ス】

杉江輔人（1890）『増訂和英 新デスク辞書』

鈴木一彦・林巨樹編（1973）『品詞別 日本文法講座 4 形容詞・形容動詞』明治書院

鈴木一彦・林巨樹編（1984）『研究資料日本文法 第3巻 用言編（二）形容詞 形容動詞』
明治書院

鈴木修次（1978）『漢語と日本人』みすず書房

鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』岩波書店

鈴木孝夫（1990）『日本語と外国語』岩波書店

鈴木孝夫（1995）『日本語は国際語になりうるか 一対外言語戦略論一』講談社

鈴木孝夫（1999）『日本人はなぜ英語ができないか』岩波書店

鈴木孝夫（2014）『日本の感性が世界を変える 言語生態学的文明論』新潮社

鈴木孝夫研究会編（2012）『鈴木孝夫の世界 第4集 一ことば・文化・自然一』富山房イン
ターナショナル

鈴木英夫（1987）「言葉の誤用 一誤表現と誤解一」（山口明穂編（1987）『国文法講座 第六
巻 時代と文法 一現代語』明治書院 所収）

鈴木泰（1983）「漢語ナリ活用形容動詞の史的変遷について」（渡辺実編（1983）『副用語の
研究』明治書院 所収）

鈴木良次編（2006）『言語科学の百科事典』丸善

スペルベル（D. Sperber）・ウイルソン（D. Wilson）内田聖二ほか訳（1993）『関連性理論 一
伝達と認知一』研究社出版

【セ】

セイン (デイビッド・セイン)・小池信孝 (2004) 『ネイティブが使う英語使わない英語』
アスコム

セイン (デイビッド・セイン)・長尾昭子 (2012) 『日本語再発見 BOOK 日本人が気づいていない ちょっとヘンな日本語』アスコム

【ソ】

曾婧芳 (2013) 「菊花の約」における義兄弟の関係 一原話「范巨卿鶏黍死生交」との比較
一」(第 8 回国際日本学コンソーシアム「食・もてなし・家族 II」日本文学部会 2013
年 12 月 17 日 於 お茶の水女子大学)

(https://www.cf.ocha.ac.jp/archive/ccjs/consortia/8th/pdf/8th_consortium_abstract16.pdf)

【タ行】

【タ】

田井伸行 (1978) 『角川小辞典 10 日本語の語源』角川書店

高島俊男 (2001) 『漢字と日本人』文藝春秋

高田純次 (2006) 『適当論』ソフトバンク クリエイティブ

高橋巖 (2014) 『平成日本語聞見録』無明舎出版

高橋五郎 (1888) 『漢英対照いろは辞典』長尾景弼発行 (名著普及会 (1983) による復刻版)

高橋五郎・吉田栄右 (1899) 『袖珍和英新辞典』積善館本店

高橋五郎 (1900) 『和英袖珍字彙』開新堂

高橋貢 (1984) 「『今昔物語集』の「微妙シ (メデタシ)」と「貴シ」(上)」(専修大学国語
国文学会『専修国文 第三五号』所収)

武信彰・山田眞一編集代表 (2013) 『プログレッシブ中国語辞典 第 2 版』小学館

武信由太郎編 (1918) 『武信和英大辞典』研究社

竹原常太 (1928) 『スタンダード和英大辞典 (35 版)』大阪 (東京) 宝文館

竹原常太編著 (1946) 『スタンダード和英大辞典 (第 21 版)』大修館書店

-
- 田嶋幸三（2007）『「言語技術」が日本のサッカーを変える』光文社
- 田島優（1998）『近代漢字表記語の研究』和泉書院
- 田中章夫（1987）「思考と表現」（山口明穂編（1987）『国文法講座 第六巻 時代と文法 — 現代語』明治書院 所収）
- 田中伊式（2018）「「大丈夫」の境界線」（NHK 放送文化研究所編（2018）『放送研究と調査 9月号』NHK 出版 所収）
- 田中克彦（1993）『言語学とは何か』岩波書店
- 田中春美ほか編（1988）『現代言語学辞典』成美堂
- 田中実（1992）『英語シノニム比較辞典』研究社出版
- 玉村文郎（2002）「現代日本語の意味構造」（飛田良文・佐藤武義編（2002）『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院 所収）
- 玉村文郎編（1989）『講座 日本語と日本語教育 6 日本語の語彙・意味（上）』明治書院
- 玉村文郎編（1990）『講座 日本語と日本語教育 7 日本語の語彙・意味（下）』明治書院

【チ】

- チェンバレン（B. H. Chamberlain）著作兼発行（1907）『A Handbook of Colloquial Japanese（四版）』（Ganesha Publishing/Edition synapse（2000）による復刻版）
- 張潔（2015）「漢語「不便」の意味変化について — 日中対照言語史的考察 —」（『日中言語対照研究論集』（2015）第17号 所収）
- 張淑榮編 徳田武校閲（1987）『中日漢語対比辞典』ゆまに書房
- 張麟声・渡辺実（1983）「日中副詞の比較 — ムード副詞を中心に —」（渡辺実編（1983）『副用語の研究』明治書院 所収）
- 張麟声（2004）『日中ことばの漢ちがい』くろしお出版
- 張麟声（2016）『新版 日中ことばの漢ちがい』日中言語文化出版社
- 陳朴編著（2002）『新簡明漢英詞典』上海訳文出版社

【ツ】

- 津田仙・柳澤信大・大井鎌吉全訳（1879）『英華和訳辞典 乾』
- 津田仙・柳澤信大・大井鎌吉全訳（1879）『英華和訳辞典 坤』
-

鶴見俊輔・粉川哲夫編（1988）『コミュニケーション事典』平凡社

【テ】

寺澤盾（2016）『英単語の世界 多義語と意味変化から見る』中央公論新社

田忠魁・泉原省二・金相順編著（1998）『日本語類似表現のニュアンスの違いを列証する 類義語使い分け辞典』研究社

【ト】

土居武郎（1971）『「甘え」の構造』弘文堂

土井忠生ほか編訳（1980）『邦訳 日葡辞書』岩波書店

東京外国語大学言語文化学部編（2016）『言葉から社会を考える この時代に〈他者〉とどう向き合うか』白水社

東京大学国語国文学会編（1975）『國語と國文學（昭和五十年五月号）』

時枝誠記・吉田精一編（1973）『角川 国語中辞典』角川書店

徳川宗賢・真田信治編（1991）『新・方言学を学ぶ人のために』世界思想社

トマス（ジェニー・トマス：Jenny Thomas）（浅羽亮一監修）（1998）『語用論入門 話し手と聞き手の相互交渉が生み出す意味』研究社出版

富田愛次郎（警視）監修（1915）『隠語輯覧』京都府警察部出版

富田愛次郎（警保局事務官）監修（1921）『隠語辞典』京都府警察部出版

富田隆行（1993）『日本人の知らない日本語』市井社

友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵（2007）『社会学のエッセンス [新版]』有斐閣

外山滋比古（1986）『思考の整理学』筑摩書房

外山滋比古（1987）『日本語の論理』中央公論社

外山滋比古（2002）『英語の発想・日本語の発想』日本放送出版協会

トラウゴット（エリザベス・C・トラウゴット）／ダッシャー（リチャード・B・ダッシャー）（日野資成訳）（2019）『意味変化の規則性』ひつじ書房

トラッドギル（P. トラッドギル）（土田滋訳）（1975）『言語と社会』岩波書店

【ナ行】

【ナ】

- 長岡規矩雄（1930）『時勢に後れぬ 新時代用語辞典』磯部甲陽堂
- 永澤濟（2016）「漢語と大和ことば」（神崎宣武・白幡洋三郎・井上章一編（2016）『日本文化事典』丸善出版 所収）
- 長嶋善郎（1982）「類義語とは何か」（宮地裕・甲斐睦朗編（2008）『「日本語学」特集テーマ別ファイル 普及版 意味 1』明治書院 所収）
- 中根千枝（1967）『タテ社会の人間関係』講談社
- 中村明編（2000）『別冊国文学・NO.53 現代日本語必携』学燈社
- 中村明・芳賀綏・森田良行編（2005）『三省堂 類語新辞典』三省堂
- 中村明（2011）『たのしい日本語学入門』筑摩書房
- 中村明（2014）『日本語のニュアンス練習帳』岩波書店
- 中村元（1975）『佛教語大辞典 上巻』東京書籍
- 中村元（1975）『佛教語大辞典 下巻』東京書籍
- 中本正智（1980）『日本語の表現と構造』エポナ出版
- 中山緑朗・飯田晴巳・陳力衛・木村義之・木村一編（2009）『みんなの日本語辞典 一言葉の疑問・不思議に答える一』明治書院
- 中山緑朗・飯田晴巳監修（2015）『品詞別 学校文法講座 第三巻 動詞・形容詞・形容動詞』明治書院

【ニ】

- 西尾実・石橋幸太郎監修（1967）『言語教育学叢書 第1期・3巻 言語教育と関連諸科学(1)』文化評論出版
- 西尾実ほか編（2011）『岩波 国語辞典 第7版 新版』岩波書店
- 西尾実ほか編（2019）『岩波 国語辞典 第8版』岩波書店
- 西光義弘編（1999）『日英語対照による 英語学概論 増補版』くろしお出版
- 日外アソシエーツ編（2004）『20世紀日本人名事典』日外アソシエーツ
- 日本青年社編（1927）『新時代語辞典』大興社
-

日本放送協会（1957）『NHK 国語講座 第5巻 現代語の傾向』宝文館
日本放送協会（1958）『NHK 国語講座 第10巻 日本語の常識』宝文館
日本放送協会（1959）『NHK 国語講座 第12巻 ことばの心理』宝文館
新渡戸稲造・高楠順次郎編（1905）『新式日英辞典』三省堂
日本語学会編（1980）『国語学大事典』東京堂出版
日本語学会編（2018）『日本語学大事典』東京堂出版
日本語教育学会編（1982）『日本語教育事典』大修館書店
日本語教育学会編（2005）『新版 日本語教育事典』大修館書店
日本国語大辞典第二版編集委員会 小学館国語辞典編集部（20002002）『日本国語大辞典 第二版』（第一巻から第十三巻まで）小学館
日本語文法学会編（2014）『日本語文法事典』大修館書店

【ヌ】

【ネ】

ネウストプニー（J. V. ネウストプニー）（1982）『外国人とのコミュニケーション』岩波書店

【ノ】

野口恵子（2004）『かなり気がかりな日本語』集英社

【ハ行】

【ハ】

芳賀綏（1979）『日本人の表現心理』中央公論社

芳賀綏（1982）「日本人の言語行動と語彙」（佐藤喜代治編（1982）『日本語の語彙の特色』明治書院 所収）

芳賀綏・佐々木瑞枝・門倉正美（1996）『あいまい語辞典』東京堂出版

-
- 芳賀綏（2004）『日本人らしさの構造 一言語文化論講義』大修館書店
- 箸尾寅之助纂訳（1887）『和英ダイヤモンド いろは字典』嵩山堂
- 浜本純逸監修（2008）『読解をたいせつにする 体系古典文法 七訂版』数研出版
- 早川勇編（2006a）『愛知大学文學會叢書XI 日本の英語辞書と編纂者』春風社
- 早川勇（2006b）「和英辞典の歴史」（『言語と文化』No.14 愛知大学所収）
- 林知己夫（1996）『日本らしさの構造 こころと文化をはかる』東洋経済新報社
- 林巨樹・松井栄一監修 小学館辞典編集部編（2006）『現代国語例解辞典 第四版』小学館
- 林巨樹・松井栄一監修 小学館辞典編集部編（2016）『現代国語例解辞典 第五版』小学館
- 林四郎（1987）『漢字・語彙・文章の研究へ』明治書院
- 原土洋著作集編集委員会編（2015）『日本事情言論序説 原土洋著作集』ウェイツ

【ヒ】

- 干河岸貫一（*ひがし かんいち）（1901）『俗諺辞林』青木嵩山堂
- 東森勲・吉村あき子（2003）『英語学モノグラフシリーズ 21 関連性理論の新展開 認知とコミュニケーション』研究社
- 樋口栄（1935）『隠語構成様式並に其語集』警察協会大阪支部
- 久松潜一・臼田甚五郎監修（1959）『国語学習辞典』学習研究社
- 久松潜一・佐藤謙三編（1969）『角川国語辞典 新版』角川書店
- 飛田良文・浅田秀子（1991）『現代形容詞用法辞典』東京堂出版
- 飛田良文・浅田秀子（1994）『現代副詞用法辞典』東京堂出版
- 飛田良文・浅田秀子（2018）『現代形容詞用法辞典 新装版』東京堂出版
- 飛田良文・浅田秀子（2018）『現代副詞用法辞典 新装版』東京堂出版
- 飛田良文・佐藤武義編（2002）『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院
- 姫野昌子監修（2012）『研究社 日本語コロケーション辞典』研究社
- 廣瀬幸生・長谷川葉子（2010）『日本語から見た日本人 一主体性の言語学一（開拓社 言語・文化選書 16）』開拓社

【フ】

- 吹野安・小笠原博慧（1998）『漢文の語法と故事成語』笠間書院
-

福永恭助・岩倉具実（1951）『口語辞典 Hanasikotoba o hiku Zibiki』森北出版
藤井乙男編（1910）『諺語大辞典』有朋堂書店
藤巻修一発行（2017）『新修 隠語大辞典』皓星社
ブリンクリー（Francis Brinkley）・南條文雄・岩崎行親編（1896）『和英大辞典』三省堂
古庄敏行（1997）『日本はなぜ「あいまい文化」なのか』廣濟堂出版
文化庁編（1978）『「ことば」シリーズ 8 和語 漢語』大蔵省印刷局
文化庁（1990）『外国人のための 基本語用例辞典（第三版）』大蔵省印刷局
文化庁編（1991）『「ことば」シリーズ 34 言葉の意味』大蔵省印刷局
文化庁（文化部国語課）編・発行（2001）『新「ことば」シリーズ 10 言葉に関する問答集
—意味の似た言葉—』文化庁
文化庁（1994）『外国人のための 基本語用例辞典 第三版』大蔵省印刷局
文化庁（2000）『平成 11 年度 国語に関する世論調査』大蔵省印刷局
文化庁（2001）『平成 12 年度 国語に関する世論調査』財務省印刷局
文化庁（2002）『平成 13 年度 国語に関する世論調査』財務省印刷局
文化庁（2003）『平成 14 年度 国語に関する世論調査』国立印刷局
文化庁（2004）『平成 15 年度 国語に関する世論調査』国立印刷局
文化庁（2005）『平成 16 年度 国語に関する世論調査』国立印刷局
文化庁（2008）『平成 19 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2009）『平成 20 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2011）『平成 22 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2012）『平成 23 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2013）『平成 24 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2015）『平成 26 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2016）『平成 27 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい
文化庁（2017）『平成 28 年度 国語に関する世論調査』ぎょうせい

【〜】

へボン（J. C. へボン）編訳（1867）『和英語林集成 初版』
へボン（J. C. へボン）編訳（1872）『和英語林集成 再版』

ヘボン (J. C. ヘボン) 編訳 (1886) 『改訂増補 和英英和語林集成』 (通称 : 『和英語林集成
第三版』) 丸善商社

ヘボン (J. C. ヘボン) (松村明解説) (1980) 『和英語林集成』 講談社

【ホ】

ホール (エドワード・T・ホール) (宇波彰訳) (1983) 『文化としての時間』 TBS ブリタニ
カ

彭飛 (2006) 『日本人と中国人とのコミュニケーション「ちょっと」はちょっと... ポンフ
エイ博士の日本語の不思議』 和泉書院

外間守善・佐川誠義編 (1984) 『日本言語学要説』 朝倉書店

堀井令以知 (1999) 『上方ことば語源辞典』 東京堂出版

堀籠美善編著 (1917) 『俗語大辞典』 集文館

【マ行】

【マ】

マーフィー (M. Lynne Murphy) / コスケラ (Ane Koskela) (今井邦彦監訳) (2015) 『意味
論キーターム事典』 開拓社

前田勇 (1962) 『悪いことば・下品なことば』 東京堂

前田勇編 (1964) 『近世上方語辞典』 東京堂出版

前田勇編 (2003) 『江戸語大辞典 新装版』 講談社

前田富祺 (1982) 「意味の変化 —「かたづける」を中心として—」 (宮地裕・甲斐睦朗編 (2008)
『「日本語学」特集テーマ別ファイル 普及版 意味 1』 明治書院 所収)

前田富祺・阿辻哲次編 (2009) 『漢字キーワード事典』 朝倉書店

マシューズ (P. H. Matthews) (中島平三・瀬田幸人監訳) (2009) 『オックスフォード言語
学辞典』 朝倉書店

増井金典 (2012) 『日本語源広辞典 増補版』 ミネルヴァ書房

松井翠聲 (1931) 『翠聲・オン・パレード』 往来社

松井栄一 (2008) 『ちがいがわかる 類語使い分け辞典』 小学館

-
- 松井利彦（1987）「漢語サ変動詞の表現」（山口明穂編（1987）『国文法講座 第六卷 時代と文法 一現代語』明治書院 所収）
- 松井嘉和（1991）『日本人の考え方 ―「日本論」への案内』国際交流基金 日本語国際センター
- 松平圓次郎・山崎弓東・堀籠美善（1909）『俗語辞海』集文館
- 松中完二（2002）「現代の多義語の構造」（飛田良文・佐藤武義編（2002）『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院 所収）
- 松村明監修 小学館『大辞泉』編集部編（1998）『大辞泉 増補・新装版』小学館
- 松村明・三省堂編修所編（2006）『大辞林 第三版』三省堂
- 松村明・三省堂編修所・三省堂編修所編（2019）『大辞林 第四版』三省堂
- 松村明・山口明穂・和田利政編（2015）『旺文社 古語辞典 第十版 増補版』旺文社
- 馬淵冷佑・福島徳平著（1925）『学生自習 新式大辞典』田中宋栄堂
- マルティネ（アンドレ・マルティネ：André Martinet）（三宅徳嘉監訳）（1972）『言語学事典』大修館書店
- 丸山真男（1961）『日本の思想』岩波書店

【ミ】

- 三浦つとむ（1976）『日本語はどういう言語か』講談社
- 水上静夫（1999）『漢字を語る』大修館書店
- 宮地裕・甲斐睦朗編（2008）『「日本語学」特集テーマ別ファイル 普及版 意味 1』明治書院
- 宮島達夫（1968）『単語指導ノート』むぎ書房
- 宮本勝・清水芳見編著（1999）『文化人類学講義 文化と政策を考える』八千代出版

【ム】

- 武藤康史（2008）『国語辞典の名語釈』筑摩書房
- 村上雅孝（2002）「現代語彙研究の歴史」（飛田良文・佐藤武義編（2002）『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院 所収）
- 室町時代語辞典編修委員会編（1989）『時代別 国語大辞典 室町時代編二』三省堂
-

室町時代語辞典編修委員会編（1994）『時代別 国語大辞典 室町時代編三』三省堂
室町時代語辞典編修委員会編（2000）『時代別 国語大辞典 室町時代編四』三省堂
室町時代語辞典編修委員会編（2001）『時代別 国語大辞典 室町時代編五』三省堂

【メ】

明治書院企画編集部編（1997）『日本語学叢書 日本語誤用分析』明治書院

【モ】

物集高見監修 文化出版社編集局編（1922）『袖珍コンサイス万用字引』

榎山洋介（2009）『日本語表現で学ぶ 入門からの認知言語学』研究社

榎山洋介（2010）『認知言語学入門』研究社

榎山洋介（2014）『日本語研究者のための認知言語学』研究社

森岡健二・永野賢・宮地裕編（1970）『講座 正しい日本語 第6巻 コミュニケーション編』
明治書院

森岡健二・藤永保（1970）『言語と人間』東海大学出版会

森岡健二（1982）「対義語とそのゆれ」（宮地裕・甲斐睦朗編（2008）『「日本語学」特集テーマ別ファイル 普及版 意味1』明治書院 所収）

森岡健二（1987）『現代語研究シリーズ 第1巻 語彙の形成』明治書院

森田良行（1977）『基礎日本語 一意味と使い方』角川書店

森田良行（1989）『基礎日本語辞典』角川書店

森田良行・村木新次郎・相澤正夫編（1989）『ケーススタディ 日本語の語彙』桜楓社

森田良行（1988）『日本語の類意表現』創拓社

森田良行（1991）『NAFL 選書 11 語彙とその意味』アルク

森田良行（1996）『ひつじ研究叢書（言語編） 第11巻 意味分析の方法 一理論と実践一』
ひつじ書房

森田良行（1998）『日本人の発想、日本語の表現 「私」の立場がことばを決める』中央公
論社

森田良行（2008）『動詞・形容詞・副詞の事典』東京堂出版

森田良行（2014）『気持ちをあらわす「基礎日本語辞典」』KADOKAWA

【ヤ行】

【ヤ】

柳父章（1982）『翻訳語成立事情』岩波書店

矢野耕平（2014）『13歳からのことば事典「まじ、ヤバい！」気持ちをも正しく伝えるには？

一語彙力&表現力をのばす心情語 600—』メイツ出版

山岡政紀・牧原功・小野正樹（2010）『コミュニケーションと配慮表現 ー日本語語用論入門—』明治書院

山岡政紀・牧原功・小野正樹（2018）『新版 日本語語用論入門 ーコミュニケーション理論から見た日本語—』明治書院

山口明穂編（1987）『国文法講座 第六巻 時代と文法 ー現代語』明治書院

山口明穂・鈴木英夫・坂梨隆三・月本雅幸（1997）『日本語の歴史』東京大学出版会

山口明穂ほか編（2013）『旺文社国語辞典 第十一版』旺文社

山口翼（2016）『日本語シソーラス 第2版 ー類語検索辞典』大修館書店

山口隆正（2018）「日本語テキスト・日本語能力試験（過去問）からみる『気』の慣用句」の扱い方について」（『拓殖大学 日本語教育研究』第3号 拓殖大学日本語教育研究所所収）

山下秀雄（1986）『日本のことばとところ』講談社

山田一隆（1915）『犯罪科学ノ研究』清水書店

山田忠雄（1967）『三代の辞書 国語辞書百年小史』三省堂

山田忠雄・柴田武ほか編（2012）『新明解国語辞典 第七版』三省堂

山田俊雄（1975）「漢語研究上の一問題 ーかな書きの場合と、意味の推移の場合とー」（東京大学国語国文学会編（1975）『國語と國文學（昭和五十年五月号）』所収）

山田俊雄（1978）『日本語と辞書』中央公論社

山田美妙（1892~93）『日本大辞書』日本大辞書発行所

山田美妙（1912）『大辞典 下巻』嵩山堂

山田政通（2015）「文化的反義語の試案 ー第4のカテゴリーとしてー」（拓殖大学言語文化

研究所編集委員会編『拓殖大学 語学研究』第 133 号拓殖大学言語文化研究所 所収)
山田政通 (2018)「文化的反義語 一英語の実例集一」(拓殖大学言語文化研究所編集委員会
編『拓殖大学 語学研究』第 137 号 拓殖大学言語文化研究所 所収)
山田政通 (2019)「文化的反義語の試案 一日本語の実例一」(拓殖大学言語文化研究所編集
委員会編『拓殖大学 語学研究』第 140 号 拓殖大学言語文化研究所 所収)
山根智恵監修 (2013)『研究社 日本語口語表現辞典』研究社

【ユ】

【ヨ】

吉村公宏 (2004)『はじめての認知言語学』研究社
依田新・築島謙三編 (1970)『現代心理学シリーズ 2 日本人の性格』朝倉書店
米川明彦 (1989)『新語と流行語』南雲堂
米川明彦 (1997)『若者ことば辞典』東京堂出版
米川明彦 (1998)『若者語を科学する』明治書院
米川明彦 (2002)『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』三省堂
米川明彦 (2003)『日本俗語大辞典』東京堂出版
米川明彦 (2000)『集団語辞典』東京堂出版
米川明彦 (2017)『俗語入門 一俗語はおもしろい!一』朝倉書店
米川明彦 (2019)『平成の新語・流行語辞典』東京堂出版

【ラ行】

【ラ】

ライズィ (エルンスト・ライズィ : Ernst Leisi) (鈴木孝夫訳) (1960)『意味と構造』研究
社

【リ】

リーチ (ジェフリー・N・リーチ : Jeffrey N. Leech) (内田種臣・木下裕昭訳) (1986) 『意味論と語用論の現在』理想社

陸留弟・郭侃亮編著 (2016) 『日語近義詞・同義詞弁析』華東理工大学出版社

【ル】

【レ】

【ロ】

ローズ=イニス (アーサー・ローズ=イニス : Arthur Rose-Innes) 編 (1922) 『Beginners' Dictionary of Chinese-Japanese Characters』吉川書店

【ワ行】

【ワ】

渡辺紳一郎 (1950) 『新語百科辞典』大泉書店

渡辺友左 (1981) 『叢書・ことばの世界 隠語の世界 集団語へのいざない』南雲堂

渡辺実編 (1974) 『国語文法論』笠間書院

渡辺実編 (1983) 『副用語の研究』明治書院

渡辺実 (1990) 「程度副詞の体系」(『上智大学国文学論集 23号 (1990/01/20)』所収)

渡辺実 (2002) 『国語意味論』塙書房

和田万紀編 (2011) 『心理学 (Next 教科書シリーズ)』弘文堂

【その他参考資料】

(オンライン上の資料等／資料名の五十音順)

【ア行】

「青空文庫」 (<https://www.aozora.gr.jp/>)

「Ameba (アメーバ) | 芸能人・有名人ブログ」 (<https://official.ameba.jp>)

「英辞郎 on the WEB」 (<https://eow.alc.co.jp/>)

【カ行】

「聞蔵Ⅱ ビジュアル (朝日新聞 記事データベース)」 (<http://database.asahi.com/index.shtml>)

「教育部重編国語辞典修訂本」

(<http://dict.revised.moe.edu.tw/cgi-bin/cbdic/gsweb.cgi?ccd=mTyPkA&o=e0&sec=sec1&index=1>)

「Google ブックス」 (<https://books.google.co.jp/>)

「神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫」 (<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>)

「コーパス検索アプリケーション『中納言』」 (<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>)

「国立国会図書館 デジタルコレクション」 (<http://dl.ndl.go.jp/>)

【サ行】

「三省堂 WORD-WISE WEB-Dictionaries & Beyond-」 (<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/>)

「ジャパンナレッジ Lib (Japan Knowledge Lib)」 (<https://japanknowledge.com/lib/search/basic/>)

【タ行】

「(百家諸子) 中國哲學書電子化計劃」 (<https://ctext.org/zh>)

『デジタル大辞泉』 小学館 (<https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=2001000056200>)

【ナ行】

『日本国語大辞典』 小学館

(<https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=2002000391149BOts42w>)

【ハ行】

「フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』」 (<https://ja.wikipedia.org>)

【マ行】

「明治学院大学図書館 デジタルアーカイブス」 (<http://mgda.meijigakuin.ac.jp/mgda/waei/>)

【ヤ行】

「ヨミダス歴史館 (読売データベースサービス)」 (<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>)

【ラ行】

【ワ行】

謝辞

博士論文作成にあたり、ご協力いただいた関係者各位に、この場を借りて謝意を表す。

2021（令和3）年3月15日

言語教育研究科 博士後期課程 池田 純